VII VIII IX

FINAL FANTASY 25th MEMORIAL ULTIMANIA Vol.2

Edited by Studio BentStuff / Published by SQUARE ENIX

FINAL FANTASY 25th ANNIVERSARY SINCE 1987

本コンテンツは2012年12月18日に
紙で発行した書籍を電子化し、収録したものです。
本コンテンツに掲載されている各種情報、表示価格などは、
紙で発行した当時のものであり、
その後の情報と異なっている場合がございます。
何卒ご了承ください。

VII VIII IX
FINAL FANTASY 25th MEMORIAL ULTIMANIA Vol.2

Edited by Studio BentStuff / Published by SQUARE ENIX

……俺は幻想の世界の住人だった。
でも、もう幻想はいらない……
俺は俺の現実を生きる。

……あの時どうすれば良かったのかわかったんだ。
……まだ間に合う。
……だから来た。後悔したくない。
リノアを返してもらう。

もし、オレたちが力つきたとしても
終わってしまうわけじゃない……。
オレたちのことを記憶している誰かがいる限り、
その記憶と生命は永遠につながっていく……。
それが生きるってことだ！

星のすべてのエネルギーとひとつになり
私は新たなる生命、新たなる存在となる。
星とまじわり……私は……
今は失われ、かつて人の心を支配した存在……
『神』として生まれ変わるのだ。

思い出したことがあるかい、子供の頃を。
その感触、そのときの言葉、そのときの気持ち。
大人になっていくにつれ、
何かを残して、何かを捨てていくのだろう。
時間は待ってはくれない。
にぎりしめても、ひらいたと同時に離れていく。
そして……

クッ……僕はどうせ死ぬんだ……。
死ねばこの恐怖からも解放される……。
でも、僕ひとりでは死にはしない……。
キミ達も一緒に連れていってあげるよ！

VII VIII IX

FINAL FANTASY 25th
MEMORIAL ULTIMANIA Vol.2

ファイナルファンタジー25th メモリアル アルティマニア Vol.2

CONTENTS

FINAL FANTASY VII

FINAL FANTASY VIII

FINAL FANTASY IX

※本書では、「ファイナルファンタジー」を「FF」と略して表記しています

※各作品のデータページで、発売元の表記がないタイトルは、すべてスクウェア・エニックス(2003年3月31日以前はスクウェア)が発売元です

※本書では、各ゲーム機を以下の略号で記しています
DS……ニンテンドーDS
PS……プレイステーション
PS Vita……プレイステーションVita
WSC……ワンダースワンカラー

※書内の価格表記は、2012年12月時点の税込価格です

※掲載しているタイトルのなかには、現在購入いただけないものもあります

FINAL FANTASY VII
ファイナルファンタジーVII

インターナショナル版

FINAL FANTASY VII INTERNATIONAL
ファイナルファンタジーVII

3D表現やムービーに初挑戦した意欲作

対応機種をプレイステーションに移し、ポリゴンを使った3D表現やCGムービーの採用によってゲーム業界に衝撃を与えた一作。因縁の相手セフィロスを追うクラウドたちの旅が、しだいに星の命運をかけた戦いへと発展していく。のちに、『FFVII アドベントチルドレン』をはじめとする多数のコンピレーション作品も制作された。

FINAL FANTASY VII
ファイナルファンタジーVII
© 1997 SQUARE

プレイステーション
ファイナルファンタジーVII
発売日●1997年1月31日
価格●7,140円

プレイステーション
ファイナルファンタジーVII インターナショナル
発売日●1997年10月2日
価格●7,140円

プレイステーション（PS one Books版）
ファイナルファンタジーVII インターナショナル
発売日●2001年12月20日
価格●3,675円

プレイステーション（限定版）
ファイナルファンタジーVII アドベントチルドレン ADVENT PIECES : LIMITED
発売日●2005年9月14日
価格●29,500円

プレイステーション（アルティメットヒッツ版）
ファイナルファンタジーVII インターナショナル
発売日●2006年7月20日
価格●2,625円

プレイステーション3／プレイステーション・ポータブル／プレイステーションVita（ゲームアーカイブス）
ファイナルファンタジーVII インターナショナル
（プレイステーション版）
発売日●2009年4月10日
価格●1,500円
※PS Vitaは2012年8月28日より対応

プレイステーション（限定版）
ファイナルファンタジー 25th ANNIVERSARY ULTIMATE BOX
発売日●2012年12月18日
価格●35,000円
※スクウェア・エニックス e-STOREのみで予約限定販売

FINAL FANTASY VII ファイナルファンタジーVII IMAGE ART

『平穏』
クラウドとエアリス

『穹』
クラウドとエアリス

『凛光』
クラウドとエアリス

『研』
セフィロス

『挑』
クラウドとレッドXIIIとエアリスとバレット

ハーディ=デイトナを駆るクラウド

『視』
セフィロスとエアリス

『瞬』
クラウドとレッドXIII

『静謐』
クラウドとエアリス

『踵』
クラウドとレッドXIII

『佇む』
クラウドとレッドXIII

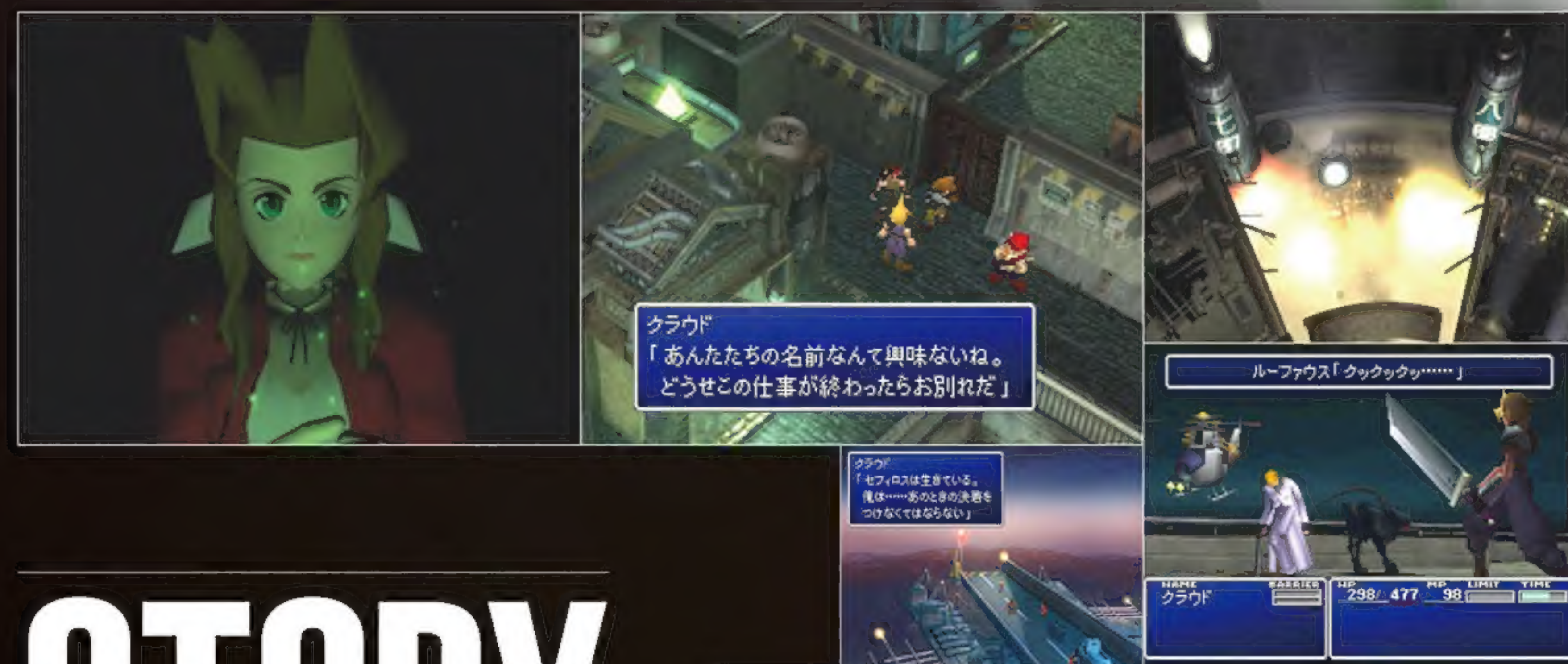
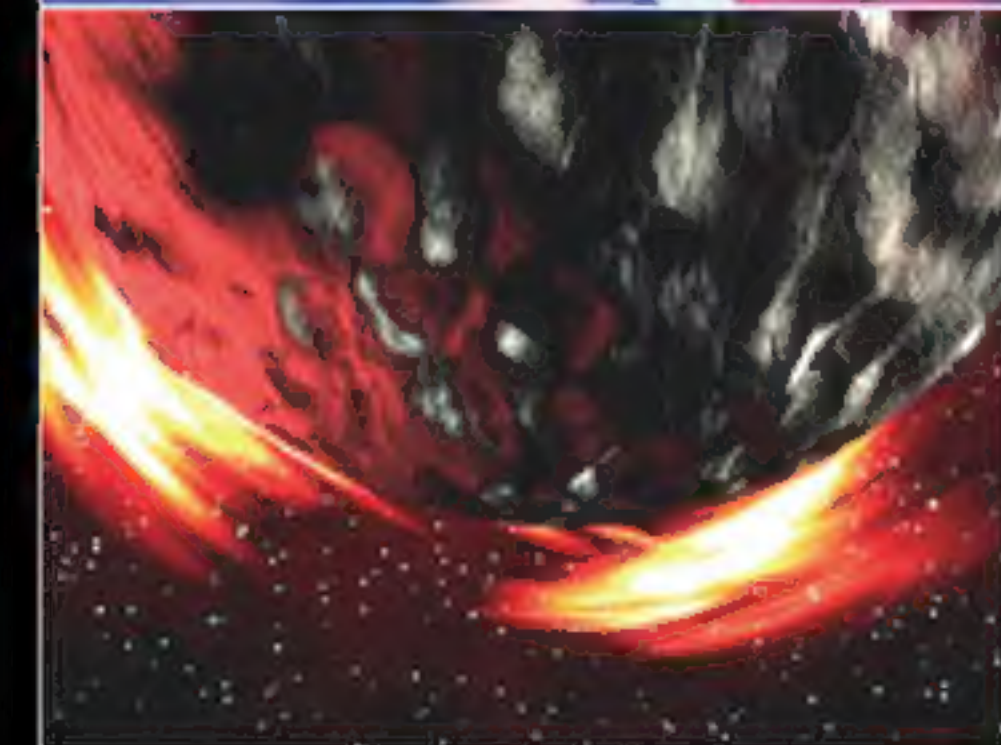
『律』
ティファ

『擁』
クラウドとエアリス

『フォレスト』
クラウド

『影』
ヴィンセント

クラウド
「あんたたちの名前なんて興味ないね。
どうせこの仕事が終わったらお別れだ」

ルーファウス「クックックッ……」

STORY OF FINAL FANTASY VII

魔晄エネルギー —— それは人々の生活に不可欠な新時代の資源。魔晄を管理する神羅カンパニーは、またたく間に巨大企業となり、いまや世界の覇権をにぎっていた。しかし、魔晄エネルギーとは星の生命そのものであり、魔晄を資源として使うことは星の命をすり減らす行為にほかならない。危機感を抱く一部の者は反神羅組織を結成し、大都市ミッドガルを中心に、神羅への抵抗活動をくり広げていた。

凄腕の傭兵クラウドは、反神羅組織アバランチに雇われながらも、星の行くすえには無関心だった。だが、星と対話する古代種の生き残りエアリスと出会い、また、星の脅威となり得るかつての英雄セフィロスの復活を知って、しだいに考えを改めていく。星を救うべく集まった仲間とともに、故郷を奪った仇でもあるセフィロスを追うクラウド。その旅は、彼が無意識に避けていた真実と向き合うことを余儀なくさせるものだった。本当の自分とは何か、自分は何のために戦うのか —— 悩みながらもクラウドと仲間は、星の未来をかけた戦いに挑む。

FINAL FANTASY VII CHARACTER

ファイナルファンタジーVII

神羅カンパニー
プレジデント神羅
ルーファウス神羅
タークス
ツォン
イリーナ
レノ
ルード
ルクレツィア
ハイデッカー
スカーレット
宝条
パルマー
リーブ

ソルジャー
セフィロス
ザックス

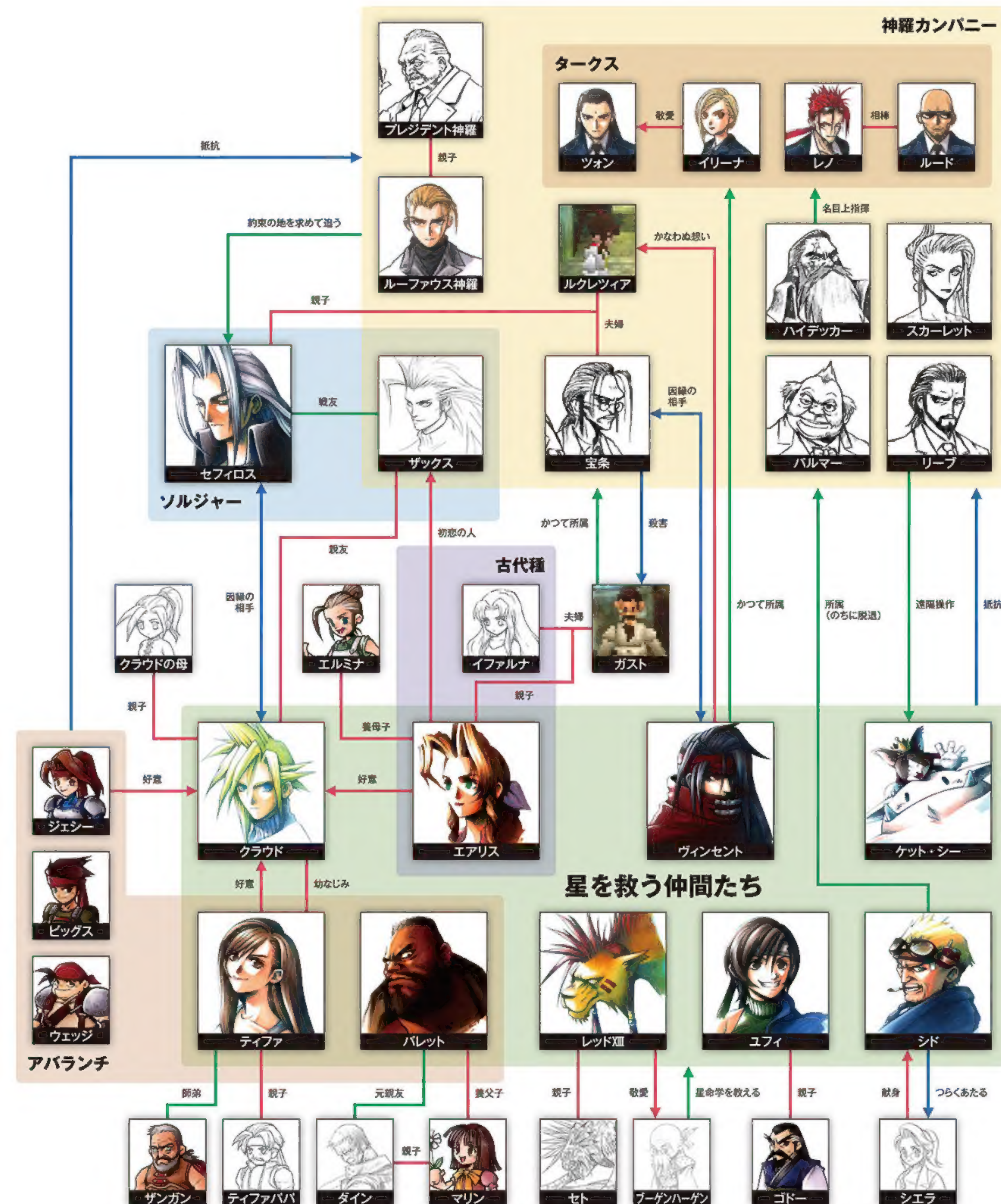
古代種
イファルナ
ガスト
クラウドの母
エルミナ

アバランチ
ジェシー
ビッグス
ウェッジ

星を救う仲間たち
クラウド
エアリス
ヴィンセント
ケット・シー
ティファ
バレット
レッドXIII
ユフィ
シド

ザンガン
ティファパパ
ダイン
マリン
セト
ブーゲンハーゲン
ゴドー
シエラ

反抗 親子 敬愛 相棒 名目上指揮 約束の地を求めて追う かなわぬ想い 夫婦 戦友 因縁の相手 かつて所属 殺害 初恋の人 親友 養母子 好意 幼なじみ 所属（のちに脱退） 遠隔操作 抵抗 師弟 元親友 養父子 星命学を教える 献身 つらくあたる

Cloud クラウド

本当の自分を見失った
魔晄の瞳を持つ青年剣士

▶ Cloud Strife　クラウド・ストライフ

Personal Data

性別	男
年齢	21歳
誕生日	8月11日
血液型	AB型
身長	173cm
出身地	ニブルヘイム
武器	ソード

巨大な剣バスターソードを武器とする青年。幼なじみのティファの頼みで反神羅組織アバランチに協力するなか、古代種の女性エアリスと出会い、星を守る戦いに乗り出す。神羅の精鋭兵であるソルジャー・クラス1stだったと自称していたが、それは、身に宿るジェノバ細胞が創り上げた偽りの記憶。星の敵となったかつての英雄セフィロスを追ううちに、己の正体を見つめ直すことになる。

Memorial Words

▶クラウド

「指先がチリチリする。
口の中はカラカラだ。
目の奥が熱いんだ！」

── 忘らるる都：エアリスの亡きがらを抱きしめ

エアリスの突然の最期に直面して言葉をしぼり出す。「悲しい」という表現を使わず、事実だけを語る様子が、かえって悲しみの深さを感じさせる。

「あんたたちの名前なんて興味ないね」

── 壱番魔晄炉：自己紹介するビッグスの言葉をさえぎり

クラウドの決まり文句と言えば「興味ないね」。"クールな元ソルジャー" という立場を端的に表すこのセリフは、彼の記憶が偽りとわかるまで多用される。

「俺、クラウドにはなりきれませんでした。
ティファさん……いつかどこかで
本当のクラウドくんに会えるといいですね」

── 北の大空洞：精神が崩壊し、ティファや仲間に謝って

自我の壊れたクラウドの衝撃的な発言。「お前は人形だ」と言うセフィロスを肯定するような言葉だが、実際は、人形ではない本当の彼が、心の奥底に眠っている。

「……俺は幻想の世界の住人だった。
でも、もう幻想はいらない……
俺は俺の現実を生きる」

── 飛空艇ハイウインド：仲間のもとにもどり、自分の真実を告げて

ジェノバ細胞の作用とはいえ、無意識に理想の自分を演じていたクラウド。それを認めたとき、クラウドの本当の戦いがはじまる。

「母さんを……ティファを……村を返せ……。
あんたをそんけいしていたのに……あこがれていたのに……」

── クラウドの回想（5年前）：ニブルヘイムを焼き払ったセフィロスを剣でつらぬき

偽りの回想では「俺の悲しみはどうしてくれる！」とカッコよく決めていたものの、実際に告げたのはこのセリフ。幼い口調のなかに、深い悲しみや怒り、失望が感じ取れる。

「よし、行こうよ、みんな」

── 星の体内：最終決戦を前に仲間へ呼びかけて

本来の自分を取りもどし、クールさを自己演出しなくなったクラウドの素直な言葉。シドからは「気の抜けた言い方」と言われてしまうが、これが自然体のクラウドなのだ。

▶イメージCG

敵対する神羅カンパニーの本社ビルを見据えて、背負った大剣に手をかけるクラウド。キャラクターを後方からとらえた構図は、全員のイメージCGで共通している。

▶初期デザイン①

FF VII caracter 1 魔剣士 cloud 仮 (クラウド)

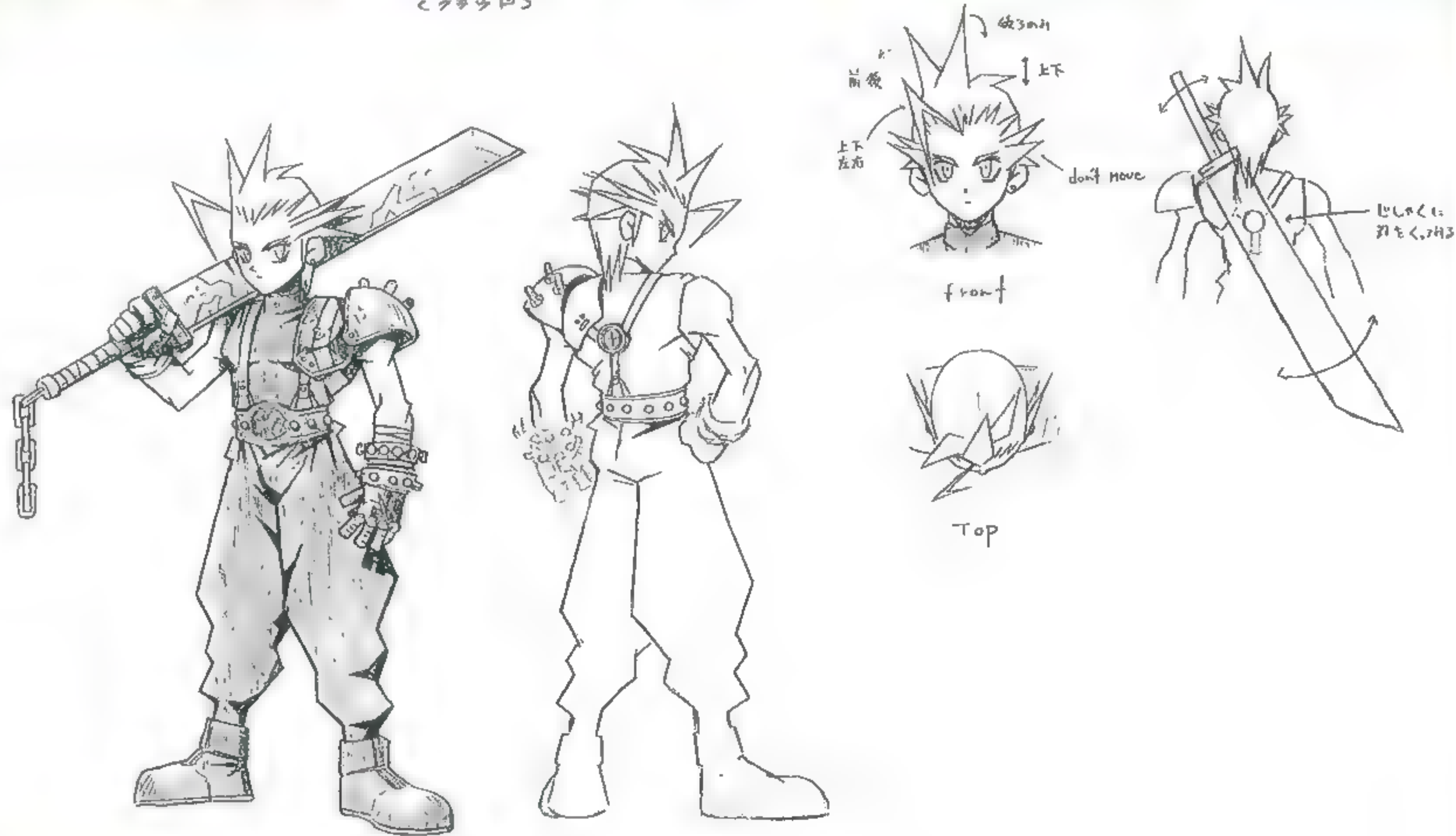
front

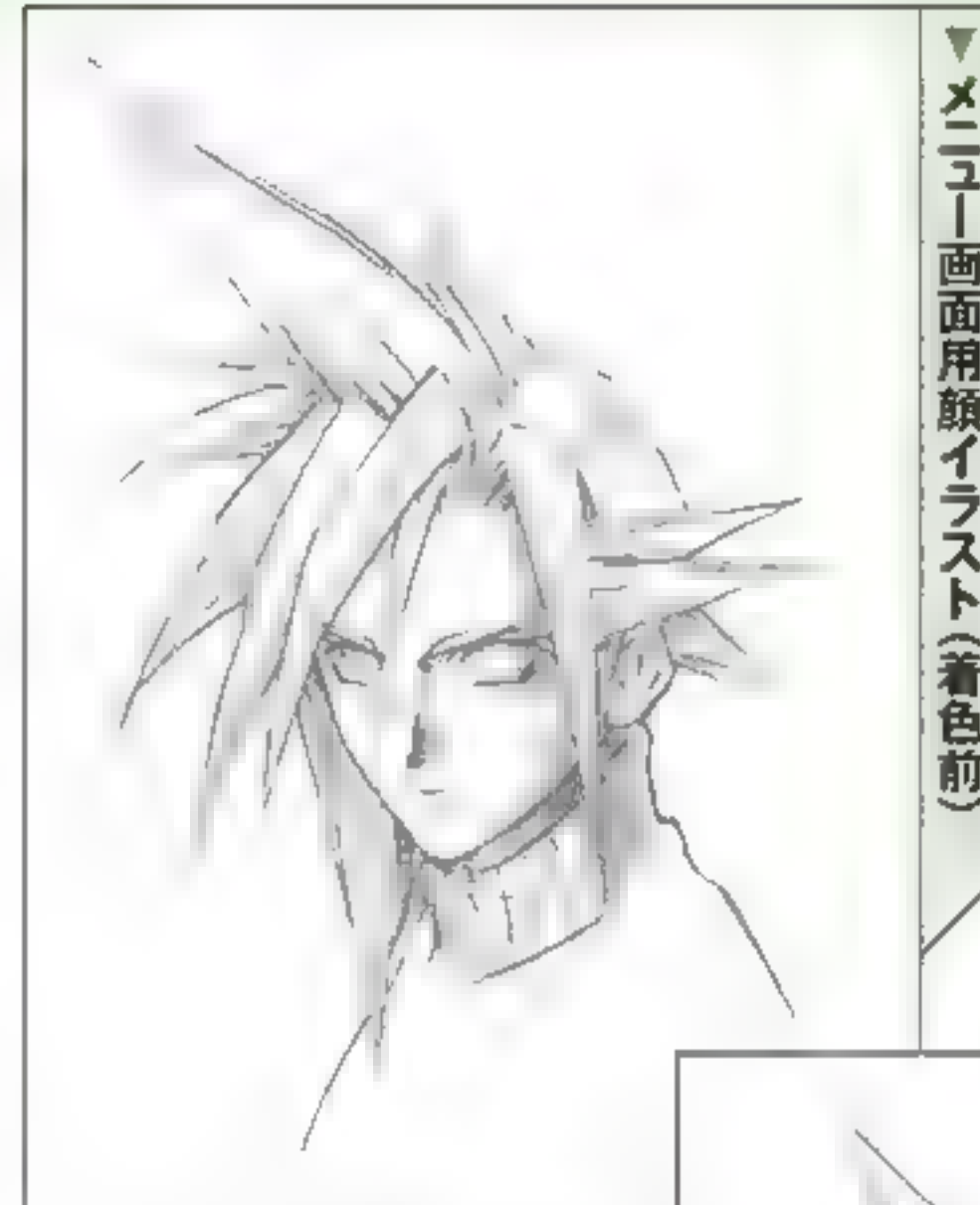
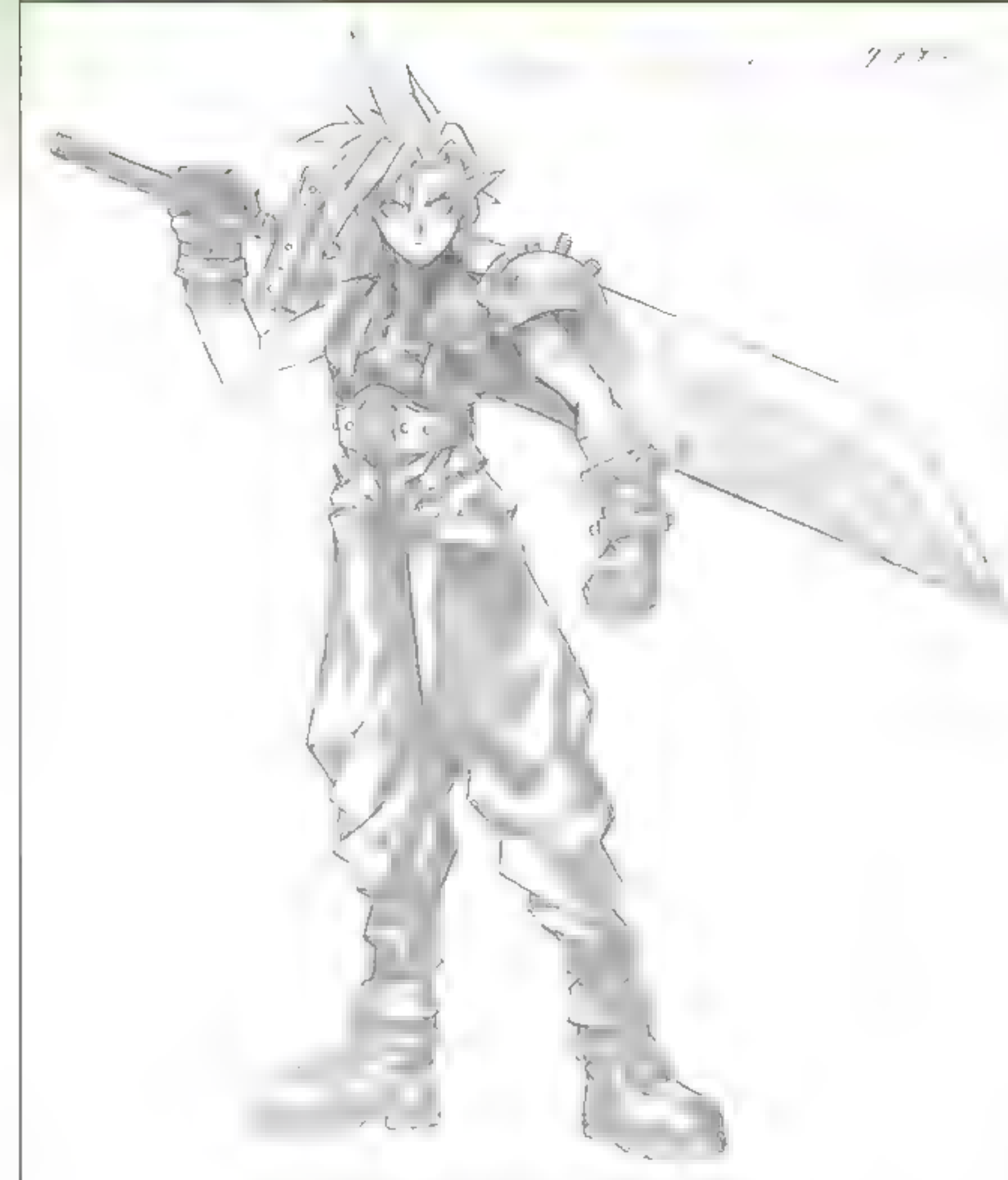
Top

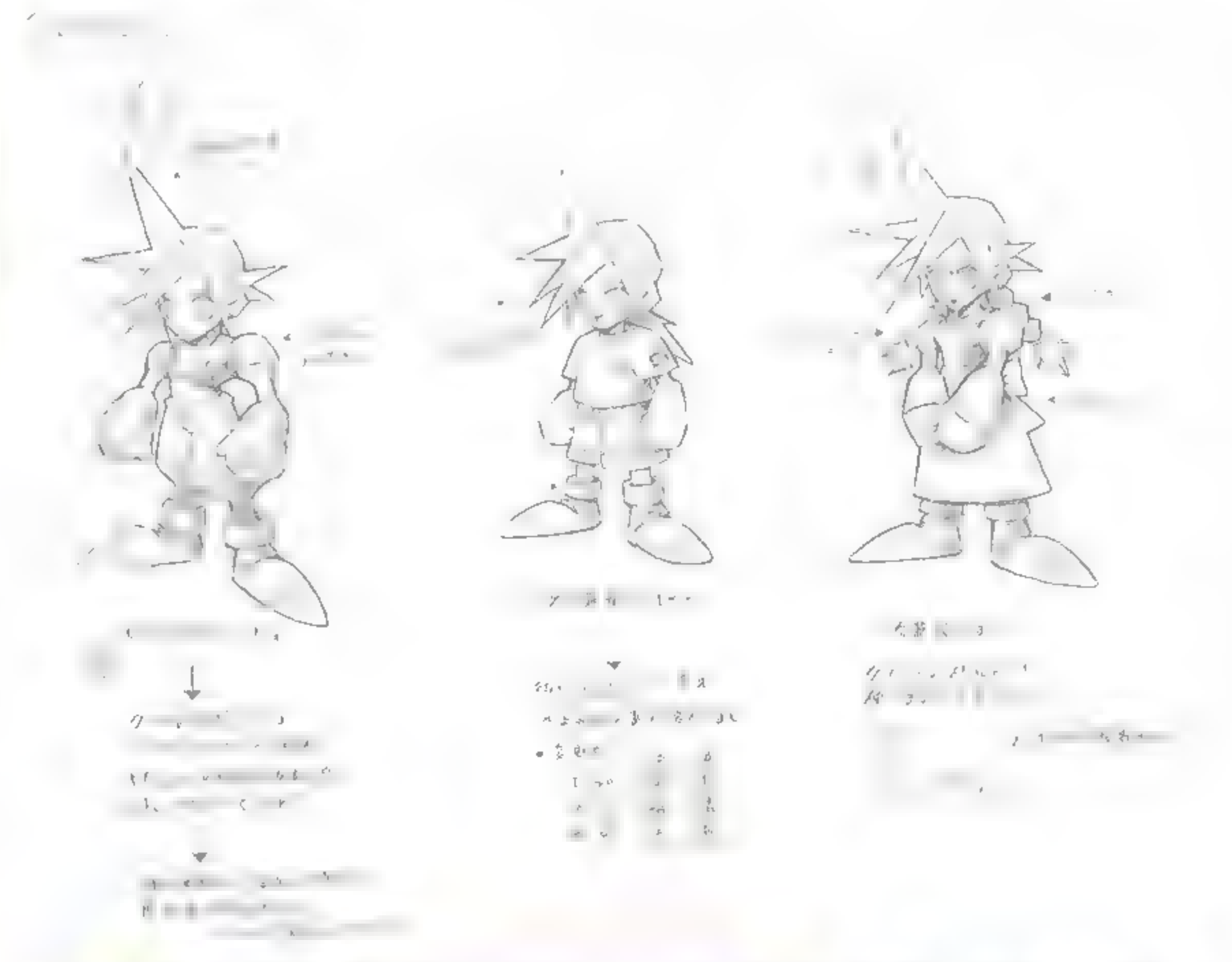
don't move

▶初期デザイン②

上の初期デザイン①は最初期に描かれ、髪型がオールバックなのが最大の特徴。当初は「魔剣士」という設定で、剣の柄の先端にはチェーンがついていた。そのあと②③のように、頭身や色づかい、剣や細部のデザインが異なるパターンを経て、完成型に近づいていく。

▶初期デザイン③

▶全身画(着色前)

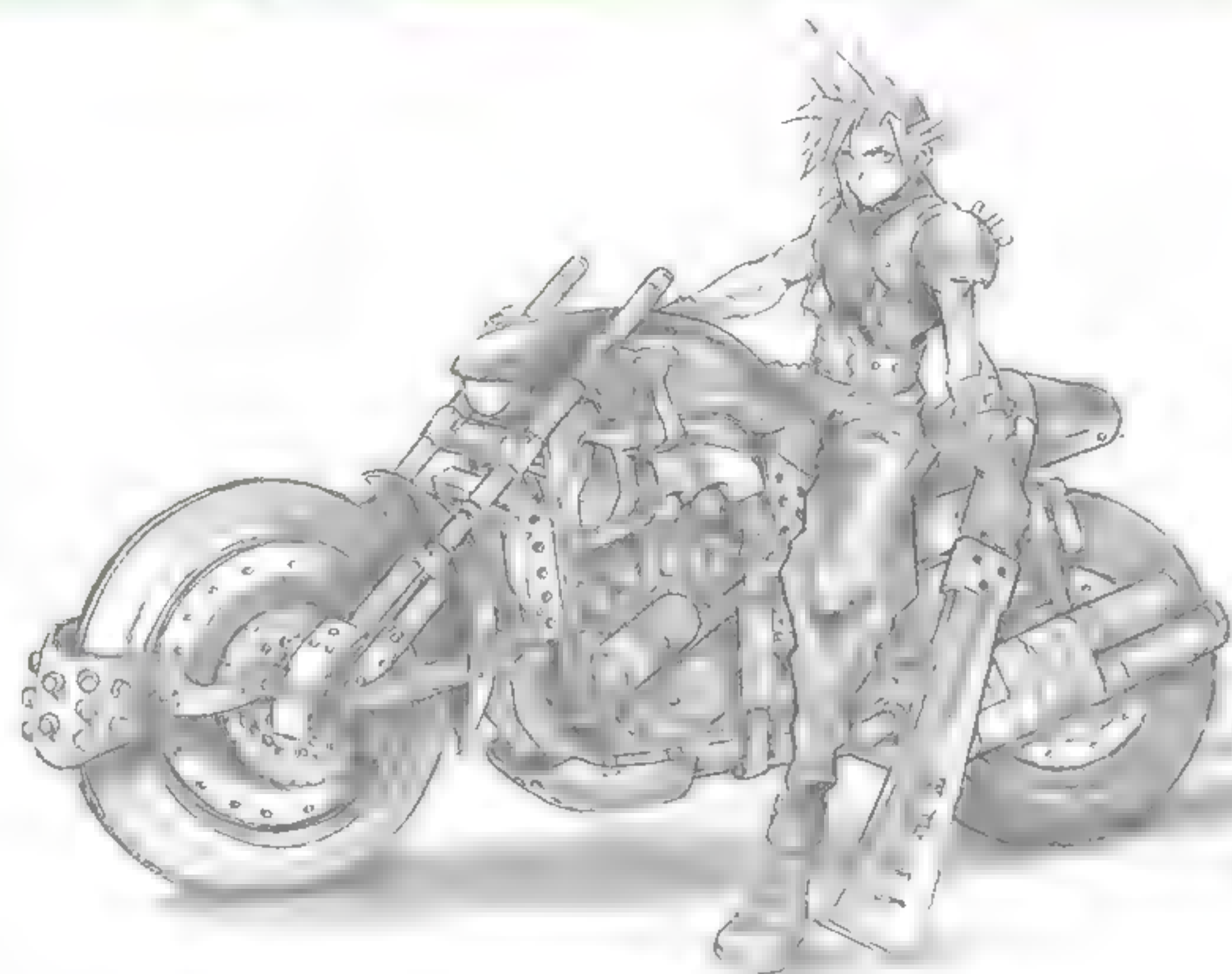
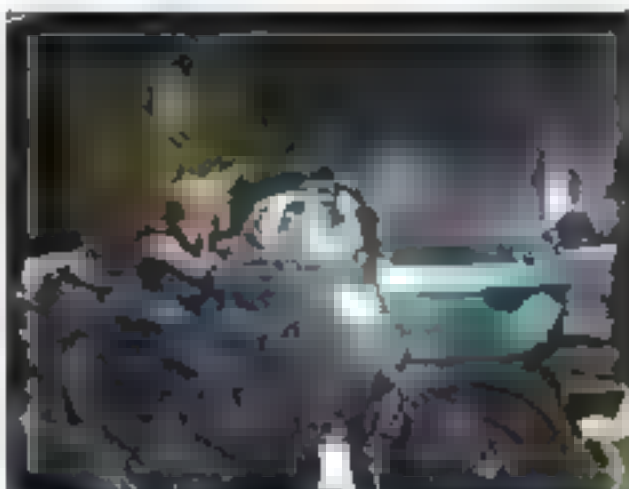
▼メニュー画面用顔イラスト(着色前)

クラウドにはメニュー画面用の顔イラストが2種類用意されており、上が通常時のもの。右は5年前のニブルヘイムの事件を回想する場面に使われるもので、16歳時の顔とあって少々幼い。

▼フィールド用デザイン画

フィールドにおけるクラウドの姿は、各シチュエーションに合わせて複数のバリエーションがデザインされた。左から順に、通常時、幼少時、女装時のもの。実際のゲーム画面と比較してみよう。

⬆ふだんのクラウド。設定画によると、トレードマークのツンツン頭は、もとは人形として遠隔操作を受けるときのアンテナだった!?

⬆少年時代のクラウドは、ティファやクラウドの回想シーンに登場。8歳と13歳の2パターンがあり、服の色と髪型がわずかにちがう。

⬆エアリスの提案で女装したときの姿。設定画を見るに、カツラのみならず胸パッドも身につけるという本格的なものだったようだ。

▼クラウド&ハーディ=デイトナ(デザイン画)

クラウドが神羅ビルから脱出するときに乗るバイク「ハーディ=デイトナ」のデザイン画。これをもとに制作されたのが、下のイメージCGだ。ゲーム中のムービーでは、細部まで作りこまれたバイクの姿を実際に見ることができた。

▶クラウド&ハーディ=デイトナ(イメージCG)

Memorial Scenes

▶クラウド

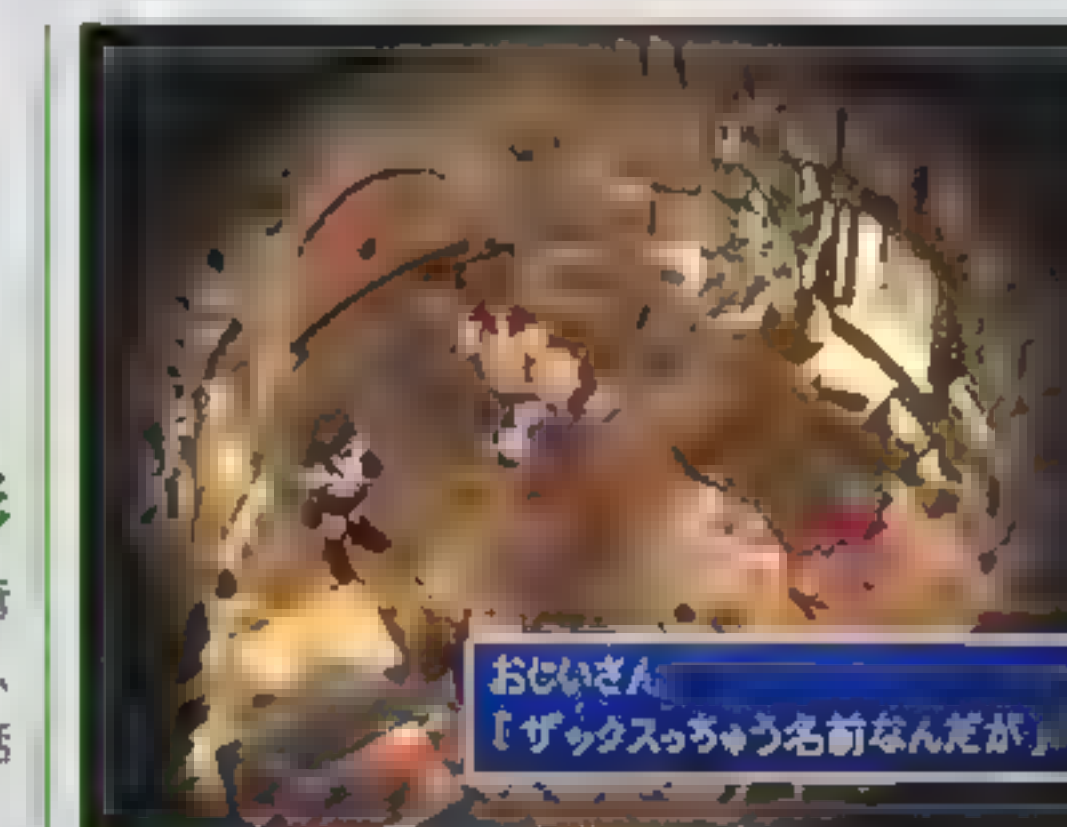
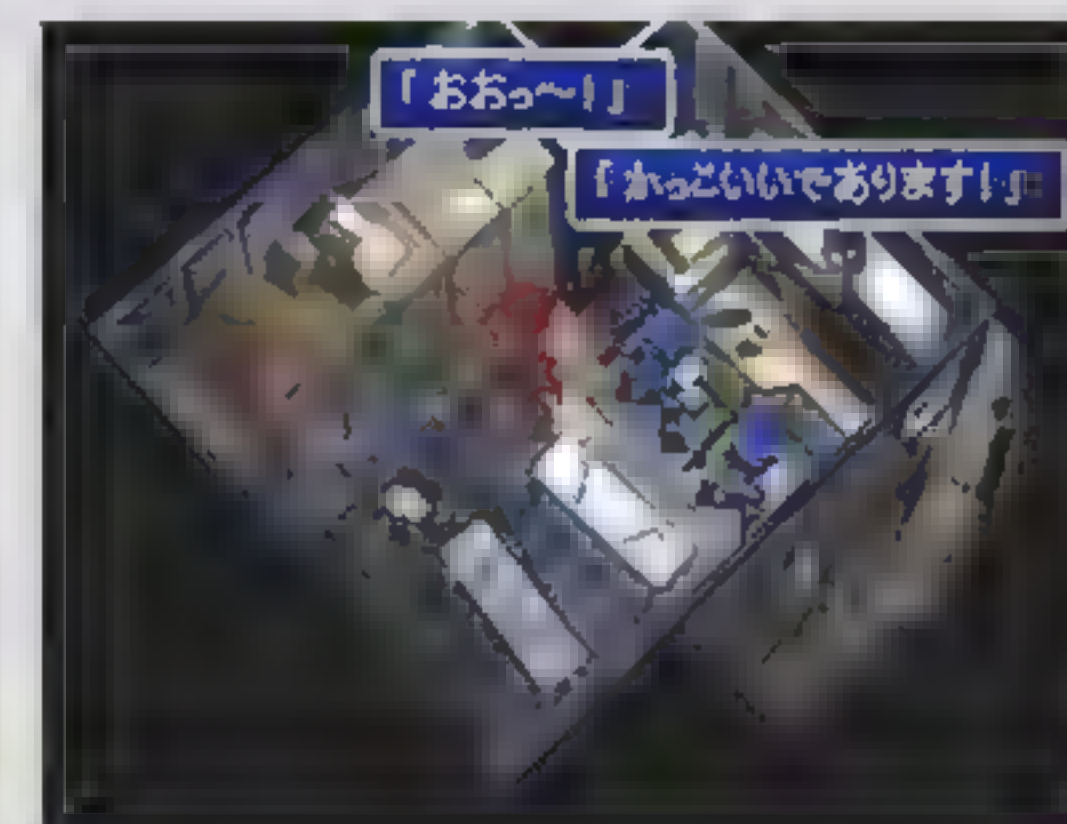
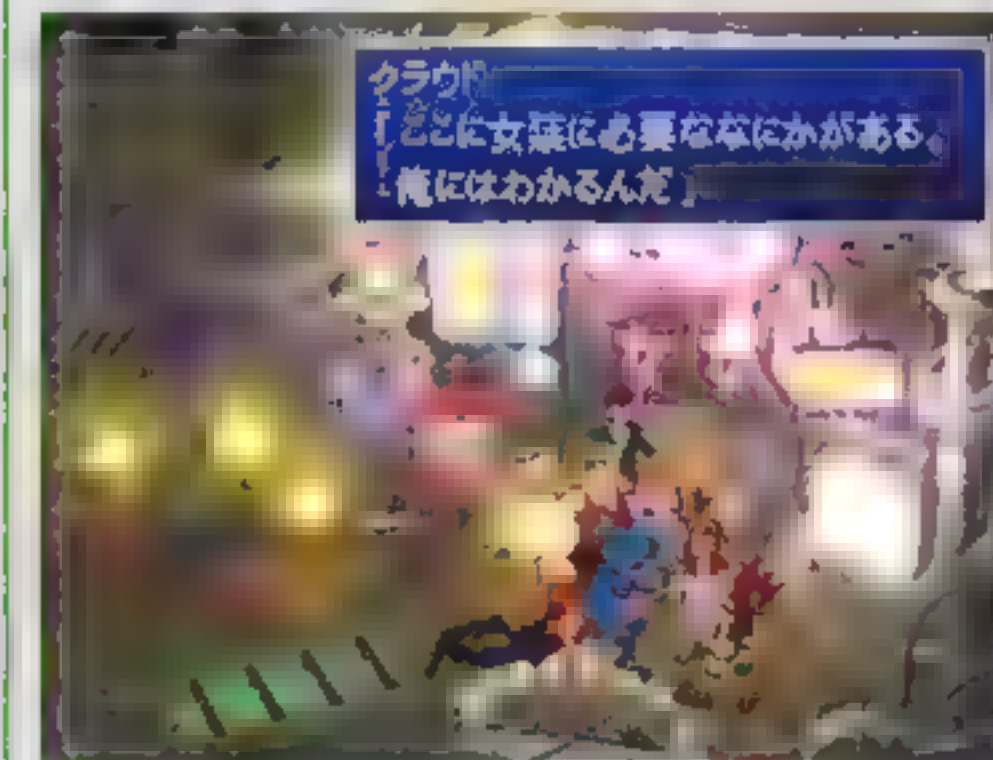
女装のためとは言うものの

好色漢コルネオの屋敷に潜入してティファを救い出すには女装が必要……ということで、いかがわしさ満点の蜜蜂の館へ。「女装に必要な何かがあるからだ」と館に入る正当性を主張するが、エアリスには白い目で見られてしまう。

クラウド「ここに女装に必要ななにかがある。俺にはわかるんだ」

「おおっ～!」
「かっこいいであります!」

スペシャルポーズは大好評であります!

神羅兵に扮してルーファウス新社長歓迎式典に潜入したとき、大剣をクルクルまわす勝利ポーズを周囲の兵士に披露。たちまち彼らの心をつかみ、のちに「ポーズを決められずに死んだら化けて出る」と言われるほどに。

ゴンガガにいた青年の影

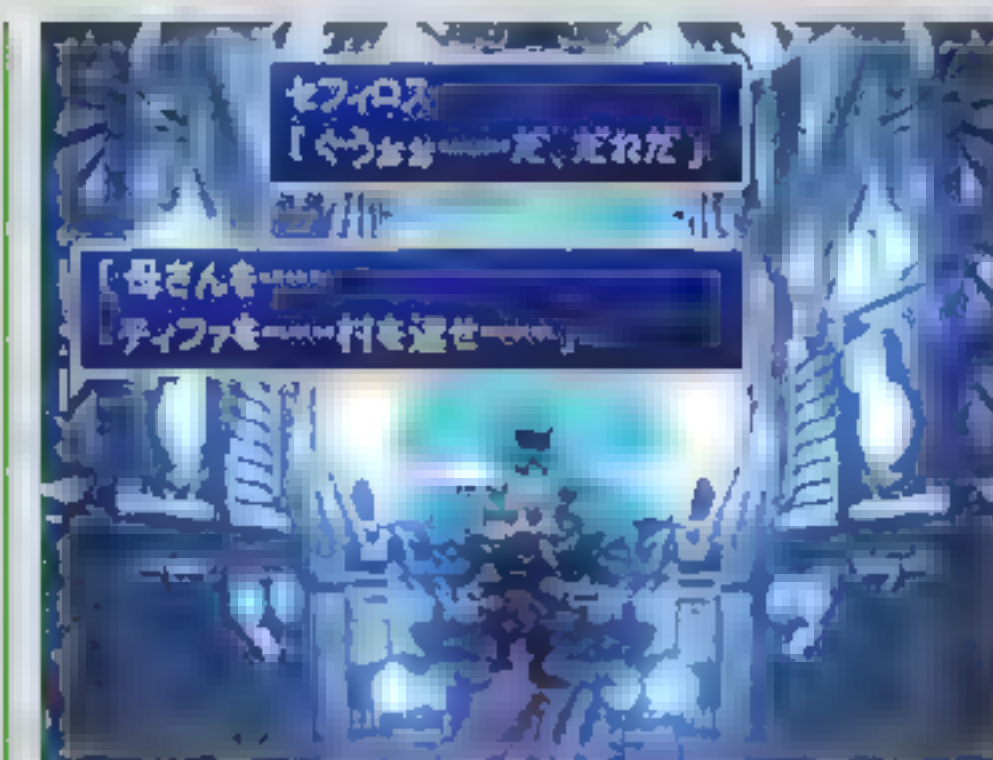
辺境の村ゴンガガで耳にした、ザックスなる青年のウワサ。自分と同じくソルジャーを目指し、エアリスとティファとも面識があるらしい彼の話に、クラウドの心は不思議とざわめく……。

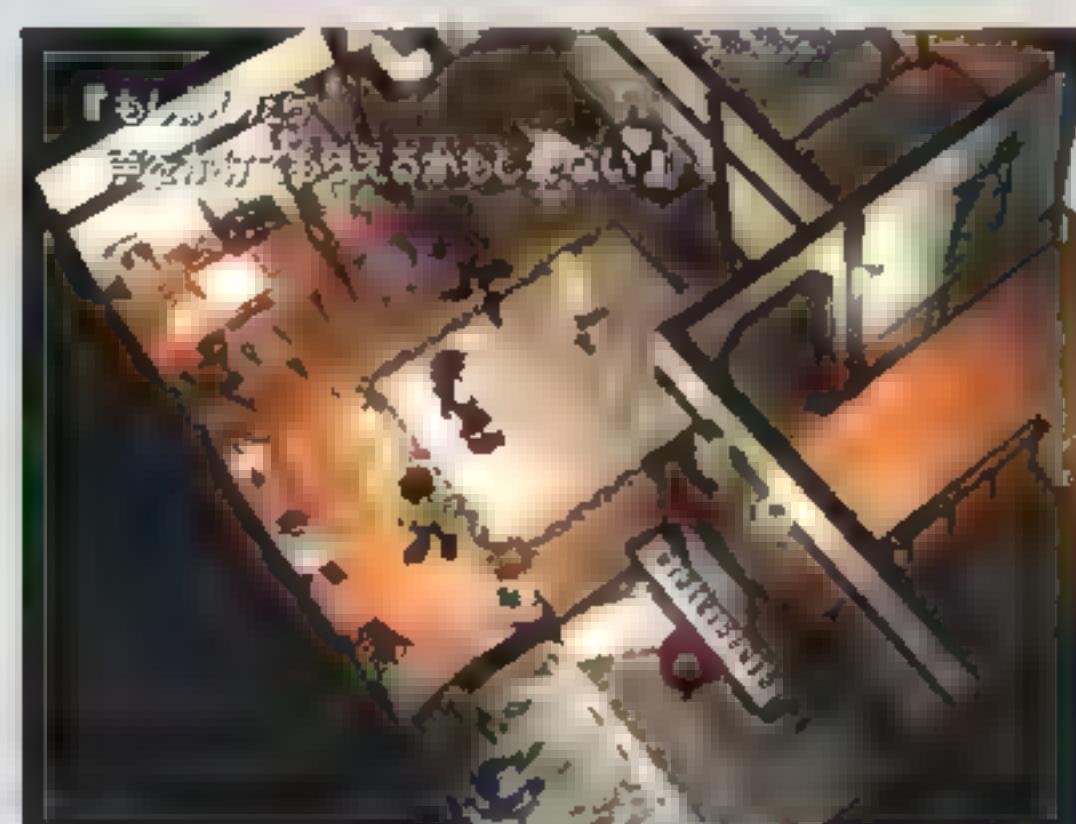
おじいさん「ザックスっちゅう名前なんだが」

バレット「クラウドじゃねえぞ…… 誰だ、こいつ?」

元ソルジャー・クラウドの崩壊

5年前、自分はニブルヘイムにいなかった――セフィロスが再現した風景と、それを肯定するかのようなティファの態度を見て、クラウドの心はついに壊れ、破滅への引き金を引いてしまう。

セフィロス「ぐうおぉ――だ、だれだ」
「母さんを…… ティファを……村を返せ……」

想いの強さが力を生んで

ソルジャーを夢見たものの実力が足りず、一般兵にしかなれなかったクラウド。だが、故郷を焼かれティファを傷つけられた怒りは驚くべき力を呼び起こし、スキを突いたとはいえ、最強のソルジャーだったセフィロスを打ち負かす。

明かされた本当の願い

幼いころのクラウドは、同年代の者たちから孤立し、自分は特別だと思いこもうとする、ひねくれた子どもだった。そんな彼にとって大切だったのがティファ――淡く幼い恋心が、精神世界にて明かされる。

髪のセットは欠かせません

トレードマークのツンツン立てた髪型は、「チョコボ頭」と呼ばれもするが、自分ではお気に入りらしい。別荘に一泊したときも、まず最初に髪を整える。

真の自分は乗り物酔い

本当の自分を取りもどすと、「乗り物に酔いやすい」という弱点まで復活。ヒュージマテリア奪取のため潜水艦に乗りこむときには、気分が悪くて操縦できず、仲間に応援を頼む。

クラウド「だれか、すまない…… 俺、もうげんかいなんだ」

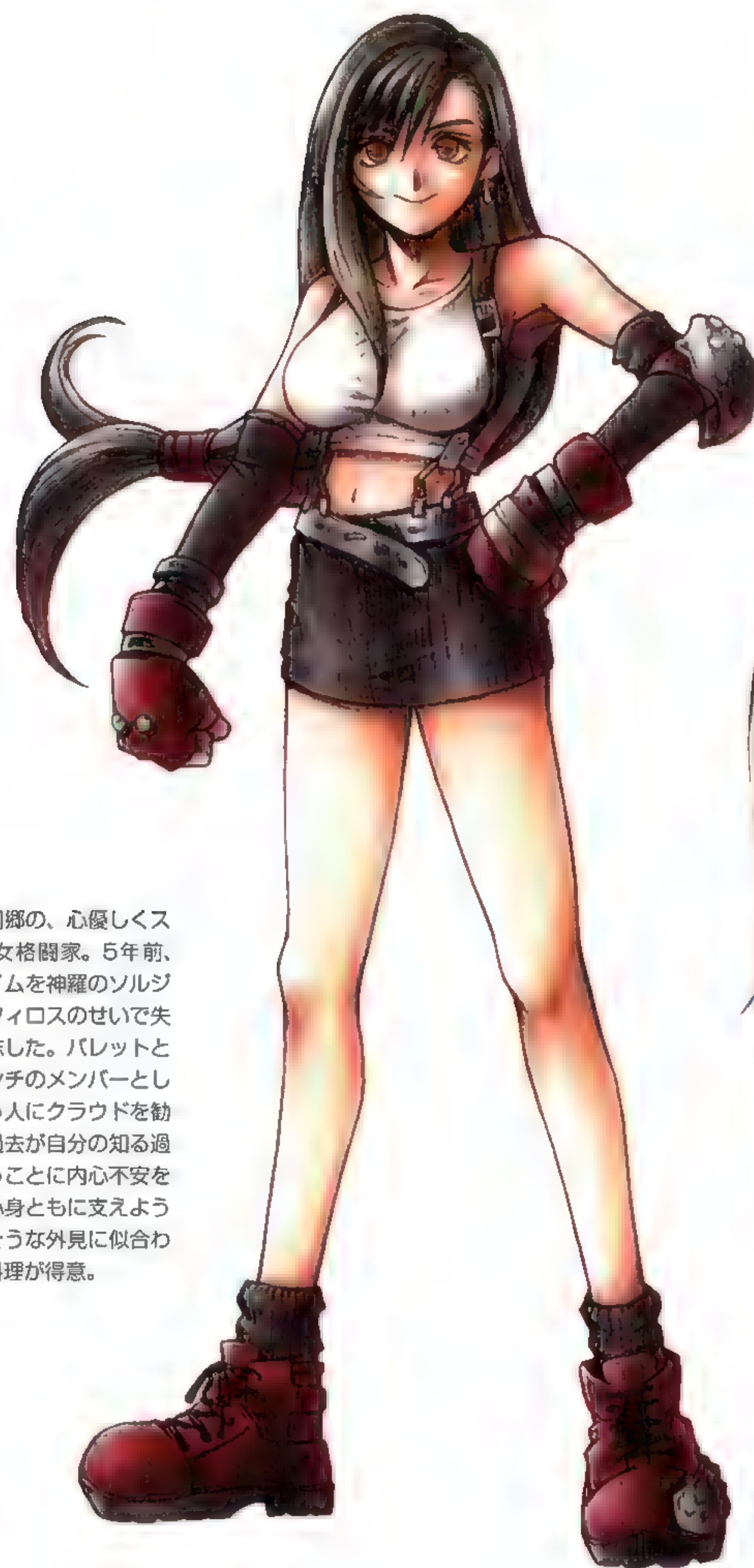
LIMIT BREAK
NAME クラウド
LIMIT LEVEL 4 超究武神覇斬
312 736

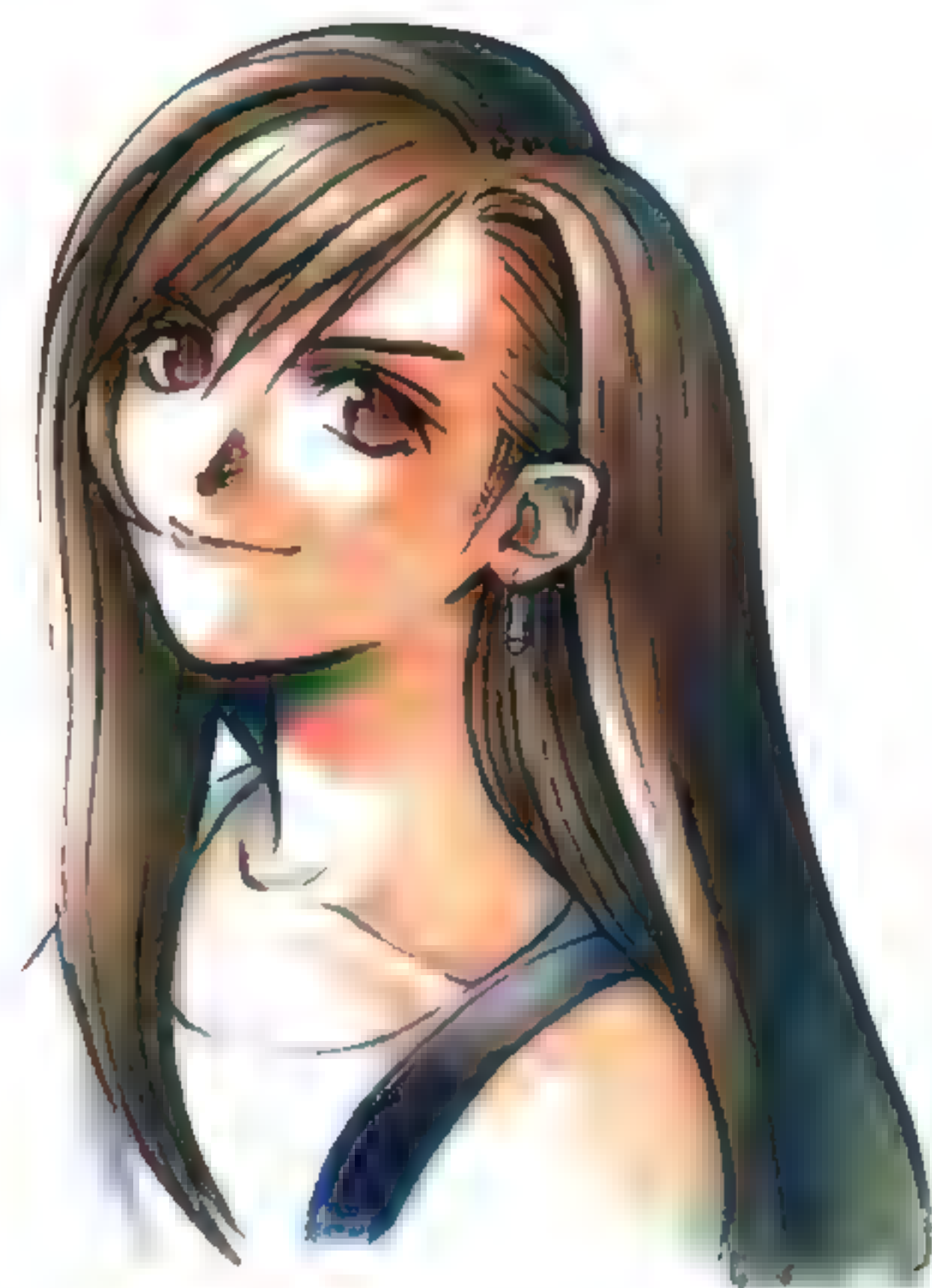
すべての決着を……

少年時代のあこがれ、愛するものを奪った仇、そしてリユニオンの母体――セフィロス。星の敵として以上に因縁の存在である彼と1対1で決着をつけなくては、クラウドの戦いは終わらない。

Tifa ティファ

不安な心を内に隠した
クラウドの幼なじみ

▶ *Tifa Lockhart* ティファ・ロックハート

Personal Data

性別	女
年齢	20歳
誕生日	5月3日
血液型	B型
身長	167cm
出身地	ニブルヘイム
武器	グローブ

クラウドと同郷の、心優しくスタイル抜群の女格闘家。5年前、故郷ニブルヘイムを神羅のソルジャーであるセフィロスのせいで失い、反神羅を志した。バレットとともにアバランチのメンバーとして活動し、助っ人にクラウドを勧誘。彼の語る過去が自分の知る過去と食いちがうことに内心不安を覚えつつも、心身ともに支えようとする。活発そうな外見に似合わず、家庭的で料理が得意。

Memorial Words

▷ティファ

「死んじゃダメ！ 話したいことがたくさんあるの！」

――伍番魔晄炉：プレートから転落寸前のクラウドに呼びかけ

大切な人を失いたくない想いと、彼の数々の不可解な言動を確かめたい気持ち――ふだんは抑えていた複雑な感情が、クラウドの危機に直面してあふれ出す。

「クラウドが有名になって、その時、私が困ってたら……
クラウド、私を助けに来てね」

――ティファの回想（7年前）：ソルジャーになる夢を語ったクラウドに約束させて

さほど親しいわけではなかったクラウドに、お姫様的な願望を何の気なしに託した、13歳時のティファ。幼い日のこの約束が、ふたりのその後に大きな影響を与えることに。

「クラウドは……本当に、本当にクラウド……だよね」

――コスモキャニオン：5年前のことをクラウドに確かめようとして口ごもり

5年前のニブルヘイムの惨劇のさいソルジャーのザックスがとった行動を、クラウドは自分がしたかのように仲間の前で語った。そのことにティファは不安を抱くが、口に出せぬまま、やがて決定的な時を迎えてしまう。

「人間て、自分のなかに
なんてたくさんのものをしまってるんだろう……。
なんてたくさんのことを忘れてしまえるんだろう……」

――ミディール：クラウドの精神世界から帰還してつぶやき

クラウドの精神世界にて、忘れ去っていた自分の過去を思い出し、いままでずっと気づかなかったクラウドの想いに触れたティファの、さまざまな実感がこもった言葉。

「想いをつたえられるのは言葉だけじゃないよ……」

――荒野：最終決戦前夜、ふたりきりとなって言葉に詰まるクラウドに

長年、互いに好意を抱いていたティファとクラウド。セフィロスとの最終決戦を目前にようやく、相手を求める気持ちを確かめ合えた。

「すいませんねえ」

――神羅ビル：自分とクラウドが同じ牢にいると知って驚くエアリスに口をとがらせ

エアリスには、クラウドをめぐって複雑な想いをしばしばのぞかせる。牢にとらわれたときは、ふたりがデートの約束をしていたと知り、ヘソを曲げるシーンも。

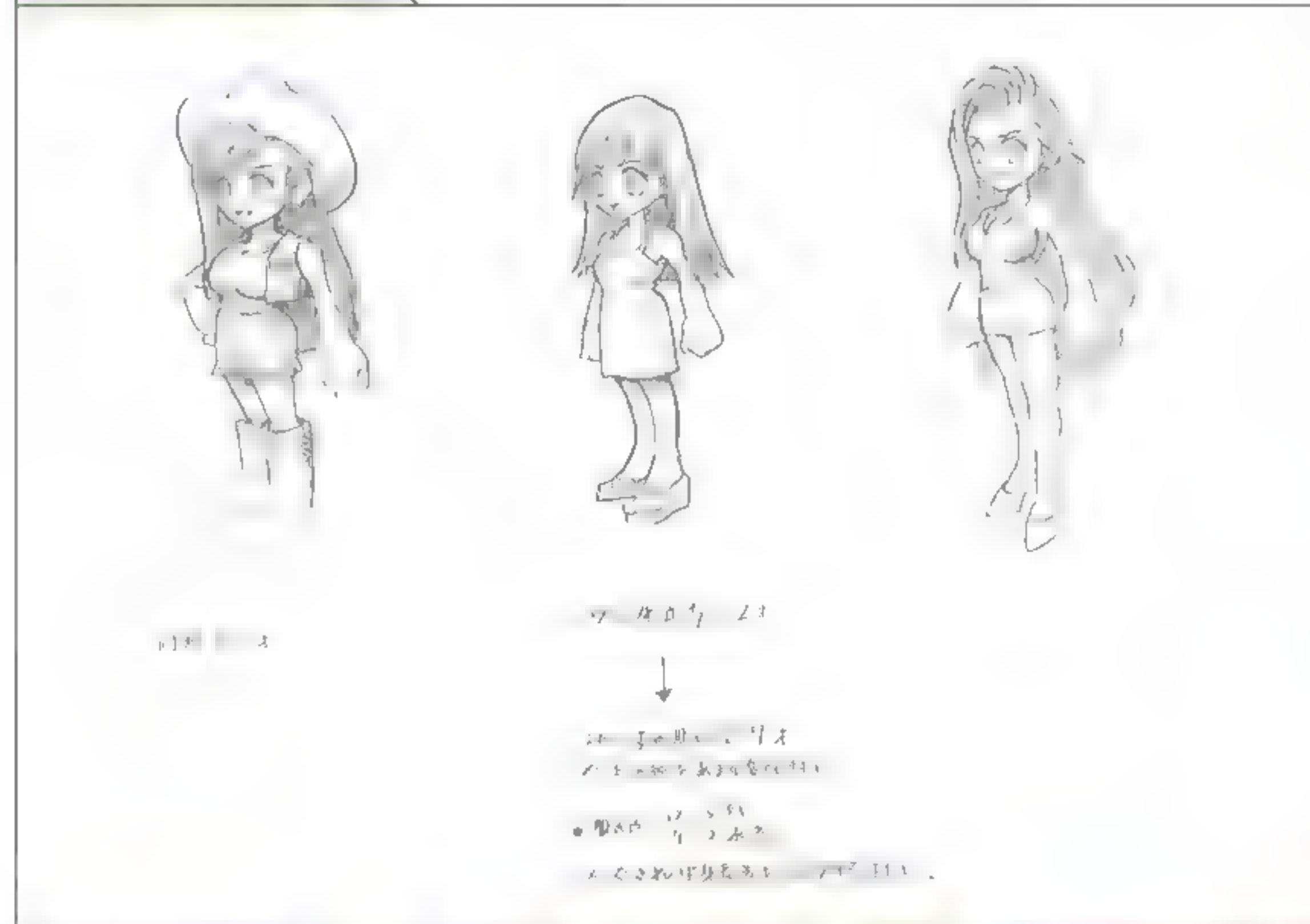
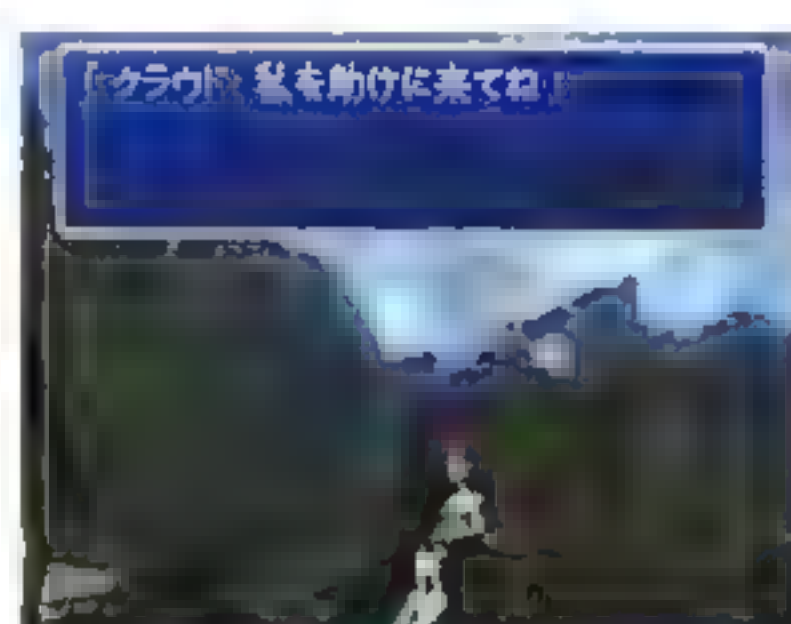
▶イメージCG

子どものころ「ピンチのときは助けにきて」とクラウドと約束をかわした、故郷ニブルヘイムの給水塔に腰かけるティファ。満天の星空のもと、思い出の場所で何を想う……。

▶全身画（着色前）

▶メニュー画面用顔イラスト（着色前）

▶初期デザイン

▶フィールド用デザイン画

↑5年前、セフィロスたち神羅の兵士をニブル魔晄炉へ案内するときの15歳のティファ。カウガールの衣装で、テンガロンハットが印象的。

↑12年前にニブル山を登るときと、7年前にクラウドと約束を交わすときのワンピース姿。設定画のメモ書きと異なり、実際はどちらも水色の衣装だ。

↑コルネオの館に潜入するさいの、セクシーなボディコンスーツ姿。設定画を見るに、髪型もボリュームを出して華やかにアレンジしてあった模様。

▼回想シーン用の衣装のデザイン画

料理もカクテル作りもお手のもの

バー「セブンスヘブン」の女主人という裏の顔を持つティファは、料理上手と評判。壱番魔晄炉爆破任務から帰ってきたクラウドにもその腕を振るい、リクエストに応えたカクテルでねぎらう。

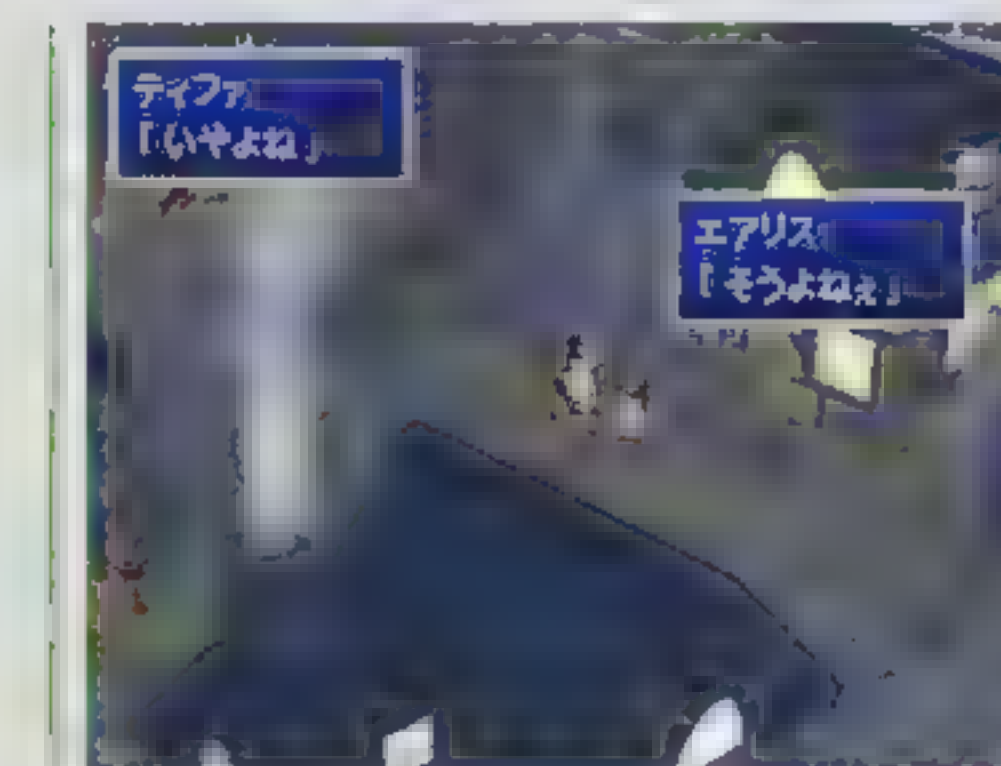
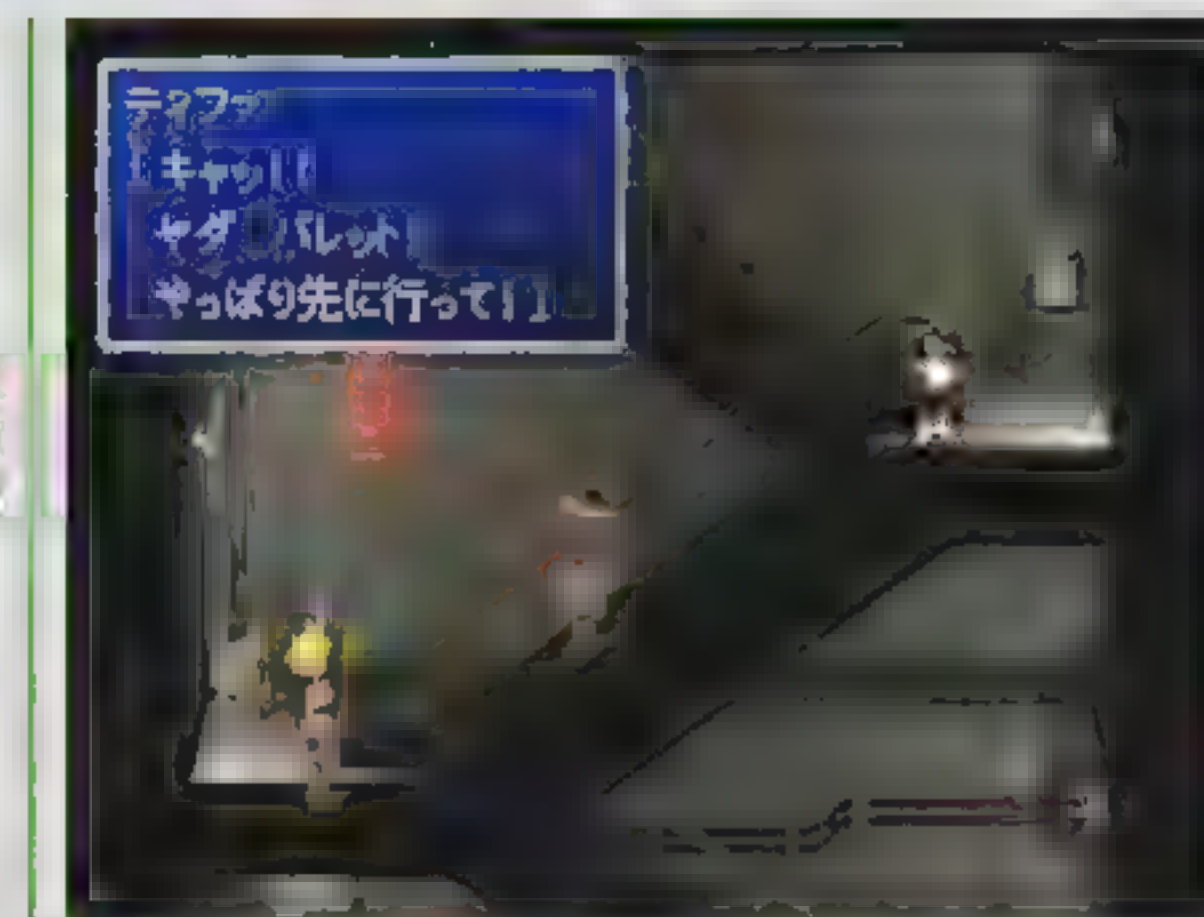
すりつぶすわよ！

女好きのコルネオから情報を引き出すべく、彼の館へセクシーな衣装で単身潜入。お相手に選ばれるとノリの良い演技で応じるが、いざ問いつめる段になると「すりつぶすわよ」と恐ろしいことを口にする。

戦場で見せる乙女の恥じらい

さらわれたエアリスを救出すべく、クラウド、バレットと3人で神羅ビルへ。非常階段を進んだ場合、男性陣にスカートのなかを見られるのを気にするという、女性らしい一面をのぞかせる。

神羅なんか大キライ！

5年前、ティファはみずから魔晄炉まで案内したセフィロスに自分の村を焼かれ、愛する父を殺された。怒りに燃えた彼女は無謀にもセフィロスに挑みかかるが、かなうはずもなく……。

女ふたりであれやこれやと

クラウドをめぐる恋仇的な間柄ながら、エアリスとは基本的に仲良し。アンダージュノンでは、プリシラに好意を寄せられたクラウドをエアリスとともに白い目で見やり、コレル山では肩を並べて彼に声援を送るなど、意気投合する場面も多い。

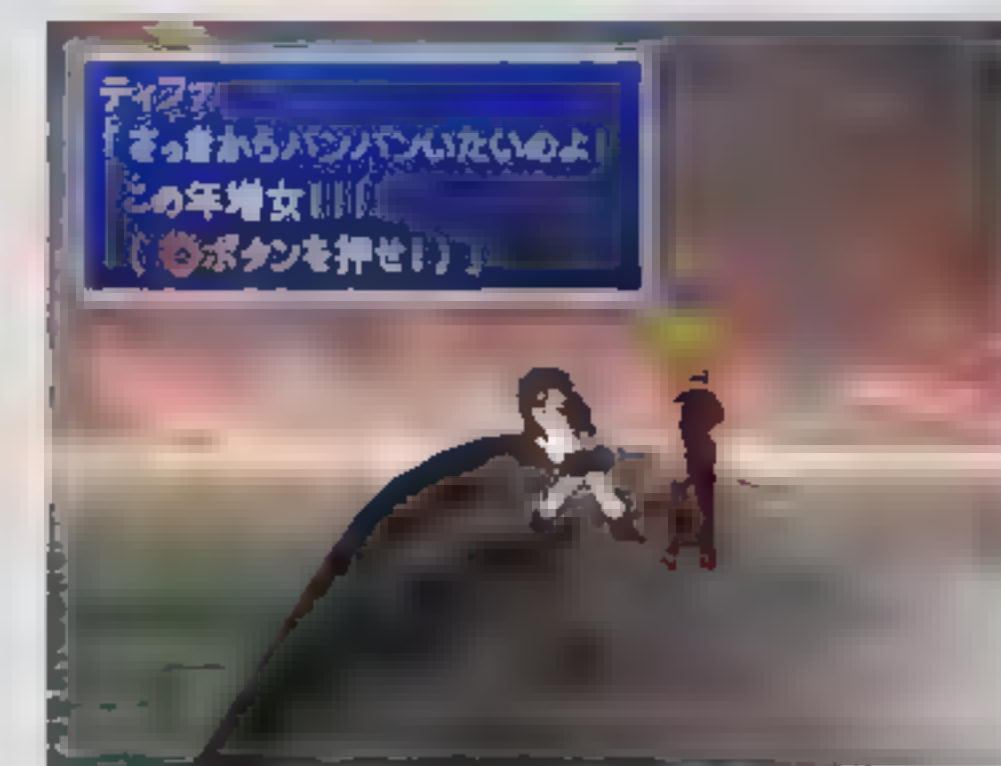
Memorial **Scenes**

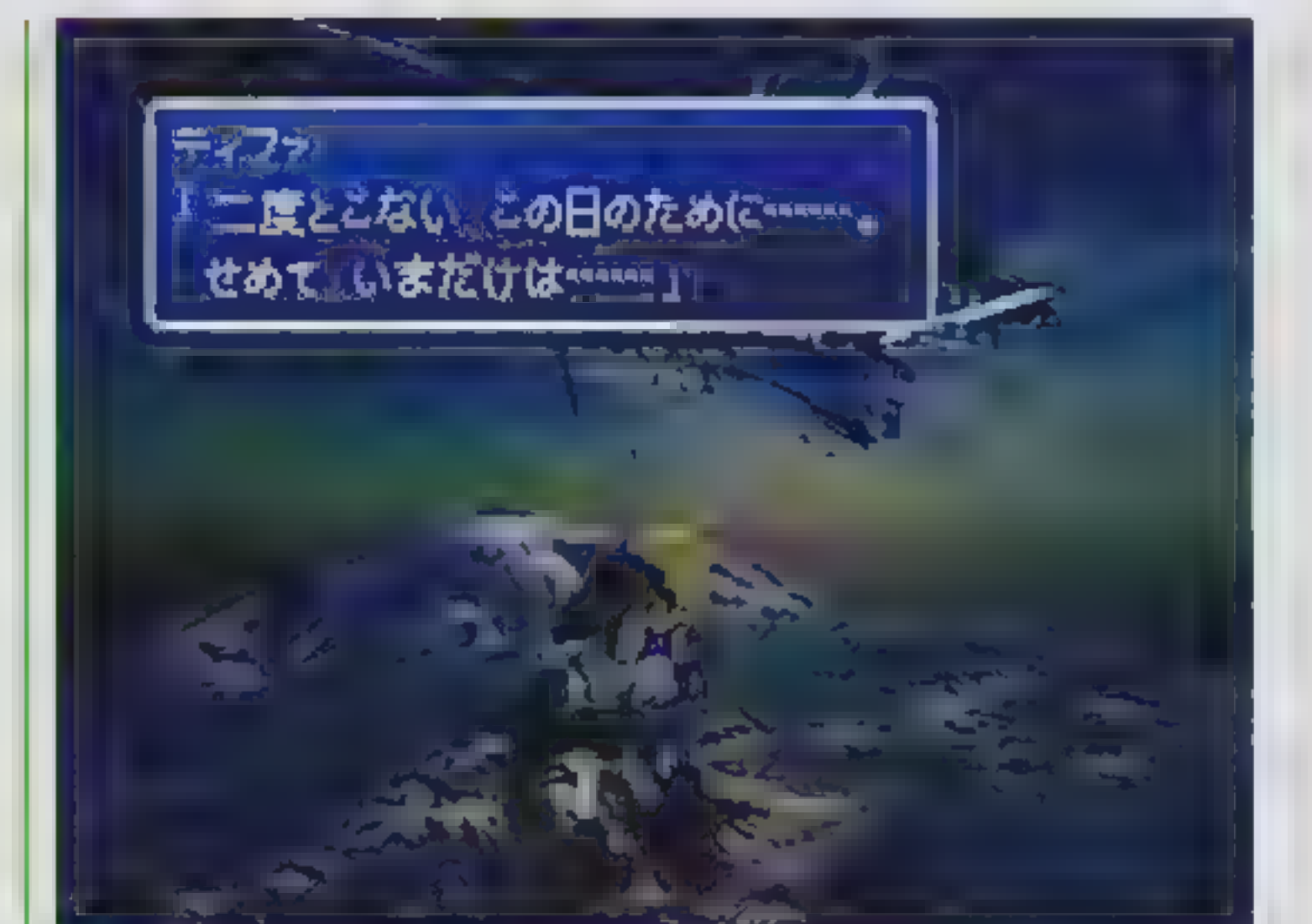
▶ティファ

観覧車にてからまわる想い

みんなが寝静まった夜、クラウドをデートに誘うティファ。もっとも、奥手な性格ゆえに、彼に面と向かって想いを伝えられず、思わせぶりなことをつぶやくだけで終わってしまう。

壮絶！　ビンタ合戦

公開処刑から逃れるなか、追ってきたスカーレットとビンタ合戦を展開。毒舌家のスカーレットに負けじと「年増女」と言い返しながら頬を張り、ふだんの様子からは想像できない女のオソロシサを垣間見せる。

クラウドのそばにいてあげたくて

ライフストリームに落ち魔晄中毒となって精神を病んだクラウドを、辺境の村ミディールの療養所で発見。心の迷宮にハマりこんだ彼を捨て置けず、仲間のもとから離れて献身的に介護する。

ふたりで過ごした運命の一夜

セフィロスとの決戦を間近にひかえ、クラウドとふたりきりで飛空艇ハイウインドにとどまったティファ。これで最後かもしれない――万感の想いがこもった一夜は特別なものに。

Aerith エアリス

星を守るべく祈りを捧げた
花売りの娘

▶ Aerith Gainsborough　エアリス・ゲインズブール

Personal Data

性別	女
年齢	22歳
誕生日	2月7日
血液型	O型
身長	163cm
出身地	アイシクルロッジ
武器	ロッド

星と対話する能力を持つ種族「古代種(セトラ)」の最後のひとりにして、白魔法ホーリーのマテリアの所持者。神羅のせいで幼くして両親と死に別れ、育ての母であるエルミナのもと、ミッドガルのスラム街で暮らしていた。波乱に満ちた人生を歩んでいながらも前向きな性格をしており、少女のような無邪気さを失っていない。クラウドと出会い、ともに旅するなかで、セフィロスから星を守ろうとして命を落とす。

Memorial Words

▶エアリス

「じゃあねえ……デート、1回！」

—— 伍番街スラム教会：ボディガードの報酬としてクラウドに提案

「ボディガード代は安くない」と冗談まじりに言ったクラウドへの、茶目っ気たっぷりの返し。物語の展開しだいでは、この約束はゴールドソーサーで実現することに。

「女の力なんて!?
そういう言い方されて
だまってるわけにはいかないわね」

—— エアリスの家：女の力は借りられないからと案内を断るクラウドに憤慨し

スラム育ちゆえか見かけに似合わずたくましく、自立した女性のエアリスは、女を小馬鹿にするような言葉には敏感に反応する。

「がまんがまん。
こんな苦労話、
笑って話せる時がくるよ」

—— 古代種の神殿：弱音を吐くクラウドを励まし

どんなツラい目に遭っても、エアリスはつねに希望を捨てず、前向きに生きてきた。迷路のような道中で「帰りたい」ともらしたクラウドにも、明るくこう呼びかける。

「わたし、あなたをさがしてる。
あなたに……会いたい」

—— ゴールドソーサー：デート中にクラウドに向かって

初恋の人ザックスの面影を見てクラウドに惹かれるが、ともに時間を過ごすなか、クラウドの本当の人格が奥底に眠っていることを察知。彼にその自覚をうながすように、意味深な言葉を告げる。

「クラウド……
あなた、なにもしていない。
あなたのせいじゃない」

—— 古代種の神殿：錯乱して自分になぐりかかるクラウドに

クラウドが別の意思に支配されていると気づいたエアリス。彼に暴力を振るわれても抵抗せず、「あなたのせいじゃない」と子どもをなだめるように言いつづける。

「セフィロスがメテオを使うのは時間の問題。だから、それを防ぐの。
それはセトラの生き残りのわたしにしかできない」

—— クラウドの夢：セフィロスを止める決意を語り

ホーリーのマテリアを継ぐ古代種としての使命を悟り、セフィロスを阻止する覚悟を毅然と語る。夢のなかでのこのやり取りが、クラウドとの最後の会話となった。

▶イメージCG

クラウドに「いつか乗るのが楽しみ」と語っていた飛空艇ハイウインドを、ジュノンのエアポートで見つめるエアリス。大空にあこがれる気持ちが、うしろ姿からも感じられる。

▶初期デザイン①

▶初期デザイン②

上の2点は開発初期の設定画。なかでも初期デザイン②は、クラウドやバレットとともにゲーム発売前の雑誌などで紹介されたため、覚えている人もいるだろう。これらのデザインを踏襲し、頭身を調整してよりリアルにしたものが右下の全身画となっている。

▼メニュー画面用顔イラスト(着色前)

▶全身画(着色前)

▼コルネオの館潜入時の衣装のデザイン画

好色漢のコルネオに近づくべく、ドレスアップしたときの格好。ねじらずに結んだだけの髪はボリューム感たっぷりで、ゴージャスな雰囲気をかもし出す。ドレスはシンプルなデザインだが、むき出しにした肩がセクシーで新鮮。

Memorial Scenes ▶エアリス

お花、いらない?

スラムで咲かせた花を売り歩くなか、爆破された壱番魔晄炉のほうから現れたクラウドを目にとめ、1本1ギルで花を買わないかと呼びかける。それがふたりの最初の出会いだった。

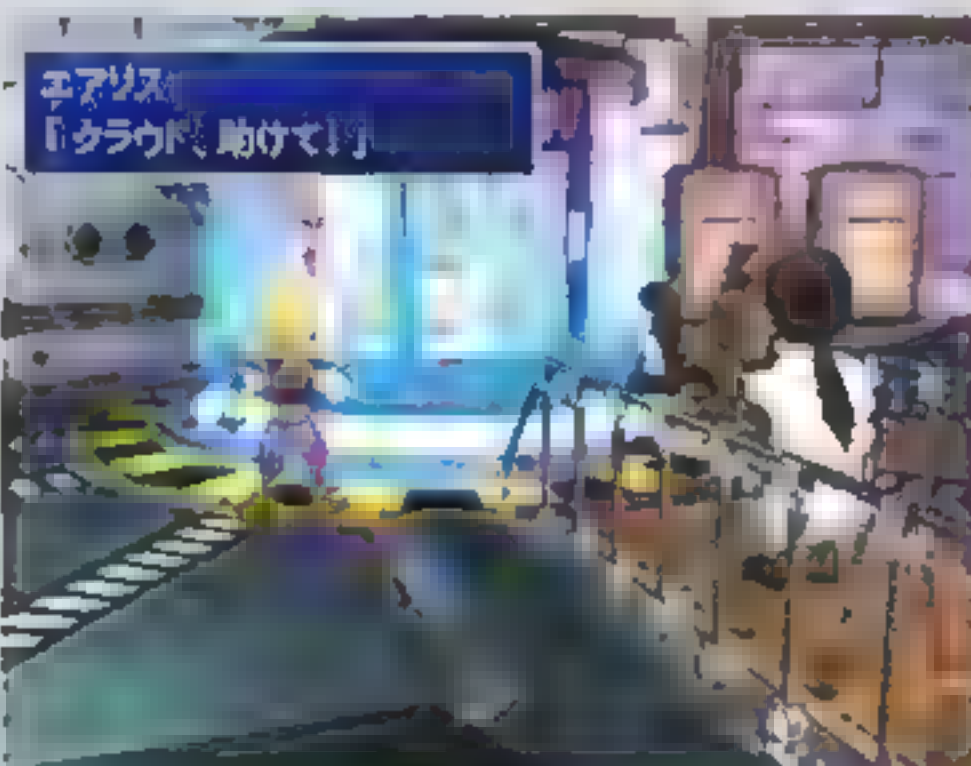
だいじょぶ?

お気に入りの場所である伍番街スラムの教会で花の手入れをしていたところ、伍番街プレートから落下してきたクラウドと再会。彼となごやかに語り合うが、そこへ古代種を狙う神羅の魔手が……。

ねじり切っちゃうわよ!

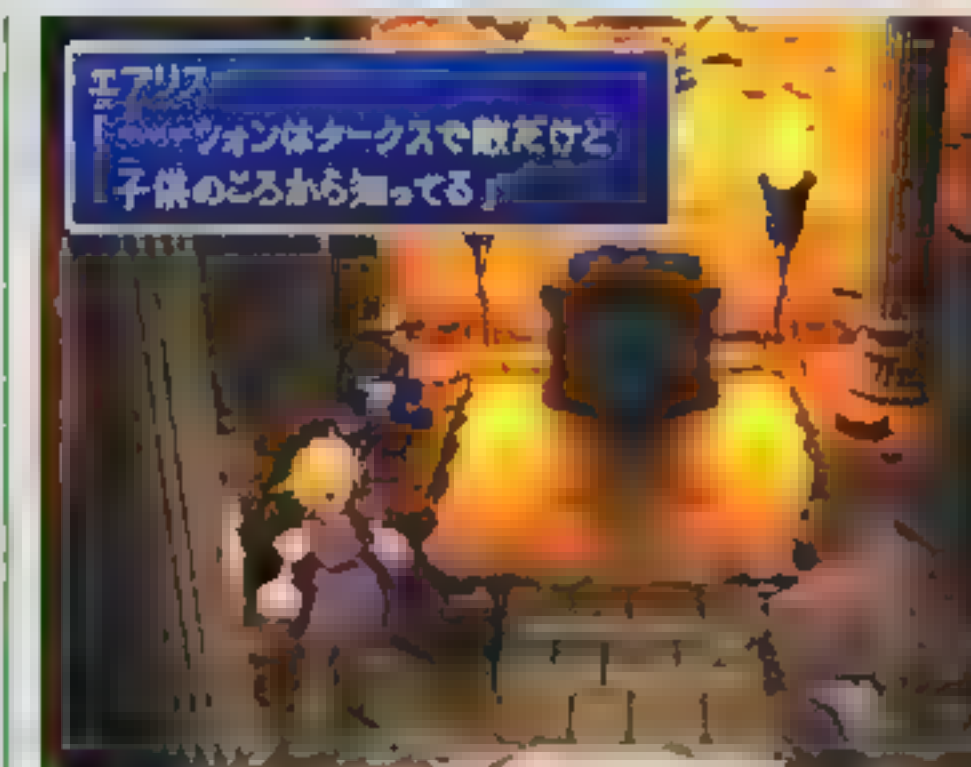
女装したクラウドとともにコルネオの館へ。コルネオに「ほそっこいおなご」と呼ばれるほど華奢な身体ながら、何をしていたか白状しないと「ねじり切る」と言って彼をおどす。

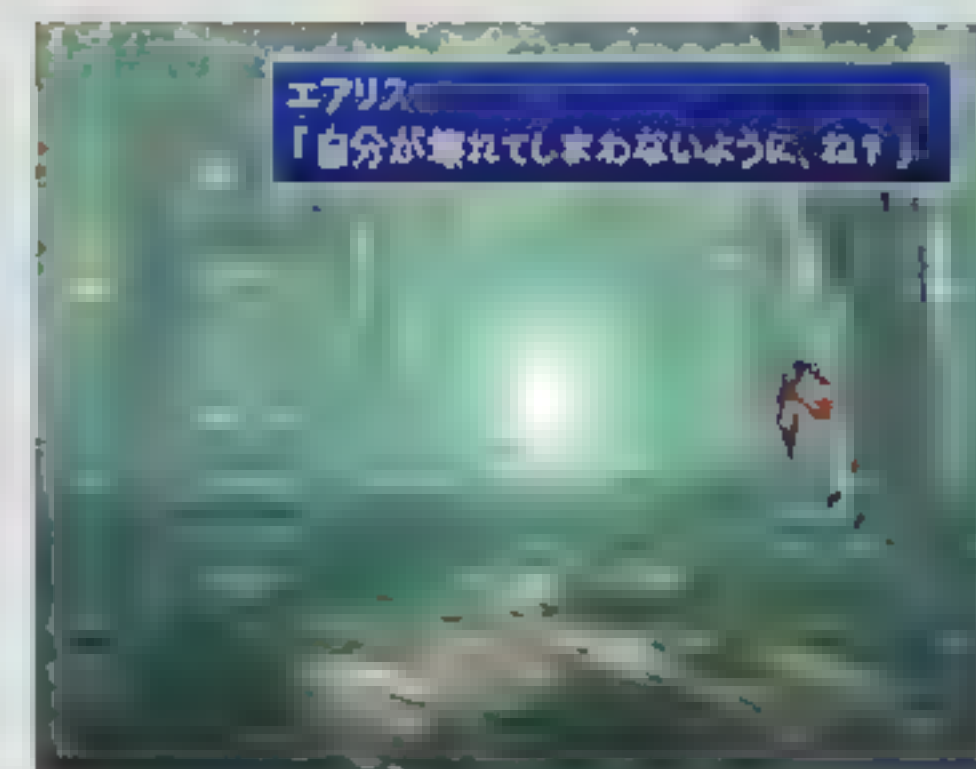
さらわれつつもマリンを優先

クラウドたちがプレート支柱を守るべく戦っていたさなか、タークスの手に落ちたエアリス。マリンの無事を交換条件としてのことであり、仲間にはマリンの無事を真っ先に伝える。

エアリス、貞操の危機!?

「滅びゆく種族に愛の手を」という宝条博士のとんでもない思いつきで、レッドXIIIとの交配実験のため同じカプセルに閉じこめられるハメに。レッドXIIIにその気がなかったのと、クラウドたちのおかげで事なきを得たからいいものの……。

約束のデートはゴールドソーサーで

「デート1回」の報酬を約束にはじまった、クラウドへの護衛の依頼。ゴールドソーサーに泊まった夜、約束どおり彼をデートに誘い、演劇をしたり観覧車に乗ったり、つかの間とはいえ楽しい時間を過ごす。

瀕死のツォンを前に浮かべた涙

タークスのツォンはエアリスを昔から知る数少ない存在で、彼女に監視対象として以上の情を抱いていた。そんな彼が重傷を負っているのを見て、エアリスも思わず涙を浮かべる。

セフィロスのことは私にまかせて

クラウドの夢のなかに現れ、セフィロスを止める決意を語るエアリス。古代種の神殿で錯乱したクラウドになぐられたことも気にせず、逆に彼の精神があやうくなっているのを気づかう。

聖なる祈りを星に捧げて

黒魔法メテオに対抗しうる白魔法ホーリーを発動させるべく、忘らるる都の水の祭壇で白マテリアに祈りを捧げる。直後、頭上からの一撃で命を絶たれるが、その表情は安らかだった。

Barret バレット

娘への愛と神羅への復讐心を糧に戦う
反神羅組織のリーダー格

▶ Barret Wallace　バレット・ウォーレス

右腕に銃の義手をはめた、反神羅組織「アバランチ」を牽引する屈強な大男。コレル村の炭坑夫だった4年前、魔晄炉建設中に起きた事故の隠蔽を図った神羅の軍に村を焼かれ、妻と右腕を奪われて復讐を決意した。村の焼け跡から引き取った親友の娘マリンを、目のなかに入れても痛くないほどにかわいがっている。仲間思いだが言動が荒っぽく、きちんと理論立てて考えることは不得手。

▶ Personal Data

性別	男
年齢	35歳
誕生日	12月15日
血液型	O型
身長	197cm
出身地	コレル村
武器	ギミックアーム

Memorial Words

▷バレット

「星が死んじまうんだぞ。
えっ、クラウドさんよ！」

――壱番魔晄炉：爆破に向かう途中、興味なさげなクラウドにイラ立ち

星を守ろうと熱弁を振るうが、クラウドに「興味ない」と返されて立腹。もっとも、この時点ではバレットも、星のことより神羅への復讐を第一に考えていた。

「この星の命を守るため？
オレたちは……オレは……
神羅が憎かっただけ……。
そのオレに……これ以上
旅をつづける資格はあるのか？」

――コスモキャニオン：星命学の話を聞いた夜、自分の行動を振り返り

星を守るというのは口実で、神羅への憎悪で動いていただけなのに、このまま進んで良いのか？――ブーゲンハーゲンの話は、バレットに、自身を見つめ直すきっかけを与えた。

「オレはいくぜ、オレはいくぜ！
オレはいくぜ!!　考えるのは
オマエたちにまかせた！」

――カーム：クラウドの話を聞き終え、神羅への闘志を燃やして

考えるのは大の苦手。ジェノバの謎について混乱するも、とにかくセフィロスと神羅を止めればいいと結論づける。

「最後までもってくれよ……
あいぼう！」

――神羅ジュノン支社：逃走中、追っ手との徹底抗戦を覚悟してつぶやき

スカーレットの銃撃で失った右手のかわりにつけはじめた、義手を兼ねた銃。いまや、戦場では欠かせないバレットの相棒だ。

「オレたちが乗っちまったこの
列車はよ、途中下車は
ナシだぜ」

――ゴンガガ：セフィロスに黒マテリアを渡してしまい不安げなクラウドを励まして

自分たちの行動を列車での旅になぞらえて「途中下車はナシだ」と言うのはバレットの決めゼリフ。この場面のほか、ティファを元気づけるときなどにも口にする。

「オレはマリンのために戦ってるんだ。
マリンのために……
マリンの未来のために……」

――飛空艇ハイウインド：最終決戦を前に、自分が戦う理由を見つめ直し

復讐心にとらわれていたことを反省し、己の行動をかえりみるようになったバレット。大義名分を捨てた彼が最終的に出した結論は、「愛娘の未来のために戦う」というものだった。

▶イメージCG

愛娘マリンを肩に乗せ、彼女が「お花のお姉ちゃん」と慕うエアリスのいたスラムの教会を訪れた……という想定のCG。上から差しこむ光が、神々しい雰囲気を演出している。

▶初期デザイン①

▶初期デザイン②

全身画(着色前)

▶メニュー画面用顔イラスト(着色前)

▶初期デザイン③

初期デザイン①と②は開発チーム内で「ブロウ」と呼ばれていたころに描かれた設定画。クラウドなどと同様、早くに描かれた絵ほど頭身が低めだが、「片腕が銃のガンナー」という基本設定や外見は開発初期からほぼ固まっていた。一番古いバージョンでは義手と別に武器を抱えていたものが(①)、武器が義手のみとなり(②)、それに着色し洗練させることで(③④)、最終形に近づいていく。

▶初期デザイン④

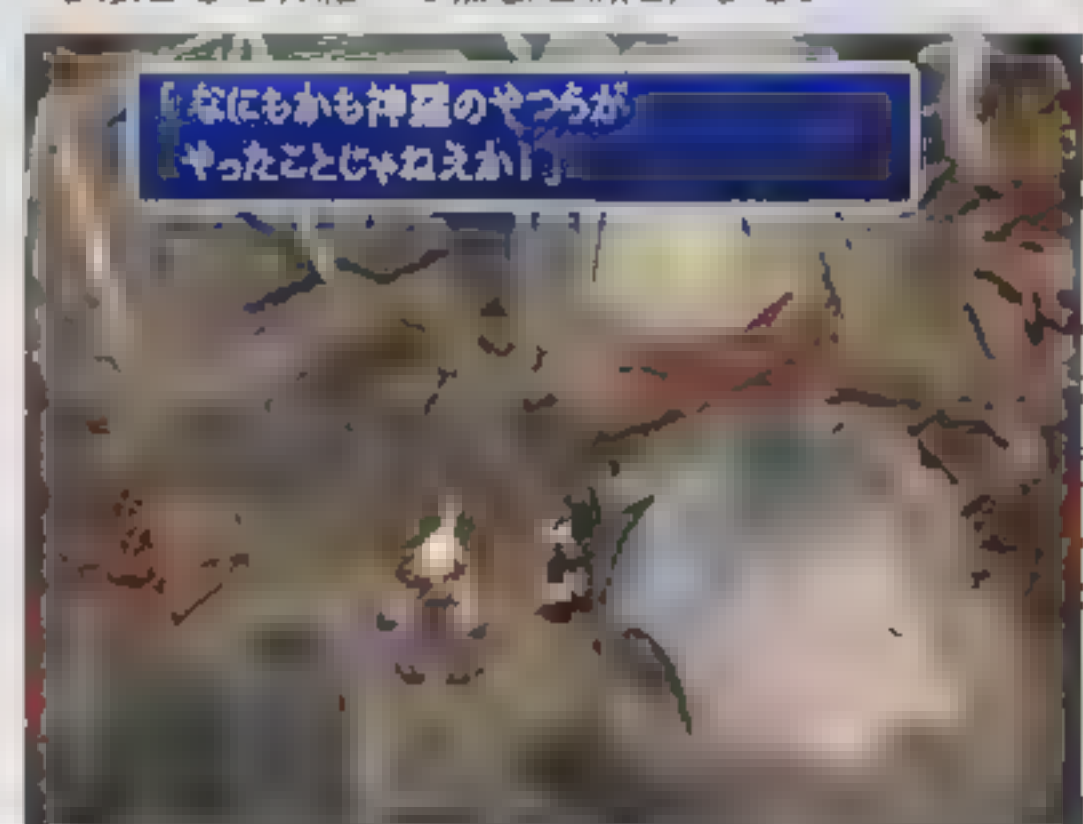
Memorial Scenes

▷バレット

散っていく命を前に

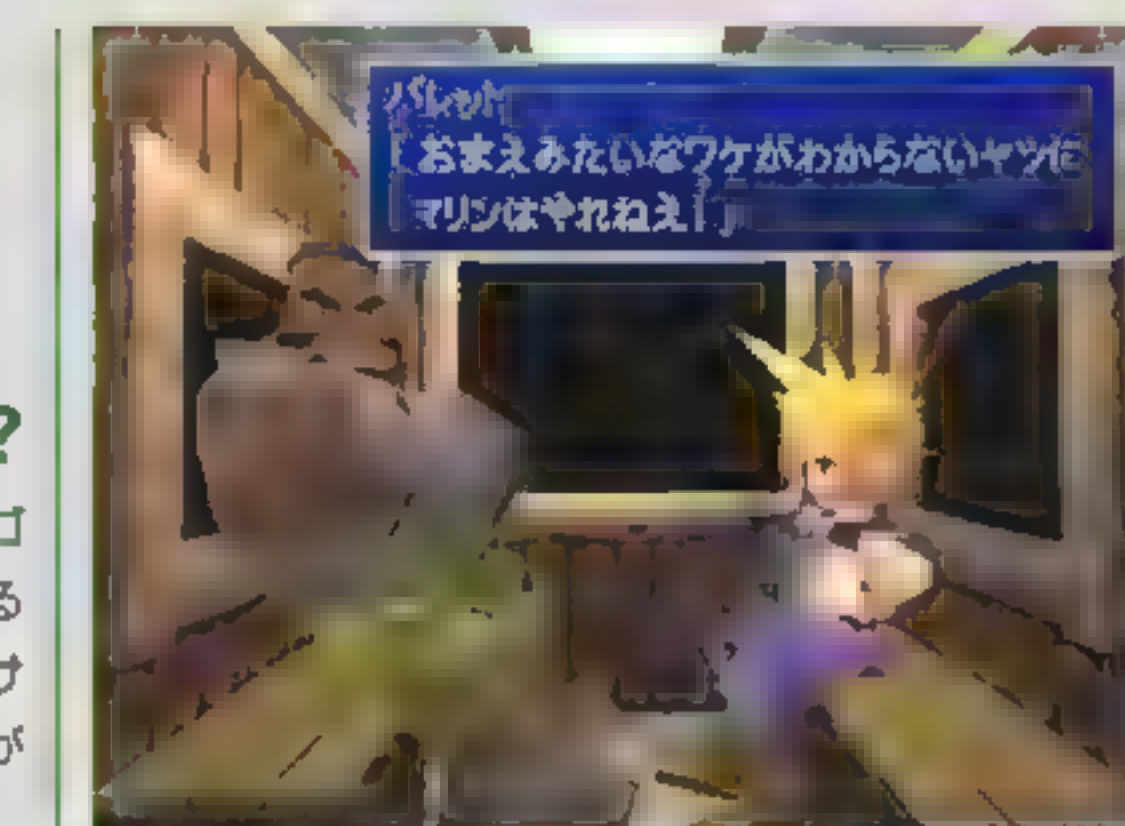
プレート支柱を守る戦いで命を落とす、ビッグス、ウェッジ、ジェシー。彼らのみならず、多くの市民の犠牲を止められなかったバレットは、周囲に当たり散らして神羅への憎悪を新たにする。

「マシュマロかぶったクマみたい」なセーラー服姿

コスタ・デル・ソル行きの運搬船で水兵に変装。セーラー服が似合ってかわいいと仲間にからかわれ、怒ったように駆け出すが、意外とまんざらでもない様子?

かつての親友との決別

マリンの実父でもあるダインは、神羅のみならず人間すべてに銃を向けるほどの狂気に駆られていた。過去に決着をつけるためにも、バレットは彼と1対1で決闘する。

神羅にすべてを奪われて

4年前、コレル魔晄炉建設の責任者スカーレットはコレル村を焼き払い、バレットとその親友ダインを銃撃。バレットは右腕を失い、ダインは谷底へ——この日からバレットは、復讐への道を歩み出した。

禁断のデート?

クラウドへの好感度が女性陣よりも高い場合、ゴールドソーサーでバレットがクラウドとデートすることに。クラウドに禁断の恋を打ち明ける……わけはなく、気になる女性はいないのかと尋ね、それがマリンだと早合点して暴れ出す。

Red XIII

知能が高く人語を解する
誇り高き獣

レッドXIII

▶ Nanaki　ナナキ

　星を守る使命を帯びた長命な種族の末裔。星命学発祥の地コスモキャニオンに住んでいたが、希少種として神羅に捕獲され、本社ビルで宝条の実験体にされていた。エアリスの救出にきたクラウドたちと出会い、故郷に帰るまでとの条件で同行。一度村にもどったのち、じっちゃんと慕う長老ブーゲンハーゲンの勧めもあって旅を再開する。「レッドXIII」とは実験体としての仮称で、本名はナナキ。

▶ Personal Data

- 男
- 48歳（人間年齢で15～16歳）
- 不明
- 不明
- 不明
- コスモキャニオン
- 髪飾り

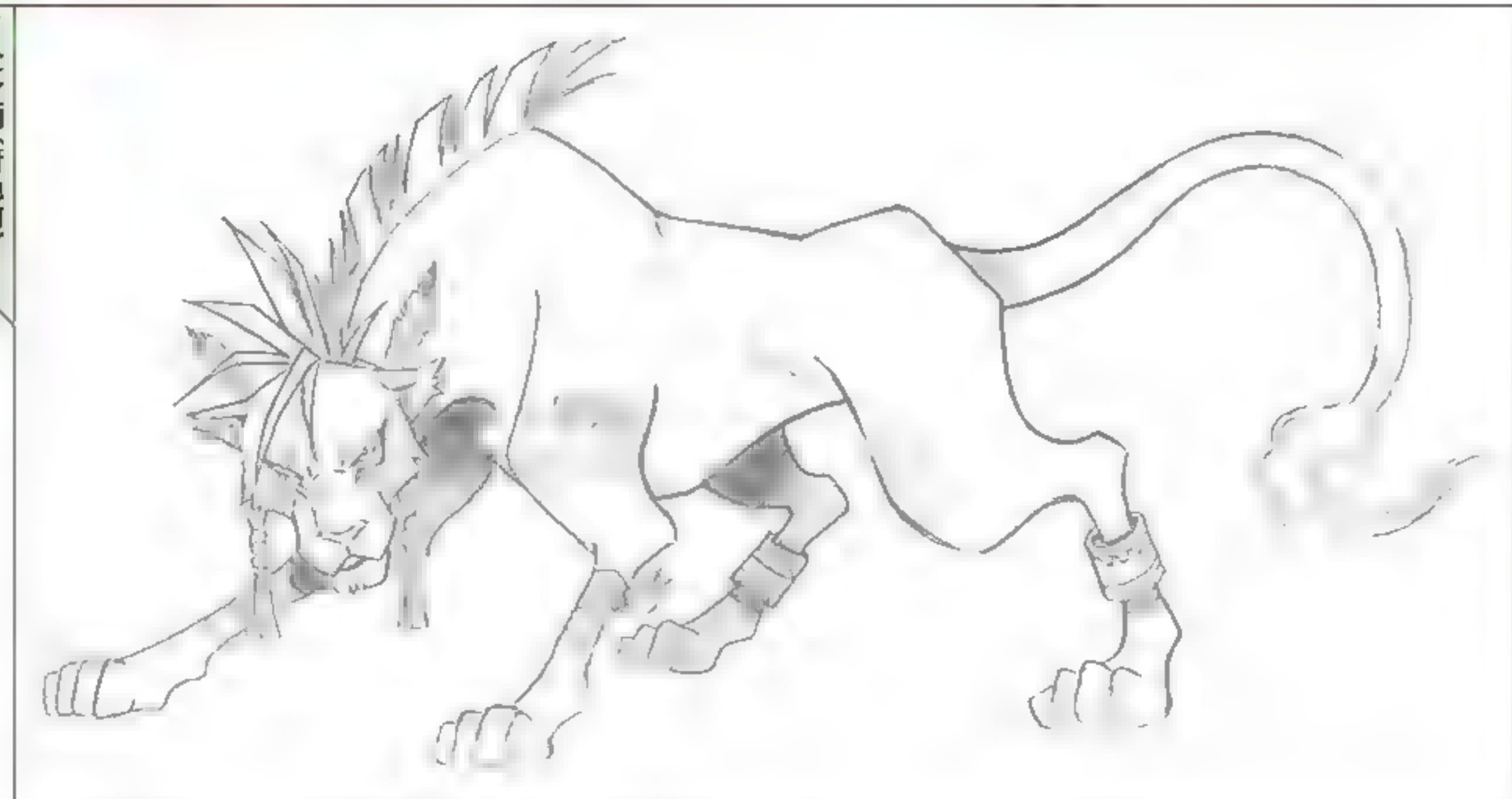
▼全身画（着色前）

Memorial Words

▷レッドXIII

「ただいま～！
ナナキ、帰りました～」

——コスモキャニオン：故郷にもどって素の自分をあらわにし

クラウドたちの前では冷静沈着なフリをしていたものの、故郷に帰って気が抜けたのか、子どもらしい言葉づかいにもどる。以降は、ずっとこの口調に。

「興味深い問いだ。しかし、その問いは答え難いな。
私は見てのとおり、こういう存在だ」

——神羅ビル：「おまえ、なんだ？」とバレットに尋ねられ

　獣でありながら人間の言葉を、しかも小難しい調子で話しはじめて、クラウドたちを驚かすレッドXIII。受け答えの様子は哲学者のように落ち着いて見えるが、これは無理して作った姿だ。

「ゼェゼェ……。すまないが、少し急いでくれないか。
ここは暑い、私のアカハナがかわいてしまう」

——コスタ・デル・ソル：到着早々に仲間を急がせ

　燃えるような赤毛で尾の先に炎を灯しているが、暑さには非常に弱い。常夏の街コスタ・デル・ソルでは、すっかり参ってしまう。

「オイラはコスモキャニオンのナナキ。戦士セトの息子だ！
その名にはじない戦士になって帰ってくる！」

——コスモキャニオン：父セトの真実を知り、旅をつづける決意をブーゲンハーゲンに語って

　レッドXIIIは父セトのことを、敵前逃亡した卑怯者だと長年誤解していた。だが、父が命を賭して村を守った事実を知り、父の名を汚さぬ戦士になるため、旅立つ決意を固める。

（だいじょうぶだいじょうぶ。オイラは
勇者セトの息子ナナキ……
セフィロスなんか恐くない……）

——飛空艇ハイウインド：最終決戦を前に自分に言い聞かせて

　見かけによらず気が弱いレッドXIII。最終決戦を前に尻込みしかけるが、「セトの息子」という肩書きを勇気の源にして己を落ち着かせる。

「オイラはみとどける。
みんなのこれから……この星のこれから……。
今ならわかるよ、じっちゃん。それがオイラの使命だ！」

——星の体内：最終決戦でセフィロスと対峙し

　星を守ることが自分の種族の使命——ブーゲンハーゲンの遺言を理解し、最後に勇気をふるい起こす。この言葉どおり、レッドXIIIはその後何百年も、星の行くすえを見守ることに。

▶イメージCG

故郷コスモキャニオンの洞窟の最深部で、ギ族の侵攻から村を守って息絶えた父セトに寄り添う姿。レッドXIIIが父への長年の誤解に気づく、作中のワンシーンを思わせるCGだ。

▶背面

▶メニュー画面用顔イラスト（着色前）

▶エンディング用のデザイン画

エンディングで500年後の大地を駆ける、セトそっくりにたくましく成長したレッドXIIIの姿。連れている2匹の子どもは、コンピレーション作品「ビフォア クライシス -FFVII-」に登場する同種族のガールフレンド、ディネとのあいだの子と思われる。

▼ポージングのラフスケッチ

バトルでダメージを受けた動作の参考用に描かれたとおぼしき、レッドXIIIのラフスケッチ。人間と同じように会話をかわすレッドXIIIだが、しぐさはネコやイヌを思わせる。

Memorial Scenes

▶レッドXIII

二本足は好みにあらず

交配実験のためにエアリスのもとへ送りこまれたレッドXIII。彼女に襲いかかりそうな様子を見せてクラウドたちをあせらせるが、本人いわく「二本足は好みじゃない」らしい。

神羅兵の変装もお手のもの？

コスタ・デル・ソルへ向かう運搬船内では、獣の身ながらクラウドたちと同じく神羅の兵士に変装し、二足歩行の難しさを口にする。バレずにすんだのは、まさに奇跡？

シッポでサッカー

コスタ・デル・ソルの強烈な日差しにすっかりバテ気味。物陰で涼みながら、近くの子どもたちが蹴ったボールが転がってくると、シッポで器用に返す。

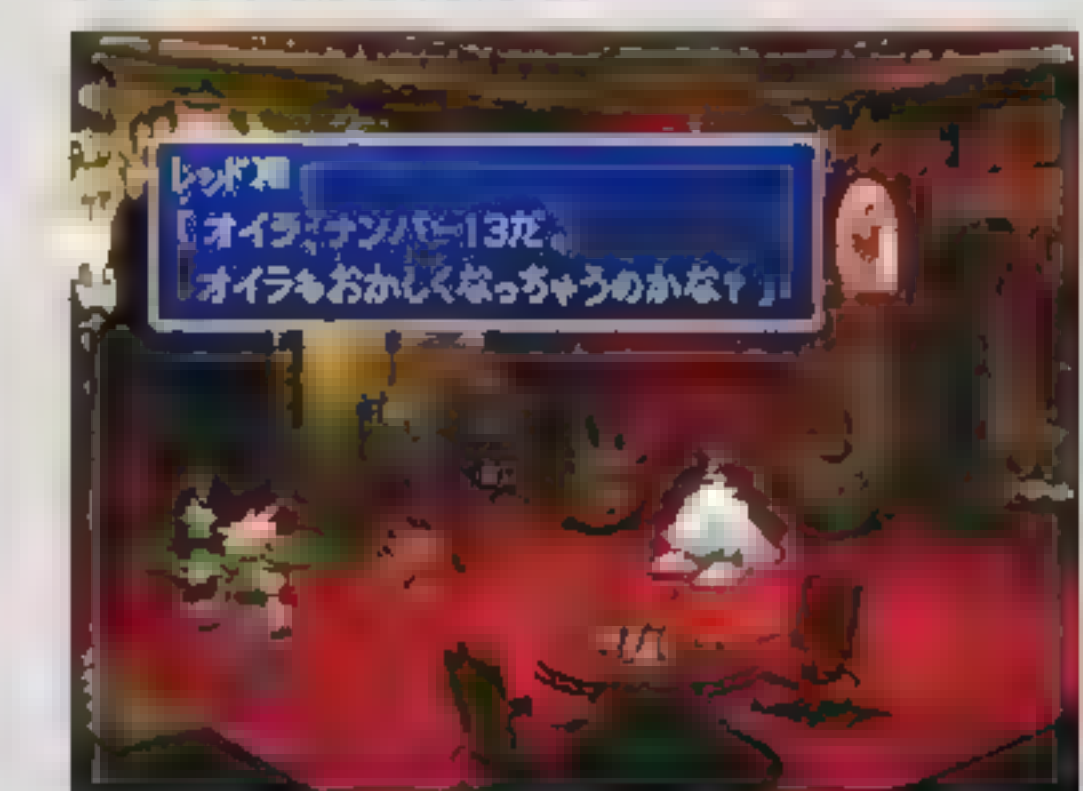
明かされた父の真実

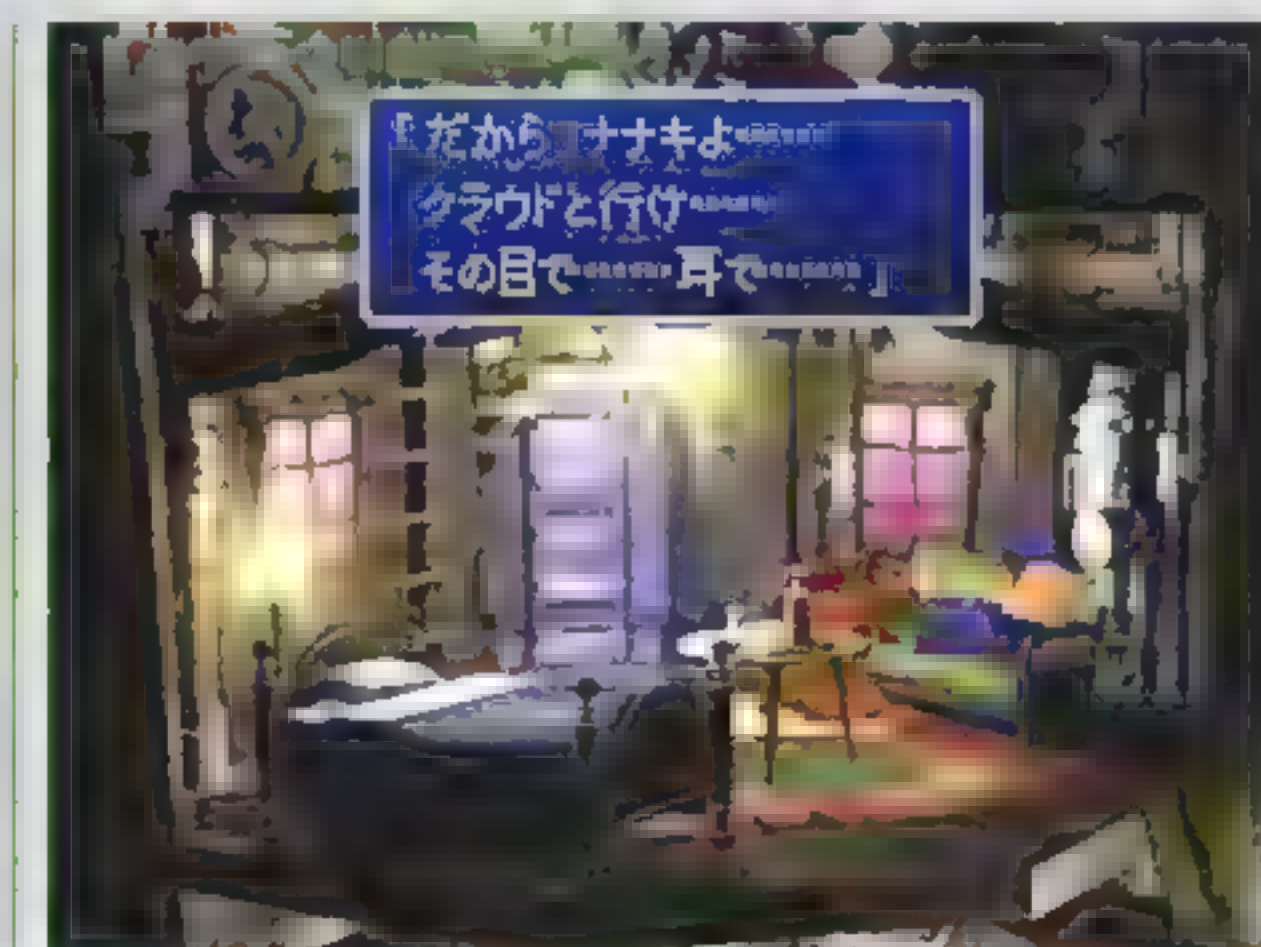
侵略してきたギ族と戦い、洞窟の最深部で息絶えたレッドXIIIの父――セト。石化してなおコスモキャニオンの村を守る父を発見したレッドXIIIは、己の誤解に気づき、父の偉大さを胸に刻むのだった。

コカトリスのヒナを前に

コレル山でコカトリスの巣を発見。クラウドたちがヒナの愛らしさとかたわらのお宝に注目するのに対し、ヒナを獲物と見なした様子でおいしそうにツバを飲みこむ。

オイラもおかしくなっちゃうのかな？

宝条の13番目の実験体としてXIIIのイレズミを彫られているレッドXIII。それがセフィロスコピーたちの実験番号を意味していると知り、自分もヘンになってしまうのではと不安がる。

愛するじっちゃんとの別れ

メテオが星に迫りくるなか、コスモキャニオンにてブーゲンハーゲンが星に還った。じっちゃんと慕う彼の死をその目で見届けたレッドXIIIは、「じっちゃんは旅に出た」と仲間に語り、決別の悲しみを胸にしまう。

Cait Sith

正体は神羅のスパイ?
陽気な占いマシーン

ケット・シー

デブモーグリのぬいぐるみに乗り、関西弁めいた口調で話す、黒ネコ型ロボット。神羅幹部のリーブに遠隔操作されており、スパイ目的でクラウドたちに同行した。当初は神羅に逐一情報を流していたものの、星を守ろうというクラウドたちへの共感と自社への不信から、神羅の逆スパイとして活躍しはじめる。口調はお気楽だが、操作者が生真面目な人物なので、人々を気づかう発言が多い。

Personal Data

性別	不明
[illegible]	不明
誕生日	不明
血液型	不明
[illegible]	100cm
[illegible]	不明
[illegible]	メガホン

Memorial Words

▶ケット・シー

「当たるも～ケット・シー、当たらぬも～ケット・シー」

——古代種の神殿：エアリスとクラウドの相性を占って

占うときのかけ声。「当たるも八卦、当たらぬも八卦」のことわざにかけた言葉だ。

「ヘイ・ユー!! 暗～い顔してますな～」

——ゴールドソーサー：クラウドたちに接近し

最初は占いマシーンとして登場。不自然なほど明るくお気楽な調子で、クラウドたちに接近を図る。

「自分の人生、考えてまうんや。なんや、このまま終わってしもたらアカンのとちゃうかってな」

——ゴールドソーサー：神羅のスパイと白状しつつ、クラウドたちへの共感を示し

神羅のスパイとして潜入したケット・シーだが、「星を守る」という一行の思想には賛同していた。スパイであることがバレると、そんな揺れる想いを正直に語る。

「このボクは、ボクだけなんや！ 新しいケット・シーがなかまになってもわすれんといてな」

——古代種の神殿：決死の覚悟で神殿に残り

黒マテリアを入手すべく、己の犠牲を承知で、圧縮されていく古代種の神殿にひとり残ったケット・シー。星を守るのに貢献できることに誇りを覚え、機械の自分を心配してくれた仲間に感謝しつつ、初号機はその役目を終えた。

「星の命を守る。はん！ 確かに聞こえは、いいですな！ そんなもん誰も反対しませんわ。せやからって、何してもええんですか?」

——飛空艇ハイウインド：バレットにいままでの不満をぶつけ

操作しているのがミッドガル開発の責任者なので、同市への愛着は人一倍。ダイヤウェポンの脅威にさらされたときには、市民全体に頭がまわらないバレットに怒りを爆発させ、魔晄炉爆破の件も含めて彼を責める。

「まだ…………まだやり直せるはずや！ ぜんぶ元にはもどせんかもしれんけどな！ いちばんだいじなモンを守ることはできるはずや!!」

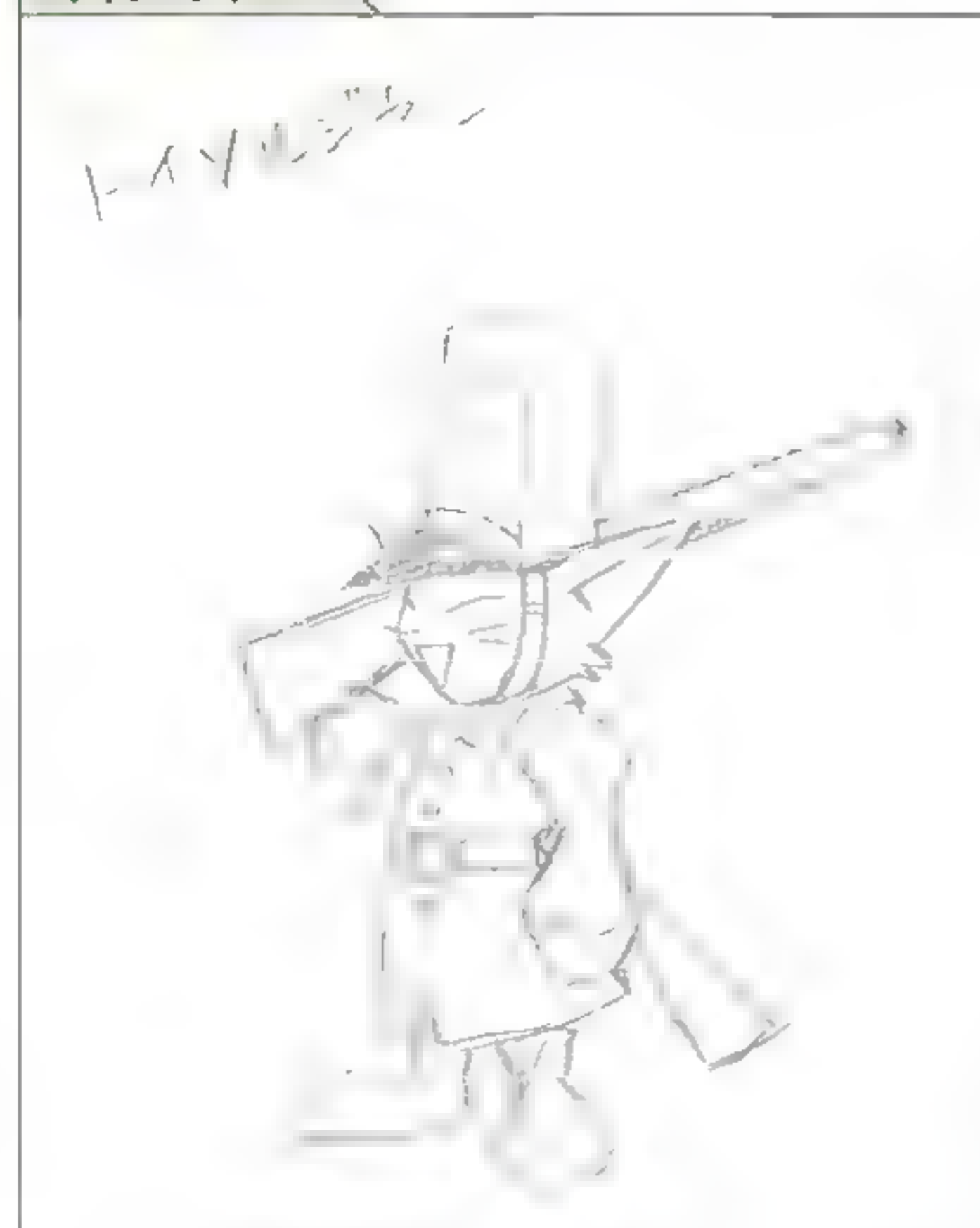
——星の体内：最終決戦でセフィロスと対峙し

星の命運をかけた戦いを前につぶやく。その言葉は、星の命を削ってきた人類全体に向けたものか、神羅社員としてそれを主導してきた自身へのいましめか。

▶イメージCG

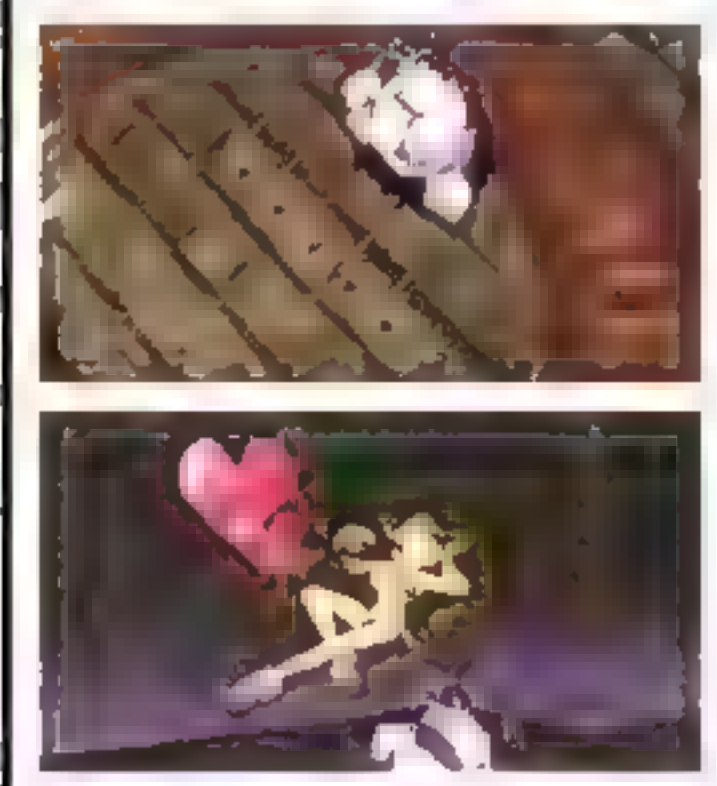
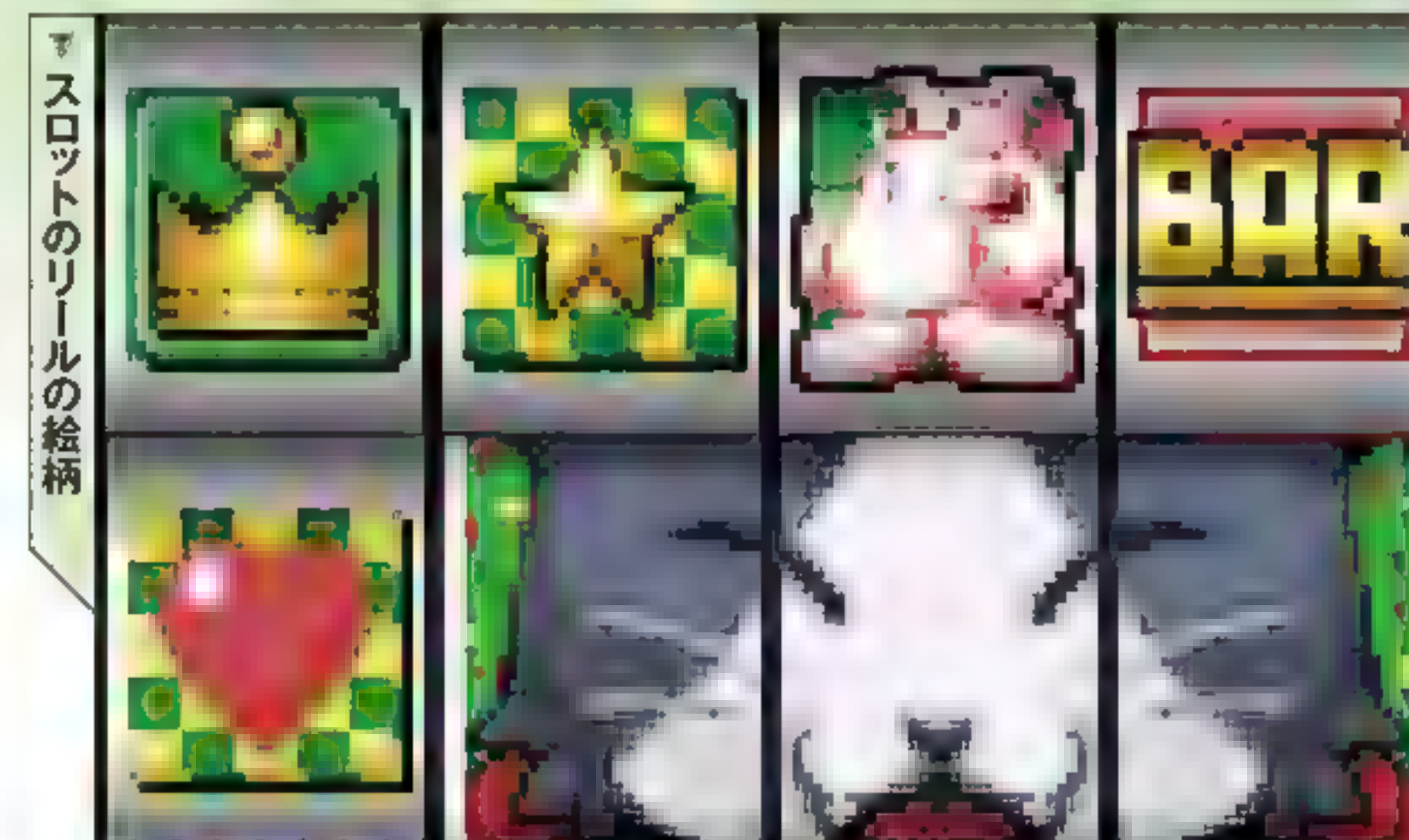
ゴールドソーサーのアトラクションのひとつ、チョコボレーシングの会場をながめるケット・シー。カラフルなライトのなか、デブモーグリの頭上で飛び跳ねる様子が楽しげだ。

▶メニュー画面用顔イラスト(着色前)

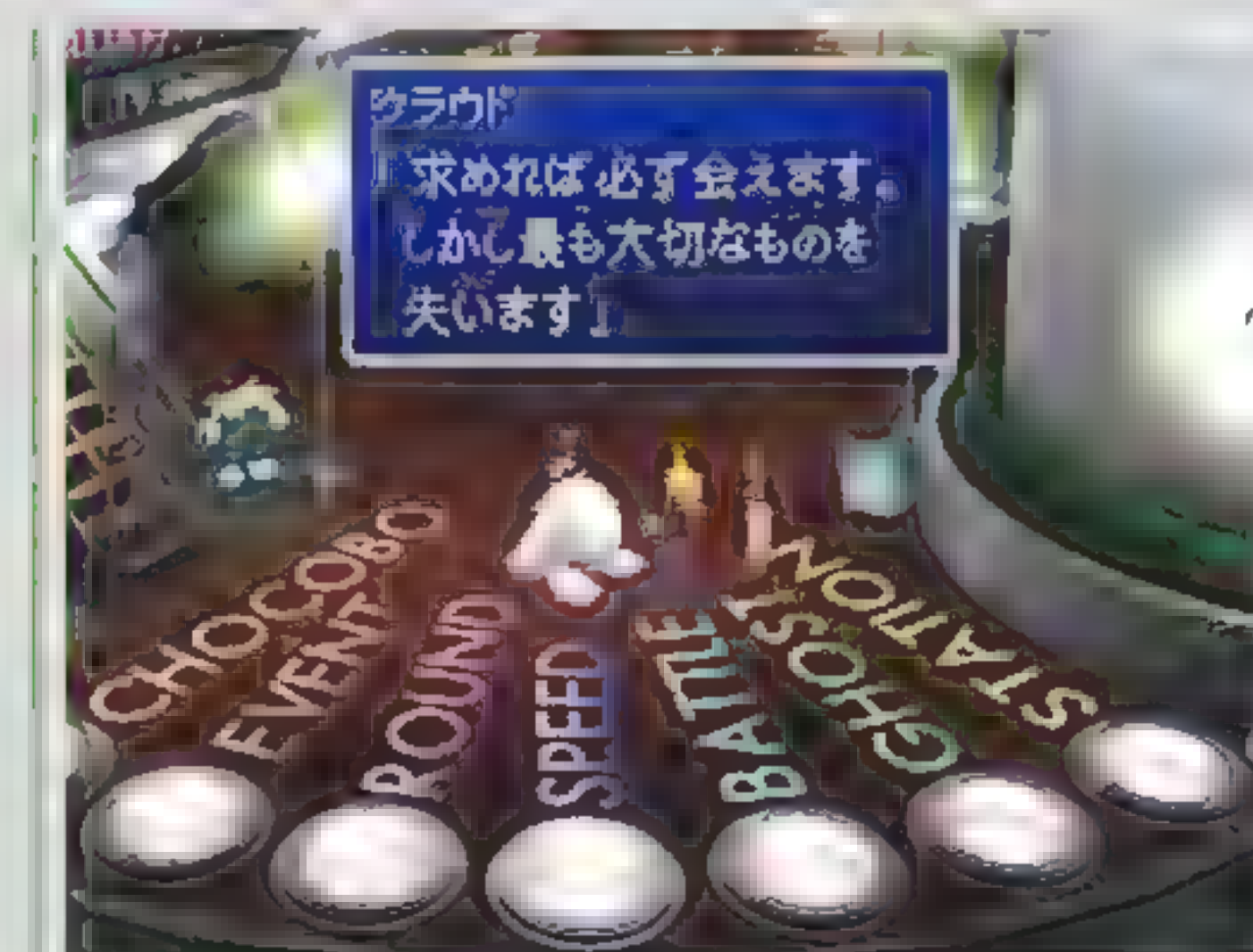
▶全身画(着色前)

▶トイソルジャー

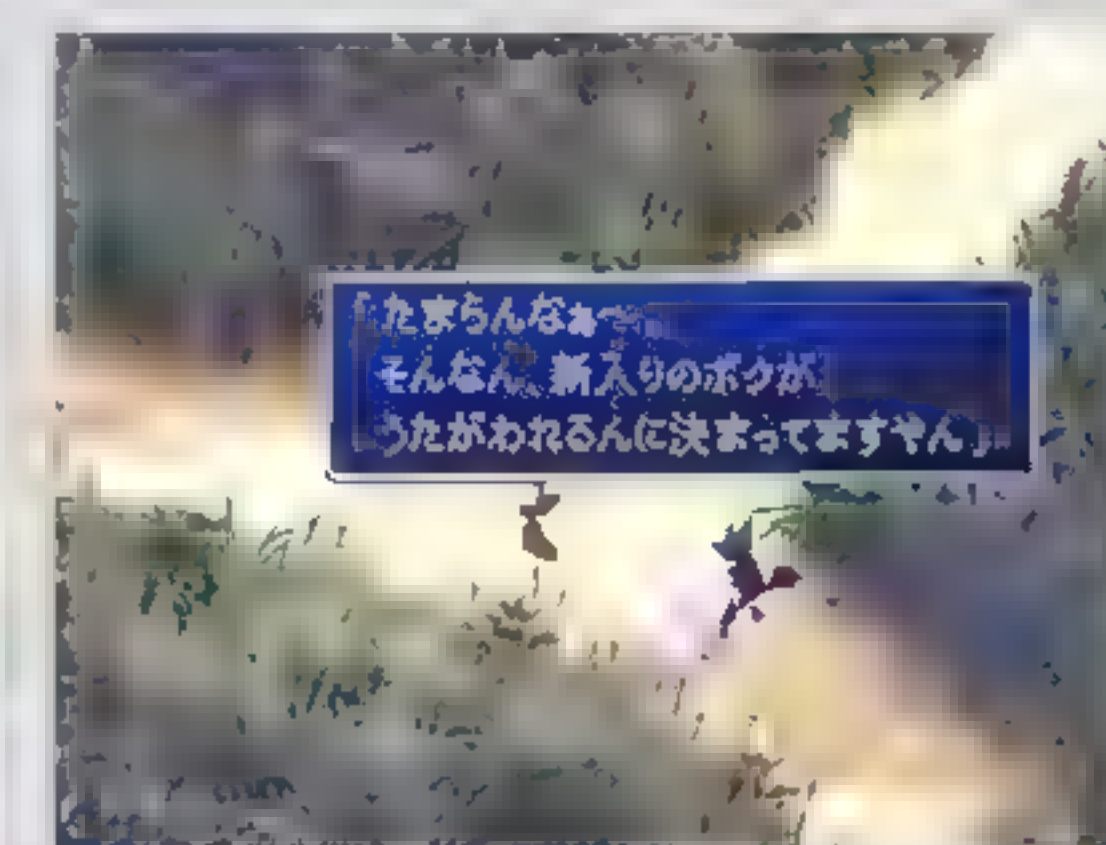
▶ラッキーガール

リミット技「スロット」で登場するキャラクターのラフスケッチ。上は「トイソルジャー」発動時に集団で敵を攻撃するおもちゃの兵隊で、1体1体がケット・シーの姿なのがわかる。右は「ラッキーガール」発動時にパーティーに祝福を授けるセクシーなネコ娘。

▶スロットのリールの絵柄

リールの絵柄がそろうと、「トイソルジャー」「モーグリダンス」「合体」といった技が発動する。ケット・シーの顔の左ふたつがそろって右端がBARになると、「ジョーカーデス」という、味方全員が即死する恐ろしい効果が。

Memorial Scenes

▷ケット・シー

意味深な占い

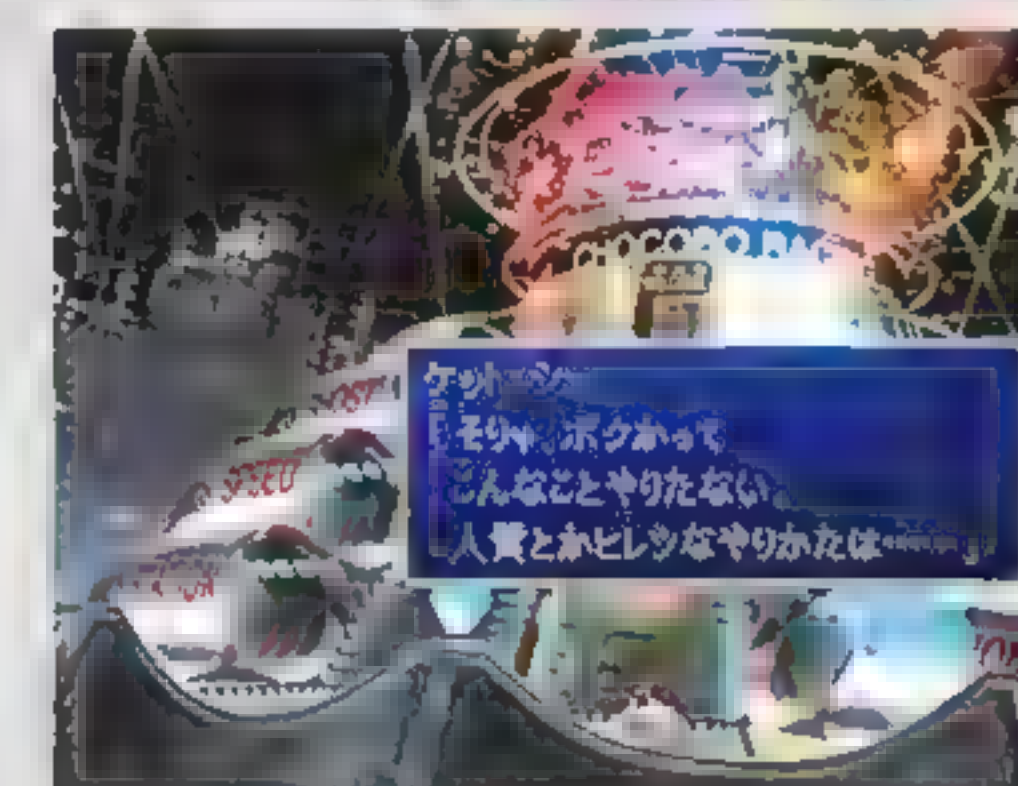
一行の運勢を見ると言ってクラウドに接近。彼のリクエストに応えてセフィロスの居場所を占うと、「求めれば必ず会えます。しかしもっとも大切なものを失います」という意味深な結果が……。

いけしゃあしゃあとシラを切り

ゴンガガでタークスに待ち伏せされ、仲間にスパイがいる疑惑が浮上。「新人のボクが疑われるに決まってる」と先手を取って、クラウドたちの目をそらそうとする。

神羅のスパイとバレて

タークスにキーストーンを渡す場面を目撃され、神羅のスパイとして詰問されるハメに。クラウドたちに理解を示しつつも、この時点ではまだ神羅寄りの立場なので、不本意ながらもマリンを人質に要求を通そうとする。

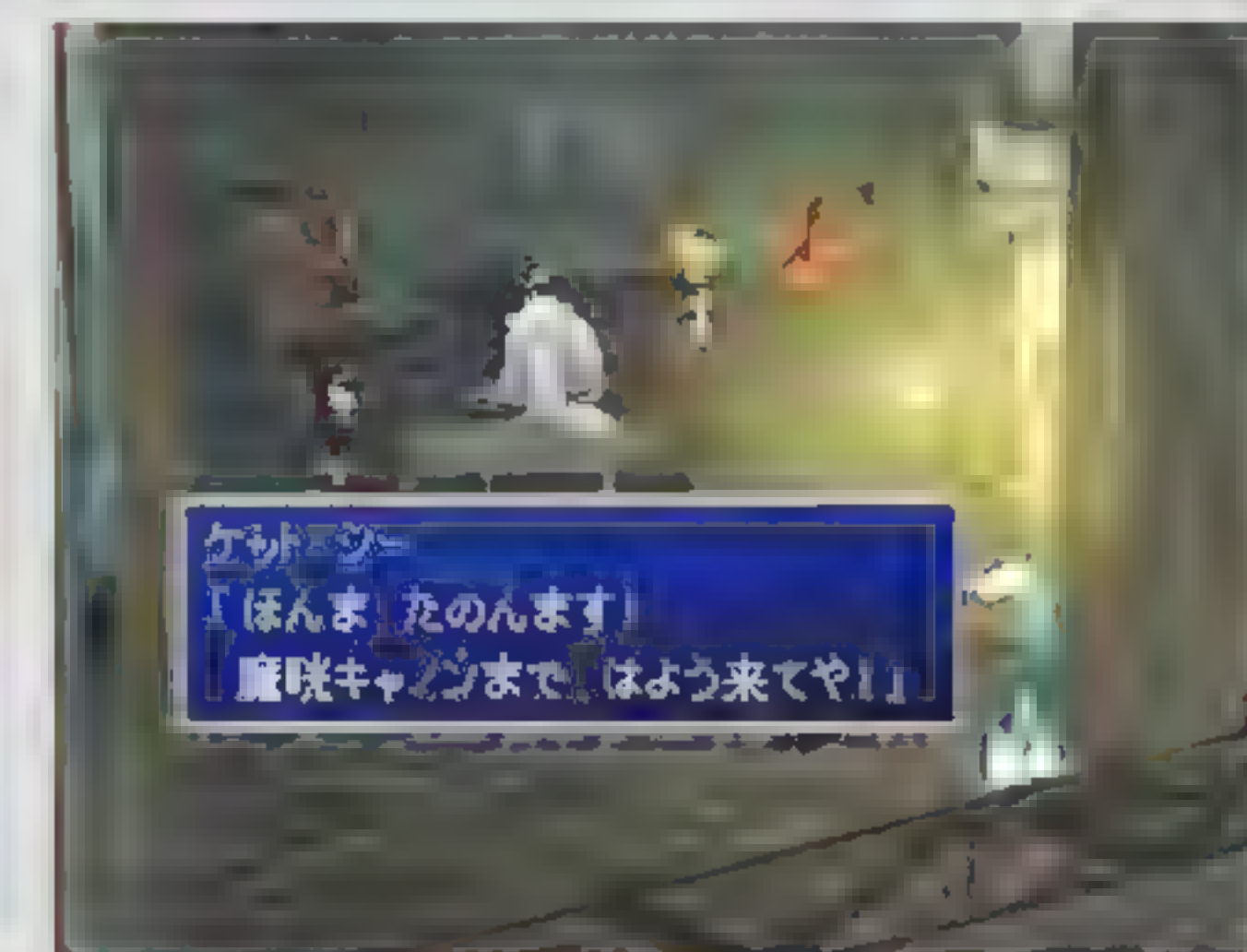
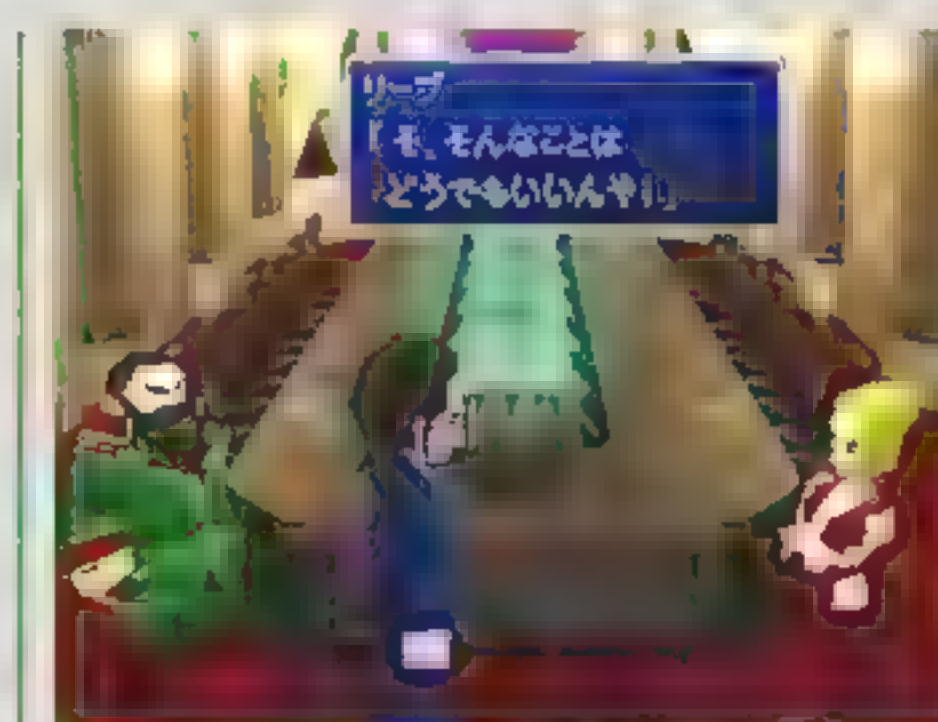
エアリスとクラウドの相性は?

機械の身体で替えがきくという理由から、自分を犠牲に黒マテリアを入手する役目を買って出る。仲間に信じてもらえたお礼に、最後にエアリスとクラウドの相性を占うと……。

みんな、来てくれるよな!

宝条が魔晄キャノンを乗っ取ったせいで魔晄炉の出力が上がりすぎ、ミッドガルが危機にさらされた。神羅の者が頼りにならぬいま、クラウドたち仲間にすべてを託したケット・シーは、街を守るべく率先して動く。

どっちがどっちかごっちゃになって

リーブとして話すときは標準語、ケット・シーとして話すときはなまり言葉――当初はそのように口調を使いわけていたが、神羅会議と飛空艇での会話を交互にするうち、ごちゃまぜになってしまう。

Yuffie ユフィ

マテリアハンターを自称する
ワガママでおてんばな忍者娘

▶ *Yuffie Kisaragi*　ユフィ・キサラギ

Personal Data

[illegible]	女
[illegible]	16歳
誕生日	11月20日
血液型	A型
[illegible]	160cm
出身地	ウータイ
武器	手裏剣

神羅との戦争に敗れて没落した西国ウータイの首領の娘。「忍者」と呼ばれる地元独自の戦士で、巨大な手裏剣と多様な忍術を用いて戦う。自己中心的で生意気だが愛国心は誰よりも強く、祖国がおちぶれても何もしない父への反感から家出した。ウータイ再興の資金をかせぎたくて金品に執着し、マテリアを狙ってクラウドたちに無理やり同行。なりゆき上、星を守る戦いに参加することになる。

Memorial Words

▷ユフィ

「シュッシュッ……どうしたどうした！
アタシの強さに**ビビッて**んだろ!!」

―― 各地の森林：クラウドたちに敗れたのち問答し

マテリアを狙って返り討ちに遭っても、負けずギライの減らず口をたたく。ちなみに、シャドウボクシングのような動作はユフィのクセで、このセリフのように口で効果音をつける場面も。

「アタシはバレットに
同情なんてしないよ！
神羅を信じたのが**悪い**のさ」

―― 北コレル：バレットの過去を聞いて

神羅に故郷をメチャクチャにされた点では、ユフィもバレットと同じ。そのツラさがわかればこそ、一度でも神羅を信じた彼に、辛辣な言葉を向ける。

「ウータイを、
こんな、ひなびた観光地にして、
ヨソ者にこびて……。
そんなんで、**いーのかよ！**
ダチャオ像も、水神様も泣いてるよ!!」

―― ウータイ：母国の現状への不満を五強聖にぶつけて

見かけによらず、母国を想う気持ちの強さは人一倍。国家間の複雑な事情を知らない子どもだということもあって、神羅にこびへつらう現状を許している父親たち大人にガマンできない。

「このアタシに
いっしょに来てくれと！
そういうこと？」

―― 各地の森林：クラウドたちに敗れたのち問答し

おだてられると一緒に行こうとするが、それも金品目当て。同行すると見せて、ギルを盗んで逃げてしまうことまである。

「ハッハッハーッ！
そうかんたんに人を
信用するなってこと!!」

―― ウータイ：クラウドたちをワナにかけて

マテリアを盗んで逃亡するも、追いつめられたユフィ。涙ながらに胸中を訴え、しおらしく反省したかと思いきや、オリにクラウドたちを閉じこめてしまう。手ごわい……。

「マテリアなんか……マテリアなんか……。やっぱり欲しいッ!!
アレもコレも、みんなみんな**アタシのもの！**　アンタなんかにやるもんか!!」

―― 星の体内：最終決戦でセフィロスと対峙し

セフィロスを前に一瞬おじけづくも、マテリアへの執着心を力の源にしてタンカを切る。星を救うことも、彼女にとっては目的ではなく、祖国再興の手段にすぎないのか!?

▶イメージCG

巨大手裏剣に手をかけ、故郷ウータイで夕陽をながめるユフィ。足場にしているのは、パーティーのマテリアを盗んださい最後にやってくる、ウータイの守護神ダチャオの像だ。

▶全身画(着色前)

▶メニュー画面用顔イラスト(着色前)

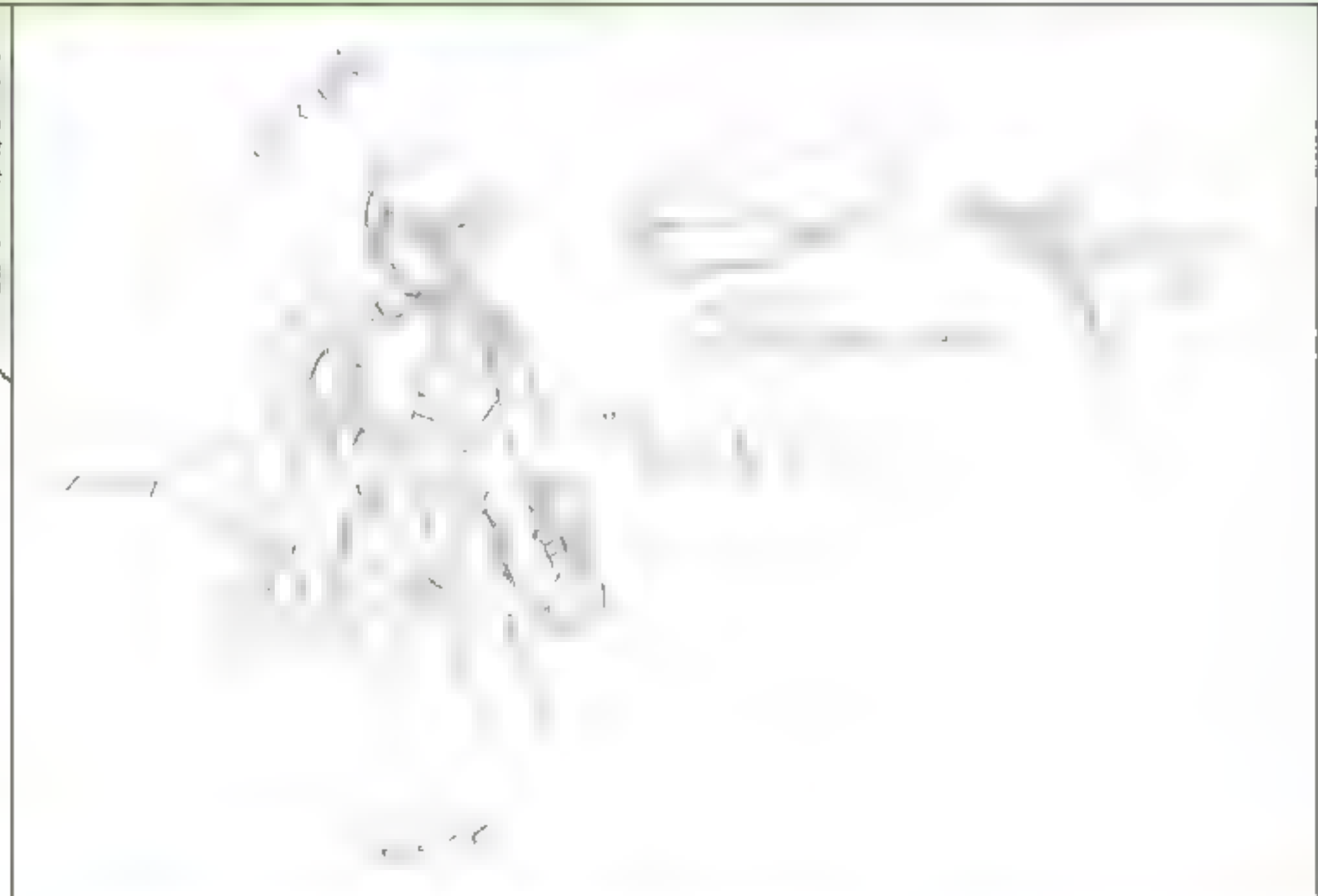
▶背面のデザイン画

開発初期に考案された、赤い色を基調とした服装のユフィ。左脚のガーターベルトと網ストッキングがなく、アーマーどめにリボンが使われており、最終形よりもおとなしく女の子らしい印象だ。ちなみに、この衣装は、1998年に発売された対戦格闘ゲーム「エアガイツ」の色ちがいコスチュームとして実現した(下の写真を参照)。

エアガイツ

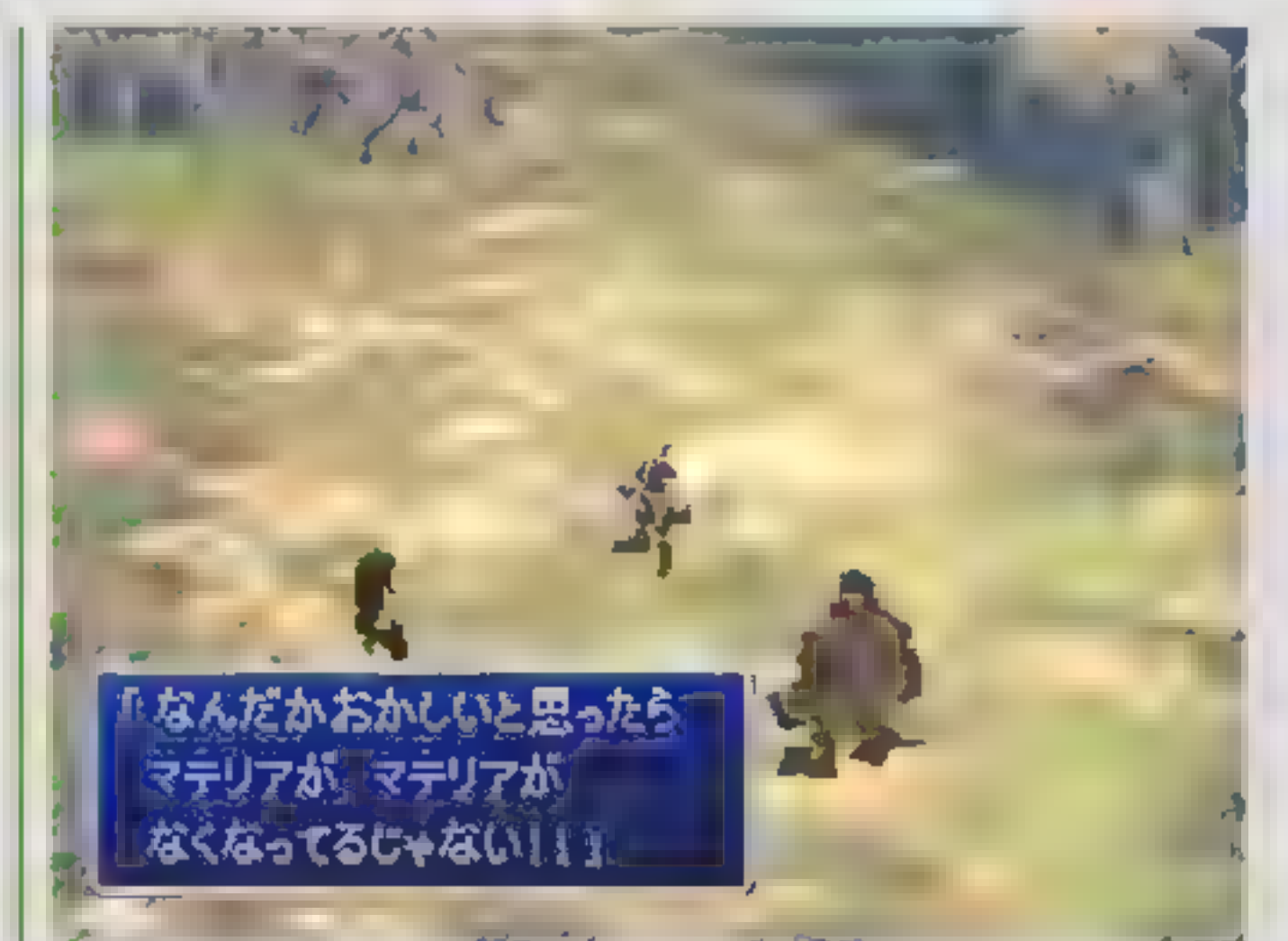
▶初期デザイン

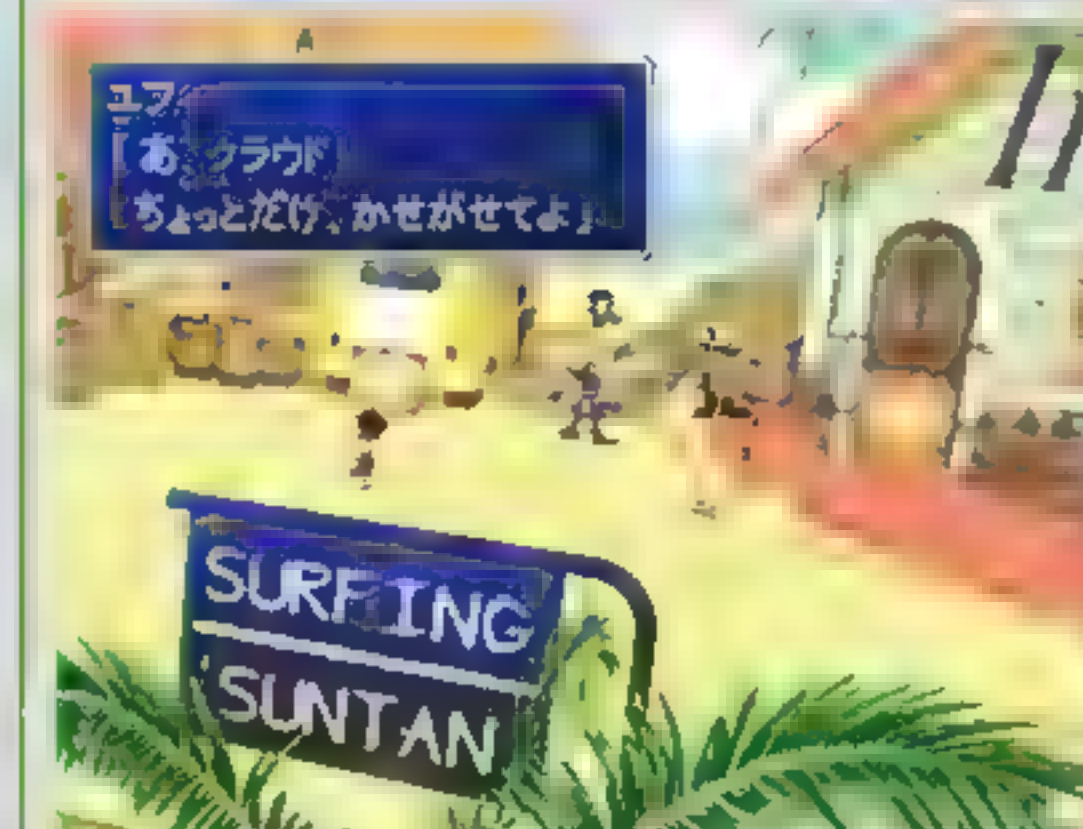
Memorial Scenes

▷ユフィ

うっぷ！　乗り物はカンベン

機械文明が根づいていない地方の出身だからか、乗り物は大の苦手。運搬船ではグロッキー状態で鎮静剤をほしがり、飛空艇ハイウインドでは、少しでも酔わないように操縦室から離れた場所にいる。

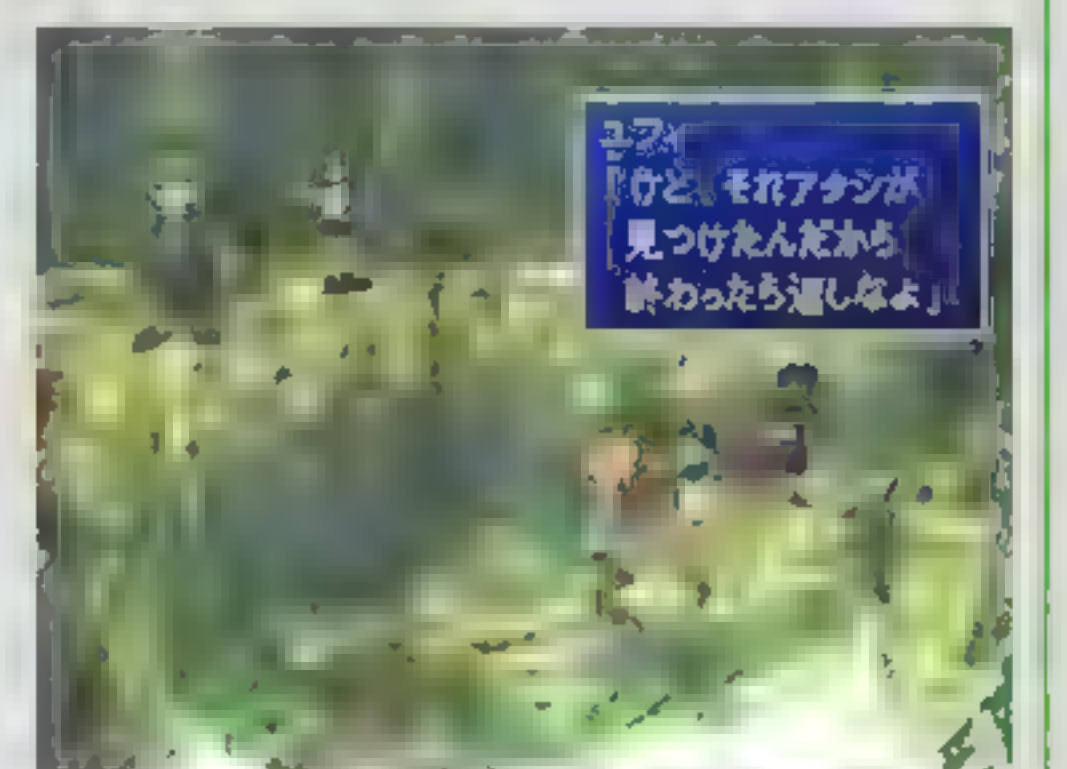
ウータイ逃走物語

神羅兵との戦いのどさくさにまぎれ、パーティーのマテリアを根こそぎ盗んで逃走！　土地カンを活かし、民家に隠れたりクラウドたちをワナにかけたりしつつ、ウータイをあちこち逃げまわる。

アルバイトをはじめたワケ

コスタ・デル・ソルのアイテムショップで売り子に挑戦。もっとも、目的は商品だったらしく、一夜明けると売上げ金もろともかすめ盗って、とんずらしてしまう。

五強聖への挑戦

ウータイを代表する戦士「五強聖」に挑むユフィを最後に待ち受けていたのは、彼女が「グータラ親父」と日ごろ嫌っていた父ゴドーだった。父の本気と娘の本気が、いまぶつかる！

最後までマテリア第一！

星の体内でふた手にわかれるさい、クラウドと別のルートを進むと、道中で拾ったマテリアをひとり占めしようとする。最後まで自己中心的で、お宝独占をあきらめない——それでこそユフィ。

ボーイッシュ少女のダイタンな行動

ふだんの言動は少年的だが、ゴールドソーサーでクラウドとデートすると、観覧車内でキスという大胆な行動に。反応を期待したものの、気のきいたことひとつ言えないクラウドに怒り、ビンタをかます。

Vincent ヴィンセント

呪わしい肉体を抱え
罪の意識を負いつつ生きるガンマン

▶ Vincent Valentine　ヴィンセント・ヴァレンタイン

20年以上ものあいだニブルヘイムで眠りについていた、無口でニヒルな男。神羅の諜報部「タークス」のメンバーだったが、愛する女性科学者ルクレツィアをめぐって宝条と衝突。彼の実験台にされ、おぞましい怪物への変身能力と、呪わしい不老不死の肉体を得た。ルクレツィアの息子であるセフィロスの暴走を知り、その元凶である宝条を追うためにも、クラウドたちに力を貸す。

Personal Data

性別	男
年齢	27歳(外見年齢)
誕生日	10月13日
血液型	A型
身長	184cm
出身地	不明
武器	銃

Memorial Words

▷ヴィンセント

「フッ……悪夢にうなされる長き眠りこそ
私に与えられたつぐないの時間」
—— ニブルヘイム:悪夢にうなされていたようだな、と尋ねるクラウドたちに

愛する女性の悲劇を止められなかったのを悔い、神羅屋敷地下の棺にこもって悪夢を見つづけていたヴィンセント。贖罪のためと信じてのことだが、現実逃避だった点は否めない。

「見ていることしか出来なかった……それが、私の罪……」
—— ヴィンセントの回想:改造された己の身体を見つめて

ルクレツィアを危険な実験に利用したことを宝条に抗議したヴィンセントは、逆に宝条に撃たれ、化け物じみた身体に改造されてしまう。だが、ヴィンセントはそれを、「傍観しかしなかった自分にくだされた当然の罰」と受け止めていた。

「ふくらみすぎた希望は
絶望の裏返し。大きすぎる愛は
おまえを打ちのめすことになるかもしれない……」
—— 飛空艇ハイウインド:クラウドとの再会を望むティファに

さめた人物に見えるが、ティファを気づかう発言も。繊細な心の持ち主だけに、人の気持ちにも敏感なのだろう。

「あの時に凍りついた私の時間が、
今ふたたび動きはじめる……!
セフィロス、今度はおまえが時のはざまで眠りにつく番だ!!」
—— 星の体内:最終決戦でセフィロスと対峙し

「愛しい女性の息子を倒すのは罪ではないか」と思い悩むこともあったヴィンセント。だが、かつて傍観の罪を犯した後悔が彼に、その手を汚してでも最後まで戦う決意をさせた。

『彼女が、幸せなら
私は……かまわない……』
—— ヴィンセントの回想:ルクレツィアと宝条の抱擁を見つめ

宝条がろくでもない男だと知りつつ、ルクレツィアの意志を尊重して身を引こうと決意。しかし、それが結果的に悲劇を生む。

「これで、ますます
人間から離れてゆく……」
—— 究極リミット技「カオス」を修得して

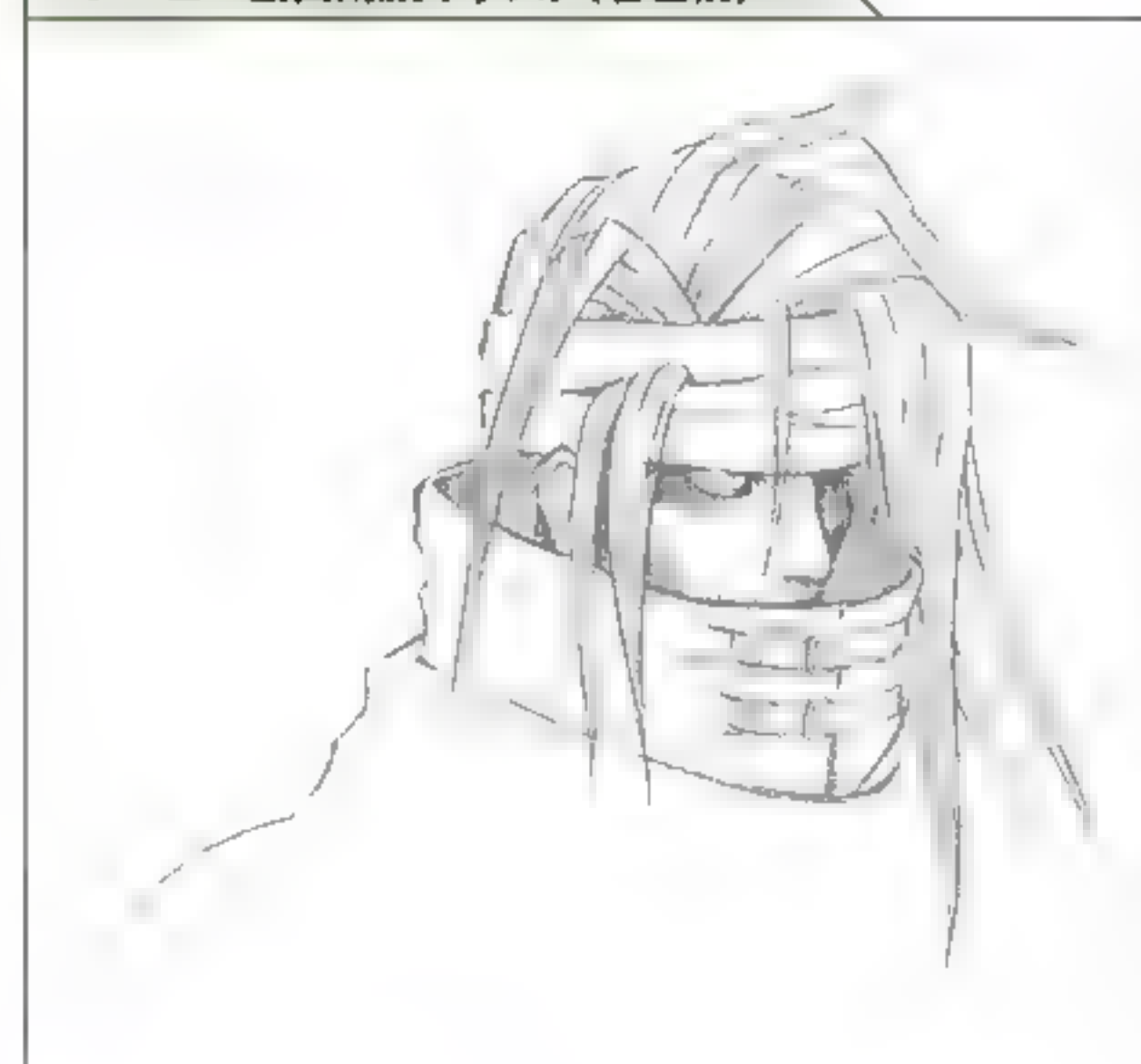
実験のせいで人並みに年も取れず、ときどき怪物に変身してしまうことを、ヴィンセントは疎ましく思っている。最強の技を修得しても自嘲気味。

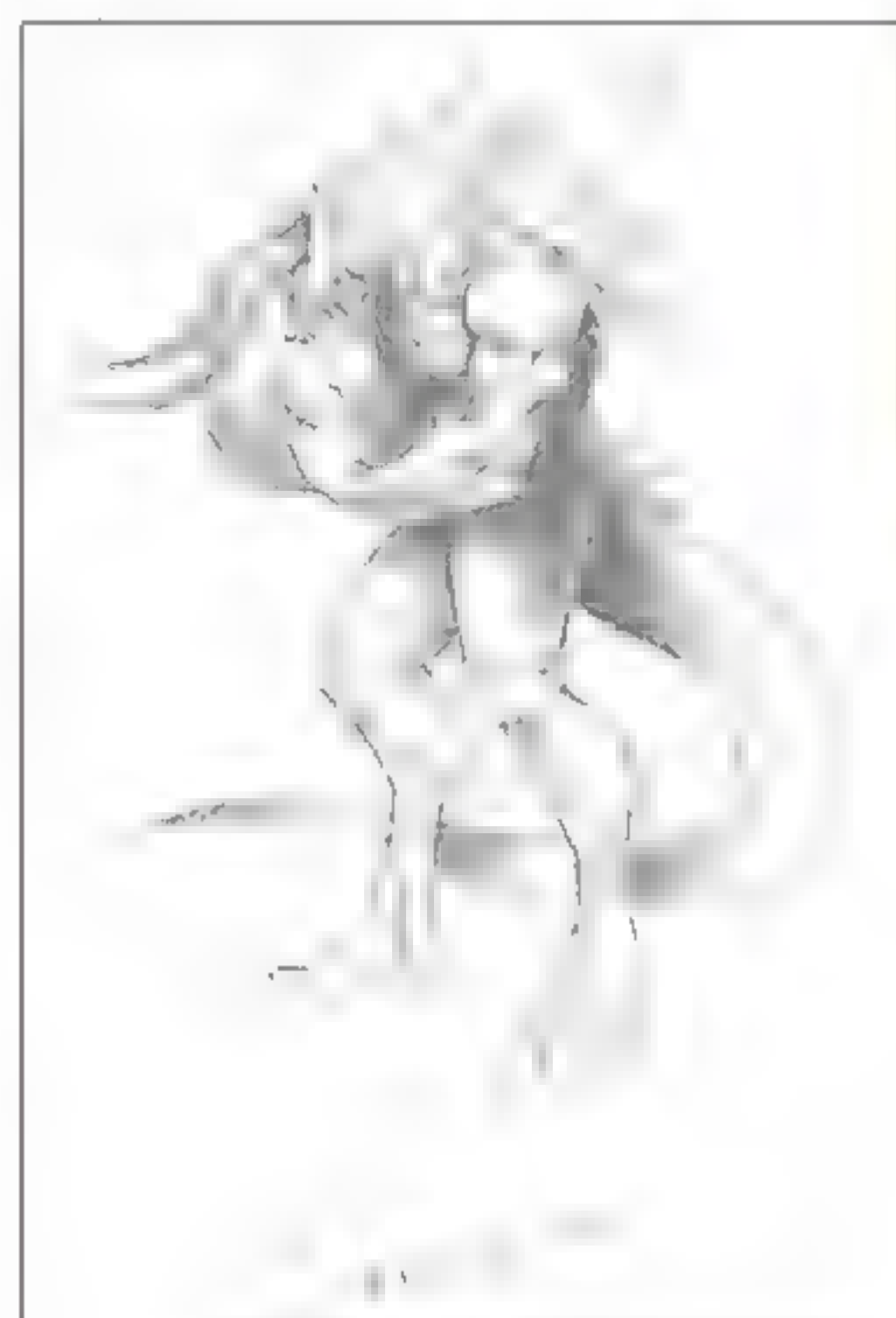
▶イメージCG

自分が実験をほどこされた神羅屋敷の屋根につま先立ちで腰を下ろし、彼方を見やるヴィンセント。ニブルヘイム独特の重苦しい風景のなかで、幾筋もの光が幻想的な雰囲気をかもし出す。

当初は「悪霊や霊を好んで研究するホラーテラー(恐怖研究家)」という設定が考えられていたためか、初期段階のデザイン案では右のように死神の鎌を手にしたおどろおどろしい姿だった。製品版では、棺で眠るあたりにその設定の名残が見られる。

▶初期デザイン

▶メニュー画面用顔イラスト(着色前)

▶全身画(着色前)

▼ガリアンビースト

宝条の実験で4種類のモンスターの因子を埋めこまれたヴィンセントは、リミット技でそれぞれの姿に変身する。このうち最強形態であるカオスに関しては、関連作「ダージュ オブ ケルベロス -FFVII-」内において、「星の命を刈り取る存在」という設定が明らかに。

▼デスギガス

▼ヘルマスカー

▼カオス

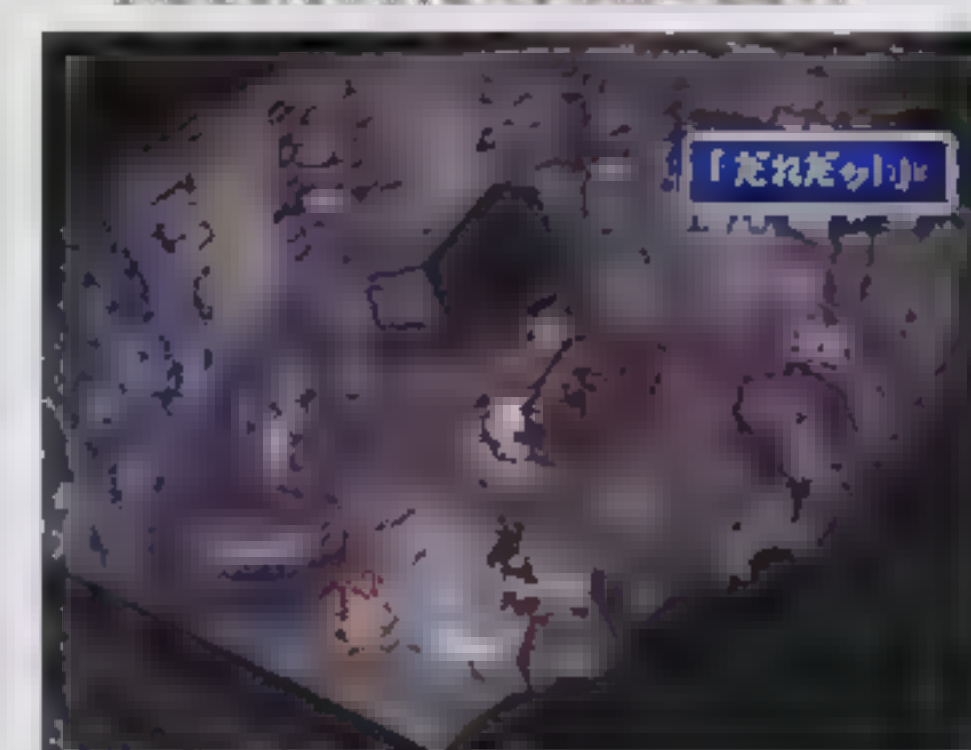
Memorial Scenes

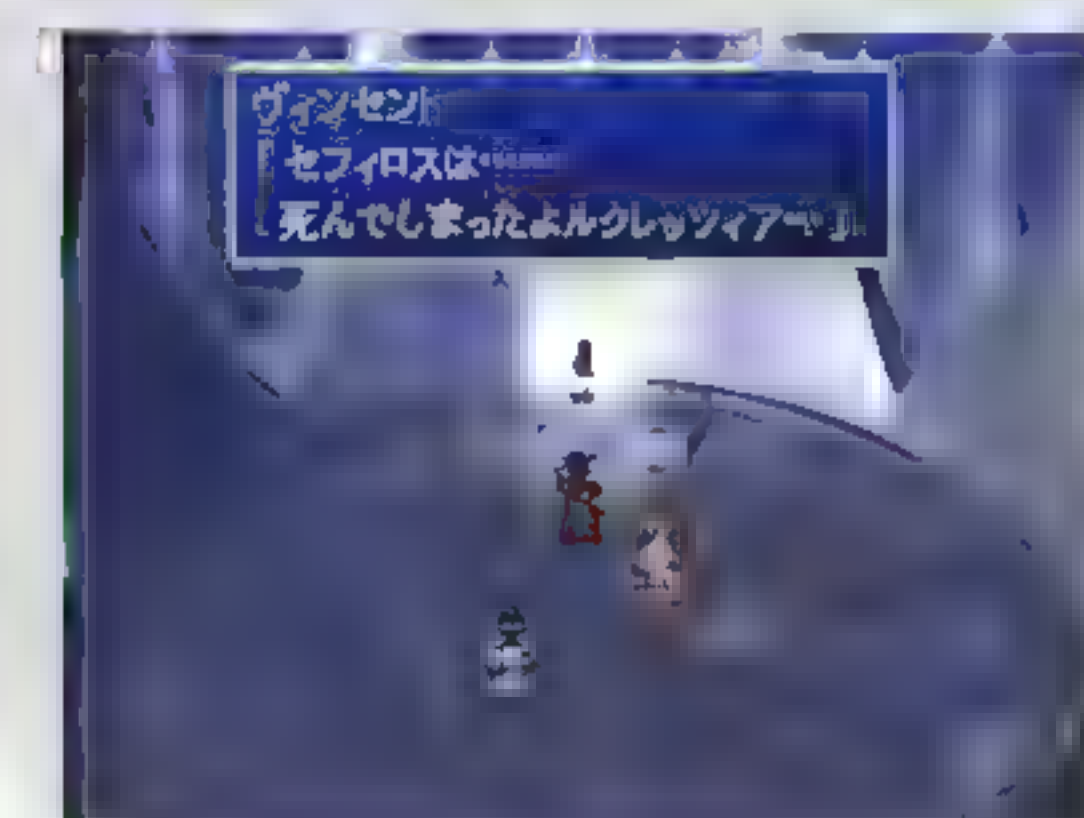
▷ヴィンセント

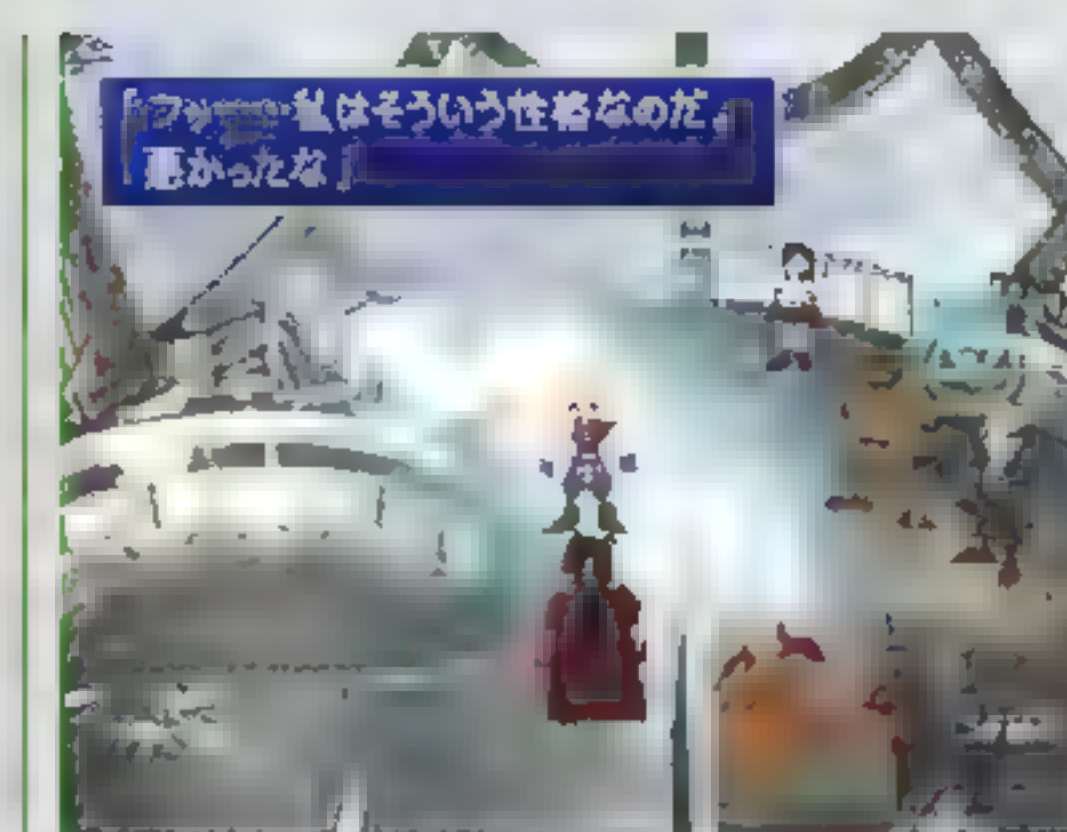
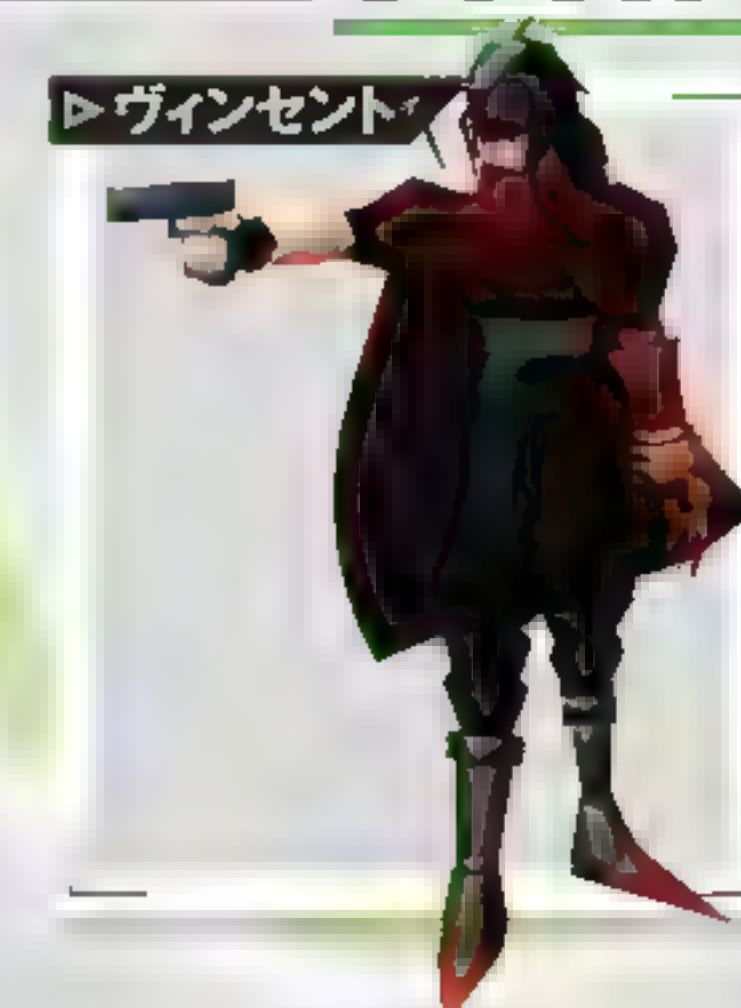
長き悪夢から目覚めて

封印が解かれた神羅屋敷の地下室にて、棺から跳ね起きるヴィンセント。苦しむことこそ贖罪と考えていたため、悪夢にうなされていたと心配するクラウドたちに、「なぜ悪夢から起こしたのか」と奇妙な言葉を返す。

悲恋の思い出

物語開始の約30年前――ヴィンセントは護衛任務の対象であるルクレツィアを愛し、彼女に想いを伝えた。しかしルクレツィアは、彼に心ひかれつつも、同僚の宝条と一緒になる道を選ぶ。

宝条への怒りをにじませて

長年ヴィンセントは、自分を改造した宝条ではなく、己自身に罪があると考えていた。だが、宝条がセフィロスの実父で、妻子を道具としか見ていないことを彼自身の口から知らされ、断罪の引き金を引く。

愛しき女性との再会

祠の水晶に身を封じた状態で、息子セフィロスのことを心配していたルクレツィア。彼女を想うがゆえにヴィンセントは、セフィロスが世界を滅ぼそうとしているという残酷な現実を伏せ、「彼は死んだ」と優しいウソをつくのだった。

決戦は仲間とともに

最終決戦に挑むかどうか考える猶予を与えられるも、ほかの仲間と同じく飛空艇に帰還。「さめているからこないと思った」と驚かれ、ヴィンセントにしては珍しく茶目っ気含みの答えを返す。

Cid シド

宇宙へのロマンを抱きつづける
一本気な熱血艇長

▶ *Cid Highwind*　シド・ハイウインド

神羅の宇宙開発部門に所属する、元花形パイロット。4年前、宇宙ロケット「神羅26号」に搭乗するも打ち上げに失敗し、その後は活躍の機会も与えられず、打ち上げ地点のロケット村でくすぶりつづけてきた。クラウドたちが神羅に刃向かうのを見て興味を抱き、旅に同行する。言葉はべらんめえ口調で乱暴だが、曲がったことが大嫌いで面倒見が良く、かつてのクルーたちから「艇長」と慕われている。

Personal Data

性別	男
年齢	32歳
誕生日	2月22日
血液型	B型
身長	178cm
出身地	ロケット村
武器	槍

Memorial **Words**

▷シド

「かね、金、カネだぁ？　オレ様の**夢**を
ソロバンかんじょうだけでほうにふるない！」
―― ロケット村：神羅が宇宙開発を中止したことをクラウドたちにグチり

社員としてよりも個人の夢で動いているシドは、宇宙開発を再開しない自社に不満を覚えており、それがクラウドたちに同行する理由のひとつに。

「この時代、神羅にさからおうなんて
バカヤロウのクソッタレだ！　気に入ったぜ！」
―― タイニー・ブロンコ：クラウドたちの事情を聞いて同行を決め

神羅の社員ながら、「おもしろそう」との理由で、神羅に逆らうクラウドたちに同行。罵倒するような口調だが、「クソッタレ」はシドの口グセで、悪気はまったくない。

「奥さん？　笑わせるない！
シエラが女房だなんて
トリハダがたつぜ」
―― タイニー・ブロンコ：クラウドの誤解を言下に否定し

ロケット打ち上げ中止の原因を作った、同居人でもある女性メカニックのシエラに、周囲が驚くほどツラく当たる。もっとも、それは屈折した愛情表現なのだが……。

「おいおい、
オレ様を誰だと思ってんだ？
天下のシド様だぜ！」
―― コレル魔晄炉：ヒュージマテリアを持ち去ろうとする神羅の列車を追って

ヒュージマテリア奪還のため、慣れない列車を運転。さすがパイロットと思いきや、適当に動かしているだけだと直後に述べて周囲を動揺させる。

「へ……**星を救う船**か。
……ちょっと**熱い**じゃねえか。
今のはハートに**ズン**と来たぜ」
―― 飛空艇ハイウインド：バレットからリーダーに推薦されてその気になり

「星を救う船を仕切っているんだから」と言われ、リーダー就任を承諾。もっとも、直後から雑用に追われ、ユフィにパシリ呼ばわりされてしまう。

「この星は**子供**みてえなもんだ。
でっけえ宇宙の中で**病気**になっちまって
震えてる子供みてえなもんだぜ。
誰かが守ってやらなくちゃならねえ」
―― 飛空艇ハイウインド：宇宙に出た感想を言い、星を守ろうと仲間に呼びかけて

念願の宇宙飛行を果たし、「広い宇宙ではこの星も小さな子供同然」と実感。星を守る決意を新たにして、落ちこんでいた仲間たちを勇気づける。

▶イメージCG

神羅から貸与されていた小型飛行機タイニー・ブロンコに腰かけ、村にそびえるロケット「神羅26号」を見つめるシド。胸に去来するのは過去への後悔か、宇宙への見果てぬ夢か。

▶初期デザイン

決定稿に近い段階の、着色ずみ設定イラスト。衣装の色調が全体的に青緑系に寄っているほか、ワシ鼻で三白眼気味、と決定稿にくらべて少々アクの強い顔つきとなっている。また、右袖のワッペンには、「H/W」の文字がまだ入っていない。

▶全身画（着色前）

▶メニュー画面用顔イラスト（着色前）

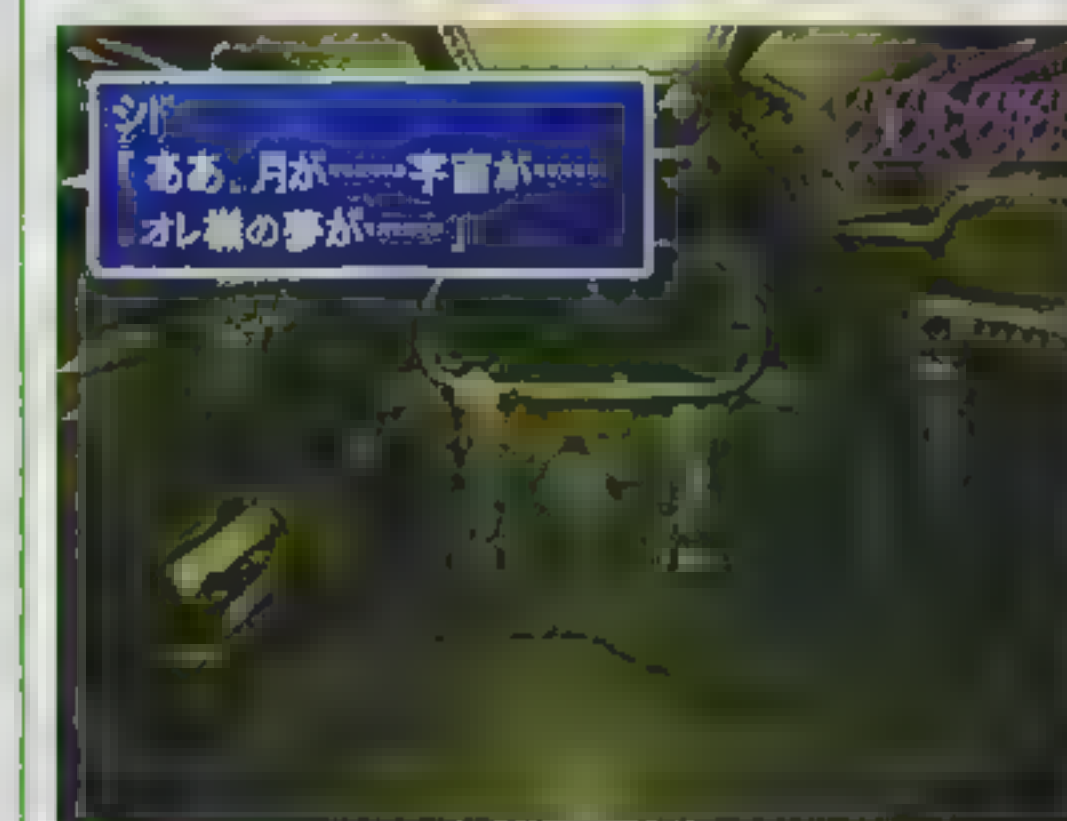
▼ポリゴンモデル

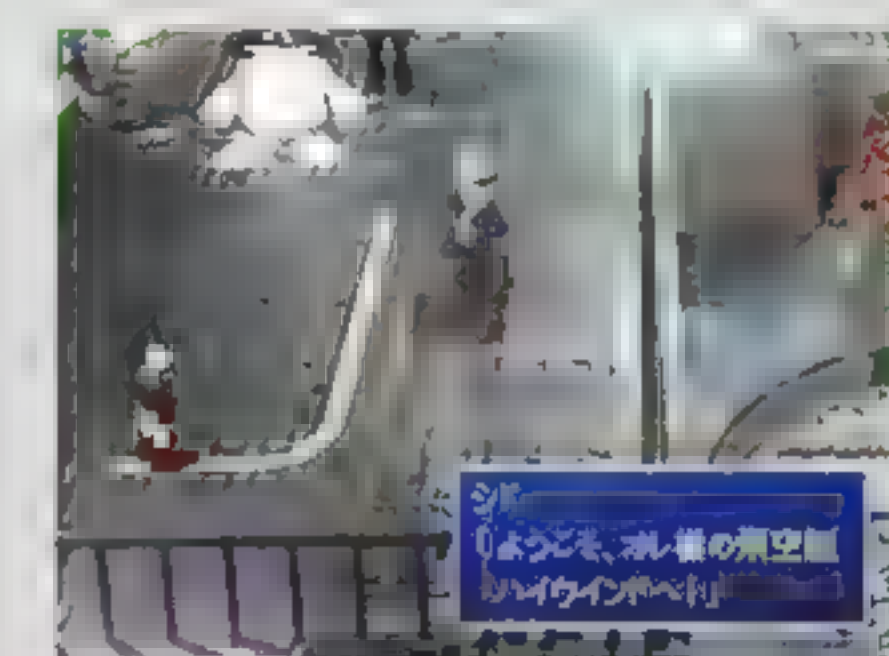
Memorial Scenes

無念に終わったパイロットの夢

4年前、神羅26号のパイロットとして打ち上げの瞬間を待っていたシドだが、エンジンルームに残っていたシエラを救うため、やむなく緊急停止スイッチを押すハメに。それは、自分で自分の夢を閉ざした瞬間だった……。

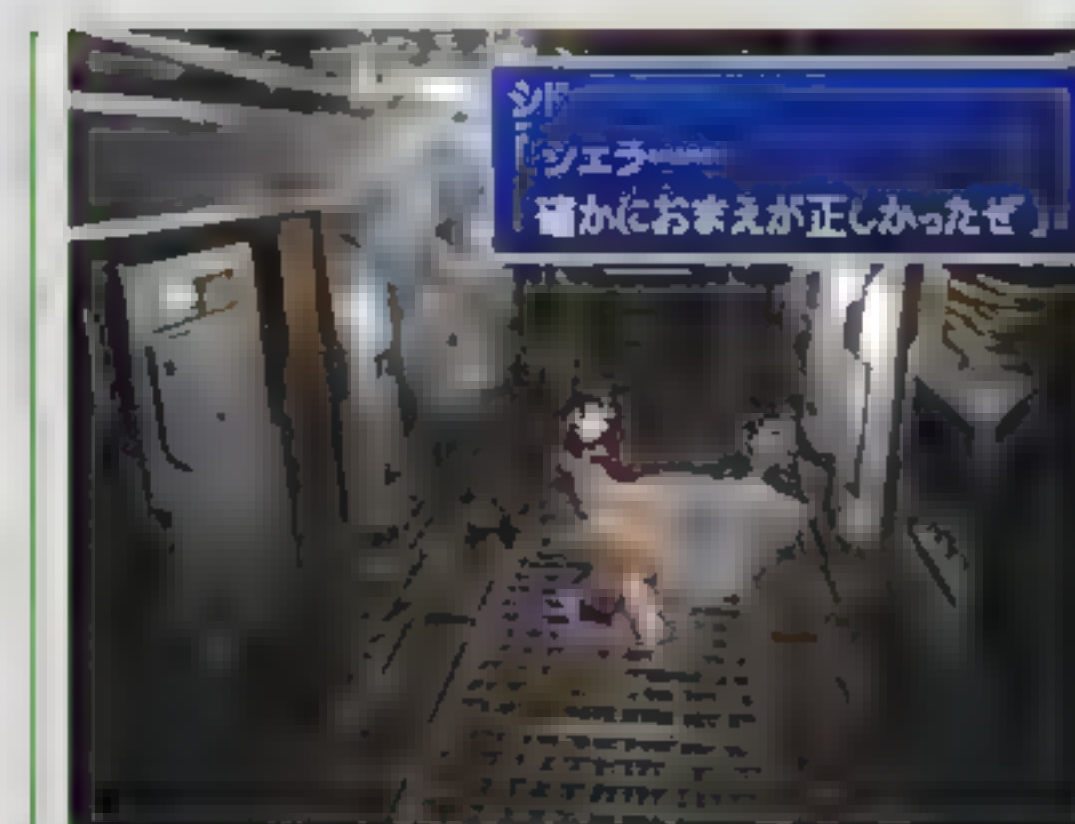
タイニー・ブロンコ、空へ

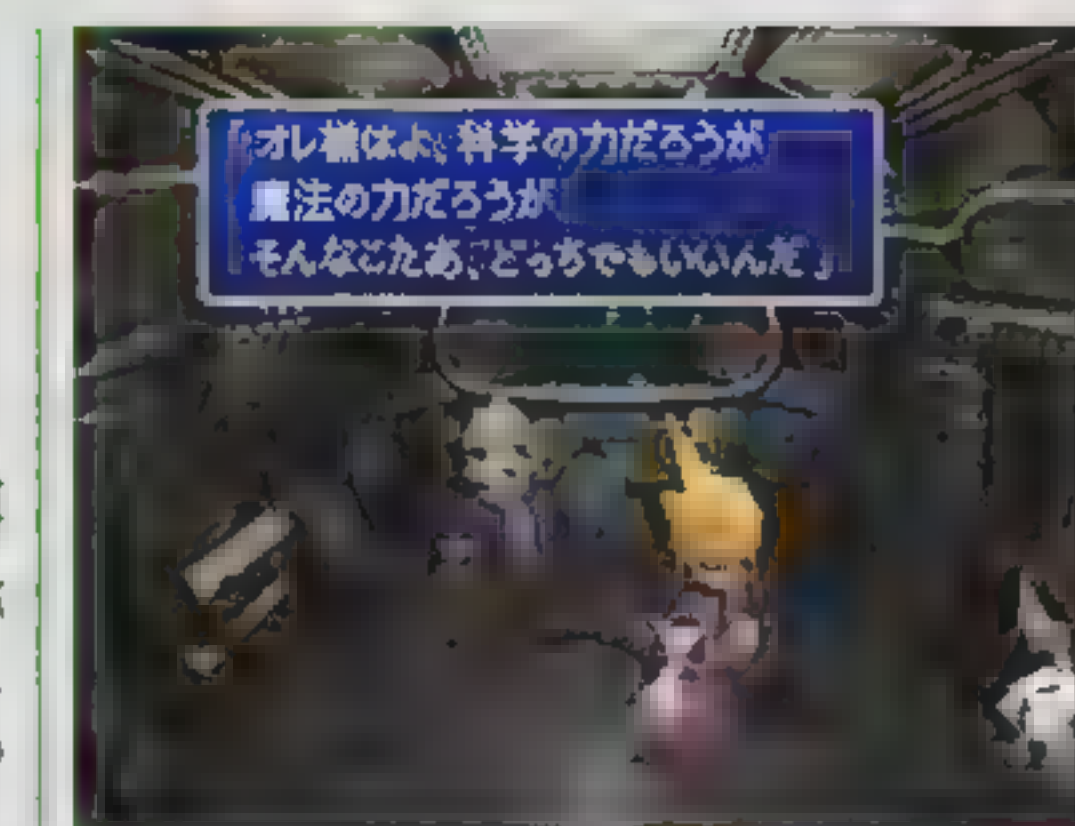
新社長ルーファウスの訪問を受け、すわ宇宙開発再開かと胸躍らせるも、自宅で管理してきた小型艇タイニー・ブロンコの返還を求められて憤慨。どさくさにまぎれ、クラウドたちとともに艇に乗って飛び立つ。

コレル山での猛チェイス

パーティーのリーダーに抜擢されて早々、神羅のヒュージマテリア回収をはばむことに。コレル山では、炭坑列車をカンまかせに動かして神羅の車両に乗り移るが、今度は猛スピードで走る列車を止めるのに四苦八苦する。

飛空艇ハイウインド奪取

クルーたちを味方につけ、自分の姓を冠する神羅の飛空艇ハイウインドをジュノンのエアポートから奪取。神羅ジュノン支社から脱出してきたバレットとティファを拾って、大空へと飛翔する。

宇宙への夢は何より大事

ロケットにヒュージマテリアを積んでメテオにぶつけようとする神羅。阻止を図るクラウドたちだが、とにかく宇宙に出たいシドは、仲間を邪魔してでもロケット打ち上げを実現させようとした。

シエラ、おまえが正しかったぜ

ロケットから脱出しようとするなか、以前から不調だった8番ボンベの爆発に巻きこまれて、シエラに助けられるシド。彼女の指摘は正しかった——2度にわたって命を救われ、さすがのシドもシエラに対する態度を改める。

Sephiroth

星と人類の敵と化した
伝説のソルジャー・クラス1st

セフィロス

ソルジャー・クラス1stのなかでも並はずれた実力を持ち、神羅の英雄とうたわれた男。異星から飛来した生命体ジェノバを古代種と誤解した神羅により、"ジェノバの子"として生み出された。5年前、任地ニブルヘイムにて自身の出生の秘密を知り、人類の敵として覚醒。そのときクラウドに倒されたものの魂は死なず、肉体の再生を図りつつジェノバ細胞を持つ者たちをあやつり、星を我がものにすべく暗躍する。

Personal Data

性別	男
年齢	25歳前後
誕生日	不明
[illegible]	不明
[illegible]	不明
[illegible]	ニブルヘイム
[illegible]	正宗

▸イメージCG

人類を敵と見なしてニブルヘイムに火を放ち、燃えさかる炎のなかでたたずむセフィロス。5年前に起きた、クラウドとティファにとっては悪夢のような一場面だ。

Memorial Words

▷セフィロス

「われこそ古代種の血をひきし者。この星の正統なる後継者！」

——「古代種」と聞いてクラウドが思い出した5年前のセリフ

セフィロスを生んだ実験「ジェノバ・プロジェクト」は、「ジェノバ＝古代種」というまちがった認識のもとに行なわれたもの。その資料を読んだので、当初セフィロスは自分が古代種だと誤解していた。

「ひさしぶりの故郷なんだろ？ どんな気分がするものなんだ？ オレには故郷がないからわからないんだ……」

——クラウドの回想（5年前）：ニブルヘイム到着時にクラウドに尋ねて

神羅の実験で造られたセフィロスは幼いころの記憶がなく、生まれた場所や親のことも知らない。そのため、まだ人類に敵意を抱く前は、故郷を持つ者へのあこがれをにじませる場面もあった。

「つめたいな。私はいつでもおまえのそばにいる」

——古代種の神殿：クラウドの前に現れ

セフィロスにとってクラウドは、同じジェノバ細胞を持つ己の分身「セフィロス・コピー」の1体にすぎない。ゆえに、クラウドの行く先々で意味深な言葉をかけ、彼に自分の手駒としての役目を果たさせようとする。

「星とまじわり……私は……今は失われ、かつて人の心を支配した存在……『神』として生まれ変わるのだ」

——古代種の神殿：クラウドたちに野望を語り

5年前までは一人称が「オレ」だったが、一度死んだのちは超然とした雰囲気になり、一人称も「私」に変化。ライフストリームの力を得て星の神となるべく、本格的に動き出す。

「なぜなら、お前は……人形だ」

——忘らるる都：エアリスの最期を悲しむクラウドをあざけり

自分の正体に不安を覚えたうえエアリスまで失って動揺するクラウドを、「悲しむのは演技」と嘲笑。クラウドが人間ではないかのような口ぶりで混乱を誘い、自己崩壊へ導く。

「そう、ここまでだ。この身体の役目はな」

——竜巻の迷宮：自分と決着をつけようとするクラウドに向かって

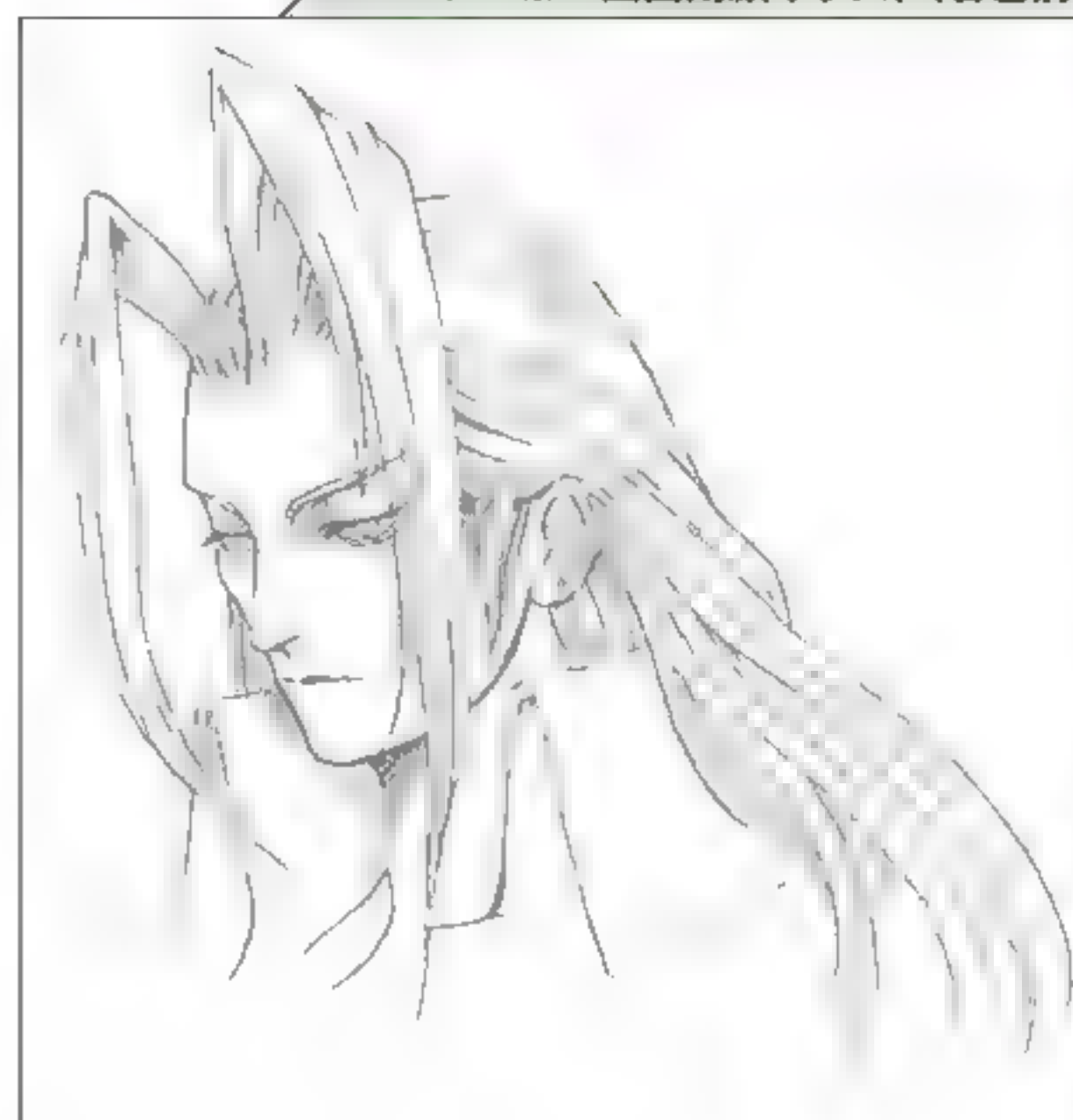
回想シーンとラストバトル以外に登場するセフィロスは、ジェノバが彼の姿を取ったもの。本体は北の大空洞にて再生中であり、このあと黒マテリアを受け取って覚醒する。

開発初期に描かれたセフィロスの設定画。ザックスたち一般のソルジャーと共通のインナーを着ており、愛刀の正宗も製品版より短くなっている。

▶初期デザイン

▶メニュー画面用顔イラスト(着色前)

▶全身画(着色前)

Memorial **Scenes**

▶セフィロス

堕ちた英雄、神羅ビルに降臨?

神羅ビルの最上階で発生した、プレジデント神羅の殺害事件。凶器として正宗が残されていたこととパルマーの証言から、一同はセフィロスの復活を確信するが、実際には、ビルに保管されていた首のないジェノバがセフィロスの姿を取っていた。

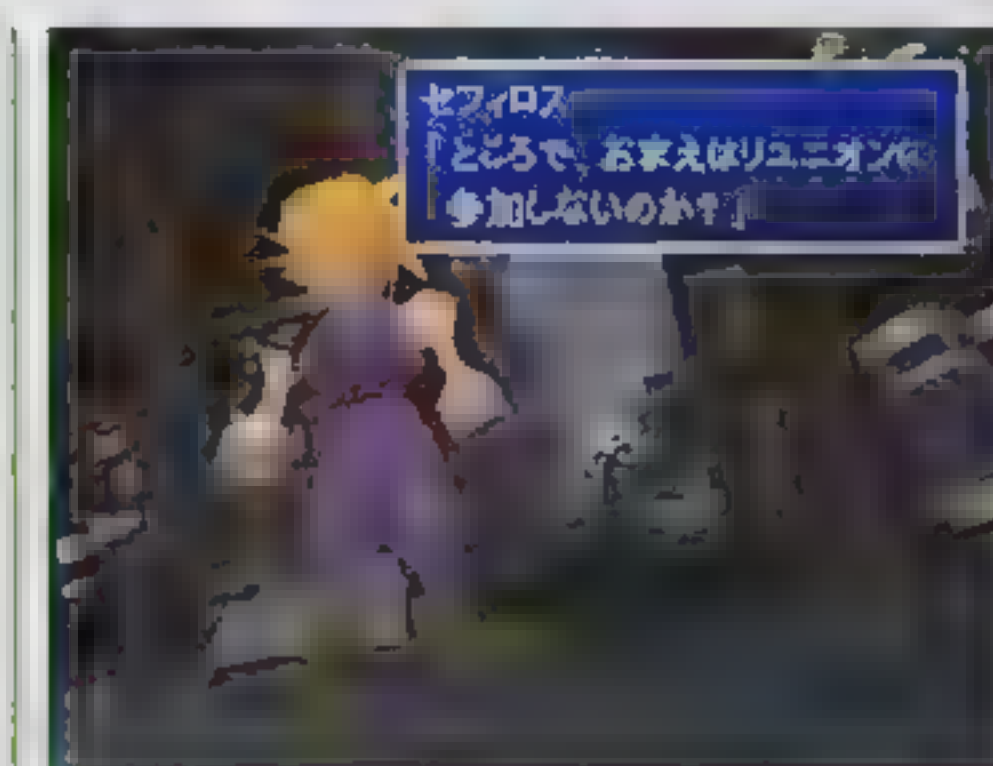
ニブルヘイムを訪れて

5年前、魔晄炉周辺の調査任務でニブルヘイムを訪問。自分の正体を知らないこのころは、クールではあるが人間くさいところも多く、同行していた一般兵のクラウドを気づかう一面も見せる。

輸送船内での惨劇

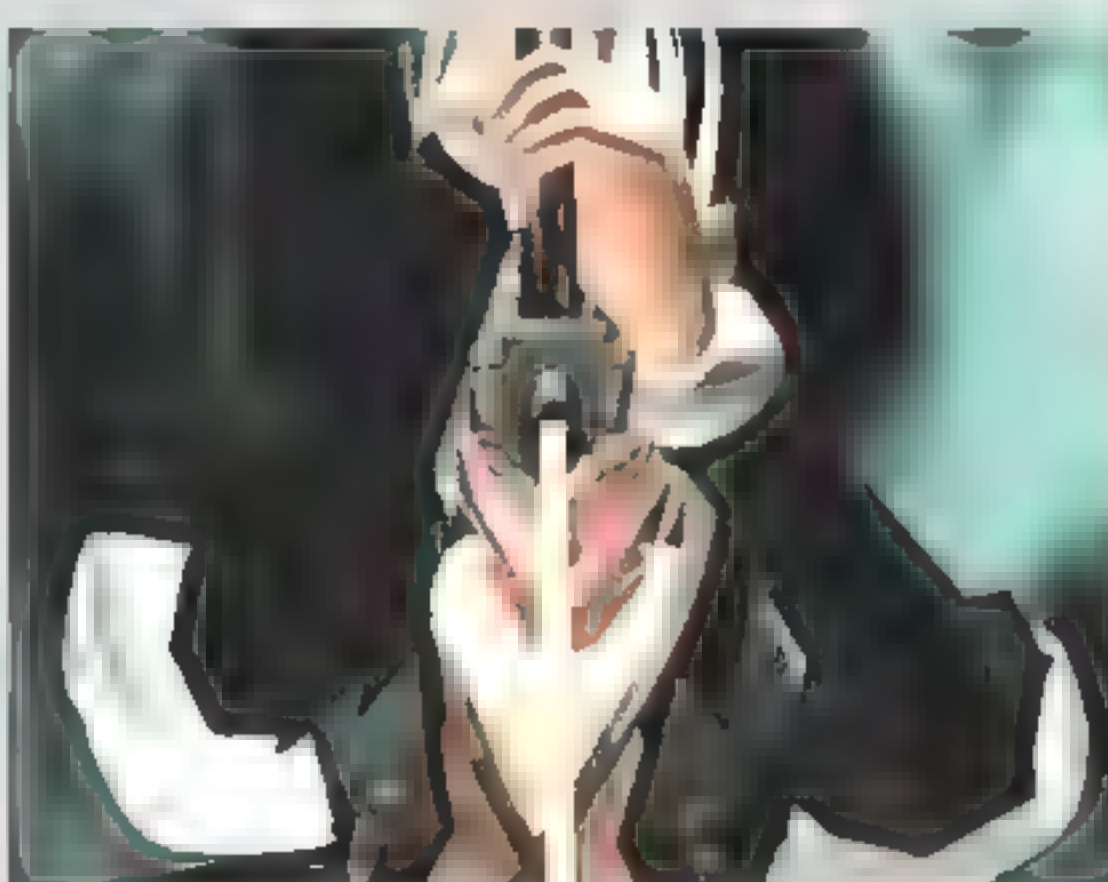
コスタ・デル・ソル行きの輸送船に現れ、船員を殺害し、ジェノバ・BIRTHとなってクラウドたちに襲いかかるセフィロス。その正体は神羅ビルから逃亡したジェノバの腕だったが、一行にはわけがわからず……。

"母"ジェノバとの再会

己の出生の秘密を知り、人類を敵と見なしたセフィロスは、ニブルヘイムを炎に包み、単身ニブル魔晄炉へ。その最深部に格納されていた"母"——ジェノバの首を手に入れる。

お前はリユニオンしないのか?

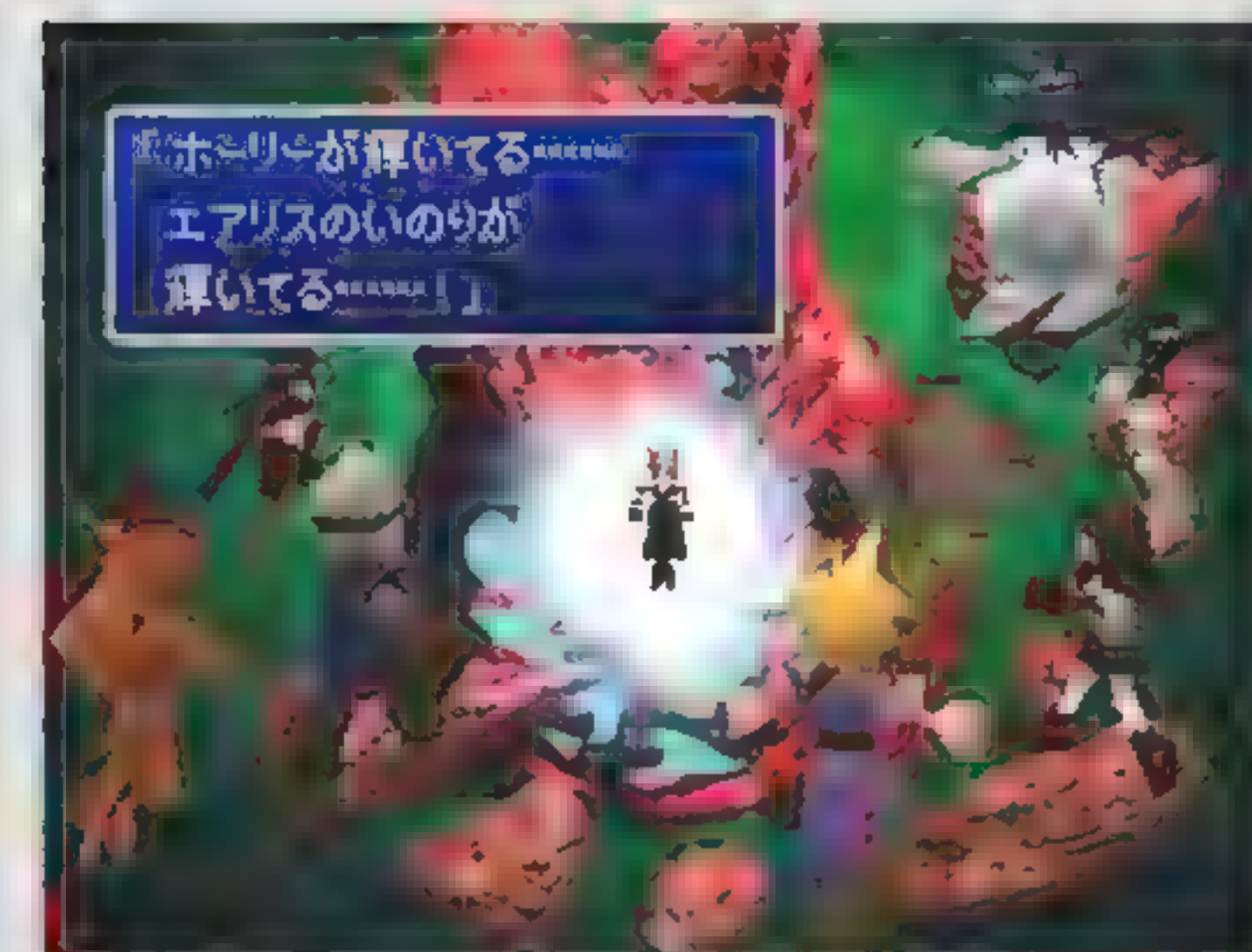
神羅屋敷にてクラウドに「リユニオン」——北の大空洞で復活しつつある本体との一体化を呼びかける。各地のセフィロス・コピーたちも、同じ指示のもと動き出そうとしていた。

黒マテリアを求めて

ツォンに重傷を負わせて古代種の神殿の最深部に向かったセフィロスは、自分の目的を一行に明かす。それは、神殿に眠る黒マテリアで究極の破壊魔法メテオを発動させて星の命を奪うというもので、クラウドもその計画に加担させられてしまう。

突き立てられた無情の刃

メテオに対抗しうる唯一の魔法、ホーリー。その発動を恐れたセフィロスは、忘らるる都の水の祭壇にて、いままさにホーリーを発動させんとしていたエアリスの背に正宗を向ける——!

再生と覚醒

セフィロスの本体は、ライフストリームが渦巻く北の大空洞にて再生されつつあった。クラウドをあやつり黒マテリアを受け取った彼はついに目覚め、メテオを発動させてしまう。

最後に立ちはだかる"星の敵"

星の体内で完全復活をとげ、ライフストリームを吸収して、より強大な存在となったセフィロス。ホーリーの発動をはばみ、メテオが地表に激突する瞬間を待ちながら、クラウドたちの挑戦を受ける。

神羅カンパニー関係者

プレジデント神羅
President Shinra

神羅カンパニーの社長。早期から魔晄エネルギーに目をつけ、神羅を世界一の企業に成長させた。抵抗勢力のアバランチを物理的・社会的に抹殺し、古代種のエアリスを利用して魔晄エネルギーを独占しようと動きはじめた矢先、セフィロス(の姿をしたジェノバ)に命を絶たれる。

Memorial Words

「そうだな。キミたちウジ虫を始末するには
高価すぎる花火ではあるが……」
── 伍番魔晄炉:魔晄炉を爆破したアバランチを始末しようとして

「おやおや、知らないのか?
最近では金と力さえあれば夢はかなうのだ」
── 神羅ビル:バレットたちにネオ・ミッドガル構想を語り

スカーレット
Scarlet

「キャハハ」と笑いながら冷酷な命令をくだす、神羅幹部の紅一点。バレットの故郷と右腕を奪った張本人でもある。兵器開発部門の統括者で、魔晄キャノン「シスター・レイ」の生みの親。

Memorial Words

「さ、楽しいショウが始まるわよ。
キャハハハハ!」
── 神羅ジュノン支社:報道陣の前でティファをガス室に送り

ハイデッカー
Heidegger

「ガハハ」と下品な笑いかたをする、神羅治安維持部門統括。上に取り入ることだけが得意の無能者で、ルーファウスの社長就任後は軽んじられ、クラウドたちに怒りの矛先を向ける。

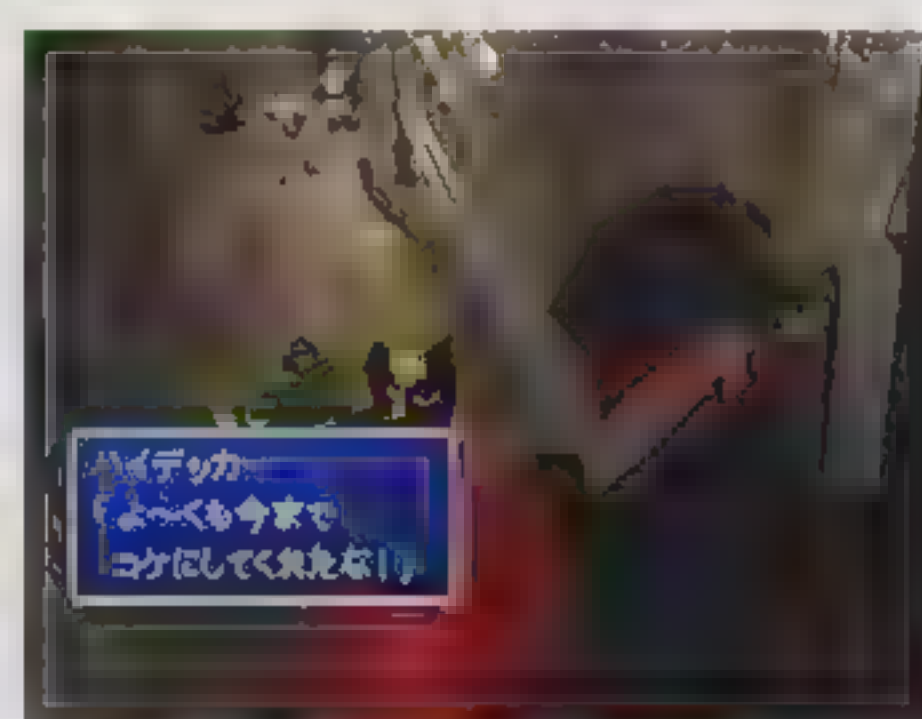
Memorial Words

「おまかせ下さい! ガハハハハハハ!」
── ジュノン港:クラウドたちを始末するとルーファウスに宣言し

※左からスカーレット、ハイデッカー、宝条、パルマー、リーブ

Memorial Scene

息の合ったガハキャハコンビ

ともに高笑いが特徴的なスカーレットとハイデッカー。ハデさを好む点も共通しており、ヒュージマテリアを集めてメテオにぶつける作戦を共同で進めていくほか、物語終盤には新型兵器プラウド・クラッドに同乗してクラウドたちの行く手をはばむ。

宝条
Hojo

高名なガスト博士が神羅を去ったのを受け、科学部門統括の座に就いた科学者。前任者からジェノバ・プロジェクトを引き継いでセフィロスを誕生させ、その再生を期してセフィロス・コピー実験を行なうなど、非人道的な行為をくり返す。

Memorial Words

「クックックッ……素晴らしい……。
私の実験がパーフェクトに成功したわけだな」
── 北の大空洞:セフィロスの言いなりになるクラウドを見て、リユニオン仮説が実証されたと喜び

Memorial Scene

狂気に堕ちた科学者の真意

物語の終盤に明かされるが、セフィロスは宝条の実子だ。宝条がジェノバ細胞の再統合(リユニオン)機能を利用してセフィロスの再生を図り、メテオ発動後は魔晄キャノンで力を送ろうとするのも、父親としての愛情が、ゆがんだ形で働いたからかもしれない。

パルマー
Palmer

丸々と太った神羅の重役。宇宙開発部門の統括だが、同部門の活動が凍結されていることもあって発言力は小さい。言動が子どもじみており、「うひょひょ」と奇声を上げるクセがある。

Memorial Words

「うひょ! お茶だ! わしにもちょうだい。
サトウとハチミツたっぷりで
ラードも入れてね」
── ロケット村:シエラに注文をつけ

Memorial Scene

トラックにはねられても平気!?

ロケット村でのクラウドたちとのバトルで、身体をくねらせたりお尻をペンペンしたりと、奇妙な動作で笑いを誘うパルマー。最後は自分で呼んだ警備兵のトラックにはねられ、これでオシマイと思いきや、のちにピンピンした姿で再登場する。肉の鎧のおかげで命拾いした?

リーブ
(リーブ・トゥエスティ)
Reeve Tuesti

都市開発部門を統括する生真面目な男。無生物に命を吹きこむ能力を持ち、ケット・シーを遠隔操作してクラウドたちの動きを探っていた。ミッドガルへの愛着が強く、無数の市民をテロに巻きこんだバレットに対し、釈然とせぬ思いを抱いている。

Memorial Words

「しかし、私は都市開発責任者として
ミッドガルの建造、運営のすべてに
かかわってきました。ですから……」
── 神羅ビル:重役会議で七番プレート落下作戦に反対し

※左からイリーナ、ツォン、ルーファウス神羅、ルード、レノ

▼ルーファウス神羅&タークス全身画(着色前)

ルーファウス神羅 *Rufus Shinra*

プライドが高く独善的な、プレジデント神羅の息子。副社長ながら父と対立し、長期出張という名目で左遷されていた。父が死ぬと即座に跡を継ぎ、セフィロスの追跡を開始。メテオ発動後は、ウェポンとセフィロス両方の打倒に向けて奮闘する。

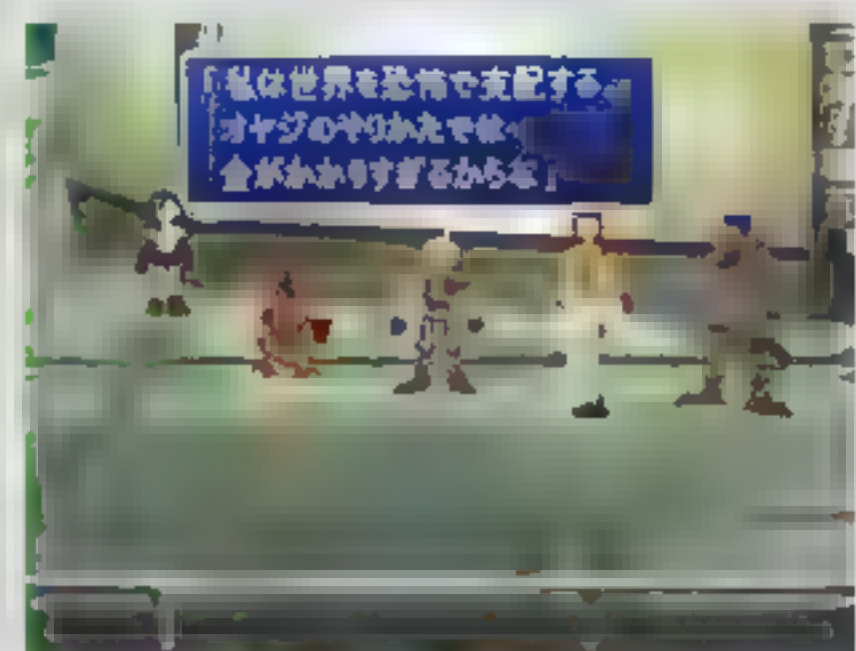
Memorial Words

「おろかな民衆のために金を使う必要はない。私はオヤジとはちがうのだ」
―― 神羅ビル:クラウドたちに新社長としての抱負を語り

「その笑いかたはやめろ。もうオヤジのときのようにはいかないからな」
―― ジュノン:笑ってその場を取りつくろおうとするハイデッカーをさえぎり

Memorial Scene

父とはひと味ちがう? 2代目

「恐怖で人々を支配する」とクラウドたちに宣言し、自分は父とちがうとうそぶくルーファウス。もっとも、演説好きな点は父ゆずりで、"約束の地"を手に入れようとする点も同じ。しかも最終的には、軽視していた民衆を守るべくひと肌脱ぐことに。

ツォン *Tseng*

神羅カンパニー総務部調査課、通称「タークス」を仕切る、冷静沈着なリーダー。部下のレノたちにクラウド一行を追わせる一方、"約束の地"を探してセフィロスの動向を調べる。長きにわたって第一線で活躍しており、エアリスとは古くからの知り合い。

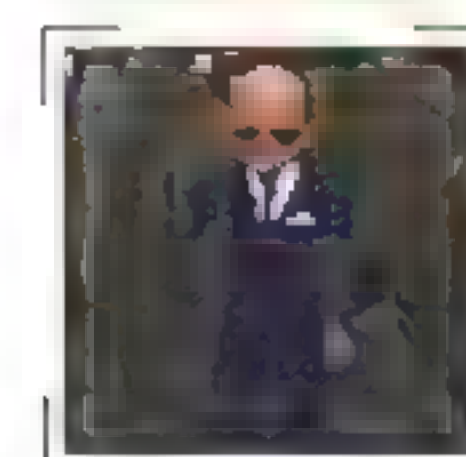
Memorial Words

「エアリス……久しぶりだな」
―― ミスリルマイン:エアリスの姿を確認して

レノ *Reno*

スピーディな動きを身上とするタークスのエース。「～だぞ、と」を語尾につけて話すクセがある。一見軽薄だが職務には忠実で、古くからの相棒であるルードとともに、数多くの任務をこなしてきた。公私のケジメはしっかりつけるのがポリシー。

Memorial Words

「いや、今日は非番だ、と」
―― ウータイ:敵対するクラウドたちと共闘後、彼らをあえて見逃し

ルード *Rude*

スキンヘッドが特徴の巨漢。レノと昔からコンビを組んでおり、ともにクラウドたちを追う。寡黙で無表情だが、情に厚くて仲間思い。ティファにひそかに好意を抱いている。

Memorial Words

「……ふむな」
―― ロケット村:クラウドに倒されたあげくに踏まれて

イリーナ *Elena*

新米のタークスメンバー。念願のタークス入りを果たしたためやる気に満ちており、レノたち先輩の仕事への態度を不真面目と感じてやきもきするが、彼女自身おっちょこちょいで、うっかり機密をもらすことも多い。ツォンにあこがれめいた想いを寄せている。

Memorial Words

「タークスの意地と心意気！受け取りなさい！」
―― 螺旋トンネル:クラウドたちの前に立ちはだかり

Memorial Scene

私のパンチをよけてみなさい!

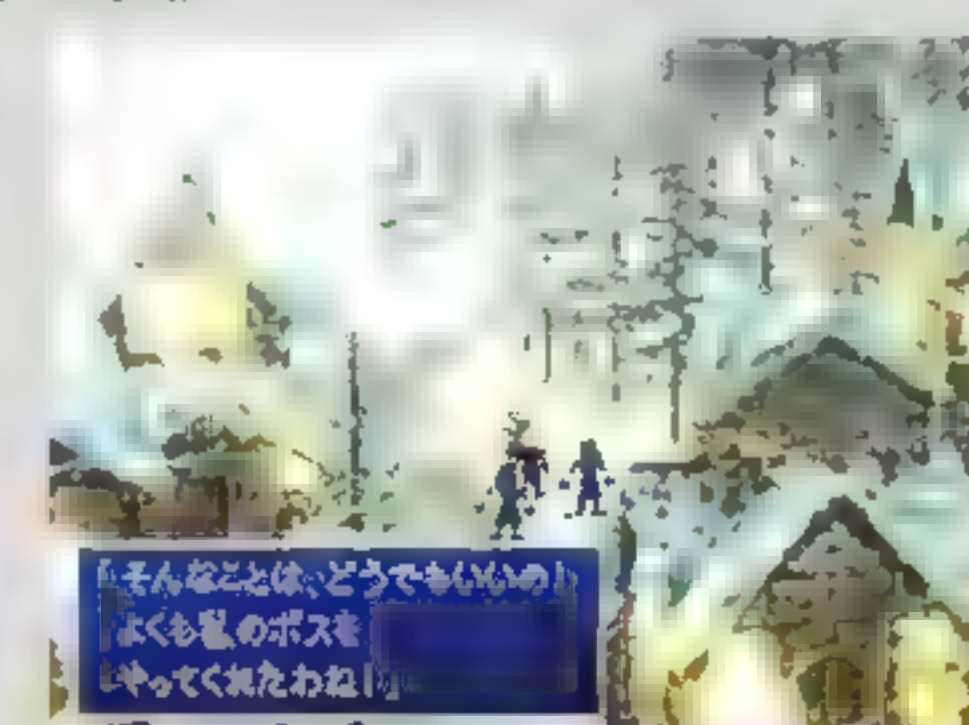
敬愛するツォンをクラウドたちに殺されたと早合点して、アイシクルロッジで渾身のパンチをくり出すイリーナ。プレイヤーの操作で避けることもできるが、避けなかった場合、クラウドがわざと自分の拳を受けたと深読みして動揺し、彼を放置して去っていく。

そのほかのキャラクター

▶ フィールド用デザイン画

Memorial Scene

クラウドの人格のベース

クラウドの体内のジェノバ細胞は、他者を模倣する能力を持つ。その力でコピーした対象は、クラウドがなれなかったソルジャーでありニブルヘイムに同行したザックスだった。物語序盤のクラウドの記憶は、ザックスのものなのだ。

ザックス
(ザックス・フェア)
Zack Fair

クラウドの親友でエアリスの初恋の人でもある、陽気なソルジャー・クラス1st。5年前、任地ニブルヘイムでセフィロスを止めようとして重傷を負ったのち、クラウドともども宝条の実験体にされ、神羅屋敷から逃亡中に始末された。

Memorial Words

「おまえを**放り出したり**はしないよ。
……**トモダチ**、だろ?」
── クラウドの回想(約3ヵ月前):逃亡中、魔晄中毒のクラウドに告げ

▶ 全身画

クラウドの母

クラウドが幼いころに夫を亡くし、女手ひとつで息子を育て上げた、ニブルヘイムの女性。5年前、神羅兵となって帰郷したクラウドを喜んで迎えるも、直後に起きた焼き討ち事件で命を落とす。

Memorial Words

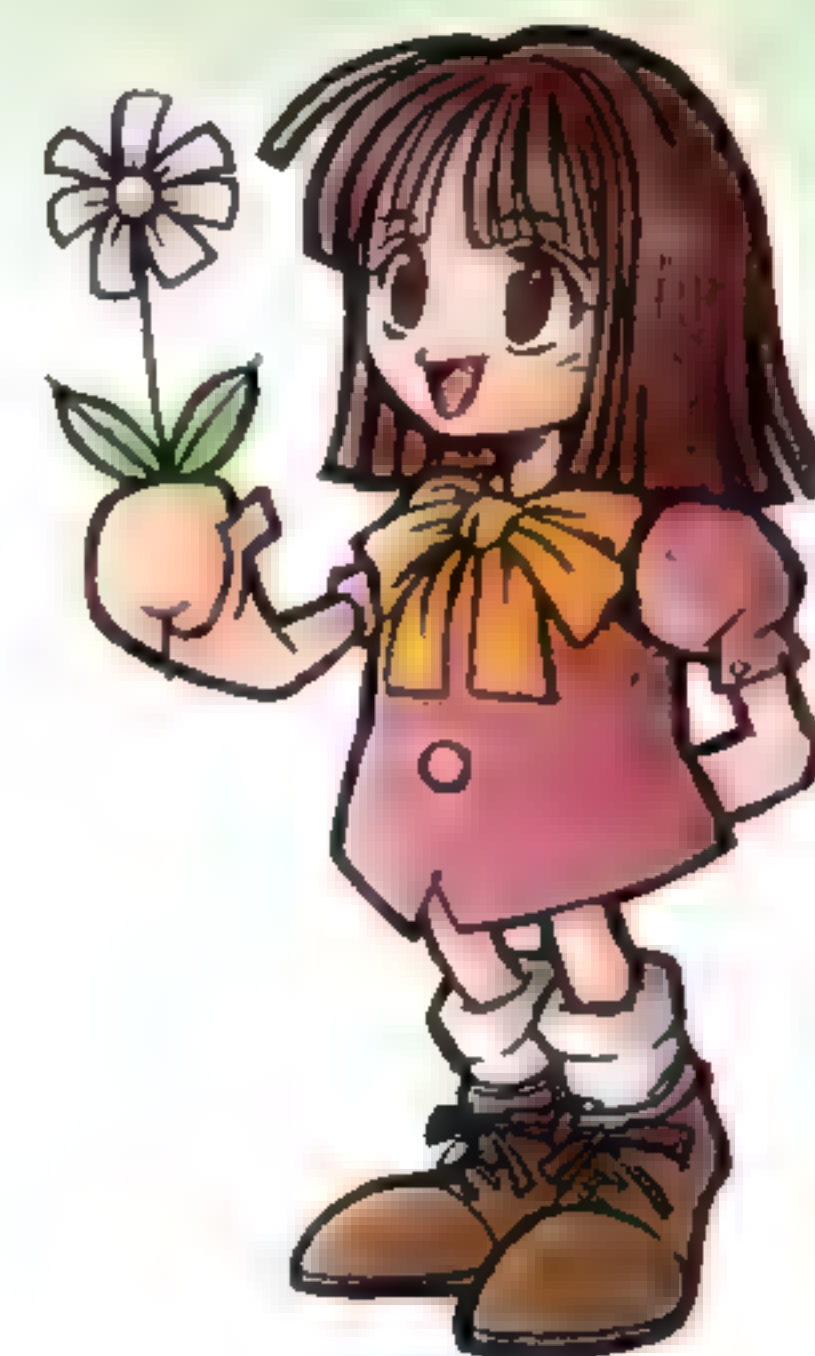
「どれどれ……。
晴れ姿、母さんにもよ~く見せておくれ」
── クラウドの回想(5年前):2年ぶりに息子クラウドと再会し

▶ 全身画

ティファパパ

ティファの父親で、ニブルヘイムの村長。ニブル山で娘が滑落した件以来、クラウドを良く思っていない。5年前、セフィロスを止めようとして返り討ちに遭う。

Memorial Words

「クラウド!
どうしてこんなところへ
ティファを連れだしたりしたんだ!」
── クラウドの回想(12年前):娘を危険な目に遭わせたとクラウドをなじり

マリン
(マリン・ウォーレス)
Marlene Wallace

4歳になる、バレットの養女。バレットの旧友ダインの娘だが実父の記憶はなく、バレットを「とうちゃん」と慕う。幼いのにしっかり者で、ひとりでセブンスヘブンの店番をすることも。

Memorial Words

「**とうちゃん、**
おかえり!」
── セブンスヘブン:帰宅したバレットを出迎えて

「**お花**のおねえちゃん?」
── エンディング:エアリスの気配を感じ取り

▶ 全身画(ラフスケッチ)

Memorial Scene

マリンはおませな女の子

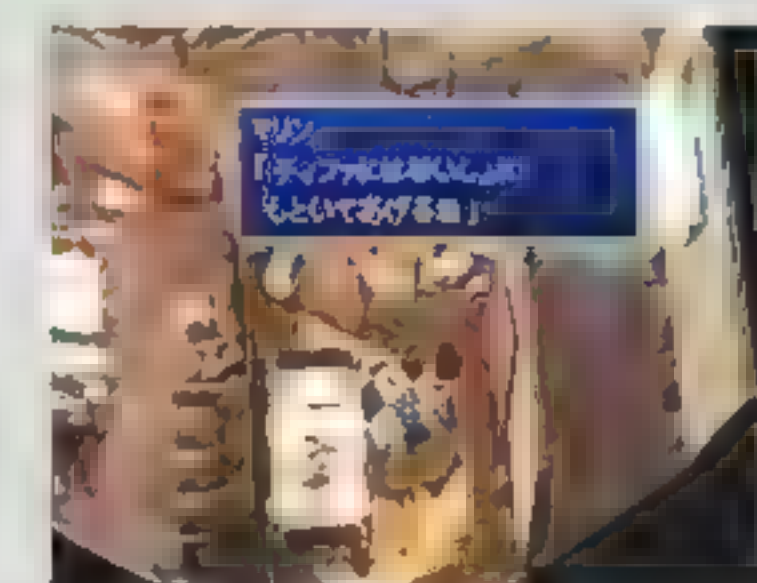
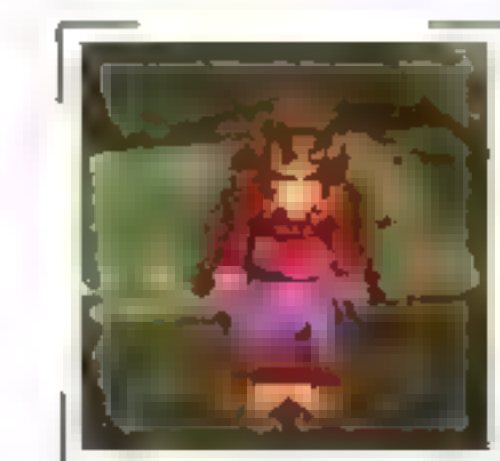
まだ4歳なのに、マリンはおしゃまで女心に敏感。エアリスがクラウドに好意を持っていることを見抜いて彼に報告し、「ティファには内緒にしておく」と一人前に気をまわすひと幕も。

▶ 全身画(ラフスケッチ)

エルミナ
(エルミナ・ゲインズブール)

伍番街スラムに住むエアリスの養母。15年前、出征中の夫の帰りを待つなかで瀕死のイファルナと出会い、彼女の遺言を受けて、当時7歳だったエアリスを引き取った。きっぷの良い肝っ玉母さんで、幸薄いエアリスを不憫に思い、彼女の幸せを願っている。

Memorial Words

「おまえ、また**狙われた**のかい!?」
── エアリスの家:クラウドをともない帰宅したエアリスを迎え

イファルナ

アイシクルロッジにいた古代種の女性。神羅の科学者ガストと結ばれてエアリスを産むが、宝条に夫を殺され、娘ともども拉致された。7年後、逃亡を図るも負傷し、娘をエルミナに託してこの世を去る。

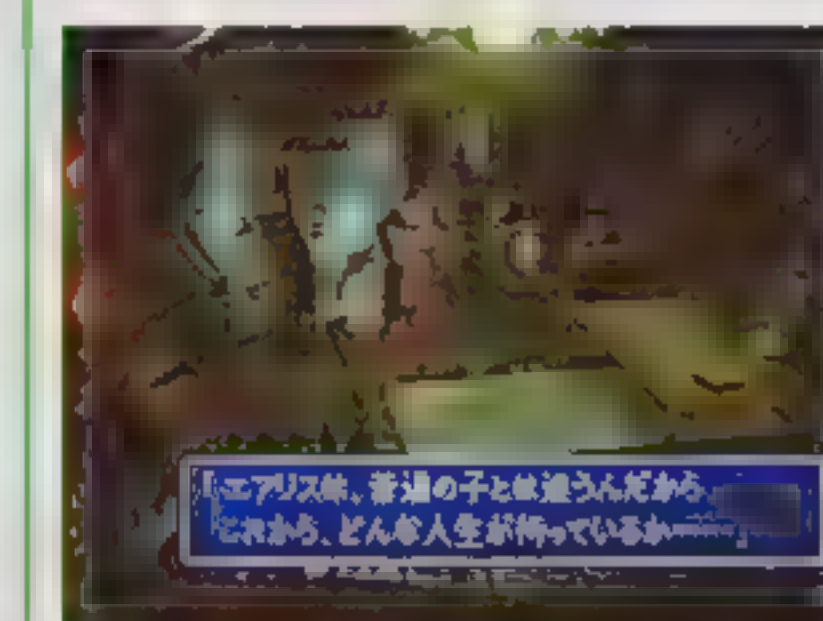
Memorial Words

「あなた……わたし、**今**とっても**幸せ**よ。
あなたに会わなければわたし……」
── アイシクルロッジ(映像):娘の寝顔を見ながら夫ガストと語り合い

▶ 全身画

Memorial Scene

ビデオに残るふたりの足跡

イファルナを取材したガストは、ジェノバや古代種に関する己の認識ミスに気づくと同時に、彼女と愛を深めていった。当時ふたりが住んでいた小屋には、取材の模様や夫婦の幸福な生活、そしてその終焉までを記録したビデオが残っている。

ザンガン

ティファの師匠。ザンガン流格闘術を編み出した武闘家で、全国に128人もの弟子を持つ。ニブルヘイムに滞在中、ティファに格闘術の手ほどきをして間もなく焼き討ち事件に遭い、重傷を負った彼女を助けてミッドガルへ運んだ。

Memorial Words

「ティファはセンスが良いな。
彼女は強くなるぞ」

── クラウドの回想(5年前):クラウドと会話し

全身画(着色前)

ダイン

左腕に銃の義手をはめた、コレルプリズンの"ボス"。バレットの旧友で、マリンの実父にあたる。4年前、コレル村への魔晄炉建設に反対するも押し切られたうえ、村を神羅に焼かれて狂気におちいった。

Memorial Words

「与えられるのは銃弾と不条理……
残されるのは絶望と無の世界……それだけだ!!」

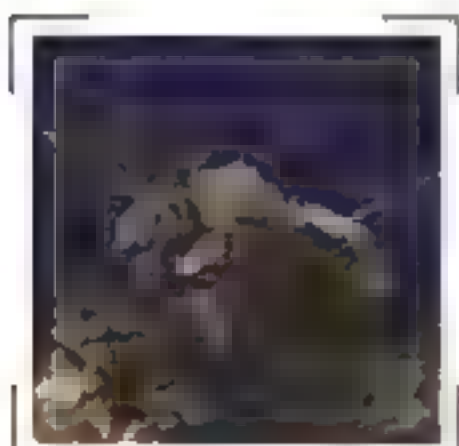
── コレルプリズン:4年ぶりに再会したバレットに向かって

Memorial Scene

すべてに絶望した男の末路

コレル村焼き討ちのときにこの世界すべてに絶望し、ゴールドソーサーで無差別発砲事件を起こしたダイン。彼はマリンをも亡き妻のもとへ送ると言ってバレットに1対1の戦いを挑んだが、最期は正気を取りもどし、娘のことを旧友に託して、崖から身を踊らせるのだった。

全身画

妻エレノアの形見のペンダント

セト

レッドXIIIの父親。ギ族がコスモキャニオンに襲来したさい前線から姿を消したため、レッドXIIIに「臆病者」と長年誤解されていた。実際は、敵の挟撃を防ぐべく、村の裏口にあたる洞窟へおもむき孤軍奮闘。ギ族の毒矢を無数に受けて石と化したが、いまなお村を守りつづけている。

全身画

全身画

ブーゲンハーゲン

レッドXIIIが「じっちゃん」と慕う、コスモキャニオンの博識な老人。ライフストリームの循環理論「星命学」の大家として名高い。130歳と高齢だが好奇心旺盛で、物語終盤には外の世界を見たいと言って一時的にクラウドたちに同行する。

Memorial Words

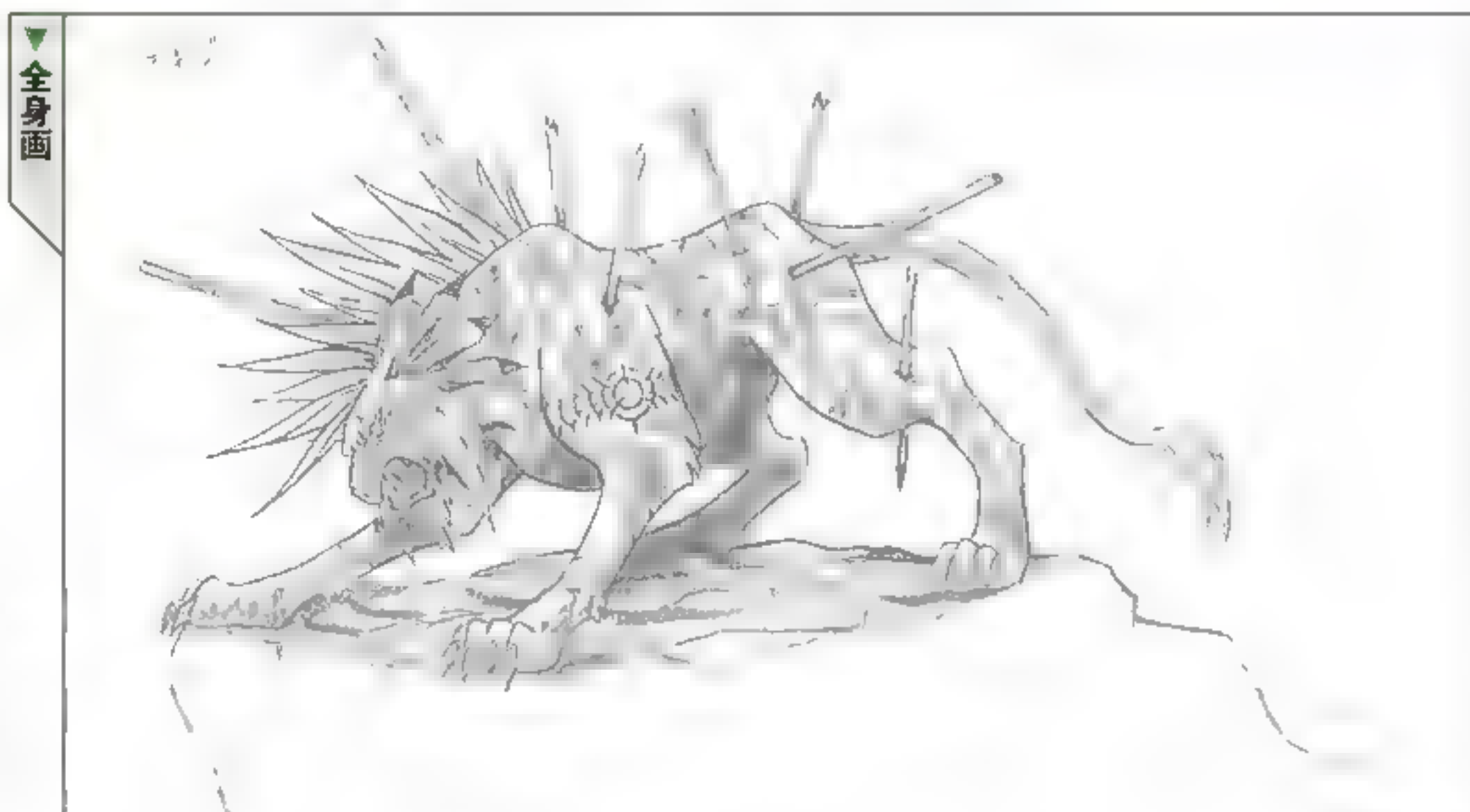
「ホーホーホウ。
ナナキがちょっとだけ世話になったようじゃの」

── コスモキャニオン:クラウドたちにあいさつして

Memorial Scene

自慢のプラネタリウム

ブーゲンハーゲンは、自宅に特製プラネタリウムを設置している。これは、宇宙の星々を表現し、星の命がいかにして循環するかを立体映像で示した自慢の装置。村を訪れたクラウドたちにもこの装置を使い、星命学の教えを説いた。

全身画(着色前)

ゴドー
(ゴドー・キサラギ)

ユフィの父親。ウータイの統治者で、同国を守る五強聖最強の「総」の戦士でもある。神羅に敗戦して以来、国が落ちぶれるにまかせて怠惰な生活を送ってきた。娘に「グータラ親父」と軽蔑される一方、彼も娘を「不良ムスメ」と呼び、親子間でケンカが絶えない。

Memorial Words

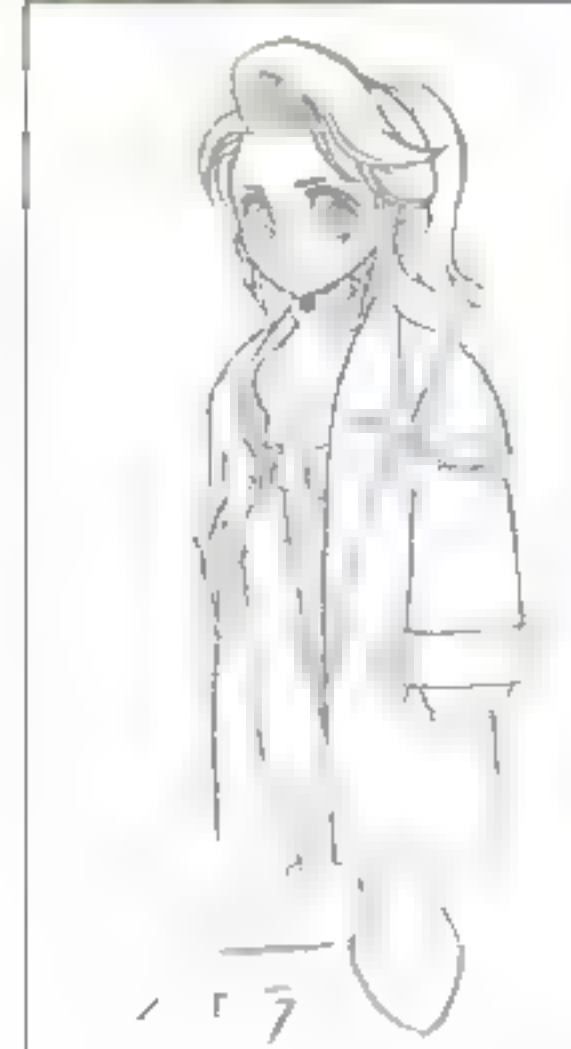
「セ、センス……? ポリーシー……?
そんなヨコ文字までつかいおって!
この……この不良ムスメが!」

── ウータイ:娘のユフィと自宅でロゲンカし

Memorial Scene

グータラ親父の真の姿

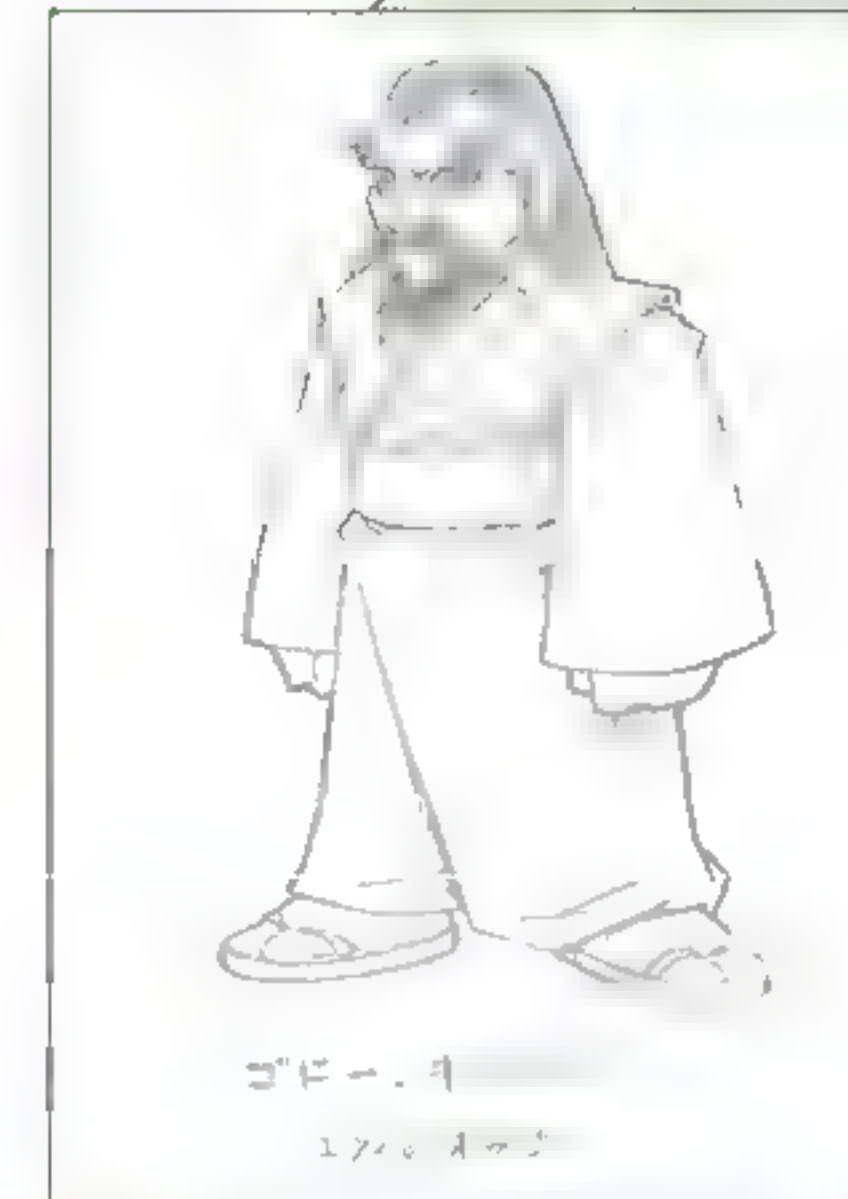
強い戦士であるゴドーが神羅に表立って抵抗しないのは、力が戦いを呼んで国土を荒廃させる事態を恐れてのこと。だが、国を想うユフィの真剣さを知り、ユフィも父の本当の姿に触れて、親子は和解。ゴドーは復興資金かせぎの期待もこめ、改めて娘を旅に送り出す。

全身画

シエラ
Shera

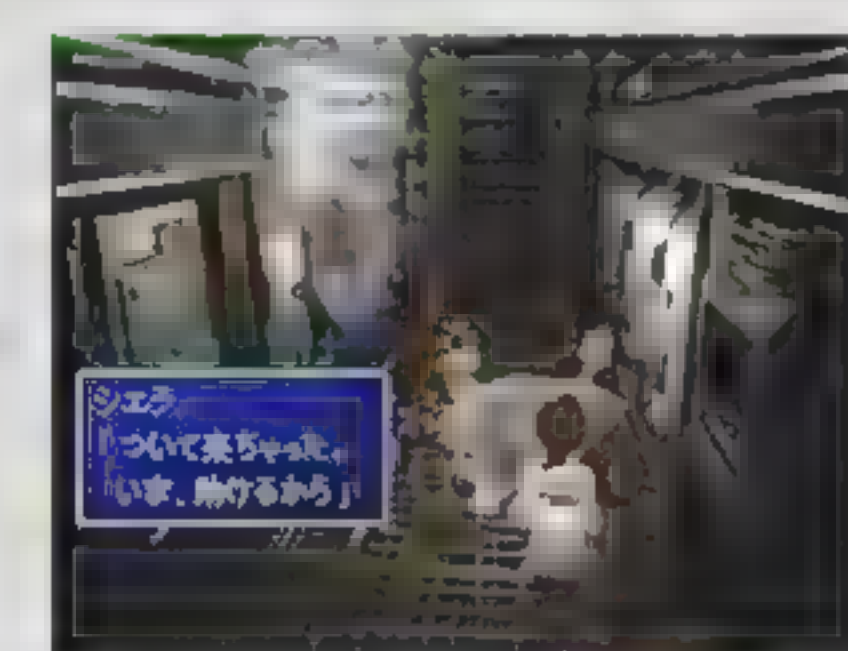
シドより2歳年上の女性メカニック。4年前のロケット打ち上げのさい、点検のために無断でエンジン部に残って発射停止の事態を招き、結果的にシドの宇宙への夢を奪った。罪ほろぼしに彼と同居し、罵声に耐えつつ身のまわりの世話をしている。

Memorial Words

「私がドジだからしょうがないんです。
私があの人の夢をつぶしてしまったから……」

── ロケット村:シエラへのシドの態度に憤慨するクラウドたちを取りなして

Memorial Scene

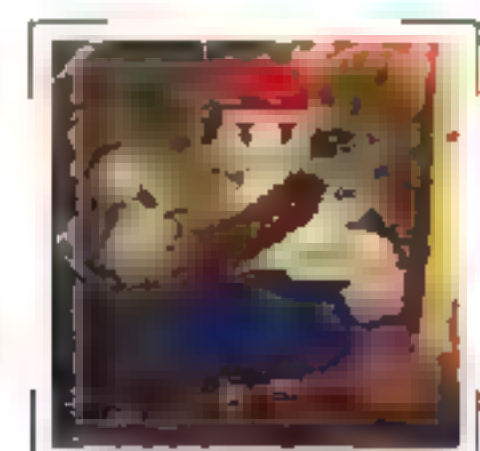
シエラとシドの和解

シエラがロケットのエンジン部に残ったのは、8番ボンベの不調を疑ったためだ。その考えの正しさは物語終盤に証明され、シドも長年の暴言を謝罪。『FFVII』の3年後を描く『ダージュ オブ ケルベロス -FFVII-』では、ふたりが結婚したことが示唆される。

▶全身画(着色前)

ビッグス

バレットが旗揚げした反神羅組織「アバランチ」の一員。真面目でまっすぐな性格をしており、星の命を救わねばと真剣に考えている。面倒見は良いが、先輩後輩の区別をハッキリさせたがり、酒に酔うと人にからむのが難点。

Memorial Words

「星の命……ちょっとはのびたかな」
——壱番魔晄炉:魔晄炉を爆破し終えて

ウェッジ

腰が低く、「〜っす」を語尾につけるクセがあるアバランチメンバー。心優しくお人好しで、過激な活動には抵抗感を持つ。ティファの料理を試食しすぎて、最近太り気味なのが悩み。

Memorial Words

「クラウドさんっ!! 俺にも
明るい未来がまってるっすよね?」
——列車内部:壱番魔晄炉を爆破した帰りにクラウドに語りかけ

▶全身画(着色前)

ジェシー

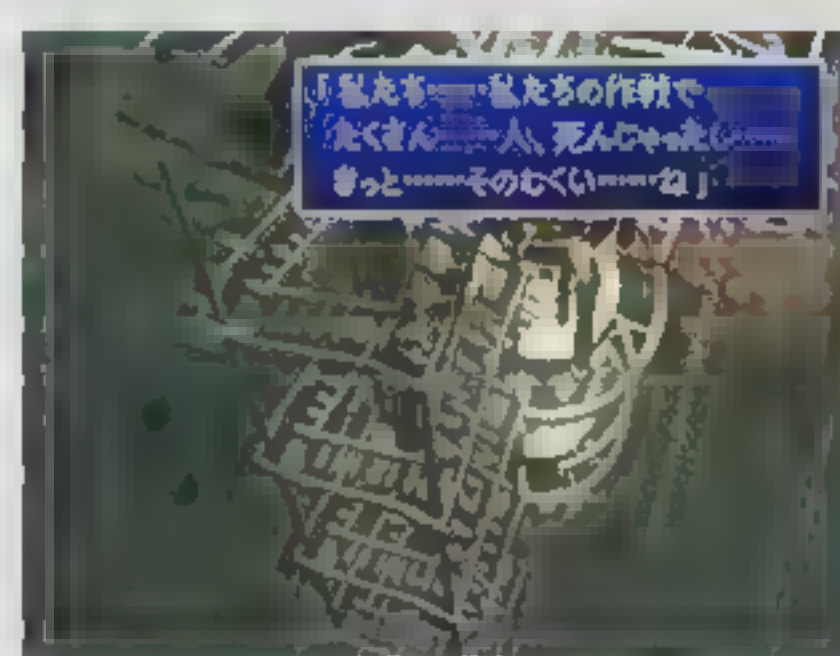
敏腕ハッカーで、IDカードの偽造や爆弾作りもお手の物とする、アバランチの女性メンバー。壱番魔晄炉爆破任務でクラウドに助けられ、彼に好意を抱く。少々抜けたところがあり、「うかつ」がログセ。

Memorial Words

「う♥か♥つ♥……なんだか、ドキドキしてる」
——セブンスヘブン:クラウドに話しかけられて

Memorial Scene

プレート支柱での最期の言葉

アバランチの3人は、七番街のプレート支柱を守る戦いで負傷し、最期にクラウドに思い思いのことを告げる。ビッグスは星の命にまだ興味はないかと尋ね、ウェッジは自分の名を覚えてもらえたことに感謝し、ジェシーは魔晄炉爆破への後悔を口にするのだ。

▶全身画(着色前)

コルネオ
(ドン・コルネオ)

ミッドガルスラムの花街「ウォールマーケット」の元締め(ドン)。女に目がなく、毎晩ちがう娘を選んで相手をさせている。神羅にアバランチの情報を流したが、クラウドたちにおどされて七番プレート落下計画をバラすと、今度は神羅に追われる身に。

Memorial Words

「どのおなごにしようかな? ほひ〜ほひ〜!」
——コルネオの館:ティファ、エアリス、女装したクラウドを物色しながら

「俺たちみたいな悪党が、こうやって
べらべらとホントのことをしゃべるのは
どんなときだと思う?」
——コルネオの館:クラウドたちをワナにハメる直前に3択の質問を出して

▶全身画(着色前)

▶全身画(初期デザイン)

Memorial Scene

はるばるウータイへヨメ探し

神羅に追われてウータイへ逃げこんだコルネオは、クラウドたちのマテリアを盗んで逃走中のユフィと、休暇で同地を訪れていたイリーナのふたりをつかまえてしまう。それは人質にするため……ではなく、自分のヨメにするため。どうにもこりないお人だ。

プリシラ

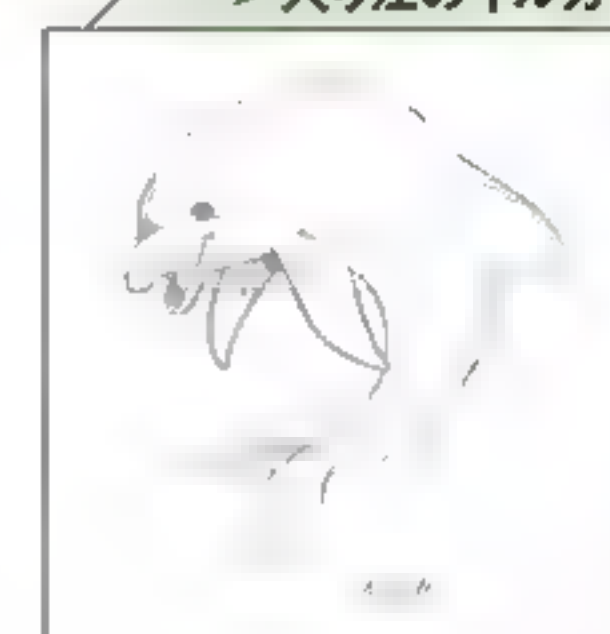
貧しい漁村アンダージュノンで祖父と一緒に暮らす少女。愛する村と海を汚した神羅を憎んでいる。魔物に襲われ海でおぼれたところをクラウドに人工呼吸で助けられて恋に落ち、親友のイルカを通じて彼に力を貸す。

Memorial Words

「ねぇ〜! イルカさ〜ん!! わたしの名前はね
プ〜リ〜シ〜ラ! ハイ、言ってみて」
——アンダージュノン:入り江でイルカに話しかけ

プリシラ Age 13

▶全身画

▶入り江のイルカ

チョコボせんにん

アイシクルエリアに住んでいる、風変わりな老人。チョコボのことなら何でも知っているが、思い出すのにとても時間がかかるのがタマにキズ。

Memorial Words

「思い出せんのぉ……」
——チョコボせんにんの家:クラウドたちからチョコボについて尋ねられて

▶全身画(初期設定)

FINAL FANTASY VII ファイナルファンタジーVII WORLD

北、東、西の3つの大陸と、それらの周囲に点在するいくつもの島々からなる世界。ミッドガルやジュノンといった大都市がある東の大陸は大部分が平原だが、西の大陸は砂漠、森林、峡谷など、地形の変化に富む。北の大陸は、一面が雪に閉ざされた銀世界だ。

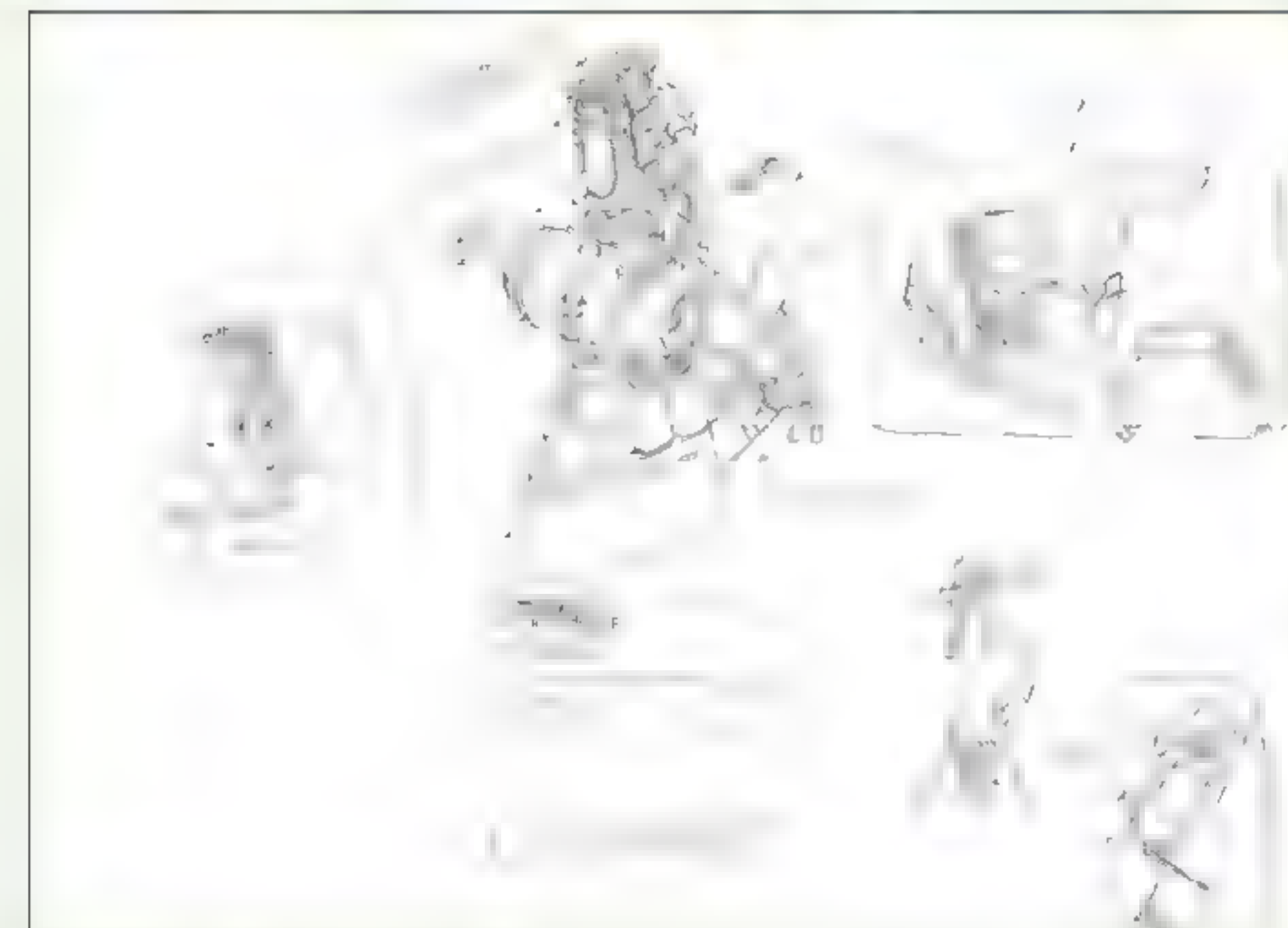
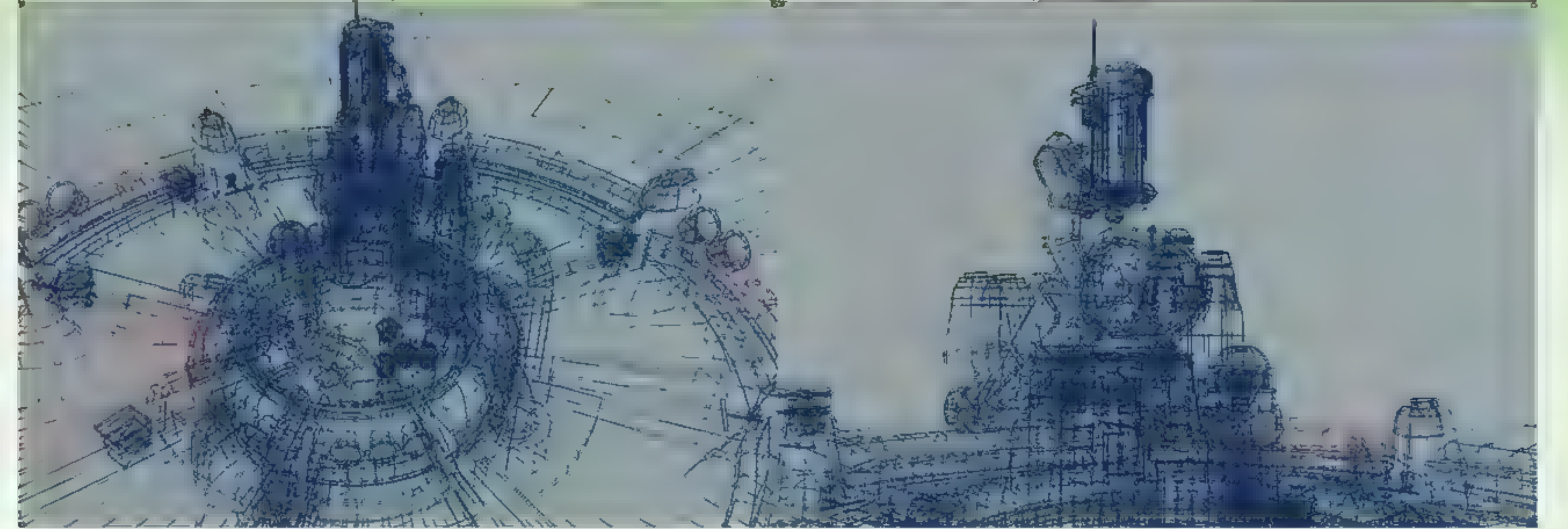
1. ミッドガル
2. カーム
3. チョコボファーム
4. ミスリルマイン
5. コンドルフォート
6. ジュノン
7. コスタ・デル・ソル
8. コレル山
9. 北コレル
10. ゴールドソーサー／コレルプリズン
11. オヤジ小屋
12. ゴンガガ
13. コスモキャニオン
14. ニブルヘイム
15. ニブル山
16. ロケット村
17. ウータイ
18. 武器職人の小屋
19. 古代種の神殿
20. ボーンビレッジ
21. 眠りの森
22. サンゴの谷
23. 忘らるる都
24. サンゴの谷洞窟
25. アイシクルロッジ
26. 大氷河
27. 竜巻の迷宮／北の大空洞
28. ミディール
29. チョコボせんにんの家
30. 古えの森
31. 神羅飛空艇
32. ルクレツィアのほこら
33. マテリアの洞窟(ミディール)
34. マテリアの洞窟(ウータイ)
35. マテリアの洞窟(ノースコレル)
36. マテリアの洞窟(ラウンドアイランド)

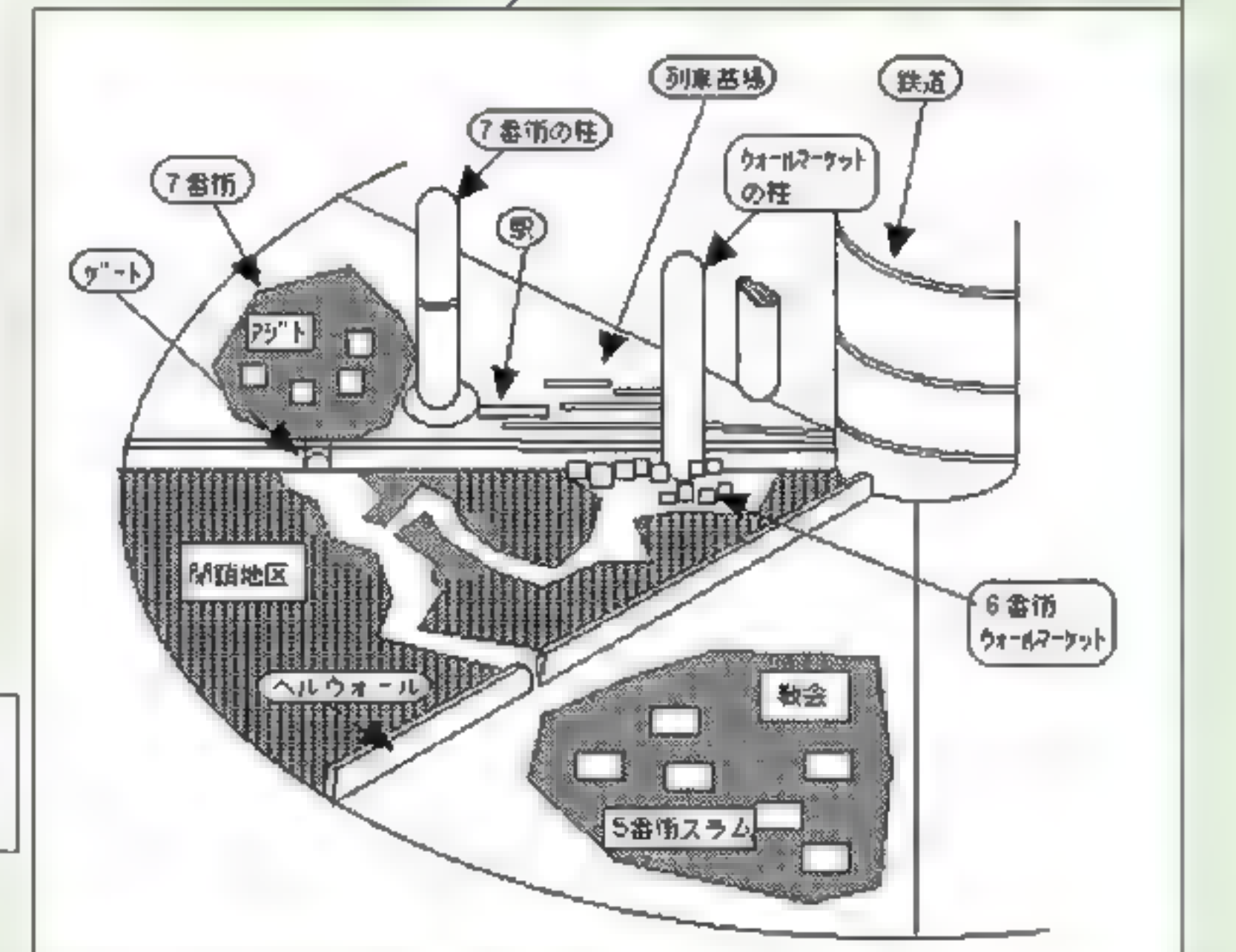
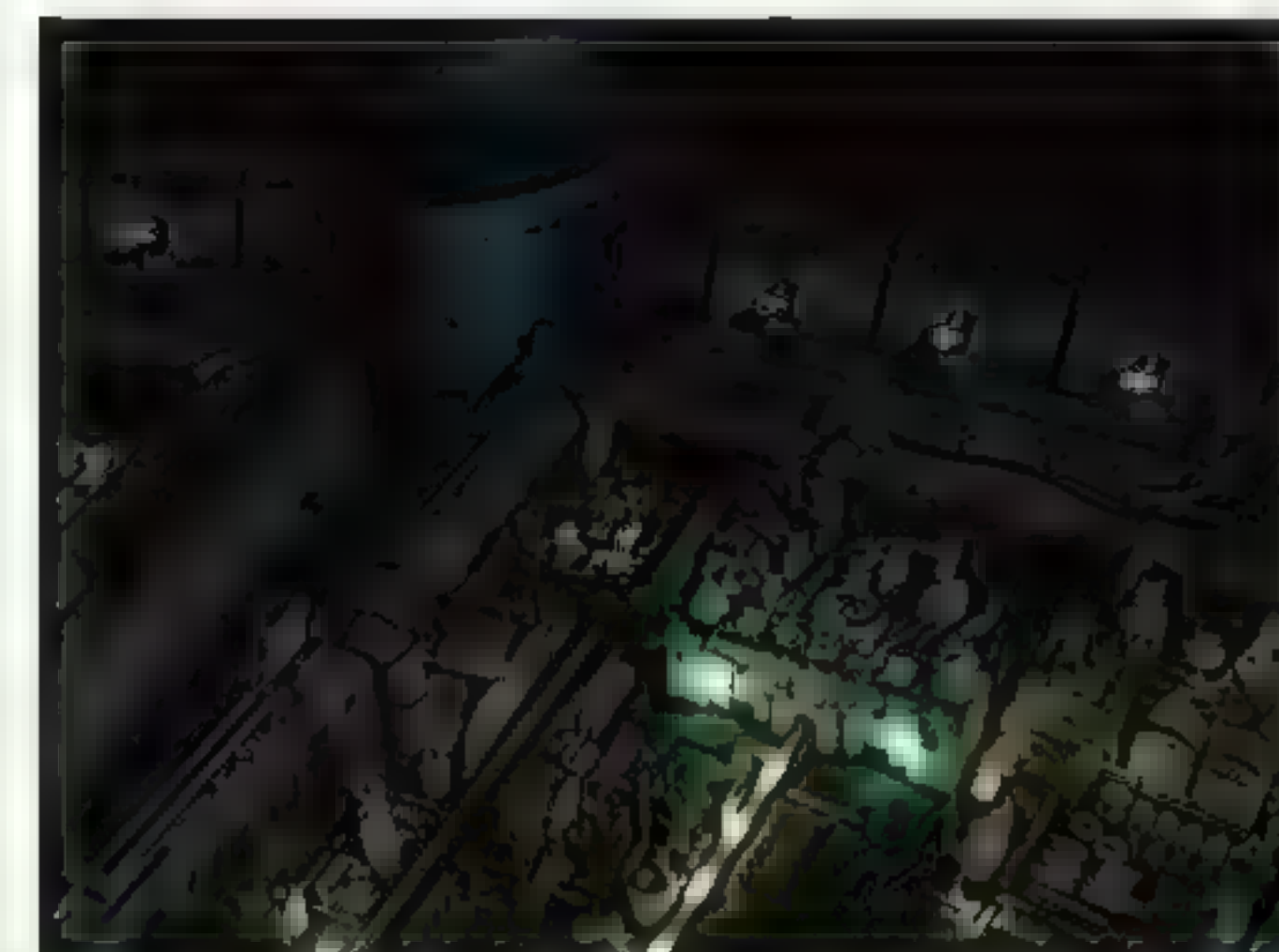
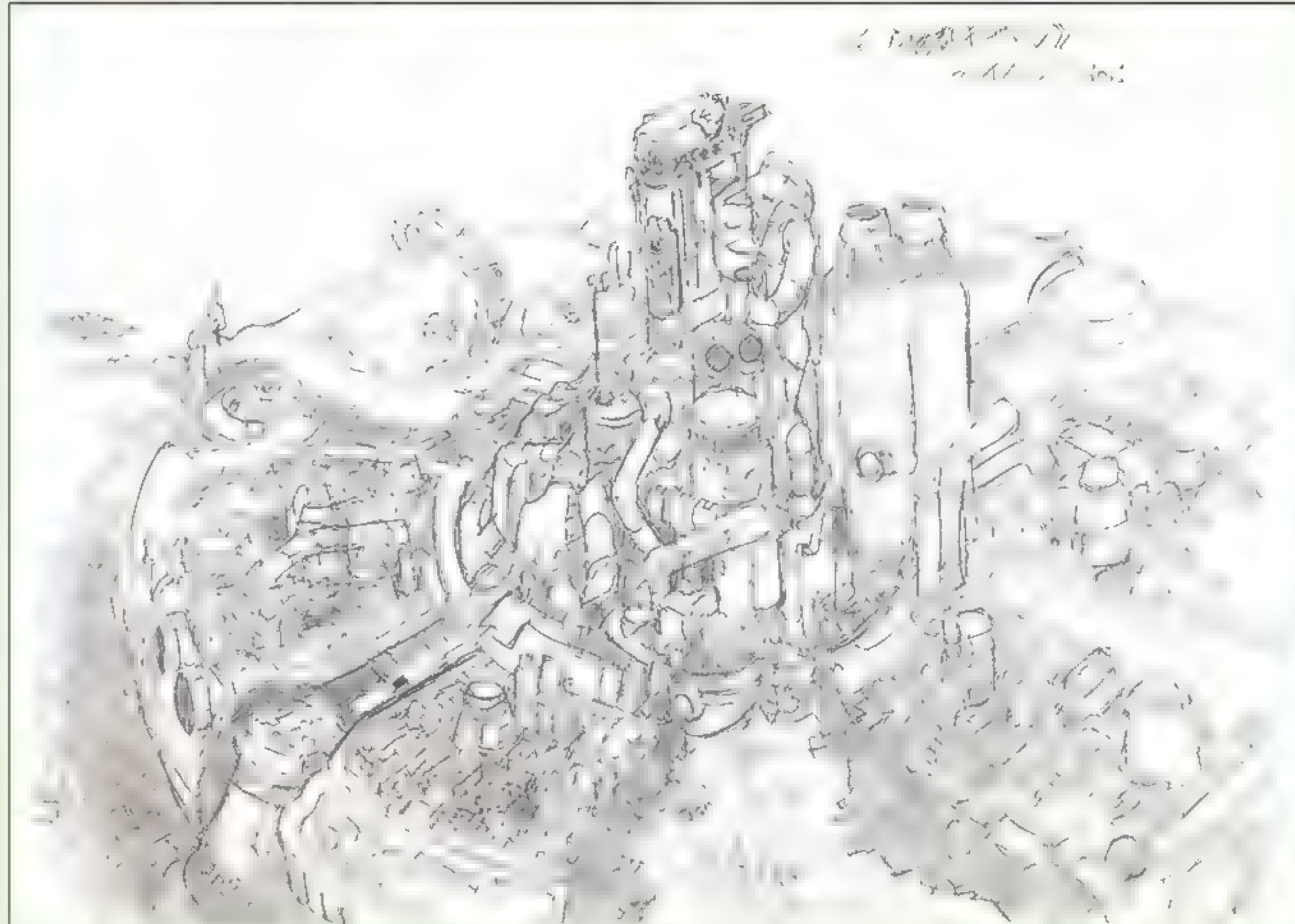
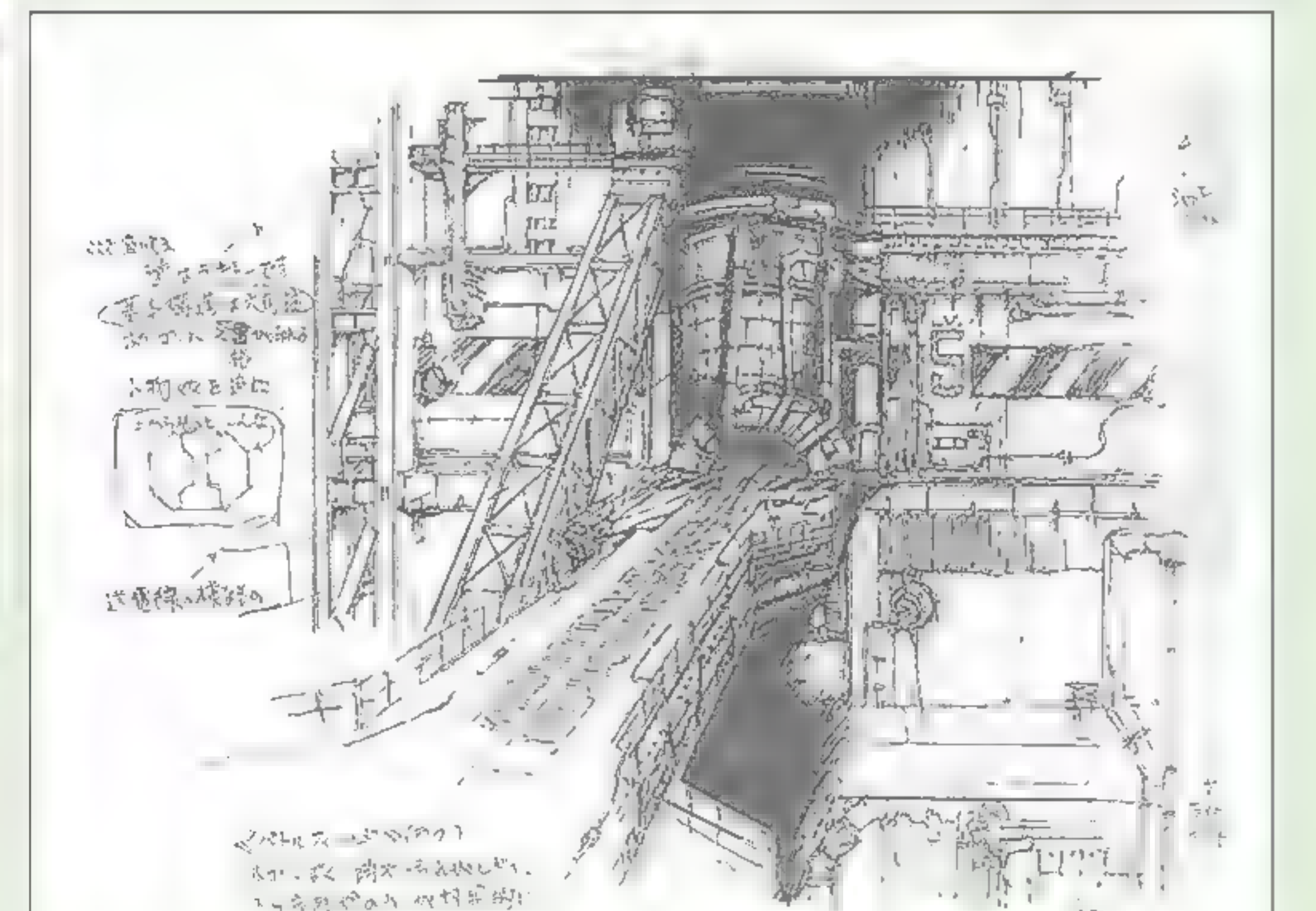
魔晄都市ミッドガル

世界一の大都市。中心には神羅カンパニーの本社ビルがあり、市街地の外周には8基の魔晄炉が建ち並ぶ。裕福な市民が住むプレート部と、貧困層がスラムで暮らす地上部にわかれていて、中央塔内を走る列車がプレート部と地上部を結んでいる。開発初期には「ザマル」という仮称で呼ばれていた。

▶全景(CG)

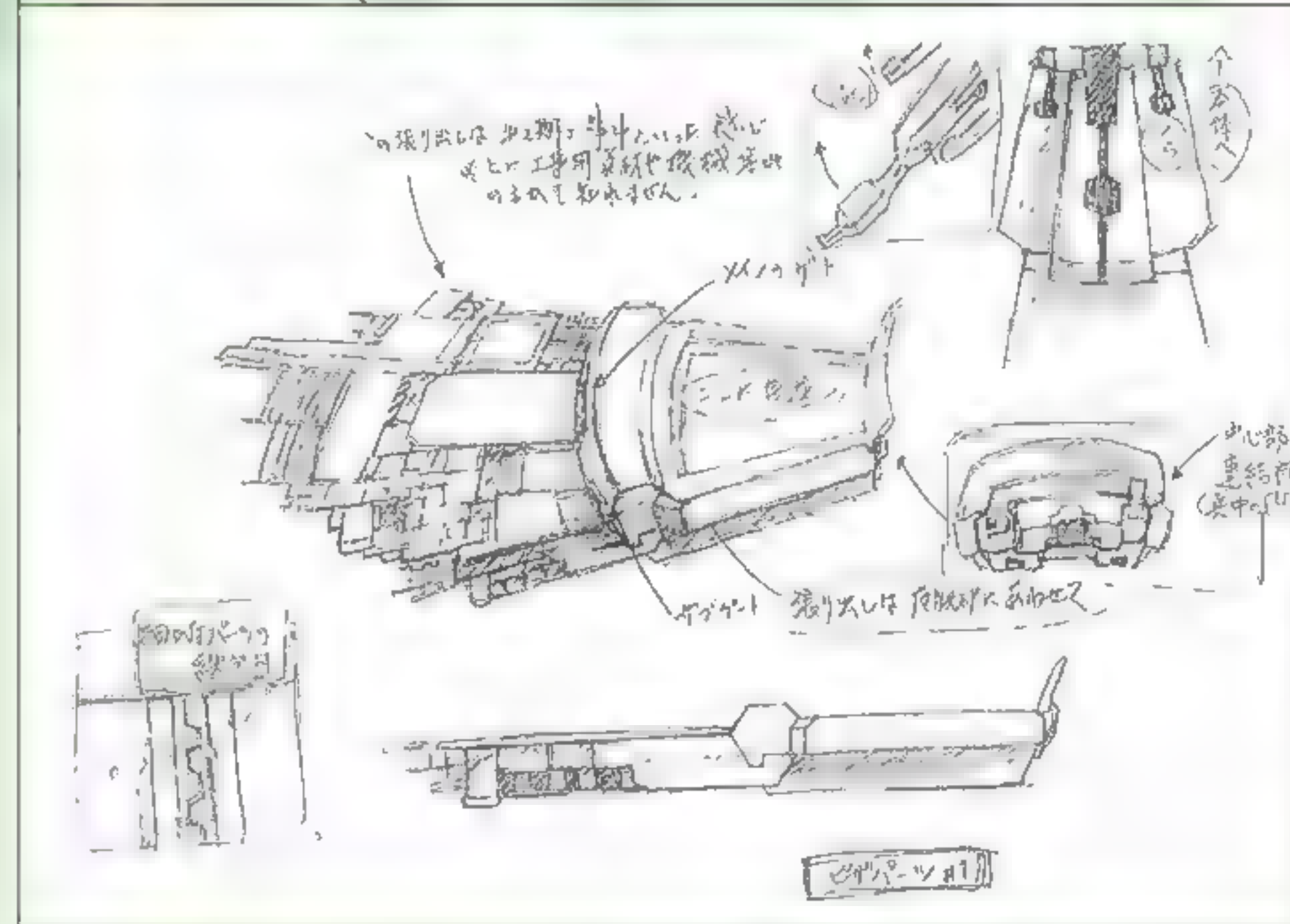
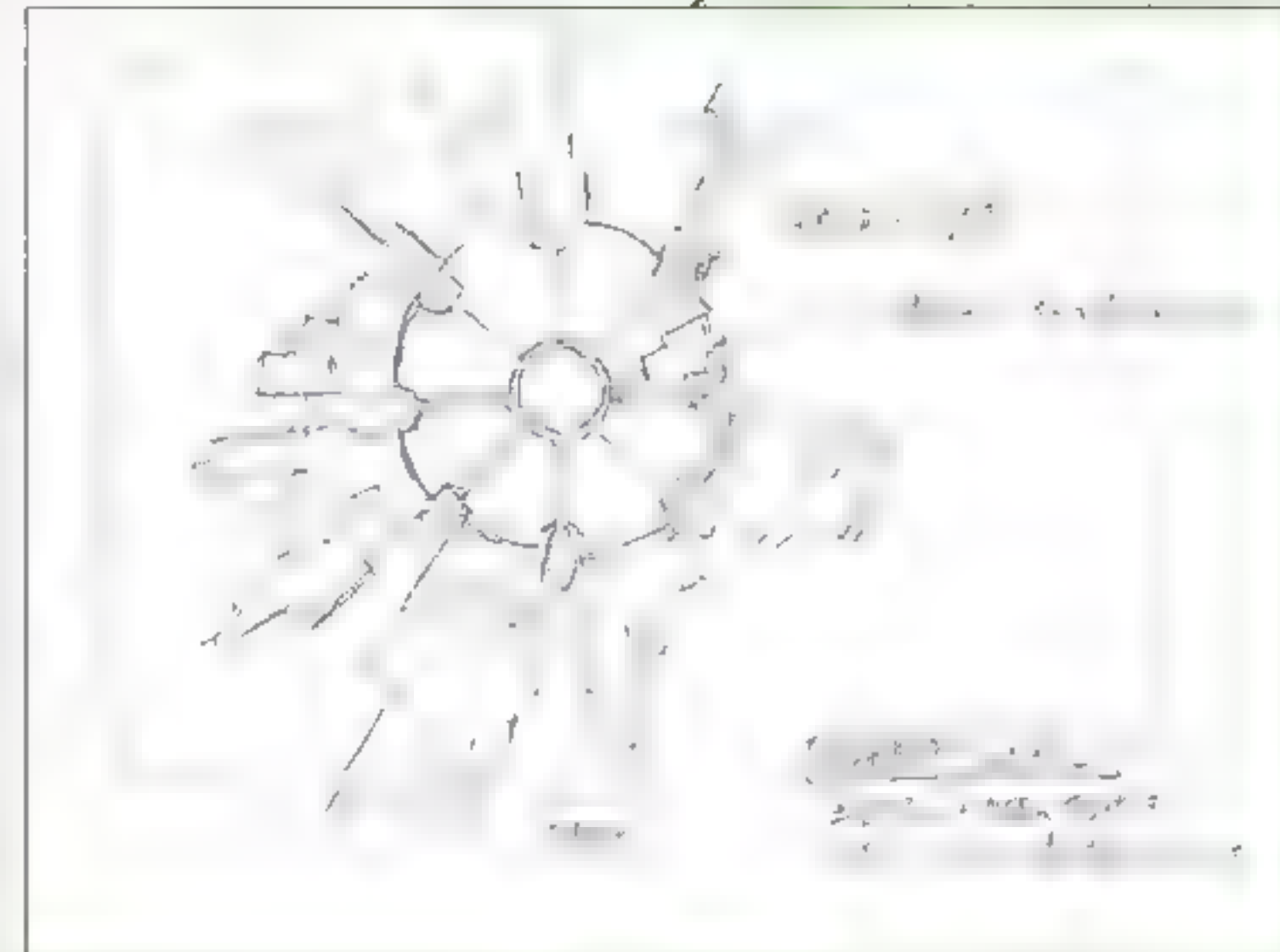
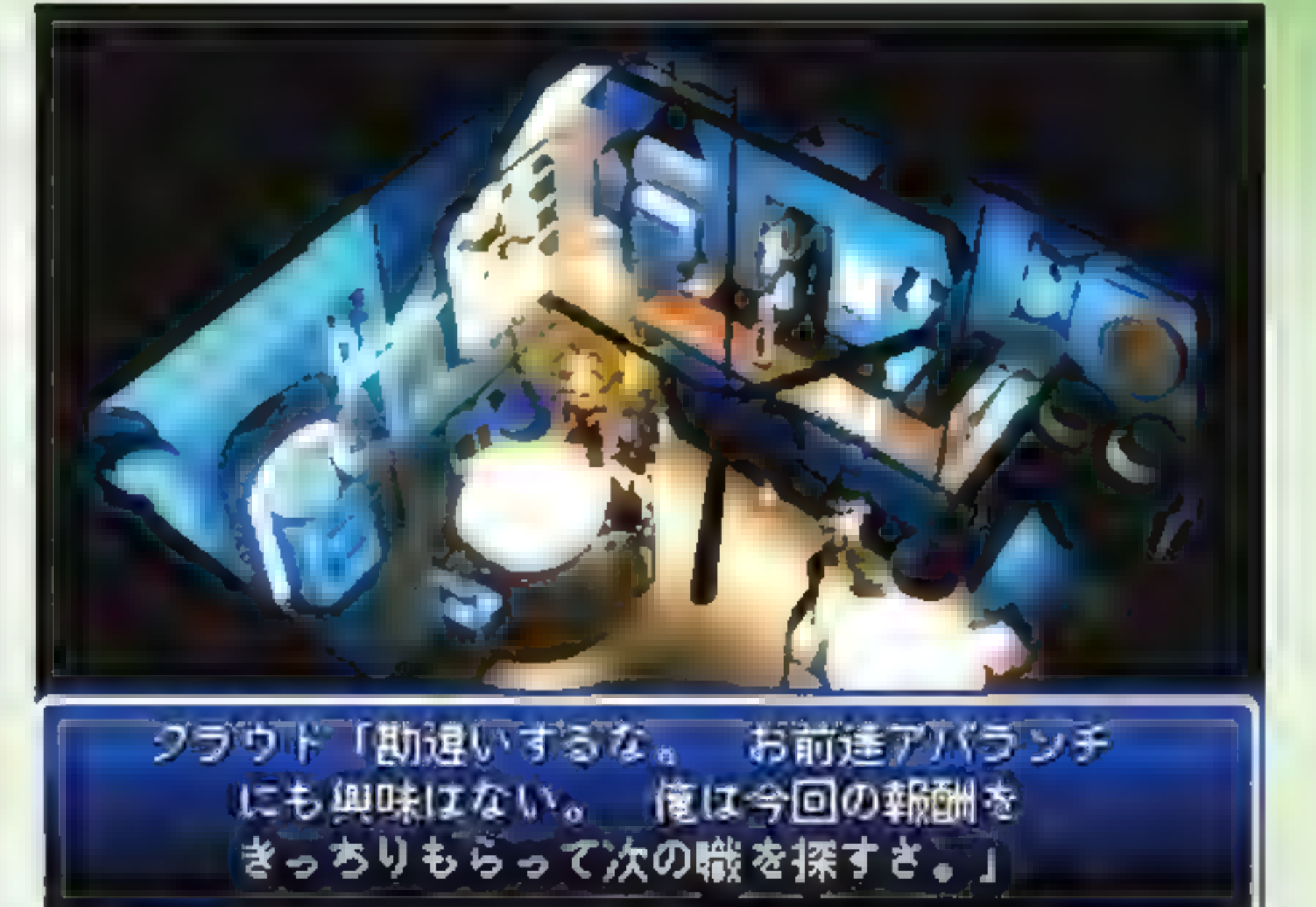
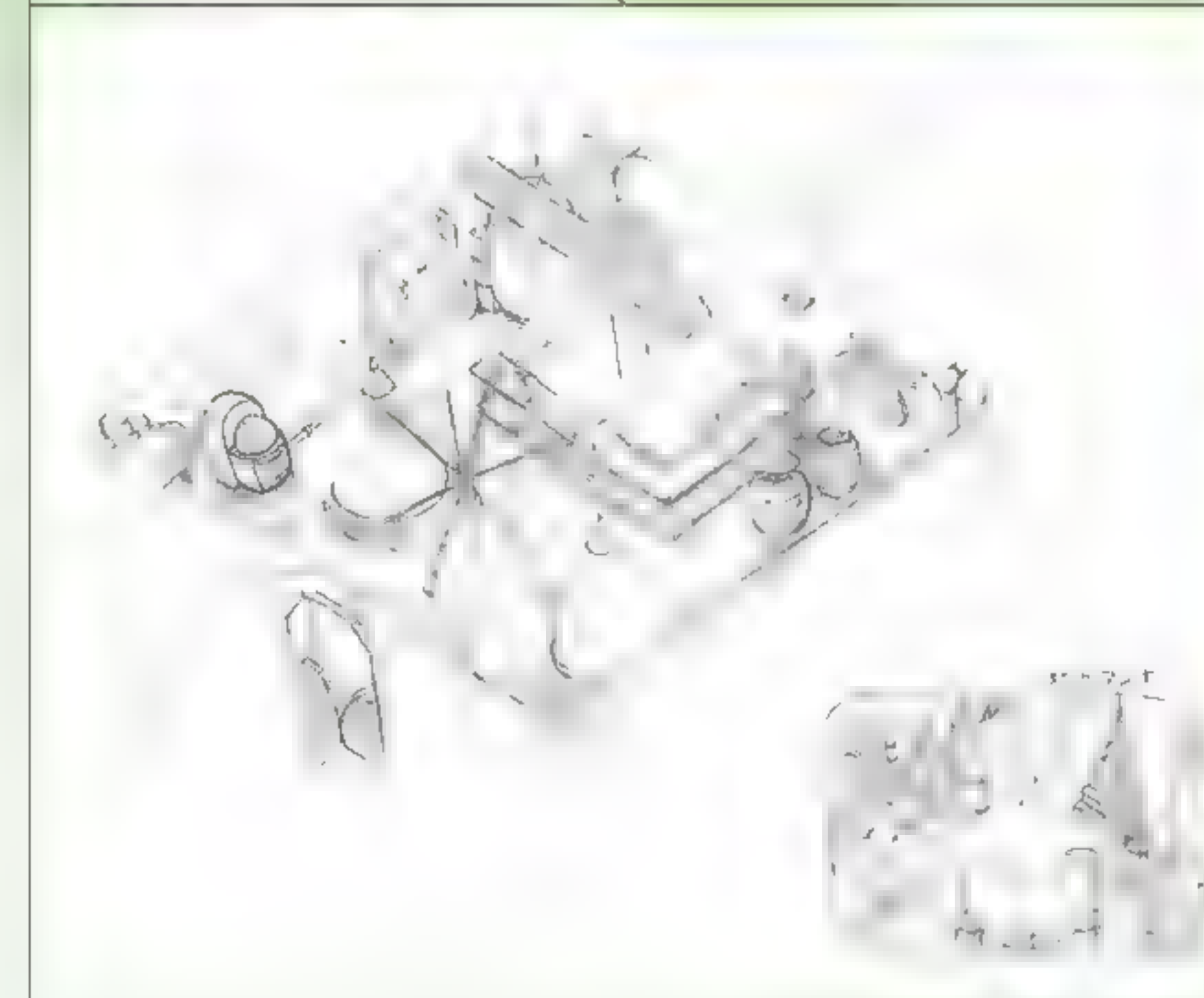
▼全景(ラフスケッチ)

▶CGモデル(ワイヤーフレーム)

▶神羅ビル(ラフスケッチ)

▶スラムのつながりを示した俯瞰図

ゲーム中では見る機会がない、スラムの俯瞰図。クラウドが伍番街スラムの教会に落下してから七番街へもどるまでに通る場所のつながりが、この図を見るとよくわかる。

▶北魔晄炉(壱番魔晄炉の初期名称)周辺

▶魔晄炉内部

▶プレートの詳細

▶プレート(ラフスケッチ)

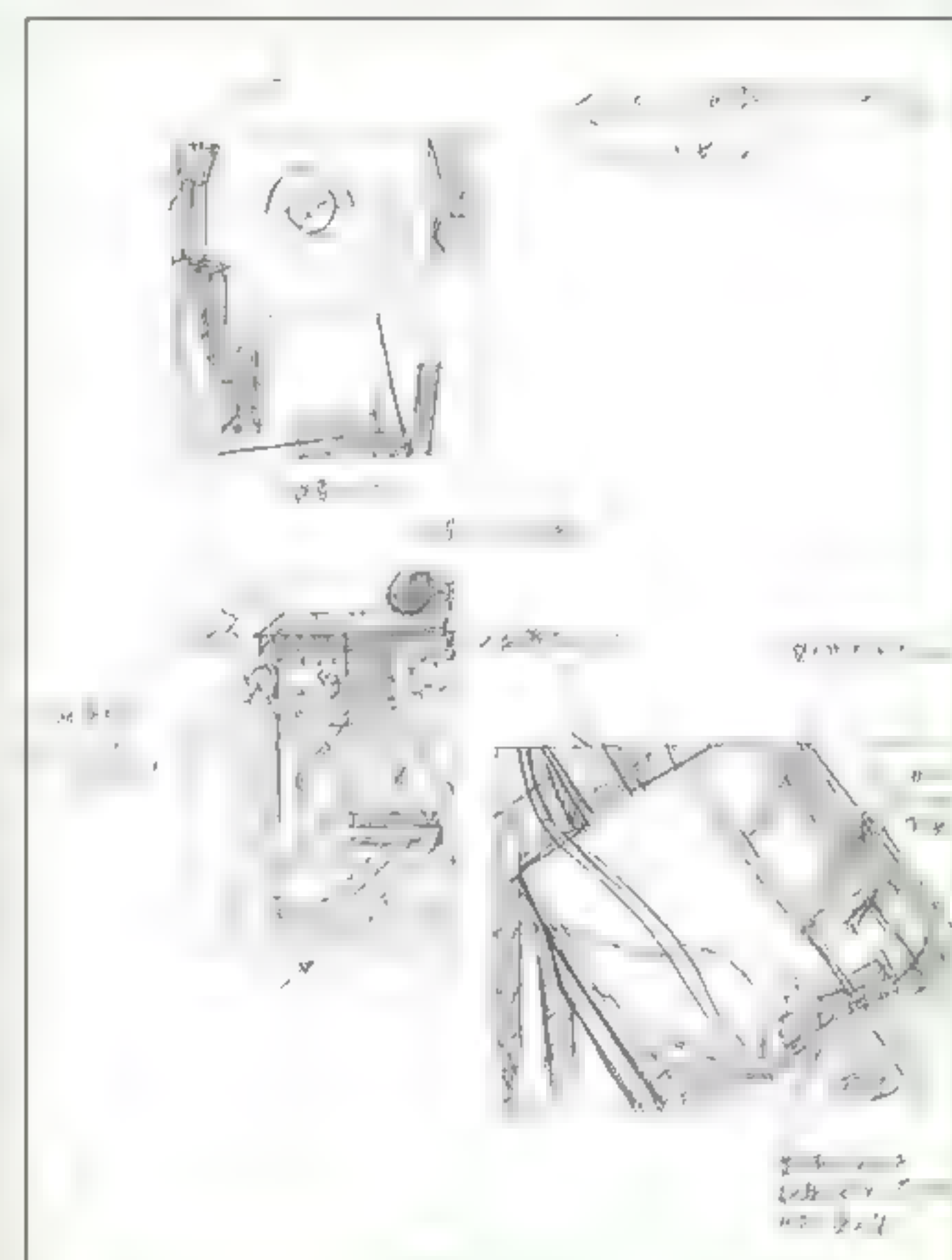
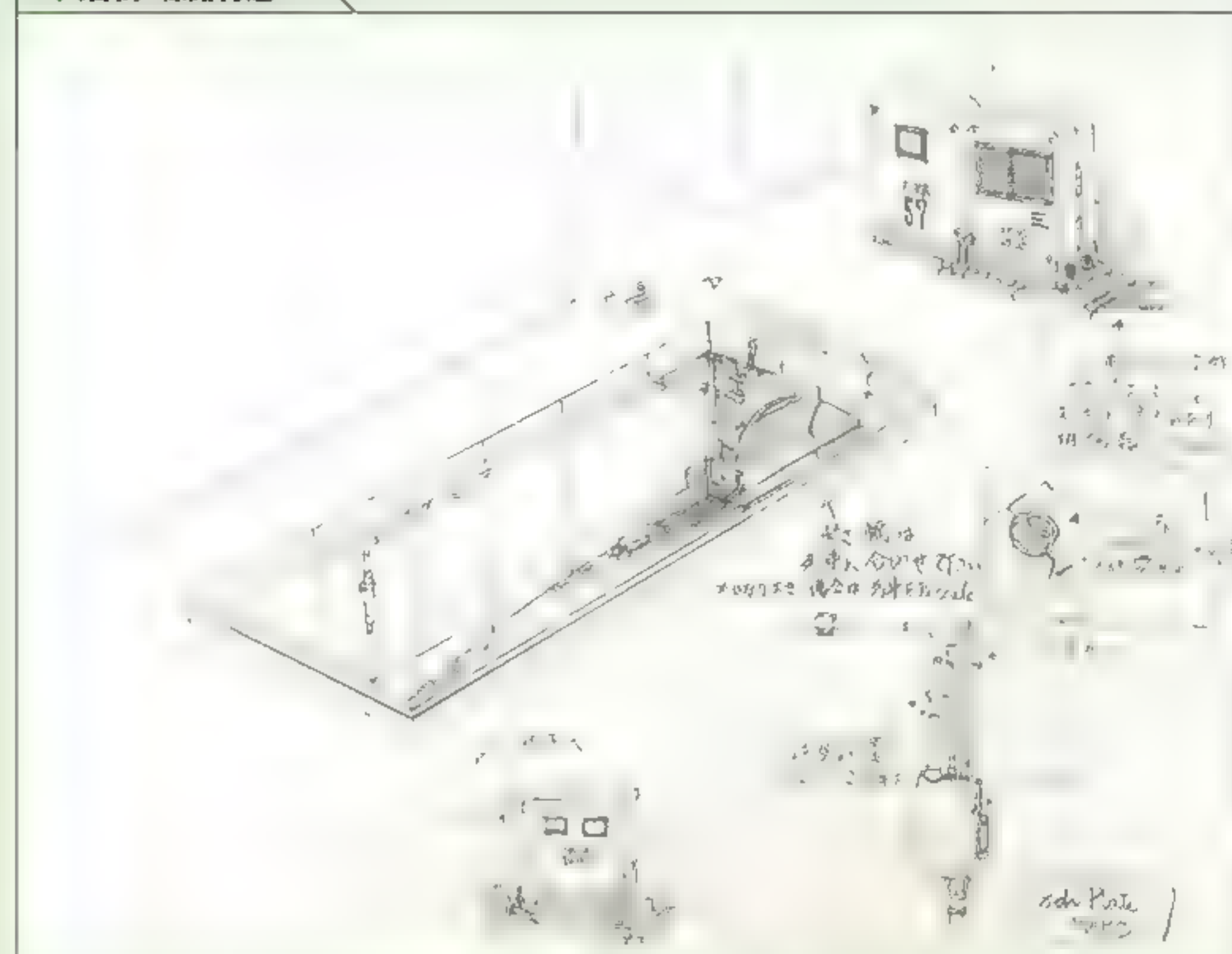
▶ウォールマーケット(初期イメージ)

▶市街地(初期イメージ)

▶八番街・線路付近

▶シスター・レイ設置後の八番街

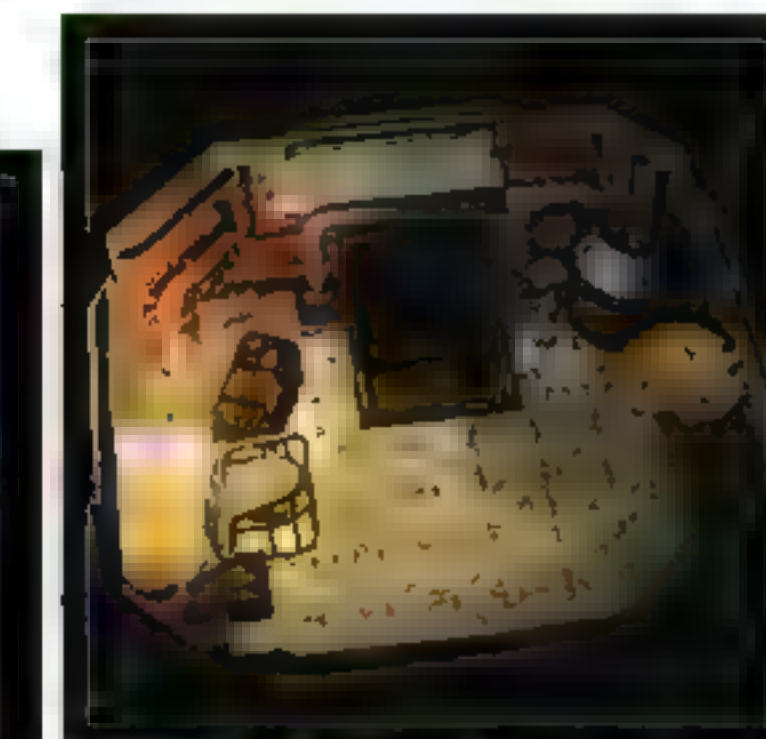
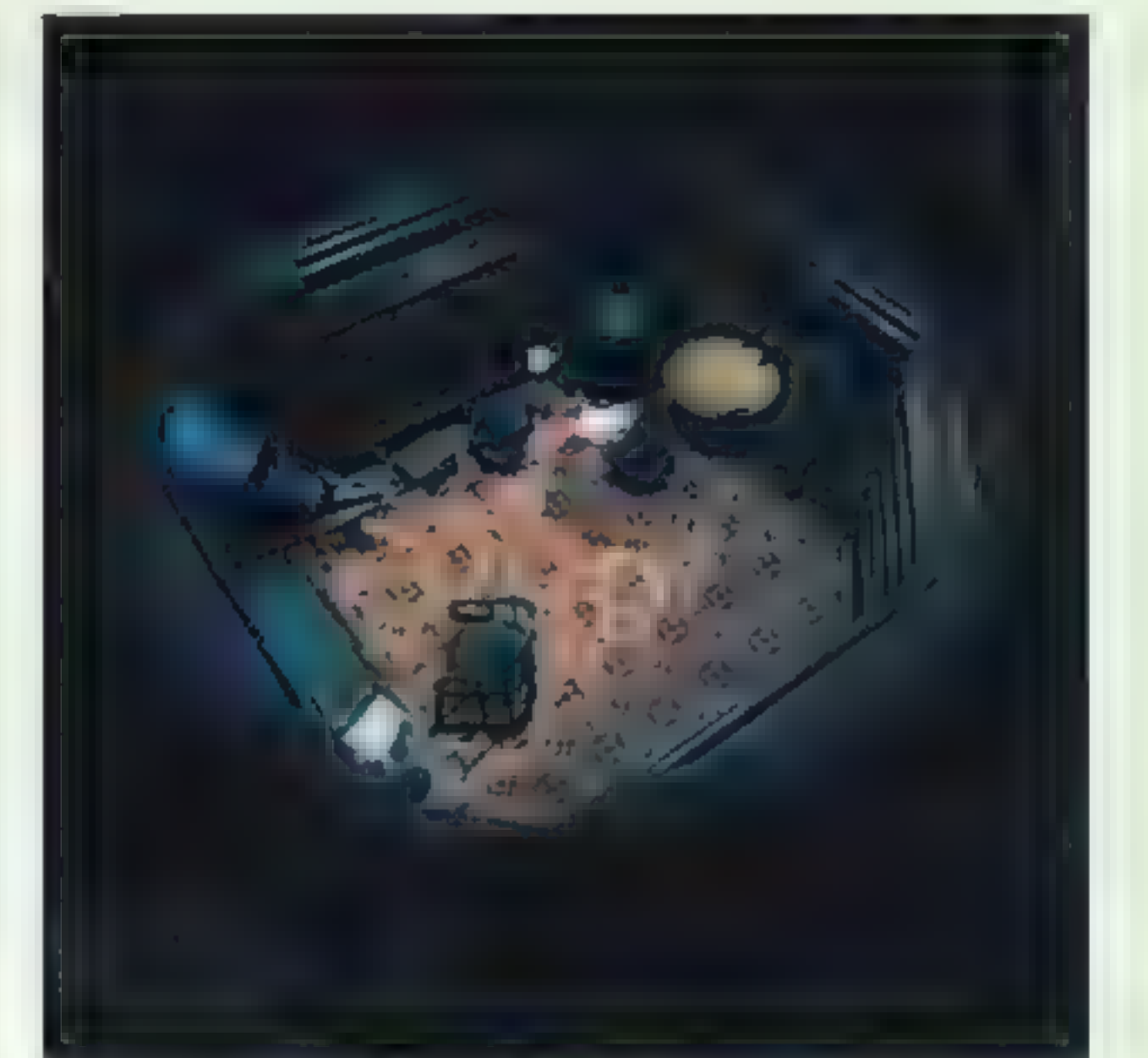
▶セブンスヘブン(初期イメージ)

クラウド「勘違いするな。 お前達アバランチにも興味はない。 俺は今回の報酬をきっちりもらって次の職を探すさ。」

▶セブンスヘブン(開発中の画面)

Memorial Place

旧デザインのセブンスヘブンが見られる場所

ゲーム中で訪れるセブンスヘブンは、開発中のものとはデザインが異なる。しかし、開発中のデザインの場所がなくなったわけではなく、少しアレンジされたうえで、別の部屋としてゲームに登場しているのだ(右の画像を参照)。

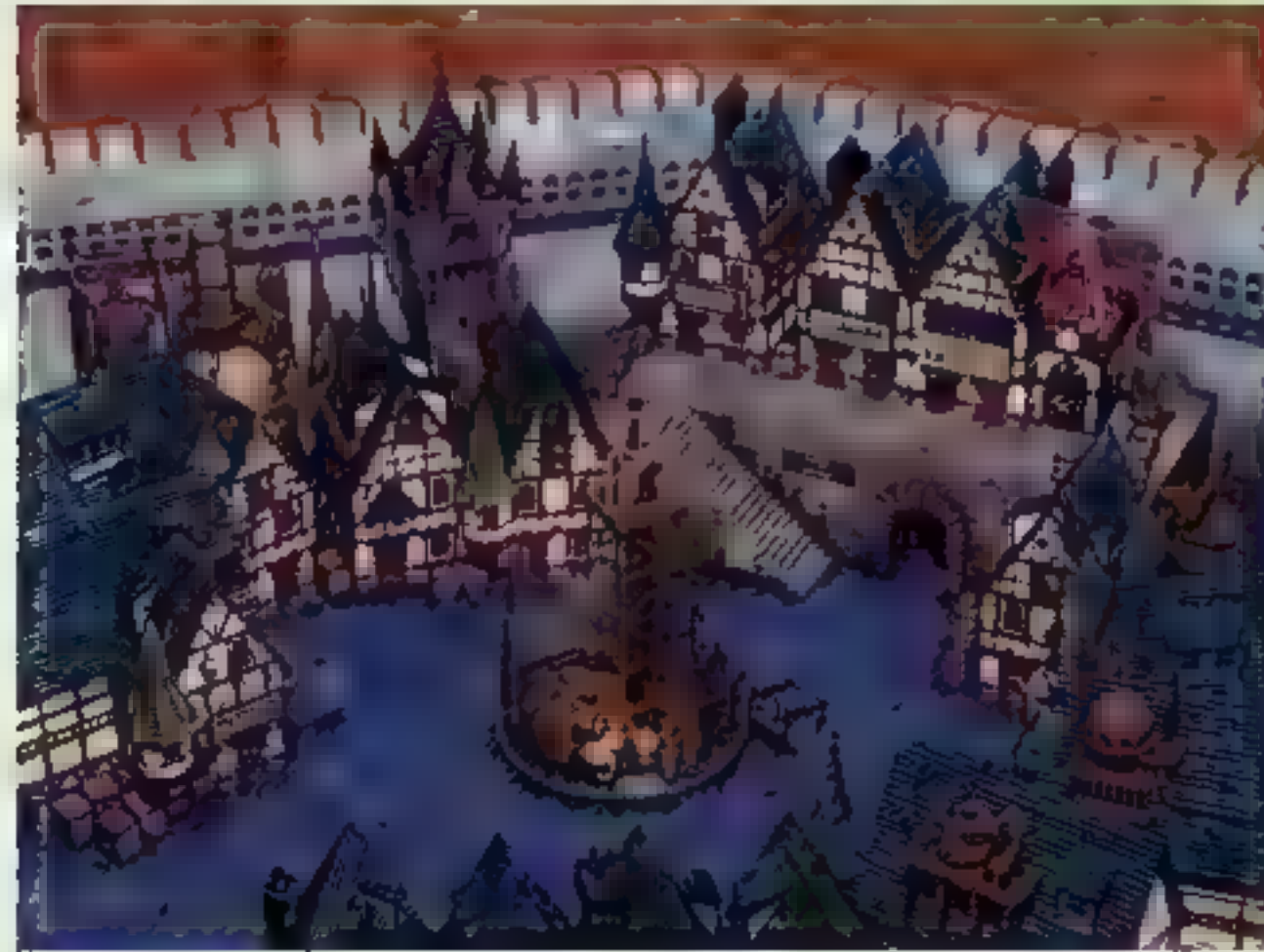
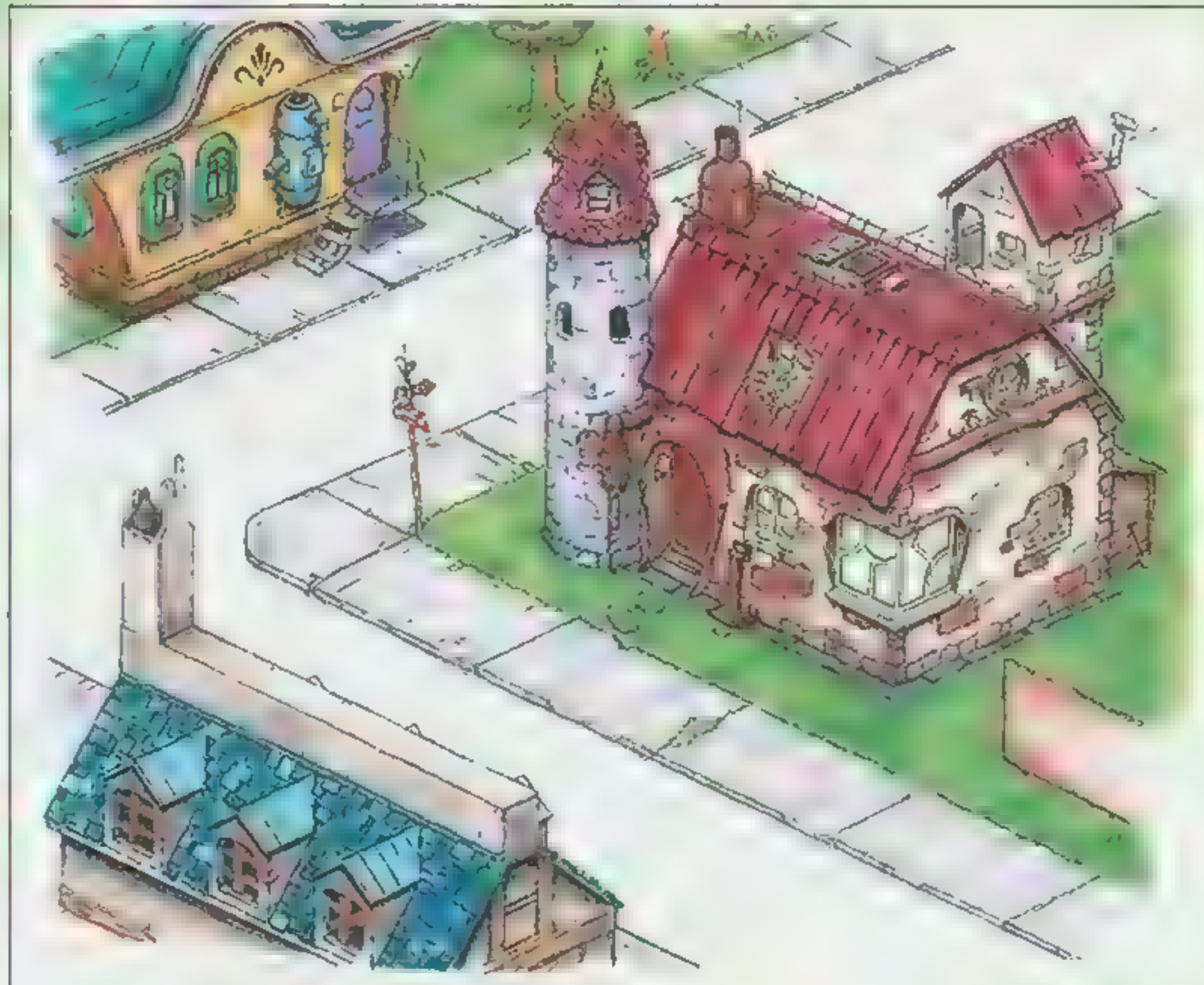
▶エルジュノンの神羅会員制BAR

▶ニブルヘイムの小さな姉弟がいた家・2階

▶セブンスヘブン地下アジト(開発中のマップ)

▶ハイウェイ(初期イメージ)

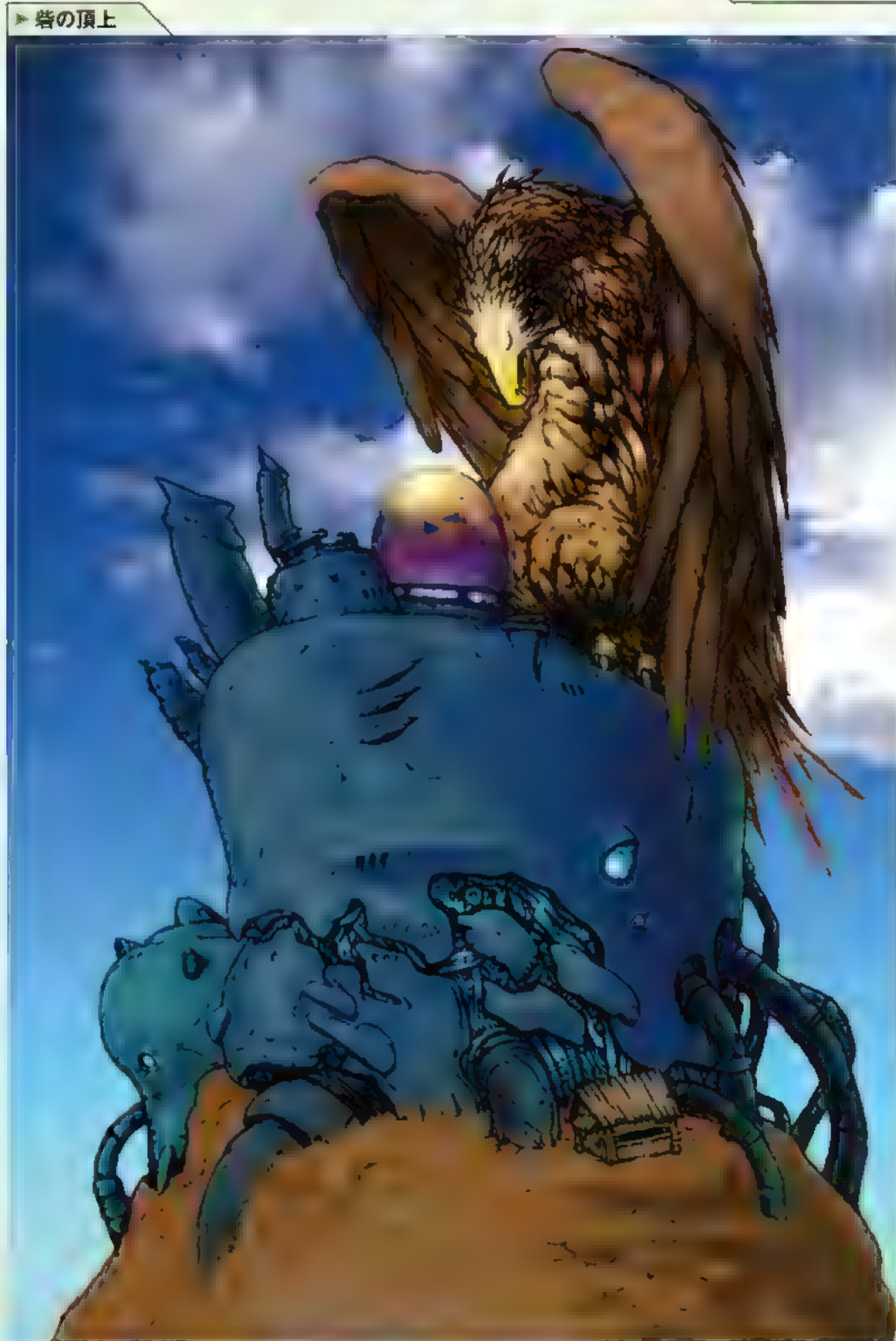
▶神羅ビルからの脱出ルート

▶500年後のミッドガル

カーム

周囲を高い壁に囲まれた、ミッドガル近郊の町。魔晄炉はないが、距離の近いミッドガルから魔晄の供給を受け、それを魔晄エネルギータンクに蓄えて利用している。初期イメージでは草木が目立つほか、建物も明るめの色づかいが多く、完成版よりも牧歌的なデザインだった。

▶全景

▶初期イメージ

コンドルフォート

その名のとおり、巨大なコンドルが棲み着いた砦。神羅は山頂の魔晄炉からヒュージマテリアを回収するべく、タマゴを温めているコンドルとそれを守る砦の住人たちを排除しようと軍を送るが、砦側は傭兵を雇って神羅に対抗している。

▶砦の頂上

Memorial Place

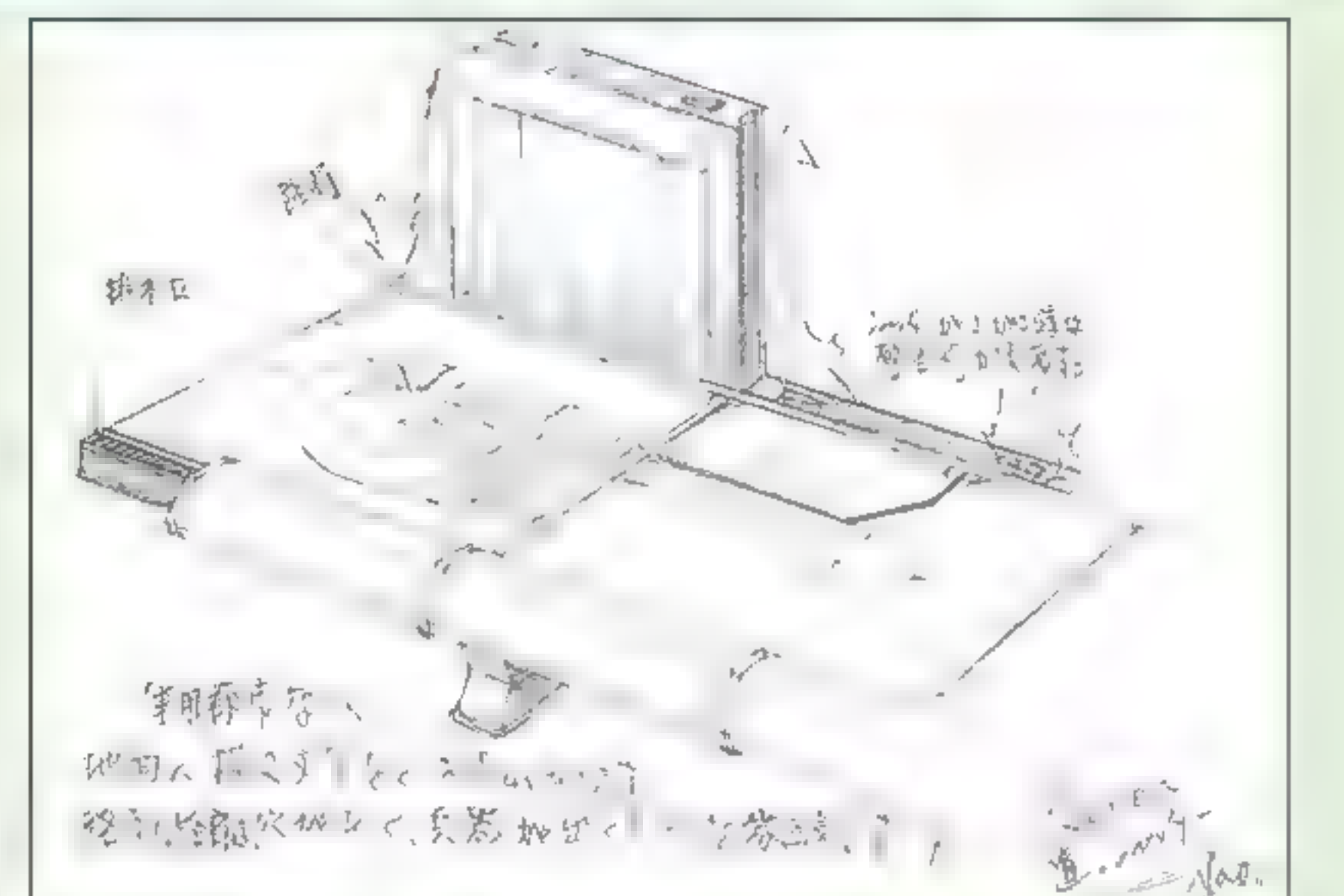
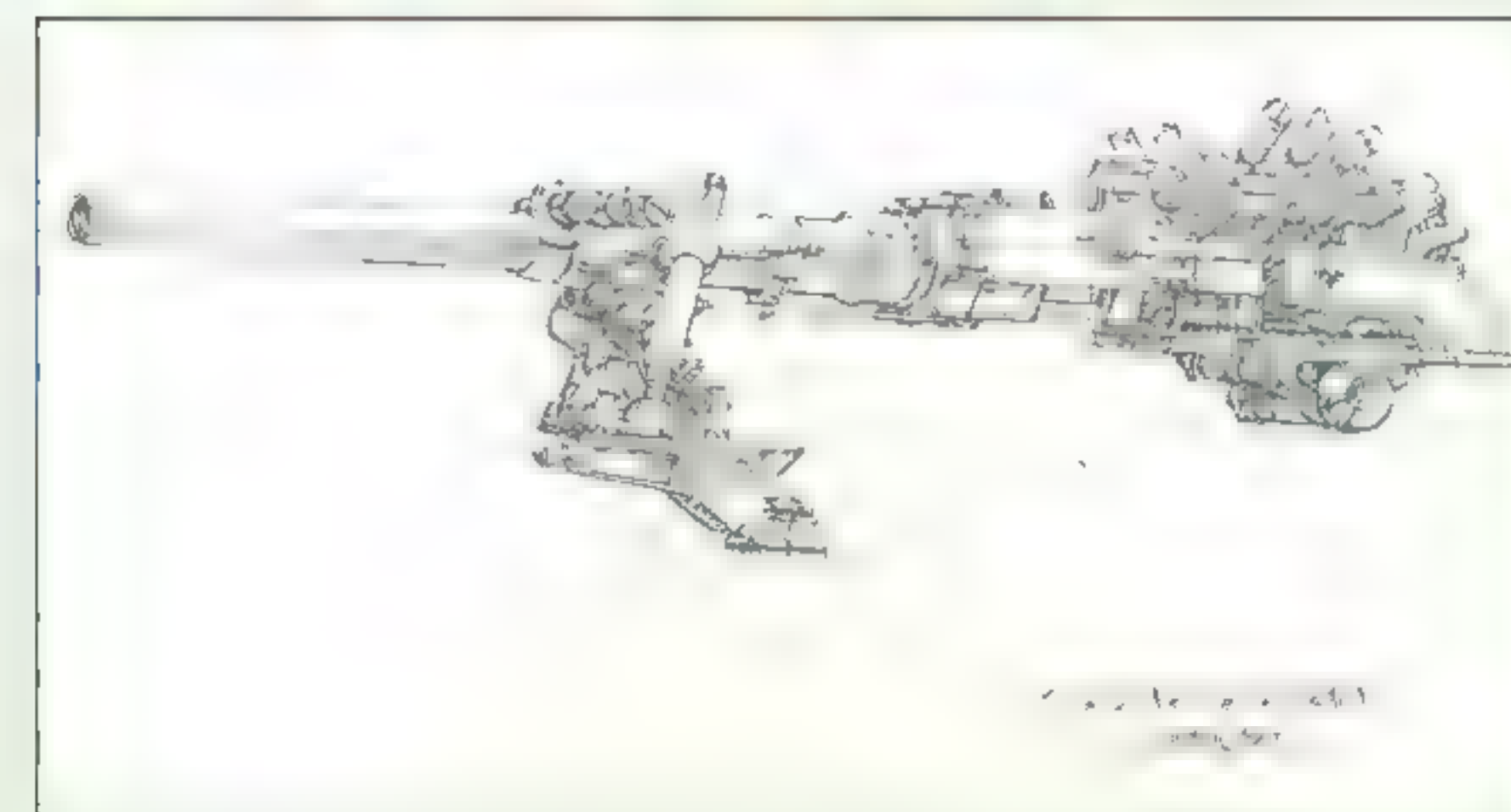
シミュレーションバトルでの攻防

コンドルフォートでは、傭兵たちやトラップを戦場に配置して指示を出し、押し寄せる神羅軍を撃退するミニゲームが楽しめる。最終決戦に勝利すると、ヒュージマテリアに加えて、召喚マテリアの「フェニックス」が入手可能。

ジュノン

神羅の軍港。中央に神羅ジュノン支社が建ち、海から見て支社の右側の市街地をアルジュノン、左側の市街地をエルジュノンと呼ぶ。巨大な魔晄キャノン「シスター・レイ」は、海底魔晄炉にあるヒュージマテリアを動力としており、ヒュージマテリアが取り出されたあとは、8基の魔晄炉の力で動かすためにミッドガルへ移送される。

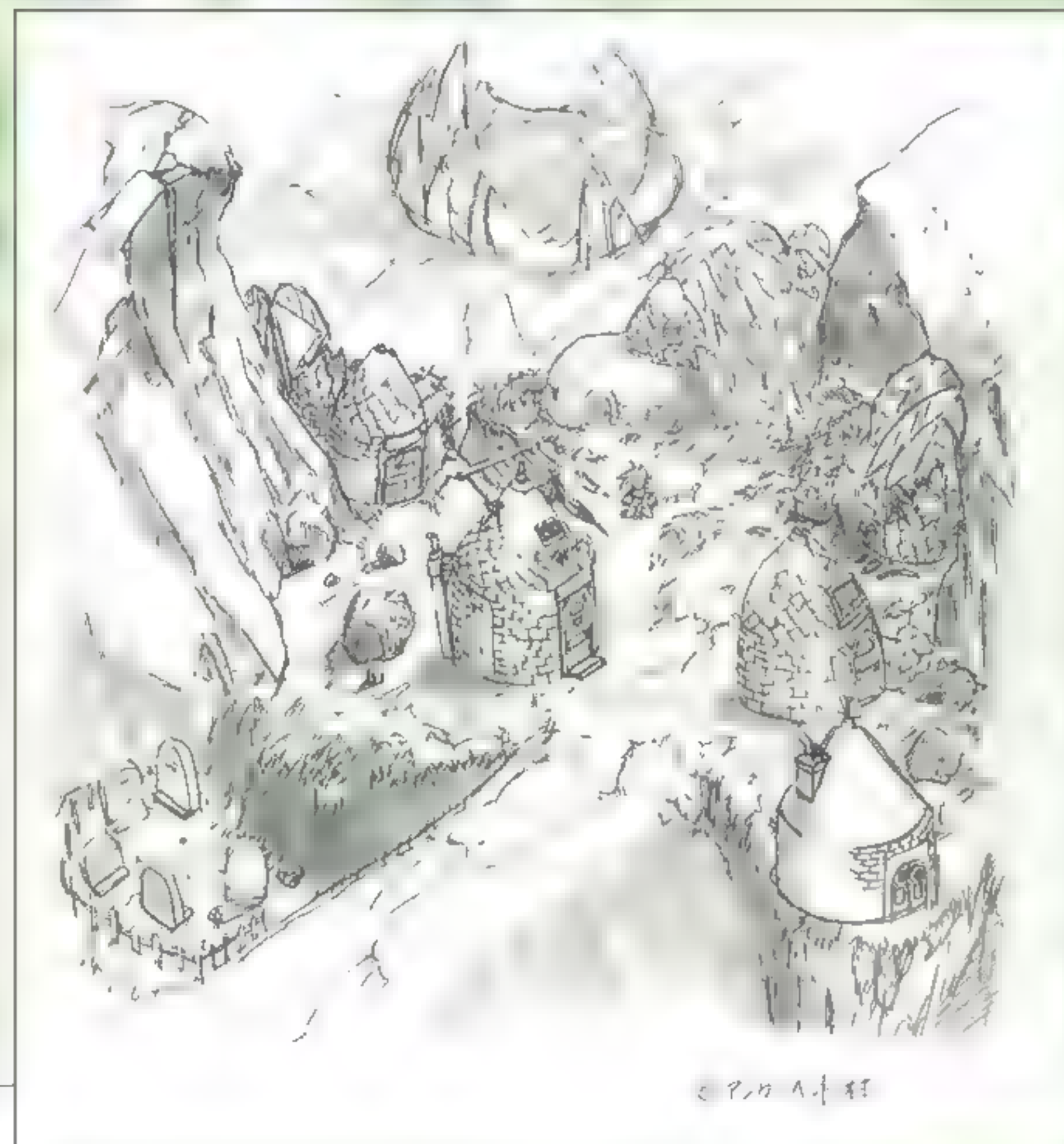
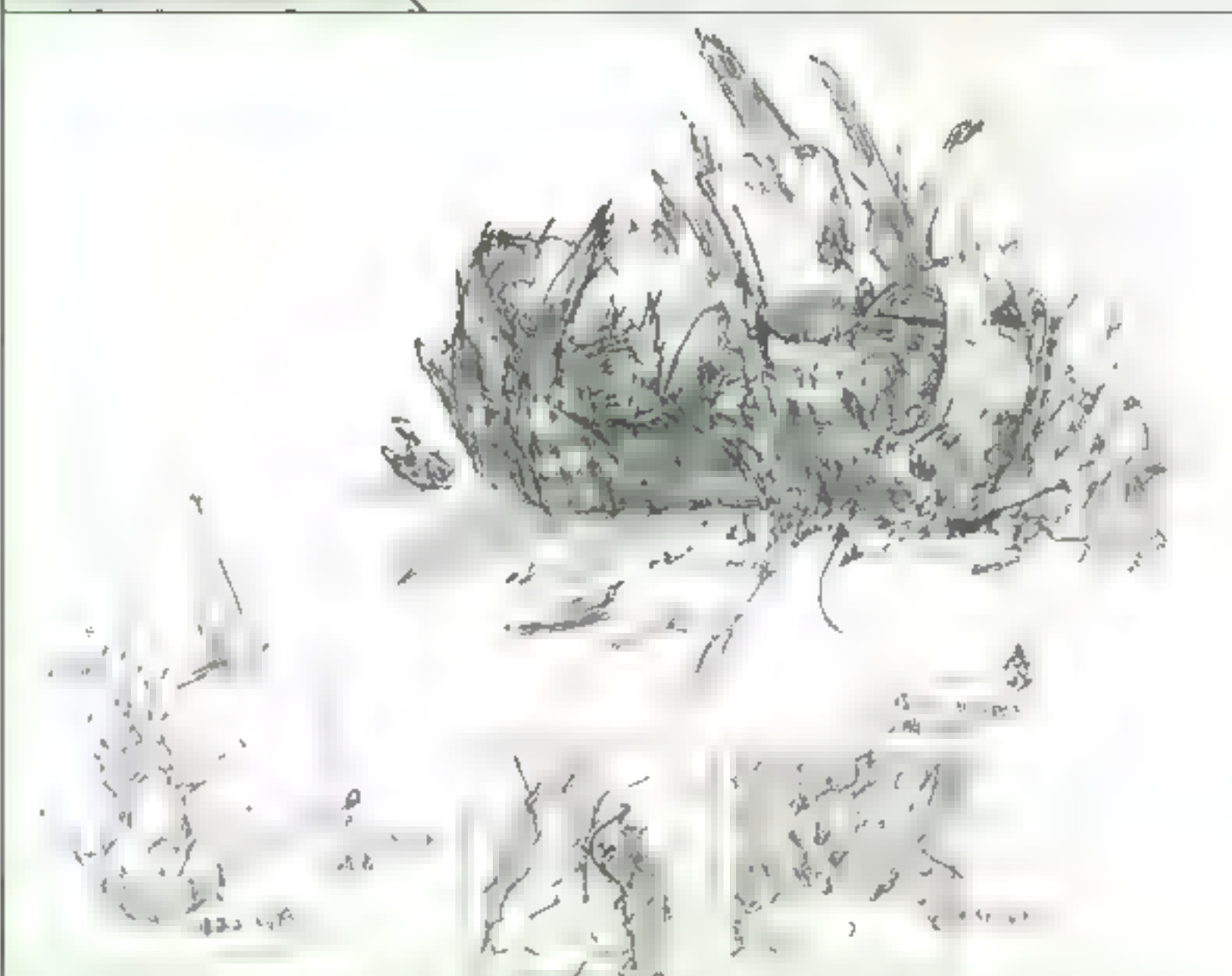
▶全景(CG)①

▼全景(CG)②

▶市街地の道路

▼シスター・レイ

ゴンガガ

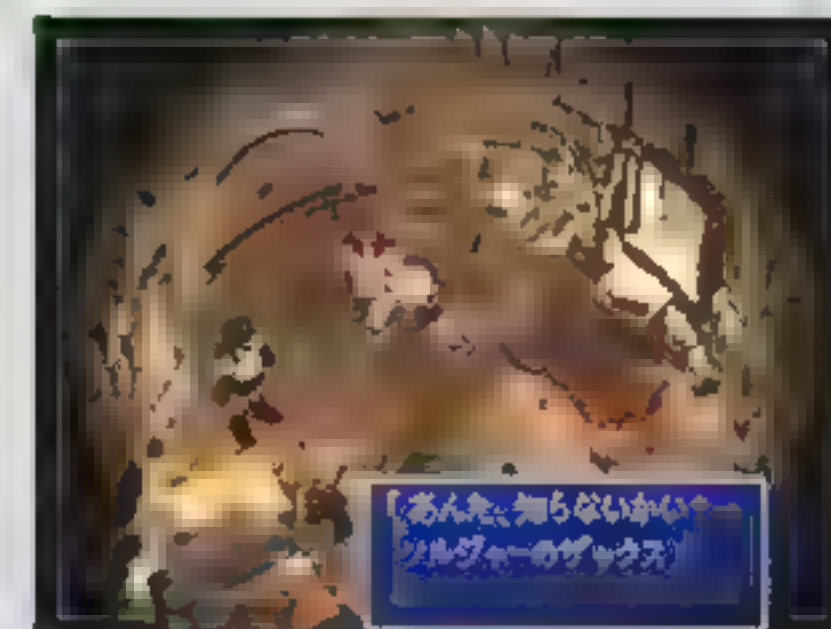
ジャングルの奥にあるさびれた村で、ザックスの故郷。以前は魔晄炉の恩恵を受けていたが、数年前、その魔晄炉で起きた爆発事故のせいで、多くの村人を失った。村はずれには、爆発した魔晄炉がいまも残る。ちなみに、開発初期の名称は「アンカーヘッド村」。

▶村長の家

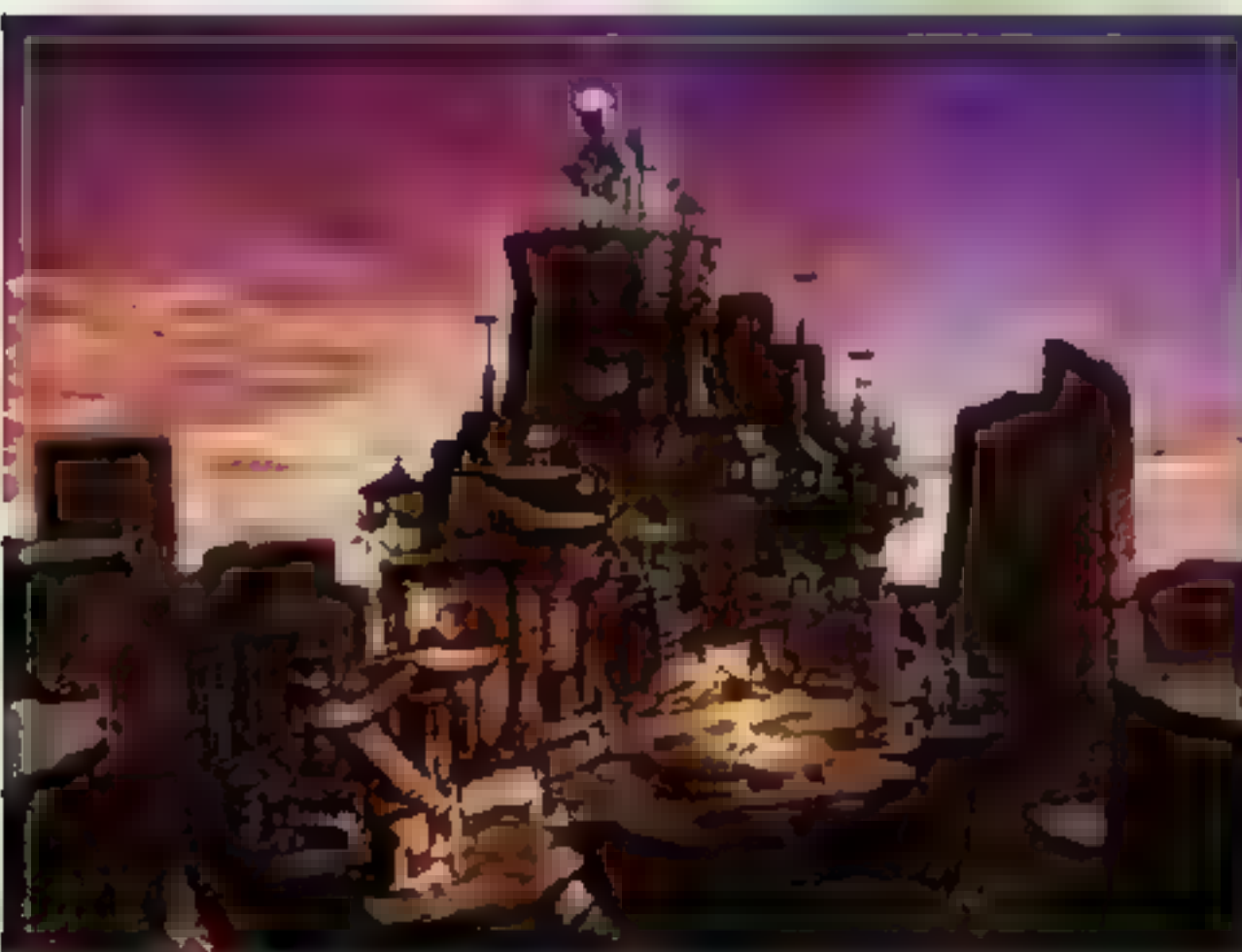
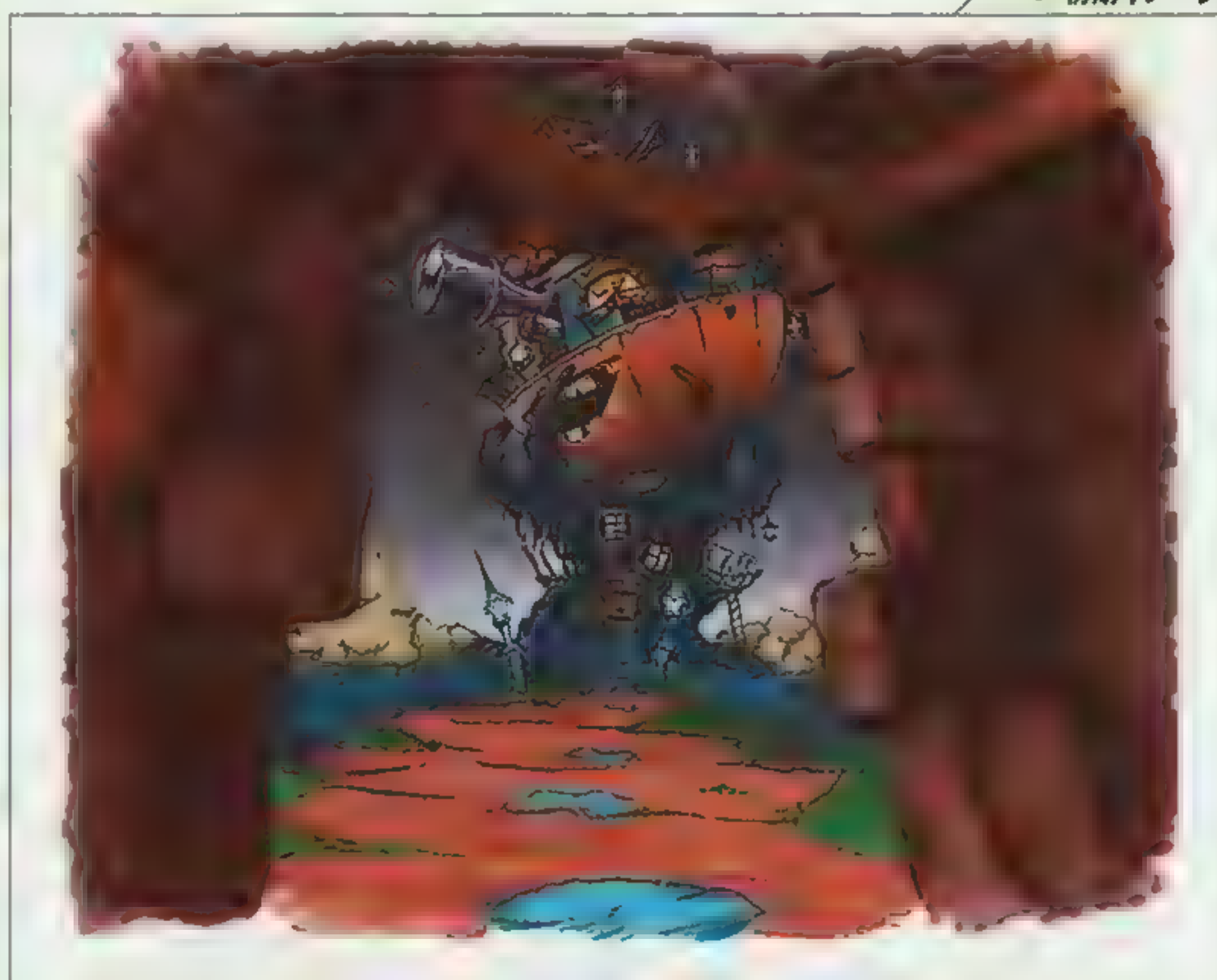
▶爆発した魔晄炉

▶全景

Memorial Scene

ザックスの名に反応するエアリスとティファ

パーティーにエアリスやティファがいる状態でザックスの実家を訪れると、ふたりはザックスの名を聞いて動揺を見せる。エアリスは、ザックスは初恋の相手だと明かすが、ティファはザックスのことを知らないと言ってはぐらかす。

▶初期イメージ

コスモキャニオン

星と生命について考える学問「星命学」の発祥の地にして、レッドXIIIの故郷。谷の裏には、邪悪な部族「ギ族」が現れる洞窟があるが、その奥底ではレッドXIIIの父セトが、石と化した現在でもギ族から谷を守っている。

▶全景

ニブル魔晄炉

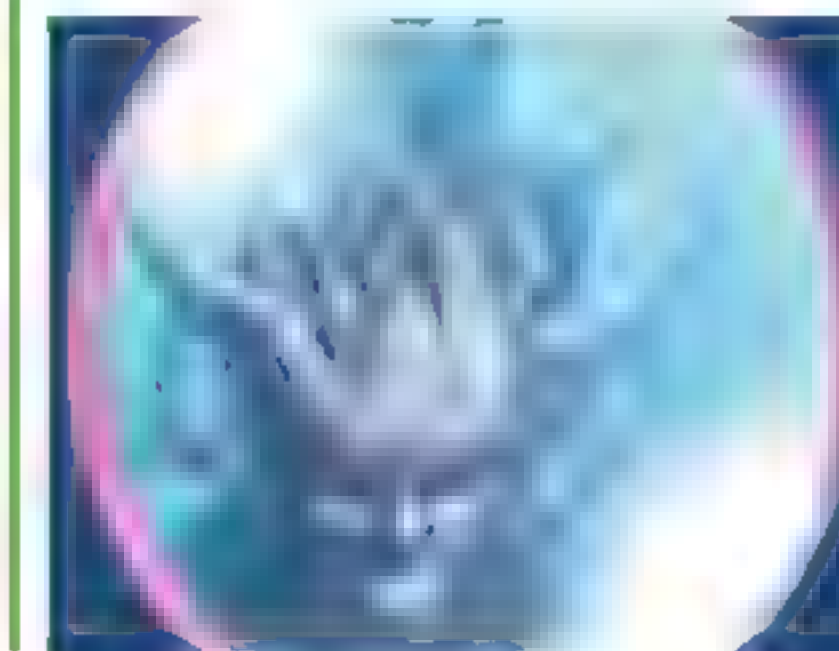
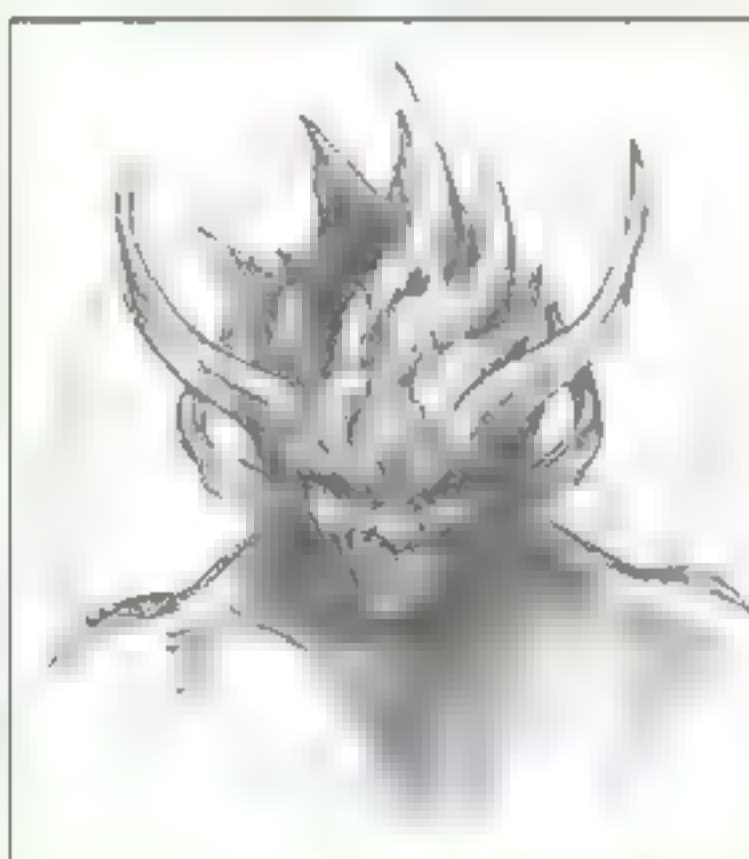
ニブルヘイムの裏手にあるニブル山に建てられた魔晄炉。かつてはジェノバが安置されていた。5年前に事故で閉鎖されたはずだったが、秘密裏に宝条の実験に使われつづけている。

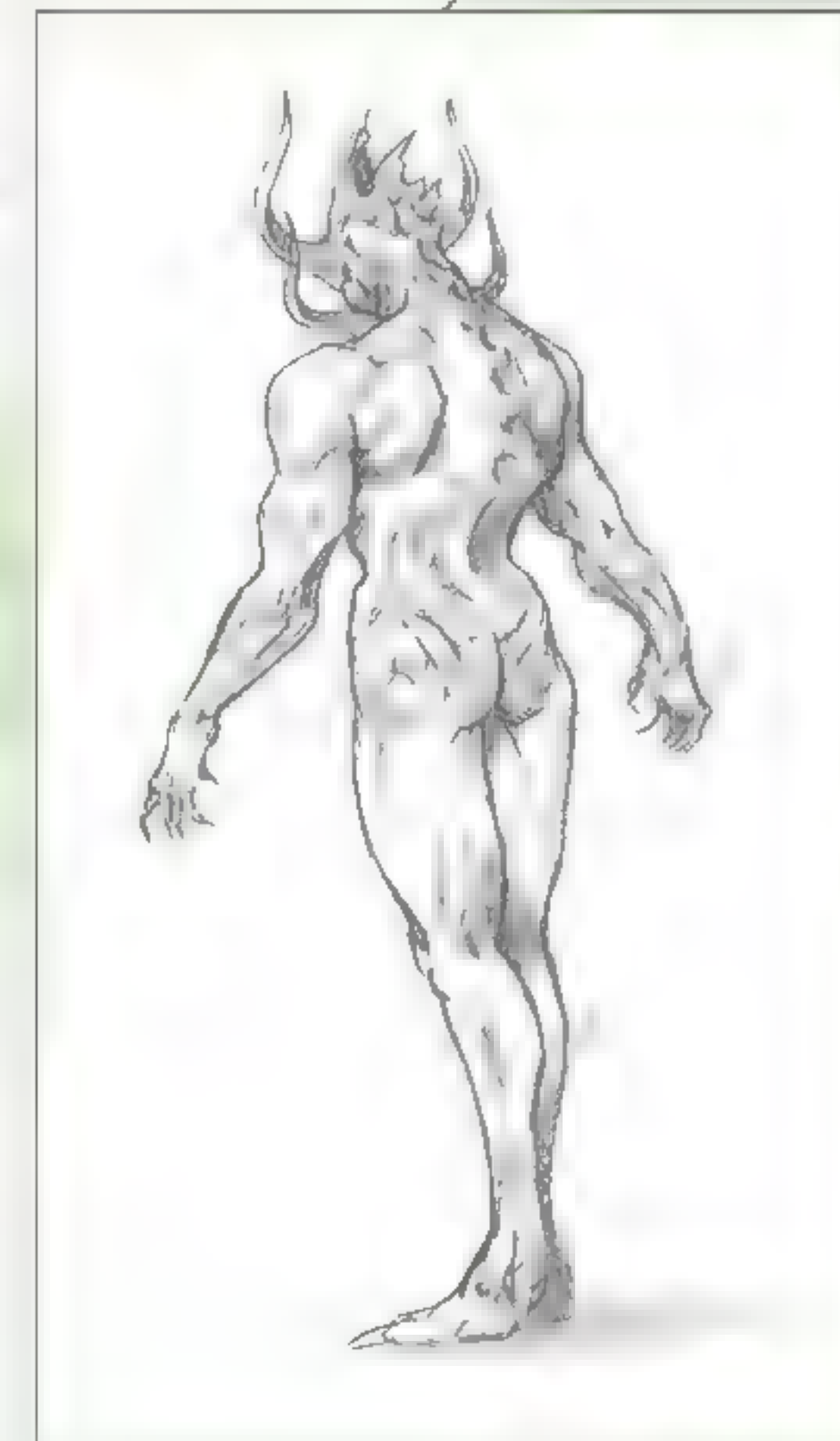
Memorial Place

ポッドのなかの怪物

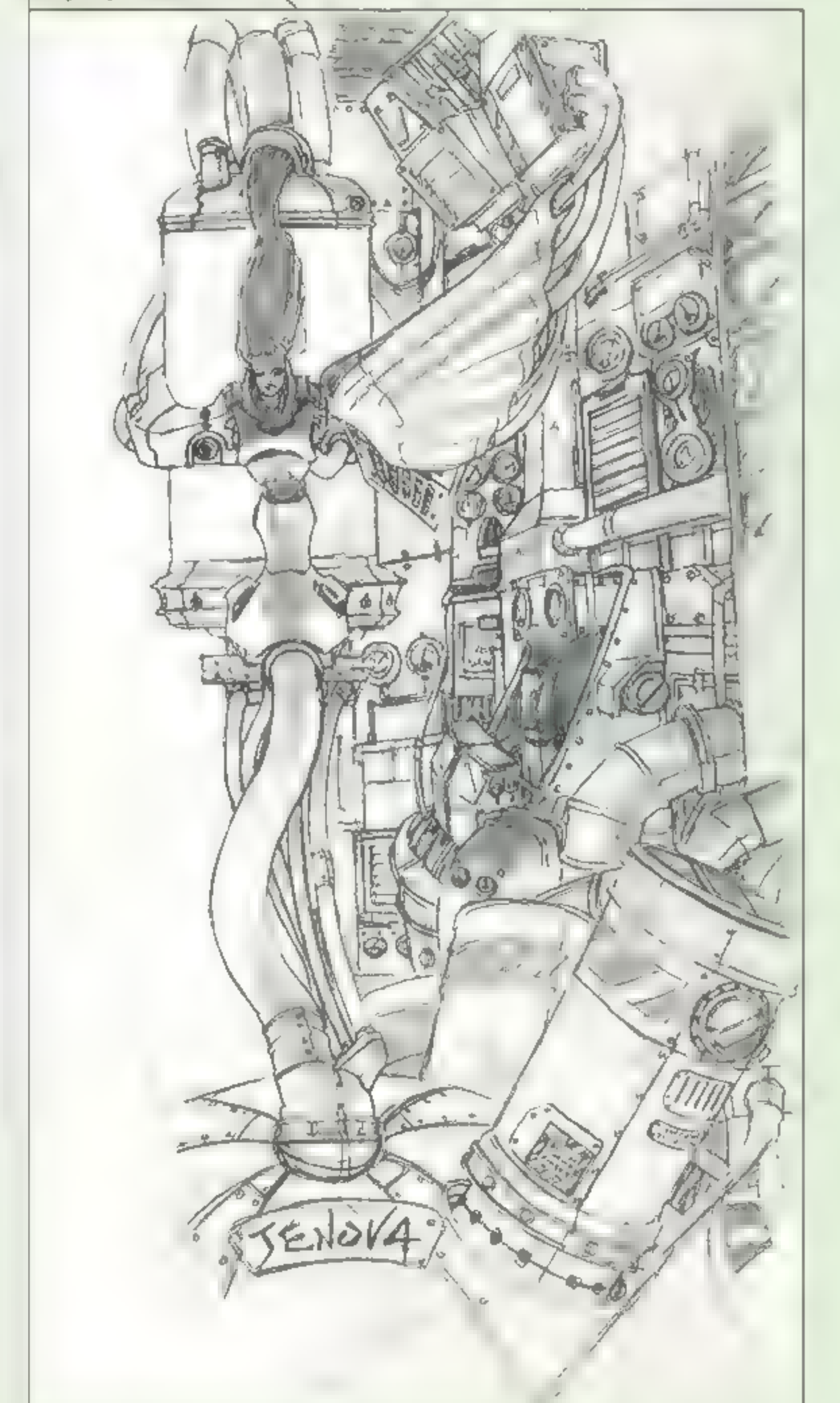
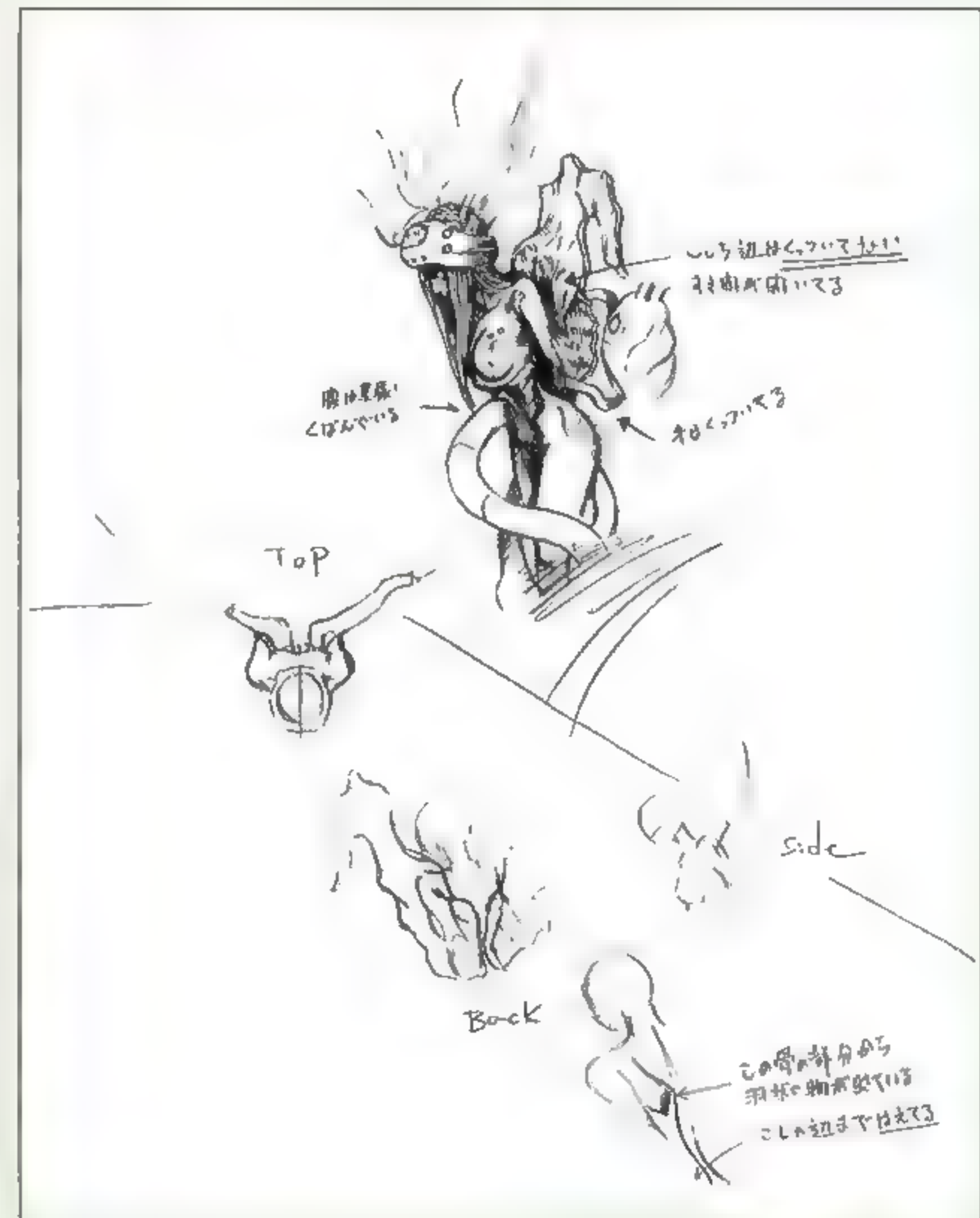
ニブル魔晄炉は、カームでのクラウドの回想にも登場する。そのなかでクラウド(実際にはザックス)は、ポッド内で魔晄にひたされ怪物と化した人間の姿を目撃してしまう。ニブル魔晄炉は、人間をモンスターに変える非道な実験の場としても宝条に利用されていたのだ。

▶魔晄炉内部

▶ジェノバルーム

▶魔晄人間の背面

▶魔晄人間

▶黒マントの男

左の黒マントの男は、宝条の実験の犠牲者であるセフィロス・コピーの姿。世界各地で見かけられるが、ニブルヘイムにはとりわけ多くいる。

▼ジェノバカバー

▶ジェノバカバーの頭部

▶ジェノバ

▶ジェノバの側面と上面と背面

ボーンビレッジ

化石発掘の名所。発掘ツアーでミッドガルから観光客が訪れることもある。集落の住民が暮らすテントは、発掘された化石を利用したもの。

Memorial Place

発掘でアイテムやマテリアをゲット！

ボーンビレッジでは、発掘のミニゲームにチャレンジできる。発掘では、物語を進めるのに必要なルナハープ、ミッドガルに再度入れるようになる伍番街ゲートのカギのほか、貴重なマテリアが手に入ることも。

▶全景

▶モンスターの化石

▼大空洞から噴出するライフストリームのイメージ

Memorial Scene

ウェポンの目覚め

クラウドがセフィロスに黒マテリアを差し出した直後、ティファたちはルーファウスらとともに、くずれ落ちるクレーターの底から飛空艇ハイウインドで脱出する。インターナショナル版では、このとき目覚めたウェポンたちが各地に散っていく場面を、ムービーシーンとして見られるのだ。

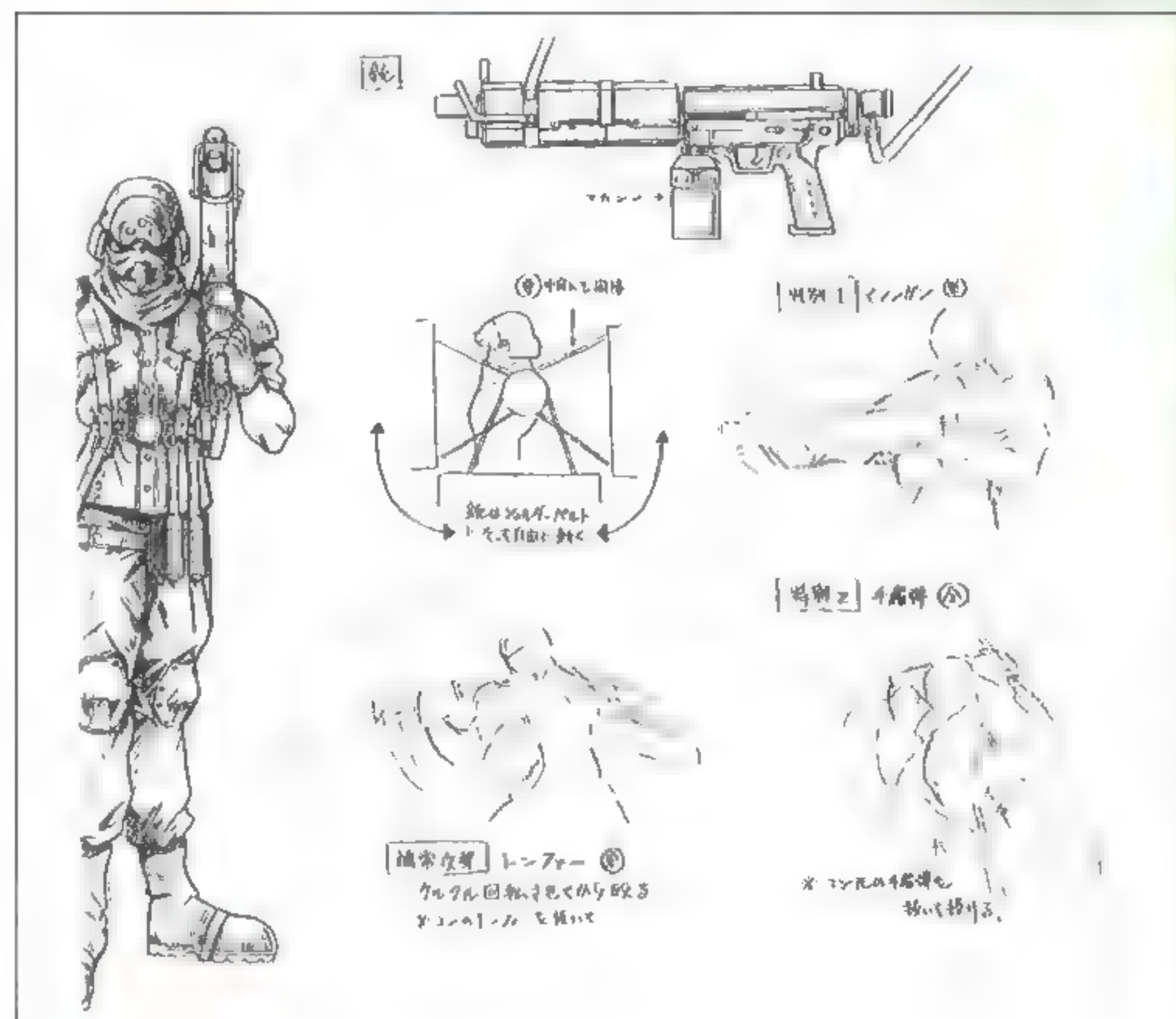
北の大空洞

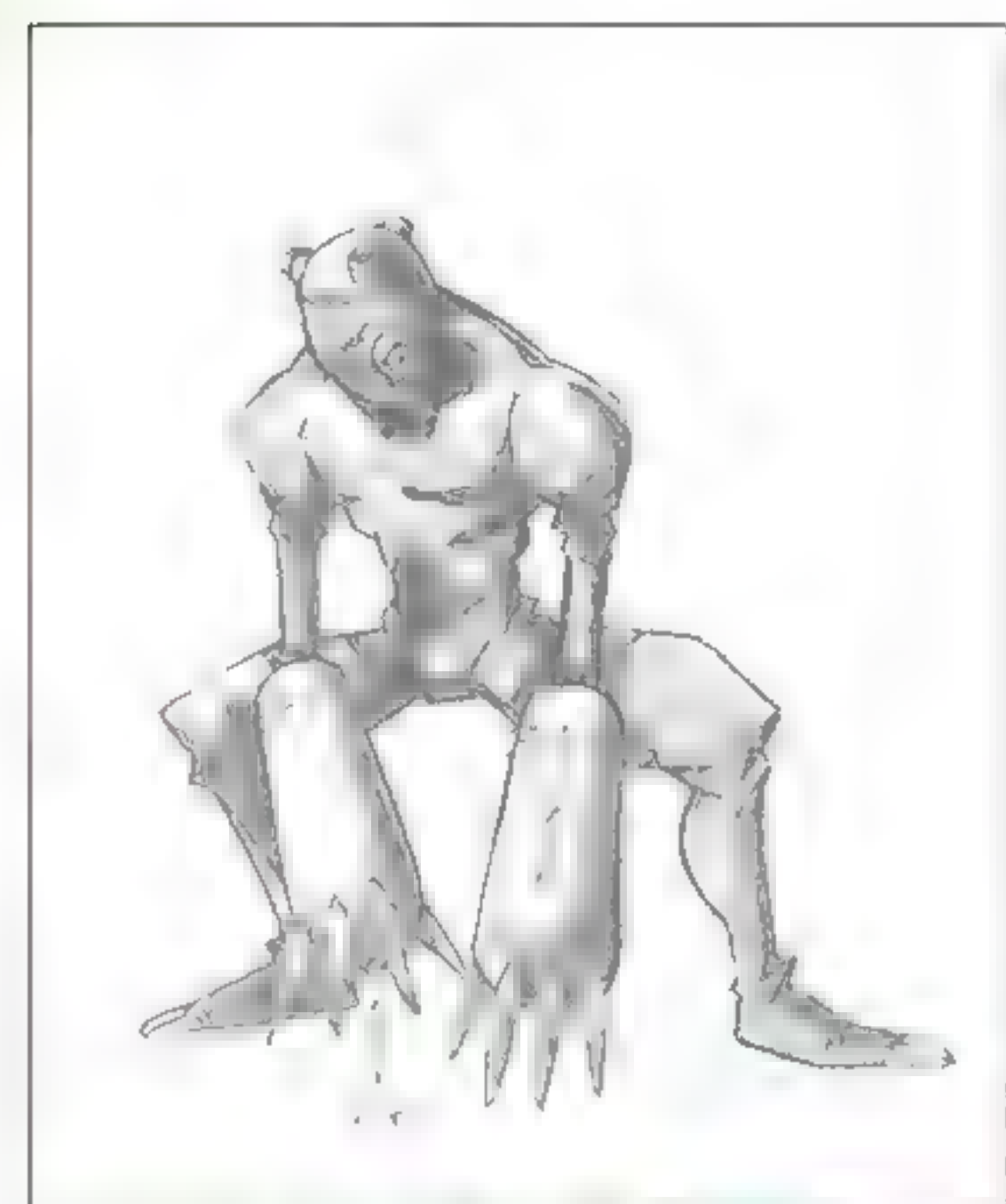
ジェノバが星に衝突したときにできた、アイシクルロッジ北方の巨大なクレーター。星が傷を癒そうとしているため、絶えずライフストリームが噴出している。

FINAL FANTASY VII
ファイナルファンタジーVII

MONSTER

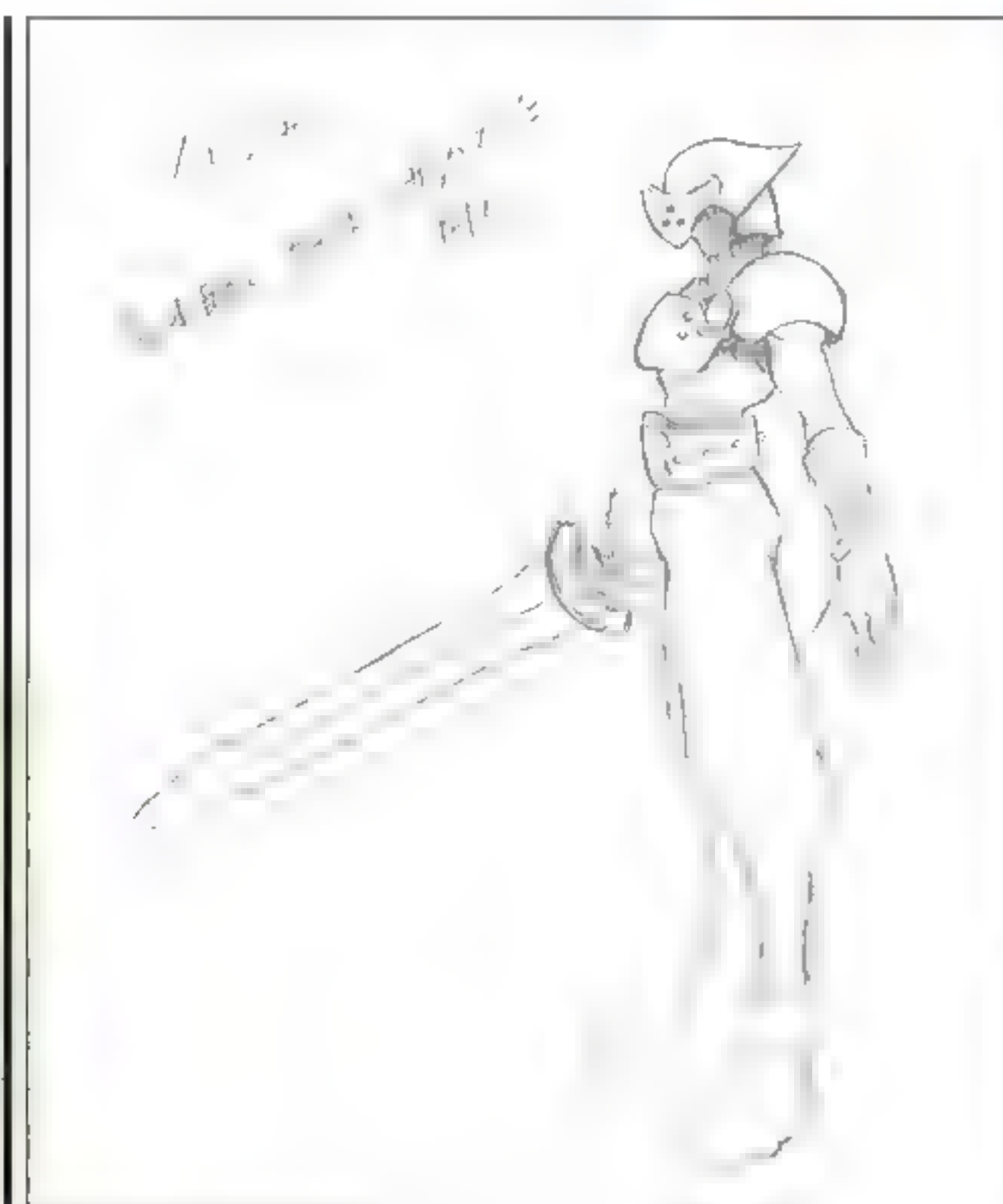
警備兵

神羅カンパニーが抱える軍隊の兵士。銃のデザインや攻撃のバリエーションについても、具体的なアイデアが書き記されている。

ガードハウンド

神羅カンパニーの軍用犬。もともとは、目が光ってサーチライトのように暗闇を照らす、というアイデアがあったようだ。

戦闘員

神羅兵のなかでも戦闘に特化された者。ゲーム中では見えづらいが、左腕の「火器厳禁」の文字も、CGできっちり再現されている。

ソルジャー

神羅カンパニーの精鋭兵。胴体から下の基本デザインは、クラウドやザックスとほぼ同じ。ゲーム中では、剣の形が円錐形になった。

空中兵

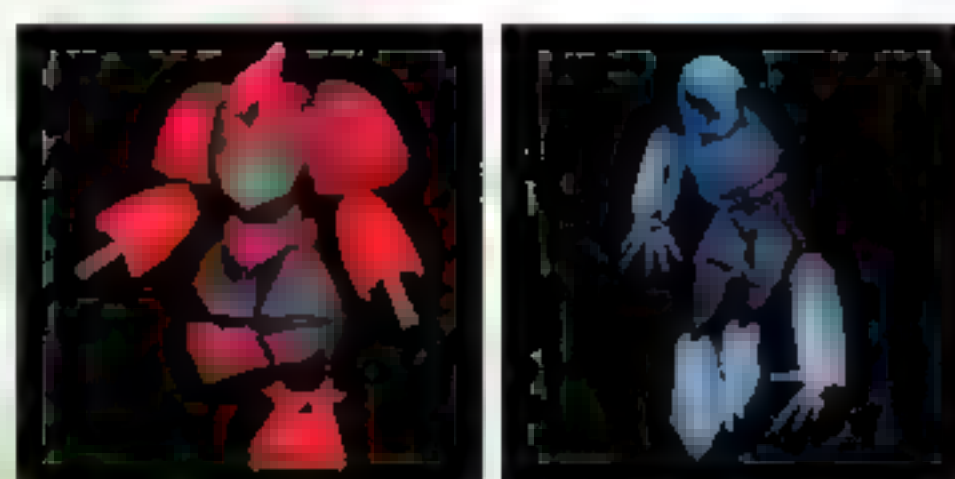
両腕に装備したプロペラ形のユニットで空を飛ぶ神羅兵。プロペラで攻撃するアイデアは、実際のバトルに活かされている。

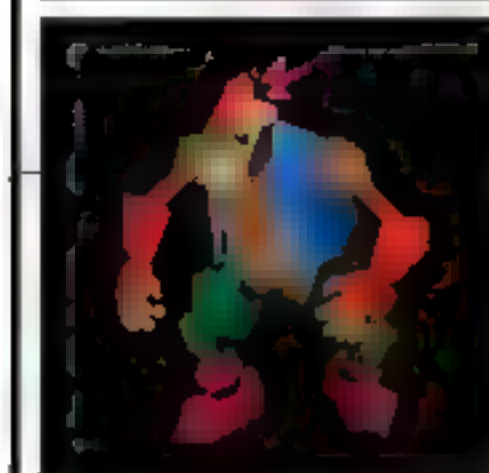
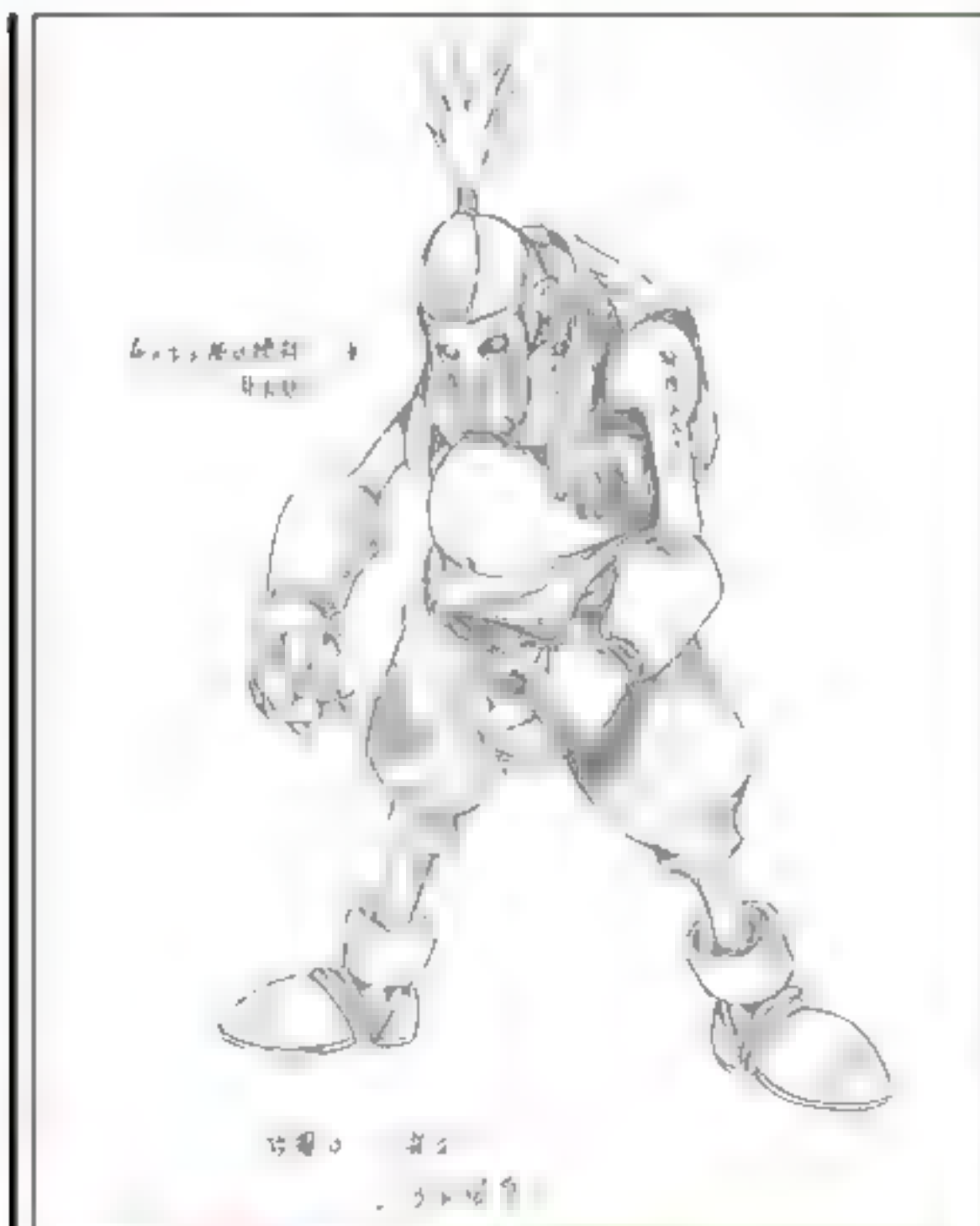
Memorial Feature

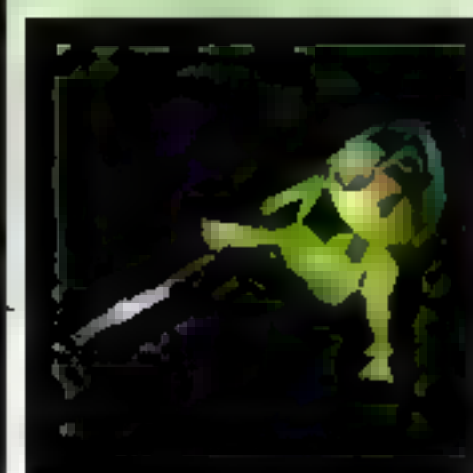
重装兵から軽装兵への変化

強化戦闘員は、はじめのうちは防御力が高そうな重々しい外見をしているが、HPが減るとアーマーが壊れ、身軽になった戦闘員が姿を現す。以降は、ローラースケートですべるような動きでこちらの攻撃をかわしまくるものの、気持ち良さそうにすべるだけで攻撃してこないことも。

強化戦闘員

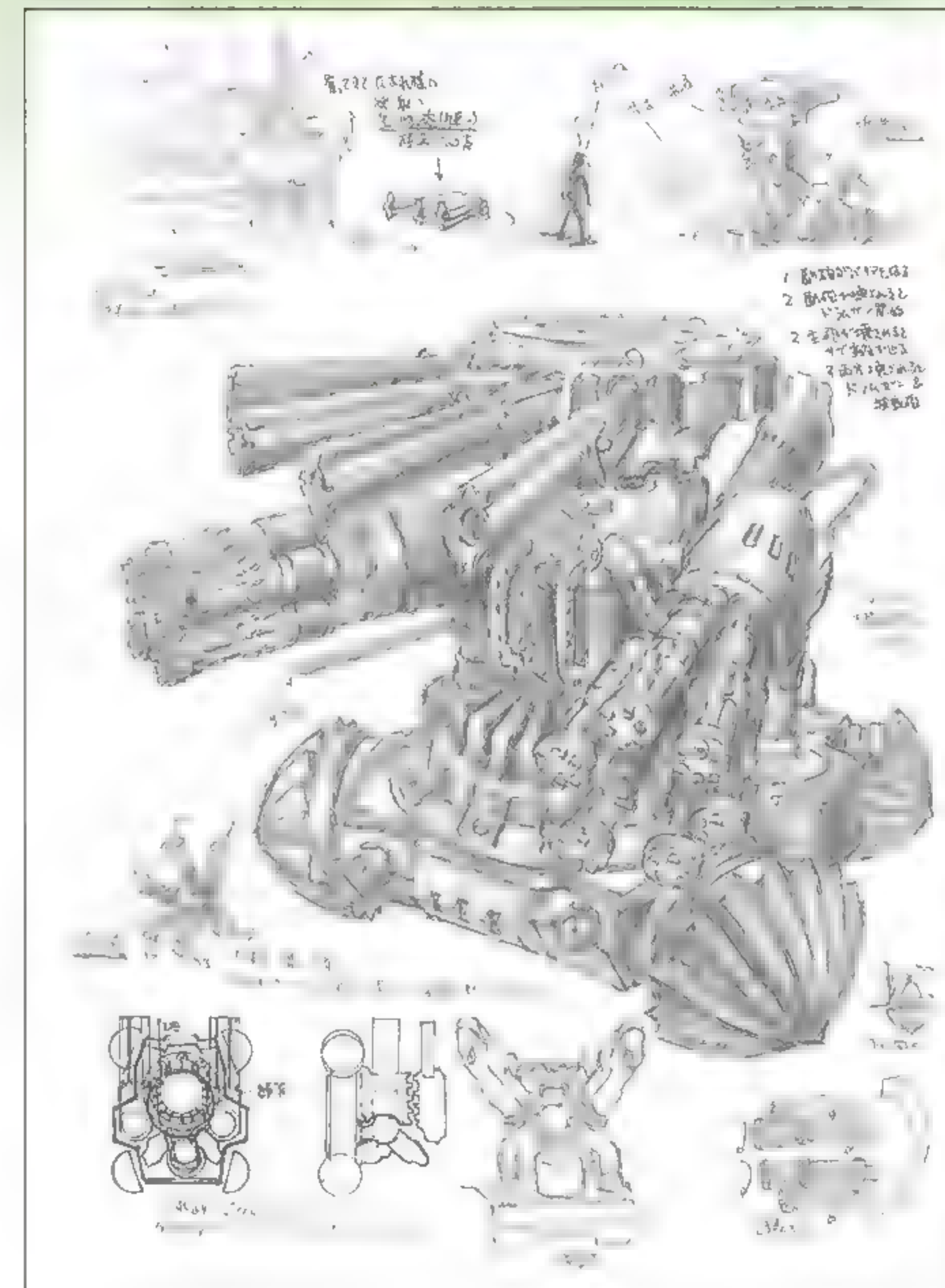
アーマーを身につけた戦闘員。アーマー破壊前はほとんど動かないことや、アーマー破壊後の動作などが、デザイン画で指定されている。

ヘッジホッグパイ

パイから手足が生えたような奇怪な姿の怪物。その名のとおり、ハリネズミ(ヘッジホッグ)に似たトゲを持つ。

ヴァイス

布で顔を隠した盗賊。パーティーからアイテムを盗んでいく手クセの悪さは、企画段階から決まっていた模様。

サハギン

『FF』シリーズでおなじみの水棲モンスター。本作では、二足歩行をするカメのような姿で、三つ又のモリを手にしている。

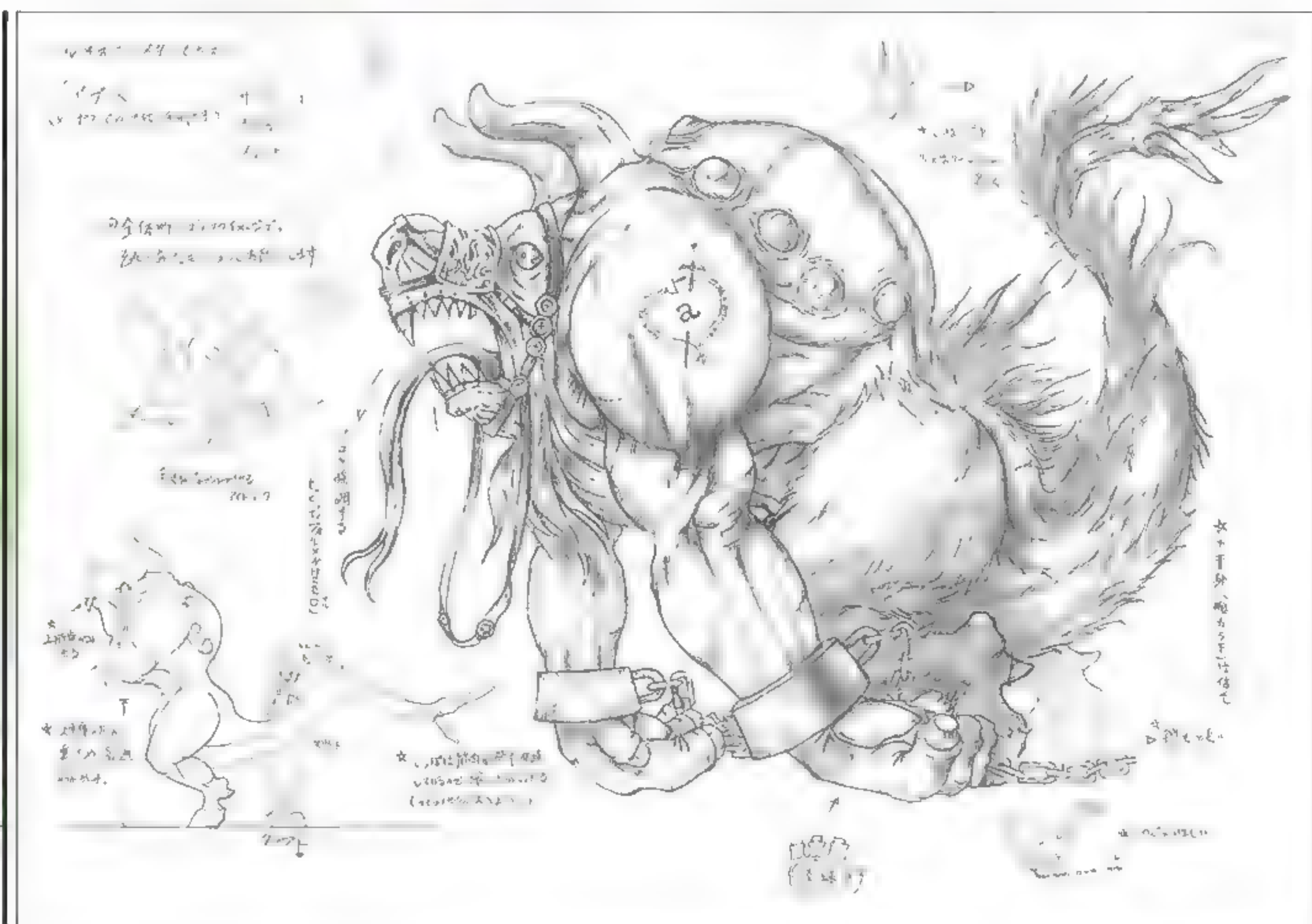
アプス

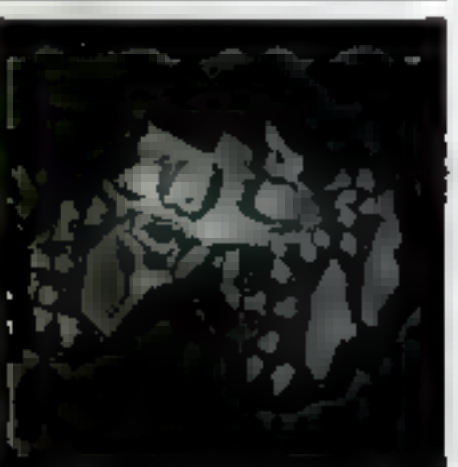
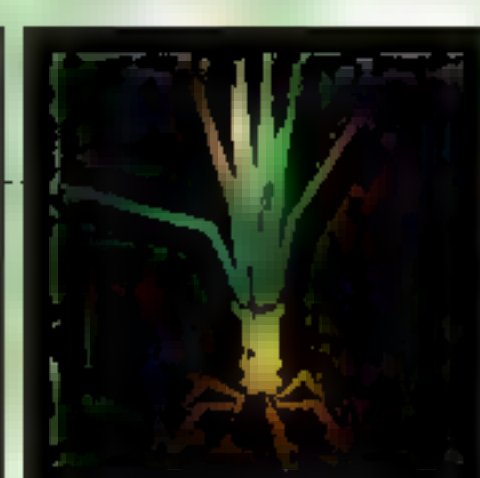
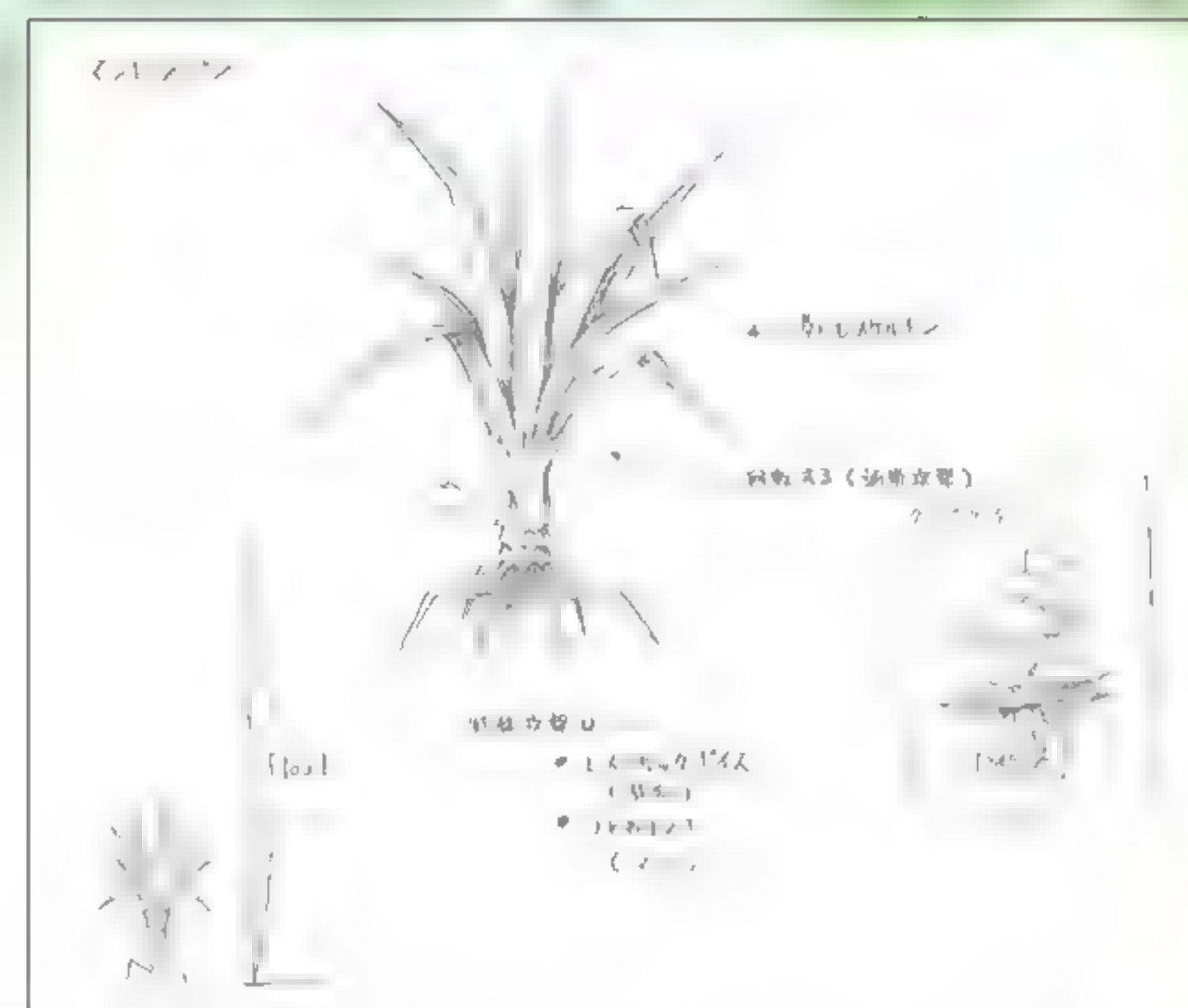
コルネオがペットにしている怪物の一体。デザインやモーションについて、詳細に指定されている。手のひらの肉球がカワイイ？

ハンドレッドガンナー

無数の銃火器で武装した戦闘メカ。デザインされた要素がゲーム中で忠実に再現されている。設定画の右上にある波動砲の攻撃の指定が、ちょっとコミカル。

Memorial Feature

ミニゲームのラストで登場

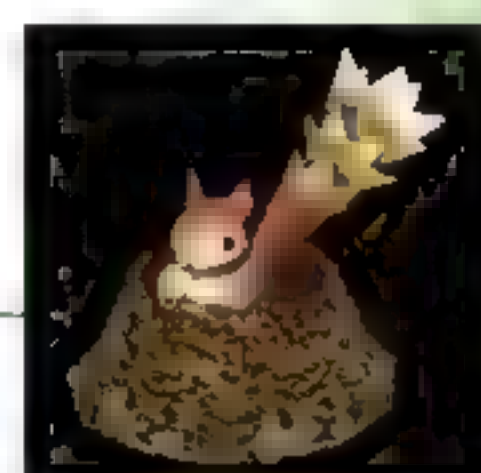
ミッドガルから脱出するときのミニゲーム「G・バイク」では、クラウドたちと追っ手のバイクとのチェイスシーンがくり広げられる。モーターボールは、そのミニゲームの最後に登場。コース上でクラウドたちに迫ってきたのち、そのままバトルに突入してバックアタックを仕掛けてくるのだ。

モーターボール

甲冑の上半身のようなボディと、スパイク付きのタイヤを持つ車両型の戦闘メカ。ゲーム中では、変形や攻撃のバリエーションが、デザイン画の記載よりも増えている。

マンドラゴラ

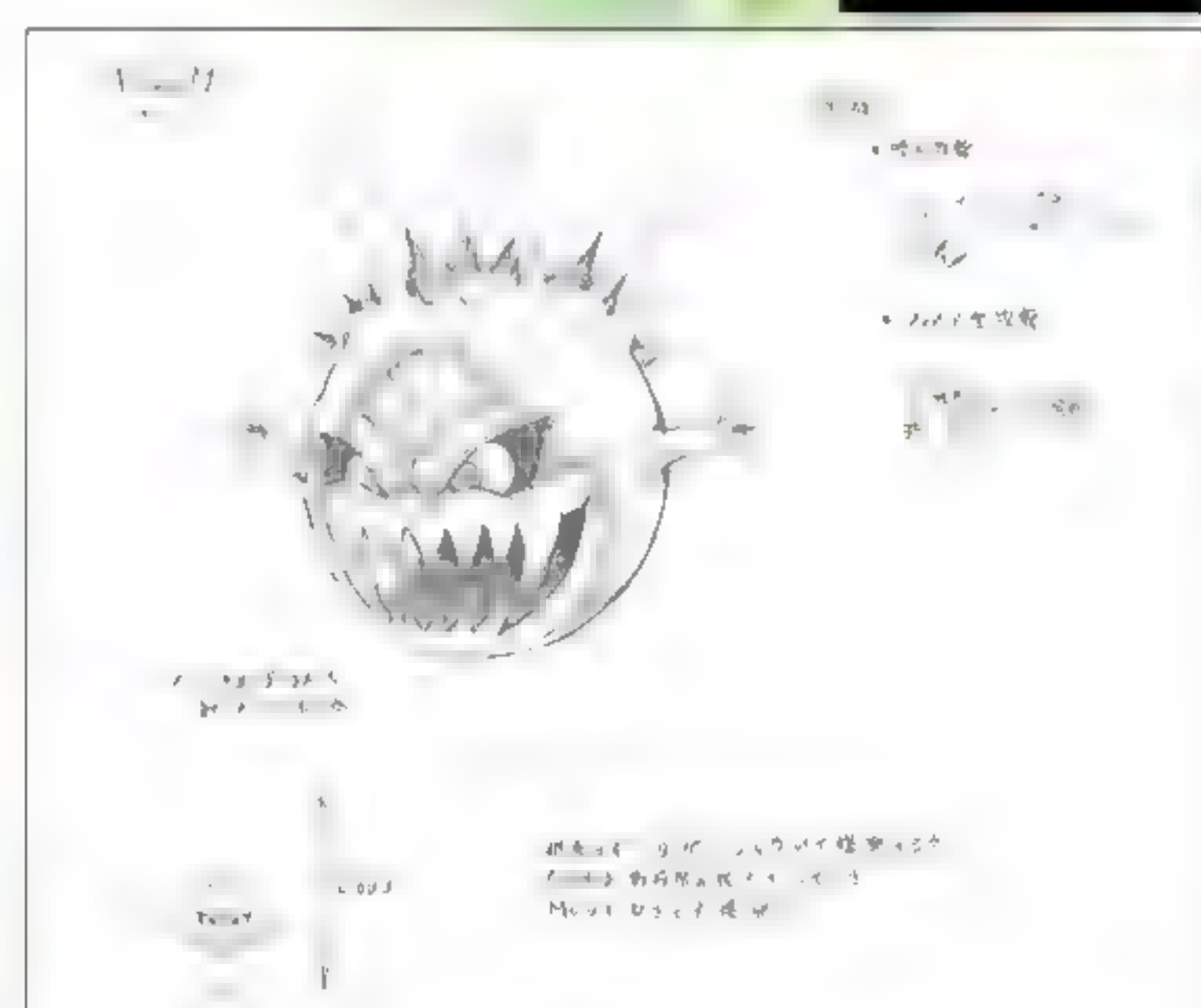
植物のモンスター。攻撃モーションを実現するためのスケルトン(3Dモデルを動かすのに必要な骨組み)についても指定されている。

ムー

リスに似た、かわいらしいモンスター。デザイン画では遠距離攻撃オンリーと書かれているが、接近して攻撃してくることもある。

エレファダンク

ゾウ型のモンスター。体高はクラウドよりやや低い程度で、さほど大きくはない。攻撃の待機中には、デザイン画に記載されているとおり、しっぽを振っている。

ボム

「FF」シリーズで常連となっている、生きた爆弾。自爆を行なうまでだんだん身体がふくらんでいくアイデアは、ゲーム中で実現された。

Memorial Feature

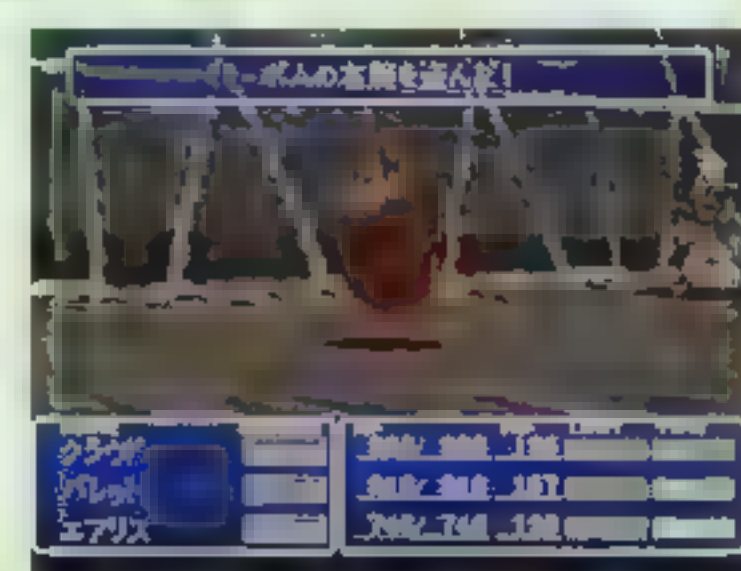
敵モンスターの右腕は頼もしい味方

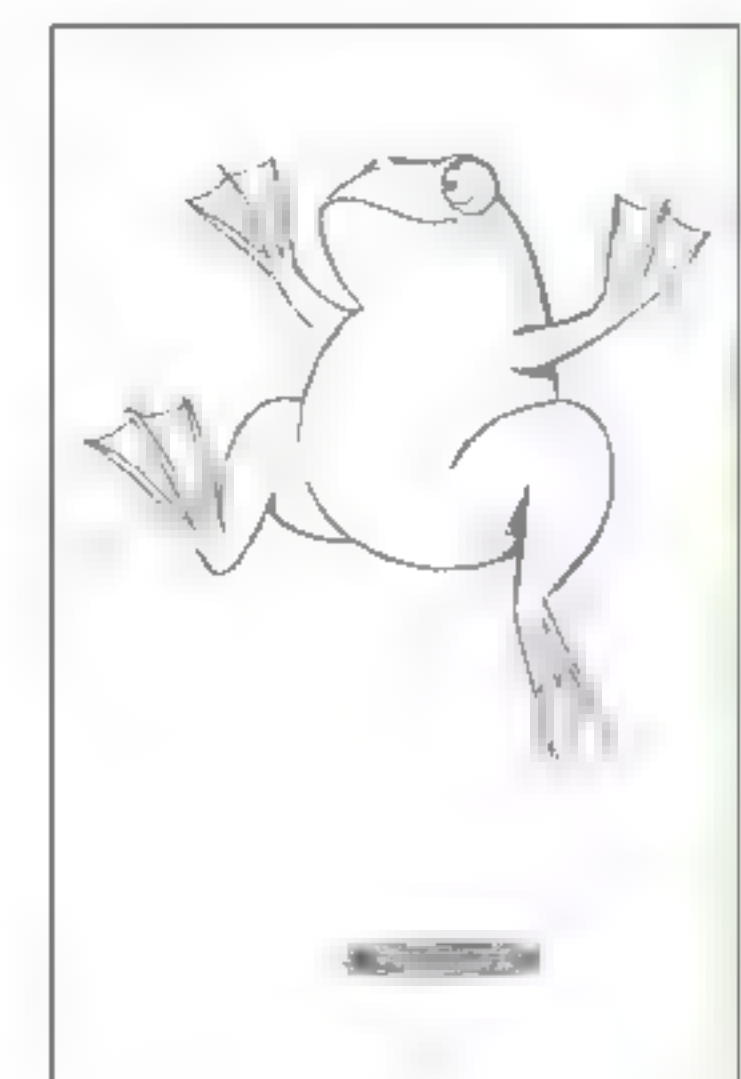
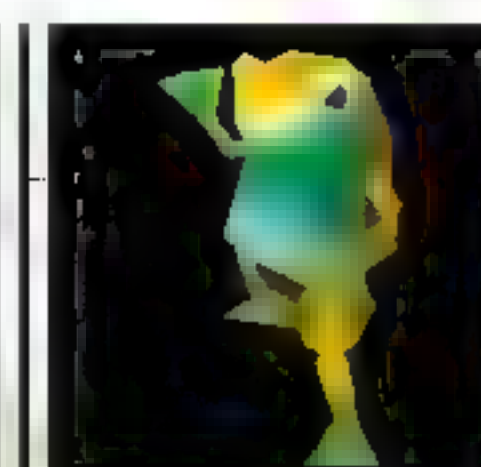
ボムからは、攻撃用のアイテムであるボムの右腕を盗める。ボムの右腕は、コレル山を訪れた時点で使用可能な攻撃としてはズバ抜けて威力が高く、つぎに戦うボス敵であるダインを一撃で倒せるほど。使い勝手の良さに気づいて、たくさん集めた人もいるのでは？

デスクロー

4対のカギヅメを生やした怪物。デザイン画に「青魔法」と記載があるとおり、ラーニング可能なてきのわざ(いわゆる青魔法)のひとつ、「レーザー」を使ってくる。

グランドホーン

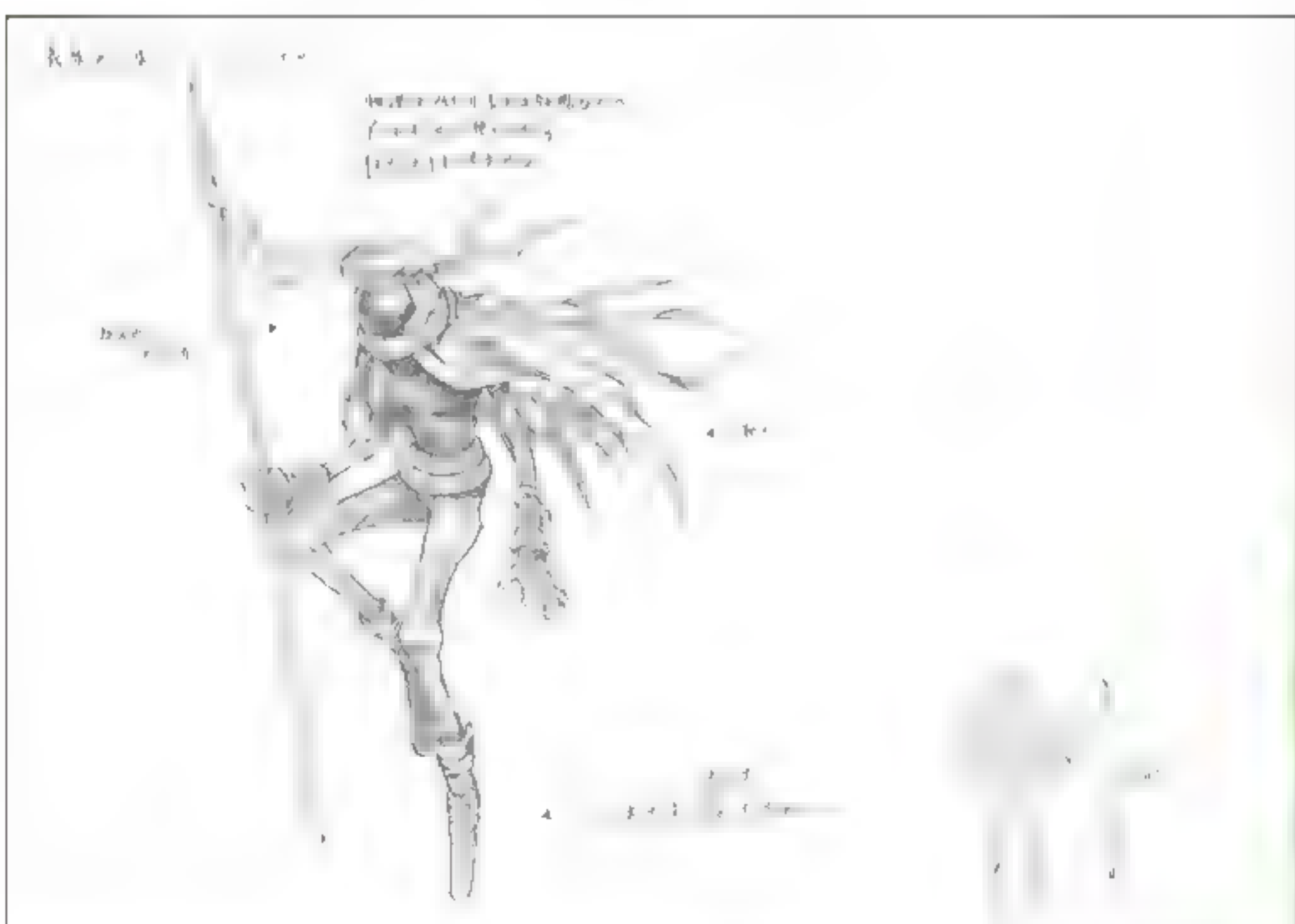
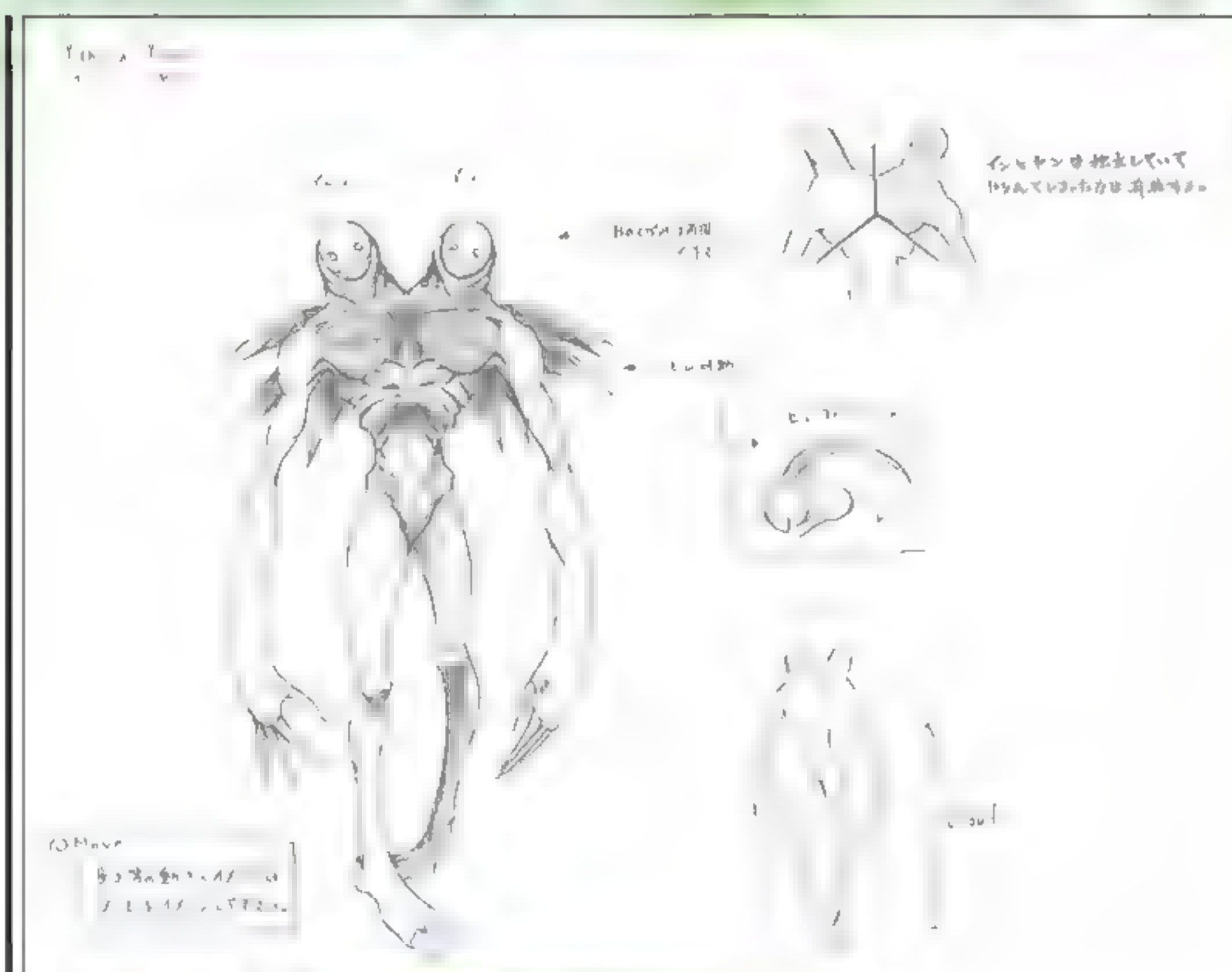
両腕が発達した、二足歩行のモンスター。イラストで表現されている毒ブレスは、コンドルフォートで戦うCMD.グランドホーンが使う。

タッチミー

カエルの姿をした魔物。色以外はパーティーメンバーがカエル状態になったときと同じ外見であるため、デザイン画も共通している(→P.111)。

Memorial Feature

地獄の「カエルパンチ」

タッチミーは、見た目からして弱そうな小型のモンスター。しかし、実際には「カエルパンチ」と「カエルのうた」を連発してクラウドたちをカエル状態にしまくるという、非常にイヤらしい能力を持つ。6体のはさみうちを受けてしまうと、逃げたくても逃げられず、カエル状態を防ぐ工夫がなければ地獄を見るハメに。

ギ族の亡霊

かつてコスモキャニオンを襲った邪悪な部族のなれの果て。「ギ族」は、漢字で表記すると「義族」となるらしい。

イン&ヤン

双頭を持つ長身のゾンビ。ふたつの頭はそれぞれ独立したモンスターで、片方が倒されても活動をつづけられる。デザイン上のこだわりは、目のくぼみ。

Memorial Feature

最強の攻撃は「動作」

イン&ヤンは、神羅屋敷に出現するモンスターのなかでも強い部類に入るが、攻撃の威力以上に、動作の遅さがやっかい。ひとつの行動にかかる長い長い時間が、プレイヤーの精神をいたぶる。

ジェミニスミー

妖艶な魔女。デザイン画では全裸だが、ゲーム中では、残念ながら(?)レオタードのような衣装を身につけている。

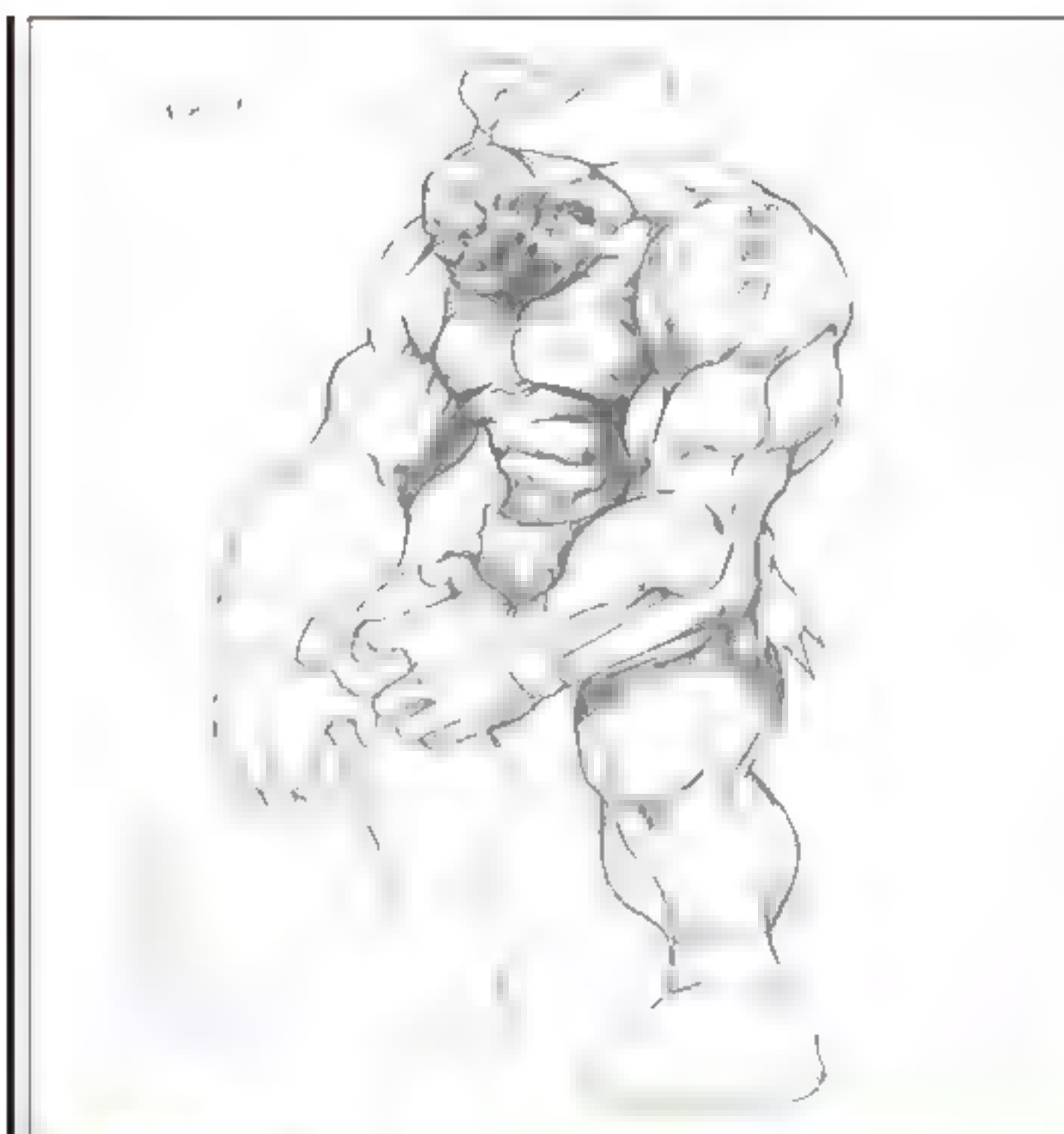
ハングリー

長い舌と大きな口が特徴的な魔物。「ミニマム」を使い、小さくした相手を食べるという、一風変わった攻撃を行なう。

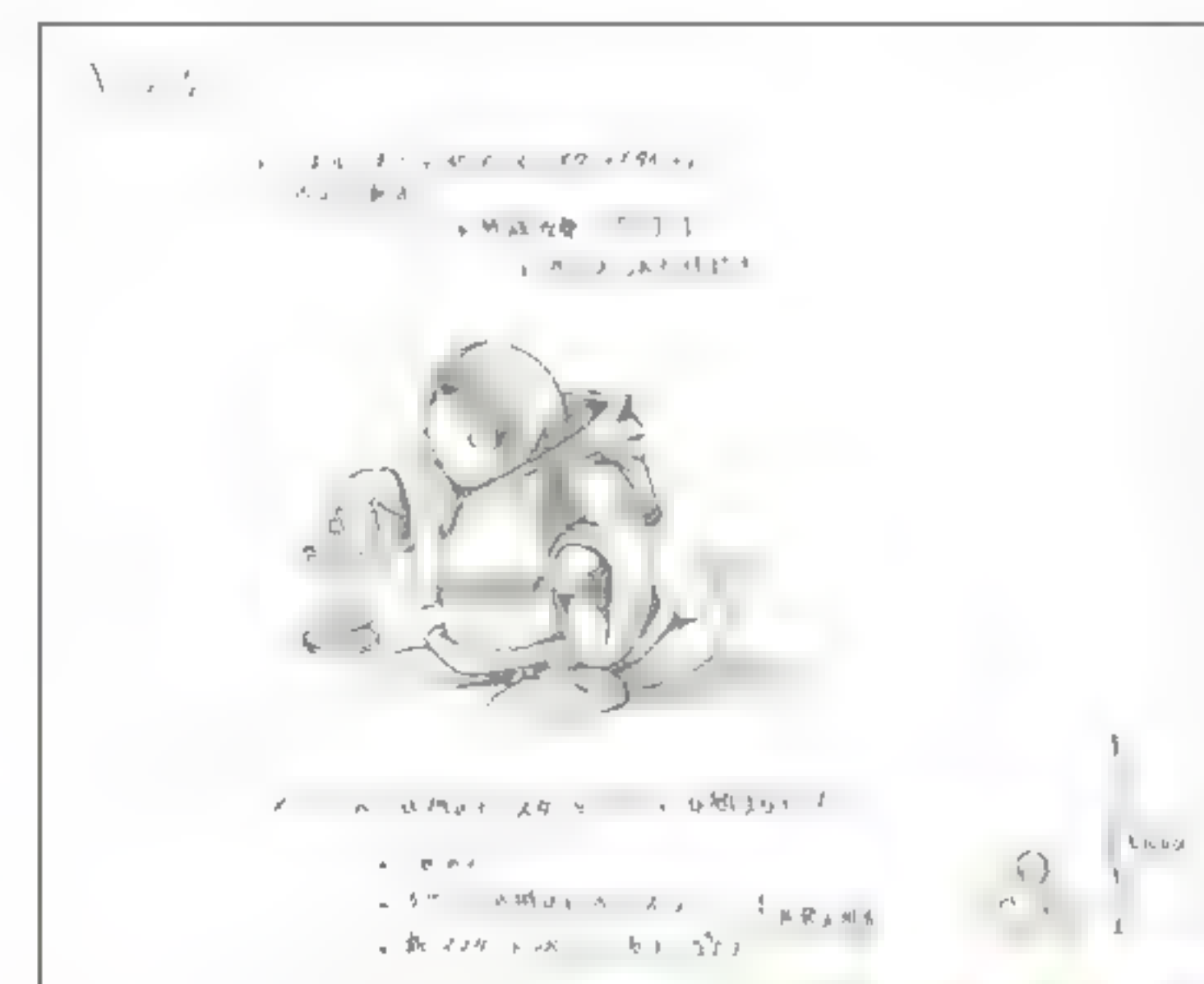
グリムガード

盾を構えた妖精。盾を上下に引っくり返すたびに、防御力が高い状態と魔法防御が高い状態が切りかわる。

スティルヴ

6本の脚と2本の尻尾を持つ、節足動物のようなモンスター。筋肉のつきかたから骨の形状、カラに空いた穴の位置に至るまで、詳細な設定がある。

▶ 身体の詳細

ギガース

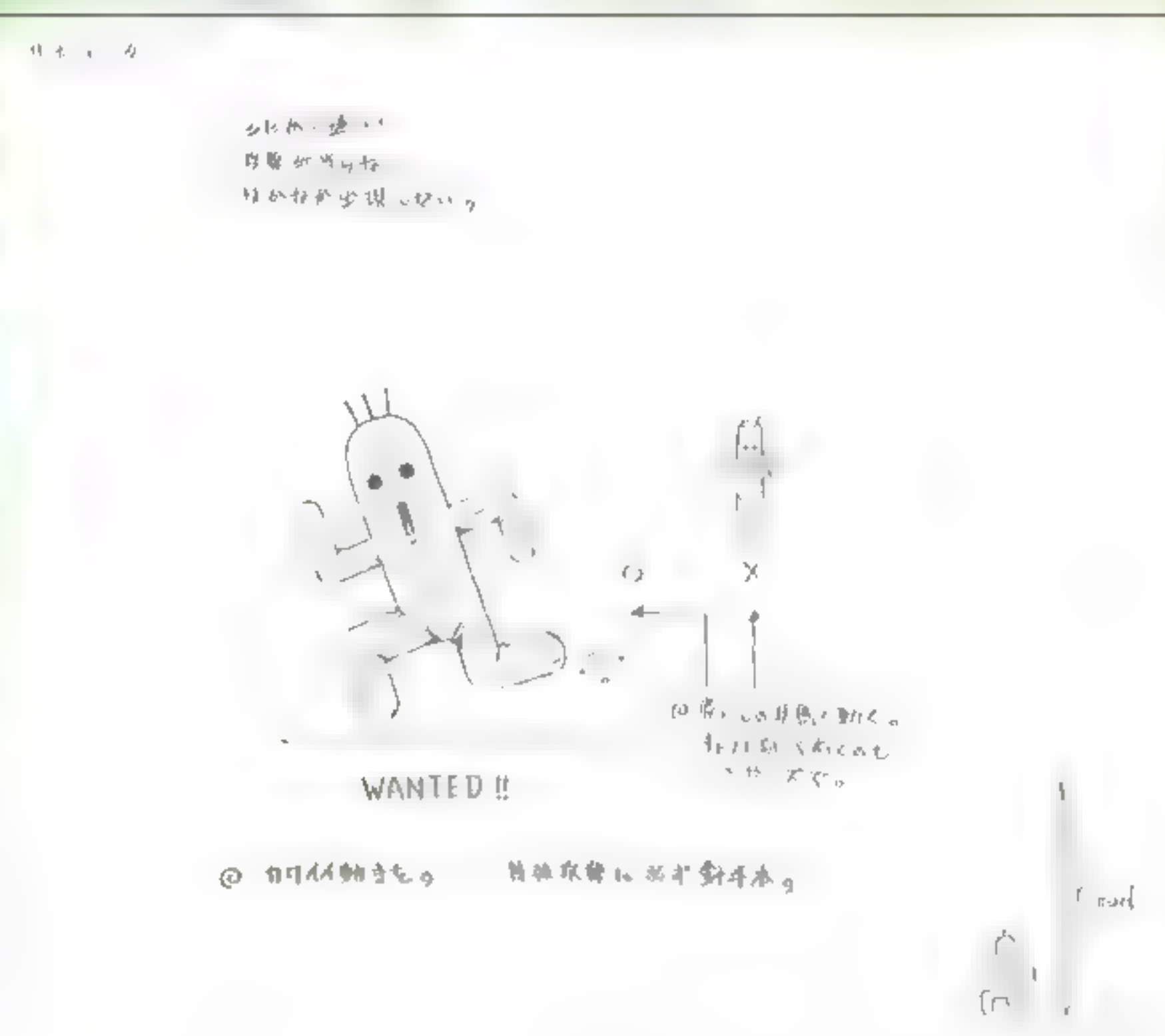
剛力を誇る巨人。額の飾り、リストバンド、腰布、ブーツなどがゲーム中で忠実に再現されている。

トンベリ

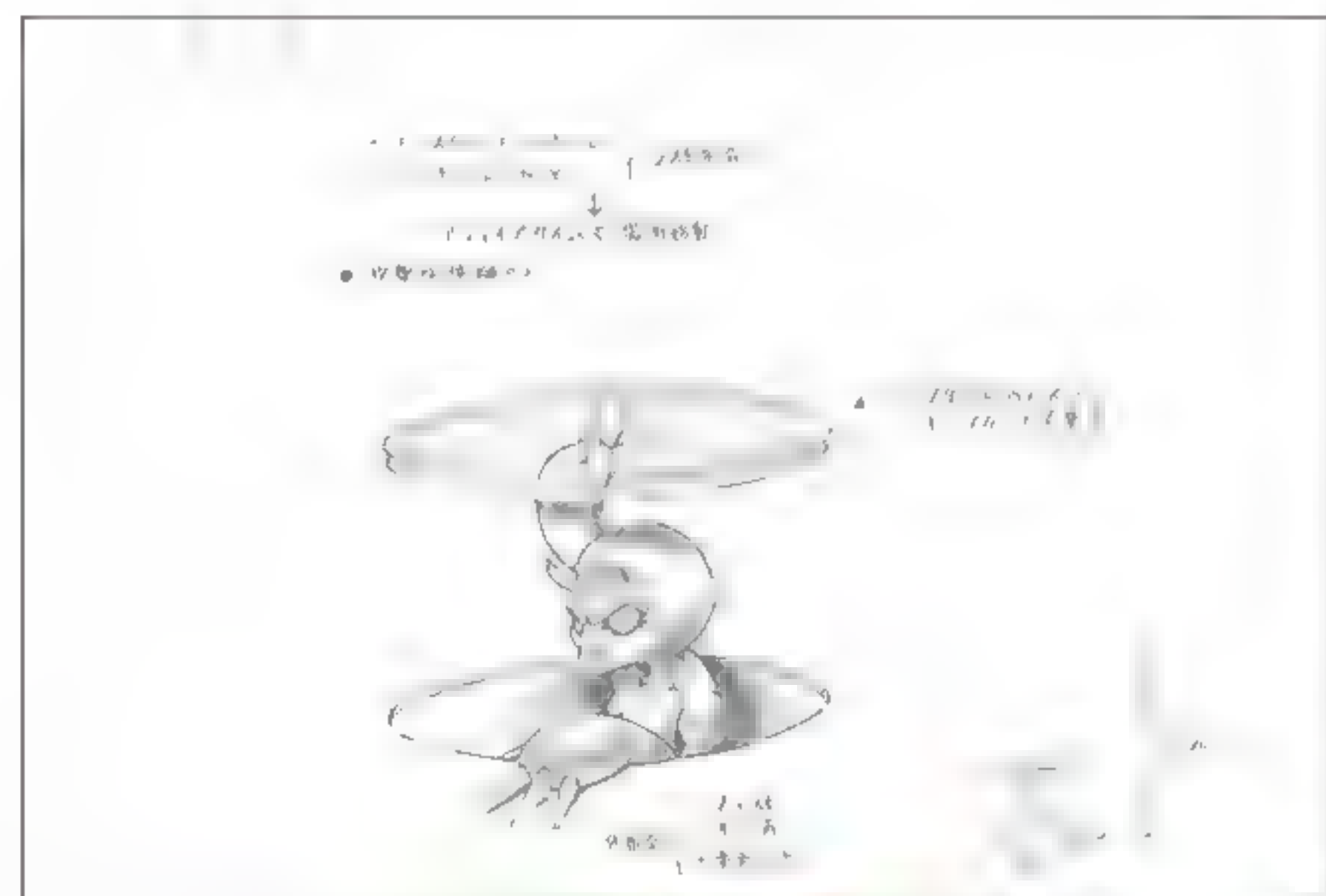
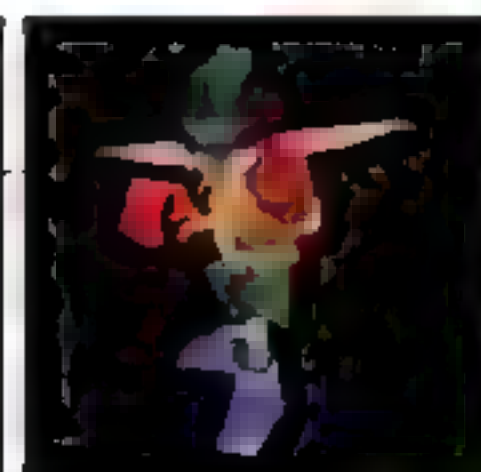
ランタンと包丁を手にした、謎のモンスター。バリエーションとして記載のあるトンベリーズは本作には現れないが、マスタートンベリは実際に登場する。

ゴーストシップ

巨大なガイコツと一体化した幽霊船。イラストの右下に記されている攻撃方法のアイデアは、ゲームにそのまま採用されている。

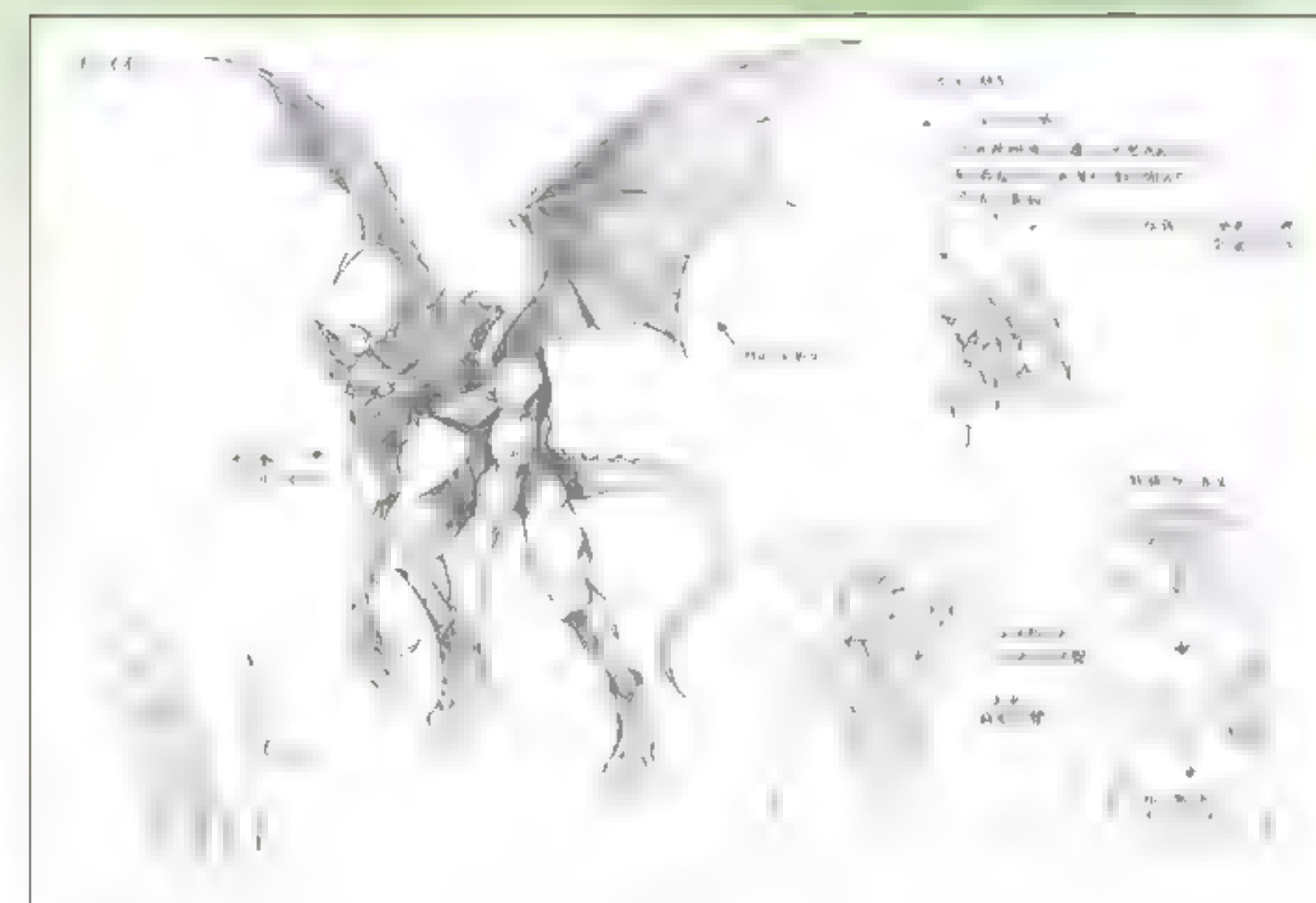
サボテンダー

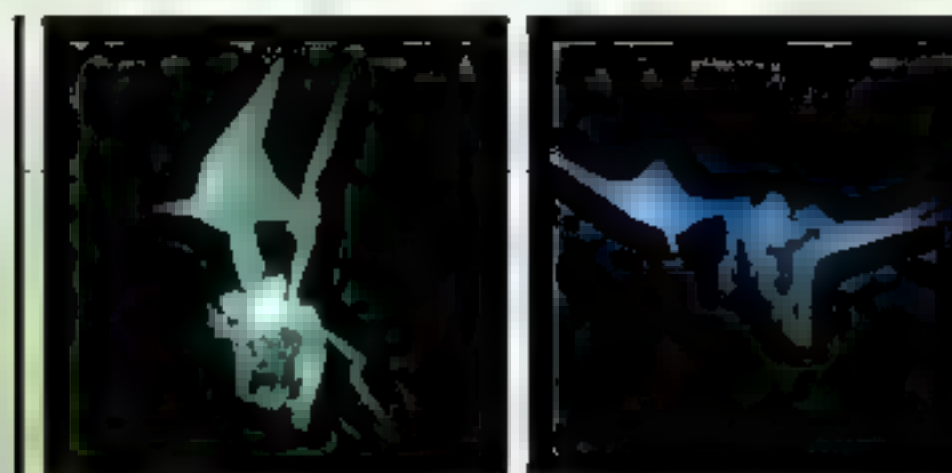
人型をしたサボテンのモンスター。お決まりのポーズをくずさないようにすることや、攻撃方法として「はりせんぼん」を使うことが指定されている。

ゴブリン

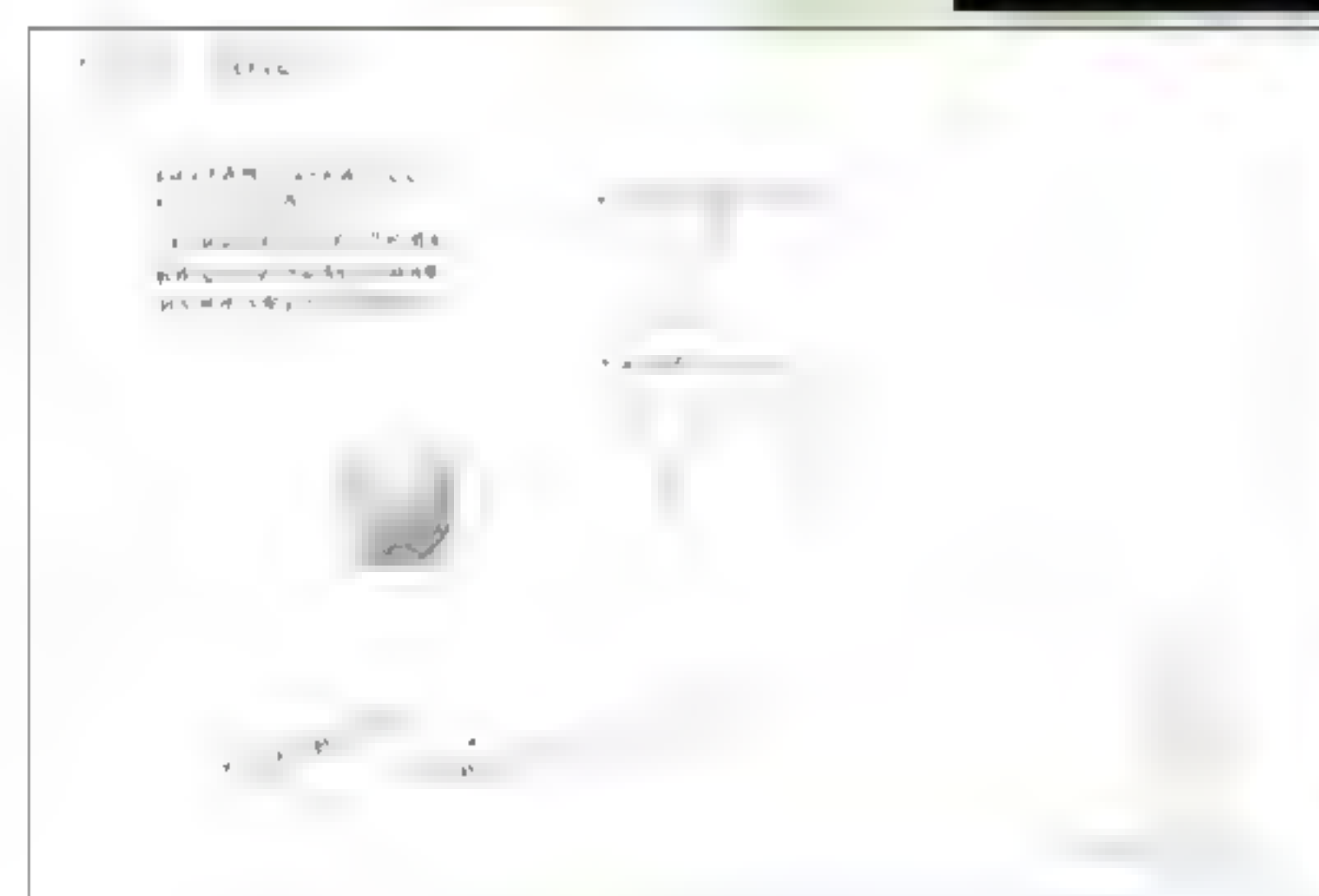
耳の長い小鬼。「ゴブリンパンチ」を使う特徴を強調するためか、ボクシンググローブをはめている。若者風のオシャレな服装も目を引く。

マンホール

穴から穴へと移動するモンスター。このモンスターが引っこんだあとの、"ハズレ"の穴を攻撃しても、ダメージは与えられない。

ベヒーモス

デザイン画の肩の部分に書かれているとおり、『FF』シリーズでは常連の魔獣。おなじみのモンスターだけにこまかな指定はなく、いつもどおりの強さが求められたようだ。

ガーゴイル

生きた石像。バトルの背景として現れたものが動き出すというアイデアがあった。なお、指差した相手を石化させる攻撃は、実際のゲームでは使わない。

ムーバー

3体ひと組で出現する、真ん丸い小型のモンスター。実際のゲーム中では6体で現れることはないため、「Wトライアングル」のアイデアは幻に。

マジックポット

ツボのなかから顔をのぞかせて、エリクサーをほしがる奇妙な魔物。逃げ出すときは、意表を突いてツボから足を生やす。

Memorial Feature

APかせぎの友

マジックポットやムーバーを倒すと、膨大な量のAPが手に入る。マテリアをマスターまで成長させるために、これらのモンスターをくる日もくる日も倒しつづけたプレイヤーは少なくないはずだ。

鉄巨人

巨大な動く鎧。「とにかく強い!!」というオーダーのとおり、ヘタなボス敵よりもよほど強く、並のパーティーでは全滅もあり得る。

Ultima W

アルテマウェポン

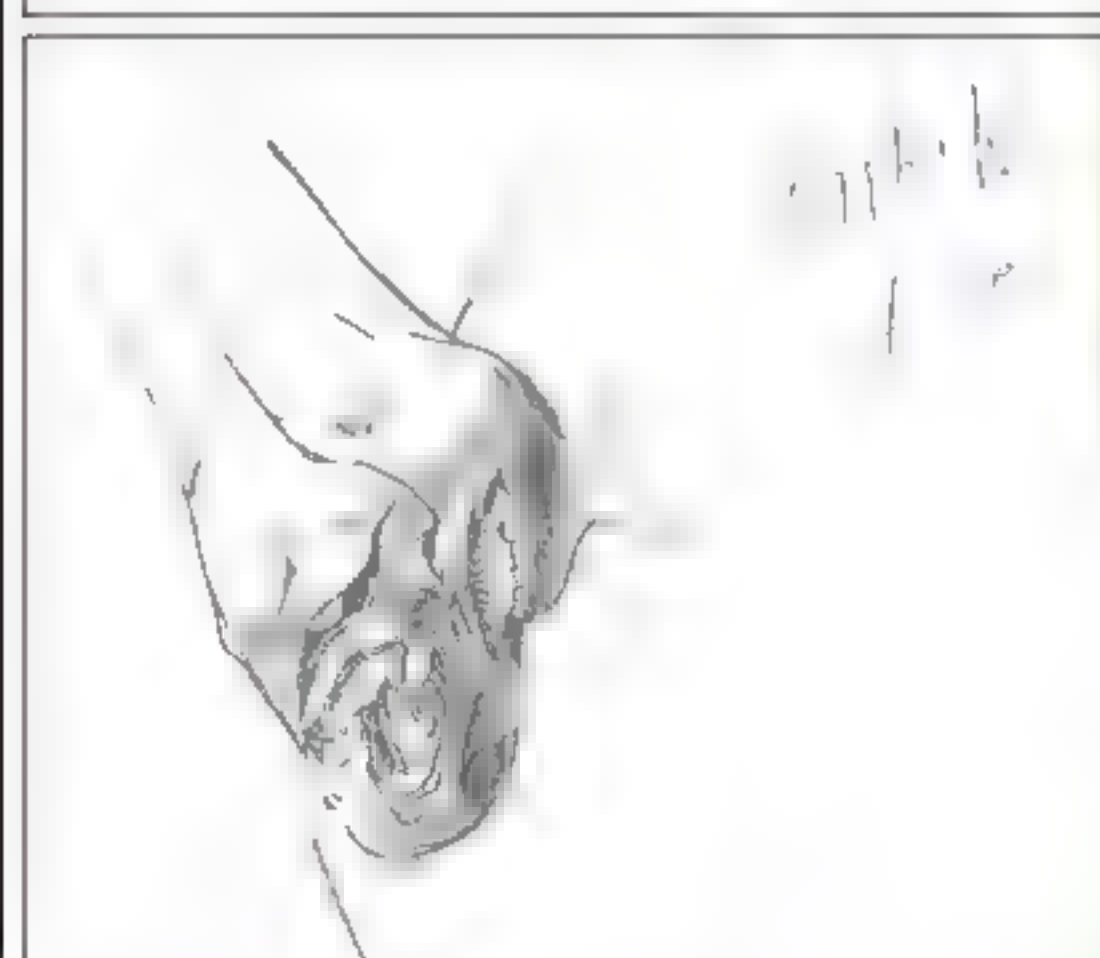
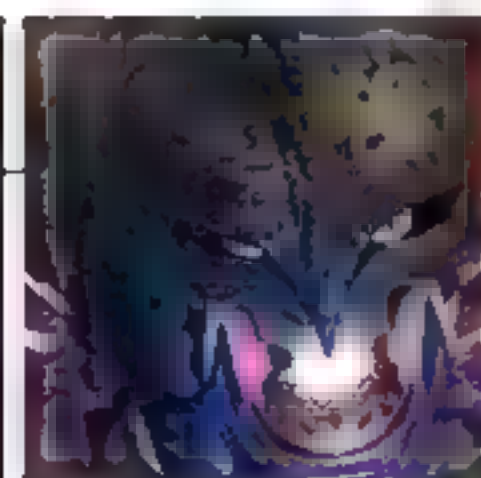
星が生み出した兵器の1体。胸部中央のアルテマ発射口から「アルテマビーム」を放つ。オリジナル版で実際に戦うウェポンはこの1体のみ。

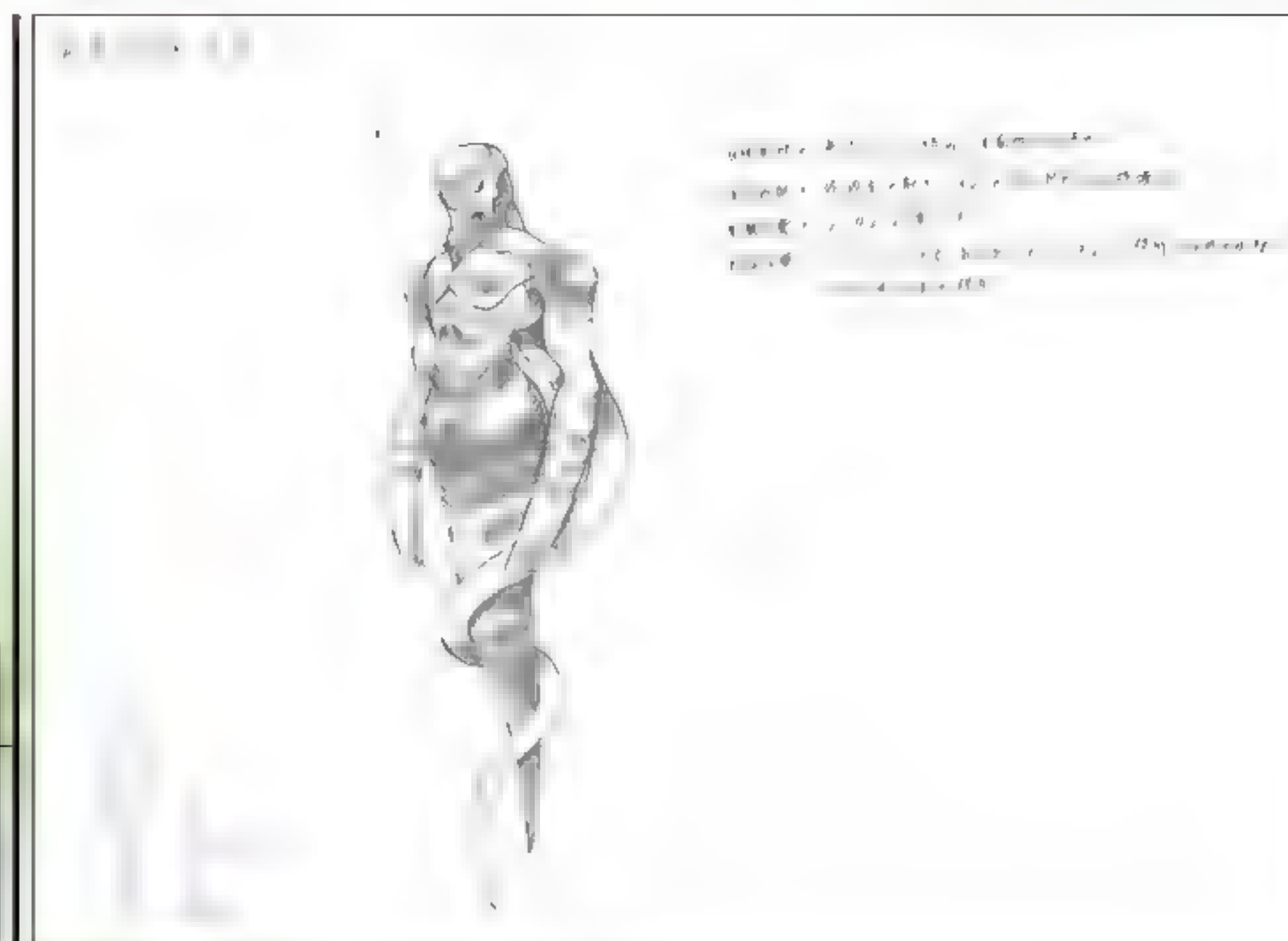
サファイアウェポン

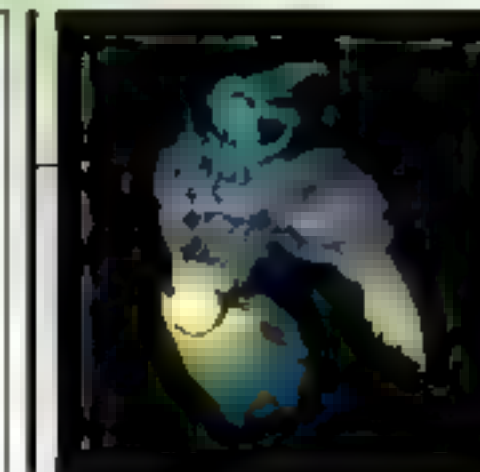
星が生み出した兵器の1体。ムービー用の資料として、全身図のほかに、顔のアップのデザイン画も作成されている。

▶顔の詳細

ルビーウェポン

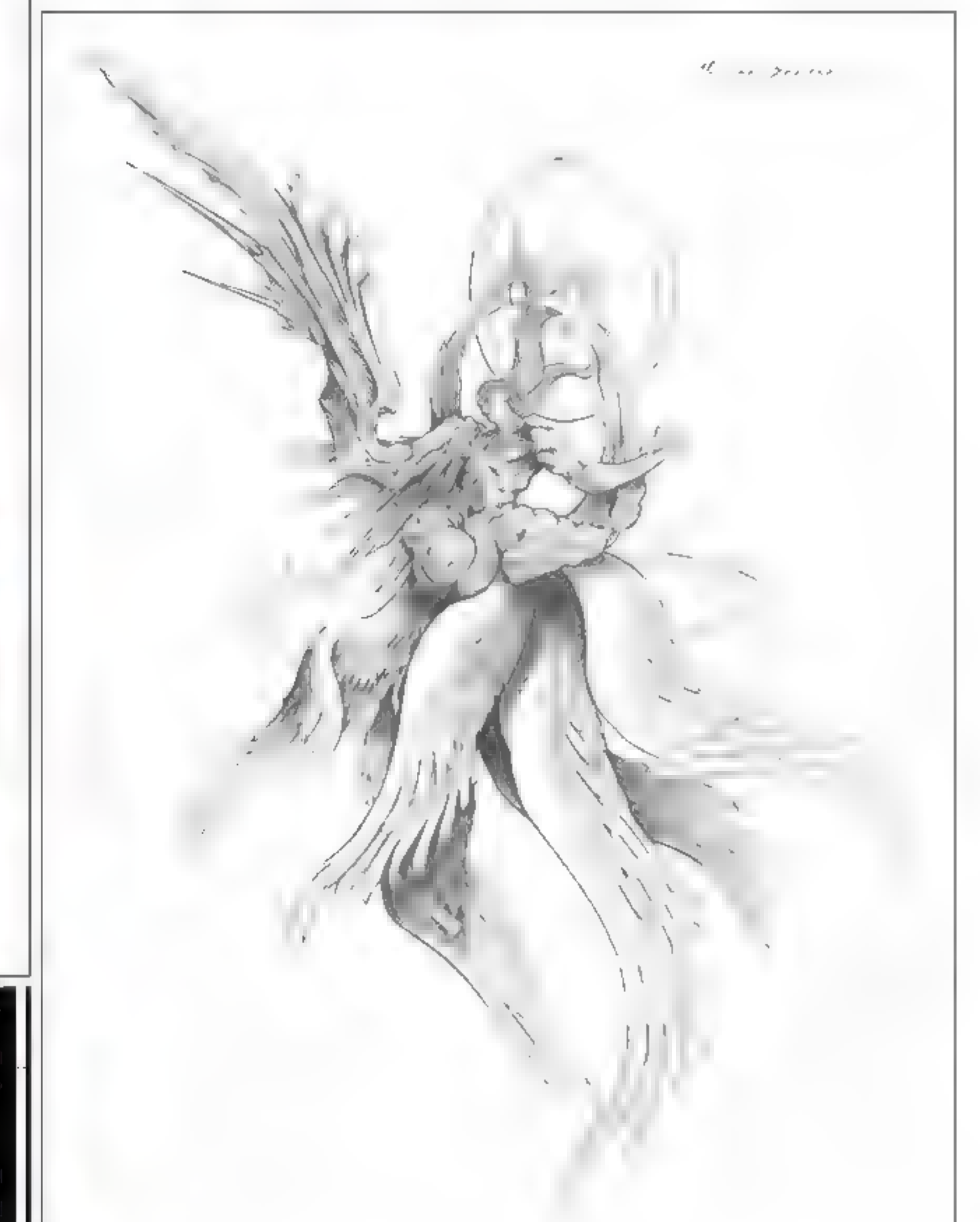
星が生み出した兵器の1体。アルテマウェポンと同じく胸のあたりにコアのような部位があり、そこから「ルビーレイ」を発射する。

極限生命体宝条NA

みずからにジェノバ細胞を注入した宝条が変身を重ねた最終形態。デザイン画の段階では、全属性吸収と魔法攻撃の能力も予定されていた。

リバース・セフィロス

生まれ変わったセフィロスの姿。実際のゲームには反映されていないが、肩に記された「ラスボス魂」の文字がちょっとお茶目。

▶全身（着色後）

▶全身（着色後）

セーファ・セフィロス

神に近づいたセフィロス。片腕のみが翼に変わった姿が、彼のテーマ曲のタイトルにもなっている「片翼の天使」をイメージさせる。開発当初の仮称は「マスター・セフィロス」。

FINAL FANTASY VII EXTRA MATERIALS

ファイナルファンタジーVII

乗り物

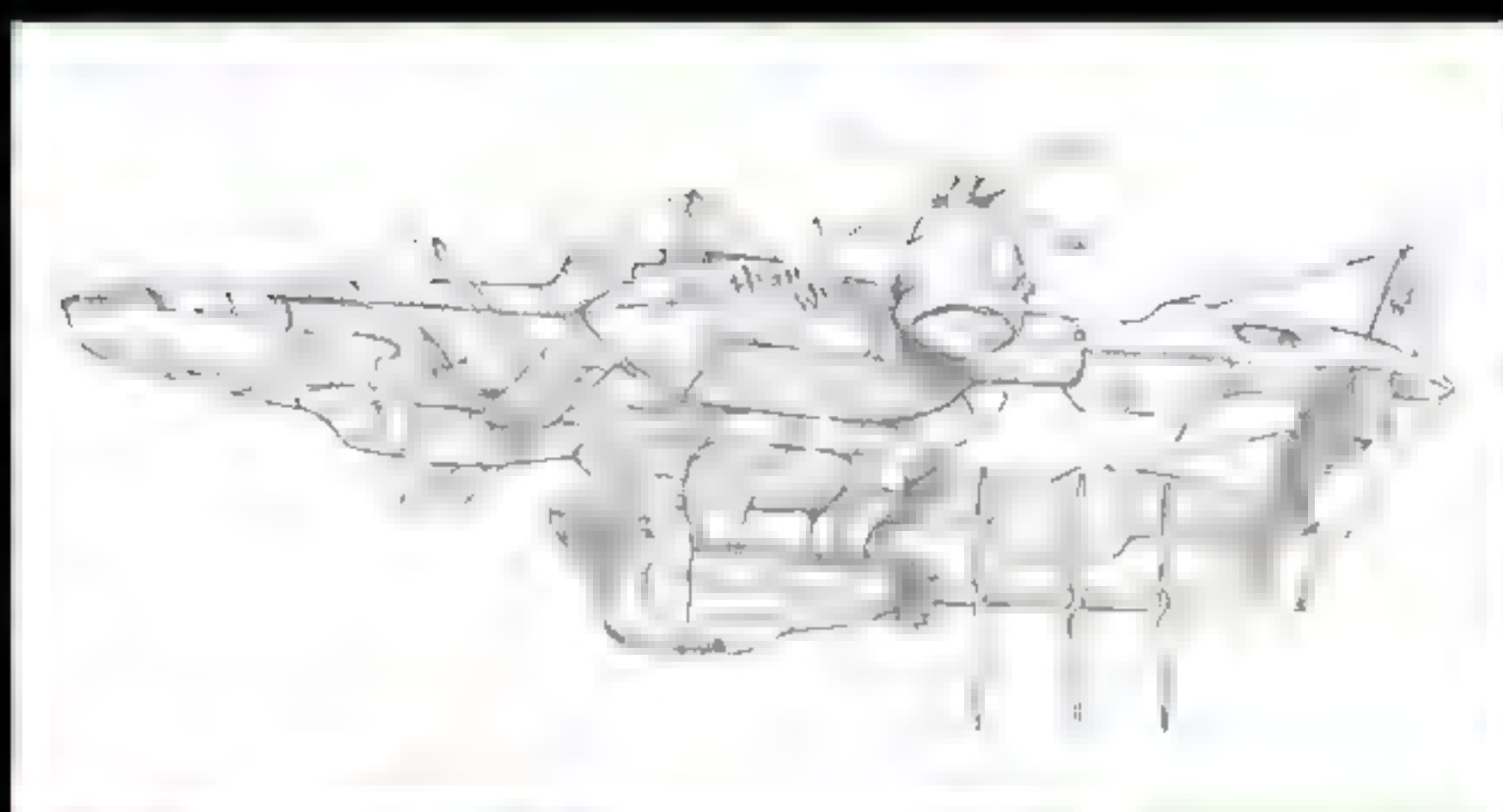
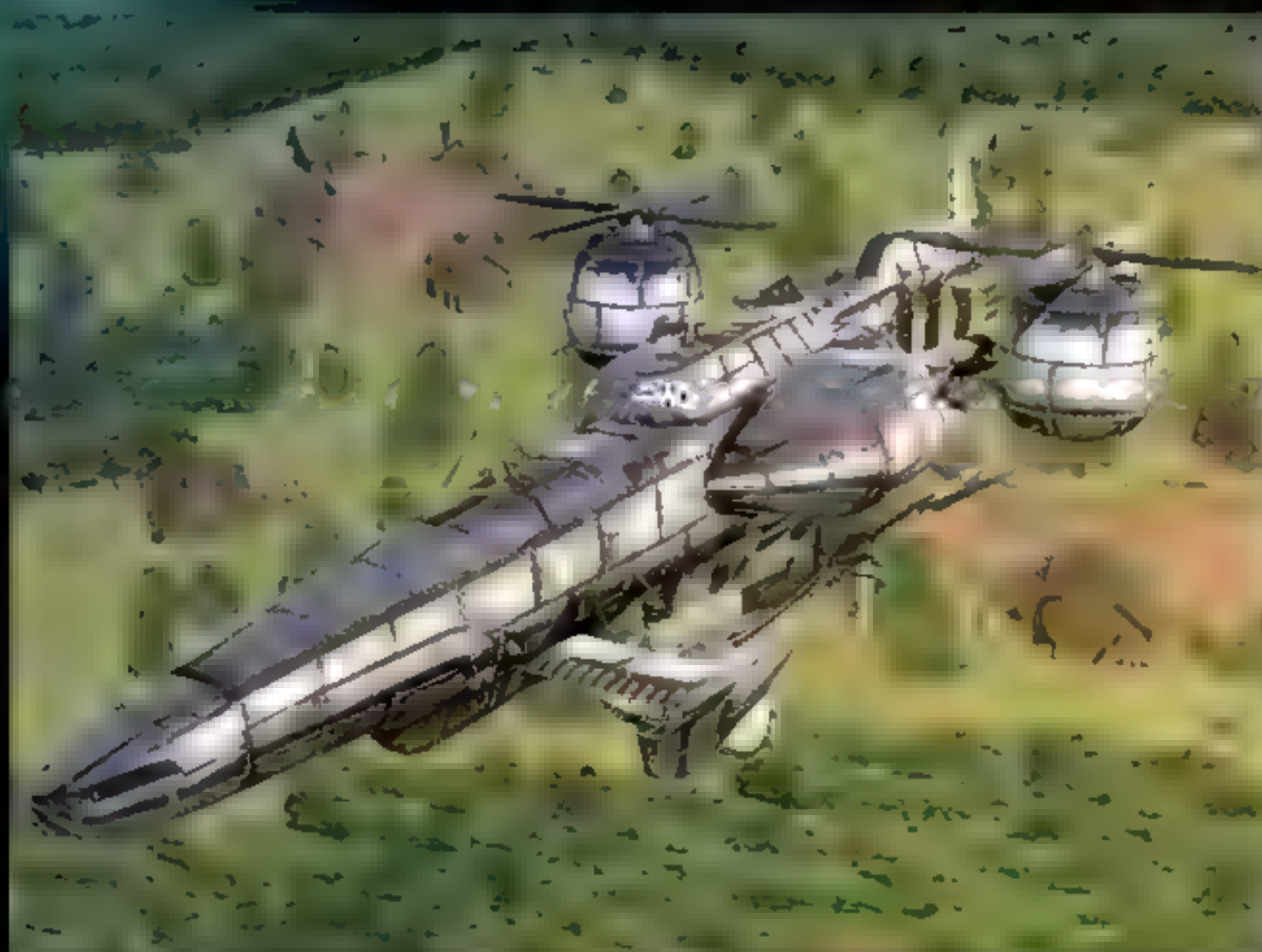
飛空艇ハイウインド

神羅カンパニーが誇る高速飛空艇。伝説的なパイロットであるシドのファミリーネームから取って、この名がついた。物語終盤まではプロペラ推進式だが、最終的にはジェット推進式に変化する。

全長：237m
全幅：183m（プロペラ含まず）
全高：33m（プロペラ含まず）
自重：1,380t
全備重量：2,150t
最大速度：386ノット（海面高度）
巡航速度：173ノット
上昇時間：不明
上昇限度：不明
航続距離：不明
上昇用エンジン：発動機16s-Ge式改（※1）×4
上昇用補助エンジン（※2）：神羅3a型倒立V型12気筒魔晄発動機改（離昇出力1,900hp）×2
上昇用プロペラ：直径5.5m、油圧定速4翔、ピッチ30～80度
推進用エンジン：神羅飛空艇式呂号発動機（※3）×2
推進用プロペラ：直径7.5m、電気定速4翔、ピッチ30～60度
乗員（推定）：34名
武装：不明
建造所：不明

※1……離昇出力15,200hp。神羅製の航空機用空冷星形発動機ハ-13s（離昇出力3,800hp、2重24気筒）がシドの手によって4基直列でつながれ、計96気筒になった飛空艇用発動機。2基でひとつのプロペラを動かす
※2……上昇用エンジンの排気タービンの作動に使用
※3……離昇出力22,400hp。神羅製の航空機用液冷倒立V24気筒発動機ハ-54（離昇出力2,800hp）がシドの手によって8基直列でつながれ、計192気筒になった飛空艇用発動機

▶全体（ラフスケッチ）

▶全体（着色前）

▼全体（着色後）

※スペック内に記載のある「hp」は、出力の単位。「horse power」の略で、「馬力」を意味する

ハーディ＝デイトナ

神羅製の最新型バイク。航空機用発動機研究所からの技術フィードバックによって生み出された、神羅初のV型DOHCエンジンを搭載。ハンドルは、自転車のドロップハンドルに似たスタイルでにぎる仕様になっている。

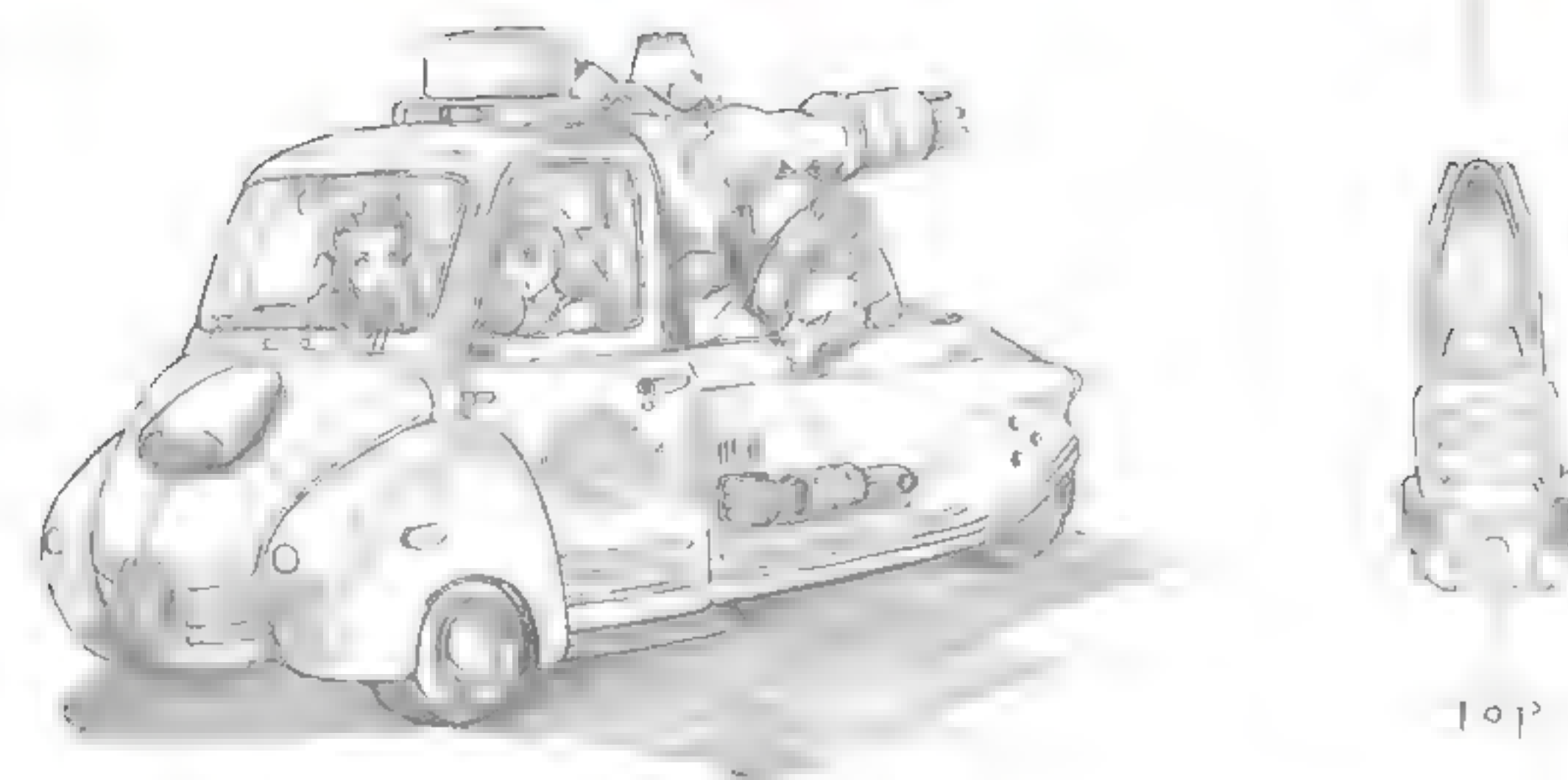
車両形式：hD-92
全長：2,300mm
全幅：785mm
全高：1,175mm
総排気量：1,160cc
エンジン：VE4-Ge型（油冷V型4気筒DOHC）

▶背面

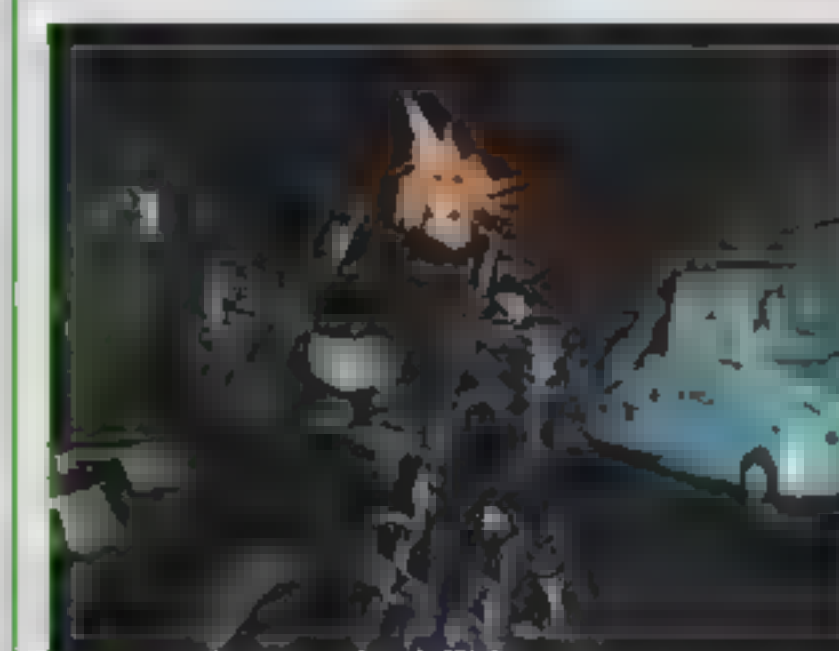
神羅 sA-37式 自動3輪

ひと世代前の自動3輪であるsA-27式（→P.96）をベースに改良された3輪トラック。ボディと一体化したモノコックフレームの採用により、耐久性の向上と軽量化を同時に実現している。

全長：2.96m
全幅：1.87m
全高：1.56m
総排気量：760cc
エンジン：1S-Ge型（油冷単気筒ohv）
乗員：2名

▶デザイン画

Memorial Scene

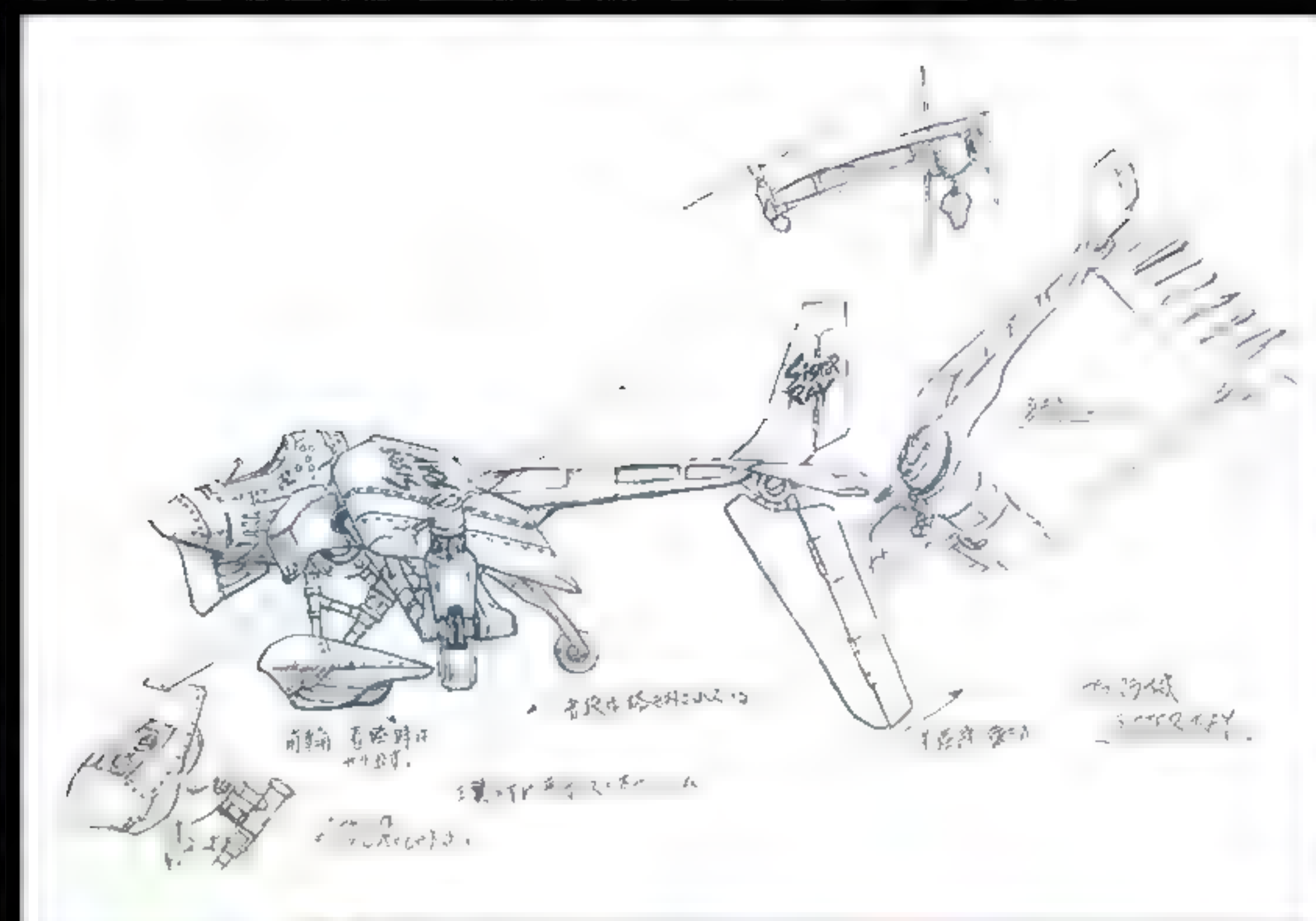
盗んだ車両で走り出す

クラウドたちは、神羅ビルからの脱出のさい、展示されていた乗り物を利用する。クラウドがハーディ＝デイトナ、バレットたちが神羅 sA-37式 自動3輪に乗り、神羅ビルからハイウェイへと飛び移るのだ。

タイニー・ブロンコ

[illegible]機体の[illegible]にはプロペラ[illegible]トが取りつけられている。ラフスケッチが描かれた段階では、「シスター・レイ」は魔晄キャノンではなく、この機の名前だったようだ。

全長	12.74m(ローター含まず)	上昇時間	不明
全幅	12.48m(ローター含まず)	上昇限度	9,400m
全高	3.57m(ローター含まず)	航続距離	1,140海里(推定)
自重	2,280kg	エンジン	油冷RG24式水平対向24気筒発動機(離昇出力3,800hp)
全備重量	3,850kg		
最大速度	235ノット(海面高度)	ローター	直径4.7m、電気定速2翔、ピッチ20～70度
巡航速度	73ノット	乗員	1名

▶背面

▶側面

▶ラフスケッチ

Memorial Scene

飛行機のはずがボートに

ロケット村では、クラウドたちと神羅とのあいだで、タイニー・ブロンコの争奪戦がくり広げられる。その結果、タイニー・ブロンコはクラウドたちの手で飛び立つが、神羅兵の銃撃を受けて尾翼を損傷。飛行能力を失って海に墜落し、以降はクラウドたちにボートとして使われることになった。

バギー

特殊強化タイヤを装備し、川の浅瀬や砂漠をも越えて進める万能バギー。コレルプリズンから脱出したとき、ゴールドソーサーの園長ディオからクラウドたちにプレゼントされた。

全長	7.26m
全幅	3.58m
全高	1.96m
全備重量	2,150kg
最大速度	時速約80km

神羅 uV式 潜水艦

ジュノン近海の海底魔晄炉などに配備された、クジラのようなフォルムの潜水艦。魚雷発射管や機関砲、高性能低周波ソナーに加え、物資搬入用のクレーンを備えている。

全長	93.5m
全幅	22.7m
喫水	5.3m
基準排水量	1,342t(水上)／2,722t(水中)
機関	神羅本式保号改魔晄原動機×1
出力	6,500hp
速力	17.5ノット(水上)／27.3ノット(水中)
航続距離	18ノットで7,500海里
乗員	28名
武装	610mm魚雷発射管×4、20mm機関砲2門
建造所	ジュノン造船第3ドック

▶神羅 uV零式号艦

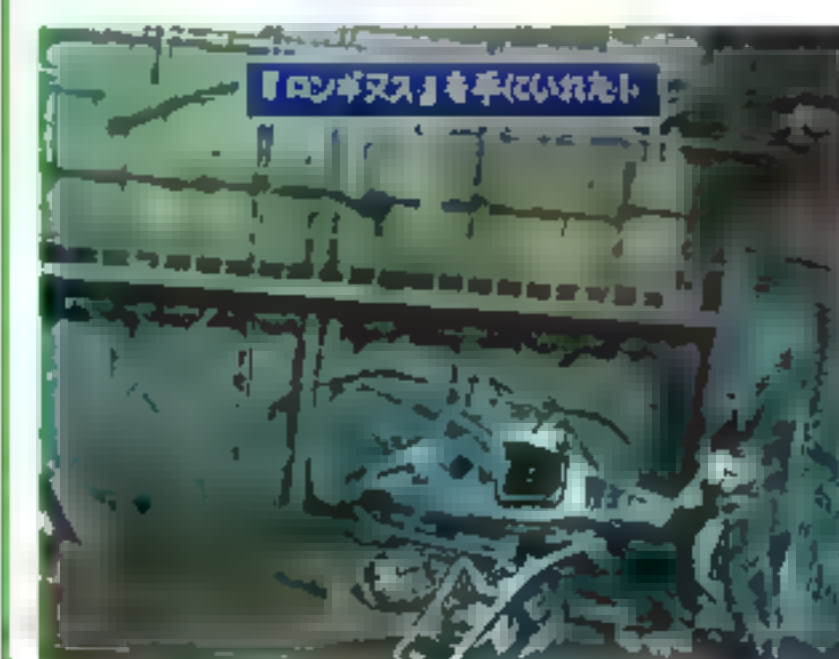
Memorial Scene

高難度のミニゲーム

ゲーム中では、ヒュージマテリアを奪取するために、潜水艦同士でバトルをするミニゲームに挑むことになる。はじめての挑戦では、わけのわからないうちに撃沈され、ヒュージマテリアの入手に失敗して悔しい思いをした人も多いだろう。

Memorial Place

沈んだゲルニカは宝の山

ゴールドソーサー近海の海底には、ウェポンに襲われて墜落したゲルニカが沈んでいる。機内には対セフィロス用の神羅の兵器が満載されており、探索すれば強力な武器やマテリアが多数手に入った。

神羅輸送ユニット ゲルニカ

神羅空軍の輸送機。エンジンにRG24-fを4基使用し、それらを特殊クロモリ鋼クランクシャフトでつないでいる。主翼は可動式で、着陸時には90度折りたたまれるのが特徴。

全長	不明	巡航速度	不明
全幅	不明	上昇時間	不明
全高	不明	上昇限度	不明
自重	不明	航続距離	不明
全備重量	不明	エンジン	油冷RG24-f式水平対向24気筒発動機×4
最大速度	不明	離昇出力	8,240hp

▶正面

▶側面

神羅 B1A式 ヘリコプター

[illegible]る機体が多い。[illegible]の通称でも呼ばれ、神羅カンパニーの幹部が移動するときなどに使用されるほか、ジュノンではタクシーとしても運用されている。

全長	9.14m(ローター含まず)	上昇時間	不明
全幅	3.05m(ローター含まず)	上昇限度	4,300m
全高	2.89m(ローター、アンテナ含まず)	航続距離	140海里(推定)
自重	1,230kg	エンジン	油冷RG08式水平対向8気筒発動機(離昇出力900hp)
全備重量	不明	ローター	直径4.2m、電気定速2翔、ピッチ20～60度
最大速度	150ノット(海面高度)		
巡航速度	43ノット		

▶側面

▶背面

神羅 B1β式 ヘリコプター

神羅 B1A式にサイドシェル(サイドカーのような、人が乗れる荷台)を装着した輸送ヘリ。タークスの作戦行動に用いられ、ミッドガルでもゴールドソーサーでも、ツォンはこの機体のサイドシェルに乗ってクラウドたちの前に現れる。

全長	9.14m(ローター含まず)	上昇時間	不明
全幅	4.32m(ローター含まず)	上昇限度	4,300m
全高	2.89m(ローター、アンテナ含まず)	航続距離	140海里(推定)
自重	1,560kg	エンジン	油冷RG08式水平対向8気筒発動機(離昇出力900hp)
全備重量	不明	プロペラ	直径4.2m、電気定速2翔、ピッチ20～60度
最大速度	132ノット(海面高度)		
巡航速度	37ノット		

▼正面

神羅 sA-27式 自動3輪

商用車だった自動3輪を、一般車両として再設計したもの。生産はすでに終了しているが、数年前まではよく利用されていた。オープニングでエアリスがミッドガルの八番街を歩くシーンにも登場する。

全備重量	820kg
総排気量	760cc
エンジン	1S-Ge型(油冷単気筒ohv)
乗員	1名

神羅 pA-86式

[illegible]空気抵抗を減らしたボディの採用、3気筒エンジンの搭載など多くの改良をほどこし、高速化と運動性能の向上を実現した。

全備重量	1,280kg
総排気量	1,004cc
エンジン	3p-Geu型(縦置直列3気筒ohv-6valve)
乗員	1名

ムカ百式九0形式600

さまざまな用途で運用されている、神羅鉄道の現在の主力機関車。物語冒頭において、クラウドやバレットは、この機関車が引く貨物車に乗って壱番魔晄炉へ向かった。

ホカ百式七0形式5884

神羅鉄道の旧式機関車。6000回以上もの改良が行なわれてきたが、ムカ百式九0形式の登場で役目を終えた。現在は、スラムの列車墓場でその姿を確認できるのみ。

ロケット 神羅26号

神羅の宇宙ロケット。4年前の打ち上げ失敗後、発射台で傾いたまま放置されていたが、メテオを破壊すべく、ヒュージマテリアを載せてふたたび打ち上げられる。

全長	48m
全備重量	1,418t
備考	脱出用ポッド装備

ロープウェイ

ゴールドソーサーと北コレルを結ぶ乗り物。空中に張られたワイヤーロープに、青いゴンドラをつるして運行している。利用料金は無料。

全長	12.75m(ゴンドラのみ)
全幅	4.06m(ゴンドラのみ)
全高	2.88m(ゴンドラのみ)
全備重量	2,920kg
最大傾斜角	約42度
定員	15名

スノーボード

あざやかな色のスノーボード。アイシクルロッジの裏の急斜面をすべり降りるのに必要で、クラウドが地元の子どもからゆずり受けた。

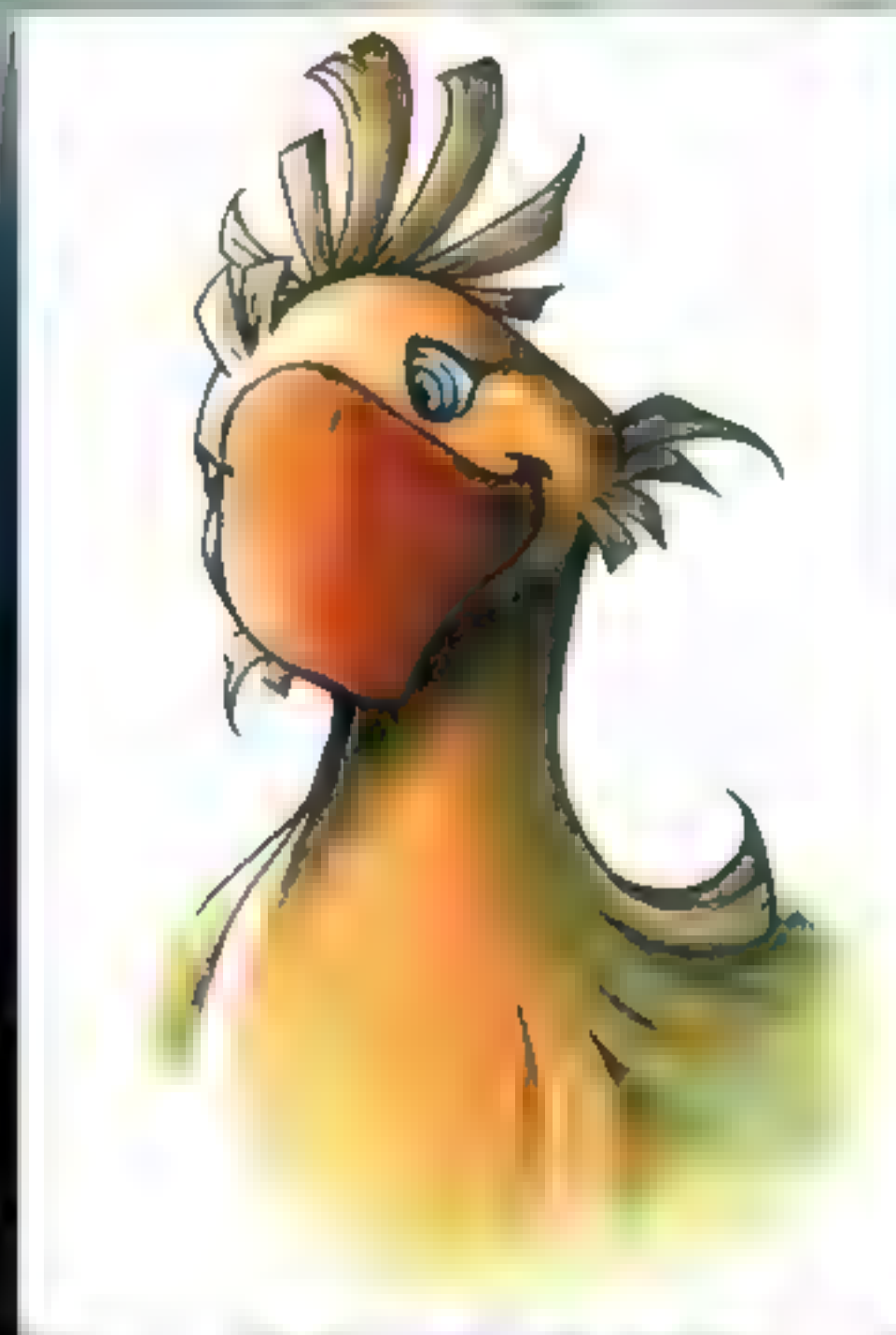
全長	153.0cm
有効エッジ	116.0cm
ウエスト幅	25.1cm

Memorial Scene

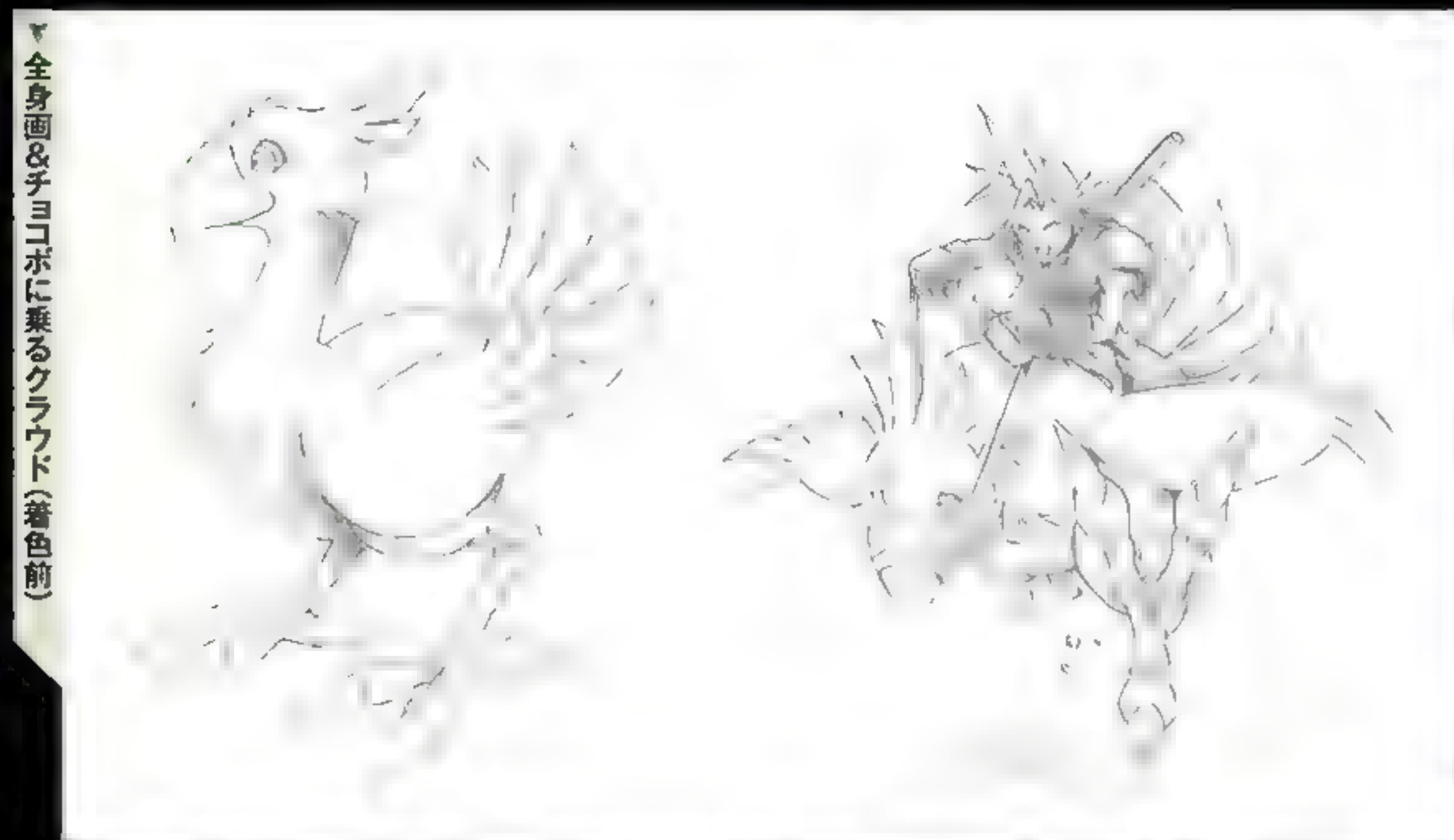
燃え上がるタイムアタック魂

ゴールドソーサーでは、スノーボードでコースを駆け抜けるミニゲーム「スノーゲーム」が楽しめる。このゲームは中毒性が非常に高く、わずかでも速いタイムを目指して、タイムアタックに血道を上げるプレイヤーが続出した。

チョコボ

発達した2本の足で大地を駆ける鳥。平原などに生息しているほか、チョコボの牧場「チョコボファーム」で飼い慣らすこともできる。チョコボ同士をカップリングすると、特定の地形を越えられる特殊なチョコボが産まれる場合も。

▼顔イラスト（着色前）

▼チョコボに乗るクラウド

▶初期デザイン

▼全身画&チョコボに乗るクラウド（着色前）

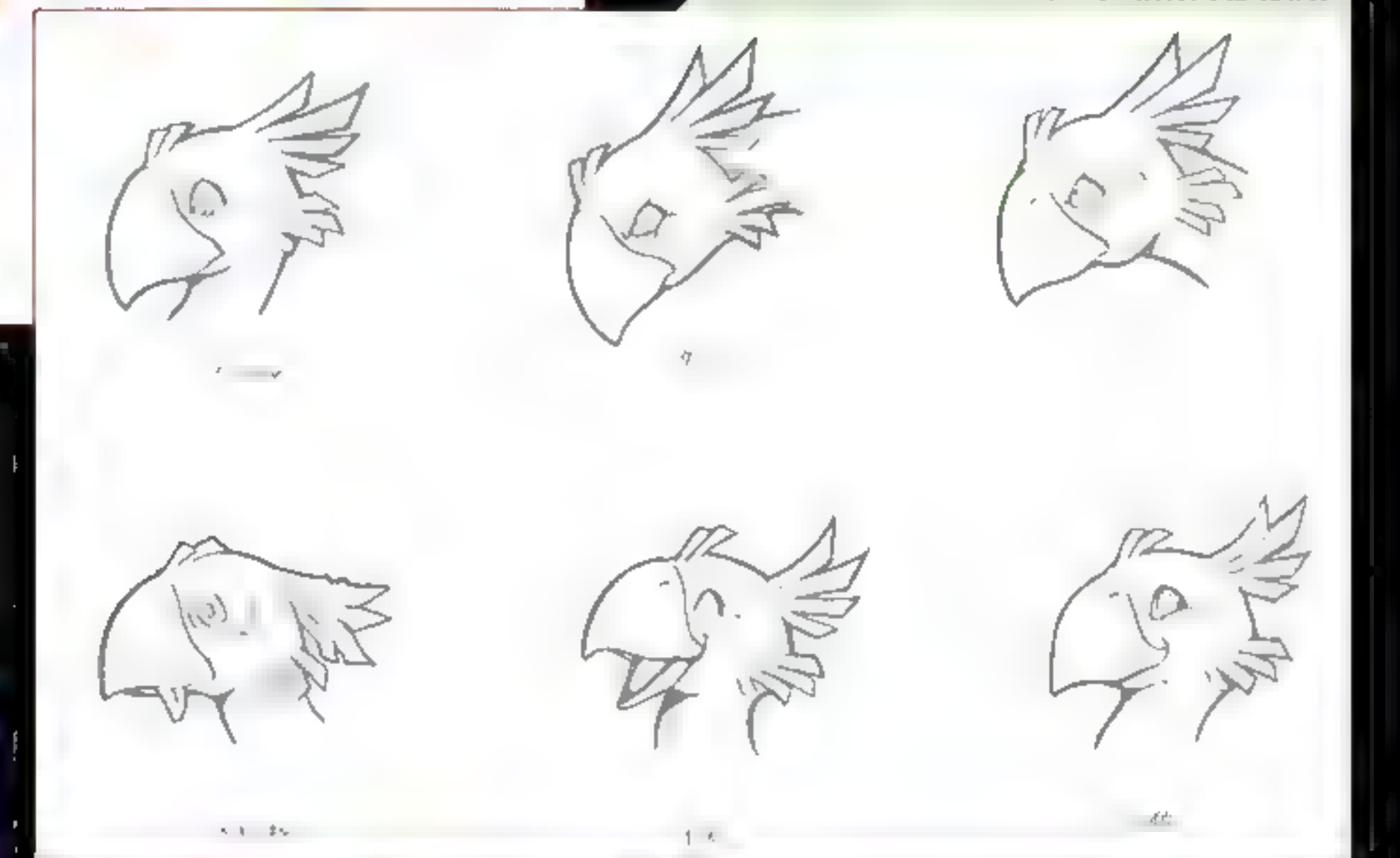
■「チョコボレーシング」に出走したチョコボたちの状態を表す顔イラスト。左のイラストでは5種類だが、最終的には、着色前の絵にある「走り」の表情も採用されている。

▶チョコボレースでの表情集

▶チョコボレースでの表情集（着色前）

Memorial Scene

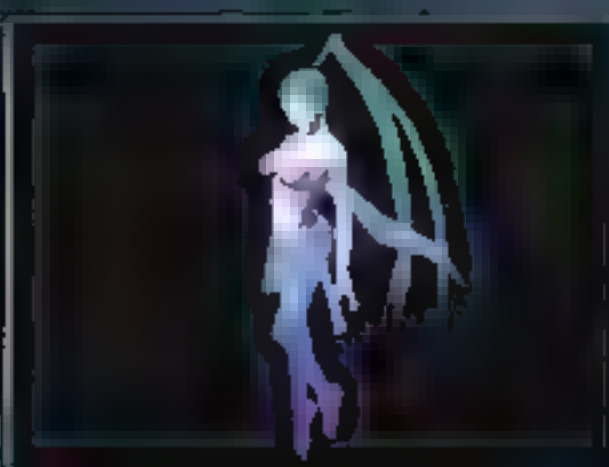
育てたチョコボでレースに挑戦！

自分のチョコボを持っていると、ゴールドソーサーの「チョコボレーシング」でレースに出場できる。1位になれば豪華な賞品がもらえる場合もあり、物語そっちのけでチョコボの育成とレースへの挑戦ばかりをくり返してしまうことも。

チョコボ車

ウマのかわりにチョコボが引く馬車。ティファがセブンスヘブンからコルネオの館に向かうときや、クラウドたちが砂漠で迷子になったときに登場する。

▶デザイン画

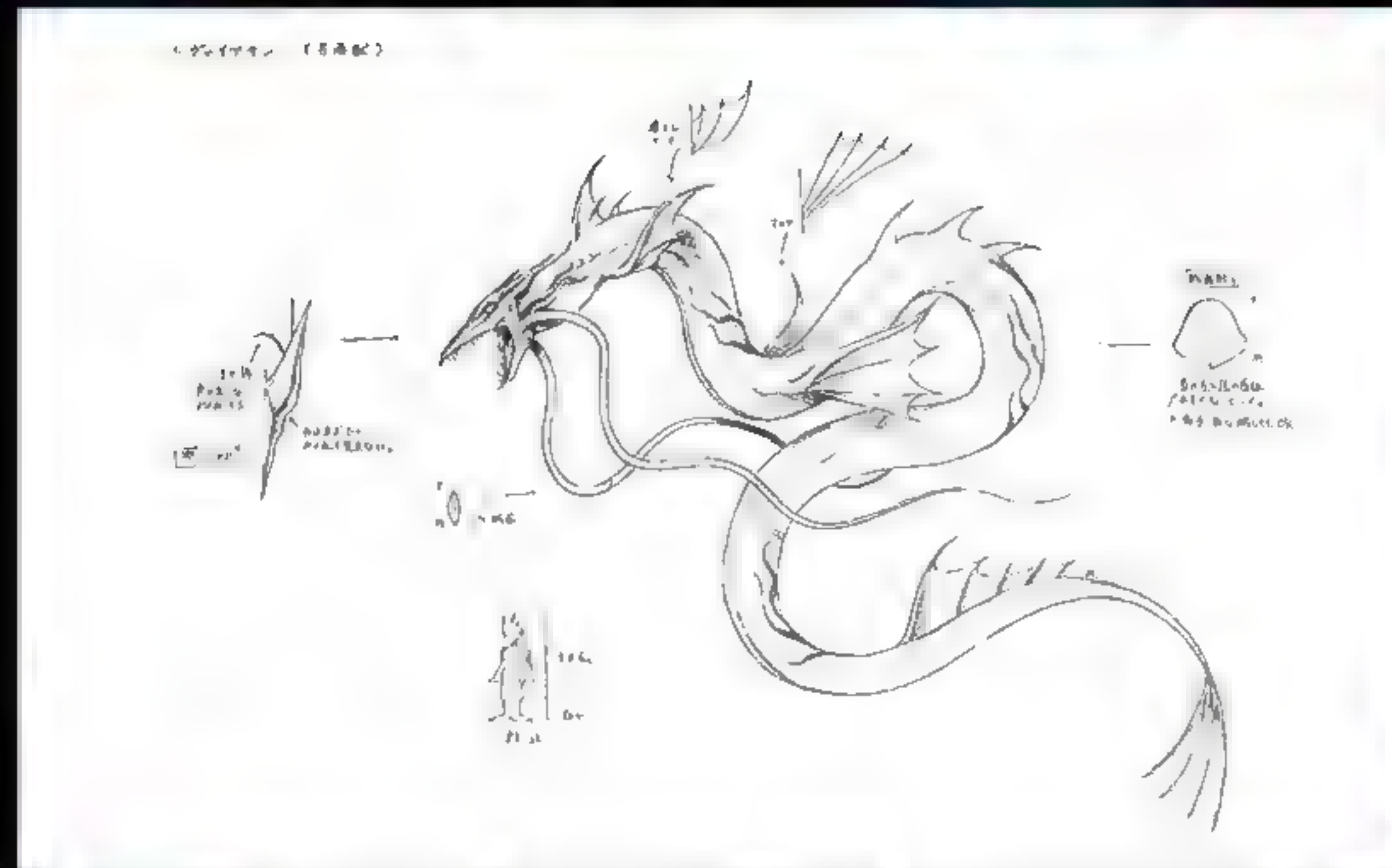
▶背面

召喚獣

シヴァ

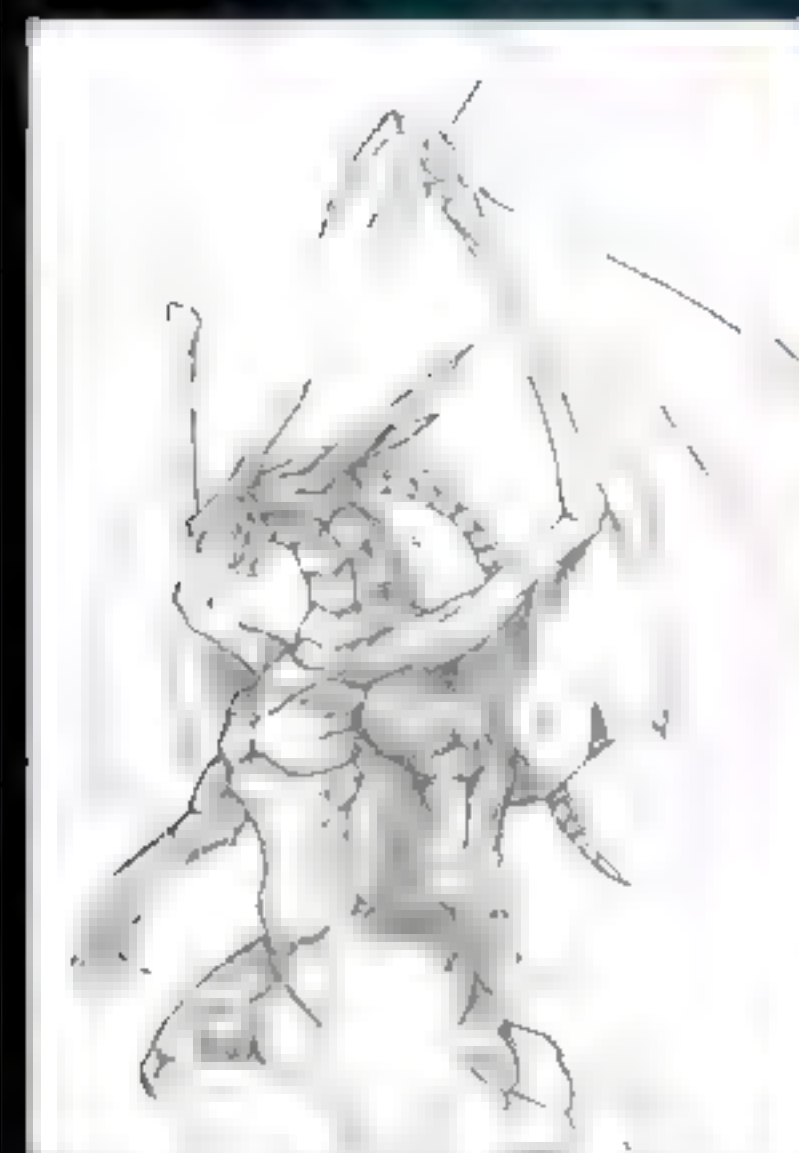
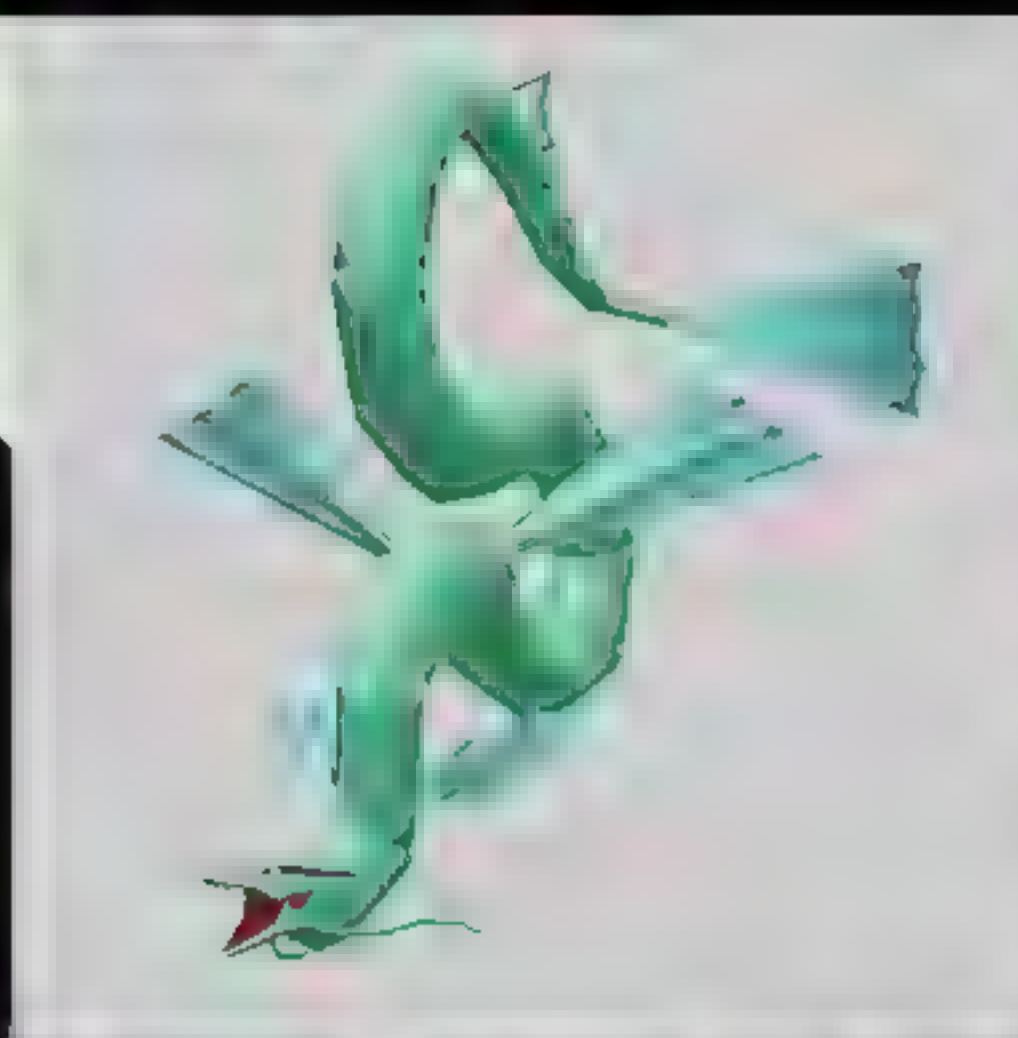
氷の女王。前作までのシヴァとくらべて、容姿が人間により近い。完成したCGとデザイン画を見くらべてみると、衣装が少し変更されたことがわかる。

リヴァイアサン

海を支配する海竜。頭部の構造やヒレの生えかたに加えて、胴体やヒゲの断面の形状に至るまで、詳細にデザインされている。

▼CGモデル

▼CGモデル(ワイヤーフレーム)

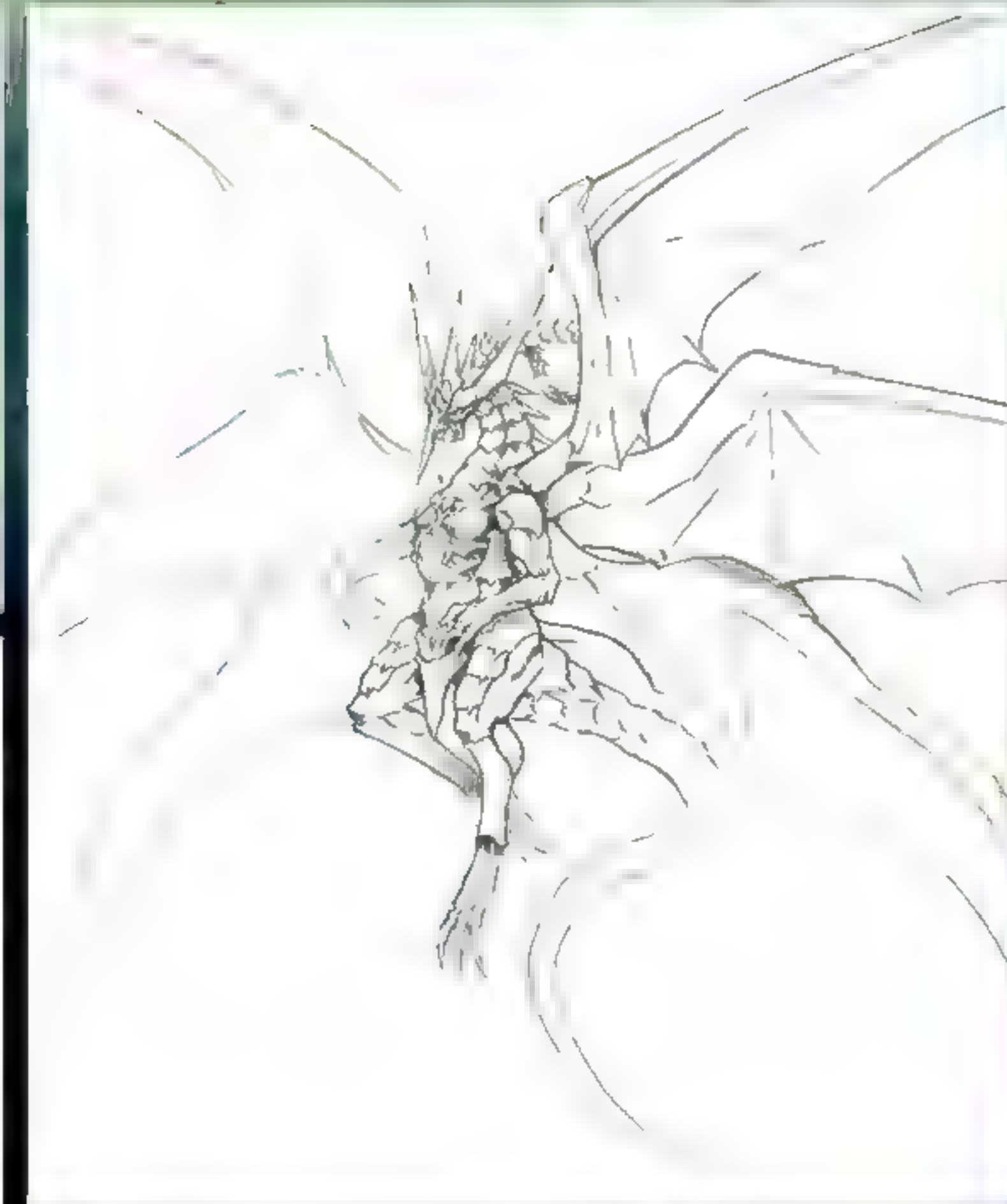
バハムート

偉大なる竜王。後頭部から生えたヒモ状の部位は、CGモデルではカットされたが、バハムートより上位種族であるバハムート改に採用されている。

▼CGモデル(ワイヤーフレーム)

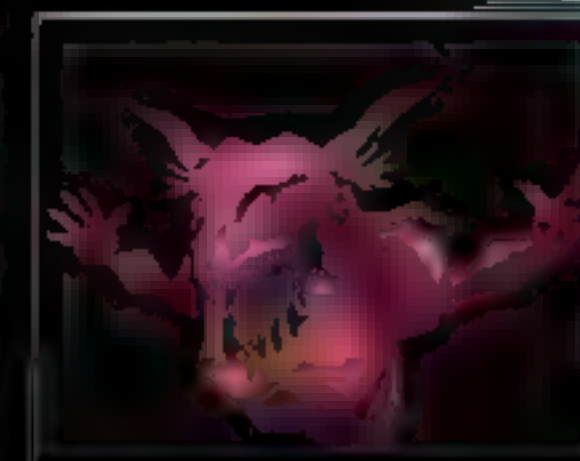
▼CGモデル

バハムート零式

バハムートの最上位種。全体の印象はバハムートに似ているが、鋭角的なデザインになっており、6枚の翼を持つのが特徴。

▶頭部の詳細

Memorial **Feature**

宇宙規模の召喚獣

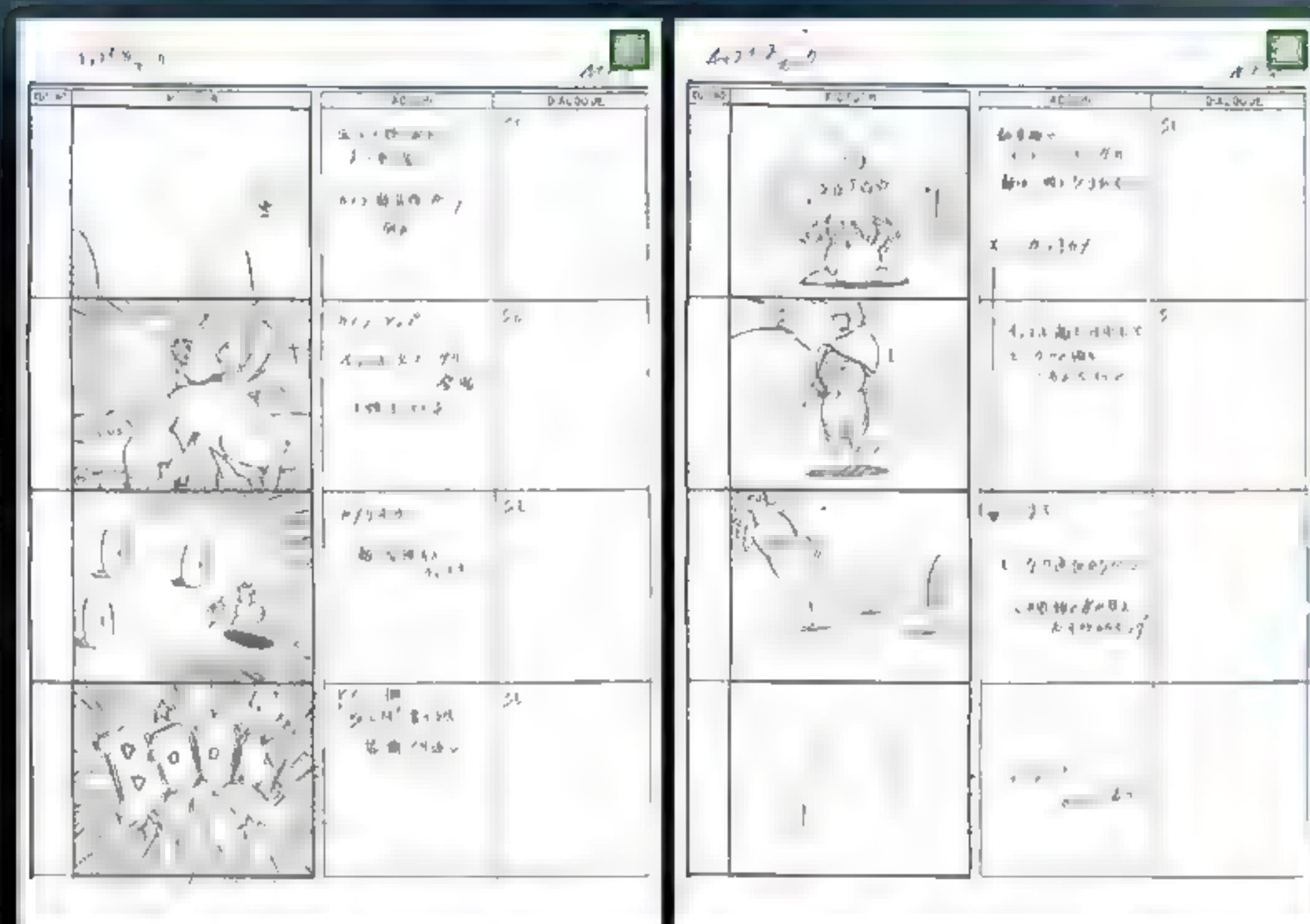
バハムート零式は、召喚されると宇宙の彼方から飛来し、衛星軌道上から敵をめがけて光のブレスを放つ。「FF」シリーズではじめて宇宙を使った演出が採用された召喚獣であり、おなじみの「メガフレア」から2段階強化された「テラフレア」の名前とともに、強い印象を残した。

テュポーン

身体の前後に頭部を持つ怪物。「FFVI」の名脇役が召喚獣となり、ファンを沸かせた。耳毛がちょっとチャーミング？

アーサー
(ナイツオブラウンド)

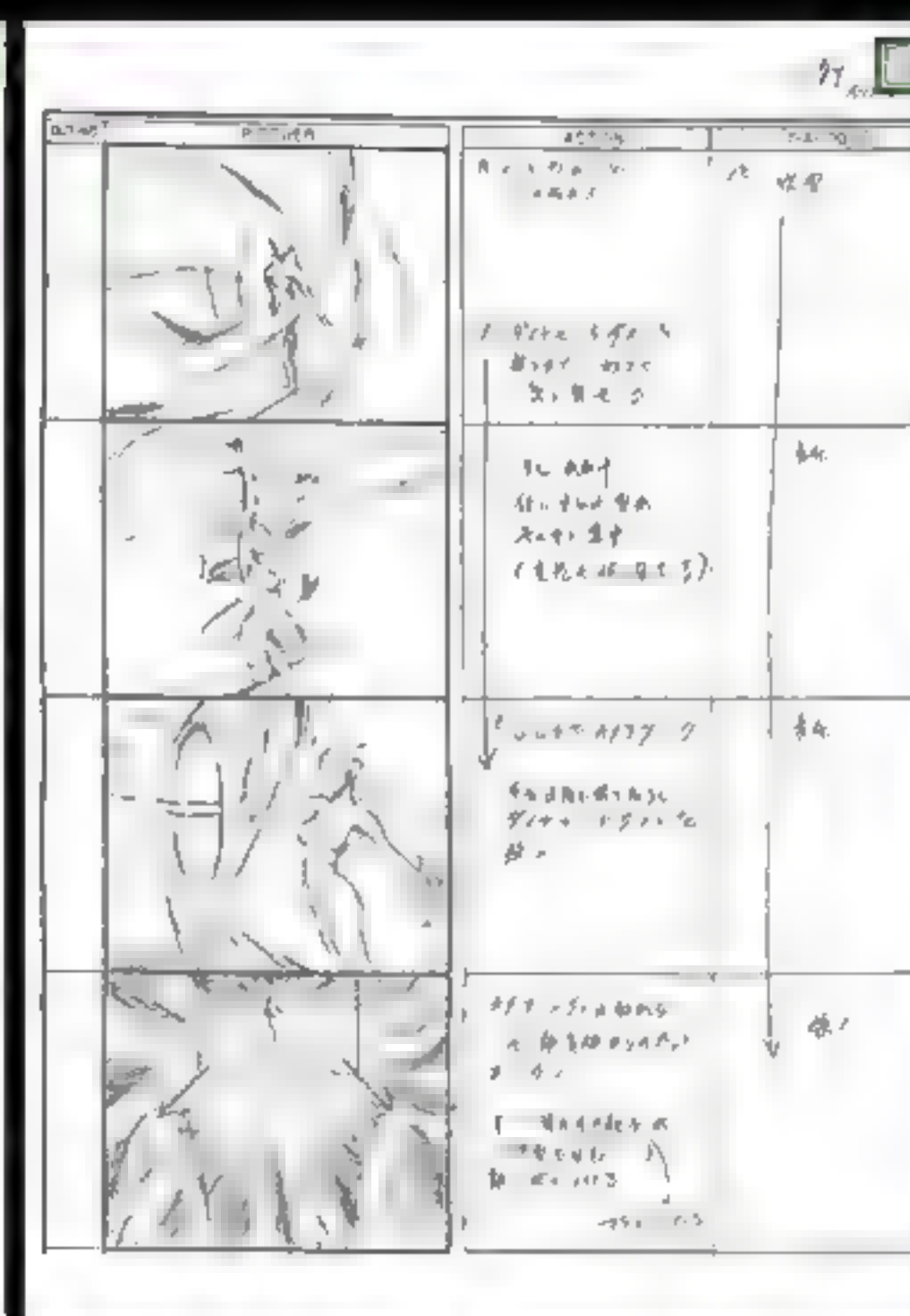
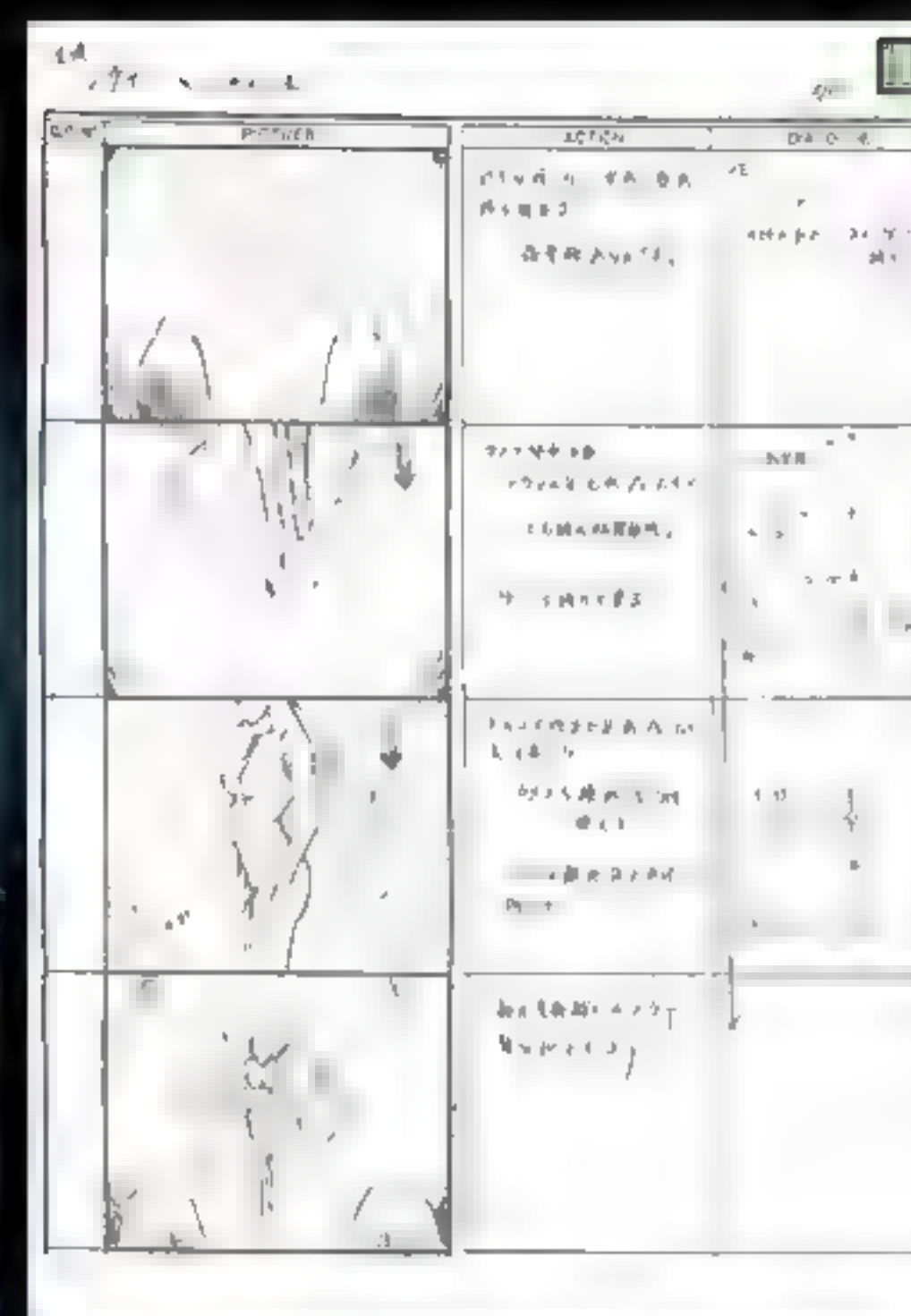
円卓の騎士たち(ナイツ・オブ・ラウンド)の主君。アーサーが手にしているのは、「FF」シリーズで最強ランクの武器としておなじみの、聖剣エクスカリバーだ。

▶CGモデル(全員集合)

召喚シーン絵コンテ

チョコボ&モーグリ
（必殺技!!）

モーグリを乗せたチョコボが敵に体当たりする。絵コンテのなかでモーグリのハチマキに書かれた「神風」の文字は、ゲーム中では「必殺技」となった。

シヴァ
（ダイヤモンドダスト）

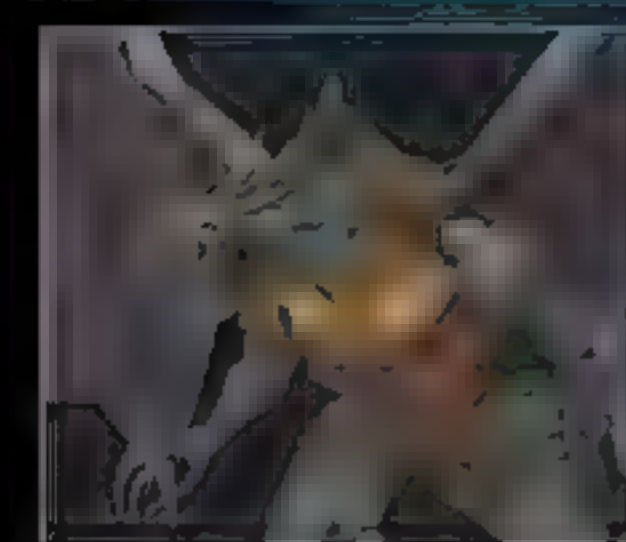
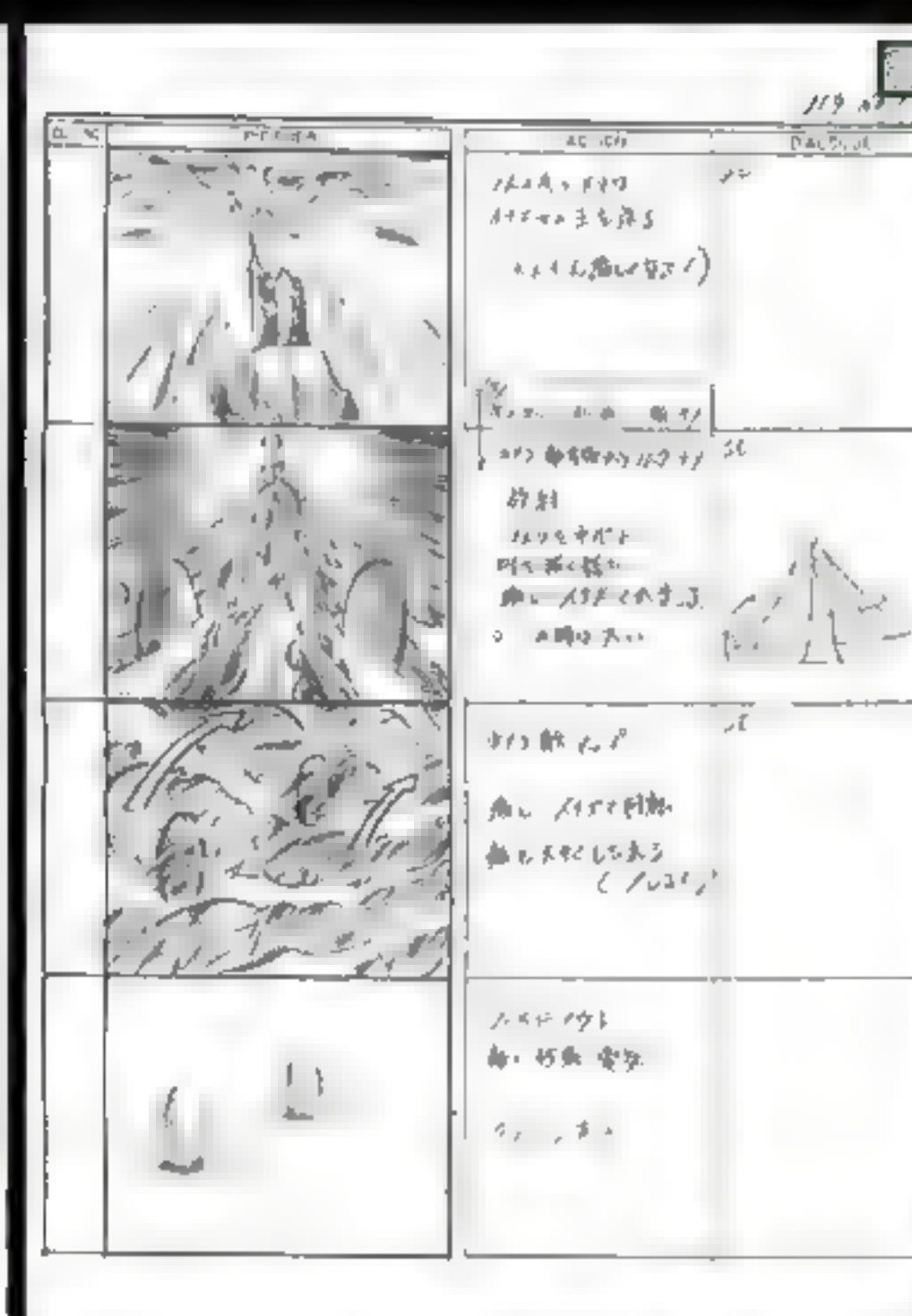
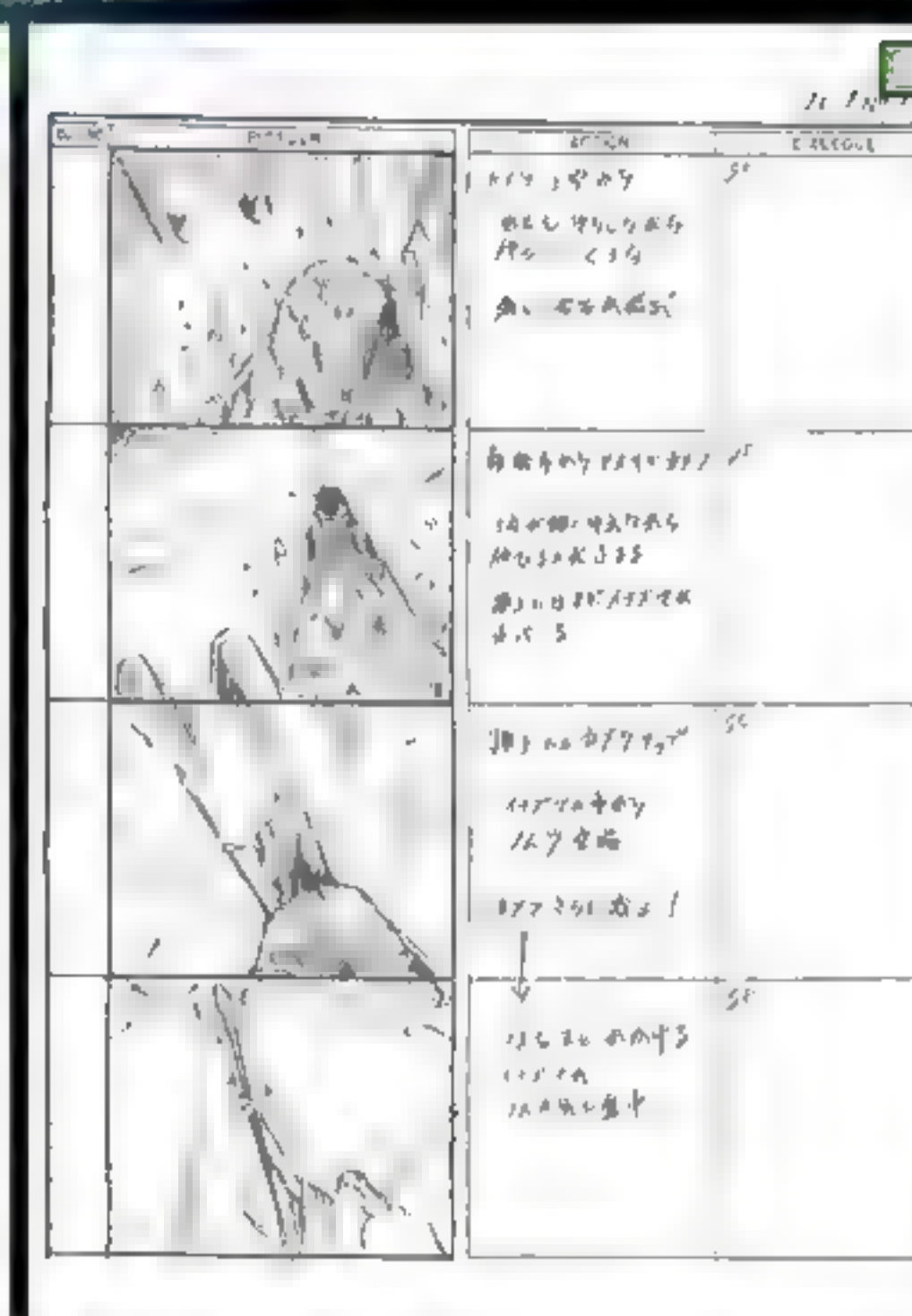
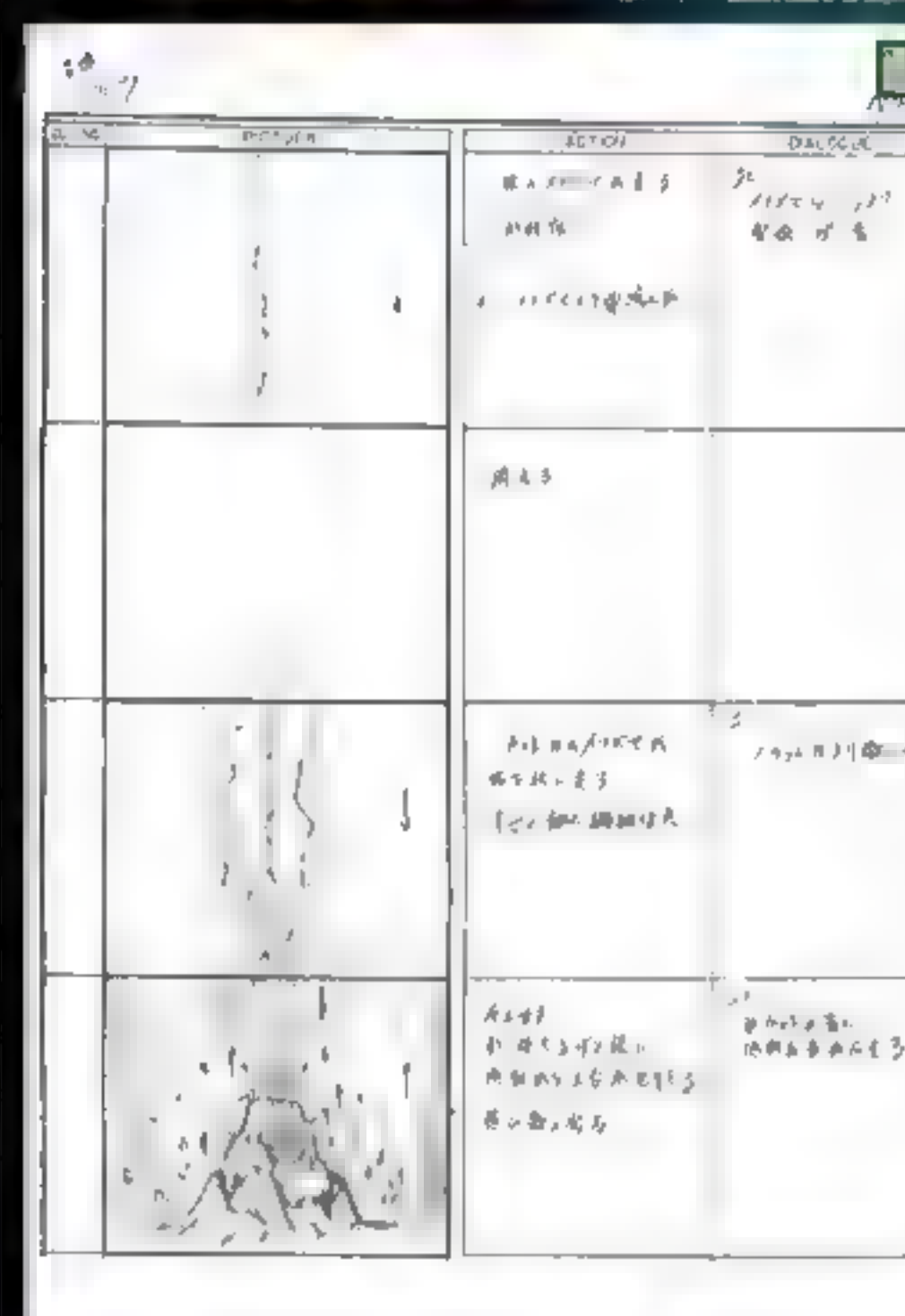
シヴァが氷の粒子を敵に吹きつける。ゲーム中の演出はほぼ絵コンテどおりだが、最後に氷の塊が敵を包んでから砕け散る演出が追加された。

ラムウ
（裁きの雷）

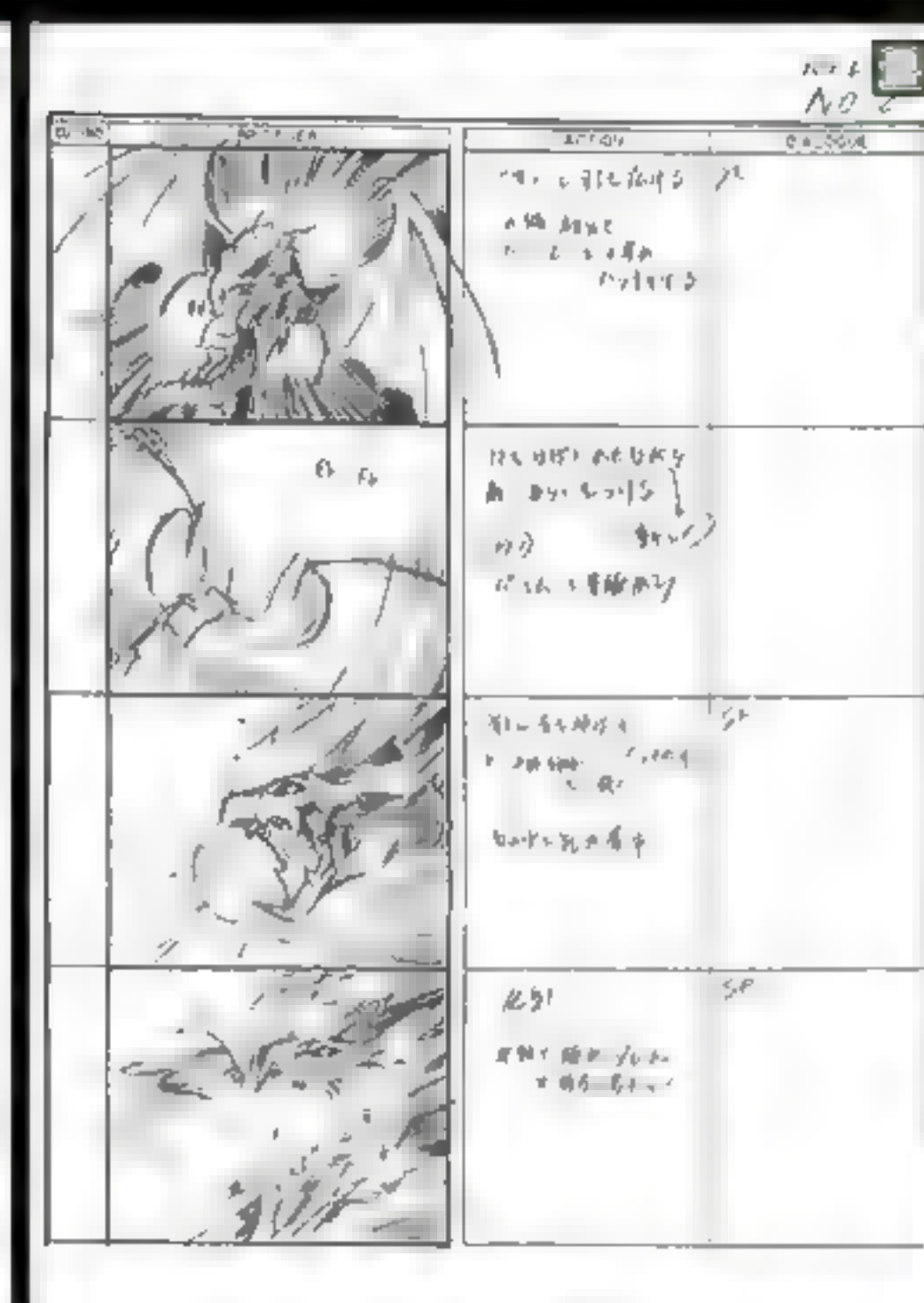
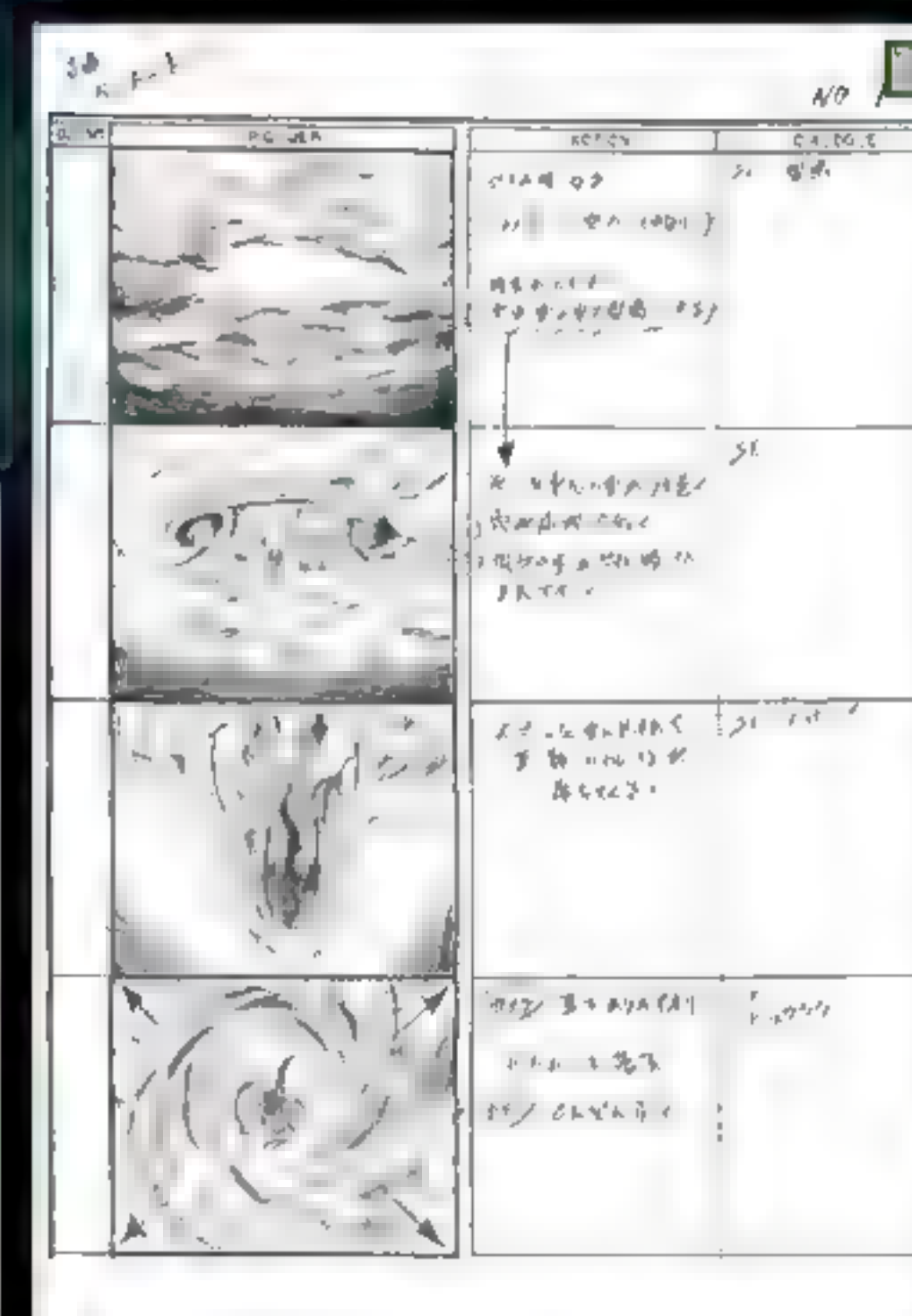
杖から放つ稲妻で、ラムウが敵をなぎ払う。絵コンテに描かれた稲妻に加えて、ゲーム中では激しく火花が飛び散るのも特徴。

オーディーン
（グングニルの槍）

オーディーンがグングニルの槍を投げつける。この絵コンテのシーンの前には、雨が降り出し、オーディーンが闇のなかから現れる演出も。

タイタン
（大地の怒り）

タイタンが地面をひっくり返し、敵を押しつぶす。絵コンテでは、力強さを表現するために、タイタンの肩の動きについてこまかく指定されている。

バハムート
（メガフレア）

バハムートがブレスを吐いて敵を攻撃。本作のバハムートの演出には、『FFVI』をポリゴンで表現したテクニカルデモ（→P.114）の影響が色濃く残っている。

リミット技絵コンテ

▶ クラウドの「ブレイバー」

実際の動き

▶ クラウドの「凶斬り」

実際の動き

▶ クラウドの「破晄撃」

実際の動き

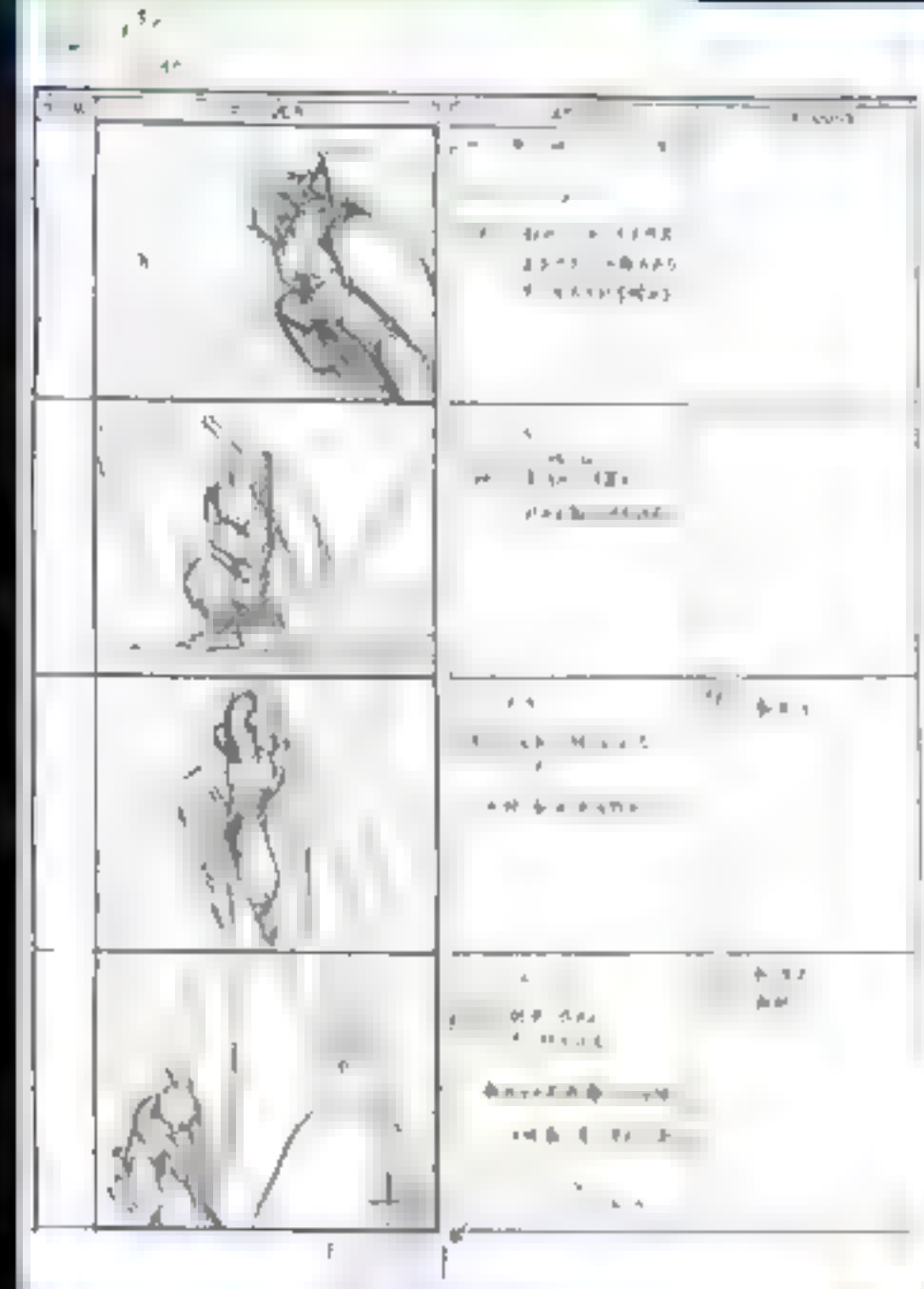
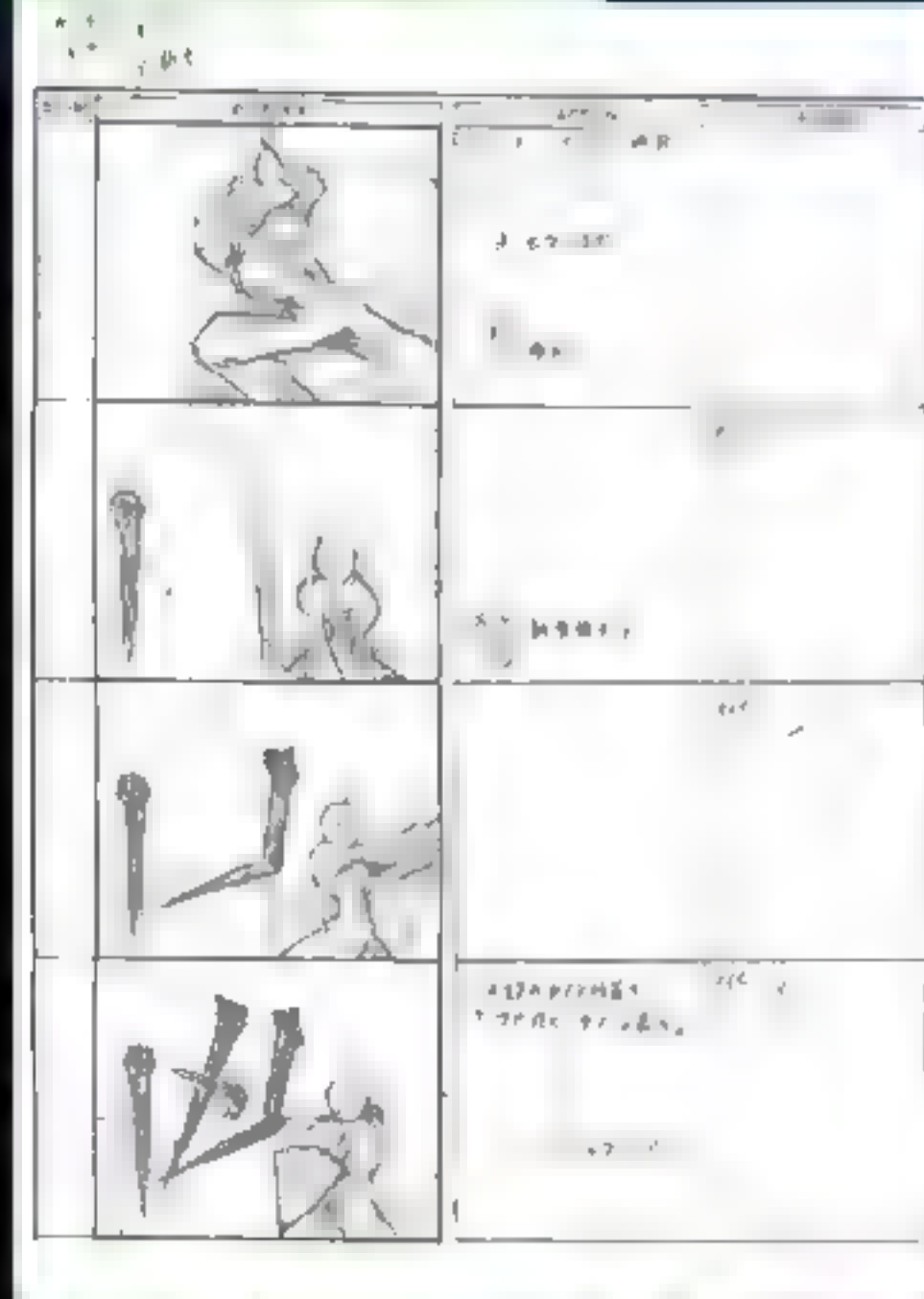
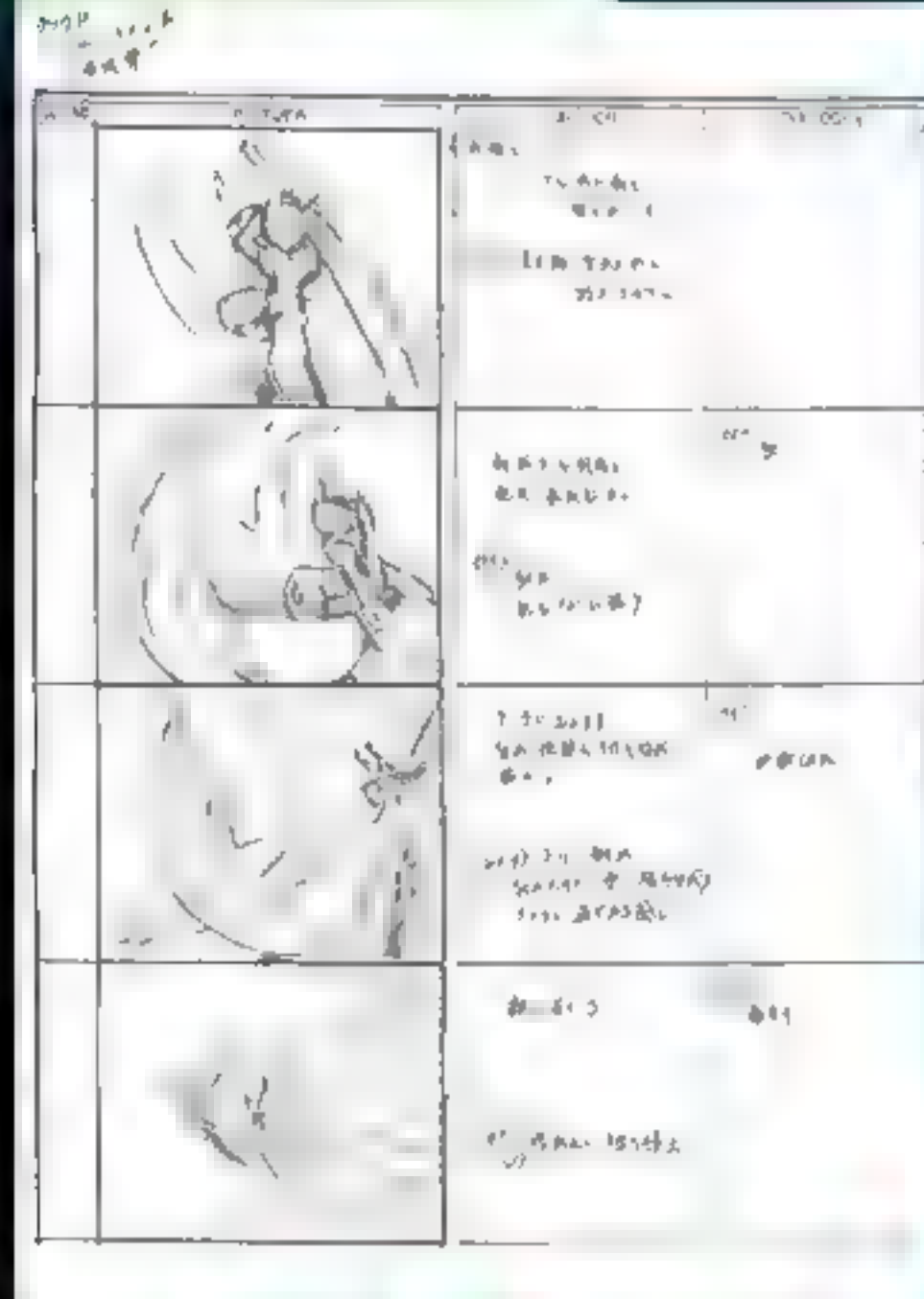
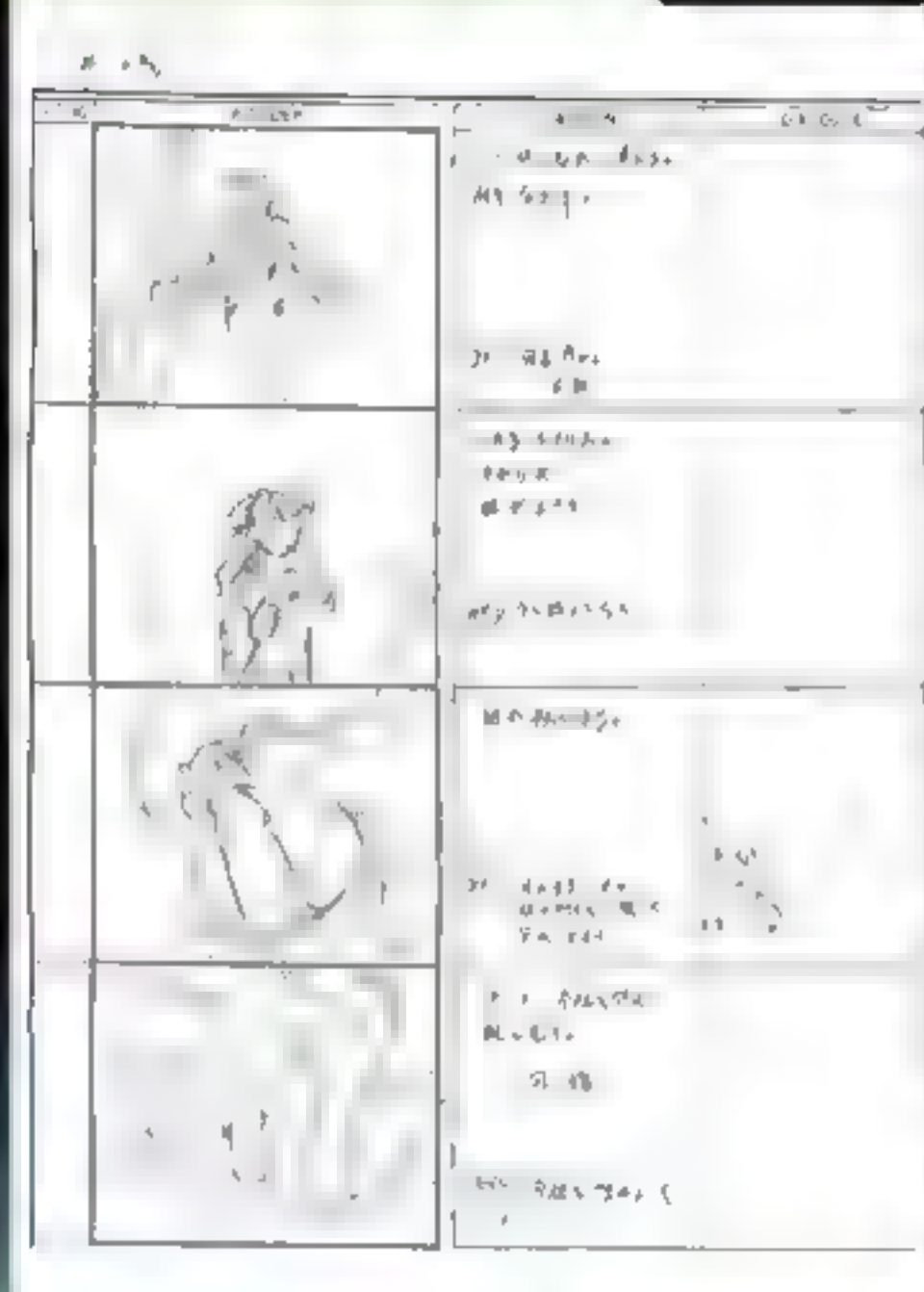
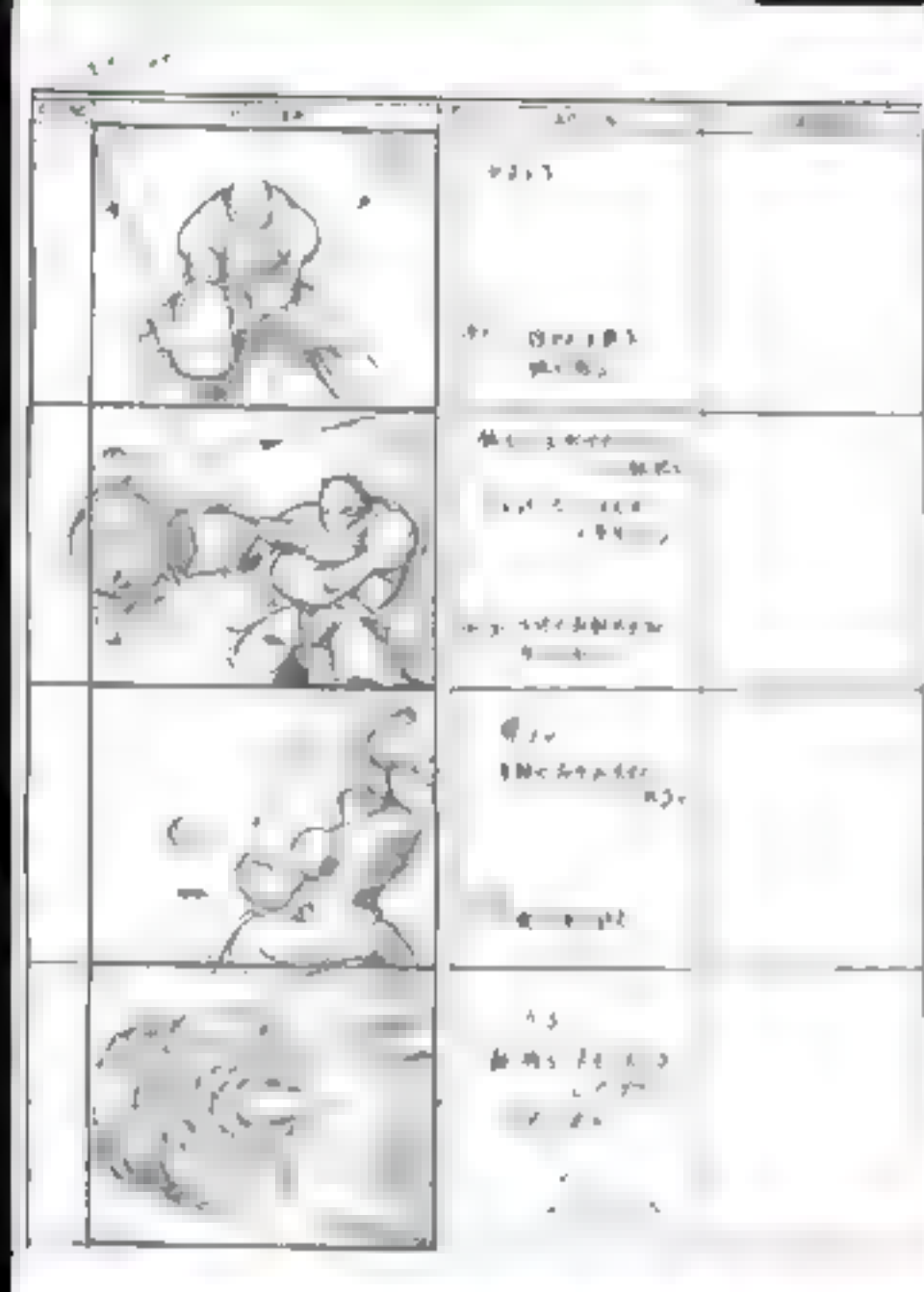
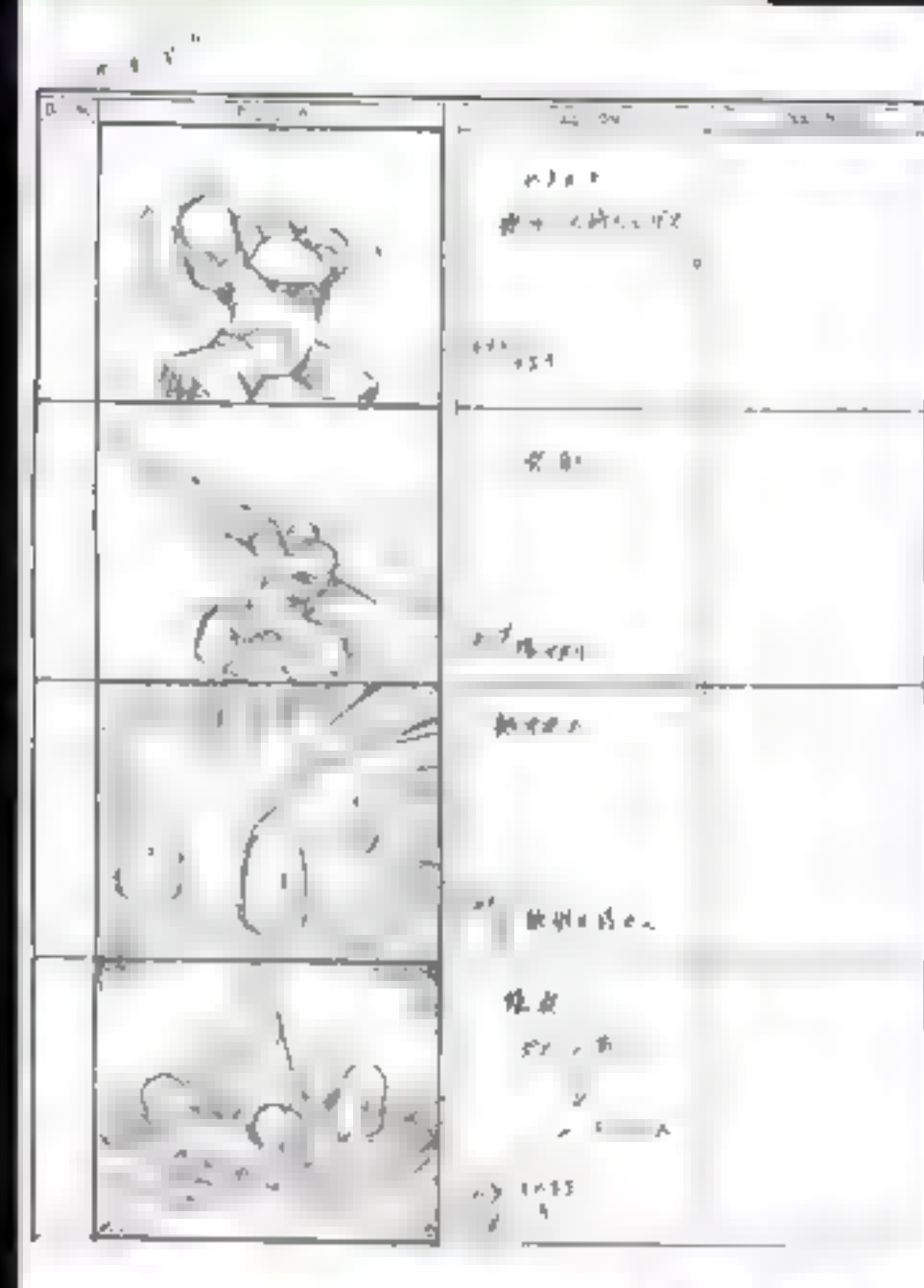
▶ エアリスの「癒しの風」

実際の動き

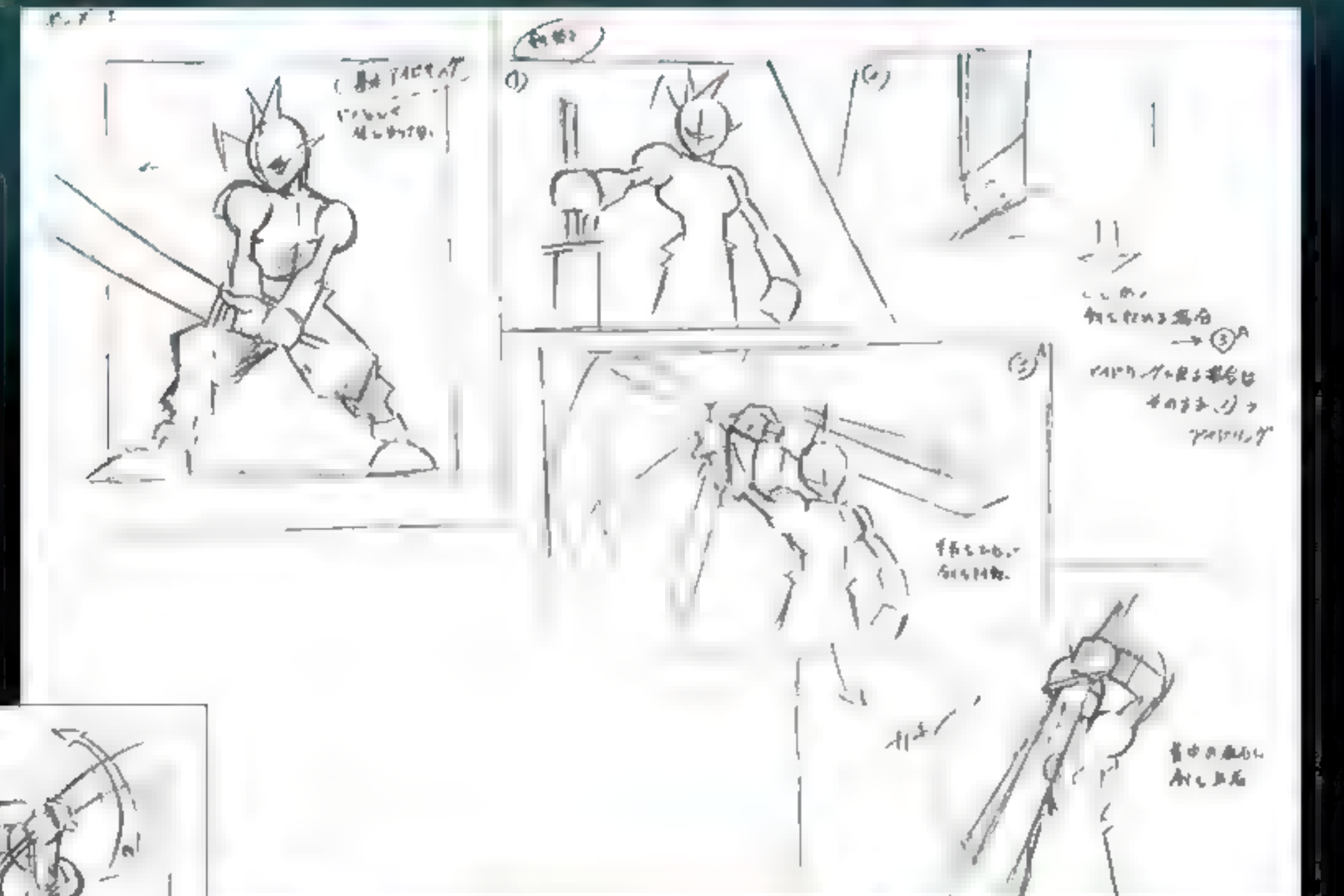
▶ バレットの「ヘビーショット」

実際の動き

▶ バレットの「グレネードボム」

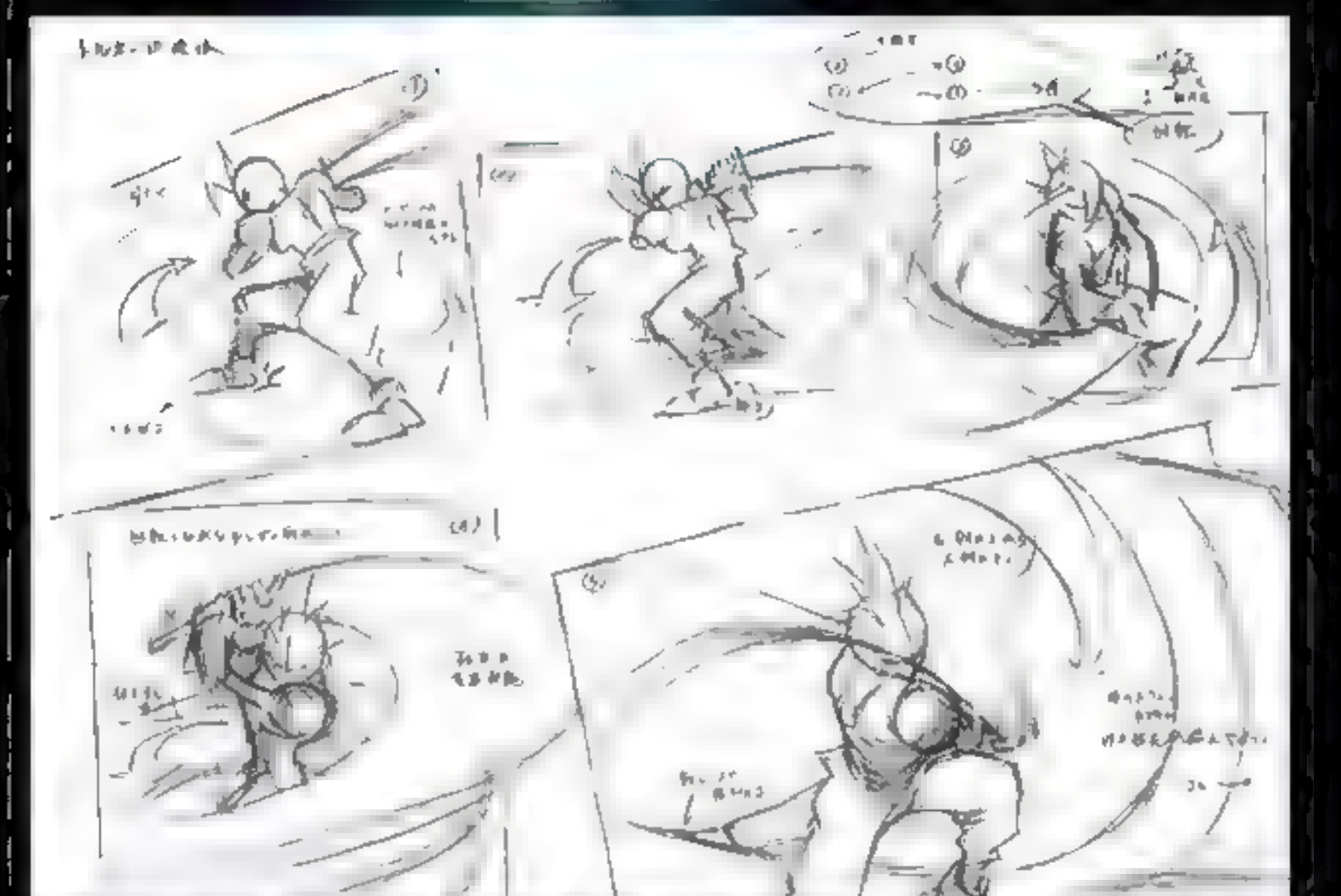
実際の動き

クラウドのアクション絵コンテ

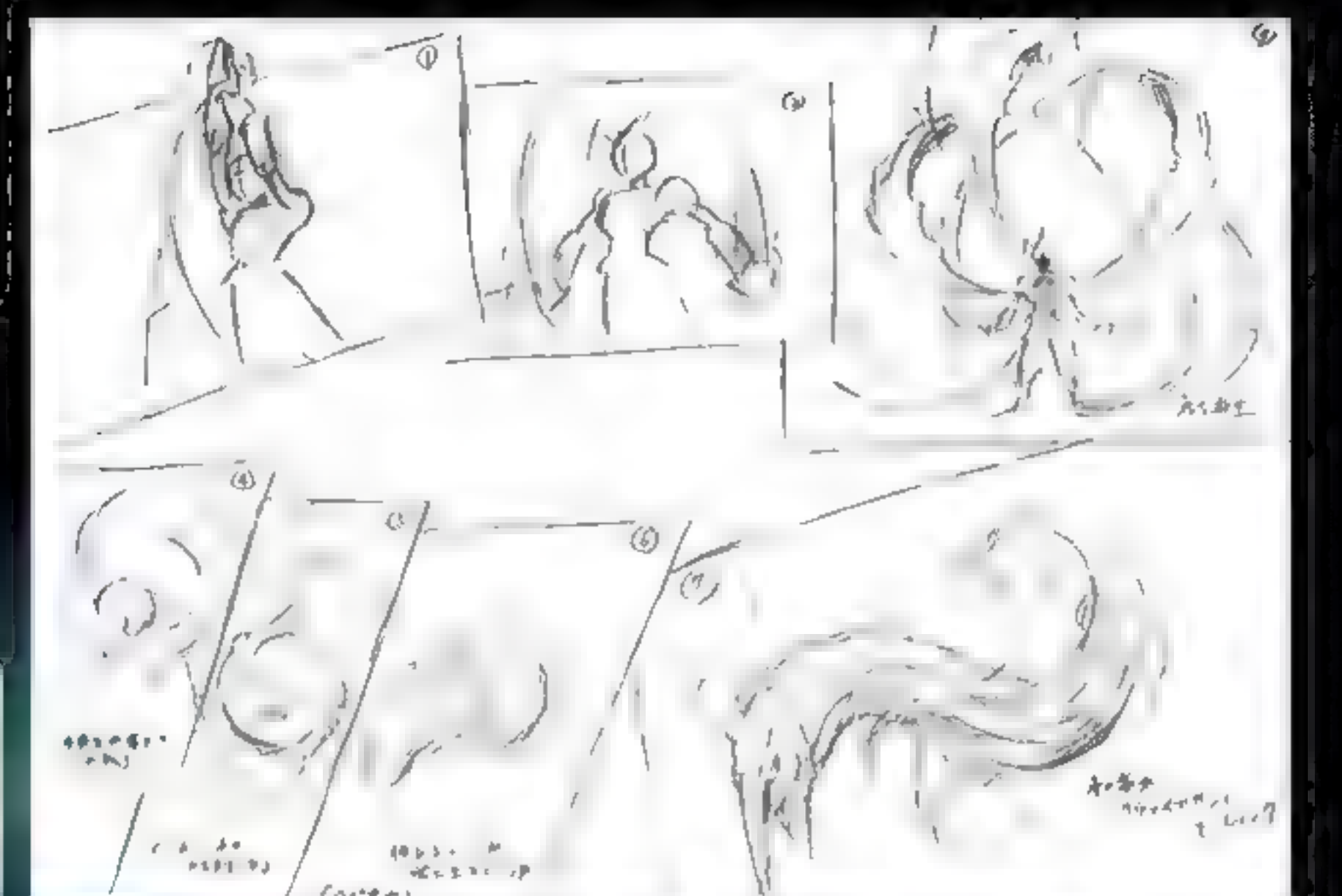
アイドリング～剣をしまう

アイドリング(待機)中のポーズや剣をしまう動作の絵コンテ。アイドリング中は身体を揺らさない予定だったが、ゲームでは変更されている。

通常攻撃

「たたかう」で斬りつけるときの絵コンテ。実際の攻撃時は一瞬で剣を振りかぶるようになったが、絵コンテの段階ではその過程も入念に考えられている。

トルネード殺法(未採用)

ゲームには登場しなかった技の絵コンテ。回転しながら竜巻状の光を作り出し、それを敵に向かって飛ばすという技だったようだ。

魔法(ブリザド)

魔法使用時の絵コンテ。上半分は魔法を使う前の準備動作、下半分は「ブリザド」の演出となっているが、どちらも、ゲーム中での表現は大幅に変更された。

召喚(リヴァイアサン)

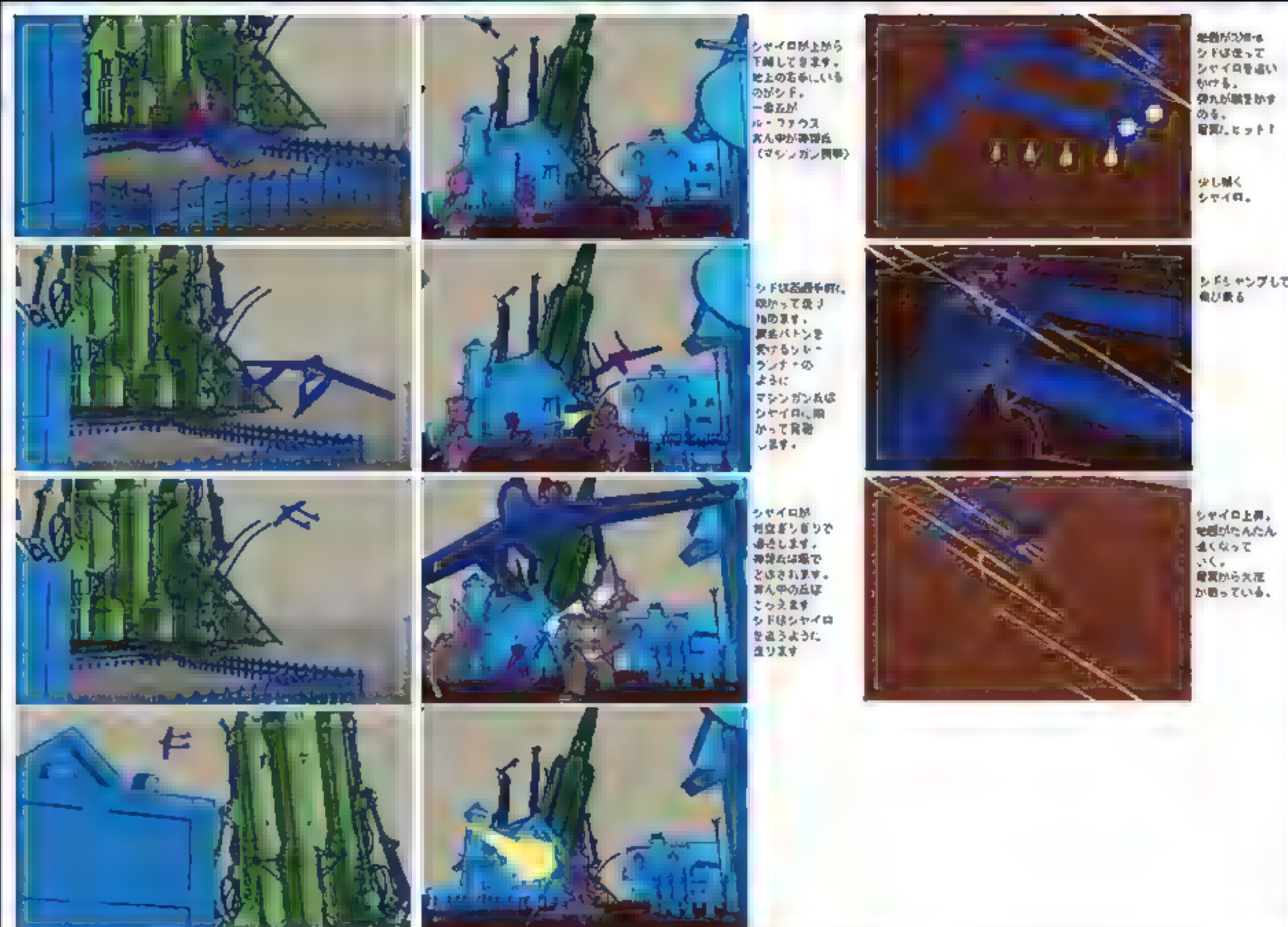
リヴァイアサン召喚時の絵コンテ。ゲーム中の演出はこの絵コンテとは異なるものの、ここに描かれているアイデアは、のちに「FFⅧ」で活かされている。

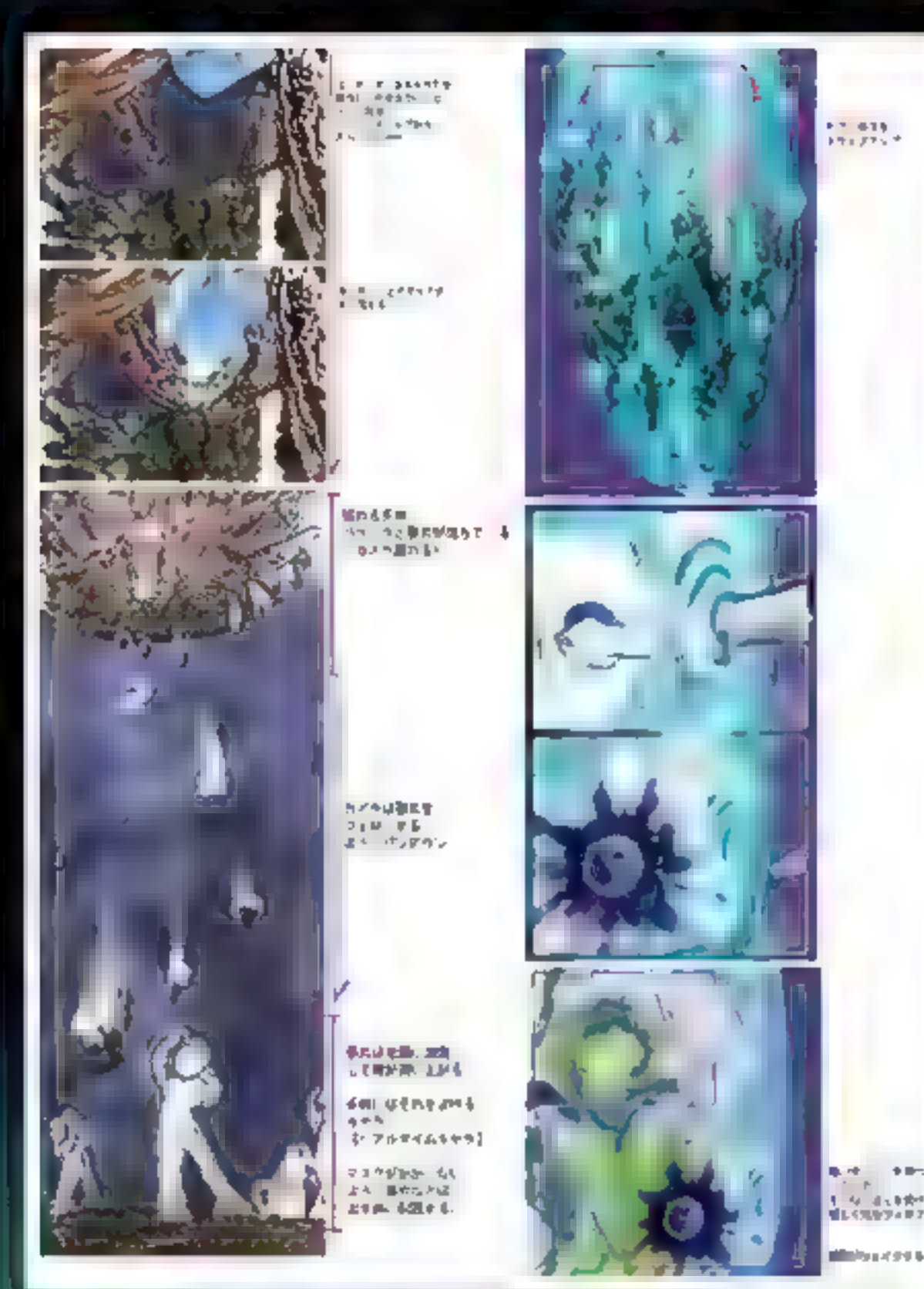
ムービー絵コンテ

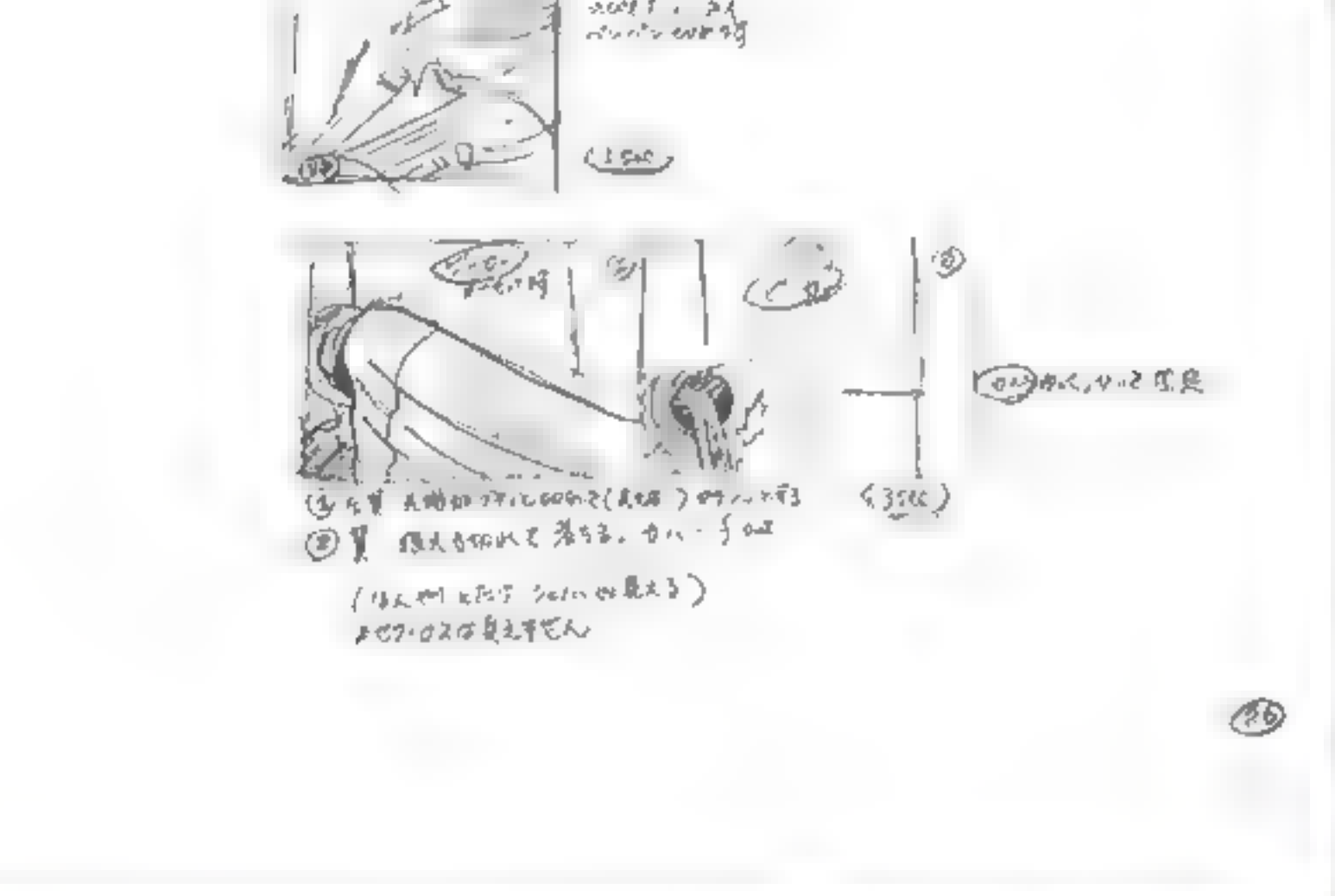
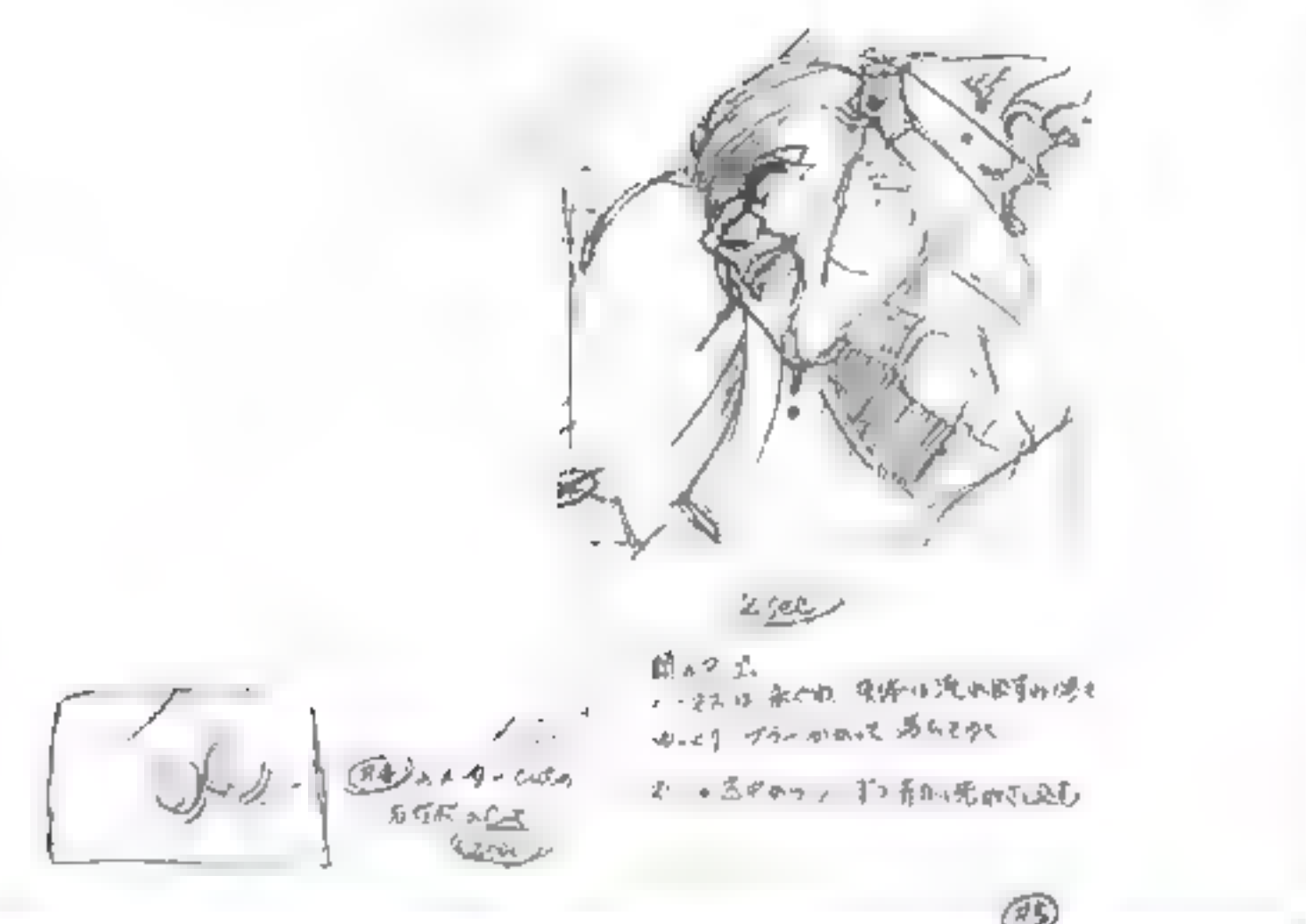
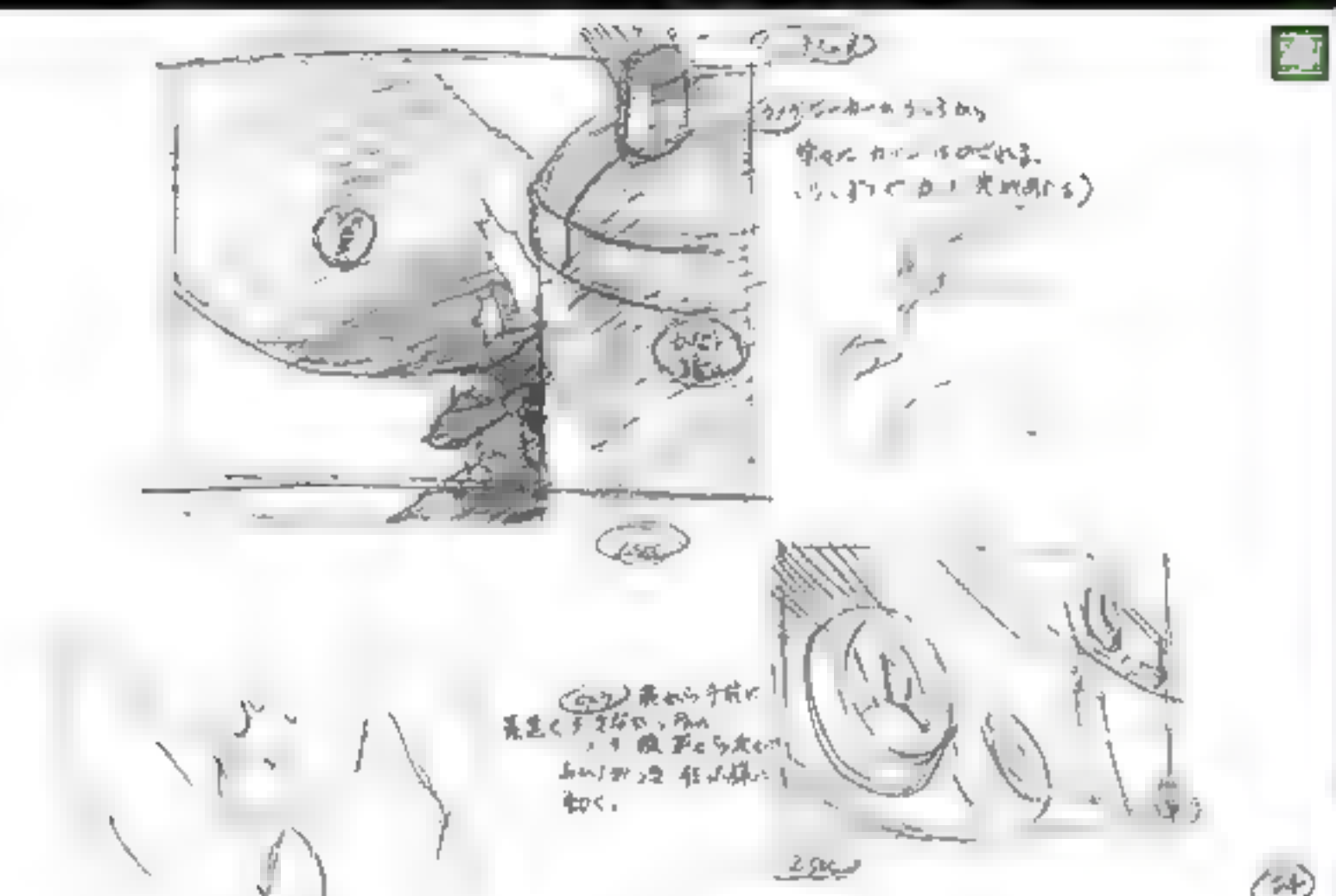
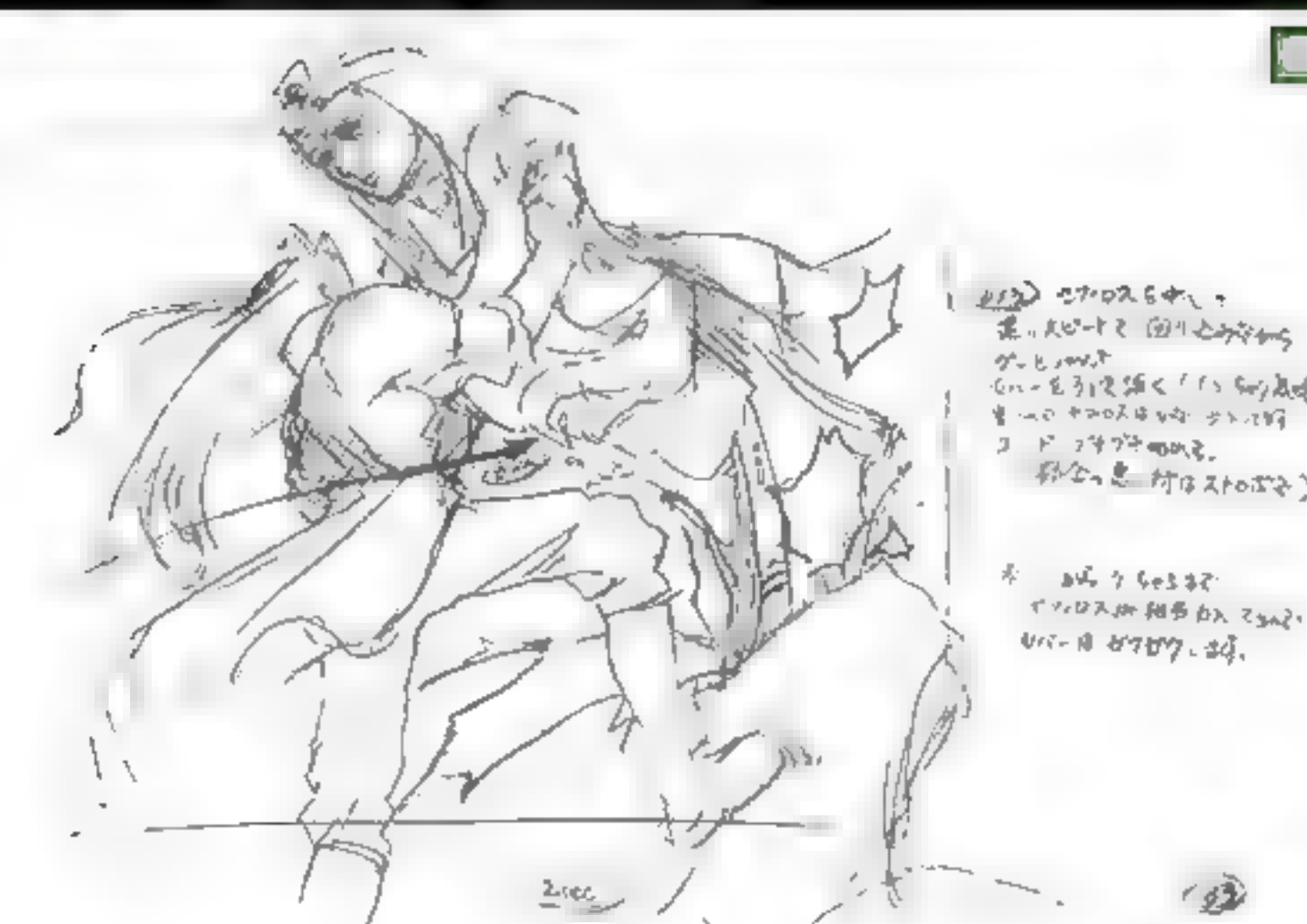
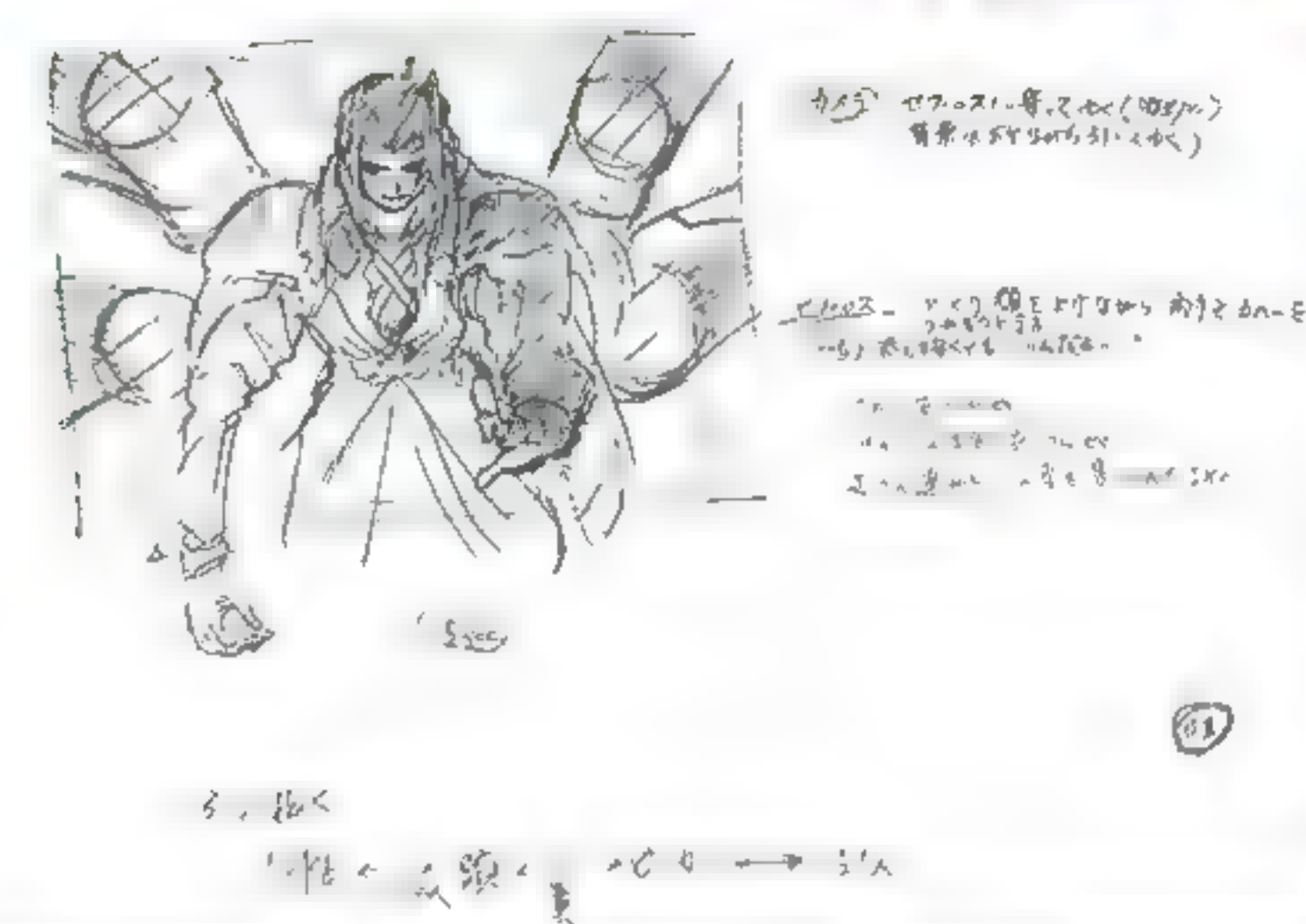
炎に消えるセフィロス

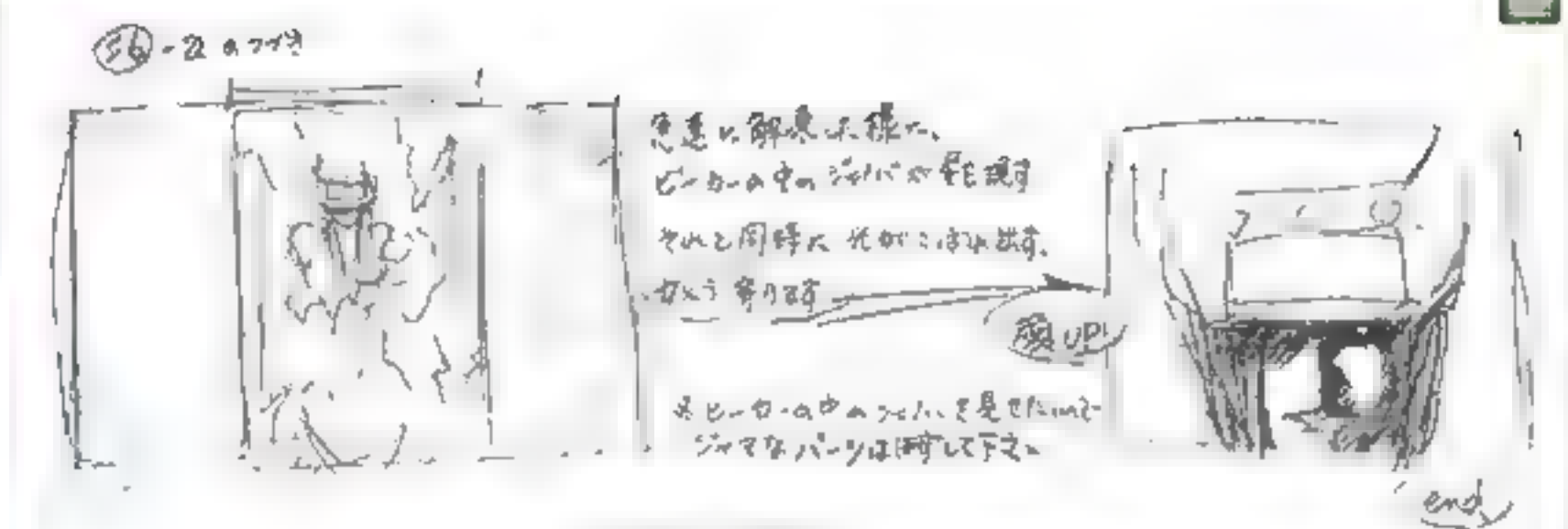
ニブルヘイムを焼き払ったセフィロスが炎のなかへ消えるシーン。CGは仮のものだが、それ以外はほぼこのままの形でムービーになった。

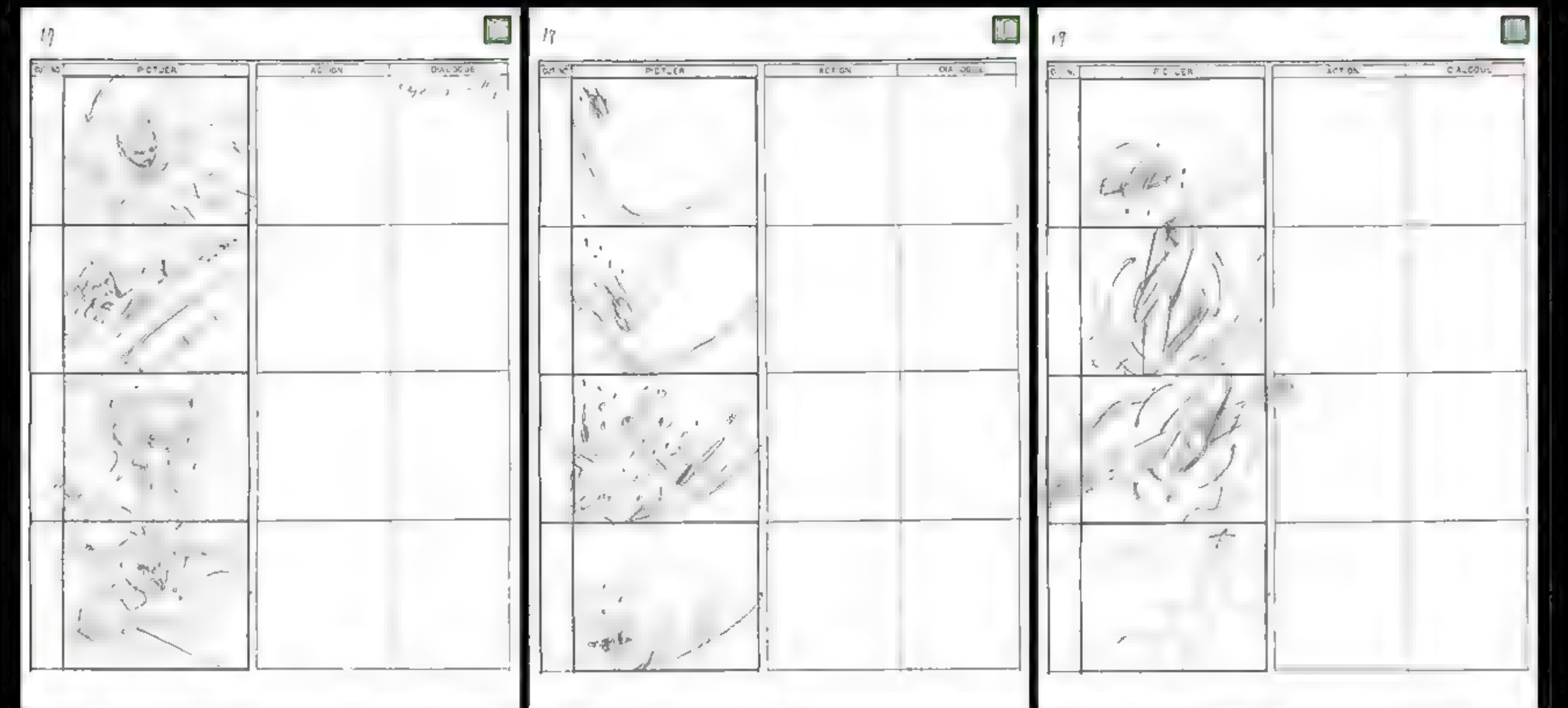
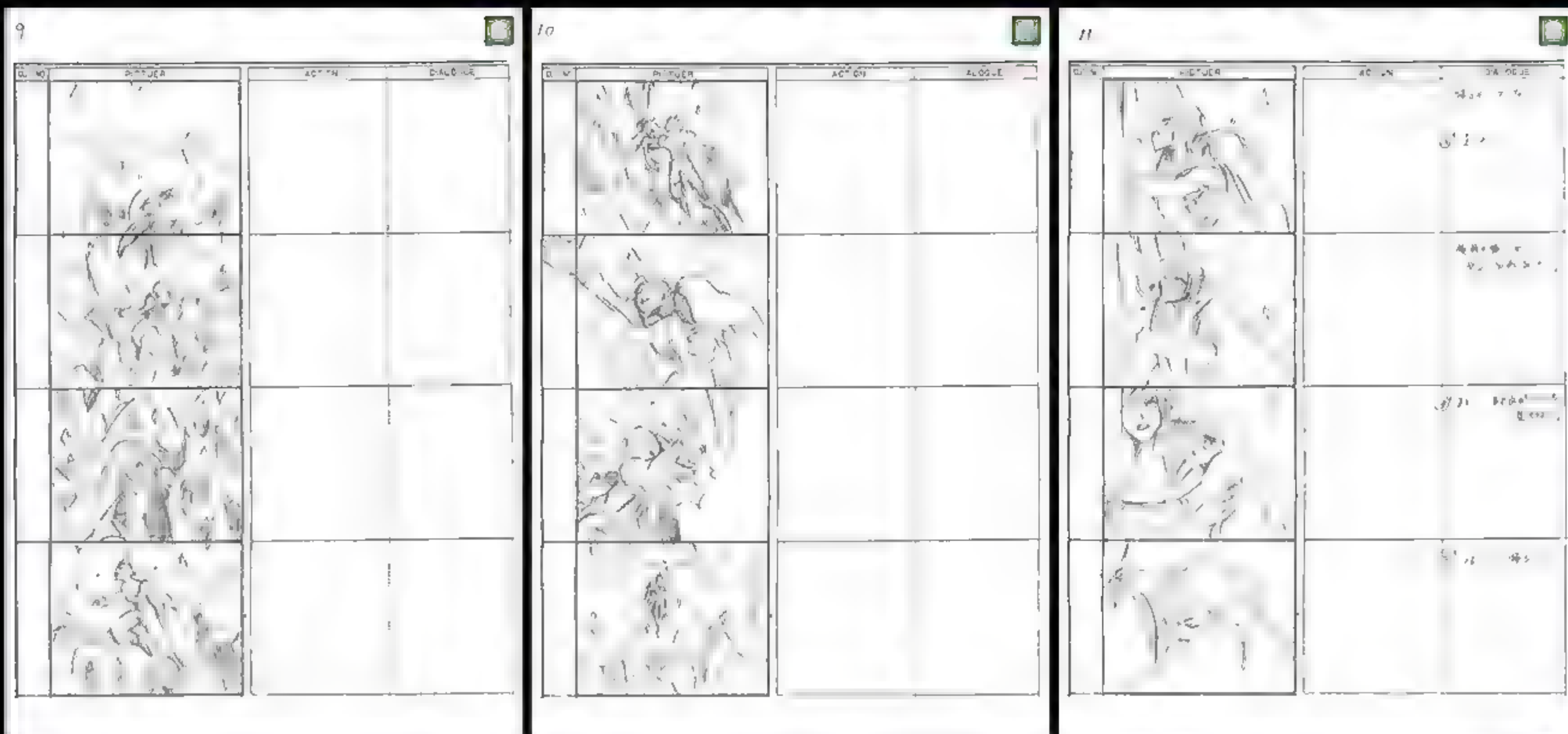
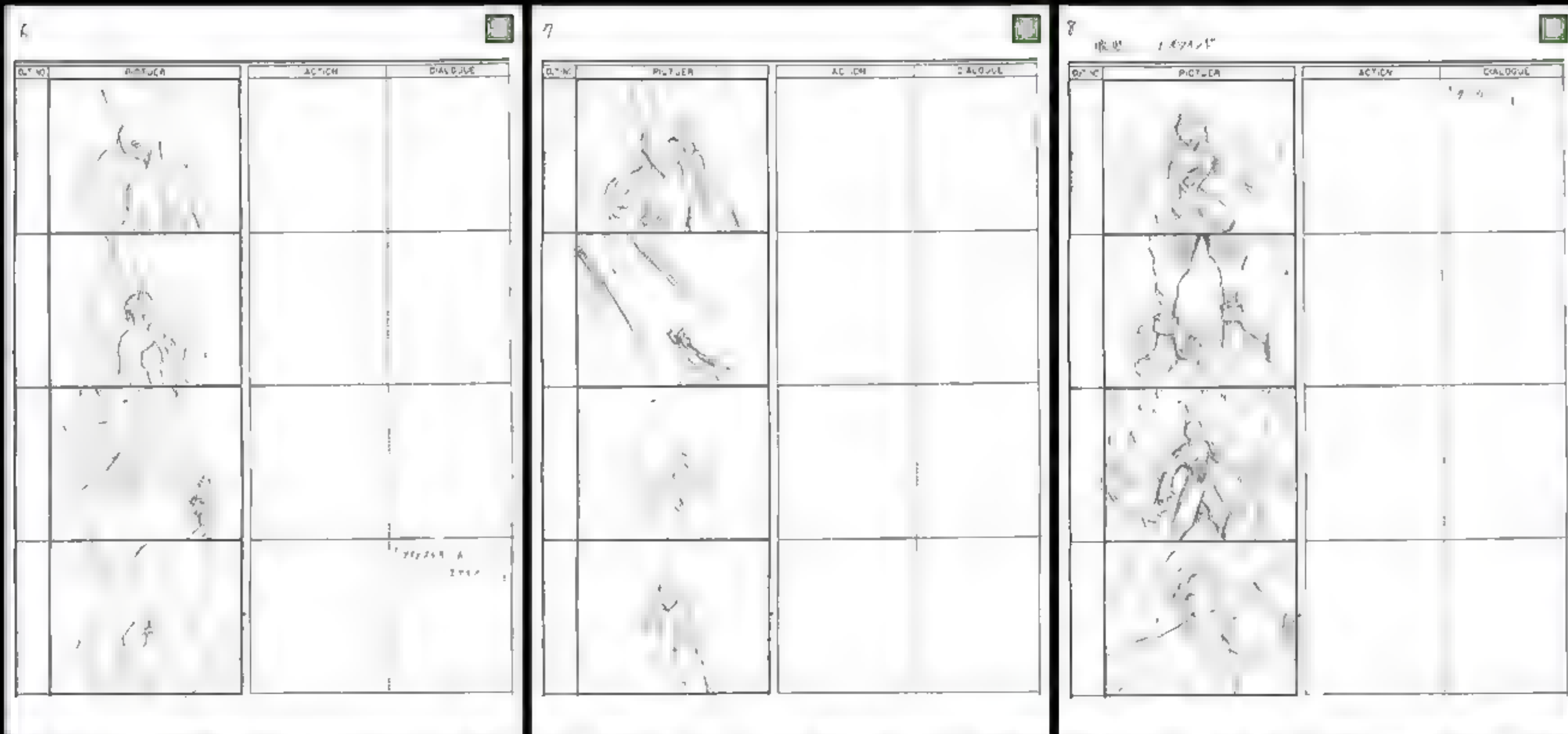
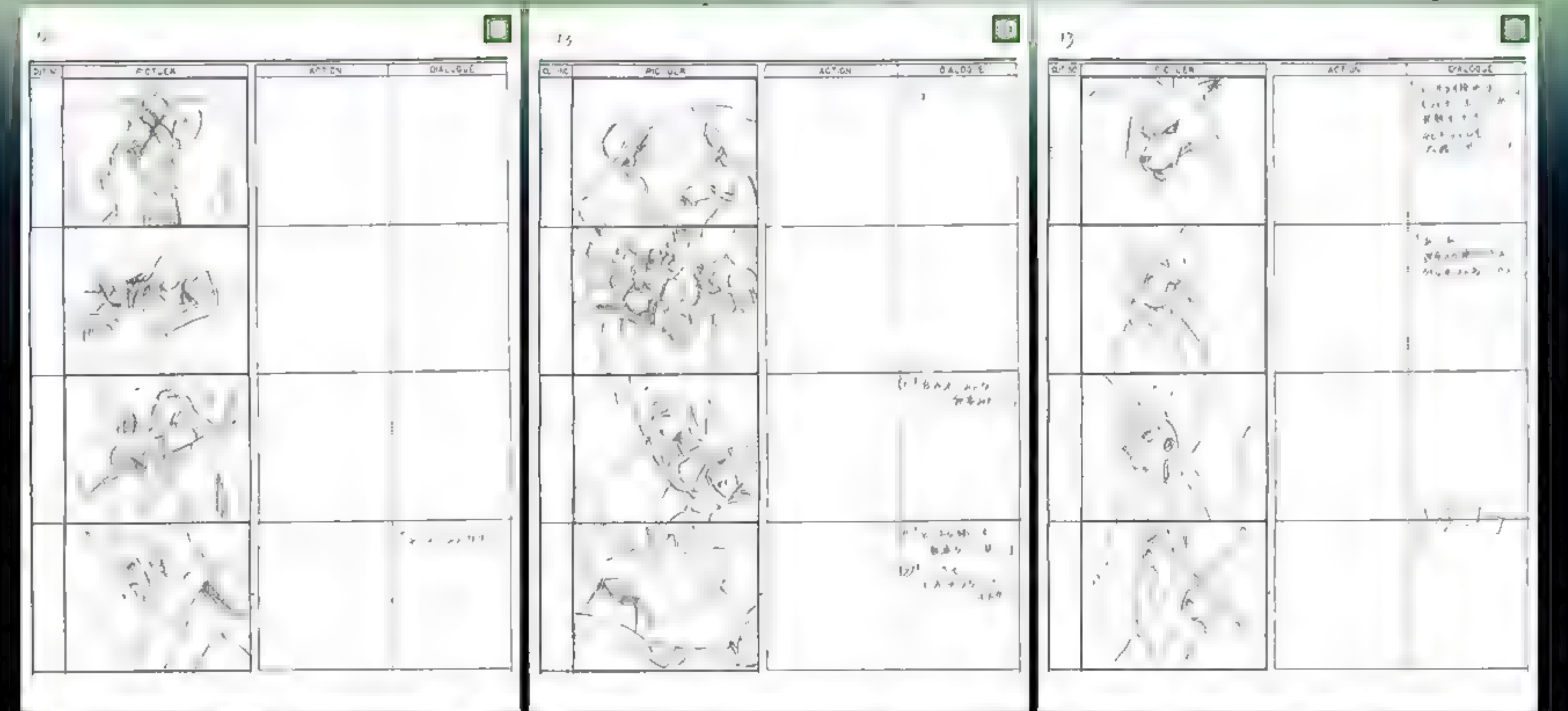
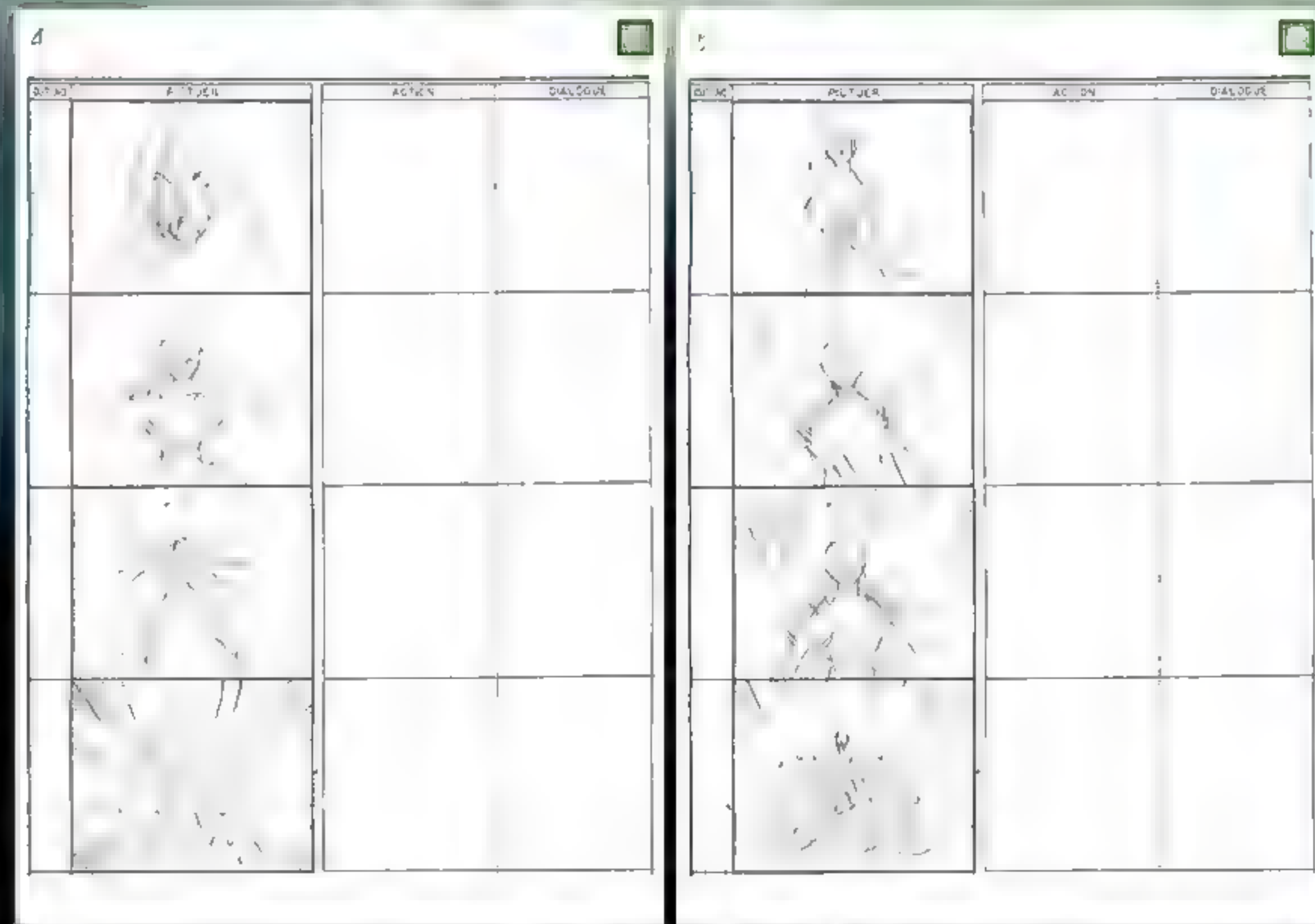
タイニー・ブロンコ奪取

ロケット村でタイニー・ブロンコを奪って飛び立つシーンの絵コンテ。当初は、神羅兵が複数いて、そのひとりが吹き飛ばされるというアイデアも。

エアリスの最期

忘らるる都でエアリスが祈りを捧げるシーンと倒れるシーン。白マテリアが跳ねる軌道まで絵コンテで決められている。

セフィロスの復活

竜巻の迷宮の最深部で、再生したセフィロスが姿を現すシーン。ゲームでは、クラウドがマテリアに手を差しこむカット(右列中央)の前に、仲間たちが宝条やルーファウスと話す場面がはさまる。

セフィロスとジェノバの対峙

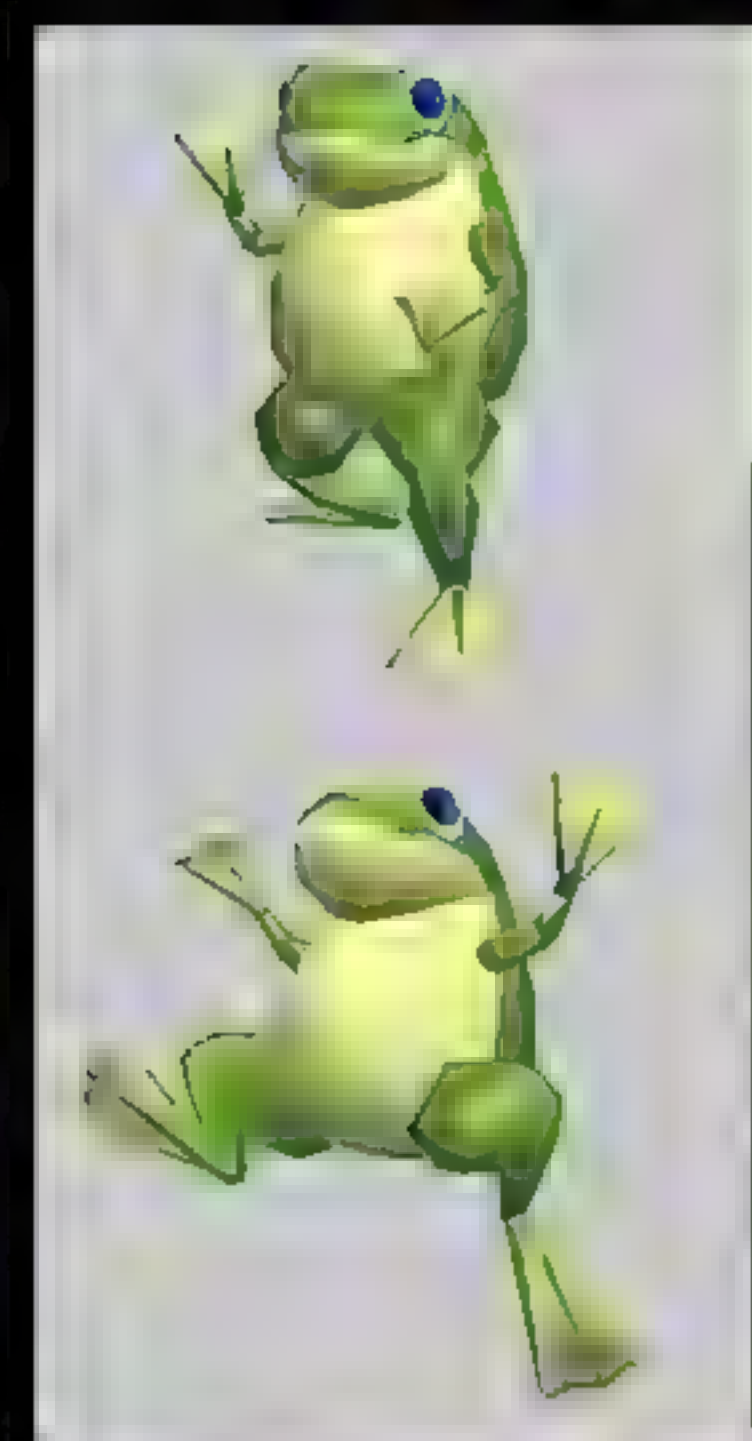
ニブル魔晄炉で、セフィロスがジェノバとの対面を果たすシーン。ゲーム中の表現もほぼこのままだが、一部のカットの順番が変更されたり、[illegible]や[illegible]でメーターがアップになるカットが省略されたりしている。

エンディング

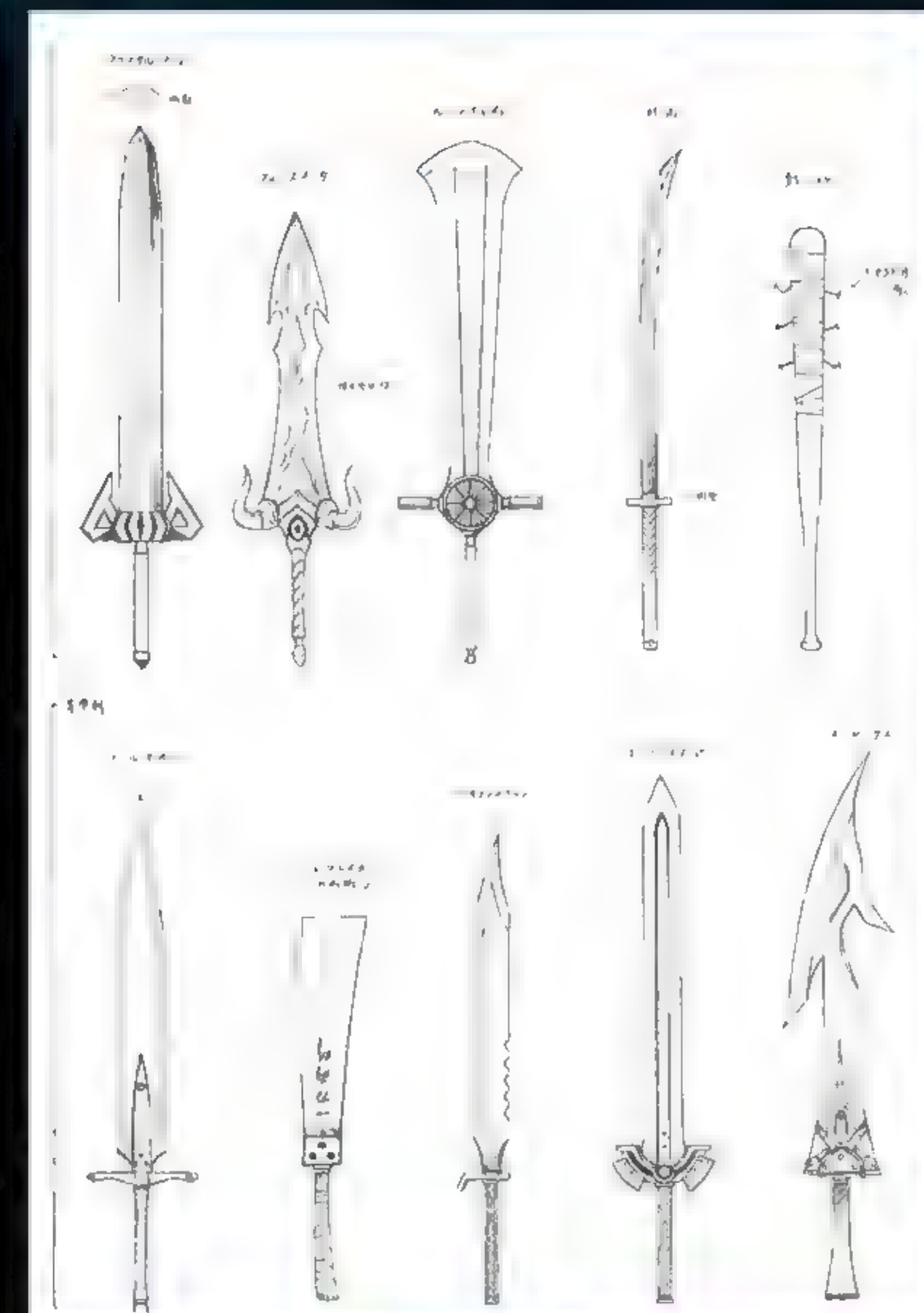
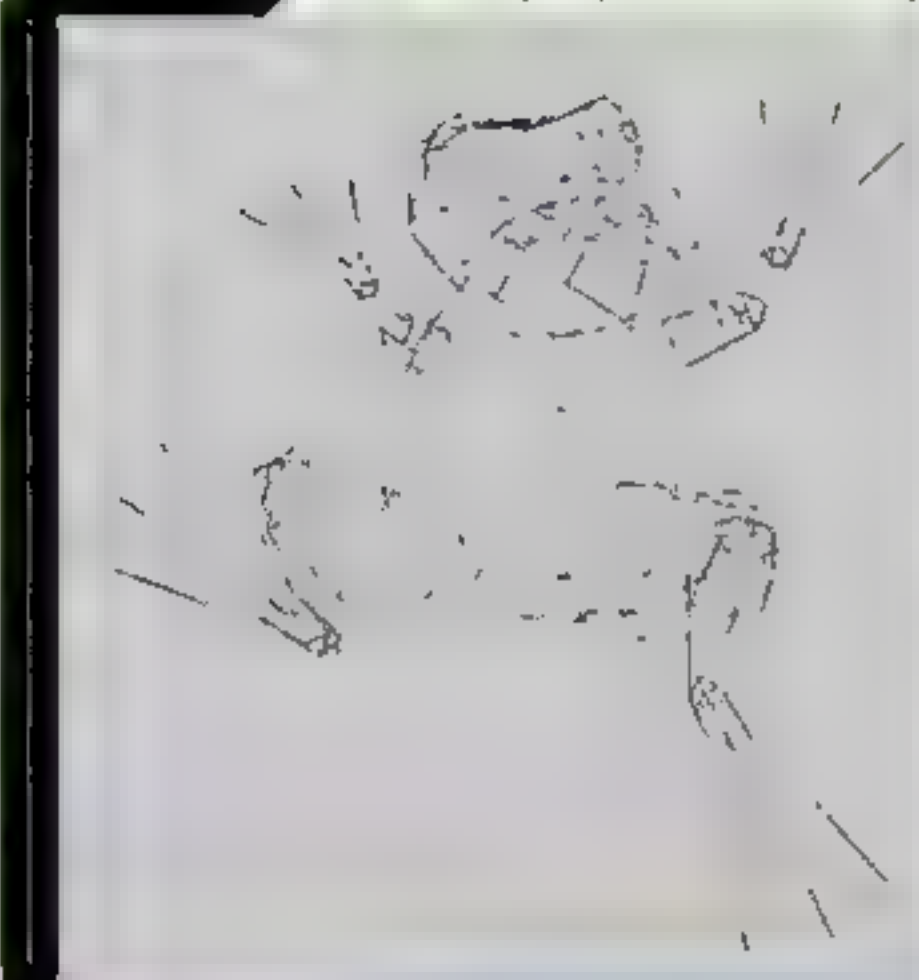
エンディングの前半、ハイウインドから脱出艇を分離するシーンまでの絵コンテ。一部のセリフが実際のムービーとは異なる。とくに、■の場面でのセリフには大幅な変更があった。

タイトルロゴ案

決定に至るまで、バックのイラストは無数のバリエーションが試作された。そのほか、「FINAL」と「FANTASY」のあいだの広さ、カタカナの配置場所、文字とイラストの位置バランスなどが、何通りもテストされている。

そのほかの設定画&開発資料

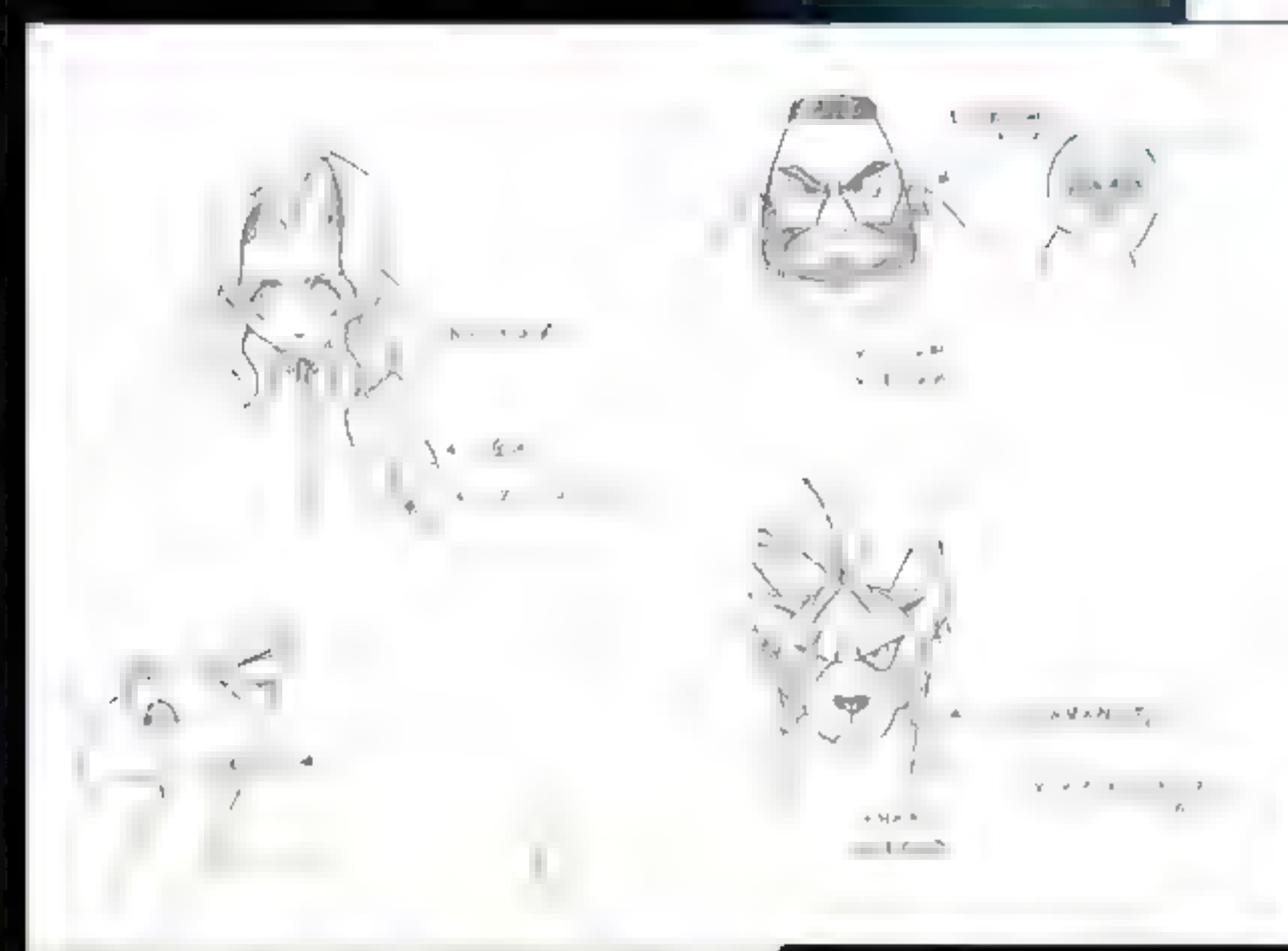
カエル

「ストップ」などでカエル状態になったときの姿。CGモデルの下側のポーズは、原画となるイラストを忠実に再現したものになっている。

▼CGモデル

▶CGモデル(ワイヤーフレーム)

クラウドの武器

クラウドの武器のうち、10種類分のデザイン画。一部の武器については、CGモデル作成時の注意点も記載されている。

ぬいぐるみ用のデザイン画

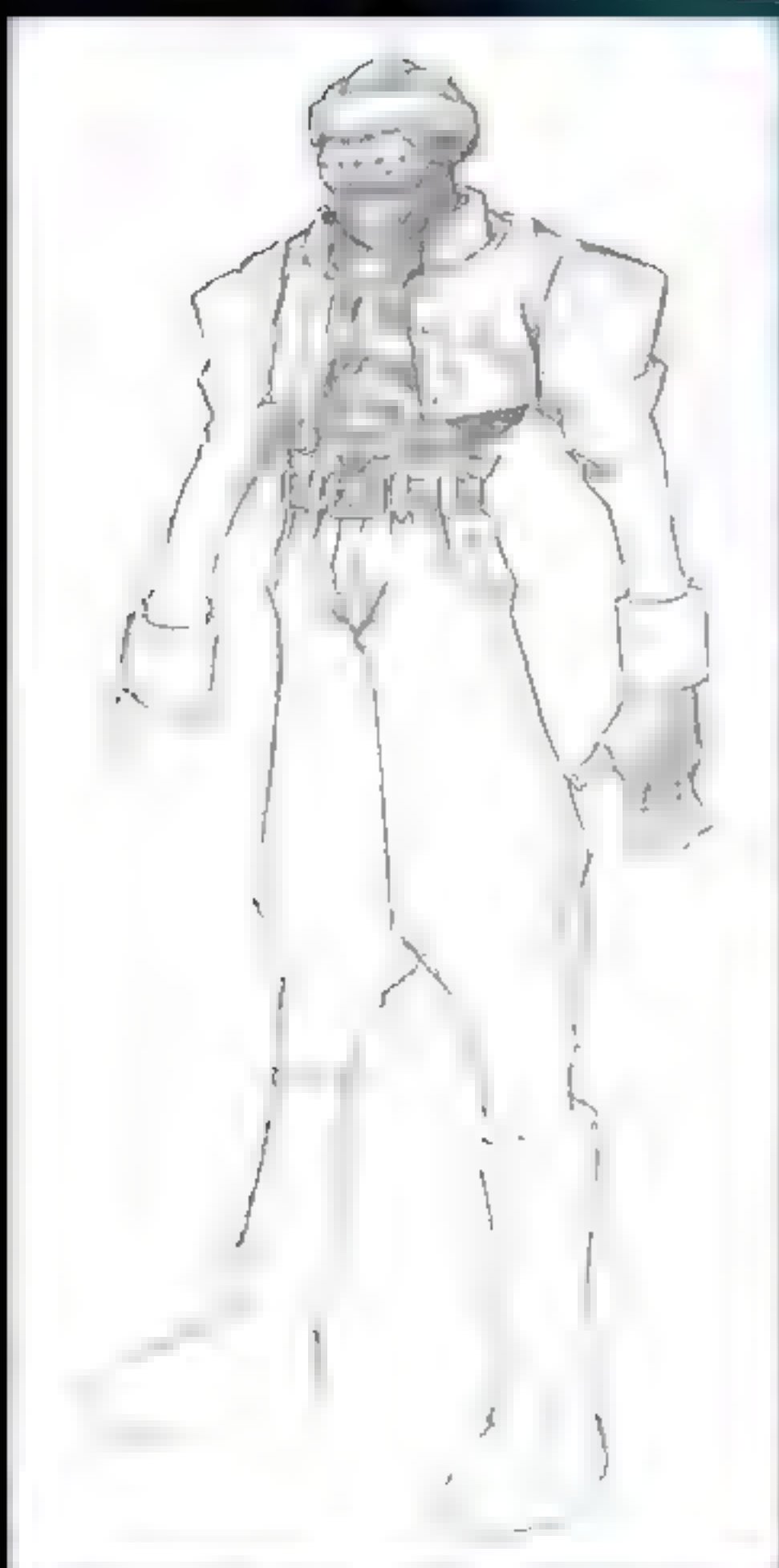
プライズゲームの景品として作られたぬいぐるみのデザイン画。細部の作りや材質についての指定も入っている。ぬいぐるみの発売元は株式会社バンプレストで、ゲームに先駆けてリリースされた。

▶クラウド

▶エアリス、バレット、レッドXIII、チョコボ

マリンの友だち（未採用）

マリンの友だちのデザイン画。マリンより少し小さい子と大きい子の登場が予定されていた。

敵兵士（未採用）

未採用となった兵士のデザイン。やや軽装で、穴がいくつも空いたアイマスクの不気味さが目を引く。

幻のモンスター

ゲーム中には登場しなかったモンスター、オニキスドラゴンのデザイン画。アルテマウェポンの試作生体兵器という設定が用意されていた。

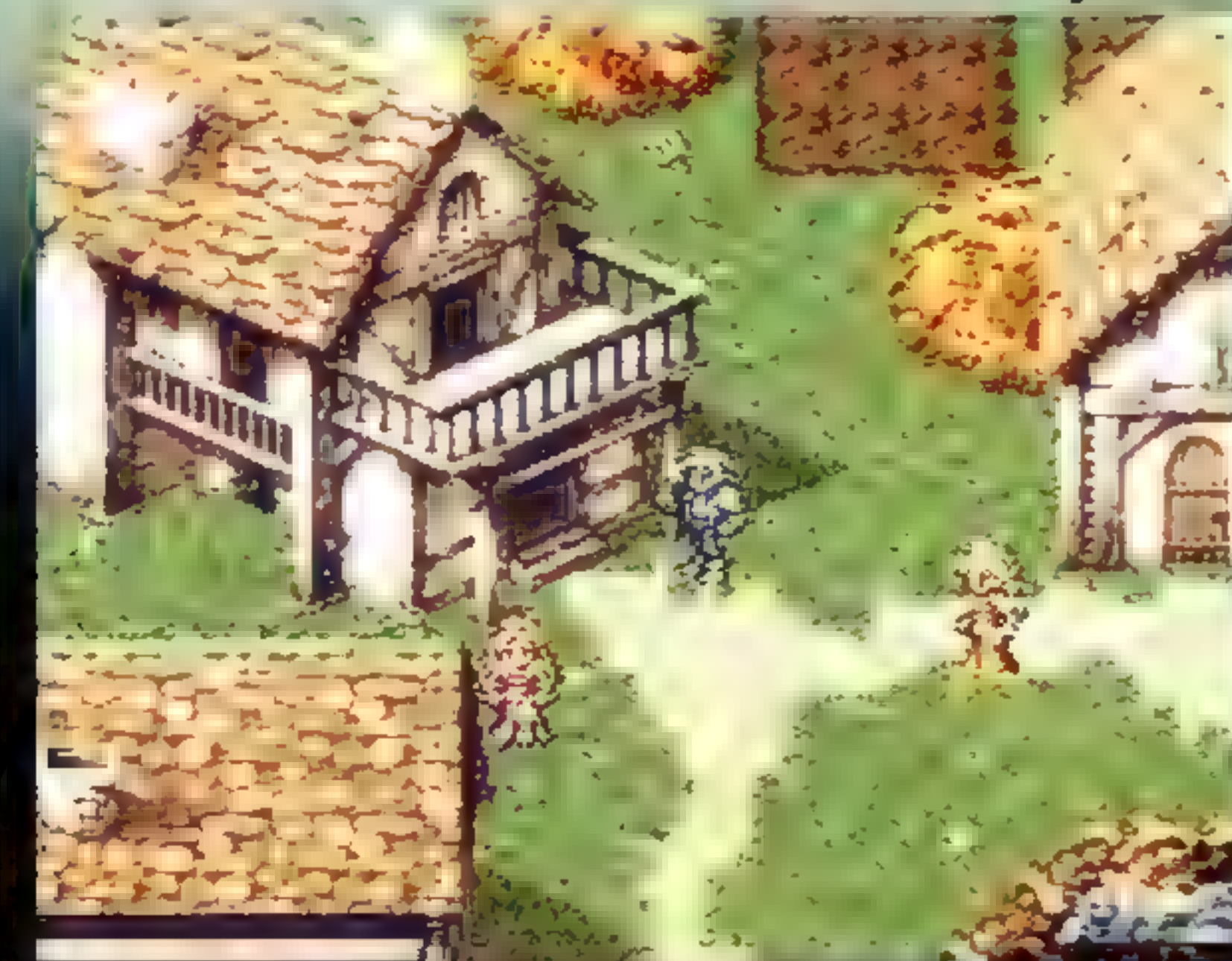
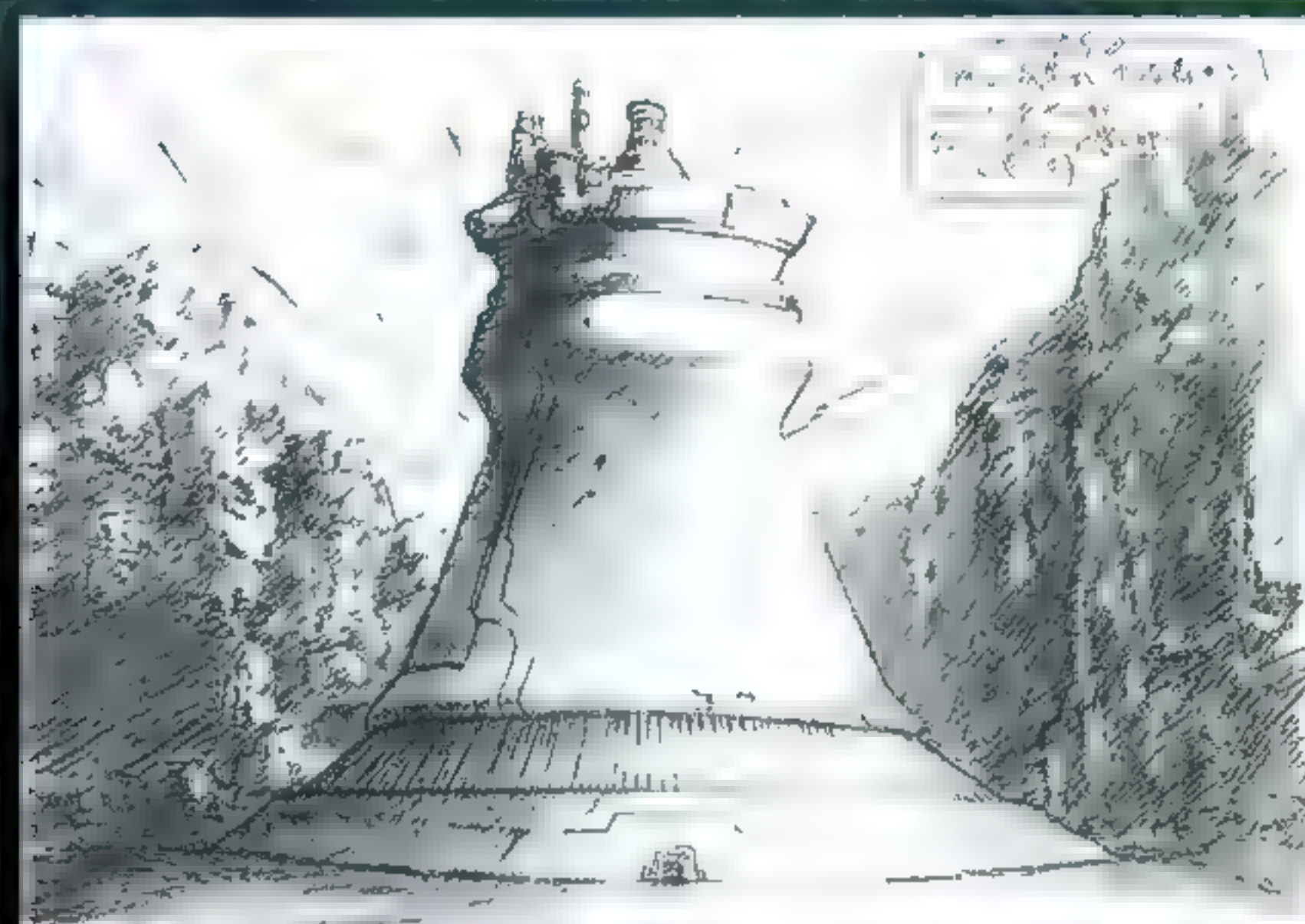
▶エアリスの「乙女の囁き」

▶バレットの「パラライザー」

幻のリミット技

採用されなかったリミット技の絵コンテ。エアリスの「乙女の囁き」は味方の攻撃力を上げる技、バレットの「パラライザー」は敵をマヒさせる技として考案された。

魔晄炉外観初期案

魔晄炉の外観の初期デザイン案。末広がりの円筒形で、原子力発電所の冷却塔に近いイメージだが、上部にいくつかの設備が見受けられる。

開発初期の画面写真

開発の極めて初期に制作された画面の写真。表現がポリゴンではなくドット絵で、キャラクターは仮のものとして「FFVI」のロックが使われている。

開発中のニブルヘイム

まだ未完成のニブルヘイムの画面写真。建物の配置が製品版と大きく異なるが、多数の煙突が突き出した家など、イメージの一部は共通している。村の名前は、当時はニ「ヴ」ルヘイムだった。

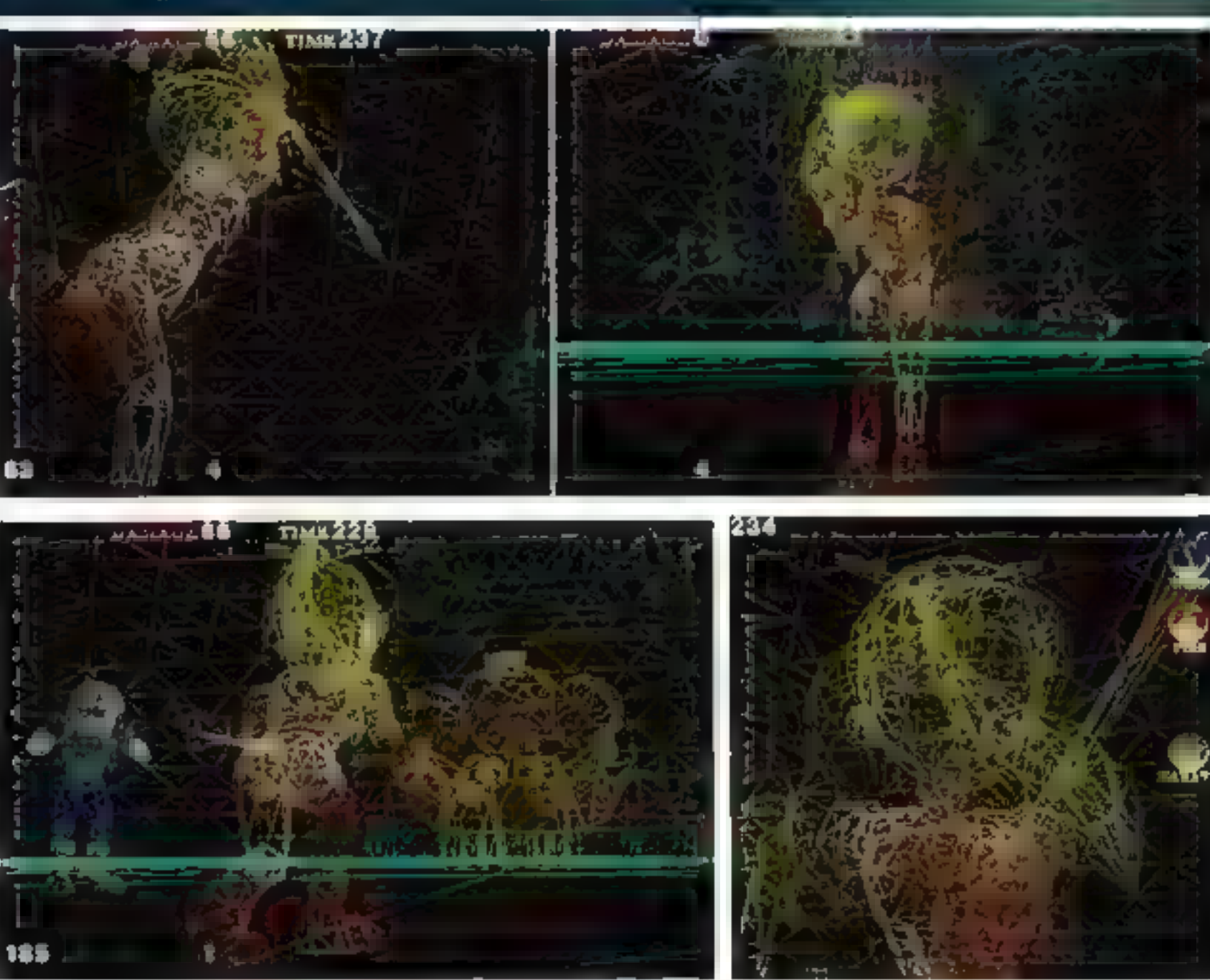
開発中のバトル画面

『FFⅦ』の情報が初公開されたときの画面写真。製品版には存在しない「かくとう」コマンドがあるほか、リミットゲージがキャラクター名のすぐ右に配置されている。

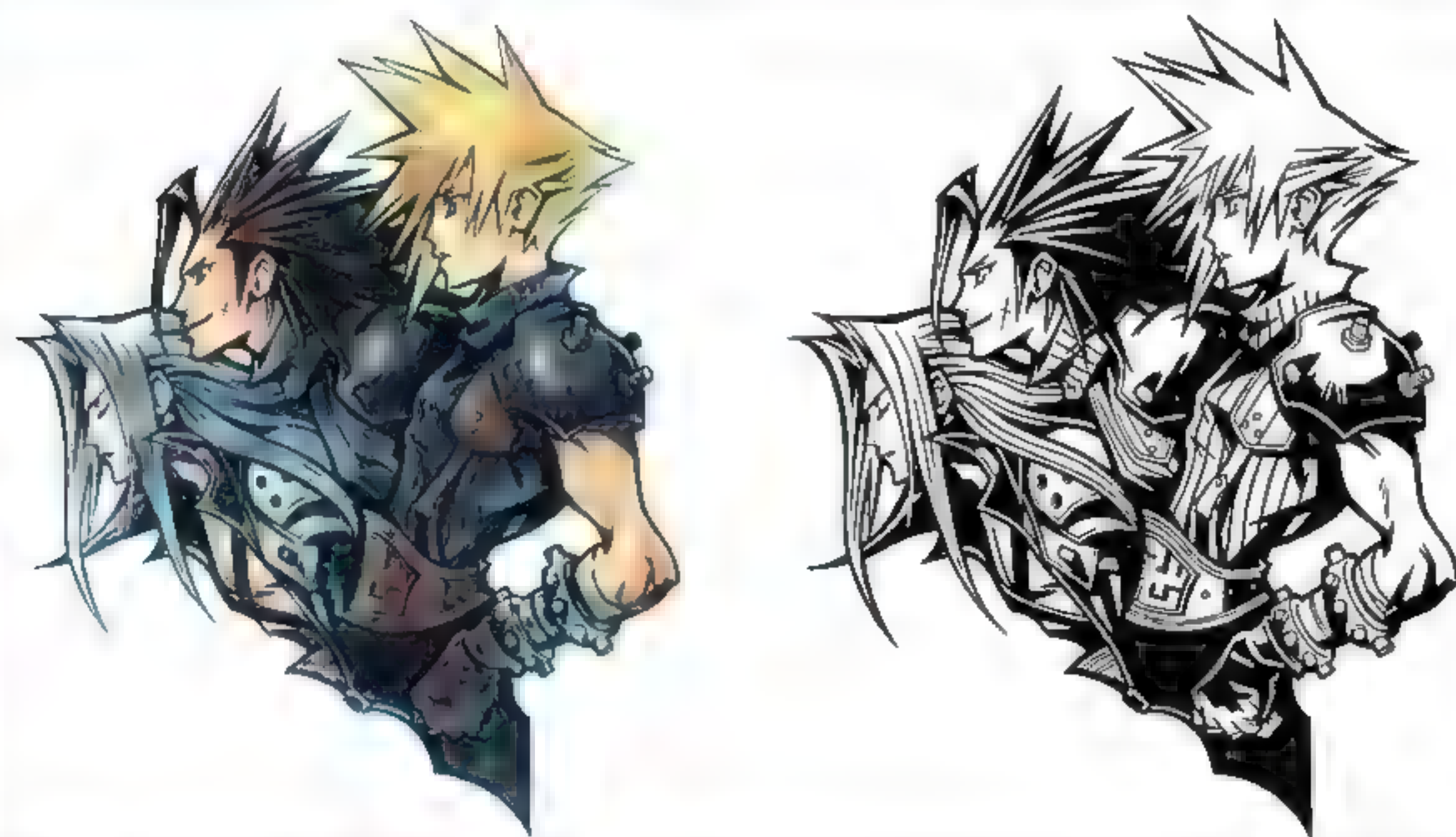
開発初期のワールドマップ

設定が固まる前の世界地図。ミッドガルの近くにある町の名前は「エルム」で、位置も製品版のカームとちがう。そのほか、氷河山脈、火山地帯、美術館など、ゲームには登場しない地名も見て取れる。

テクニカルデモの画面写真

[illegible]毎年夏に開催されるCGの祭典「S[illegible]）」に出展されたデモ映像。『FFVI』をモチーフにした3DCG[illegible]シャドウとゴーレムの戦いが描かれている。この映像は東京ゲームショウ[illegible]布された『FFVII』の体験版にも収録された。

▶制作中の画像

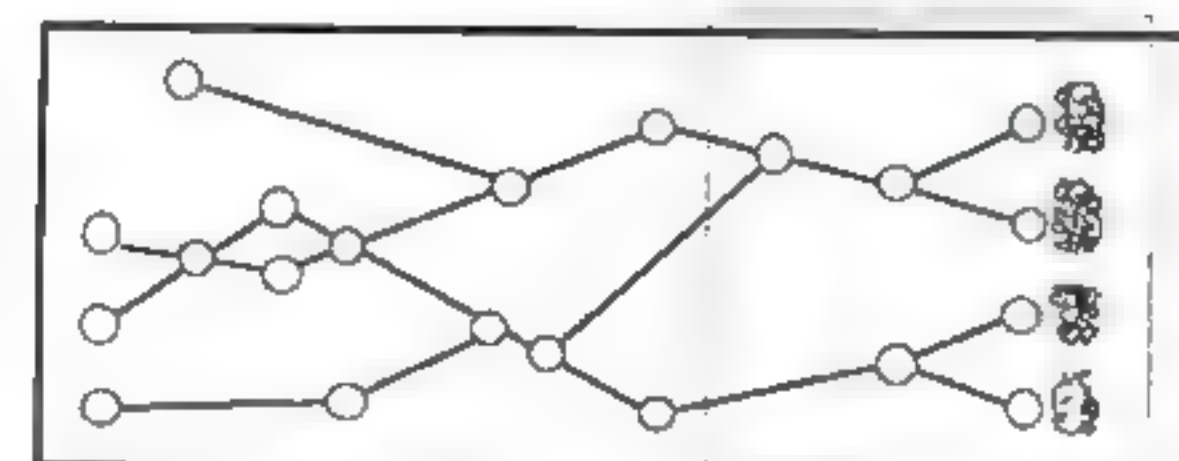
植松伸夫氏とクラウドたち

クラウド、ティファ、エアリスと、『FFVII』のコンポーザー・植松伸夫氏をデフォルメしたイラスト。CD『ファイナルファンタジーVII リユニオントラックス』のために描かれた。

10周年記念イラスト

2007年に『FFVII』10周年記念として描かれた、クラウド、ザックス、セフィロスのイラスト。『クライシス コア -ファイナルファンタジーVII- 10th Anniversary Limited』に同梱されたPSP-2000の本体裏面には、このイラストがプリントされている。

企画書

北瀬佳範氏のアイデア

[illegible]北瀬佳範氏が書いた『FFVII』の企画書。前作『FFVI』の発売からわずか3ヵ月後に書かれたもので、実際のゲームのシステムとは異なるものの、斬新なアイデアの数々が盛りこまれている。

FINAL FANTASY VII

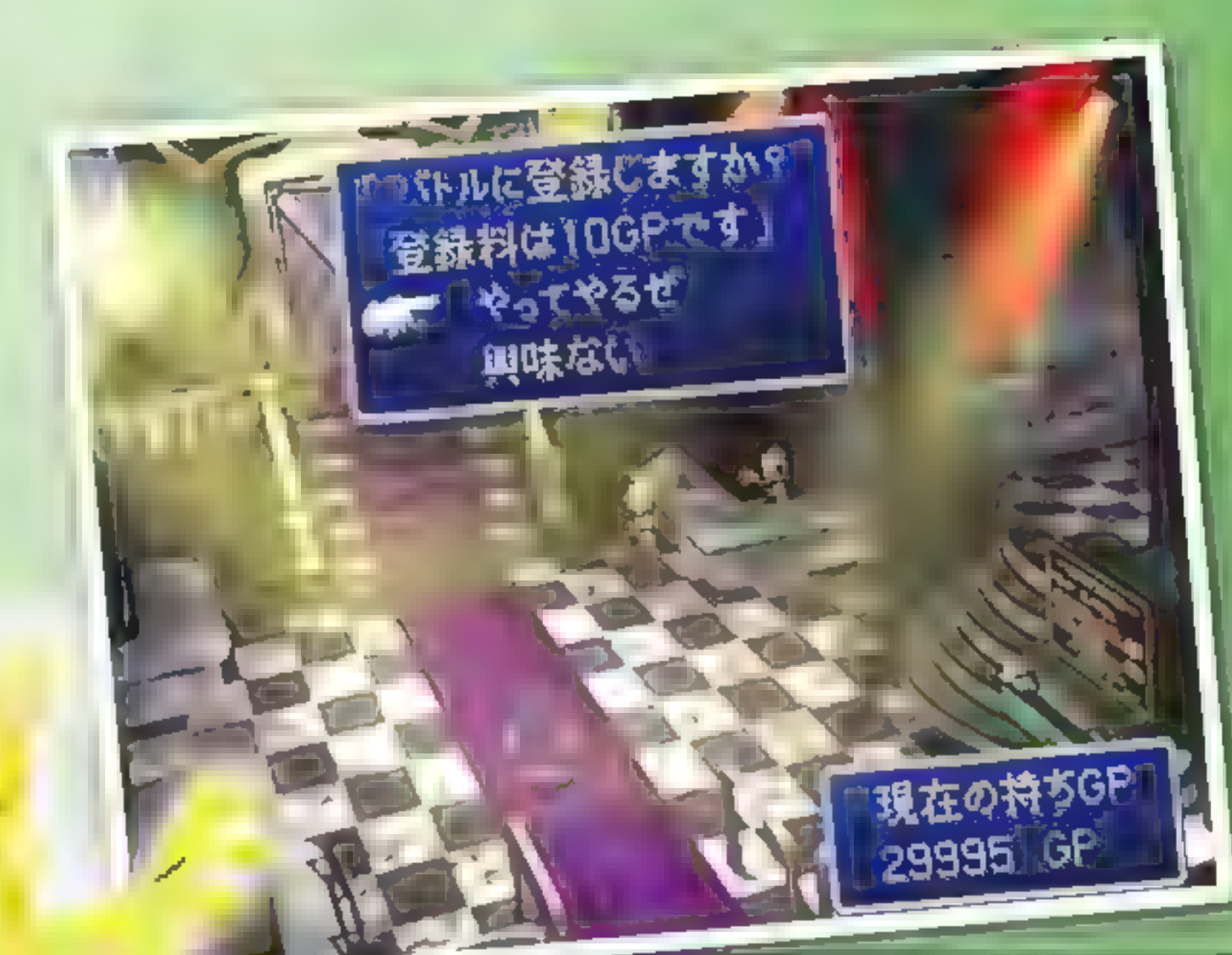
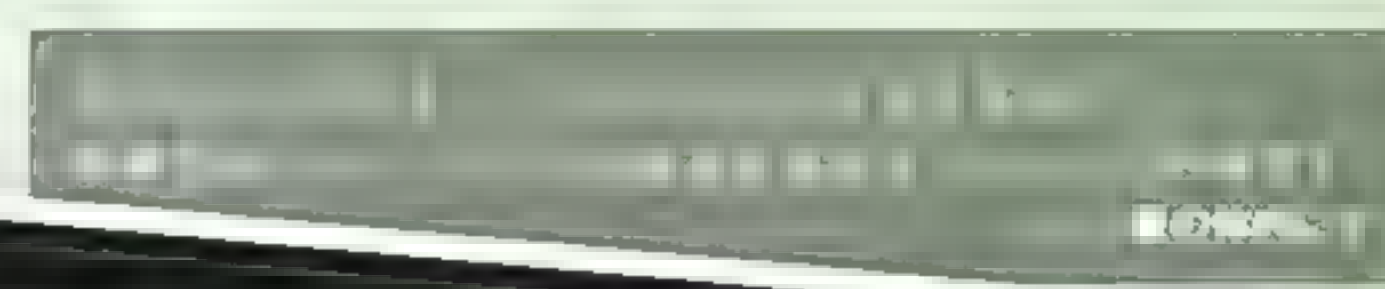
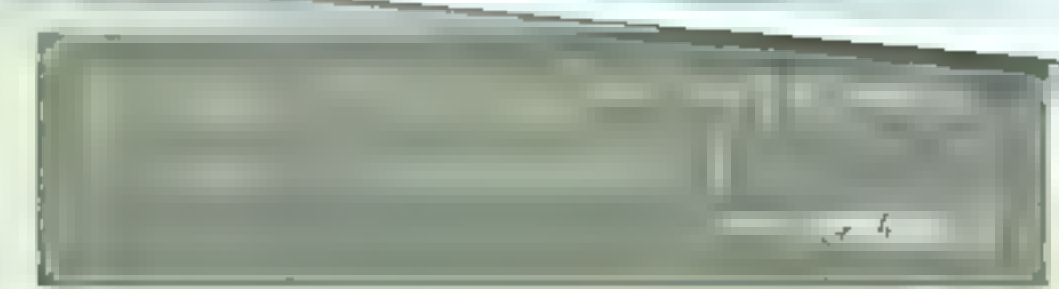
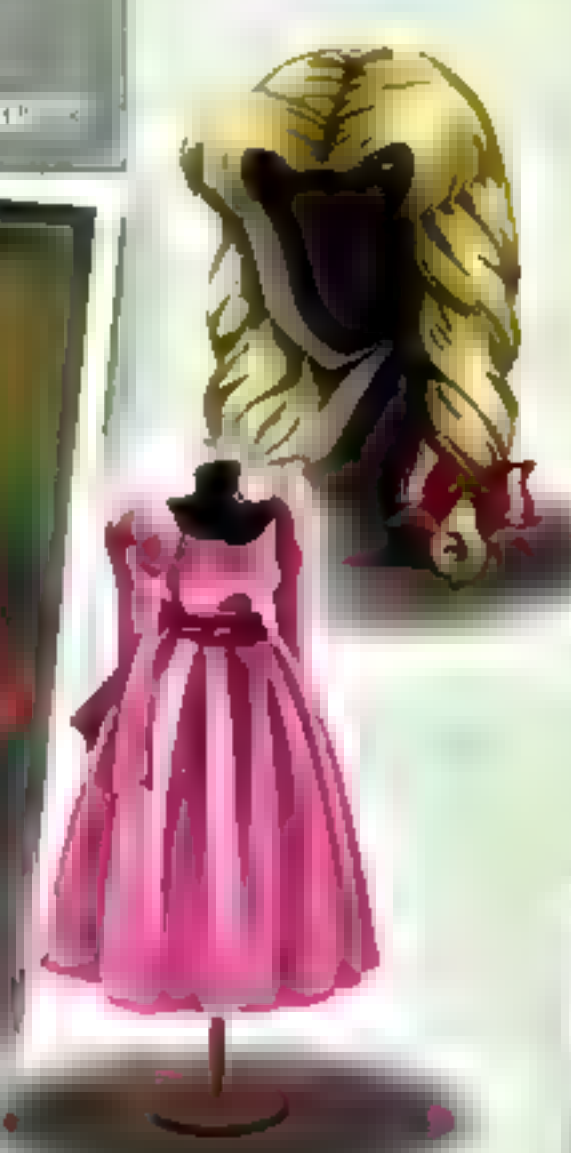
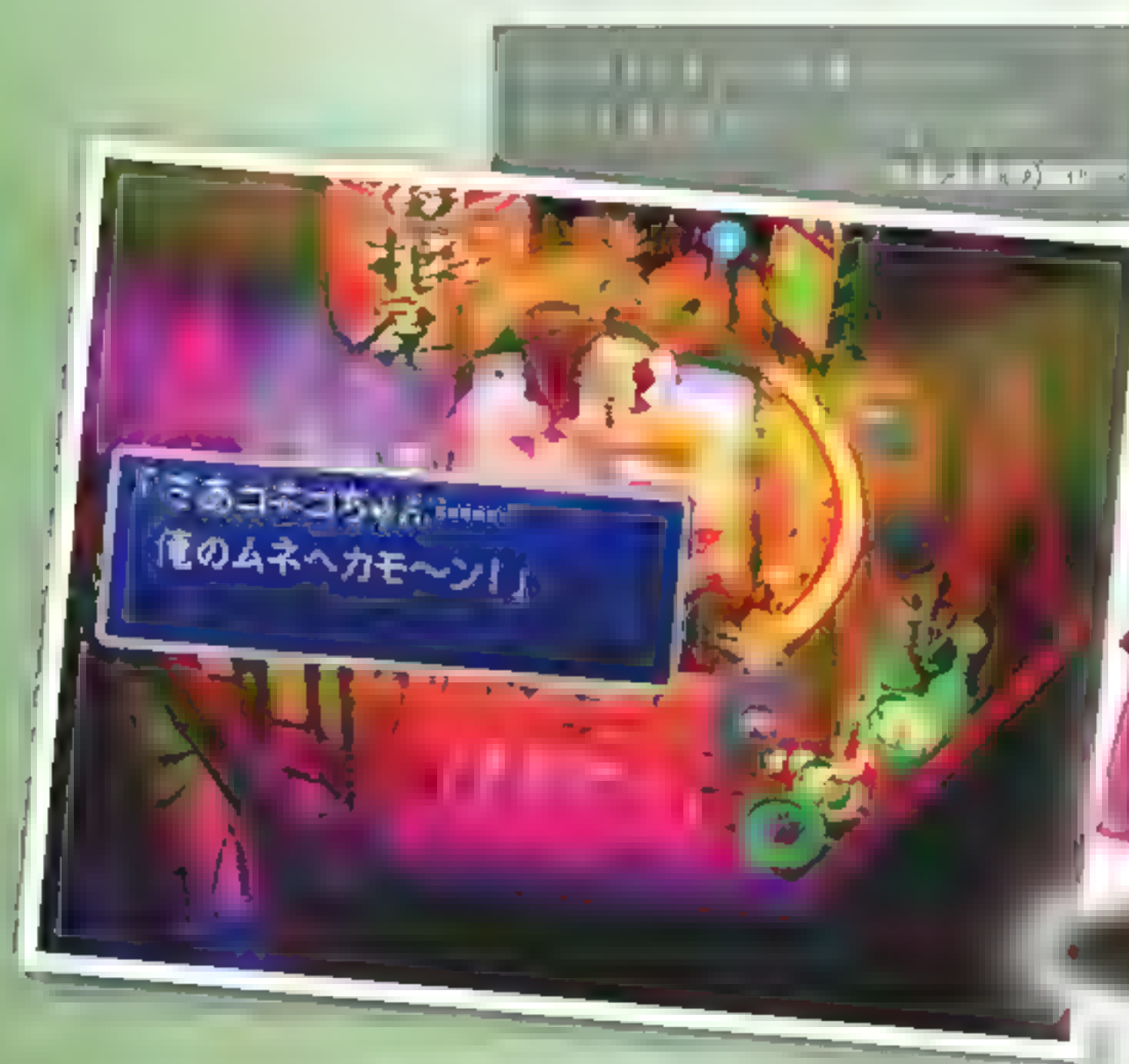
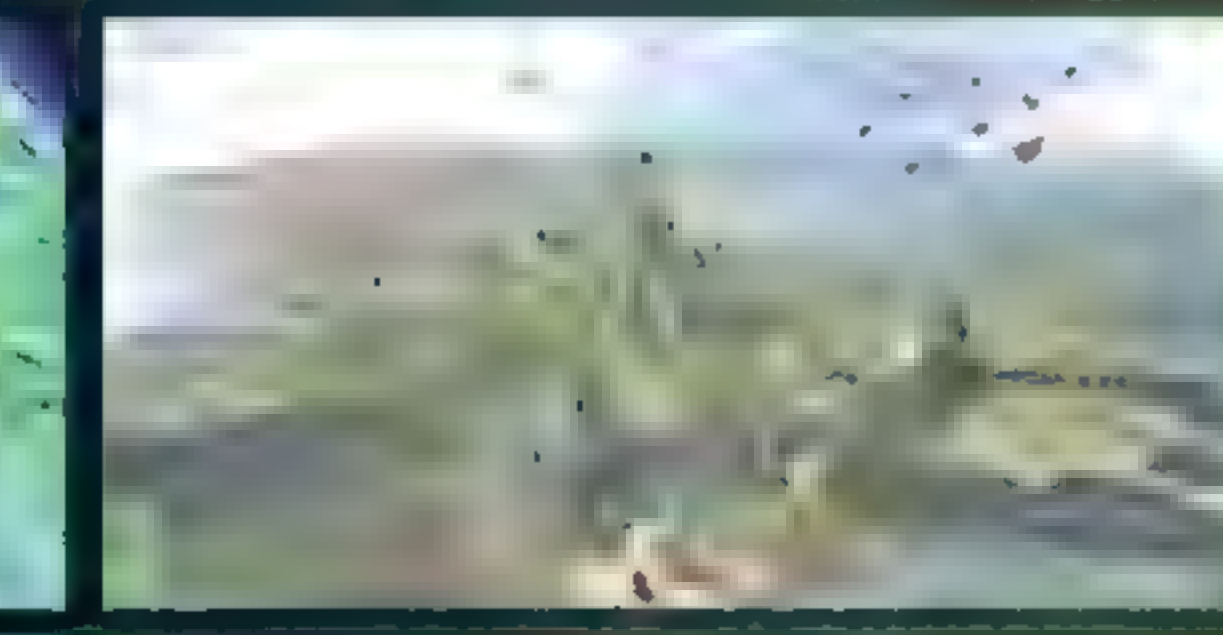
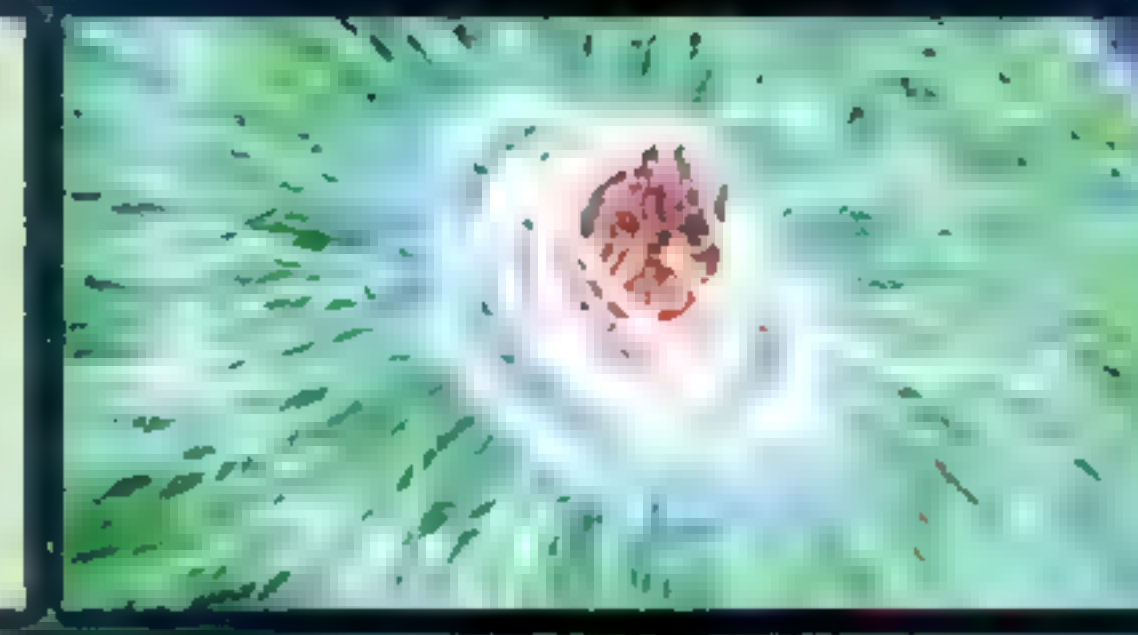
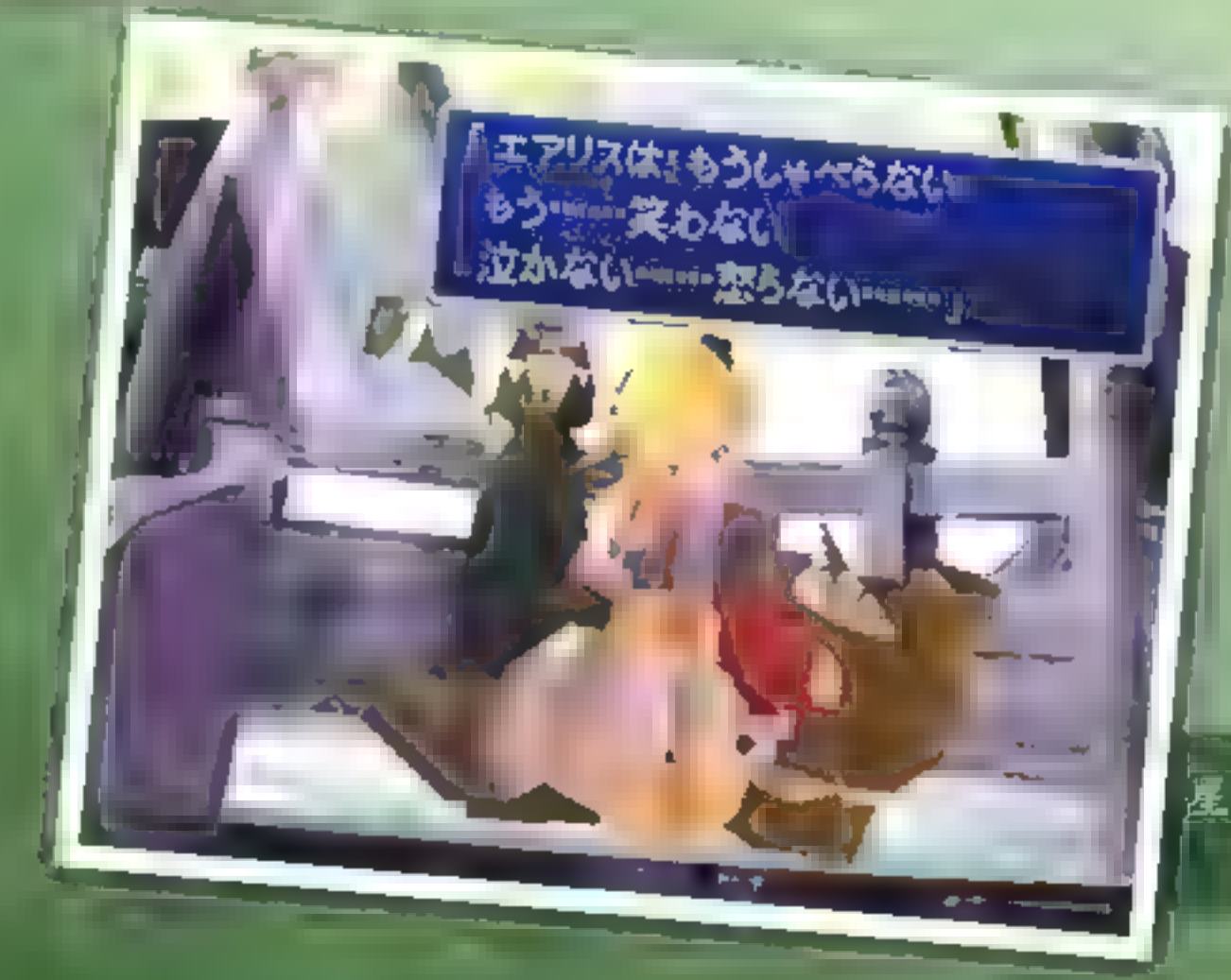
鳥山 求氏のアイデア

イベントプランナー・鳥山 求氏による『FF VII』の企画書。[illegible]は、ゴールドソーサーのイベントとなって活かされた。[illegible]ったくちがうが、「約束の地」というキーワードがすでに出てきている。

野村哲也氏のアイデア

キャラクターデザイナー・野村哲也氏による、成長システムとバトルシステムの企画書。リミット技の原形が提案されている。ゲージが満タンまでたまる前でも、ゲージの一定量を消費して、弱めの威力で発動できるようにするアイデアもあったようだ。

開発初期の人物相関図

開発の初期、バレットが「ブロウ」と呼ばれていたころに作られた人物相関図。各キャラクターの設定が実際のゲームとちがっているほか、大半のキャラクターは、デザインも大きく異なる。

FINAL FANTASY VIII
ファイナルファンタジーVIII

映画的演出で描かれるラブストーリー

学園生活や恋愛模様を物語の前面に押し出した異色作。運命的に出会ったスコールとリノアは、互いにひかれ合いながらも、魔女の力をめぐる陰謀に巻きこまれていく。モンスターから魔法を吸い取るドローシステムなどの独創的な要素が反響を呼んだほか、シリーズ初のテーマソング「Eyes On Me」もヒットを記録した。

FINAL FANTASY VIII™
© 1999 SQUARE

プレイステーション
ファイナルファンタジーVIII
発売日●1999年2月11日
価格●8,190円

Windows
ファイナルファンタジーVIII
発売元●エレクトロニック・アーツ・スクウェア
発売日●2000年3月23日
価格●9,240円

Windows（廉価版）
ファイナルファンタジーVIII
発売元●エレクトロニック・アーツ・スクウェア
発売日●2002年10月3日
価格●7,140円

プレイステーション（アルティメットヒッツ版）
ファイナルファンタジーVIII
発売日●2006年7月20日
価格●2,625円

プレイステーション3／プレイステーション・ポータブル／プレイステーションVita（ゲームアーカイブス）
ファイナルファンタジーVIII（プレイステーション版）
発売日●2009年9月24日
価格●1,500円
※PS Vitaは2012年8月28日より対応

プレイステーション（限定版）
ファイナルファンタジー 25th ANNIVERSARY ULTIMATE BOX
発売日●2012年12月18日
価格●35,000円
※スクウェア・エニックス e-STOREのみで予約限定販売

FINAL FANTASY VIII

IMAGE ART

『小夜曲(セレナーデ)』
スコールとセルフィ

『月と猫』
ネコを抱くラグナ

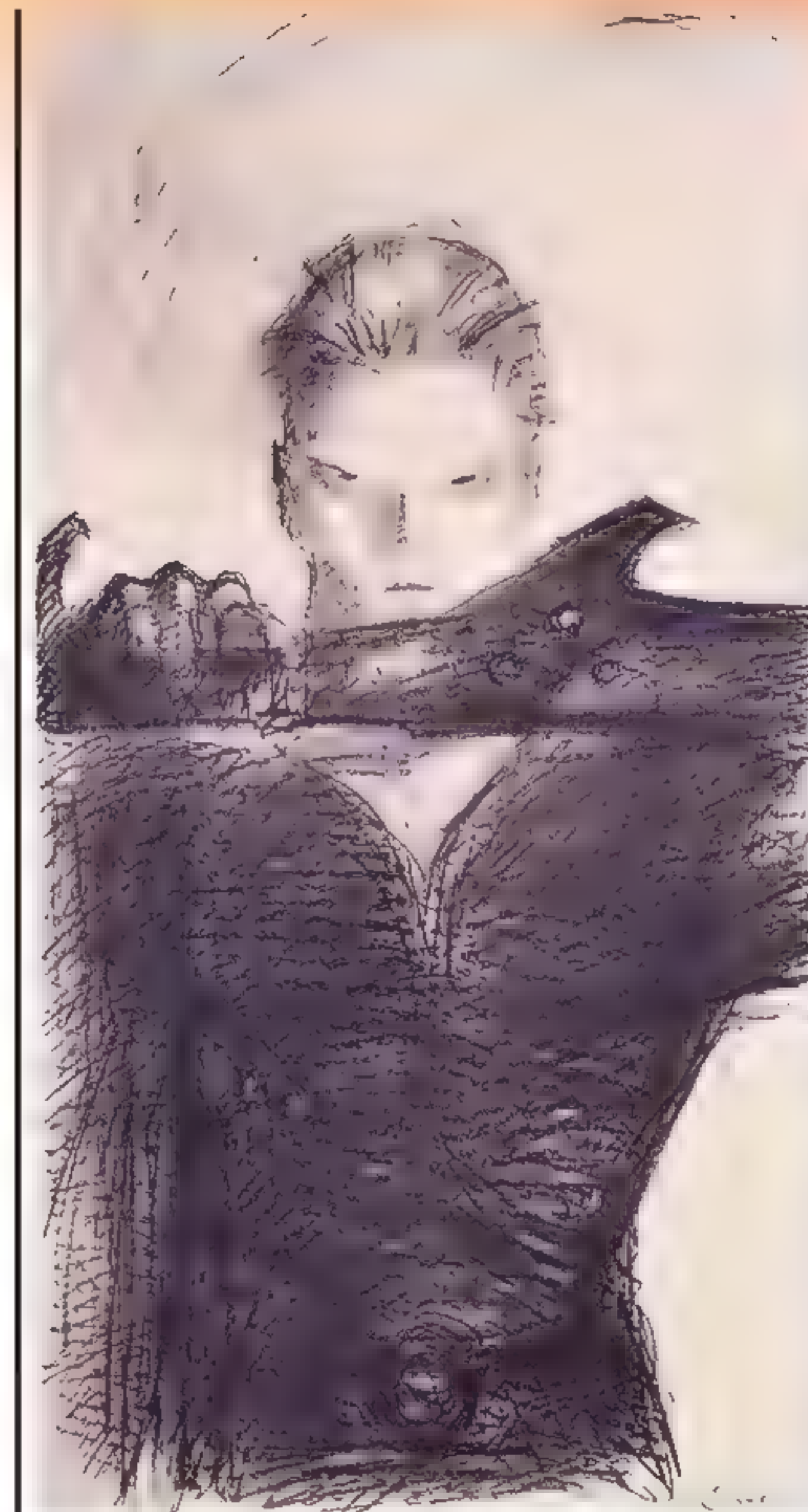
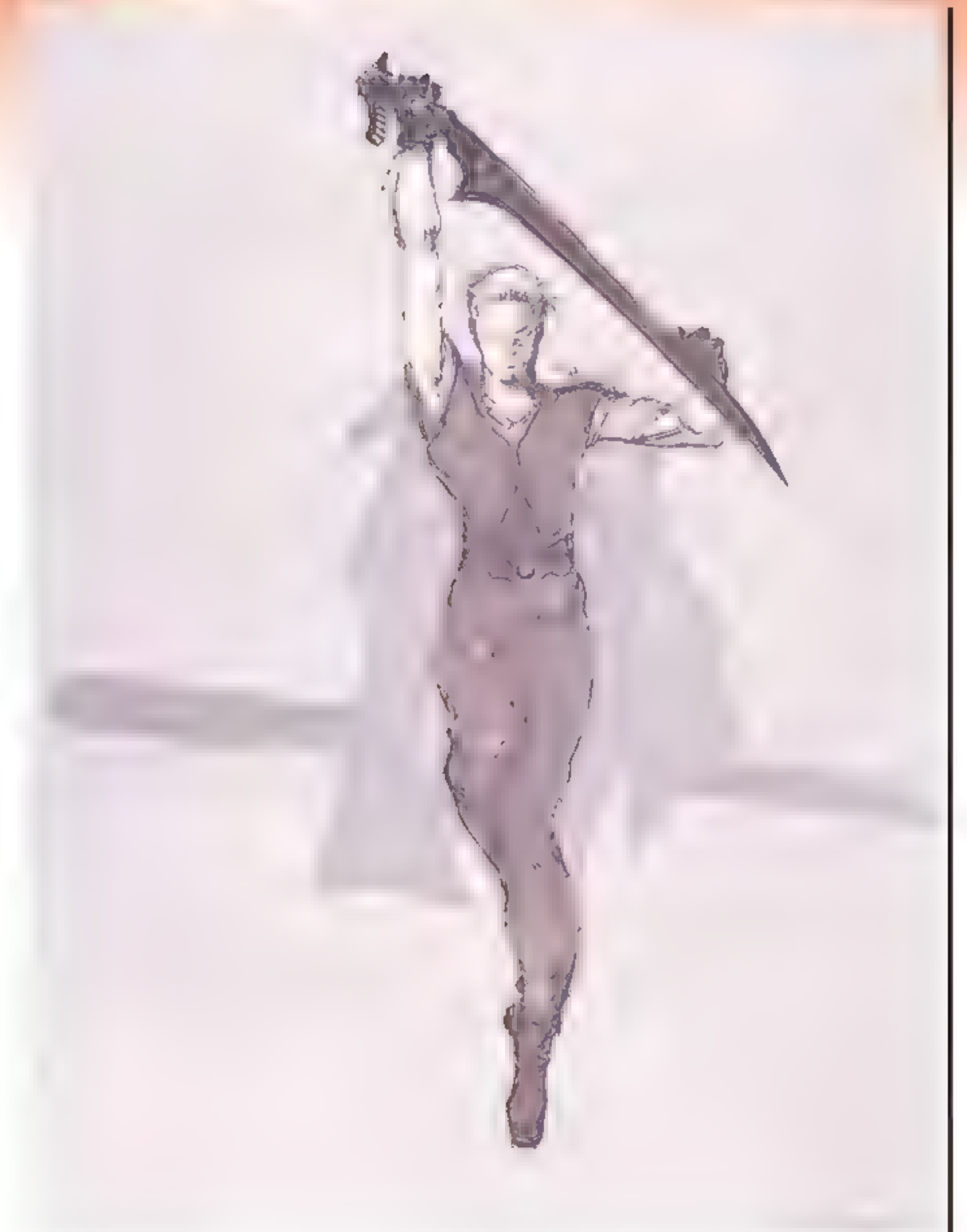
『狂宴(うたげ)』
魔女のパレード

『THE PARTY II』
仲間たち

『春の輪舞(ロンド)』
ダンスをするスコールとリノア

『歌う翼』
リノア

『撃』
スコール

『冷刃』
スコール

『闘気』
サイファー

『漲』
サイファー

『好敵手I』
スコールと刃に映るサイファー

『好敵手II』
サイファーと刃に映るスコール

スコールとリノア

リノアとキスティスとセルフィ

リノアとスコールとサイファー

イデアとスコールとサイファー

スコールに駆け寄るリノア

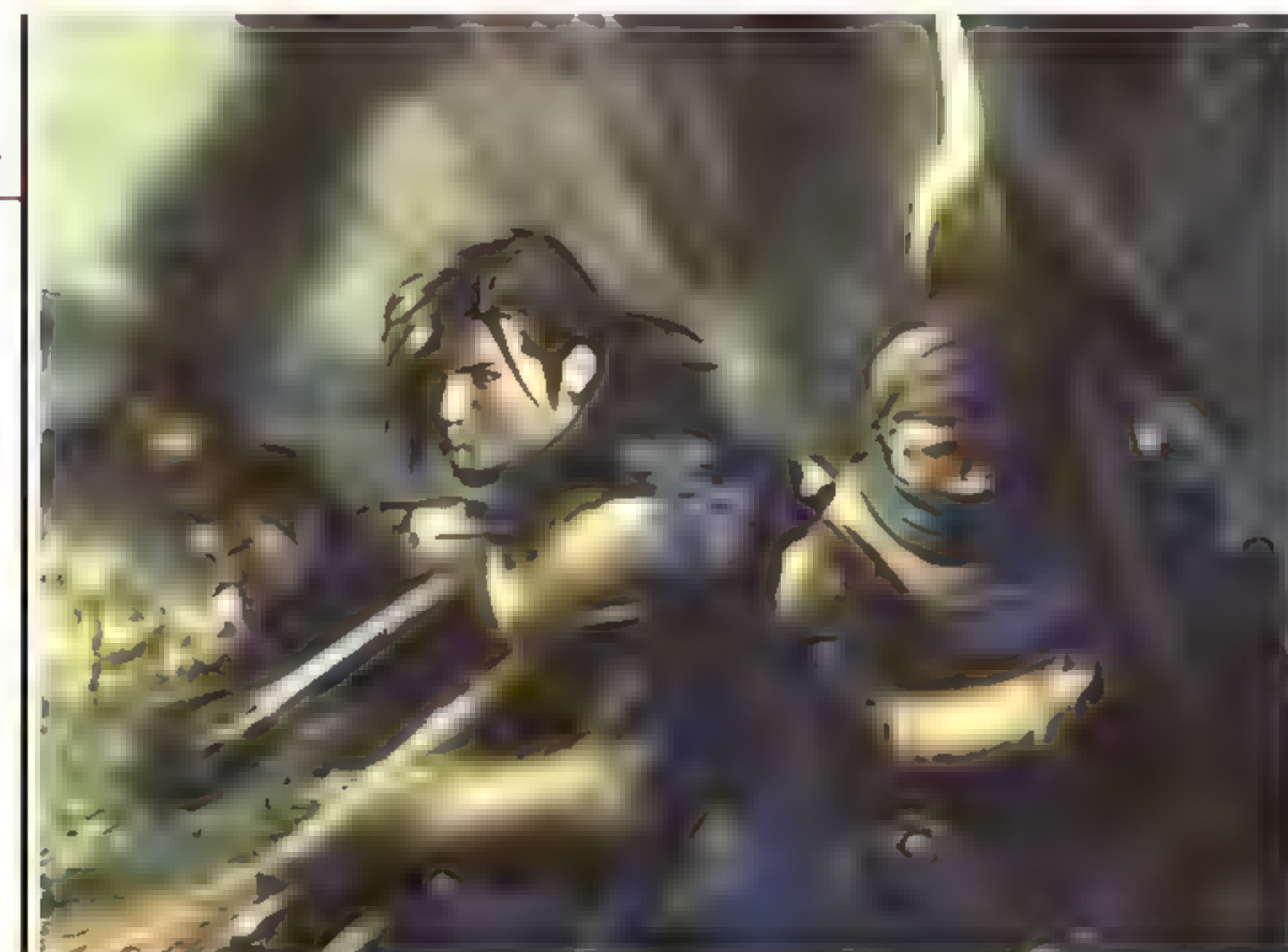
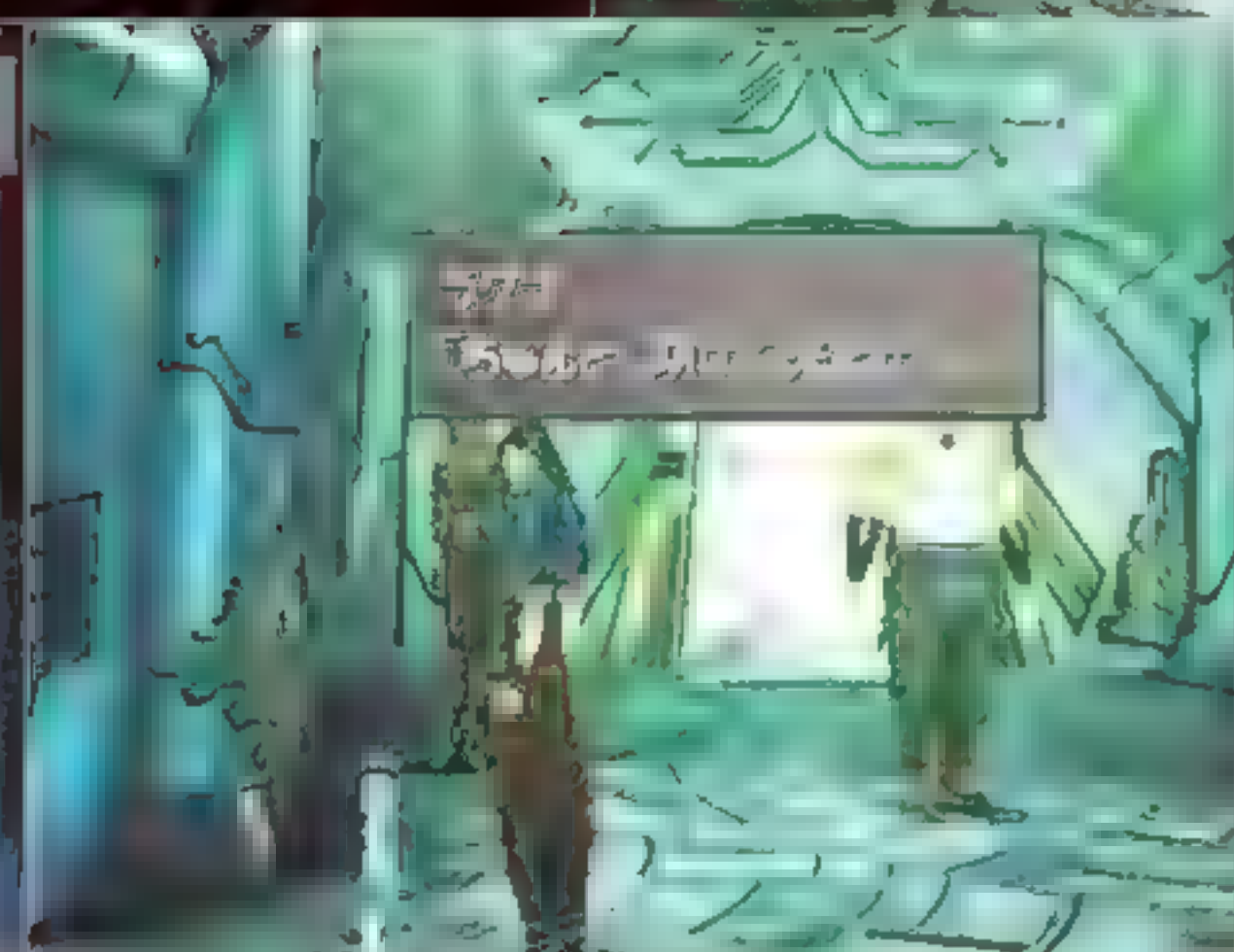
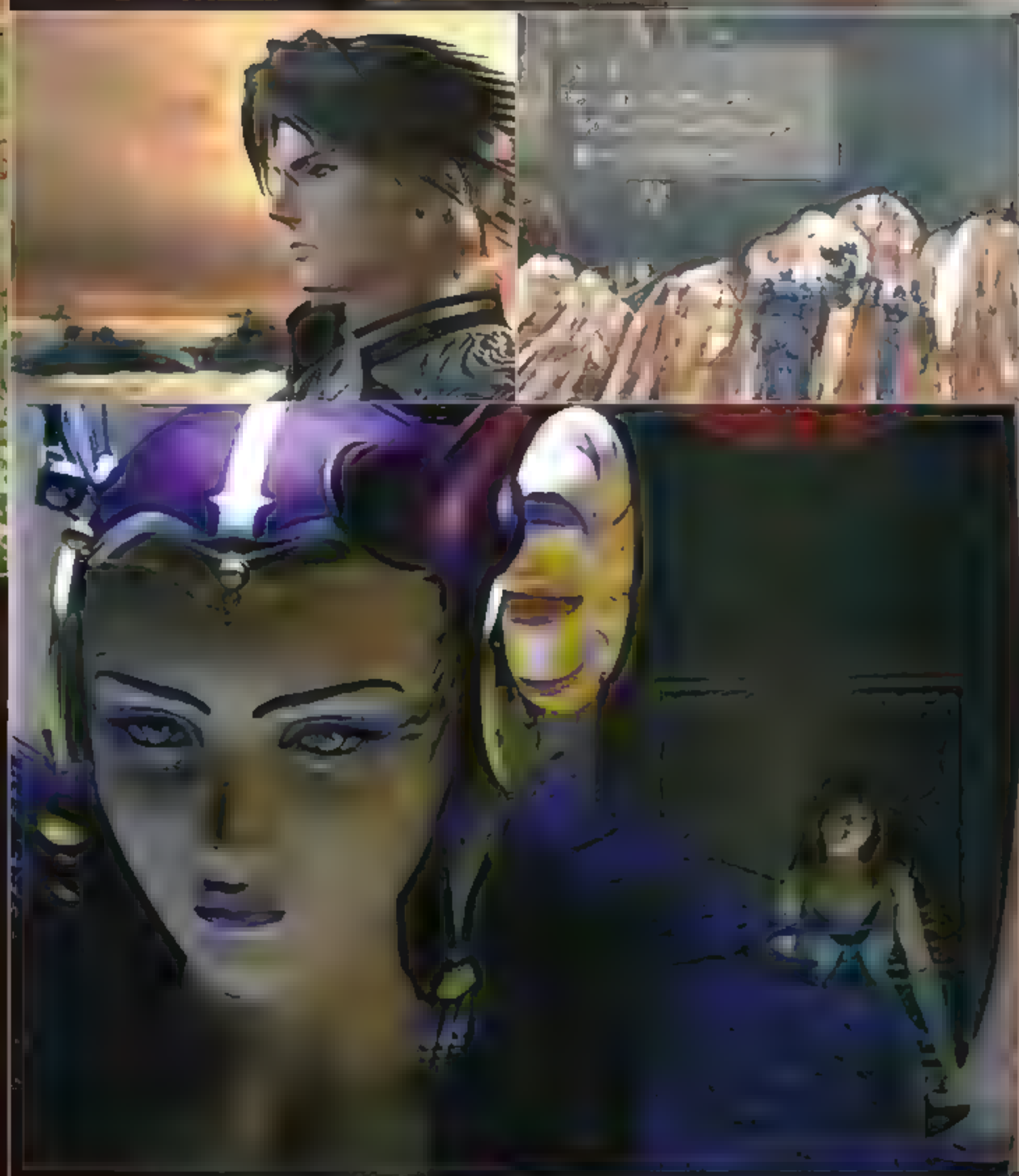
ラグナとスコール

寄り添うスコールとリノア

戦うスコールとセルフィとアーヴァイン

イデア

戦うラグナとキロスとウォード

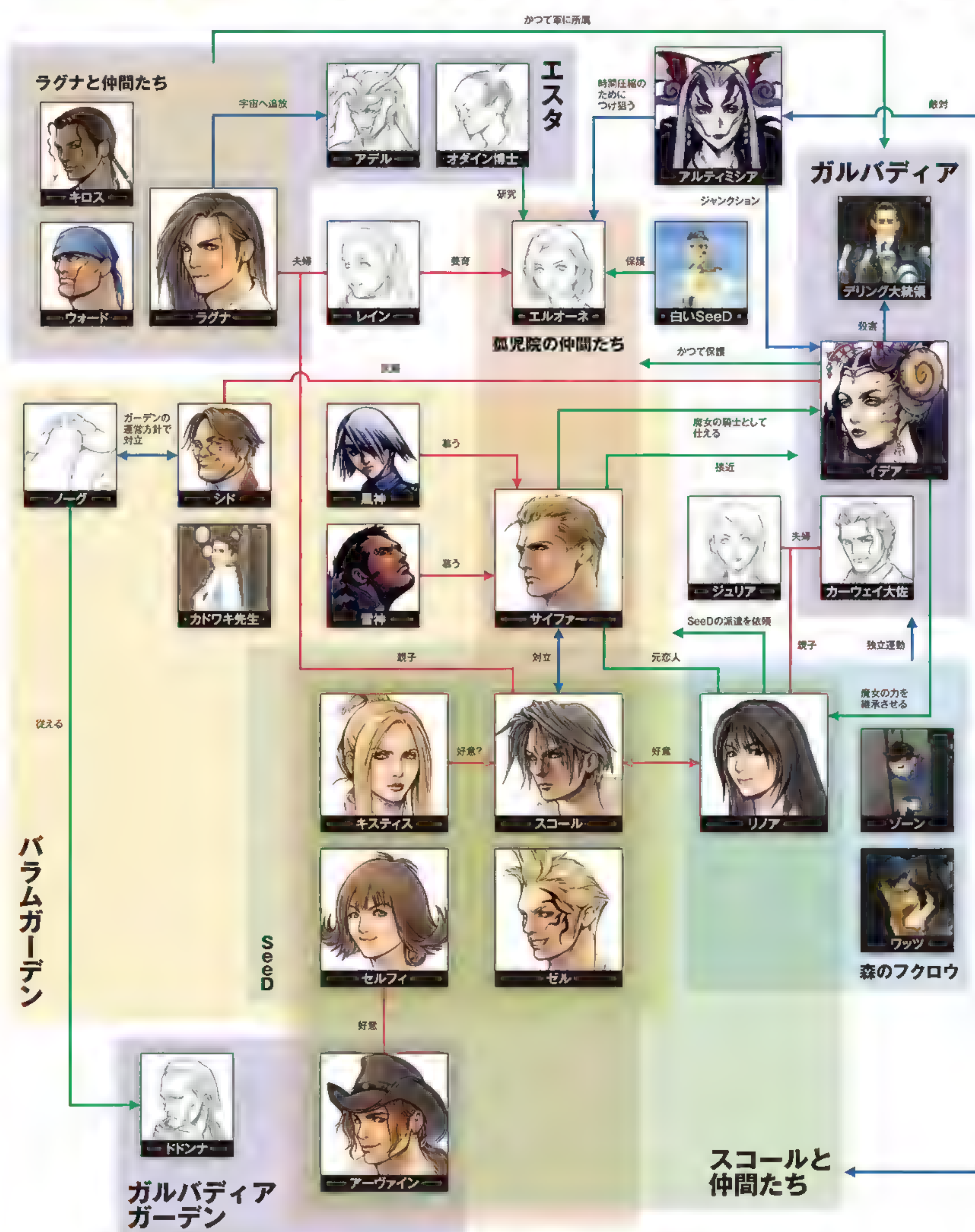
▶CG用元絵

STORY OF FINAL FANTASY VIII

太古より受け継がれる「魔女の力」が存在する世界 —— 人々は17年前まで、魔女アデルが支配する大国エスタによる侵略の脅威にさらされていた。しかし、魔法の力と飛び抜けた科学力とを併せ持ち、圧倒的優位にあったはずのエスタは、ある日を境に完全に沈黙する。長くつづいた「魔女戦争」は当事国が鎖国体制を敷いたことで終戦を迎え、人々は疑念に駆られながらも、訪れた平和な時代を謳歌した。

そして、現在 ——。軍事大国となった西のガルバディアが、新たに世に現れた魔女イデアと手を結んで平和をおびやかそうとしていた。傭兵養成学校バラムガーデンに所属する特殊部隊SeeDのひとりスコールは、ガーデンの級友たちやレジスタンスの少女リノアとともに、ガーデンを激しく敵視するイデアとの戦いへと否応なしに駆り出されていく。それが、失った過去の記憶を取りもどし、未来を救う旅のはじまりになるとも知らず……。

CHARACTER

FINAL FANTASY VIII
ファイナルファンタジーVIII

ラグナと仲間たち
キロス
ウォード
ラグナ
エスタ
アデル
オダイン博士
アルティミシア
ガルバディア
デリング大統領
レイン
エルオーネ
白いSeeD
孤児院の仲間たち
イデア
ノーグ
シド
カドワキ先生
風神
雷神
サイファー
ジュリア
カーウェイ大佐
キスティス
スコール
リノア
ゾーン
ワッツ
森のフクロウ
セルフィ
ゼル
アーヴァイン
ドドンナ
バラムガーデン
SeeD
ガルバディアガーデン
スコールと仲間たち

かつて軍に所属
宇宙へ追放
時間圧縮のために付け狙う
敵対
研究
ジャンクション
夫婦
養育
保護
殺害
かつて保護
ガーデンの運営方針で対立
慕う
魔女の騎士として仕える
接近
SeeDの派遣を依頼
親子
対立
元恋人
独立運動
魔女の力を継承させる
従える
好意?
好意

Squall

ぬくもりを失うことを恐れて
孤高を装う青年

スコール

▶ *Squall Leonhart*　スコール・レオンハート

▶Personal Data

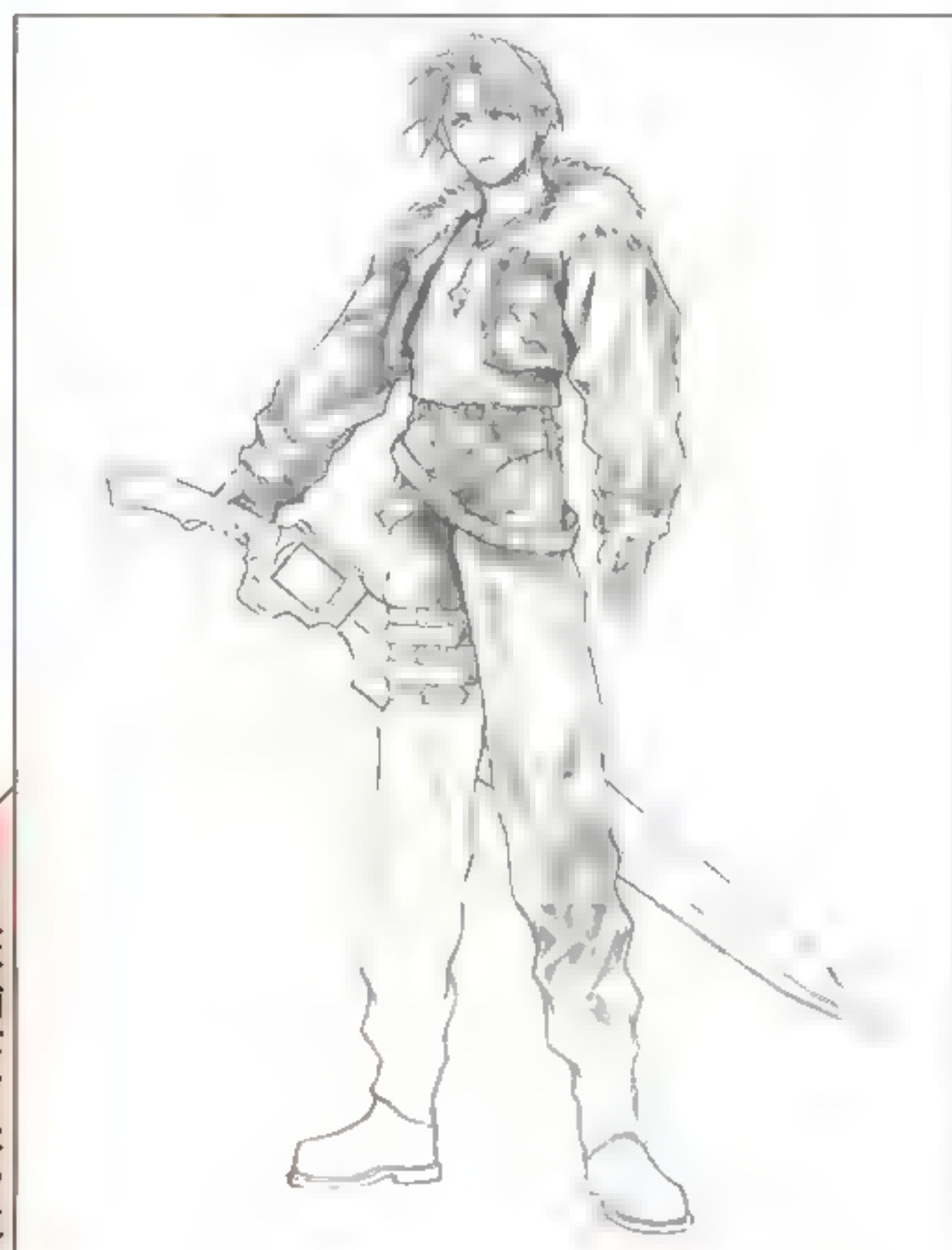
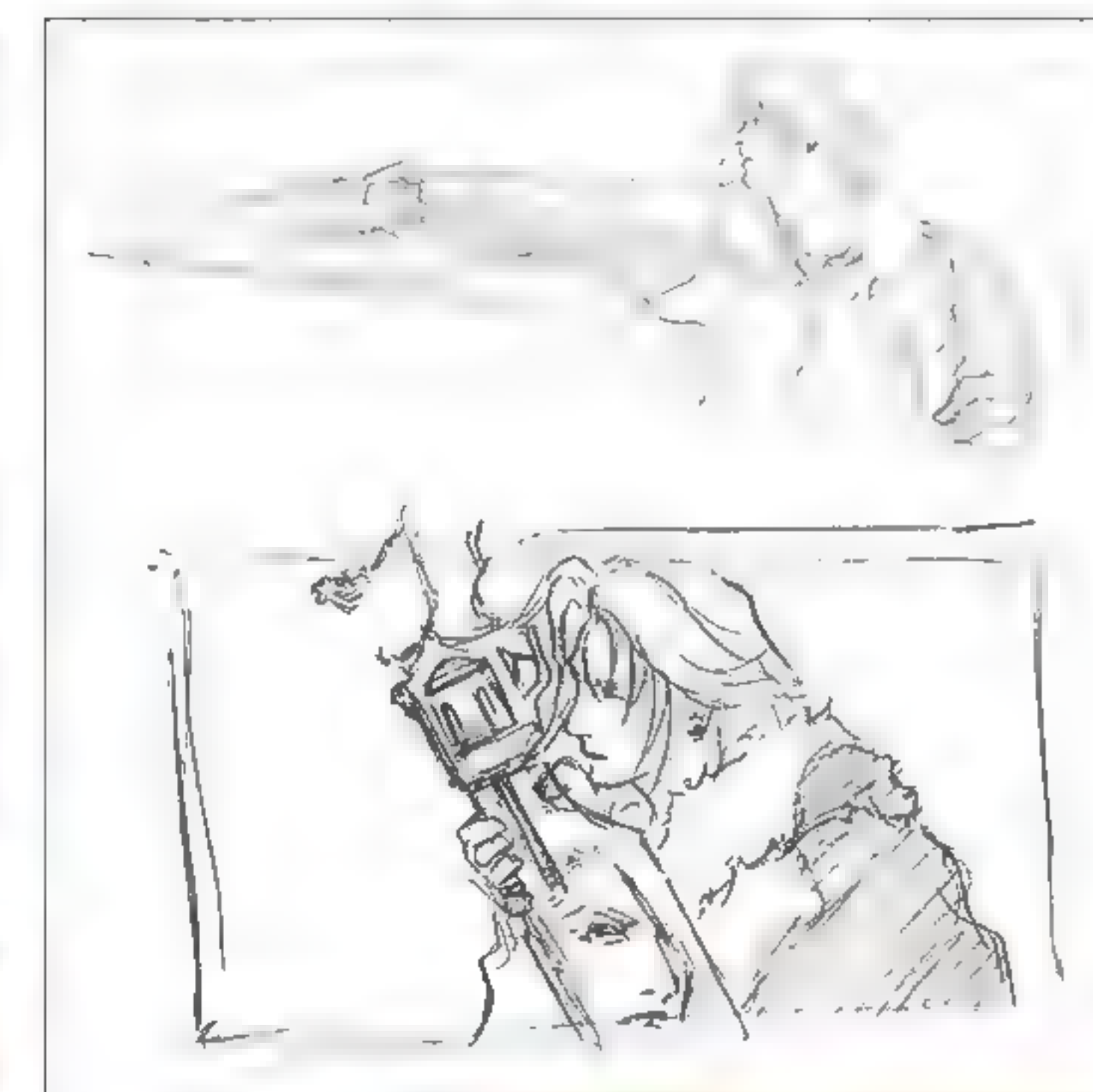
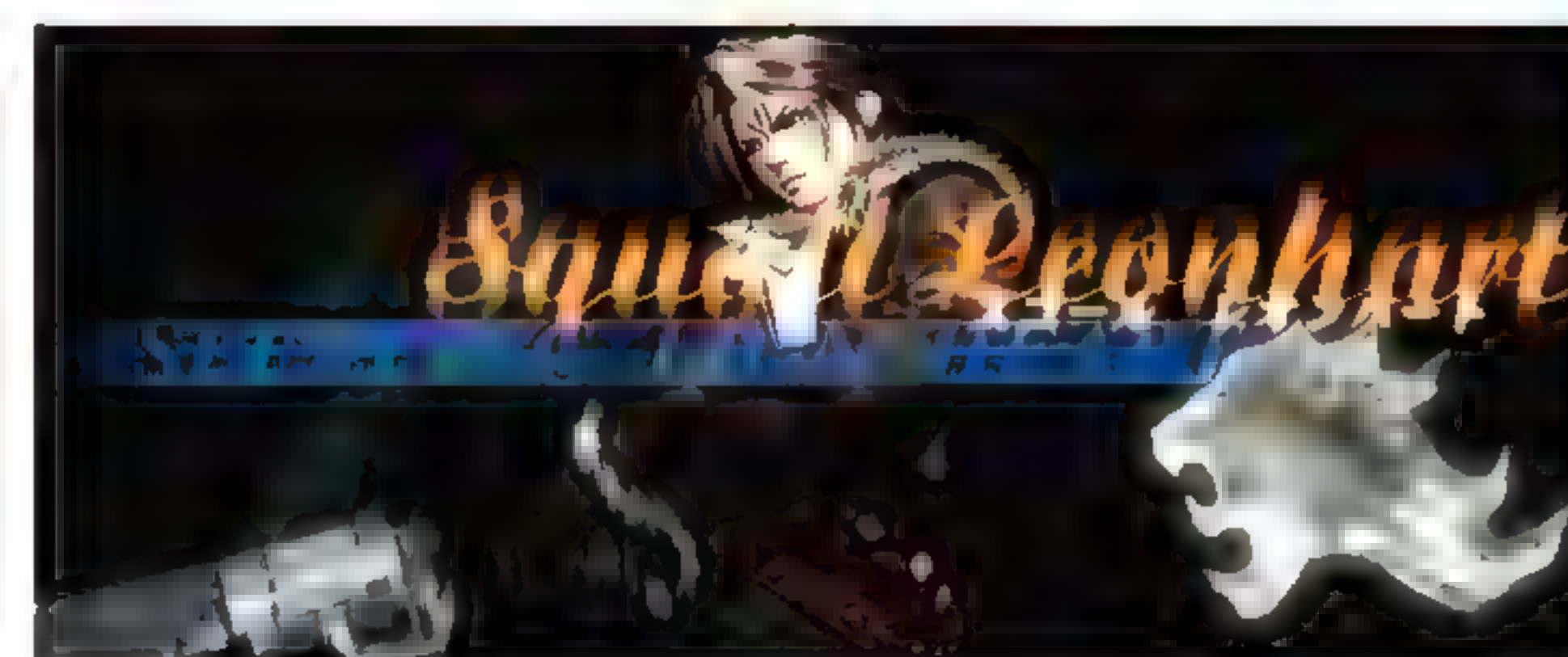
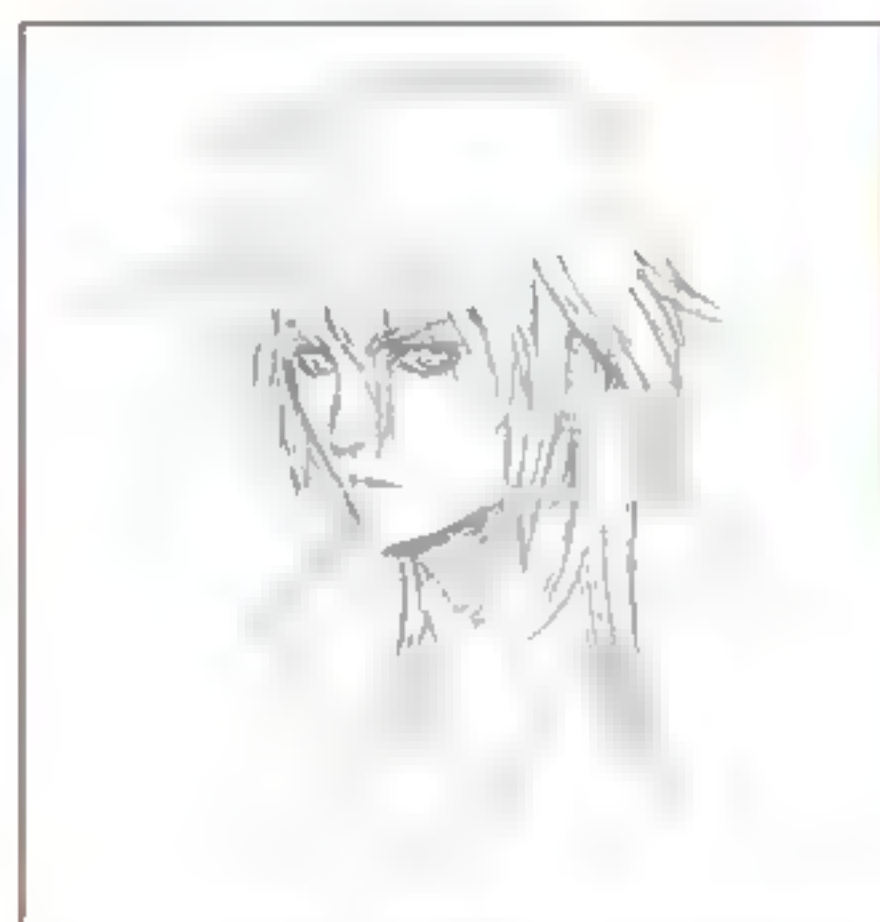
性別	男
年齢	17歳
身長	177cm
誕生日	8月23日
血液型	AB型
使用武器	ガンブレード

兵士養成を目的とした機関バラムガーデンに所属する、特殊部隊SeeDの候補生。なれ合いを嫌うクールな性格に見えるが、実際は過去の経験が原因で、親しい人と離れることを恐れて周囲との関わりを避けているにすぎない。SeeD就任後にリノアに雇われ、彼女と行動するうちに少しずつ心のありかたが変化。いつしか大切な存在となったリノアを守るべく、彼女を苦しめる未来の魔女アルティミシアと戦う。

▼全身画（ラフスケッチ）

▼初期デザイン

Squall Leonhart

Squall Leonhart

▶イメージCG用のラフスケッチ

▶ガンブレードのレリーフ

▶シルバーリング

Memorial Words

▷スコール

「だったら壁にでも話してろよ」
—— バラムガーデン:話を聞いてくれるだけでいいとキスティスに言われて

他人の面倒を抱えたくないスコールは、弱気になり甘えてくるキスティスをひとことで切り捨てる。しかし、のちにリノアが昏睡状態となったとき、返事がないとわかっていても彼女に語りかけずにはいられず、「これじゃあ壁に話してるのと同じだ」と、かつての自分の言葉がいかに無神経だったかを痛感することに。

(善い奴と悪い奴がいるわけじゃない。
敵と、敵じゃない奴がいるだけだ)
—— デリングシティ:アーヴァインとの会話中に善悪について考えこみ

「敵がすごく悪い奴ならバトルにも弾みがつくだろ?」と聞かれるが、その意見に同意しかねるスコール。長々と考えをめぐらせた結果、「敵対する理由はお互いの立場のちがいだけ」という、いかにも傭兵らしい価値観にたどり着く。

『……おねえちゃん。
ぼく……ひとりぼっちだよ。
でも……がんばってるんだよ』
—スコールの回想:エルオーネが見つからずに途方に暮れながら

大好きだったエルオーネが突然いなくなり、彼女がいなくても大丈夫だと強がった少年時代。実際は、のちに「全然大丈夫じゃなかった」と自身で認めるほど心の傷は大きく、このときの別離が安らぎやぬくもりを恐れるきっかけとなった。

「……あの時どうすれば良かったのかわかったんだ。
……まだ間に合う。……だから来た。
後悔したくない。リノアを返してもらう」
—— エスタ国立魔女記念館:封印される直前のリノアを助け出そうとして

「嫌われる前にいなくなりたい」というリノアの望みを言葉どおりに受け入れ、一度は彼女を手放してしまったスコール。仲間に叱責され、自分が本当はどうしたいのかを見つめ直した彼は、「リノアを救う」という決意とともに突き進む。

「俺の人生が
最初から決まってた
みたいに言わないでくれ!!」
—バラムガーデン:シドからガーデンのリーダーを一方的に押しつけられ

本格化する魔女との戦いのなかで、「魔女討伐の先陣に立つことは君の運命だ」とシドから告げられて憤慨。しかし、「SeeDとなって魔女を倒す」という行動がスコールの人生における決定事項だったことを、彼はのちのち思い知る。

「……悪かったな」
—ティンバー:リノアに「やさしくない!」と抗議されて/ほか

スコールの口グセのひとつ。実際に謝罪に使うケースは少なく、面倒な話をさっさと切り上げたいときや、自分の性格を評されてふてくされたときなどに口にする。

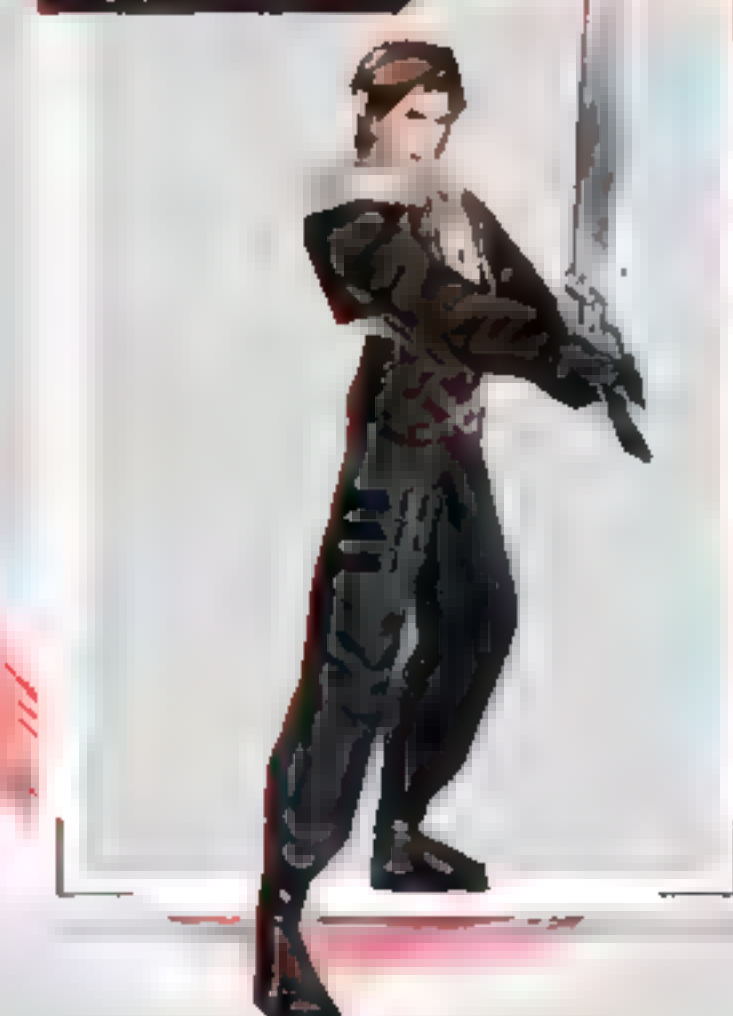
Memorial Scenes

▷スコール

過去形にされるのはイヤだ

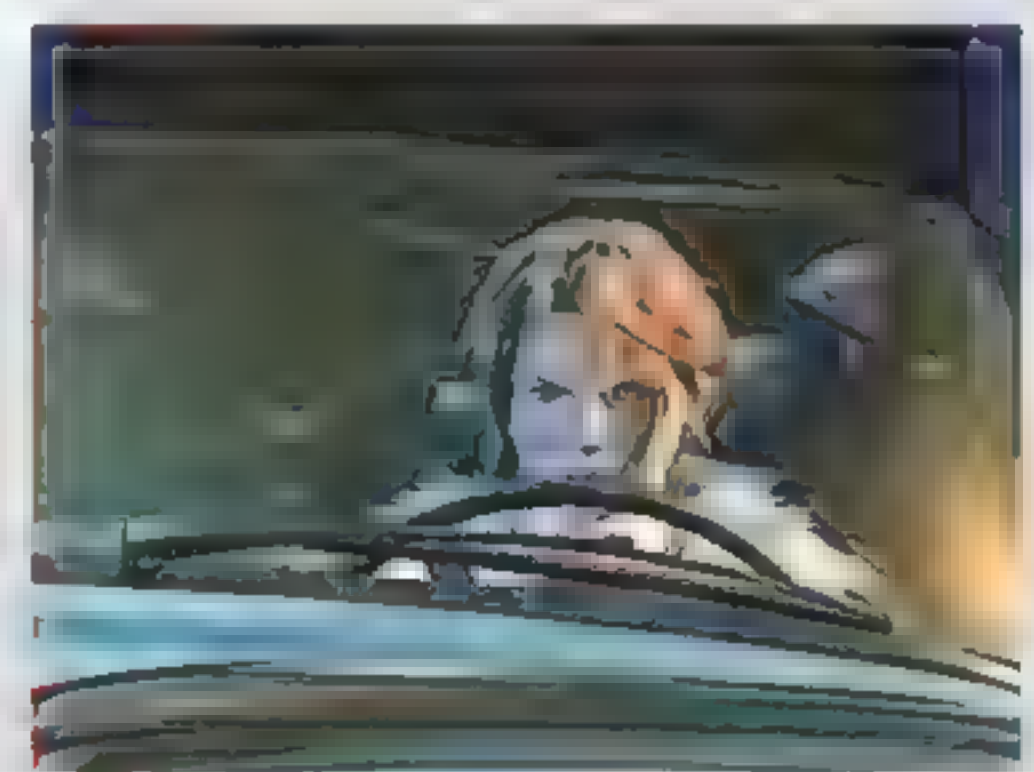
デリング大統領を襲撃したサイファーが処刑されたと聞かされ、仲間たちは彼をしのぶ。口々に飛び出す、好き勝手な"過去形"の言葉に恐怖といらだちをつのらせたスコールは、突然激高して周囲を驚かせる。

俺のそばから離れるな

魔女イデアにひとりで接近したばかりに窮地におちいったリノアを、さっそうと救出。安全な場所まで連れていくためだけの発言が、彼女のハートを撃ち抜くことに。

魔女のもとへ

デリングシティでのパレード中に魔女イデアを狙撃する作戦は失敗に終わった。白兵戦に持ちこむべく、スコールは車に乗りこみ強行突破を図る。

もの言わぬリノアに

眠りつづけるリノアを背負い、彼女を救う方法を求めて一路エスタへ。返事がないとわかりながらもリノアに語りかけ、ずっと秘めてきた自意識過剰で臆病な内面を明かす。

花畑での約束

どれだけ捜してもスコールに会えない悪夢を見たというリノアに、待ち合わせ場所を決めておこうと提案。イデアの家の花畑を「約束の場所」にして、彼女を待つと宣言する。

Rinoa リノア

心のままに自由に羽ばたく
行動力抜群の大胆少女

▶ *Rinoa Heartilly* リノア・ハーティリー

▶ Personal Data

性別	女
年齢	17歳
身長	163cm
誕生日	3月3日
血液型	不明
使用武器	ブラスターエッジ

ティンバー独立を目指すレジスタンス「森のフクロウ」に身を置く、人なつっこくて快活な少女。SeeDとして派遣されたスコールたちと行動をともにし、自身の当初の目的ではない魔女討伐作戦にも協力。戦いのさなかイデアから魔女の力を継承してしまい、自分が世界中の人々の敵となることに恐れを抱くが、想いを通わせたスコールに守られつつアルティミシアに立ち向かう。

▶全身画(ラフスケッチ)

▼ドレス姿の全身画(ラフスケッチ)

Rinoa Heartilly

Rinoa Heartilly WING HEART

▶イメージCGのラフスケッチ

Memorial Words

▶リノア

「素晴らしいリーダーね。いつでも冷静な判断で仲間の希望を否定して楽しい？」

――ティンバーの森：ゼルに優しい言葉をかけないスコールに向かって

想定し得る最悪の状況をスコールが淡々と語るのを聞き、思わず文句を口にしてしまう。人との関わりを大事にするリノアにとって、出会ったころのスコールの考えかたは冷たすぎた。

「私のことが……好きにな～る、好きにな～る。ダメ？」

――バラムガーデン：SeeD就任パーティーでスコールをダンスに誘い

無愛想なスコールにダンスの相手をしてもらおうと、魔法をかけるかのように指先をグルグルまわす。のちのスコールの変貌は、この遅効性の魔法のおかげだった？

「あのね……。やっぱり子供の遊びみたいに見えちゃう？でも、本気なんだよ。痛いくらい……本気なんだよ」

――ティンバー：「こんな組織に雇われる身にもなってみろ」というスコールの辛辣な言葉に落ちこみ

リノアたちの行き当たりばったりな作戦にいらだったスコールに、どこまで本気なのかと責められて意気消沈。素人なりに真剣ではあるものの、根底にある覚悟がプロの傭兵とは異なるため、スコールたちからは遊びのように見られてしまう。

「でもさあ、同じ指輪してたら、みんなに誤解されちゃうねえ」

――ガルバディアガーデン：指輪のデザインの話をスコールから聞き

スコールの指輪と同じものをゼルに作ってもらうという予定を、うれしそうに語る。言葉とは裏腹に、ふたりが恋人同士だと"誤解"されたがっていることは、スコールもお見通し。

「こんなわたしではございますが……。一緒にいれば、スコール様も考え込まなくてすむかな、と思ったわけでございます。いかがでしょう、スコール様？」

――バラムガーデン：スコールを散歩に誘って

ひとりで悩みがちで、いつも眉間にシワを寄せているスコールを励まそうと、リノアなりに気を使う。妙にかしこまったセリフは、彼女なりの照れ隠しなのかも。

「ハグハグ」
「ギュ～って。触れていたいよ。生きてるって、実感したいよ」

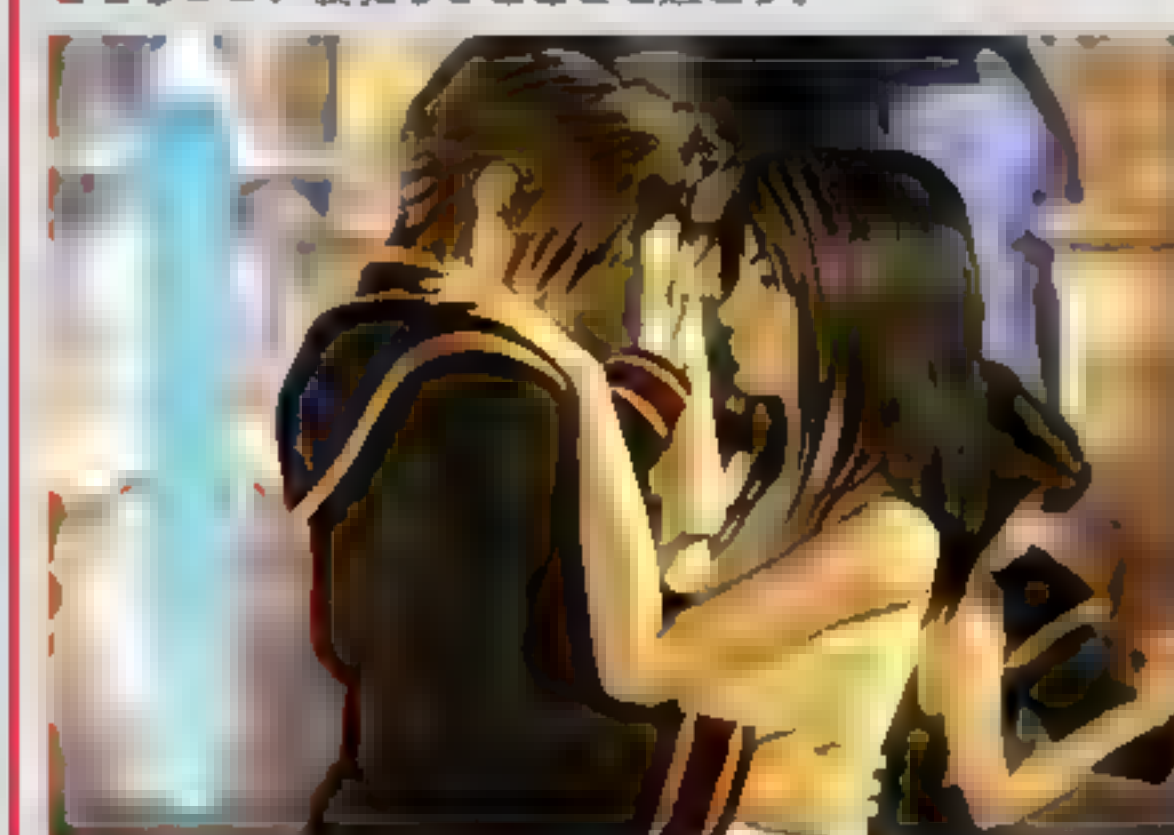
――飛空艇ラグナロク：スコールに抱擁を求めて

一度は死を覚悟した宇宙空間から安全な場所へたどり着き、スコールに抱擁を要求。愛しい人のぬくもりをじかに感じたくて、まっすぐ想いをぶつける。

Memorial Scenes

▶リノア

月夜のワルツ

とまどうスコールをなかば強引に誘い、ダンスの輪のなかへ。不慣れな彼に手ほどきをしつつ、優雅なひとときを過ごす。

SeeDが来てくれた！

バラムガーデンから派遣されてきたSeeDは、以前パーティーでダンスを一緒に踊ったスコールだった。頼れる助っ人が顔見知りとわかり、テンションの上がったリノアは思わず彼に飛びつく。

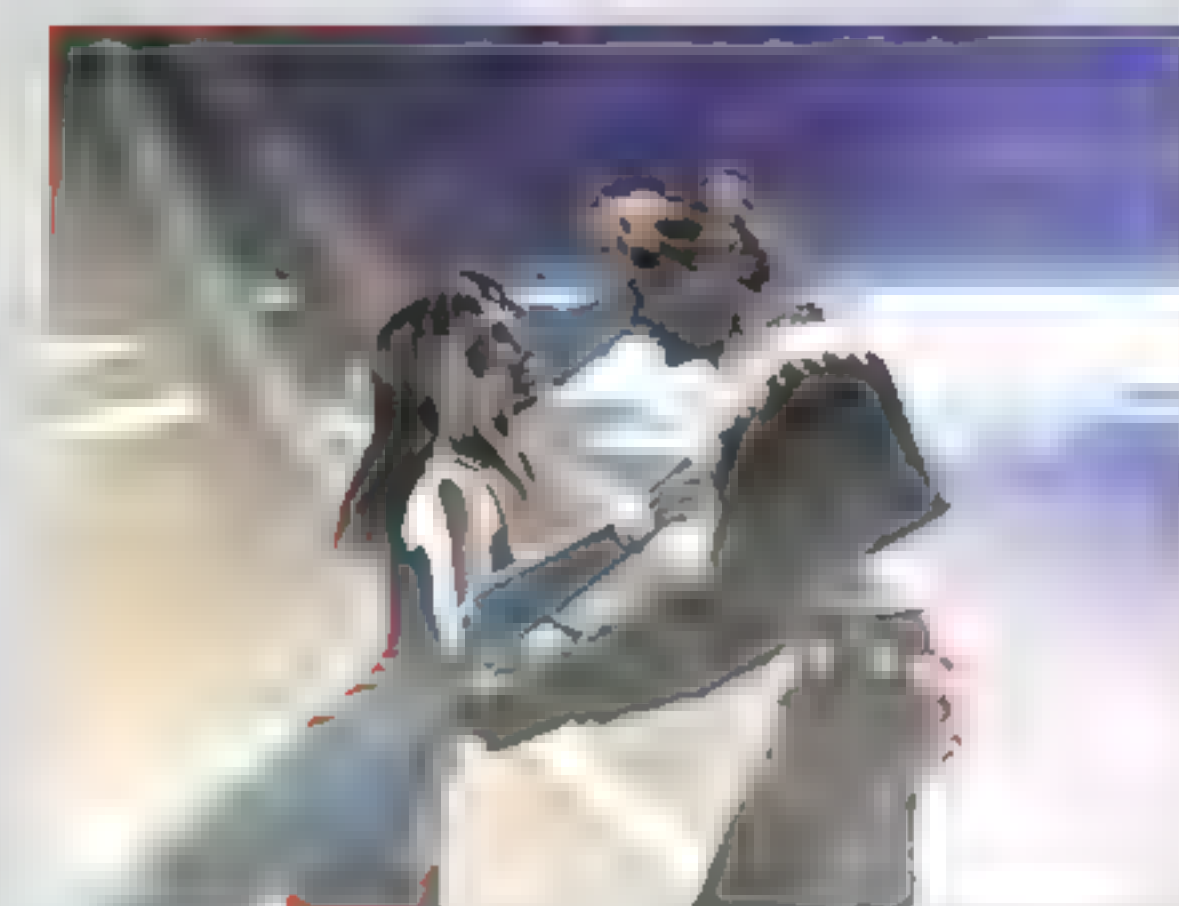
かわいい寝顔を堪能？

ガーデン内を案内してもらおうと、休憩中のスコールに突撃。勝手に男子の部屋へ入るばかりか、寝ているところをのぞきこむなど、大胆な行動に出る。

宇宙の漂流者となって

アルティミシアにあやつられ、宇宙空間に取り残されてしまったリノア。生きるのをあきらめかけたそのとき、どこからともなく聞こえてきたスコールの声と、彼から借りた指輪に勇気をもらう。

魔女でもいいの？

魔女となった身体をアルティミシアに利用されないように、封印されることを承諾。しかし、封印の直前にスコールに救出されるやいなや、愛しい人と離れたくないという本心を抑え切れなくなって彼に抱きつく。

Quistis

理知的でありながらも
内面に不器用さを抱える美女

キスティス

Quistis Trepe　キスティス・トゥリープ

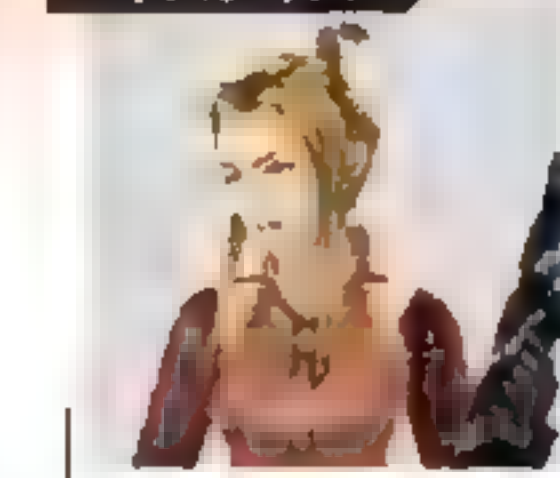
Personal Data

性別	女
年齢	18歳
身長	172cm
誕生日	10月4日
血液型	A型
使用武器	チェーンウィップ

最年少でSeeDとなり、弱冠17歳にして教員資格を得た女教官。才色兼備ゆえに生徒たちのあこがれの的で、「トゥリーブFC」なるファンクラブが結成されるほどの人気を誇る。しかし、人間的には未熟な面もあり、スコールやサイファーといった問題児を指導し切れず、教員資格を失うことに。単なるSeeDの一員にもどったのち、ティンバーに向かったスコールたちと合流し、以降は先輩として一行をサポートする。

全身画（ラフスケッチ）

Memorial Words

キスティス

「知らない女の子とは踊るのに、私とは一緒にいるのもイヤなの？」

——バラムガーデン：リノアとのダンスを終えたスコールに

スコールに対しては、教官と生徒という関係以上の想いを抱く。スコールが初対面の女の子と踊ったことに嫉妬心をのぞかせ、言葉もトゲのあるものに。

「なるほど。サイファー、がんばってね」

—— バラムガーデン：「がんばれ」と言われるのが嫌いだと告げたサイファーに

「『がんばれ』という言葉はデキの悪い生徒に言ってやれ」と言ったサイファーに向かって、このひとこと。デキが悪いと暗に告げた結果、キスティスは彼の「ホネのあるやつリスト」に名を連ねることに。

「家出娘の反抗とは違うの。
これは遊びじゃないの」

—— デリングシティ：浅い考えで動くリノアに苦言を呈し

思いつきで行動しようとする"家出娘"のリノアに、厳しい言葉をかける。リノアに計画性がないのは事実だが、必要以上にツラく当たるのは、スコールをめぐる恋敵として、彼女を内心ライバル視しているせいでもあるようだ。

「宇宙にまで行ってリノアを助けたのは、
なんのためだったの？
もう会えなくなるかもしれないのに、エスタに引き渡すため？
ちがうでしょ？　リノアといっしょにいたいからじゃなかったの？
バカ」

—— 飛空艇ラグナロク：リノアを引き渡したスコールを激しく責めて

命がけで救出したリノアをみすみす手放したとスコールから聞かされ、思わず叱責。物わかりのいいフリをする彼にいらだち、自分の気持ちに正直に動かなかったことを「バカ」だと断じる。

「(かんちがいの恋……ってやつ？
リノア登場ですっぱりあきらめてたから、
ぜんぜんいいんだけどね)」

——トラビアガーデン：スコールへの想いの正体に気づき

ガーディアン・フォース（G.F.）の影響で失っていた記憶を取りもどし、スコールへの感情が恋心ではなく、保護者的なものだったと理解。自分の気持ちに整理をつけるものの、想いがスコールに届かなかったことへの負け惜しみも含まれている？

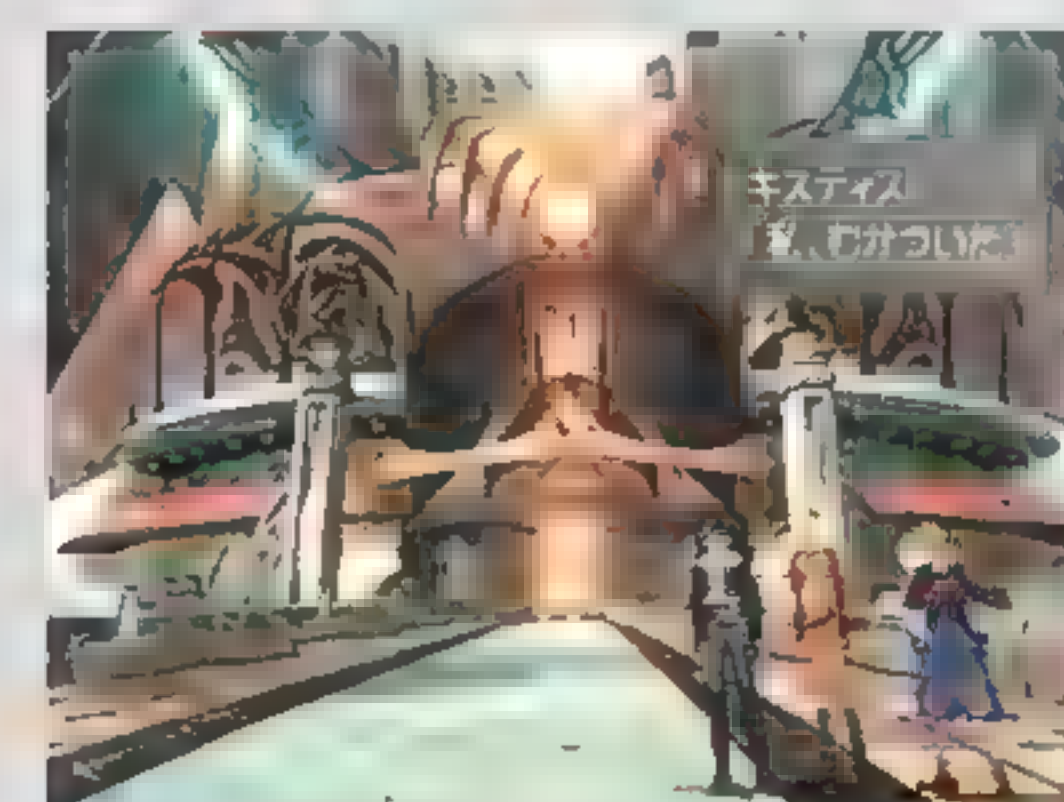
Memorial Scenes

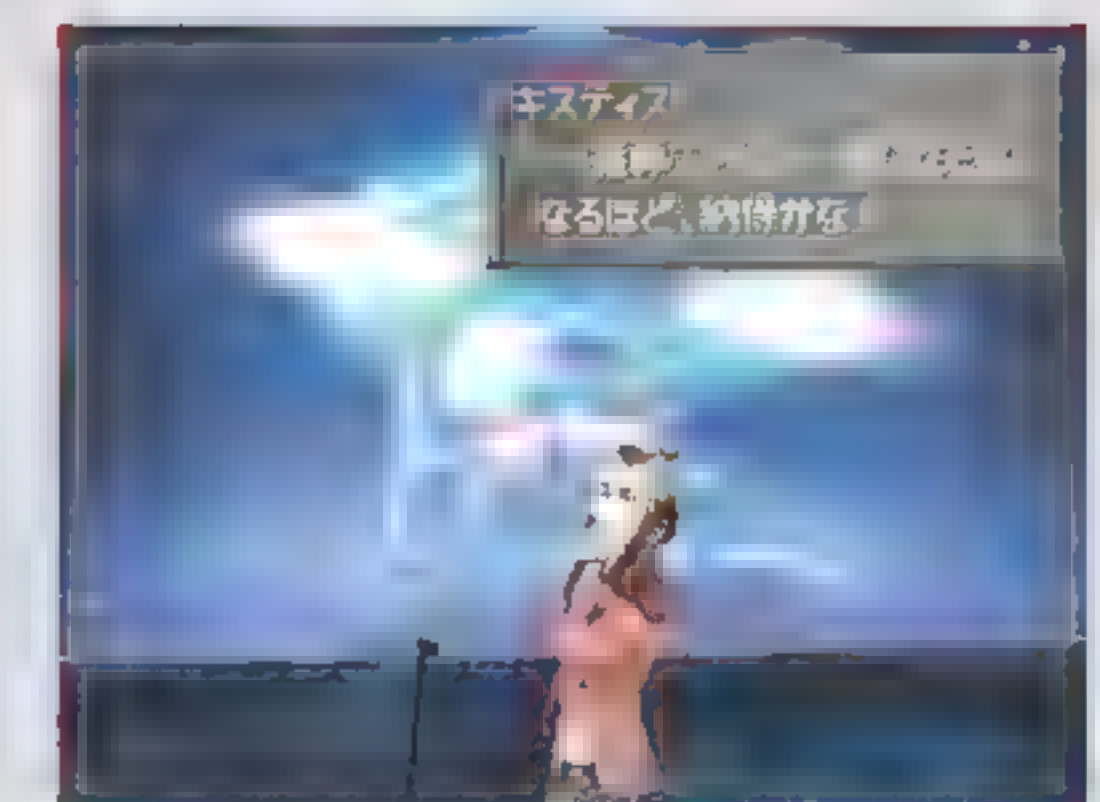
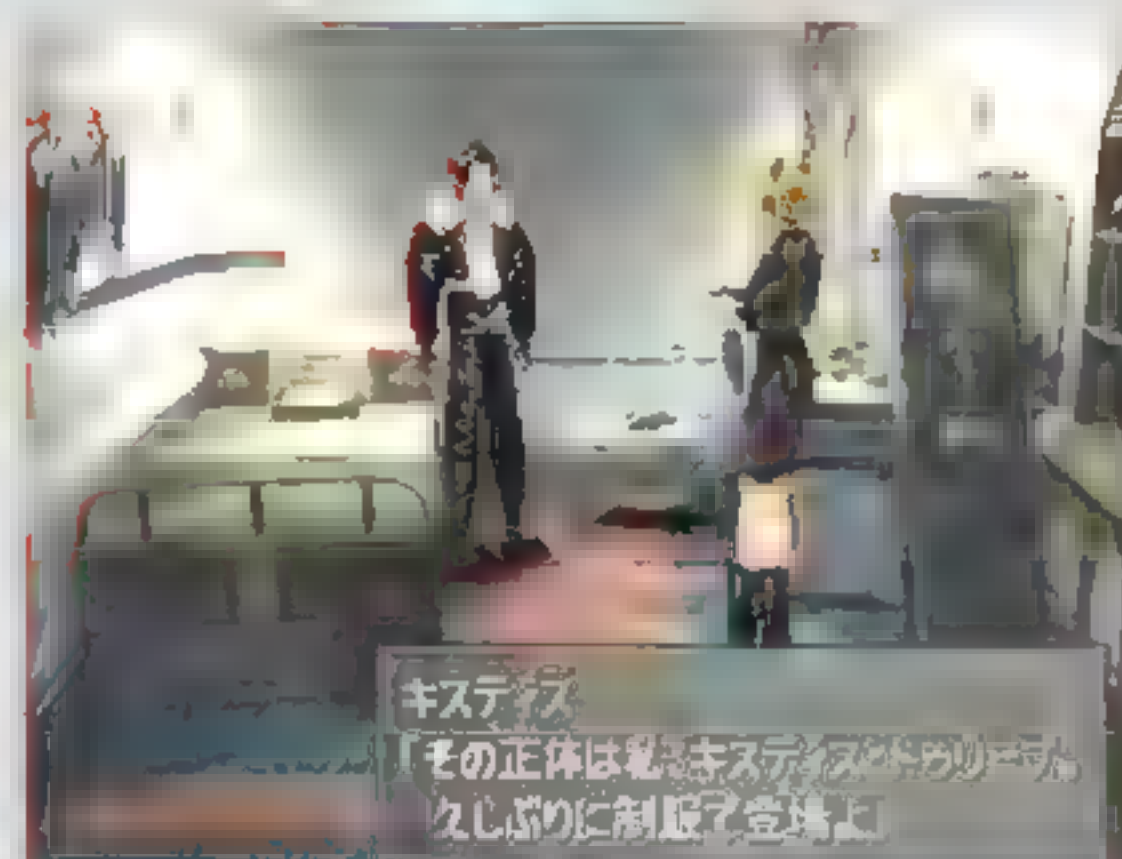
キスティス

先生はスコール研究家

特別な感情を抱いていることもあって、スコールの思考は手に取るようにわかる。彼のセリフを先読みしたり、考えていることを言い当てたりと、スコール研究家を自称するのはダテではない。

SeeDの実力を見よ

ガルバディア軍の兵器X-ATM092に追われるスコールたちを、高速上陸艇から援護。仲間を安全に撤退させるべく、備えつけの機関砲で機動兵器を撃ち抜く。

ナンパ男のチョイスにむかつき

セルフィとリノアをはべらせてガルバディアガーデンから出発するアーヴァインを見て、彼の言うところの「素敵な女子」に選ばれなかったことに不満をのぞかせる。男子からの評価を気にするのは、年ごろの女の子として当然？

指導力不足？

教員の資格を失ったことを、秘密の場所でスコールに告白。しかし、冷めた反応しか返さない元教え子を見て、生徒に心を開いてもらえなかった事実を悟り、教官失格もやむなしと納得する。

カードマスター『キング』、推参！

ガーデン内のカードゲーム愛好者「CC団」の猛者をつぎつぎと破ったスコールの前に、CC団の首領として登場。深夜にスコールの部屋へ、ひさしぶりの制服姿で忍びこむという大胆な行動も、カードゲームにかける熱意ゆえか。

Zell ゼル

学園の内外に数々の伝説を残す
バラム切っての暴れん坊

▶ Zell Dincht　ゼル・ディン

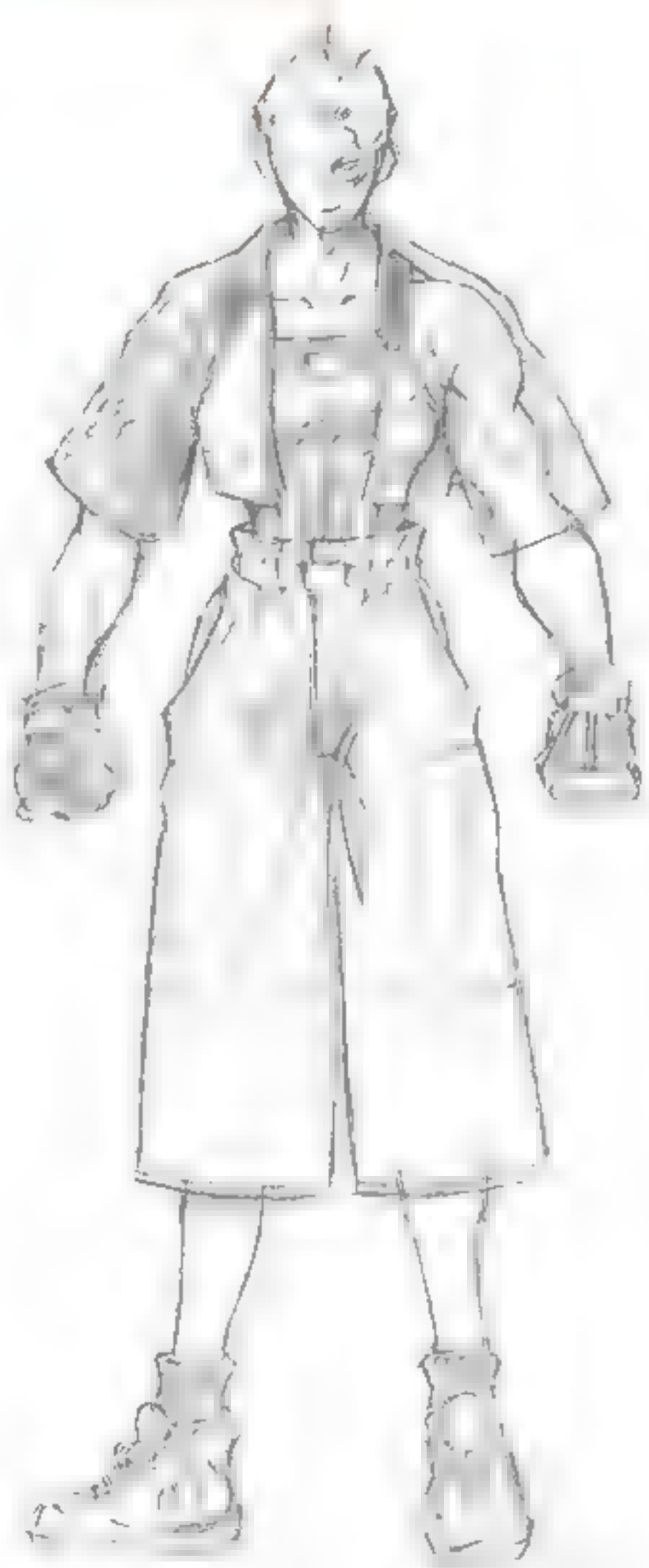
Personal Data

性別	男
年齢	17歳
身長	168cm
誕生日	3月17日
血液型	B型
使用武器	グローブ

　バラムガーデンに在籍する、負けず嫌いで落ち着きのないSeeD候補生。ドールでの実地試験に合格し、同じくSeeDに就任したスコールやセルフィたちと一緒に任務にあたる。考えるより先に行動する性格が災いして、余計なことを口走る場面も少なくないが、困難に立ち向かう熱いハートで仲間たちを支える。「暴れん坊ゼル」の異名を取り、故郷のバラムではちょっとした有名人。

▶全身画（ラフスケッチ）

Memorial Words

▷ゼル

「あのなあ、これ、ただの戦闘じゃないんだぞ。
大事な試験なんだ。勝手な行動はマイナスでかいぜ」

――ドール：独断で電波塔に向かおうとするサイファーに反論し

　幼少期は臆病な性格で、一見大胆に見える現在でも、ここ一番の場面ではどちらかというと慎重派。ガルバディア兵を見つけて奮い立つ班長サイファーを、勝手に持ち場を離れるのかととがめる。

「バラムを解放しに来たもんよ！
……じゃなかった、バラムを解放しに来たぜ！」

――バラム：興奮して雷神の口調がうつり

　ガルバディア軍に占領されたバラムで、敵の指揮官である雷神と対決。故郷をすみやかに解放せねばと、勢いのままに熱い思いを語るも、雷神の「～もんよ」というログセにつられて、ちょっとしまらないセリフに。

「オレたちはSeeDだからよ！
魔女をブッ倒すのが仕事だぜ！」

――飛空艇ラグナロク：アルティミシアを倒そうと仲間に訴えて

　リノアを魔女記念館から奪還したのち、未来の魔女を倒そうと意気込む。仲間の士気を上げるつもりだったが、魔女になってしまったリノアの目の前では失言でしかなく、スコールの怒りを買うことに。

「ホントにそれでいいのかよ！
いや……それでいいのか。
そうだぜ……子供のころサイファーにいじめられたことなんか忘れてもいい。
それよりも、今、バラムにいる両親を守るための力がオレには大切だ」

――トラビアガーデン：少年時代の記憶を取りもどして

　G.F.が記憶障害を引き起こすと知り、一度は不安を抱くものの、すぐさま考えを改めるゼル。少年時代の苦い思い出を引き合いに出し、過去よりも現在を守りたいという思いを仲間たちに明かす。

「どうしてオレじゃダメなんだよ?!
オレがチキン野郎だからか?!
……だったら、そうでないことを証明させてくれよ！」

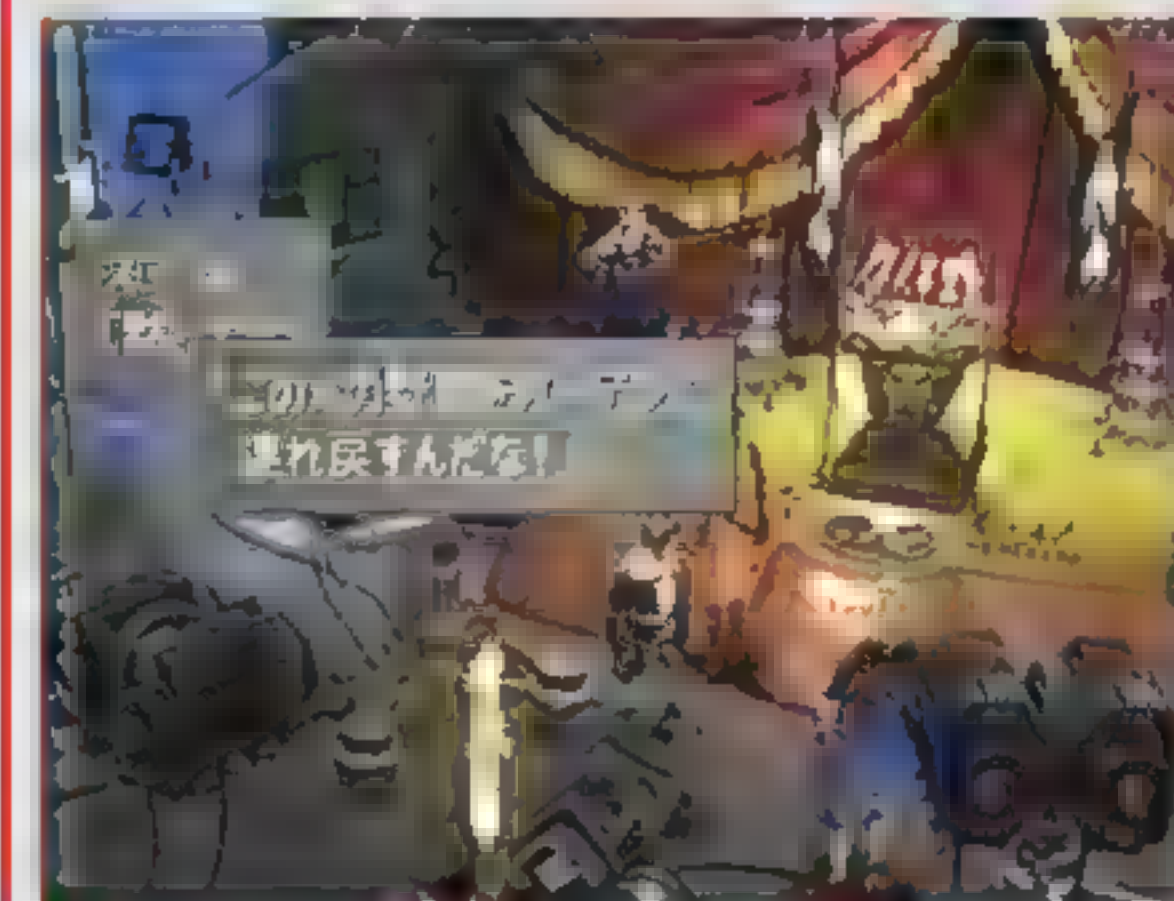
――ルナゲート：イデアの護衛を買って出たが、スコールに不安がられ

　イデアの護衛を申し出たとき、スコールに「大丈夫か？」と心配され、思わず反論。サイファーから「チキン野郎」と呼ばれていたことをずっと気にしていたらしく、少々ムキになっている？

Memorial Scenes

▷ゼル

テレビ局での大失態

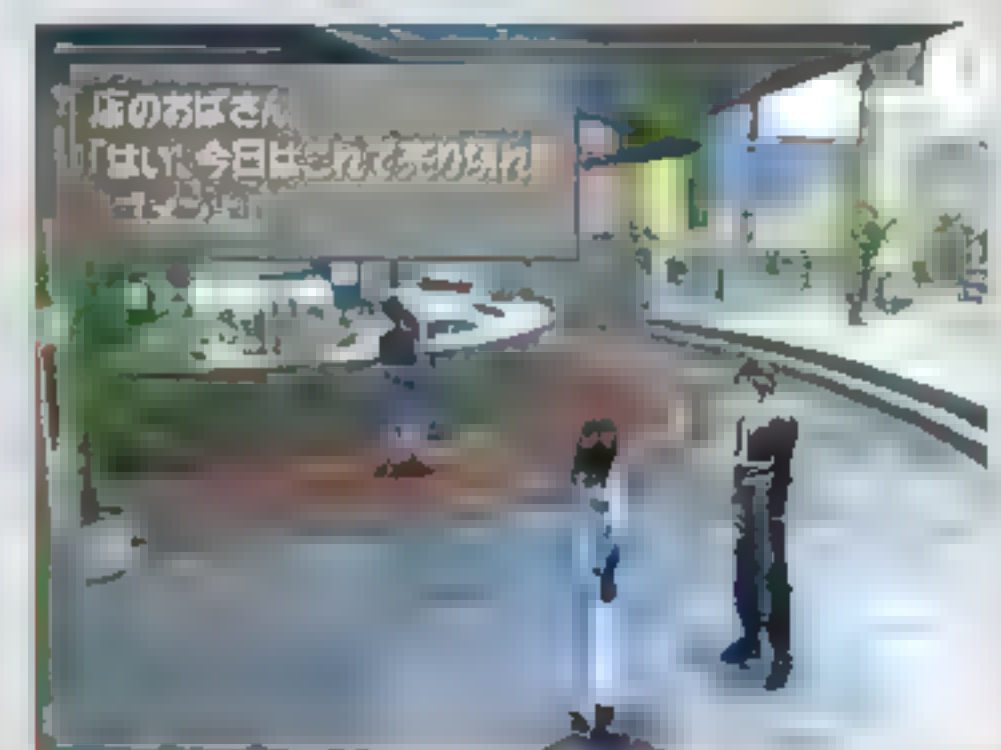
　サイファーがデリング大統領を襲ったとき、勇み足を踏んだ彼に怒声を上げる。そのさい、自分たちがガーデン所属の人間であることをうっかりバラし、彼を窮地に立たせてしまう。

オレの武器はこの拳

　D地区収容所から脱出するにあたり、敵に奪われた仲間たちの武器を取り返そうと計画。素手でも戦える長所を活かし、仲間たちのために奮闘する。

食堂のパンを求めて

　おいしいと評判の食堂のパンを買おうと行列に並ぶものの、いつも直前で売り切れに。あこがれのパンを味わえる日を夢見て、ゼルは今日も食堂を目指す……。

三つ編みの図書委員とのロマンス

　教師陣からは問題児あつかいされているものの、生徒やバラムの人々からの人気はそこそこ。なかでも三つ編みの図書委員には好意を持たれており、やがて彼女から想いを打ち明けられる。

「物知りゼル」が発動

　自分の知識をたびたび話したがるゼル。聞きかじりの情報をひけらかしているだけかと思いきや、実際にさまざまな事情にくわしいらしく、海洋探査人工島では、その地で行なわれていた研究の背景まで語り尽くす。

Selphie セルフィ

つねに明るさを振りまく
太陽のような天真爛漫娘

▶ Selphie Tilmitt　セルフィ・ティルミット

Personal Data

性別	女
年齢	17歳
身長	157cm
誕生日	7月16日
血液型	B型
使用武器	ヌンチャク

トラビアガーデンからやってきた、活動的な転校生。物怖じしない性格で、初対面の相手に対してもフレンドリーに接する。転校初日に受験したSeeD実地試験で伝令係を務め、持ち前の行動力を発揮した結果、スコールやゼルともども見事に合格。SeeDとして任務に就き、ガルバディア軍がトラビアとバラムの両ガーデンにミサイルを撃つと聞いたときには、別働隊のリーダーを買って出て、発射を阻止すべく奮闘する。

▶ 全身画（ラフスケッチ）

Memorial Words

▶ セルフィ

「ロケットランチャーで粉々に爆破するのね」

——ティンバー：森のフクロウの大統領誘拐作戦の説明中に

大統領を誘拐する作戦を聞かされている途中、過激すぎる発言をして周囲のドギモを抜く。この型やぶりな性格ゆえ、本人は冗談のつもりで言ったことを、冗談として聞いてもらえないときも。

「まみむめも。
（これ、はやらせたい挨拶の言葉！）」

——ガーデンネットワークの掲示板：公開日記を開始して

転校早々、学園祭実行委員長に名乗り出たうえ、学内のネットワーク上に公開日記を掲載。学生たちを楽しませようとこまめに更新していくものの、独特な挨拶の言葉は、結局、はやらなかった模様。

「チキンがいやなら、大サービスでポークかなぁ～？
でも、ブタ野郎っていうのもなんかやだよね～」

——ドール：「チキン野郎」と言われて怒るゼルに向かって

「チキン野郎」という言葉を必死に否定するゼルに、ユーモラスにつぶやく。セルフィ本人に悪気はまったくないが、当然ゼルの神経を逆なですることに。

（なんやねん、このくっさい服。もう～、かゆかゆやんか～）

——ガルバディア軍ミサイル基地：ガルバディア軍の軍服で変装して

頭のなかでは、地元のトラビア弁で考えをめぐらせる。ふだんから周囲を驚かせる発言の多いセルフィだが、思考の中身は、口に出す言葉よりも容赦ない。

「ラグナさま、ピンチなんだよ～！　どうなったのかな～!!」

——ティンバーの森：ラグナたちに"接続"し終えて、起き抜けに

セントラ発掘現場で追いつめられた時点のラグナたちに"接続"したのち、連続ドラマを見ているかのように先の展開を気にする。ラグナを「さま」づけで呼ぶのも、カッコいい主演俳優に黄色い声援を送る感覚？

「テキトーにやったら飛んだんだよ～！
でも、なんか、簡単だからなんとかなるかなあ。
でも、落ちない保証はな～い！」

——飛空艇ラグナロク：コクピットで飛空艇を操縦しながら

17年前の遺物である飛空艇ラグナロクを、適当にいじって見事に飛ばす。未知の機械を操作しているわりに緊張感に欠けるものの、このマイペースさがセルフィの強み。

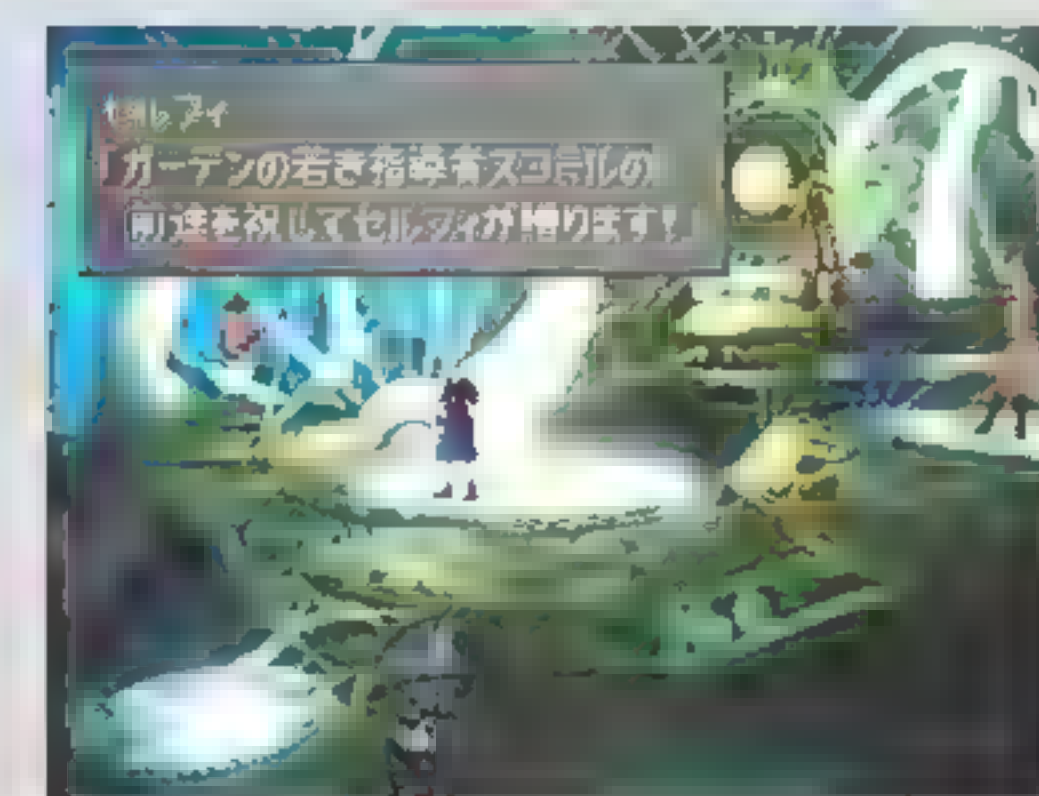
Memorial Scenes

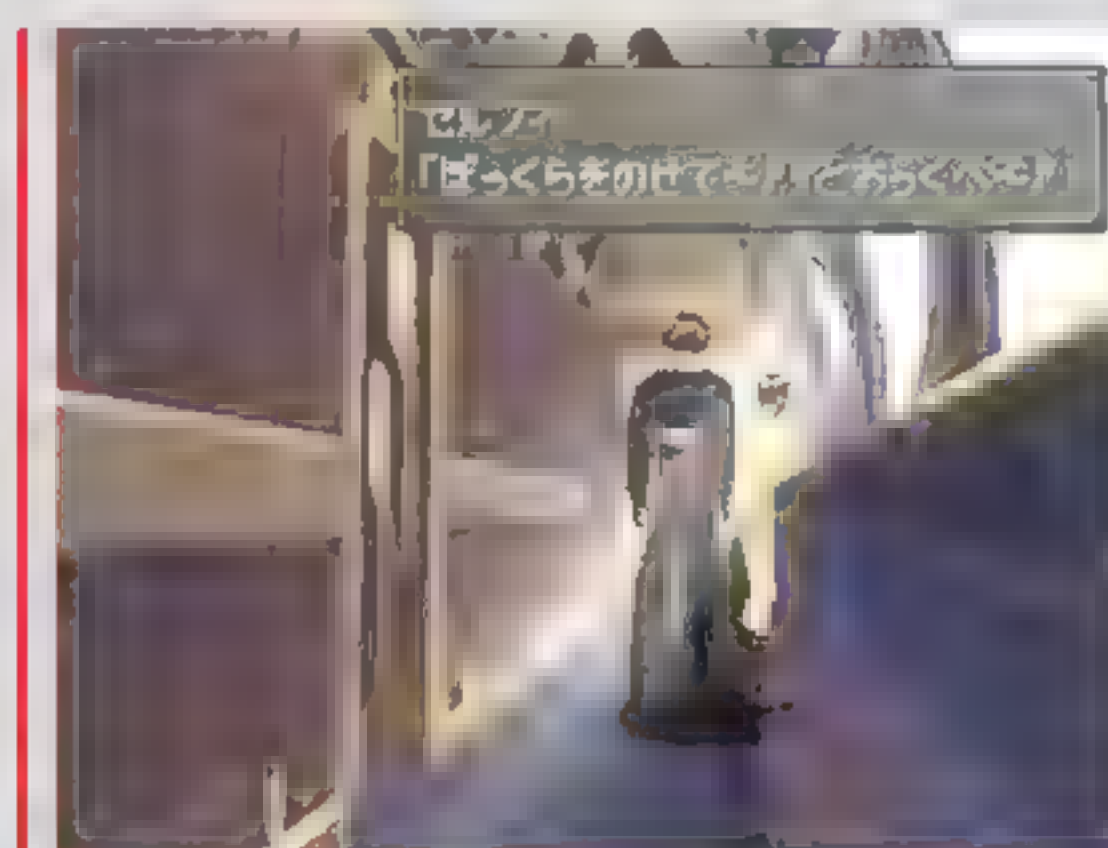
▶ セルフィ

トラビアからの転校生

広いバラムガーデン内で迷ったすえに、廊下の曲がり角でスコールとぶつかる。いわゆる「お約束」な出会いかただが、両者が相手にときめくことはなかった……。

きしゃきしゃはっしれ～♪

ティンバーへ向かう列車に乗り、外の景色を見ながら大はしゃぎ。乗り物好きの血がさわいだらしく、思わず大声で歌い出す。

セルフィバンド、オンステージ！

念願のバンドステージに立ち、ガーデンの指揮官に就任したスコールに自分たちの演奏をプレゼント。リノアとスコールが楽しいひとときを過ごせるかは、バンドメンバーの楽器選びのセンスしだい。

絶体絶命の危機から生還

爆発寸前のミサイル基地に閉じこめられ、万事休すかと思われたが、敵軍の兵器をシェルターがわりにして命拾い。そのまま兵器ごと移送され、フィッシャーマンズ・ホライズン（F.H）でスコールたちと再会を果たす。

友人たちの墓前にて

ミサイルの直撃により壊滅的な被害を受けた母校を訪れ、「知り合いにあいさつしてくる」と言い残してひとりで墓地へ。友人たちの夢でもあったバンドステージをやりとげたことを、涙ながらに報告する。

Irvine アーヴァイン

自信ありげな言動で気弱さを隠す
繊細なスナイパー

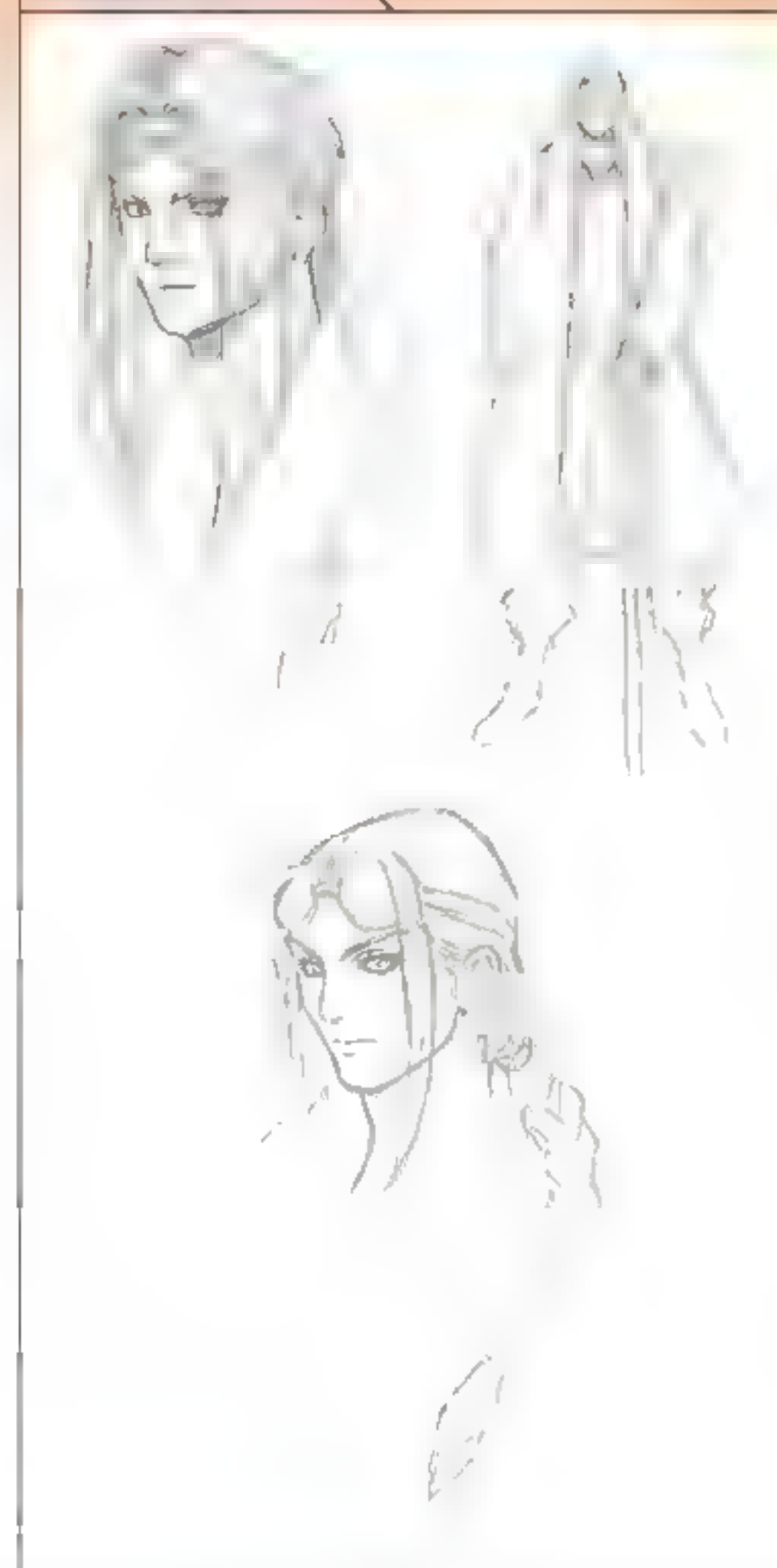
▶ Irvine Kinneas　アーヴァイン・キニアス

Personal Data

性別	男
年齢	17歳
身長	185cm
誕生日	11月24日
血液型	A型
使用武器	銃

ガルバディアガーデンに所属する、凄腕の狙撃手。一見、女好きで軽薄な男だが、実際は非常に繊細で、自分とは正反対の性格を演じてプレッシャーをはねのけようと努めている。魔女暗殺の任務を受けたスコールたちに合流し、作戦失敗後も彼らとともに行動。仲間たちがG.F.の影響で忘れ去ってしまった幼少期の記憶を、ただひとり鮮明に覚えており、彼らの記憶を呼び覚ます重要な役割をになう。

▼全身画(ラフスケッチ)

▶初期デザイン

Memorial Words

▷アーヴァイン

「僕は失敗しない。
ドント・ウォーリーだよ」

── ガルバディアガーデン：狙撃作戦についてスコールたちに語り

嫌味なほどに軽い性格を装って、狙撃手としての自分を演出。スコールたちの前でも、当初は自信たっぷりなキザ男を演じ、魔女の暗殺もまかせておけと断言するが……。

「だ、ダメだ、すまない、撃てない。
僕、本番に弱いんだ。
ふざけたり、カッコつけたりして、
なんとかしようとしたけどダメだった」

── デリングシティ：狙撃作戦のさなかにおじけづき

狙撃の直前になって、極度のあがり症であることを告白。もっとも、撃つ相手が幼少期に世話になった「ママ先生」だと知っていた以上、ただの緊張で撃てなかったわけではなさそうだ。

「いつだって選べる道は少なかった。時には道は1本しかなかった。
その、少なかった可能性の中から自分で選んだ結果が、
僕をここまで連れてきた。だからこそ僕はその選んだ道を……、
選ばなくちゃならなかった道を、大切にしたい」

── トラビアガーデン：仲間たちと一緒に戦う決意を語って

人生に無限の可能性なんてものは存在せず、数少ない選択肢のなかから生きる道を選ぶしかなかった ── そう己の過去を振り返るアーヴァイン。すべての選択肢を、悩み苦しみながらも自分で選んできたからこそ、自身の選択が形作る人生を大切にしようとする。

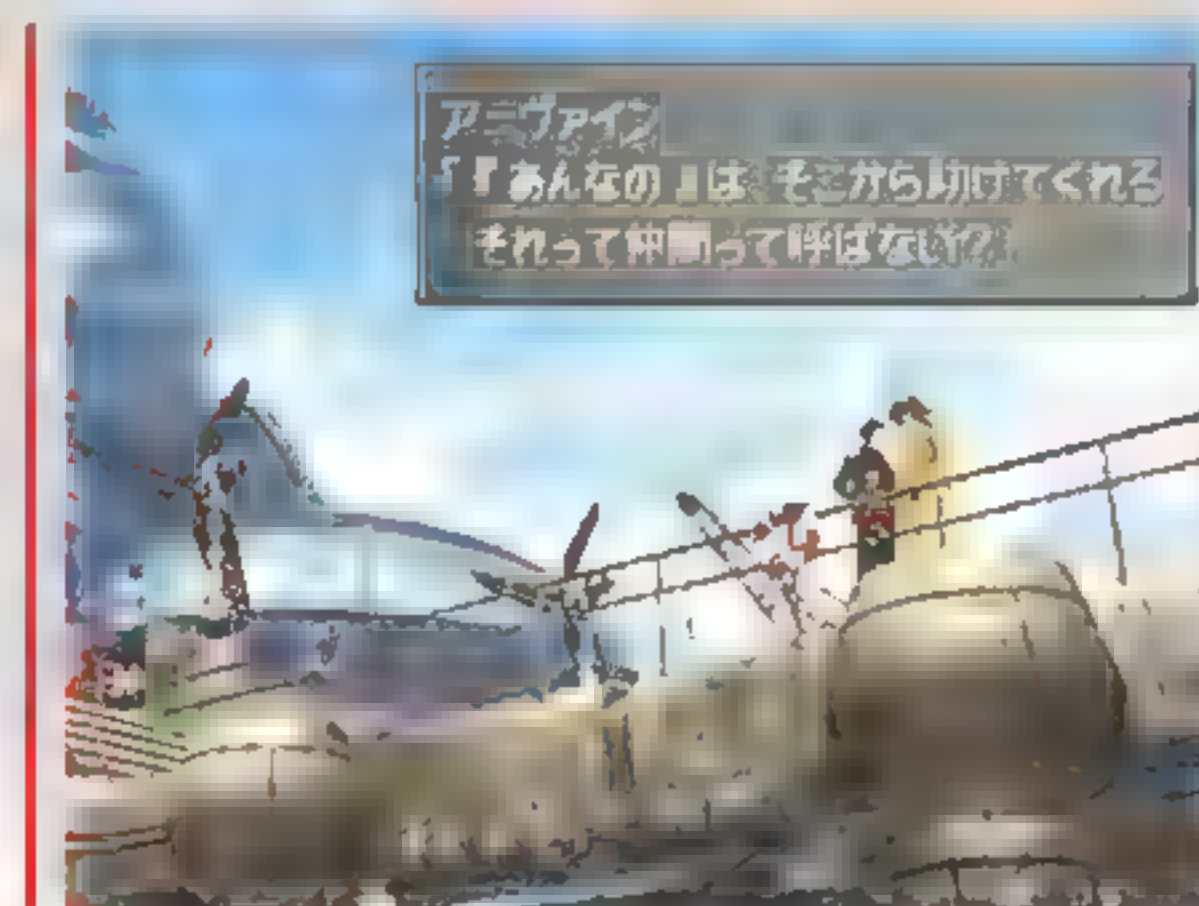
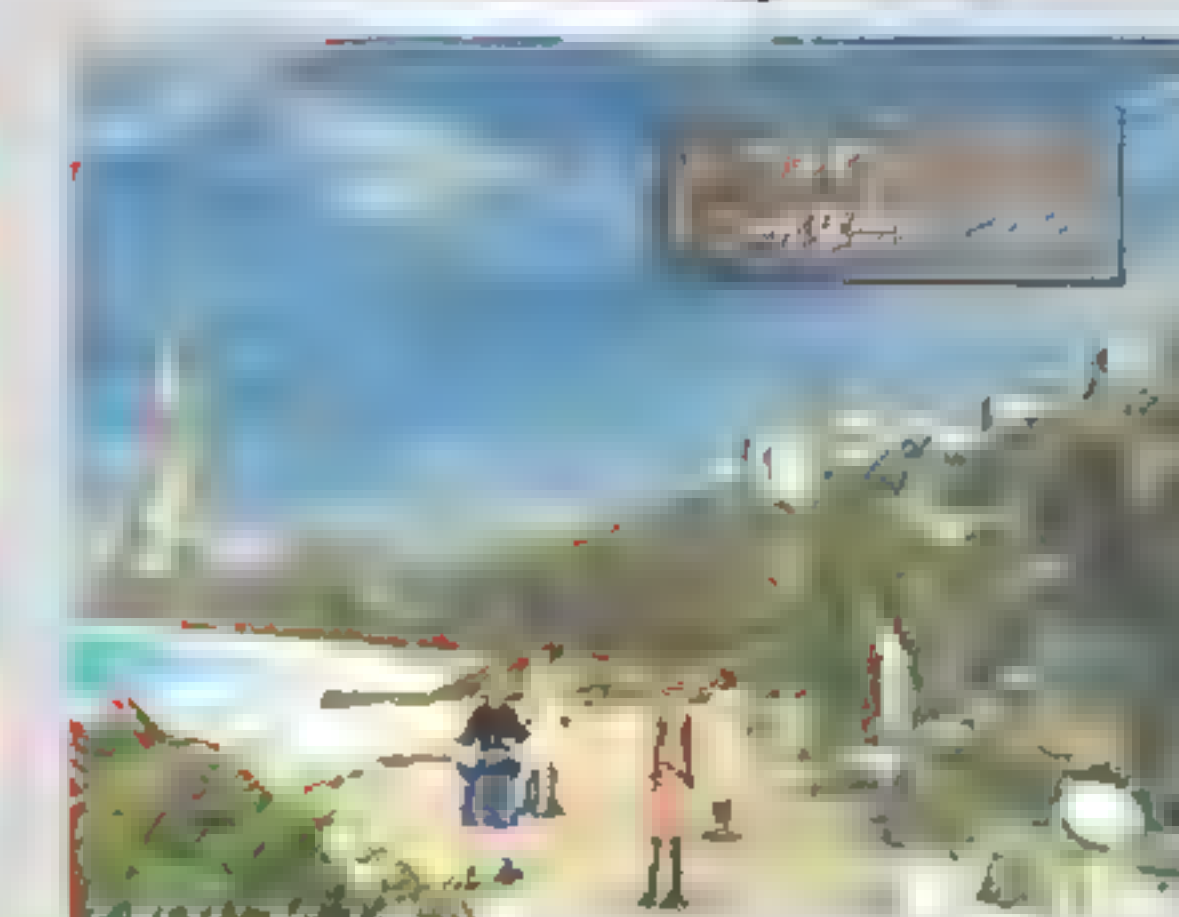
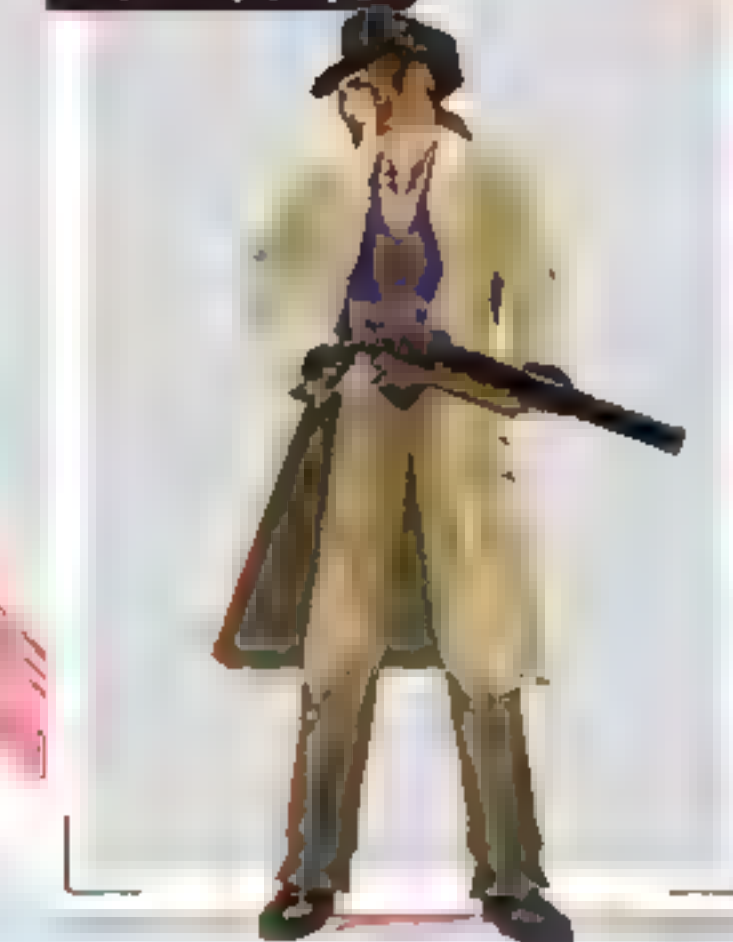
Memorial Scenes

▷アーヴァイン

女好きを気取って

自信たっぷりのキザ男を演じているうちは、女性に対しても強気にアピール。会ったばかりのリノアやセルフィと腕を組み、「両手に花」の状態で幸せそうにガルバディアガーデンから出発する。

バトル野郎は大事な仲間

戦いで物事を解決するスコールを「バトル野郎」とさげすむF.H.の男に、「スコールは仲間だ」ときっぱりと主張。同時に、不平を言うばかりで何もしない青年の目を覚ますように、「あんたは何野郎なんだい？」とさりげなく問いかける。

不審者の正体は……

セルフィバンドの準備中に、ぶらりとF.H.を散策。テレビのニュースで「銃を持った怪しいコートの男が町を徘徊している」との情報を得るが、当の本人には心当たりがなかった？

迫る決戦のとき

幼いころから好意を抱く「セフィ」ことセルフィにアプローチしようと決意。軟派男の演技をやめて、すっかり純情青年になったアーヴァインに、スコールは「(狙撃任務のときのようには)ふるえてないみたいだな」とエール(？)を送る。

青年は歴史を語る

幼少時代の思い出話をして、自分やスコールたちが同じ孤児院で育った仲間であることを明かす。そして、自分たちが戦おうとしている相手 ── 魔女イデアが恩師の「ママ先生」であることも……。

Laguna ラグナ

つねにポジティブな姿勢をくずさない
芯の通ったカリスマ青年

▶ *Laguna Loire　ラグナ・レウァール*

Personal Data

性別	男
年齢	27歳（初登場時）
身長	181cm
誕生日	1月3日
血液型	B型
使用武器	マシンガン

重度のうっかり者でありながら不思議と人をひきつける、ジャーナリスト志望の青年。相棒のキロスやウォードともどもガルバディア軍に所属していたが、任務で重傷を負ったのを機に退役。以来、ケガを看病してくれたレインや、彼女を親がわりとする少女エルオーネとおだやかな日々を送っていた。レインと結ばれ、彼女が子どもを身ごもった直後、エスタにさらわれたエルオーネを救出すべく旅立ち、そのままエスタの大統領になる。

▶ポリゴンモデル

Memorial Words

▶ラグナ

「大人のみりき（みりき?）ってやつで
ジュリアの悩みにこたえてやるか」
―― デリングシティ：ジュリアに部屋へくるように誘われ

ジャーナリスト志望のわりに、言葉づかいはいいかげん。「魅力」を「みりき」と読む無知さには、未来から"接続"していたスコールからも即座にツッコミが入る。

「ウォード君……減点。
そういうこと……言うのは減点。
罰として……
ピヨピヨグチの刑だ！」
―― セントラ発掘現場："最後の言葉"を言い残そうとしたウォードに向かって

偵察任務のはずがエスタ兵に襲撃され、3人でみじめに敗走する事態に。身体はボロボロになりながらもお茶目なジョークを返すのは、声帯を傷つけられて弱音をもらすウォードを励まそうとするがゆえ。

「ああ、目が覚めてもこの部屋でありますように！
このちっこいベッドで、目が覚めますように！」
―― ウィンヒル：ベッドでひと休みする前に

ずっと少年のような心を残すラグナだが、レインやエルオーネとともに生活するうちに内面が変化。無邪気に夢を語るばかりではなく、愛する人たちとの日々を守りつづけたいと願うようになっていた。

「……まあ、ぜんぶオレがやってきたことだ。
良かったのも悪かったのもオレだからな」
―― エスタ：大統領にすえられるまでのいきさつを振り返り

レインの死に目に会えず、生まれた実子の顔すらもわからぬまま長い年月を過ごしたラグナだが、それもみずから選んだ結果だと己の半生を回顧。後悔の念はあるものの、すべてを自分の責任と受け止めて、目の前の難局に立ち向かう。

「ラグナロク乗るぞ、ラグナロク！　あの中で最後の
作戦説明にしようぜ！　1回乗りたかったんだ、あれ。
オレと名前にてるしな！」
―― エスタ：対アルティミシアの作戦をスコールたちに伝えて

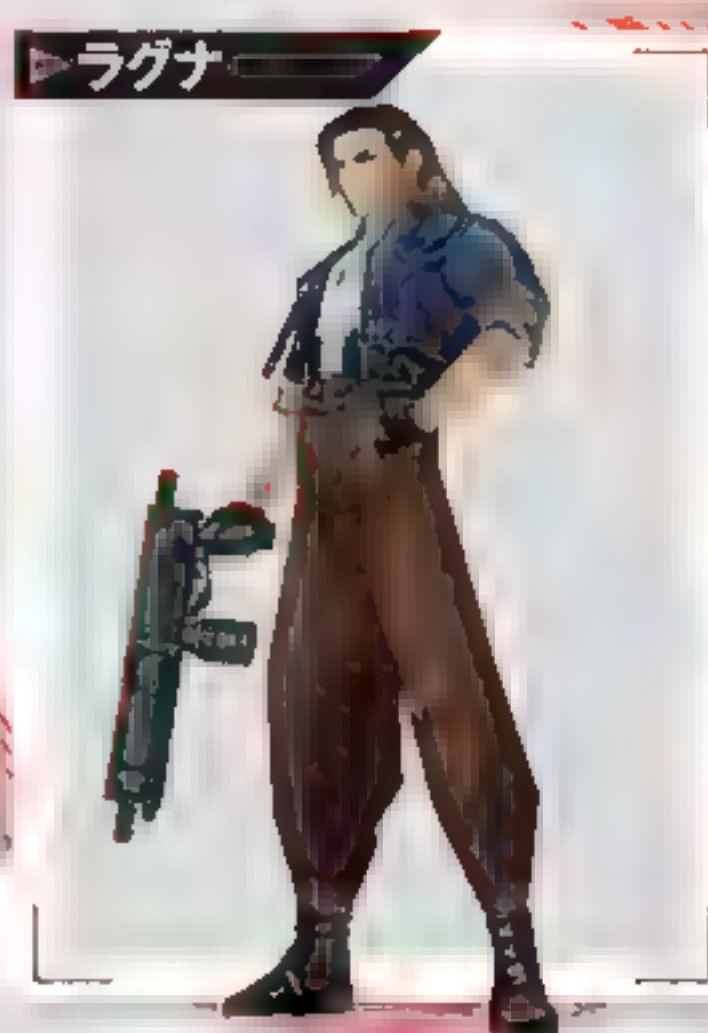
大統領という責任ある地位に就いているものの、飛空艇ラグナロクに乗りたがる様子は少年のよう。乗りたい理由のひとつが「自分と名前が似てるから」というのも、子どもっぽくてほほえましい。

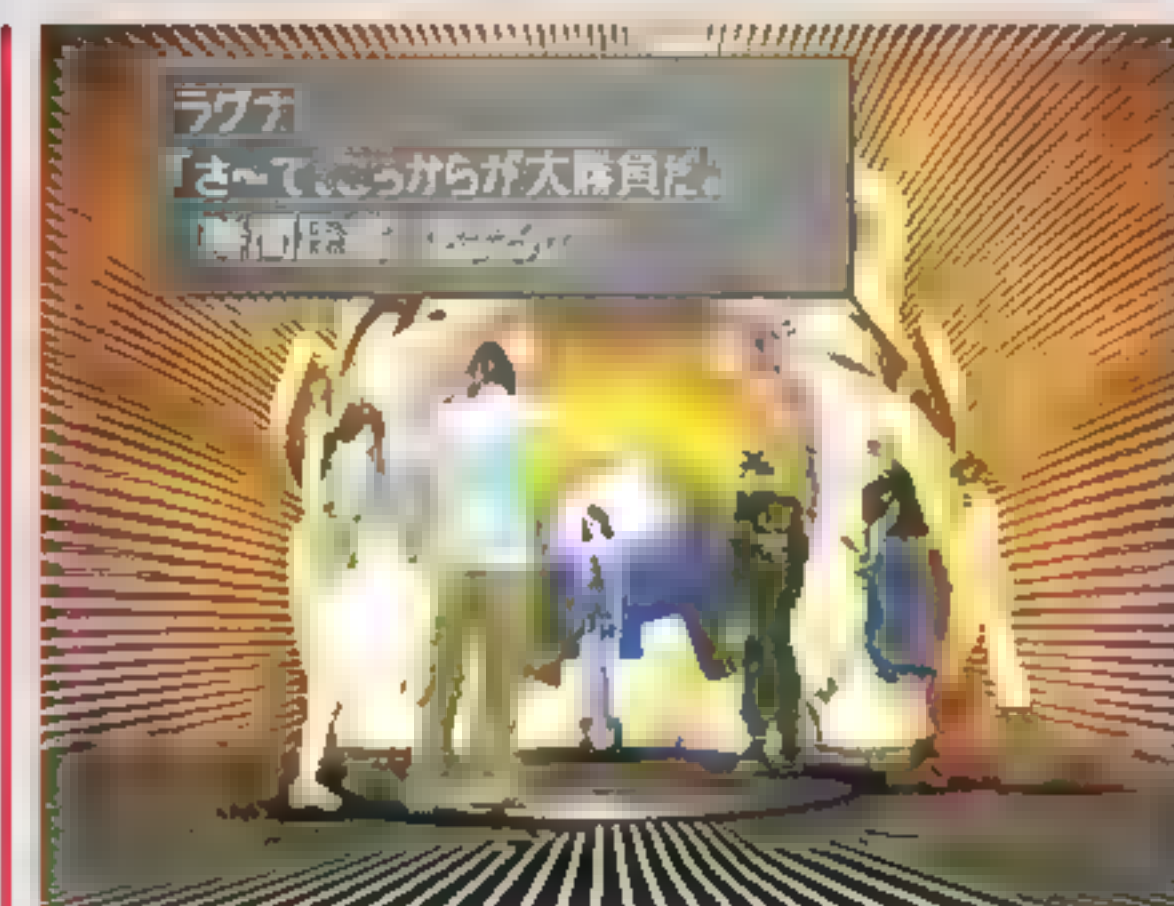
「なるほど……
さっぱり、わからんな。
キロス……あとは任せた！」
―― ルナティックパンドラ研究所：オダイン魔法研究所への道のりを聞かされるが理解できず

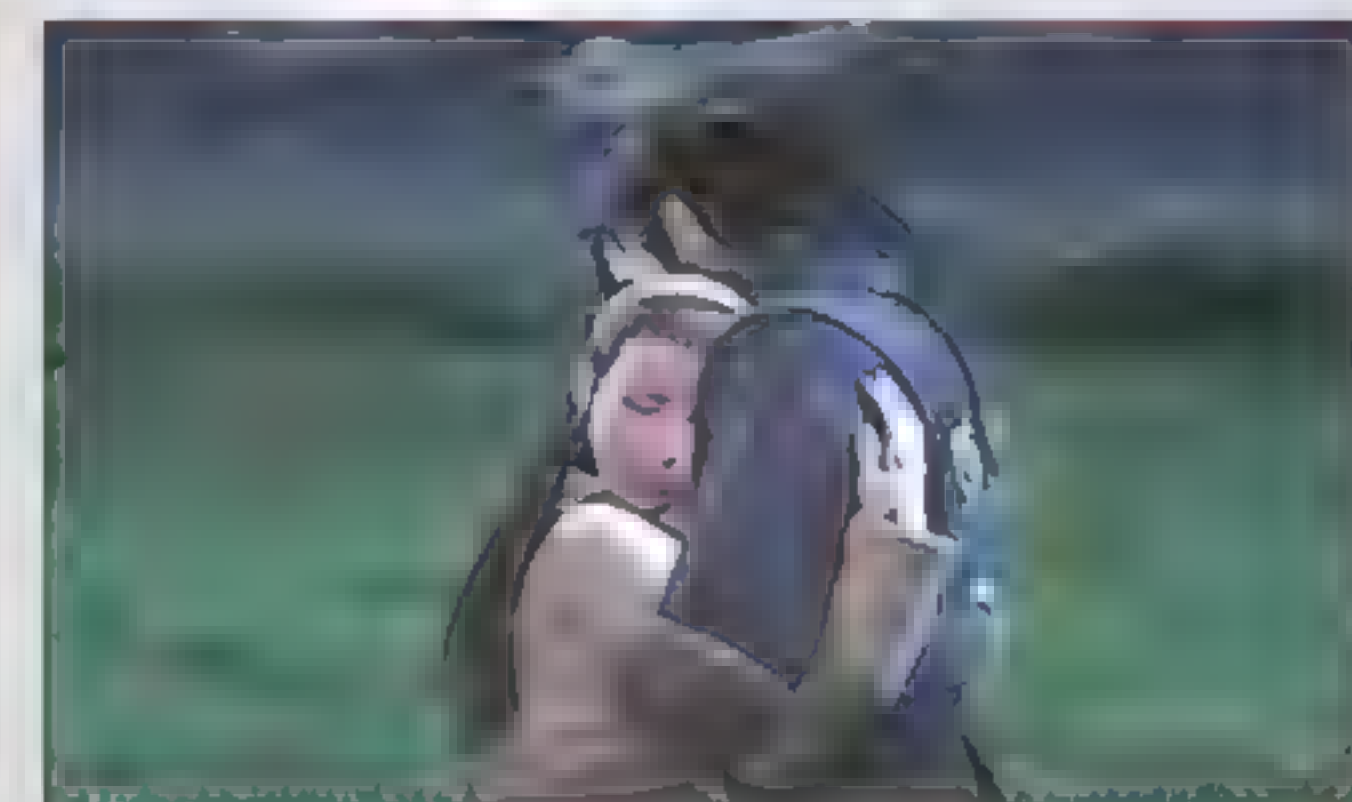
難しいことは深く考えない大ざっぱな性格で、こまかな話はキロスにおまかせ。アデルの名前を「アゼレ」と言いまちがえても気にしないなど、その場のノリと勢いで突き進む。

Memorial Scenes

▶ラグナ

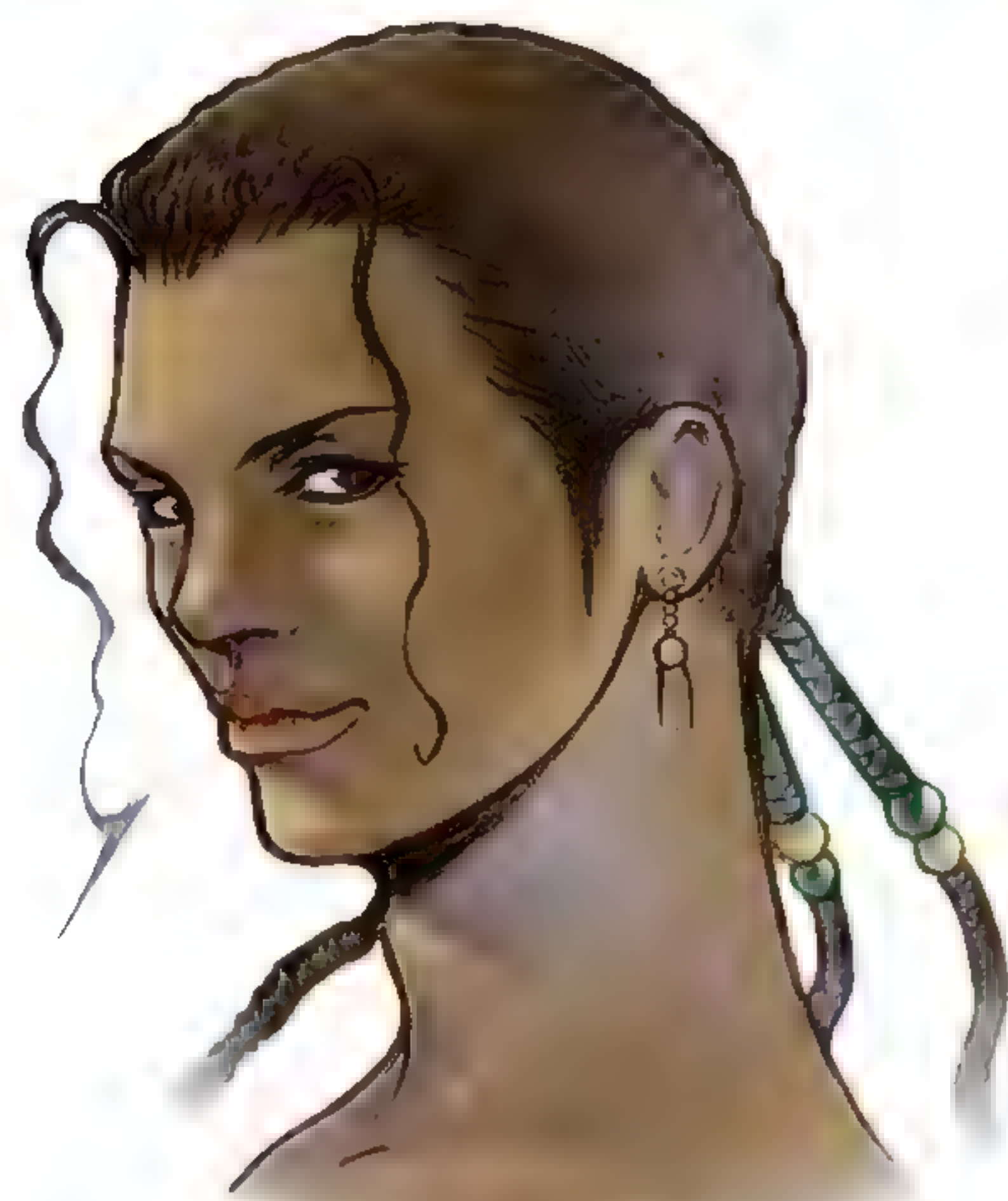
花咲く村でのおだやかな日々
レインとエルオーネとの生活を捨てられなくなったラグナ。ケガが治ってもウィンヒルに住みつき、村を魔物から守りながら彼女たちと幸せに暮らしていた。

あこがれのジュリアの前で
ホテルのバーでピアノを弾くジュリアの前に進み出て、自分をアピール。しかし、緊張のあまり足がつり、醜態をさらすことに。

魔女の騎士の竜退治
旅の資金をかせぐべく映画に出演するが、撮影用のハリボテではなく、本物の竜に襲われるハメに。あつかい慣れていないガンブレードを構え、果敢に応戦する。

愛と友情、勇気の大作戦
アルティミシアを倒すために、あえて時間圧縮をさせるという賭けにも近い作戦を計画。その実行を、信じる心で結ばれたスコールたちにゆだねる。

月夜の求婚
十数年ぶりにウィンヒルを訪れ、レインの墓前へ。彼女に結婚を申しこんだ夜を、昨日のことのように思い出す……。

Kiros

親友とともに歩むことに
人生の喜びを見いだした男

キロス

▶ Kiros Seagill　キロス・シーゲル

▶全身画(ラフスケッチ)

▶Personal Data

性別	男
年齢	23歳(初登場時)
身長	191cm
誕生日	7月6日
血液型	O型
使用武器	カタール

ガルバディア軍に所属していたころのラグナの同僚。言葉づかいや行動がメチャクチャなラグナに、逐一ツッコミを入れる役割をになう。ラグナやウォードと同じく、セントラ発掘現場でのみじめな敗走を機に軍を辞し、退役後はラグナのいない日々に退屈して、行方知れずになっていた彼を捜索。ウィンヒルでラグナと再会を果たすと、以後も彼の波瀾万丈な人生を、長きにわたって支えつづける。

Memorial Words

▷キロス

「(私の中の何かが
聞けと命じるのだ)」

──ウィンヒル:エルオーネとレインの会話を立ち聞きしようとして

ラグナと一緒にパトロールからもどると、レディ同士の会話の現場に出くわす。いったん出直そうとするラグナを止めて聞き耳を立てたのは、キロス自身の好奇心ゆえか、それとも"妖精さん"の意志か……。

「……母親に似ているな、君は」

──飛空艇ラグナロク:改めてスコールの姿を見て

わずかな期間とはいえウィンヒルで過ごし、レインと面識があるキロスは、スコールに彼女の面影を見る。「父親に似なくて良かったな」というウォードの意見にも、内心同意?

Memorial Scenes

ラグナを訪ねて辺境の村へ

退屈しのぎにラグナを捜して、はるばるウィンヒルを訪問。彼に振りまわされてばかりで苦労の絶えないキロスだが、一方でラグナのいない日々は刺激に欠けるようだ。

▷キロス

大統領を支えて

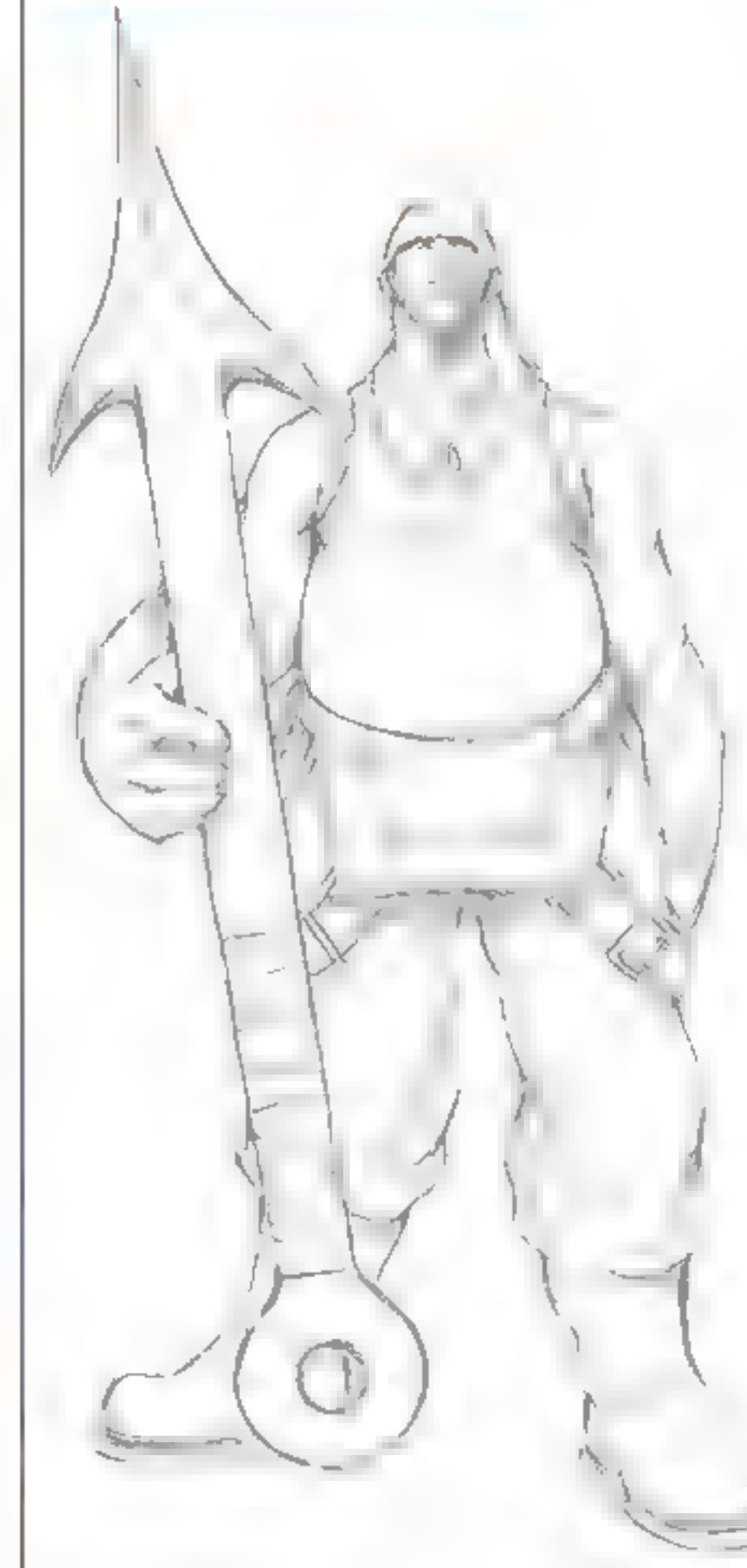
放っておくといつまでも話のまとまらないラグナを、そのつど的確にフォロー。人々を導く立場になっても、ふたりの関係は変わらない。

Ward

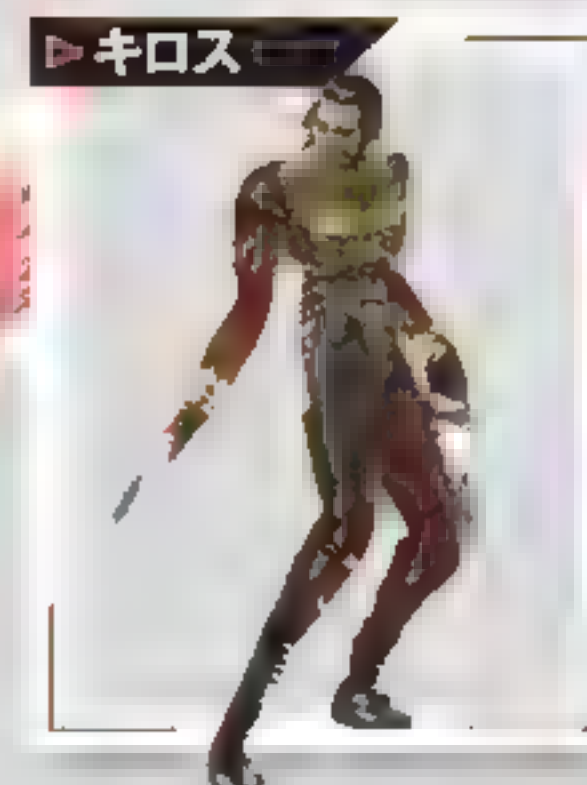
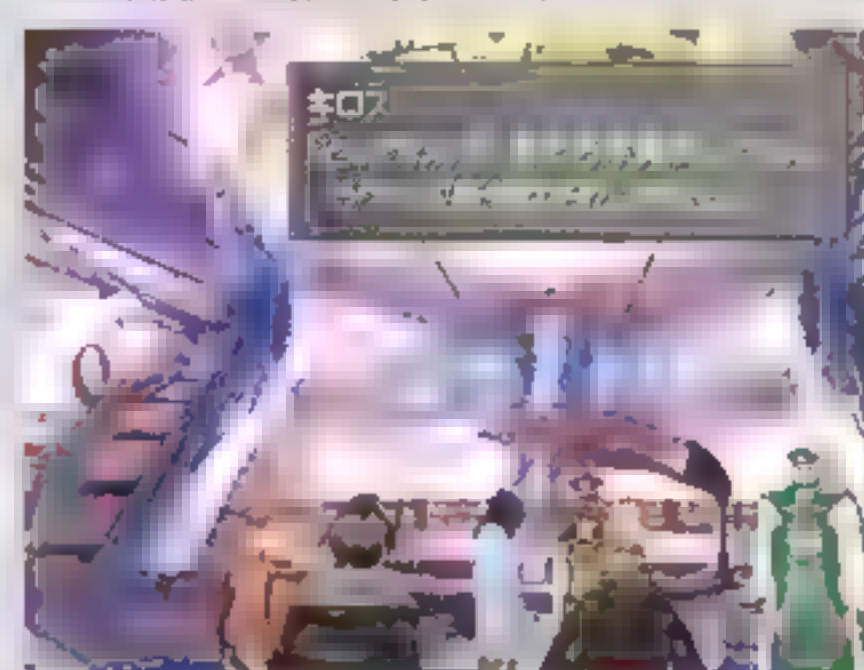
仲間たちと心でつながる
人当たりの良い巨漢

ウォード

▶ Ward Zabac　ウォード・ザバック

▶全身画(ラフスケッチ)

▶Personal Data

性別	男
年齢	25歳(初登場時)
身長	217cm
誕生日	2月25日
血液型	A型
使用武器	ハープーン

ガルバディア軍でラグナやキロスとチームを組んでいた男。いかつい外見に似合わず愛嬌がある好漢で、気さくによくしゃべっていたが、セントラ発掘現場を脱出するときに声帯を負傷。声を失ってしまい、ラグナたちとは表情で意思疎通を図るようになる。軍を退いたあとはガルバディアD地区収容所で清掃業に就くも退屈を持てあまし、ほどなくラグナたちに合流して、一緒にエスタへと乗りこむ。

Memorial Words

▷ウォード

「ここはボクたちのおごりだ。
ゆっくりしていきたまえ、ラグナくん」

──デリングシティ:ラグナがジュリアとふたりきりになれるように気をきかせて

演奏を終えたジュリアがラグナに近づくのに気づくや、キロスともどもすばやく退散。ジュリアにあこがれるラグナにチャンスを与えるべく、小粋な心づかいを見せる。

「た……の……しか……った……
ラグ……ナと……キロ……スと……
楽……し……かった……」

──セントラ発掘現場:エスタ兵に追いつめられて

エスタ兵との戦闘で負傷したノドから、仲間たちへの感謝の言葉をしぼり出す。途切れ途切れになりながらもしゃべりつづけるのは、自分の声で想いを伝えられる最後のチャンスになることを覚悟したからか。

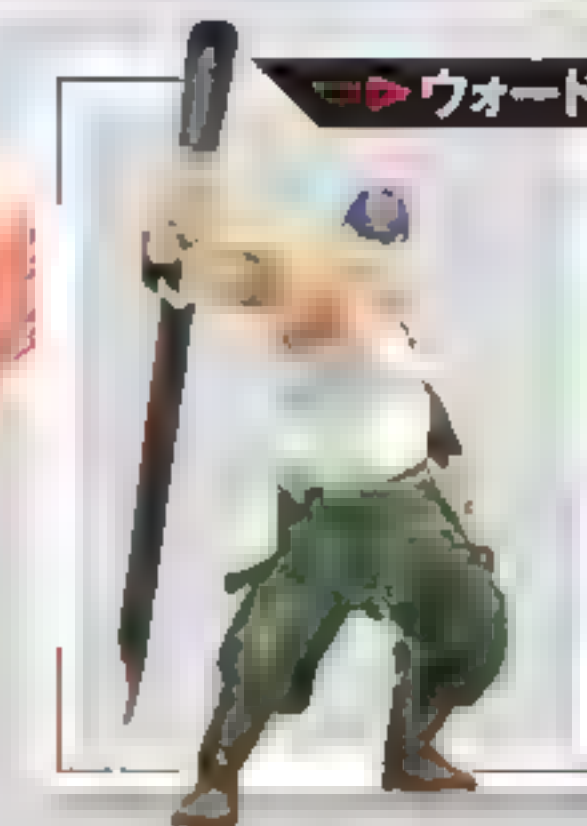
Memorial Scenes

「俺たち査定」でラグナを評価

あこがれのジュリアにアピールしてきたラグナの勇気に、けしかけた張本人ながら感嘆。一方、キロスは、彼女の目の前で足をつった情けなさに、「男気−3」と辛口の評価をくだす。

▷ウォード

親友の息子のために

魔女記念館でエスタ兵に包囲されたスコールたちのもとへおもむき、事態を収拾。いきり立つ兵士たちを制してスコールを安全に外へと逃がす。

Seifer サイファー

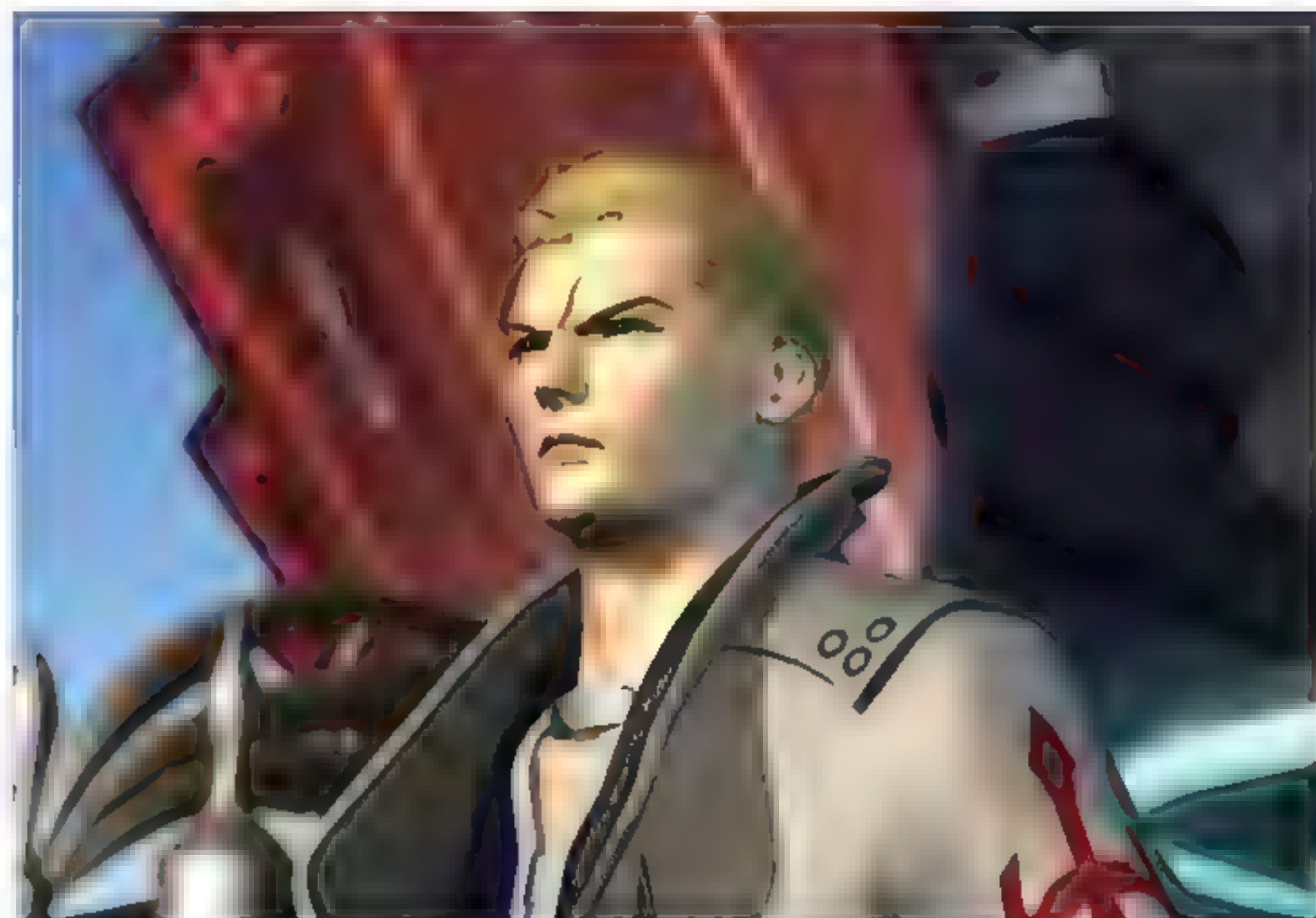
魔女の騎士たらんとして
暴走をくり返す異端児

▶ Seifer Almasy　サイファー・アルマシー

Personal Data

性別	男
年齢	18歳
身長	188cm
誕生日	12月22日
血液型	O型
使用武器	ガンブレード

バラムガーデンの風紀委員にして、学園切っての問題児。自分と同じガンブレード使いであるスコールを、何かとライバル視している。SeeDに匹敵する実力を持ちながら、好戦的で自分勝手な行動が過ぎ、万年候補生の身に甘んじてきた。独断でデリング大統領を人質に取ったところで進退きわまり、魔女イデアに誘われるままに彼女のもとへ。以降、魔女の忠実な騎士としてスコールと敵対する。

▶全身画（ラフスケッチ）

Memorial Words

▷サイファー

「いつか聞かせてやるさ！
俺のロ～～～マンティックな
夢をな！」

――ドール：戦闘を好むのは夢の実現に近づくからだと語ったのち

幼少期に見た映画がきっかけで、魔女の騎士になるという夢を持ったサイファー。少年が心おどらせたその夢は、バラムガーデンでの居場所を失うのと引きかえにかなうことに。

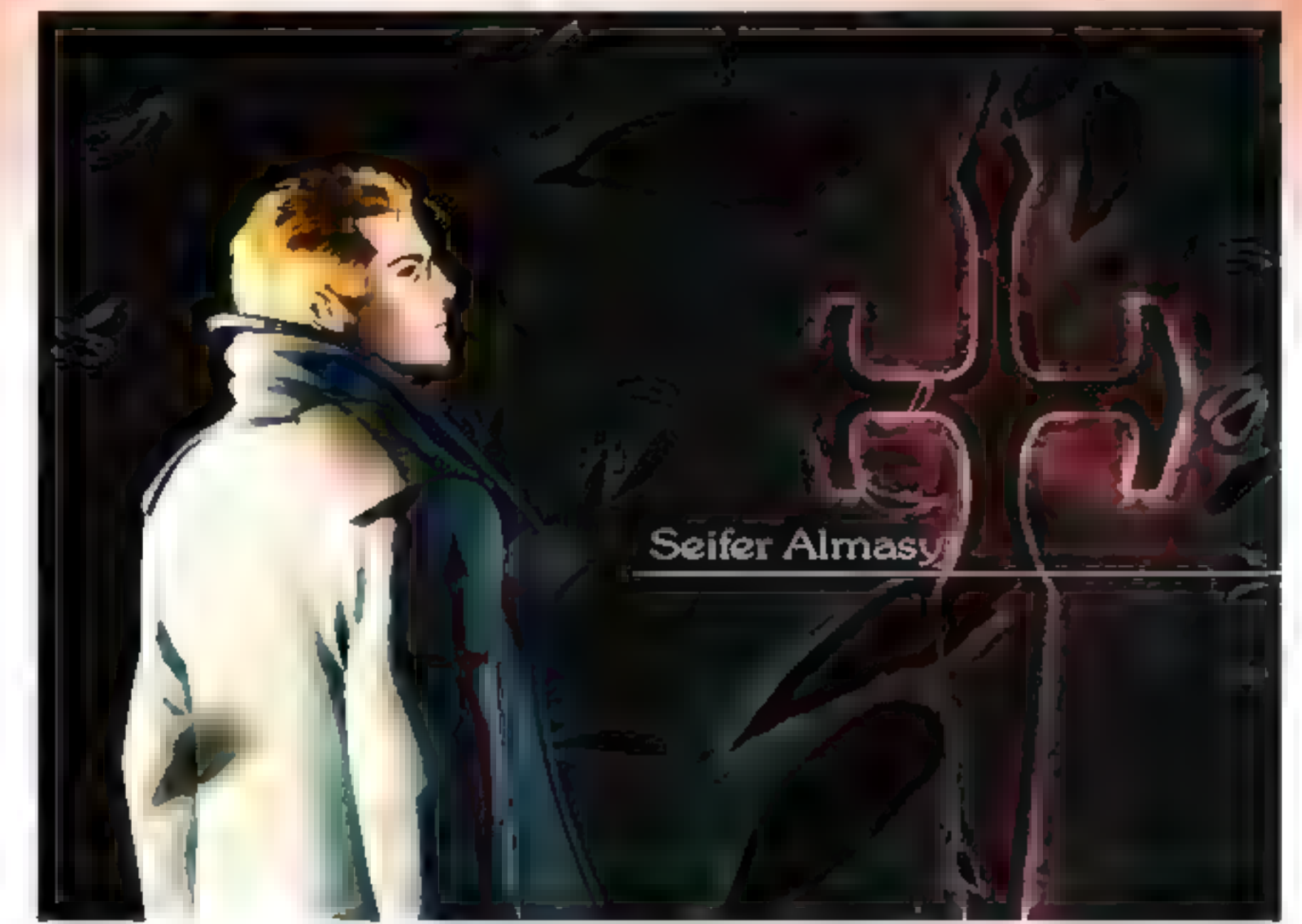
「おまえは『ホネのあるやつリスト』に入ってるぜ」

――ガルバディアD地区収容所：スコールを拷問にかけて

鼻についた相手の名前は、取り巻きの風神と雷神に命じてリストで管理。ことあるごとに対立するスコールも、当然リストに名を連ねている。

「オレは魔女イデアの騎士だ。
群れて襲いかかるモンスター。
そりゃ、おまえたちだ」

――ガルバディアガーデン：スコールたちの前に立ちはだかり

魔女と敵対するスコールたちのことを、「モンスター」『悪の傭兵』などと呼ぶ。魔女の騎士である自分は映画のヒーロー同然で、勝利が最初から決まり切っていると言わんばかり。

「もう戻れねえんだよ！　どこにも行けねえんだよ！」

――ルナティックパンドラ：リノアの説得に耳を貸さず

自身が未来の魔女アルティミシアの傀儡と化していると自覚しながらも、その道を自分で選んだサイファーは立ち止まることができない。風神と雷神の離反も受け入れたうえで、暴走を重ねていく。

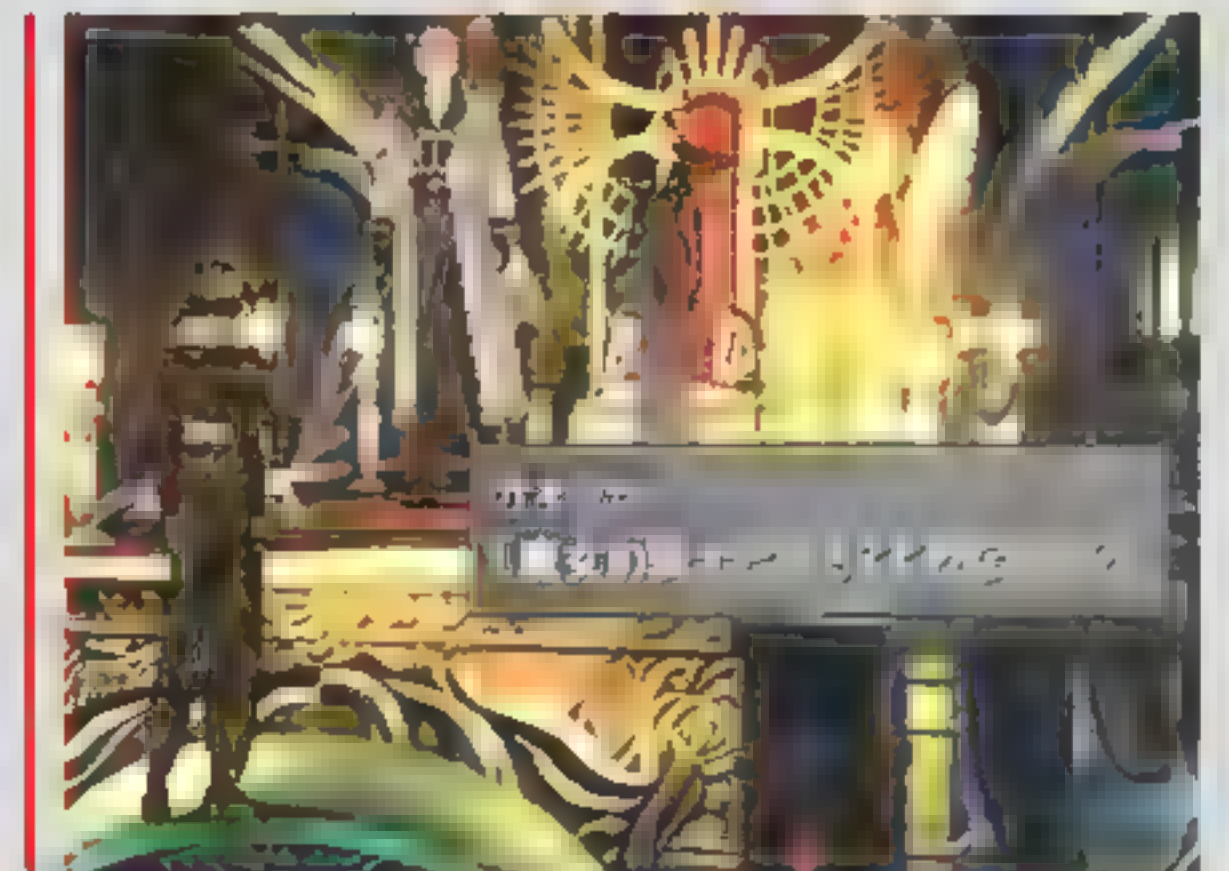
Memorial Scenes

▷サイファー

決闘まがいの訓練

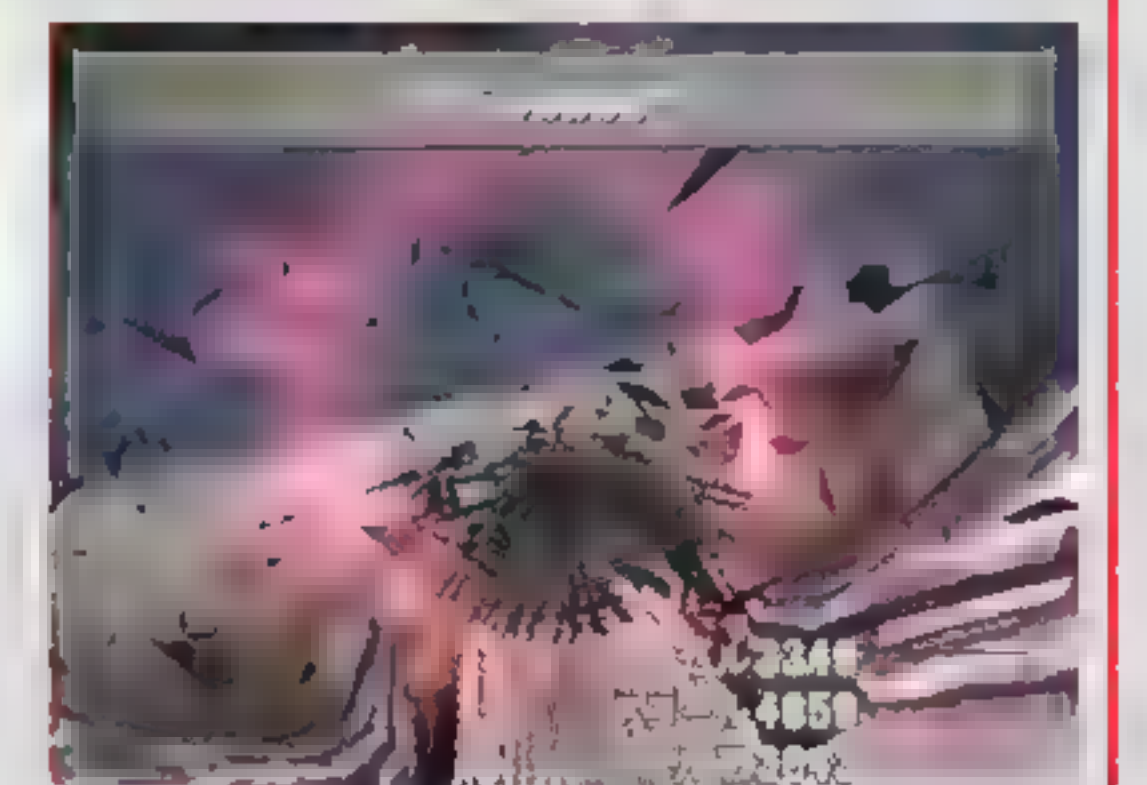
早朝にスコールを呼び出し、訓練とは名ばかりの、実戦さながらの果たし合いを展開。互いに決して退こうとせず、消えないキズを双方の眉間に刻むことに。

あこがれの魔女の騎士に

デリングシティのパレードに、魔女イデアとともに登場。夢を実現させたことをスコールに誇らしげに告げ、彼に刃を向ける。

敵国のガーデンで母校に侵攻

魔女の敵であるSeeDを討つべく、ガルバディアガーデンを指揮。軍の精鋭部隊をバイクで飛び移らせて、かつての学友がいる母校に侵攻する。

人ちがいで吹き飛ばされ

スコールたちとの決闘に乱入したＧＦオーディンを『斬鉄剣返し』で返り討ちに。ところが、さらに乱入してきた謎の男ギルガメッシュに、軽くひねられてしまう。

▶雷神&風神（下絵）

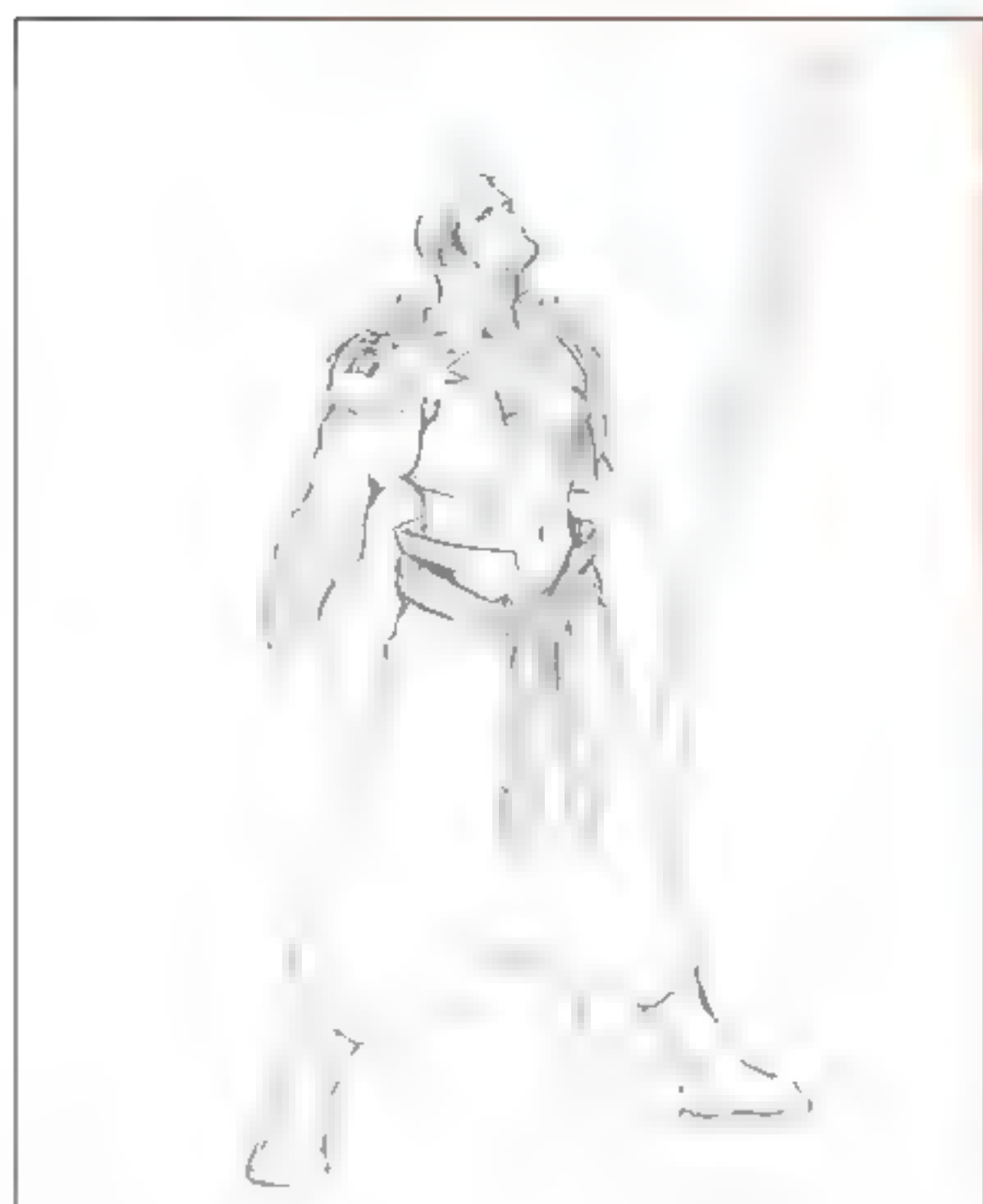
雷神 Raijin

▶Personal Data
性別 男
年齢 18歳

バラムガーデンの風紀委員のひとり。サイファーに心酔しており、彼からの信頼も厚い。あっけらかんとした性格でスコールとも気さくに接していたが、魔女の手先となったサイファーに付き従ったため、スコールたちとは敵対することに。「〜だもんよ」という話しかたが特徴。

Memorial Words

「俺たちゃ
サイファー派だもんよ！」
── バラム：自分たちは魔女ではなくサイファーに従っているのだと弁明して

「サイファー、手先はたくさんいるけど
仲間は俺たちだけだもんよ……」
── バラム：バラムガーデンと敵対する理由を話し

▼全身画（ラフスケッチ）

風神 Fuujin

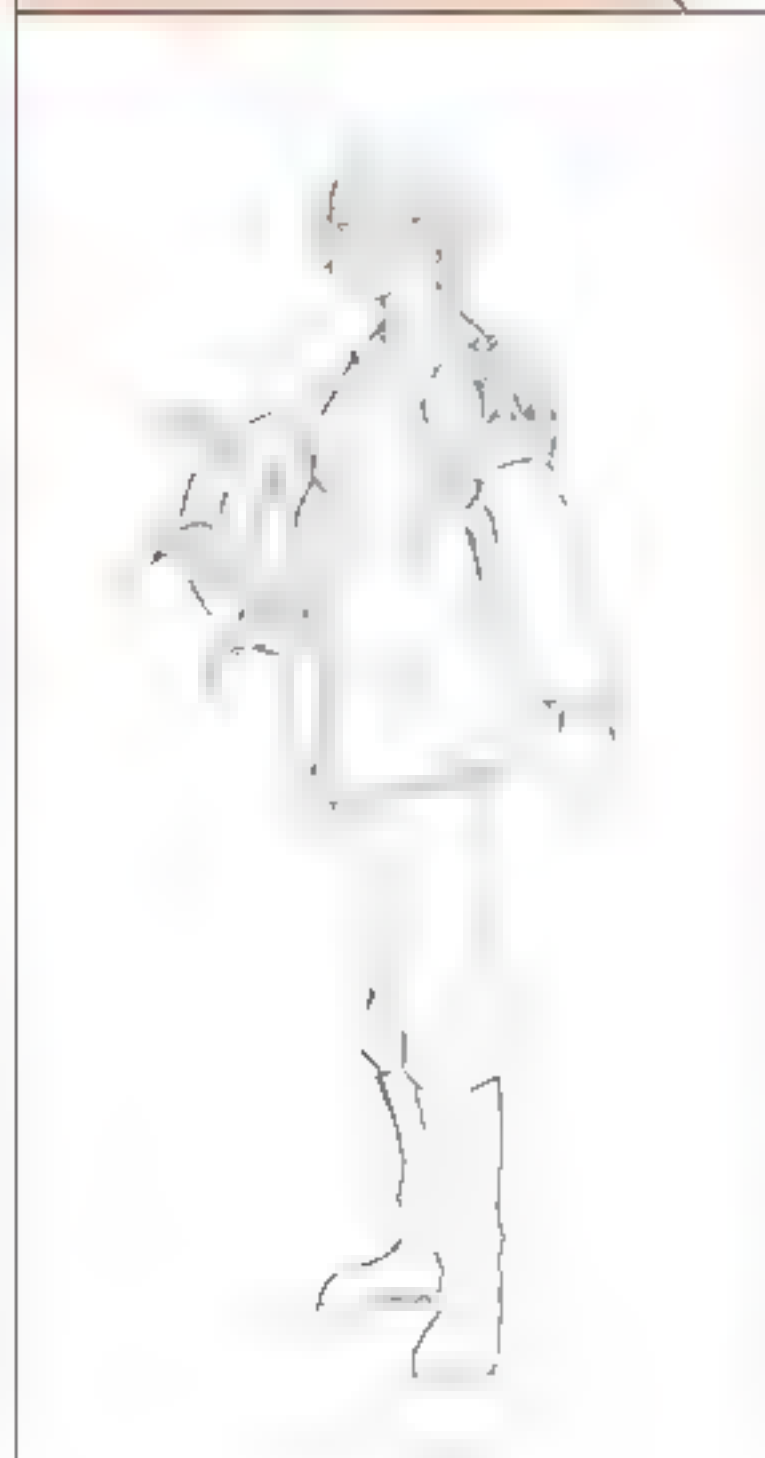
▶Personal Data
性別 女
年齢 17歳

雷神とともにサイファーの片腕を務める、気の強い女子生徒。ふだんは漢字だけで会話するため言葉数は少なく、一見クールに見えるものの、内に秘める思いは熱い。サイファーの行動は無条件で肯定するが、彼が道を踏みはずしたときだけは説得を試みた。

▶全身画（ラフスケッチ）

Memorial Words

「泣言禁止！　走！」
── バラム：バラムガーデンから離反するのを悲しむ雷神にローキックを放ち

「仲間……。仲間だよ。
いつまでも仲間だよ。
仲間だから、
あんたの力になりたいよ。
それであんたの夢がかなうなら、
なんだってしてやりたいよ。
でもね！　サイファー、あんた
操られてるだけだ」
── ルナティックパンドラ：サイファーに思いの丈をぶつけて

イデア（イデア・クレイマー） Edea Kramer

▶Personal Data
性別 女
年齢 不明

大国ガルバディアに君臨する魔女。SeeDを敵視し、サイファーを手駒としてスコールたちと争う。それらは未来の魔女アルティミシアに精神を乗っ取られての行動であり、本来はおだやかな心優しい女性。じつは、孤児だったスコールたちの世話をしていた「ママ先生」その人で、正気を取りもどしたあとは、アルティミシアと戦う彼らに数々の助言を与える。

Memorial Words

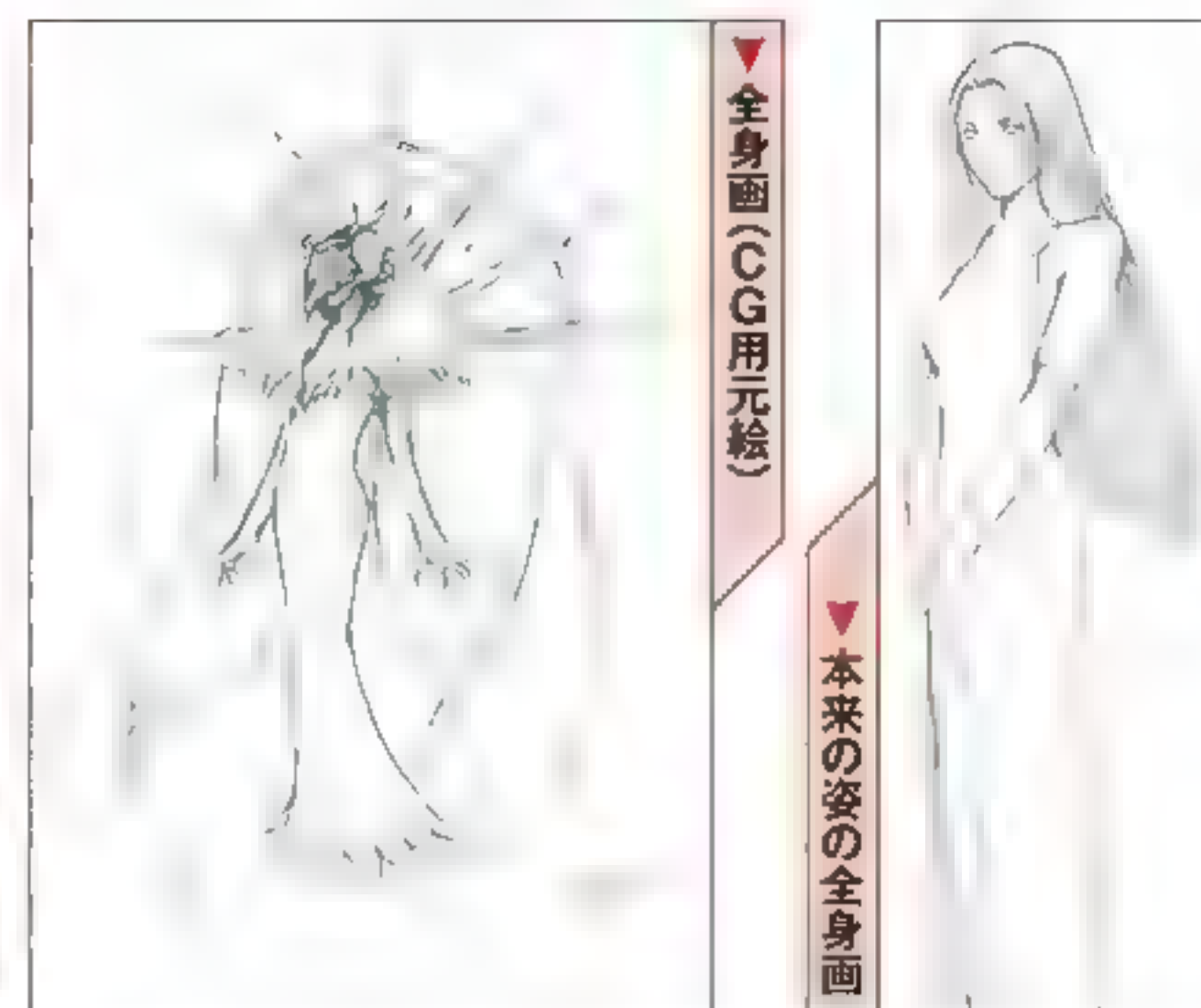
「おまえたちと私。ともに創り出す究極のファンタジー。
その中では生も死も甘美な夢」
── デリングシティ：パレード前に民衆に演説し

▶顔イラスト（着色前）

▼全身画（CG用元絵）

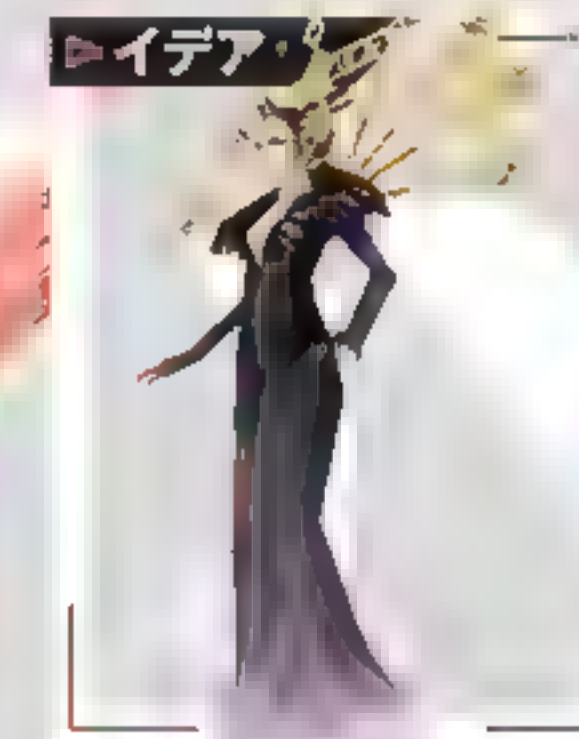
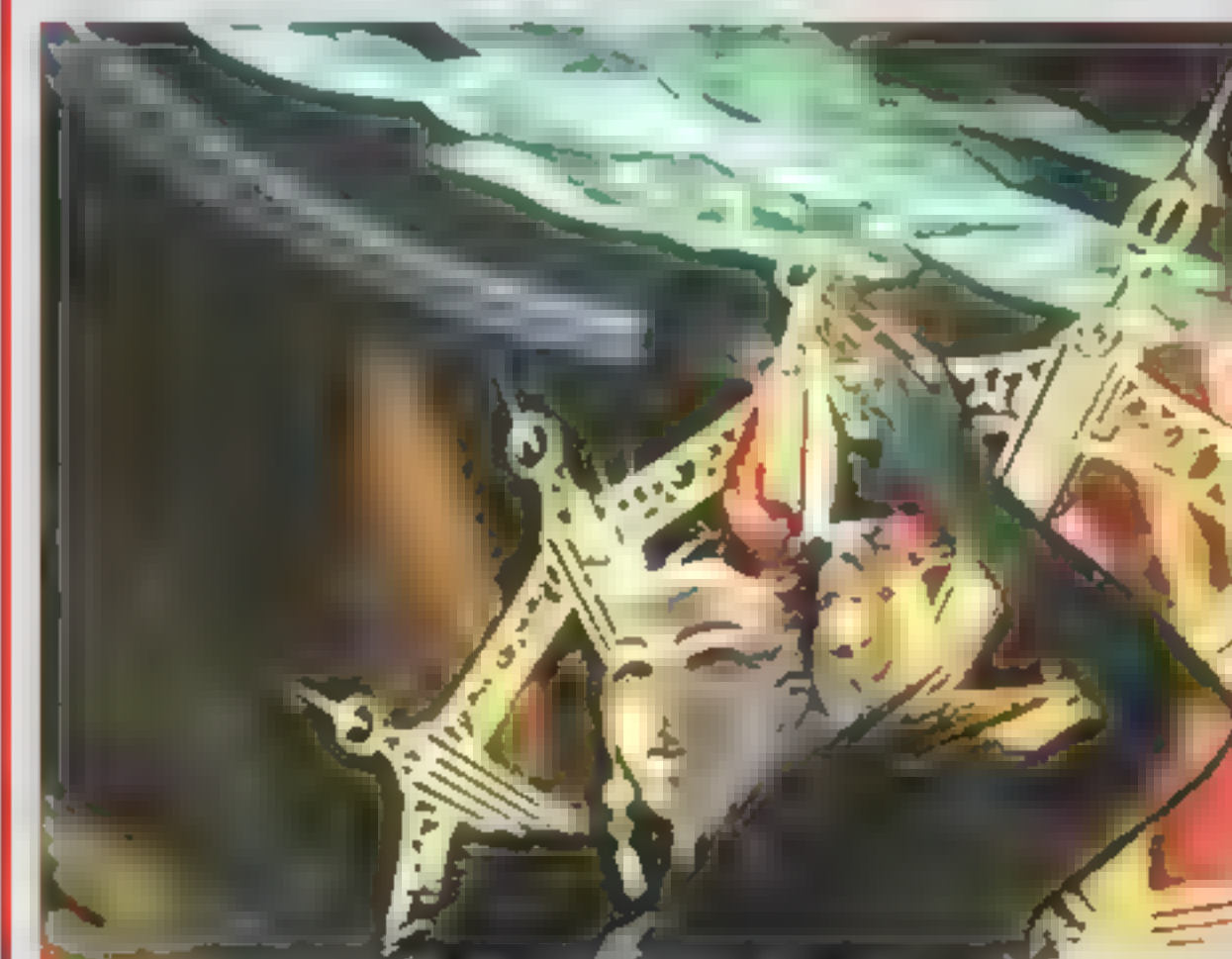
▼本来の姿の全身画

Memorial Scenes

▶イデア

自分の心を取りもどして

自分が持つエルオーネの情報を奪われないようにするために、あえて己の心を未来の魔女に明け渡していたイデア。正気にもどったときは、まずエルオーネの身を案じた。

獅子を突き落とす一撃

魔女の暗殺をはかったスコールたちと、パレードカーの上で対決。彼らを軽くあしらい、魔力によって生み出した氷柱でスコールをつらぬく。

パーティーには本来の姿で

未来の脅威を退けた祝賀会に招かれ、バラムガーデンへ。黒く長い髪にダークカラーのロングドレスという、"まませんせい"当時の姿で子どもたちの前に現れる。

シド（シド・クレイマー） Cid Kramer

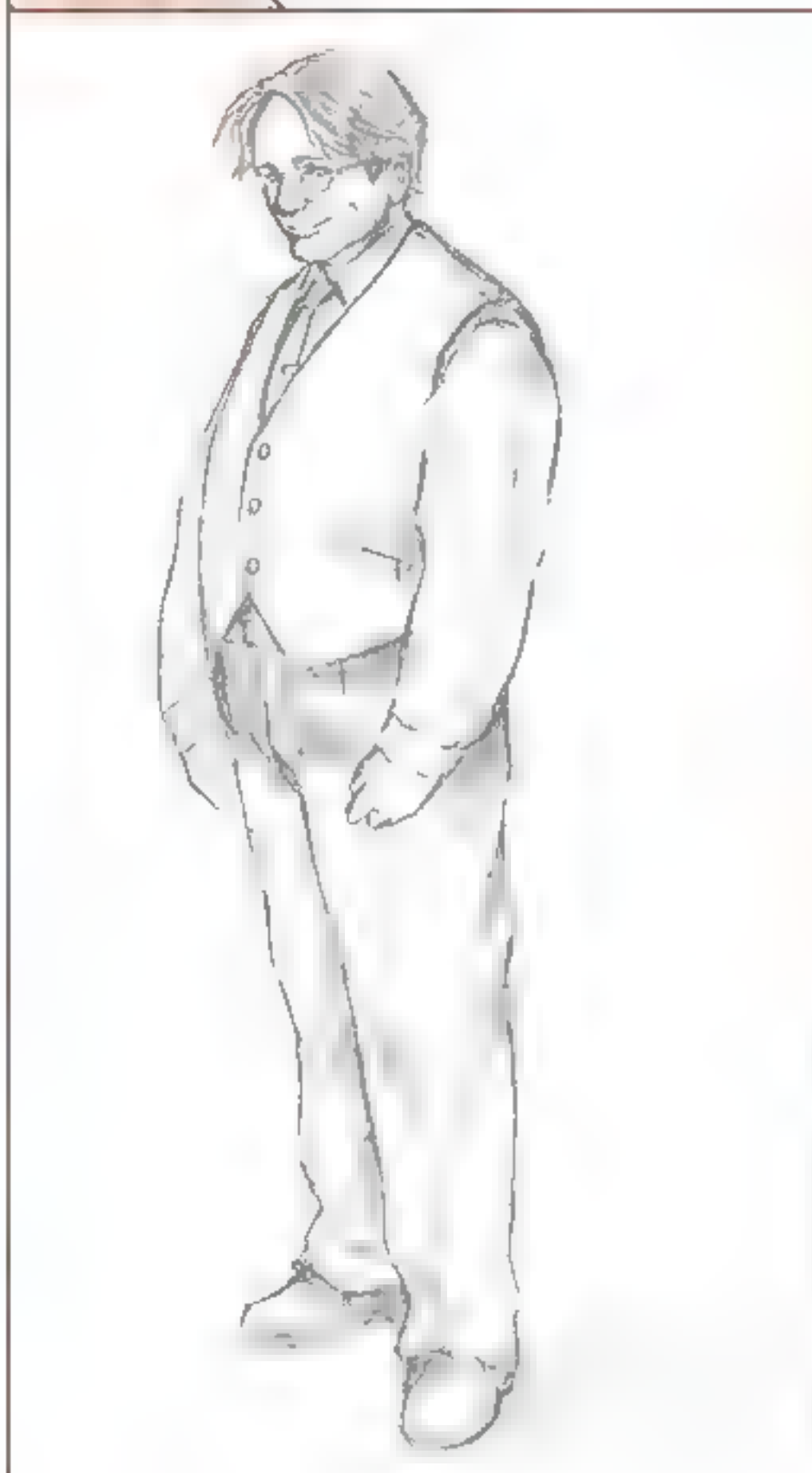
Personal Data

性別 男　年齢 40代

生徒の個性を尊重する、温厚で柔和なバラムガーデン学園長。SeeDの理念の提唱者のひとりで、候補生の教育に心血をそそぎ、経営面を重視していないため、スポンサーにあたるマスター・ノーグとの折り合いは悪い。魔女イデアの夫であり、妻と生徒が戦わざるを得ない状況にひそかに胸を痛めている。

Memorial Words

「ひそひそ……
（……これでガンブレードのSeeDですね）」
── バラムガーデン：スコールにSeeDの認定証を渡して

全身画

「金の亡者の
クソッタレの
大バカ野郎！
あんたに相談したのが
間違いだった！」
── バラムガーデン：金のことしか頭にないノーグをののしり

「でも・けど・だって。
指揮官が使う
言葉ではありませんね」
── イデアの家：リノアを案じるあまり身勝手になるスコールをいさめて

アルティミシア Ultimecia

SeeDに憎悪をたぎらせる、はるか未来の魔女。過去、現在、未来を溶け合わせる「時間圧縮」を行なうことで、自分以外が存在できない世界を築こうともくろむ。エルオーネが持つ、人の意識を過去の誰かに送りこむ能力に目をつけ、イデア、リノア、アデルといった魔女の身体をつぎつぎにあやつっていく。

Memorial Words

「誰が私と戦うのだ!?
ふ……誰であろうと結果は同じこと！
私が選んでやろう！」
── アルティミシア城：スコールたちのバトルメンバーを無作為に選び

「わたしはアルティミシア。
すべての時間を圧縮し、
すべての存在を否定しましょう」
── アルティミシア城：最終形態に姿を変えて

「時間は待ってはくれない。
にぎりしめても、
ひらいたと同時に離れていく。
そして……」
── アルティミシア城：スコールたちと戦いながら

レイン Raine

全身画

花に囲まれた村ウィンヒルでパブを営む女性。セントラ発掘現場からの敗走時に重傷を負ったラグナを献身的に看病し、彼と隣家の少女エルオーネの3人で共同生活を送るようになった。ラグナと結ばれて息子スコールを宿すが、出産後まもなく帰らぬ人となる。

Memorial Words

「ジャーナリスト志望のくせに
言葉使いは汚いし間違えるし、
真面目な話になると
すぐに逃げ出そうとするし、
イビキはうるさいし寝言だって……」
── ウィンヒル：ラグナと結婚しないのかとエルオーネに聞かれて

エルオーネ Ellione

全身画

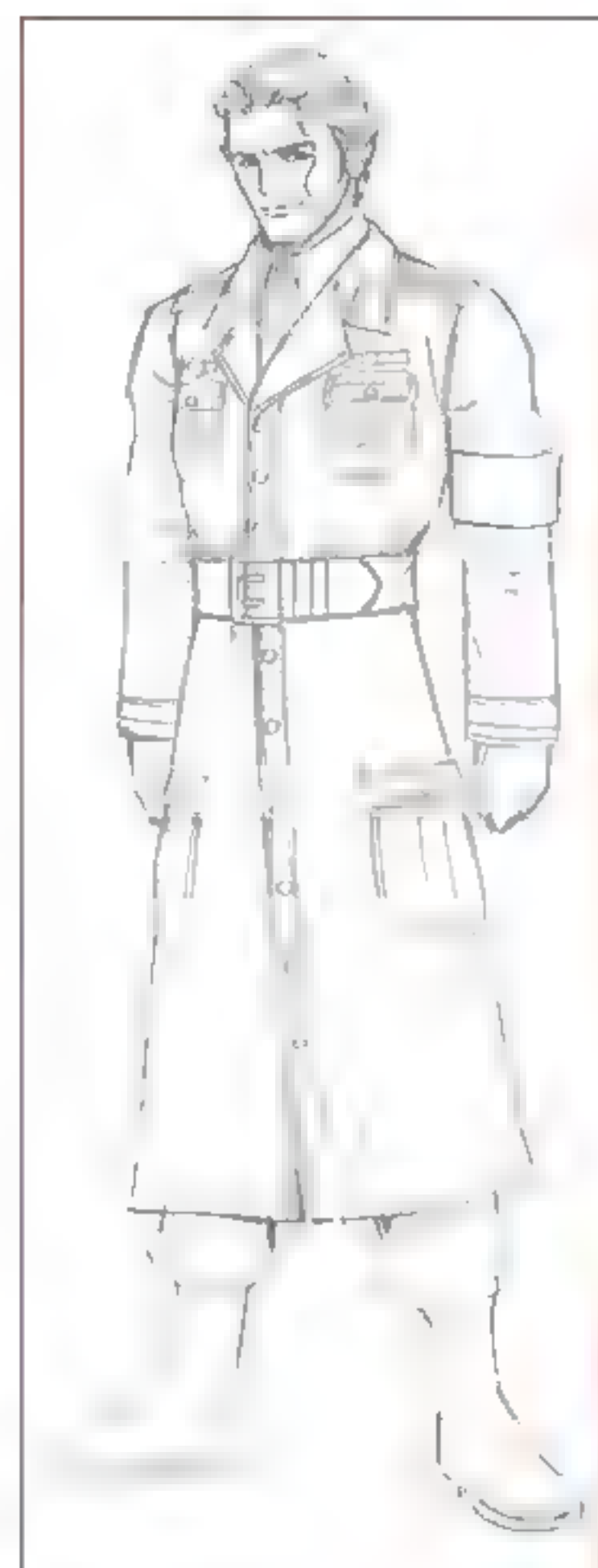
早くに両親を亡くし、レインとラグナと3人で家族同然に暮らしていた少女。「人の意識を過去の別人のなかに送りこむ」という特異な能力を持つ。その能力ゆえに各方面から狙われ、エスタでラグナに救出されたのち、イデアの家や白いSeeDの船などを転々としてきた。レインの最期にラグナが立ち会えるように過去の改変を試みて、スコールたちを何度もラグナたちに"接続"する。

Memorial Words

「過去は変えられないよ。
私、やっとわかった」
── スコールの脳内：過去にもどってリノアを助けたいと考えるスコールに

カーウェイ大佐（フューリー・カーウェイ）

全身画

ガルバディア軍における、事実上の最高権力者。リノアの父親でもあるが、娘とはギクシャクした関係がつづいている。ガルバディア政府が魔女による恐怖政治を進める事態を危惧し、SeeDを実行部隊とした魔女イデアの暗殺計画に協力する。

Memorial Words

「そう……非常にまずい。
が、私の家庭の問題だ。
君たちには関係ない」
── デリングシティ：軍の幹部の娘であるリノアがレジスタンスをしていていいのかと聞かれて

ジュリア（ジュリア・ハーティリー） Julia Heartilly

全身画

ラグナが兵士時代にあこがれていた、女性ピアニスト。ホテルのバーでピアノ弾きをしていたが、のちに歌手に転身。デビュー曲の「アイズ・オン・ミー」が大ヒットし、ガルバディアを代表する歌姫となる。ラグナに想いを寄せていたが、彼が戦地で消息不明になり落ちこんでいたところを励ましてくれたカーウェイにひかれ、やがて結婚。娘リノアをもうけたのち、若くして世を去った。

Memorial Words

「いつもニコニコしながら私のこと見てたでしょ。
あの目、好きよ」
── デリングシティ：ラグナをホテルの自室に招いて

アンジェロ

Sant' Angelo di Roma

Personal Data

性別	メス	年齢	2歳
体高	55cm	誕生日	12月13日

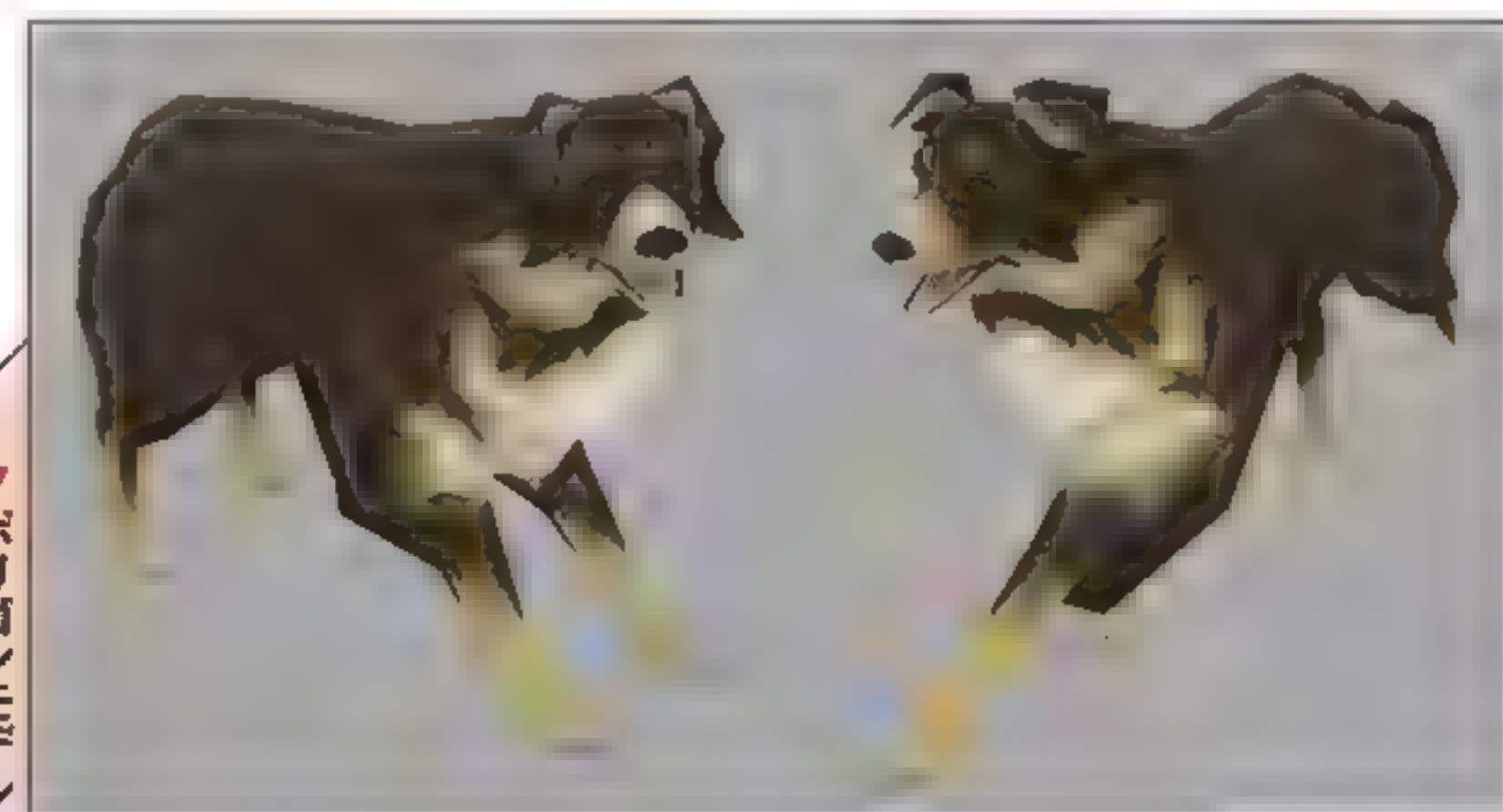
リノアがペットショップでひと目ぼれし、おこづかいをはたいて買ってきた愛犬。甘えん坊で、つねにリノアと行動をともにする。シッポがない、ドッグフードが嫌いでお寿司が好きなど、イヌにしてはちょっと変わりもの。

全身画

ポリゴンモデル

Memorial Feature

リノアのためにバトルでも大活躍

リノアと家族同然のアンジェロは、彼女の特殊技「コンバイン」でも姿を見せる。弾丸のように飛んでいくほか、リノアを乗せて何度も敵に体当たりするなど、身体を張って奮闘。また、リノアに呼び出されなくとも、敵に反撃したりアイテムを探したりと、ご主人様のために頑張る。

ノーグ

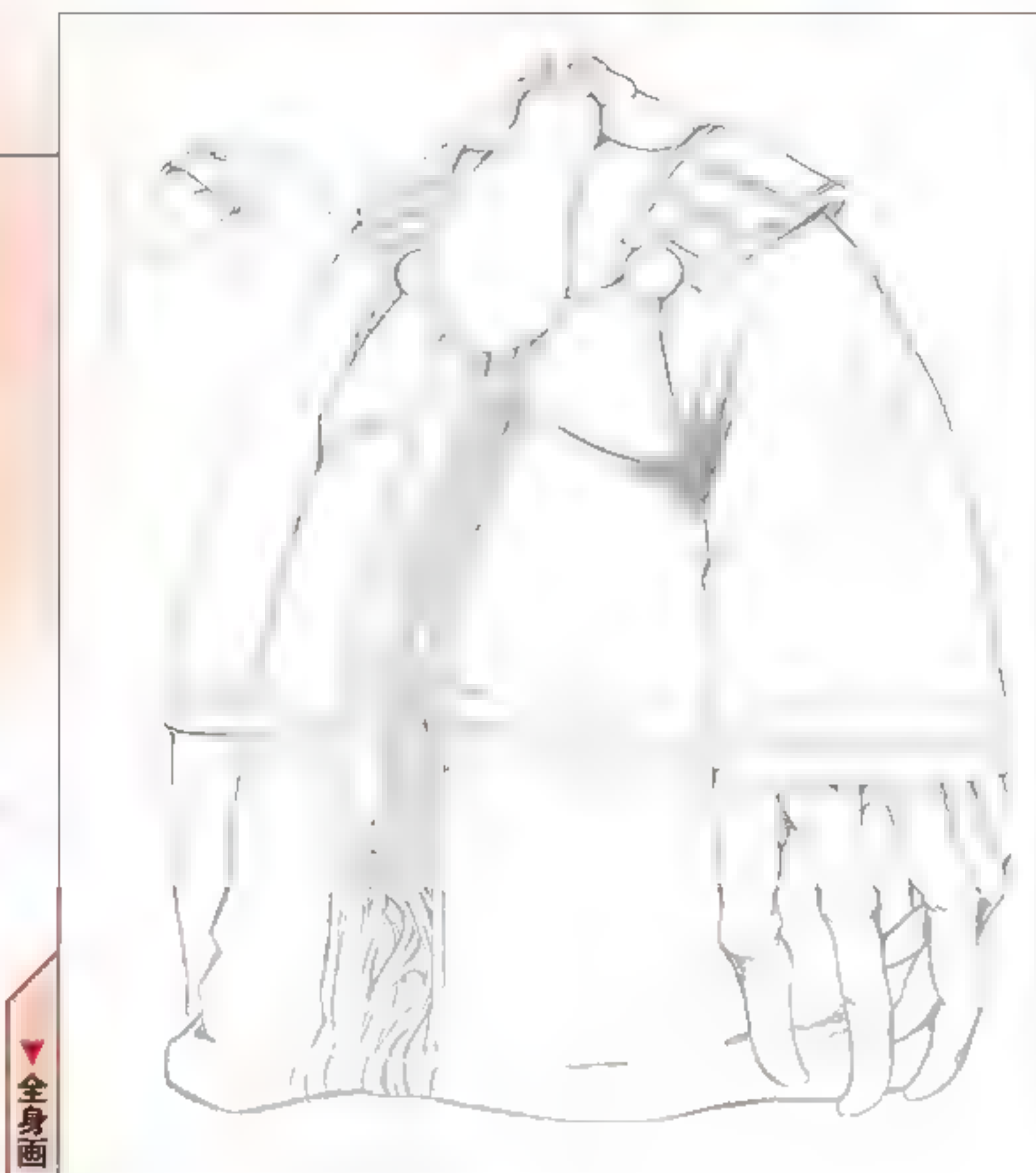
バラムガーデンの経営管理者(マスター)。シドに出資してガーデンの設立を支援したものの、彼の理念には興味がなく、SeeDを利用しての金儲けにのめりこんできた。内面が容姿に反映される「シュミ族」のひとりで、金銭欲にまみれた精神のとおりに、醜い風貌になり果てている。

Memorial Words

「ブジュルルル！
SeeDの・首・差し出して
魔女に・従うふり・
するのだ！」

——バラムガーデン：魔女暗殺失敗の責任をスコールたちにすべて押しつけて

全身画

全身画

ガーデン教師

バラムガーデンの教師たち。大半がノーグに忠誠を誓う「マスター派」で、SeeDを金儲けの商品としか見ていない。そのため、候補生の個性を大切にするシド学園長を見くだしている。

Memorial Words

「どうした！
マスター派か学園長派かと
質問している！」

——バラムガーデン：ガーデンの争乱にとまどうスコールに

ドドンナ

ノーグの手下として、ガルバディアガーデンのマスター兼学園長を務める男。ガーデンが魔女に接収されることを恐れ、独自にくわだてた魔女暗殺作戦をスコールたちに実行させた。作戦失敗後はガーデンを追放され、すべてを失ったのちF.H.に流れ着き、それまでの己を反省する。

全身画

Memorial Words

「私は……私は……
いままでの自分が、
はずかしぃいー!!」

——F.H.：自分を迎え入れてくれた人々の温かみに触れて

オダイン博士

エスタの科学者で、魔法研究の第一人者。研究のことしか頭にない人でなしだが、その才能は折り紙付き。エルオーネの能力に興味を示し、未来において「ジャンクション・マシーン・エルオーネ」を開発する。奇抜な身なりと「〜でおじゃる」というログセが特徴。

Memorial Words

「ほほっ！　オダインの話を
ききたいでおじゃるか？
それはうれしいでおじゃる話すでおじゃる」

——エスタ：ルナティックパンドラについて尋ねたゼルに向かって

全身画

シュミ族

物作りを生涯のたしなみとする一族。トラビア北部の僻地にて、地下深くに作った村で独自の生活を送っている。白い肌と大きな手が特徴で、特定の時期になると、内面に応じた外見になるように肉体が変化していく。一部の者は、かつて村を訪れたラグナと交流を深めて刺激を受けた。

Memorial Words

長老「ラグナ殿は強いエネルギーを
発しているように見えました。
人を引き付ける『何か』です」

——シュミ族の村：ラグナ像を造っている理由を問われ

全身画

ムンバ

シュミ族の最終形態のひとつである、獣のような種族。血をなめることで対象を記憶し、血縁者まで把握できるという能力を持つ。警戒心が強い一方で義理堅く、受けた恩は忘れない。ラグナとは何かと縁があり、エスタの研究所で救われた者や、シュミ族の村で言葉を教わった者がいる。

Memorial Words

「ラグナ！　ラグナ！」

——ガルバディアD地区収容所：スコールがラグナの血縁者だと気づき

FINAL FANTASY VIII
ファイナルファンタジーVIII

WORLD

科学文明が発達しつつも、古代より魔女の力が継承されつづける世界。東の大陸にエスタ、西の大陸にガルバディアという二大国家が存在するが、17年前にエスタが突然の沈黙状態となってからは、ガルバディアが世界の覇権をにぎるべく動きを活発化させている。

1. バラムガーデン
2. 炎の洞窟
3. バラム
4. ドール
5. ティンバー
6. セントラ発掘現場(※1)
7. ガルバディアガーデン
8. デリングシティ
9. 名もなき王の墓
10. ガルバディアD地区収容所
11. ガルバディア軍ミサイル基地
12. F.H.(フィッシャーマンズ・ホライズン)
13. ウィンヒル
14. シュミ族の村
15. セントラ遺跡
16. チョコボの森(初心者の森)
17. チョコボの森(基本の森)
18. チョコボの森(孤独の森)
19. チョコボの森(はぐれの森)
20. チョコボの森(遊びの森)
21. チョコボの森(囲いの森)
22. チョコボの聖域
23. トラビアガーデン
24. イデアの家
25. トラビア渓谷
26. 大塩湖
27. エスタ
28. ルナティックパンドラ研究所
29. ティアーズポイント／ルナティックパンドラ
30. ルナゲート
31. エスタ国立魔女記念館
32. 海洋探査人工島

※1……ラグナ編でのみ訪問可能

バラムガーデン

世界に3校ある全寮制の兵士養成学校「ガーデン」の本校的な存在。風光明媚な島国バラムの東部にあり、スコールをはじめとする20歳までの若者たちが、軍事関連の勉学や訓練に励んでいる。

▶外観

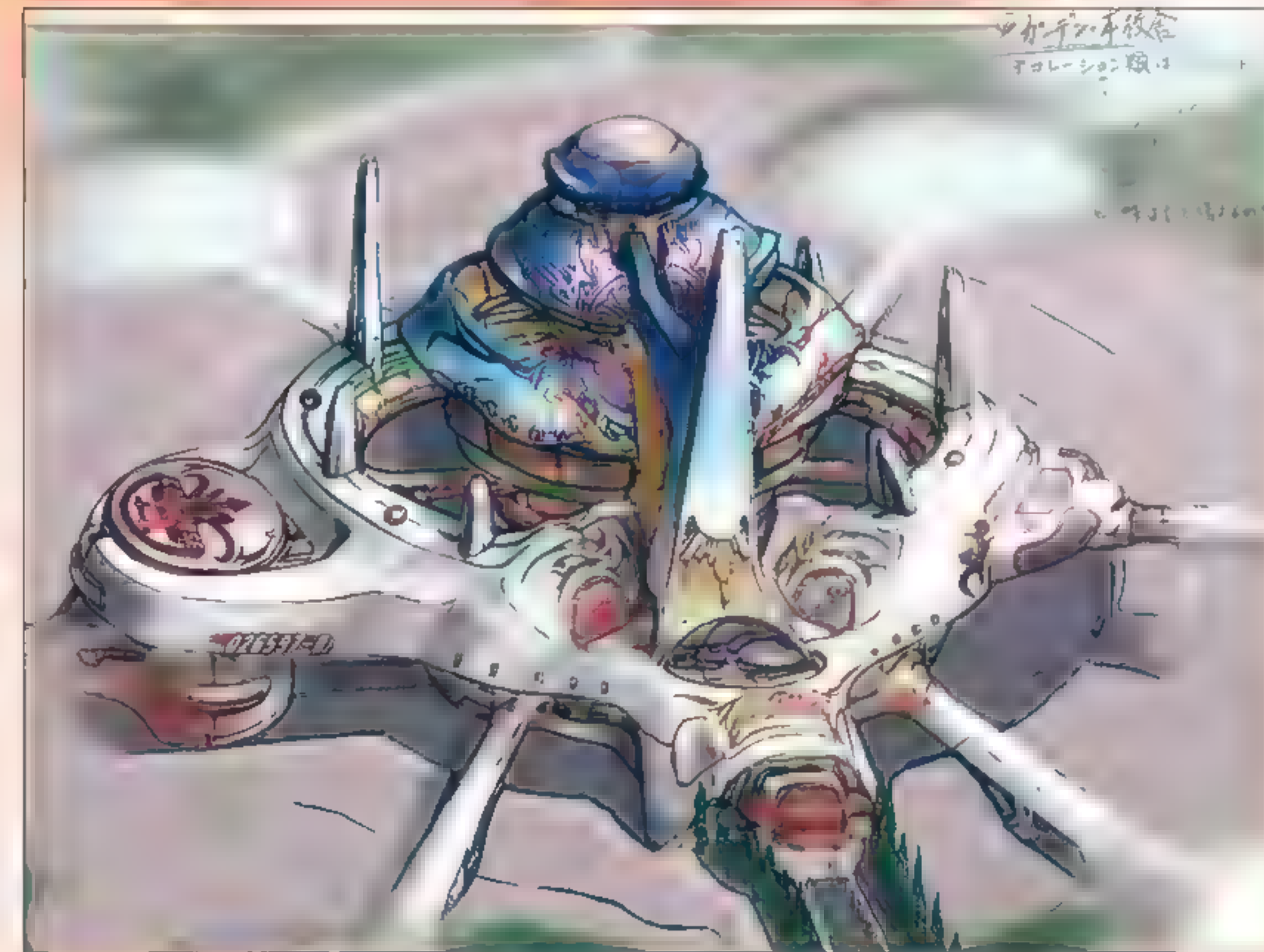
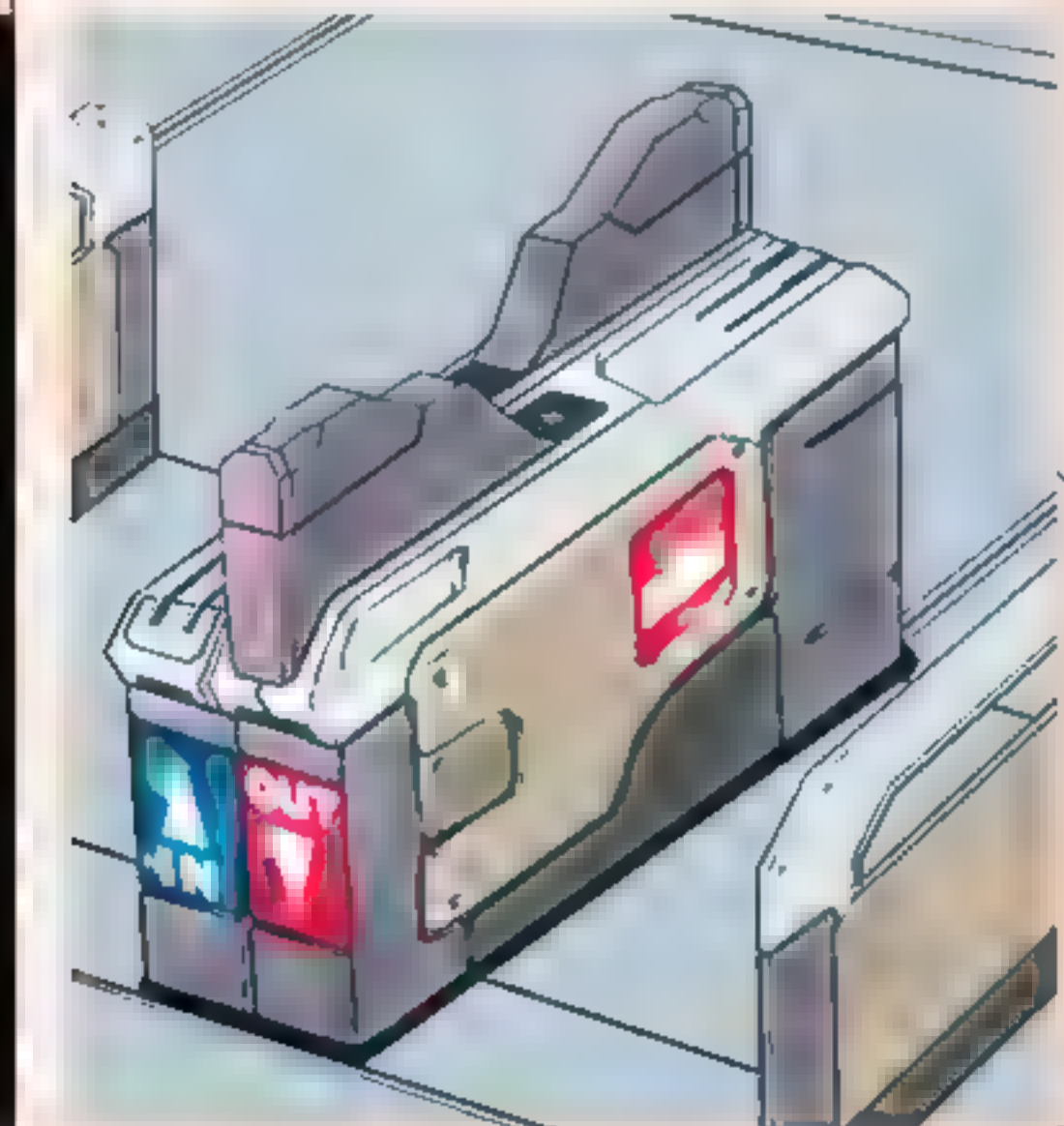
▶夜景

▶俯瞰

▶秘密の場所での会話イメージ

▶上空からの遠景

▶デザイン画

▶正門の像

▶上空のリング

▶正門のカードリーダー

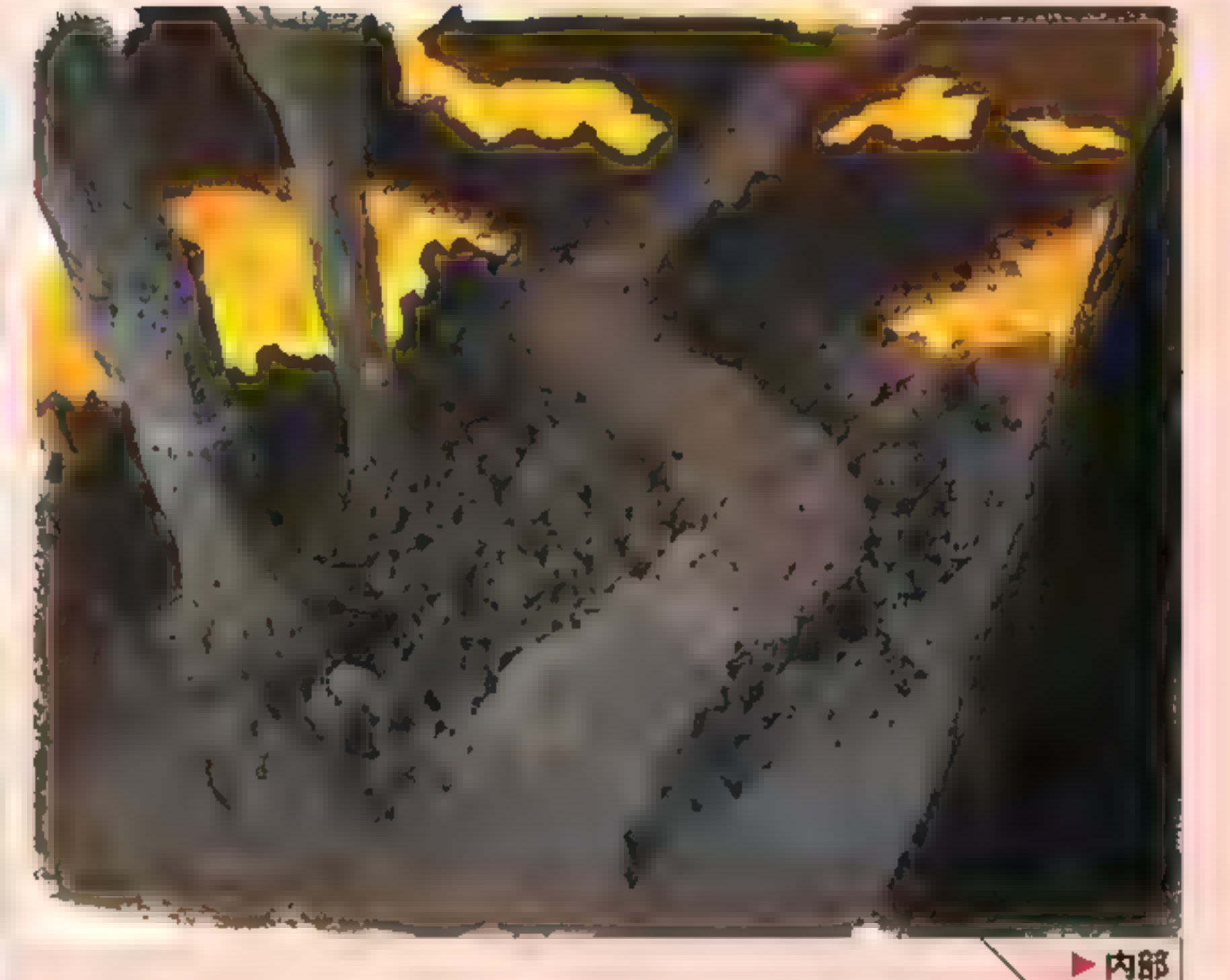
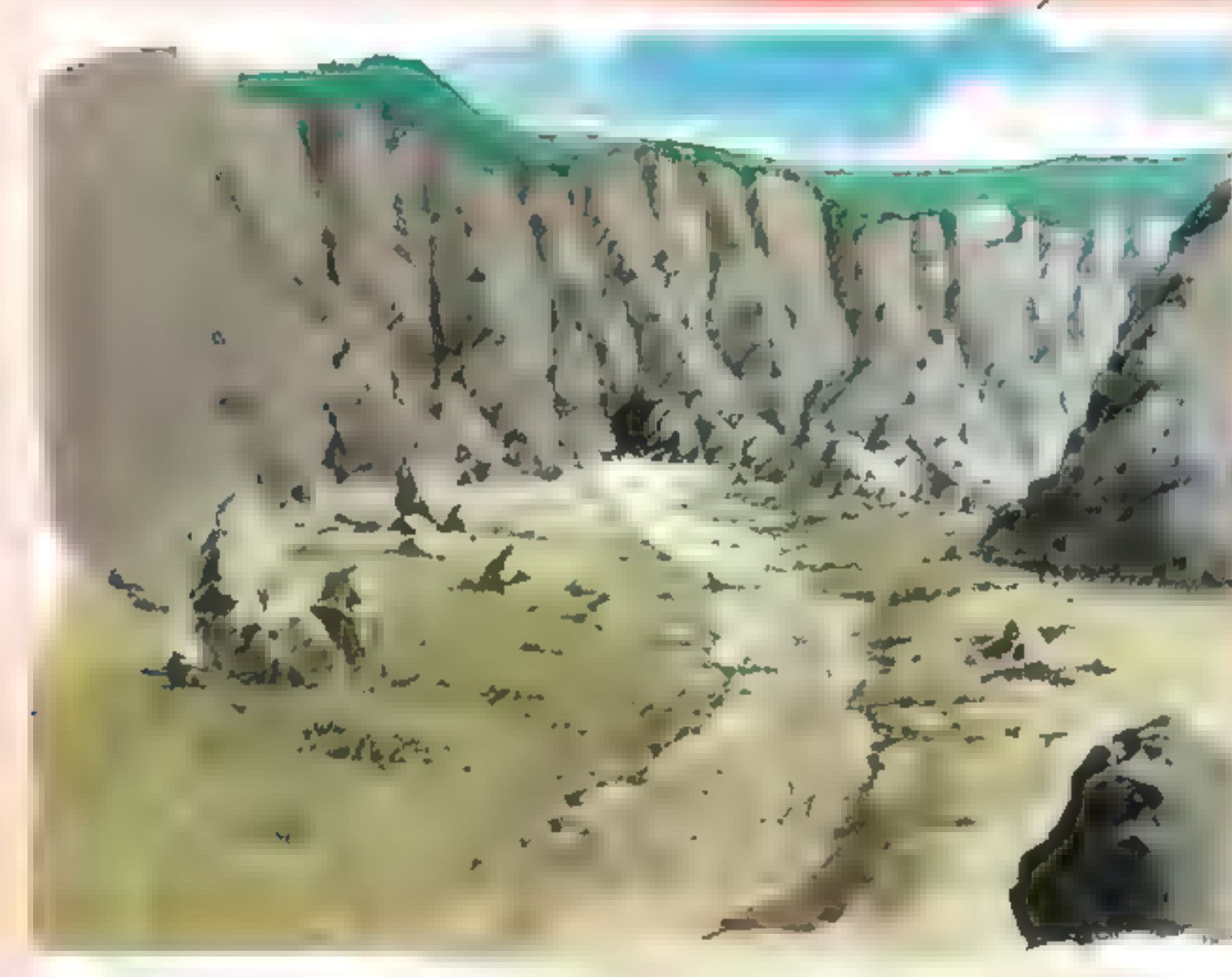
Memorial Feature

ある程度物語が進むと乗り物にもなる

物語の中盤では、セルフィたちの奮闘むなしく、ガルバディア軍の基地からバラムガーデンへ向けてミサイルが発射されてしまう。しかし、スコールたちが地下の動力装置を起動したおかげで、バラムガーデンは校舎全体を浮揚させて移動できるようになり、間一髪でミサイルを回避。以降は、乗り物としても利用されることとなる。

炎の洞窟

バラムガーデンの近くにある洞窟。意思を持つ強大なエネルギー生命体「G.F.」の1体、イフリートの力場が最奥部に存在しており、ガーデンの生徒は課題をこなすためにここを訪れる。

▶入口

▶内部

ドール

西の大陸の海沿いにあるドール公国の中心地。街の周囲を海と山に囲まれ、山頂にはこの世界では珍しい電波塔が立っている。ガルバディアの侵攻を受けたときには、スコールをはじめとするガーデンの傭兵「SeeD」の候補生たちが、実地試験を兼ねて、市街地解放のために派遣された。

▶全景

▶編集部

ティンバー

西の大陸の東部に位置する都市。18年前にガルバディアに武力制圧されたため、リノアが所属する森のフクロウなど、レジスタンス組織が多数存在する。また、テレビ局のほか、世界的に有名な出版社のティンバー・マニアックス社といったメディア関連の会社も多い。

▶ホテルフロント

▶パブ

▶アジト列車

▶大統領列車

ガルバディアガーデン

ガーデン3校では最大規模を誇る学園。ガルバディア政府とのつながりが強く、軍の機動兵器なども多数導入されている。物語の中盤では移動も可能となり、バラムガーデンと空中戦をくり広げた。

▶外観

名もなき王の墓

古代の王が埋葬された墳墓。王の棺の間は堀に囲まれた場所にあり、水車の仕掛けを動かして橋を架けなければたどり着けないうえ、G.F のミノタウロスとセクレトの兄弟に守られている。

▶水車部屋

▶王の棺の間

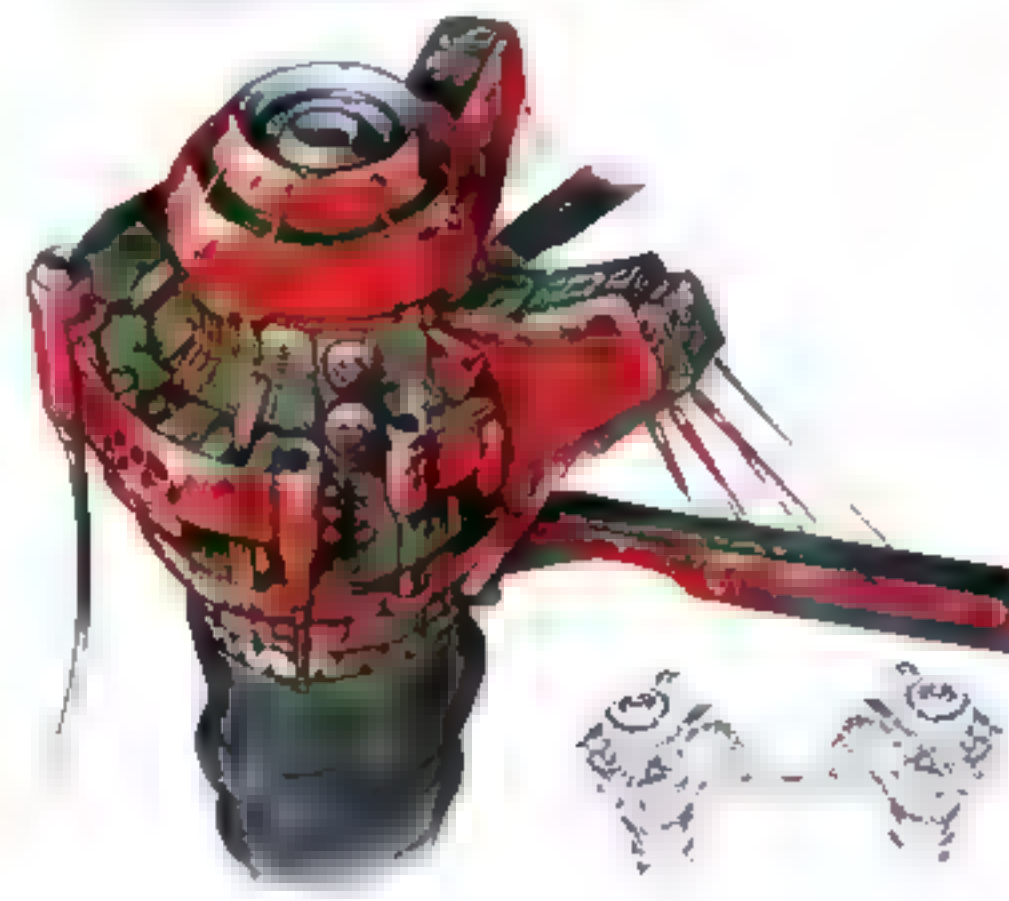
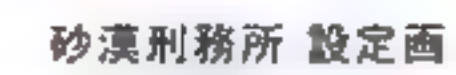
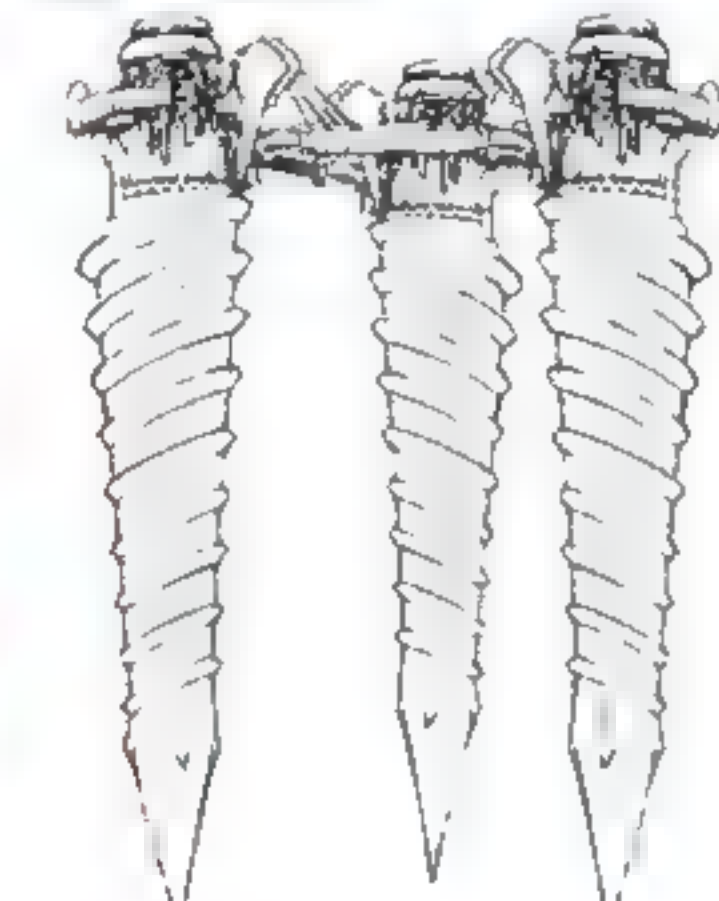
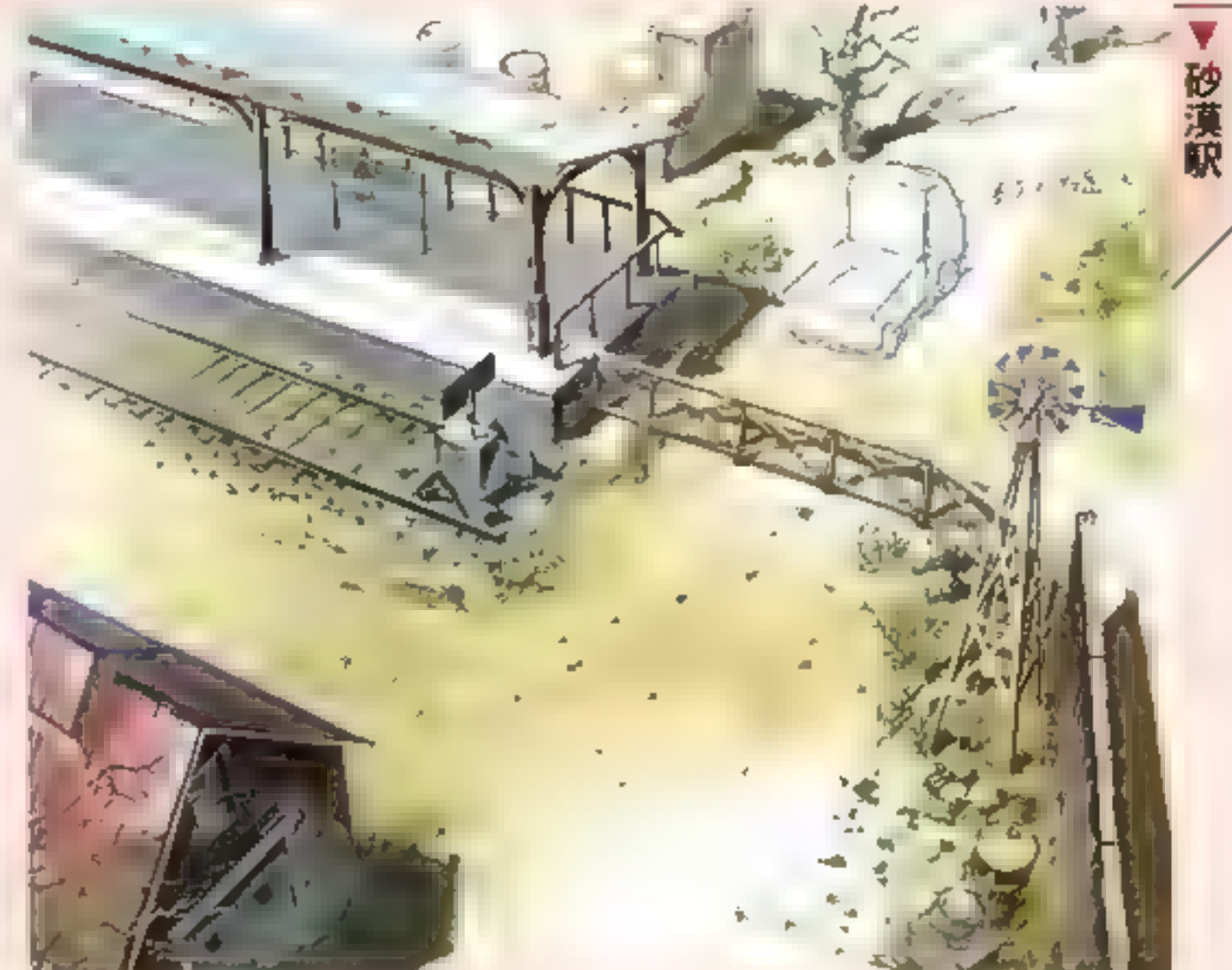
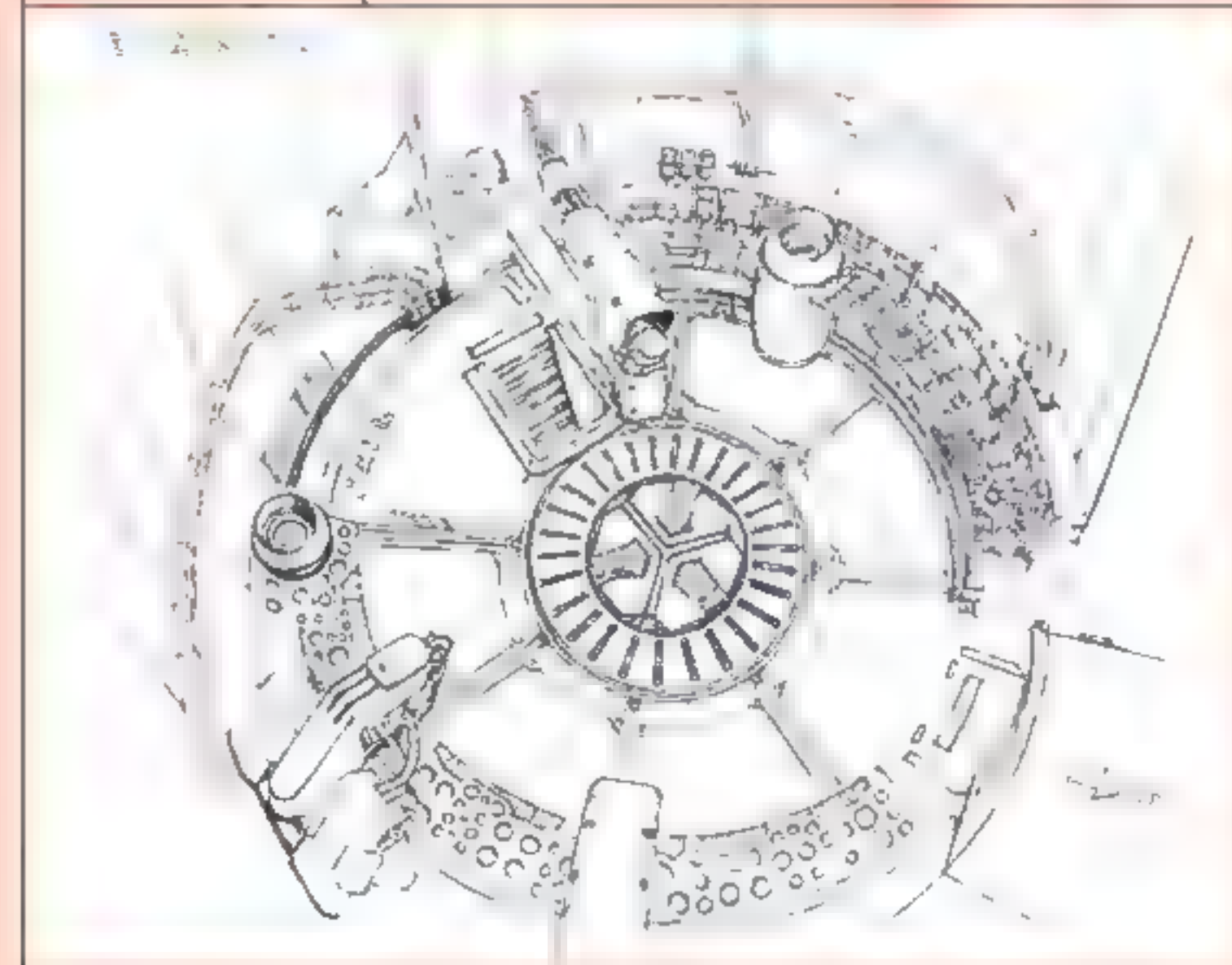
デリングシティ

独裁国家ガルバディアの首都。凱旋門を中心にして放射状に道路が伸び、無料バスが街中を循環している。物語の前半では魔女イデアのパレードが行なわれ、幻想的な光の演出に街が彩られた。

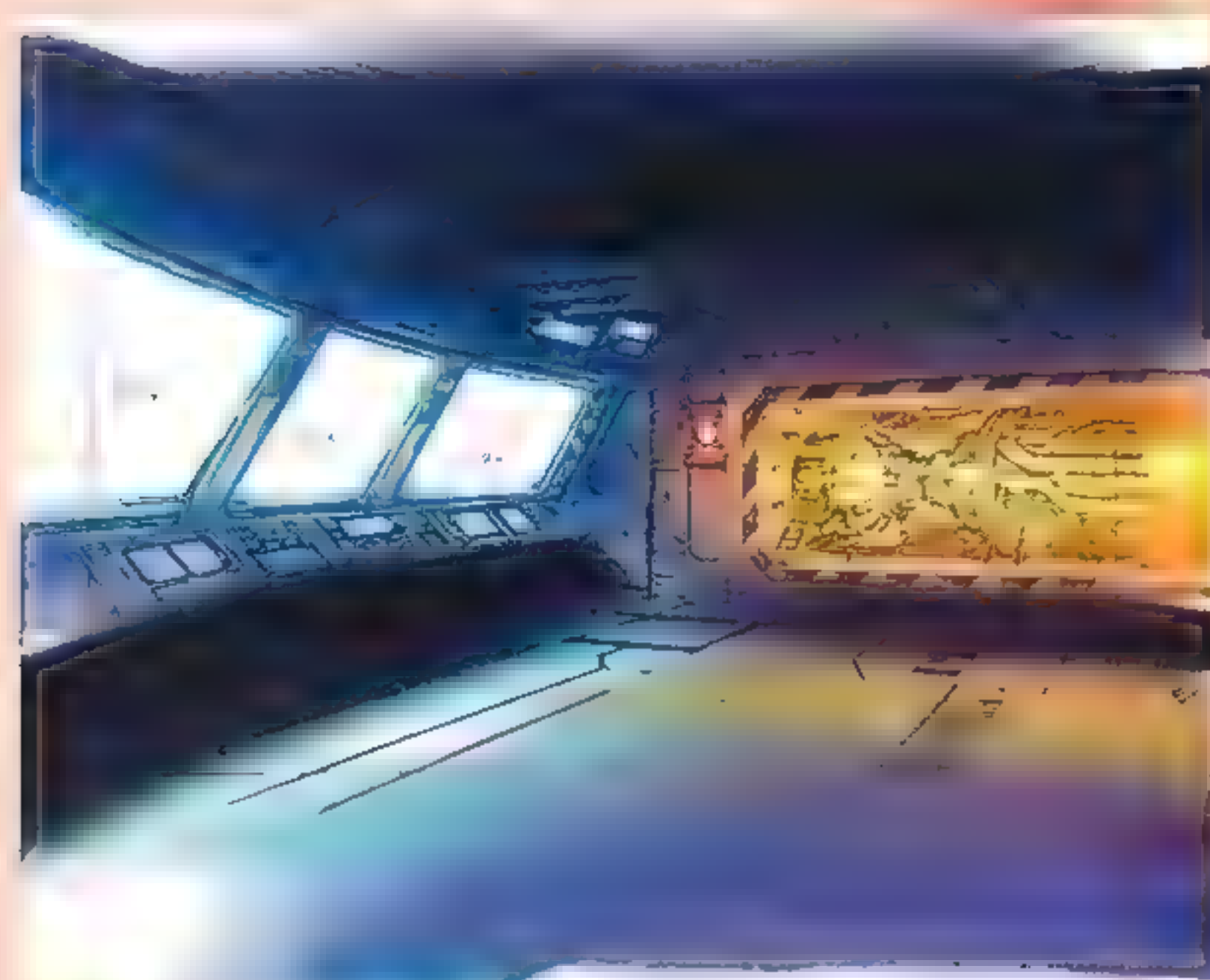
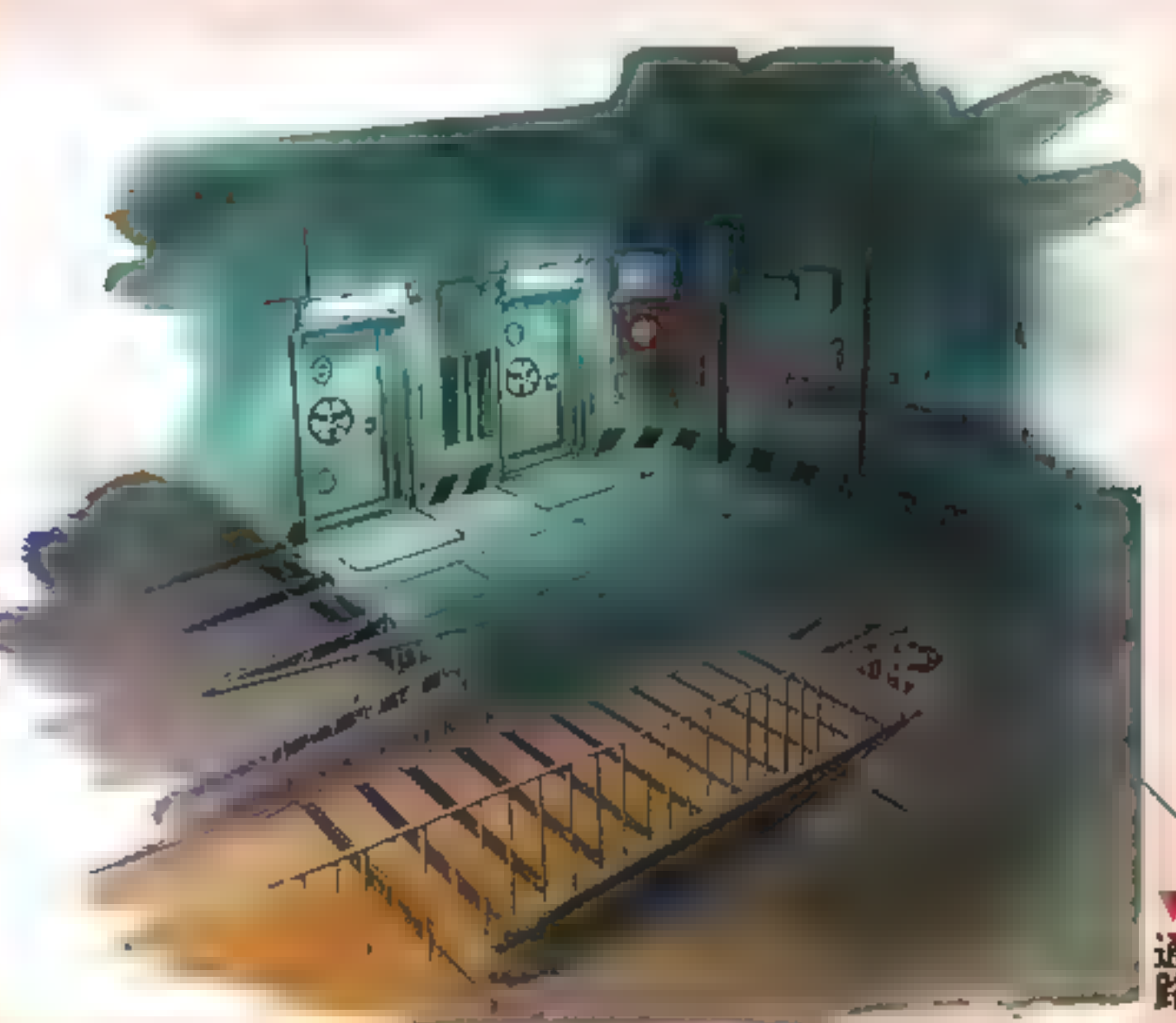
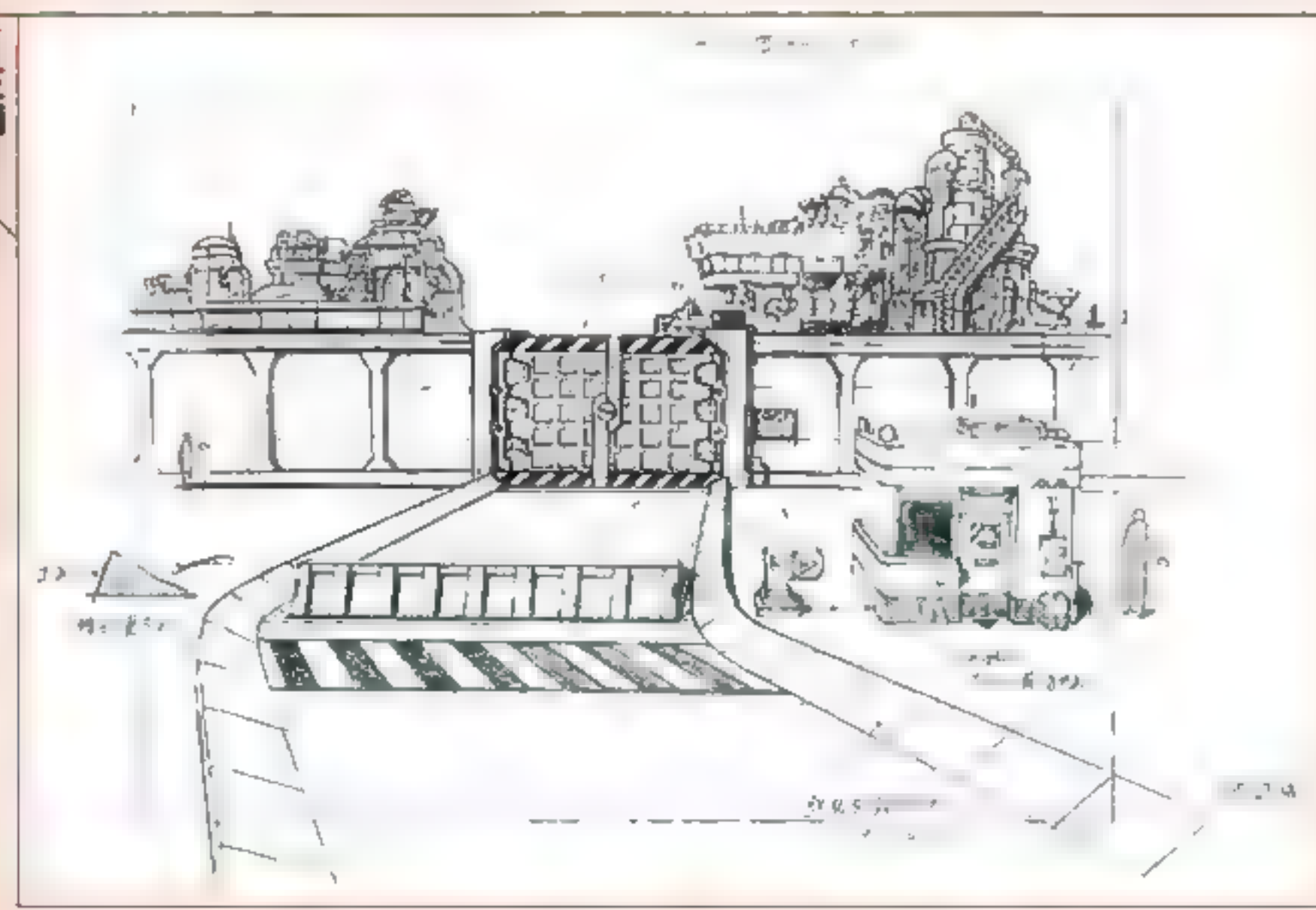
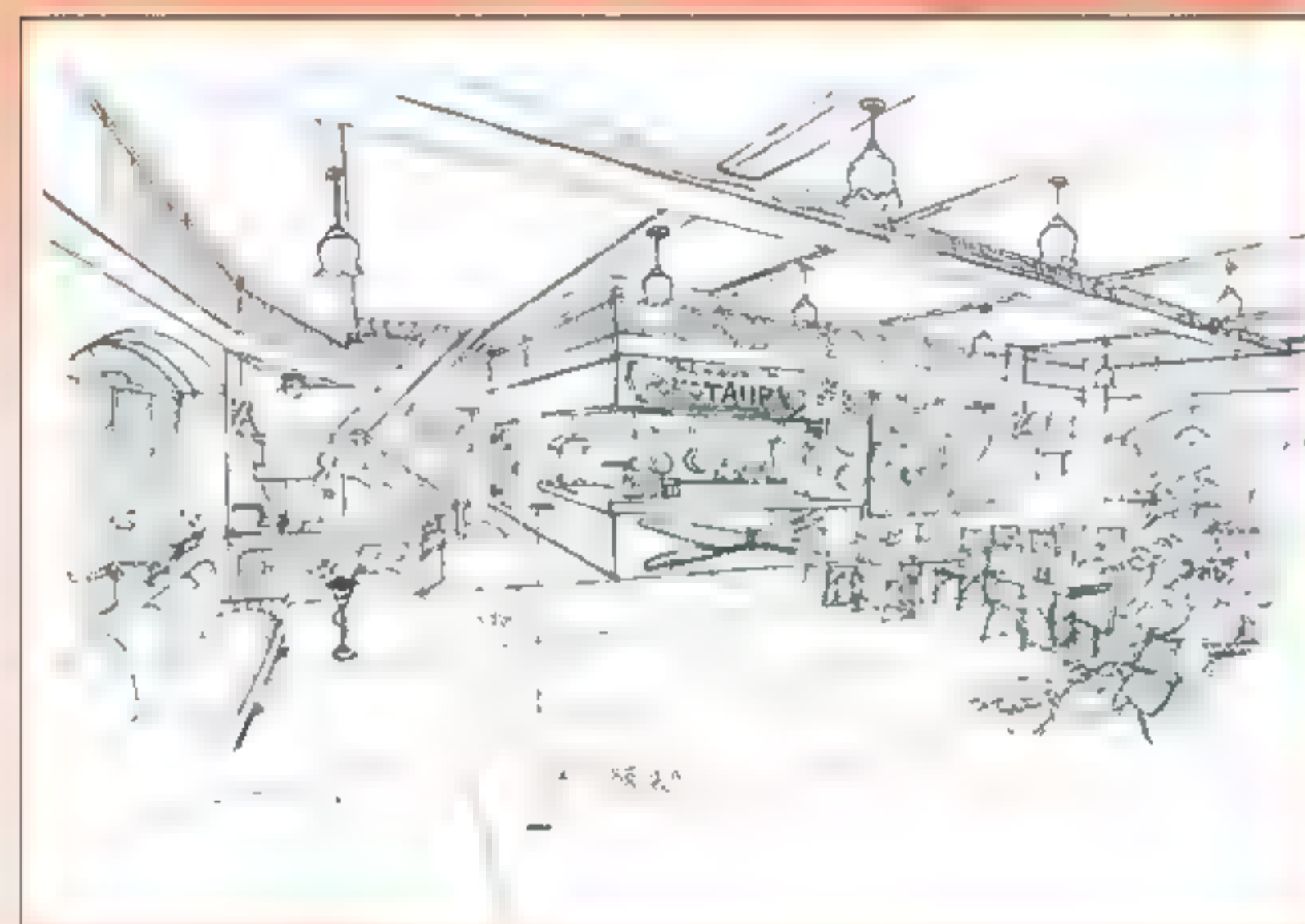
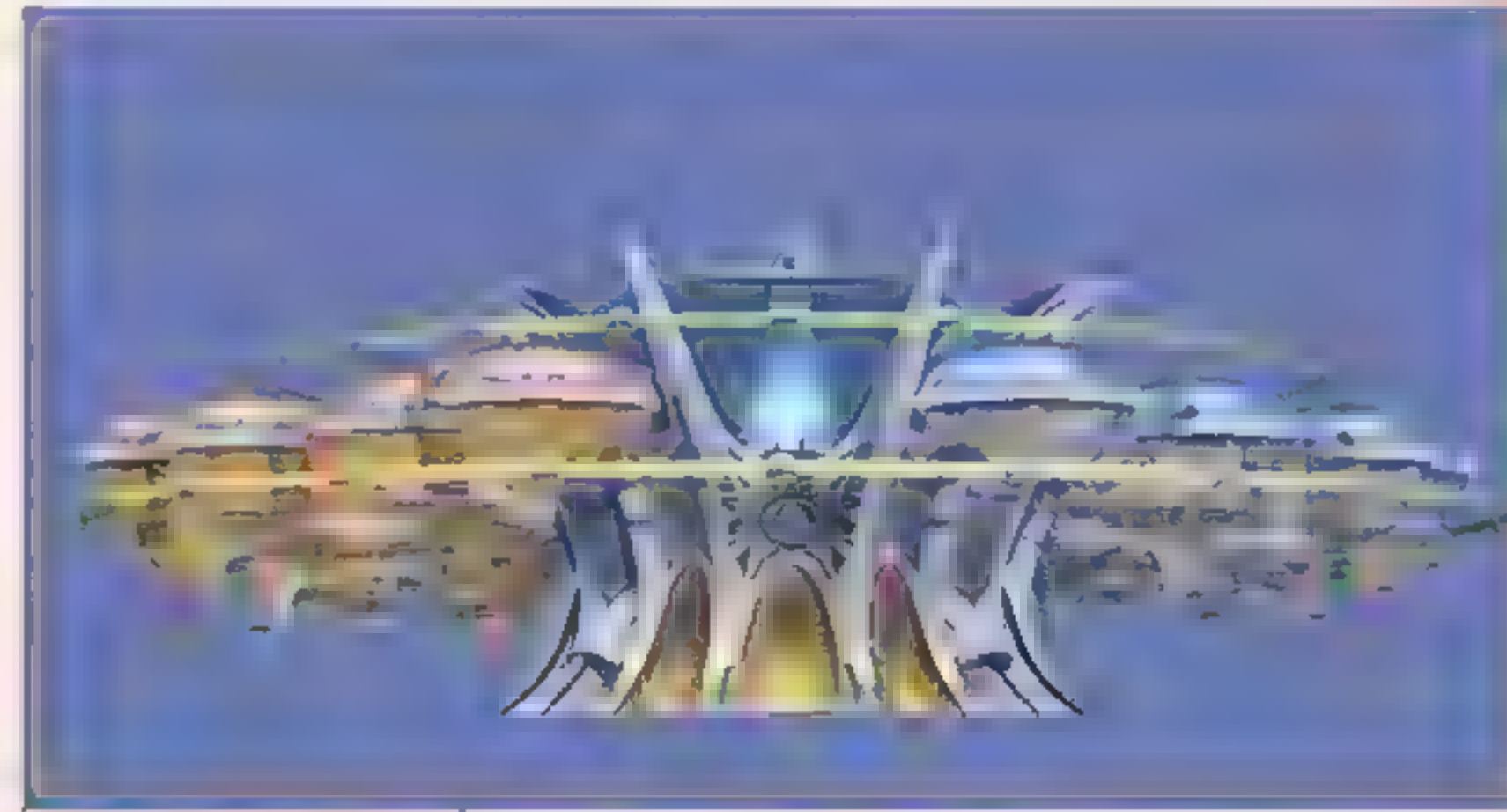
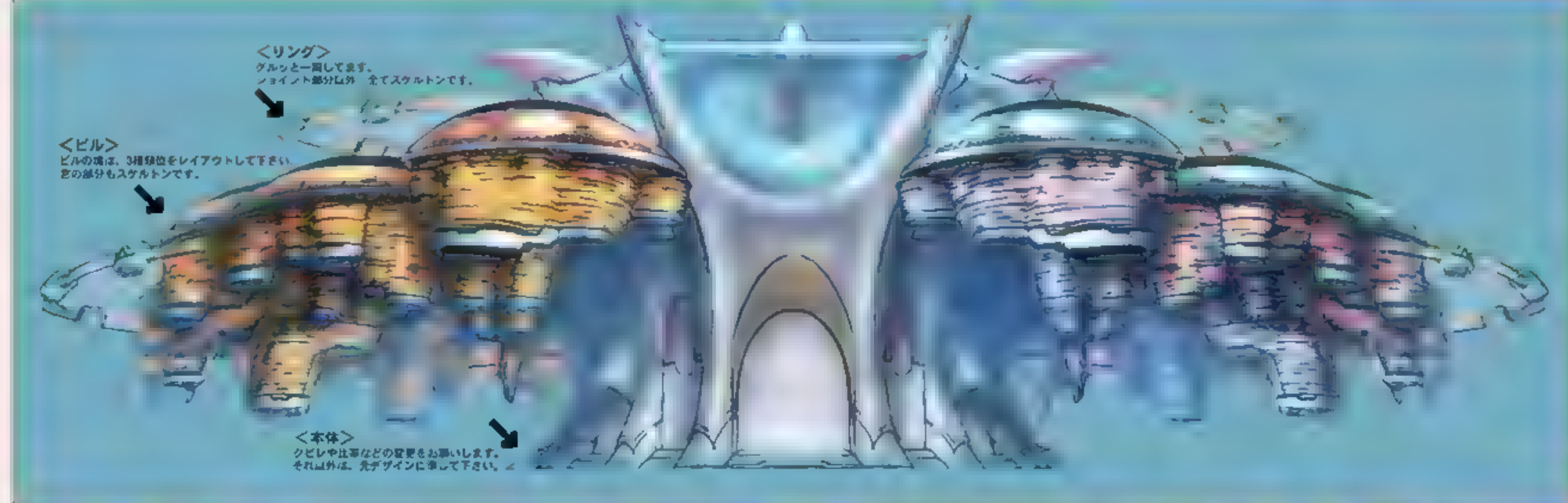
▶大統領官邸

▶パレードカー

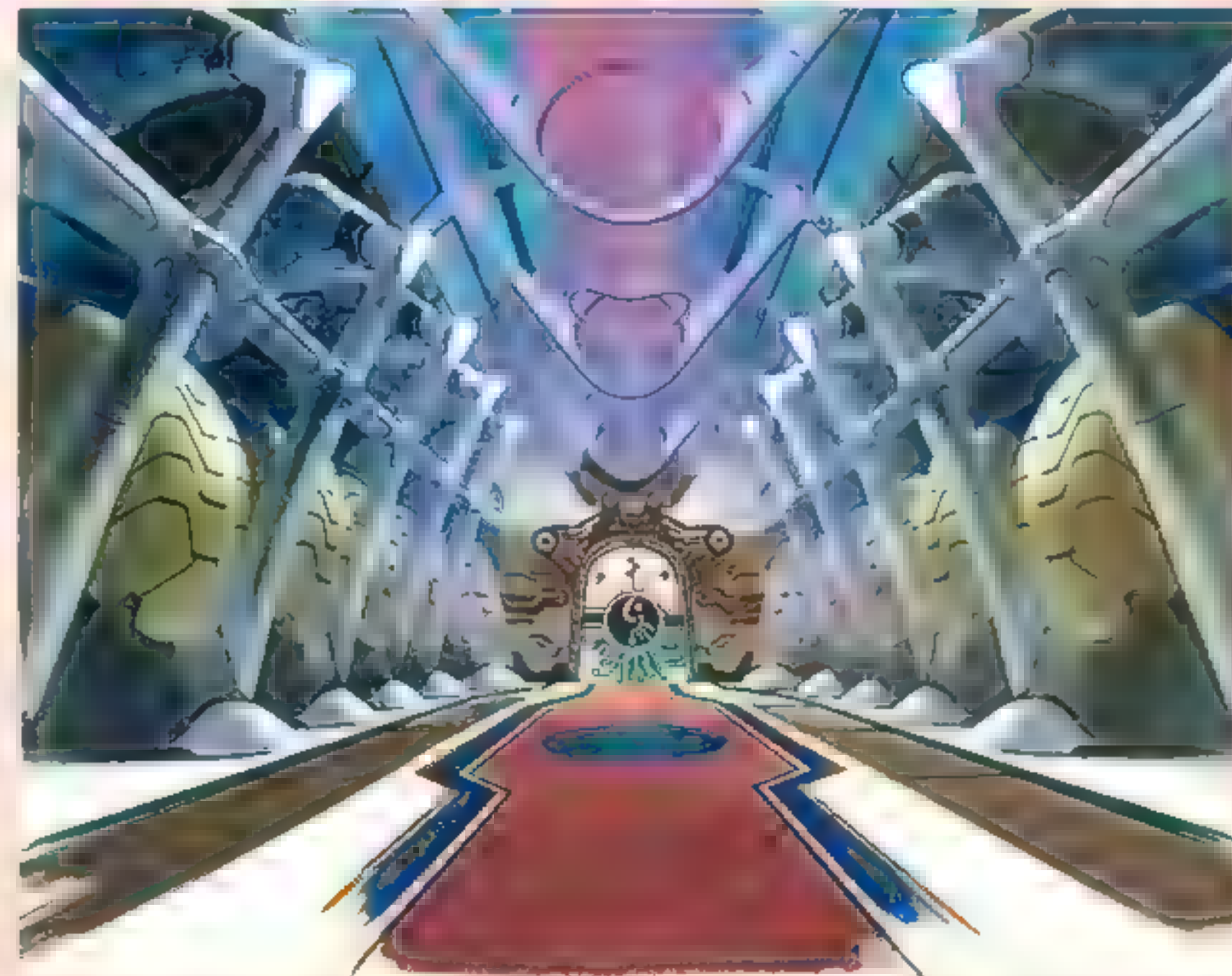
ガルバディア D地区収容所

ガルバディアの独裁政治を批判する人々を投獄するために、広大な砂漠地帯に建造された刑務所。ふだんは、ドリル状の脚部を使って砂中深く潜行することで、脱獄を防いでいる。

▼外観

▶フロア15

▼砂漠駅

ガルバディア軍ミサイル基地

ガルバディア軍が保有する長距離ミサイルの発射基地。西の大陸のほぼ西端にあるが、ミサイルの射程は東の大陸の北部に位置するトラビア地方にまでおよぶほどで、トラビアガーデンはこの基地からのミサイル攻撃によって校舎が半壊してしまった。

▼正門

▶変電室

▼通路

ウィンヒル

西の大陸南部の、大陸横断鉄道の路線から遠くはずれた僻地にある小さな村。ラグナは軍を退役したあとの一時期、この村でレインやエルオーネとともに幸せに暮らしていた。

▶ホテルフロント

エスタ

東の大陸に存在する超大国の首都。高度な科学技術の粋を集めた理想郷とも言える大都市で、未来的な高層建築が建ち並ぶなかに通行用パイプや高架道路が張りめぐらされている。

▶官邸(決定稿)

▶未採用マップ

▶官邸(初期デザイン)

▶魔法研究所ロビー

▶研究室

ティアーズポイント

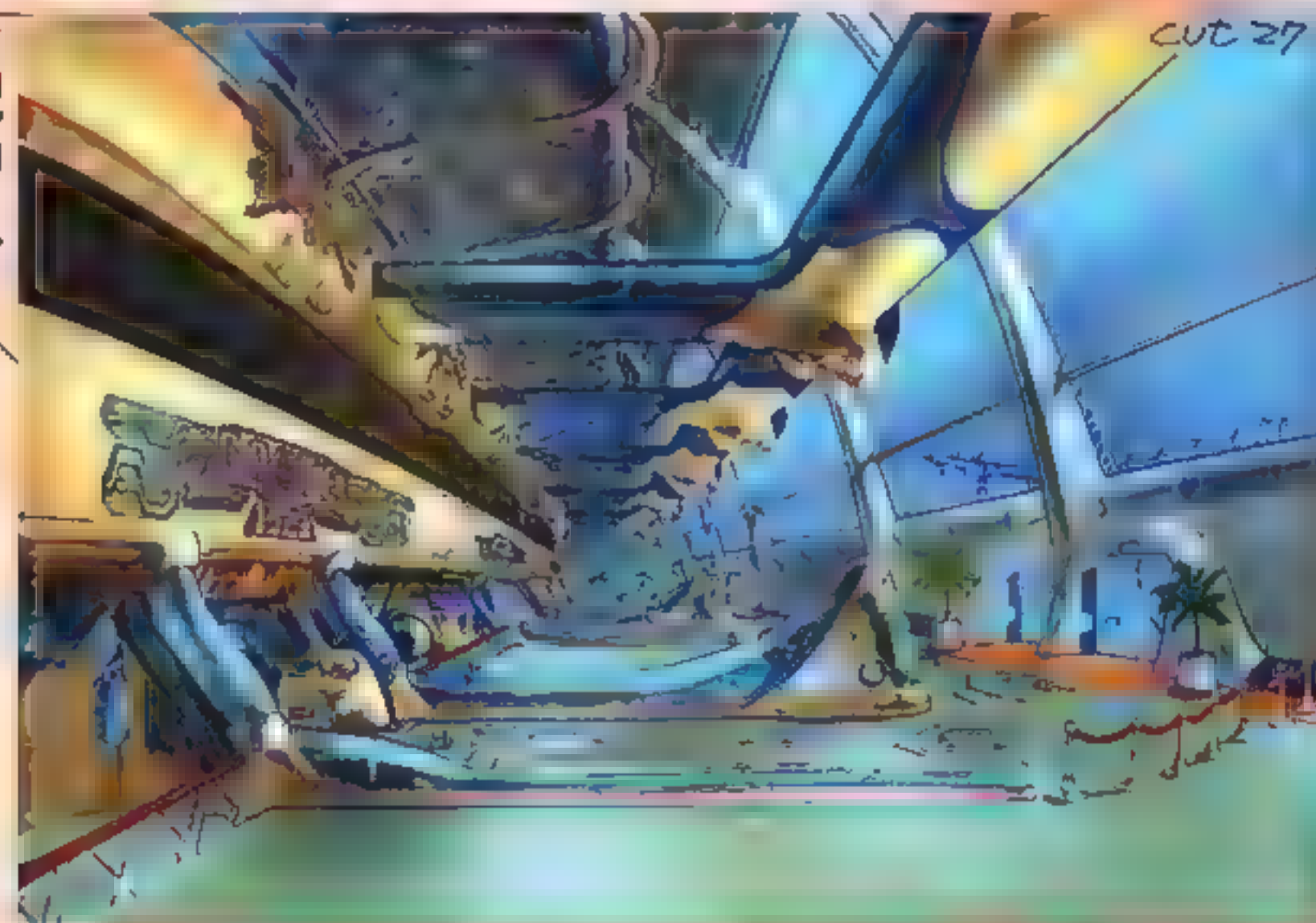
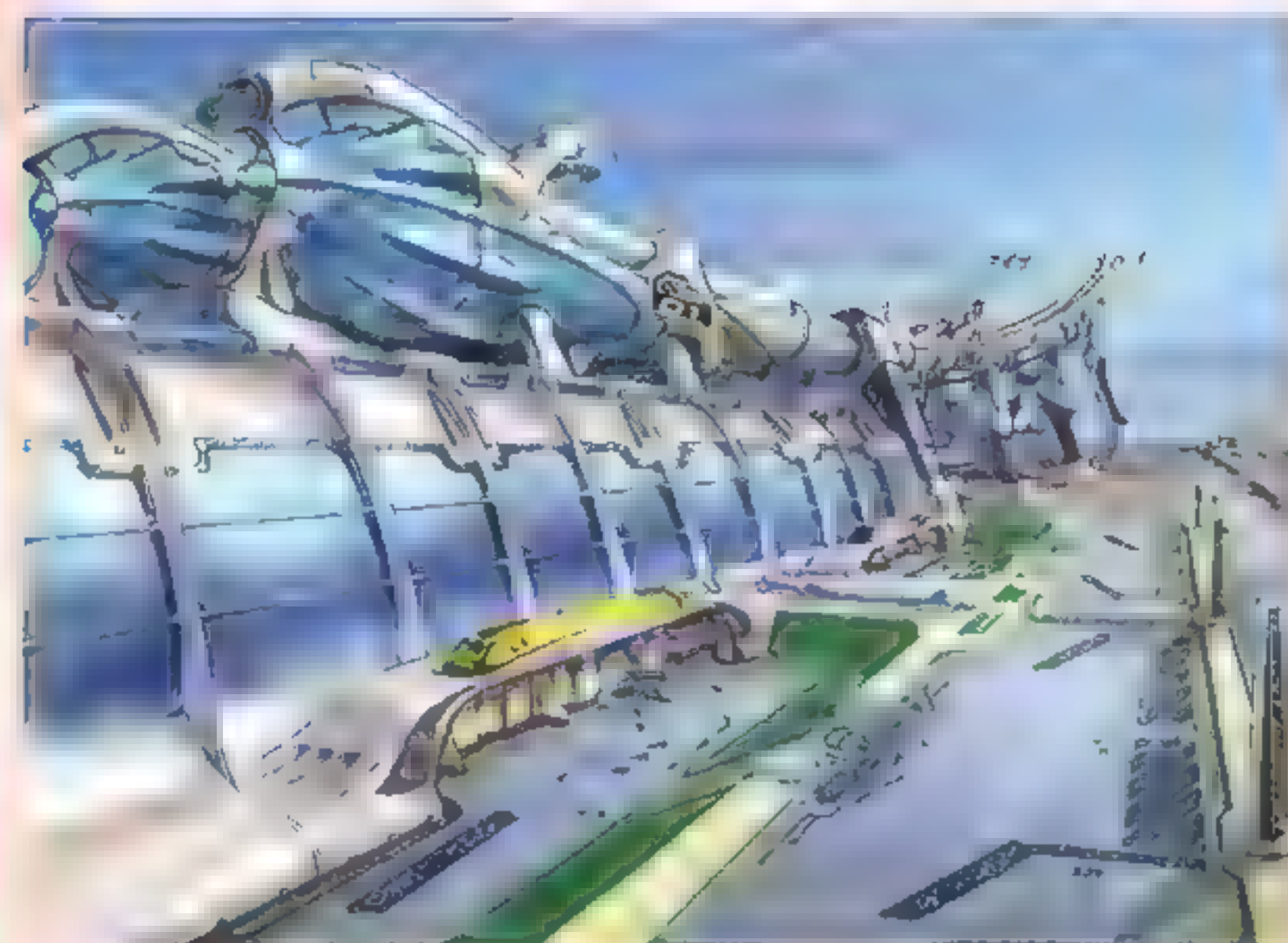
月のモンスターに影響をおよぼす結晶物質「大石柱」の作用が最大となる地点。大石柱が格納されたルナティックパンドラがこの地点に到達すると、月から地上へのモンスター降下現象「月の涙」が起こる。

▼中心部に鎮座する巨像

▼「月の涙」イメージイラスト

ルナゲート

巨大なチューブでカプセルを射出し、宇宙空間に資材や人員を送り出すための施設。スコールとリノアは宇宙ステーション「ルナサイドベース」にいるエルオーネに会うため、ここから宇宙へ射出された。

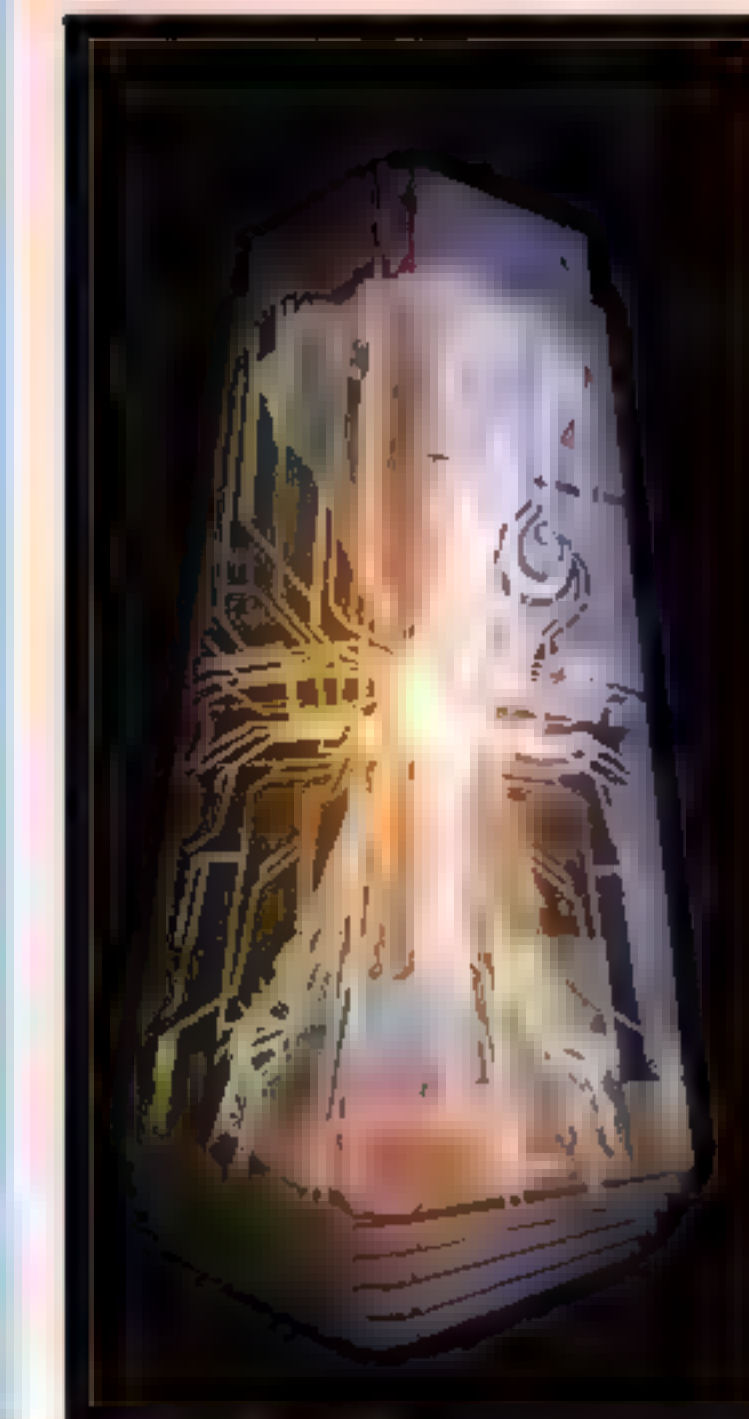
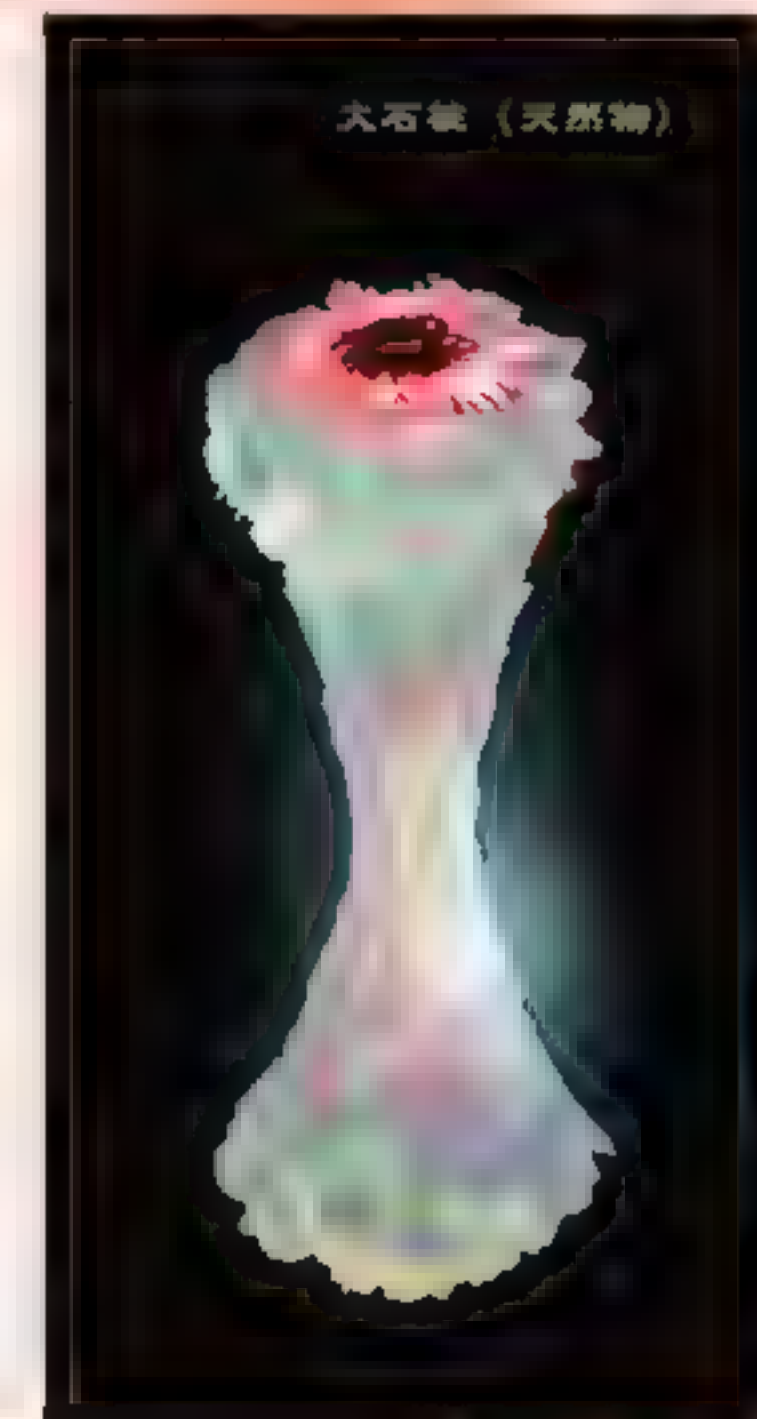
▼コンコース

▼入口

▼フリージングルーム

▼カプセル発射装置

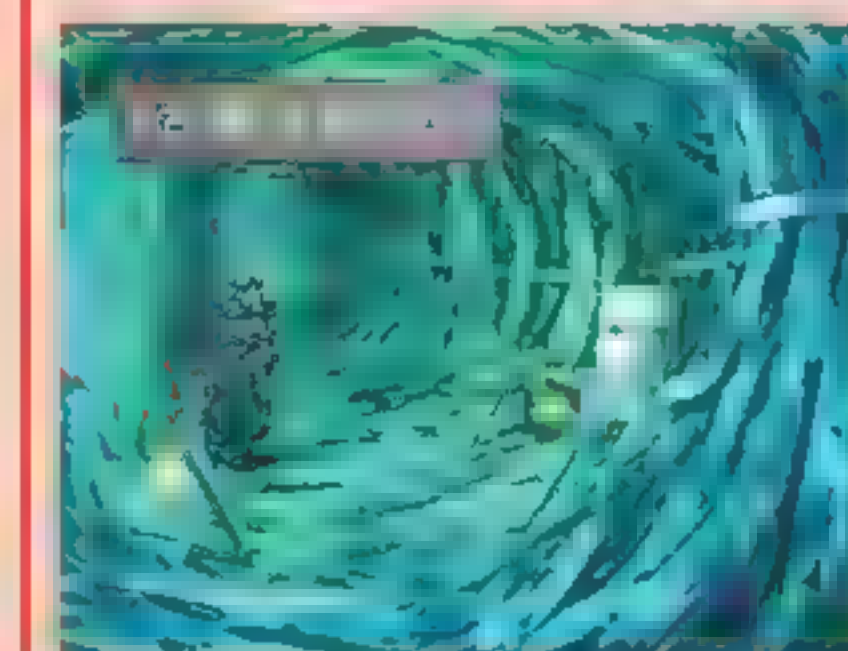
ルナティックパンドラ

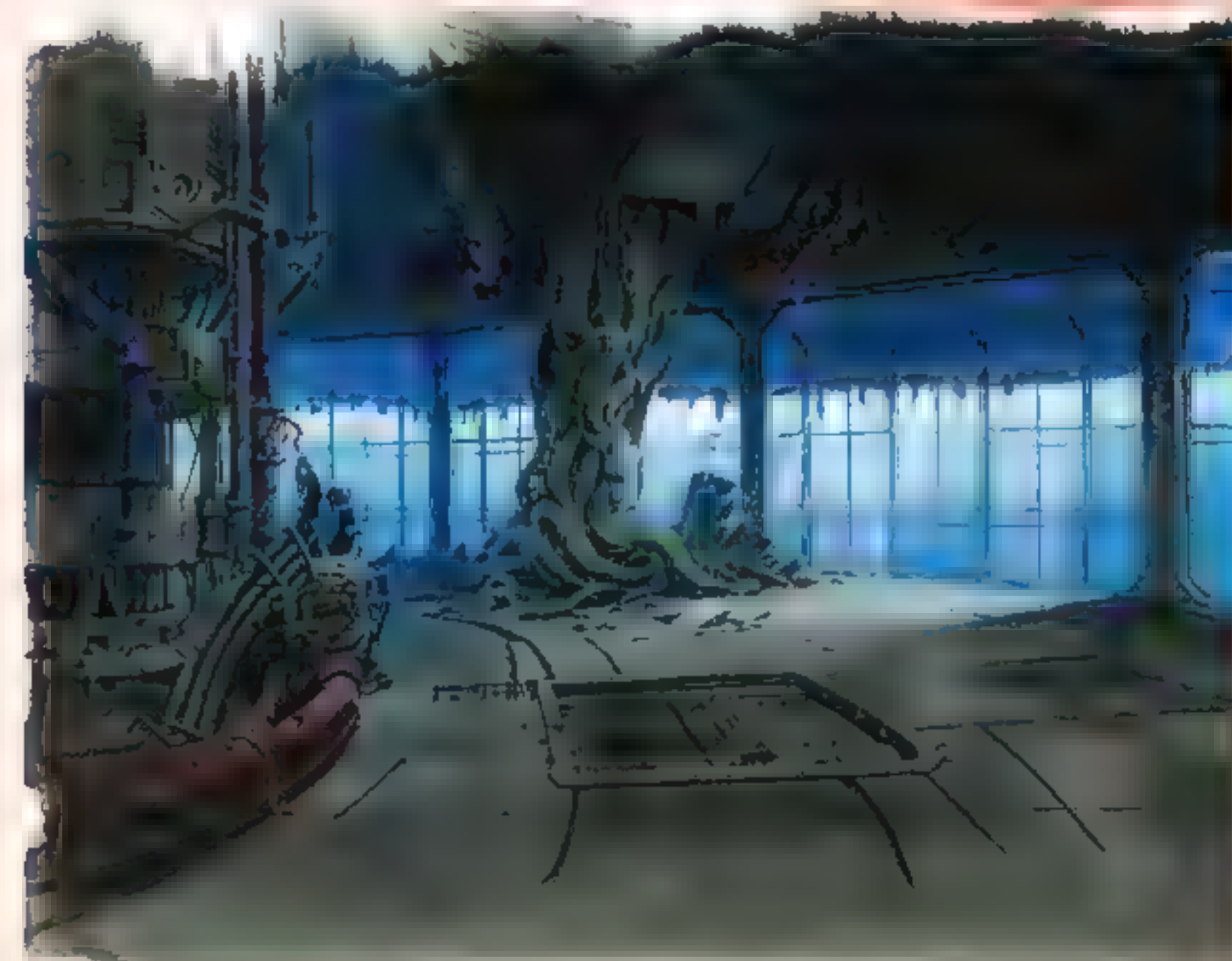
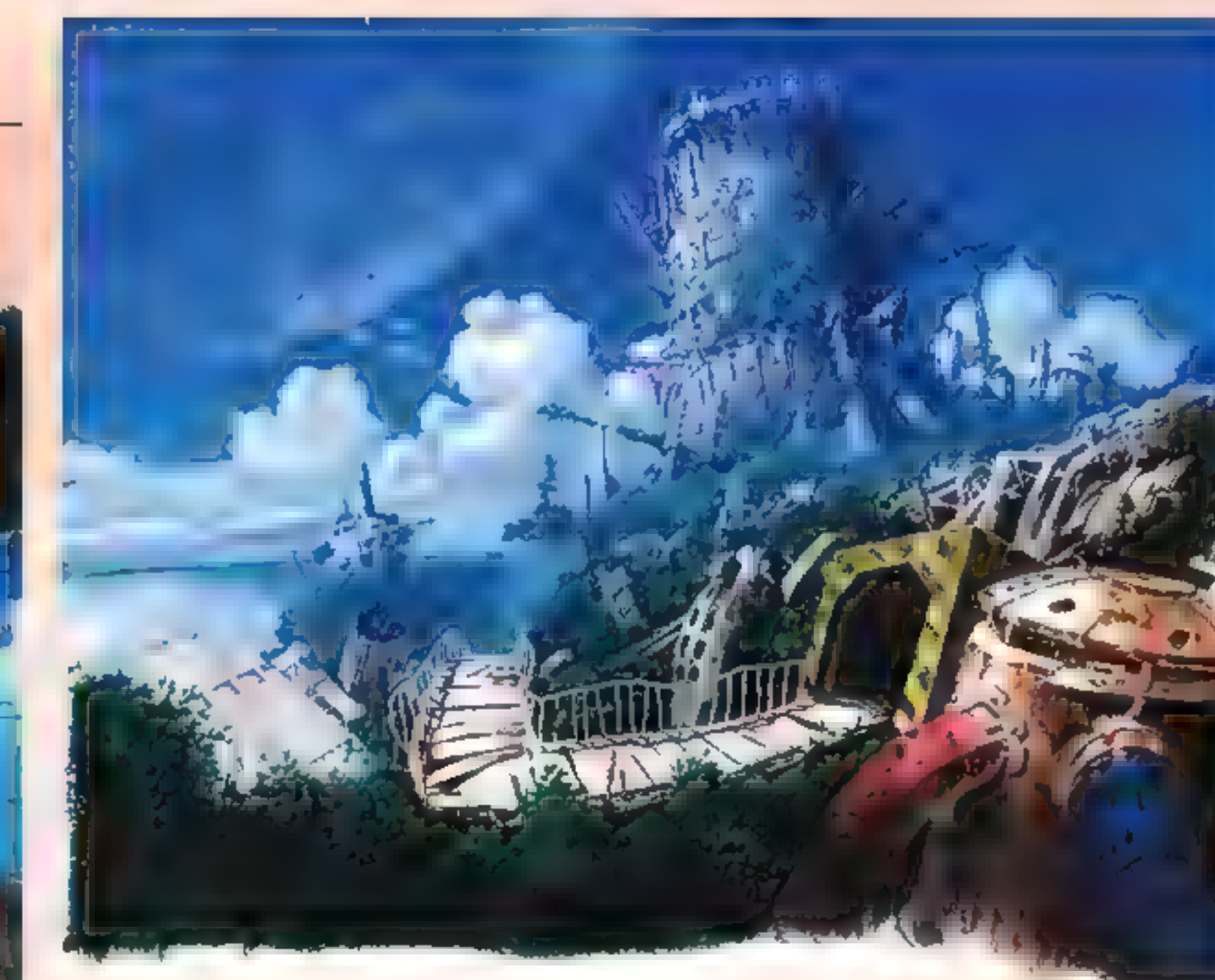
かつて、エスタのオダイン博士の指示のもとに建造された、巨大な柱のような形をした浮遊要塞。「月の涙」を引き起こす「大石柱」が格納されており、自力でティアーズポイントまで移動する。

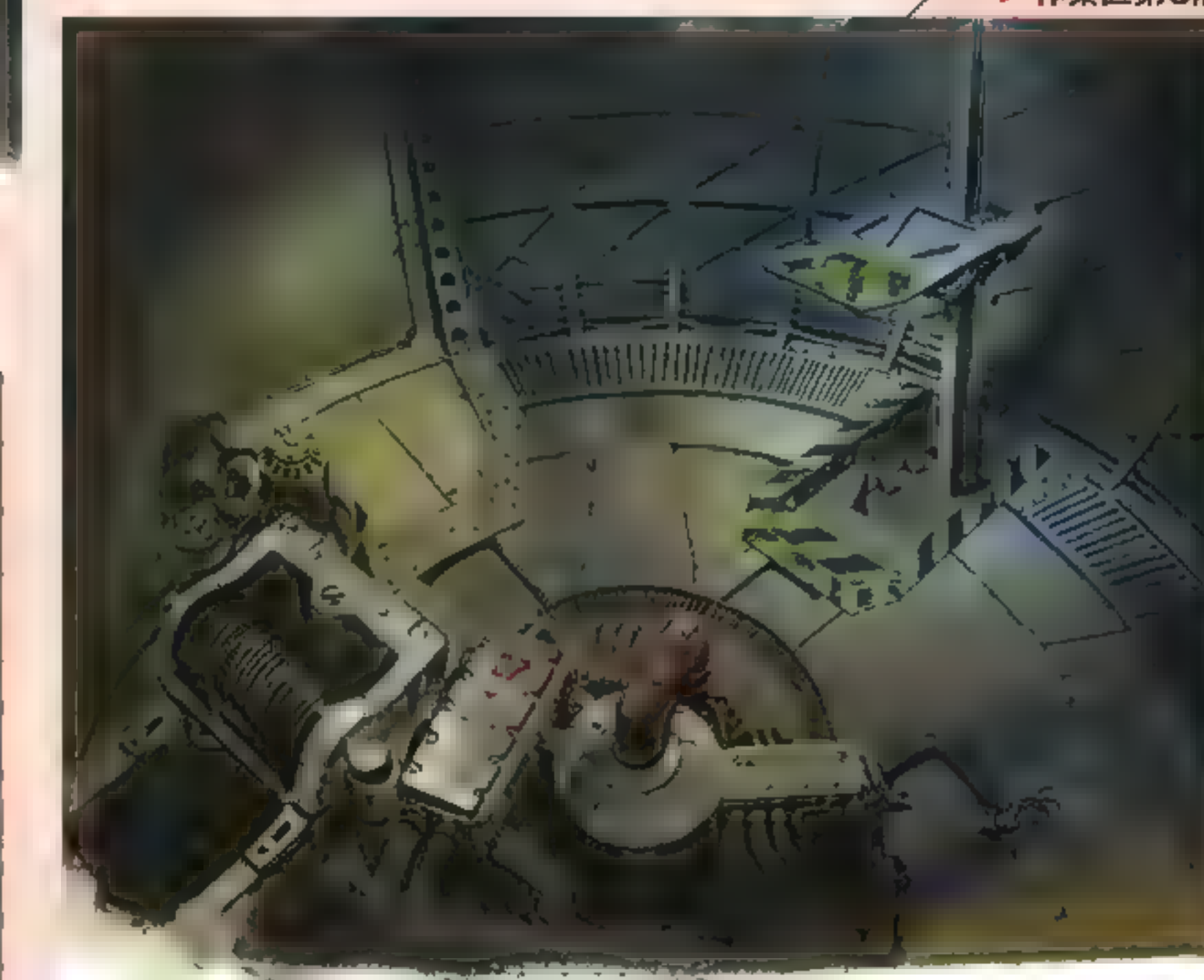
▶正面

▶全体

▶大石柱

Memorial Feature

ラグナ編での行動がスコール編に影響を与える

ラグナ編では、セントラ発掘現場で巨大な結晶体の内部を探索する。この結晶体はのちにルナティックパンドラ内部に格納される「大石柱」で、ここで古い鍵を拾ったり岩を転がして穴をふさいだりしておくと、物語の終盤でスコールたちがルナティックパンドラを訪れたときに、貴重なアイテムを入手することができるのだ。

海洋探査人工島

西の大陸からはるか南西の洋上に浮かぶ、エネルギー探査用の移動式研究施設。別名「軍艦島」とも呼ばれ、最下層はかつて発掘調査を行なっていた「大海のよどみ」へとつながっている。

▶作業区第1層

▶入口

▶作業区第6層

Memorial Feature

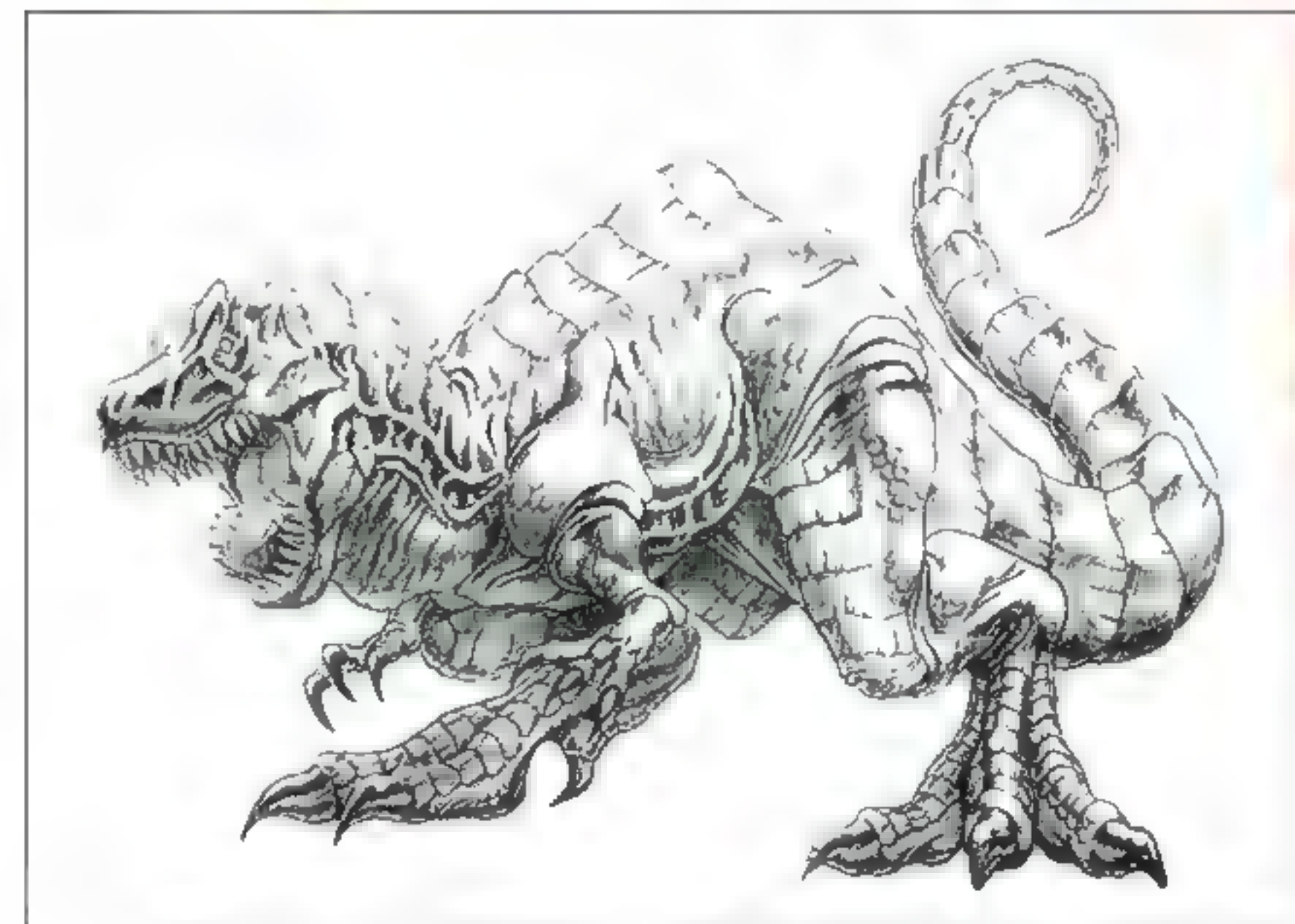
予備蒸気圧を配分して地下深くへもぐっていく

海洋探査人工島の地下は全6層構造で、各層へ移動するには、予備蒸気圧を必要な量だけ消費して扉のロックを解除していく必要がある。予備蒸気圧をうまく配分できれば、最下層から大海のよどみへ行き、アルテマウェポンと対戦可能。しかも、そのバトル中には最強のG.F.エデンをドローできる。

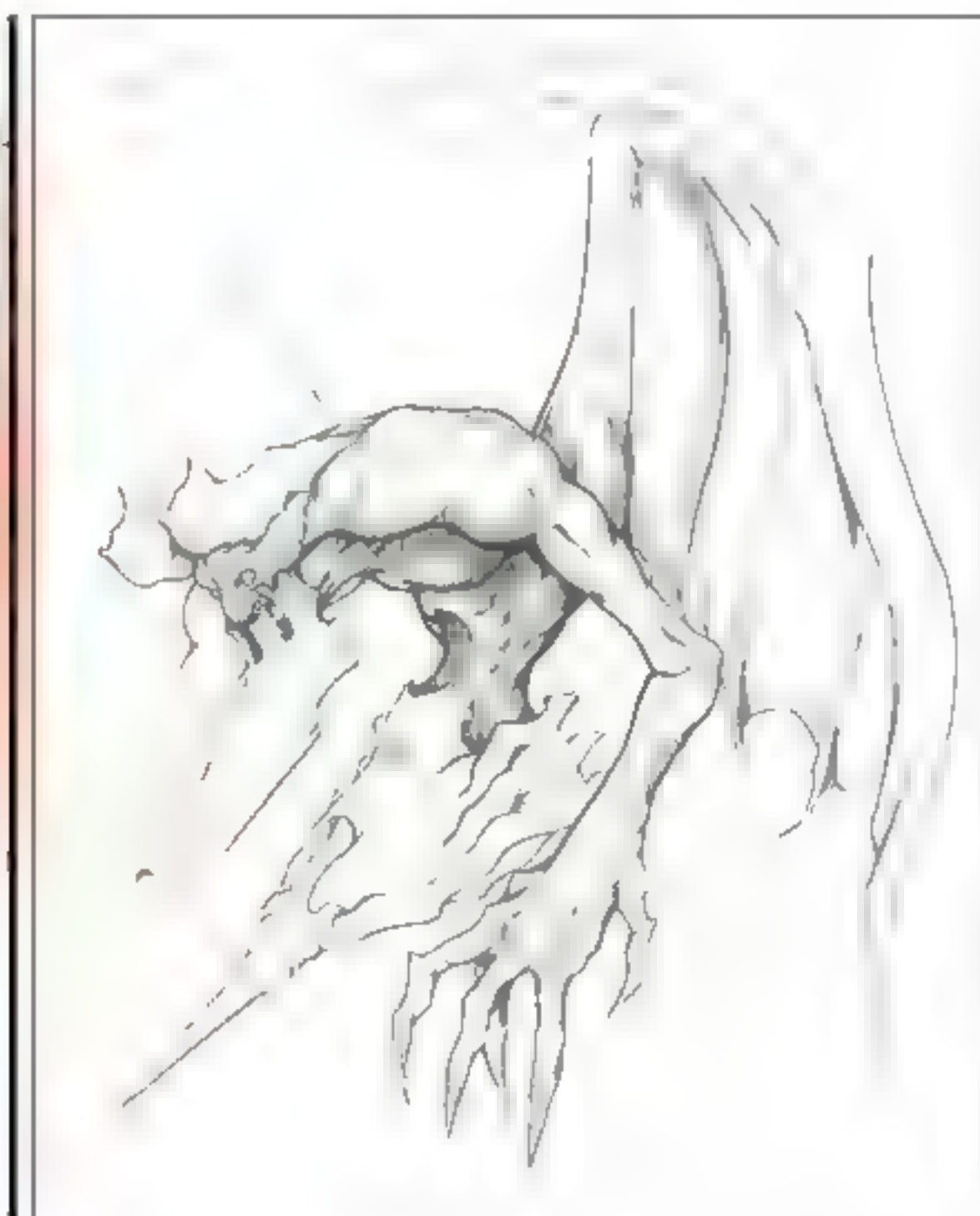
FINAL FANTASY VIII
ファイナルファンタジーVIII

MONSTER

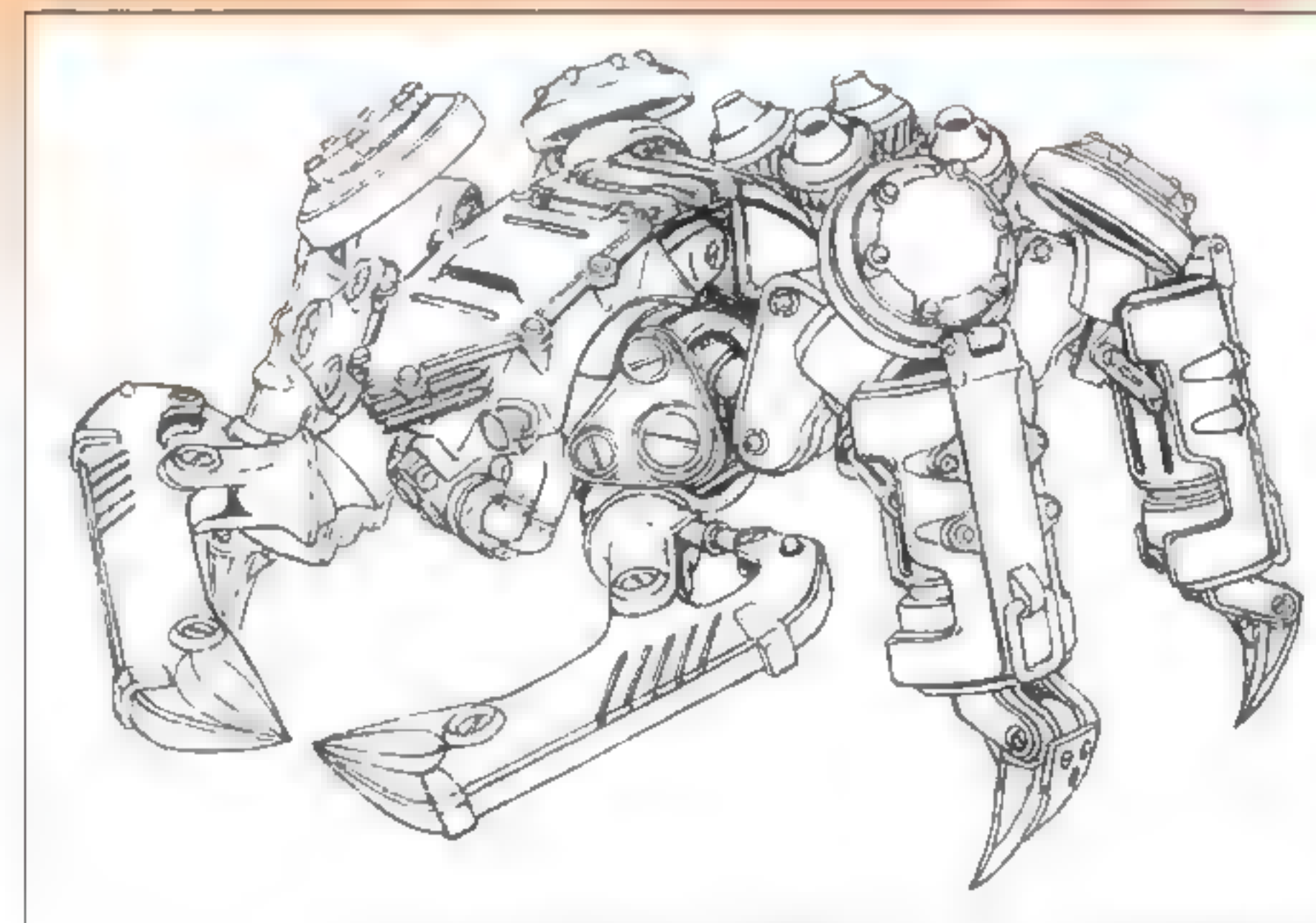
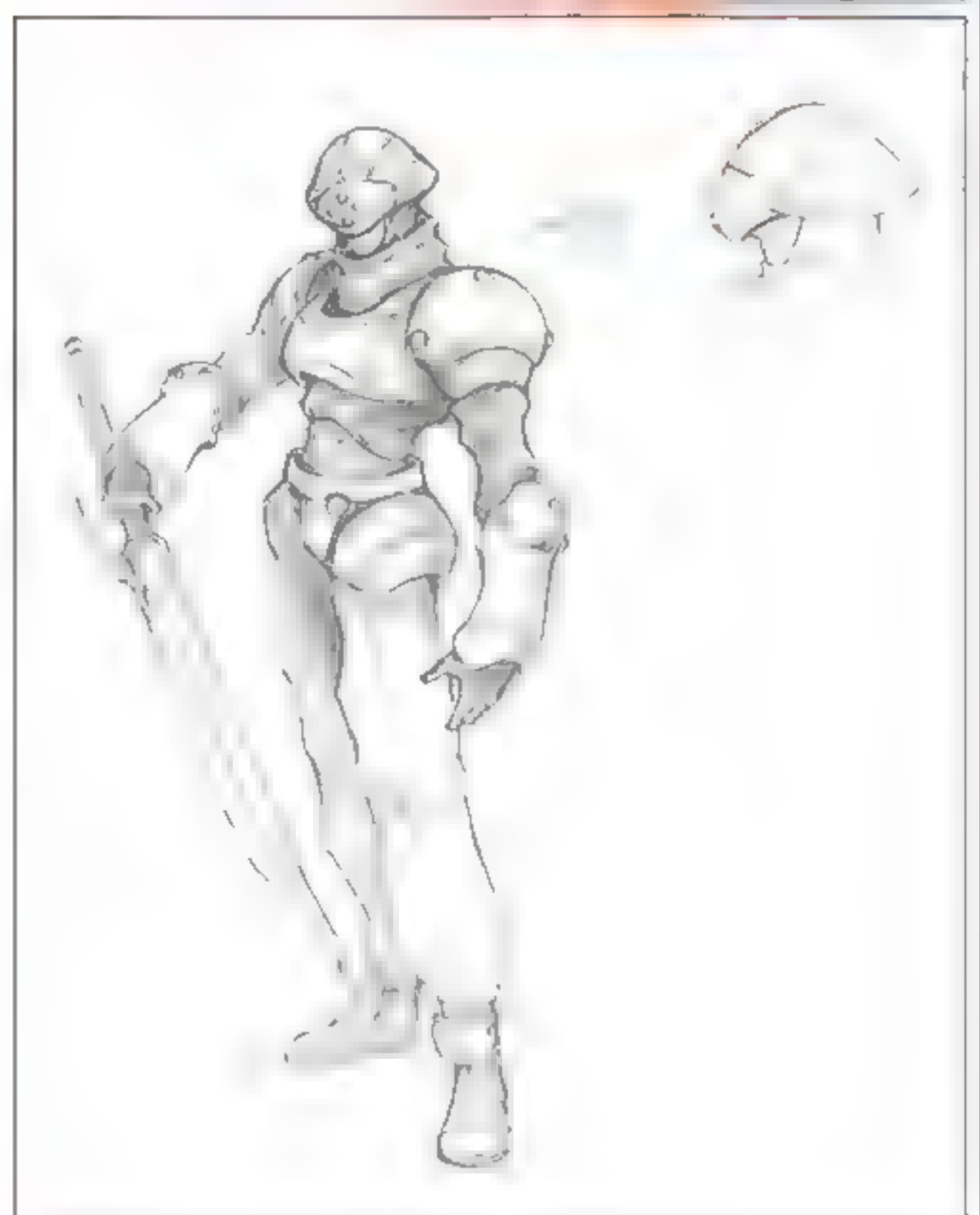
アルケオダイノス

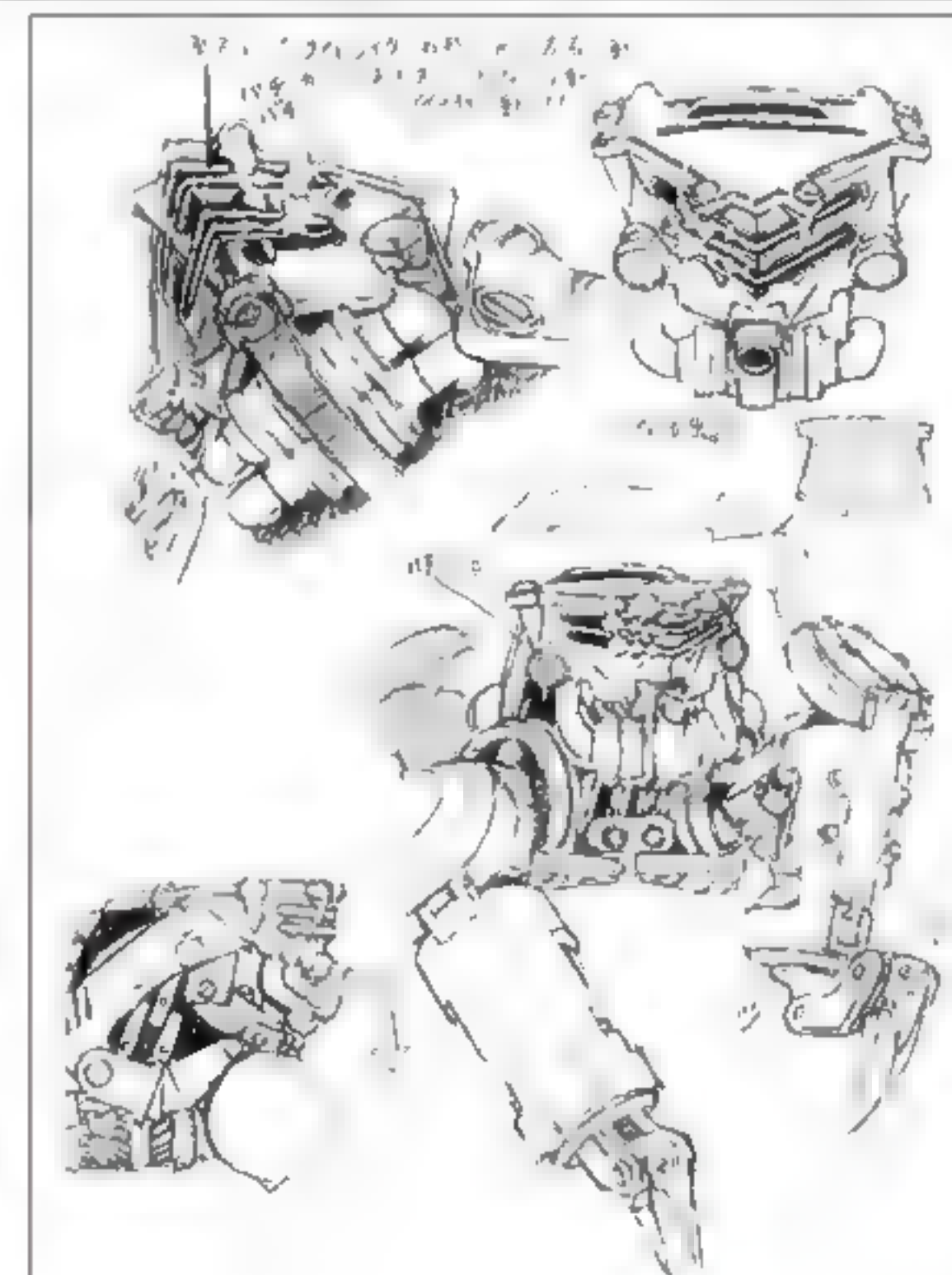
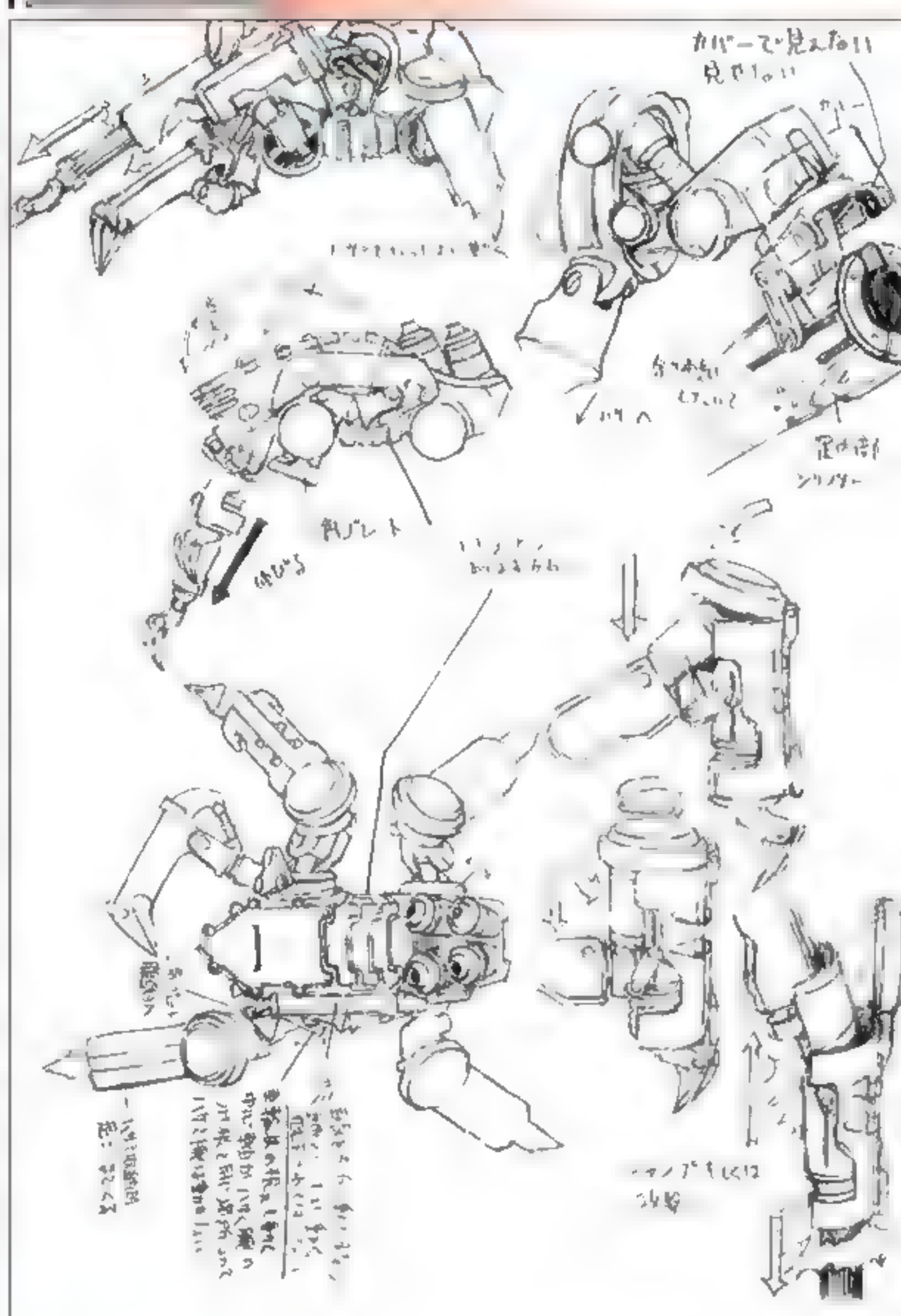
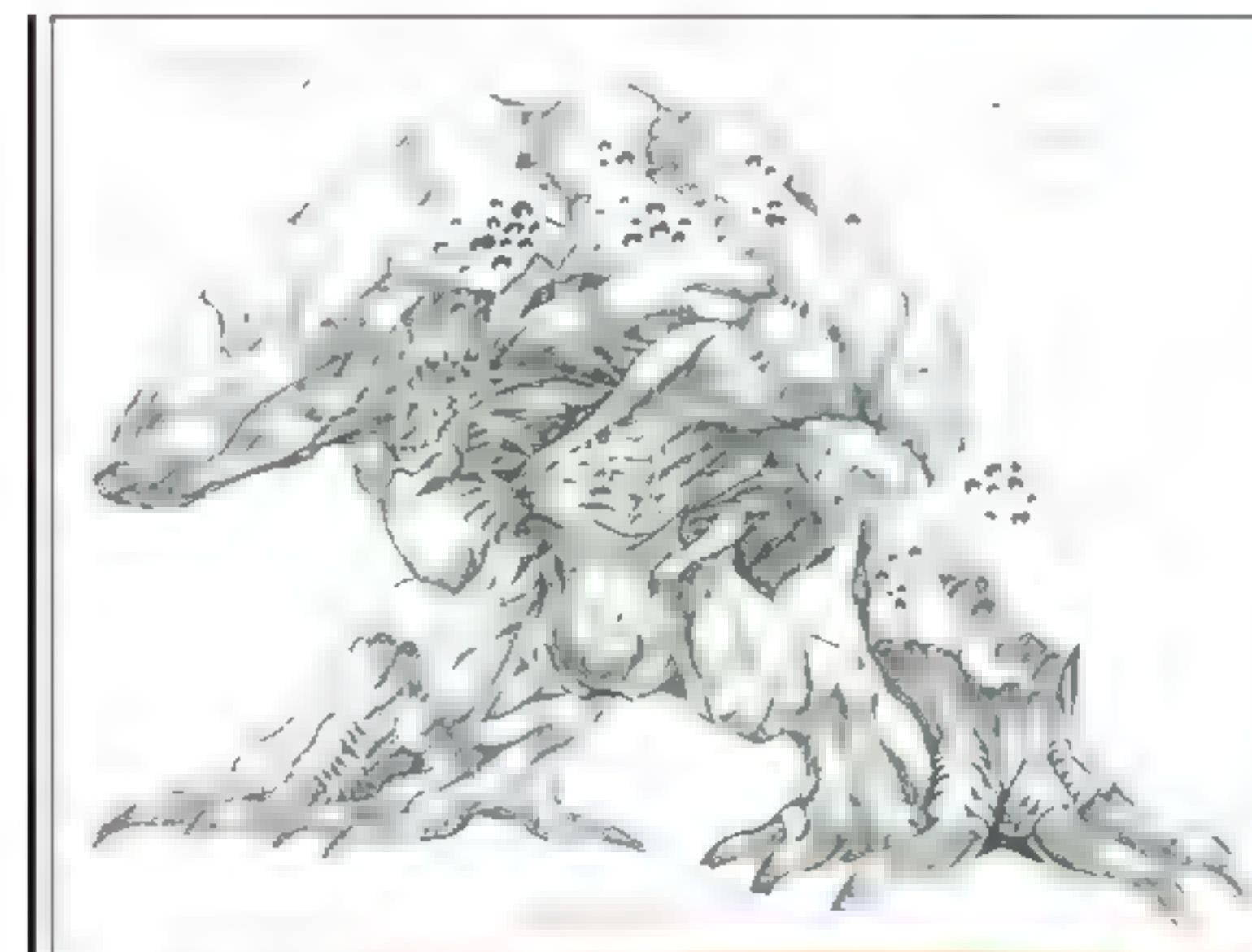
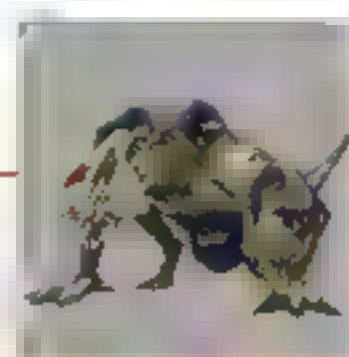
ガルバディア兵

エリート兵

エルヴィオレ

ドールの電波塔を住処とするモンスター。長いクチバシと大きな翼が特徴的で、腹部から下はハチのようにとがっている。

Memorial Feature

チャンスは一度のバトルだけ

一部のボス敵からは、G.F.をドローできる。その最初の機会がエルヴィオレ戦で、『ドロー』コマンドを使えばセイレーンを入手可能。ドローせずに倒してしまった場合、あとになってG.F.欄に空きがあることに気づいても、もう手遅れだ。

X-ATM092

ガルバディア軍所有の対人用無人兵器。クモに似たその外見から、軍では「ブラック・ウィドウ(クロゴケグモ)」と呼ばれており、設定画では各パーツの動かしかたが指定されている。

グレンデル

ラルド

バラムガーデンの訓練施設でエルオーネを襲っていたモンスター。石のように硬い身体を持つが、動きは比較的すばやい。

オチュー

▼設定画

エスタ兵

シュメルケ

デリングシティの凱旋門の彫刻に命が吹きこまれたもの。爬虫類の上半身と猛獣の下半身が合体したような姿をしている。

色指定

石から変化した後は生っぽく。
上半身はもう少しぬめっとした質感で。

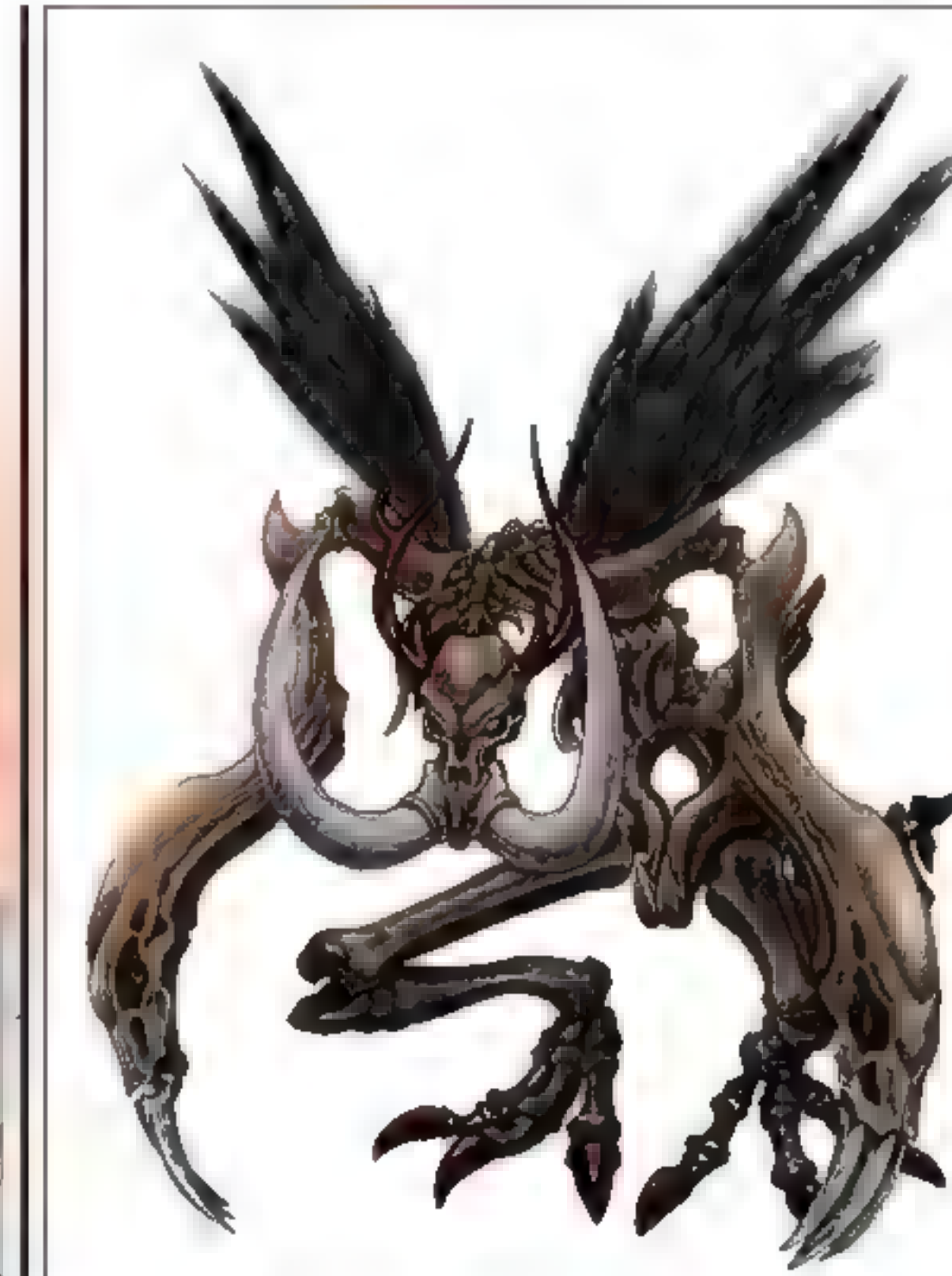
オイルシッパー

皮膚が粘膜に覆われた、軟体動物に似た外見のモンスター。体内に大量のオイルをたくわえており、それを攻撃に使う。

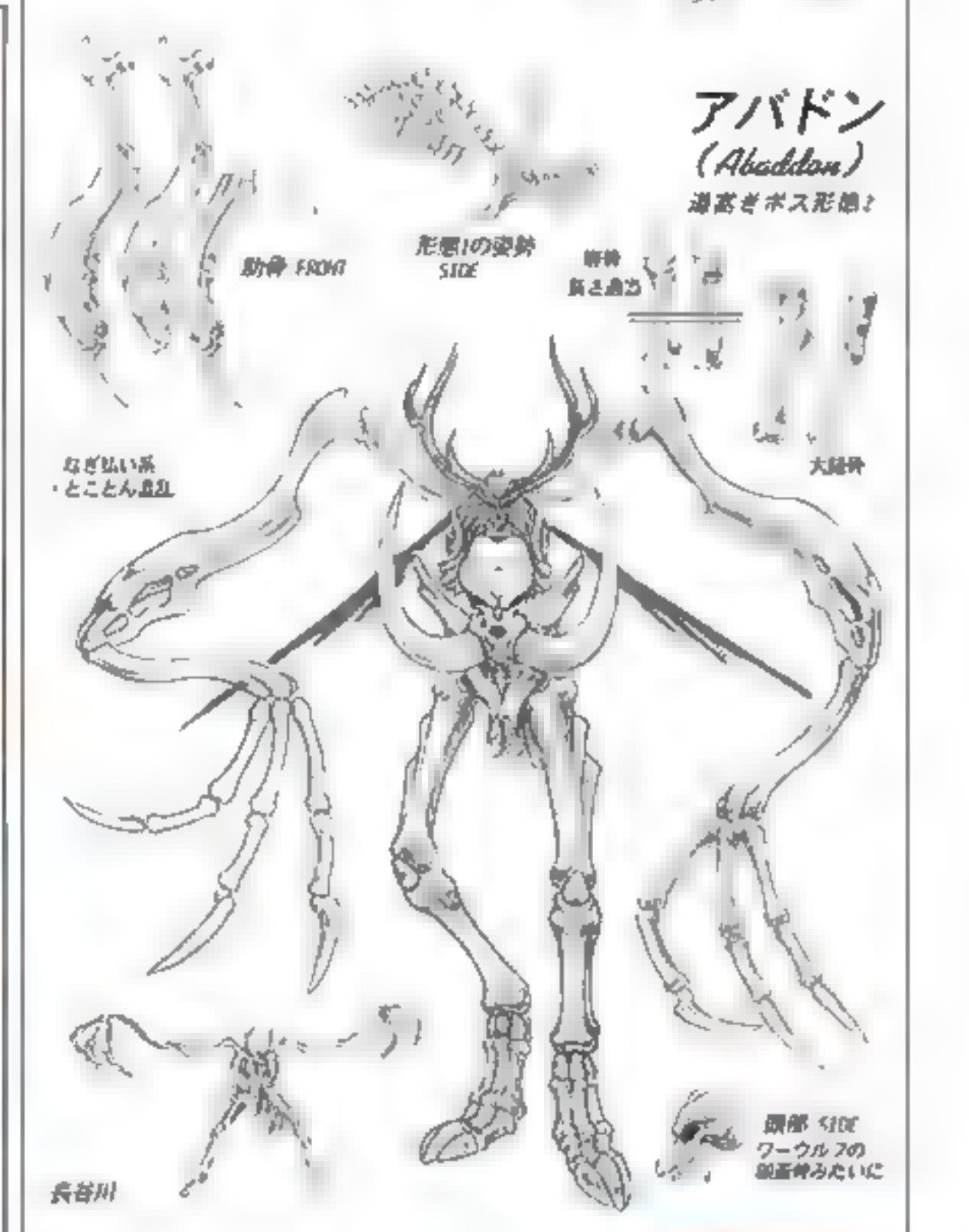
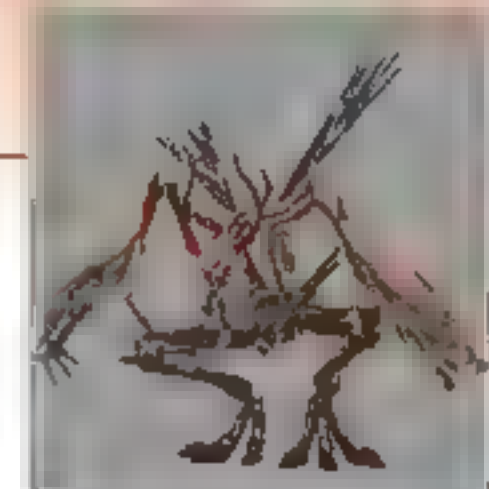
スラッパー

ガルバディアガーデンのアイスホッケー部の部員である亜人。CGモデルのユニフォームに描かれているのは、所属しているチーム「ガルバディアベアーズ」のロゴだ。

▼ガルバディアベアーズのロゴ

ルブルムドラゴン

アバドン

大塩湖の底に沈んでいた古代生物の骨でできたモンスター。前傾時と直立時のふたつの形態があり、設定画には各形態のポーズをはじめ、骨の形や攻撃方法が記載されている。

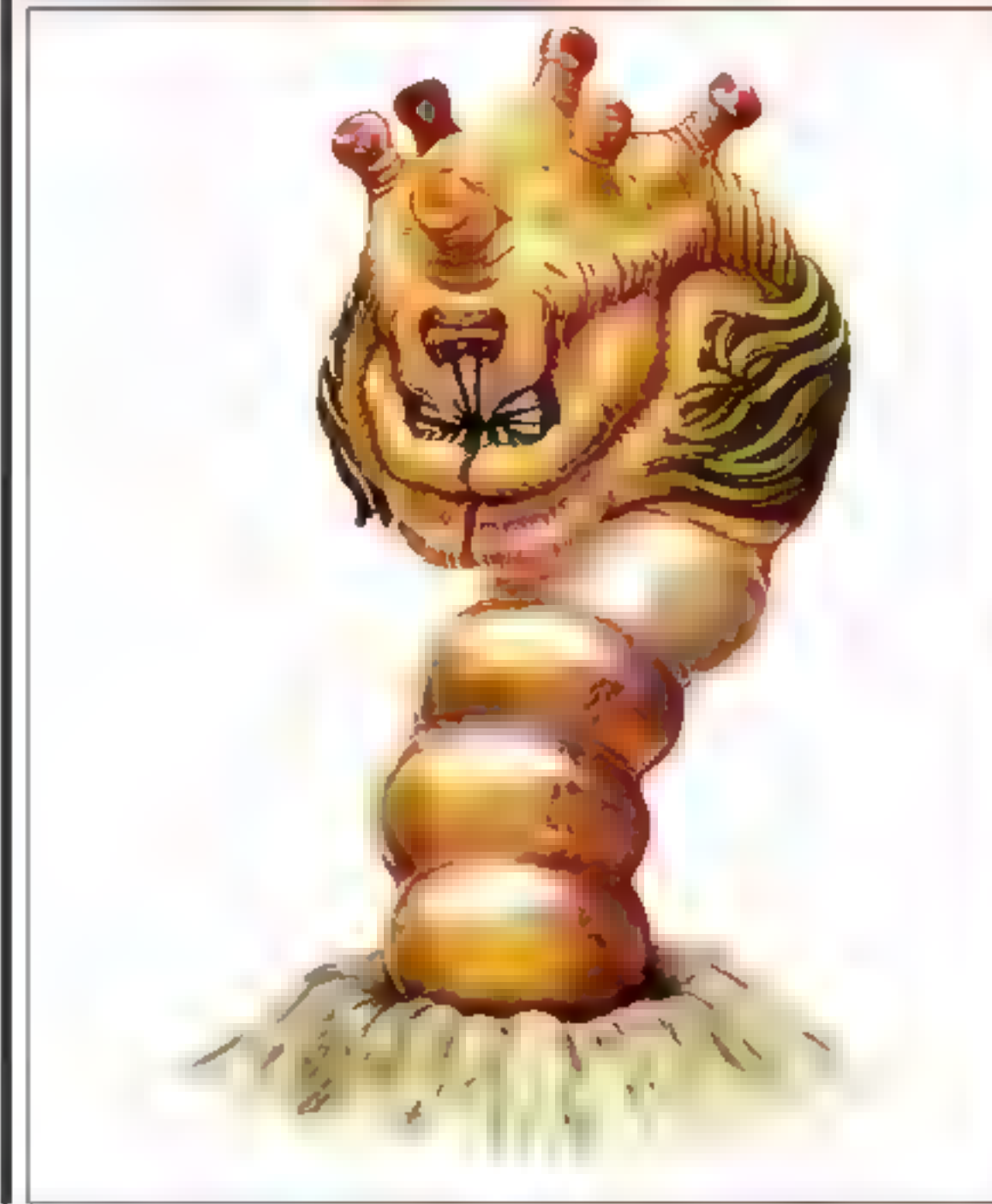
▶設定画

プロパゲーター

飛空艇ラグナロクに巣食う宇宙生物。同種のモンスターを再生させる性質を持つほか、バトルでは、前に突き出た口のような部分を使った「はみはみ」などの攻撃を行なう。

Memorial Feature

復活する宇宙生物を倒すには？

プロパゲーターは、倒しても倒しても復活してスコールとリノアに襲いかかってくる、恐るべき敵。復活を防ぐには、4色いるプロパゲーターのなかで同じ色のものとつづけて戦い、その色の個体を消滅させるか、色を問わず計25体倒すしかない。

アビスウォーム

▼設定画

▶デザイン参考用立体模型

サボテンダー

WANTED !!

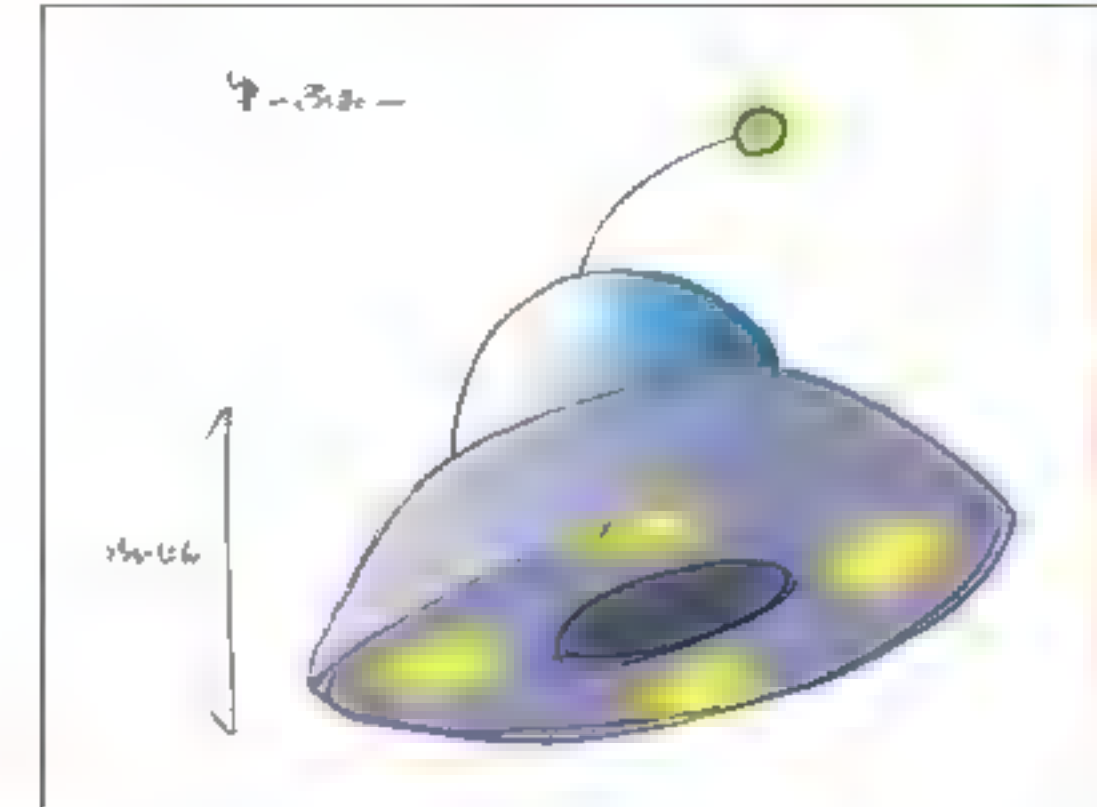
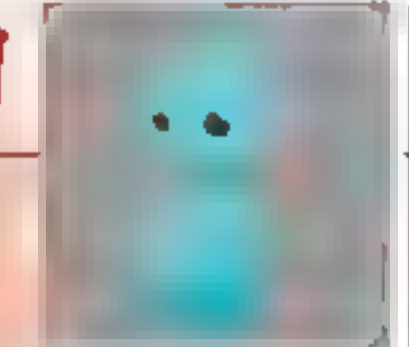
Memorial Feature

APかせぎの聖地サボテンダーアイランド

サボテンダーは、攻撃をよくかわすうえにすぐ逃げるものの、倒せば20ものAPを入手できる。サボテンダーの最大HPは非常に低いため、倒しかたさえ確立させれば、この敵ばかり出現するサボテンダーアイランドは絶好のAPかせぎポイントと化す。

UFO?

コヨコヨ

ボツ

Memorial Feature

宇宙からの来訪者コヨコヨを困らせたのは誰？

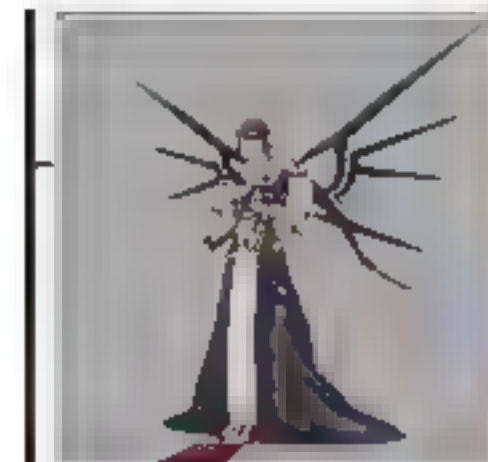
ワールドマップ上の特定の場所では、謎の飛行物体「UFO？」とエンカウントできる。ふだんは何かを運びながら飛び去っていくだけでこちらは何もできないが、高台でエンカウントしたときは、不時着中のUFO？を攻撃して倒すことが可能。そのあとは、エリクサーをほしがる異星人コヨコヨが、バラムガーデン跡地に出現するようになる。コヨコヨは宇宙船を破壊されて困っているようだが、壊した犯人ってもしかして……？

アルテマウェポン

海底に眠る幻のモンスター。人型の部分が持っている巨大な剣は、『FFVII』に登場した、自身と同じ名前の武器に似た形をしている。

ガルキマセラ

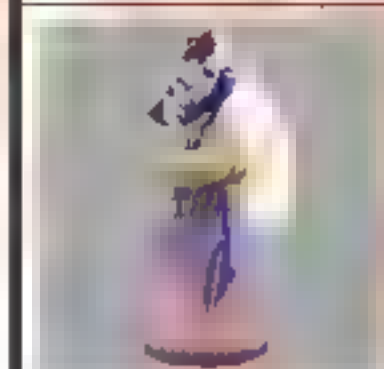
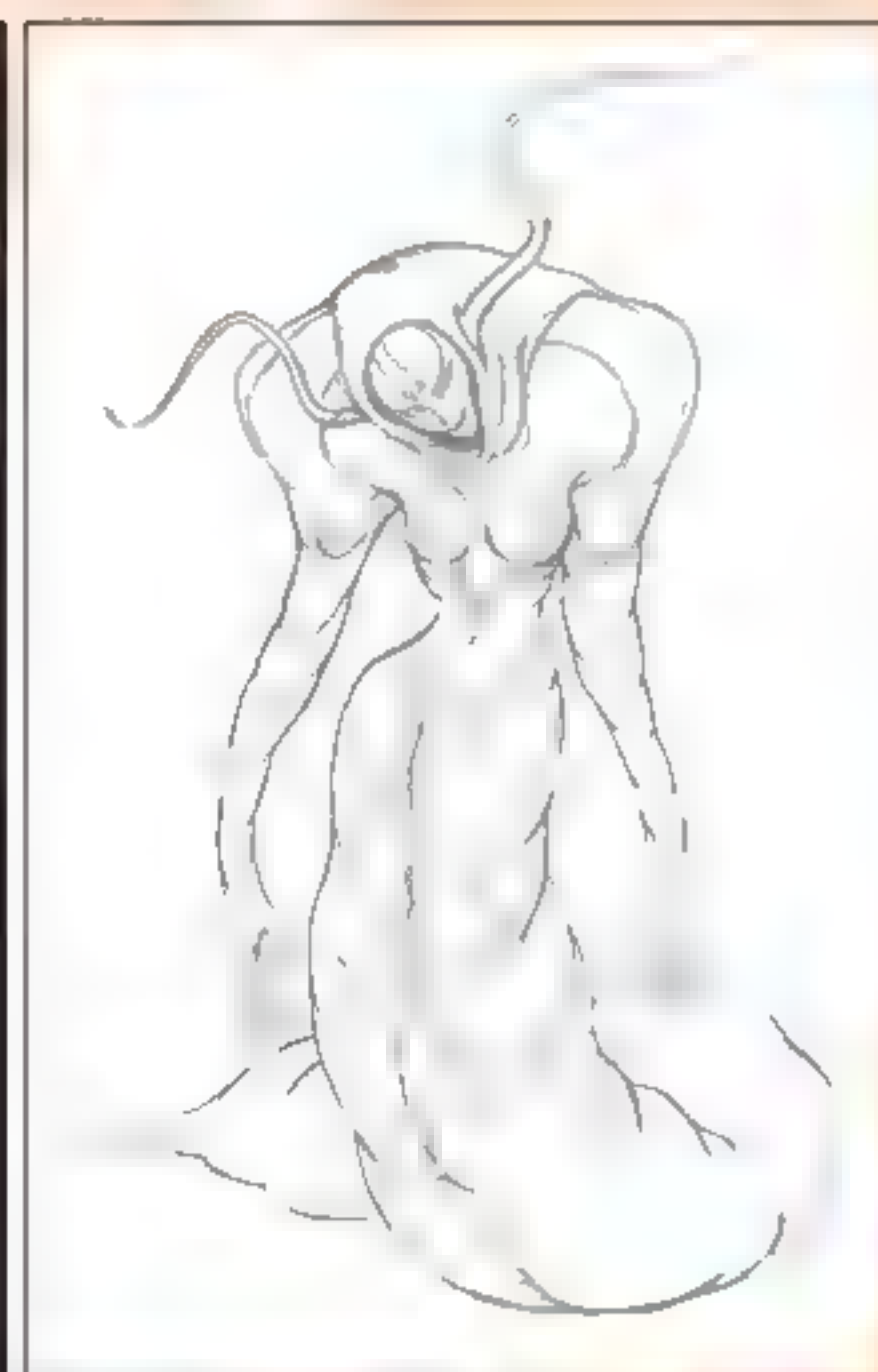
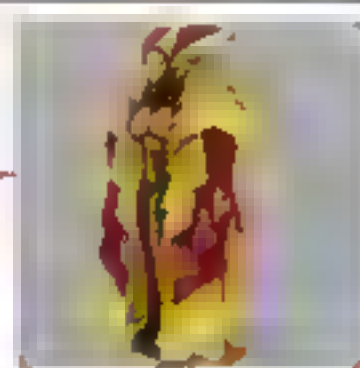
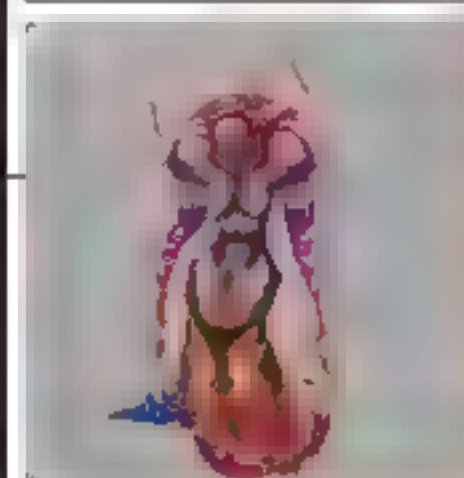
鉄巨人

アデル

20年ほど前にエスタを支配していた、筋肉質の魔女。右側のイラストはアデルに取りこまれつつあるリノアを描いたもので、ゲーム中で戦うアデルはこの状態だ。

Memorial Feature

とらわれのリノアに気をくばりながらのバトル

アデルとのバトルではリノアもターゲットに選べるが、リノアのHPがゼロになると即ゲームオーバー。アデルは定期的に「ドレイン」でリノアのHPを吸収するので、リノアの残りHPには注意しておく必要がある。とくに、G.F.召喚などでうっかり敵全体を攻撃してしまうと、一瞬で大ピンチに。

魔女(1)

魔女(2)

魔女(3)

時間圧縮によってほかの時代から現れた魔女のひとり。魔女(1)や(2)よりも高い魔力を持つが、その外見は人間からかけ離れたものだ。

▶ドルメン

▶アリニュメン

ドルメン／アリニュメン

アルティミシアの力で動かされている未来の兵器。アリニュメンはドルメンから射出される支援用のメカで、設定画には2体のこまかい部分の形状などが書かれている。

クレイロード
(Clay Lord)
ーハニワセントラ本体ー
・ファンネル射出
・殴る
・回転殴り
・フットスタンプ

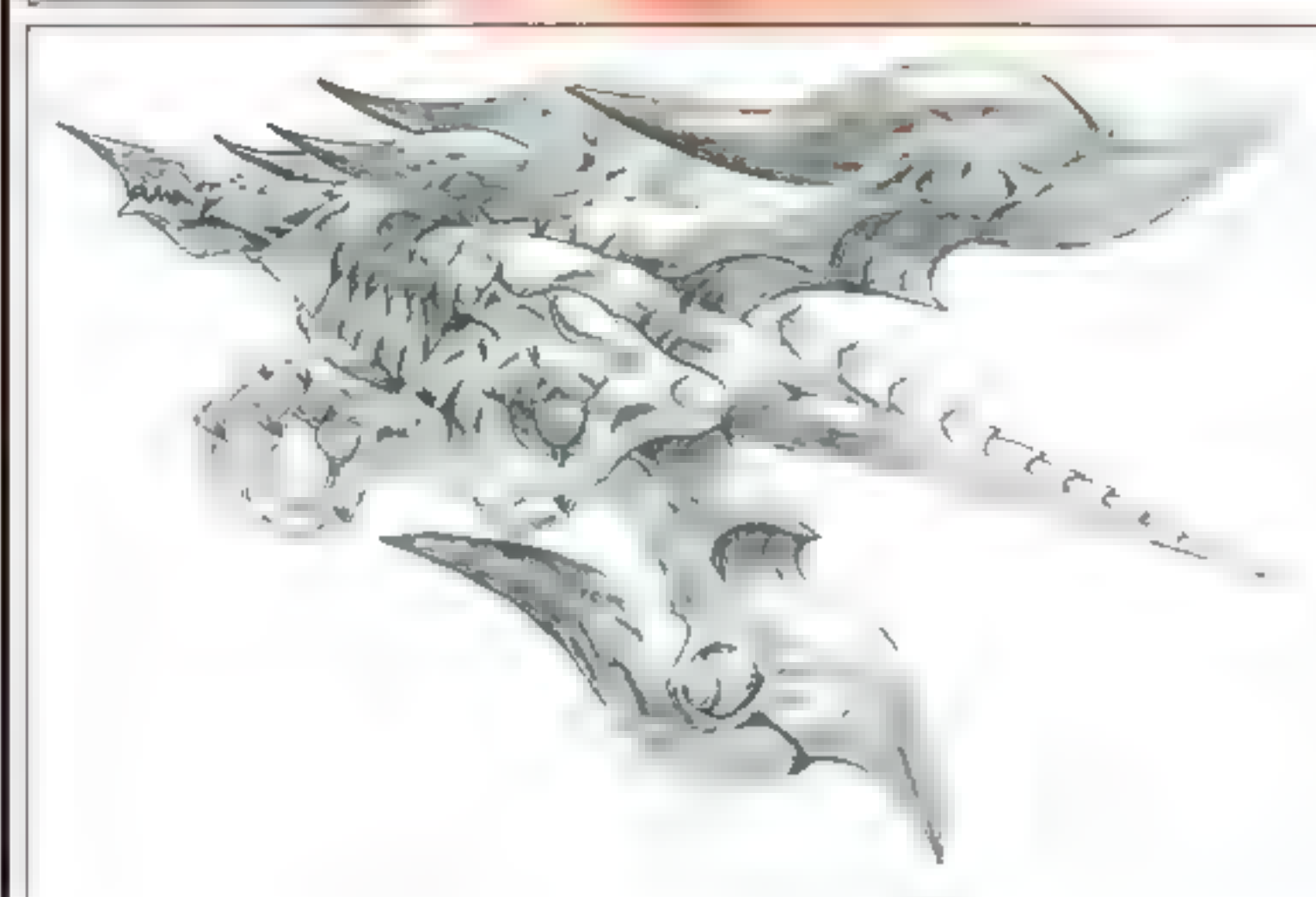
ファンネルシステム
(Fannel System)
ーハニワセントラ雑魚ー

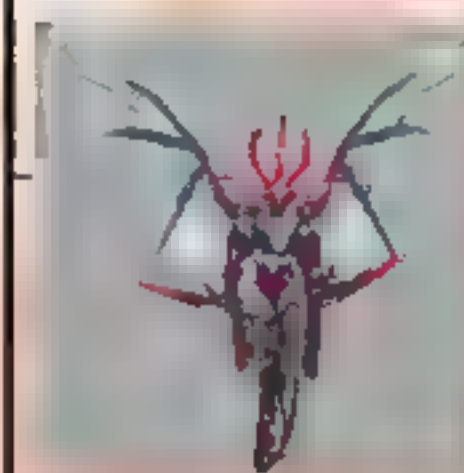
下半身

スコール対比

▼設定画

トライエッジ

ドラゴンをもとにして生み出された生物兵器。3つの刃を持ち、『トラインスパーク』を使うときには、それぞれの刃から電撃を放つ。

コキュートス

魔力によってモンスター化したアルティミシア城の宝石。身体の中央部をのぞいたほぼ全身が、水晶のような物質で構成されている。

グリーヴァ

スコールがあこがれている伝説上の動物ライオンが、ＧＦとして実体化したもの。スコールの身につけるアクセサリー(→P.186)と同様に、頭部にはたてがみが生えている。

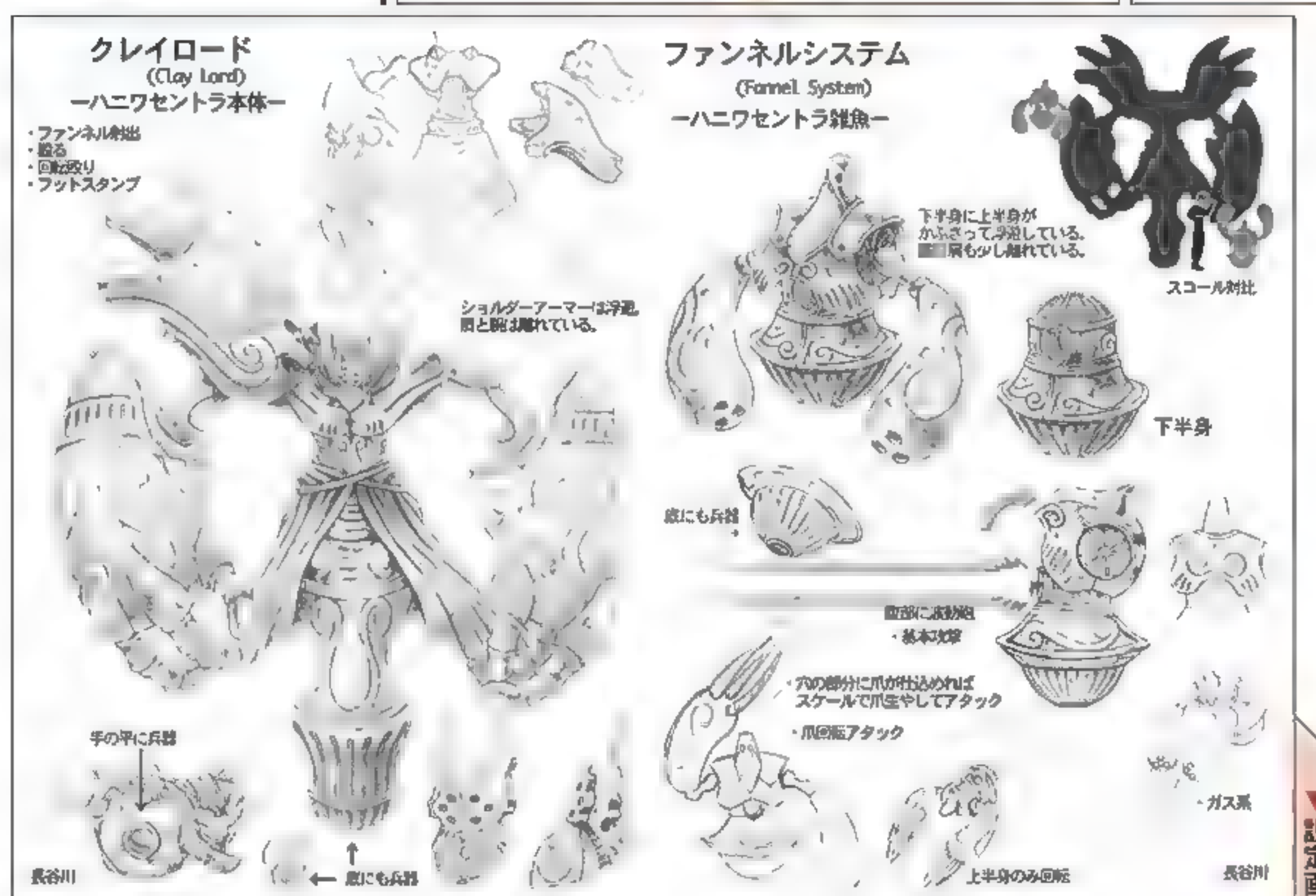
アルティミシア(第2形態)

グリーヴァにジャンクションしたアルティミシア。グリーヴァの顔の下に、融合しているアルティミシアの姿が見える。

アルティミシア(最終形態)

すべての時間と空間を取りこむための、アルティミシアの最終形態。下半身には人間時の身体が逆さ吊りになっており、その周囲に宇宙的な空間が果てしなく広がる。

FINAL FANTASY VIII EXTRA MATERIALS

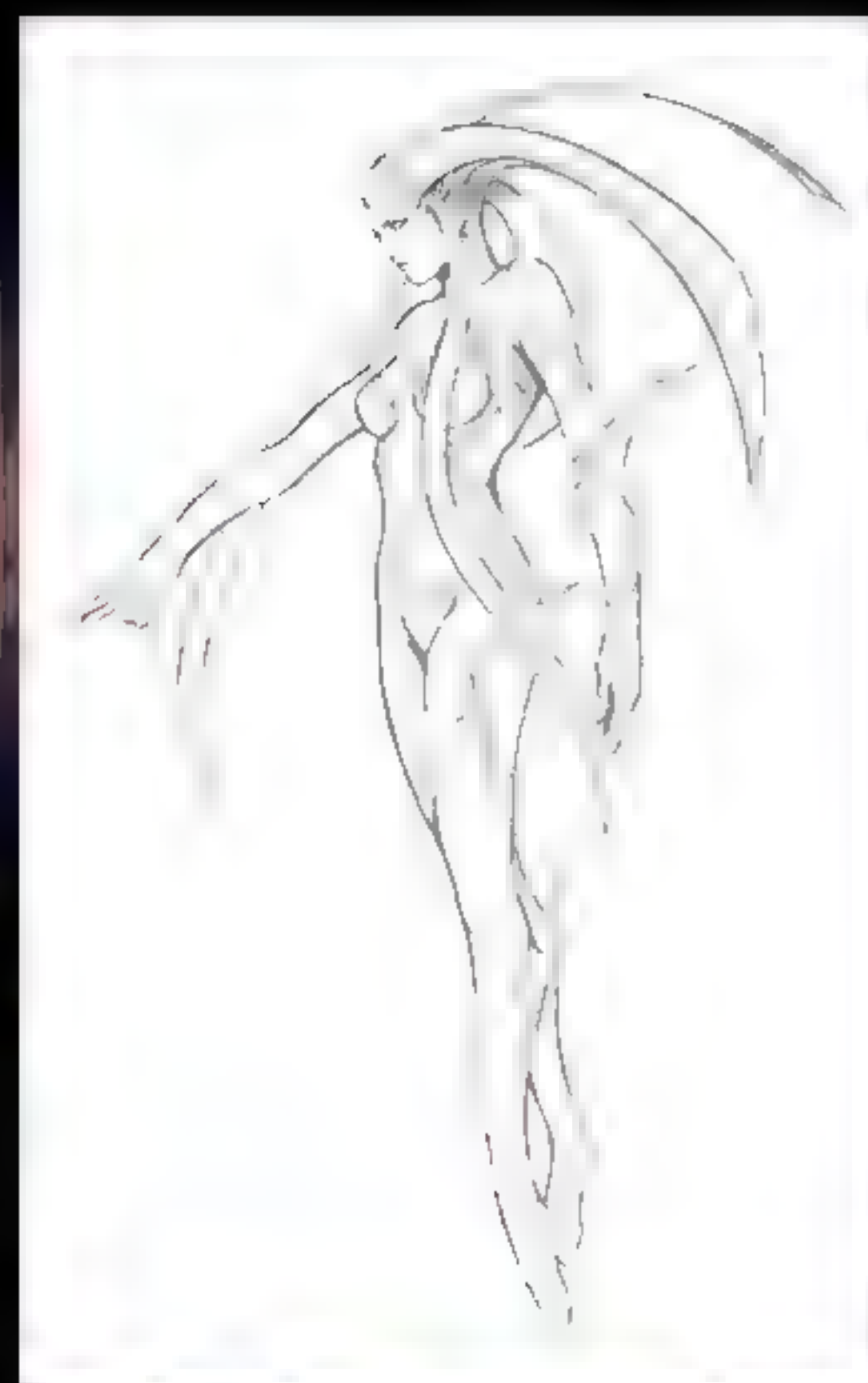
ファイナルファンタジーVIII

ガーディアン・フォース(G.F.)

ケツァクウァトル

シリーズ初登場の、ヘビに似た頭部と鳥に似た翼を持つG.F.。雷をつかさどる存在がラムウではないのは、本作がはじめて。

▼メニュー画面用顔イラスト

シヴァ

氷の女王。薄衣をまとっておらず、髪がオビ状になっているなど、従来の作品のシヴァとは異なる独自のデザインが取り入れられている。

イフリート

炎の魔人。火炎をイメージさせるたてがみが目を引く。CGでは、腕輪の模様やイヤリングといったこまかい部分までデザイン画を再現している。

セイレーン

半人半鳥のG.F.。全体的なフォルムは人間に近いが、髪の毛が翼になっている。召喚されると、脇に抱えたハープを奏でて音波による攻撃を行なう。

ブラザーズ

兄弟ひと組の、ウシに似たG.F.。デザイン画は兄のミノタウロスのものだが、ツノの色は変更され、弟のセクレトのツノがこの色になった。

ディアボロス

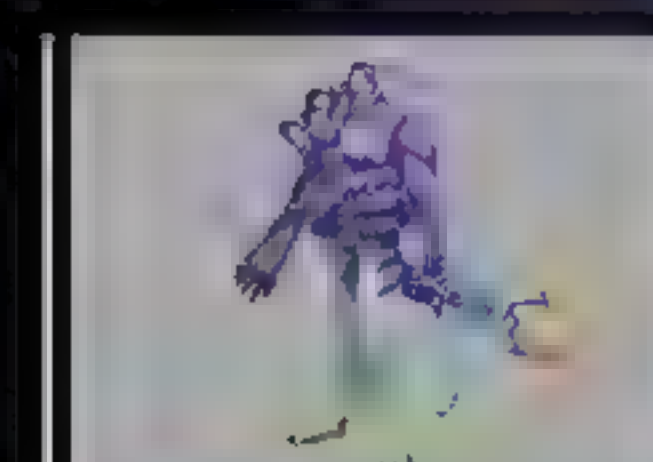
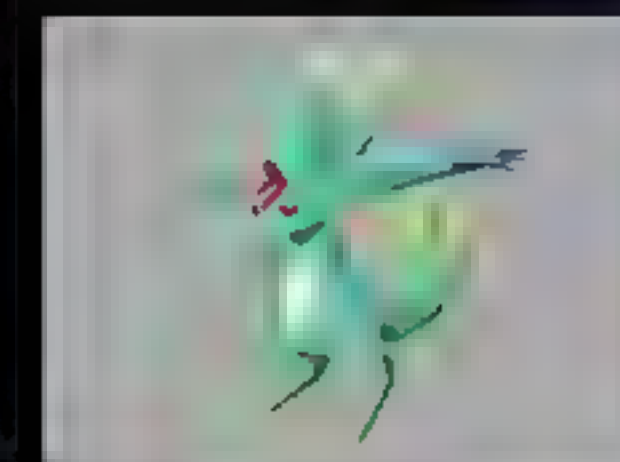
悪魔の姿をしたG.F.。物語の序盤で手に入る魔法のランプを使うと敵として出現し、戦って倒せばG.F.として利用できるようになる。

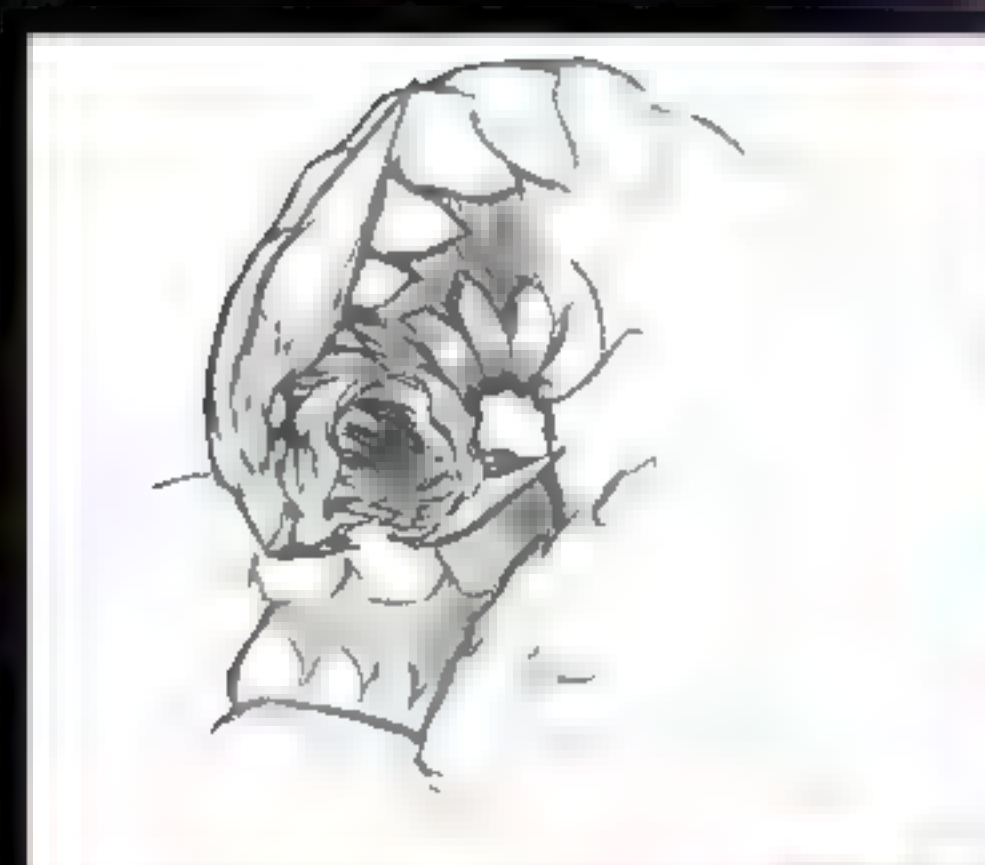
▶メニュー画面用顔イラスト

カーバンクル

額にルビーを持つ、小動物型のG.F.。過去の『FF』シリーズ作品と同様、「ルビーの光」によって、魔法を跳ね返すバリアを張る。

リヴァイアサン

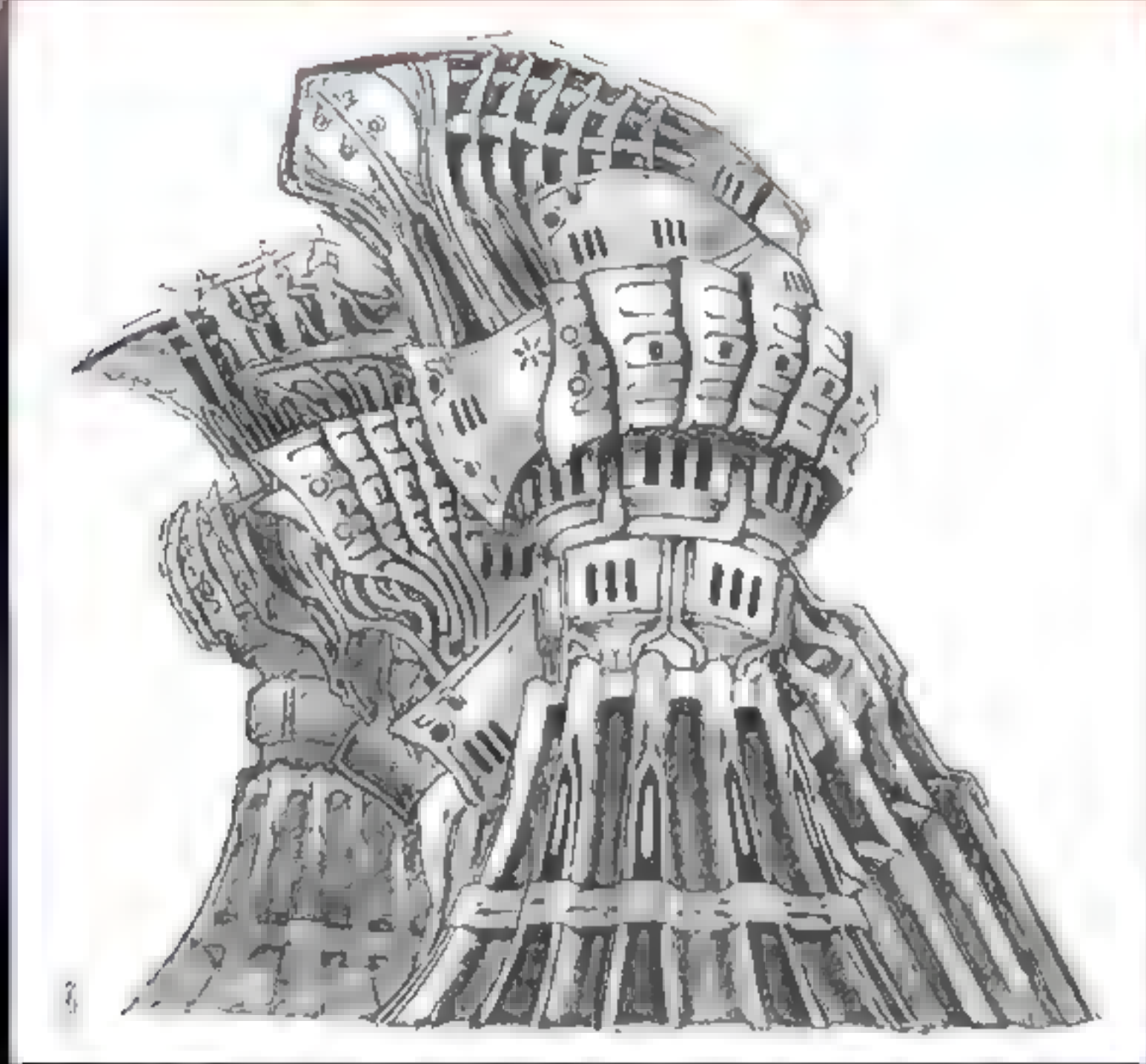
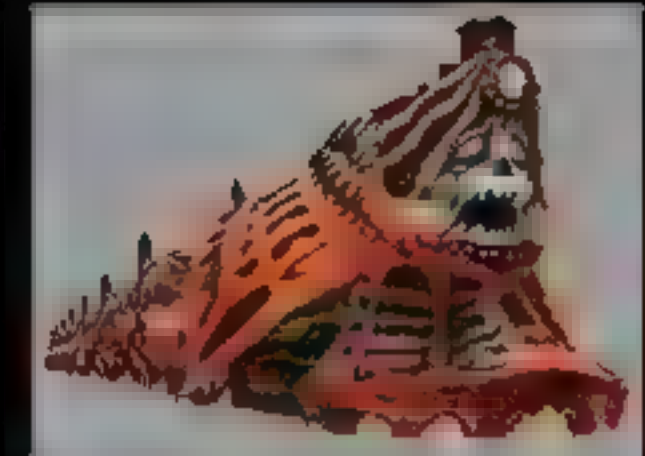
水をあやつる海竜。召喚時の攻撃はおなじみの「大海嘯」だが、本作では地面を盛り上げてその上から水を放つので、水流の見た目は波というよりも滝に近い。

パンデモニウム

風をつかさどるG.F.。右肩から足元までつながっているカラフルな袋は、攻撃時に空気とともに敵を吸いこんで大きくふくらむ。

▶メニュー画面用顔イラスト

ケルベロス

3つの頭を持つ地獄の番犬。敵を直接攻撃する能力を持たず、召喚すると、魔法を2~3回連続で使用可能にしてくれる。

アレクサンダー

巨大な機械兵器。召喚時に、敵の眼前ではなくはるか遠方の山岳地帯に現れ、両肩の砲門から聖なる光を放って攻撃を行なう。

▶メニュー画面用顔イラスト

グラシャラボラス

ゲーム中の雑誌「オカルトファン」で特集されている魔列車。側面と上面をこまかく描いたデザイン画の左下には、車両の編成数が「最低で6両」と指定されており、実際には8両編成で登場する。

▶メニュー画面用顔イラスト

▶側面&上面

バハムート

「G.F.の王」とも呼ばれる竜。海洋探査人工島に現れ、倒すと手に入る。召喚時の攻撃である「メガフレア」が強力で、アビリティにも実用的なものが多い。

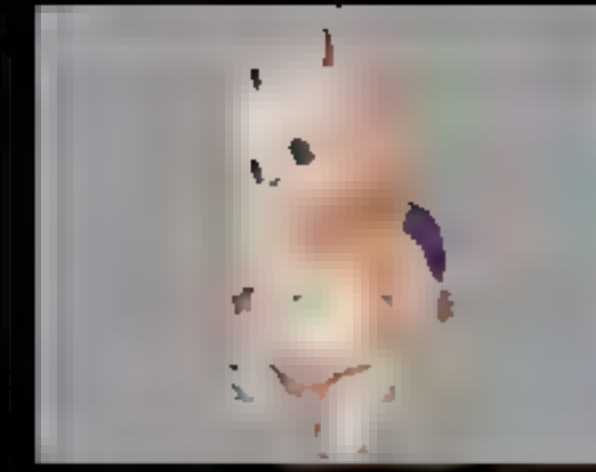
▶メニュー画面用顔イラスト

エデン

アルテマウェポンからドローすると入手できる、最強のG.F.。CGでは確認しづらいが、身体の中央部は、無数の女性の胸像によって構成されている。

コチョコボ

チョコボの子ども。ポケットステーションで遊べるミニゲーム「おでかけチョコボRPG」によって成長し、成長の度合いに応じて、召喚時に使用する攻撃が変わる。

▶初期デザイン

コモーグリ

モーグリの子ども。初期デザインでは顔の丸みや耳の生えかたなどが完成版とちがっている。

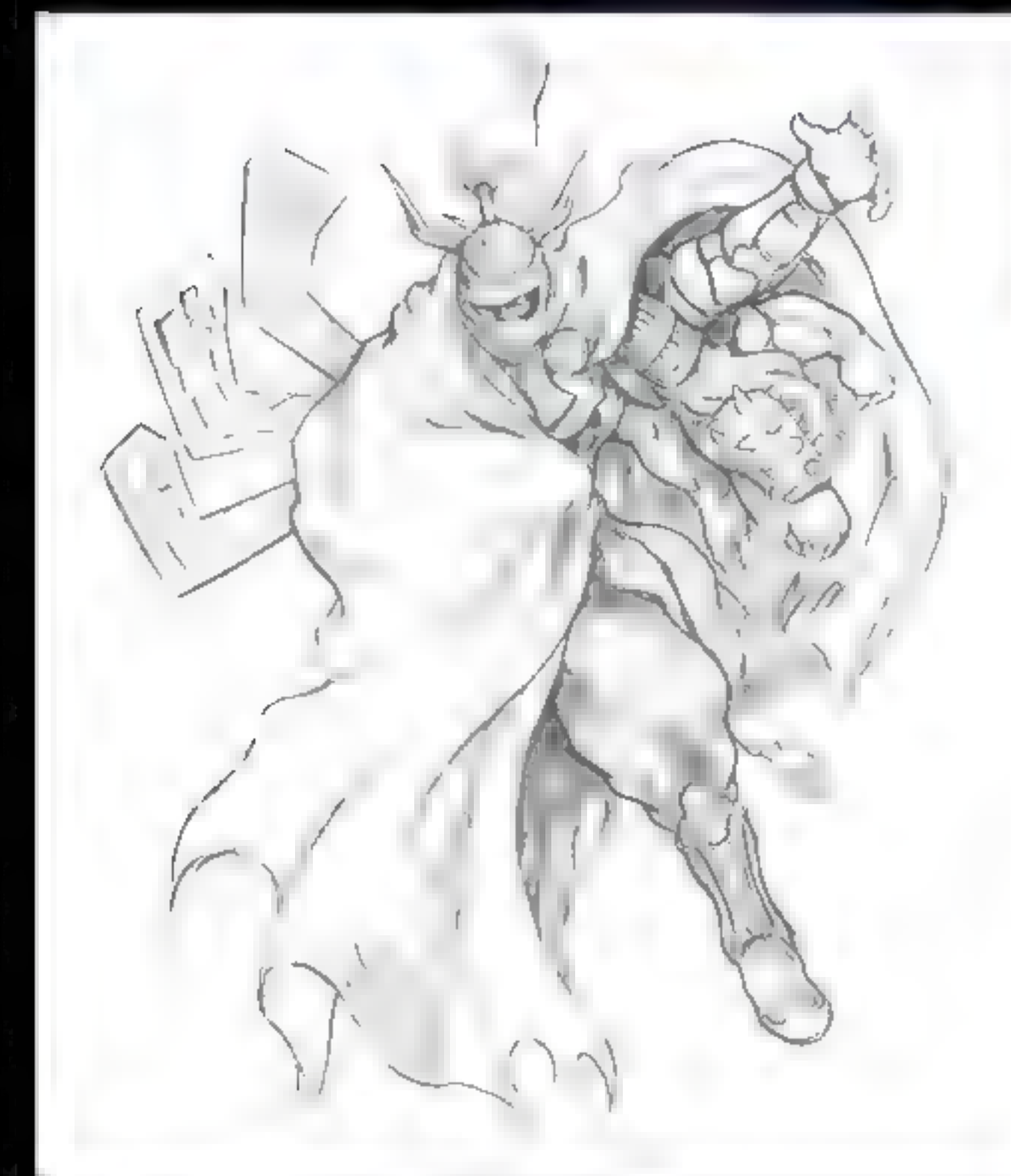
オーディン

セントラ遺跡に眠る、伝説のG.F.。戦って倒すと、以降はバトル開始時に自動的に現れることがあり、「斬鉄剣」によって敵を全滅させてくれる。

ギルガメッシュ

突如現れた謎の剣客。4種類のなかからランダムで選ばれた武器を使って攻撃を行なう。天野喜孝氏の原画をアレンジしたデザインになっており、『FF V』で「ギルガメッシュチェンジ」を使ったあとのように、多数の腕が生えている。

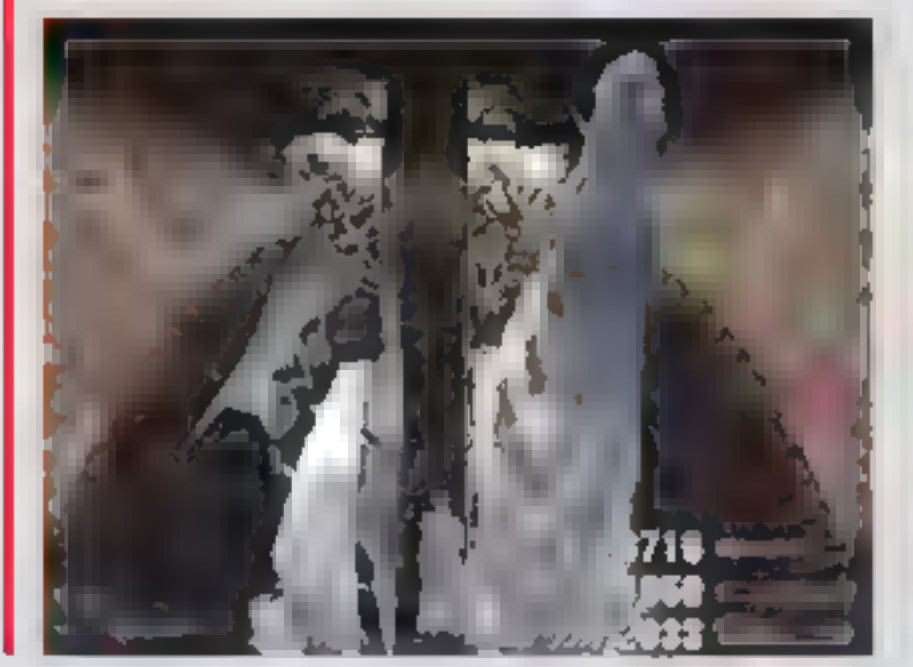
▶ギルガメッシュの武器

Excalibur
斬鉄剣
正宗
Excalipur

Memorial Scene

サイファーとのバトルで……

オーディンは、召喚できるようになっていれば、ルナティックパンドラでのサイファーとのバトルでかならず現れる。相手はボス敵なのに「斬鉄剣」で倒せるのかと思いきや、サイファーの「斬鉄剣返し」によって逆にオーディンが倒されるという驚きの展開に。さらにその後、今度はギルガメッシュが現れ、オーディンが遺した斬鉄剣でサイファーを吹き飛ばしてしまう。

乗り物

▼背面

飛空艇ラグナロク

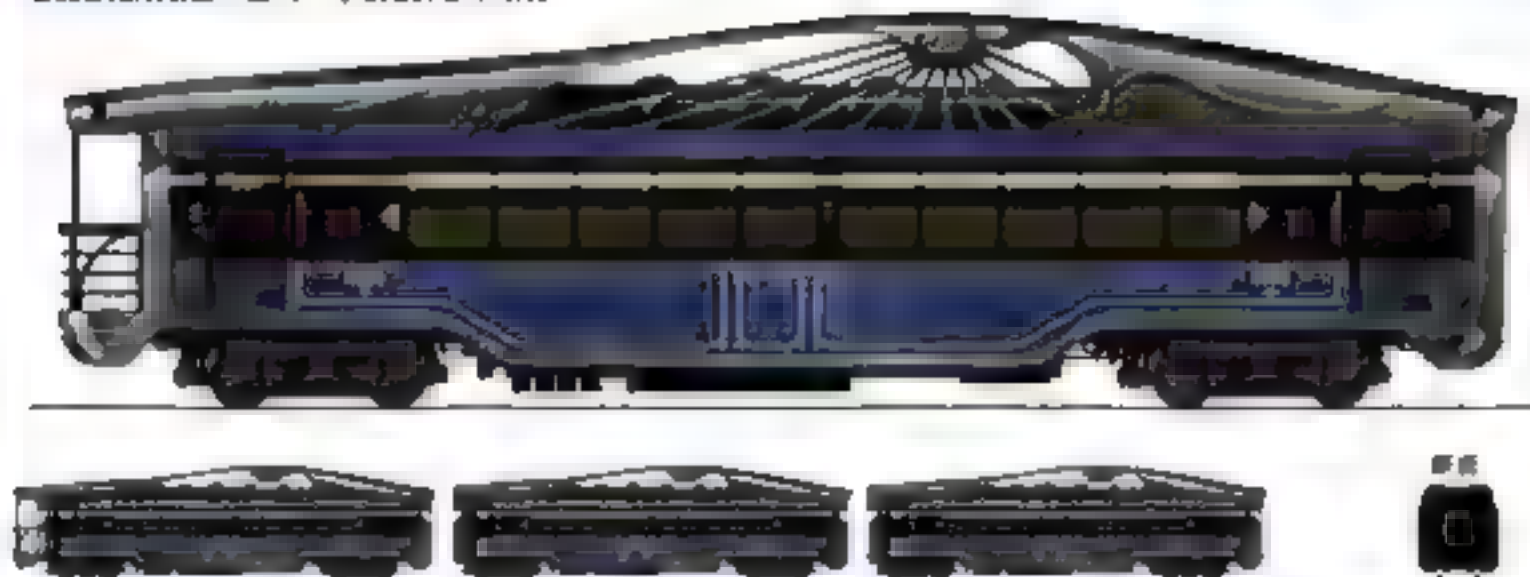
アデル・セメタリーに封印された魔女アデルを宇宙に射出する役割をになった飛空艇。役目を終えたあとは放置されていたが、ルナサイドベースの崩壊後に宇宙を漂っていたスコールとリノアに回収され、彼らが地上にもどってからは、乗り物として使われる。

最大排水量	3,450 t
全長	108m
全幅	77m
着陸時全高	54m
飛行時全高	65m
主武装	609mm荷電粒子ビーム×1
副武装	152mm多銃身レーザー×2
主機関	反応型12段圧縮タービン(推力22,500kg)×2
補助機関	反応型6段圧縮タービン(推力2,480kg)×4
最大速度	11.8km/sec

大陸横断鉄道

ガルバディアが運営する長距離列車。西の大陸の各地のほか、海底トンネルを通じて島国であるバラムにもつながっている。

▶客車

長距離鉄道-客車（最後尾車輌）

▶車両連結時

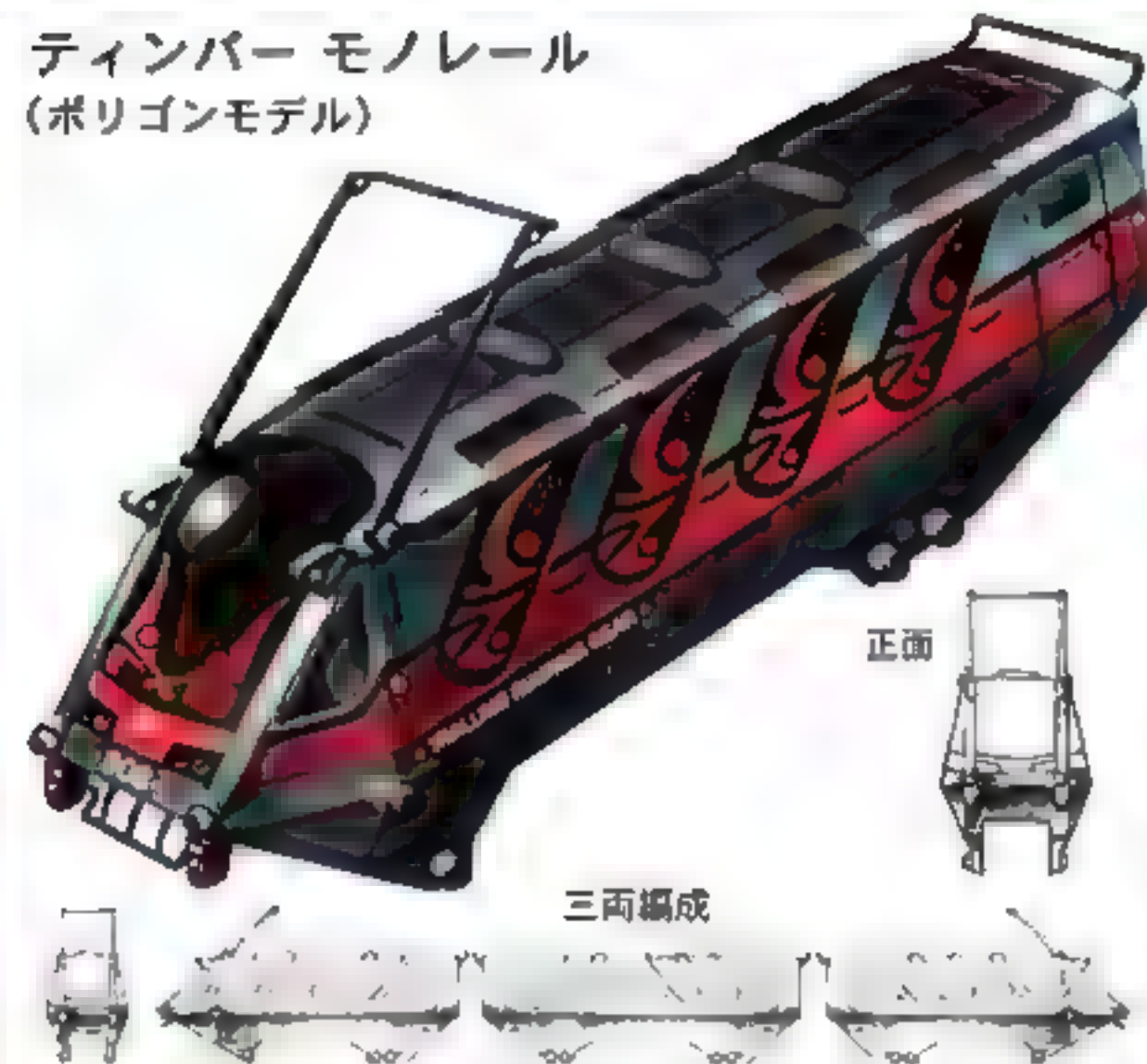
ティンバー モノレール
（ポリゴンモデル）

正面

三両編成

▶モノレール

ティンバー在来線 四両編成

下はほとんど見えないので、モデルはごく簡単に

▶在来線

ティンバーの列車

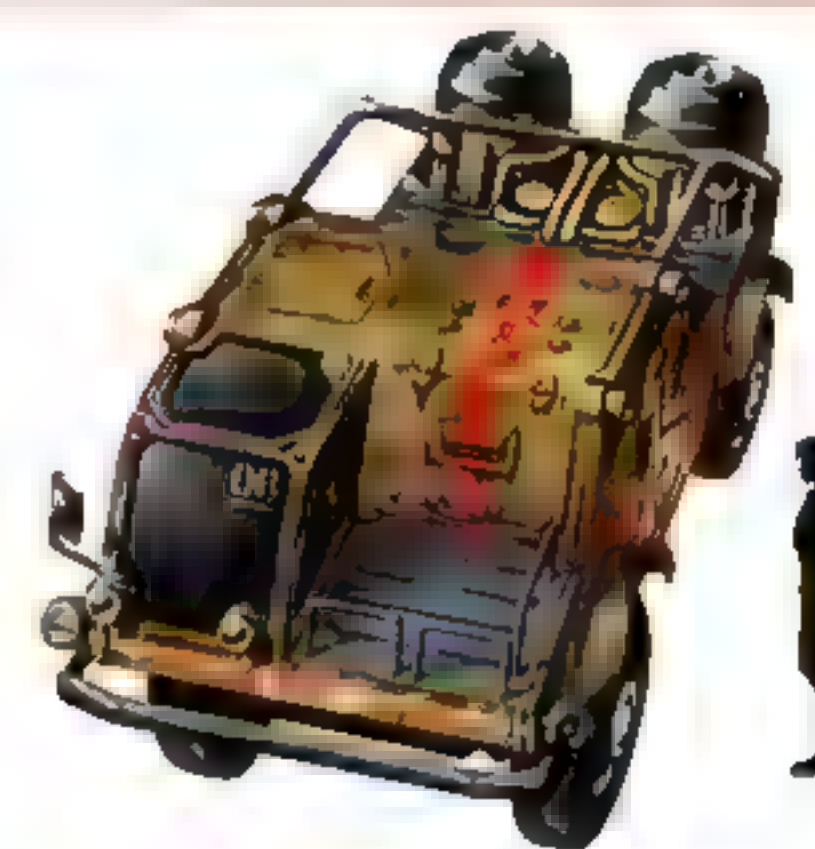
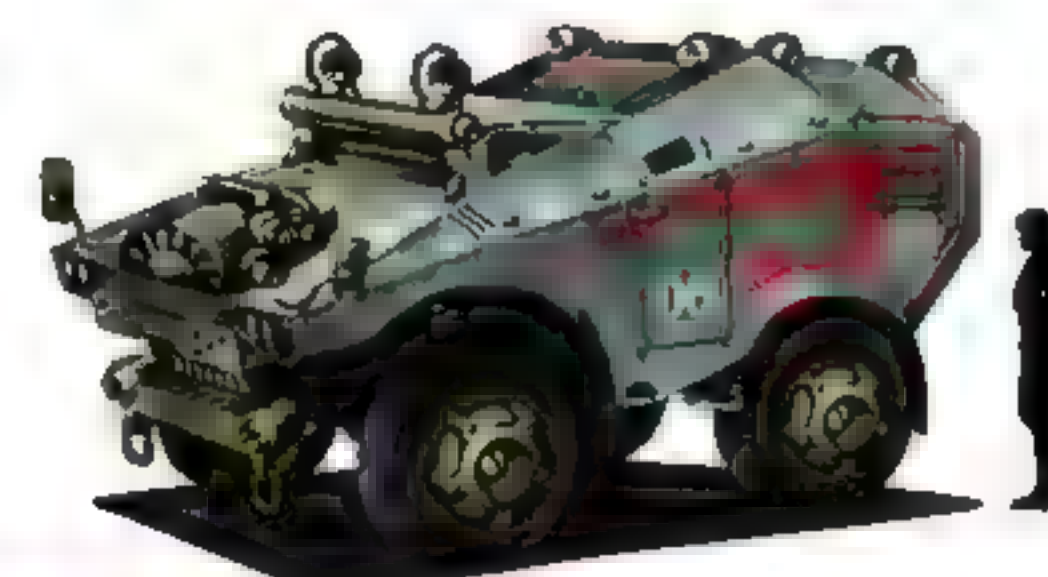
ティンバーのモノレールと在来線。どちらもガルバディアの資本によって運用されており、スコールたちがティンバーを訪れたときは、運行が休止している。

▶ガーデン車両

▶民間トラック

▼ガルバディア軍車両

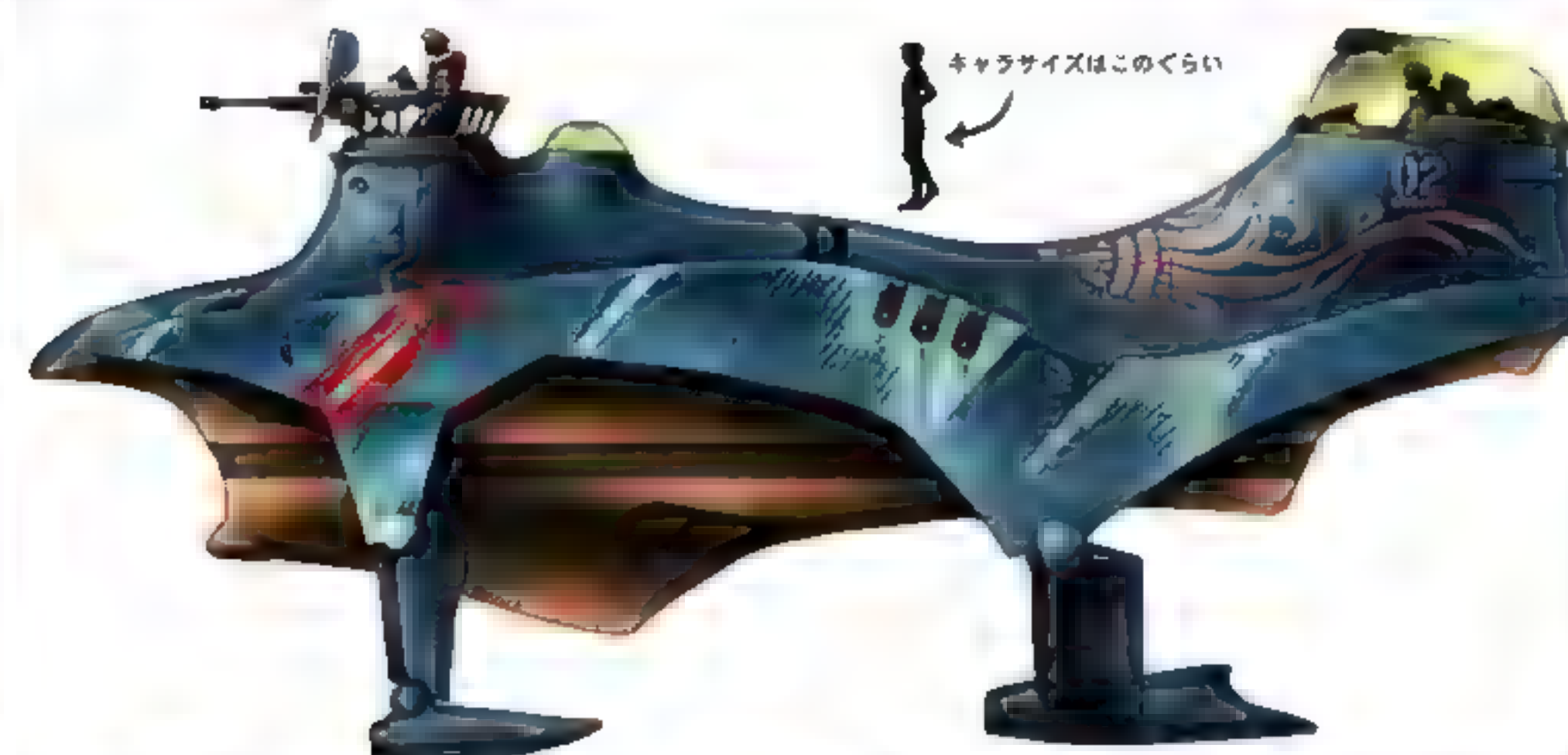
各種車両

タービン機関を動力に持つ各種の車両。SeeD実地試験でバラムガーデンからバラムの町へ向かうときはガーデン車両を、D地区収容所からミサイル基地へ向かうときはカーキ色のガルバディア軍車両を、ワールドマップ上で実際に操作できる。

高速上陸艇

バラムガーデンが所有する強襲上陸艇。陸に乗り上げたあと、前面を大きく開いて搭乗員をすばやく上陸させることができる。船体上部の機関砲は、ガルバディア軍の機動兵器の装甲を貫通するほどの威力を持つ。

キャラサイズはこのくらい

▼前面開口時

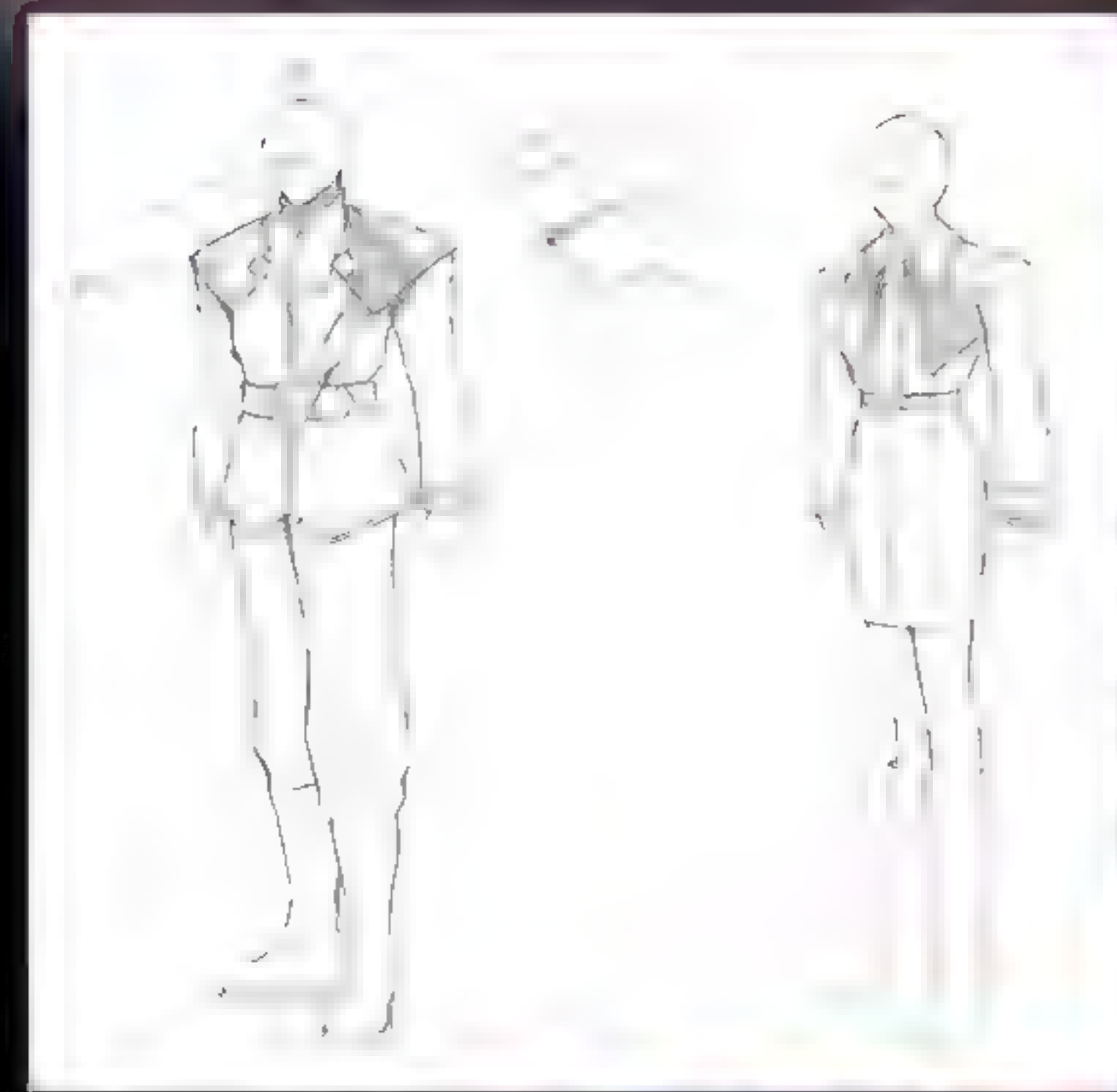
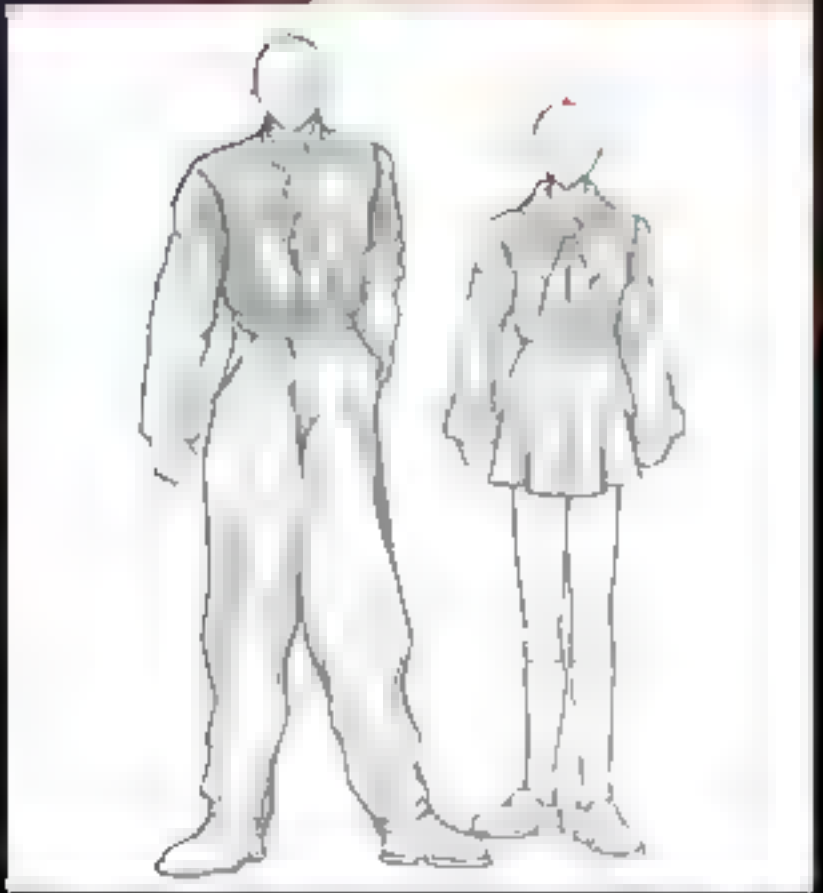
▼機関砲

チョコボ

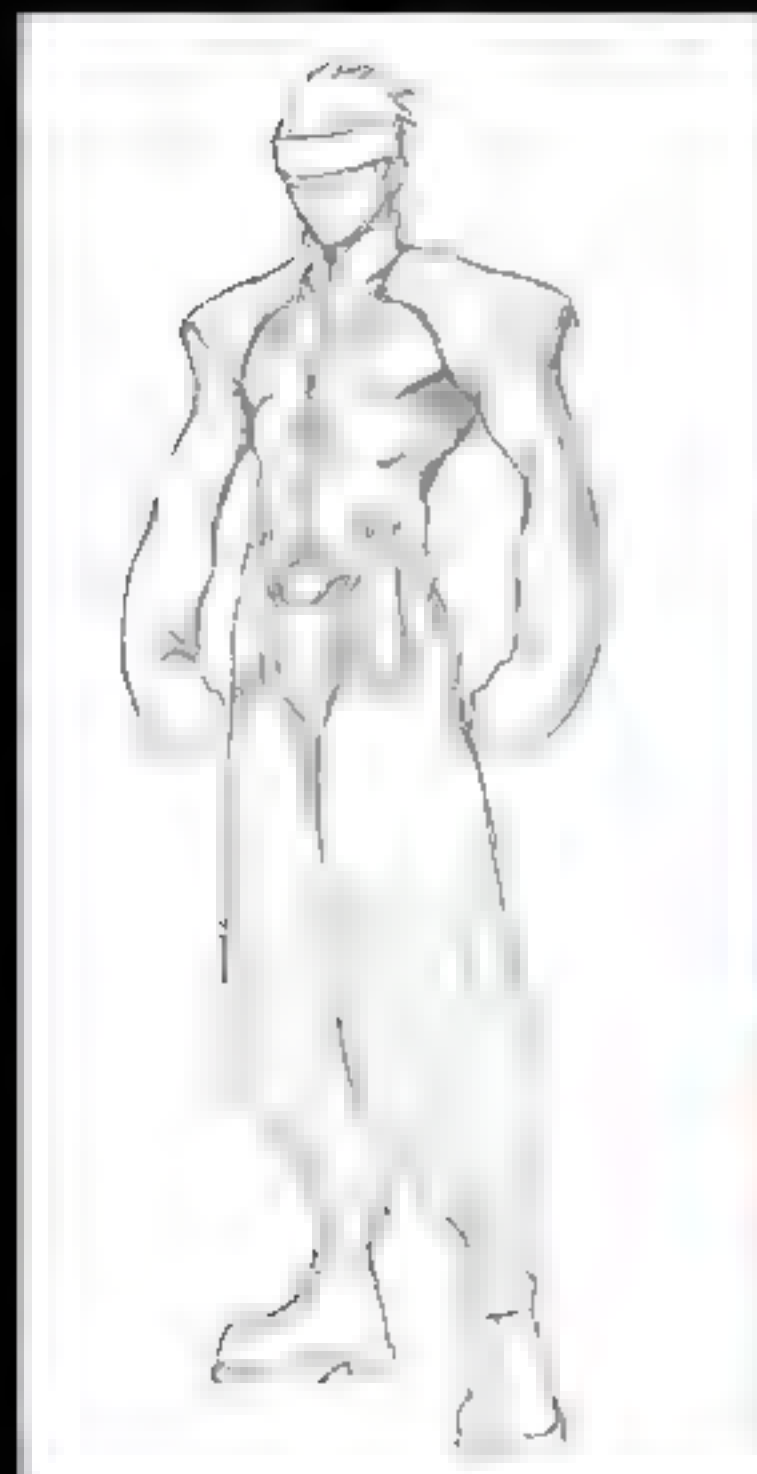
シリーズでおなじみの、地上を走る鳥。下のラフスケッチでは、チョコボと、それに乗るスコールの姿が、リアルなタッチで描かれている。

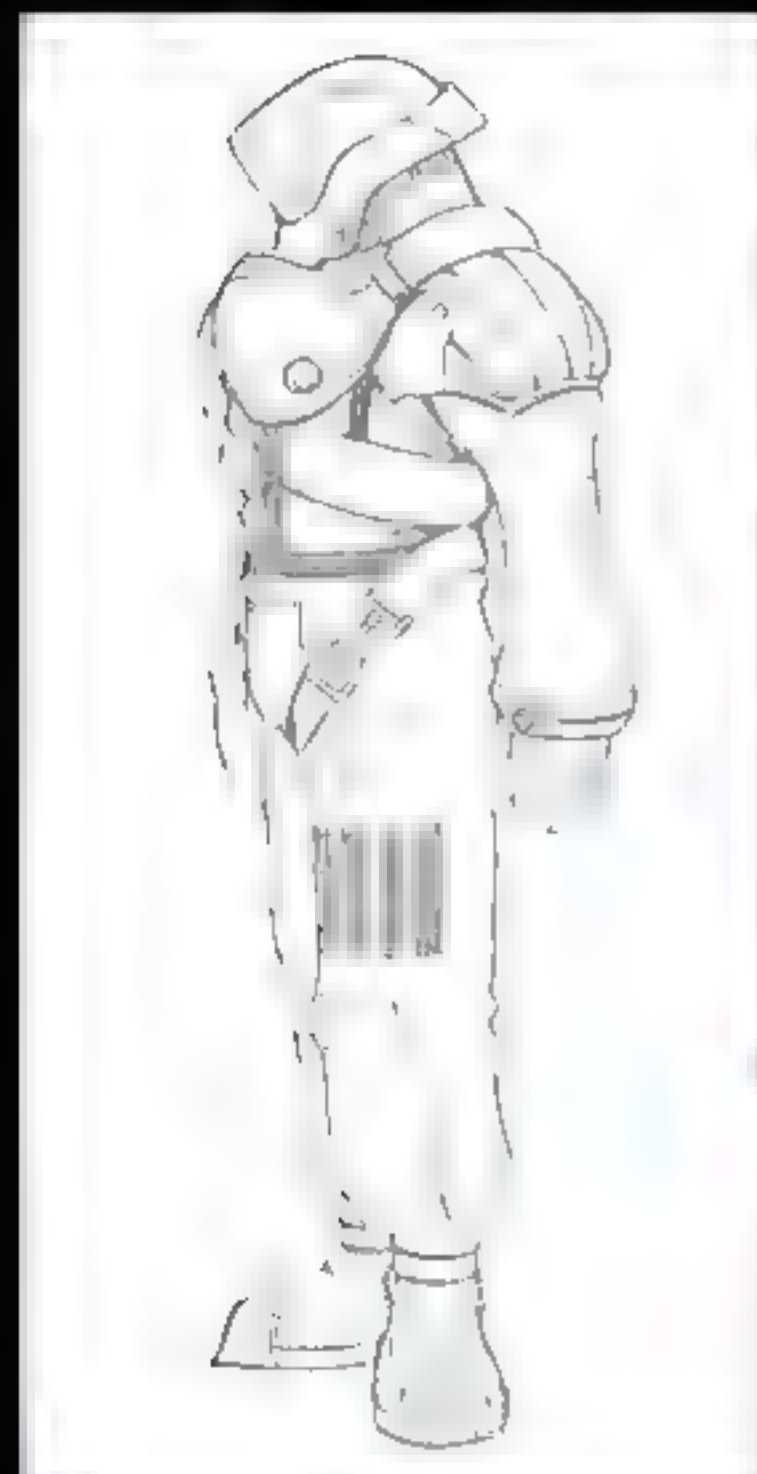
衣装デザイン

ガーデン制服

バラムガーデンの生徒が着る、男子用と女子用の制服。ゼルやセルフィは、SeeD就任パーティーまではこの制服姿で過ごす。スコールも、ドールでのSeeD実地試験にのぞむときには、この制服を着用する。

▶全身画(下絵)

SeeD制服

男女それぞれのSeeDの正装。スコール、ゼル、セルフィの3人はSeeD就任パーティーのときに、キスティスは物語開始時からSeeD就任パーティー前までの時期に、この服を着ている。

白いSeeD制服

「魔女イデアのSeeD」を名乗る者たちの制服。白を基調としたツナギのようになっており、デザインは男女共通。

宇宙服

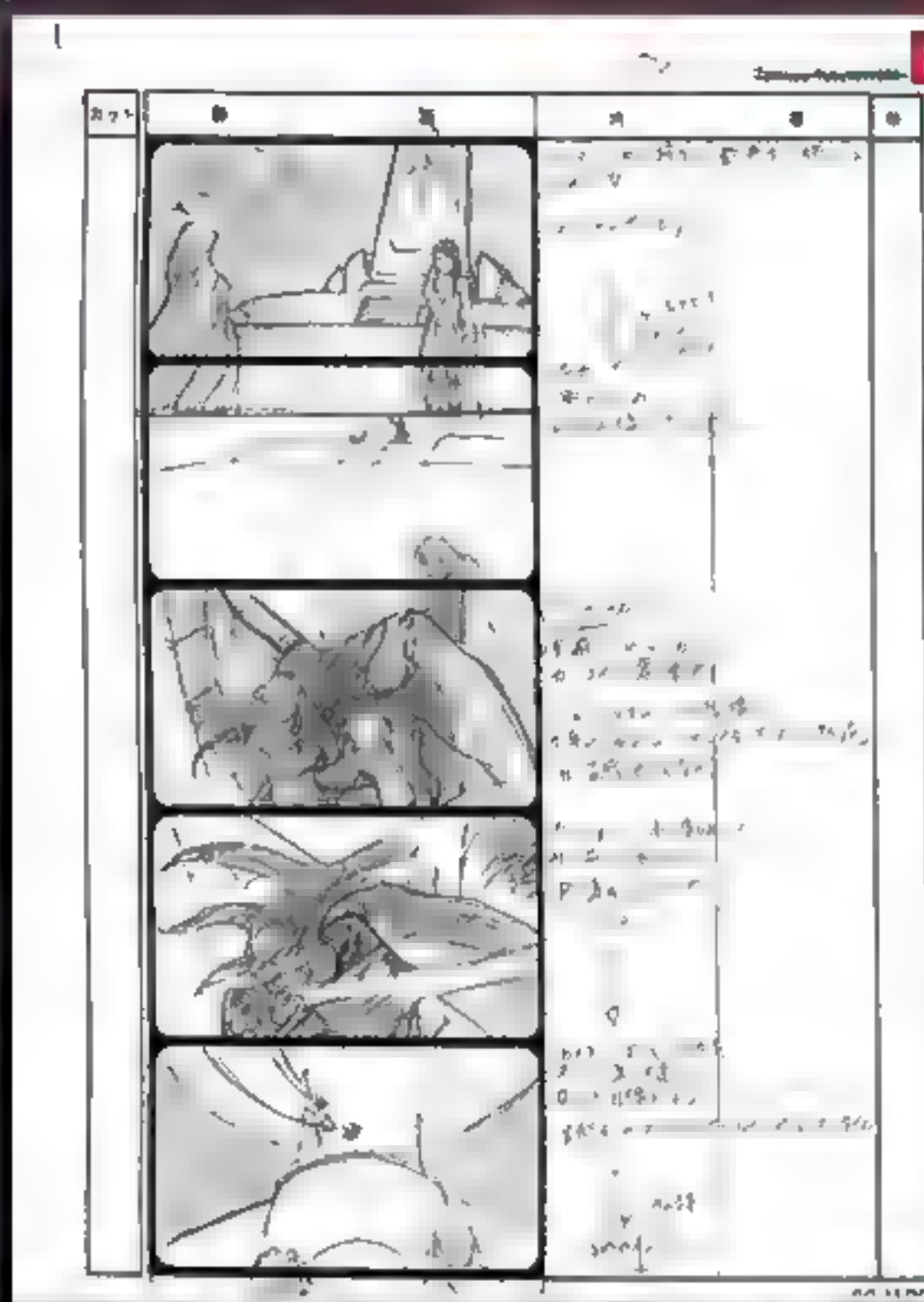
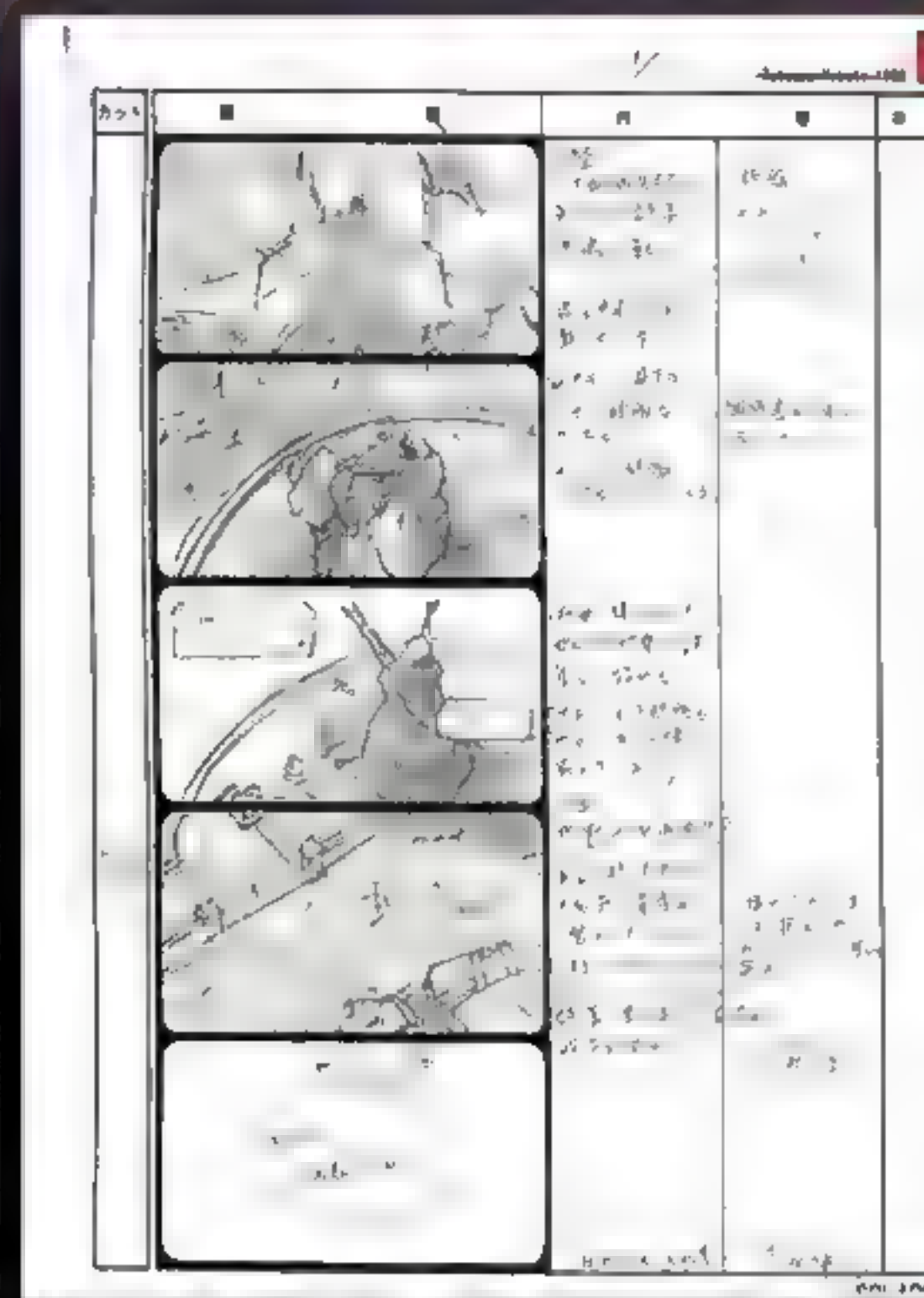
ルナサイドベースでアデル・セメタリーを監視する者たちが、宇宙での作業時に着用する服。スコールとリノアも、宇宙へ出るときにこの服を着る。

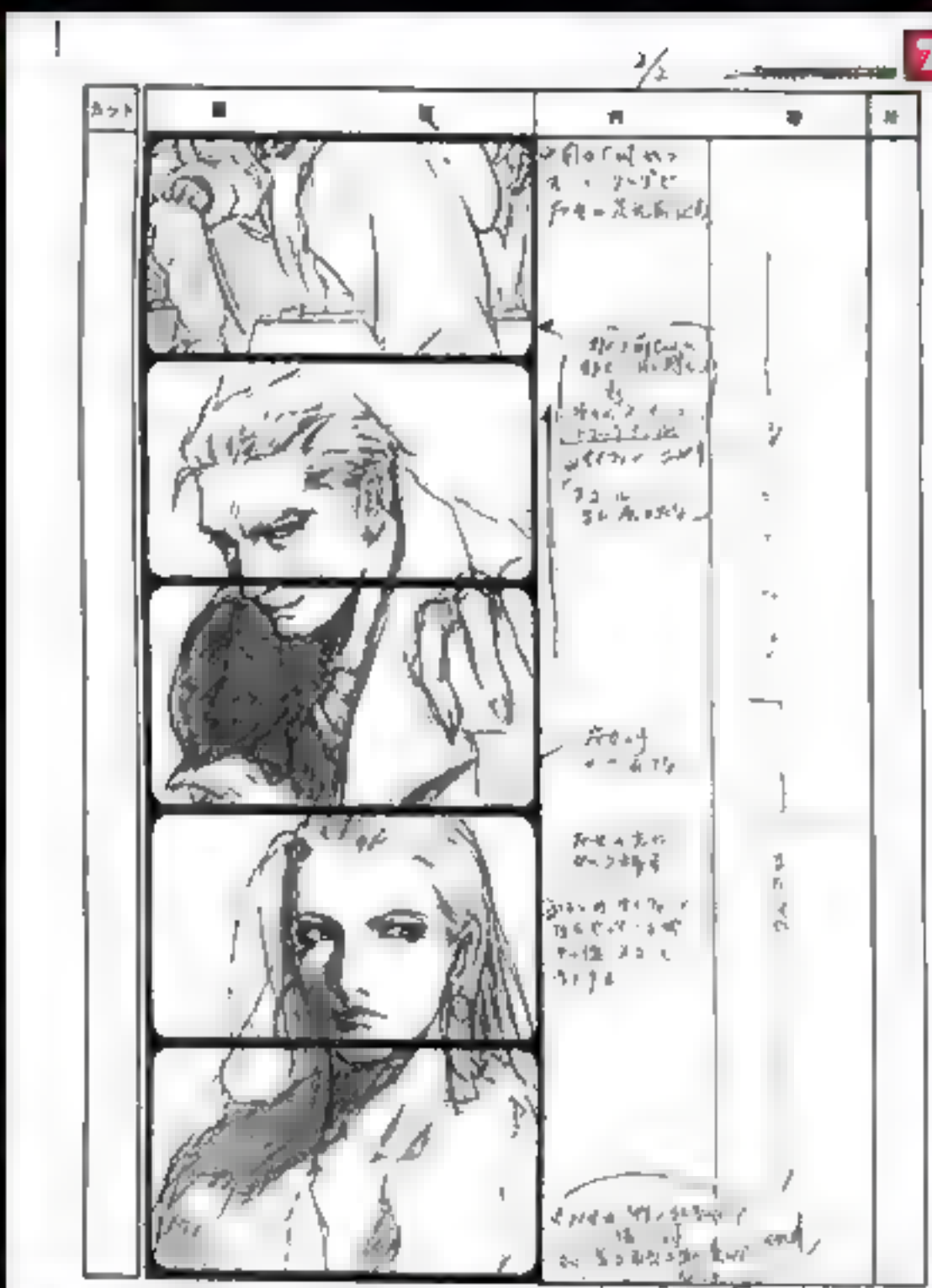
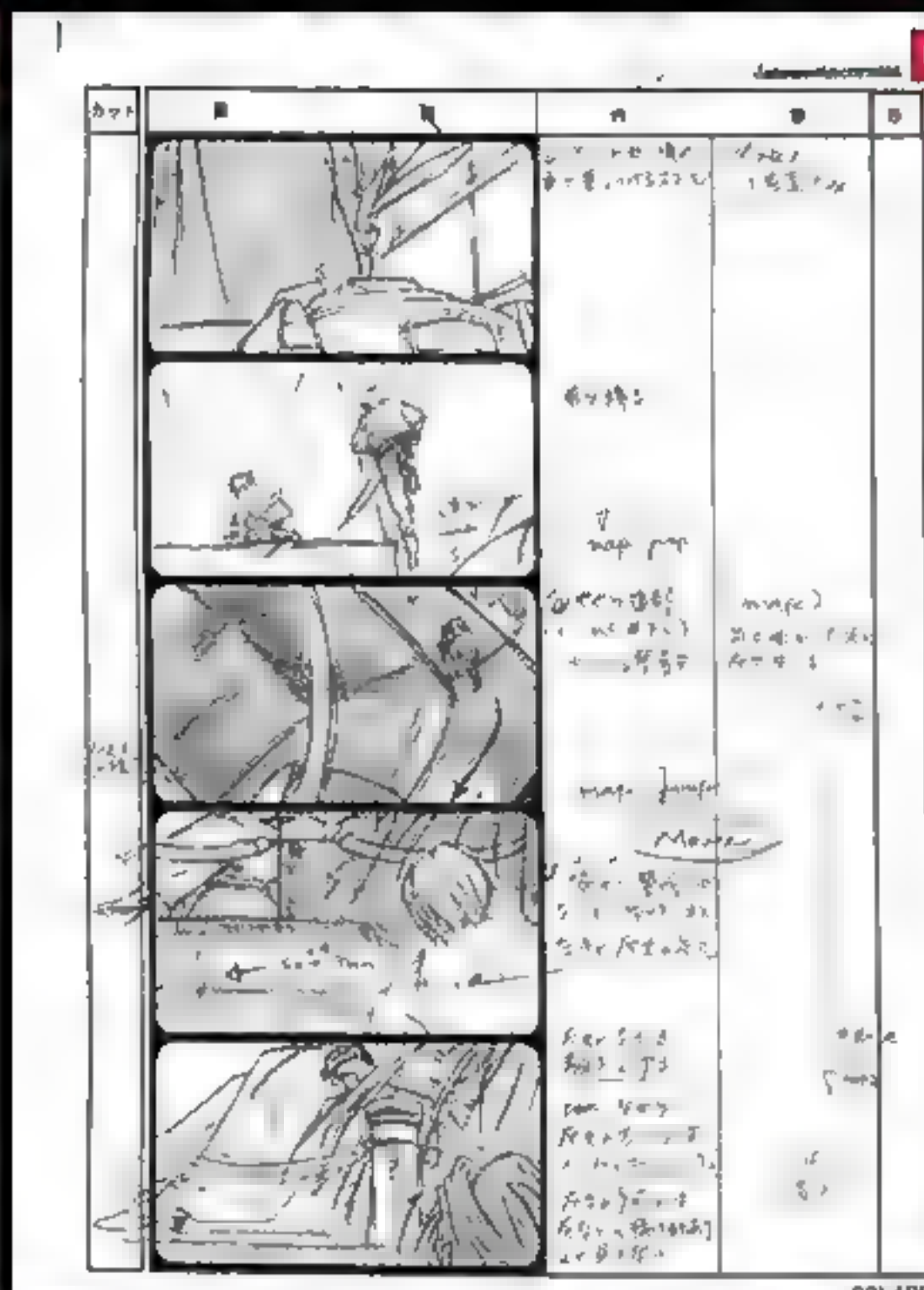
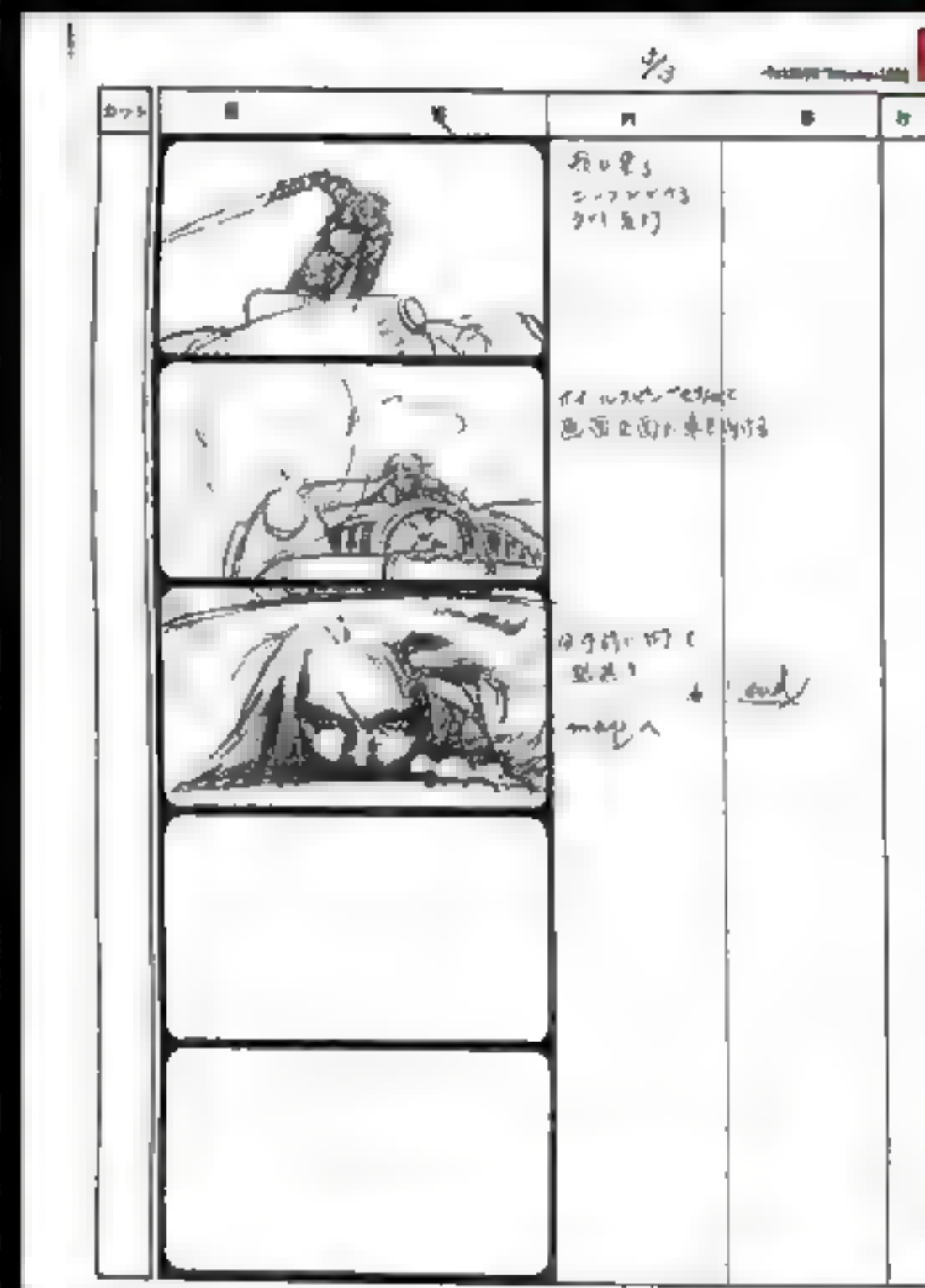
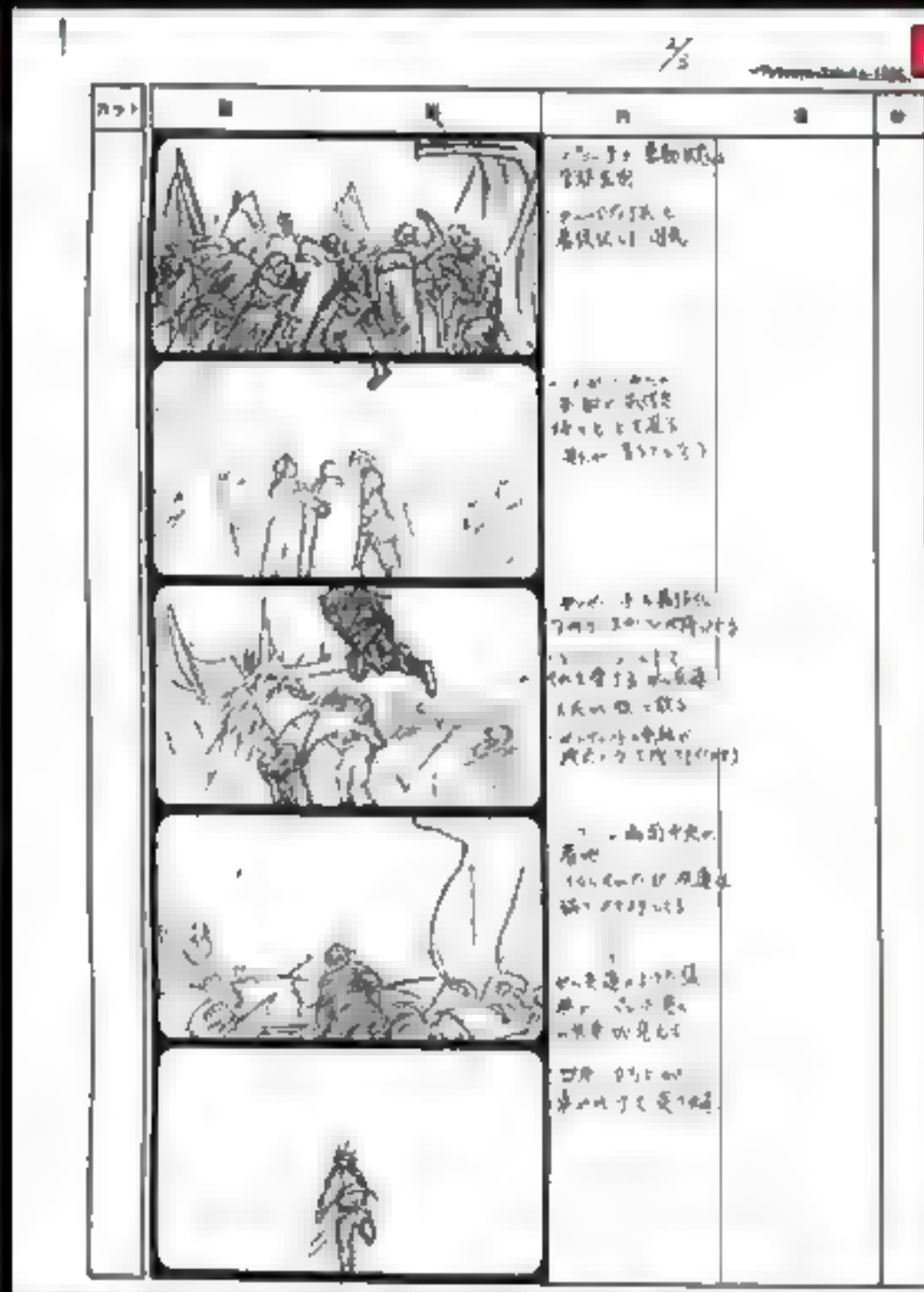
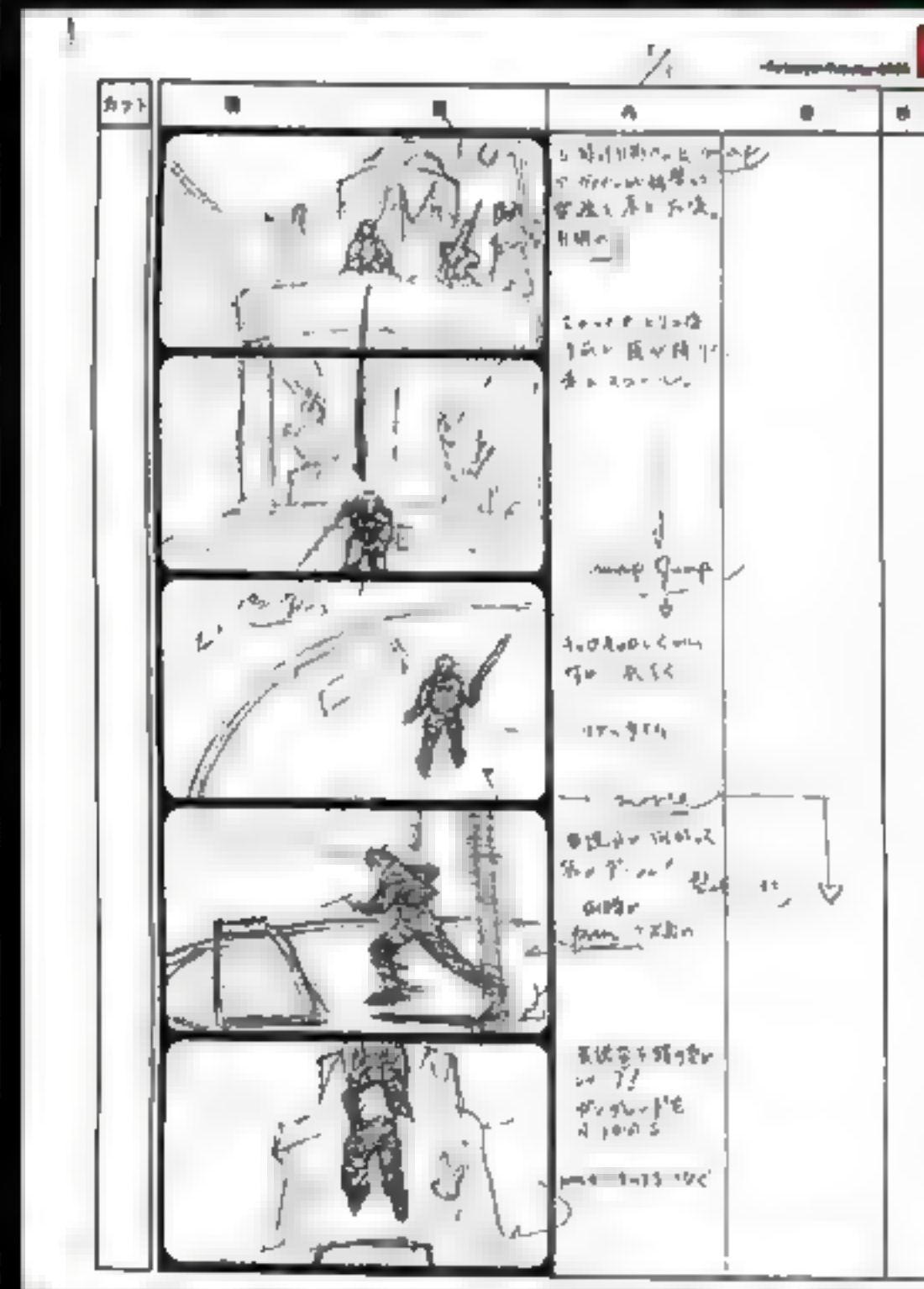
ドール兵制服

ドール公国の正規兵の制服。ゲーム中では、電波塔へ向かうときにこの姿の兵士が登場するほか、物語後半では制服を着た兵士が歩哨として街に立っている。

ダンサーの衣装

デリングシティの魔女のパレードで踊るダンサーの衣装。左が男性、右が女性のデザインとなっており、ダンサーたちが踊る姿はムービーで見ることができる。

絵コンテ

魔女暗殺計画

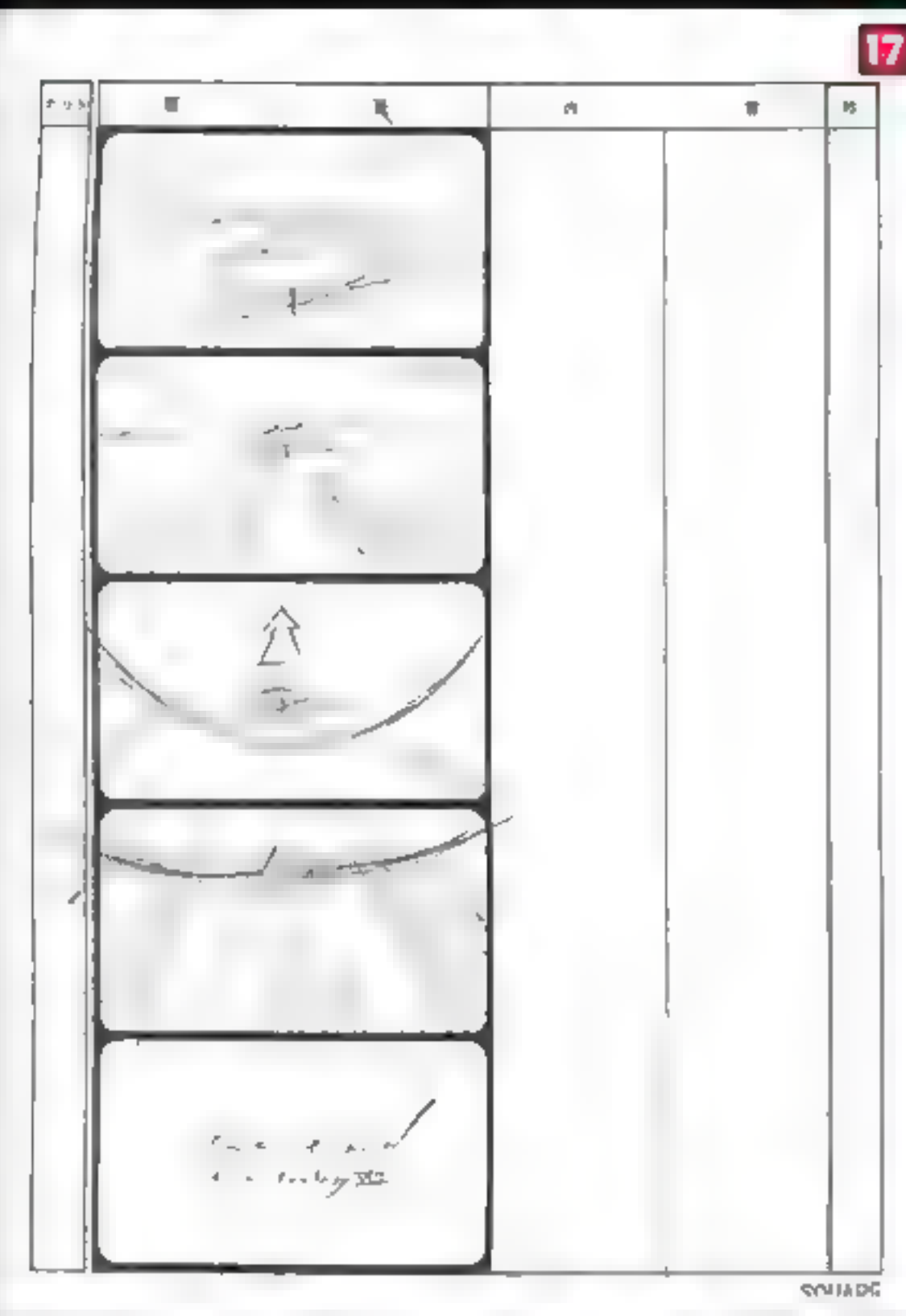
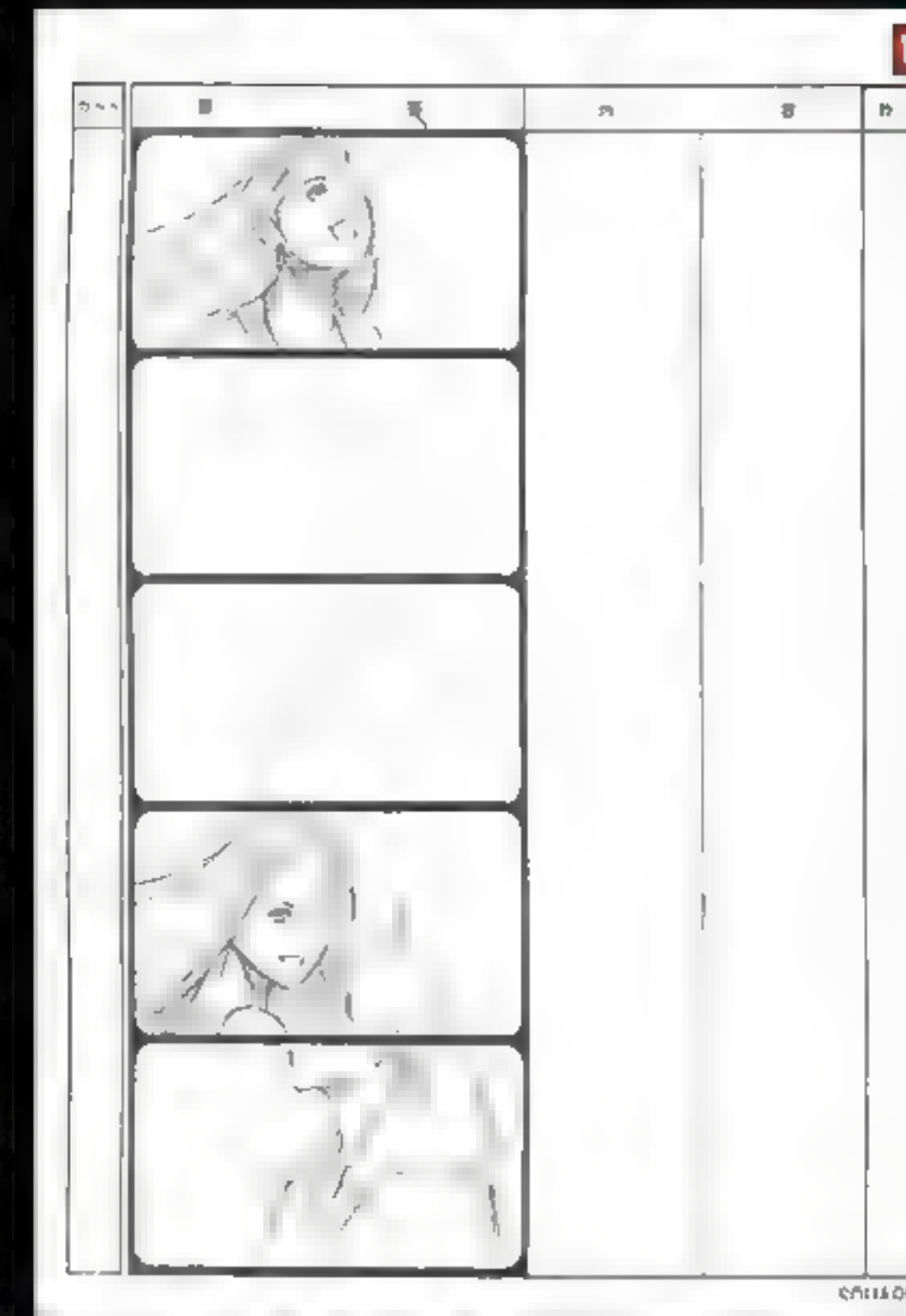
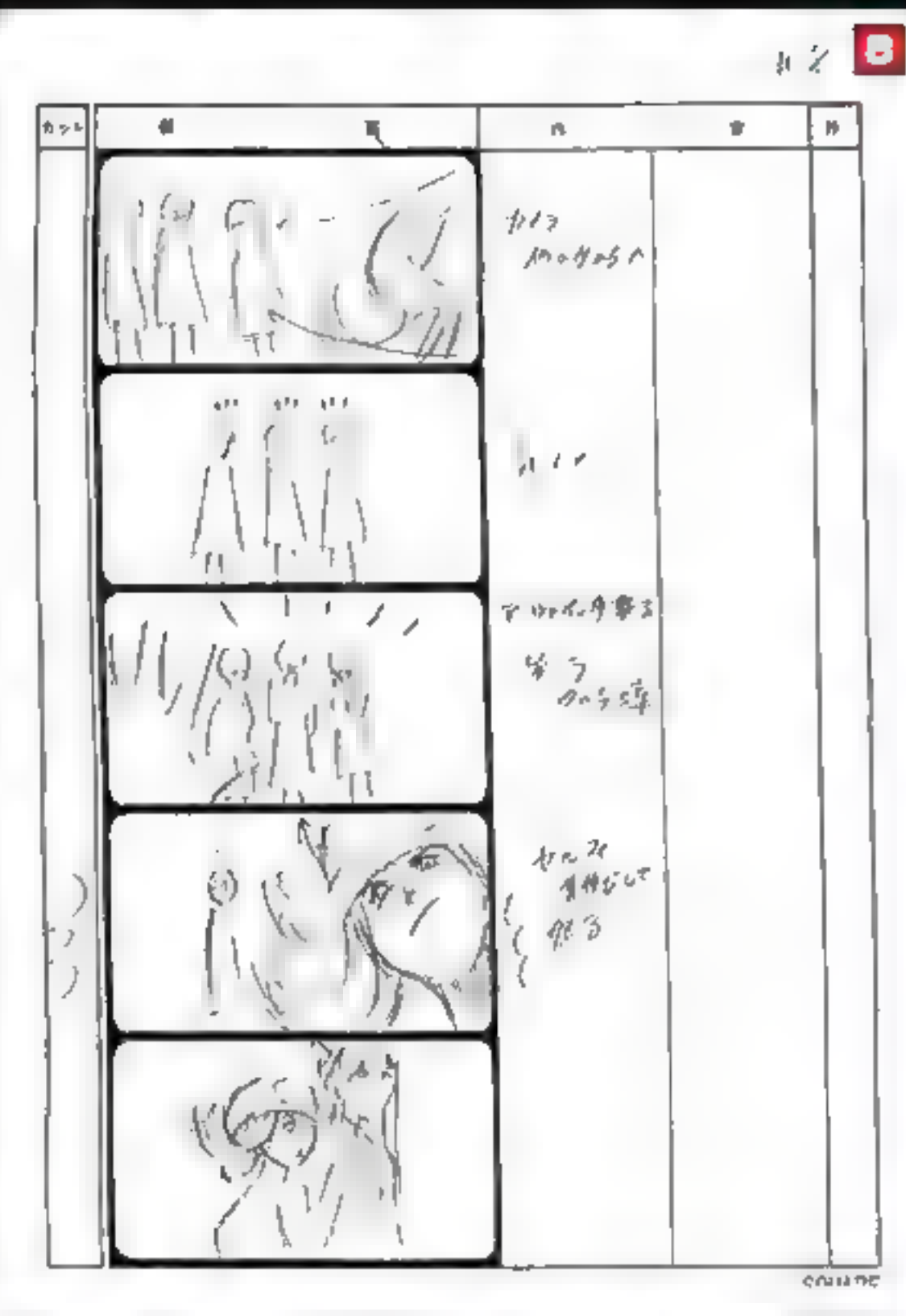
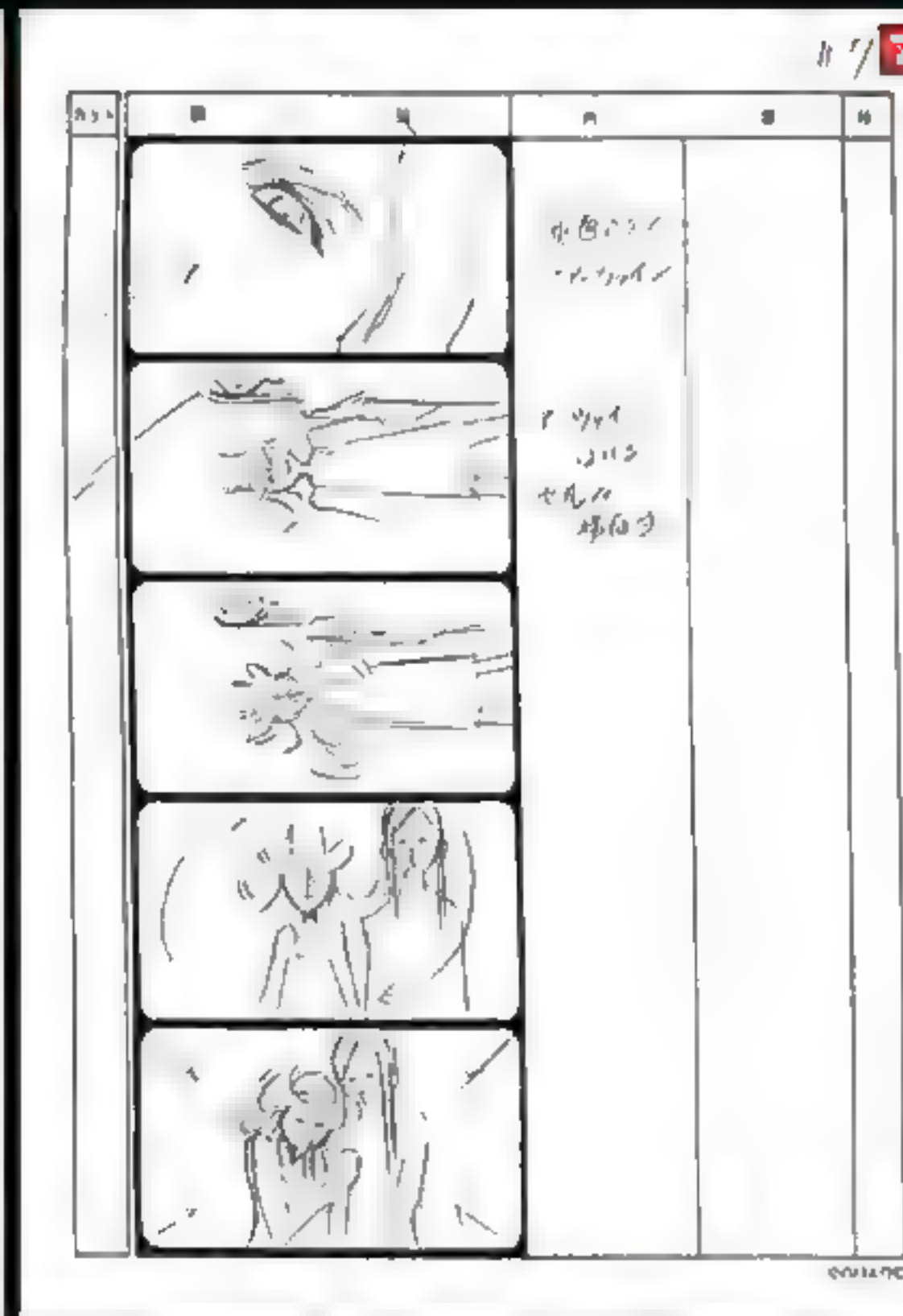
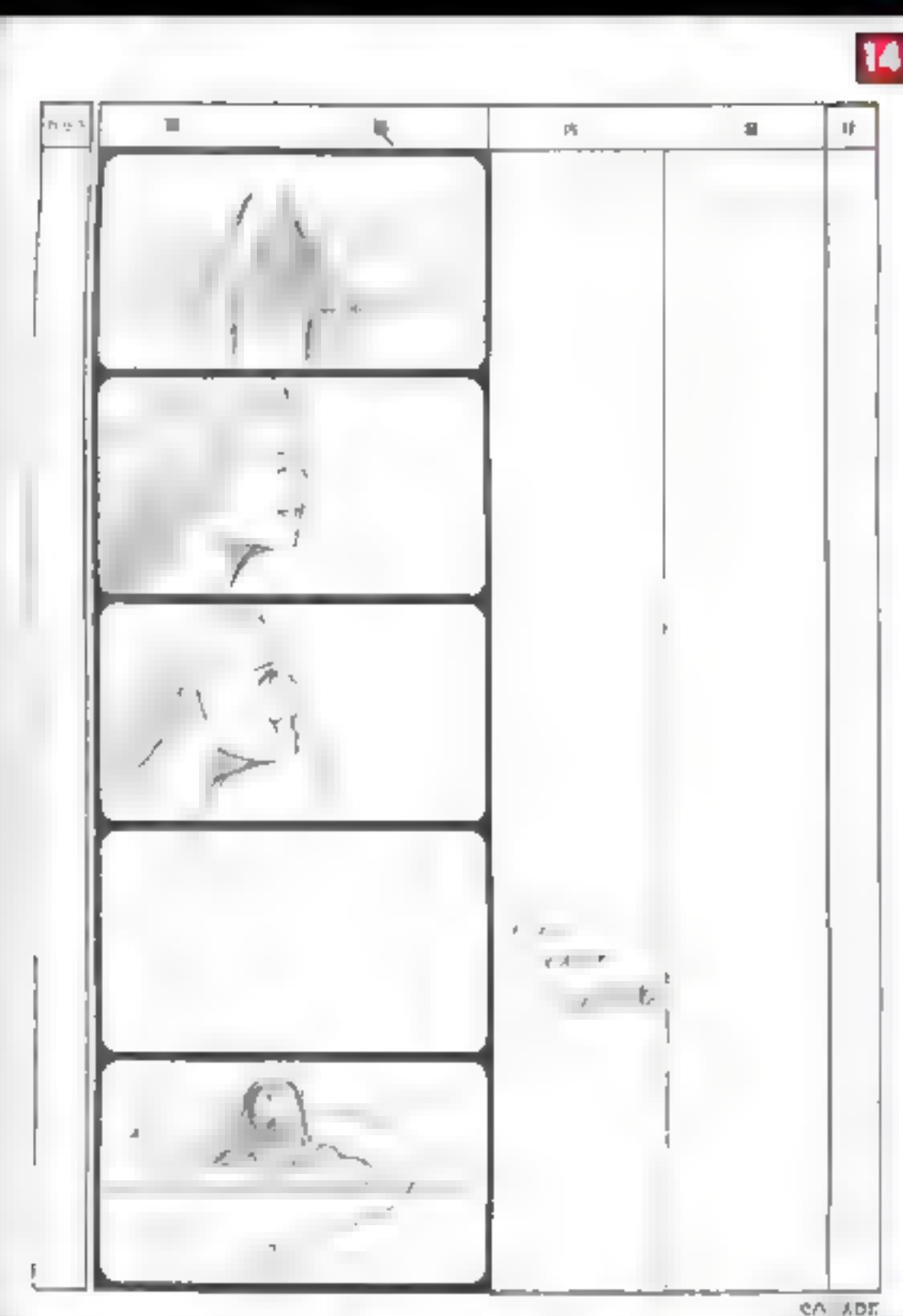
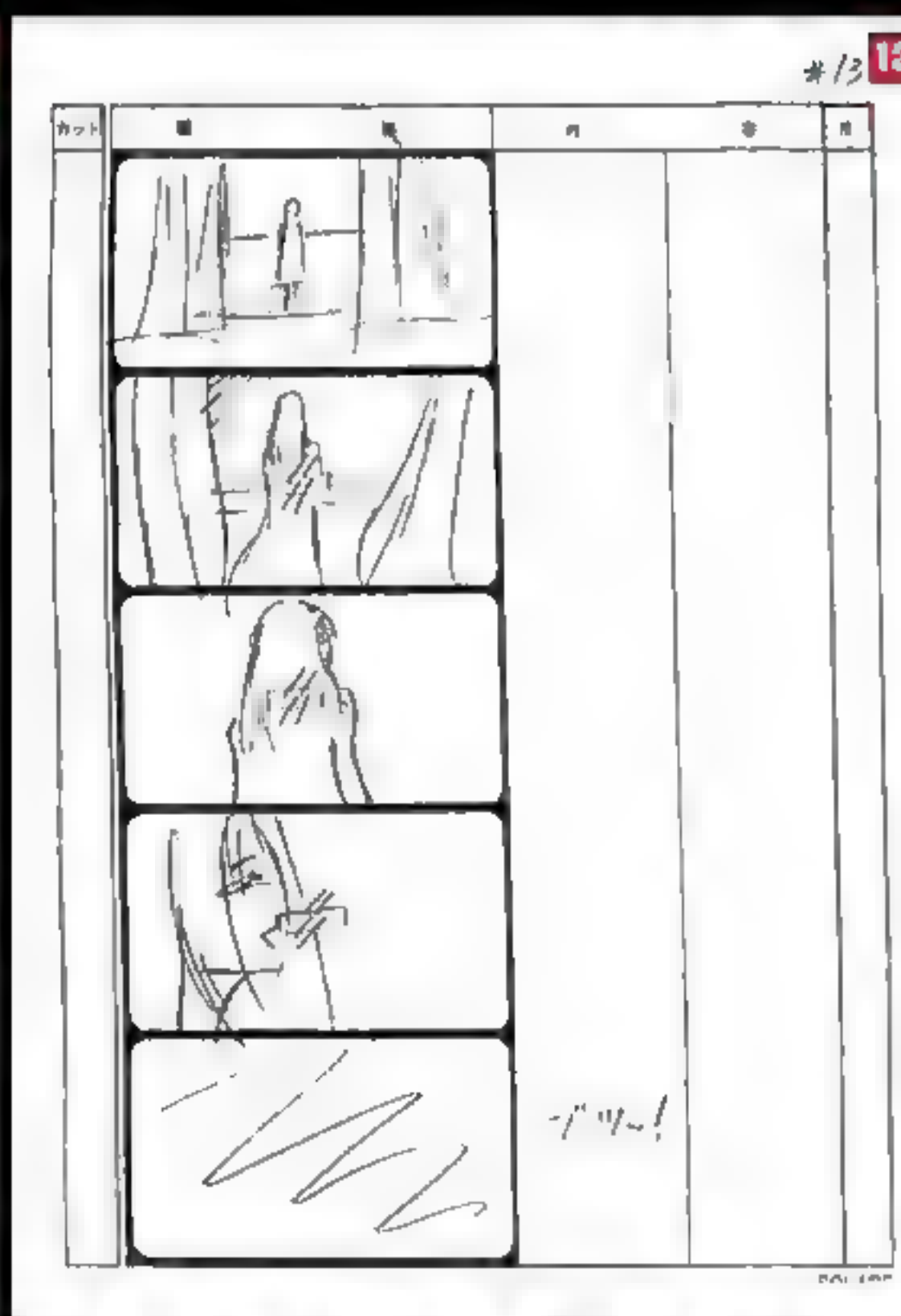
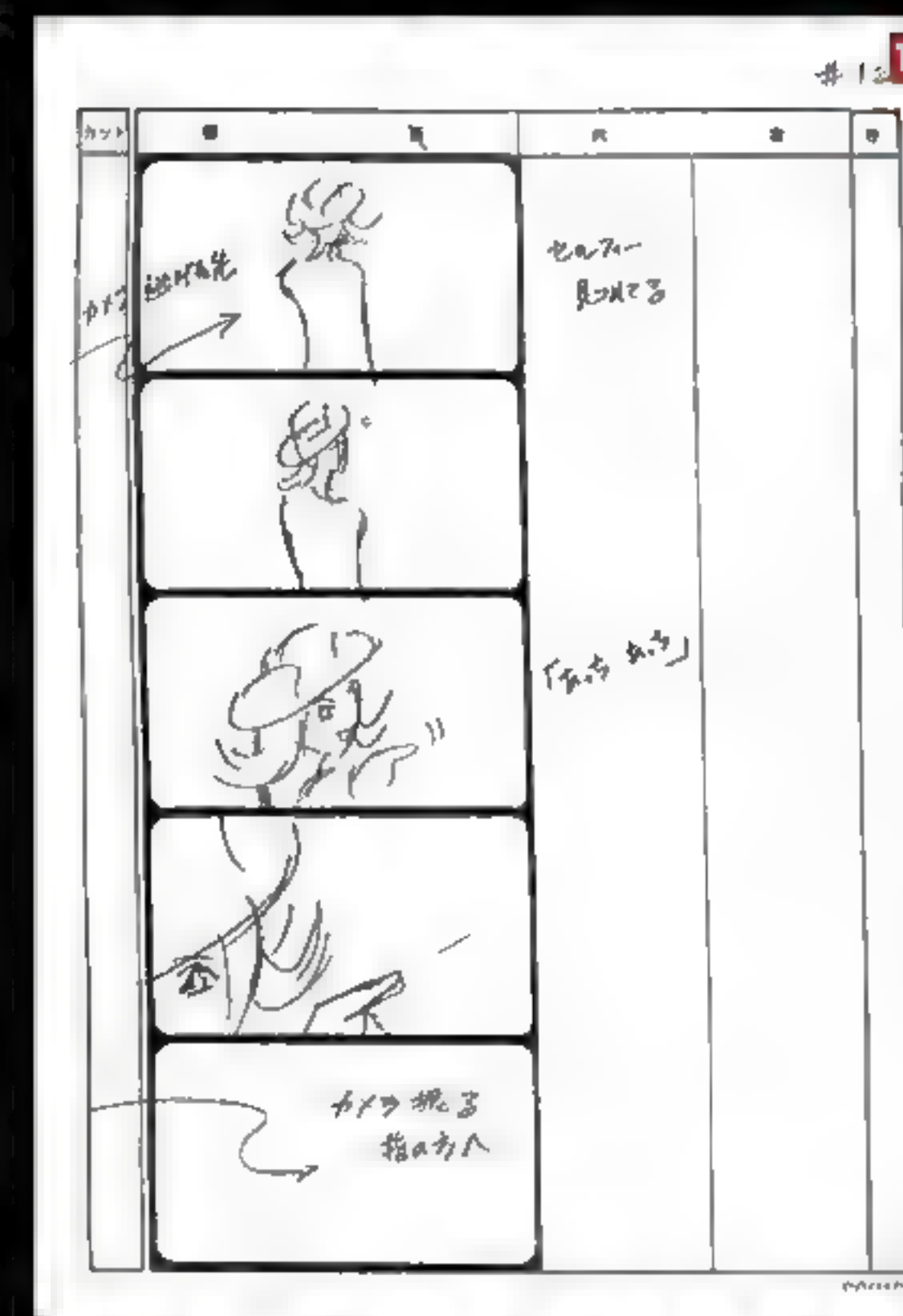
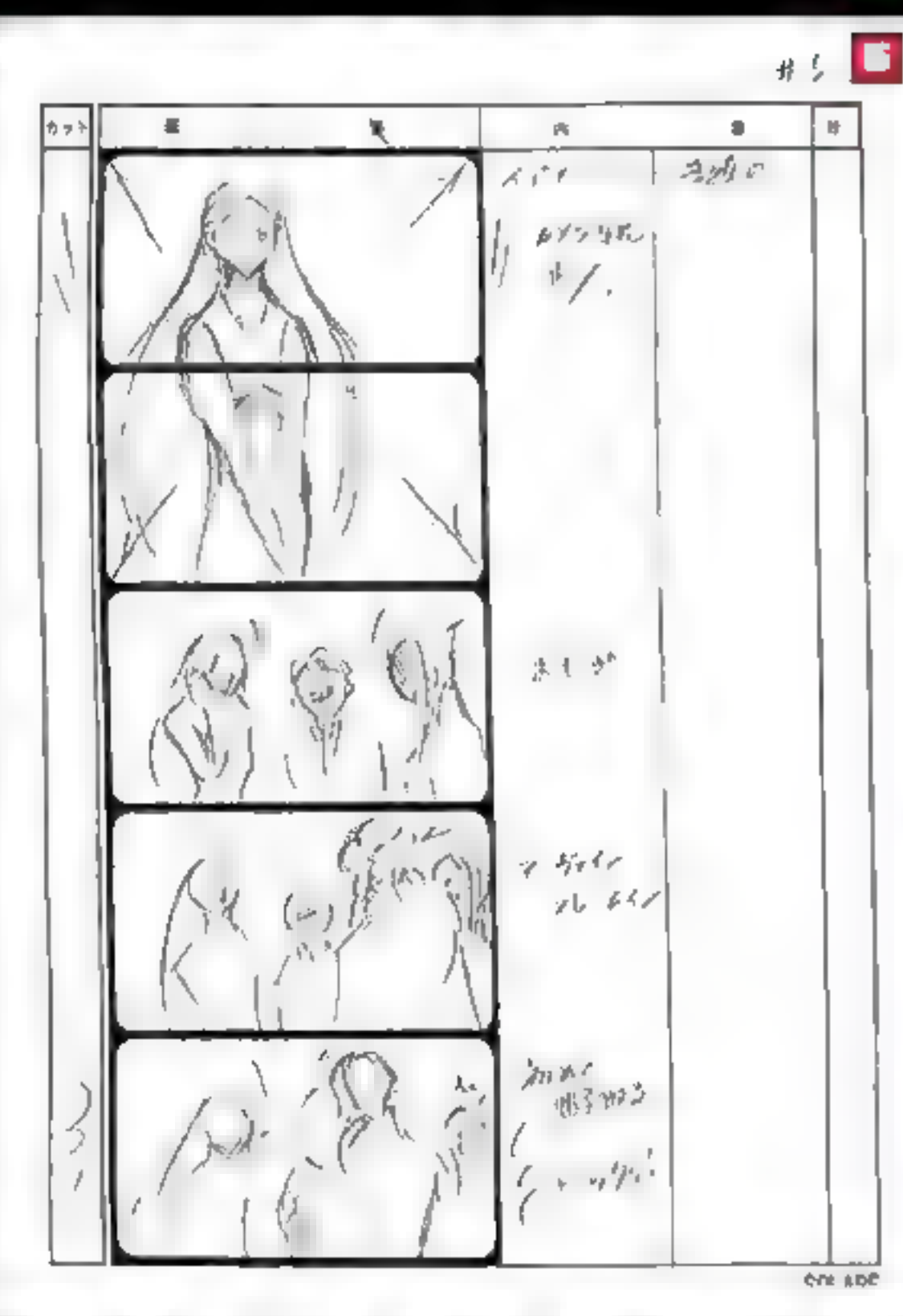
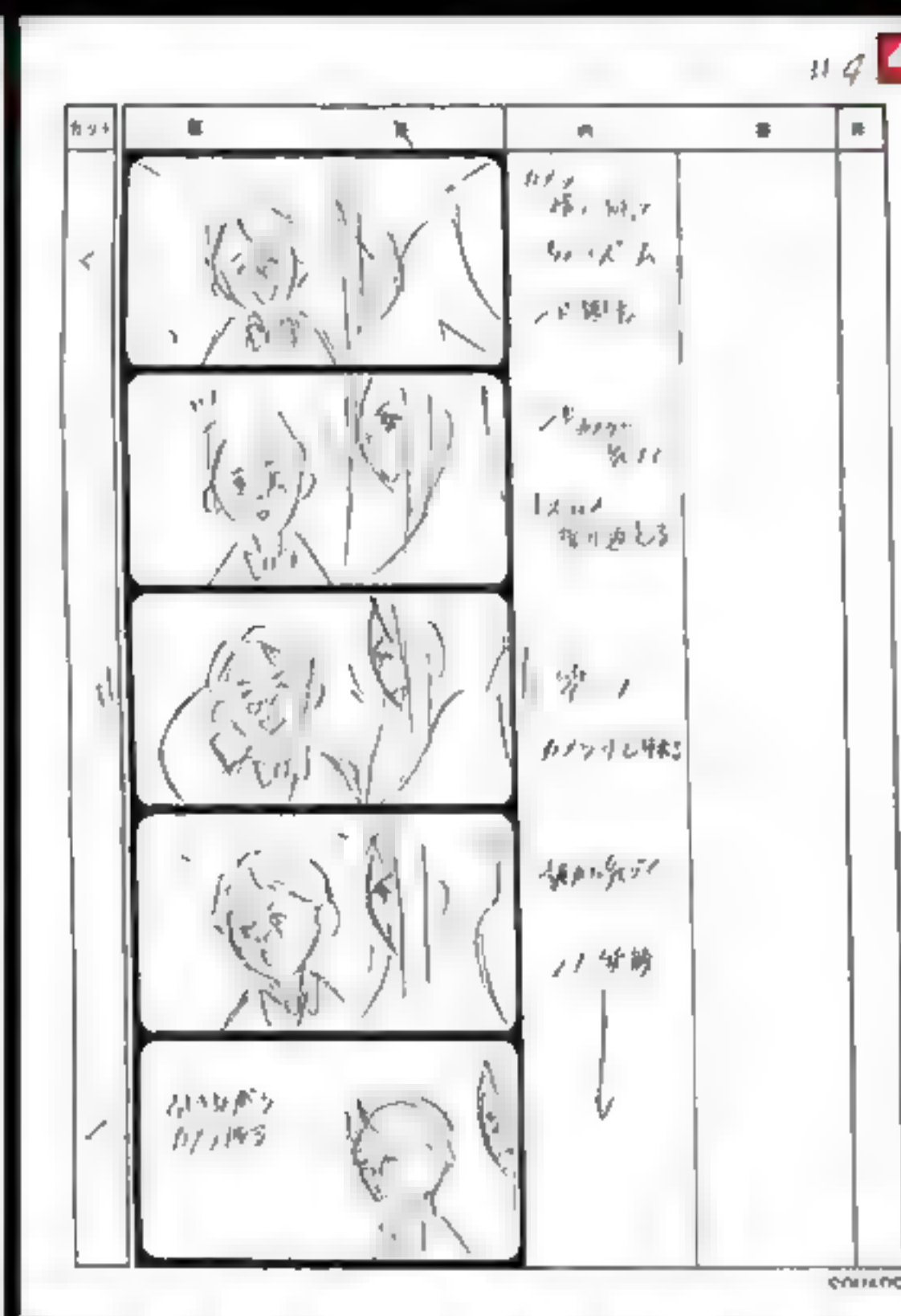
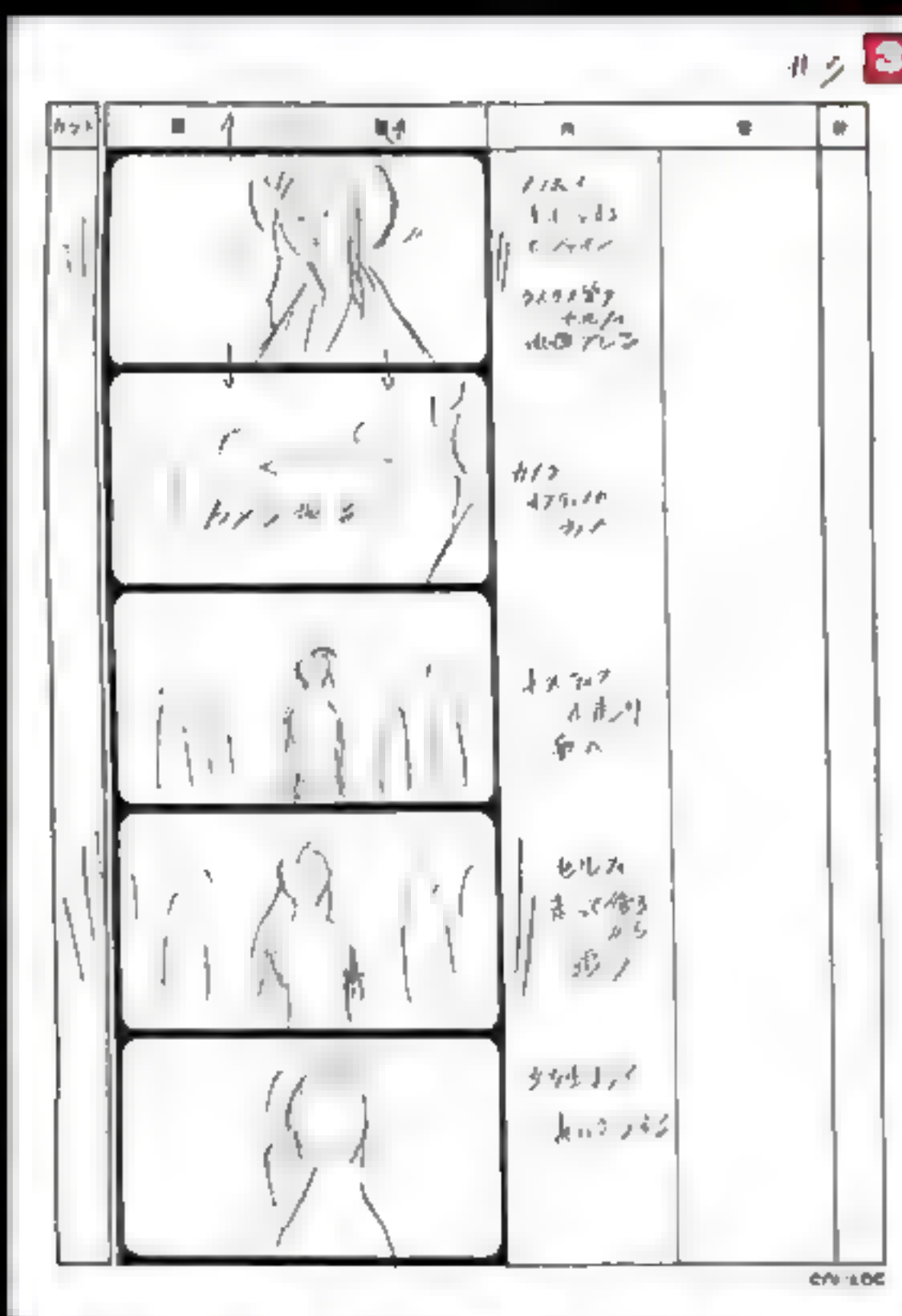
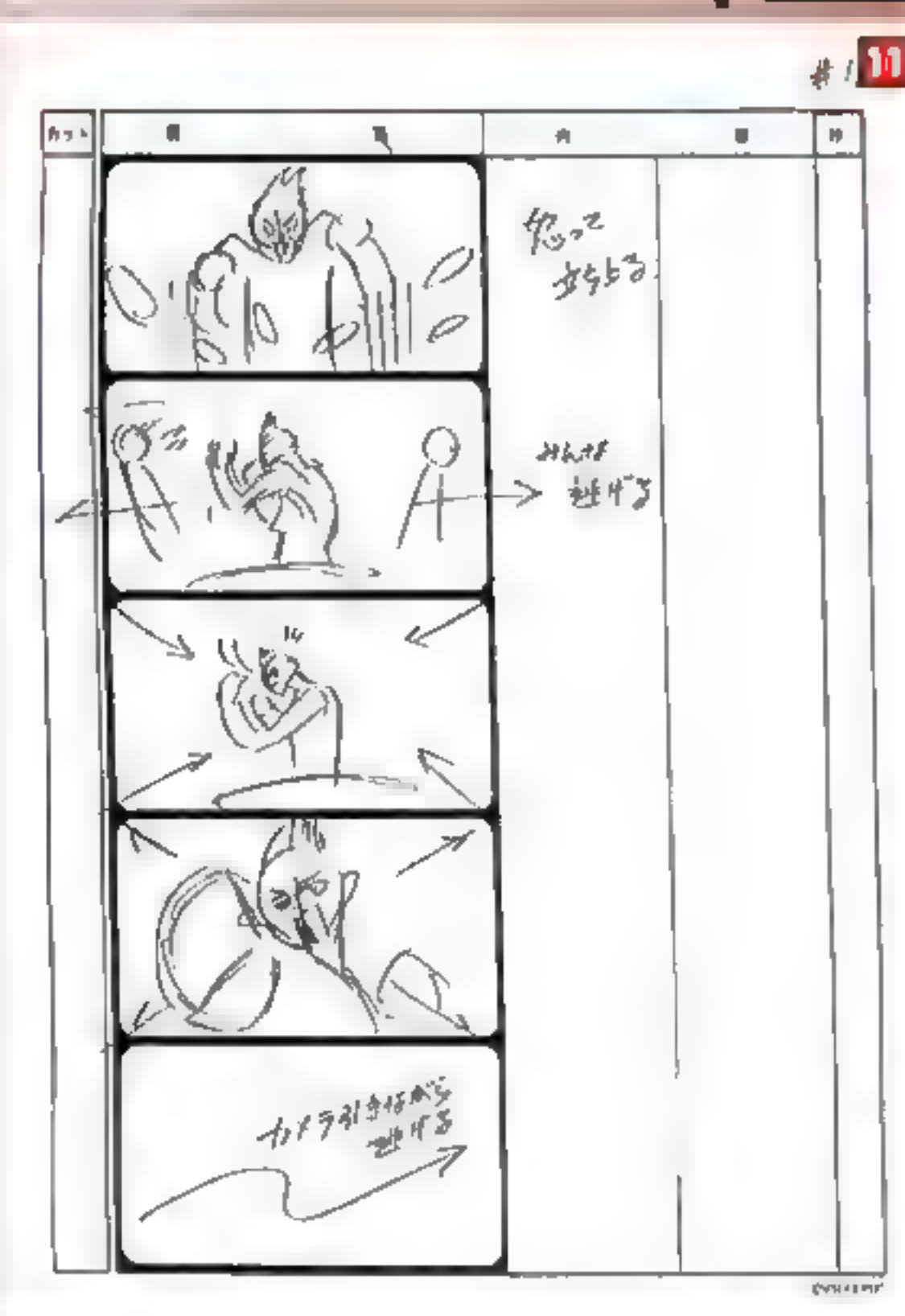
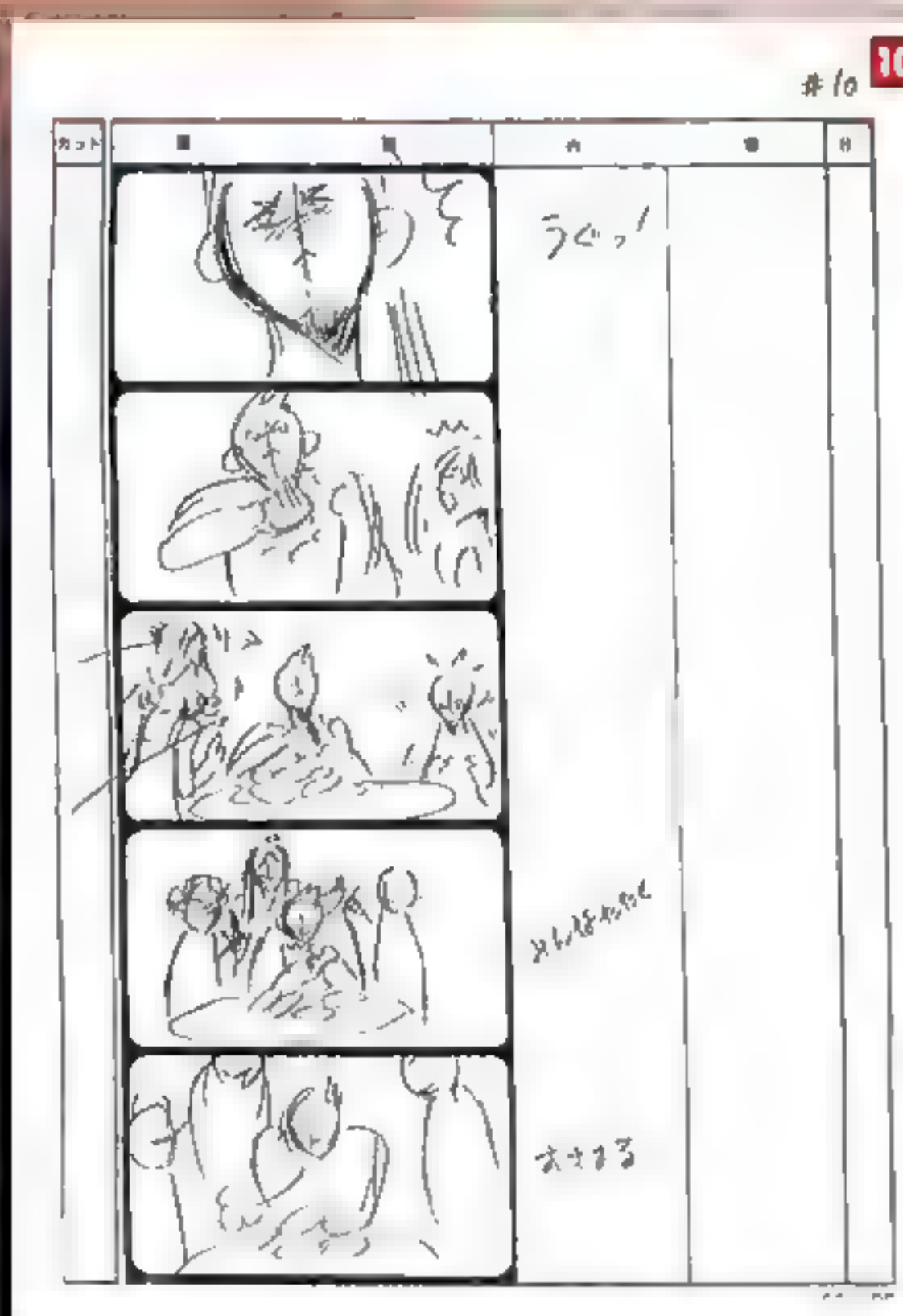
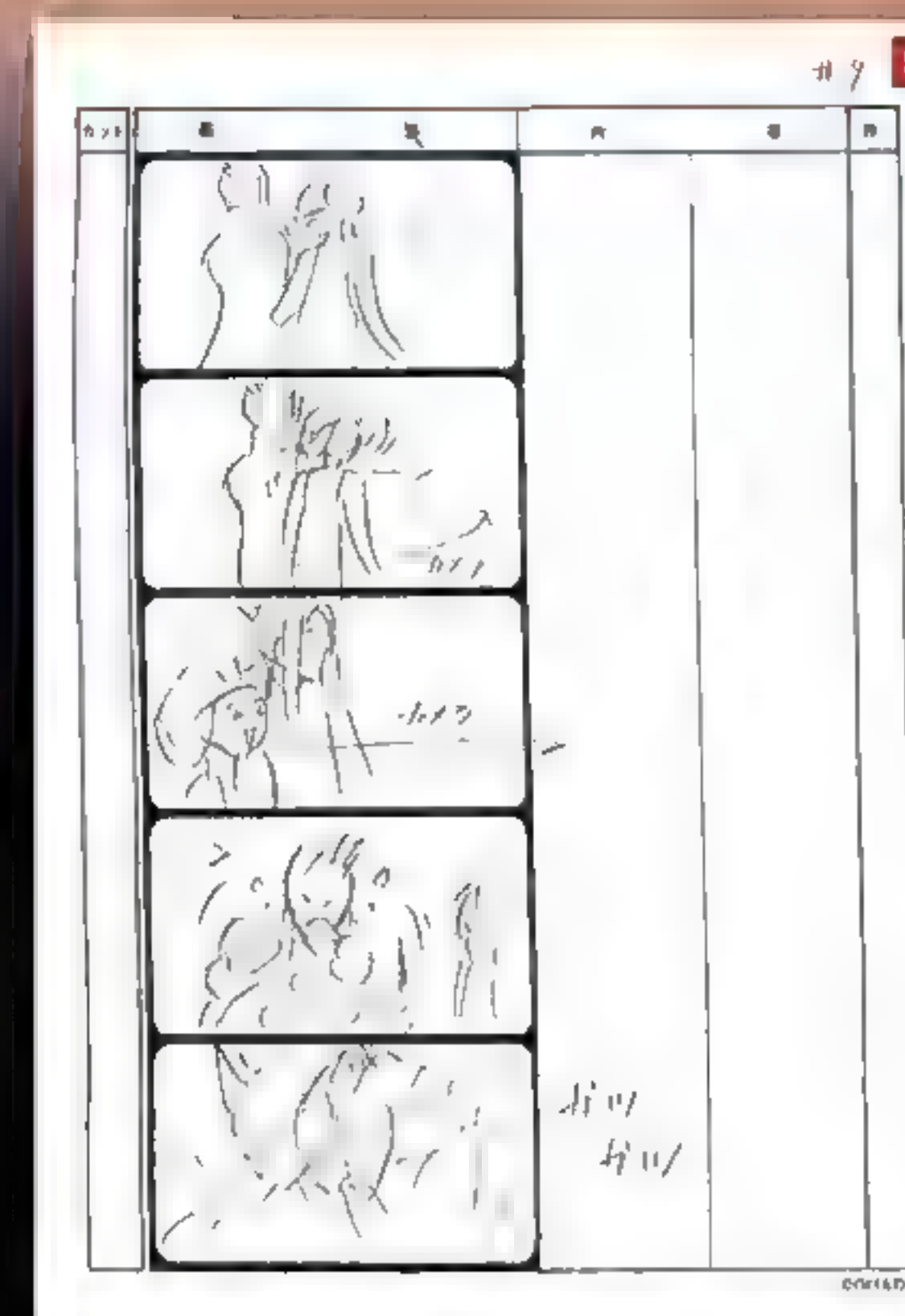
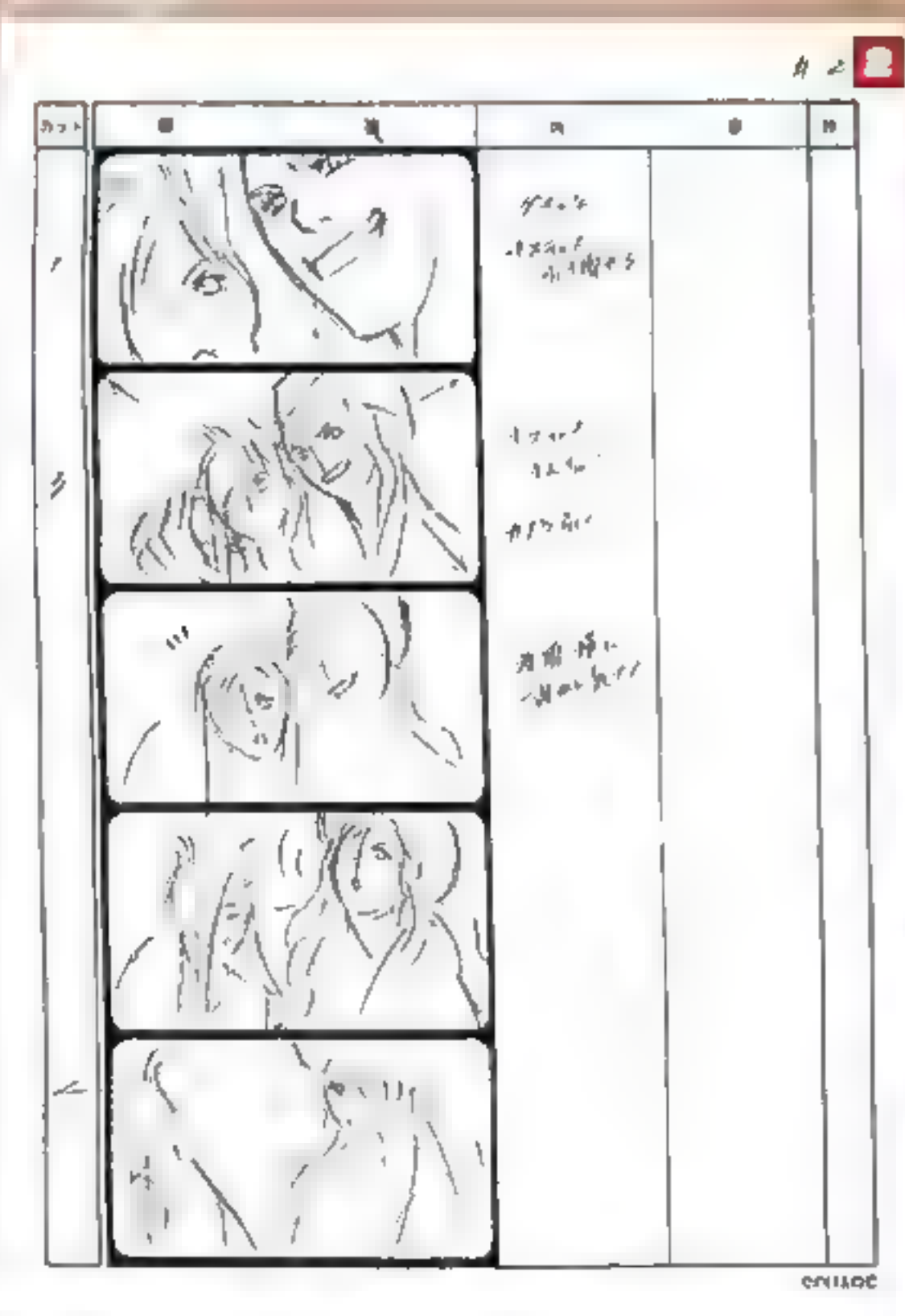
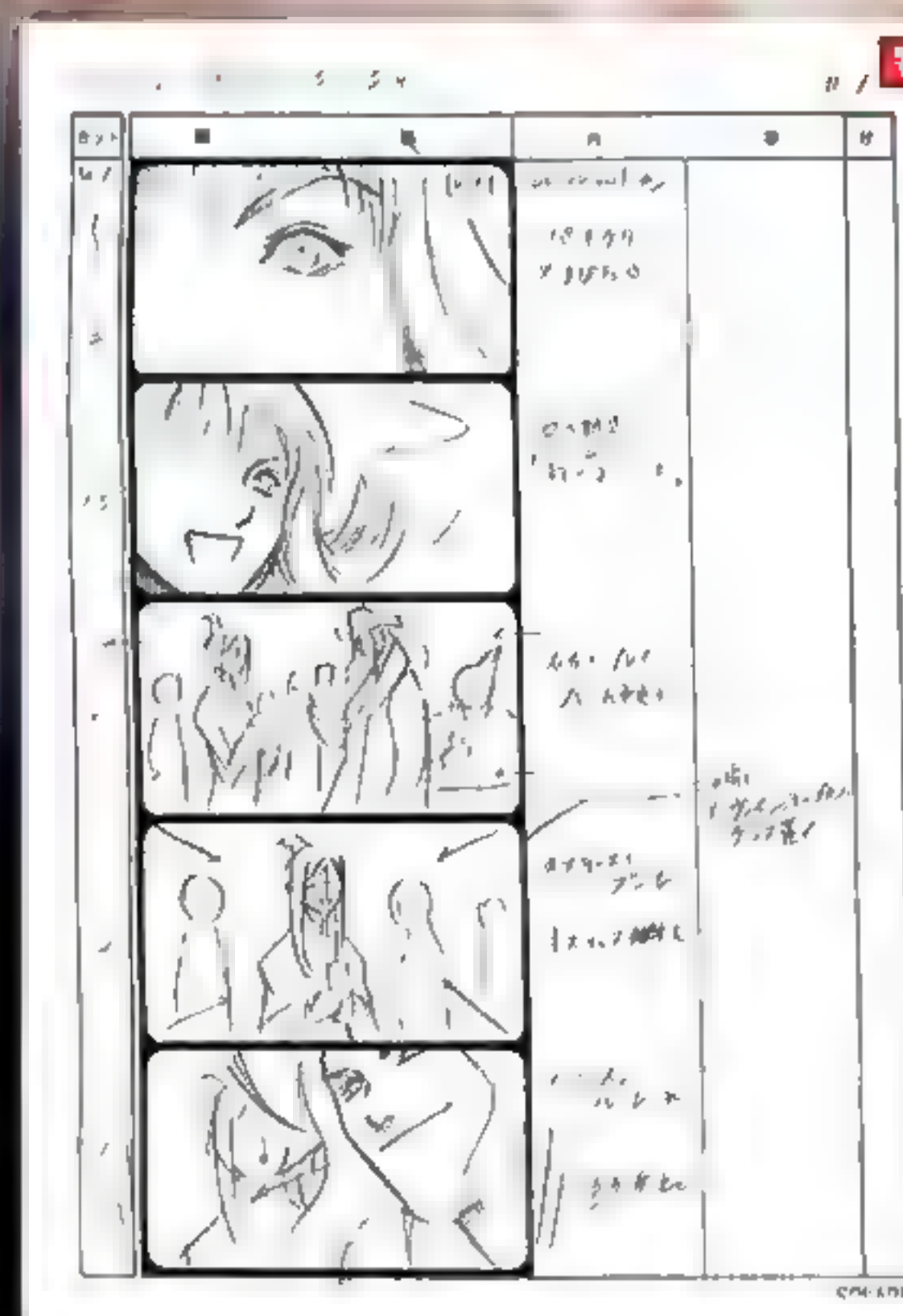
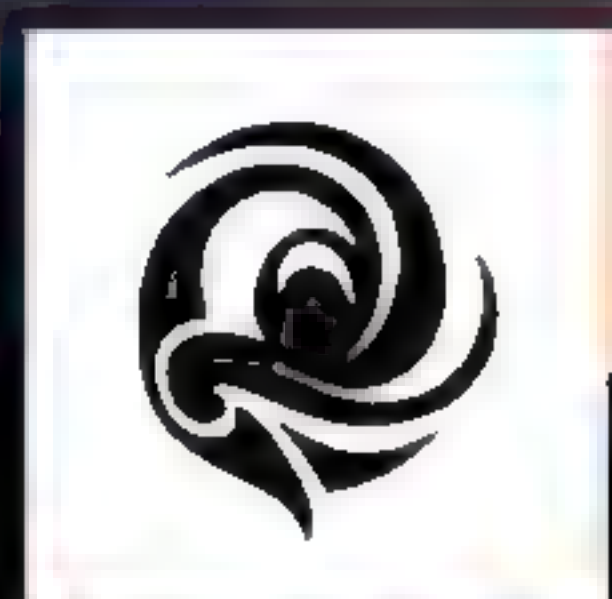
イデアの演説のシーンと、狙撃の失敗後にスコールが白兵戦を挑むシーンの絵コンテ。■の場面で動き出すモンスターが未決定の状態で描かれているが、石像からしだいに生身に変わるという演出は、実際のゲームでも採用された。■の場面のイデアは、まだ正式にデザインされておらず、仮の姿で描かれている。

そのほかの開発資料

▼バラム

▼ドール

▼ティンバー

▼ガルバディア

▼F.H.(フィッシャーマンズ・ホライズン)

▼エスタ

▼バラムガーデン

▼ガルバディアガーデン

▼トラビアガーデン

都市やガーデンのマーク

さまざまな国、都市、組織のシンボルマーク。これらのマークは、ゲーム内の各所で実際に見ることができ、世界観に深みを与えるのにひと役買っている。

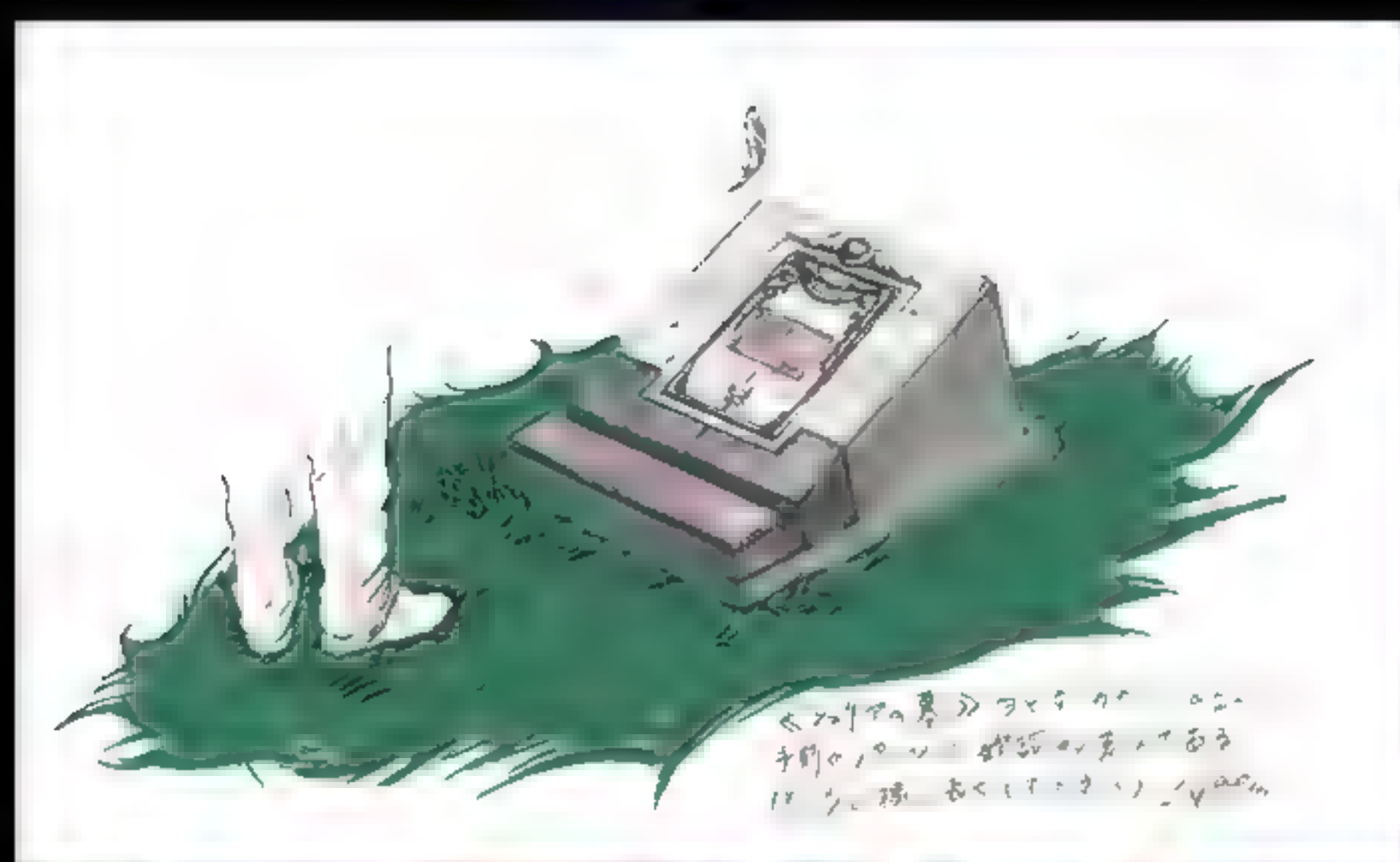
グリーヴァ

『FFⅧ』の世界では空想上の動物であるライオンの意匠。ライオンの名前は「グリーヴァ」で、スコールが首からさげているペンダントや、ガンブレードのグリップに取りつけられた飾りは、この形になっている。

ガンブレード

銃の機構を組みこんだ剣。弾丸をこめて引き金を引くと、振動が刃先まで伝わって斬撃の威力が増す。上のイラストはスコールの初期装備である「リボルバー」で、刀身にはライオンの姿が刻まれている。

死神

鎌を持った死神のデザイン画。バトルで「デス」や「しのせんこく」などを使ったときは、この死神が登場する。

ジュリアの墓(未採用)

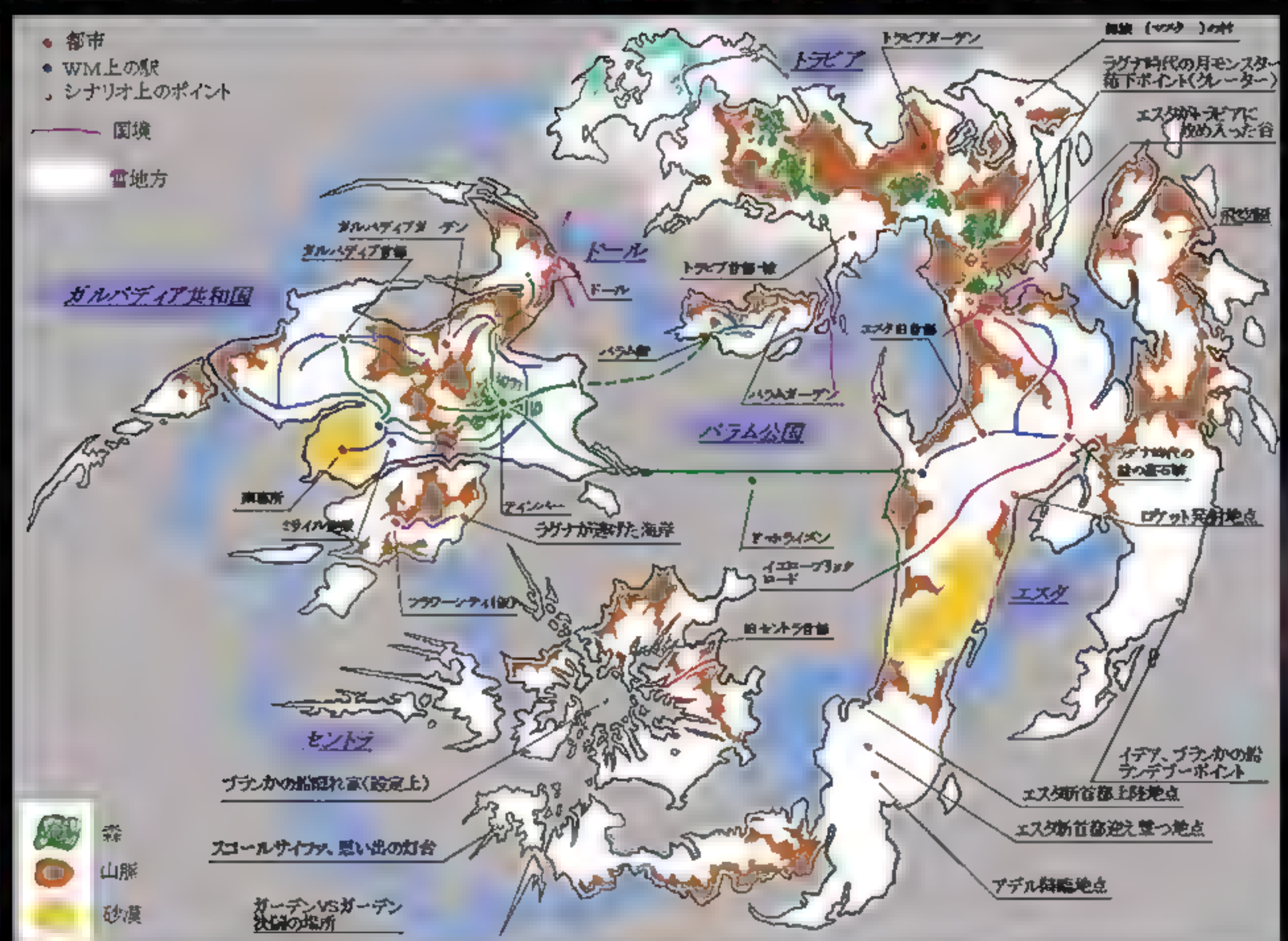
リノアの母であるジュリアの墓。エンディングに出てくるレインの墓とはデザインがちがう。墓碑に刻まれたジュリアの姓は、ラグナと同じ「Loire(レウァール)」になっている。

▼アデル(初期デザイン)

アデル・セメタリー

エスタのかつての支配者である魔女アデルを封印した施設。左右の翼のような部位にはさまれたリング状の本体中央に、魔女アデルの姿が見て取れる。

エンドマーク案

エンディングのラストに表示されるマークのデザイン案。模様やフォントはほぼこのままの形で採用されたが、実際のゲームでは「The End」の文字も表示されるようになった。

開発初期のワールドマップ

設定が固まる前の世界地図。陸の形は、この時点からそれほど変更されていない。当時のウィンヒルは「フラワーシティ」、白いSeeDは「ブランカ」という仮称で呼ばれていた。

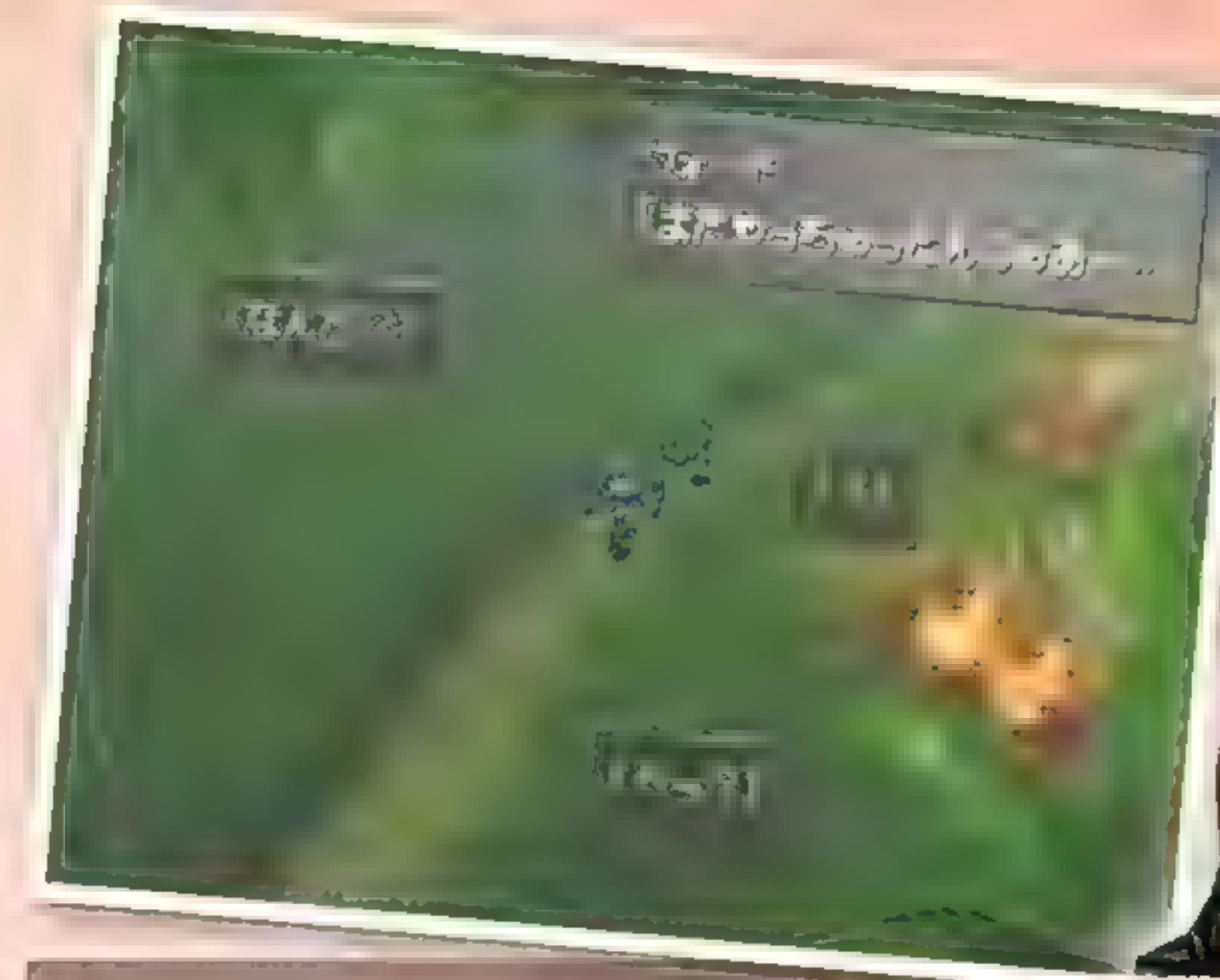
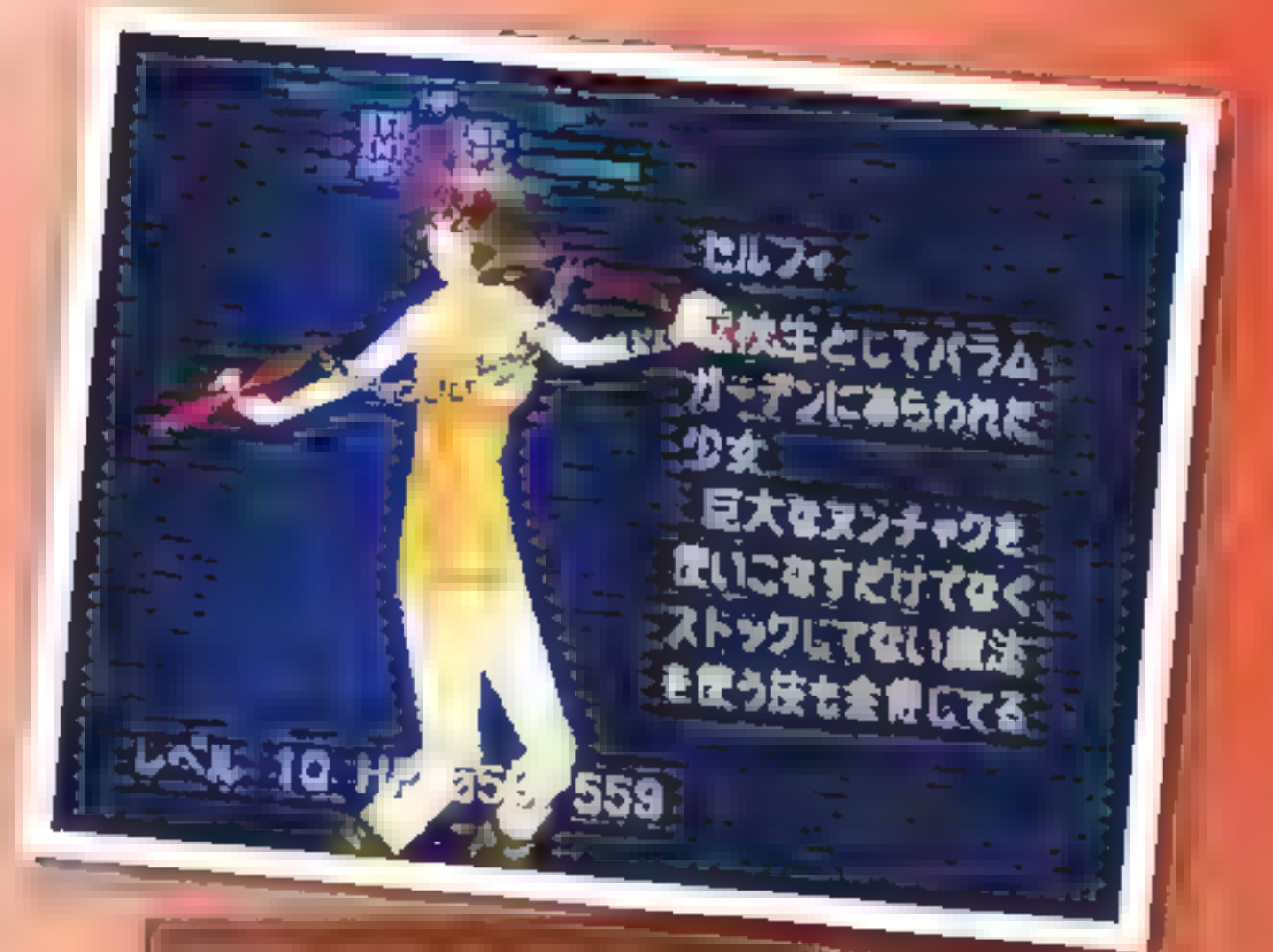
MEMORIES OF FINAL FANTASY VIII

特殊部隊SeeDの基本は魔法集めから
——バラムガーデン周辺にて

意味深な場面満載のムービー。保健室を窓越しにのぞく女性。
物語は最初から謎だらけ
——オープニングにて

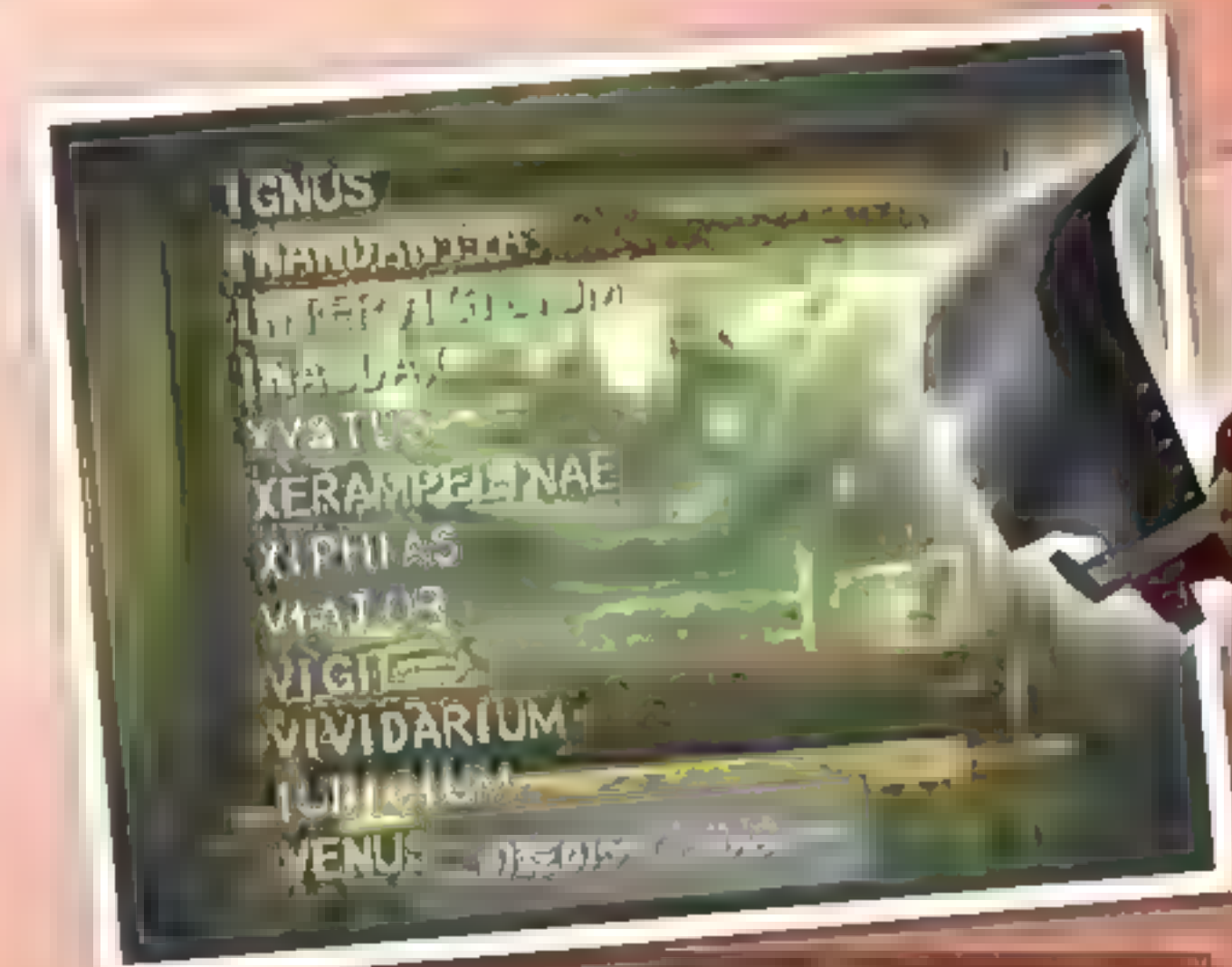
特殊技での一発逆転を狙って、△ボタンをひたすら連打
——バトルにて

任務そっちのけでカード勝負を挑みまくる
カードファイター・スコール
——バラムガーデンにて

各地に散らばるティンバー・マニアックス。
[illegible]
——バラムにて

突然倒れたかと思ったら、見知らぬ男たちにチェンジ。
これは夢？ 誰[illegible]の人たち？
——ティンバーの森にて

「ライブラ」を味方に使ってじっくり鑑賞。
[illegible]あれ、セルフィは縦回転できないの？
——ティンバー周辺にて

宇宙を漂う飛空艇内でハグハグ。
『FF』シリーズ初のテーマソングが流れたのがこのシーン
——飛空艇ラグナロクにて

RPGの基本どおりにどんどんレベルを上げたら、
敵もレベルが上がり強くなっていた
——バトルにて

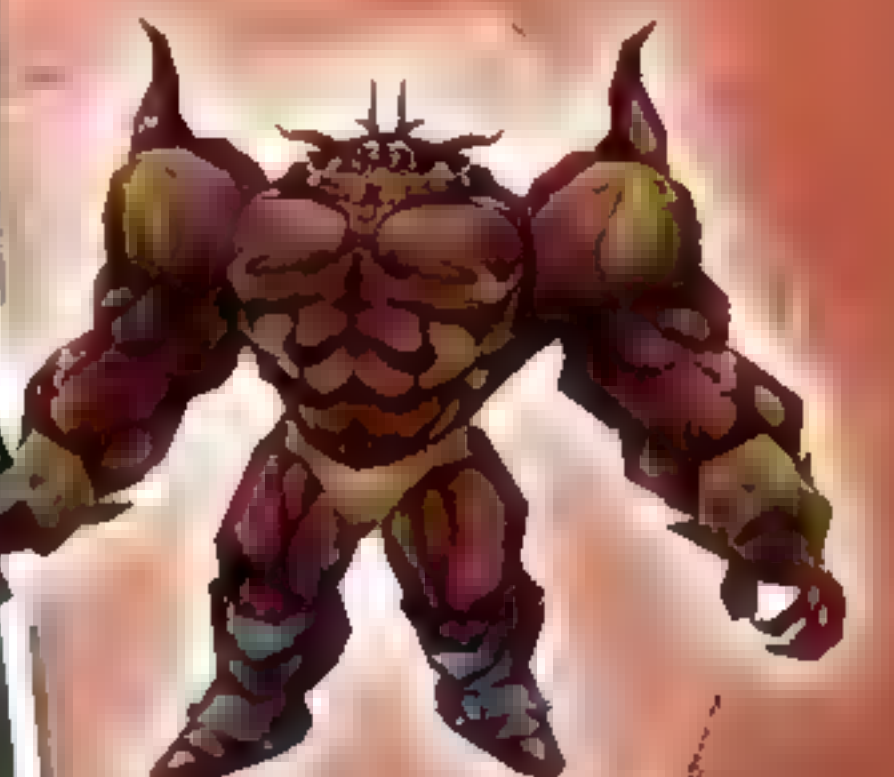
「しばらくお待ち下さい」
——想像するだに恐ろしいアビリティ「たたる」
——バトルにて

能力のほとんどが封印され、謎も難解。
ひと筋縄ではいかないアルティミシアの居城
——アルティミシア城にて

FINAL FANTASY IX
ファイナルファンタジーIX

シリーズの"原点回帰"を目指した作品

中世ファンタジー風の幻想的な世界観や、クリスタルが重要な意味を持つ物語など、『FF』シリーズ初期のテイストが復活。世界規模の戦乱を止めようとするジタンたちの冒険を通して、生きることのすばらしさが語られる。"原点回帰"をテーマにすると同時に、アクティブタイムイベント(ATE)といった新しいシステムも多数搭載。

プレイステーション
ファイナルファンタジーIX
発売日：2000年7月7日
価格：8,190円

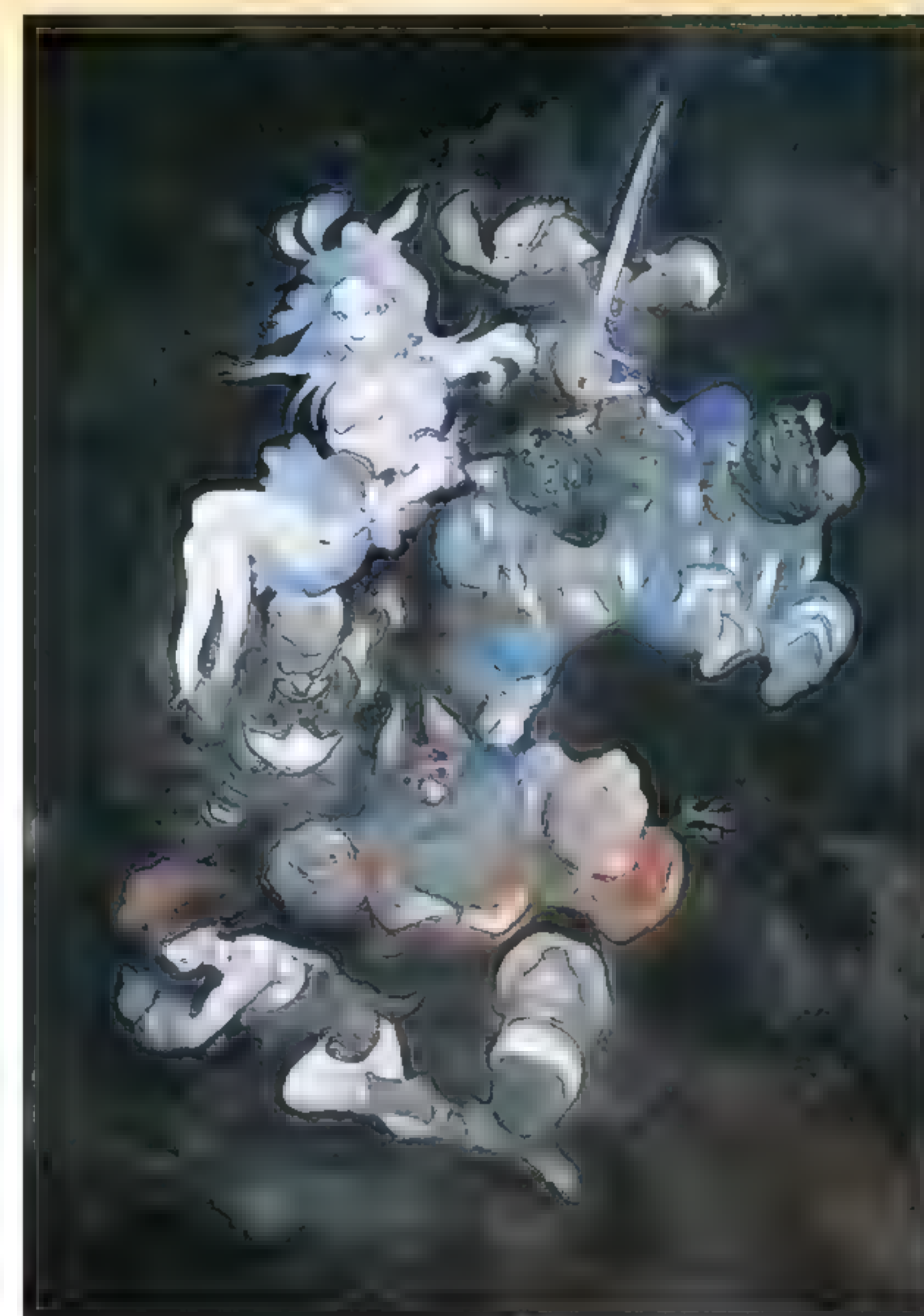
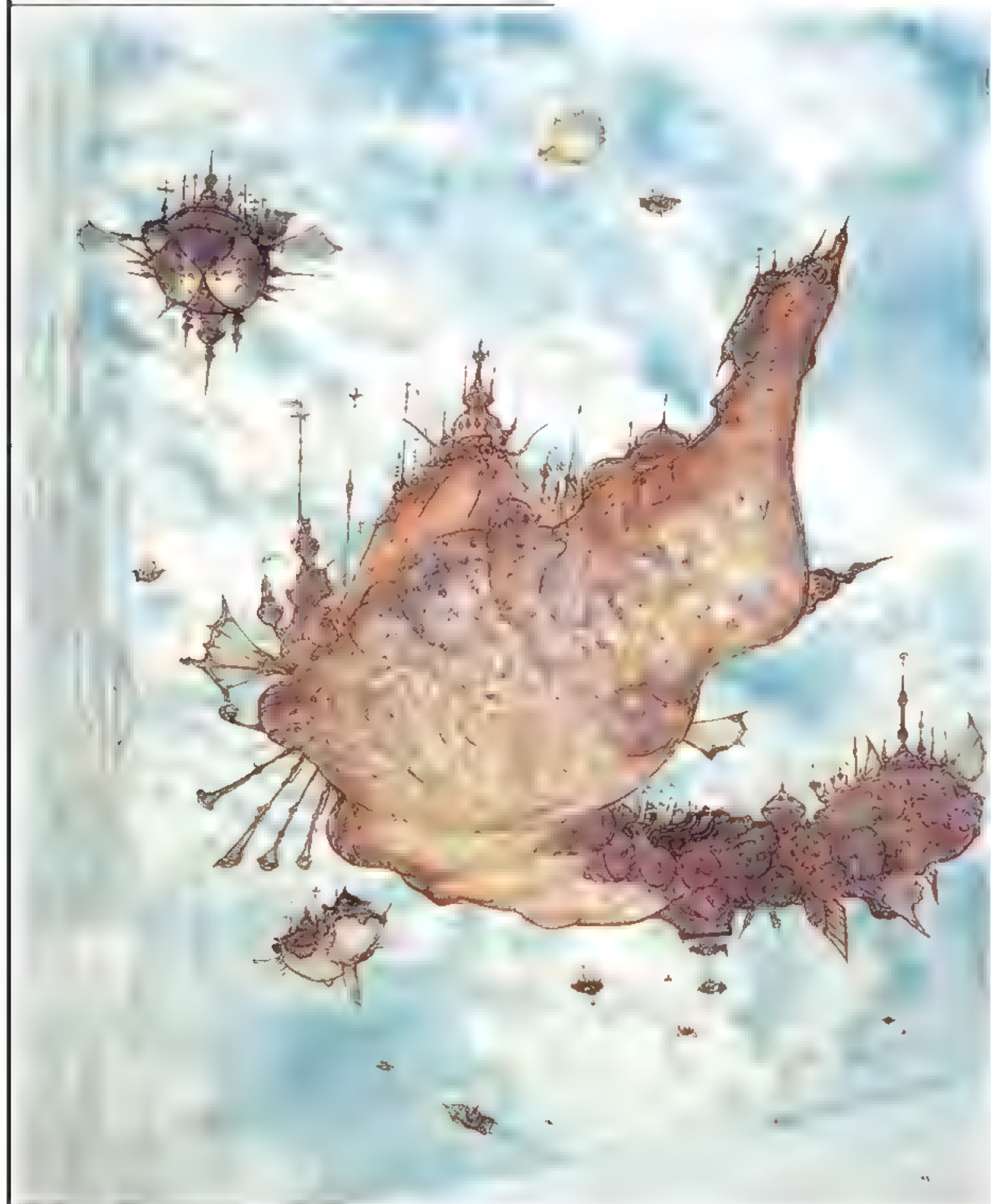
プレイステーション（アルティメットヒッツ版）
ファイナルファンタジーIX
発売日：2006年7月20日
価格：2,625円

プレイステーション3／プレイステーション・ポータブル／プレイステーションVita（ゲームアーカイブス）
ファイナルファンタジーIX（プレイステーション版）
発売日：2010年5月20日
価格：1,500円
※PS Vitaは2012年8月28日より対応

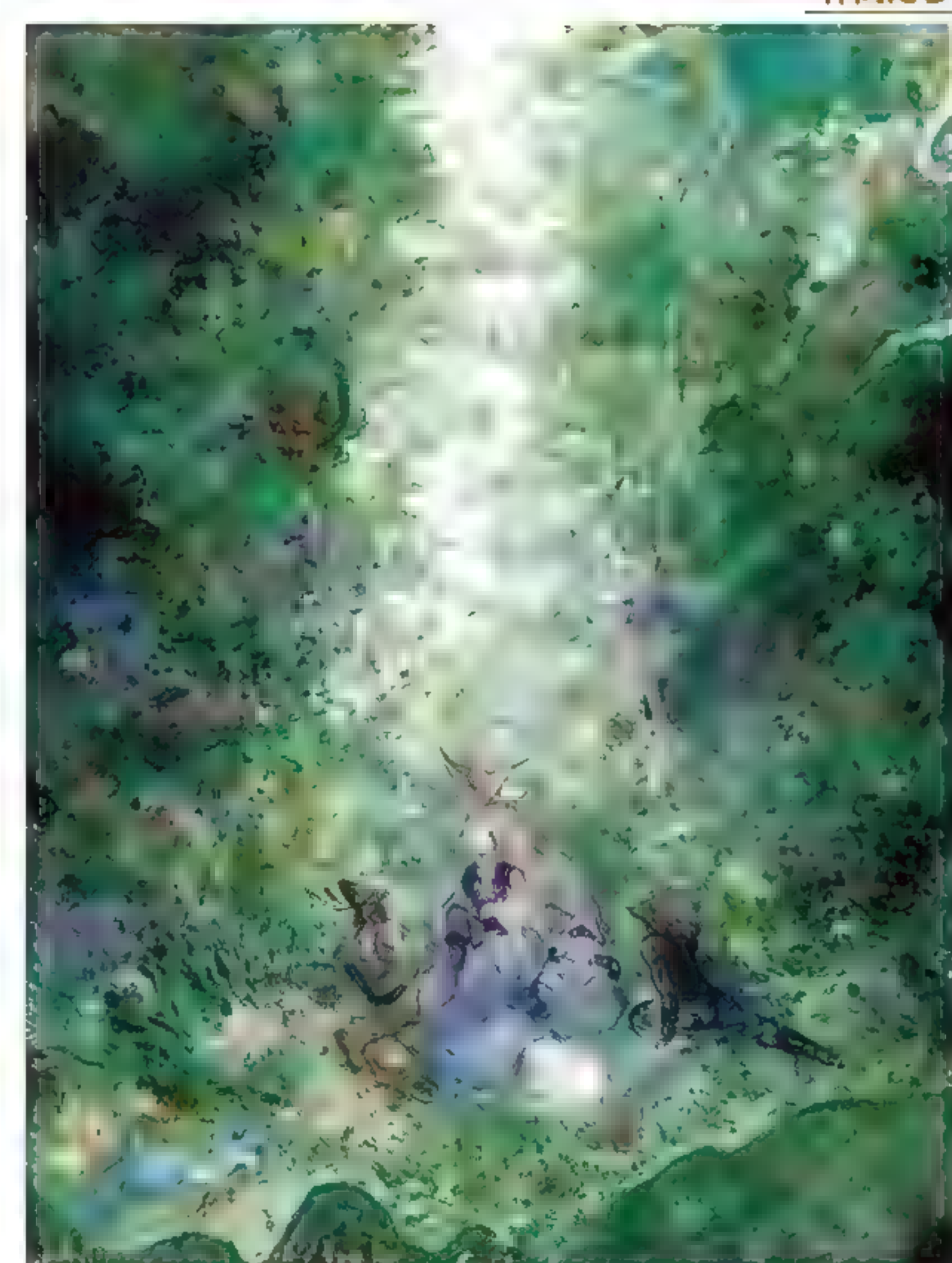
プレイステーション（限定版）
ファイナルファンタジー 25th ANNIVERSARY ULTIMATE BOX
発売日：2012年12月18日
価格：35,000円
※スクウェア・エニックス e-STOREのみで予約限定販売

FINAL FANTASY IX

IMAGE ART

『ジタン&ダガー』

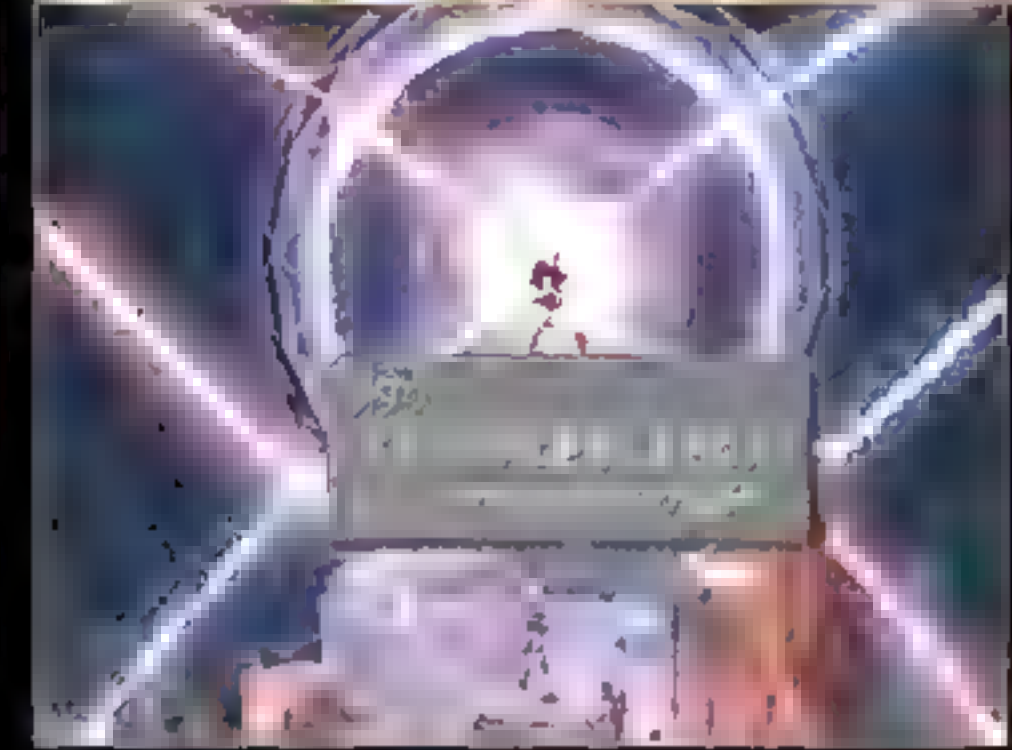
『劇場艇プリマビスタ』

『タンタラス団』
タンタラスメンバー

『森の中で』
仲間たち

『恐怖との戦い』
魔物と戦うジタンたち

『山頂の戦い』
魔物と戦うジタンとダガー

『暗雲を越えて』
ジタンとダガー

アレクサンダー

STORY OF FINAL FANTASY IX

すべてのものは、星の核たるクリスタルから生まれてクリスタルに帰る。命の記憶は受け継がれ、星を豊かにしていく……そんな命の理を乱す者たちがいた。超文明を築き、他星と“融合”して永遠の命を得るテラの民。彼らは若き星ガイアとテラの“融合”をはかるが、逆に自分たちの星が取りこまれる事態を招いてしまう。それでもテラの民は、長き眠りにつきながら、ガイアを自分たちの手に収める時を待っていた。

テラが“融合”に失敗してから5000年——ガイアの文明の中心地「霧の大陸」にて、不穏な動きが起こりはじめる。ガイア乗っ取りの尖兵としてテラから送りこまれた“死神”クジャのさしがねにより、女王ブラネ率いるアレクサンドリア王国が各地へ侵攻を開始したのだ。その都アレクサンドリアにて出会いを果たし、戦乱を止めるべく動き出すジタン、ビビ、ガーネット。それは彼ら自身の出生の秘密や命の根源たるクリスタルの存在、そして“いつか帰るところ”を知るための、長い長い旅のはじまりだった。

FINAL FANTASY IX
ファイナルファンタジーIX

CHARACTER

リンドブルム公国
シド
ヒルダ
文臣オルベルタ

アレクサンドリア王国
ゾーン
ソーン
宮廷魔道士
アレクサンドリア王家
ブラネ
ベアトリクス
トット
ガーネット
スタイナー

ジェノム
ガーランド
クジャ
ミコト

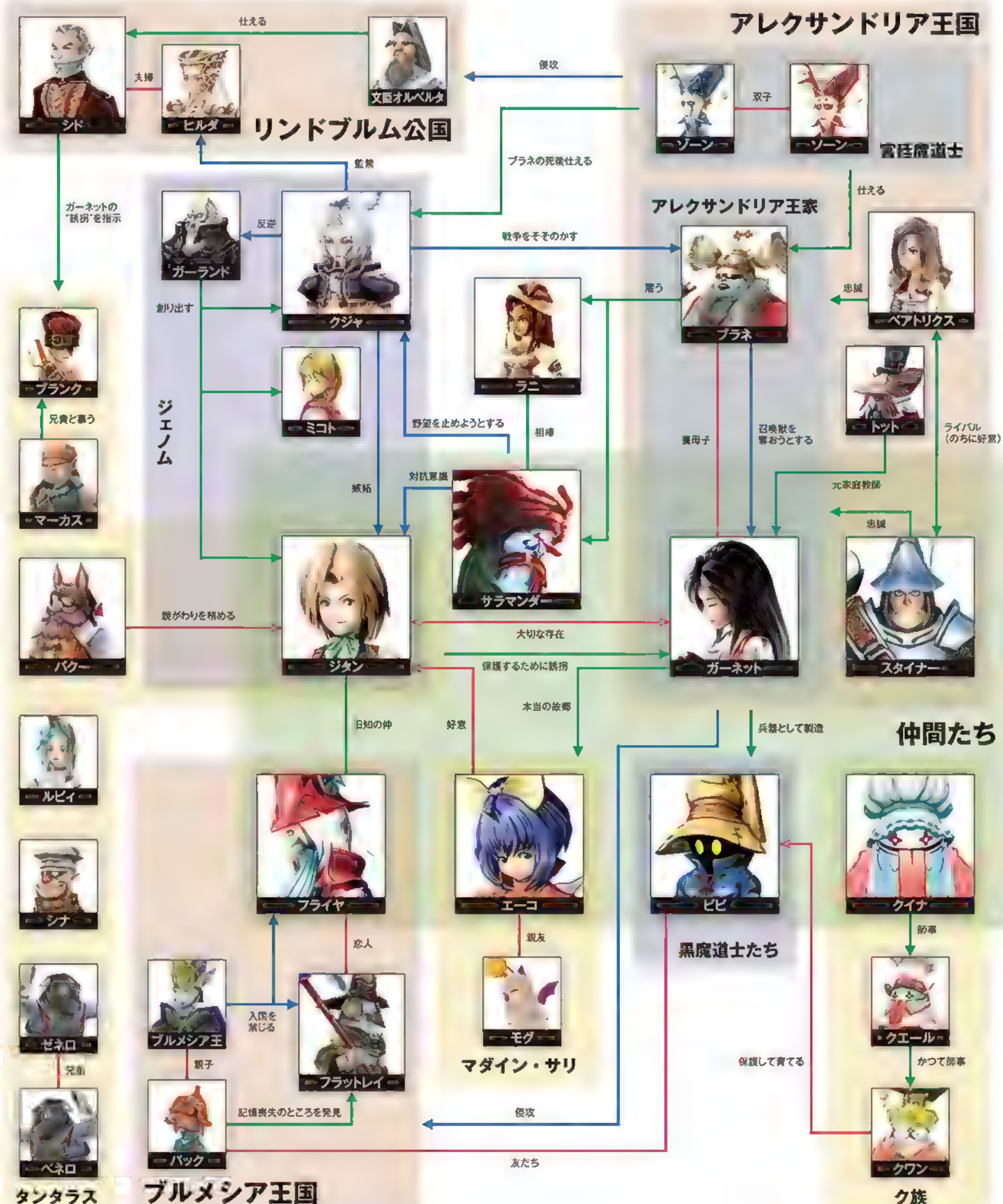
ラニ
サラマンダー

ブランク
マーカス
バクー
ルビィ
シナ
ゼネロ
ベネロ
タンタラス

ジタン

仲間たち
フライヤ
エーコ
ビビ
クイナ
黒魔道士たち
モグ
マダイン・サリ
クエール
クワン
ク族

ブルメシア王
フラットレイ
パック
ブルメシア王国

Zidane ジタン

一見お調子者ながら
“いつか帰るところ”を心のどこかで探す盗賊

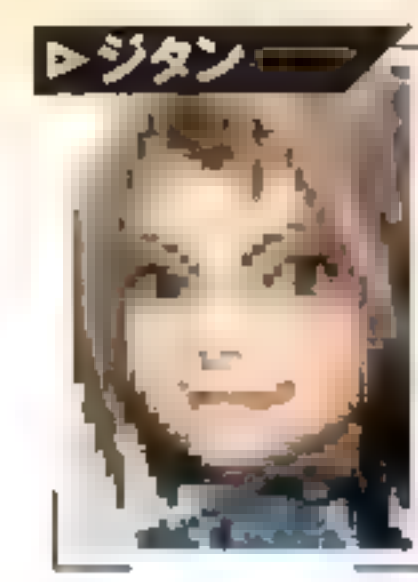
▸ Zidane Tribal　ジタン・トライバル

Personal Data

[illegible]	シッポのある人間(ジェノム)
[illegible]	男
[illegible]	16歳
[illegible]	1783年9月
[illegible]	右

リンドブルムの劇団兼盗賊団「タンタラス」の一員。女好きだが正義感が強く、行動力がある。天涯孤独の身で、幼いころから生まれ故郷を探していた。任務で誘拐したガーネット(ダガー)にひかれて彼女と旅をするうち、人々が暮らす星ガイア全体の紛争に巻きこまれることに。やがて、自分が異星テラによって造り出されたガイア侵略の道具だと知るが、苦悩を乗り越え、真に自身が帰るべき場所のために進みつづける。

Memorial Words

▷ジタン

「ダガーがいないと
オレの一日が始まらないんだっ！
あのほほ笑み！　あの声！
ダガーの声はオレにとっちゃあ、
とても心地よい歌に聞こえるんだ！」

―― アレクサンドリア：ガーネット女王即位式をひかえて葛藤し

手の届かない存在になろうとするダガーへの想いを抱え、ひとり悶々とするジタン。女性経験は豊富でも真剣な恋愛がはじめての彼にとっては未知の苦しみであり、その悩む様子はタンタラスの仲間を心配させる。

「誰かを助けるのに理由がいるかい？」

―― タイトルデモ、ほか

物語中でもダガーやクジャを助けに行くときに口にする、ジタンの信条を端的に示す言葉。なお、マダイン・サリでのビビとの会話では「自分の手が届くところは守りたい」と、具体的な行動基準も語っている。

「もちろん、ダガーのムネをかりるわけさ！」

―― マダイン・サリ：「泣きたいときはどうするの」というダガーの問いをはぐらかし

ダガーに対して、とくに序盤はセクハラめいた言動が多いが、本気の恋心や自身の孤独をごまかすための照れ隠しのフシも……。

「『おまえが行くって言ったからさ』」

―― マダイン・サリ：同行した理由をダガーに尋ねられ

古の冒険家イプセンが、自分に同行した理由として友人コリンに言われたセリフの引用。「誰かを助けるのに～」と同じくジタンの行動スタンスを表現する言葉であり、男らしいひとことにダガーの心も思わずグラリ？

「けど……わかってるんだ……。
オレが一番、大バカ野郎だってことぐらい……」

―― パンデモニウム：自分を助けにきた仲間に「おせっかいなバカ野郎」とつぶやき

ガーランドの手で空っぽの器にされかけたところを仲間に救われるが、なおもひとりで戦おうとして独白。幼いビビたちを乱暴な言葉ではねつけて自嘲する姿に、それまで表に見えなかったジタンの苦悩が、むき出しとなって現れる。

「会わせてくれ、
愛しのダガーに!!」

―― エンディング：ダガーの前で演技中に正体を現して

最終決戦後に消息を絶ったジタンが、ダガーと感動の再会を果たすときのセリフ。芝居の流れに沿いつつも感情を素直に表した言葉に、ダガーも思わず女王の立場を忘れて駆け出す。

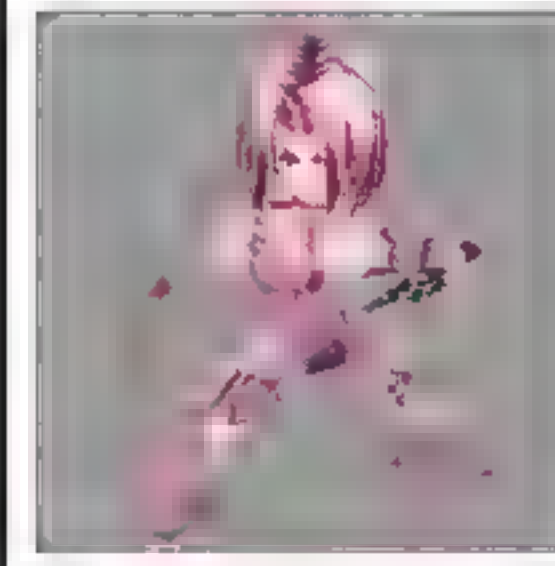
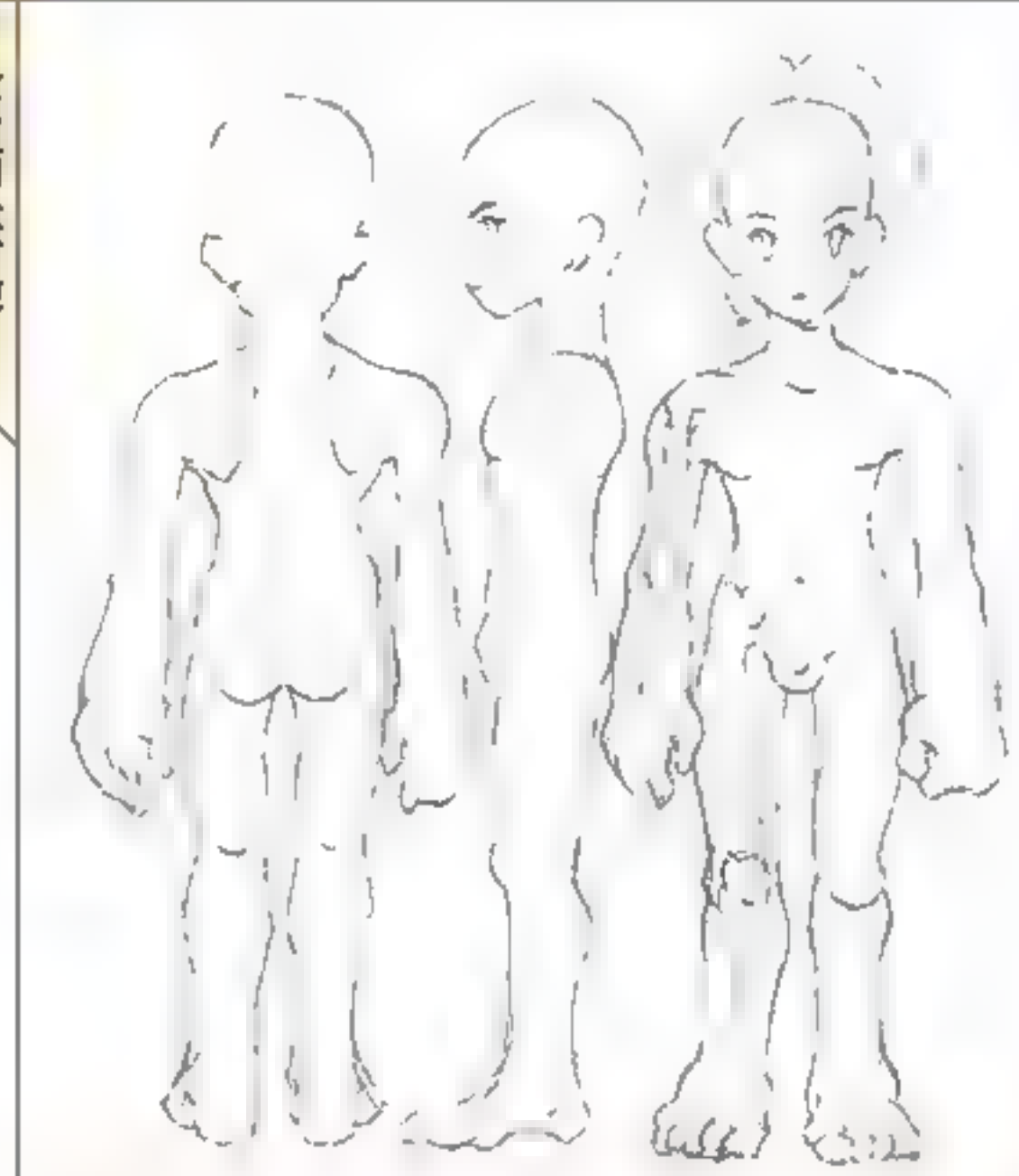
▸ イメージCG

リンドブルムが召喚獣アトモスに襲撃されるさまを目撃したときの横顔。夜明けの空の複雑な色合いをバックに、いつもはひょうきんなジタンの顔が怒りにゆがむ。

▸ 全身画

盗賊兼劇団員という職業柄か、身軽さを重視しつつもひねりの効いた衣装。レースの襟にリボンタイを締め、レース付きのカフスをつけたオシャレなデザインだ。サルのような長いシッポは、ジェノム種族共通の特徴。

▾ トランス時のデザイン画

「FFIX」でバトル中にパワーアップした状態「トランス」では、キャラクターの全身が赤白く光り、服装も変化する。変化の度合いはキャラクターによって異なり、ジタンの場合は、衣装が解けてジェノムの特徴である毛深い身体があらわに。

▾ 全身画(体格)

▾ ホルスターのデザイン画

▾ エンディングの衣装のデザイン画

エンディングでタンタラスが上演する「君の小鳥になりたい」で、ヒロインの恋人であるマーカスの役を演じるときの衣装。全身がすっぽり隠れるので当初は誰が演じているかわからず、最後にジタンが正体を見せて感動の大団円となる。

表情集

おどろき

おどろき

真剣

得意!!

「FFⅨ」のキャラクターは、デフォルメされたなかにも感情表現のリアルさが追求されており、それぞれの表情はスケッチやCGでこまかく練りこんで作られていった。なかでも主人公のジタンの場合は、多彩な表情で内面をしっかり示す必要があるためか、ラフスケッチの段階から、数多くのバリエーションが用意されている。

表情集(CG)

Default

Memorial Scenes

ジタン

変装同士でバッタリ

芝居の幕間に、ブランクと一緒にプルート隊員に変装。ガーネット姫の誘拐に乗り出した矢先に、白いフードで変装して城を出ようとする彼女本人と出くわす。

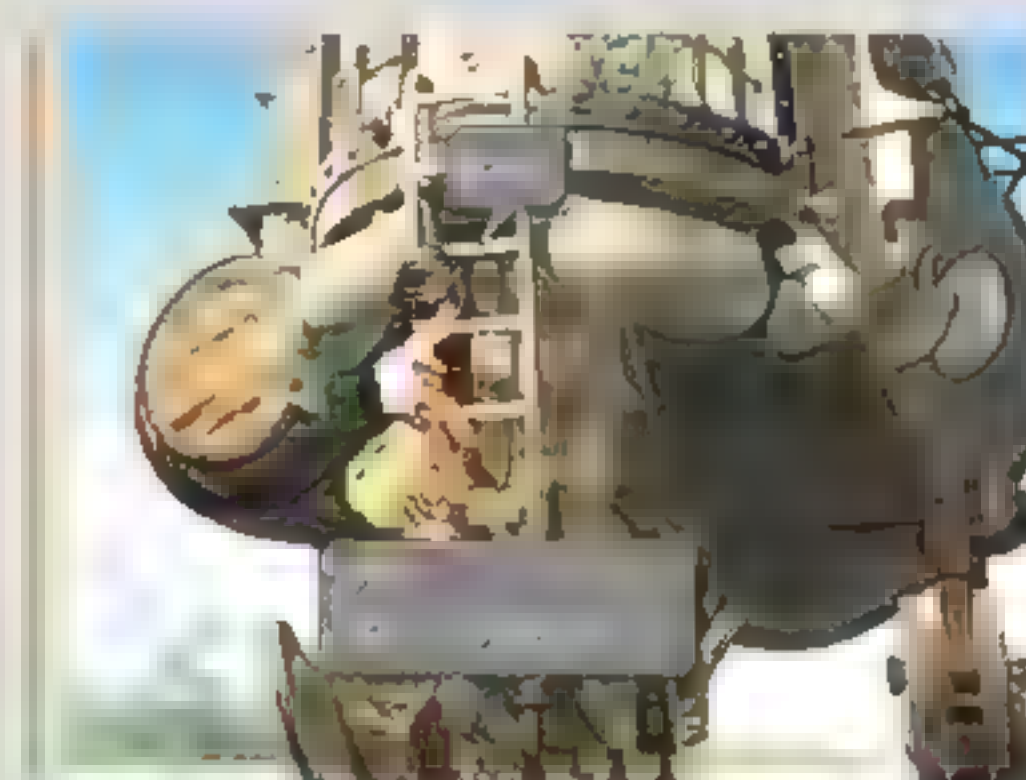
彼女の瞳に見たものは

ジタンはガーネットと出会ったときから、身分も立場もまったくちがう彼女に、自分と共通するものを感じていた。それは、いつか帰る場所を探す心……。

おっ！やわらかい

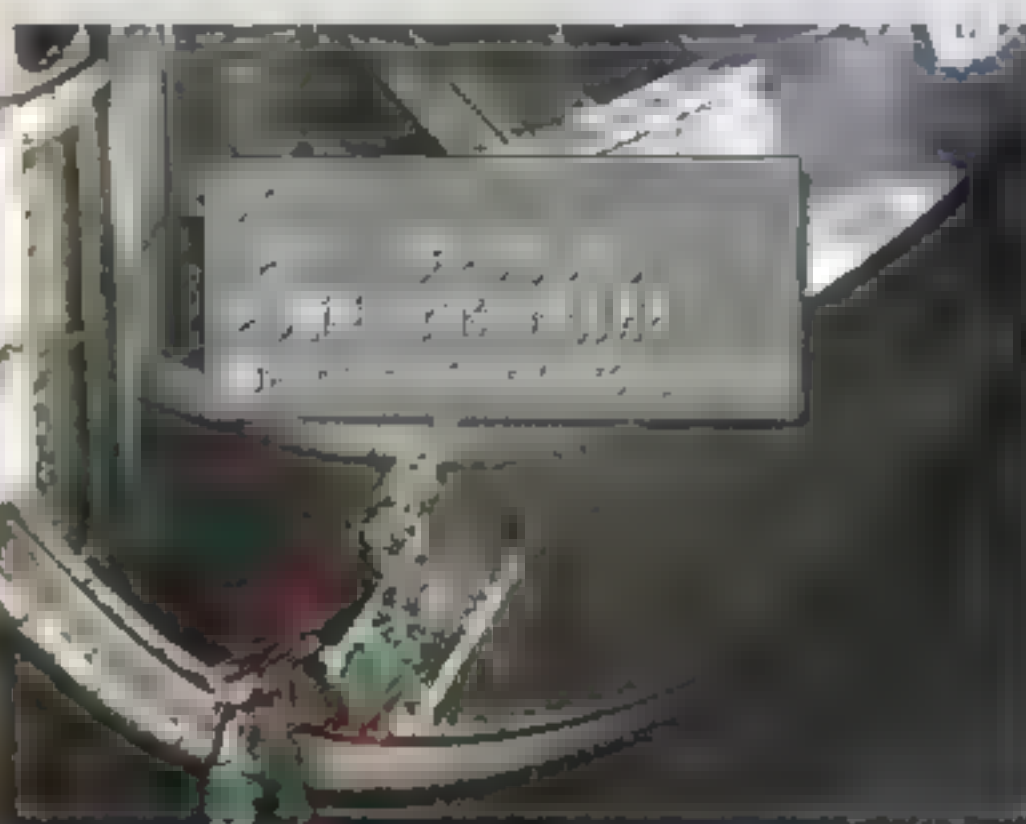
リンドブルムへ向かうべくダガーがカーゴシップに乗るのを手伝うなかで、うっかり彼女のお尻をさわってしまう。偶然とはいえ、セクハラはいけません！

オトコの会話

マダイン・サリを訪れた夜、悩めるビビに「どんなときも、選べるのは行動するかしないかだけ」と助言。そのカッコ良さに物陰で話を聞いていたエーコは感動するが、直後に"古来より伝わる男同士の友情確認の儀式"――立ちションでオチがつく。

デートの相手はどなたですっけ？

リンドブルムの見張り塔でイイ雰囲気になるジタンとダガー。しかし、別の女の子とのデートの約束をダガー相手に確認してしまい、なごんだ空気も険悪に。

探し求めてきた故郷の真実

13歳のときに家出してまでジタンが探してきた、「青い光のある故郷」――それは、ガイアを侵略しようとたくらむ異星テラだった。しかも、自分がその尖兵として造られたと知り、ジタンは深く苦悩する。

仲間と思えばずっと仲間

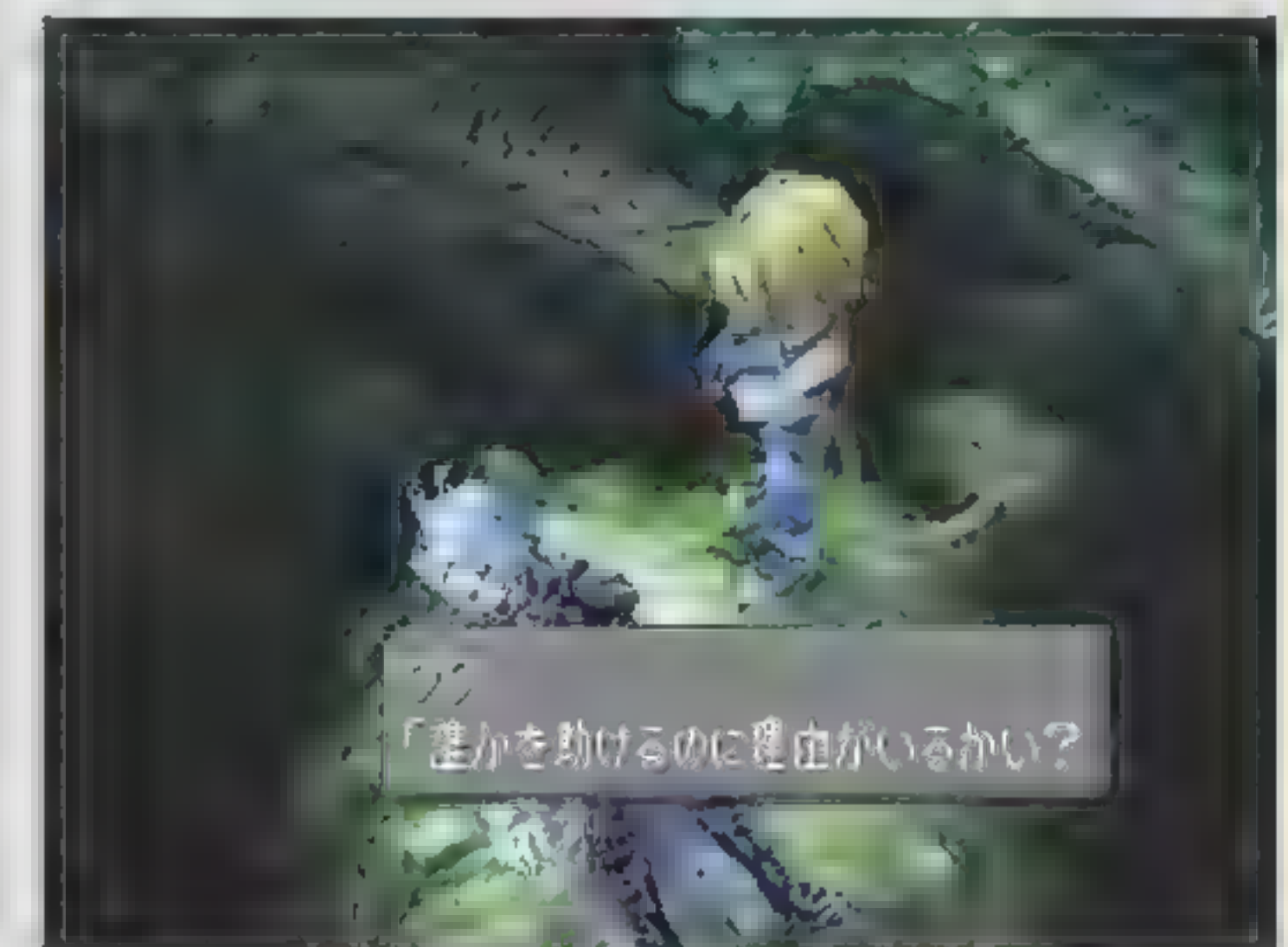
「一度そう思ったら簡単には自分の考えを変えられない性分」のジタンにとって、いったん仲間となったサラマンダーは、たとえ自分たちを拒絶しても仲間。この理屈により、イプセンの古城で窮地におちいったサラマンダーを助け、人と群れることをかたくなに嫌っていた彼の心を解きほぐす。

助けることに理由はいらない

飛空艇で脱出する仲間を見送ったのち、自分はクジャを救出すべく、暴走するイーファの樹へ。たとえ自分を憎み、つい先ほどまで敵対していた相手に対しても、ジタンの行動は変わらない。

守られる立場となって

ひとりでガーランドに立ち向かおうとして、ダガーたち仲間に助けられるジタン。仲間の真摯な想いは、これまで誰かを守りはしても守られることを知らなかったジタンを、たしかに変えようとしていた。

VIVI ビビ

生きることの意味を探す
純真無垢な黒魔道士の少年

▸ VIVI Ornitier　ビビ・オルニティア

Personal Data

黒魔道士の子ども
男
9歳(見た目)
1799年7月
右

気が弱くておどおどしているが心の優しい男の子。身体は小さいながら、強力な黒魔法の数々をあやつる。お芝居を観に訪れたアレクサンドリアでガーネット王女誘拐騒動に巻きこまれ、ジタンたちと一緒に旅をはじめた。その正体は、ブラネ女王が秘密裏に造らせていた量産型兵器「黒魔道士」の試作品。自分が戦争の道具として造られたことに苦悩するも、かぎりある生をまっとうしようとする。

Memorial Words

▸ビビ

「生きてるってこと証明できなければ、
死んでしまっているのと同じなのかなぁ……」

── タイトルデモより

子どもらしくまっすぐな瞳で、さまざまな生のありかたを見つめるビビ。自分が兵器で、その命にかぎりがあるという事実に悩み苦しみながら、旅のなかで少しずつ何かをつかんでいく。

「ブリ虫までおっきいんだね……」

── リンドブルム巨大城：ブリ虫のシドと謁見し

大公と称して特大のブリ虫が現れたことに周囲が驚くなか、リンドブルムの城が大きいから虫も大きいのか、とひとり天然ボケをかます。無邪気なビビらしい発言。

「だけどボクは……、ボクがどんな人間なのかを知りたいんだ。
もしかしたら……人間じゃないのかもしれないけれど……」

── ブルメシア：先へ進むのが怖くないのかと言うフライヤに向かって

自分そっくりの黒魔道士軍団の凶行をブルメシアで目の当たりに。自分たちが兵器だというおぞましい事実を知ることを恐れつつも、彼らと己の正体を知るべく前に進もうとする。

「ねぇ、ジタン、
おねえちゃんに会いに行かない？」

── アレクサンドリア：ガーネット新女王即位式を3日後にひかえて苦悩するジタンに

ダガーに会いたい、ただそれだけのはずなのに余計なことを考えて葛藤するジタンに、まっすぐな言葉を投げかける。この場面のみならず、ビビの素直さが周囲の心を動かす場面は多い。

「そう思ったのは、ボクが
人殺しの道具じゃないからだよね？
なんだか、難しいこといっぱいで、よくわかんないことだらけだけど、
ボク、それがわかったから……いいんだ」

── 黒魔道士の村：死を悼む心を理解したと黒魔道士288号に語り

ダガーがブラネの死を悼む様子を見て、他人の死を悲しむ心を、ビビはようやく理解した。だからこそ、命をもてあそぶクジャが許せず、命惜しさに彼に加担した黒魔道士たちに憤慨する。

「ボクの記憶を空へあずけに行くよ……」

── エンディング：この世に別れを告げて

すべての命の記憶はこの星に帰り、めぐりつづける──長い旅のなかでそれを知ったビビ。最終的に仲間より先に命を終えるが、彼に恐怖はなかった。

▸ イメージCG

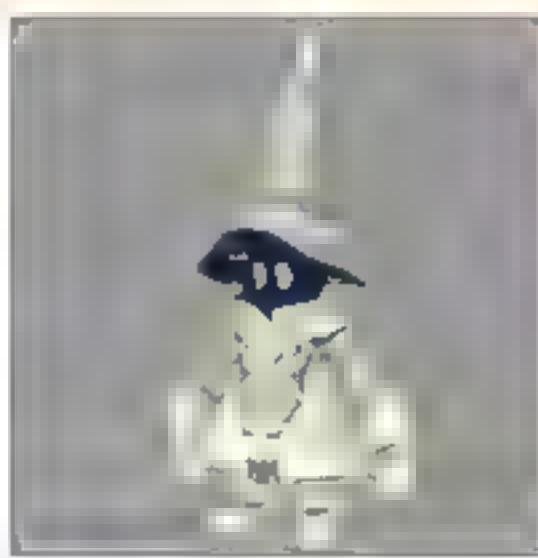
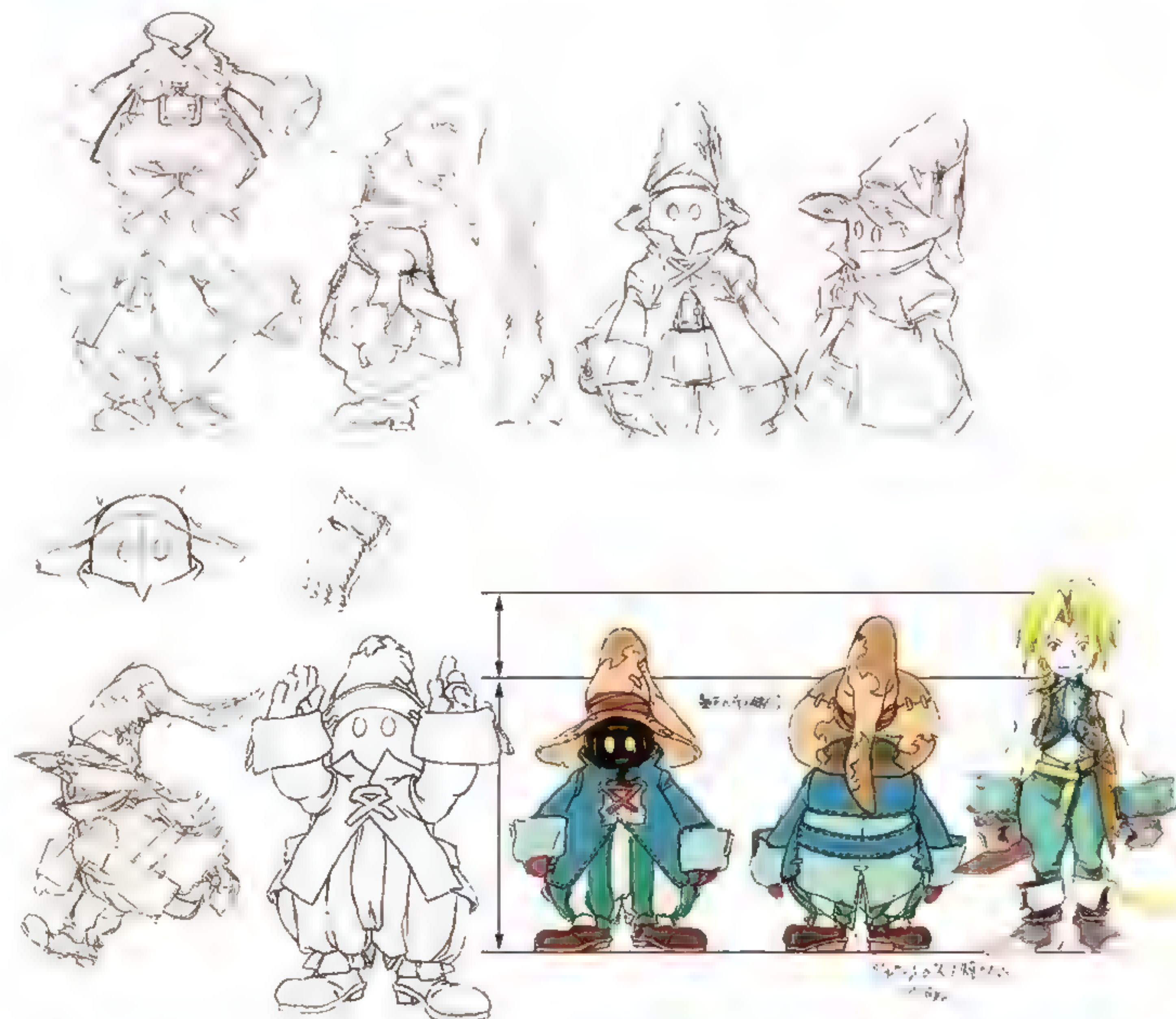
カーゴシップで、黒魔道士たちが自分をかばい散っていく様子を見つめるビビ。心を持たぬゴーレムとして造られたビビの一見空虚な瞳に、深い悲しみと怒りの火が灯る。

トランスすると、いつもはたれている帽子の先端がピンと立つのが、一番わかりやすい変化。そのほか、ローブのすそが伸びてズボンがヒザまで隠れ、胸元やすそ、帽子の前面に、こまかな装飾が入る。

▸トランス時のデザイン画

全身画

Memorial Scenes

▷ビビ

ネズミの子と一緒にお芝居へ

お芝居が観られず途方に暮れていたところをネズミ族の少年パックに誘われて、屋根伝いにアレクサンドリア城へ潜入。自分を家来呼ばわりするパックを「初めての友だち」として受け入れ、のちにクレイラの街では再会を喜ぶ。

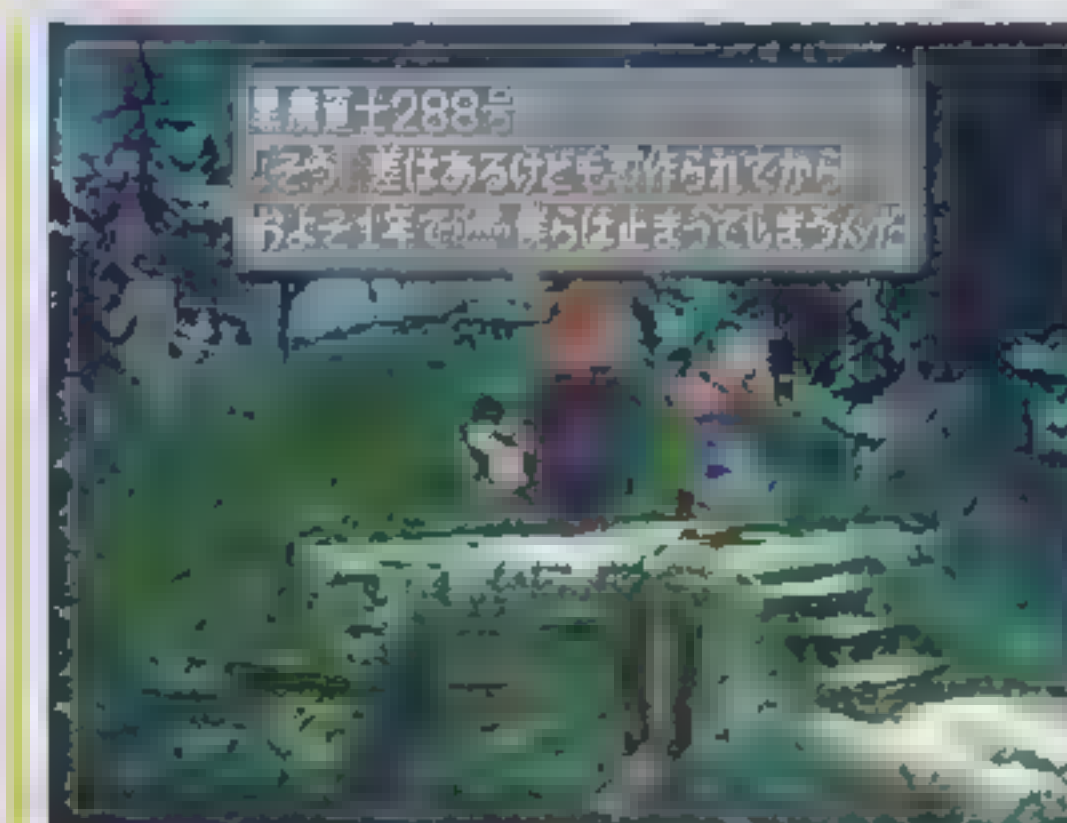
プリゾンケージにつかまって

ガーネットともども魔の森に投げ出されたビビ。ジタンたちが魔物プリゾンケージにつかまっていたガーネットを助けると、今度はビビ自身が捕らわれてしまうが、得意の黒魔法で奮闘してジタンやスタイナーを感心させる。

各地でスケープゴートに……

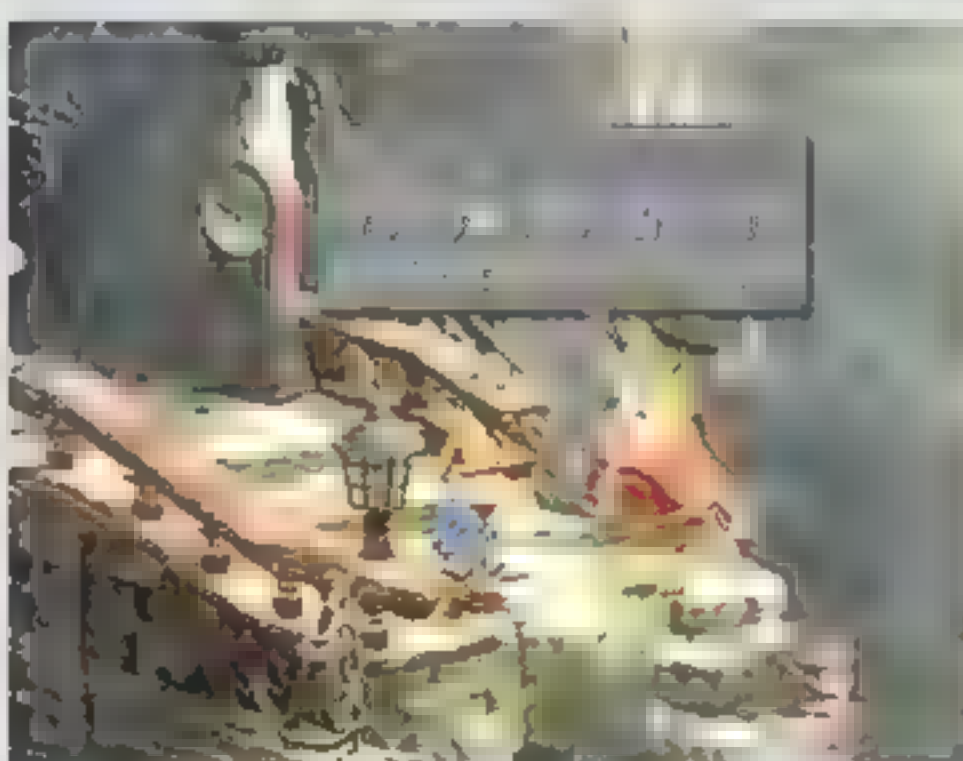
アレクサンドリアの黒魔道士軍団が各地を襲い出すと、黒魔道士であるビビは、罪もないのに人々の怒りの標的にされてしまう。だが、心優しい彼は無抵抗でそれを受け入れ、ますます苦しむことに。

ダリの地下での衝撃

箱詰めにされて無理やり連れてこられたダリの村地下の秘密工場では、ビビと同じ姿形の黒魔道士たちが量産されていた。自分は造られた存在なのか？　衝撃がビビを襲う。

生きるということ、死ぬということ

霧の大陸の外側では、ビビと同じく自我に目覚めた黒魔道士たちが、戦いを嫌い、村を造って静かに生活していた。しかし、彼らはじきに停止する運命だという。真実を知ったビビは……。

人殺しの道具はもう造らせない！

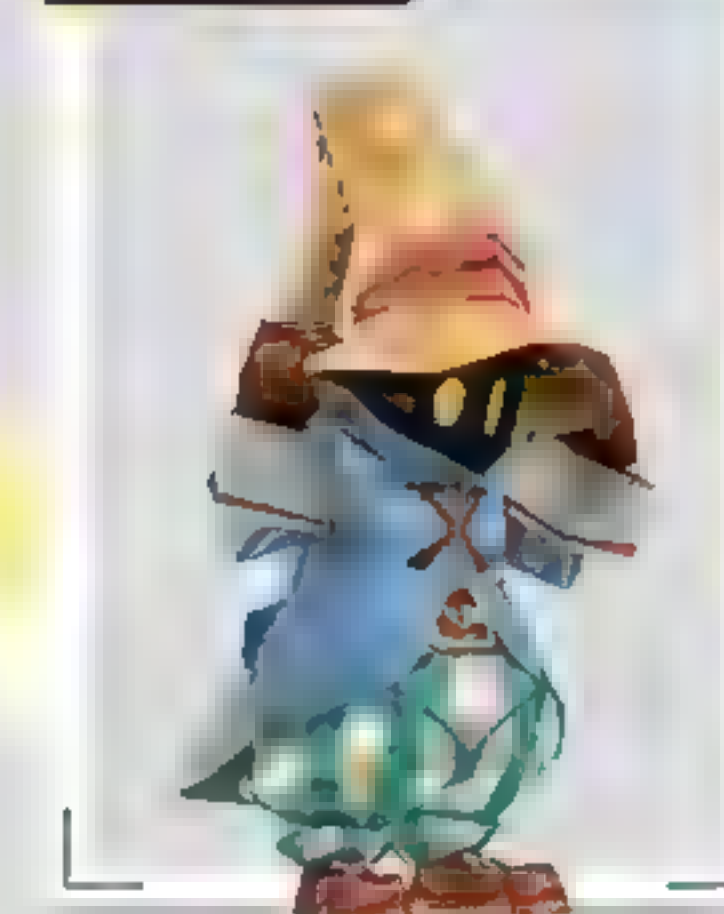
"霧"の発生を止め、黒魔道士の仲間をこれ以上生まれなくすることは、自分自身の出生の否定ではないのか？——"霧"の元凶であるザ・ソウルケージにそう問いかけられるビビ。だが、人殺しの道具による悲劇をくり返させまいというビビの決意は固かった。

おじいちゃんとの思い出

ビビに知識を与えた「おじいちゃん」は、ク族のクワン。彼は輸送中のカーゴシップから落下したビビを釣り、育てて食べようとしていたが、無邪気に自分を慕うビビを見て情が移っていったのだ。

仲間の暴挙を前に

「命を延ばしてやる」というクジャの甘言に乗せられ悪事に加担した、黒魔道士の村の仲間たち。死を恐れる気持ちは理解できてもクジャへの協力には納得できないビビは、仲間の説得を試みる。

そして命はめぐる

最終決戦の少しあとにビビはこの世に別れを告げるが、長い旅路で自身が学んだように、彼の想いは残りつづける。それを象徴するかのごとく、エンディングではアレクサンドリアの街を元気に歩きまわる、ビビそっくりの少年たちの姿が……。

Garnet

自分自身のありかたに悩みながら
成長していく姫君

ガーネット（ダガー）

▸ Garnet Til Alexandros 17th (Dagger)
ガーネット・ティル・アレクサンドロス17世（ダガー）

▸ **Personal Data**

[illegible]	人間
性別	女
[illegible]	16歳
[illegible]	1784年1月15日
[illegible]	右

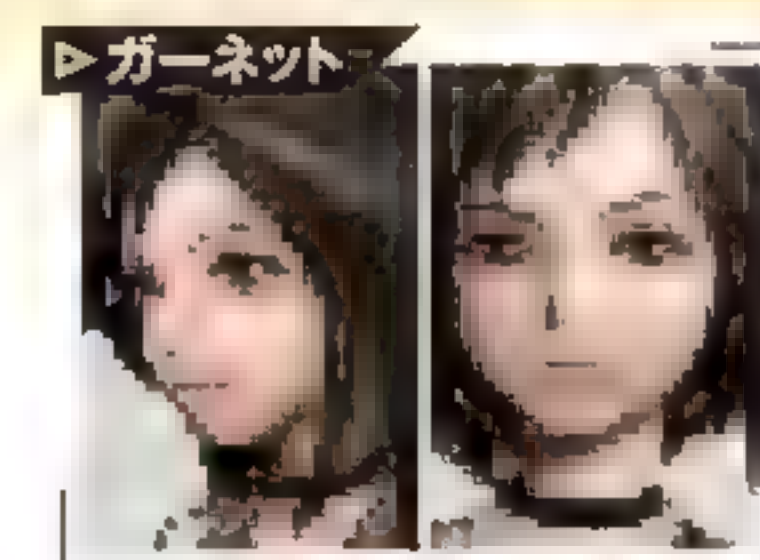
絶世の美姫とうたわれる、アレクサンドリア王女。じつはマダイン・サリの召喚士一族の生き残りで、ブラネ女王の亡き娘に酷似していたため、王女として育てられた。1年前からブラネの豹変ぶりに悩み、「おじさま」と慕うリンドブルム大公シドに相談しようと、16歳の誕生日に城を脱走。「ダガー」という偽名を名乗ってジタンたちと旅し、さまざまな思惑に巻きこまれるなか、人として、新女王として成長していく。

Memorial Words

▷ガーネット

「『王女らしく』ではなく、本当の自分を確かめたいの……。……でも……」

── タイトルデモより

ガーネットはブラネの実の娘ではなく、マダイン・サリの召喚士の末裔。彼女がその事実を知るのは物語の中盤だが、「王女としての自分」への違和感は以前から感じており、それが故郷のないジタンと重なる部分となっている。

（わたしがいくらがんばっても、みんなはいつも、一歩先にいるのね……）

── リンドブルム巨大城：自分の誘拐計画の実情を知ってつぶやき

自分の意志で城を出て誘拐を頼んだつもりだったのに、すべては計画されたことだった ── 事情を知って落ちこむダガー。物語の序盤は、世間知らずの壁に突き当たって己の無力さに悩むことが多い。

「いいかげんにしろよなコノヤローッ!!」

── アレクサンドリア城：不遜な態度をとるゾーンとソーンに向かい

もともとは、弱気すぎるビビにジタンが、「相手を驚かすだけじゃなく勇気も出てくる言葉」として教えたもの。それを思い出したダガーは、アドバイスどおりに口にしてみるが、相手が悪かったか効果なしに終わる。

「わたしにとってあの人が母なの!!」

── イーファの樹：ジタンの反対を押し切りブラネを救おうとして

血がつながっておらず、自分の命まで奪おうとしたブラネだが、ダガーにとっては唯一の、記憶に残る母。「すでに故人である実母」の存在を知った直後の養母の死は、ダガーに二重の喪失をもたらした。

（助けてくれた人を助けるだけだもの……あたりまえのこと……。でも……わたし、そんなこと考えたことなかった……）

── トレノ：白金の針入手のため屋敷に潜入するとき、小舟の上で自問自答し

なぜこんな盗人のようなマネをするハメになったのかと自問するうちに、「助けてくれた人を助ける」という当然の発想がこれまで自分に欠けていたと気づく。人助けが当然なジタンに影響されつつあるのがわかるシーン。

「ジタンがわたしたちを守ってくれたように……守ってあげたいの……ジタンを……」

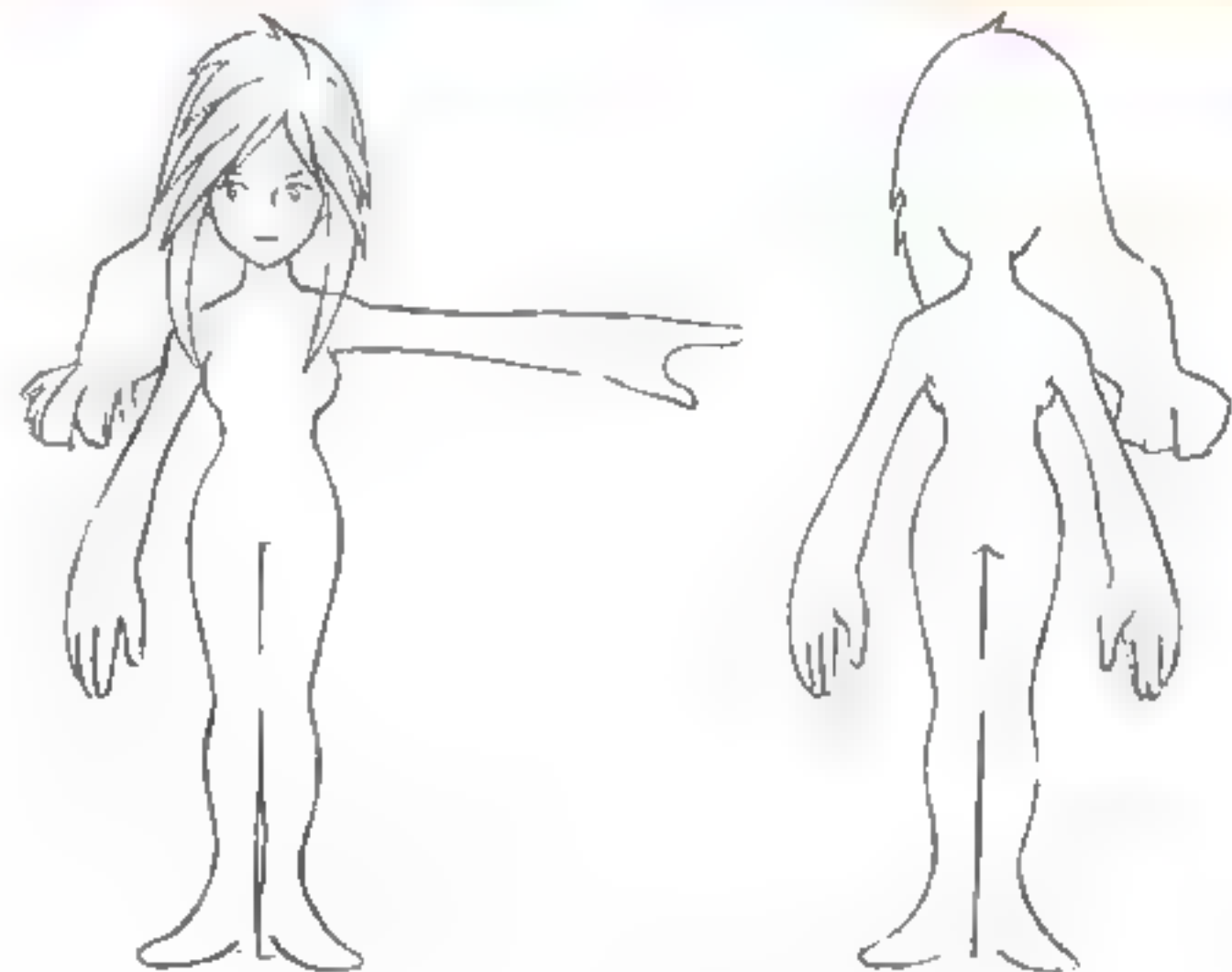
── パンデモニウム：ひとりでガーランドとの決着をつけようとするジタンを助け

ジタンの危機に駆けつけ、彼を守りたいという想いを素直にぶつける。守られてばかりだったダガーが、身を呈してジタンを守ろうとするほど強く成長したことを示す象徴的な言葉だ。

▸ イメージCG

マダイン・サリで小舟に乗り、召喚壁を見つめるダガー。夕陽に染まって燃えるように彩られた光景が、幼少時に彼女がこの地で体験した悲劇の記憶を呼び覚ます……。

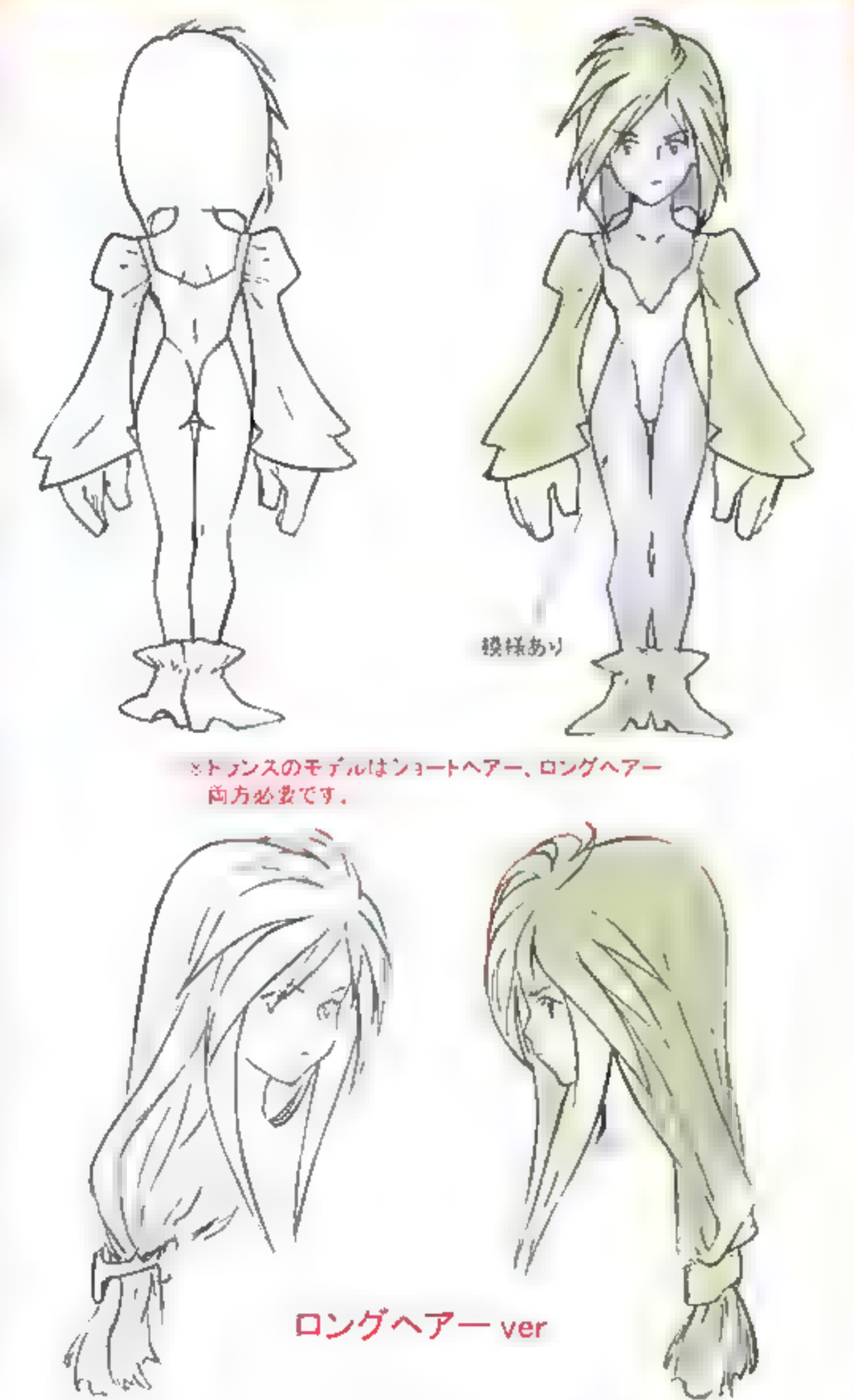
▸ 顔CG

▸ 全身画(体格)

▸ 全身画&顔イラスト

▸ 表情集(CG)

▸ トランス時の全身画&顔イラスト

※トランスのモデルはショートヘアー、ロングヘアー両方必要です。

ロングヘアー ver

トランスすると、袖付きのレオタード姿に変身。タイツ部分には、レースのようなこまかい模様が入る。設定画を見ると、ロングヘアをたばねるバレッタにも模様が。

▸ 脱出時の衣装のデザイン画

物語冒頭に、アレクサンドリア城を抜け出すべく変装したときの姿。「FF」シリーズでおなじみの白魔道士をイメージした衣装だが、すえ広がりの袖が女の子っぽくてかわいらしい。

▸ 正装時の衣装のデザイン画

ダガー (姫正装)

正装時の白いロングドレスのデザイン画。作中では、物語冒頭と女王即位時、そしてエンディングでこの衣装をまとう。

▼6歳時のデザイン画

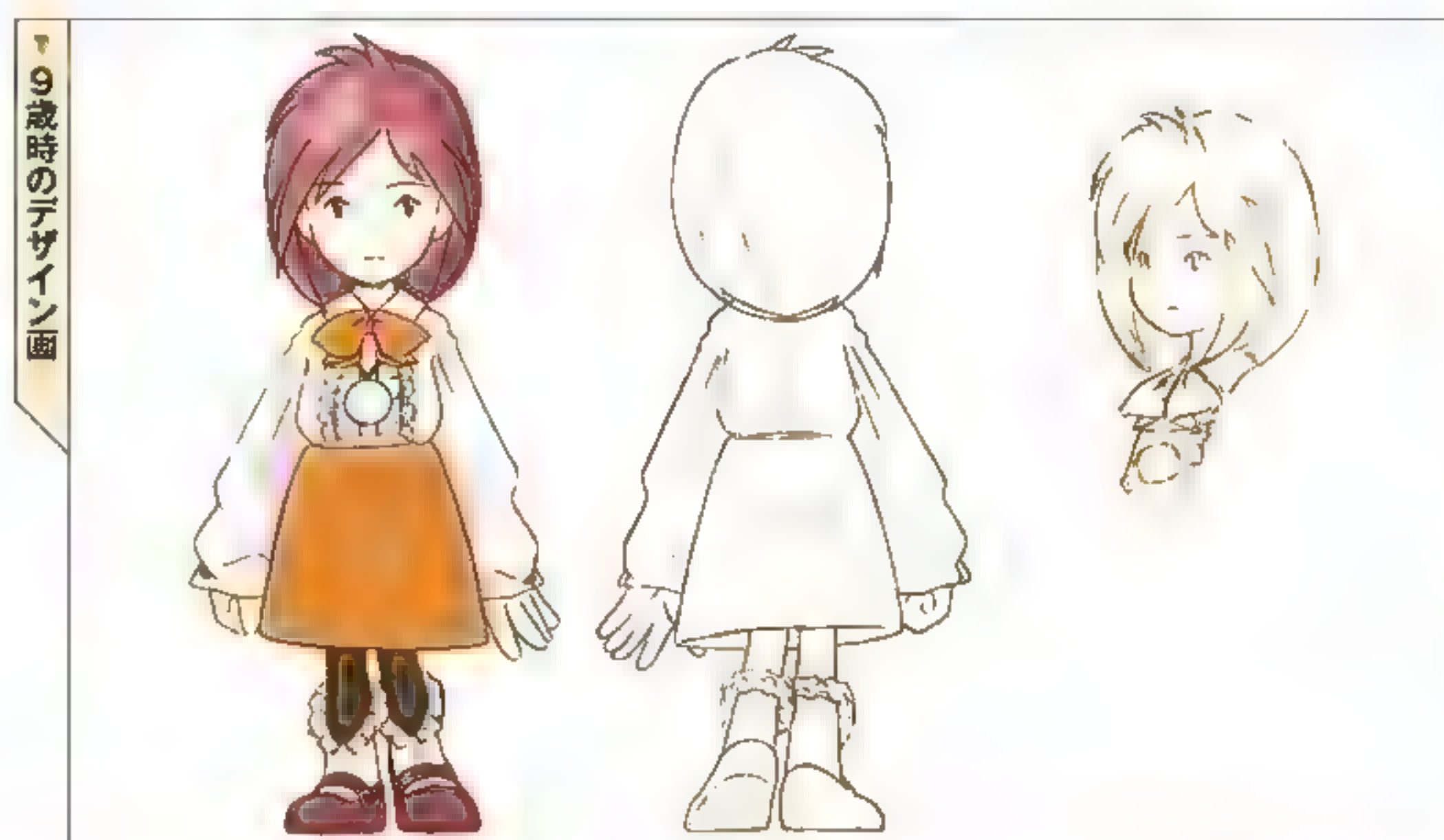
ツノ

SIDE

内側

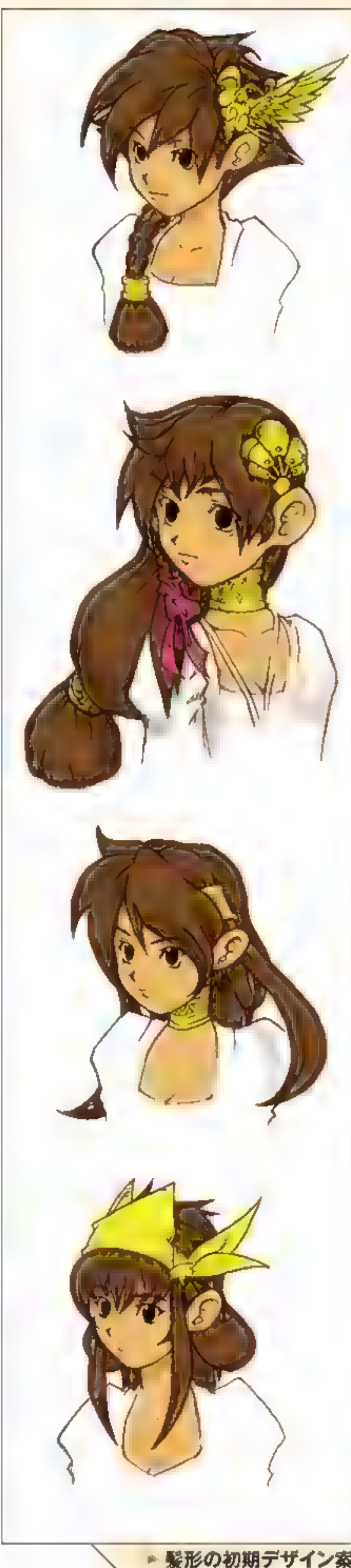
マントの下はあまり見せないでください。

上はムービーに登場する、嵐の海に小舟で乗り出したときの姿。召喚士特有のツノは、フードに隠れている。下は元家庭教師トットとの回想シーンで姿を見せる、快活だった9歳当時の彼女で、ツノはすでに取り去られたあと。

▼9歳時のデザイン画

▶未採用デザイン

ダガー提案

決定稿はピタッとしたボディスーツだが、ミニスカートとタイツの組み合わせなども考えられていた。髪形も、三つ編みやセミロングといったアイデアが提示されている。

▶髪形の初期デザイン案

Memorial Scenes

▶ガーネット

大好きなお芝居を演じて

ガーネットは古典的劇作家エイヴォンの大ファン。なかでも名作「君の小鳥になりたい」はセリフをすべて覚えており、劇場艇のステージに上がってしまったときには、主役のコーネリア姫を演じ切ってみせる。

みんなを眠らせて城を脱出

ブルメシアに侵攻した母を止めようと、狩猟祭のごちそうにスリプル草を盛って人々を眠らせ、リンドブルム城を出る。物語冒頭の脱出行につづく大胆な行動。

「ダガー」誕生

お忍びで旅を進めるべく、ジタンの武器に着想を得て「ダガー」と名乗る。この時点ではわからないが、亡き王女の役割を名前ごと継がせられた彼女にとって、ダガーとしての体験こそが、本当の自分らしさを探るきっかけとなった。

心に残るなつかしい歌

ダリの村やリンドブルムの見張り塔で、ダガーは誰も知らない歌をひとり口ずさむ。歌うとなぜか温かい気持ちになれるその歌は、幼いころ刻まれた唯一の記憶。のちにマダイン・サリで、彼女はそれが故郷の歌であったことを思い出す――。

新女王の決意

育ての母ブラネの死を看取り、アレクサンドリア女王の座を継ぐことに。他国を蹂躙した母の罪をつぐなうためにも、大役をしっかり果たそうとするが……。

召喚獣ラムウの試練

ブラネを止められなかったばかりか召喚獣を奪われて仲間に助けられ、己の無力さを痛感したダガー。これまで正面から向き合ってこなかった召喚獣の力を使いこなすため、ラムウの試練を受ける。

いままでのわたしを覚えていてね

クジャから自国を守れなかった後悔により口が利けなくなったが、過去を克服して言葉を取りもどすとともに、髪をバッサリ切って心機一転。軽やかなショートボブ姿が表すように、以降の彼女は重い気持ちに引きずられることなく前へ進みつづける。

守護神アレクサンダー召喚

本来ダガーのものであるバハムートでアレクサンドリアを襲うクジャ。新女王となって早々に試練に直面したダガーは、駆けつけたエーコと協力し、宝珠の力で聖なる獣アレクサンダーを呼び出す。

女王の立場もかえりみず……

世界が平穏を取りもどすなか、アレクサンドリア城で上演された芝居でマーカス役を演じていたのは、行方知れずとなっていたジタンだった！　彼のもとへ駆け出す途中で大事な国宝のペンダントを落としたダガーだが、一瞬迷ったのち、ペンダントを放置してジタンのもとへ・・。

Steiner スタイナー

主君の言葉に忠実に従う
カタブツの王宮騎士

▸ Adelbert Steiner　アデルバート・スタイナー

Personal Data

- 人間
- 男
- 33歳
- 1766年3月
- 右

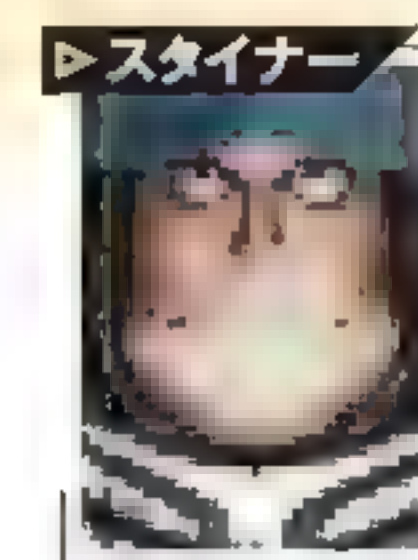
アレクサンドリア王家への忠義心厚い、生真面目な騎士。男性のみで構成される女王親衛隊「プルート隊」の隊長を務め、ブラネ女王の右腕である女将軍ベアトリクスをライバル視している。大変なカタブツで、当初は女王の言葉を絶対と考えていた。ガーネットを連れもどそうと、なしくずし的にジタンたちに同行するなかで柔軟さを身につけ、己の生きるべき道を見つめ直していく。

Memorial Words

▷スタイナー

「人の為に生きることは真に自分の為なのか。
教えて欲しい。何のために人は生きるのか……」

—— タイトルデモより

当初スタイナーは、王家の騎士としての使命をまっとうすることにすべてを捧げていた。しかし、主君の非道な行為に直面し、新たな行動指針を探さざるを得なくなっていく。

「ままなろうとなかろうと、
正しいことをする、
それが一番なのである！」

—— 物見山：視野のせまさをモリッドにたしなめられて

物語序盤での頭のカタさを象徴するやり取り。この時点では絶対的な"正しいこと"がひとつしかないと信じて疑っていなかったが、やがてその正しさをどう判断するかが重要だと気づくことに。

「なっ、なんたる非道！」

—— カーゴシップ：黒のワルツ3号が黒魔道士を攻撃するのを目の当たりにして

同じ種族の者を平気で始末する黒のワルツ3号を見て激高。正義感の強さは、最初から最後まで変わらない。

「姫さま！
このようなゴロツキと
話してはなりませんぞ！」

—— 山頂の駅：ダガーがマーカスたちと話すのをやめさせようとして

身分がちがいすぎると言って、ジタンたちタンタラスの者をダガーから遠ざけようと躍起に。山頂の駅ではこのセリフを連呼したあげくダガーにキツく怒られ、マーカスには「騎士の名が泣くっス」と言われてしまう。

「プルート隊隊長
……アデルバート＝スタイナー……
誉れなる御両名に加勢いたしたく、
ただいま、はせ参じました！」

—— アレクサンドリア城：追っ手を食い止めようとするフライヤとベアトリクスに加勢し

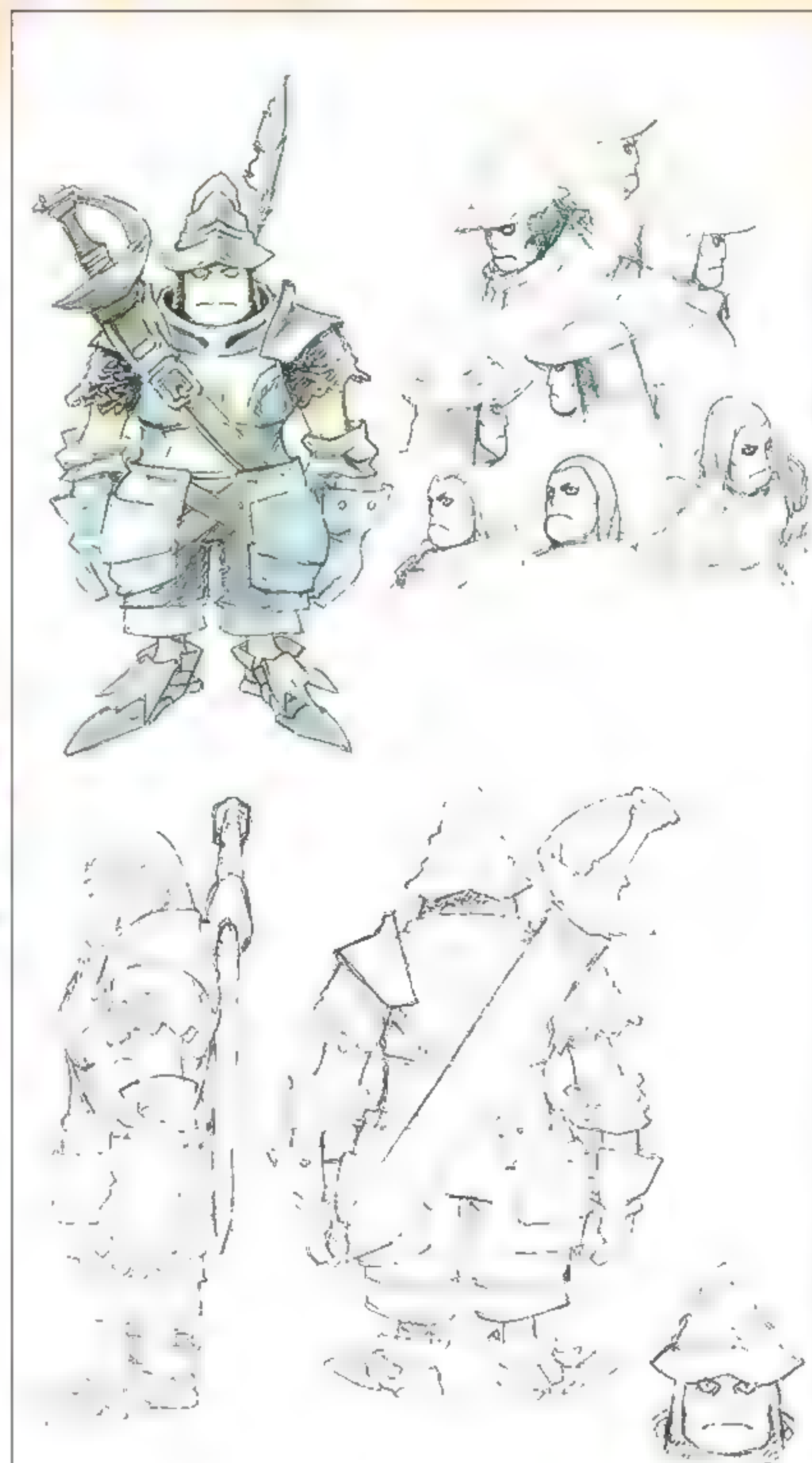
王家に忠誠を誓いながらも主君に刃を向けたベアトリクス。ベアトリクスが自国を滅ぼした仇と知りつつ彼女との共闘を決めたフライヤ —— ダガーを守るべく命を賭して戦う彼女たちの勇姿を見て、スタイナーは迷いを振り切り、女王に楯突く形となるのを承知でふたりに加勢する。

「まだ姫さまにふさわしい
男かどうか、見極めが
終わったわけではないのだぞ!!」

—— パンデモニウム：ひとりでガーランドと決着をつけようとするジタンを助け

仲間を振り払おうとするジタンを助けに駆けつけてのひとこと。当初は「盗賊ふぜい」と見くだし遠ざけようとしていたジタンを、この時点ではほぼ認めていることがわかる。

▸ イメージCG

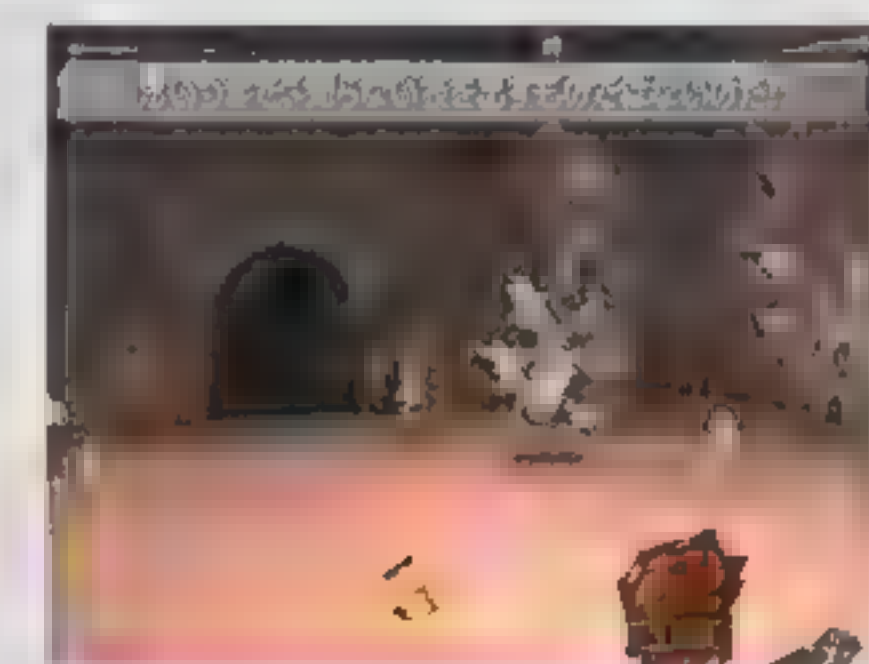
変装してアレクサンドリア城から逃げていくガーネットを連れもどそうと、決意の表情を浮かべる場面。このあと、彼女を追って劇場艇プリマビスタへ飛び移ろうとするが、失敗に終わる。

▸全身画&顔イラスト

▸トランス時の全身画

トランスすると、フルフェイスの鉄仮面をかぶり、鎧もいっそうゴツゴツしたものに変化。物語中でシナはスタイナーを「ブリキの騎士」とからかうように呼ぶが、その印象がさらに強まった風体だ。

表情集(CG)

akke　ikari　kanasimi　odoroki
odokeru　tinmoku　warai A　warai B

Memorial Scenes

▷スタイナー

必殺ブリ虫剣法!?

ガーネットを取りもどすべく、"誘拐犯"のジタンとブランクに剣を向けたスタイナー。即興で思いついた渾身の剣技をブランクに見舞うも、相手が兜に隠し持っていたブリ虫たちがあたりに飛び散り、大変な目に。

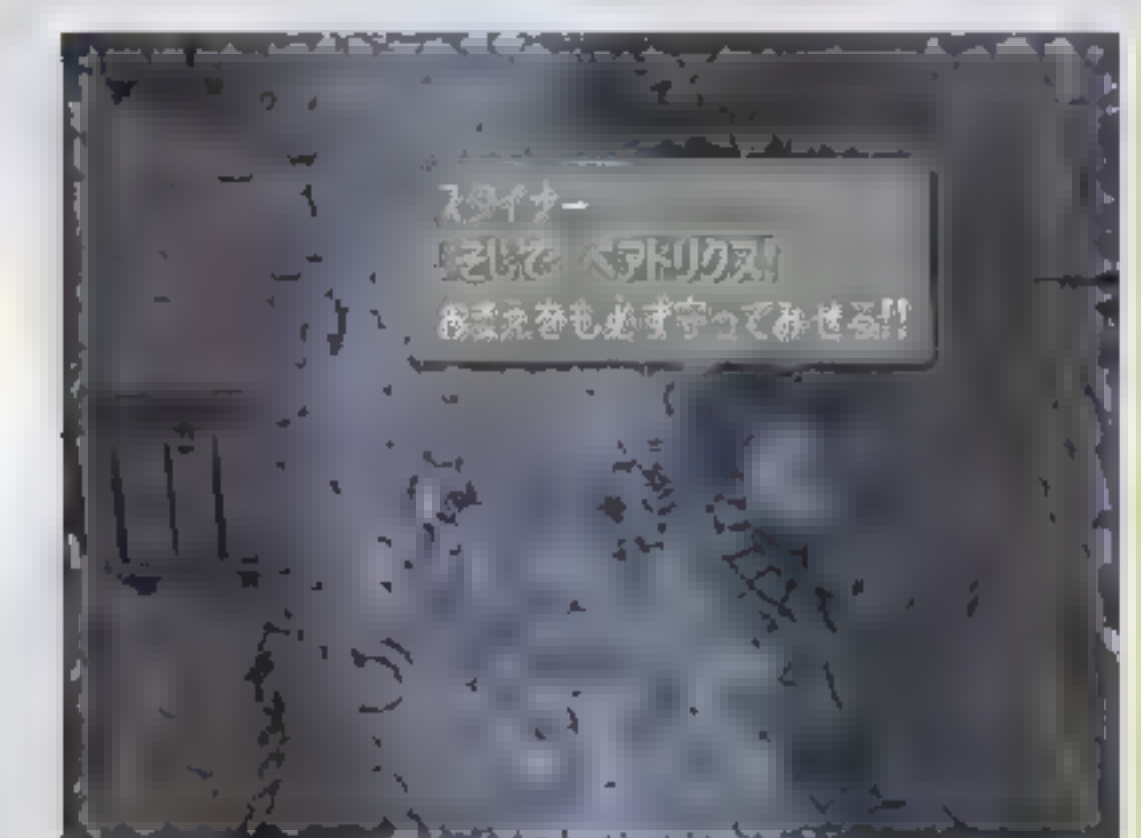
ずだ袋を背負い検問突破

ダガーの発案で、ギサールの野菜のピクルスの袋に彼女を隠し、アレクサンドリア方面へのゲートへ。ウソがヘタなスタイナーにしてはうまく兵士を言いくるめ、検問の突破に成功する。

小舟の上で心は揺れて

白金の針を入手する目的で、深夜に小舟で家宅侵入を実行。信義に反して盗人めいた行動をとることに葛藤したり、ブラネ女王の悪しきウワサに動揺したりしながら、「すべてジタンが悪い」と片づけて現実逃避するが・・・。

吊り牢獄から脱出せよ!

アレクサンドリア城に帰還するも、ダガーは捕らえられ、自分はマーカスともども吊り牢獄に閉じこめられるハメに。脱出すべく、ふたりで息を合わせて牢獄を揺らし、壁にぶつけて壊そうとする。

ベアトリクスと街を守れ

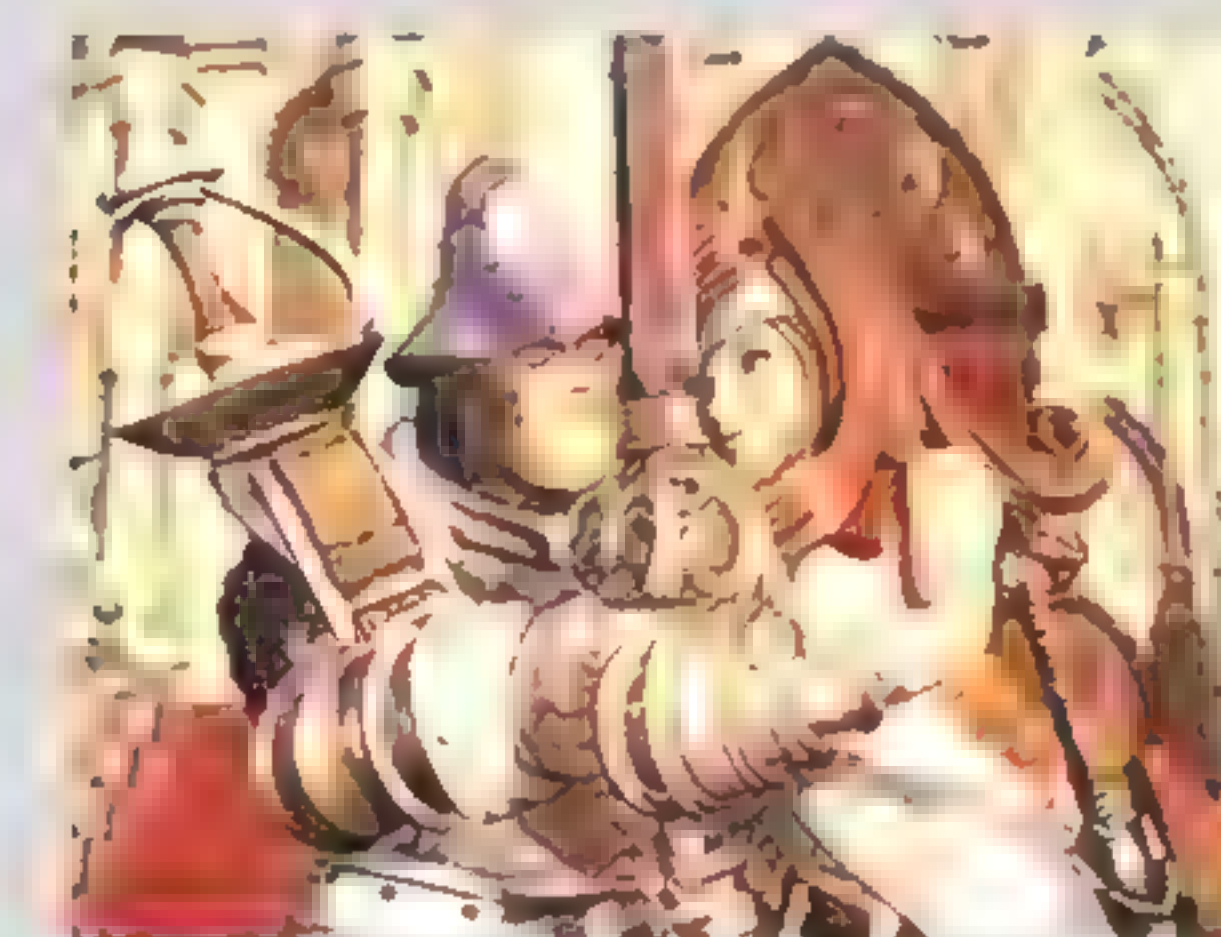
ガーネット女王の即位式が間近に迫ったころから、ライバルだったベアトリクスとの仲が急接近。クジャの手からアレクサンドリアの城下町を守るときには、切ない想いを互いに感じつつも気持ちを押し殺し、背中を預け合って魔物の軍勢と戦う。

ちびっこ魔道士との凸凹コンビ

魔の森でビビの活躍に感服して以来、彼に敬意を持って接するスタイナー。いつもは敬語で話すが、風の祠でコンビを組んだときは珍しく呼び捨てにして、信頼感を表に出す。

もう二度とおまえを失わぬために

物語の最後、これまでの贖罪のためか黙って城をあとにしようとするベアトリクスを引き止め、まっすぐに想いを告白。こうして、アレクサンドリアが誇る騎士両名は、晴れて両想いとなった。

Freija フライヤ

恋人を捜して旅をつづける
ネズミ族の麗人

▸ Freija Crescent　フライヤ・クレセント

Personal Data

- ネズミ族(ブルメシアの民)
- 女
- 21歳
- 1778年6月
- 左

ネズミ族の国ブルメシア出身の容姿端麗な女戦士。国王を守る竜騎士のひとりだったが、先輩の騎士である恋人フラットレイの消息を追って、5年前から放浪の旅に出た。2年前にジタンと一時的に行動をともにし、リンドブルムの狩猟祭がきっかけで彼と再会。その後、祖国の危機を知り、ジタンにふたたび同行する。気高く品のある大人の女性で、古めかしい言葉づかいが特徴。

Memorial Words

▷フライヤ

「こんな時にあなたは何処におるのじゃ？
私にはあなたが必要だというのに……」

――リンドブルム：狩猟祭を前に不穏な空気を感じてつぶやき

ブルメシアが襲撃された不穏な空気をいち早く察知し、最愛の人に想いをめぐらせて弱音を吐く。ふだんはりりしい戦士だが、意外と乙女なのだ。

「思い続けることの辛さより、
忘れられることが怖いのじゃ……」

――タイトルデモより

5年にわたり、祖国を捨ててまで捜しつづけた恋人フラットレイに忘れ去られるツラさを言葉にしたもの。作中ではクレイラにてこの感覚を味わうことに。

「国を出て、はや5年……。
この地の夢を幾度見たことか。
いや、この地の夢を見ぬ夜なぞ無かった！」

――ブルメシア：出入りを禁じられていた祖国に足を踏み入れ

恋人を追って旅に出たときブルメシア王には入国禁止を申し渡されており、以来5年間、祖国に足を踏み入れていなかったフライヤ。ジタンには「私にはもう必要のない国」と言い捨てていたが、実際はそれは強がりで、祖国の危機を知るや即座に駆けつける。

「笑止！」

――アレクサンドリア：自分にわびろと言うサラマンダーに

虫の居所が悪かったときにサラマンダーと出くわし、あわや決闘になりかける。古風で慇深な言いまわしが彼女らしい。

「愚直は美徳じゃ……
ただ、生きてさえおればな……」

――トレノ：サラマンダーの生きかたをフラットレイと重ね

ジタンに出し抜かれた過去をサラマンダーが正直に語るのを聞いて思わず笑いながら、最後はしんみりとつぶやく。ジタンと競おうとする彼に、かつてベアトリクスと競おうとしたフラットレイの面影を重ねた模様。

「フラットレイ様と一緒ならば、千年かかろうともかまいませぬ」

――エンディング：フラットレイと祖国の復興作業にいそしみ

道中で再会したフラットレイは記憶を失っていたが、すべてが終わったあと、恋人として最初からやり直すことに。彼に寄り添い、つつましくも情熱的な言葉を口にするその様子は、ひとりの恋する女のもの。

▸イメージCG

祖国ブルメシアの危機を救いに駆けつけたものの、敵将ベアトリクスに完膚なきまでにたたきのめされたフライヤ。容赦なく降りしきる雨のなか、敗北の屈辱がしみ過る。

全身画

フライヤがトランスしたときの最大の特徴は、フルフェイスの仮面で顔全体が覆われること。全身のシルエットはふだんとさほど変わらないものの、よく見ると、衣装が硬質な鎧のようなものに変化している。

トランス時の全身画

表情集

Memorial Scenes

▷フライヤ

そこのシッポ、迷惑だぞ

かつての旅の仲間ジタンと、リンドブルムの酒場で再会。女の子を口説く彼を、他人を装って注意しながら再会を喜ぶが、とぼけることにかけてはジタンのほうが一枚上手だった。

狩猟祭での勇姿

リンドブルムの狩猟祭に、ジタンの競争相手として参加。凶悪なモンスター、ザグナルとのバトルでは彼と共闘し、竜騎士必殺のジャンプ攻撃で敵を追いつめる。

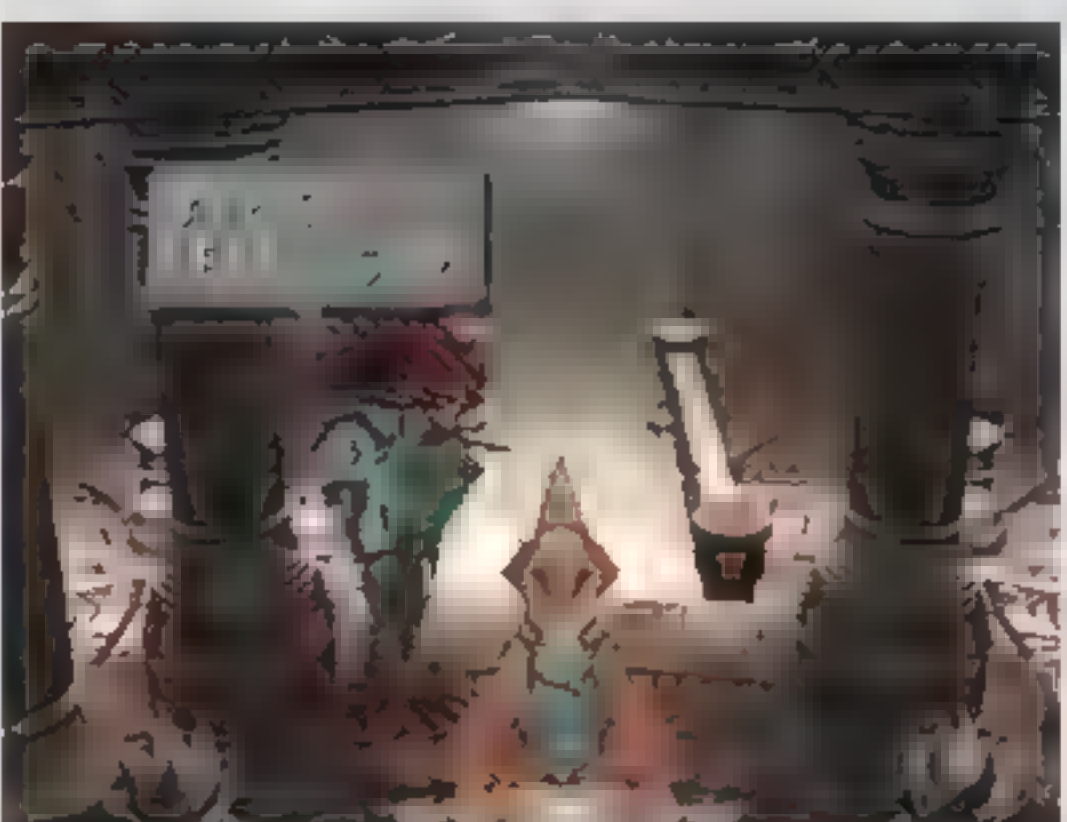
ネズミ族の舞踏

クレイラにて、街を守る砂嵐を強化するための儀式が行なわれたときには、クレイラの巫女たちとともに優雅な舞いを披露。だが、クジャの魔法のせいで、砂嵐は強まるどころか逆に消えてしまう。

ベアトリクスへの複雑な感情

恋人フラットレイが旅に出たのは、ベアトリクスに対抗する力を求めてのこと。そのベアトリクスが祖国ブルメシア侵攻を指揮し、同じネズミ族の国クレイラにまで攻めこもうとしているのを見て、フライヤは闘志を燃やす。

再会の喜びもつかの間……

クレイラの街で、夢にまで見たフラットレイとの再会を果たすが、彼はフライヤのことをまったく覚えていなかった。あまりの衝撃に、フライヤは涙を流しながら渇いた笑いをもらす。

サラマンダーとは良いコンビ?

サラマンダーとはアレクサンドリアの城下町で最悪の出会いかたをしたが、トレノで彼の事情を聞くと、わだかまりも氷解。火の祠では一緒にペアを組み、息の合ったところを見せる。

Quina クイナ

美味を追求し食べることで成長する
摩訶不思議な種族の若者

▸ Quina Quen　クイナ・クゥエン

Personal Data

- ク族
- 不明
- 70〜90歳?
- 1710年代
- 両利き

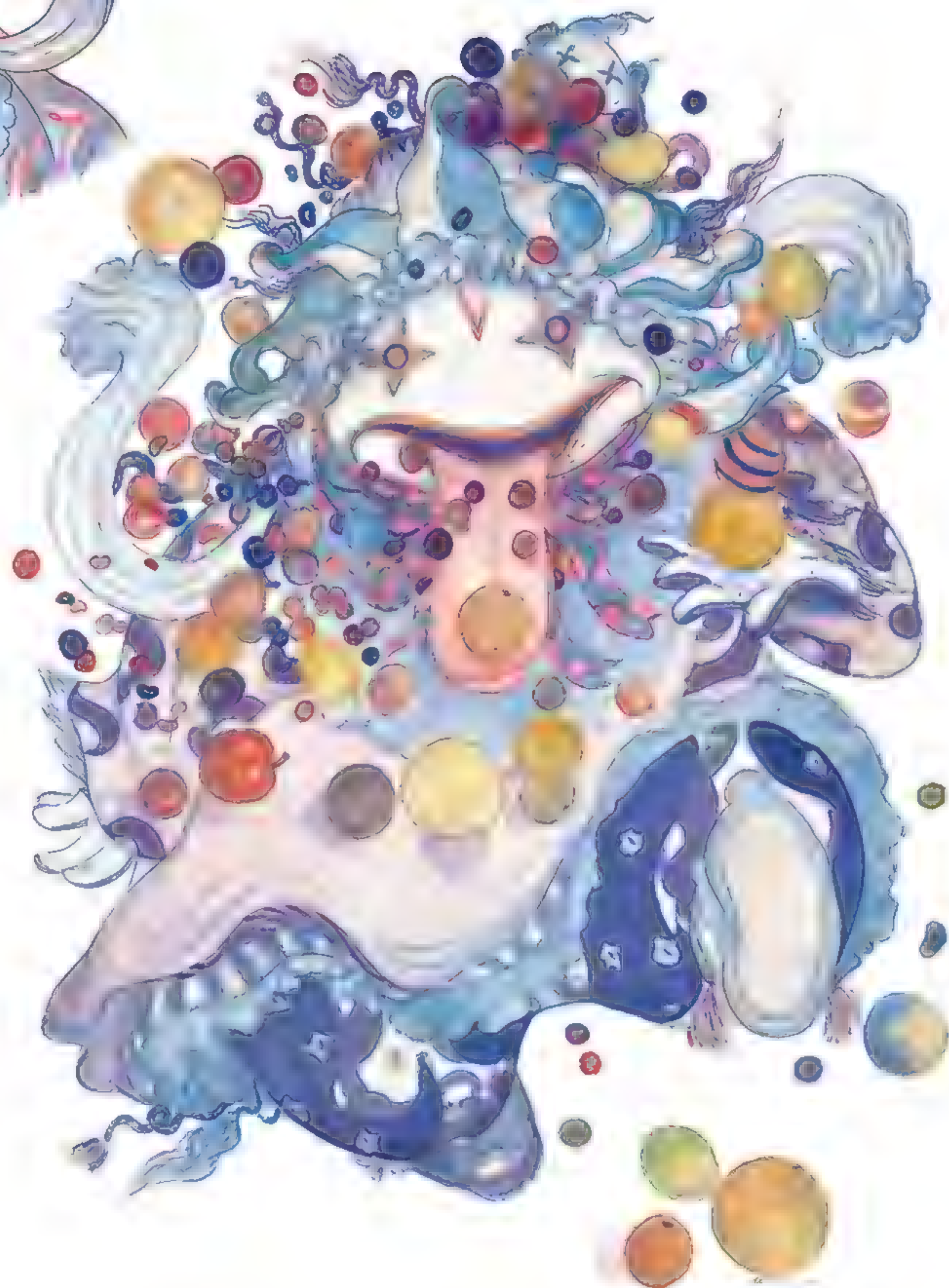
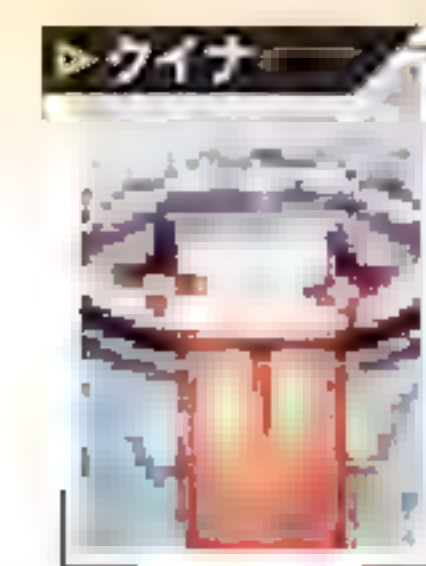
食の探究に全精力を費やす種族「ク族」の青年。カエルが大好物で、霧の大陸のク族の沼に棲むカエルの味だけに満足していたのを師匠クエールに見とがめられ、食の見聞を広めるべく、ジタンたちの旅に同行する。いついかなるときも食に執着し、美食探しを第一としたマイペースぶりを発揮するが、その姿勢はときにパーティーをなごませ、ときに苦境を打破する糸口をもたらす。

Memorial Words

▷クイナ

「好きなことやってて悪いアルか!!
だけど……、たまには叱って欲しいアルよ……」

――タイトルデモより

食べることばかり考え、周囲をかえりみず行動するクイナらしからぬセリフ。作中では表に出さない心境が表現されている。ちなみに、語尾に「アル」をつける独特の口調はク族共通のもの。

「この街の甘い砂で
特製ケーキを作っても、おまえには絶対
食べさせてあげないアルね!」

――クレイラの街:敵将ベアトリクスと対峙し

ブルメシアでの雪辱を果たすべくジタンたちが身構えるなか、緊張感に欠ける発言。美食家のクイナに考え得る精一杯のおどし文句?

「ワタシ……幸せアルよ……」

――コンデヤ・パタ:ビビと「神前の儀」をあげて彼に迫り

ジタンの勧めでビビと挙式すると、こう言いながらビビに接近する。性別不明だが、妻として愛情を抱いてしまった?

「ク族のことわざでは、こういうふうに言うアル……
『残り物にはおいしいものがアル』!!」

――地脈の祠:残り物だからクイナと組んだと言うジタンに

ジタンが自分と組んだことで「ワタシと行きたかったアルね!」と素直に喜び、残り物だからと言われてもこう返す。このポジティブさ、見習いたい?

「味だけ良いのが本当の料理じゃないアルね〜。
心をこめて作ることがとても大切アルね〜。
大切なトモダチに出す料理は、なおさらアルね〜っ!」

――エンディング:アレクサンドリア城の厨房を仕切りながら

かつての仲間が集まりつつあるアレクサンドリア城で調理を指揮。クイナの料理への基本姿勢と同時に、ダガーたち旅の仲間を「トモダチ」と大切にしていたことがわかるセリフだ。

「……あのカエルの王様を
食っておくべきだったアル……」

――デザートエンプレス:絶体絶命の危機に立たされて

牢獄の床が開き、煮え立つマグマへ落とされそうになっても、最後に浮かんだ心残りはコレ。「カエルの王様」とはシド大公のことで、ブリ虫からカエルに変身した直後から、クイナは食の対象として熱い視線を注いでいた。

▸イメージCG

大好物のカエルが棲息するク族の沼の草原に立ち、大空をあおぎ見るクイナ。ちなみに、クイナ、エーコ、サラマンダーのイメージCGは、作中の特定の場面にもとづかない独自のものだ。

▼全身画(体格)

ジタンやダガーなどにも用意された、衣装のない体格部分の設定画。どことなく、好物のカエルに似ているような?

▼トランス時の全身画

フリルのついたコック帽が兜のようになったり、服が硬質なものに変わったりするなどトランス時の変化は大きいが、一番のちがいは肌が黒くなること。そのせいか、どこか不気味な雰囲気に…。

▶全身画&顔イラスト

Memorial Scenes

▷クイナ

こんなところにもクイナが!

ジタンの仲間になる前にもちょいちょい作中に登場しているクイナ。物語冒頭のガーネット誕生記念式典では、ごちそう作りのために厨房で活躍し、狩猟祭では、姿は見えないもののアナウンスを聞けば参加しているのがわかる。

カエルの匂いにつられて道を発見

大好物のカエルの匂いをたどることで、誰もわからなかった外側の大陸につづく道を発見。結果として仲間たちに貢献する。

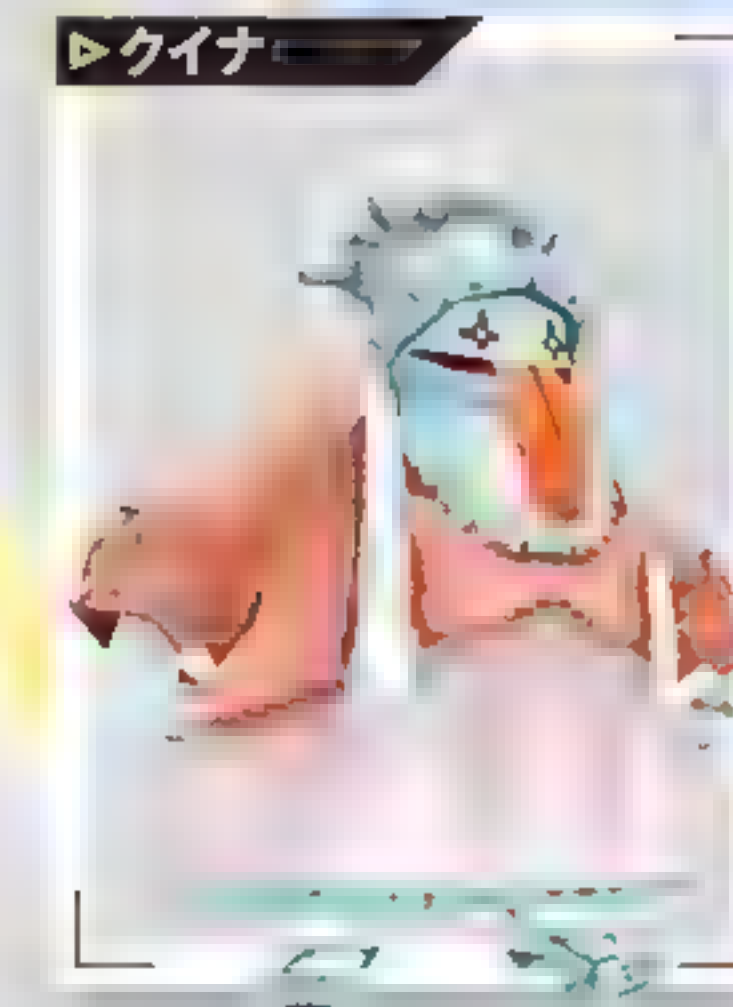
珍味・チョコボの卵を前に

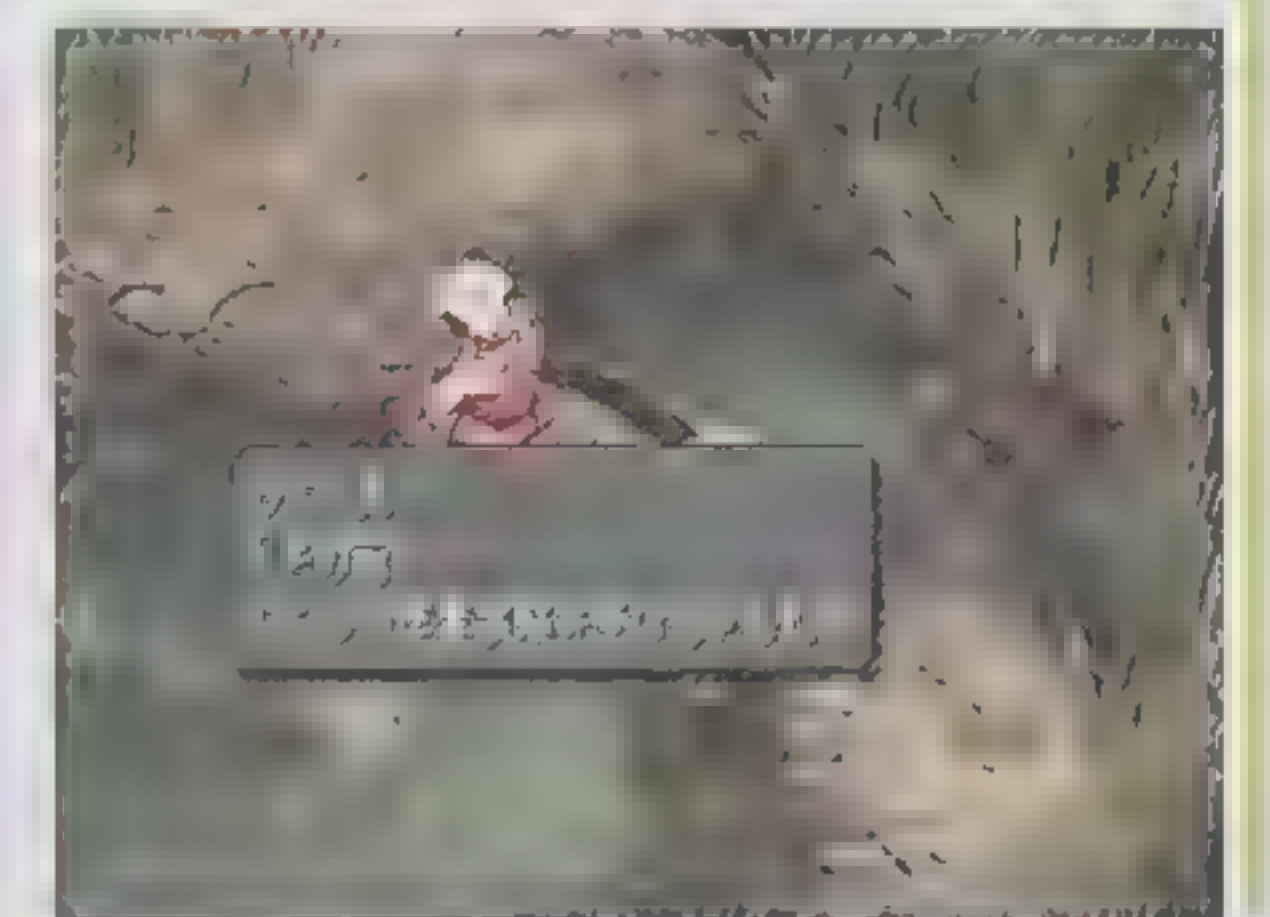
黒魔道士の村で、住人たちが大切に温めているチョコボの卵を見つけたクイナ。伝説的珍味にめぐり合ったと感動し、食べようとして住人の抵抗に遭う。

エーコの料理の心強い助っ人

料理でジタンの心をつかもうと張り切るエーコに、料理のプロとして的確なアドバイスを送る。ちなみに、クイナが言う料理の心がけは「つねに多く作るべし」で、急な増員やお腹の空いたお客のリクエストを考慮した、まっとうなもの。

クエール師匠の最後の試練

世界中のク族の沼で99匹のカエルをつかまえたクイナは、卒業試験として、師匠クエールとの戦いにのぞむことに。いまこそ食の修行の成果を見せるとき?

クイナVSピクルスばあさん

クレイラではオーディンの襲撃を受けてもピンピンし、マダイン・サリでは川の流れに乗って、トレノやリンドブルムへ移動。そんな不死身のクイナだが、売り物のピクルスを食べつくして代金を請求されたときには、心底恐ろしい思いをした模様。

Eiko エーコ

小さな身体に大きな力を秘めた
おませな召喚士の少女

▸ Eiko Carol　エーコ・キャルオル

Personal Data

種族	ツノがある人間
性別	女
年齢	6歳
誕生日	1793年3月
利き腕	右

マダイン・サリの召喚士一族の末裔。まだ6歳だがしっかり者で、周囲を心配させまいと、つとめて明るく振る舞っている。1年前に亡くなった「おじいさん」の言葉に従い、村の宝の宝珠を守りながらモーグリたちと暮らしてきた。山道で自分を助けてくれたジタンに恋し、彼に力を貸すうちクジャの陰謀を知って、旅に同行することになる。額に生えたツノは召喚獣と交感するための、一族特有のもの。

Memorial Words

「大丈夫だなんて思わないで……。
一人でいると、さみしさがいっぱいやってくるの……」

—— タイトルデモより

物語中では、天国のおじいさんに「もう、ひとりはさみしいの」とつぶやくぐらいで、弱音を吐くことはめったにない。そんな元気なエーコの本音が現れた言葉。

▷エーコ

「『はっこうのびしょうじょ』
って言葉、エーコのためにあると思わない?」

—— マダイン・サリ：自分の生い立ちをジタンたちに語り

同情の目を向けるジタンたちに「ぜんぜんさみしくないんだから」と断ったのち、おしゃまにこう発言。つづけて、ジタンを口説くべくロマンチックな言葉を並べ立てるが、ダガーにはエイヴォン卿の芝居のセリフの引用だとバレてしまう。

「レディーに名前を聞くときには、
自分から名乗るのが礼儀ってものだわっ!」

——コンデヤ・パタ山道：ビビに「キミ」と呼ばれて憤慨し

幼いながらもいっぱしのレディーを気取るエーコ。なかでも、同年代のビビに対しては何かとお姉さん風を吹かせ、説教する場面も多い。

「く〜〜〜〜〜っ!
エーコの目は確かだったわ!!
やっぱジタンってイイ男!
そうよ、“する”か“しない”かなら、
何も迷うことはないんだわ!!
エーコはジタンといっしょに
行きたいんだもの!」

—— マダイン・サリ：ジタンとビビの会話を物陰で聞いて

「16歳まで村に残れ」というおじいさんの遺言に悩んでいたものの、「選べるのは行動するかしないかだけ」というジタンの話を聞き、自分の気持ちに正直になって彼についていこうと決意。同時に、ジタンにホレ直す。

「ジタンの
バカ! バカ! バカ! バカ! バカ!
ジタンのニブチン〜〜〜〜〜〜〜〜っ!!!
エーコの気持ちも知らないで……」

—— アレクサンドリア城：夜、船着き場で落ちこみ

ジタンにラブレター大作戦を決行しようとするも、ダガーのことしか頭にない彼の様子を見て落ちこむ。恋する乙女はツラい!?

「んもうっ! ダガーがそんなふうにオクビョウだから、
エーコがヤキモキしなきゃいけないんだからね」

—— 水の祠：ダガーに女としてお説教し

ジタンとダガーが両想いだと気づき、当初は両者のあいだに割って入ろうとしていたエーコ。物語終盤には身を引いて、恋のアドバイスを送る。

▸ イメージCG

どこか不気味な空模様のもと、ふとうしろを振り返るエーコの姿をとらえたワンショット。幼なくも気丈なまなざしの奥に、押し隠したさびしさが感じられる。

表情集

トランス時の全身画

トランスすると額のツノが伸び、背中の羽飾りが大きくなって、ファンタジックな雰囲気に。袖部分には、ガーネット同様、レースのような模様が入る。

表情集(CG)

全身画&顔イラスト

羽飾ははずしてあります。

エーコの衣装の細部までわかるデザインイラスト。ちなみに、背中の羽は飾りとしておじいさんがつけてくれたもので、取りはずしが利く。

装飾品のデザイン画

Memorial Scenes

▷エーコ

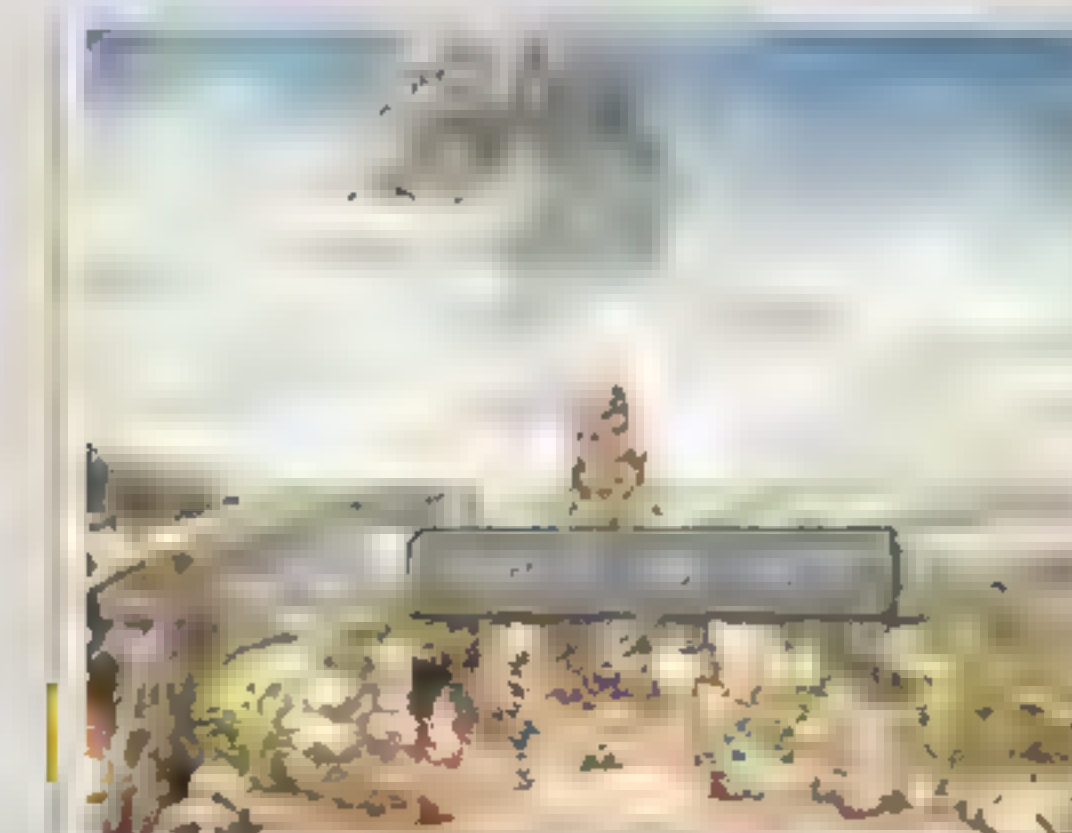
食べものドロボウの恋

エーコは親友のモグとともに、コンデヤ・パタの店先から常習的に食糧を盗んでいた。そんなあるとき、山道を逃走中に木の枝に引っかかってしまい、途方に暮れていたところをジタンに助けられ、彼にひと目ボレする。

手料理でジタンのハートをつかめ

ジタンの気を引こうと、毎日食べたくなるような料理でもてなすことにしたエーコ。村のモーグリたちの手を借りて、げんこついものシチューと焼き魚を作ろうとするが、はたしてお味は？

モグは最高の友だち

モーグリのモグとは大親友で、おそろいのリボンを持っている間柄。肝心なときに逃げ出すなどちょっと頼りないところもあるが、じつはモグには大きな秘密が……。

どどんがどん！開けイーファの入口

イーファの樹に興味を抱くジタンたちのために、入口を守る召喚獣と交感して封印を解除。このときに呪文のような言葉を唱えるが、本人いわく「ちょっとかっこつけてみたかった」だけで意味はないらしい。

召喚士同士呼び寄せられて……

同じ召喚士一族としてダガーとわけ合った宝珠は、守護神アレクサンダーを呼び出す力を秘めていた。アレクサンドリアの危機に直面してそれを悟ったエーコは、飛空艇から飛び降り、ダガーのもとへ……。

ドキドキ♥ラブレター大作戦

ダガーが手の届かぬところへ行って落ちこむジタンに接近すべく、彼のハートをつかむロマンチックなラブレターを書くことに。偶然見かけたトットを「エラそうなおじさん」と呼び、素敵な文面を作り上げる手伝いをさせる。

Salamander

裏稼業界No.1とうたわれた
ジタンをライバル視する一匹狼の闘士

サラマンダー

▸ Salamander Coral　サラマンダー・コーラル

Personal Data

- 人間
- 男
- 26歳
- 1773年11月
- 右

他者を信じず己の腕ひとつで生きてきた孤高の格闘家。その燃えるような髪の色から「焔色のサラマンダー」の異名を取る。トレノで用心棒をしていたとき、盗みに入ったジタンに一杯食わされ、逆に自身がお尋ね者になった。それから2年を経て、ブラネの刺客としてジタンに決闘を挑むも敗北。自分にトドメを刺さなかったジタンに疑問を抱き、彼という人物を見極めるべく同行する。

Memorial Words

▷サラマンダー

「子供の相手は好きじゃない……」
――アレクサンドリア城：スタイナーにつまみ出されて暴れるエーコにため息をつき

女や子どもは単なる足手まといと見なすサラマンダーは、とりわけエーコとはまともに話をしようとせず、さわがれるたびに迷惑顔。各地で恐れられる男の唯一の弱点？

「自分が、何をしたいか。何が出来るのか。
今、その答えを出せというのか……」
―― タイトルデモより

作中では表に出ない内面の葛藤を言葉にしたもの。あれこれ考える余裕もなく身ひとつで世を渡ってきたサラマンダーだが、旅のなかで己の生きかたを振り返ることになる。

「……言え！ 殺さなかった理由はなんだ!?」
―― マダイン・サリ：自分にトドメを刺さなかった理由をジタンに問いただし

「勝者は生者、敗者は死者」という弱肉強食の世界にいたサラマンダーにとって、敗者を助け弱者とつるむジタンの生きかたは完全に理解の外。そんな彼を見極めようとはじまったサラマンダーの旅は、自分自身を見つめ直す旅となっていく。

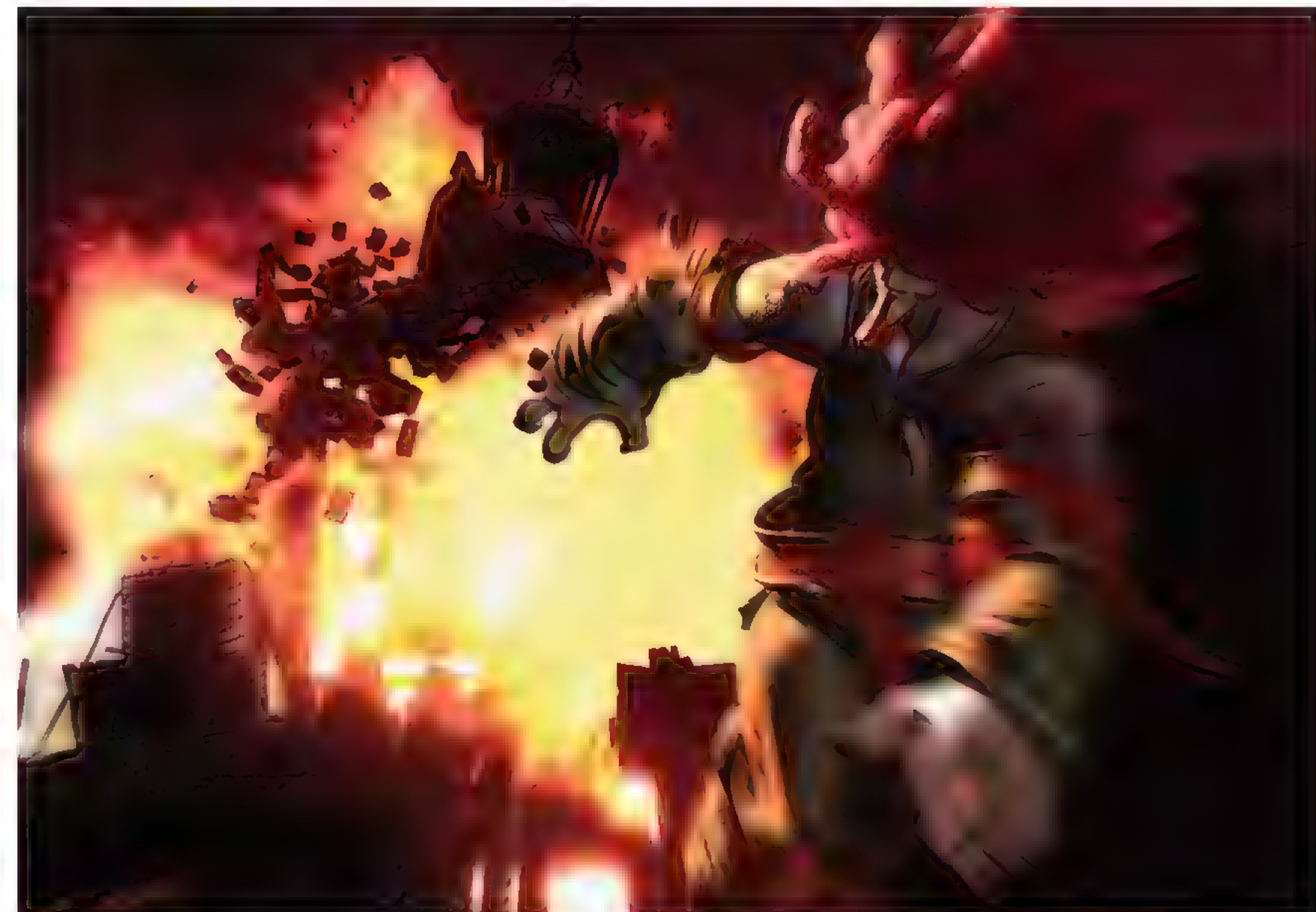
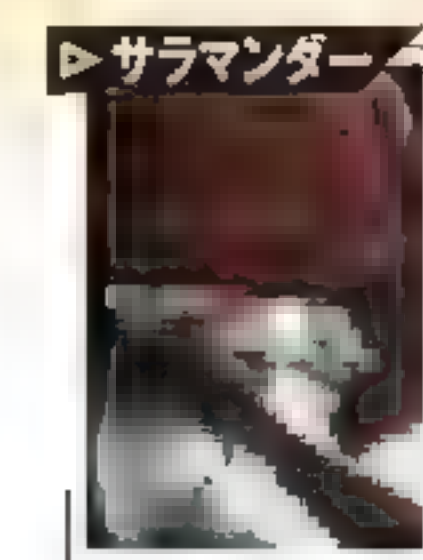
「仲間……？ それが、仲間、なのか……？」
――イプセンの古城：仲間だからと言って自分を助けるジタンに

一方的にパーティーに別れを告げた直後、落とし穴にハマってジタンに助けられる。仲間なら助けるのは当たり前――その言葉にサラマンダーの心は大きく揺さぶられ、かたくなだった態度も軟化していく。

「まるで、どこぞの誰かさんみてえだ……。
力の使い道を探すことから逃げて、
強い相手を探すことばかりしていた……」
―― 火の祠：火のガーディアンの姿に、過去の自分を重ねて

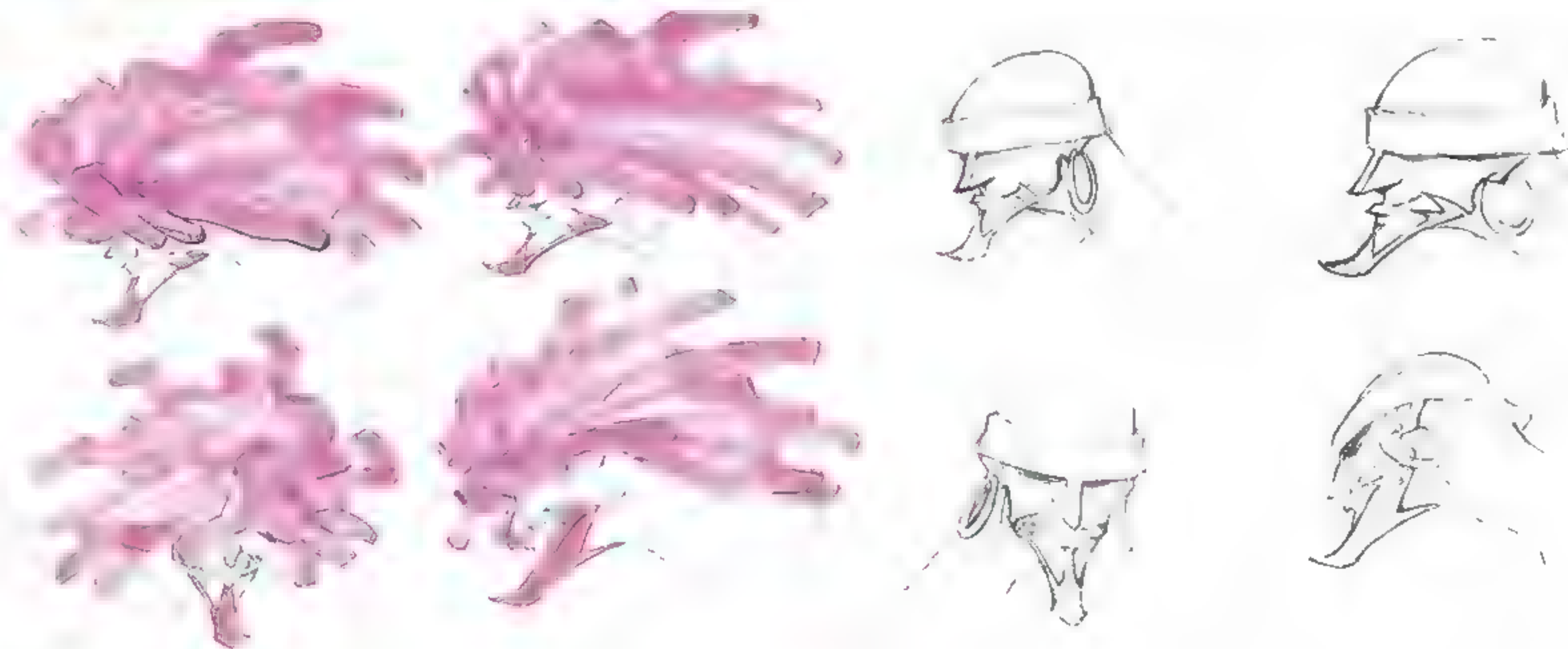
イプセンの古城での一件以来、己を見つめ直したサラマンダー。そんな彼にとって、自分の力を証明すべく闘おうとする火のガーディアンの姿は、鏡に映った過去の自分のように見えたようだ。

「人にはおせっかいやいといて、てめえは自分だけで全て解決か？」
―― パンデモニウム：ひとりでガーランドとの決着をつけようとするジタンを助け

自分だけで問題を背負いこんで解決しようとするジタンを、危険をかえりみず助けて、仲間とともにたしなめる。イプセンの古城の場面とは逆の立場になっているのが感慨深い。

▸ イメージCG

爆発する塔から間一髪で逃れるスリリングなシーンのワンカット。裏稼業界No.1とうたわれるサラマンダーにとって、このような緊迫した場面は日常茶飯事だったのだろう。

▸全身画

▸顔イラスト

▸トランス時の全身画

衣装が脱げて身体が黒くなり、肩の火トカゲ(サラマンダー)のイレズミ以外にもあちこちに模様が。髪は石の結晶のように変化し、背中にも同様のものが生える。なお、設定画を見るに、全裸ではなくビキニパンツらしきものをはいている様子。

Memorial Scenes

▷サラマンダー

ブラネ女王の刺客

2年前にトレノでハメられて以来、ジタンを追いつづけてきたサラマンダー。ブラネが捜す王女のそばにジタンがいると知り、彼と戦うついでとして、女王の依頼を引き受ける。

因縁の地トレノにて

カード大会でトレノを再訪するも、ジタンが自分とのことを完全に忘れているのを見て複雑な想いを抱き、フライヤに過去を告白する。自分はジタンをうらんでいるのではなく、彼が実力を隠して弱者とつるむ理由を知るために追ってきたのだと――。

卑劣なことは大嫌い

エーコを人質に宝珠奪還任務を果たそうとした相棒ラニに愛想をつかし、エーコを助けてコンビを解消。任務とは無関係に、2年前からの目的を果たすべく、ジタンに1対1の勝負を挑む。

自分が敗れた理由

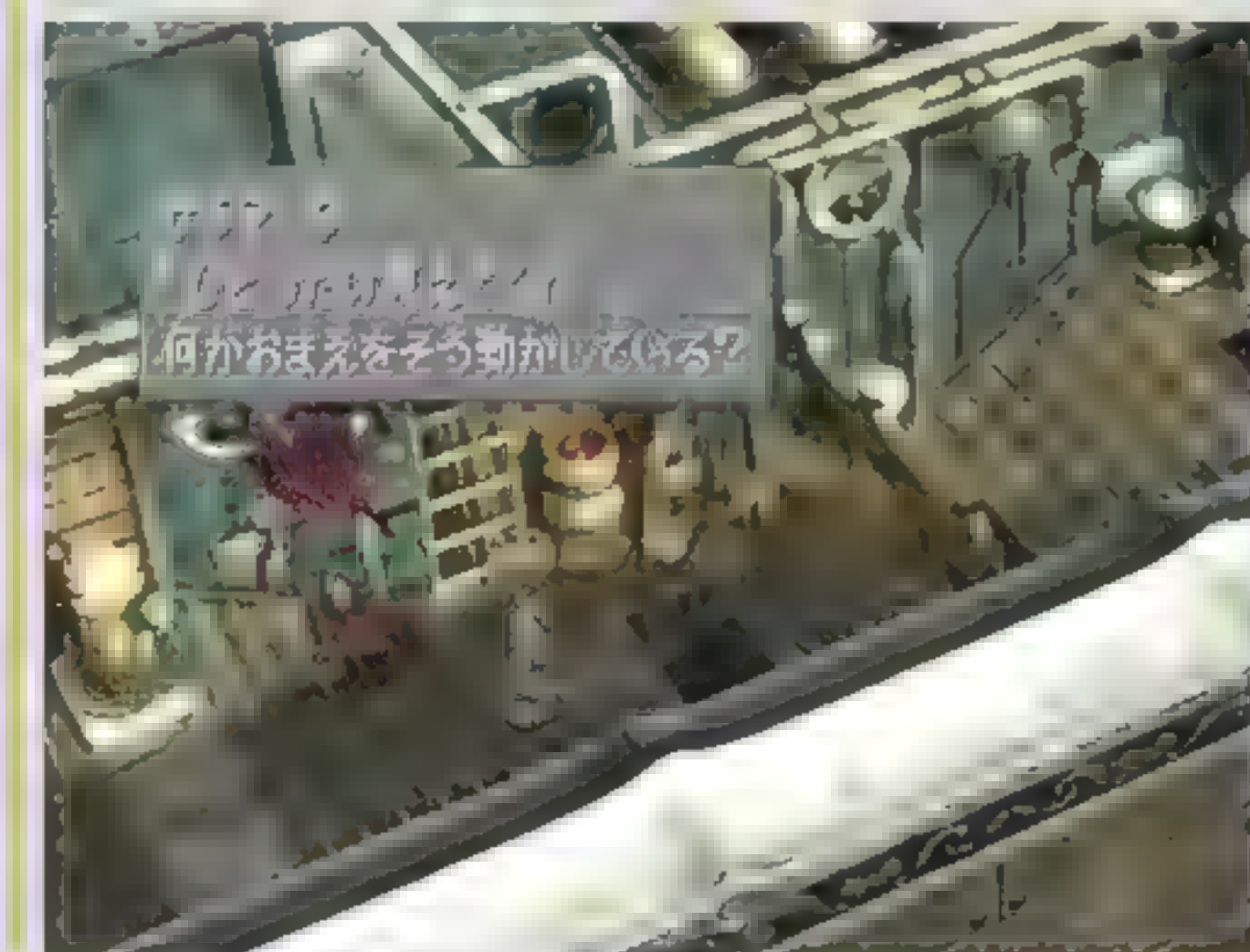
輝く島へ向かう途中、なぜ行動しているのかジタンに尋ねると、未知のものへの好奇心に満ちた返答が。結局自分はあの思考に負けたのだ――長年モヤモヤを抱えていたサラマンダーは、ひとつの結論にたどり着く。

古城での競争の果てに

どうしてひとりではなく足手まといと行動するのか？　ジタンへの積もり積もった疑問がイプセンの古城で爆発。どちらが先に目的のものを見つけられるか競争を挑み、勝利するが、人間の器の"勝負"はそのあとに待っていた。

ジタンの考えはお見通し

危険を押してクジャを助けようとするジタンの、「一度そう思ったら考えかたを変えられない性分なんでね」という言葉を先まわり。ずっと彼を追いつづけていただけに、ある意味ジタンの一番の理解者になったのかもしれない。

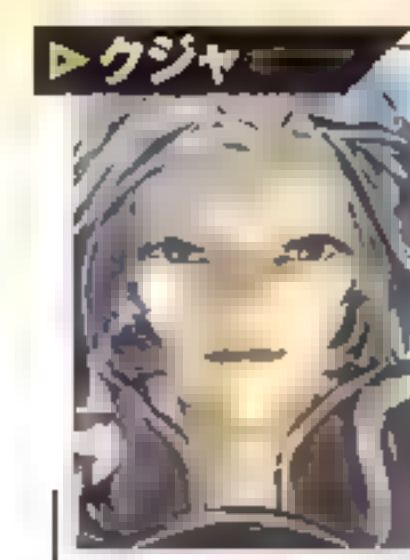
Kuja クジャ

与えられた使命に反抗して命に執着する
美しく残忍な“ガイアの死神”

Personal Data

- ジェノム
- 男
- 1776年
- (24年前に成人の姿で誕生)

芝居がかった言動を好む、残虐でプライドの高い美青年。テラの人造人間「ジェノム」のひとりで、ジタンの兄的存在にあたる。1年前からブラネに近づいて彼女の欲望を引き出し、黒魔道士の製造法を伝授して、霧の大陸の戦乱を煽動した。それらは「ガイアを乱せ」というテラの管理者ガーランドの命に従ってのことだが、ひそかに彼への反逆も画策しており、召喚獣の力を利用しようとする。

Memorial Words

▷クジャ

「悪くないよ……臭気をまきちらすネズミどもと、
あのみにくい象女さえ視界に入らなければ、だけどね」

―― トレノ:ブルメシアはどうだったかとオークショニアに尋ねられ

ブラネの面前ではかしこまっているが、裏では「象女」と陰口をたたく。美醜を重んじるクジャにとって、彼女は耐えがたい存在だった模様。

「ブラネ、生の執着者たるおまえの役目も終わりだ。
魂の牢獄で指をくわえて
第二幕を観劇するといい」

―― イーファの樹:ブラネに攻撃目標を定めながら

「魂の牢獄」とはテラの飛空艇インビンシブルのこと。クジャはこの船に召喚獣などの多くの魂を吸収させ、自身の力の糧として、主ガーランドに対抗しようとした。

「僕はキミを待っていたよ、アレクサンダー!!
キミを迎えに魔法の馬車を呼んでおいたよ。
気に入ってくれるとうれしいけどね……」

―― アレクサンドリア:アレクサンダーを見て歓喜し

1ヵ所に集めさせた宝珠の力でまんまとアレクサンダーを出現させ、“魔法の馬車”インビンシブルに吸わせようとするクジャ。だが、そのくわだては、彼の叛意に気づいたガーランドの介入で失敗する。

「キミたちのために用意した
スイートルームの居心地はいかがかな?」

―― デザートエンプレス:人質として残ったジタンの仲間たちに呼びかけ

「ジワジワと人をいたぶるのが大好き」と公言するほどのサディスト。ジタンとの約束を破り、その仲間を閉じこめた牢獄の床を開いて、彼らに“死のプレゼント”を届けようとする。

「……認めない。認めないよ……。
僕の存在を無視して
世界が存在するなどと……」

―― パンデモニウム:自分の命があとわずかと聞かされて動揺し

これまであざけってきた黒魔道士同様、自分も使用期限が定められた使い捨ての道具にすぎなかった――主を超える力を得るもつかの間、残酷な事実を知ったクジャの狂気と絶望は、世界を覆い、星全体に危機をもたらす。

「……ジタン、生きるんだ……」

―― エンディング:ジタンたちを安全な場所へ逃がしてつぶやき

すべてを失ってはじめて、生きることの意味を理解したクジャ。最後の力を振りしぼり、直前まで死闘を演じていたジタンたちを安全な場所へ逃がす。

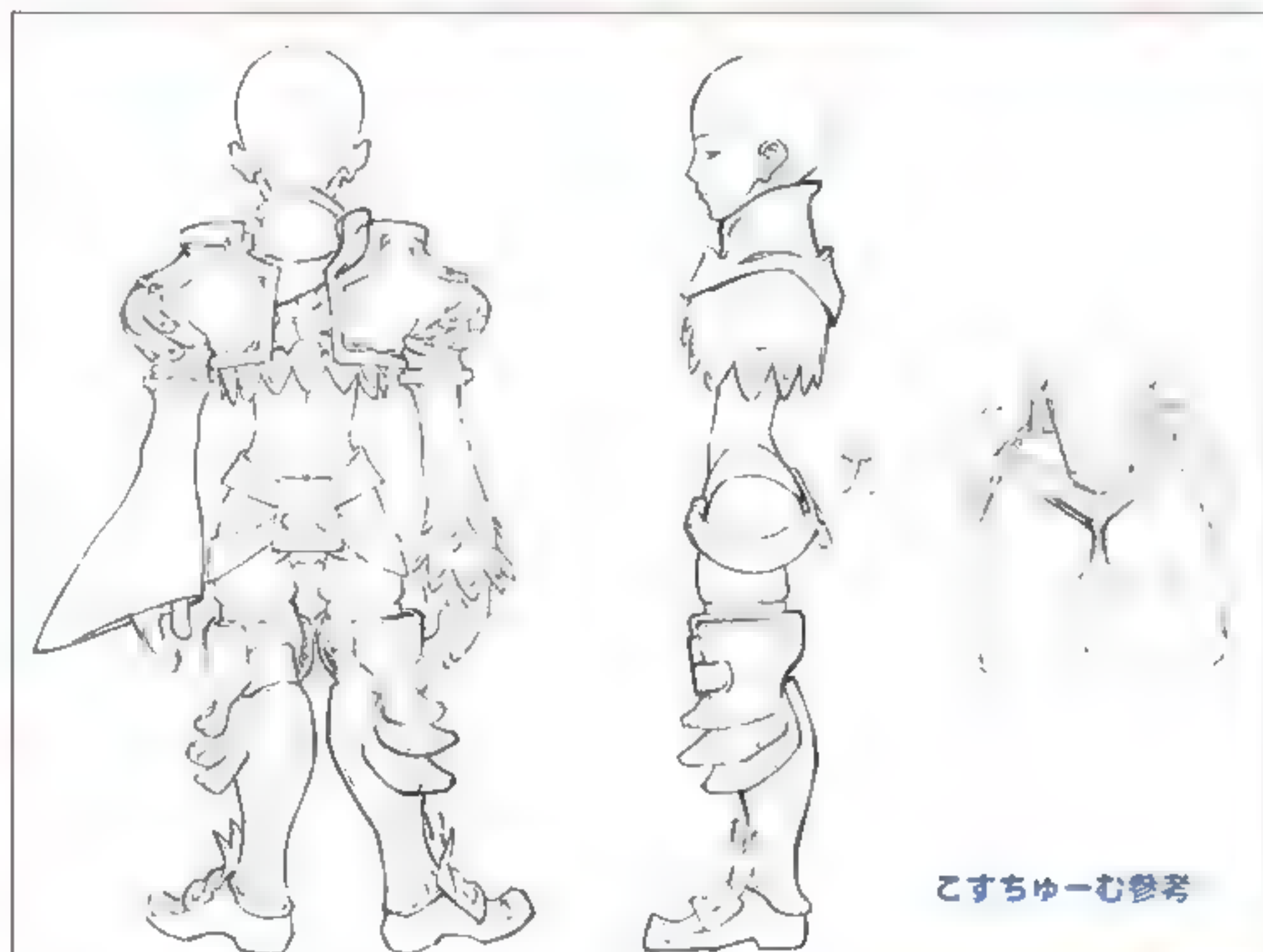
▶顔イラスト

▼全身画

▸トランス時の全身画

NEO KUJA

ジタンと同じくジェノムであるだけに、トランスすると、体毛に覆われた身体があらわに。己の素性を嫌ってふだんは隠しているシッポが現れ、毛髪も本来の色であろう赤毛に変わる。

▸トランス時の顔イラスト

こすちゅーむ参考

▸衣装のデザイン画

▸初期デザイン案

「トレノではキングという名の貴族として通っている」との設定があるためか、開発初期にはいかにも貴族然としたイラストも描かれた。大きな帽子をかぶっているなど決定稿とはまったくちがう雰囲気だが、長髪や、黒っぽい色を要所に用いたカラーリングに共通点が見られる。

▸表情集（CG）

Default

Memorial Scenes

▷クジャ

ジタンとの対面

ブラネの付き添いでブルメシアを訪れ、ベアトリクスにたたきのめされたジタンと対面。相手が10年以上昔に自分がガイアに捨てた憎きジェノムだと気づき、「問題はこの少年だな」とつぶやく。

おいで僕の小鳥

ダガーが好む古典芝居「君の小鳥になりたい」になぞらえて彼女を"小鳥"と呼びながら、召喚獣を抽出できるように魔法をかけて眠らせる。ロマンチックな美辞麗句は悪魔のささやきだ。

魂なき人形の作りかた

「造られた道具」としての同族嫌悪からか、黒魔道士たちにはことさら冷たいクジャ。イーファの樹にて、黒魔道士のひとりであるビビを前に、その"製造法"を皮肉たっぷりに語って怒りを誘う。

VSブラネ艦隊

すべての宝珠を手に収めたブラネは、大陸全土を征服すべく、今度はクジャに矛先を向けた。だが、クジャはブラネが使役するバハムートをインビンシブルで洗脳し、彼女を返り討ちにする。

僕が僕でなくなる前に

ガーランドの計画が発動すればジェノムたちはテラの民の魂の受け皿にされ、それはクジャも例外ではない。自分を保って生きるにはガーランドを排除せねば —— 切羽詰まったクジャは、エーコの召喚獣の抽出という強引な手段に出るが……？

トランス、そして暴走

インビンシブルが集めた魂の力でトランスし、ついにガーランドをしのぐ力を得るも、その時点でクジャの余命はあとわずかだった。取り乱したクジャは、すべてを道づれにすべくテラを破壊し、ガイアにも終焉をもたらそうとする。

最後は安らかに……

瀕死のクジャを助けに駆けつけたのはジタンだった。憎んでいた"弟"に看取られ、クジャはその憎悪に満ちた生を安らかに終える。

おもなサブキャラクター

バクー Baku

Personal Data
人間 / 男
44歳 / 1755年5月

タンタラスの頭領でジタンの育ての親。劇団という表の顔と盗賊団という裏の顔を使いわけ、今日までシド大公一門に協力してきた。ガーネットの誘拐も、彼女の保護を考えたシド9世に依頼されてのこと。豪快で気のいい親分で、「ヘブション！」とクシャミをするクセがある。

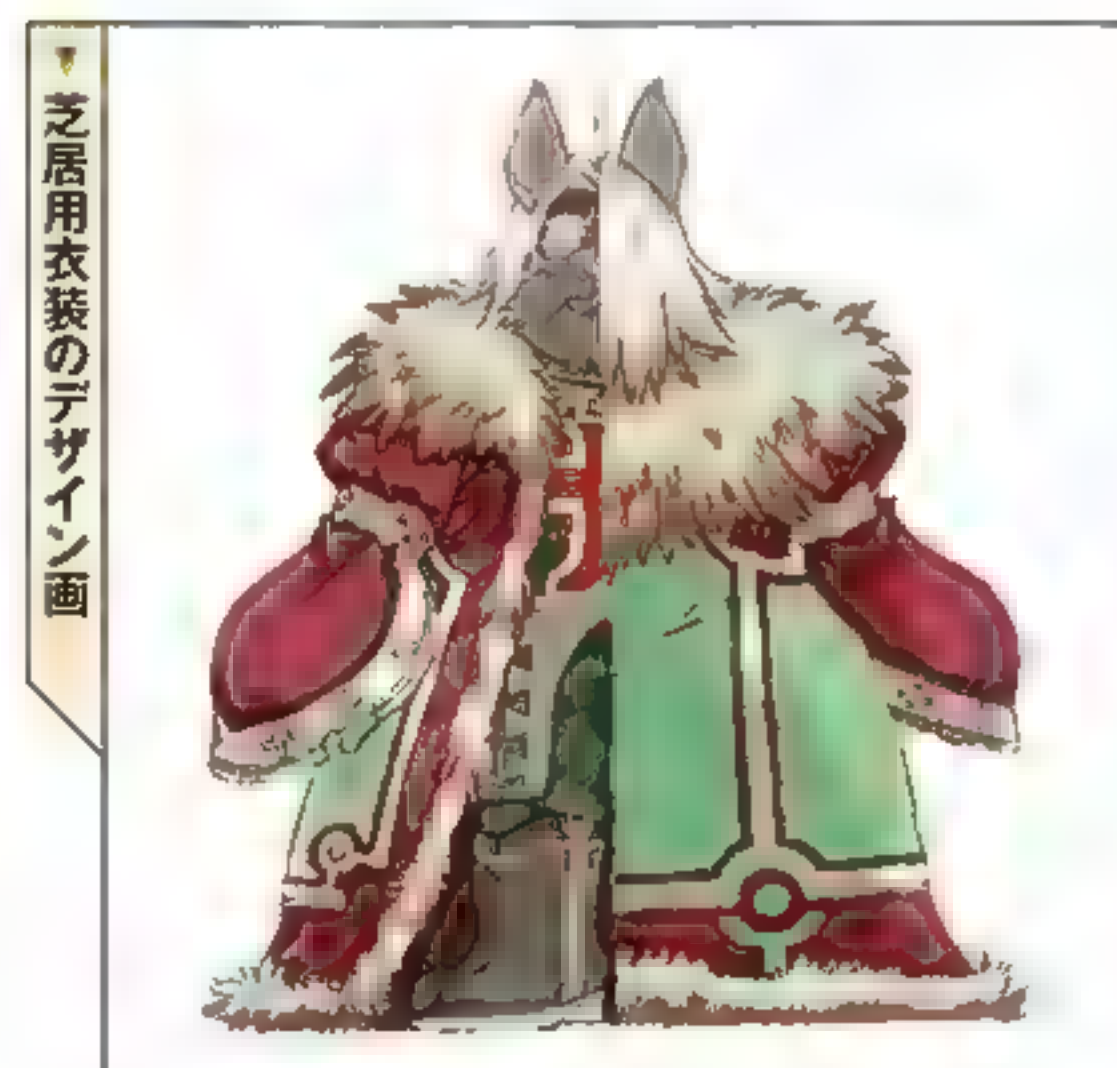
Memorial Words

「ボスの命令に逆らう者は……
スーパートルネード
タンタラスデコピンの刑!!」
―― 山頂の駅：道草を食っていたシナにお仕置きして

芝居用衣装のデザイン画

▶ 謎の仮面男のデザイン画

バクー仮面
アゴもカクカクと。
暗めの部屋用に色合いを合わせてあります。
頭の重心がフラフラするなどで、なるべくバカっぽく。

ゲーム開始直後に、ジタンたち団員の腕を試すべく仮面をかぶって襲ってきたときの姿。

ブランク Blank

Personal Data
人間 / 男

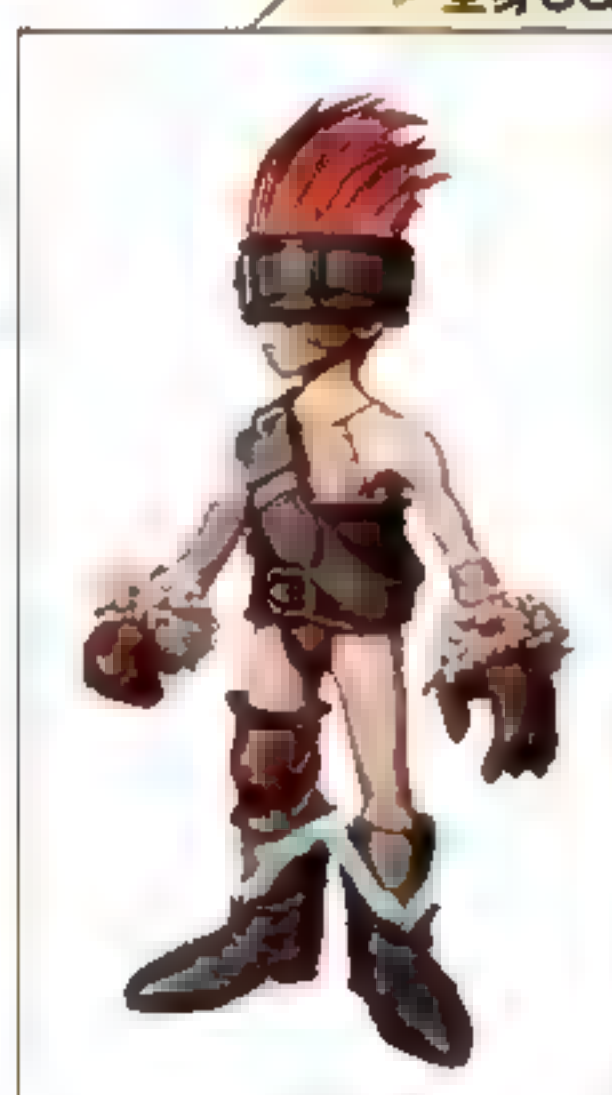
ジタンやマーカスの先輩にあたるタンタラスメンバー。無愛想だが意外とおせっかいな面があり、ジタンの世話を焼くことが多い。ジタンと組んでガーネットの誘拐を実行後、魔の森の石化に巻きこまれるが、のちにマーカスのおかげで復活を果たし、引きつづき一行に力を貸す。

デザイン画

ブランクの背中の剣・ディテール

Memorial Words

「この山を越えないと、
ヤツはだめなのさ……。
悩んで苦しんで、そして強い翼を作って、
高い山を越えないと
ヤツはだめなのさ……」
―― アレクサンドリア：ダガーとの恋に悩むジタンについてマーカスと話し合い

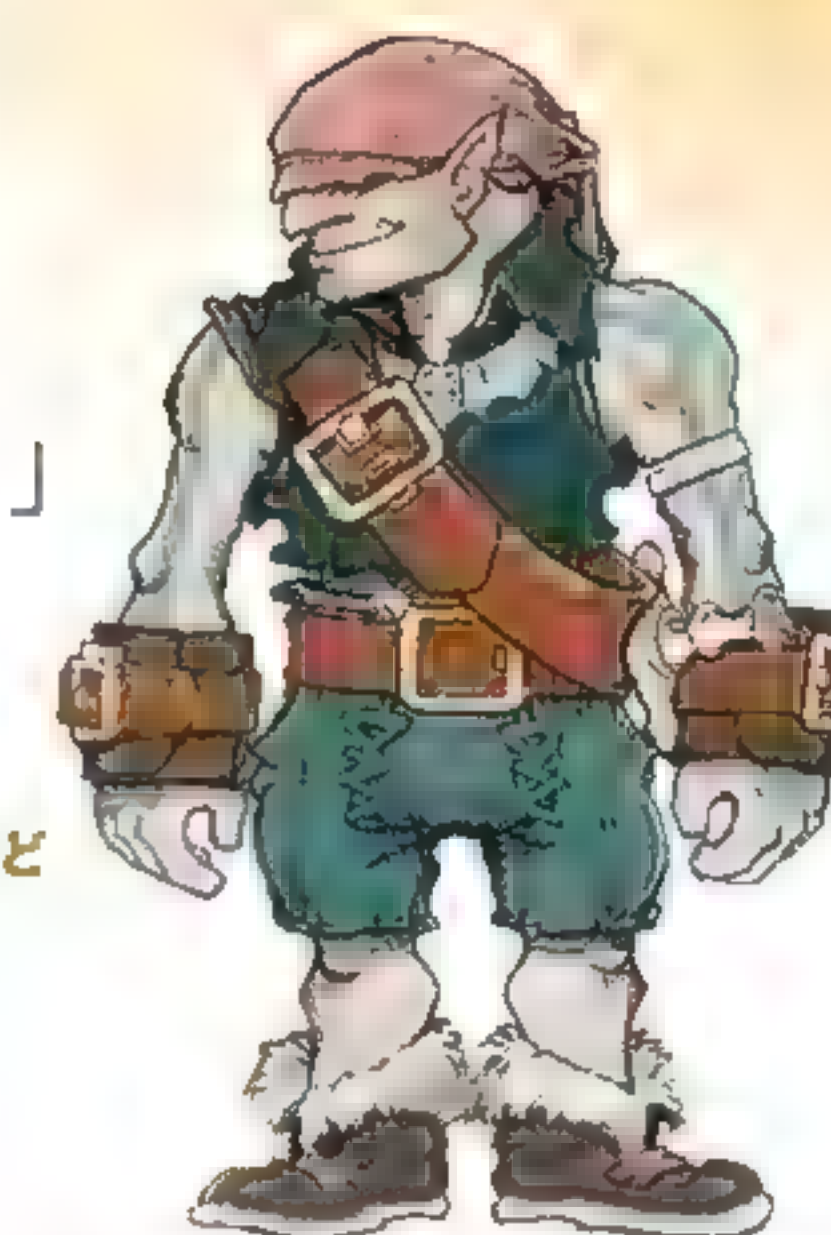
▶ 全身CG

マーカス Marcus

Personal Data
人間 / 男

タンタラスの一員。見かけによらずマジメで落ち着いた青年で、常識人であるがゆえ、会話ではツッコミ役にまわることが多い。ブランクを「兄キ」と慕っており、彼が石化したときは、もとにもどす手段を探して奔走する。語尾に「～っス」をつけるのがクセ。

Memorial Words

「兄キを助けられるのは
俺しかいないっス！」
―― トレノ：白金の針を盗む算段を確認し

「……トットっス」
―― トレノ：トットの名前を「ポッポ」「チッチ」などと言いまちがえるバクーの言葉を訂正して

シナ Cinna

Personal Data
人間 / 男

語尾に「～ずら」をつけるクセのある、劇場艇プリマビスタのエンジニア。美食家、人形好き、愛用のとんかちを手放さないなどこだわりの多い人物で、どんなときでも趣味を優先してマイペースをつらぬく。

Memorial Words

「そうと決まればもう一個
『まんまるカステラ』
食べるずら！」
―― 山頂の駅：特産品に夢中になったせいで鉄馬車に乗りそこねたのにケロリとして

ルビィ Ruby

Personal Data
人間 / 女

独特のなまり口調で話す、タンタラスの紅一点。気は強いが面倒見は良く、ジタンやブランクの尻をたたく場面も多い。タンタラスの仲間が王女を誘拐したあとはアレクサンドリア城下町に残され、小劇場の立ち上げを手伝うことに。

Memorial Words

「あんたちょっと
しつこすぎるんとちゃうのんっ!!」
―― 劇場艇プリマビスタ：作戦会議中にボケつづけるジタンにツッコミを入れて

ゼネロ&ベネロ&…… Zenero&Benero&……

Personal Data
人間 / 男（&女）

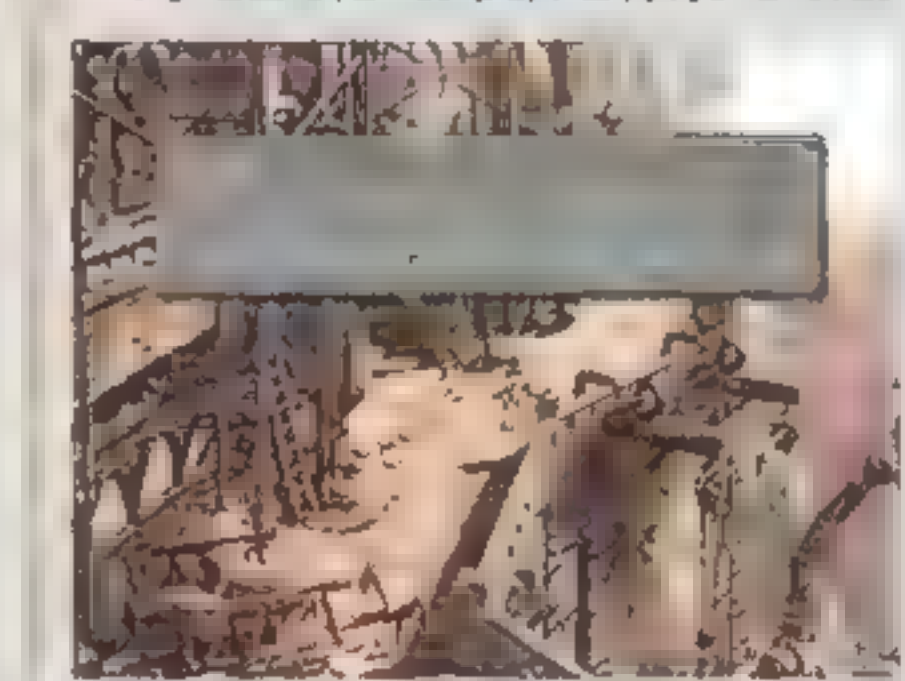
ウシのような姿にハサミのような手を持ち、「～でよ」となまった口調で話すタンタラスのメンバー。シナの紹介でタンタラスに加入した。姿も口調もそっくりな兄弟がたくさんいる。

Memorial Words

「久しぶりでよ！」
―― アレクサンドリア：ゼネロ、ベネロ、ゲネロの3人で兄弟の再会を喜び合い

Memorial Scene

全部で何人兄弟？

ゼネロとベネロには弟妹が大勢いる。物語終盤のイベントでは、ゲネロ、デネロ、ベネロ、ベネ子、ゼネ子、ゲネ子、デネ子、ベネ子を含めた10人兄妹と判明するのだ。

ブラネ
（ブラネ・ラザ・アレクサンドロス16世）
Brahne Raza Alexandros 16th

Personal Data

人間　女
39歳　1760年10月

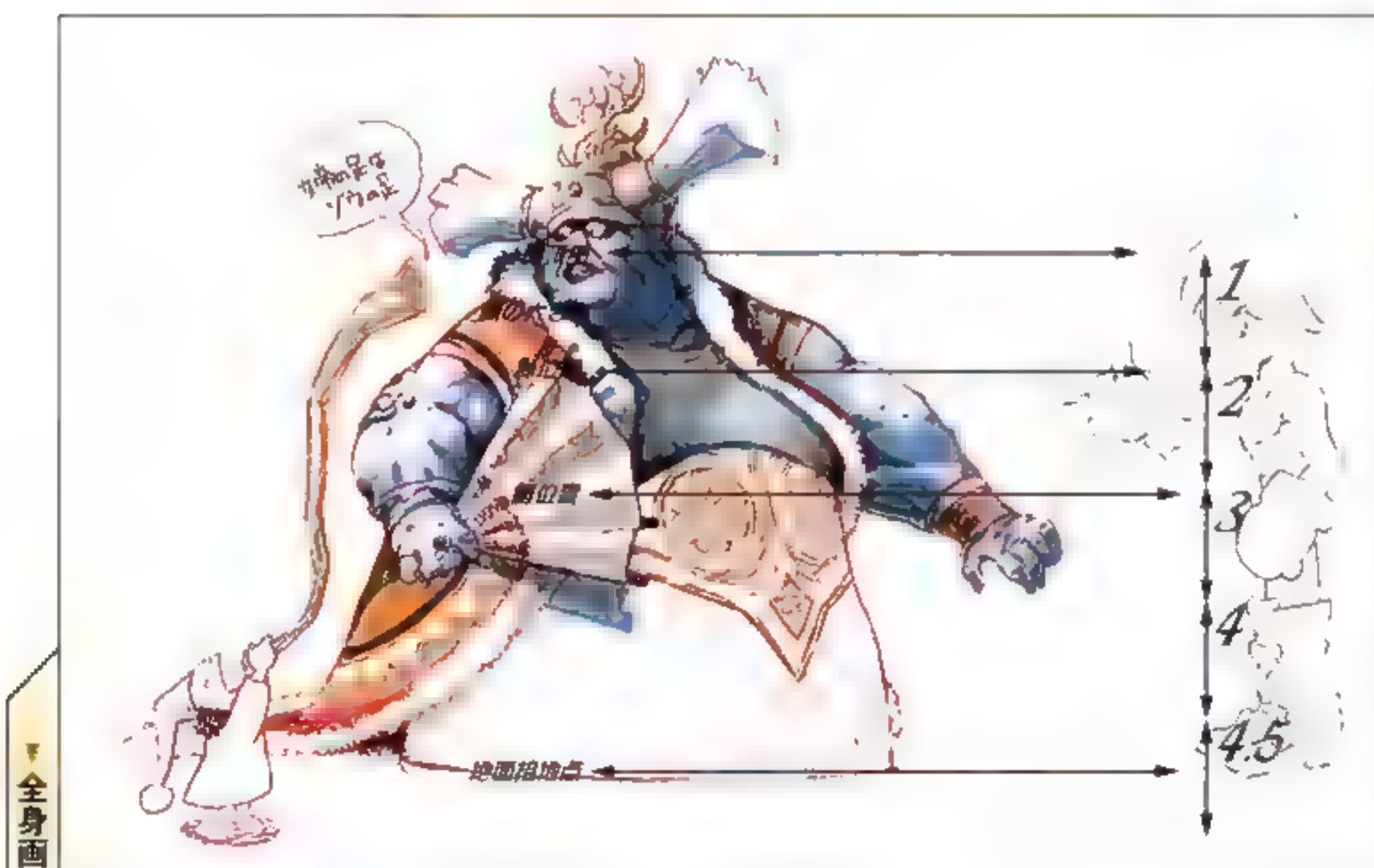
アレクサンドリア王国第16代女王。9年前、失ったばかりの娘のかわりとして育てようと、都に漂着したガーネットを引き取った。短気ながらも賢明な君主として民の信望は厚かったが、最愛の夫を失った心の空白をクジャにつけこまれ、1年前から豹変。彼の入れ知恵で黒魔道士軍団を組織して他国の宝珠を奪い、娘の命すらかえりみず、召喚獣の力を独占しようとする。

Memorial Words

「あのいまいましいサルか！」
—— アレクサンドリア城：ジタンに腹を立て

「私は……思うとおりに……生きた……。
……だから……おまえも……
おまえの……思う……とおり……に……
生き……なさい……」
—— イーファの樹：亡くなる直前にガーネットに言い遺して

表情集（CG）

全身画

ベアトリクス
Beatrix

Personal Data

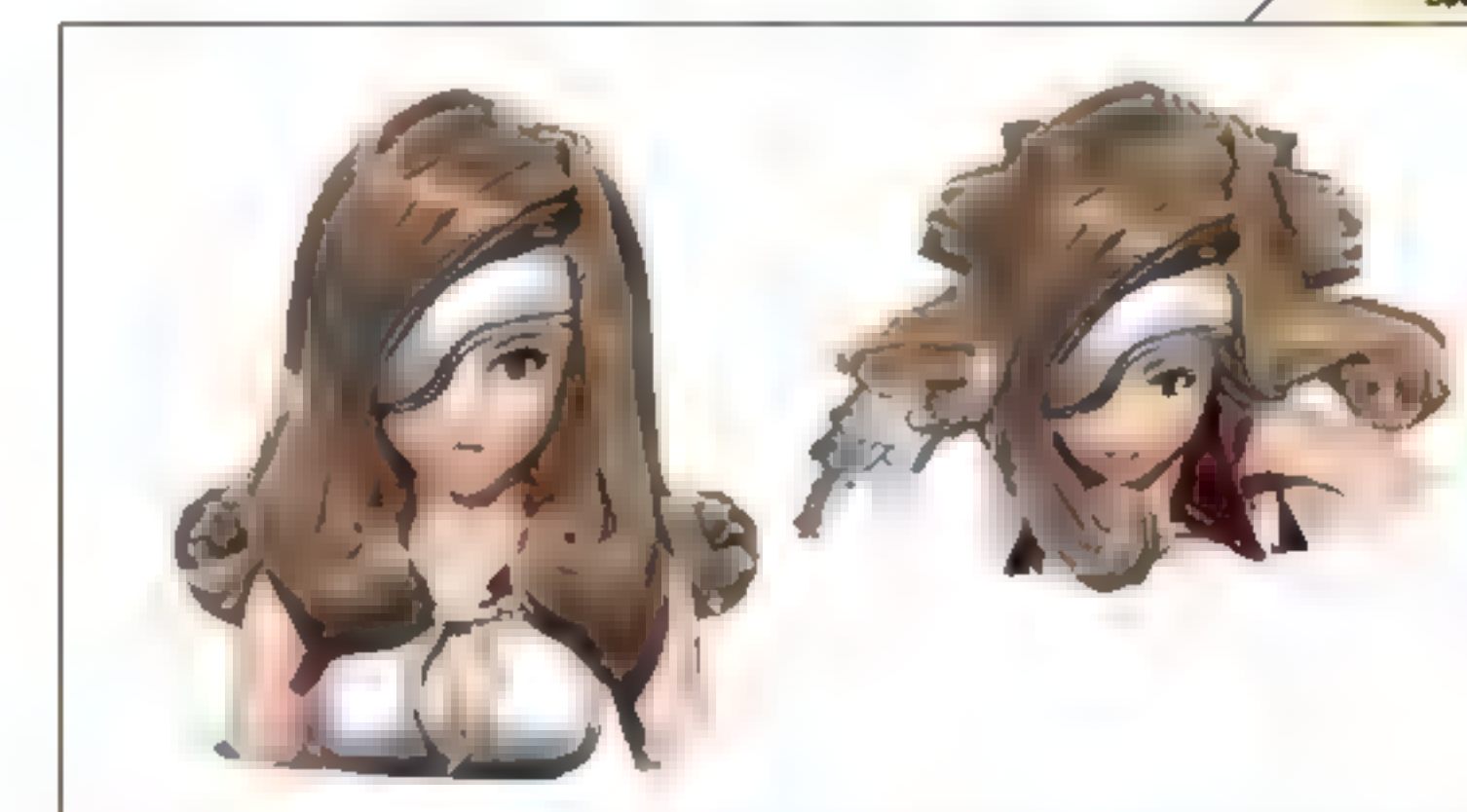
人間　女
28歳　1772年4月

霧の大陸最強の呼び声も高い、アレクサンドリア王家直属の聖騎士。「泣く子も黙る冷血女」と非難されつつも、将軍として他国の制圧を進めるが、ブラネのガーネットに対する無慈悲な仕打ちを見て己のあやまちを悟り、反旗をひるがえした。ガーネットの女王即位後は、彼女のために尽力する。

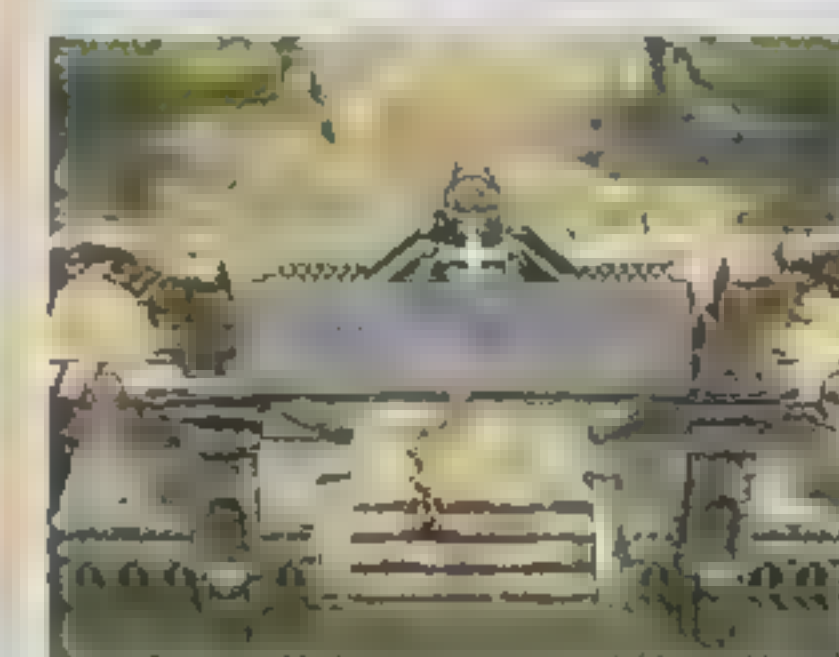
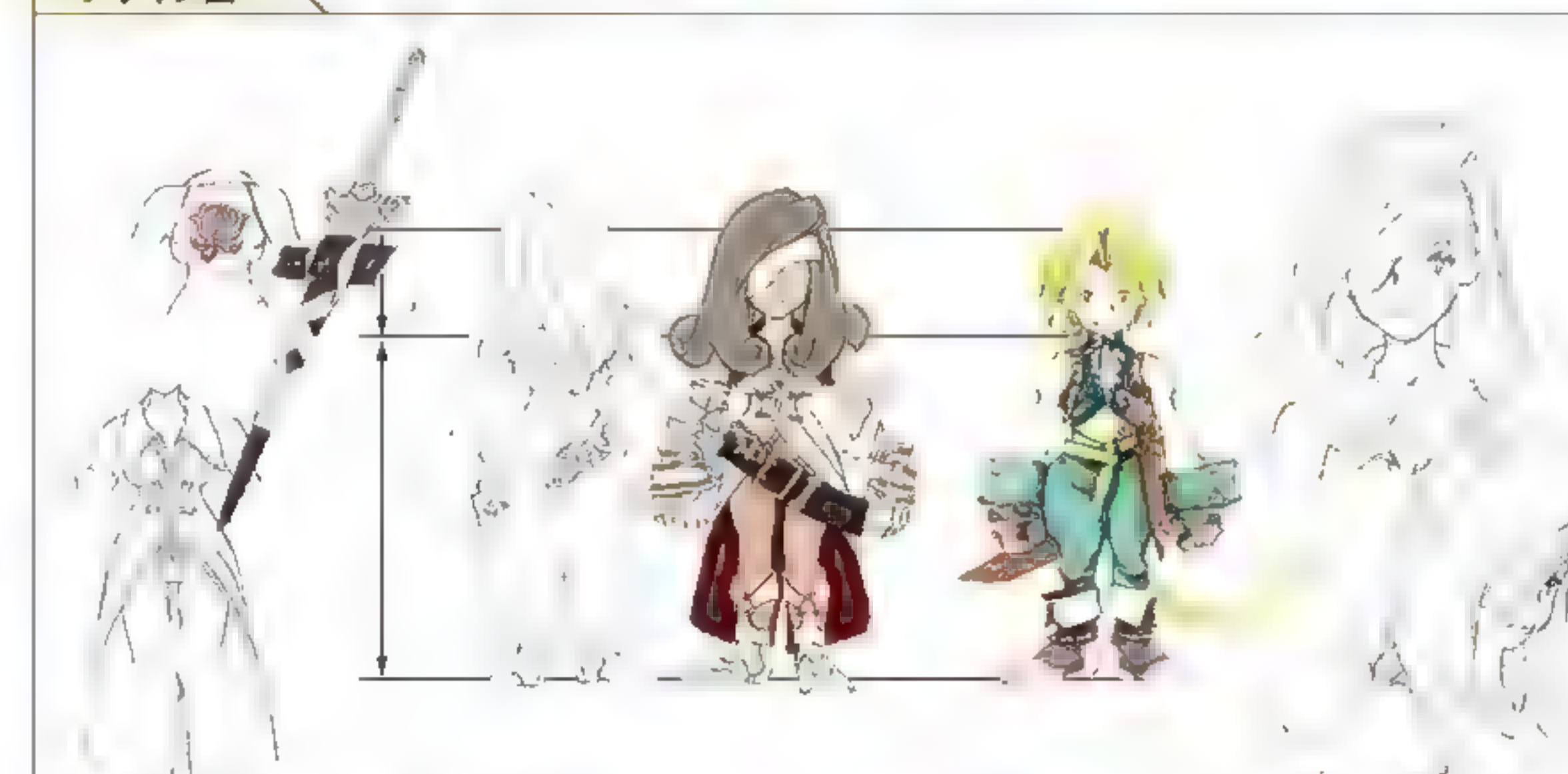
Memorial Words

「おのれの浅はかさを
悔いるのです……」
—— ブルメシア：ジタンたちを打ち負かして

「私は、このようなことのために
技を磨いてきたわけでは
なかったはずなのに……」
—— レッドローズ：ブラネの非情な命令に従うことに疑問を抱き

顔CG

Memorial Scene

恋のはじまりはカンちがいから

ベアトリクスにとってスタイナーはただ一度敗北を喫した相手であり、双方ともに対抗意識を燃やしていた。だが、エーコのラブレターを互いが互いに宛てたものだとカンちがいして以来、ふたりは意識し合うようになり、エンディングで想いを通わせる。

デザイン画

ゾーン&ソーン
Zorn&Thorn

Personal Data

	たぶん人間		男
	88歳		1711年7月

弱きをくじき強きにへつらう、双子の老魔法使い。肩書きはアレクサンドリア王国の宮廷道化師だが、ブラネ直々の命を受けて、黒魔道士の製造などの指揮をとる。ゾーンは「おじゃる」、ソーンは「ごじゃる」がログセ。

Memorial Words

ゾーン「大変でおじゃるよ！」
ソーン「大変でごじゃるよ！」
――アレクサンドリア城：行方不明のガーネットを捜して

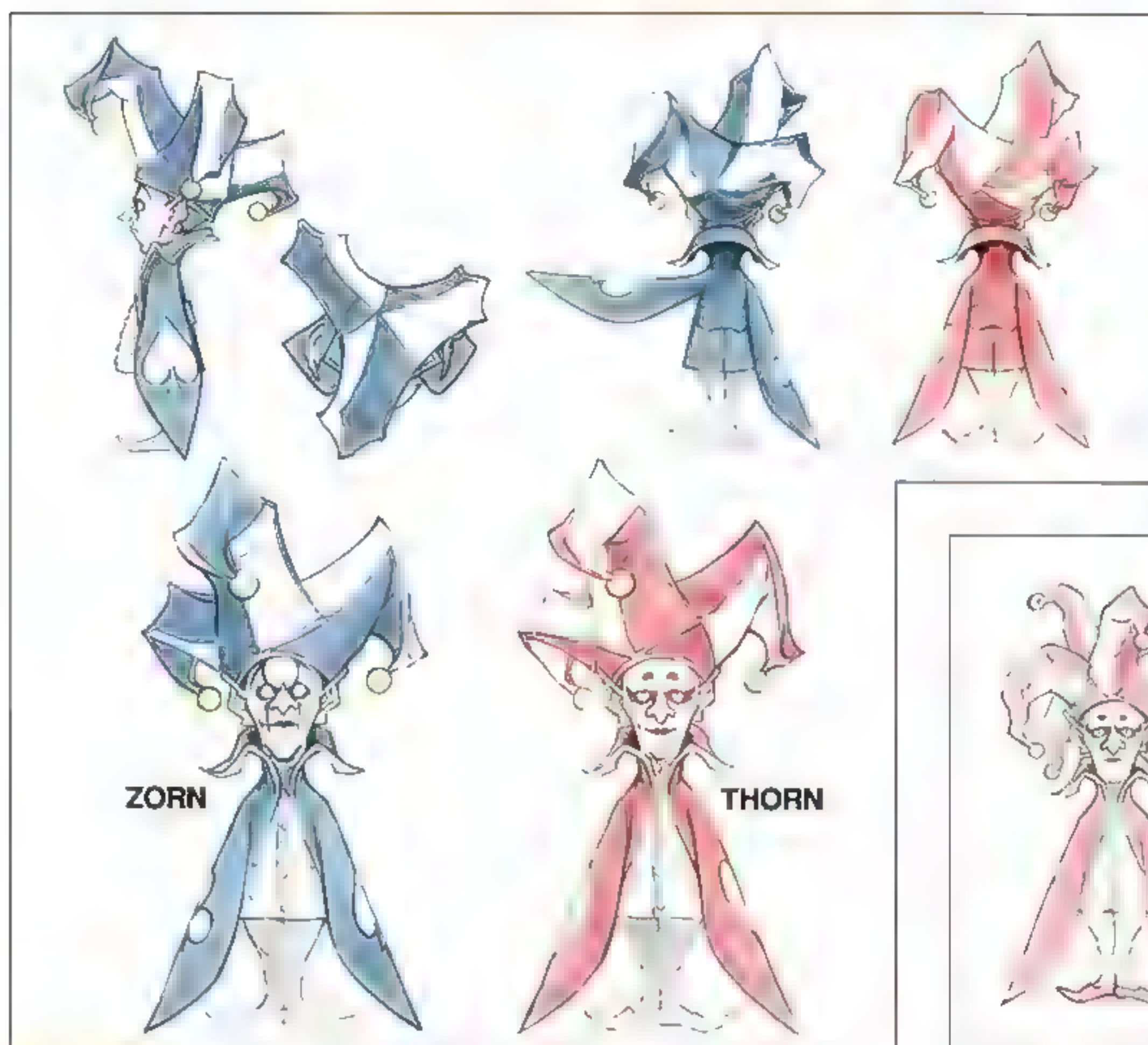
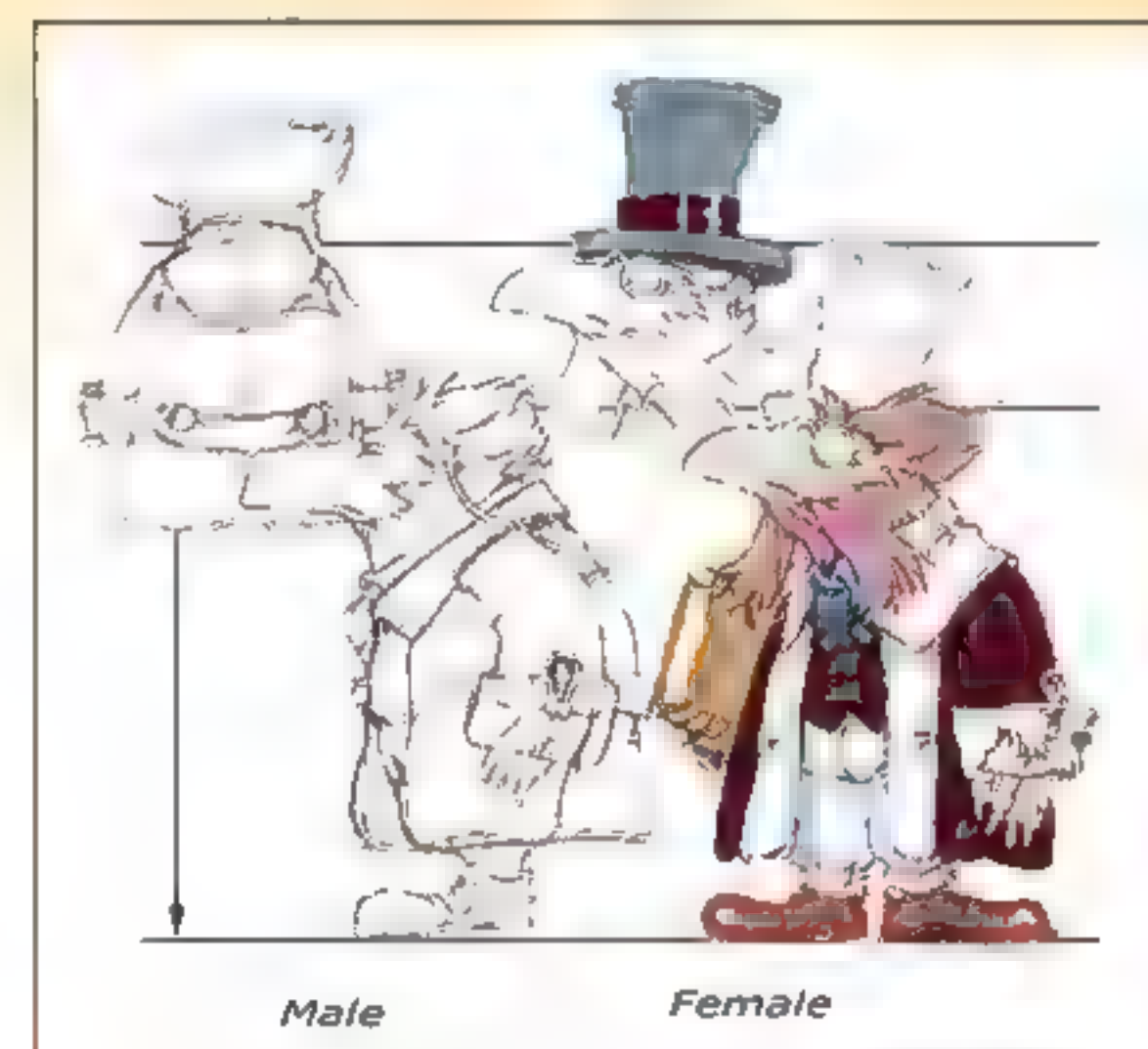
ZORN
THORN

▸ 全身画

▸ 初期デザイン

▸ 表情集

ZORN
Thorn

Male　Female

デザイン画

トット
Tot

Personal Data

	人間		男
	52歳		1747年8月

ガーネットの元家庭教師。1年前にブラネの不興を買って王宮仕えを辞め、現在はトレノで貴族の援助を受けながらガイアの研究を行なっている。物静かで温厚な学者だが、いったん思索のスイッチが入ると周囲が見えなくなってしまうのが難点。バクーに「ピッピ」「チッチ」などと名前をまちがえられるひと幕も。

Memorial Words

「今でもこの老いぼれは、
姫さまの味方でございます」
――トレノ：再会したガーネットに協力を約束して

ラニ
Lani

Personal Data

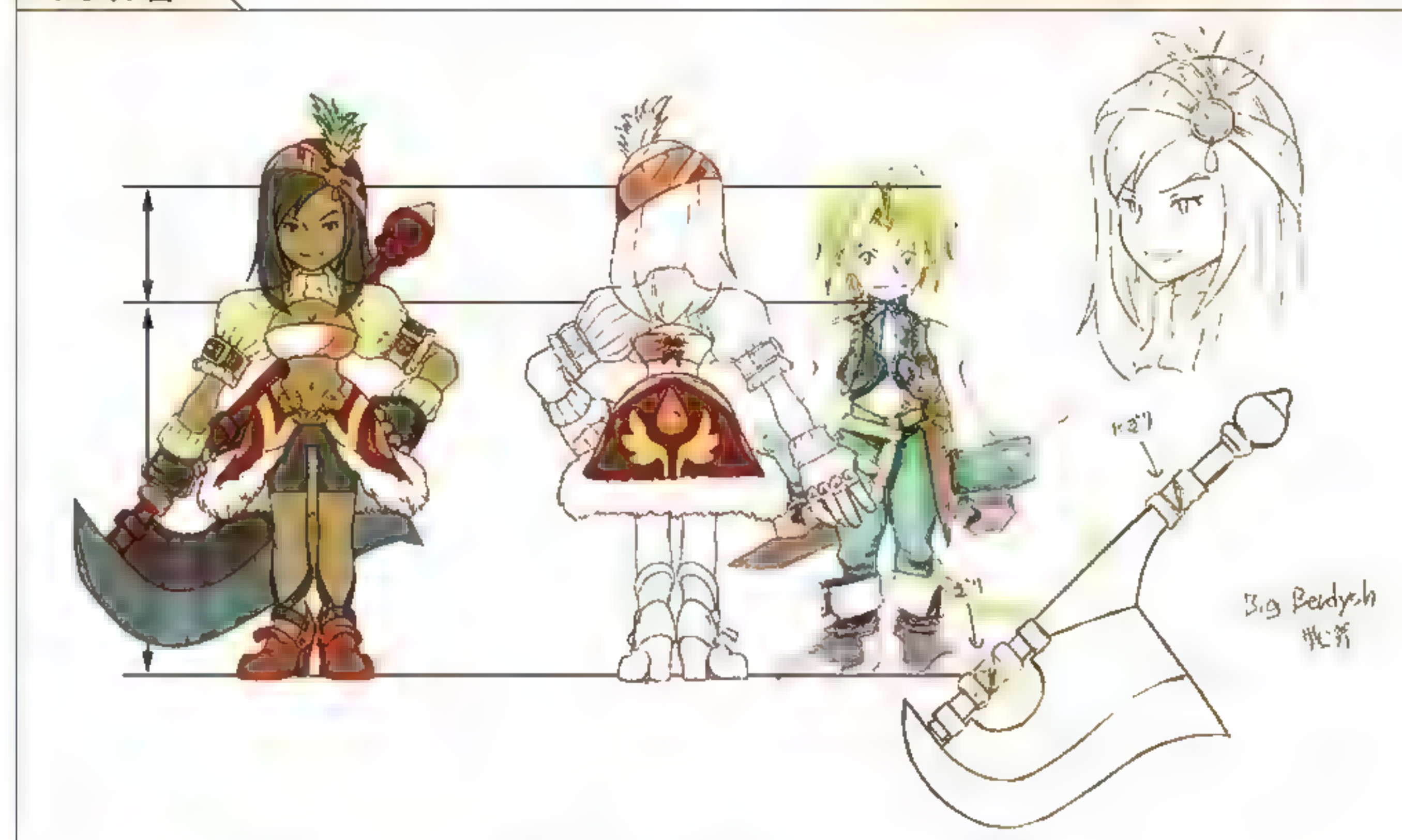
	人間		女
	19歳		

「美の狩人」を自称する、19歳のグラマーな賞金かせぎ。ガーネットのペンダントの奪還をブラネに命じられ、一緒に任務を受けたサラマンダーを出し抜こうとして独断行動に走る。貴族のような暮らしをするのが夢で、上品ぶってはいるが、プライドが高くてキレやすい。

Memorial Words

「私に狙われて逃げられた人はいないのよ。
覚えておきな、この美の狩人ラニの名を！」
――アレクサンドリア城：兵士に注意されて腹を立て

▸ デザイン画

Big Beidysh

▸ デザイン画

体型、身長はダガーと同じで。

ジェーン

ガーネットの実母。10年前にマダイン・サリが襲われたさい、夫の意向で6歳の娘とともに小舟で脱出し、アレクサンドリアに漂着したときはすでにこと切れていた。作中ではガーネットの夢などで姿を見せる。

シド
(シド・ファブール9世)
Cid Fabool 9th

Personal Data

人間　男
35歳
1764年9月

リンドブルム公国を治める大公。発明家でもあり、蒸気機関式飛空艇を開発している。ブラネの亡き夫の親友で、ガーネットの事情にもくわしく、その"誘拐"をタンタラスに依頼した。浮気の罰として妻の手でブリ虫に変えられており、のちにカエルにも変身するが、トレードマークの口ヒゲだけは変わらない。

Memorial Words

「ワシはこの国の君主としてではなく、
おじさまとして姫に力をかすブリょ」
——リンドブルム巨大城：ガーネットに協力を約束して

「ついに人の姿に戻ったケロ！
これで3号機の建造に本格的に
着手できるブリ！」
——リンドブルム巨大城：人間にもどっても変身時の口調が残り

側面&背面

表情集

初期デザイン

シドブリ虫

シドカエル

カエルの方もマントは
このライン程の長さにして下さい。

ブリ虫時&カエル時のデザイン画

ヒルダ
(ヒルダガルデ・ファブール)
Hildagarde Fabool

Personal Data

人間　女
27歳

若くて美しい、シド大公のお妃様。シドの開発した新型飛空艇には彼女の名がつけられている。物語がはじまる少し前、浮気した夫に腹を立てて得意の魔法で彼をブリ虫に変え、新型飛空艇で家出した。その後、飛空艇を欲するクジャに捕らわれていたところを、ジタンたちに助けられる。

Memorial Words

「今度浮気しようとした時は、
ブリ虫じゃ済ませませんからね！」
——リンドブルム巨大城：夫をもとにもどす前に警告して

Memorial Scene

発明家大公の奥様は魔女

ふだんは温厚だが、怒ると怖いヒルダ。夫のシドが城下町の酒場の女の子をナンパしていたと知ると激怒して、彼を、この世界の嫌われものであるブリ虫に変えてしまう。のちに機嫌を直し、紆余曲折を経てカエルになっていた夫をキスの魔法でもとにもどすが、まだ根に持っているフシも……。

顔イラスト

側面&背面

文臣オルベルタ
Minister Artania

Personal Data

人間　男
51歳

先代シド8世の代からリンドブルム巨大城に務めている忠臣。有能な人物で、発明家としても忙しい大公シドにかわって国政をまかされることも多い。アレクサンドリア軍にリンドブルムが襲撃されたのちは、復興作業の指揮をとる。

Memorial Words

「大公殿下がお待ちかねです」
——リンドブルム巨大城：ガーネットを案内して

「一日も早く
民の暮らしを取り戻すのだ」
——リンドブルム：城下町の復興作業を指揮しながら

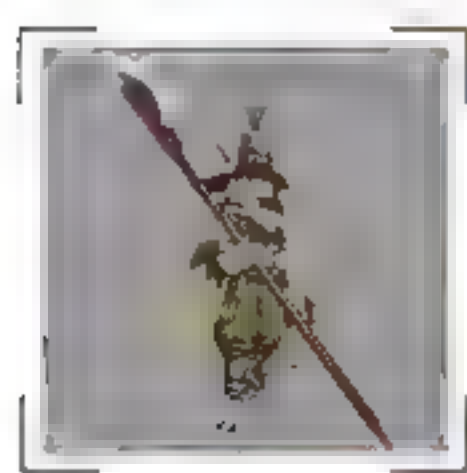
背面

▸背面

ブルメシア王
King of Burmecia

Personal Data
ネズミ族(ブルメシアの民)　男
49歳

鎖国的な政策で武力を増強してきた、ネズミ族の国ブルメシアの王。気性が激しく厳格な人物だが、ひとり息子のパックには甘い。アレクサンドリア軍の襲撃を受け、生き残った民とともに、同胞の国クレイラに身を寄せる。

Memorial Words
「これ、待たぬかパック！
久しぶりに会ったと申すに！」
——クレイラの街：5年ぶりに再会した息子が立ち去ろうとするのを見て

フラットレイ
Fratley

Personal Data
ネズミ族(ブルメシアの民)　男
25歳

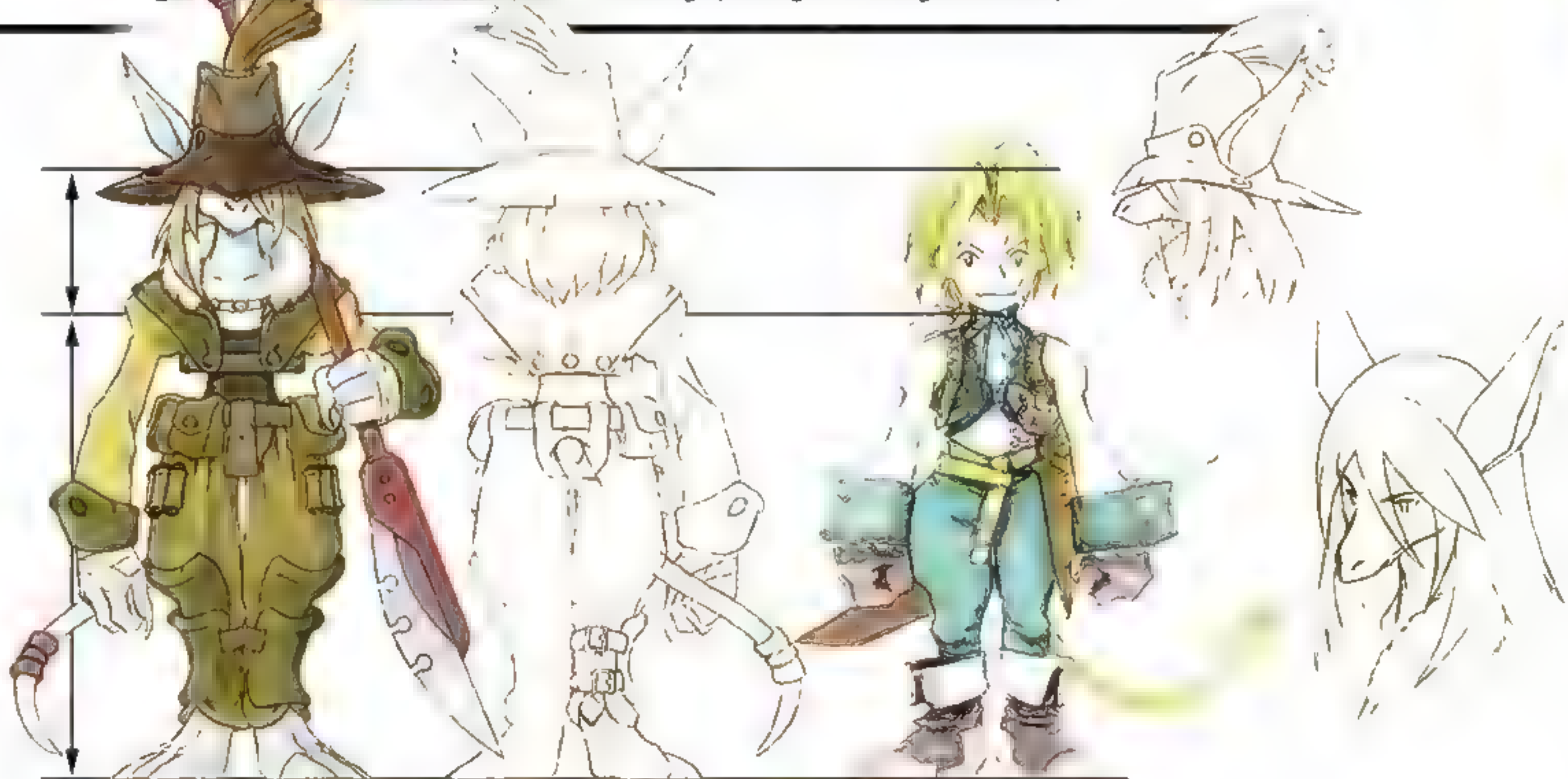
フライヤの恋人。一騎当千とされるブルメシアの竜騎士のなかでも最強とうたわれていた。6年前、祖国のためにも他国の剣士と競って腕を磨かねばと考え、王の制止を振り切り流浪の旅へ。道中で記憶喪失となったものの、クレイラの危機を知ると、運命に導かれるようにして救援に駆けつける。

Memorial Words
「竜騎士……。
そう、私は竜騎士だった……。
だが、今はそれ以上のことを思い出せぬ……」
——クレイラの街：フライヤたちを前にして苦悩し

「想い出など、また作り直せばいい……」
——エンディング：祖国の復興作業中にフライヤと語らい

Memorial Scene
再会してもわからずに……

クレイラの危機に馳せ参じ、恋人フライヤやブルメシア王と再会したフラットレイだが、恋人のことを含め祖国に関するすべての記憶を失っていた。混乱する頭を抱えて彼はその場を去り、直後、クレイラは真の危機を迎えることに……。

NPC Character　Fratley(Freija's boyfriend)

▸全身画&顔イラスト

パック
Puck

Personal Data
ネズミ族(ブルメシアの民)　男
14歳

ビビにとって生まれてはじめての友だちとなる、14歳のネズミ族の少年。ブルメシアの王子ながら自国の閉鎖性に疑問を抱き、5年前からひとりで各地を旅している。少々生意気で口は悪いものの、頭の回転が速く行動的。

Memorial Words
「俺の家来になれば、
今日の芝居を見せてやる！
家来になるか!?」
——アレクサンドリア：街で出会ったビビを「家来」に誘い

クエール
(クイナ・クエール)
Quina Quale

Personal Data
ク族　不明

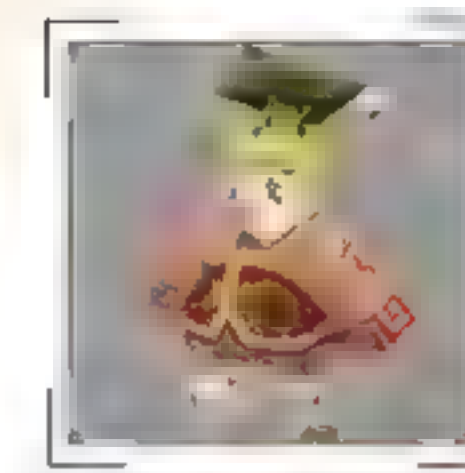
クイナの師匠でクワンの弟子。クイナに食の見聞を広めさせるべく、ジタンの旅のおともとして、霧の大陸にあるク族の沼から送り出す。「食即是空」の理が理解できずに師と袂を分かった過去があり、いまもわだかまりを抱えている。

Memorial Words
「アイヤ〜。ここのカエルだけで満足してるとは、
おまえはまだまだ食の道は遠いアルね」
——ク族の沼：地元のカエルが一番だと言うクイナをさとし

▸全身画

クイナの師匠

クイナの師匠の師匠

身体のサイズはみんないっしょ。

クワン
(クイナ・クワン)
Quina Quan

Personal Data
ク族　不明

ビビが「おじいちゃん」と慕っていた高齢のク族。弟子のクエールに離反され、トレノ近郊の祠で暮らしているときにビビを拾い、多くのことを教えた。「食即是空」の悟りを開き、絶食の果てに世を去ったが、その思念はいまもこの世にとどまっている。

Memorial Words
「ビビ！　ワタシは食せずして食す
究極の食を悟ったアルよ!!」
——ビビの回想：食即是空の理を得たとビビに伝えて

Memorial Scene
食の道は生の道に通ず

クワンは、無垢なビビに世界のことを教えるうちに、生きるうえでも食の道でも想像力が重要だと気づき「食即是空」の理を悟った。物語終盤にクワン洞を訪れると、彼の残留思念が、想像力の重要性を、弟子のクエールとその弟子のクイナに語ってくれる。

▸全身画

▸背面&側面

黒のワルツ1号

▸ Personal Data
黒魔道士

ガーネット奪還任務を負った強化型黒魔道士「黒のワルツ」シリーズの第1号。吹雪を起こしたり、手にした鈴で氷の巨人シリオンを召喚したりできる。氷の洞窟にて、ガーネットを眠らせて連れ帰ろうとし、ジタンと戦う。

Memorial **Words**

「そのまま眠っていれば
苦しまずに済んだものを……」
――氷の洞窟：ただひとり目覚めたジタンに向かって

黒のワルツ2号

▸ Personal Data
黒魔道士

1号の敗北を受け、ガーネットを連れもどすためのさらなる刺客としてダリの村へつかわされた黒のワルツ。背に生えた黒い翼で飛翔することができ、1号を凌駕する能力の持ち主だと自負している。

Memorial **Words**

「我が名は黒のワルツ2号！
すべての能力が1号の上をゆく。
抵抗など、考えるだけムダだ！」
――ダリの村：ジタンたちと対峙して

▸背面&側面

黒のワルツ3号

▸ Personal Data
黒魔道士

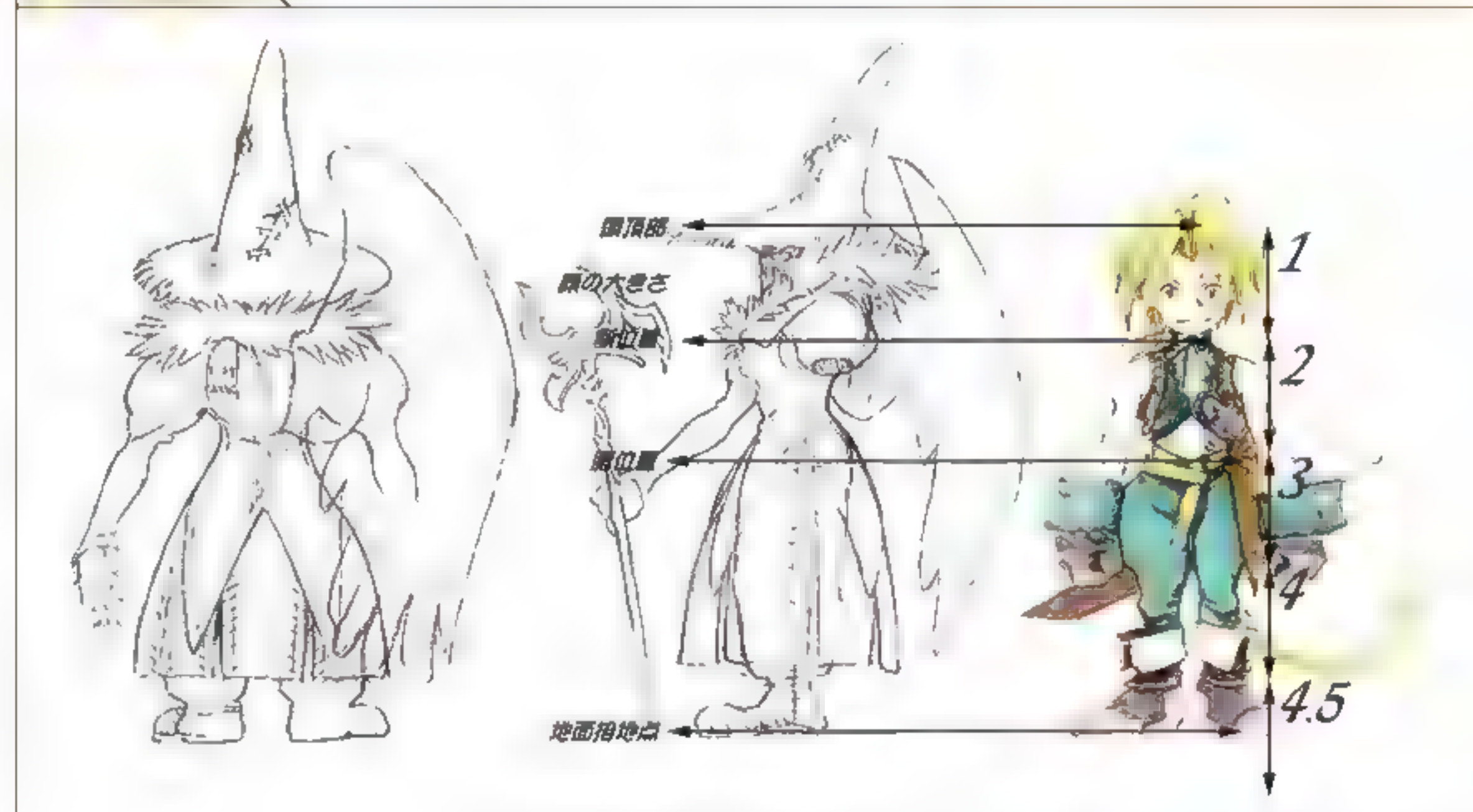
翼がより発達し、強力な魔法を使う黒のワルツ。ガーネットを奪還すべく、カーゴシップを襲撃した。ジタンたちに敗れると暴走し、乗っていた小型艇ごと、リンドブルムへのゲートに衝突。その後は闘争本能のみが残り、壊れた身体を引きずって、鉄馬車に乗ったガーネットたちの前に現れる。

Memorial **Words**

「おのれ！
黒魔道士兵ふぜいがっ!!」
――カーゴシップ：ビビを守る黒魔道士たちに怒って

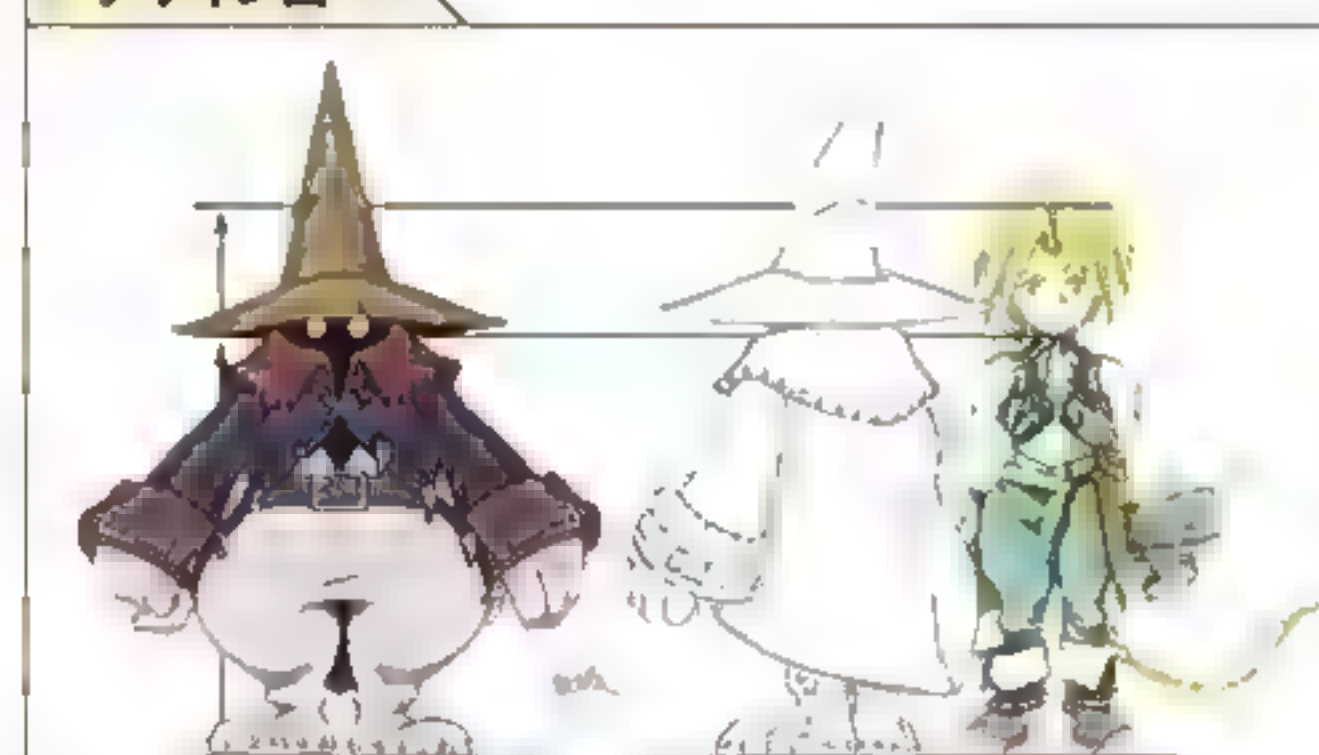
「我の存在理由ハ
勝ち続けルことのみ!!!」
――カーゴシップ：異常をきたしたままジタンたちに追いすがり

▸背面&側面

手負いのブラックワルツ

▸再登場時のデザイン画

黒魔道士兵

Black Mages

▸ Personal Data
黒魔道士

クジャの情報をもとにして、アレクサンドリア軍が"霧"から造った人型兵器。意志なき道具のはずだが、一部の者は自我に目覚め、外側の大陸に隠れ住むようになった。製造順に番号が振られており、1～99番、100番台、200番台で姿が異なる。

Memorial **Words**

「キル！」
――各地：敵対者を攻撃して

288号「君は、わかっているようだ……。
生きるって言葉、そして、死ぬって言葉」
――黒魔道士の村：夜中にビビと語り合い

▸デザイン画

ガーランド
Garland

Personal Data
ジェノム　男

5000年以上ものあいだテラを管理してきたジェノムの老人。ジタンやクジャといった、現存するジェノムたちを生み出した。ガイア侵略を望むテラの民の意志に従い、クジャに指図しガイアに戦乱を起こして召喚獣の力を奪わせたが、謀叛の色を見せた彼の切り捨てを図り、返り討ちに遭う。

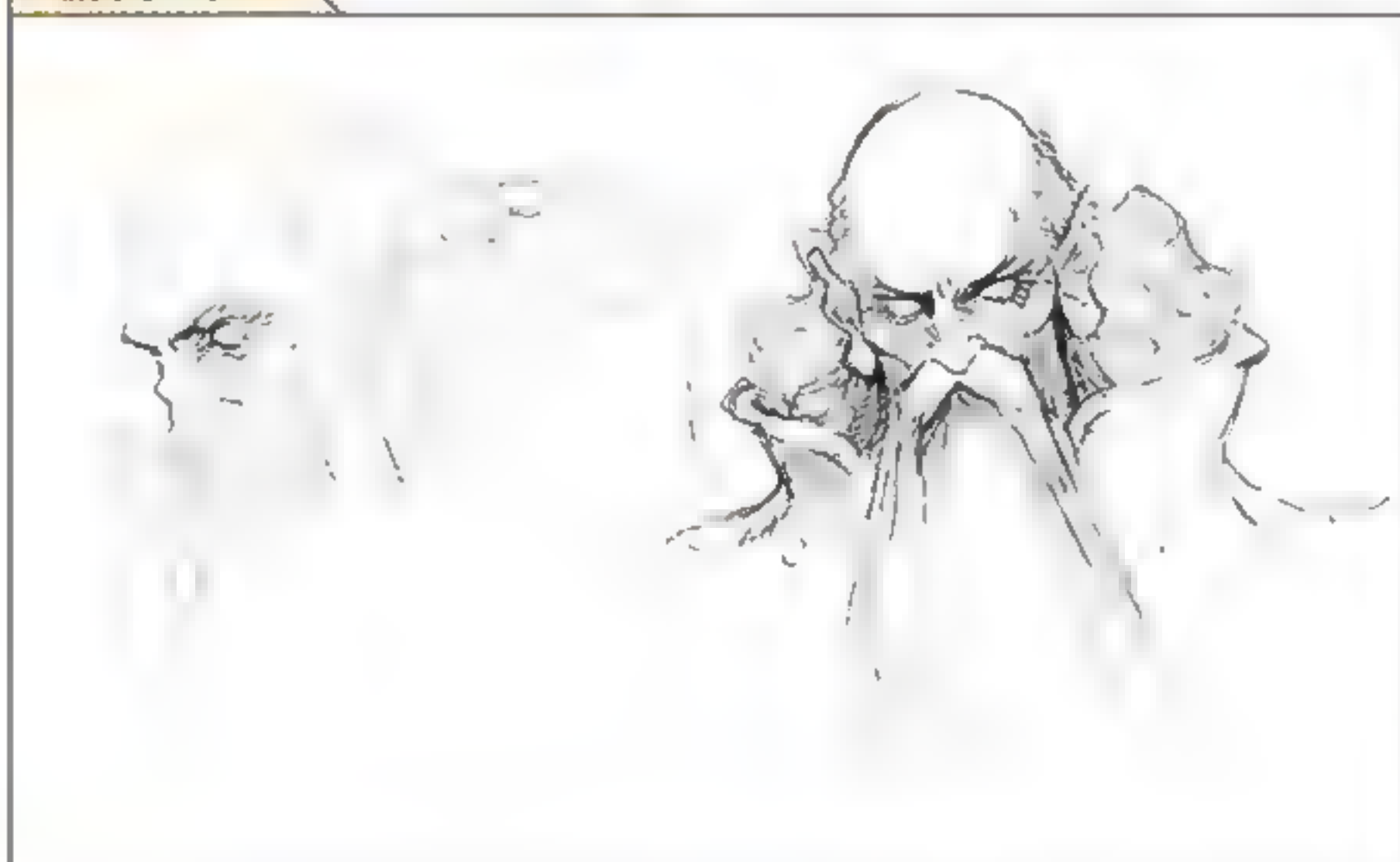
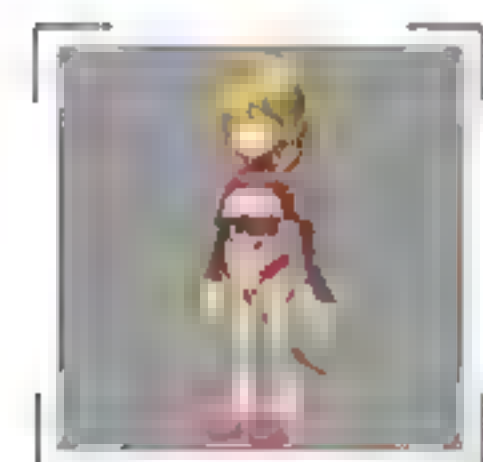
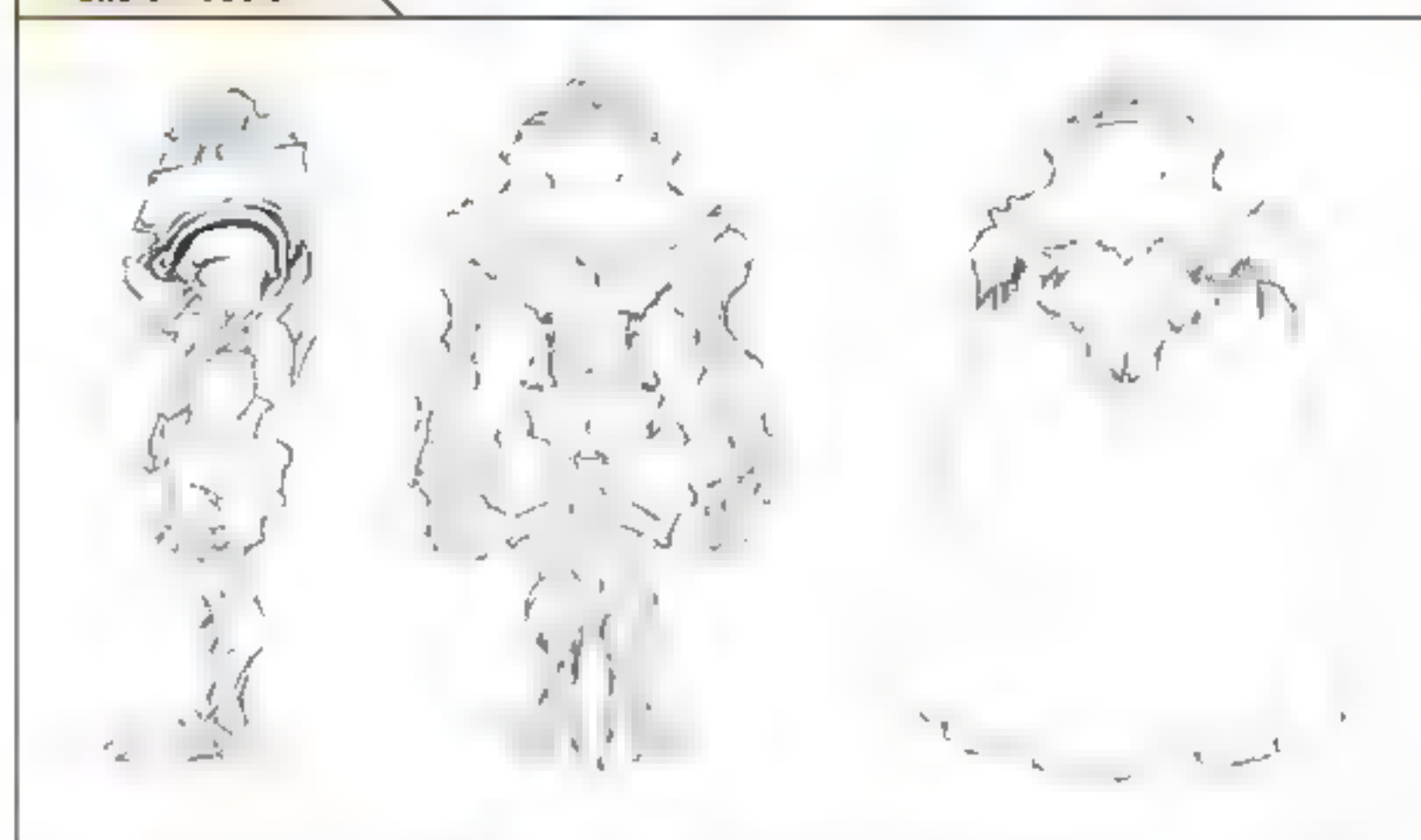
Memorial Words

「生も死も越えたこの世界で
時を刻むこと、
それが私の意味であり望みだ……。
絶対的な存在である
『管理者』としてな！」

——パンデモニウム：ジタンたちと対峙して

全身画

側面&背面

顔イラスト

ミコト
Mikoto

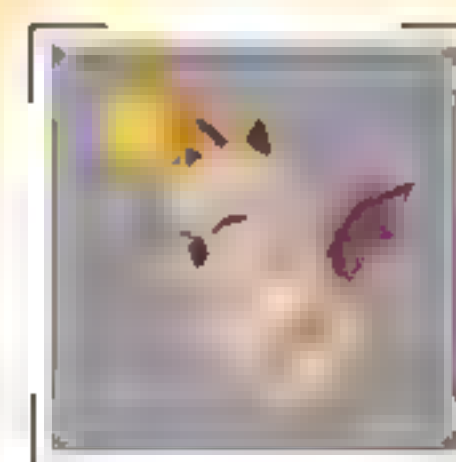
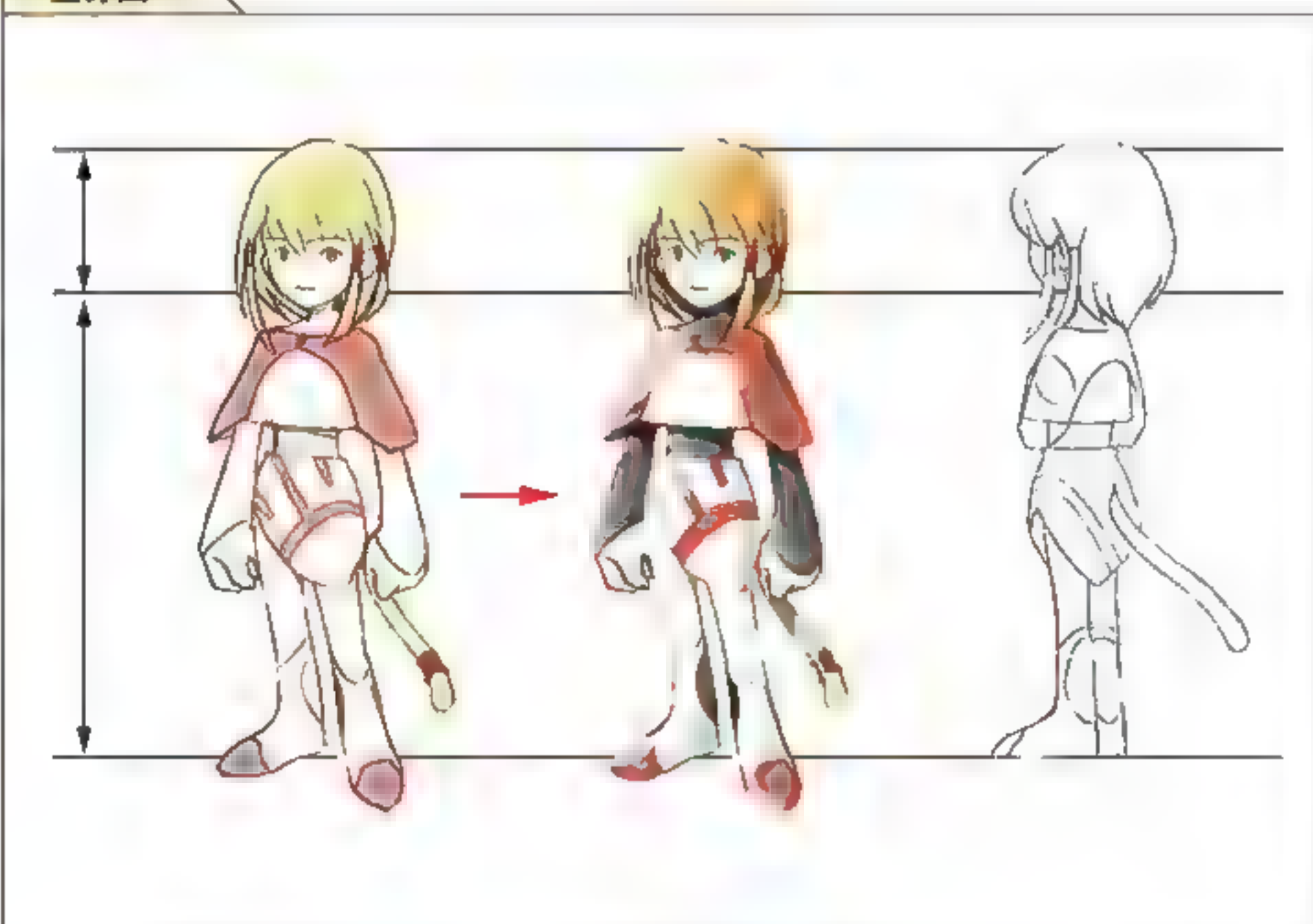
Personal Data
ジェノム　女
15歳(見た目)

ジタンの妹ぶんにあたる、成長の余地を与えられ意思を持つジェノムの少女。テラを訪れたジタンに彼と自分たちの正体を教え、ガーランドの定めた使命につかせようとした。感情にとぼしく何事にもさめていたが、ジタンやガイアの者と触れ合い、変化していく。

Memorial Words

「おかえりなさい……」
「ここが、あなたの
あるべきところ……」

——ブラン・バル：ジタンを歓迎して

全身画

モグ
Mog

Personal Data
モーグリ?(召喚獣)　女
6歳

エーコと同年同日に生まれた、黄色のポンポンを持つ珍しいモーグリ。とても臆病な性格をしており、ふだんは身体のサイズを小さくして、エーコのポケットに隠れている。その正体は召喚獣マディーンで、エーコのそばにいたいがためにモーグリのフリをしていた。

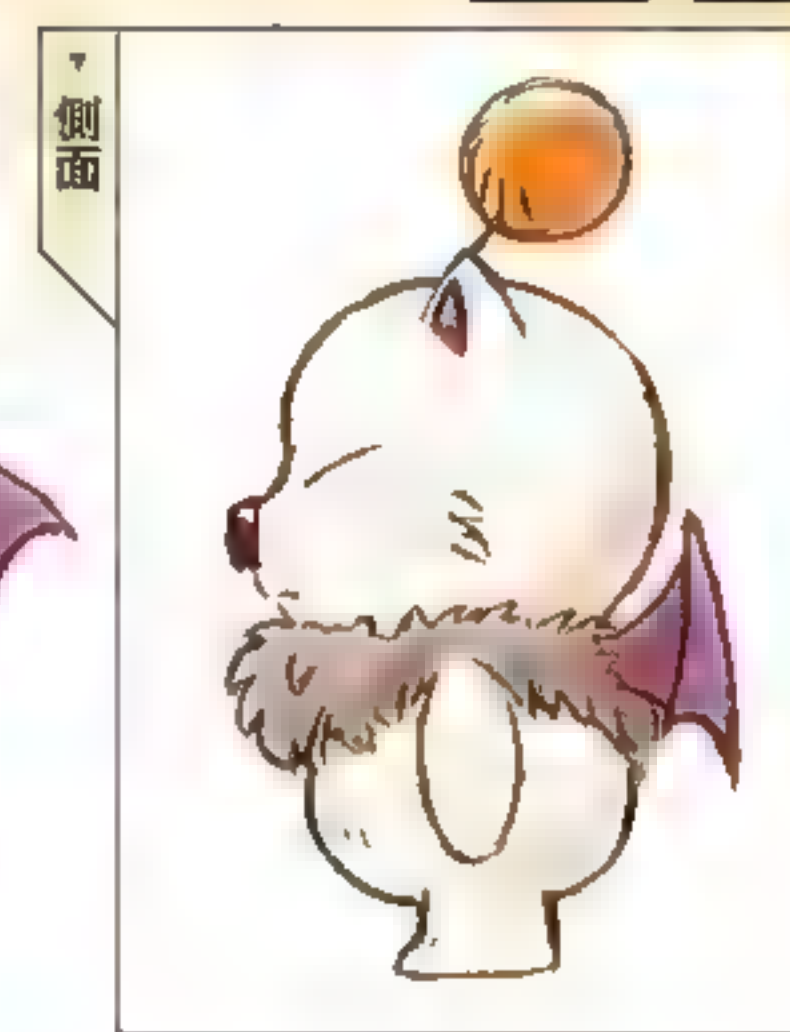
Memorial Words

「エーコのそばにいたかったから、モグの姿になってたの。
でも心配しないで。いつでもエーコを守ってるクポ……」

——グルグ火山：召喚獣としての力を開放し

側面

スティルツキン
Stilzkin

Personal Data
モーグリ　男

とても博識で頼りがいのある、モーグリ界のヒーロー。1ヵ所にとどまるのを良しとせず、いつも放浪の旅に出ており、道中で仕入れたアイテムを道行く人に売って旅費の足しにしている。語尾に「クポ」をつけずに話す、クールな男。

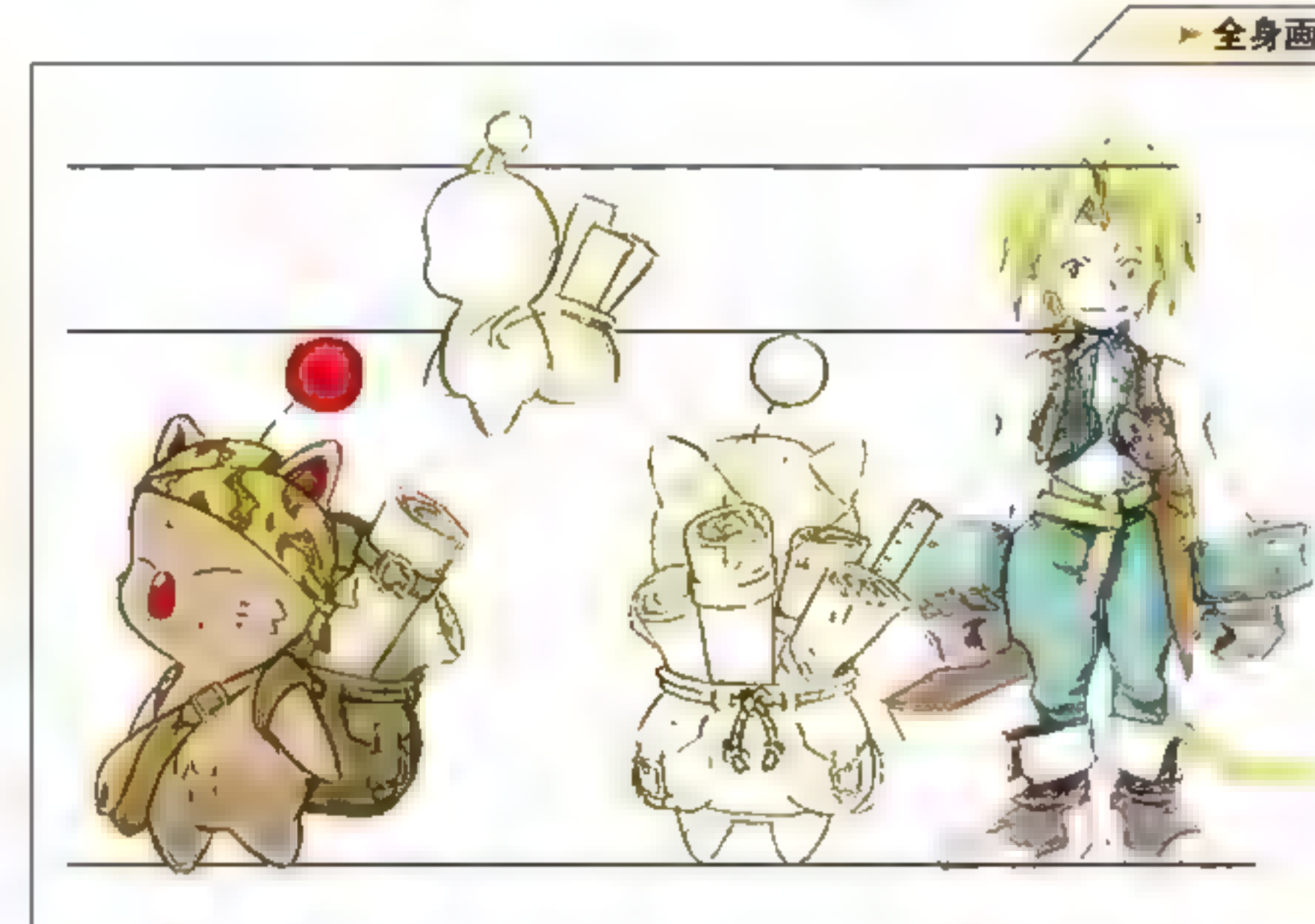
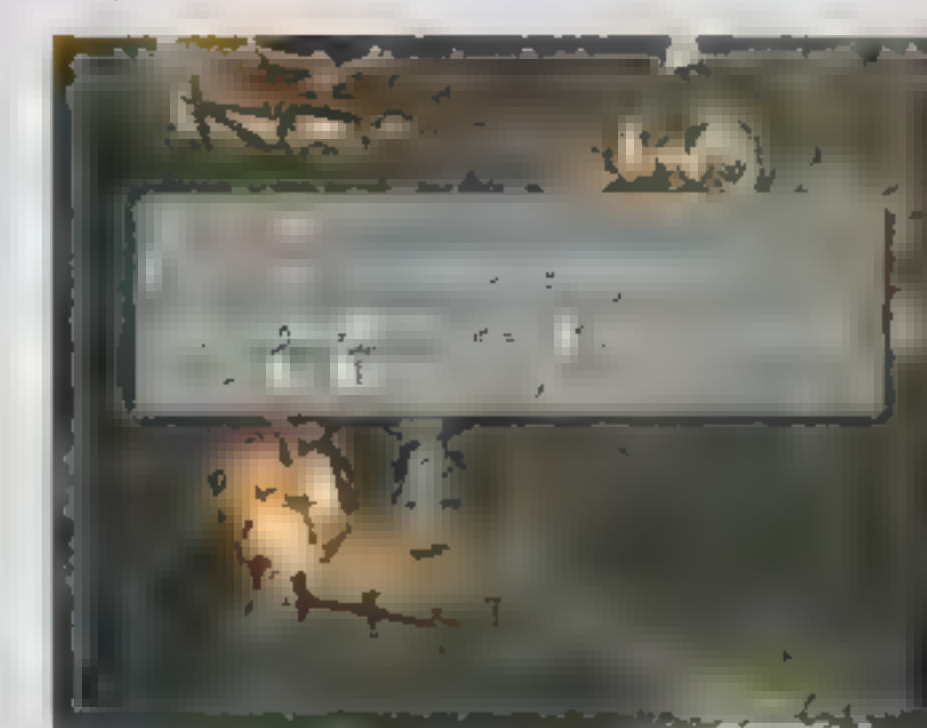
Memorial Words

「金の針、ハイポーション、エーテルの
3点セットを333ギルで
買わないか？」

——ブルメシア：初対面のジタンたちを相手に商売して

Memorial Scene

漂泊の旅人スティルツキン

本人も語るとおり、スティルツキンの旅心はとどまることを知らない。崩壊するクレイラから間一髪で脱出すると、すぐに外側の大陸を探検。アレクサンドリアでしばし休息するも、ふたたび出発し、モグネット不調の原因を探りつつ、なんとテラにまで足を伸ばす。

全身画

アルテミシオン
Artemicion

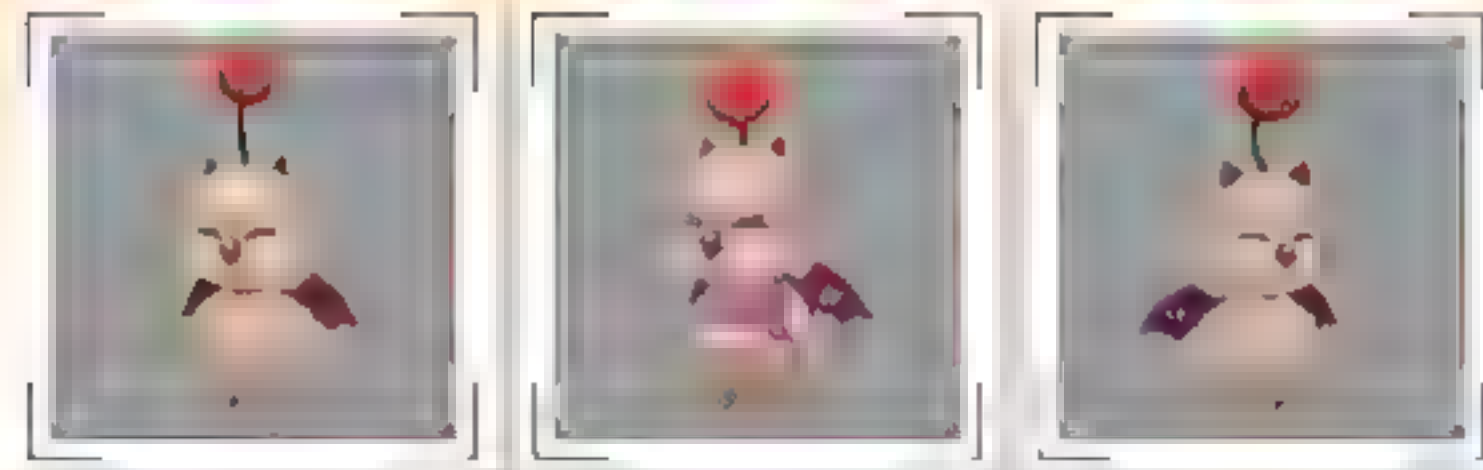
Personal Data
モーグリ　男

モーグリたちのお手紙配達機関「モグネット」の管理人兼配達員。なよなよとして他人まかせな性格で、やっかいごとにぶつかるとシクシクと泣く。モグネットに必要なすべすべオイルを使いこんでしまい、モグネットに混乱をもたらすことに。

Memorial Words

「どうして、ちゃんと
手紙を配達しないのかって？
そ、それはちょっと言えないクポ……」

——アレクサンドリア：モグネット不調の原因について口ごもり

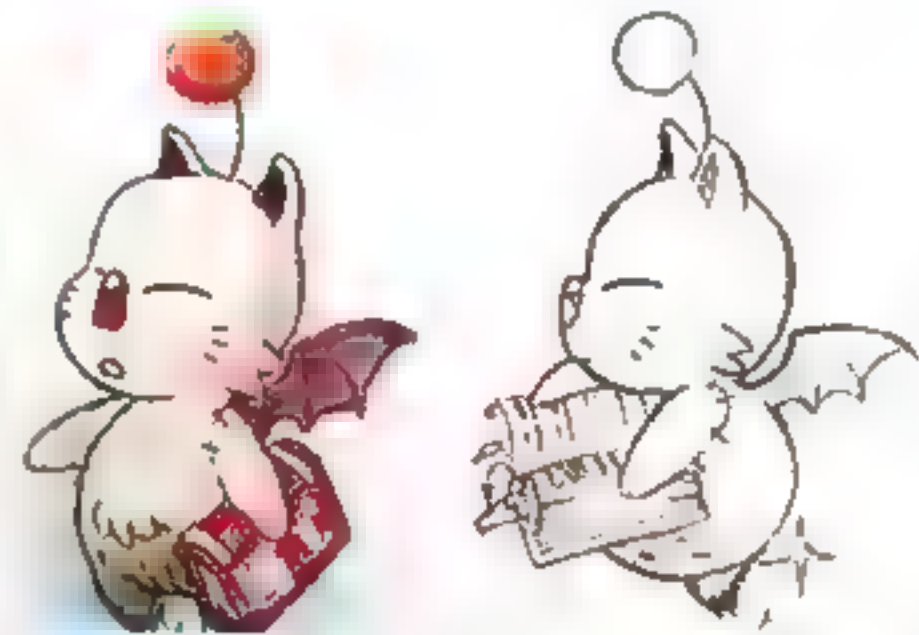
側面

モーグリ
Moogle

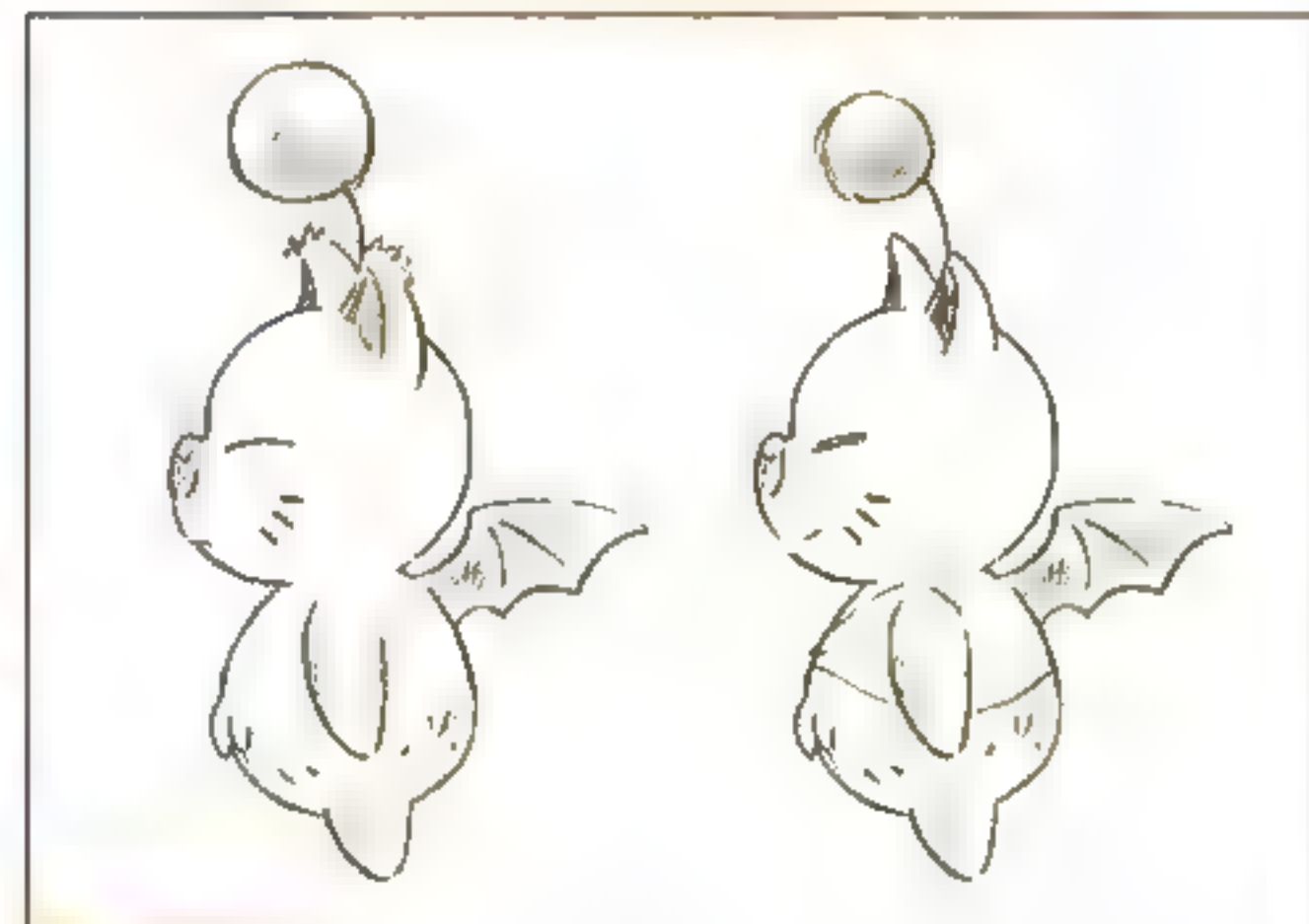
Personal Data
モーグリ

ガイアに住む妖精の一種。性別があり、女性はピンク色のチョッキを着用する。物語中にはそれぞれ異なる名前を持つ約50体のモーグリが登場し、セーブしてくれたり、冒険のアドバイスをくれたりする。

Memorial Words

クポ「もし、メモリーカードにセーブしたくなったら、ボクたちモーグリに話しかけるクポ〜〜〜ッ!!」
—— アレクサンドリア城：初対面のビビに向かって

▸ 初期アイデア

こいつが本を持つと
SAVEモーグリとなる

SAVE使用前：ランプ赤点滅
SAVE使用済：ランプ青

▸ 側面

チョコ
Choco

Personal Data
チョコボ　不明

仲間とはぐれたチョコボ。親友であるモーグリのメネの勧めでジタンに同行し、夢でデブモーグリに導かれながら、幻の楽園「チョコボの桃源郷」を目指す。ジタンの冒険の足となるほか、クチバシでお宝を掘り出すことで活躍する。

▸ 全身画&顔イラスト

CHOCOBO

SIDE　FRONT　REAR

デブチョコボ
Fat Chocobo

Personal Data
チョコボ　不明

天空に浮かぶチョコボたちの楽園「チョコボの桃源郷」の主。巨大な姿どおりの心の広さと包容力の持ち主で、カードゲームのたしなみもある。

Memorial Words

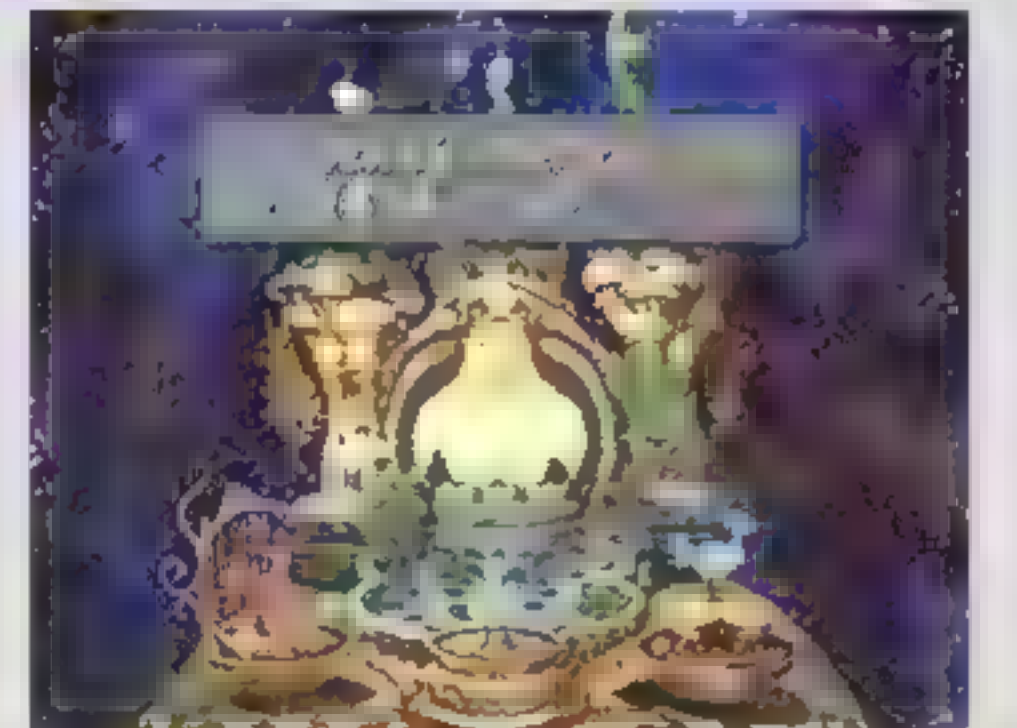
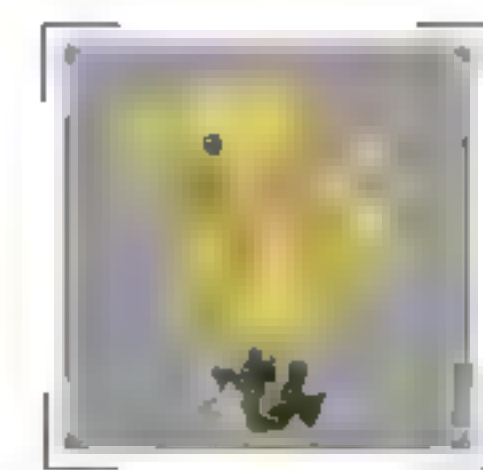
「望郷者チョコよ、よくぞ来た……。我こそはデブチョコボ！この桃源郷のあるじである!!」
—— チョコボの桃源郷：チョコの来訪を歓迎して

「……小さき者よ」
—— チョコボの桃源郷：モーグリなのに桃源郷にとどまろうとするメネをたしなめ

Memorial Scene

夢でチョコを導いて

すべてのチョコボの王様であるデブチョコボは、チョコの来訪を望んでいる。そのため、ミニゲーム「チョコボのお宝さがし」でチョコの夢のなかに出現。チョコにヒントを与えて進化させていき、最終的には空を飛べる空チョコボにして、チョコボの桃源郷へといざなうのだ。

▸ 全身画

ボビィ=コーウェン

Personal Data
チョコボ　不明

クイナに食べられかけた卵から、物語終盤にふ化した赤ちゃんチョコボ。黒魔道士の村にいたお母さんチョコボの忘れ形見で、黒魔道士たちの愛を一身に受けている。妙に凝った名前だが、じつは名前の頭文字を取ると、『FFV』に登場したチョコボの名である「ボコ」になる。

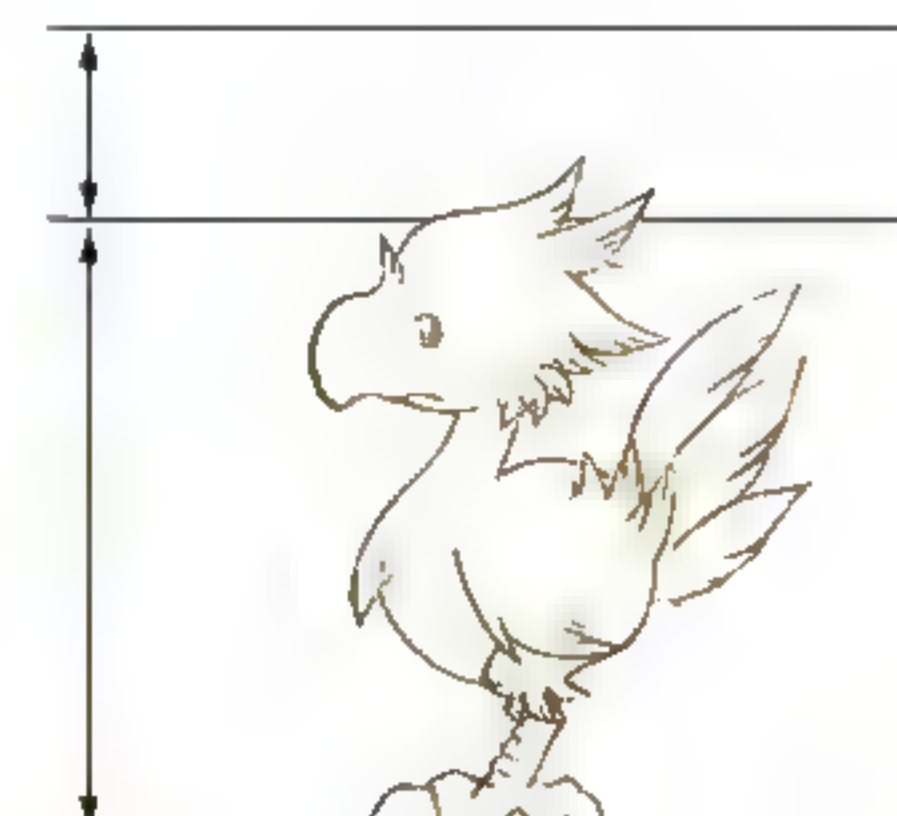
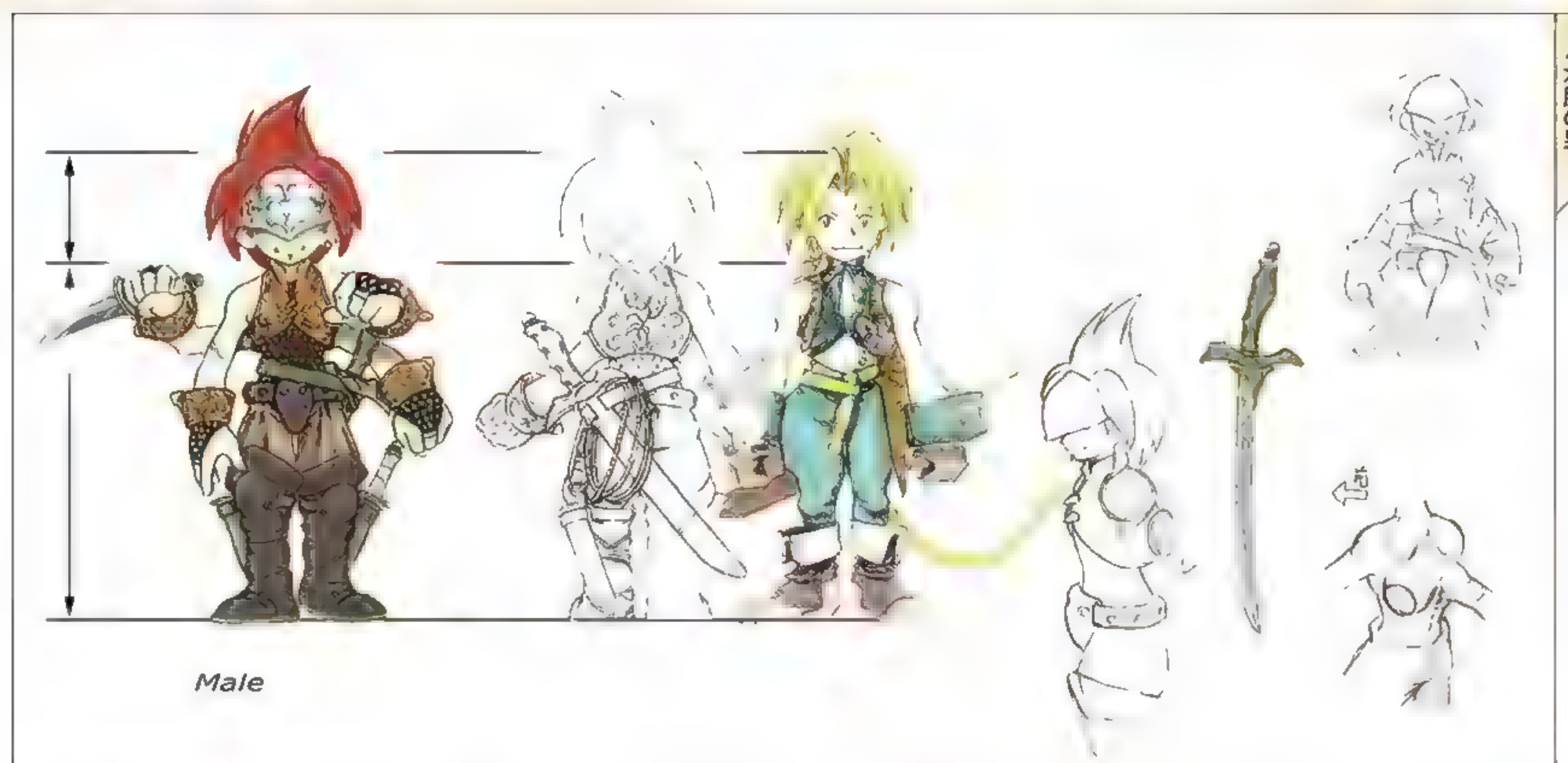
▸ 全身画

Baby Chocobo

Body　Front　Rear

城や街の人々

4本腕の男

Male

Memorial Scene

4本腕の男の本名は……

アレクサンドリアやトレノに現れ、ビビやダガーのギルを盗もうとする、4本腕の男。彼は「裏通りのジャック」という通り名でカードゲームの相手もしてくれるが、本当の名前は別にある。物語の後半に、ジタンのトレジャーハンターランクを最高段階のSまで上げてから、ダゲレオにいる4本腕の男に話しかけると、自分の本名はギルガメッシュだと教えてくれるのだ。

料理人

アレクサンドリア兵

プルート隊員

クアールの毛

ブランク装備

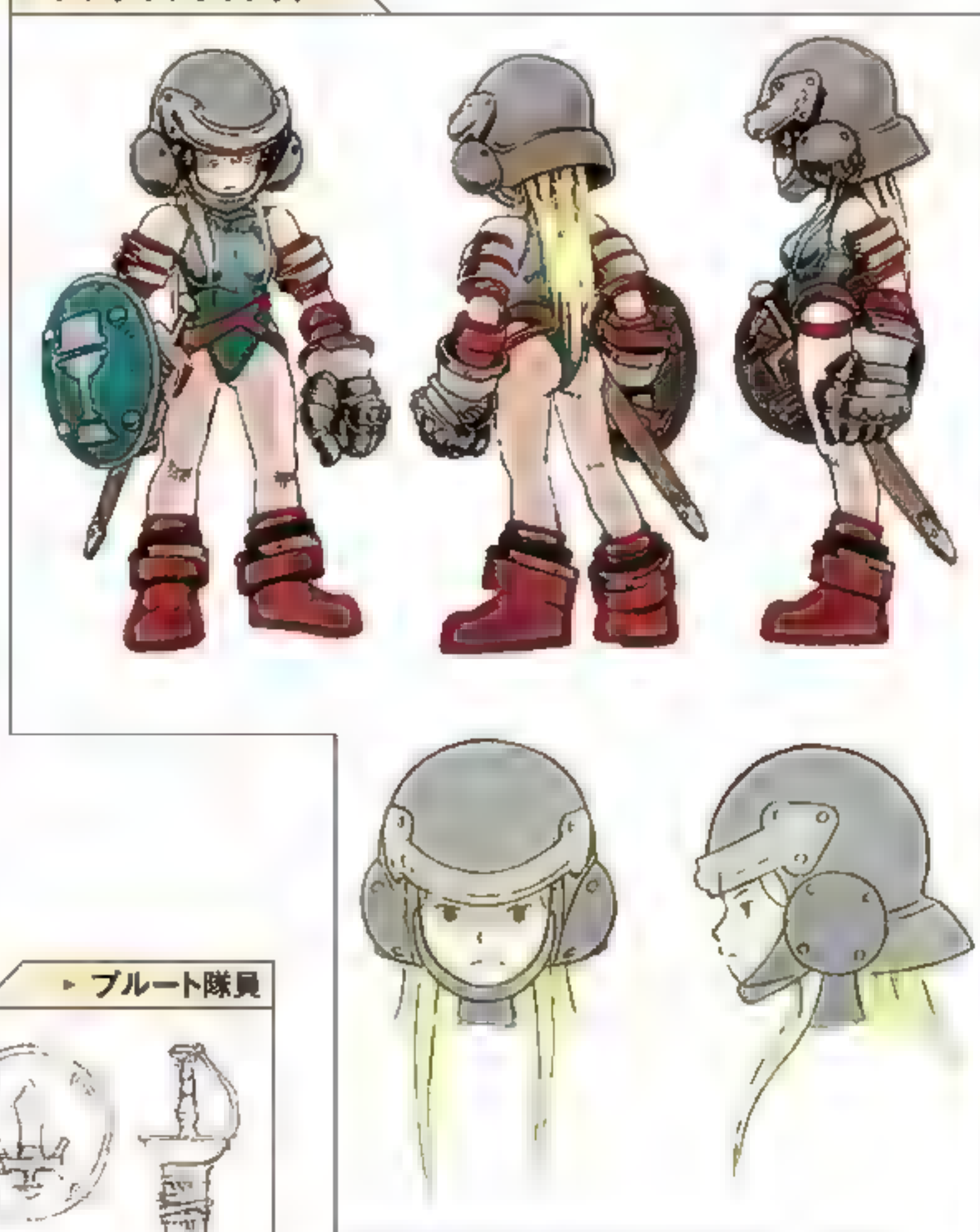
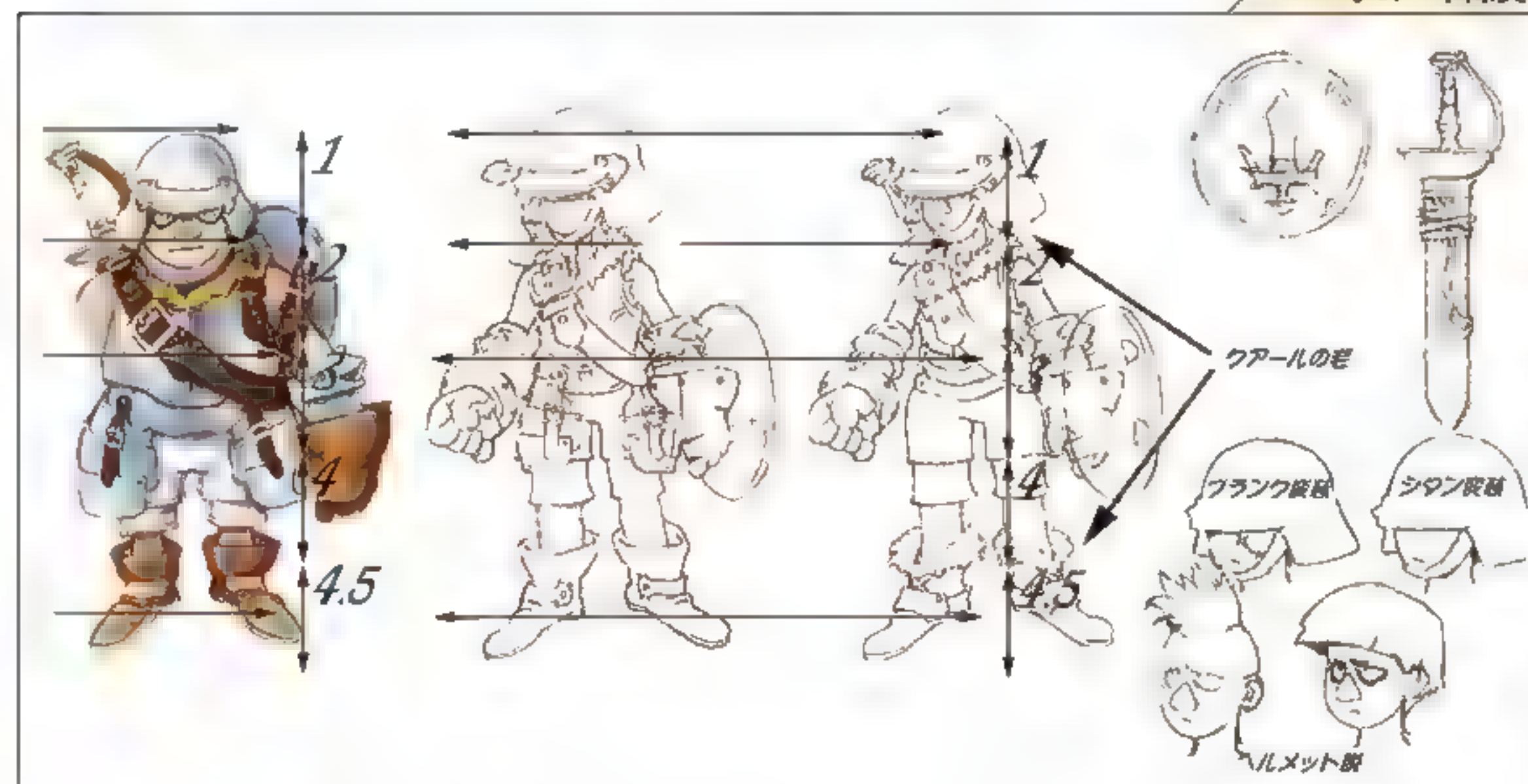
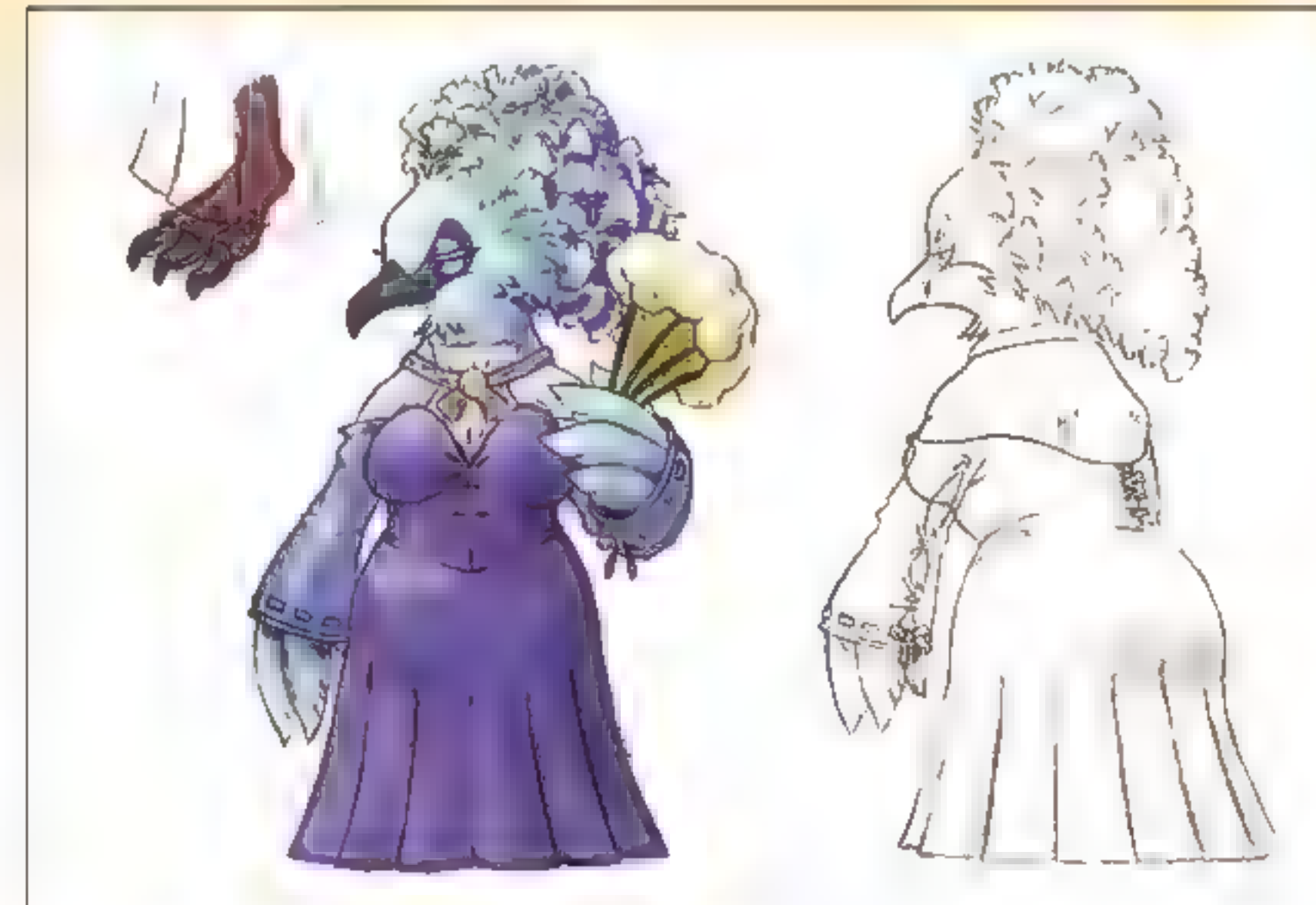
ジタン装備

ヘルメット脱

クイーン・ステラ

オークショニア

Male

マークをこれに変更してください

トレノの番兵

トレノの召使い

チケット売り&ガイド

エスト・ガザの司祭

赤魔道士

ウェイトレス

体型は人間の女と同じだが靴の分、足が長い。

Female

バーのマスター

Male

グラスはモデルには持たせません。

リンドブルム城関係者

リンドブルム兵

武器決定稿

これに変更

メカニック

ロウェル

リンドブルムの飛空艇クルー

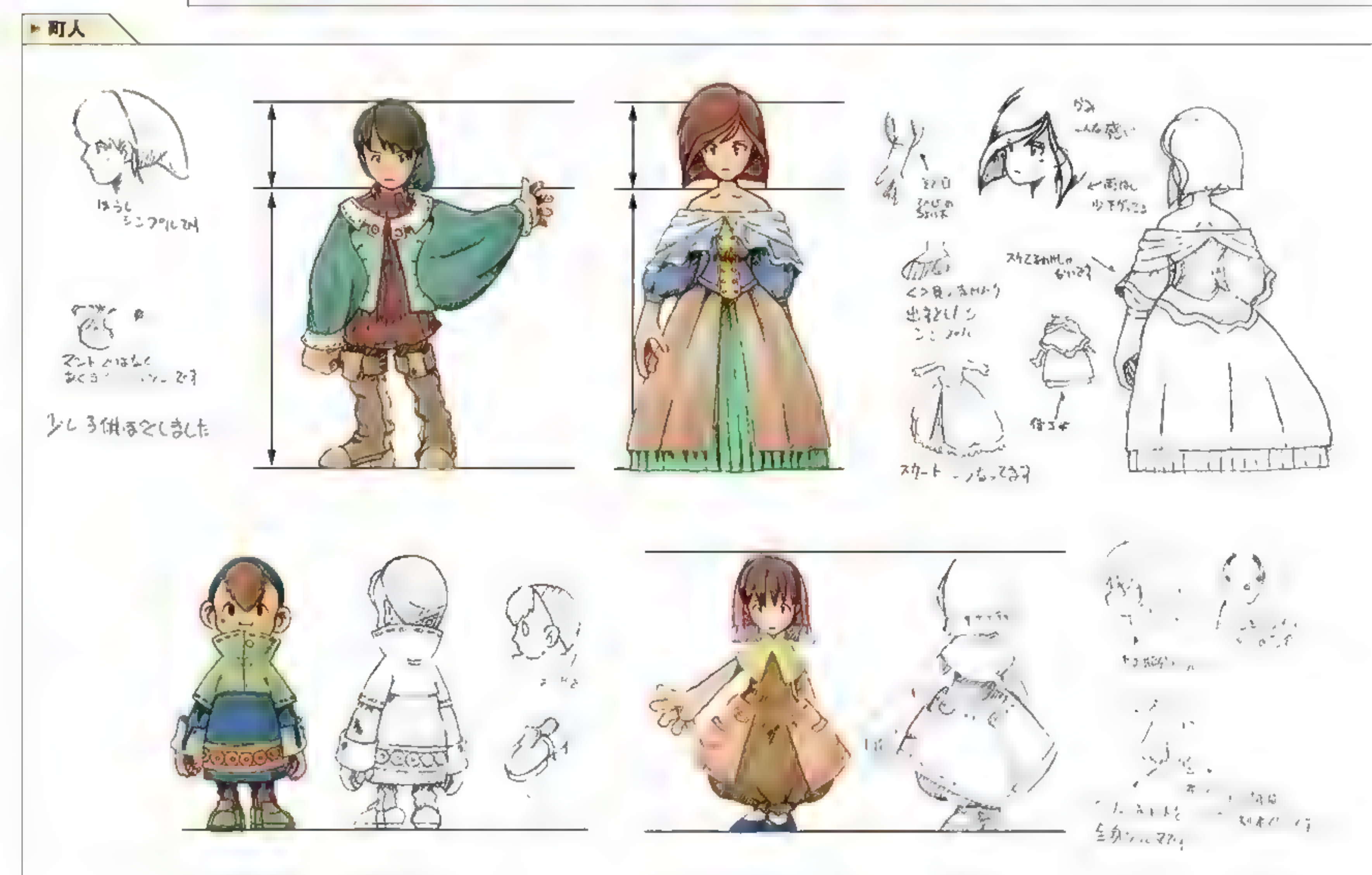
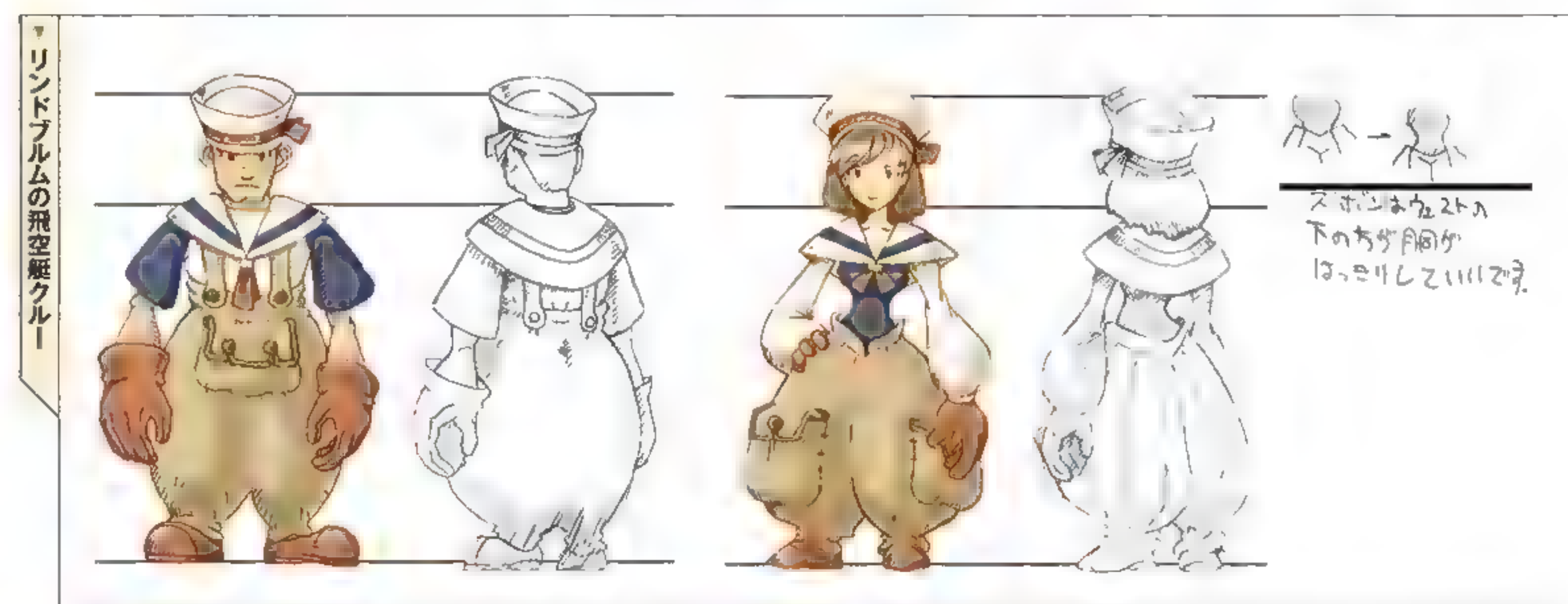
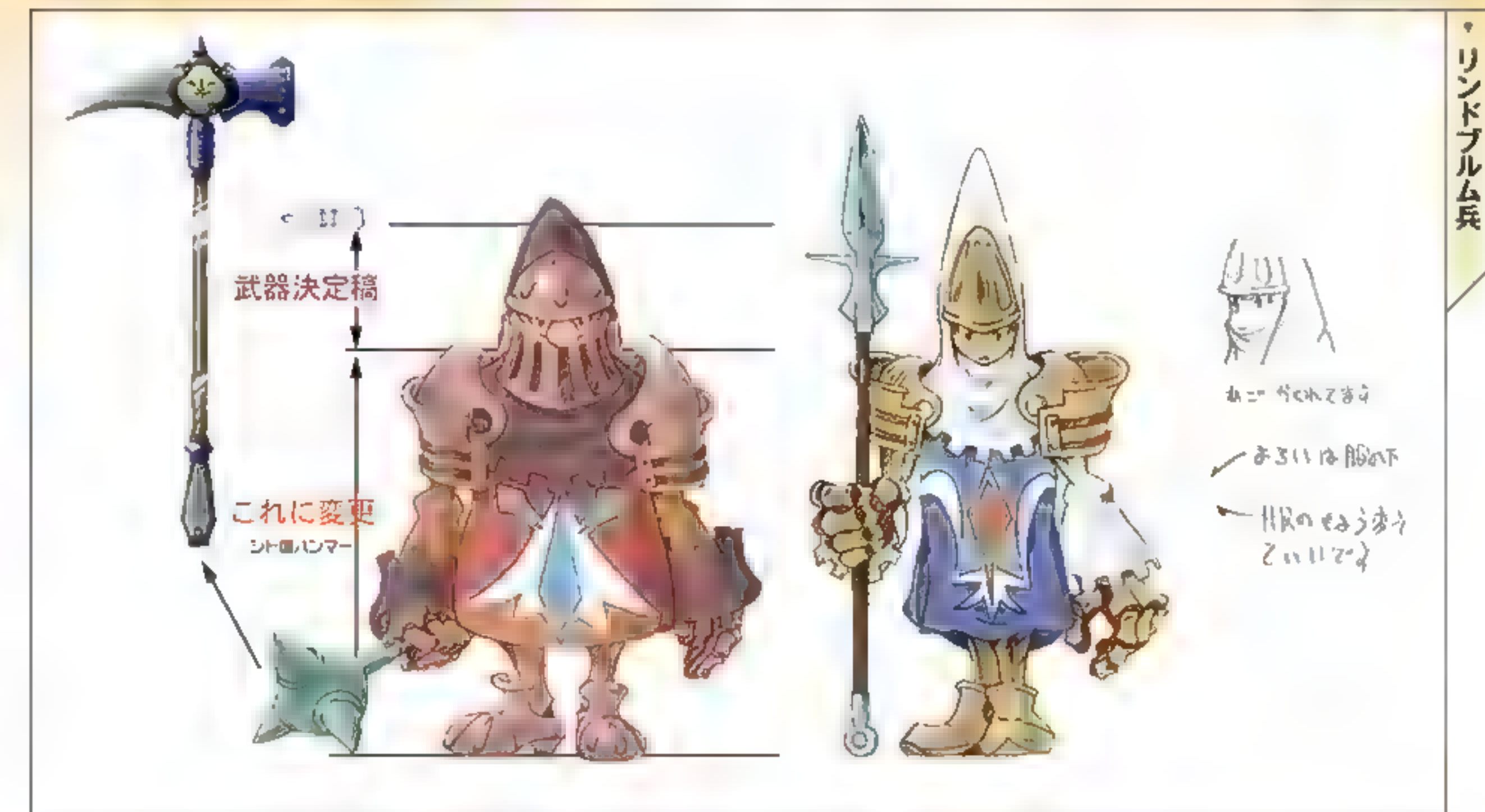
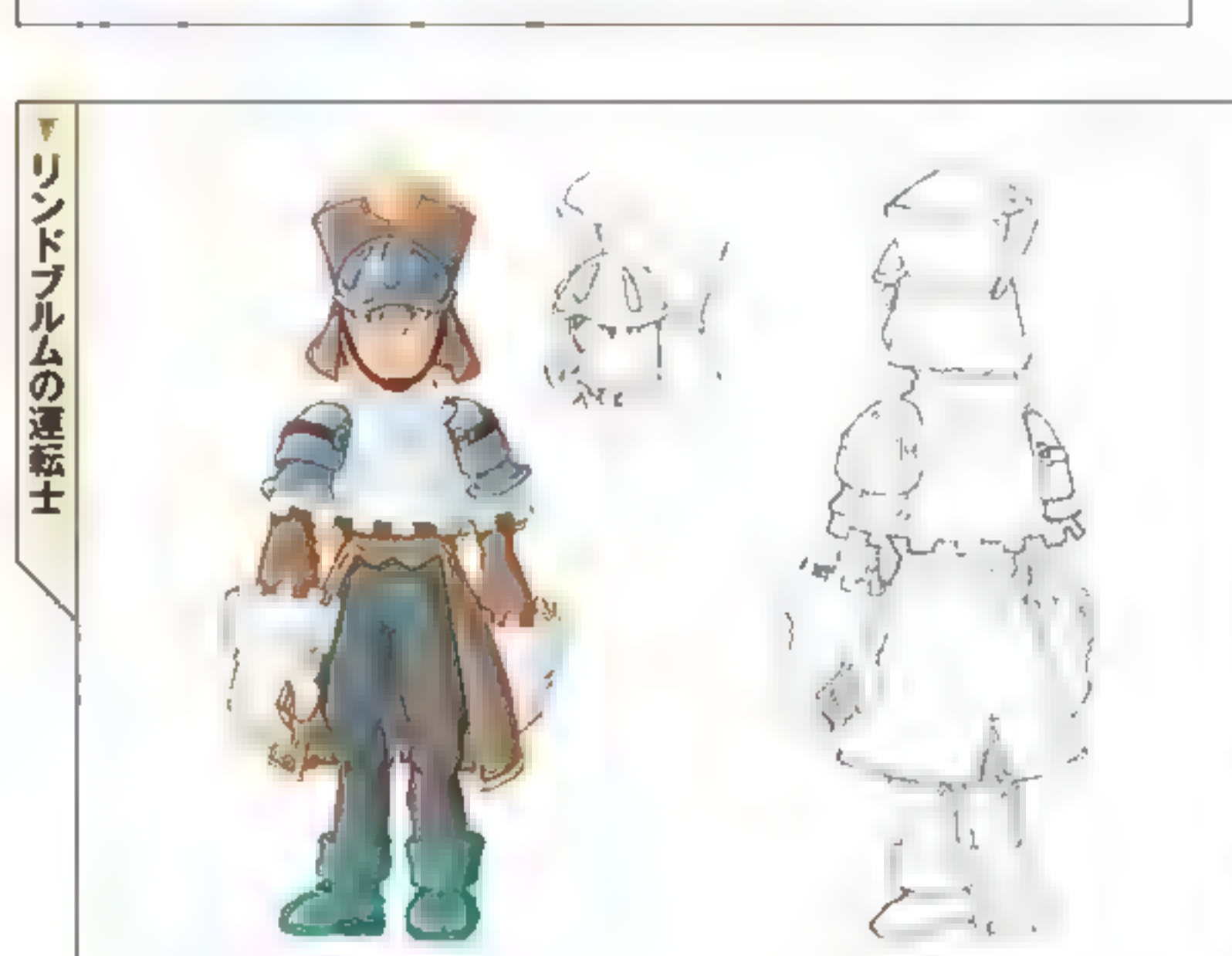
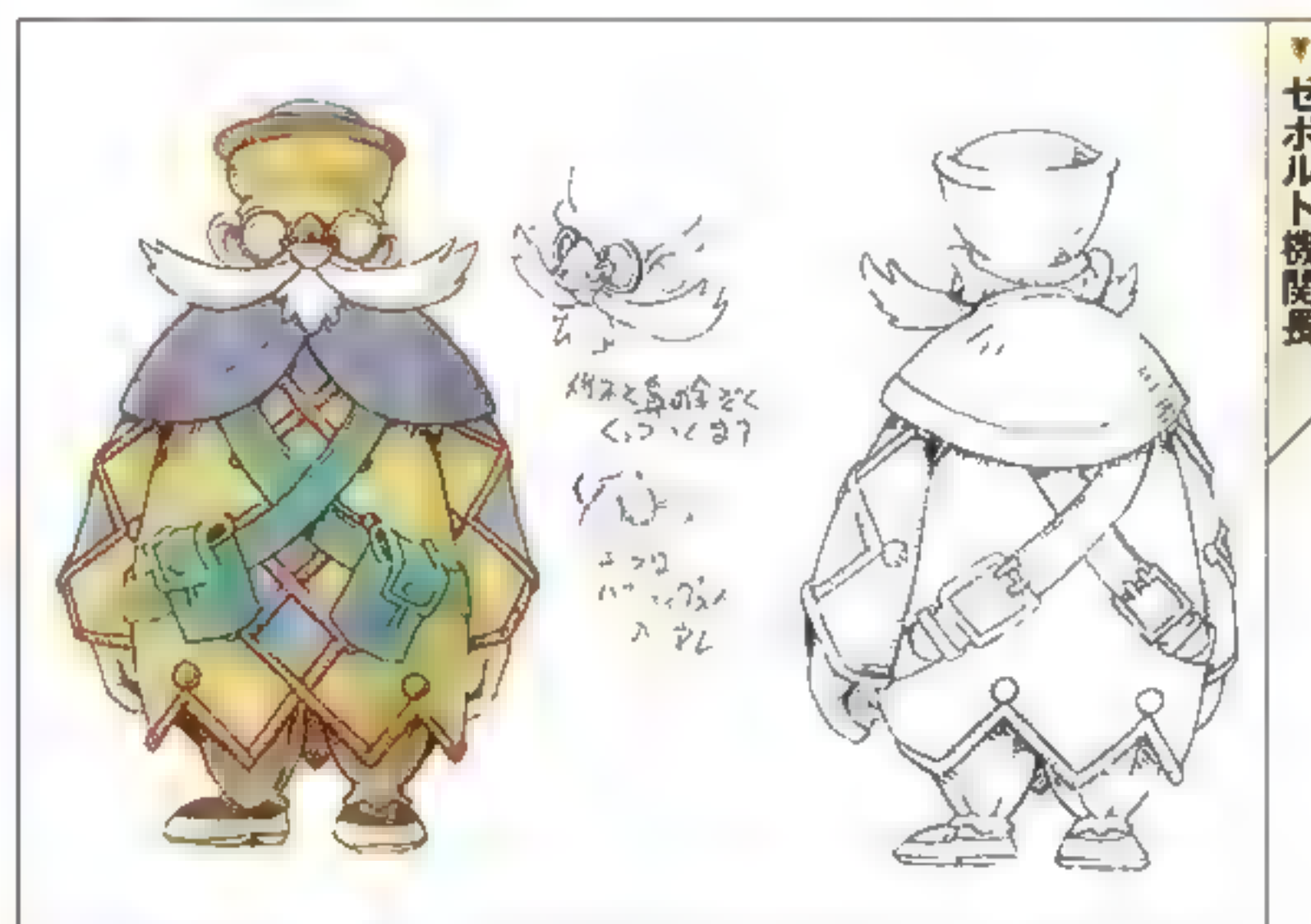
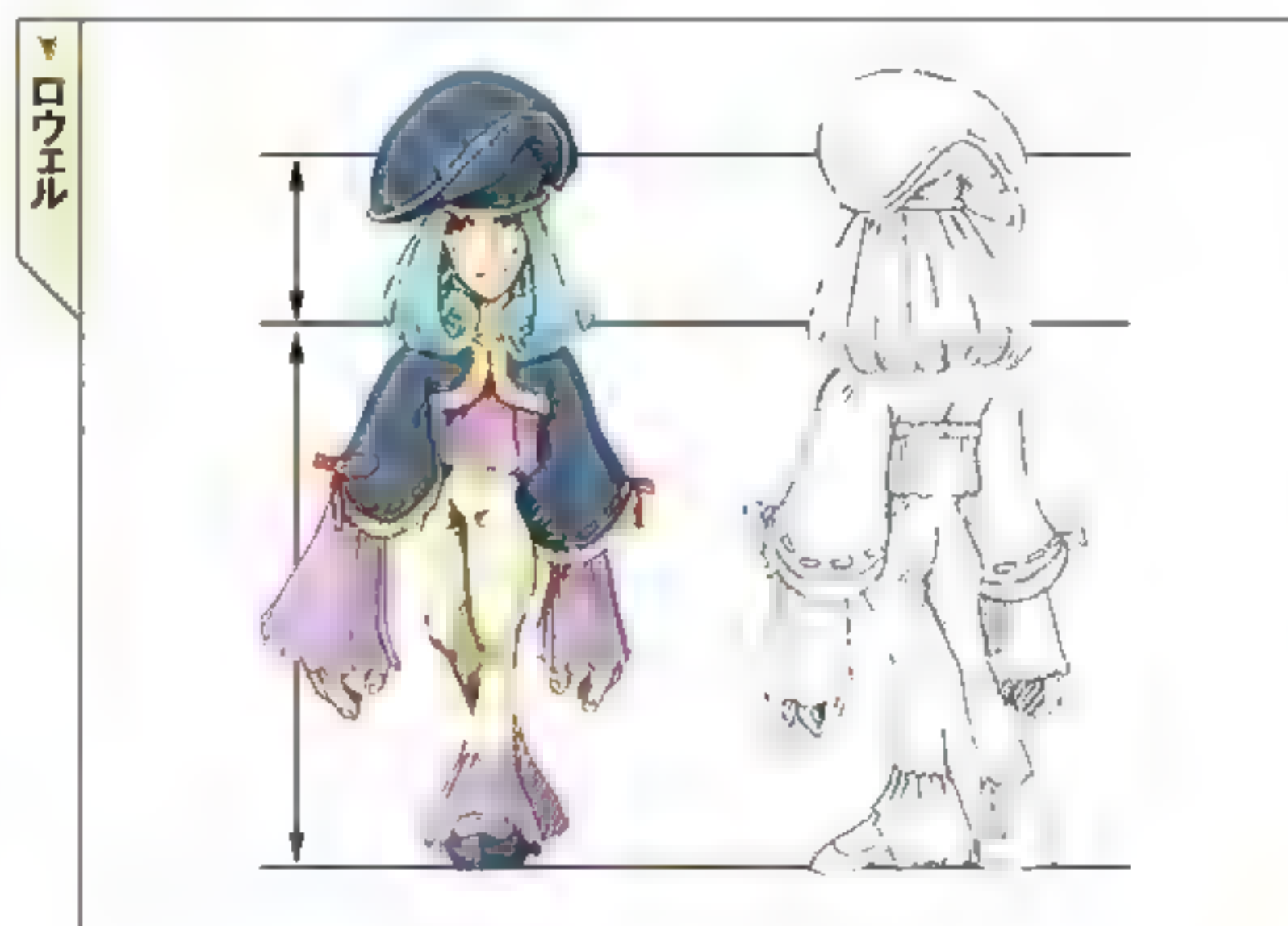
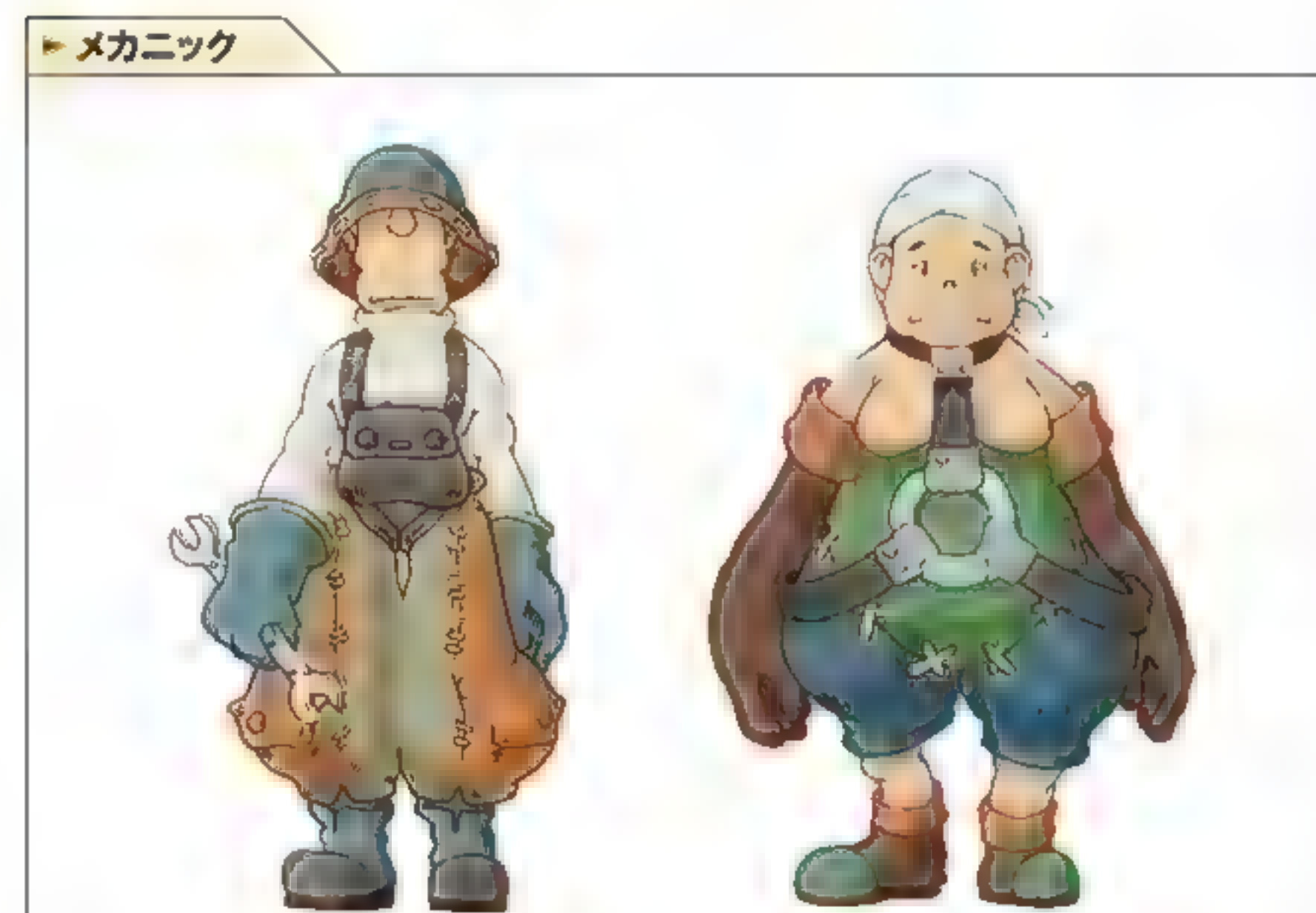
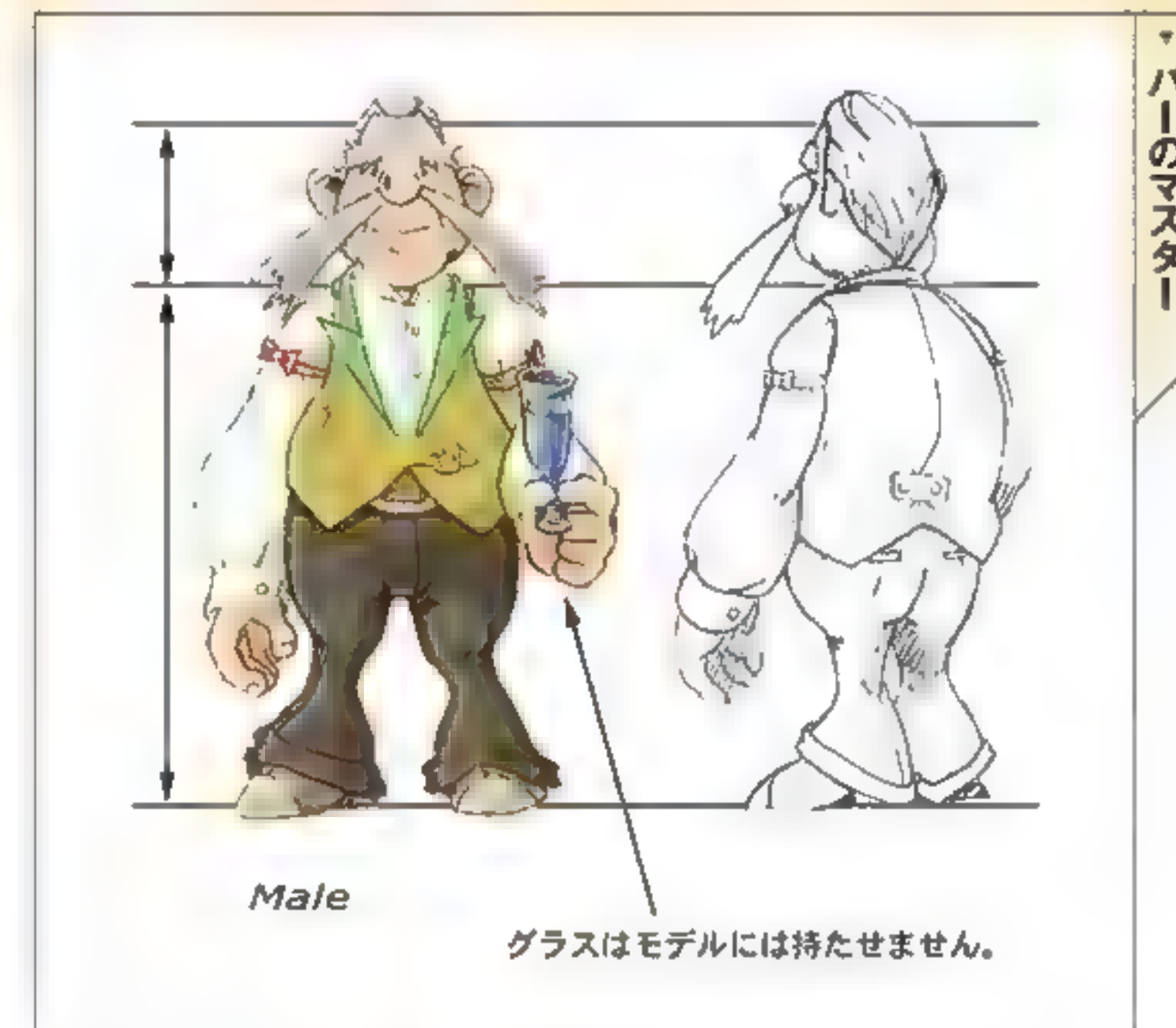
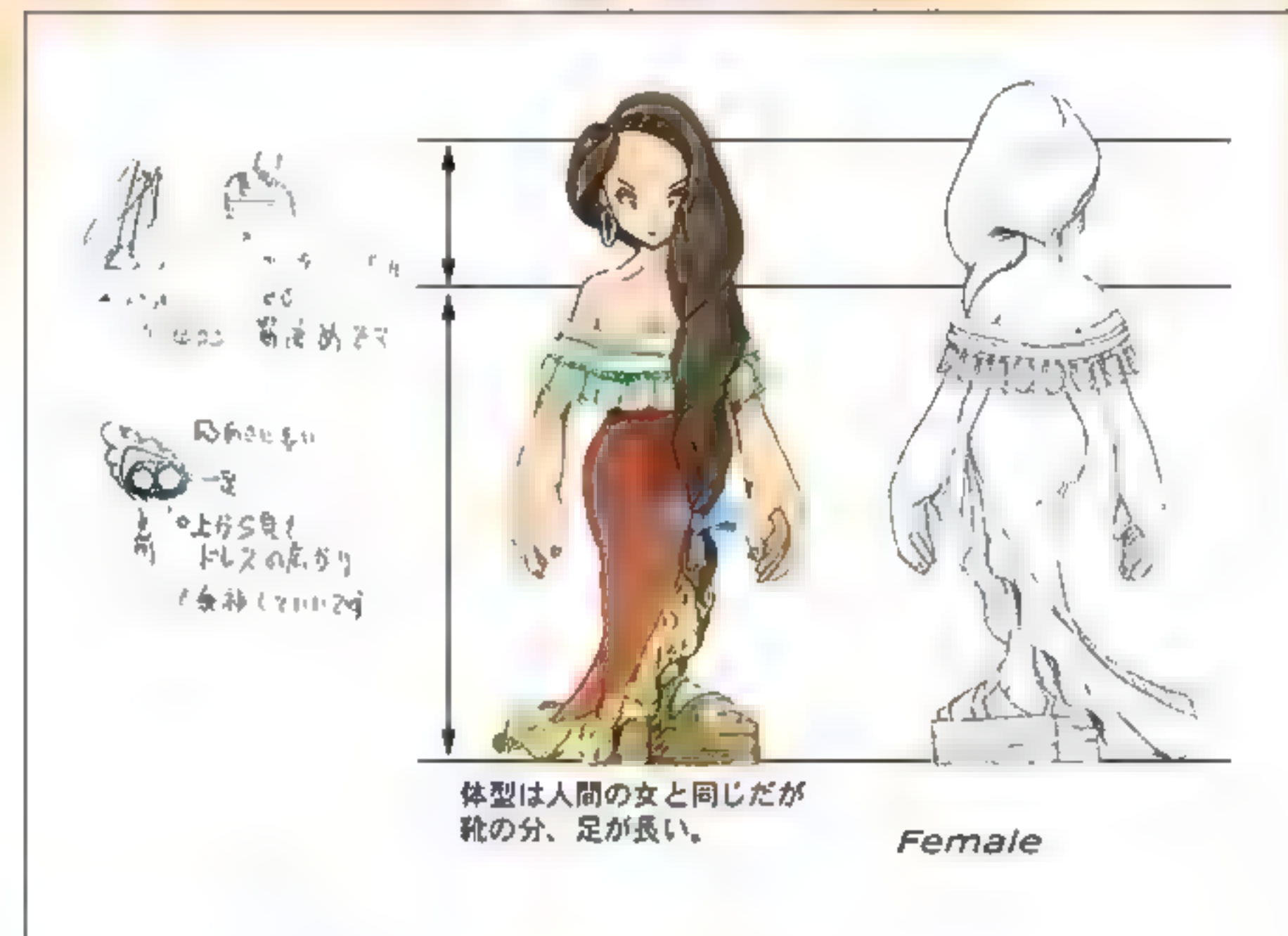
ゼボルト機関長

町人

リンドブルムの運転士

▸ 町人

▸ 貴族

ネズミ族

ドワーフ族

Memorial Scene

ドワーフたちの一風変わった風習

外側の大陸のコンデヤ・パタで暮らすドワーフ族には、「ラリホッ！」とあいさつし、語尾に「〜だド」とつける風習がある。また、男女が夫婦となるときには、「神前の儀」を経て"聖地"イーファの樹方面へ巡礼の旅に出るのがならわし。ジタンたちはこれに目をつけ、神前の儀を受けて、イーファの樹への道を開けてもらう。

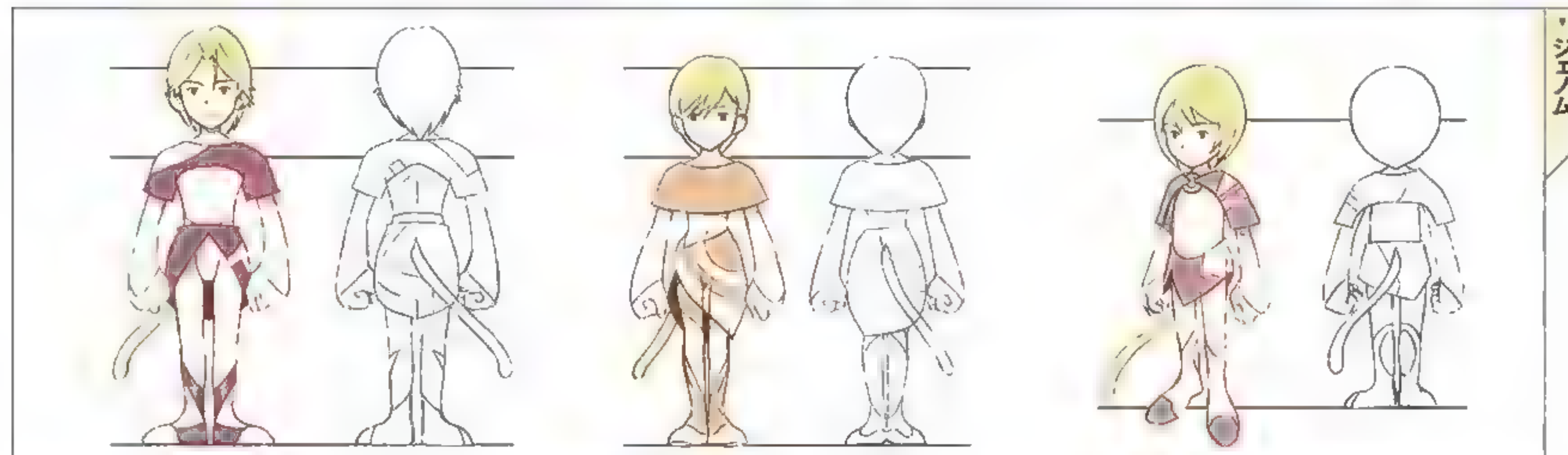
ジェノム

動物

カエル

まつげは Texture で。

♀メス

♂オス

Memorial Scene

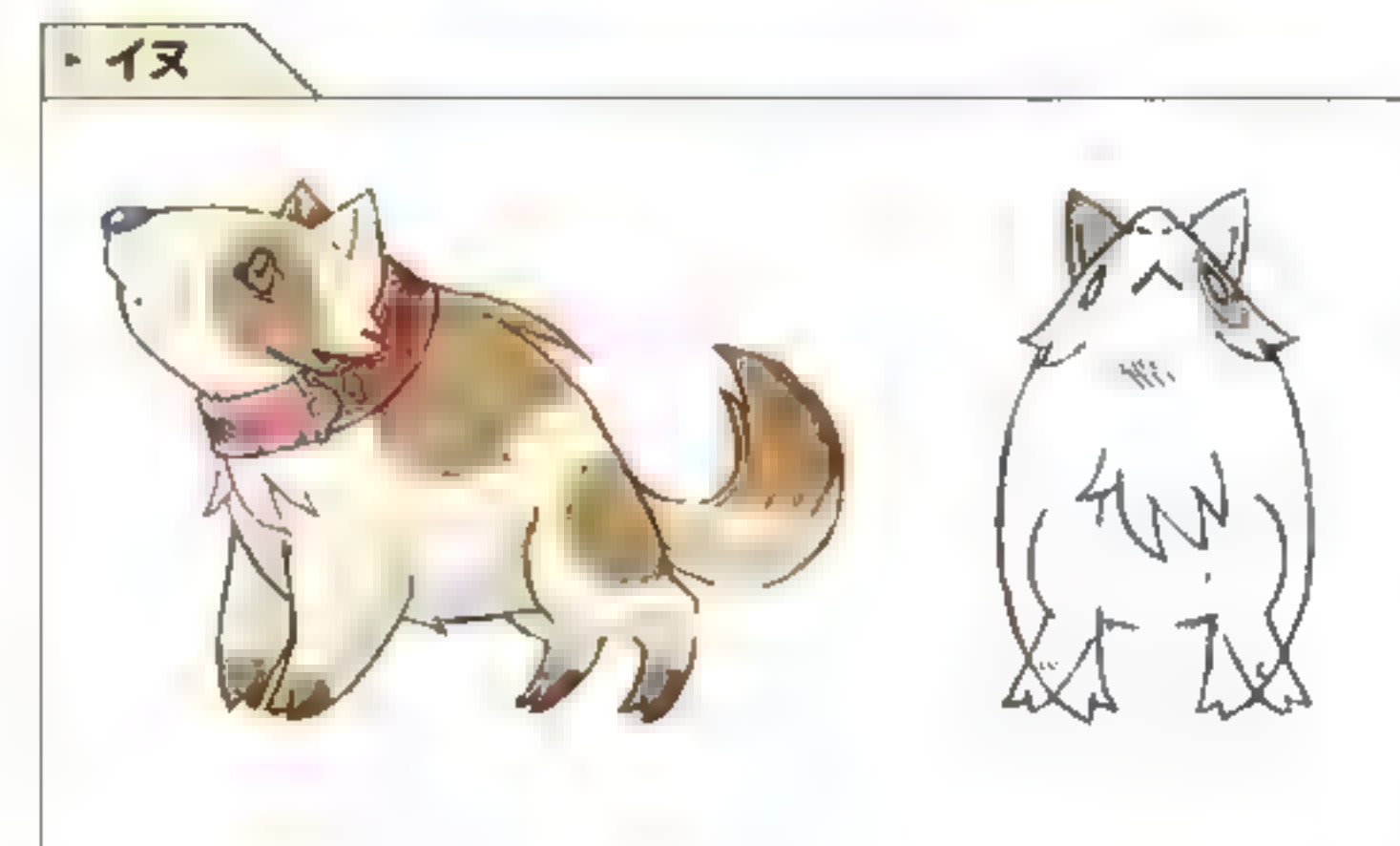
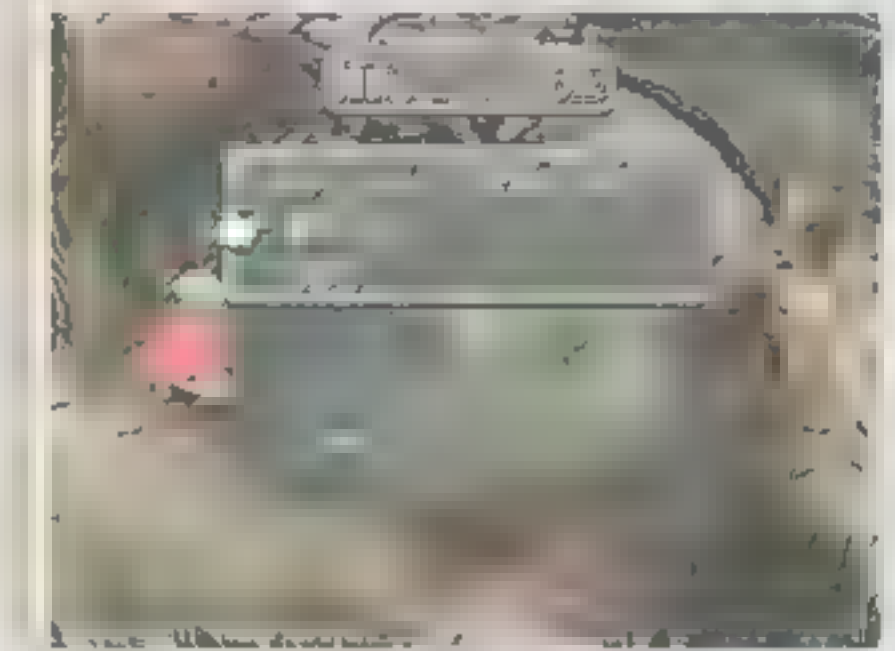
ク族の沼でカエルとり

各地に点在するク族の沼では、クイナが大好物のカエルを獲るミニゲーム「カエルとり」が楽しめる。獲りすぎてカエルの数が減っても、時間がたつとおたまじゃくしが成長し増えていくが、沼に金色のカエルがいれば、繁殖スピードが倍になるのだ。

フクロウ

イヌ

ネコ

ハト

FINAL FANTASY IX WORLD

生命力に満ちた星ガイアが物語の舞台。北西に「閉ざされた大陸」、北東に「外側の大陸」、南西に「忘れ去られた大陸」、南東に「霧の大陸」があるが、霧の大陸をのぞくと人の住む場所は少なめ。輝く島からは、ガイアの内部に取りこまれたもうひとつの星テラへ行ける。

1. アレクサンドリア城／アレクサンドリア
2. 魔の森
3. 北ゲート
4. 氷の洞窟
5. ダリの村／ダリの地下
6. 物見山
7. リンドブルム巨大城／リンドブルム
8. チョコボの森
9. ギザマルークの洞窟
10. 南ゲート
11. ブルメシア
12. クワン洞
13. トレノ／ガルガン・ルー
14. クレイラの幹／クレイラの街
15. ピナックルロックス
16. ク族の沼（霧の大陸）／フォッシル・ルー
17. ク族の沼（外側の大陸）
18. コンデヤ・パタ／コンデヤ・パタ山道
19. 枯れた森／黒魔道士の村
20. マダイン・サリ
21. イーファの樹
22. ク族の沼（ラナール島）
23. チョコボの入り江
24. デザートエンプレス
25. ク族の沼（忘れ去られた大陸）
26. ウイユヴェール
27. イプセンの古城
28. エスト・ガザ／グルグ火山
29. ダゲレオ
30. チョコボの桃源郷
31. 水の祠
32. 火の祠
33. 風の祠
34. 地脈の祠
35. 輝く島
36. モグネット本部

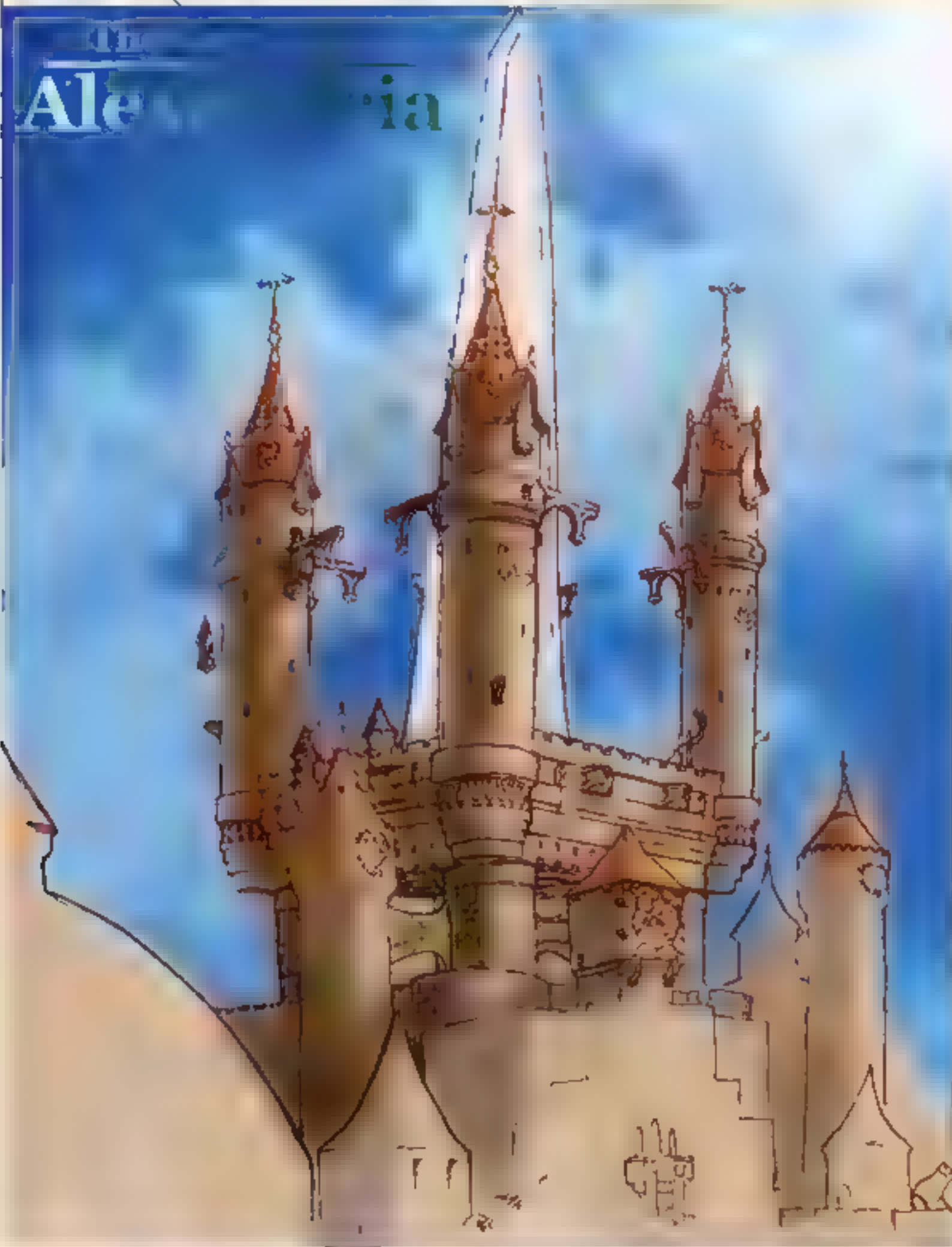
アレクサンドリア城

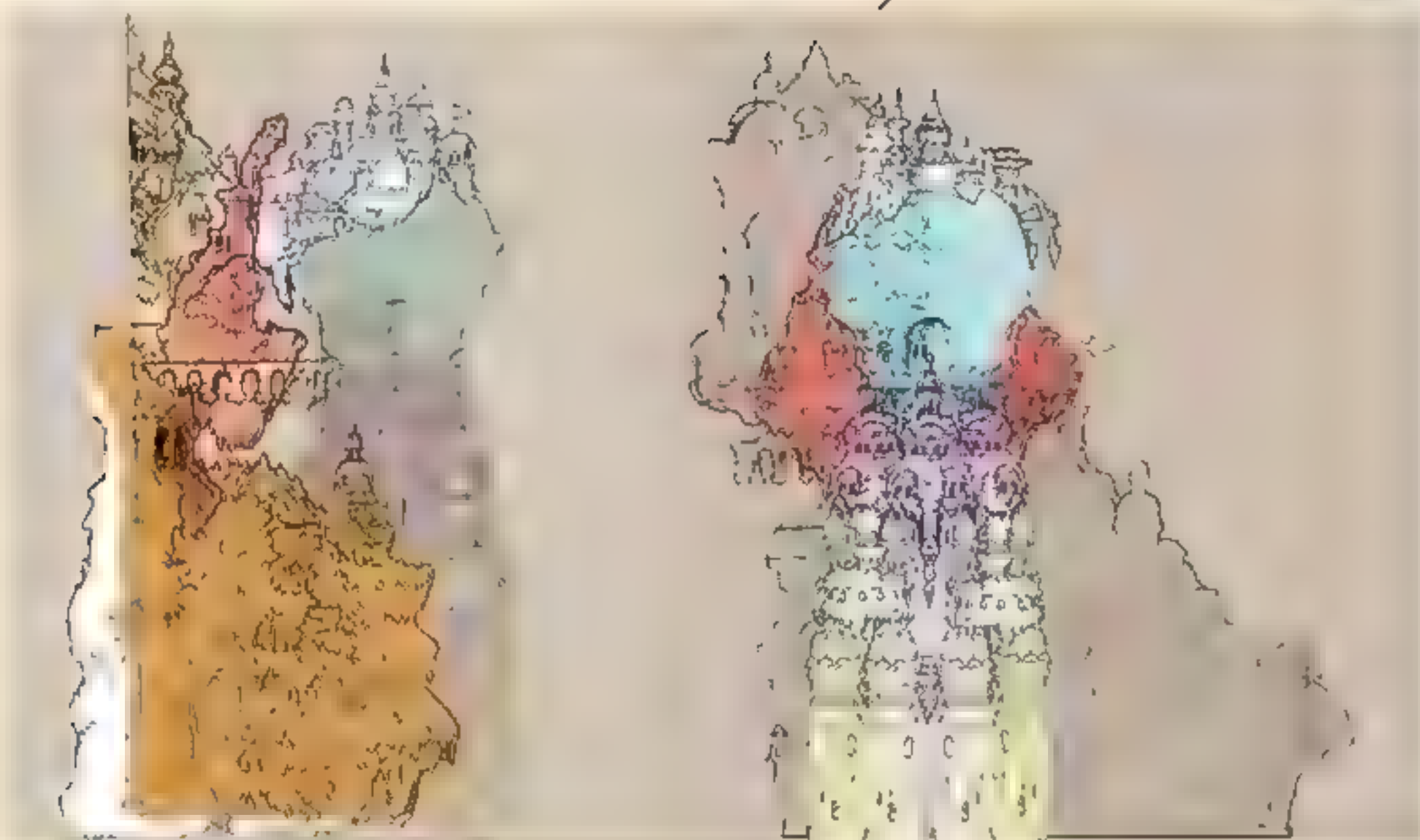
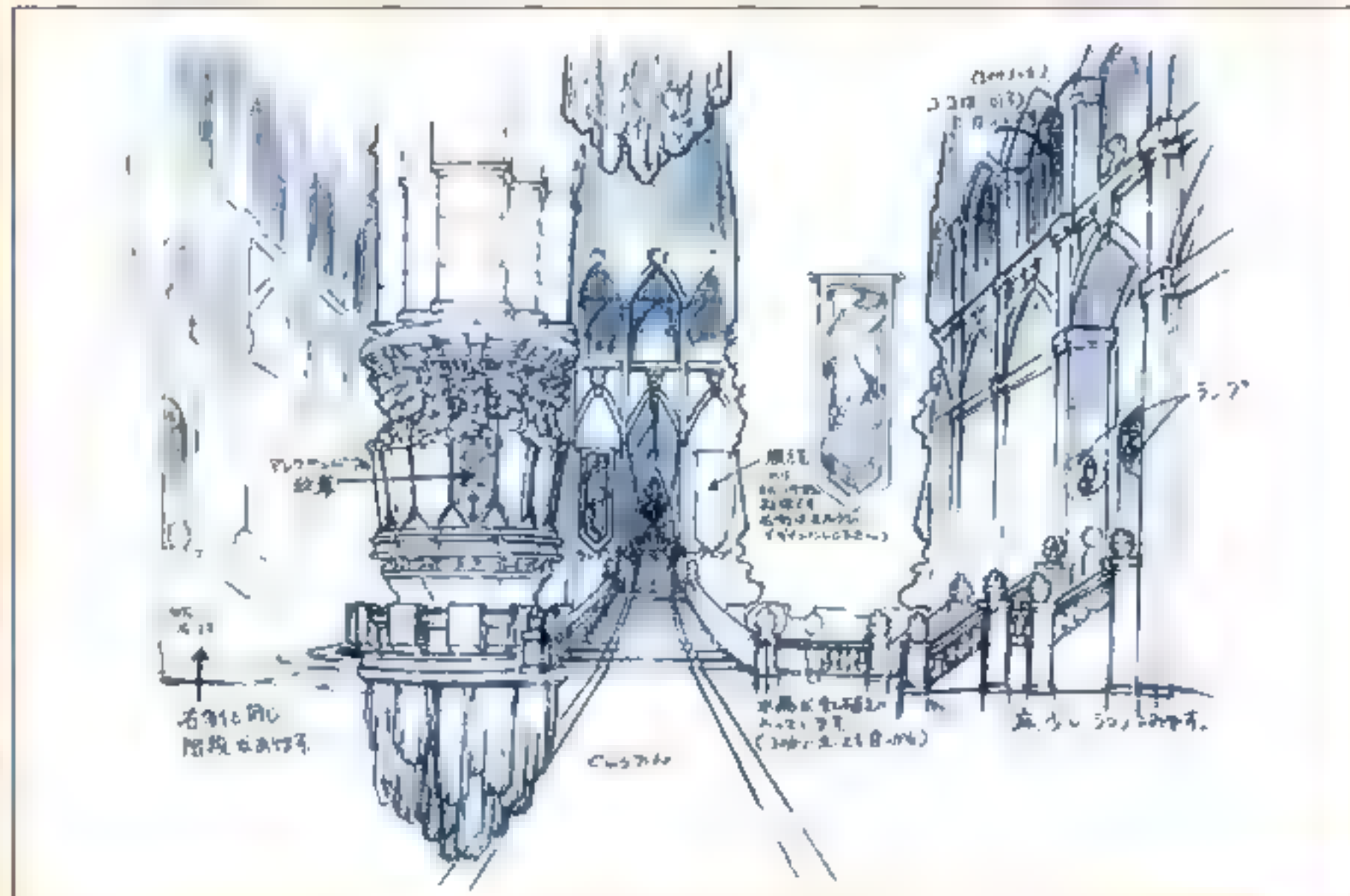
1000年の歴史を誇るアレクサンドリア王国の城。城の中央には、剣をかたどった巨大なオブジェがそびえ立つ。城内には召喚獣アレクサンダーが封じられており、城の四方を囲む塔をのぼると、召喚をするための祭壇へたどり着く。

外観

女王の間

城内

地下牢

王女の間

アレクサンダー（正面&側面）

アレクサンドリア

アレクサンドリア王国の城下町。その歴史は長く、赤レンガ屋根の木造住宅が石造りの道に沿って並び、各所には英雄の像が見られる。年に1度行なわれる劇場艇公演のときには、観劇に訪れた大勢の人でにぎわう。

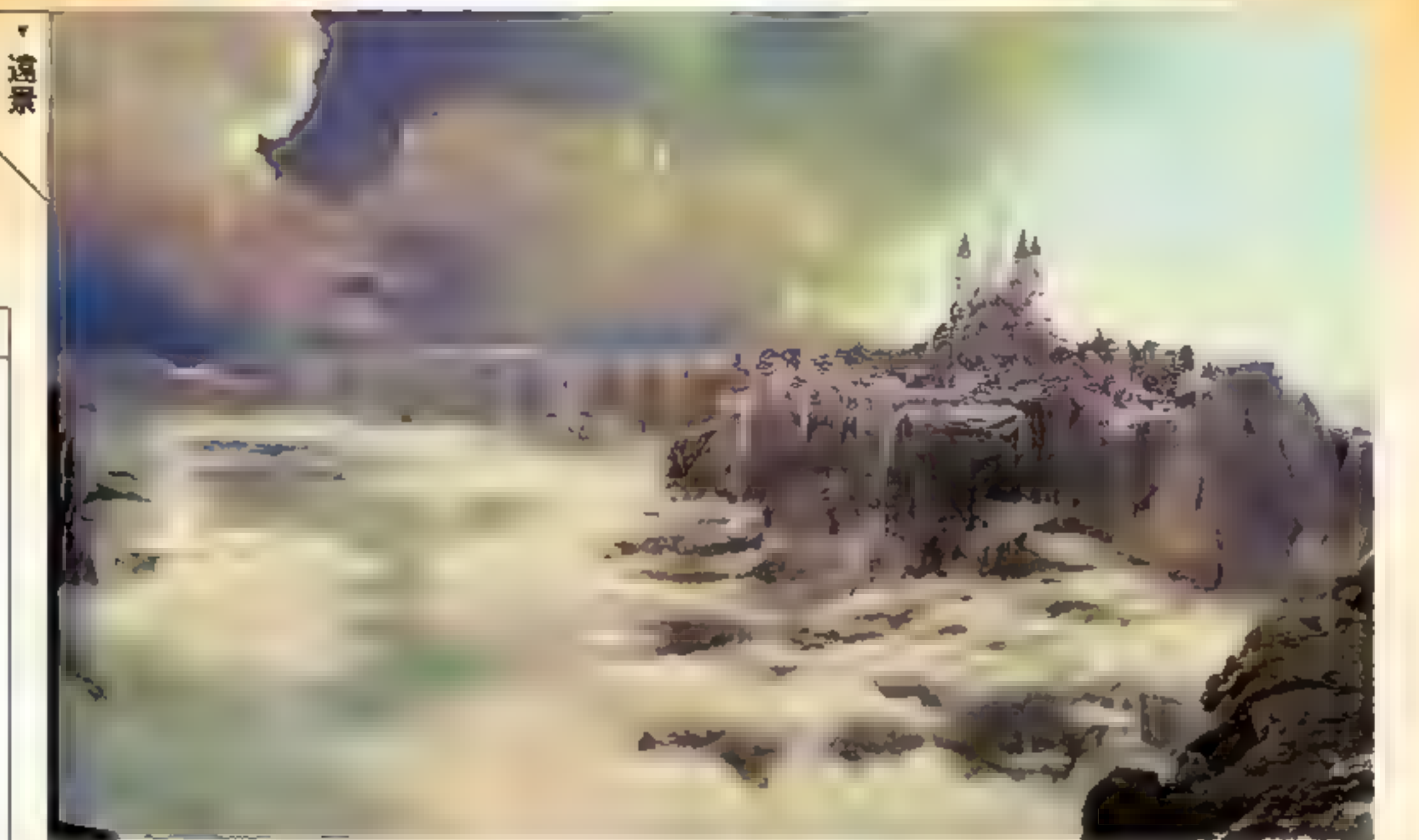
遠景

尖塔

大通り

武器屋&合成屋

城壁イメージ

城側からの全景

ロイヤルボックスからの光景

劇場艇プリマビスタ

物語のスタート地点である、ジタンが所属する劇団兼盗賊団タンタラスの飛空艇。船体後部に演劇用の装置が格納されており、移動手段と劇場の両方の役割を果たす。

▼舞台装置

舞台エレベータ

▶舞台のせり上がり装置

Memorial **Scene**

お芝居の一環としてチャンバラで対決

タンタラスの上演中、ジタンとブランクがチャンバラをくり広げるが、この場面は「ブランクに指示された操作をすばやく行なう」というミニゲーム形式で進行する。操作に成功するたびにジタンが華麗なアクションを披露し、最後は観客とプラネの満足度に応じたギルやアイテムがもらえるのだ。

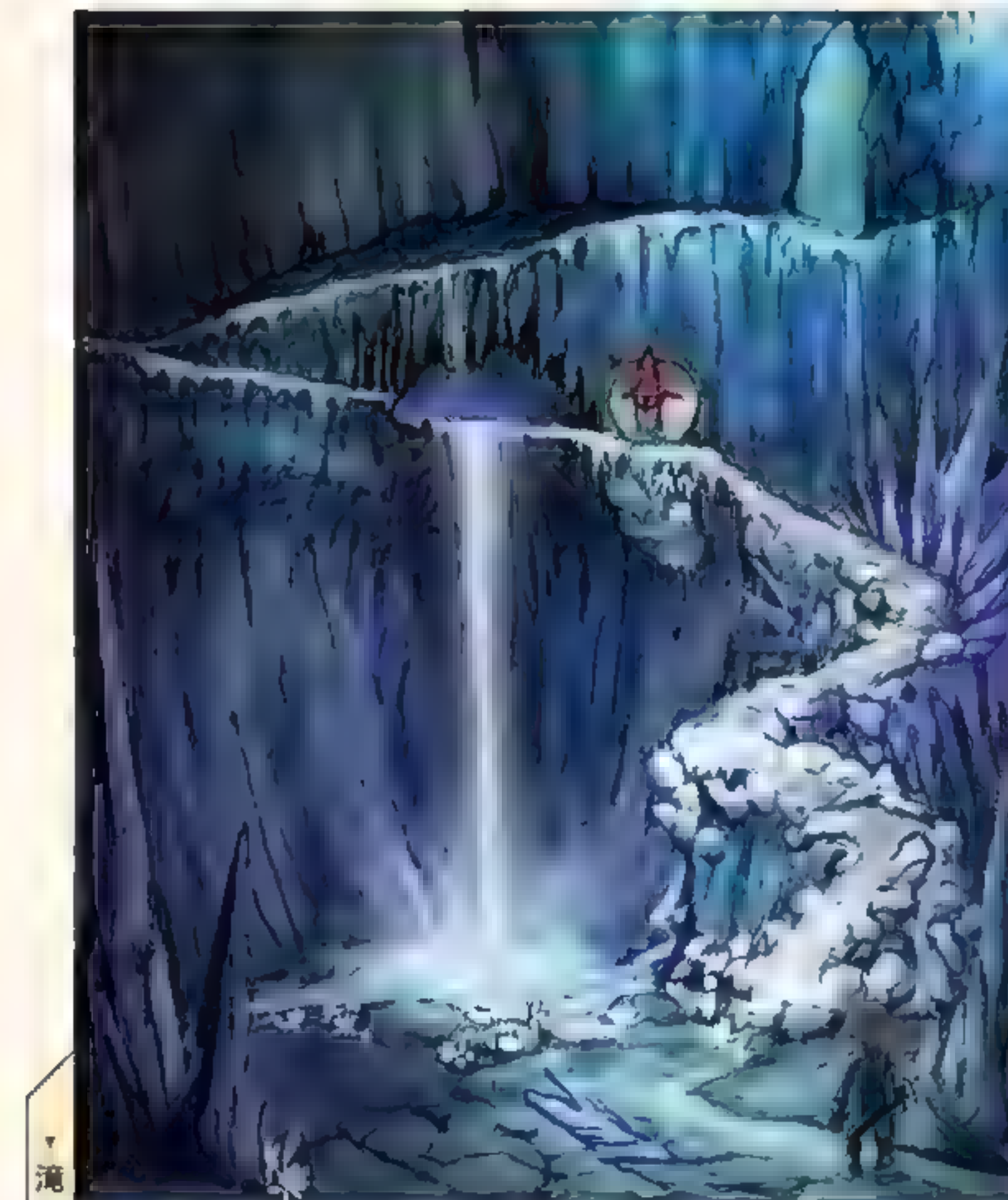
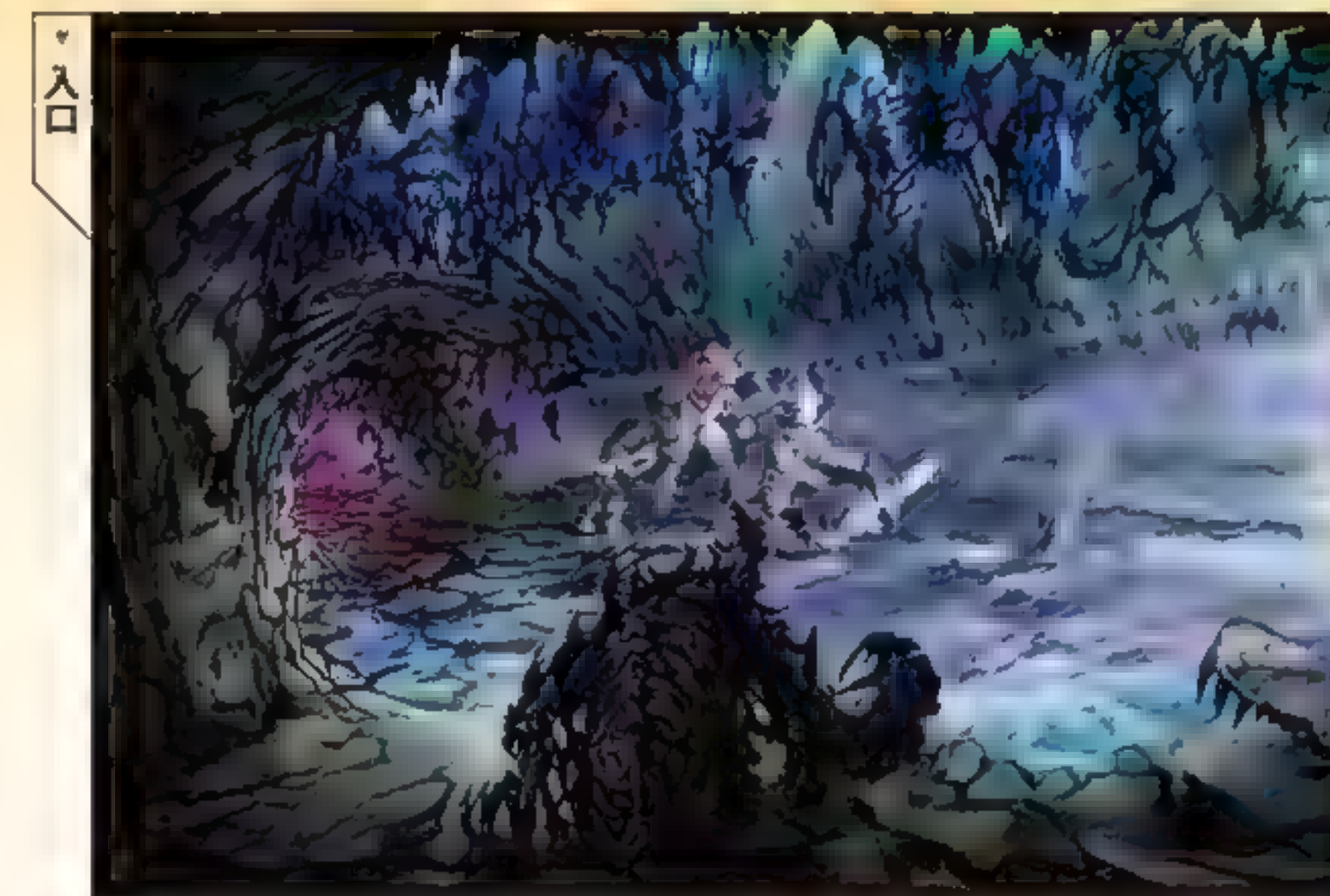
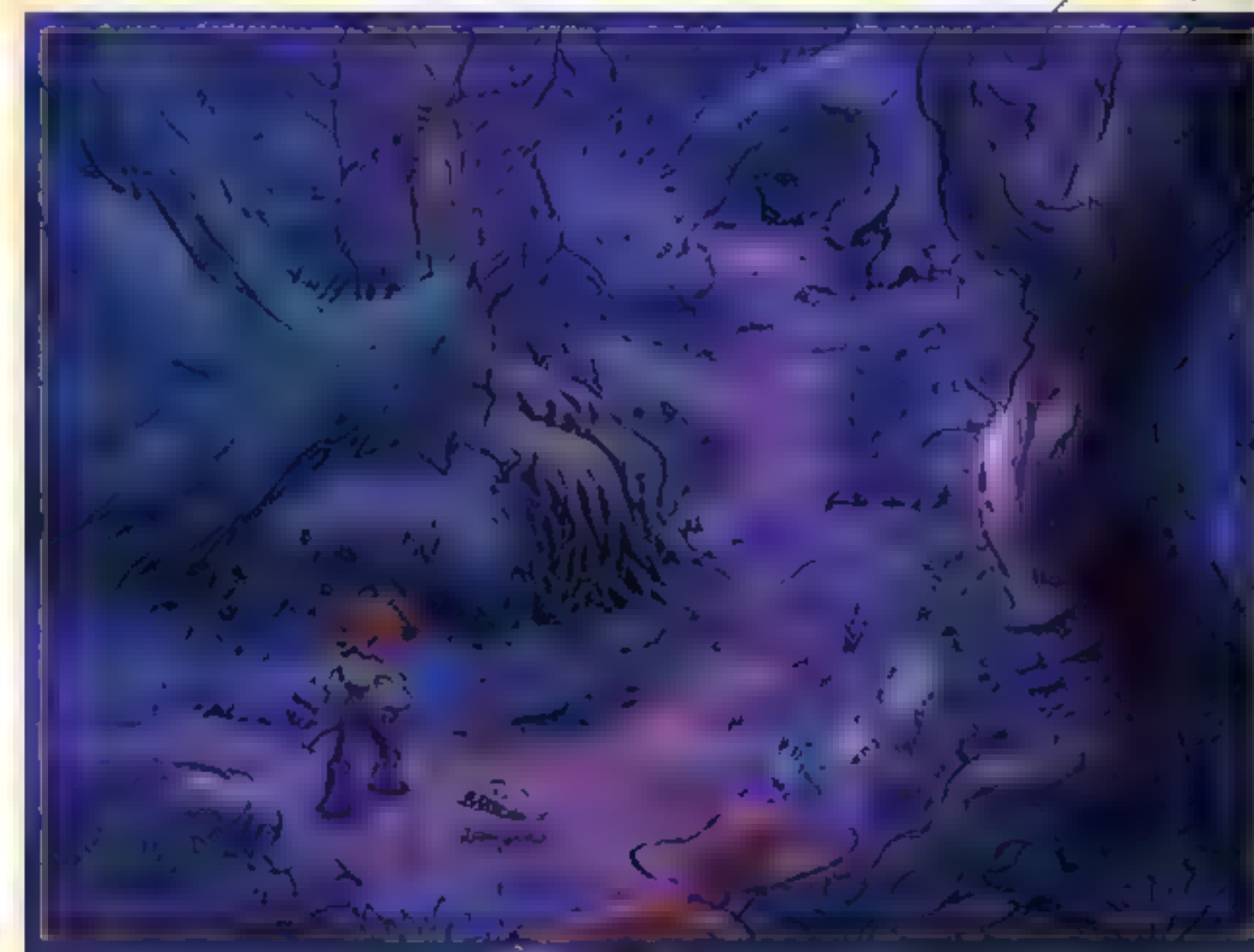
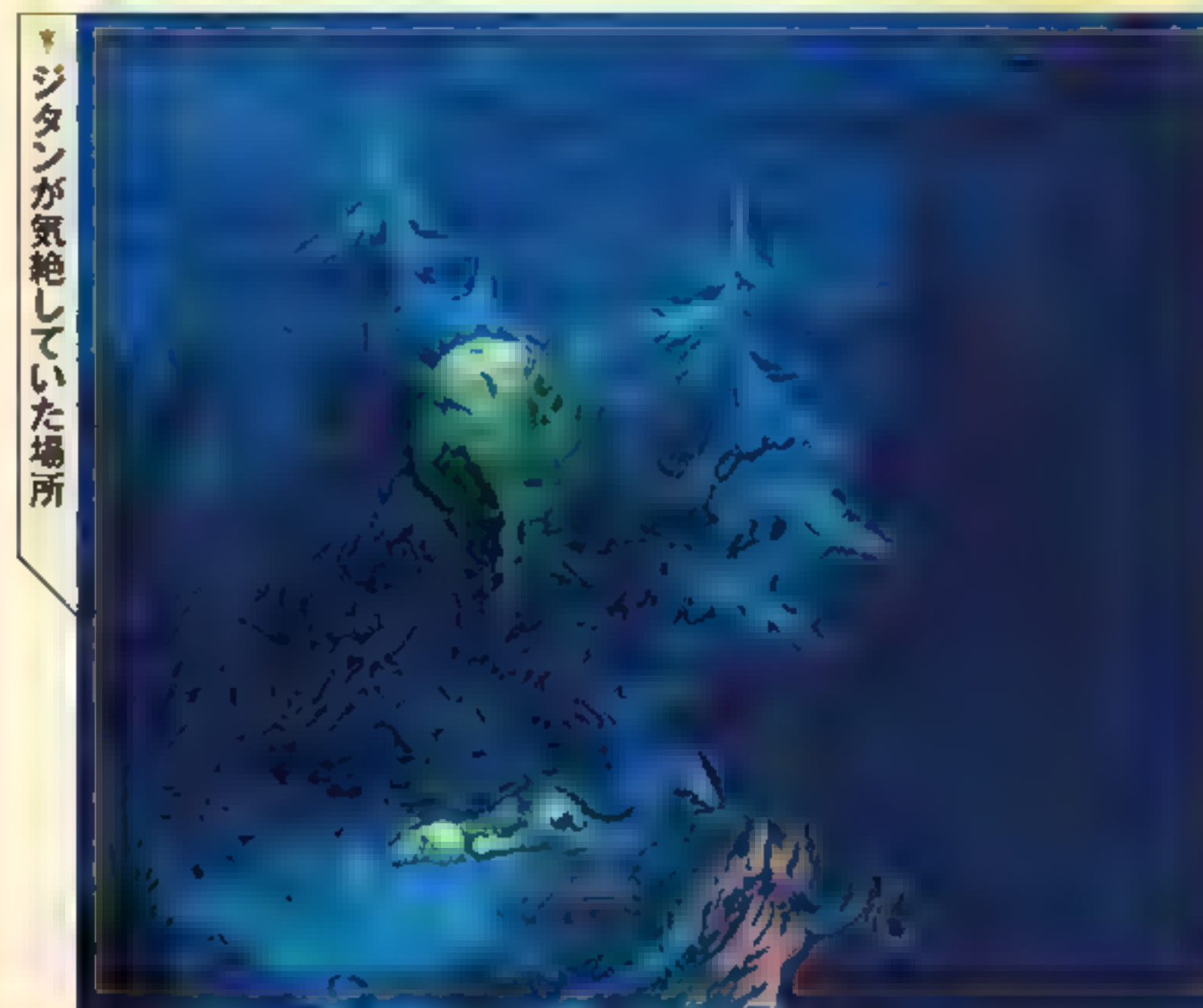
魔の森

アレクサンドリア王国の南部に位置する森。低地にあるせいで、生物を凶暴化させる"霧"が濃く、森の主である食肉植物プラントブレインをはじめとした魔物が多く棲む。

▶獣道

▼ジタンが気絶していた場所

▶墜落したプリマビスタ

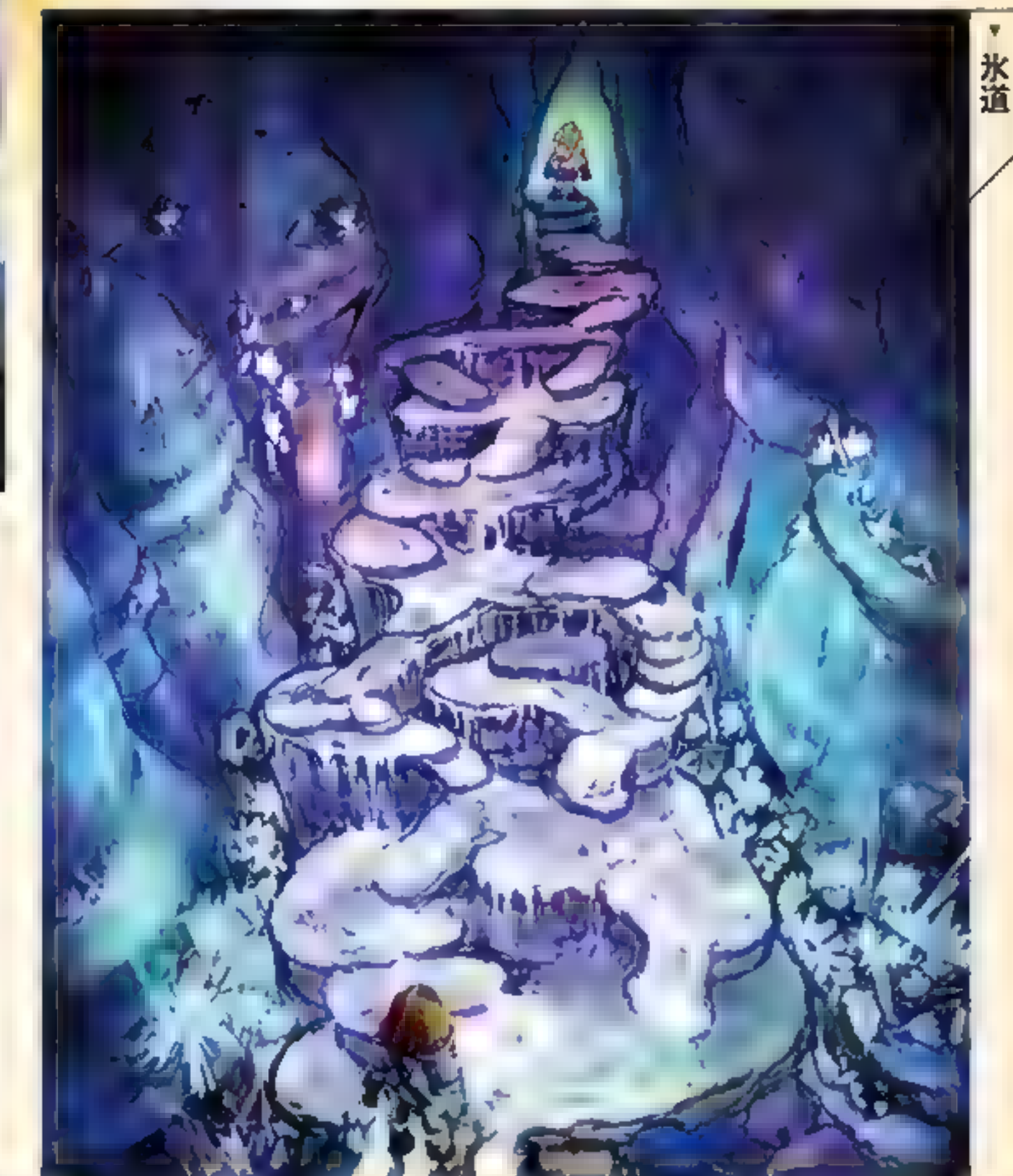
▶泉

氷の洞窟

近くにある魔の森が放つ魔力の影響で、強烈な冷気が絶えず立ちこめる洞窟。アレクサンドリア地方の低地と高地を結ぶ場所だが、道中の数ヵ所が氷でふさがれているため、この洞窟を通ろうとする人はあまりいない。

▼入口

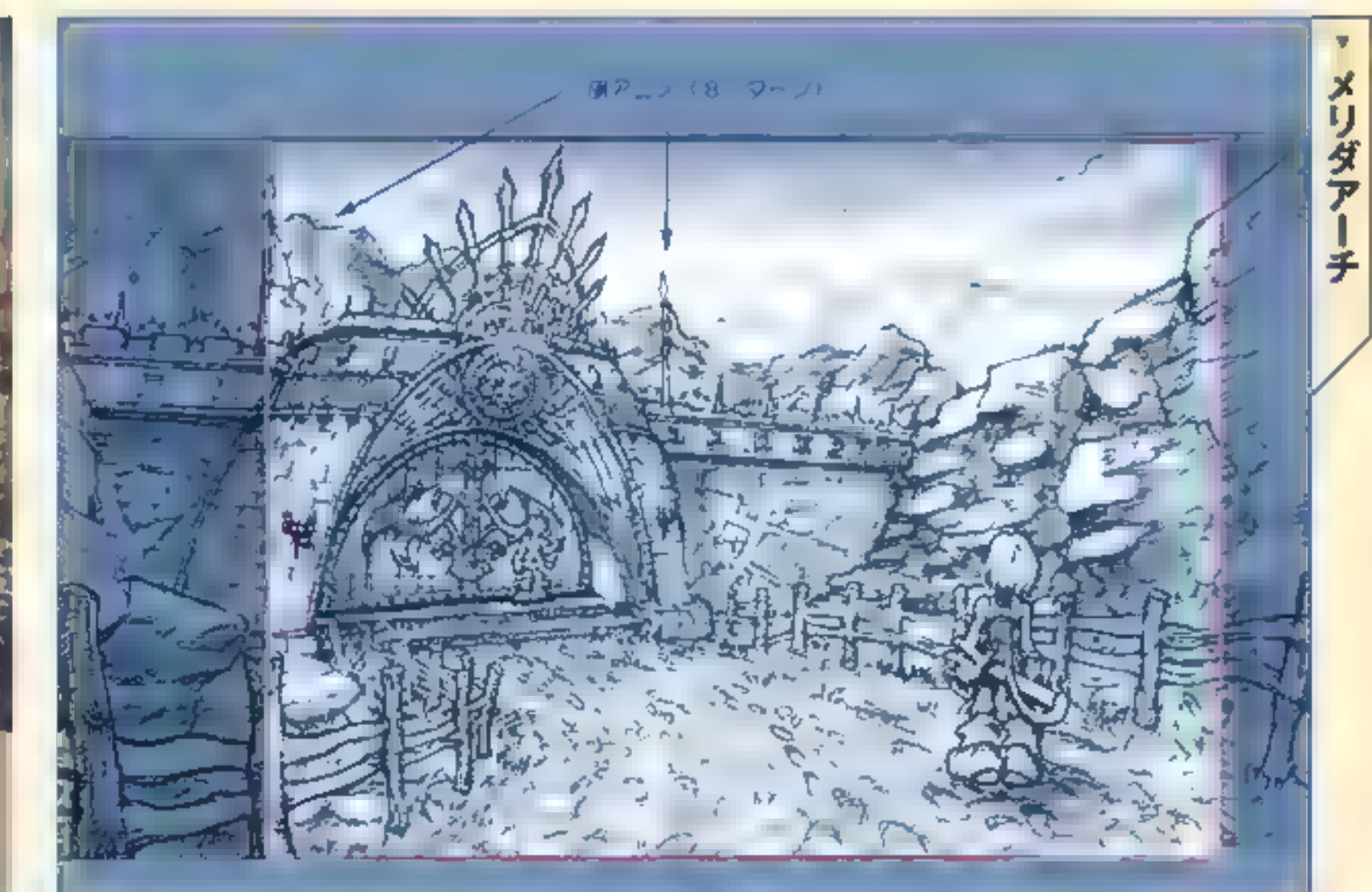
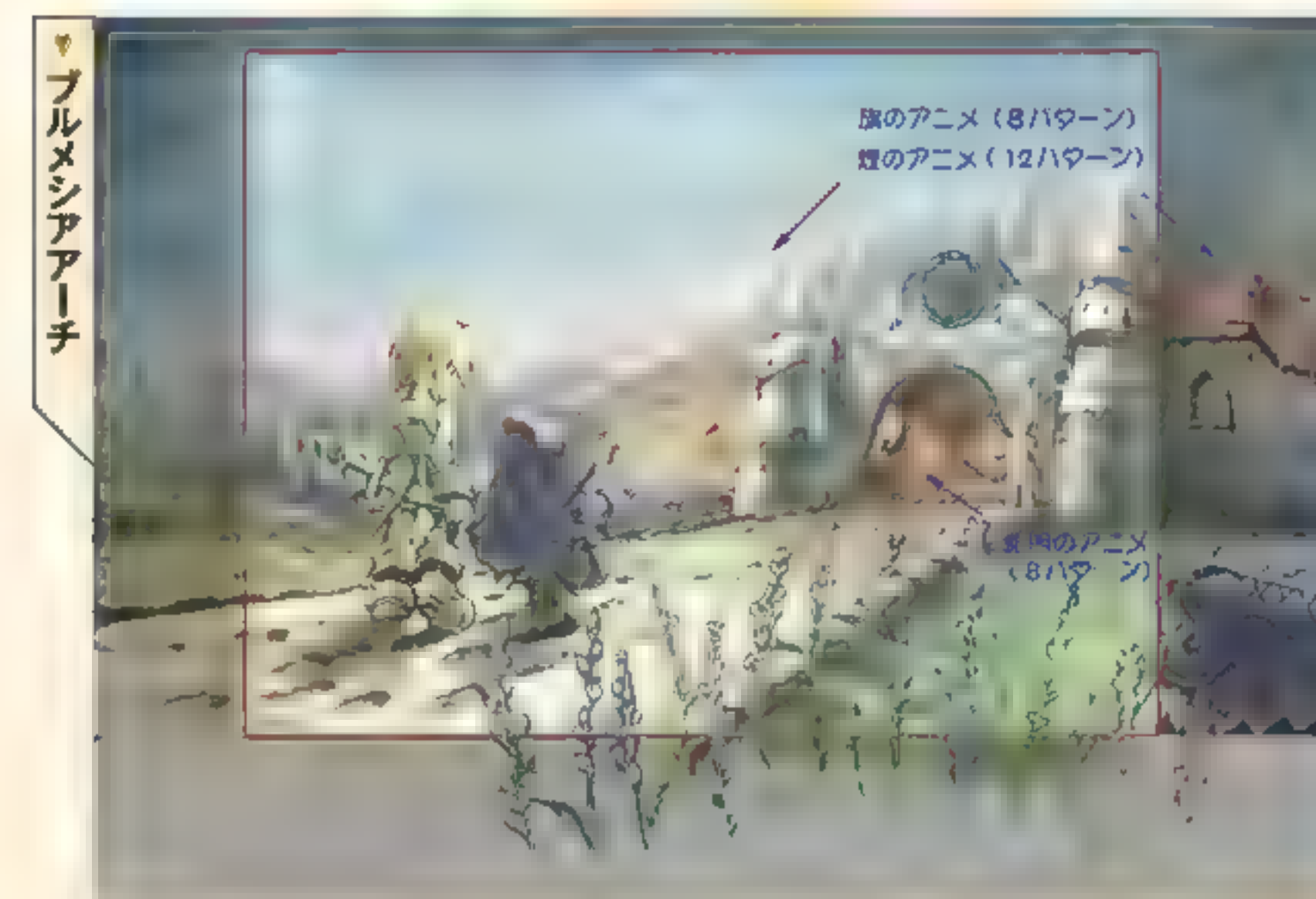
▼氷道

▼滝

▼出口の外

北ゲート

アレクサンドリアとブルメシアの国をへだてる山脈のふもとに造られた門。西側の門はブルメシアアーチ、東側の門はメリダアーチと呼ばれ、両国の交通における重要拠点だったが、戦乱の影響で現在はどちらも閉鎖中。

▼ブルメシアアーチ

▼メリダアーチ

リンドブルム巨大城

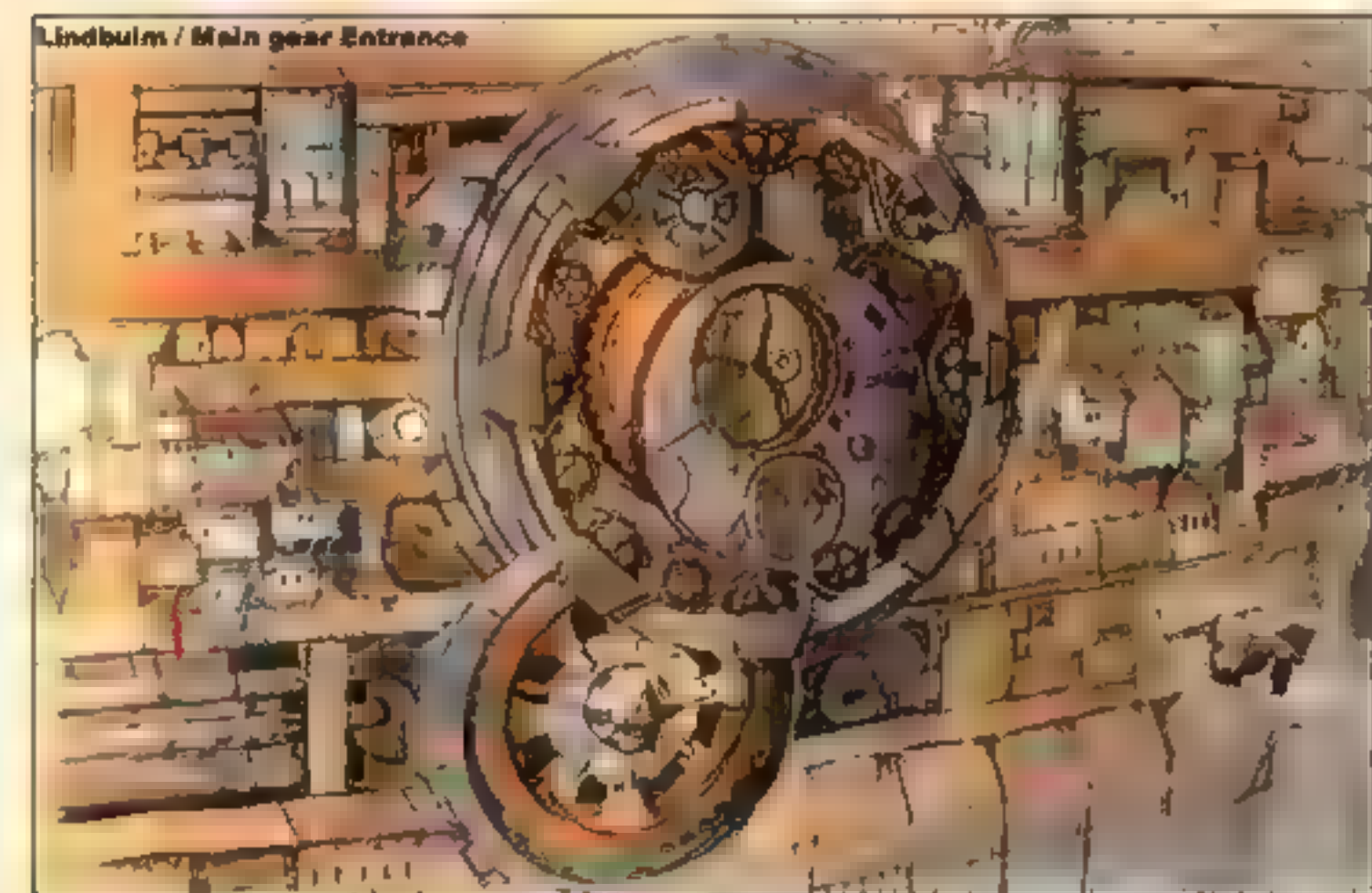
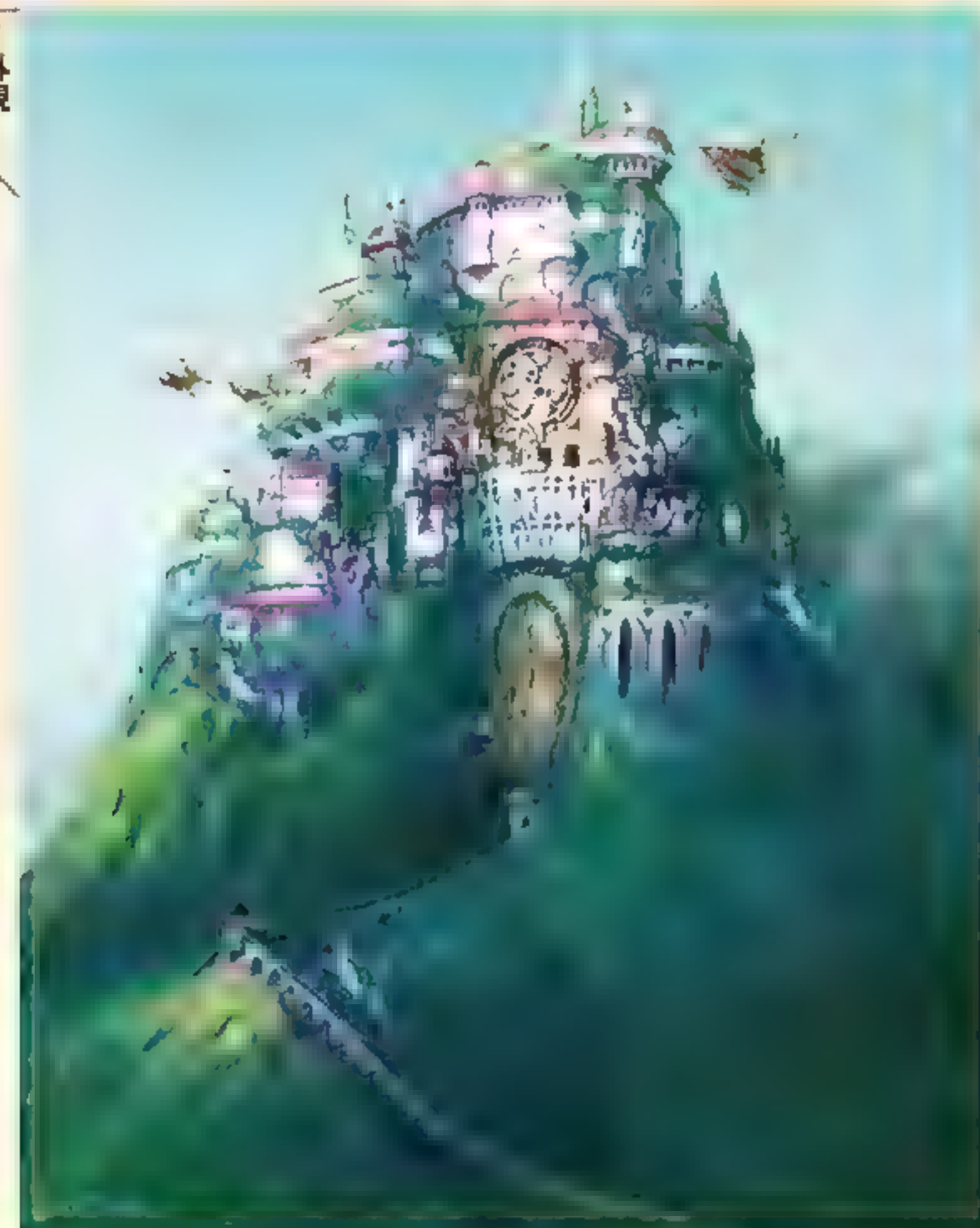
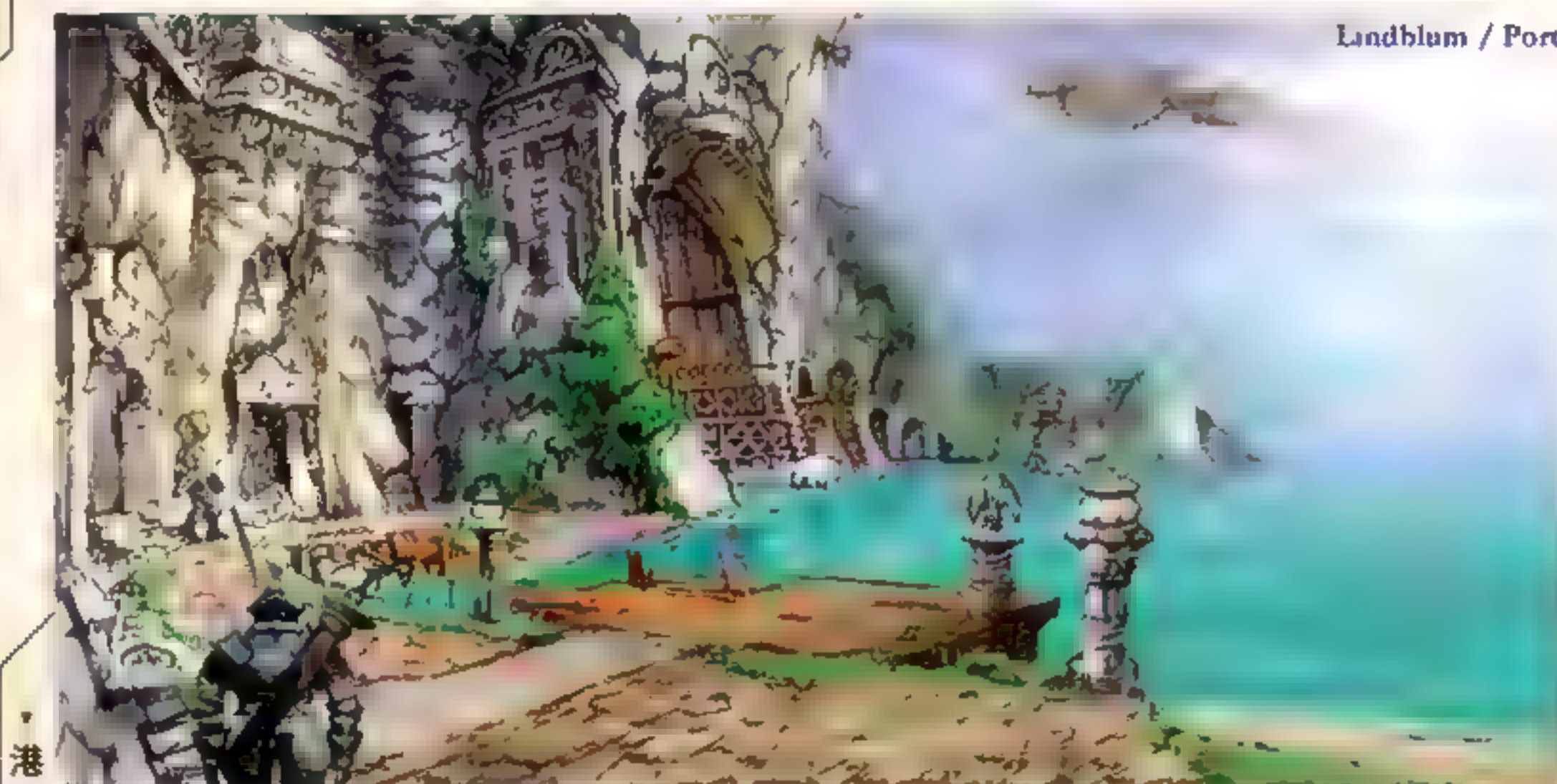
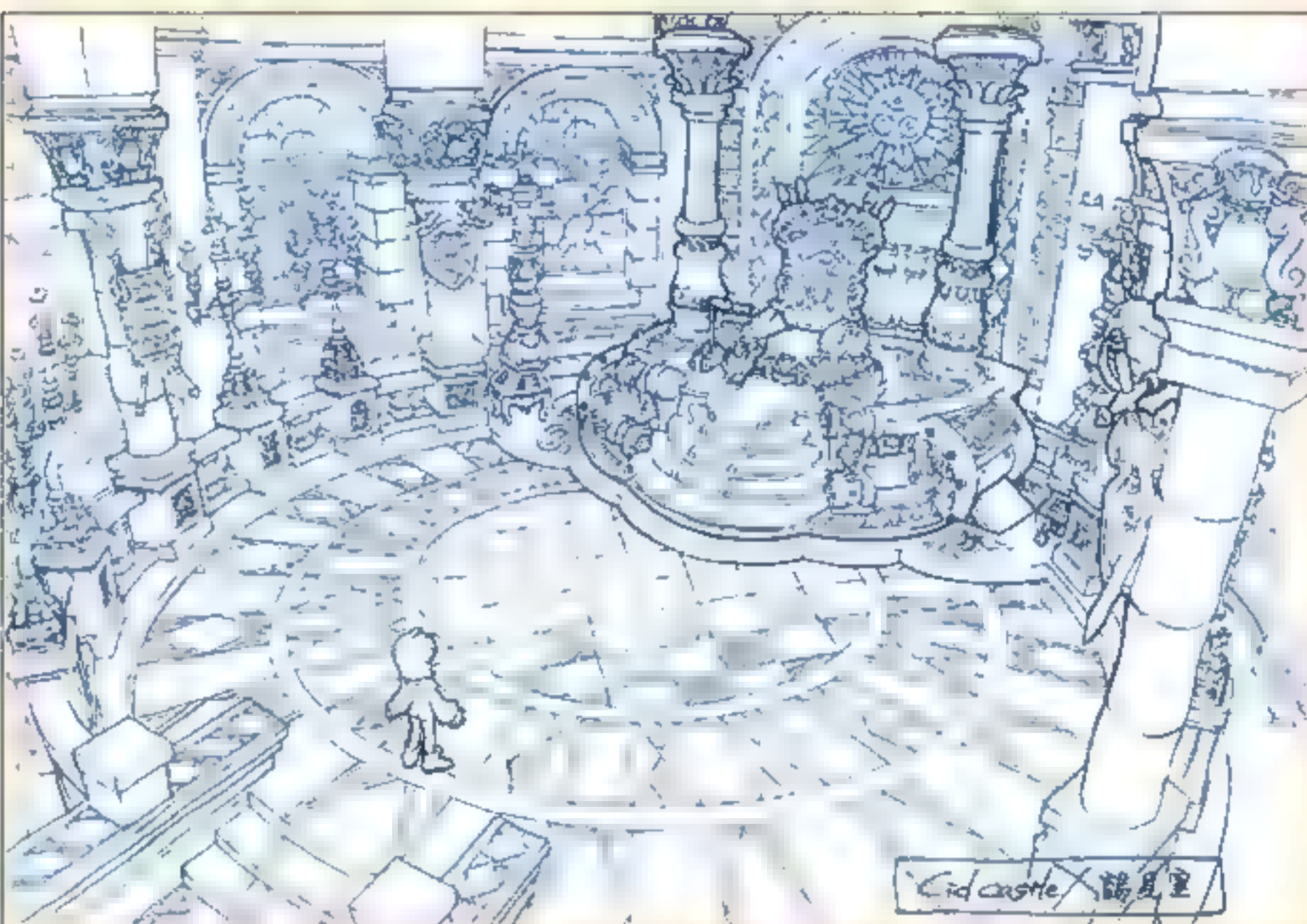
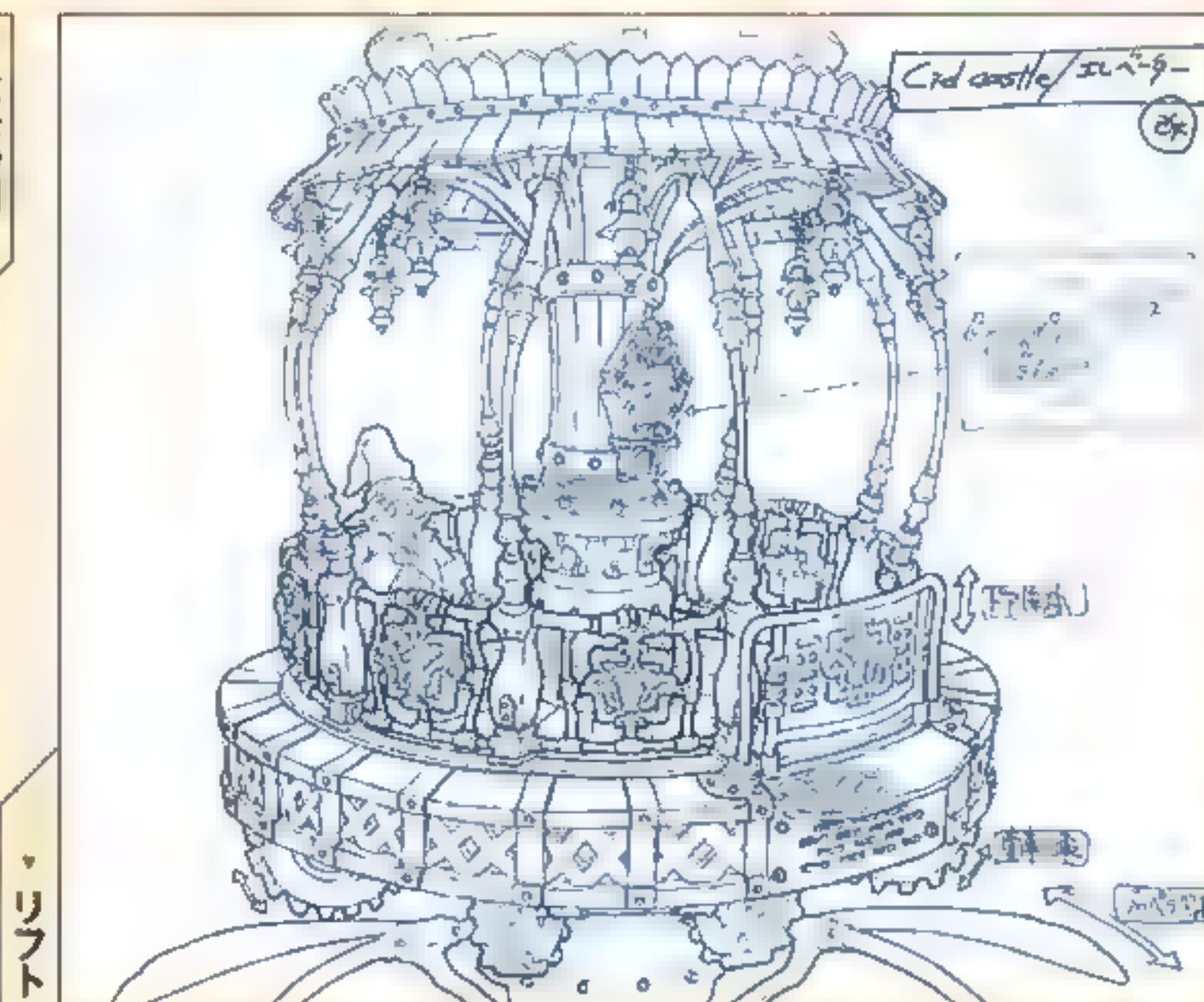
リンドブルム公国の中心地。大公の間などがある最上層、飛空艇での出入りが可能な中層、低地や海に通じている最下層で構成され、城の中央にあるリフトに乗ればそれぞれの階層を行き来できる。

外観

飛空艇ゲート

メインゲート

夜景

港

大公の間

リフト

リンドブルム

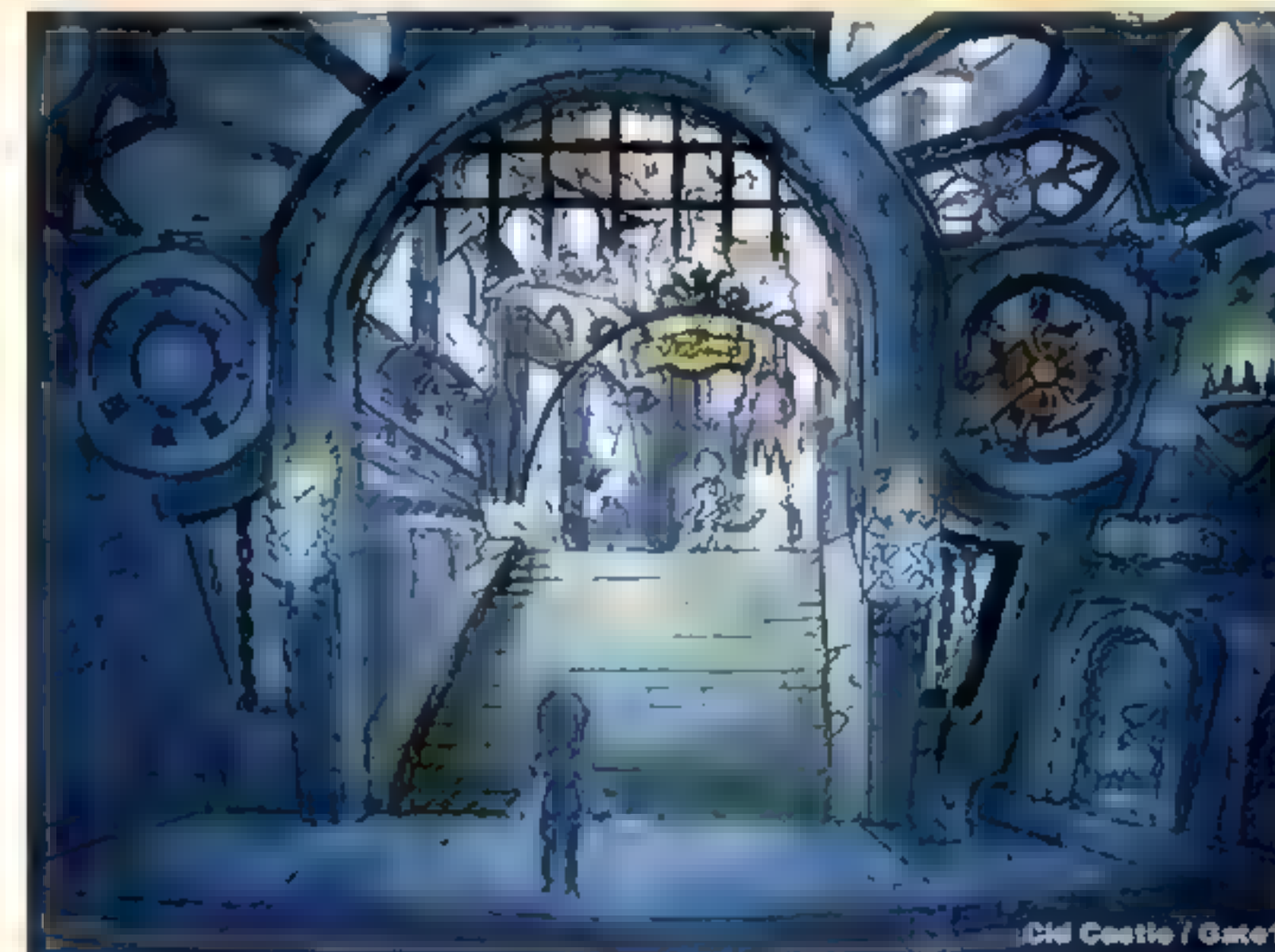
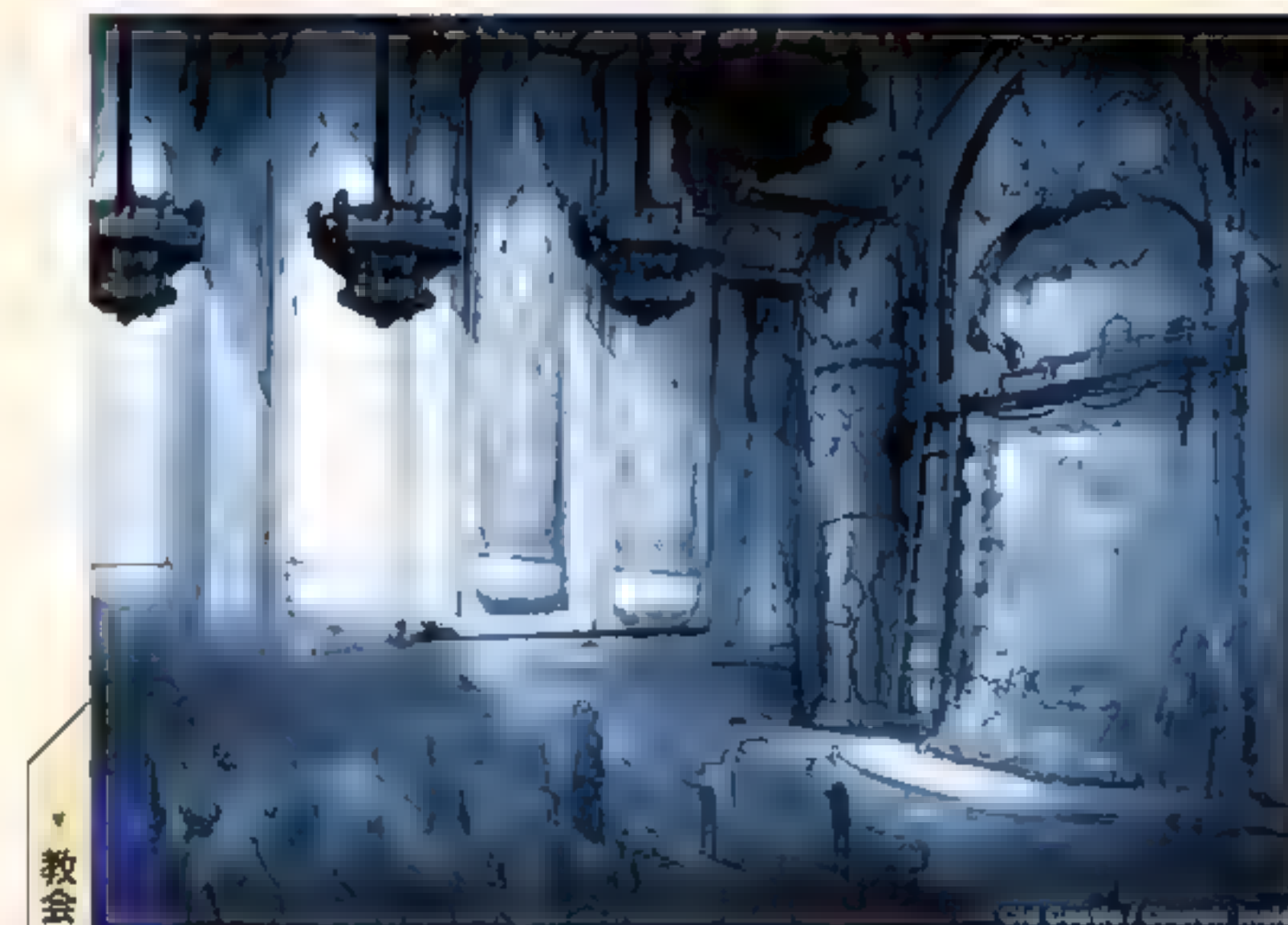
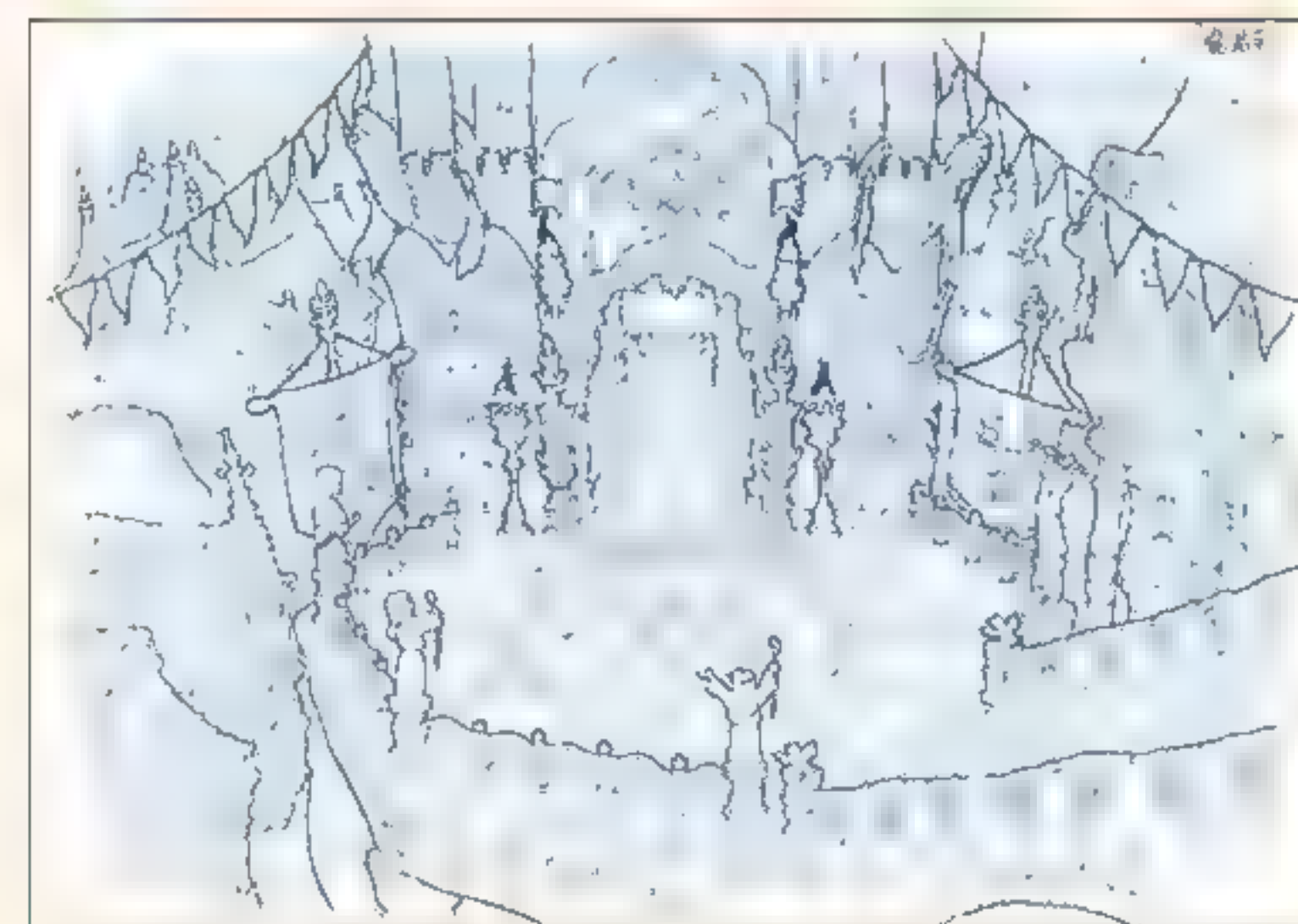
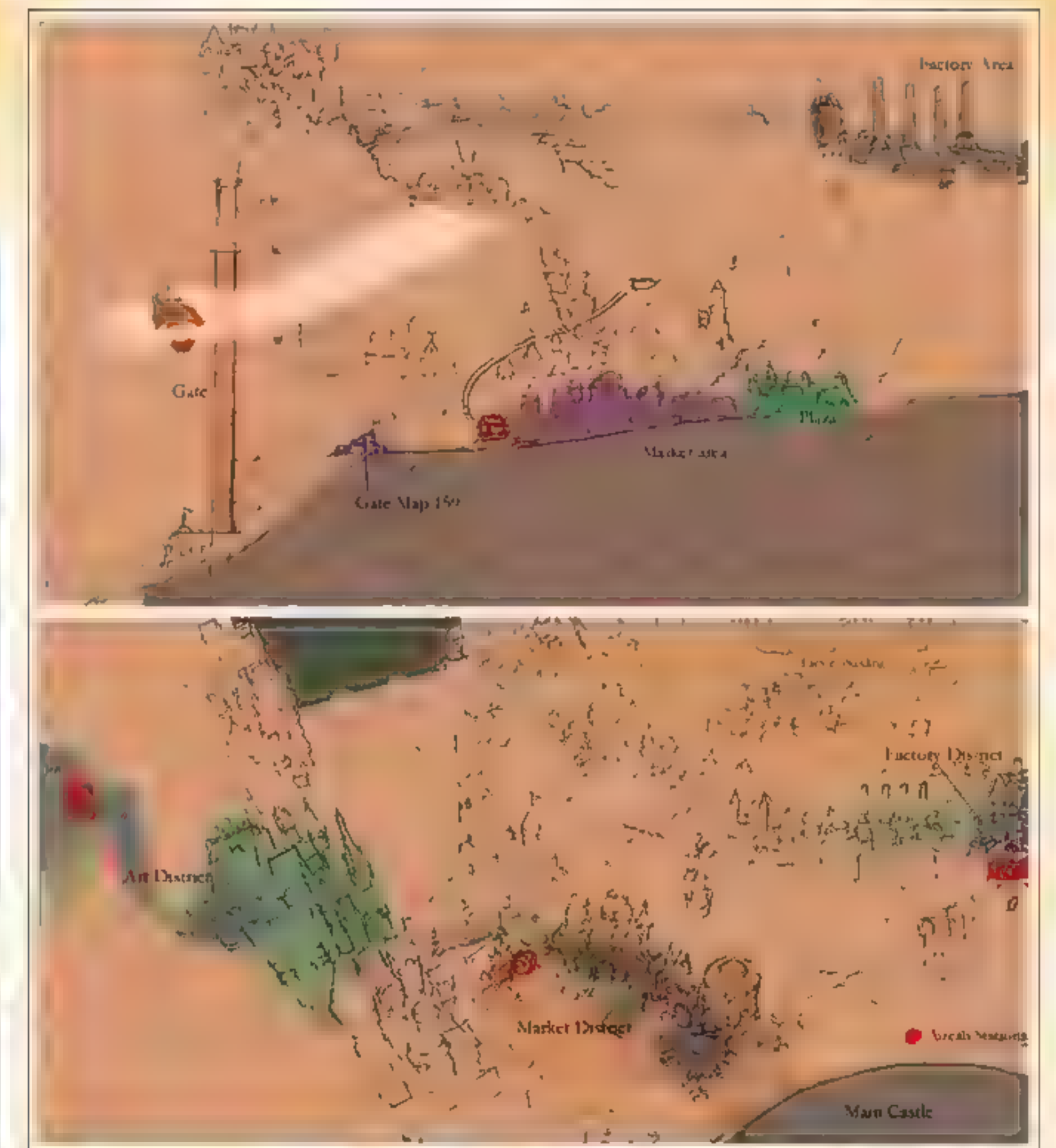
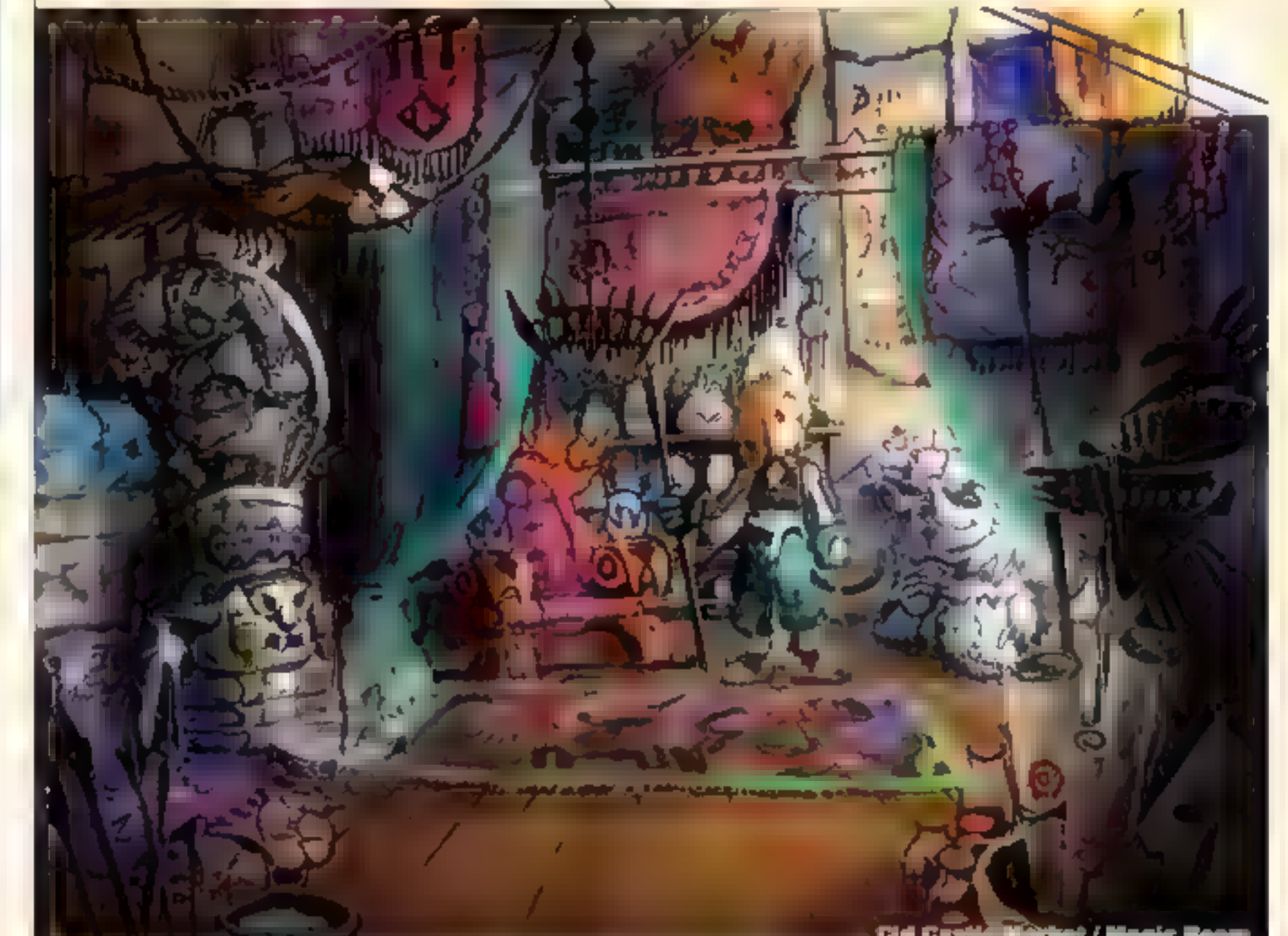
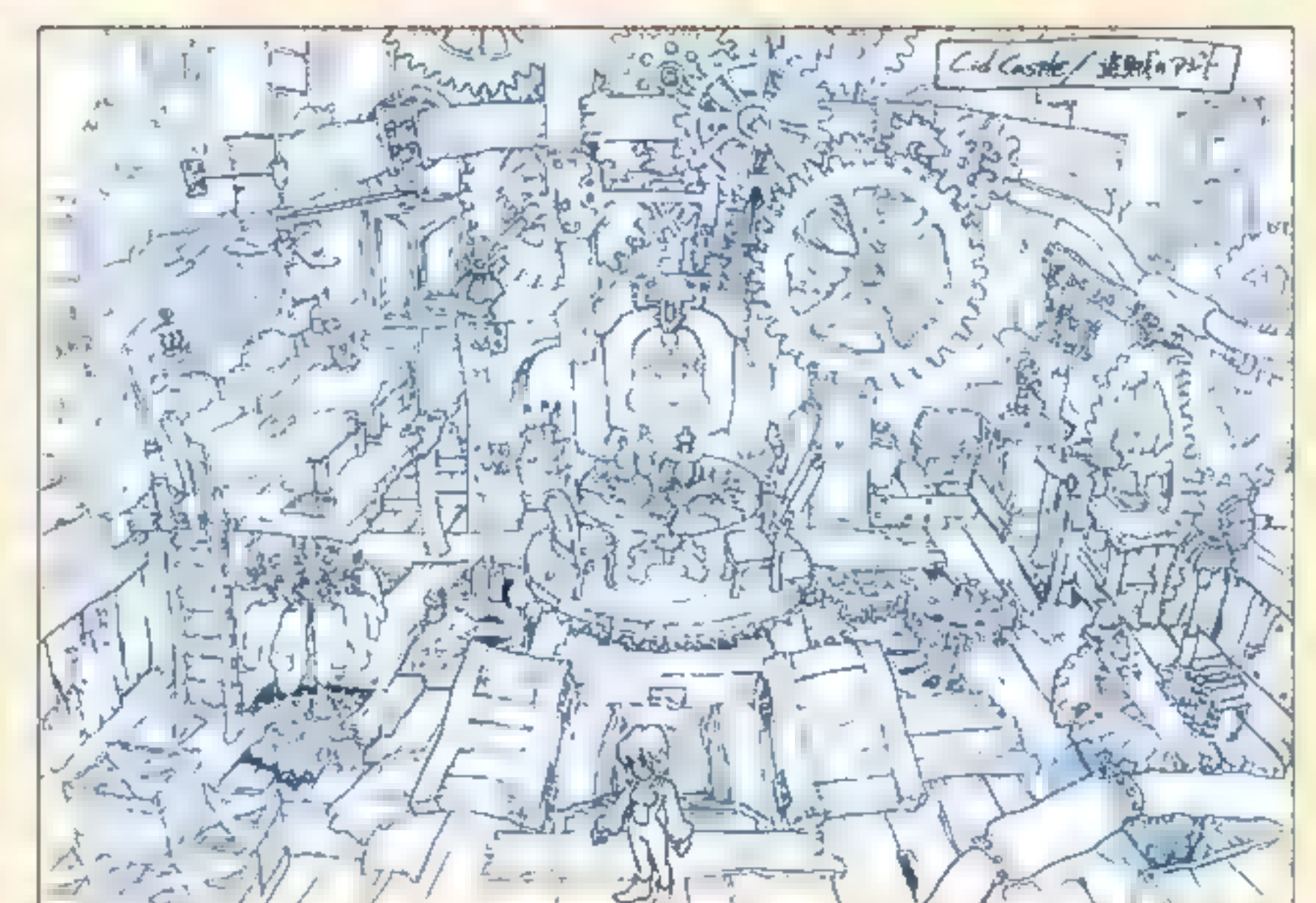
巨大城の城壁に囲まれた都市。工場区、商業区、劇場街の3区画にわかれ、劇場街にはタンタラスのアジトがある。街に大量の魔物を放って狩りの腕を競う「狩猟祭」は、毎年恒例の名物行事。

竜座の門

街区の配置図

教会

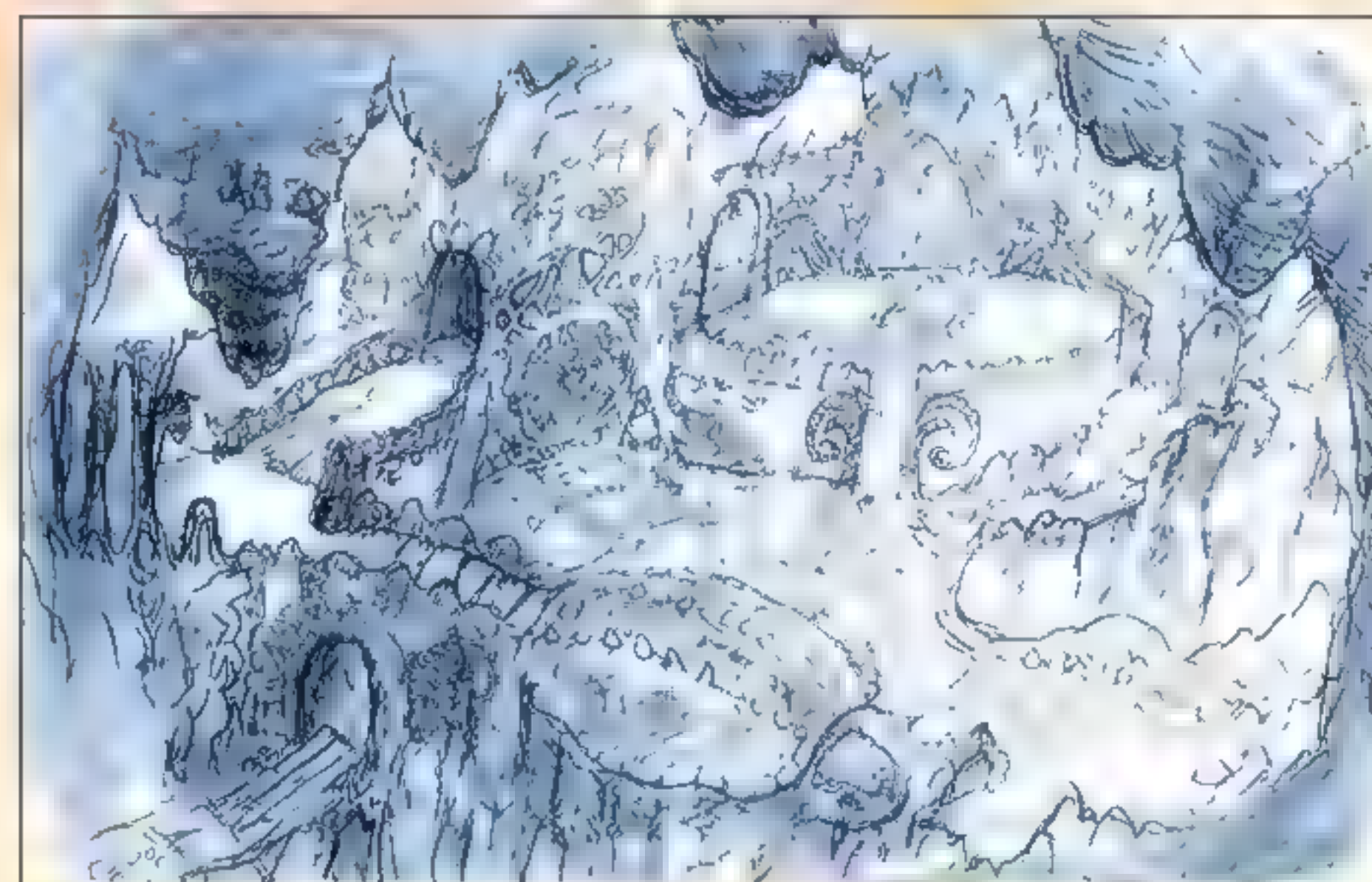
マジックルーム（未採用マップ）

劇場

Memorial **Feature**

劇場街のスーパースター、ロウェル

リンドブルムでは、ロウェル=ブリッジスという男性俳優が人気。劇場前にはファンが詰めかけており、彼は人知れず外出するためにモーグリの着ぐるみで変装するというひと幕も。のちにアレクサンドリア軍の襲撃で劇場を失うロウェルだが、ルビィが設立した小劇場をジタンに紹介され、ふたたび舞台に立つ。

アジト

▸洞窟

ギザマルークの洞窟

ブルメシア地方の守護獣ギザマルークが棲む地。リンドブルム方面へと通じる洞窟でもあるが、一部の扉にはブルメシア特有の仕掛けがほどこされ、対応するベルを鳴らす方法でしか開けられない。

▸契り窟（ベル近辺）

南ゲート

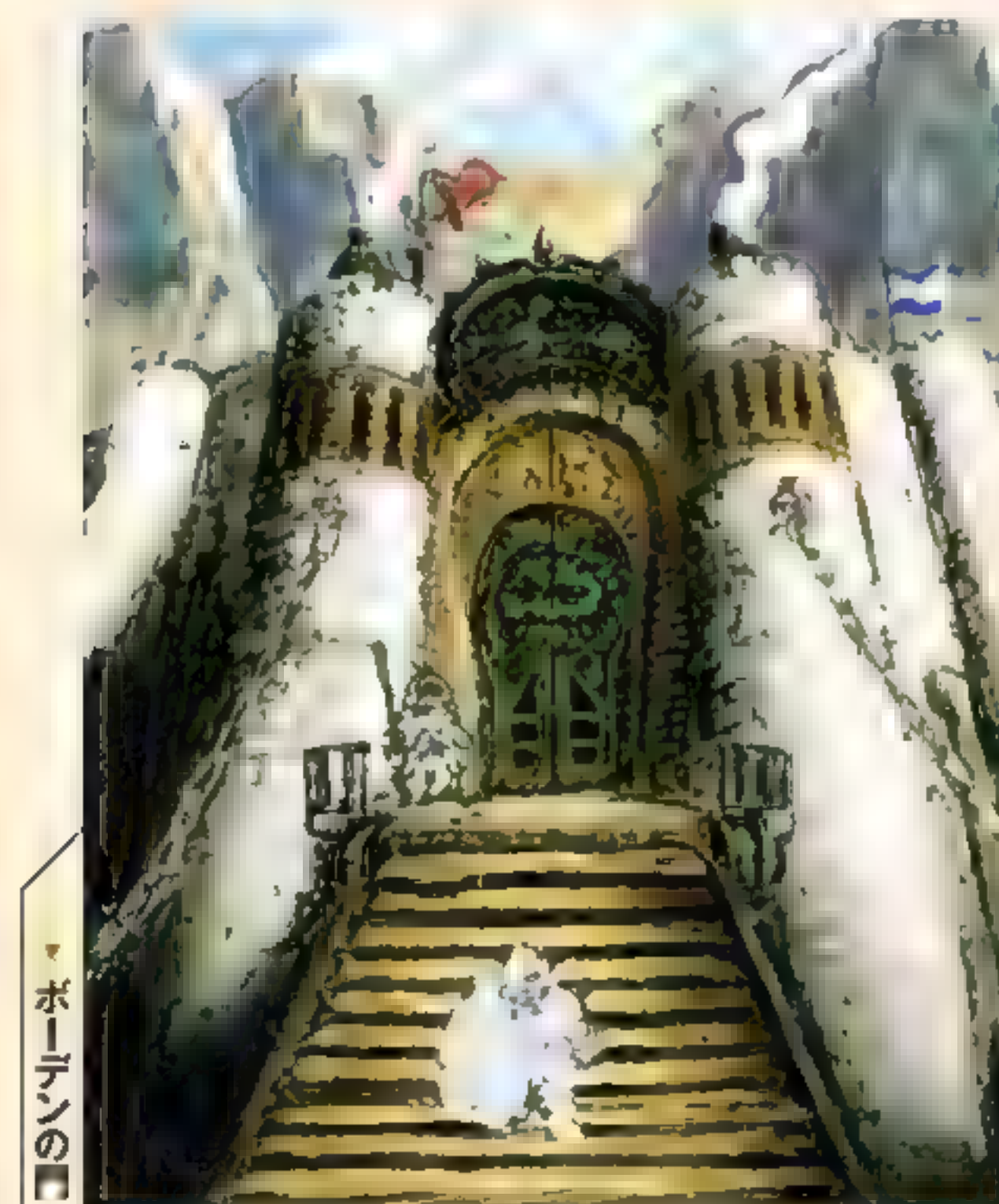
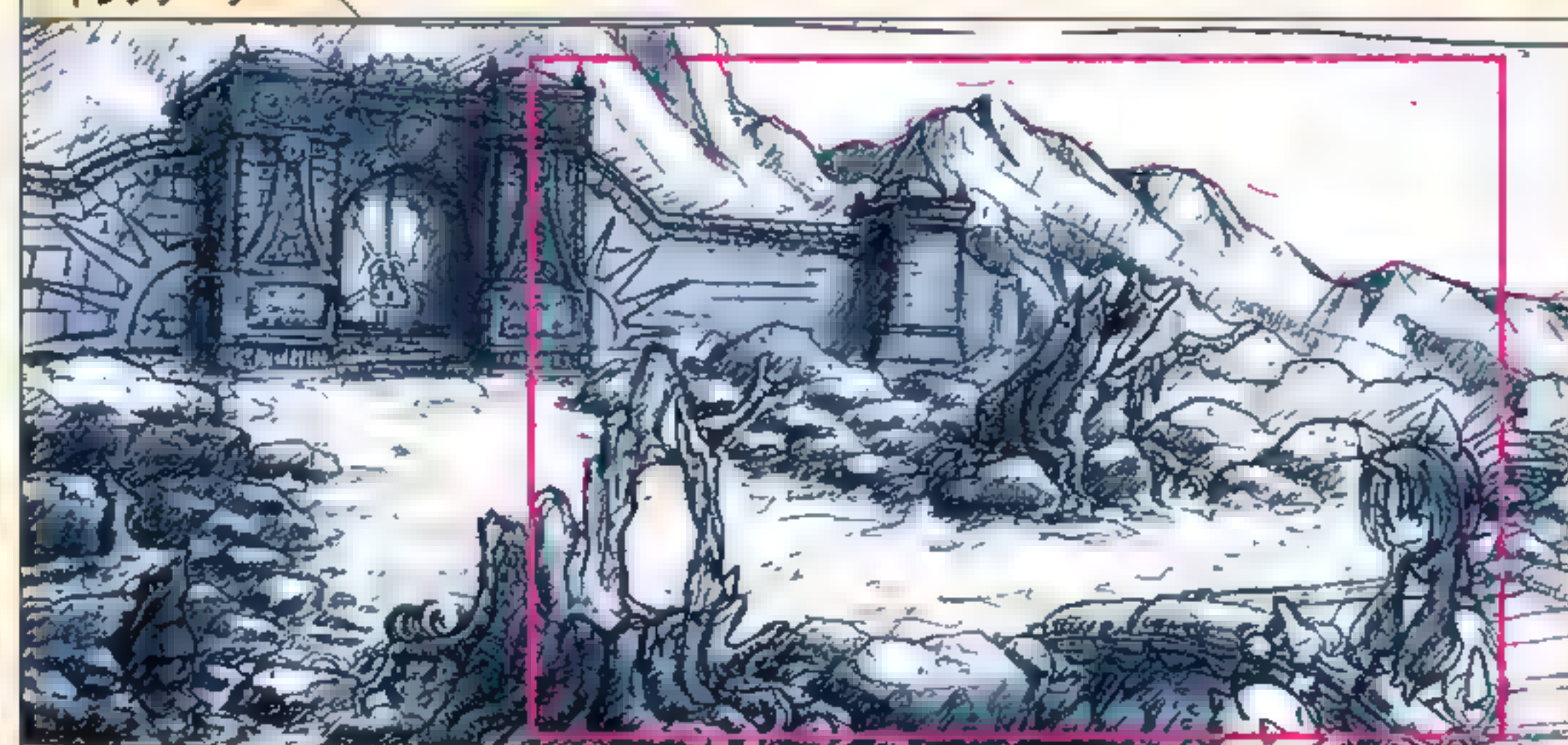
アレクサンドリアとリンドブルムの国境に建つ巨大な門。飛空艇用のトンネルや、山岳列車「鉄馬車」用の中継駅がある。低地への出入口となるトレノアーチとボーデンアーチは、ともに封鎖中。

▸外観

▸案内板

▸橋

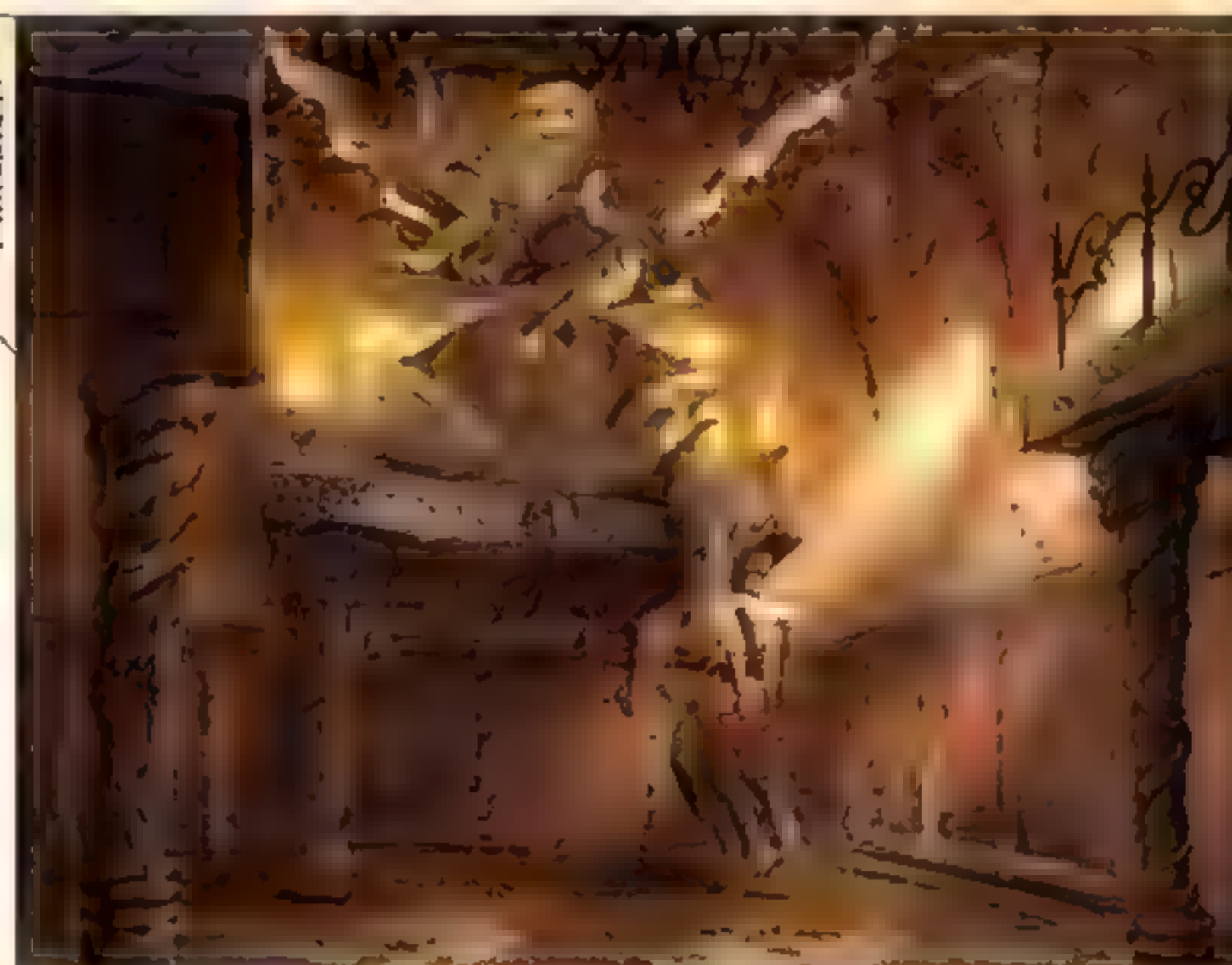
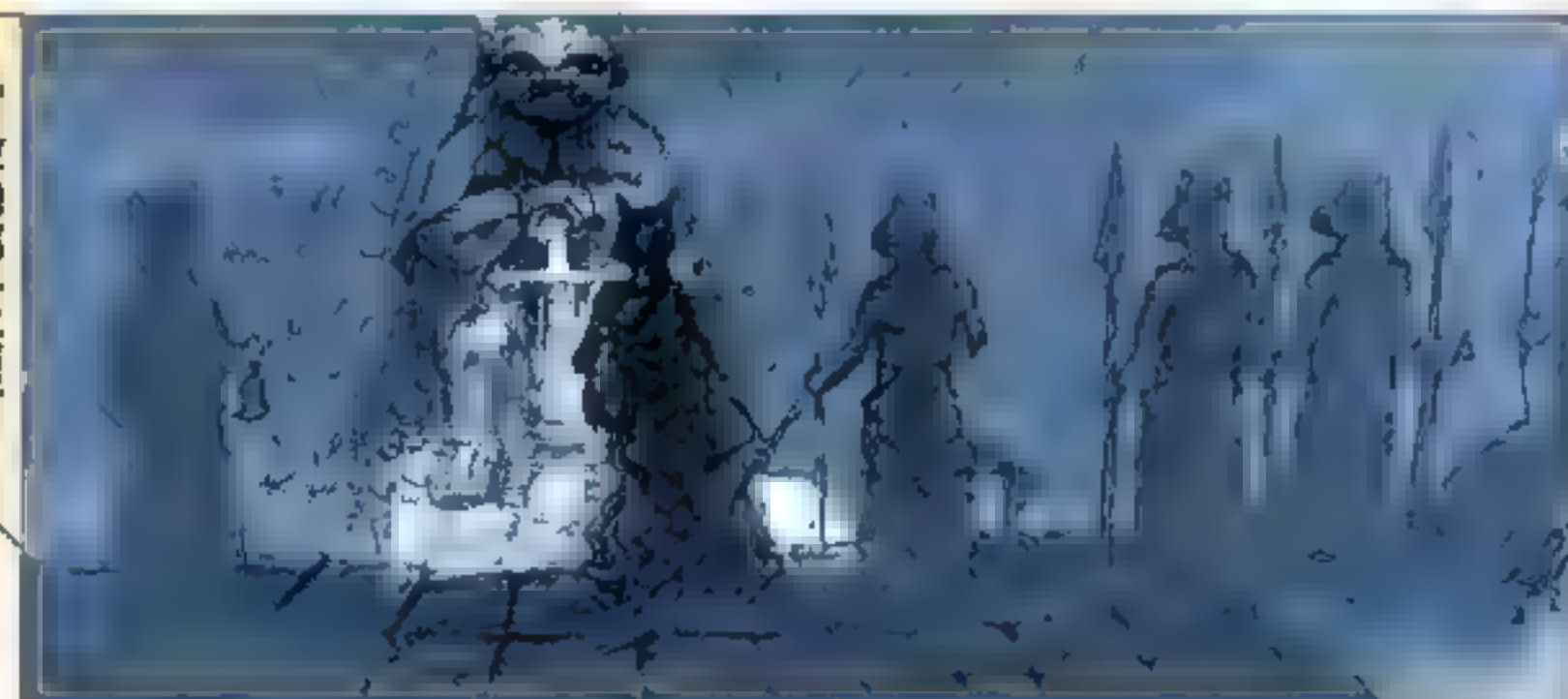
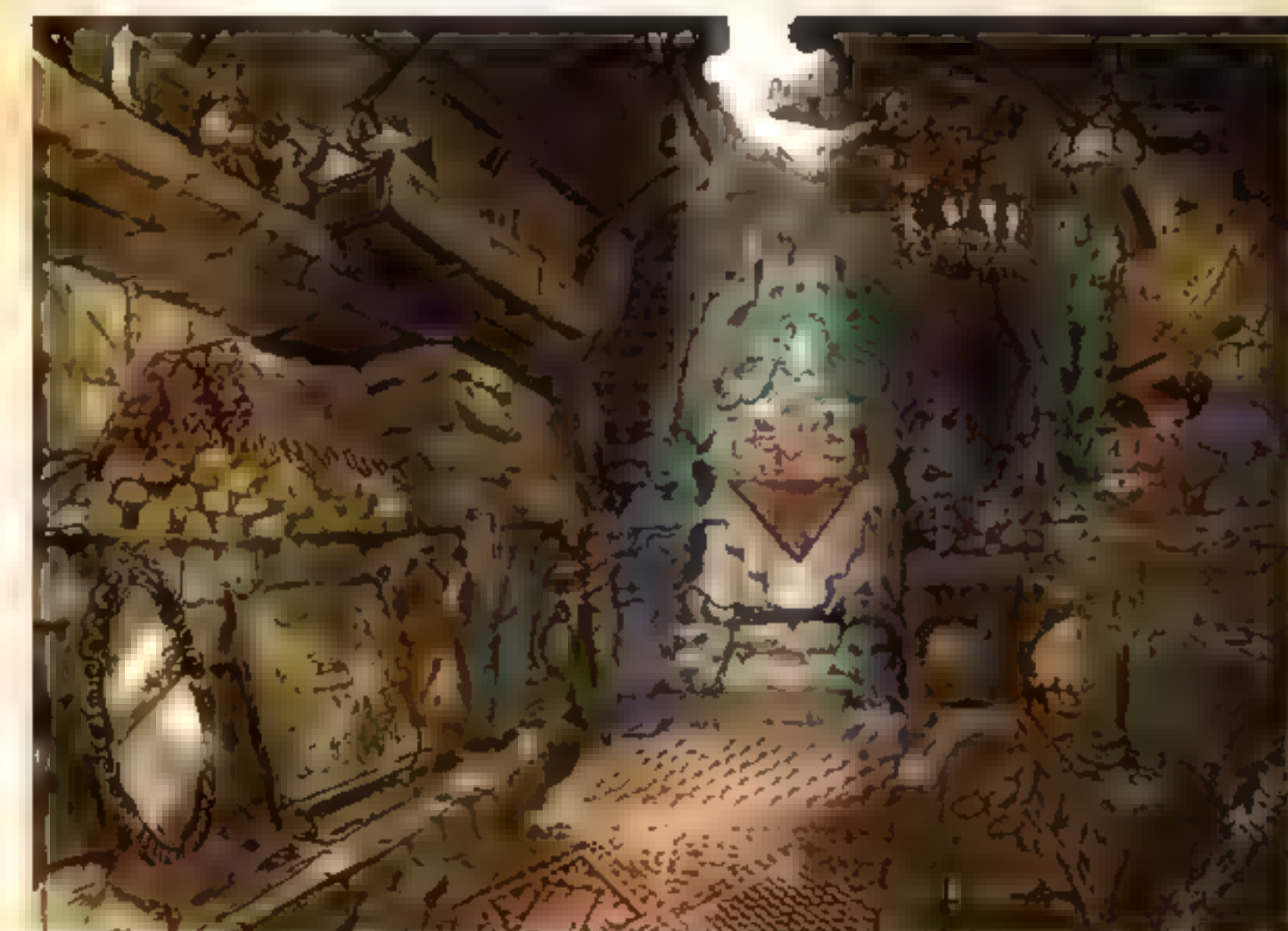
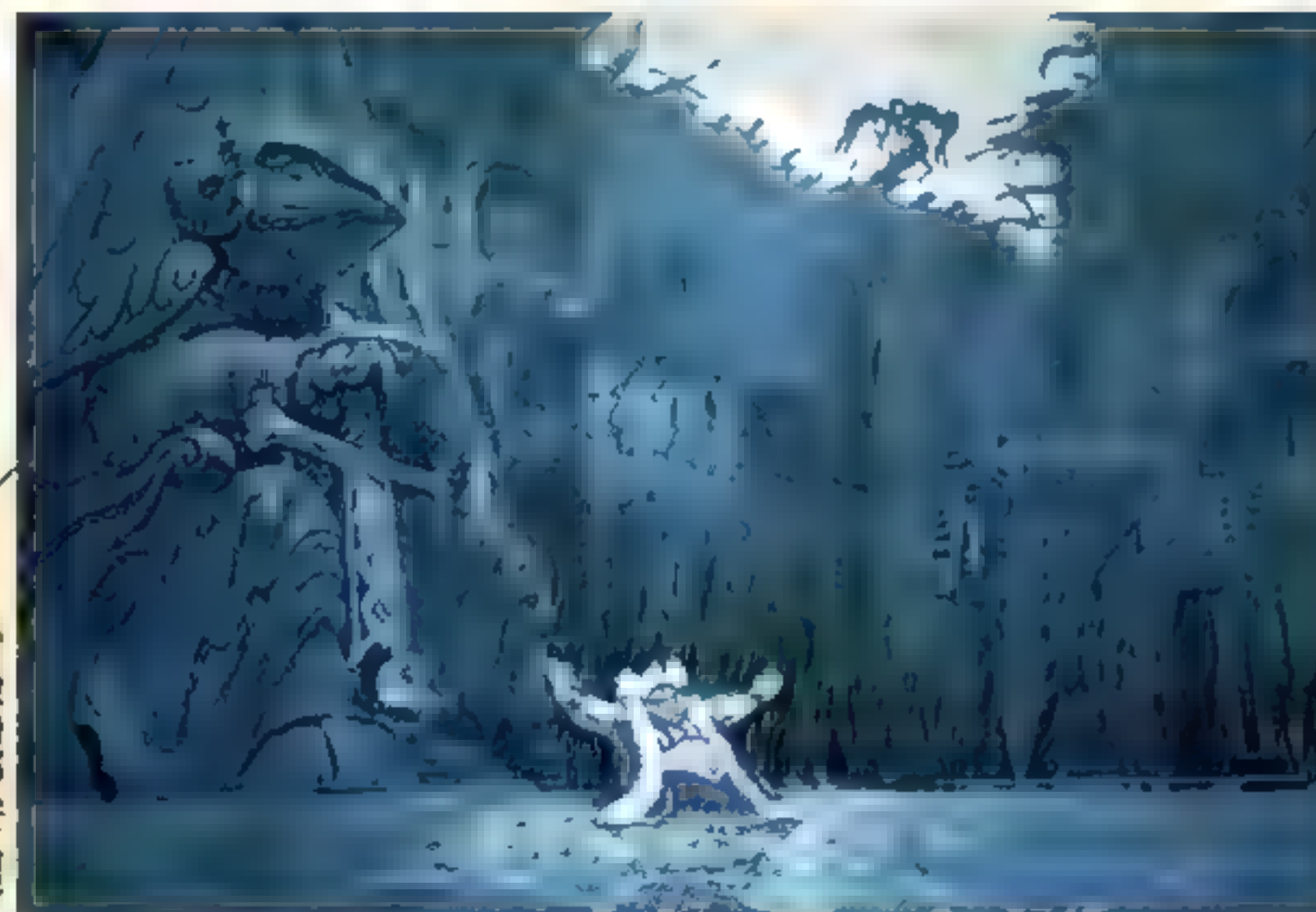
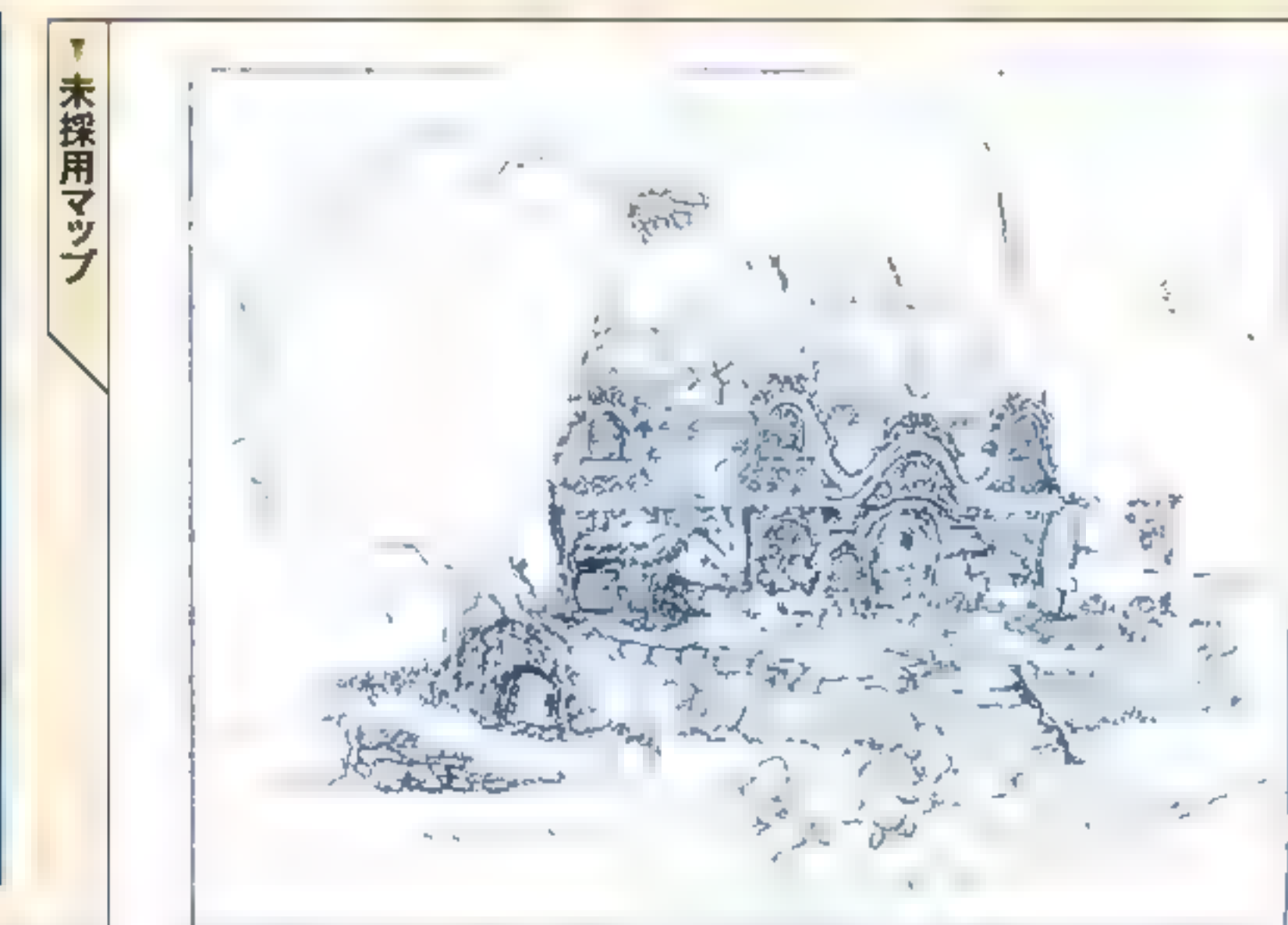
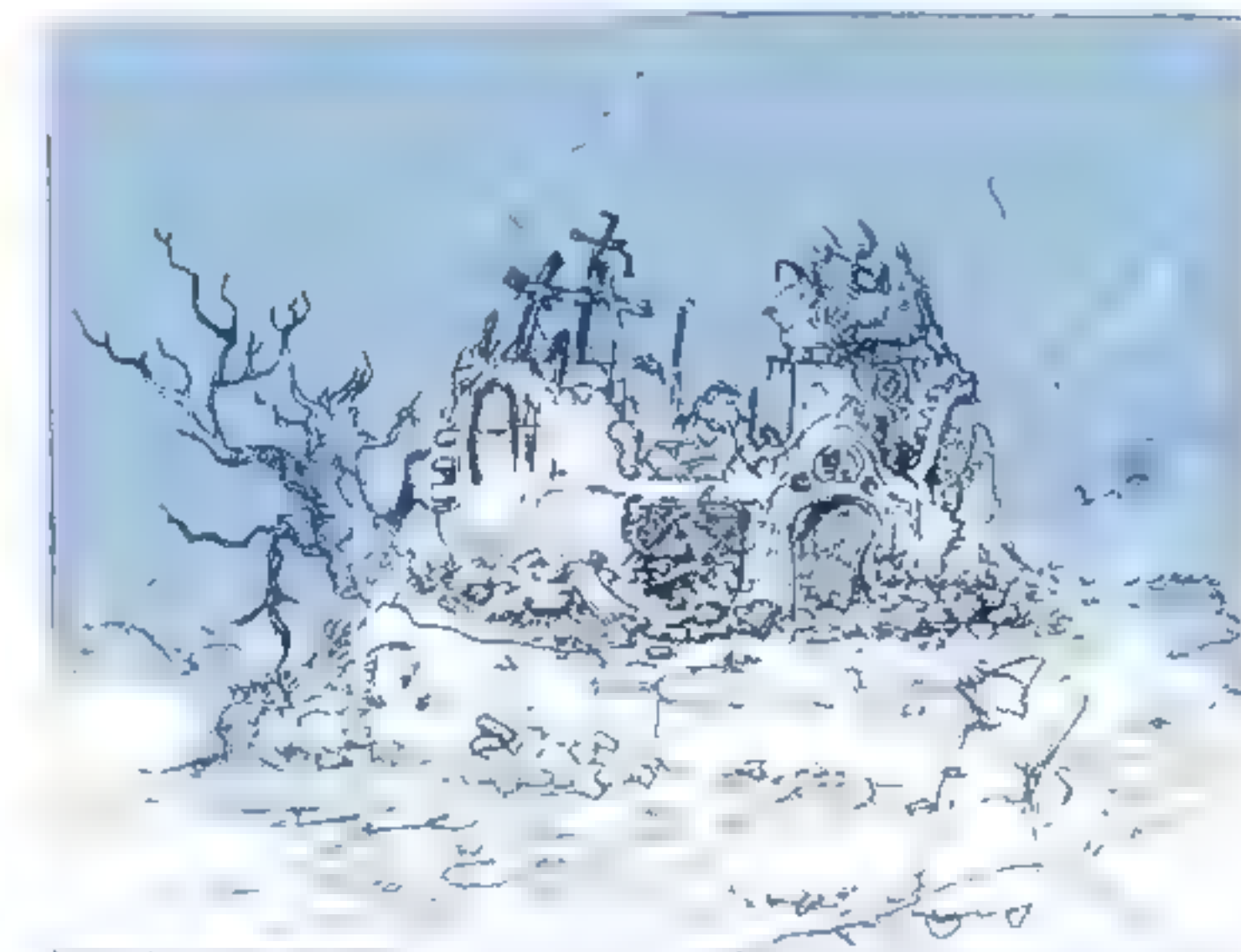
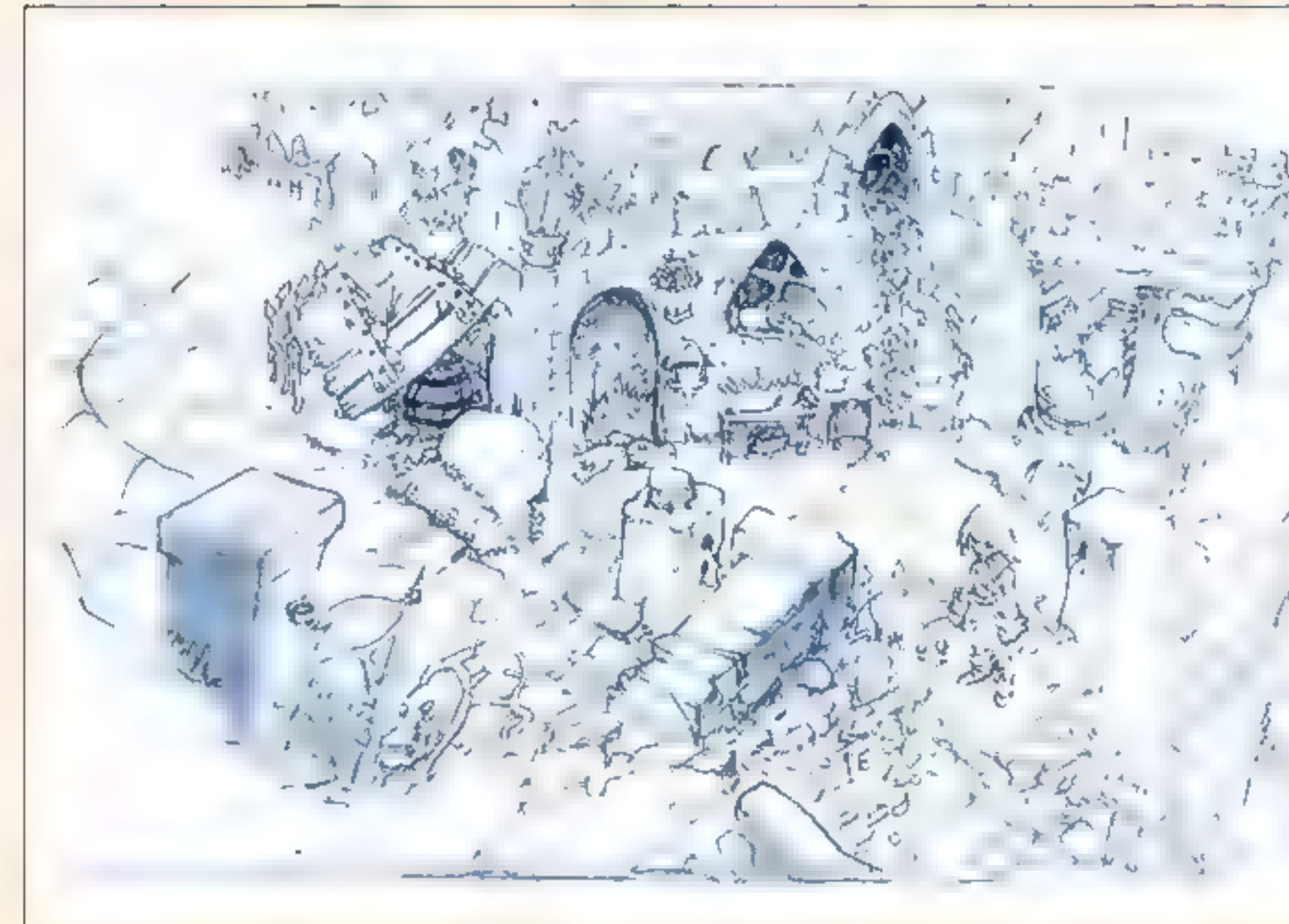
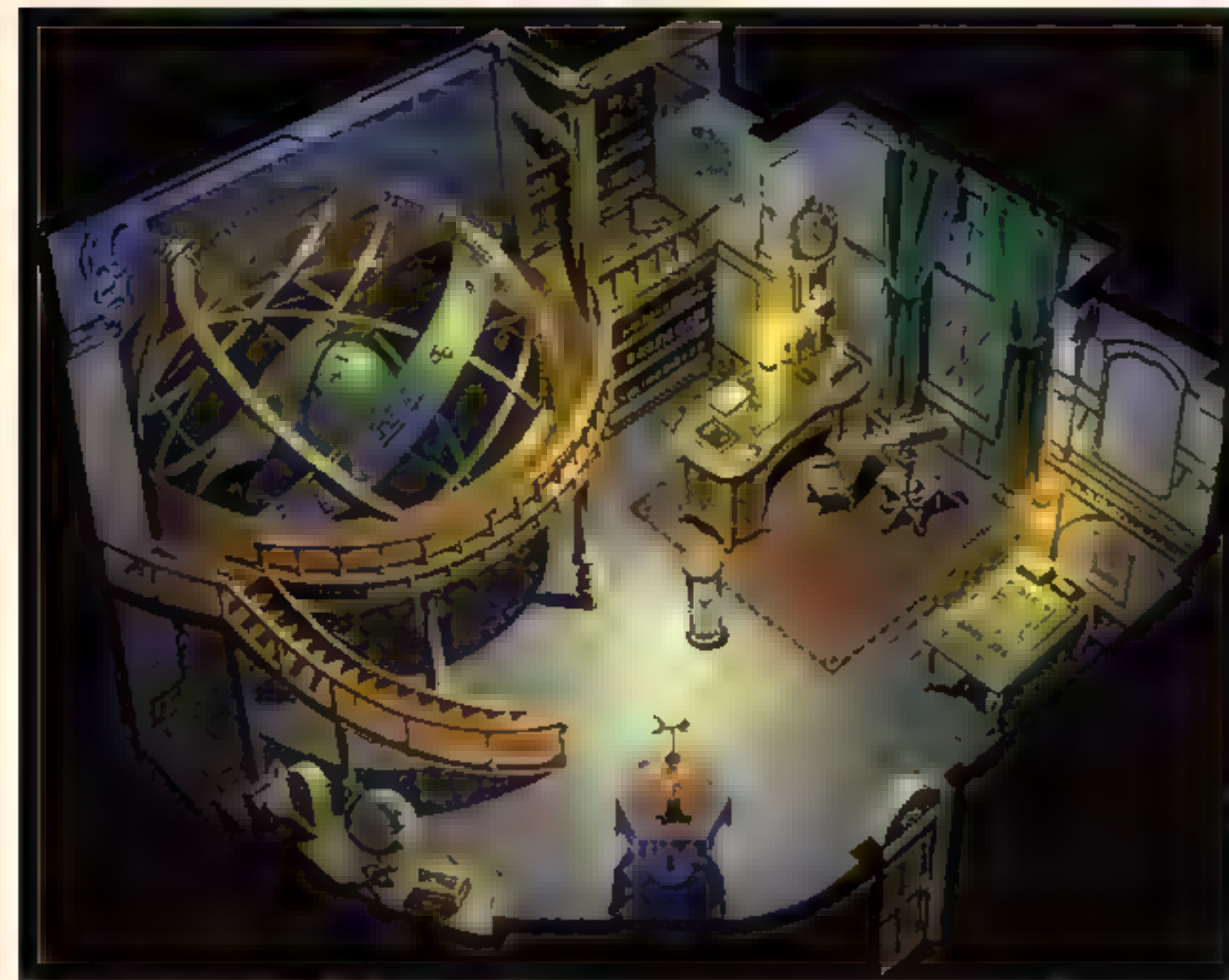
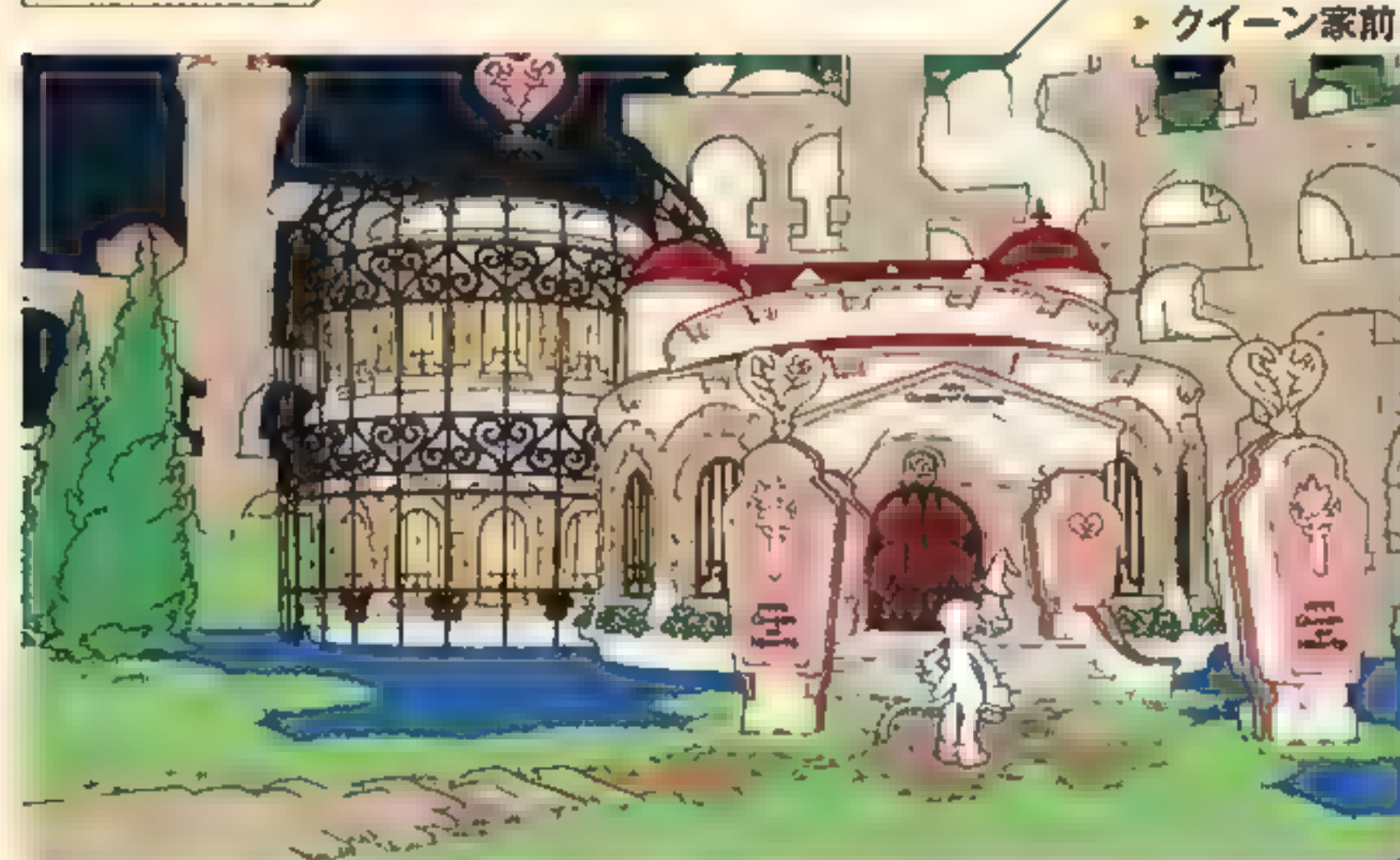
▸ボーデンの門

▸トレノアーチ

ブルメシア

ネズミ族の国ブルメシアの首都。「青の王都」という異名のとおり、青を取り入れた建造物が多い。アレクサンドリア軍の侵攻を受けて壊滅する前は、王宮の周辺にある居住区で上流階級が優雅に暮らしていた。

▸上級居住区

▸宝物庫

▸武器庫

▸宮殿内部（上層）

▸宮殿内部（下層）

▸未採用マップ

トレノ

湖のほとりに造られた都。山脈の陰で陽が差さないことや年中無休の娯楽施設が多いことから、「夜の街」「眠らない街」と呼ばれる。住民の貧富差が激しく、富裕層は景観の良い場所を独占し、貧困層は郊外の古屋で成功を夢見て暮らす。

●このモデルで外壁が一部欠けてますが、そこには橋を架けます。
外壁の内部（橋の部分では外に出ます）を通って、街を１周出来る構造になっています。

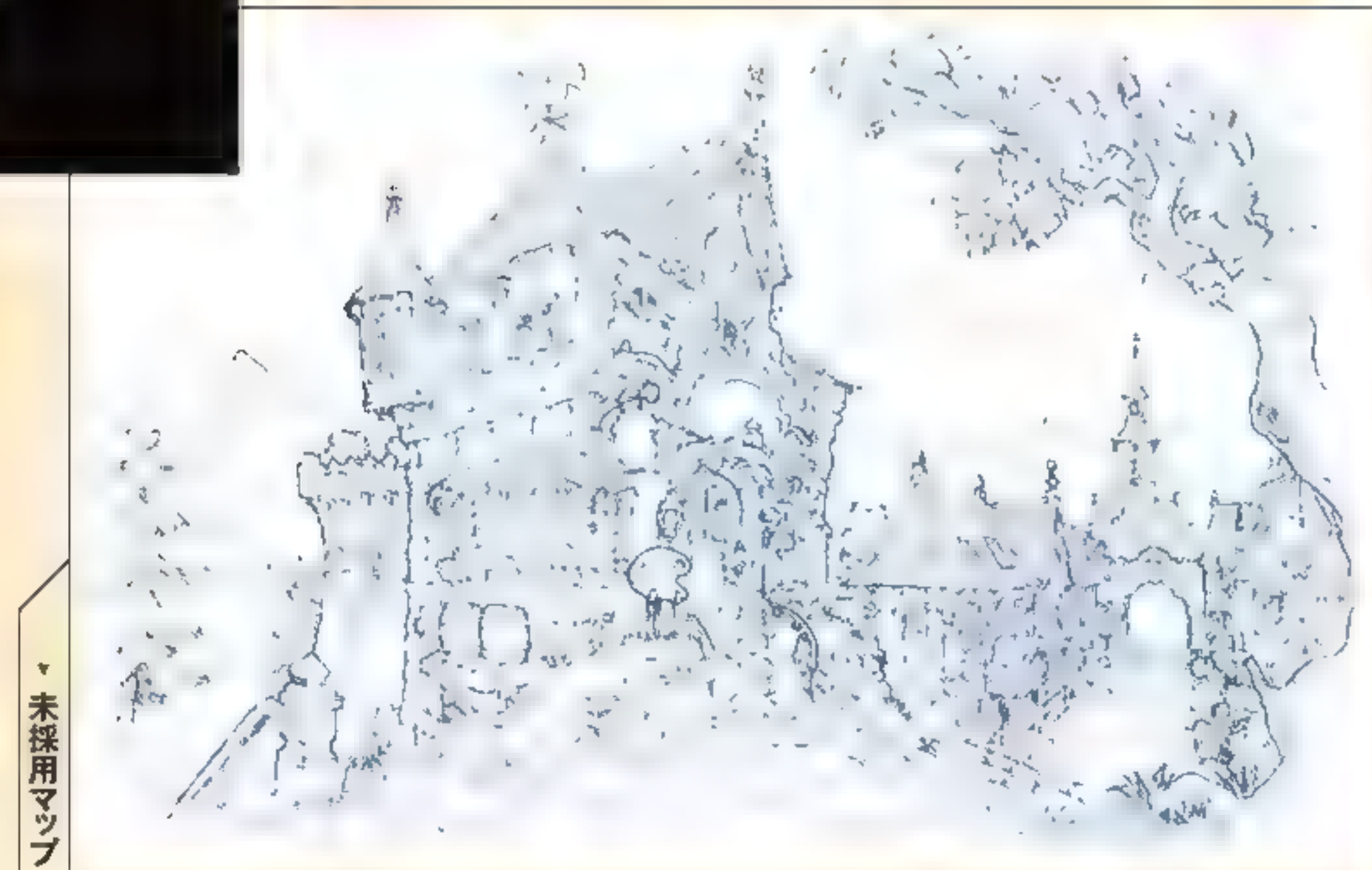
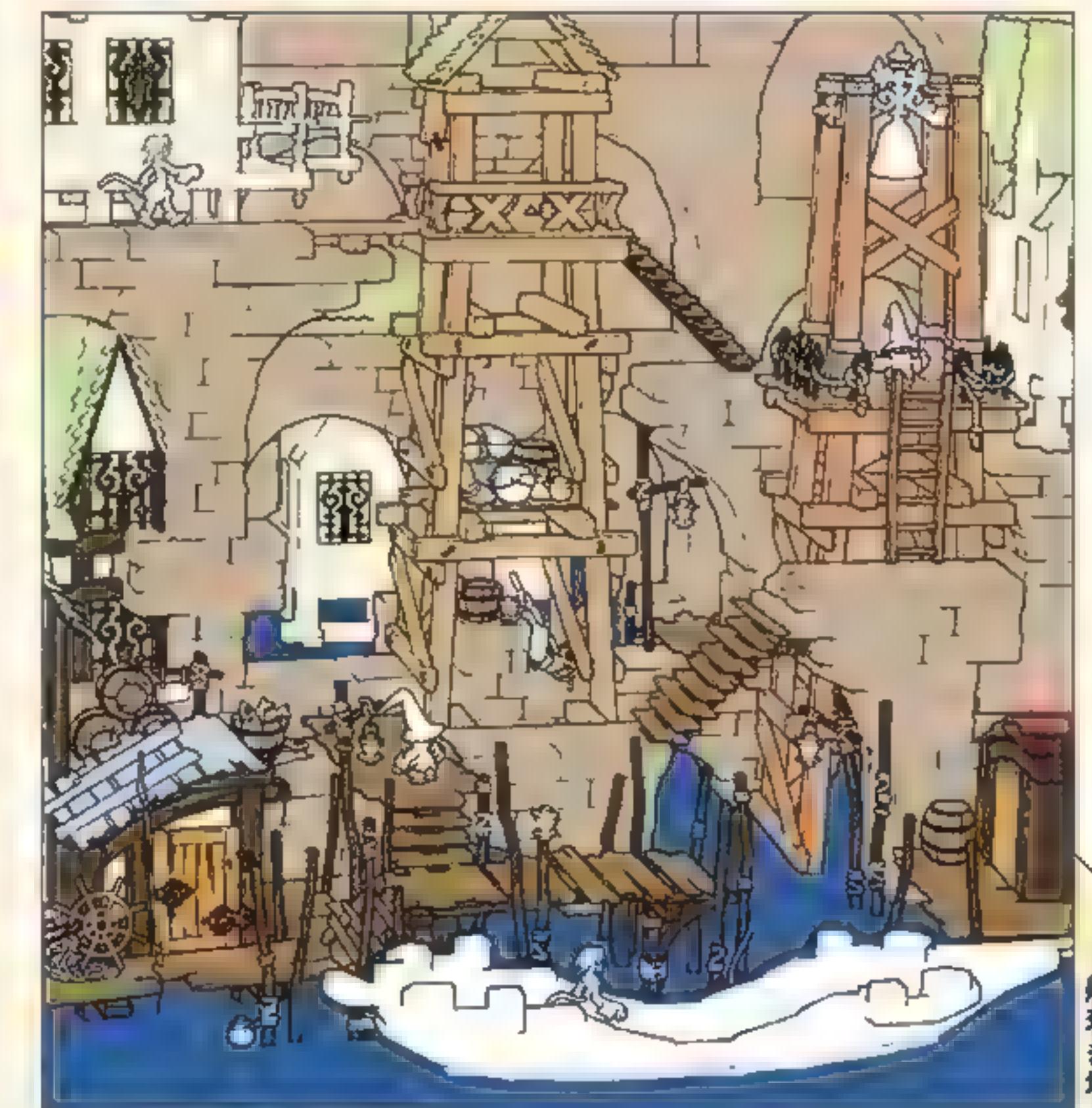
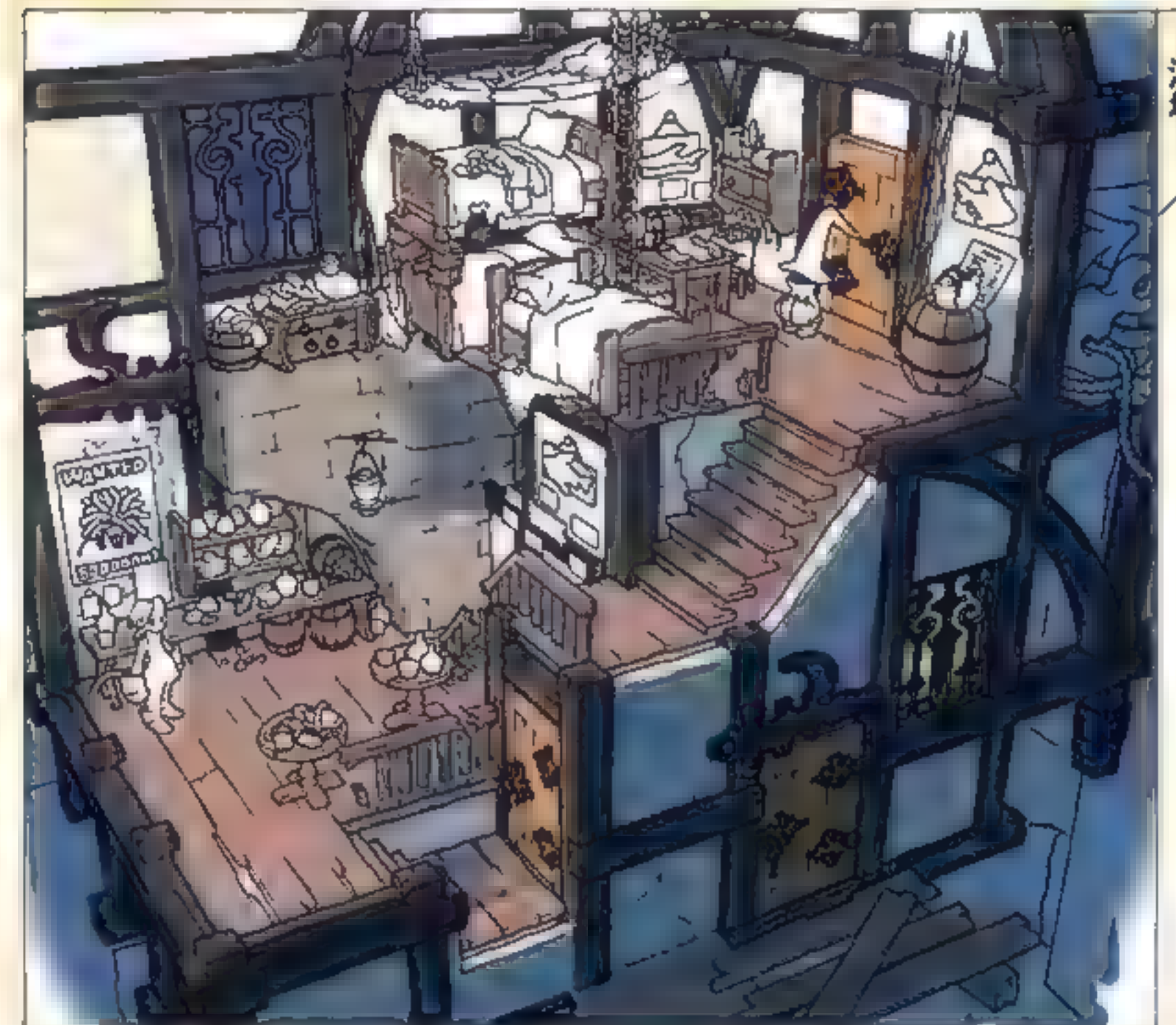
▸CGモデル

▸クイーン家前

▸トット家（初期デザイン）

▸酒場

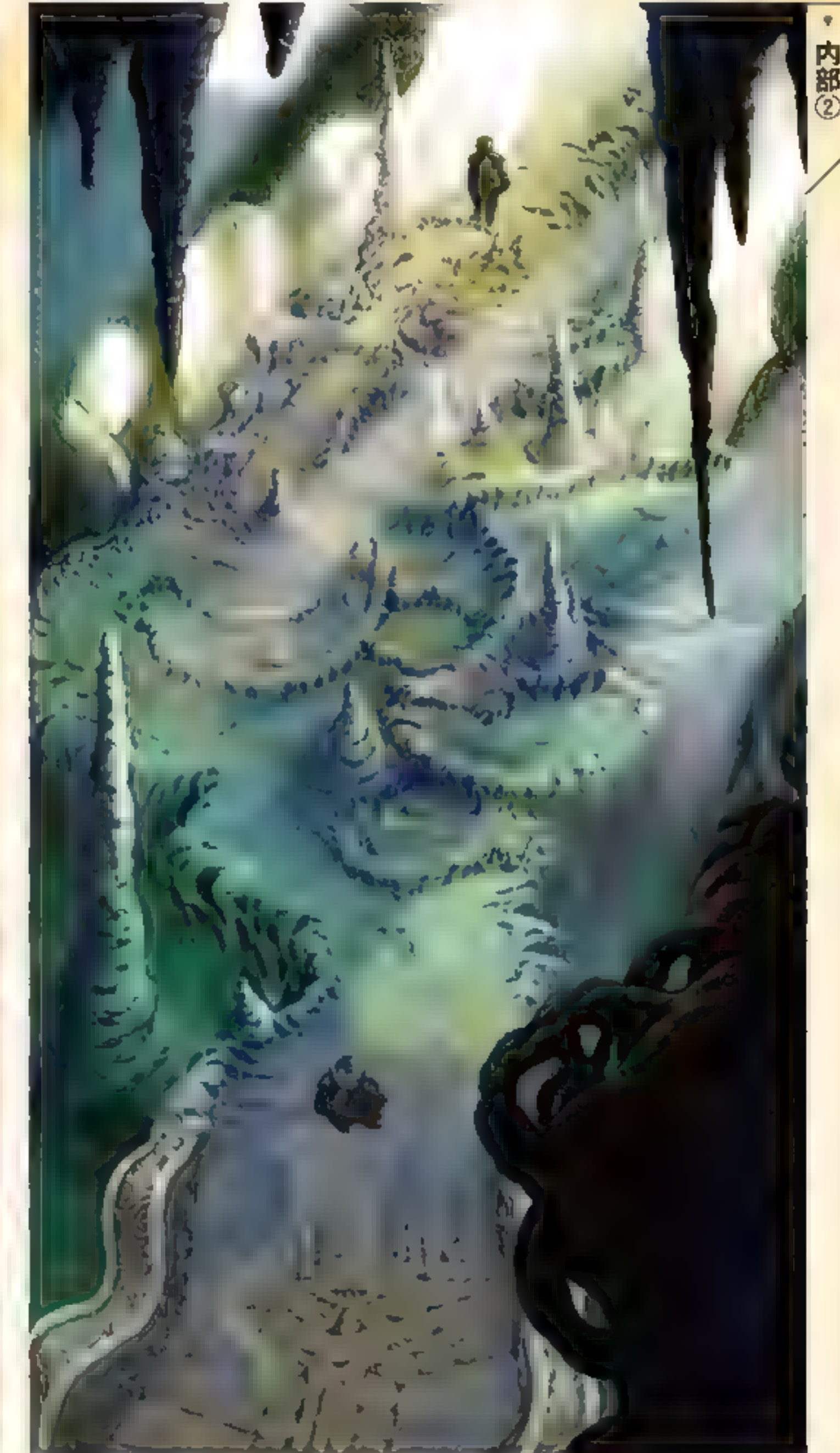
▸船着き場

▸未採用マップ

クレイラの幹

ヴブ砂漠に生えた大樹「クレイラの樹」の内部。クレイラの民が樹全体を包む砂嵐を生み出し、部外者の進入をはばんでいる。嵐で巻き上がった砂が内部に入っているため、たまった砂を流したり流砂を避けたりしなければ先へ進めない。

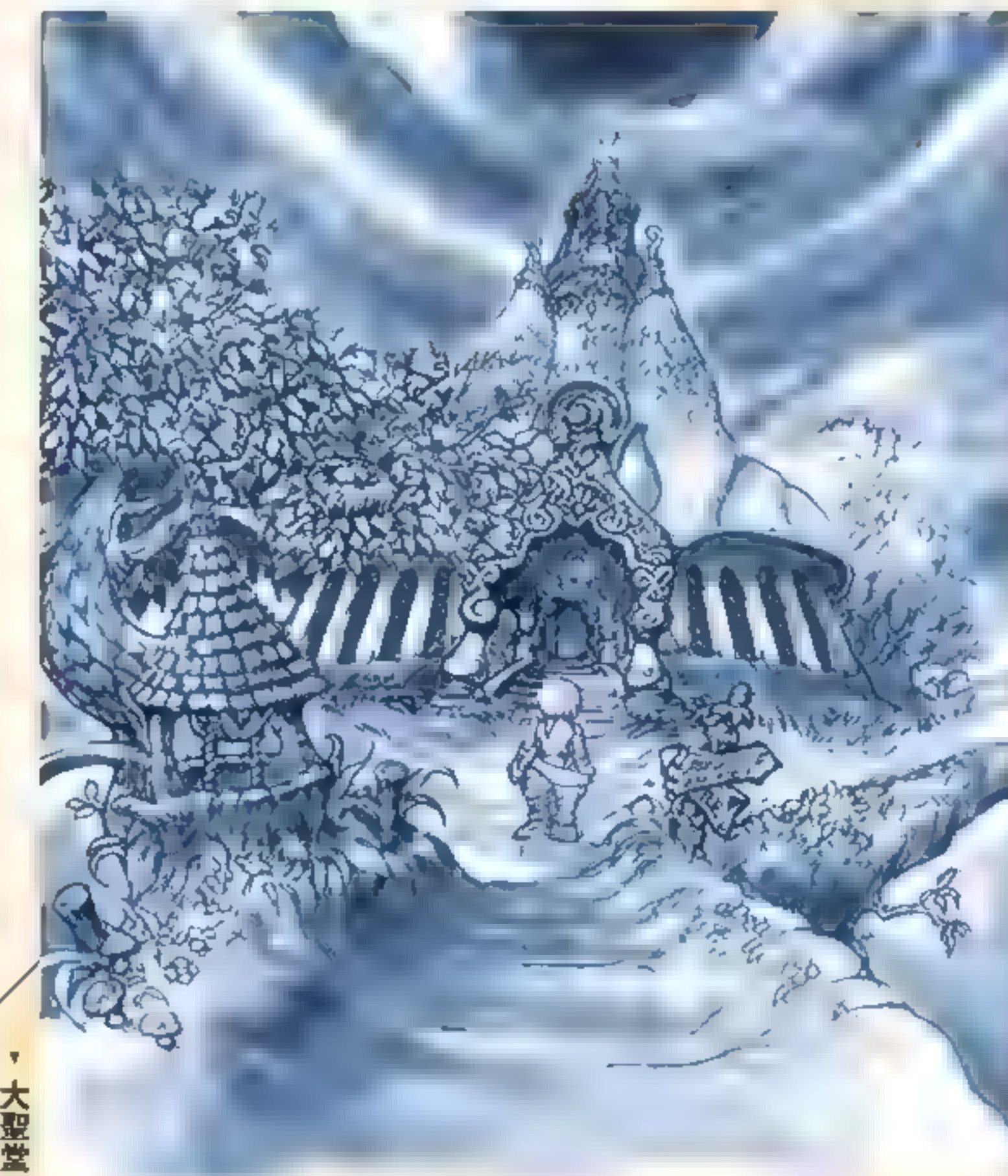
▸内部①

▸つり橋

▸内部②

クレイラの街

武力による争いごとを嫌ったネズミ族たちが、本国ブルメシアを離れてクレイラの樹の上部に造った街。頂上にある大聖堂には砂漠の星という宝珠が納められており、その魔力によって大樹および街を守る砂嵐が絶えず生み出されている。

▸大聖堂

▸全景（初期デザイン）

コンデヤ・パタ

小柄な種族ドワーフが素朴に暮らす里。外側の大陸に生えた大樹「イーファの樹」の根を土台としているが、イーファの樹はドワーフにとって聖地であり、神前の儀(結婚式)をあげたあとの巡礼以外では樹方面への通行が許されていない。

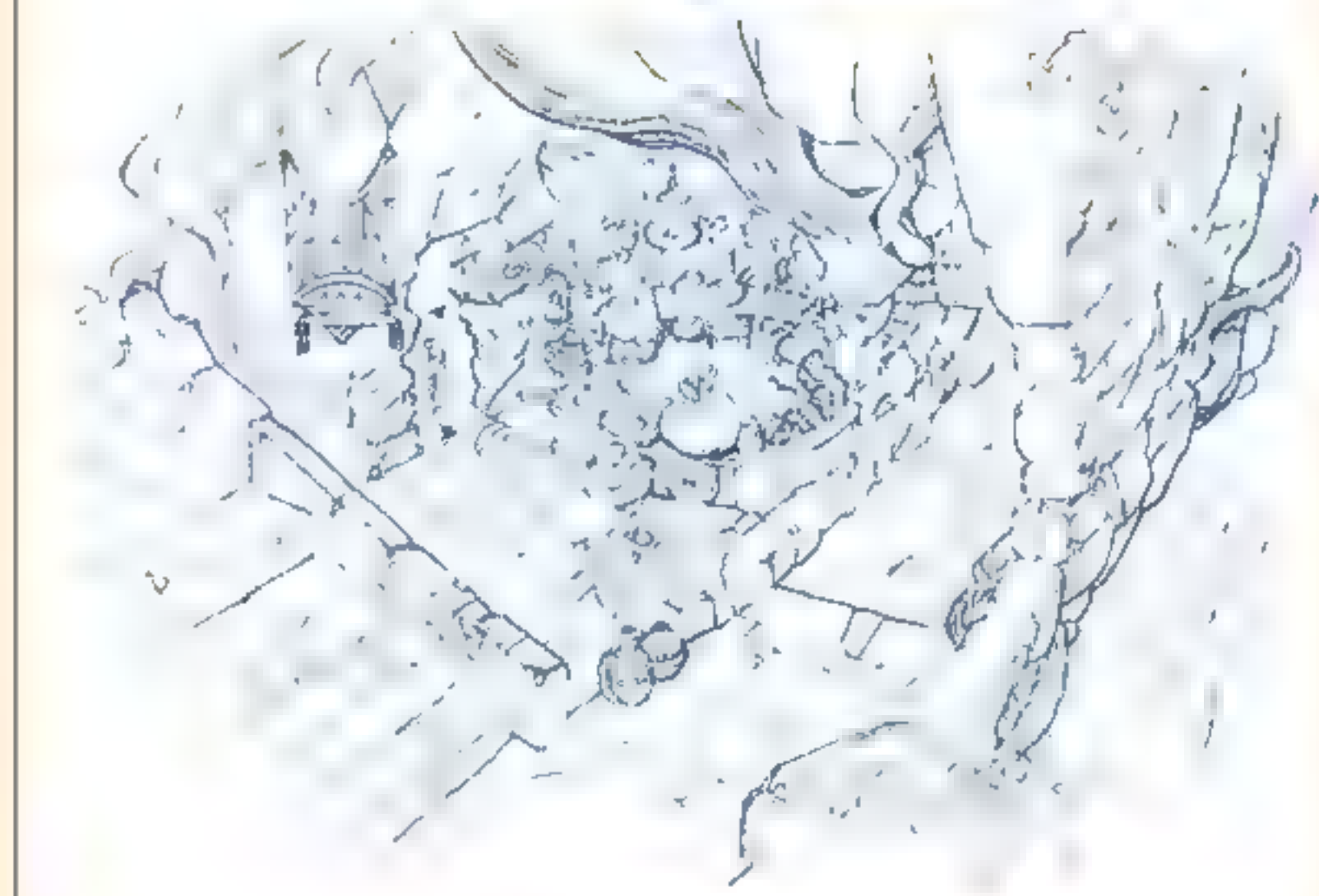
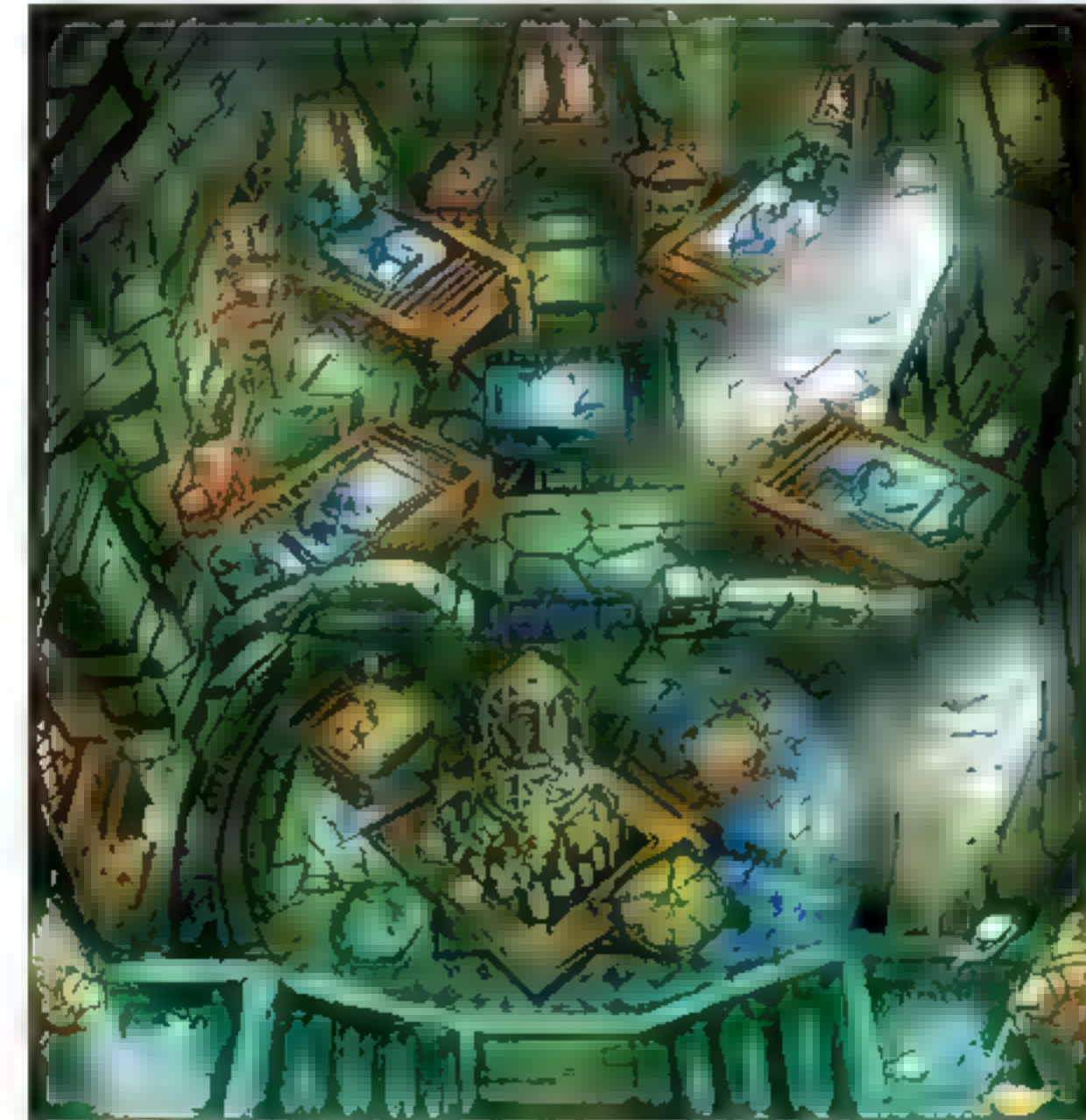
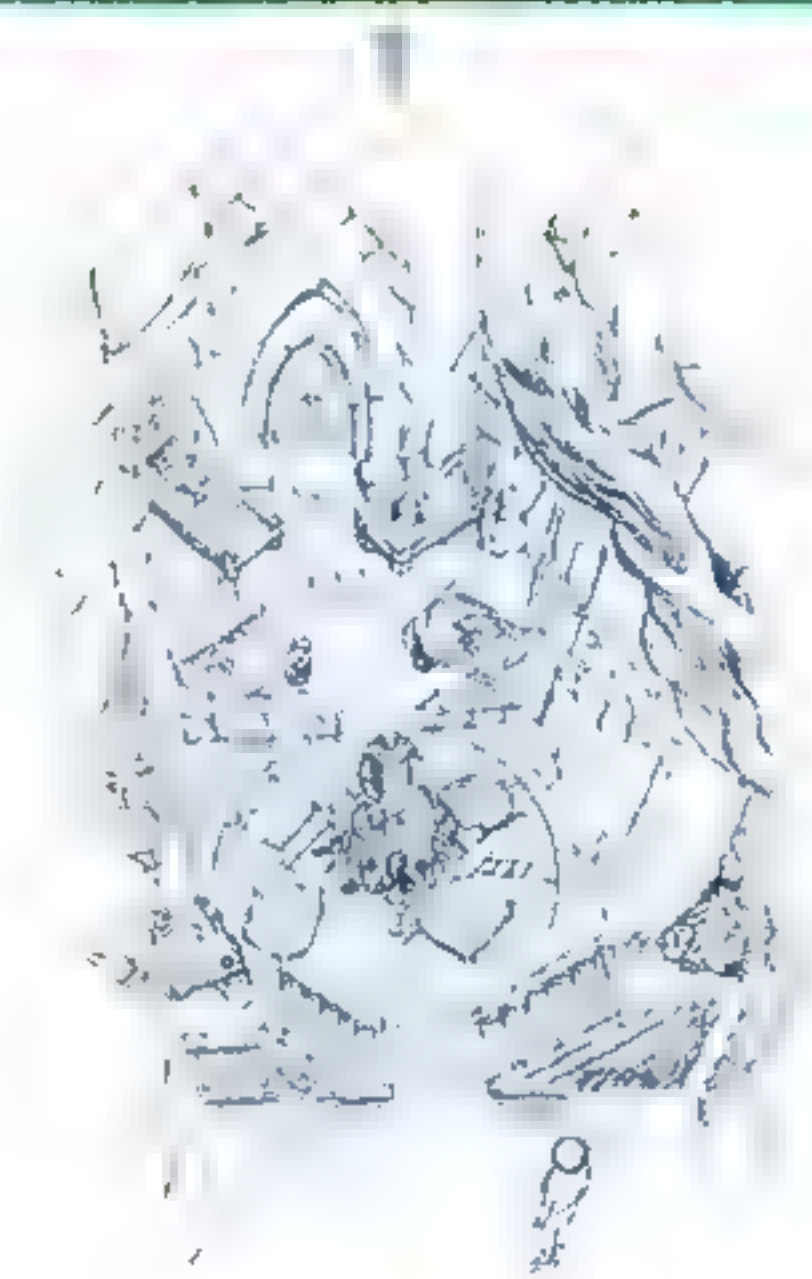
入口

宿屋

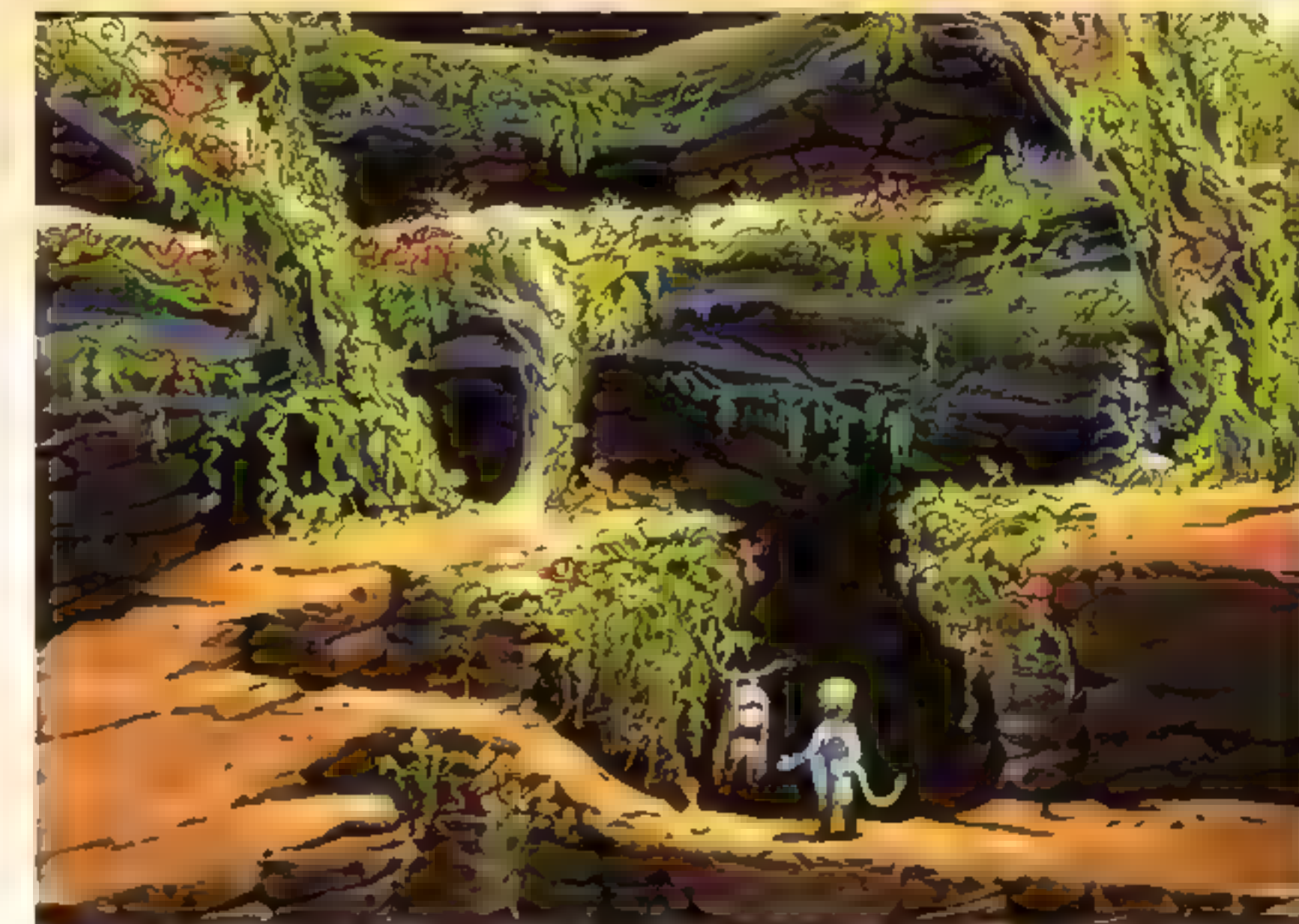
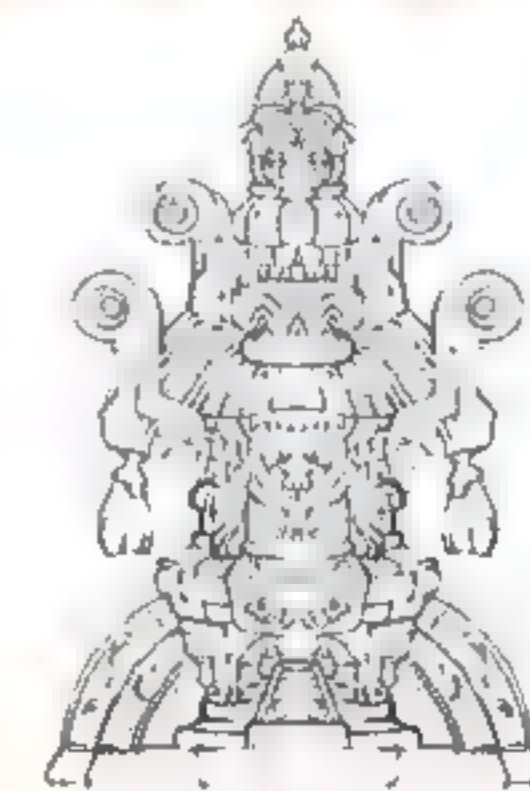
露店

儀式中の神社

道具屋

通路

Memorial Feature

珍味として有名な山ブリ虫

各地に生息するブリ虫は、害虫として多くの人に嫌われているが、その亜種の山ブリ虫は珍味とされており、コンデヤ・パタには「山ブリ虫のぴっちり和え」という料理がある。また、マダイン・サリでエーコがシチューを作るときは、山ブリ虫も入れるかどうかを選べるが、入れた場合はシチューに対するジタンの評価が下がってしまう。

コンデヤ・パタ山道

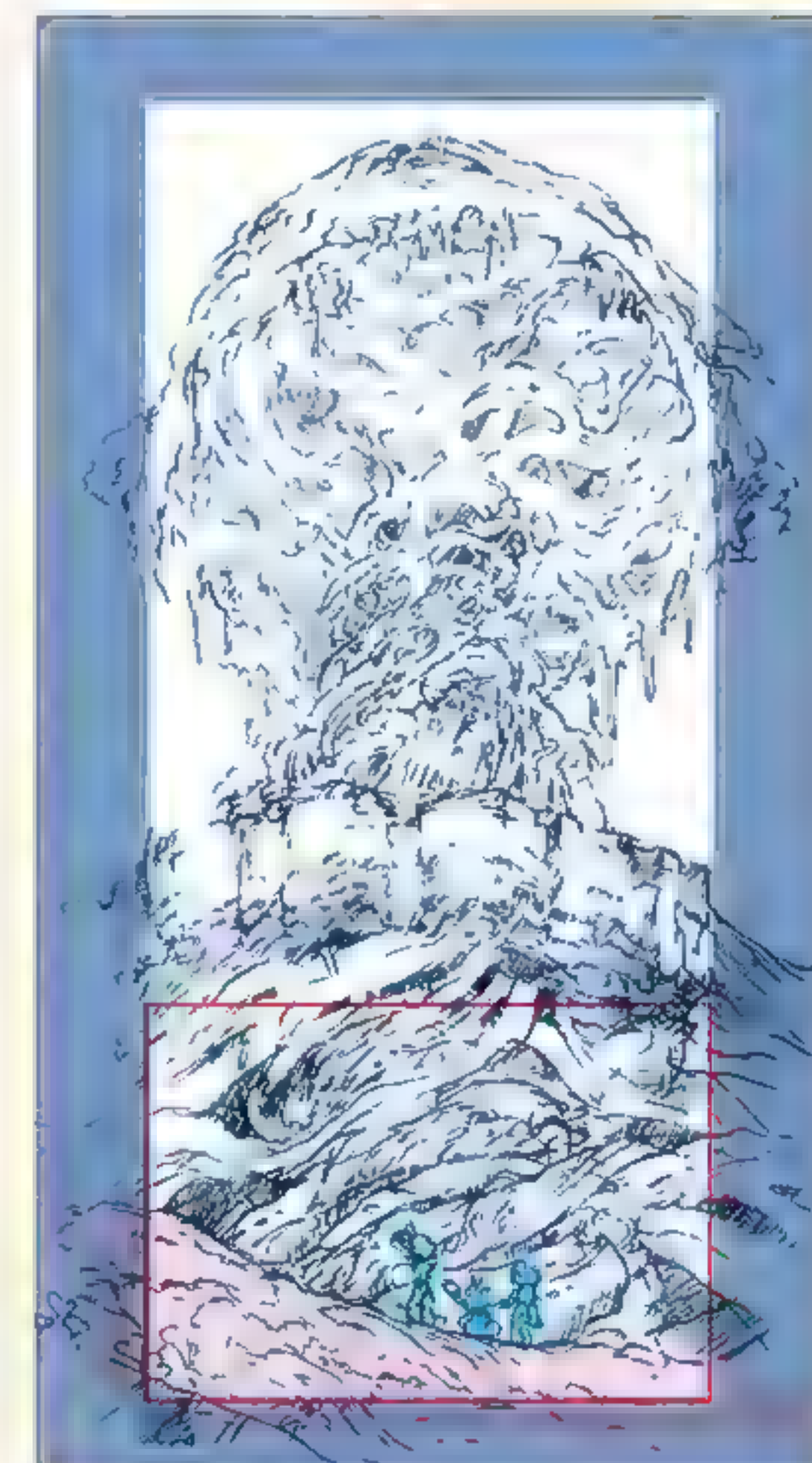
コンデヤ・パタの裏手から、マダイン・サリやイーファの樹へと通じる道。起伏が激しく、場所によってはイーファの樹から伸びる根を渡らなければ先へ進めない。道中にある石碑には、アクセサリのムーンストーンが納められている。

崖道

石碑

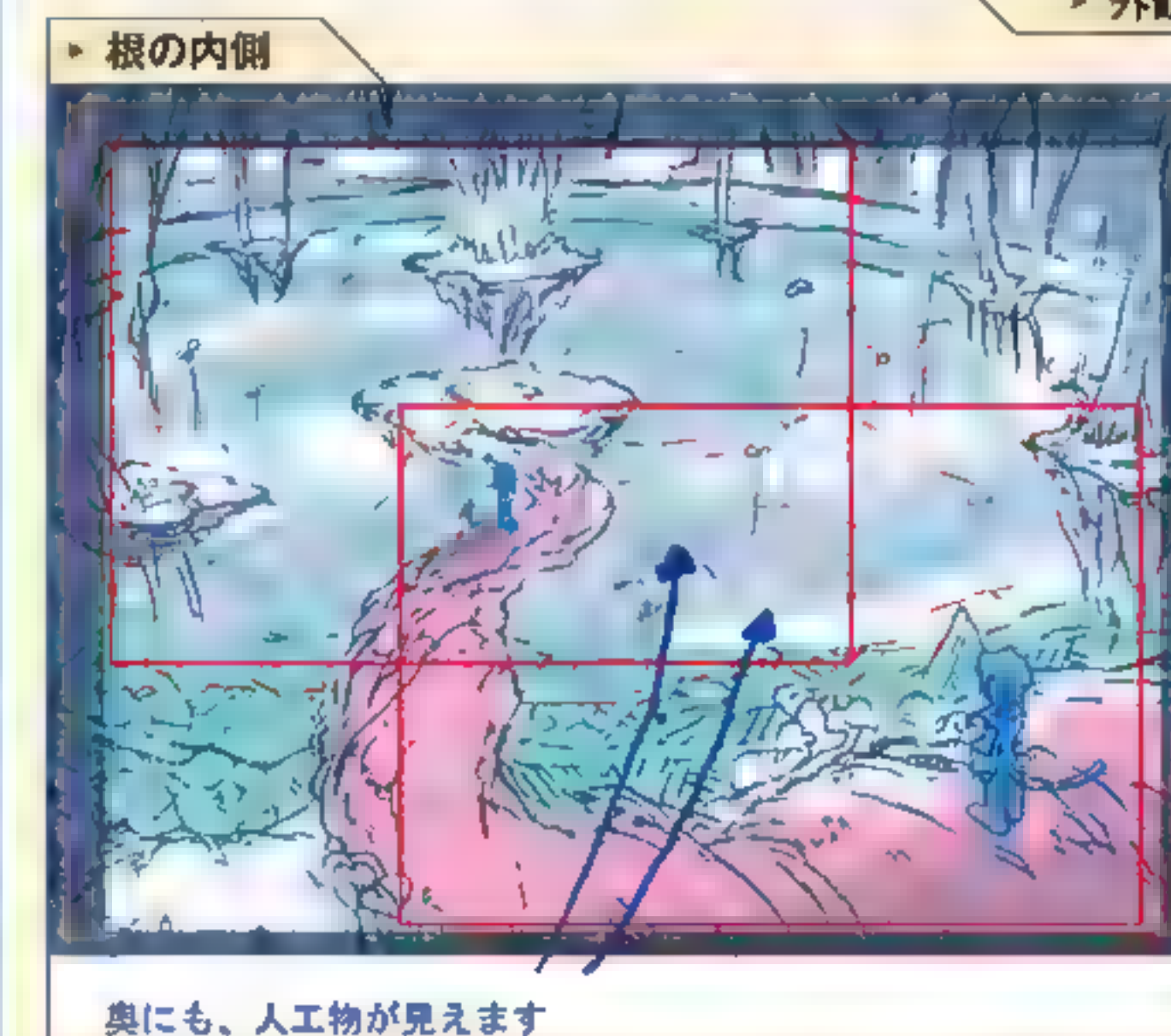
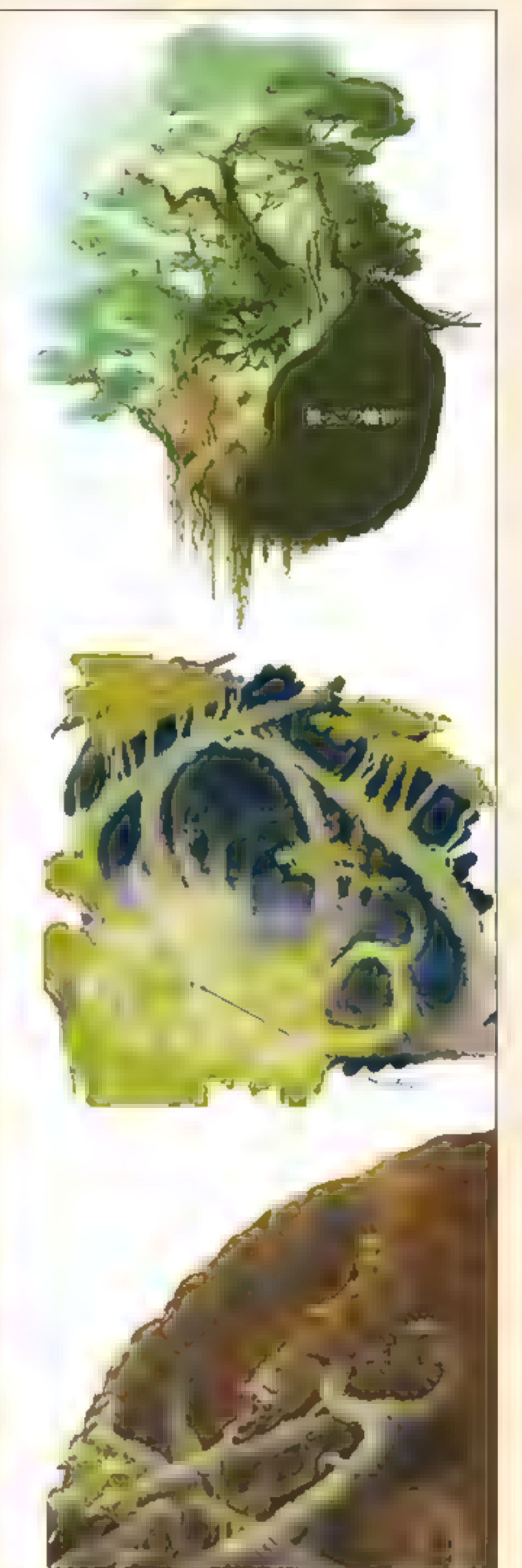
根の道

イーファの樹

ガーランドが外側の大陸に植えつけた大樹。上下逆に生えており、星の中心部まで伸びた枝がガイアのクリスタルから力を奪っている。幹や枝に見える部分はすべて根で、クリスタルから得た力の不要な成分を"霧"として排出する。

外観

根の内側

奥にも、人工物が見えます

根の道

細部

デザートエンプレス

クジャの活動拠点のひとつ。外側の大陸の地下にあり、キエラ砂漠の流砂に飲まれることで進入できる。見た目はきらびやかな宮殿だが、一角には牢獄や拷問室といった部屋を備えており、クジャの外面と内面の両方を投影した造りになっているのが特徴。

〈砂の宮殿の構造〉
拷問部屋の砂時計の形が宮殿の外観を表しています。(牢屋の形も一緒デス)
こんな感じで考えています…。牢屋はドームみたいのモノの外側に張りついている感じです。

▸ 構造図

▾ 牢獄

▾ 拷問室

▸ ロビー

▸ 影の間

階段の形はラフモデルの段階で修正していきます。

▾ 光の間

▾ 灯の間

イプセンの古城

この地を発見した冒険家イプセンにちなんで、ヒルダが名づけた遺跡。ふたつの城を底面同士で合体させたような構造になっていて、下半分の階層では、天井と床の位置が上下に逆転している。

▾ ホール

▾ 小部屋

Memorial Feature

攻撃力が逆転する場所

イプセンの古城の内部には、「バトル中は武器の強弱が逆転する」という不思議な力が働いている。これを考えずに強い武器を装備したままでいると、敵をなかなか倒せず苦戦するハメになってしまう。

絶望の丘

ジタンたちとの決戦に敗れたクジャが、余命わずかという絶望や恐怖から無意識に生み出した世界。この場所では永遠の闇と呼ばれる敵と戦うが、下の設定画ではハーデス(→P.287)が「ラスボス」として描かれている。

柱の合間合間をＴＥＸ抜きにしたいため、
バトルフィールド内の外側に、
このような色でグラデーションを
かけたいのですが、可能でしょうか。

▸ ラストバトルのバトルフィールド

▸ ラストバトルの背景デザイン

FINAL FANTASY IX MONSTER

ゴブリン

Goblin,
ゴブリン

ZIDANE

プリン

できるなら半透明希望。

通常時もフルフルしている。

マイム変形で
これくらいまで伸びる。

ZIDANE

シリオン

黒のワルツ1号が、ジタンと戦うときに呼び出す氷の巨人。設定画によると、アシカやトドを意味する「SEA-LION（シーライオン）」が名前の由来で、上体を起こした姿勢とヒレのような手足がアシカやトドをイメージさせる。

SEA-LION

ゴースト

ヴァイス

Vice,
ヴァイス

ZIDANE

ボム

フォルムはどんな角度から見ても「○」です。

Front

Top

目つきは常に上目づかいです。
さらに、逆光の様な影が
デフォルトで付いているといい。

口は開いても
この程度で。

レディーバグ

マンドラゴラ

ZIDANE

スケルトン

ヘッジホッグパイ

Hedgehog Pie,
ヘッジホッグパイ

ZIDANE

ギザマルーク

ギザマルークの洞窟に棲む竜。ブルメシア地方の守り神として民に加護を与えていたが、ゾーン&ソーンにあやつられ、現地にいた兵士やジタンたちに襲いかかる。

リザードマン

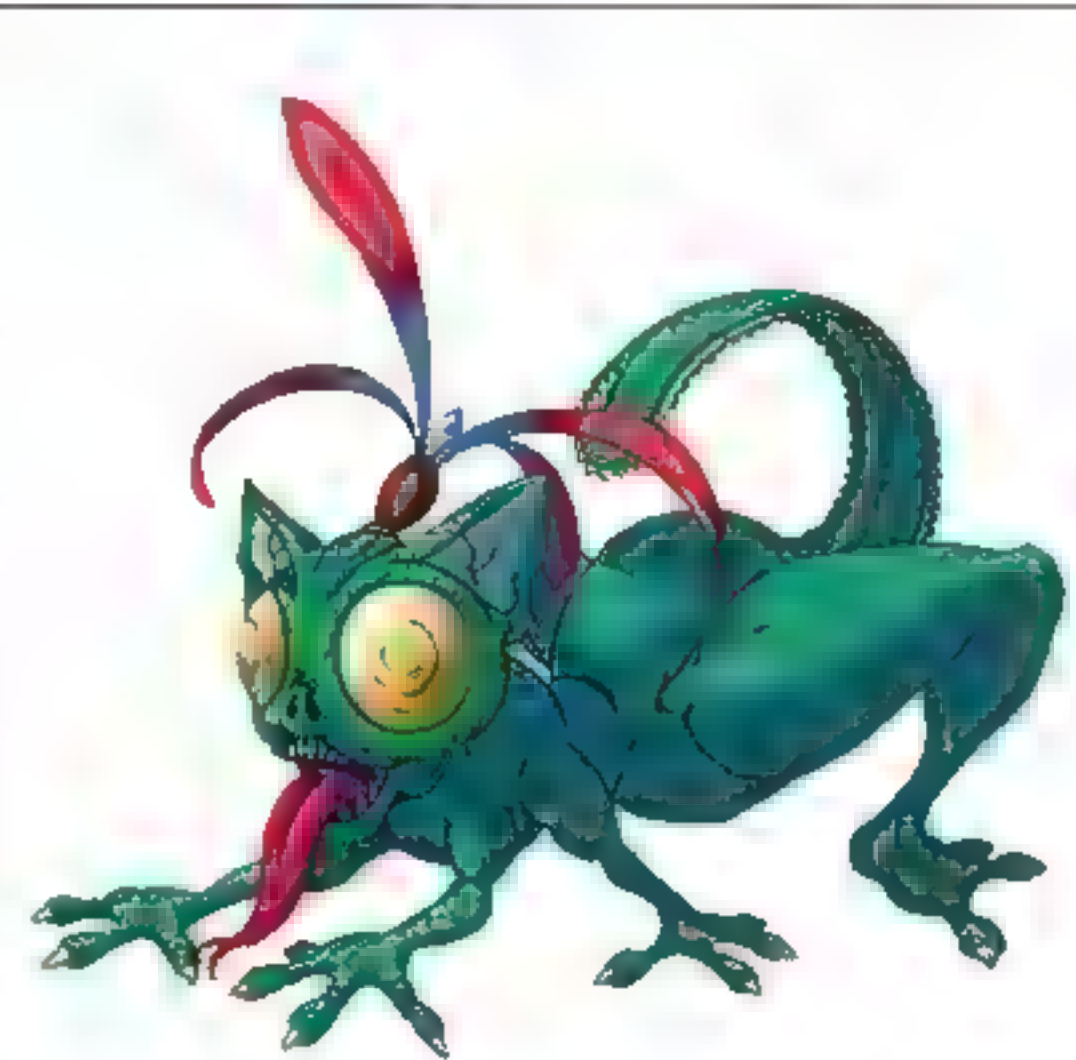
Lizard man,
リザードマン

ARM
ZIDANE

マジックヴァイス

Magic Vice,
マジックヴァイス

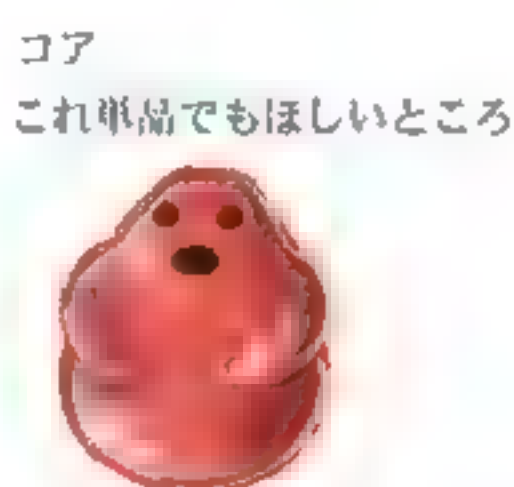
ミミック

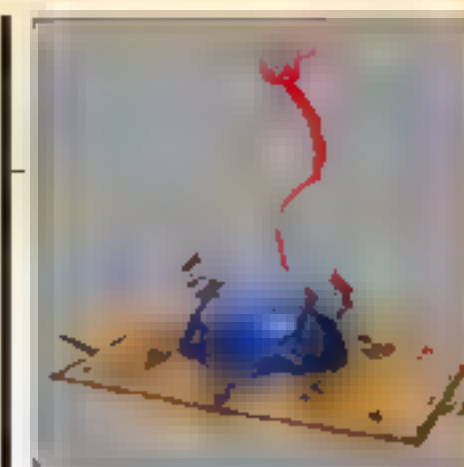
Mimic,
ミミック

バジリスク

サンドゴーレム

Sand Golem,
サンドゴーレム

コア
これ単品でもほしいところ

ZIDANE

ダンタリアン

古書と一体化した魔物。最初は本を閉じて身を守っているが、攻撃を受けるたびにページがめくれ、やがて本体が姿を現す。表紙と裏表紙の絵柄は、「FFV」の古代図書館で現れる敵（「256ページ」と「128ページ」）がモチーフになっている。

DANTALIAN
ダンタリアン

アーモデュラハン

自己修復能力を持ち、倒されてもすぐに復活する戦車。設定画の段階では、シールド部分が本体で攻撃対象に選べるという案があった。

トロール

Troll,
トロール

ZIDANE

ゴブリンメイジ

Goblin Mage,
ゴブリンメイジ

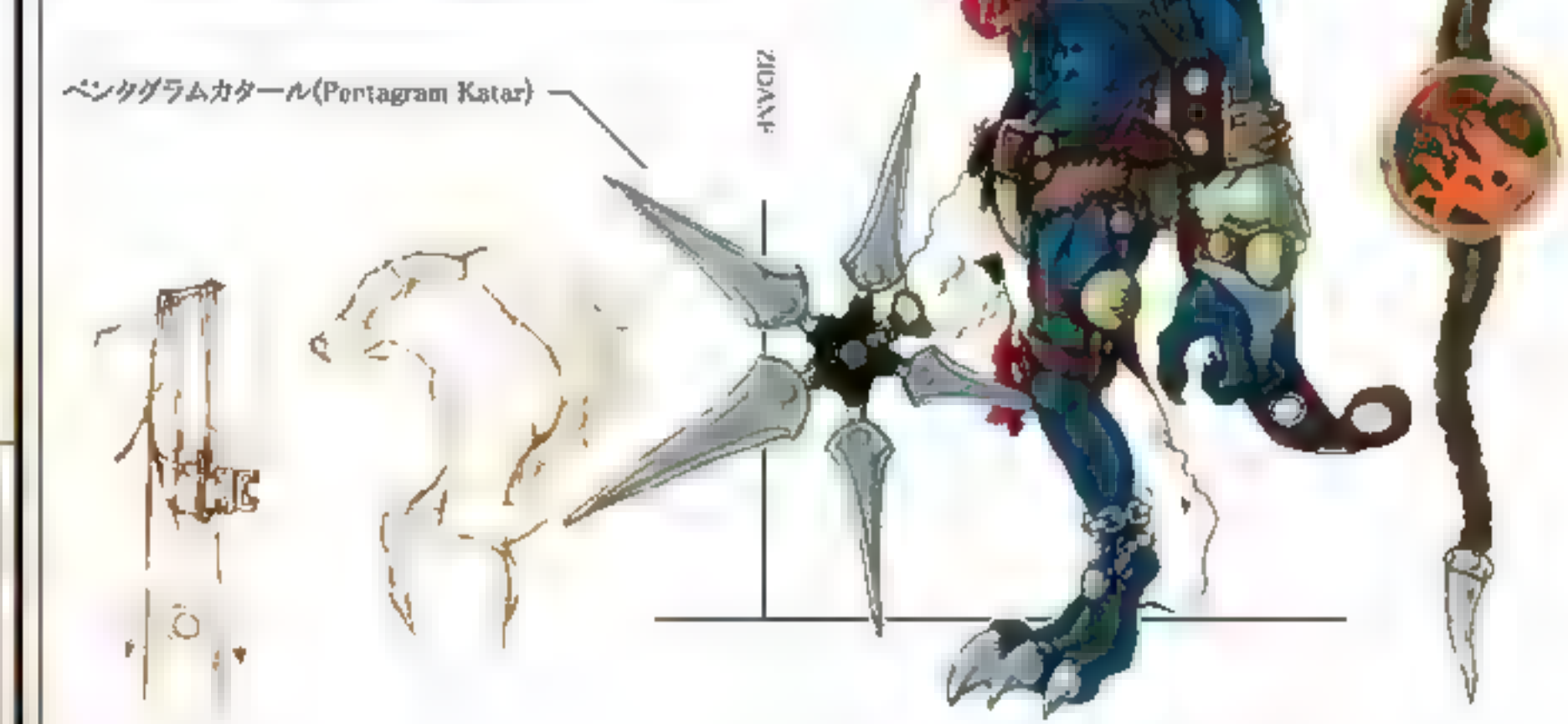
ZIDANE

ノール

Gnoll,
ノール

マドゥ(Madu)

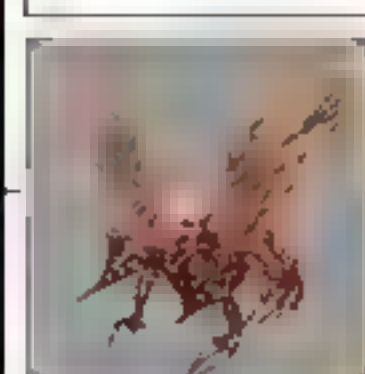
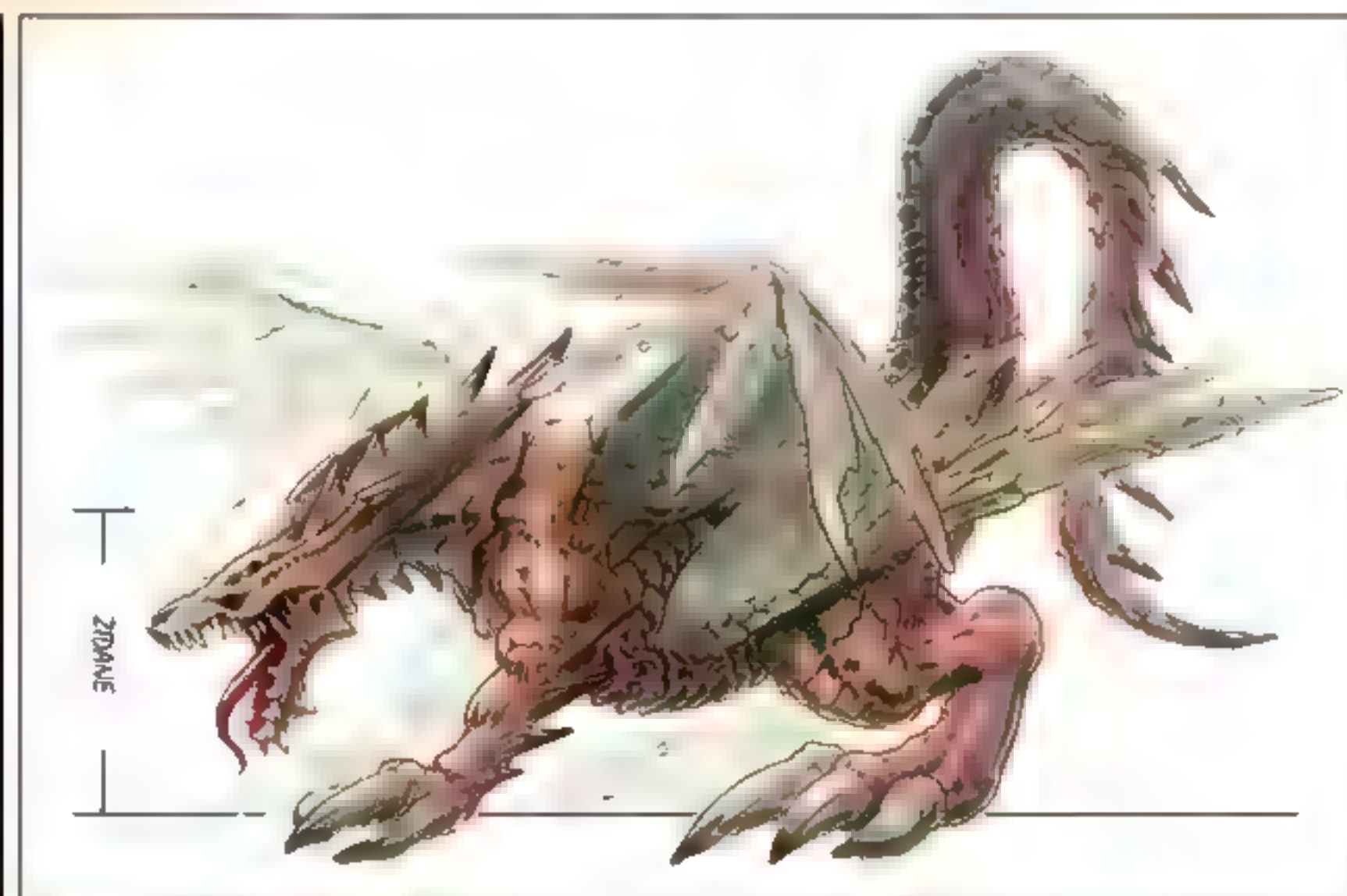
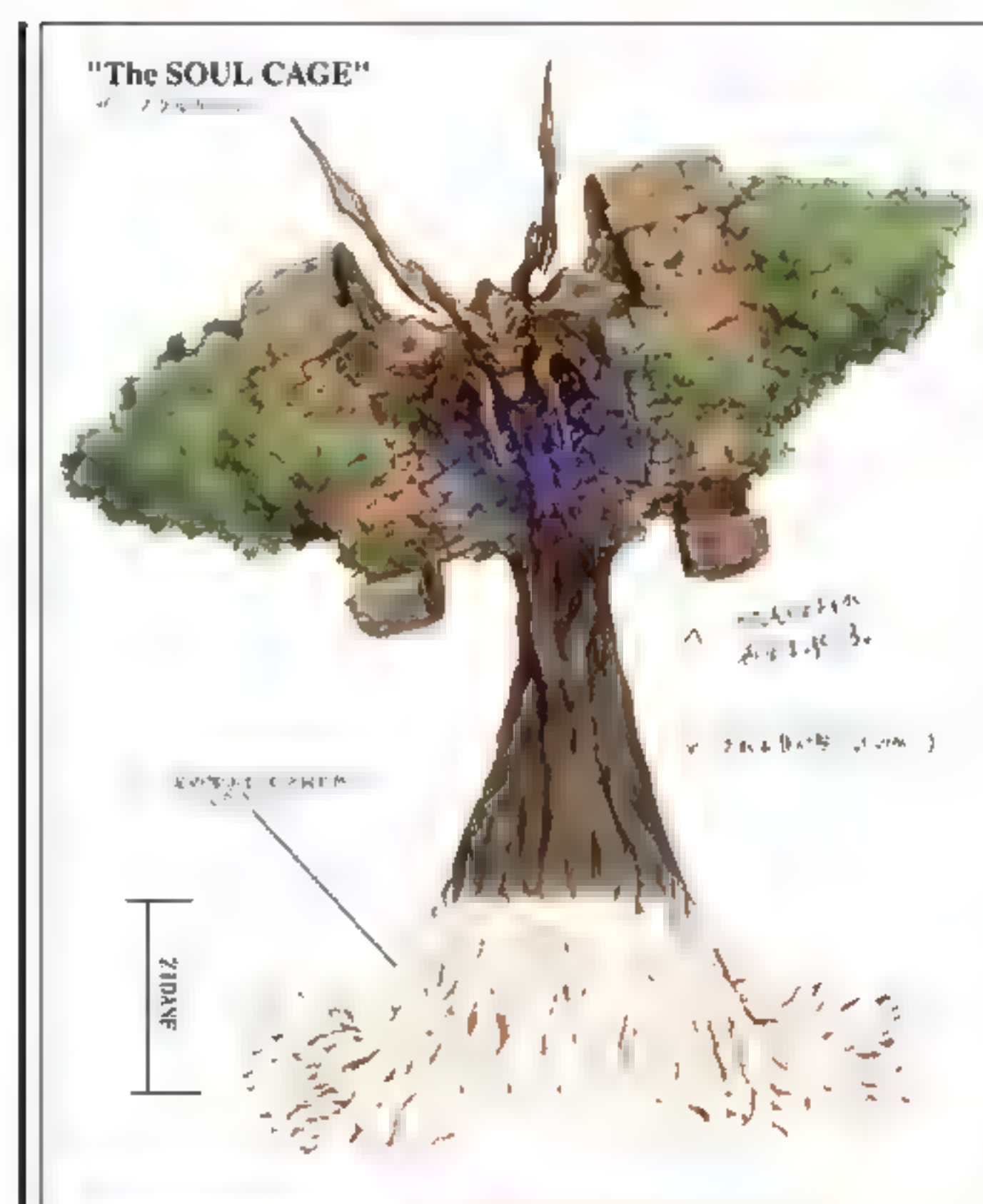
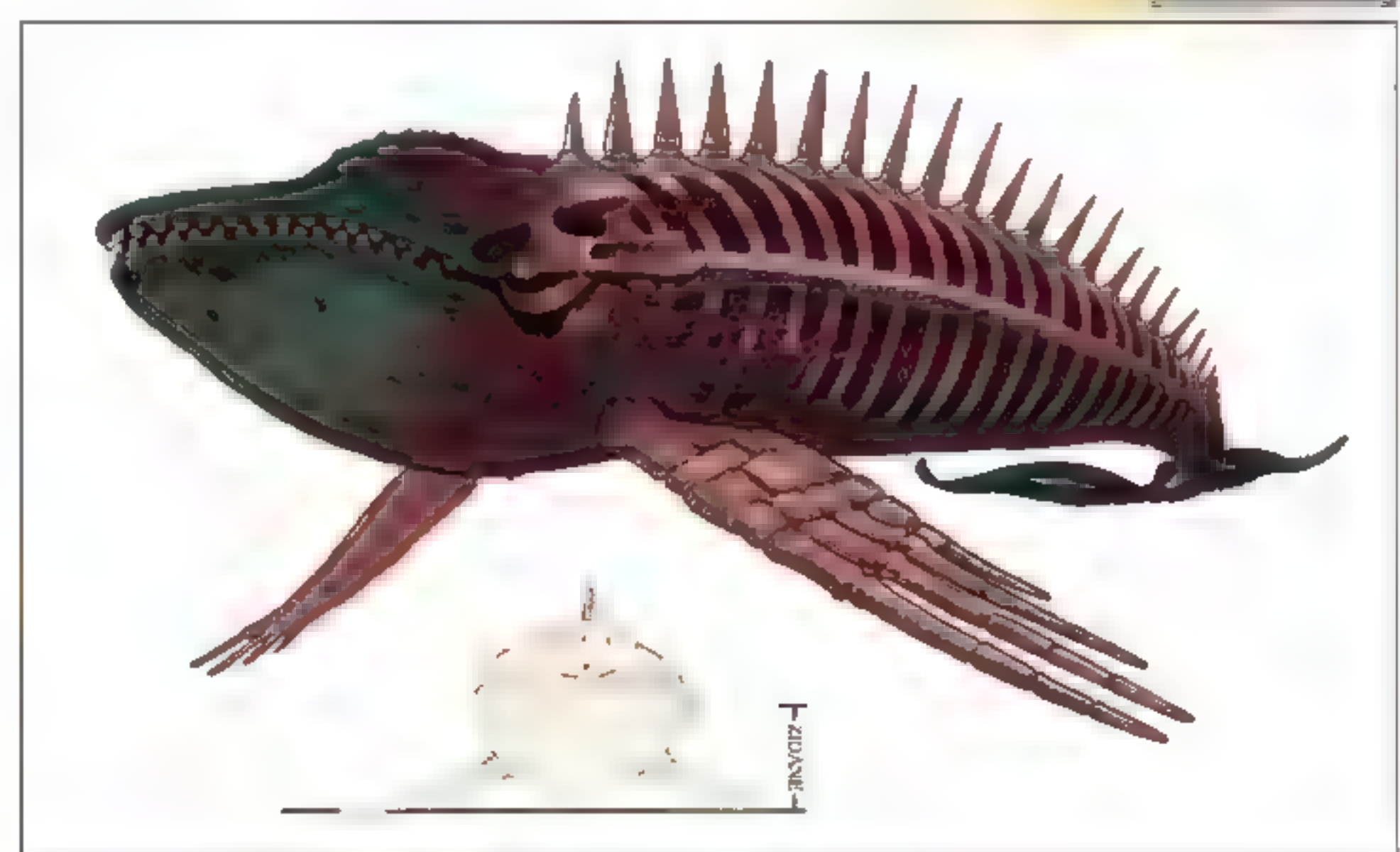
ペンタグラムカタール(Pentagram Katar)

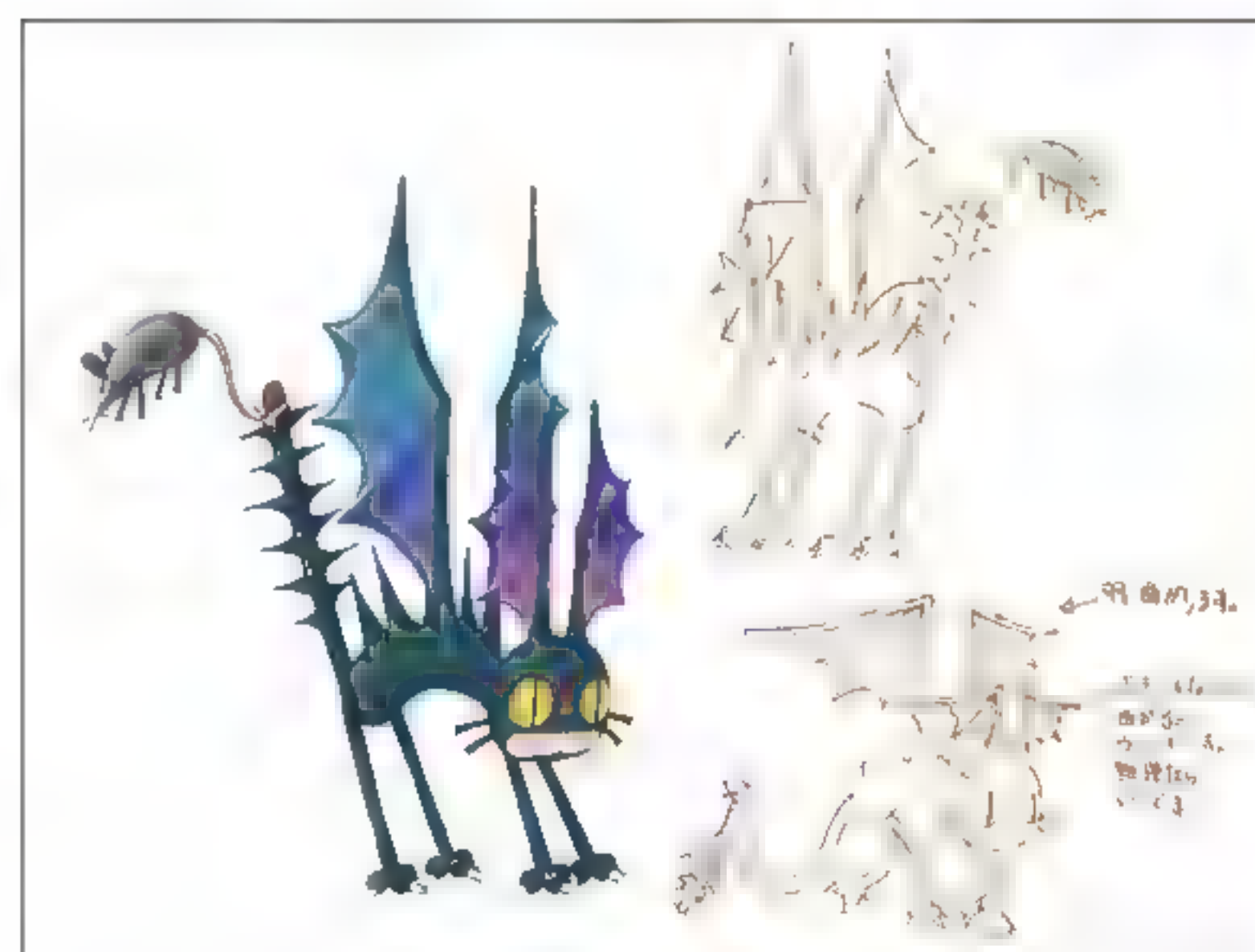
ZIDANE

ヒルギガース

コンデヤ・パタ山道に生息する巨人。その体重を活かし、尻で相手を押しつぶしたり地面を踏んで地割れを起こしたりする。見た目に反して知能は高いらしく、上位魔法の「ケアルガ」も使う。

ドラゴンゾンビ

ホエールゾンビ

"The SOUL CAGE"

ザ・ソウルケージ

"霧"の発生源であるイーファの樹の中枢。樹木のようだが、その実態はガーランドが作り出した生体装置で、頭部があるほか、胸部はレンガ壁のようになっている。

いただきキャット

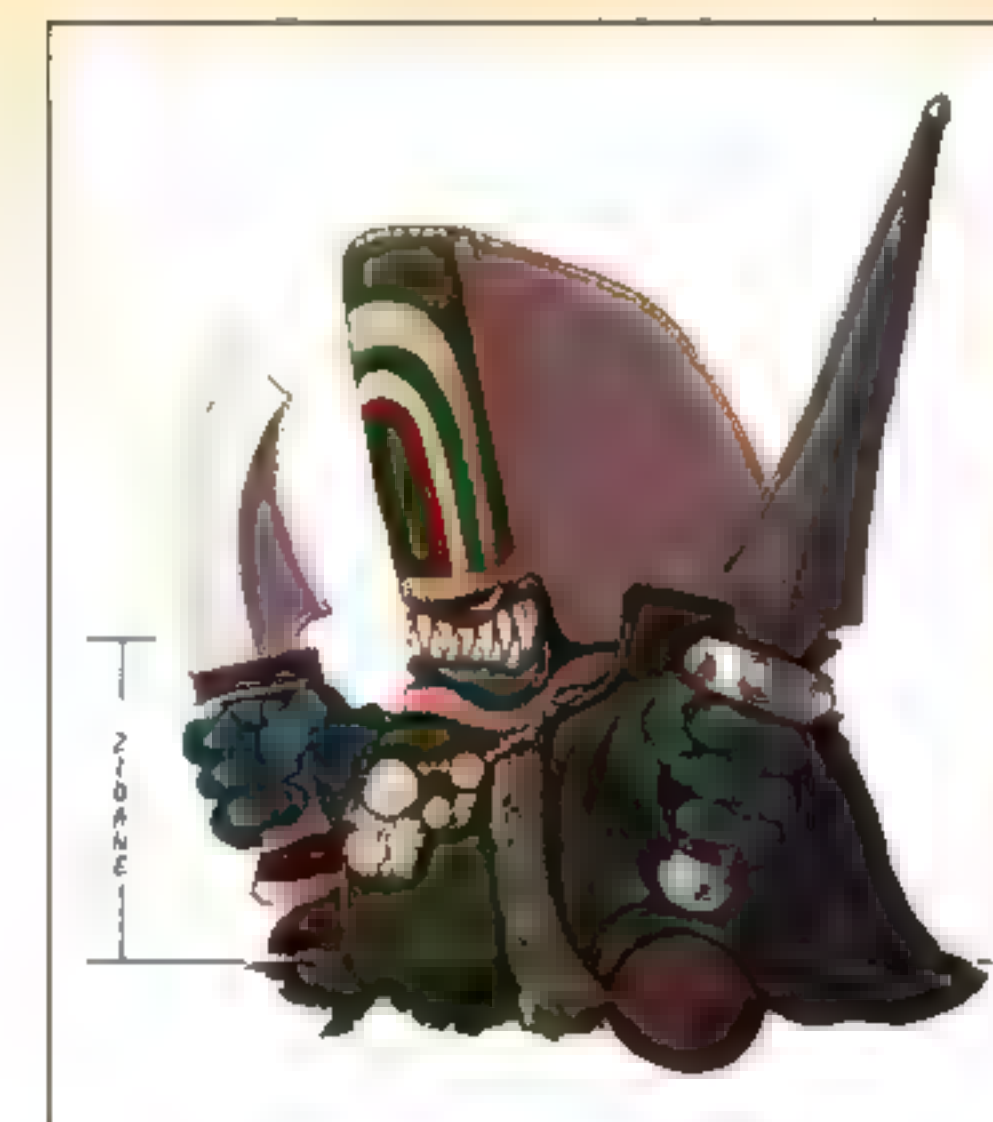
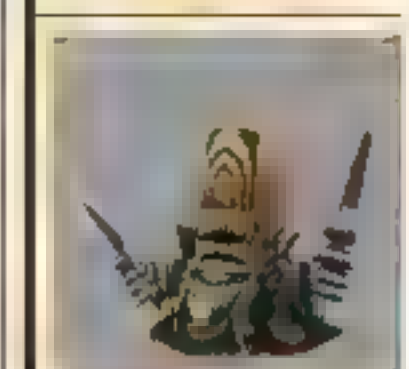
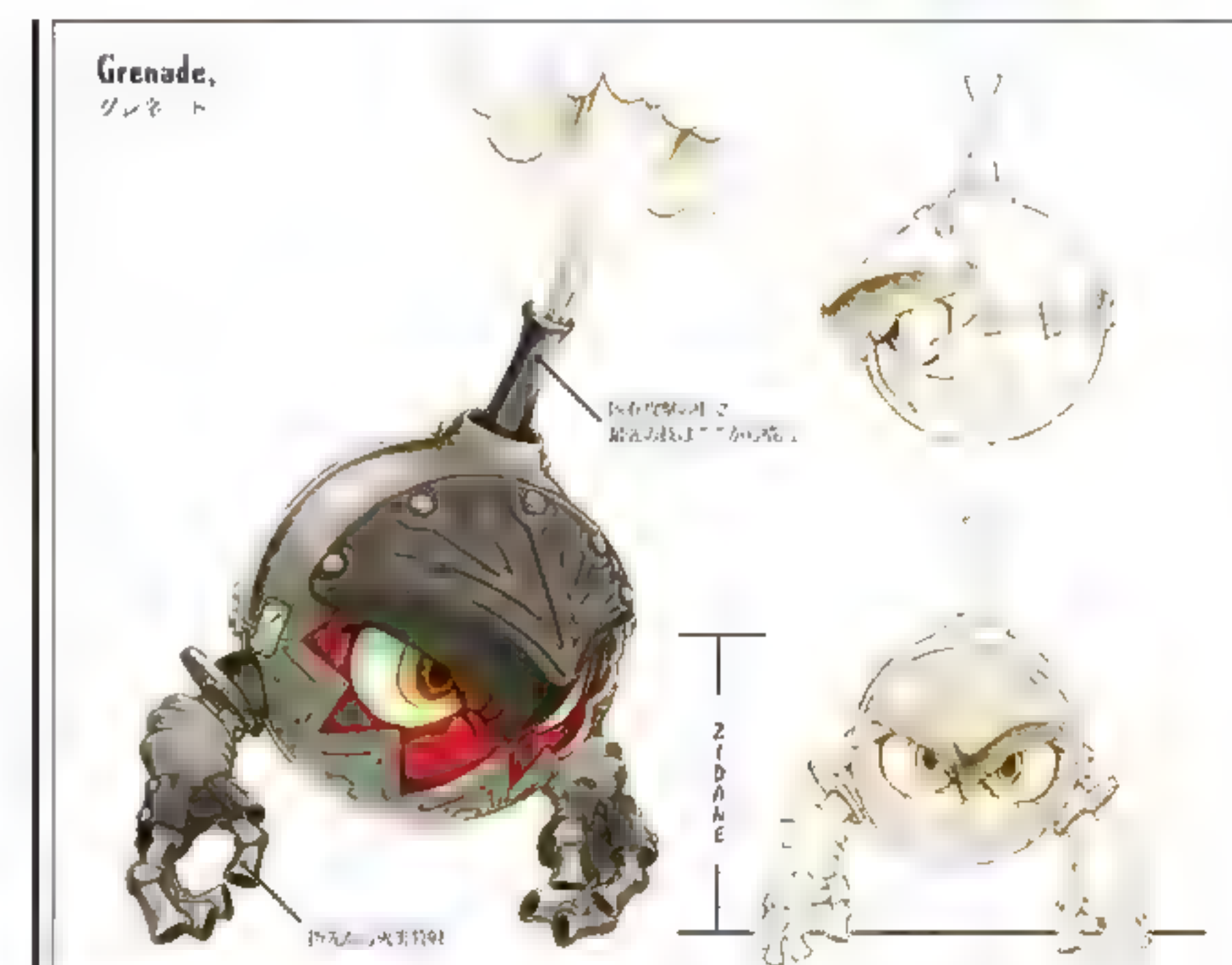
Memorial Feature

ダイヤモンドをほしがるけれど……

いただきキャットは、現れるなりダイヤモンドをくれと言う。精霊モンスター（→P.285）だと思ってダイヤモンドを渡すと、お礼もなく持ち逃げされてしまう。かと言って要求を無視してダメージを与えた場合、怒って「コメット」に似た強力な攻撃を仕掛けてくるのだ。

オーガ

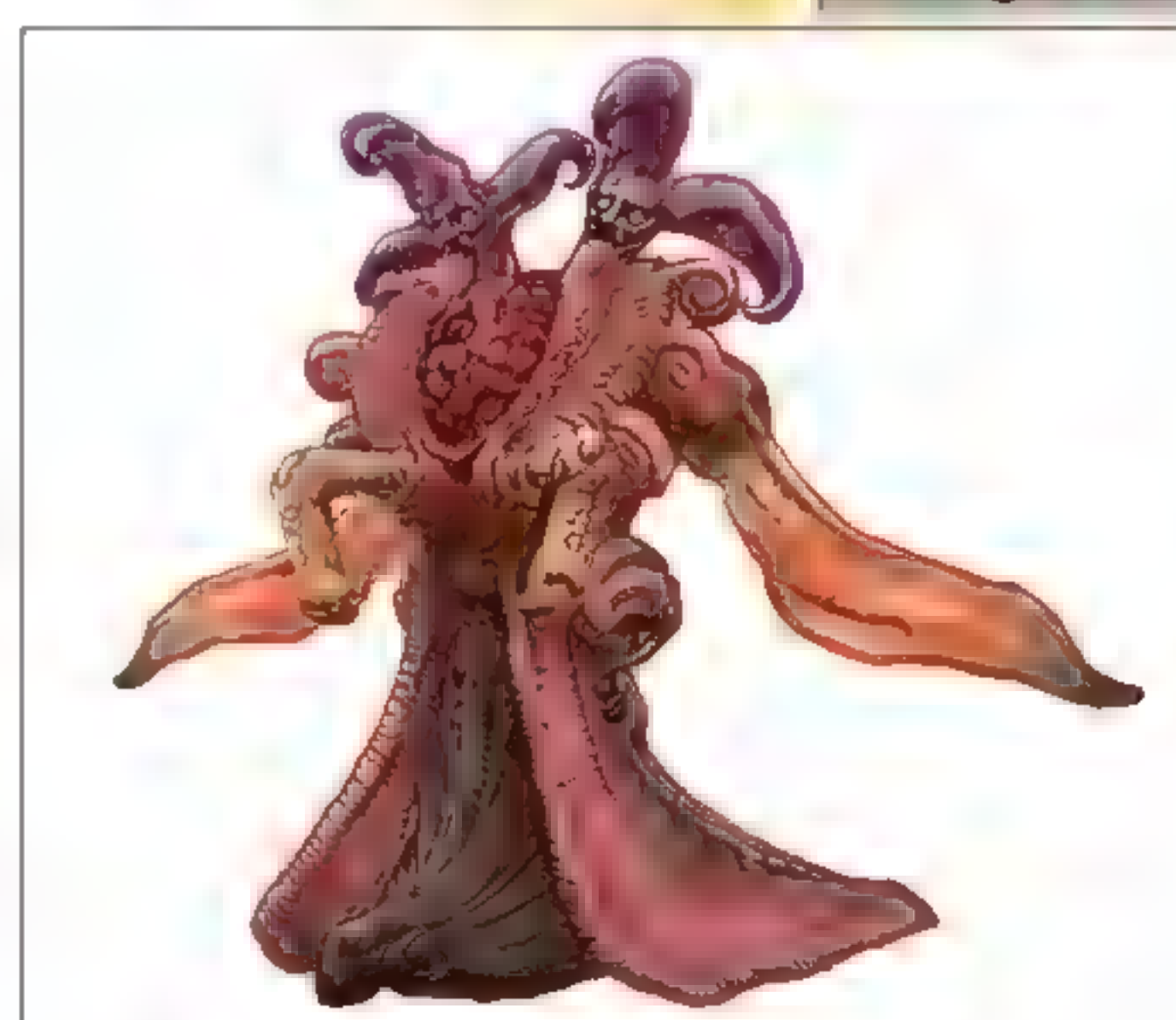
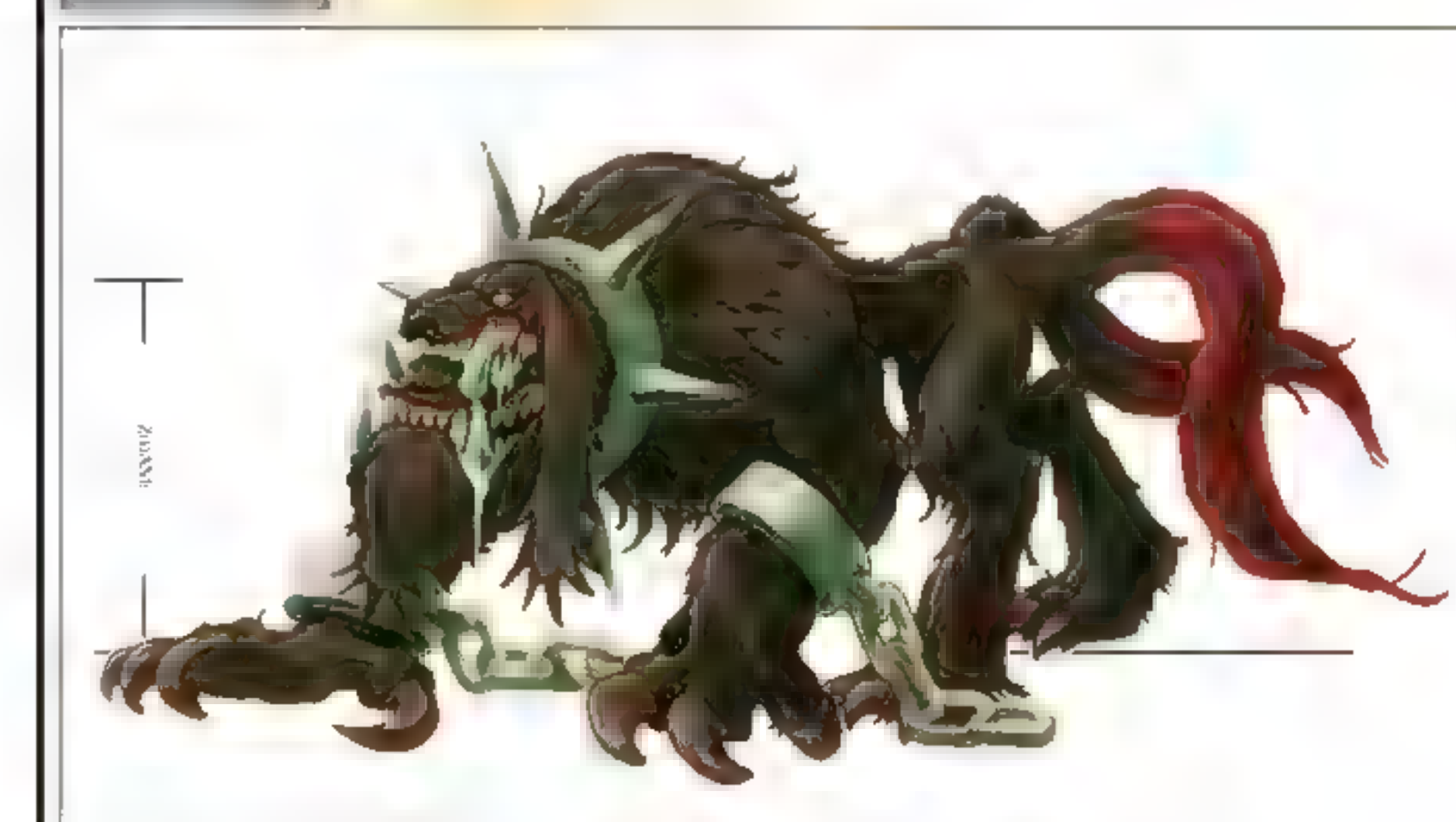
アームストロング

Grenade,

グレネード

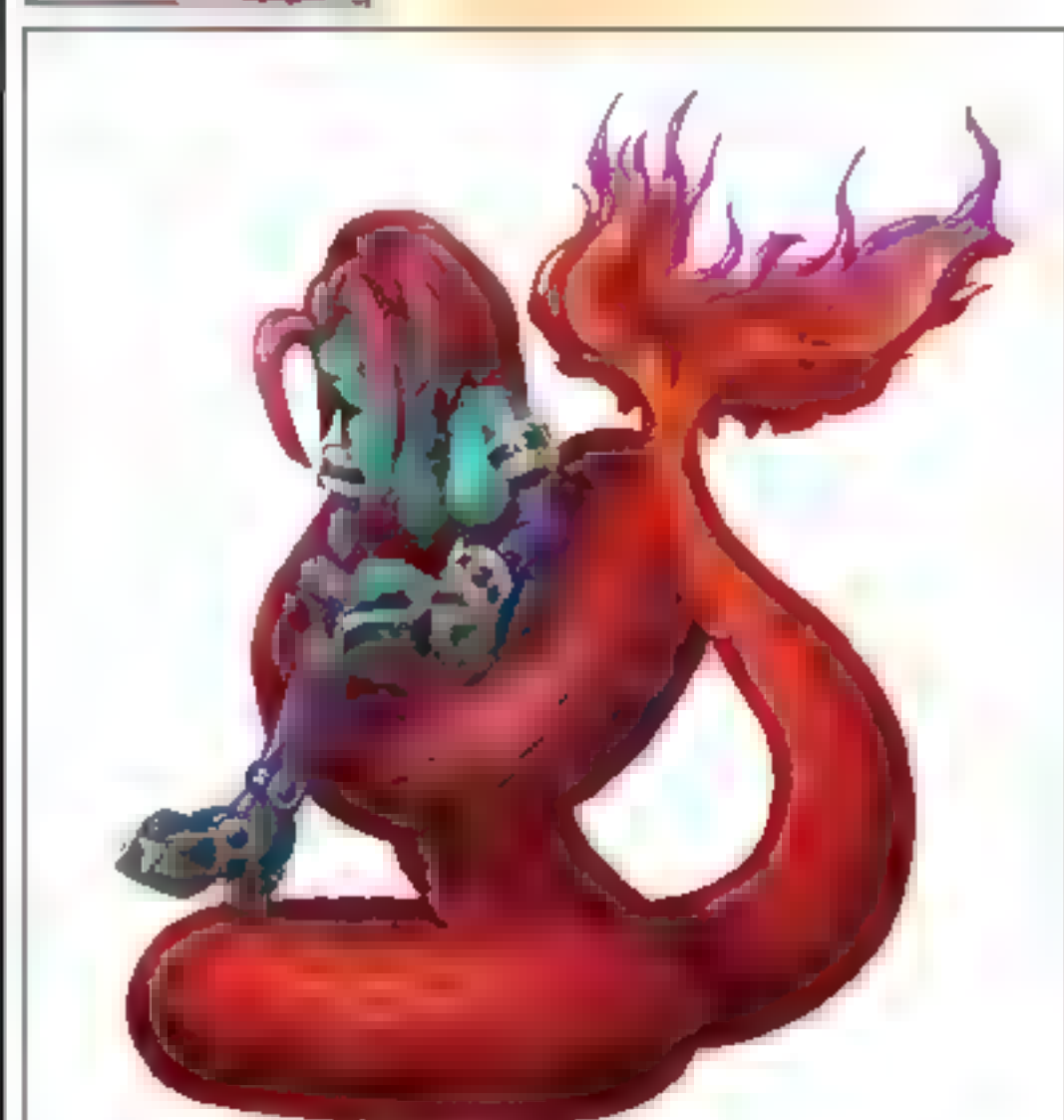
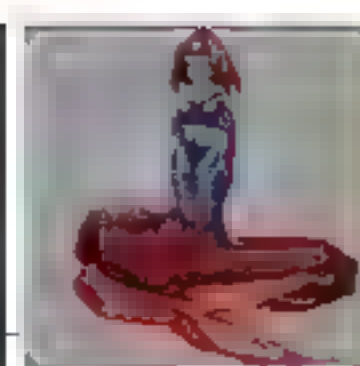
メルティジェミニ

双子の宮廷道化師ゾーン＆ソーンが、クジャの魔力によって融合され、モンスターと化した姿。その経緯から、溶解（メルト）と双子座（ジェミニ）を合わせた名前を持つ。

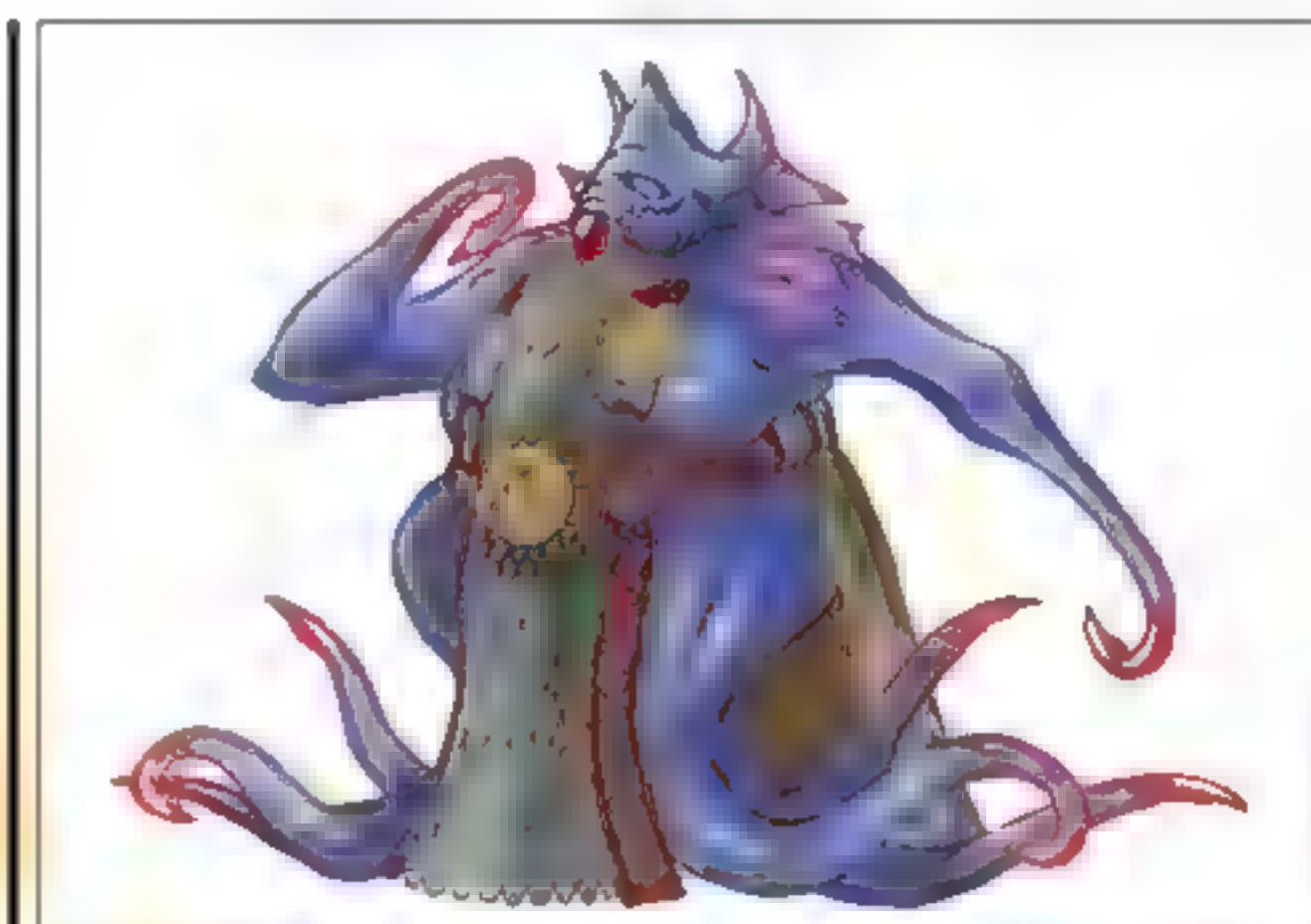
ケルベロス

ヤーン

トンベリ

ガーゴイル

Gargoyle,
ガーゴイル

火のガーディアン

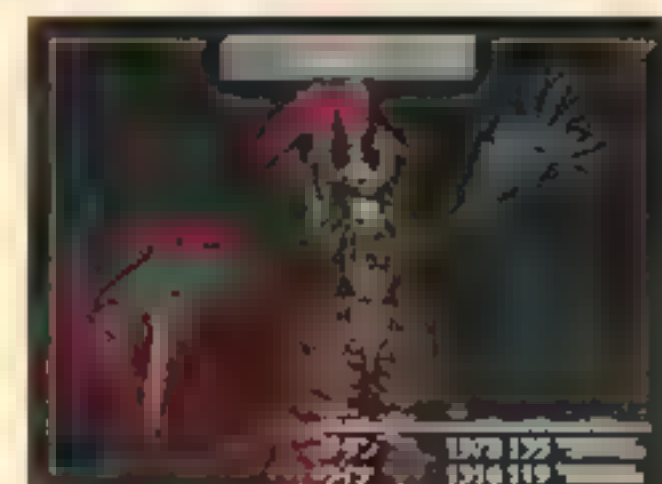
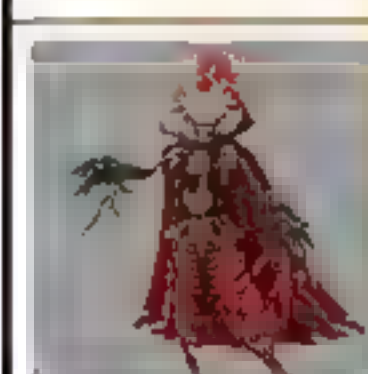
AIR GUARDIAN

風のガーディアン

水のガーディアン

土のガーディアン

Memorial Feature

実際に戦うのは土のガーディアンだけ

物語の終盤では、ジタンたちが4組のペアにわかれて4つの祠を同時に探索する。それぞれの祠にはガーディアンと呼ばれる敵が待ち受けており、ジタンとクイナが訪れた場所では土のガーディアンとのバトルに突入。一方、ほかの3体との戦いはイベントシーンとして描かれ、土のガーディアンに勝った時点で全員倒したことになる。

ムー(精霊)

レディーバグ(精霊)

Lady Bug,
レディバグ

ヤーン(精霊)

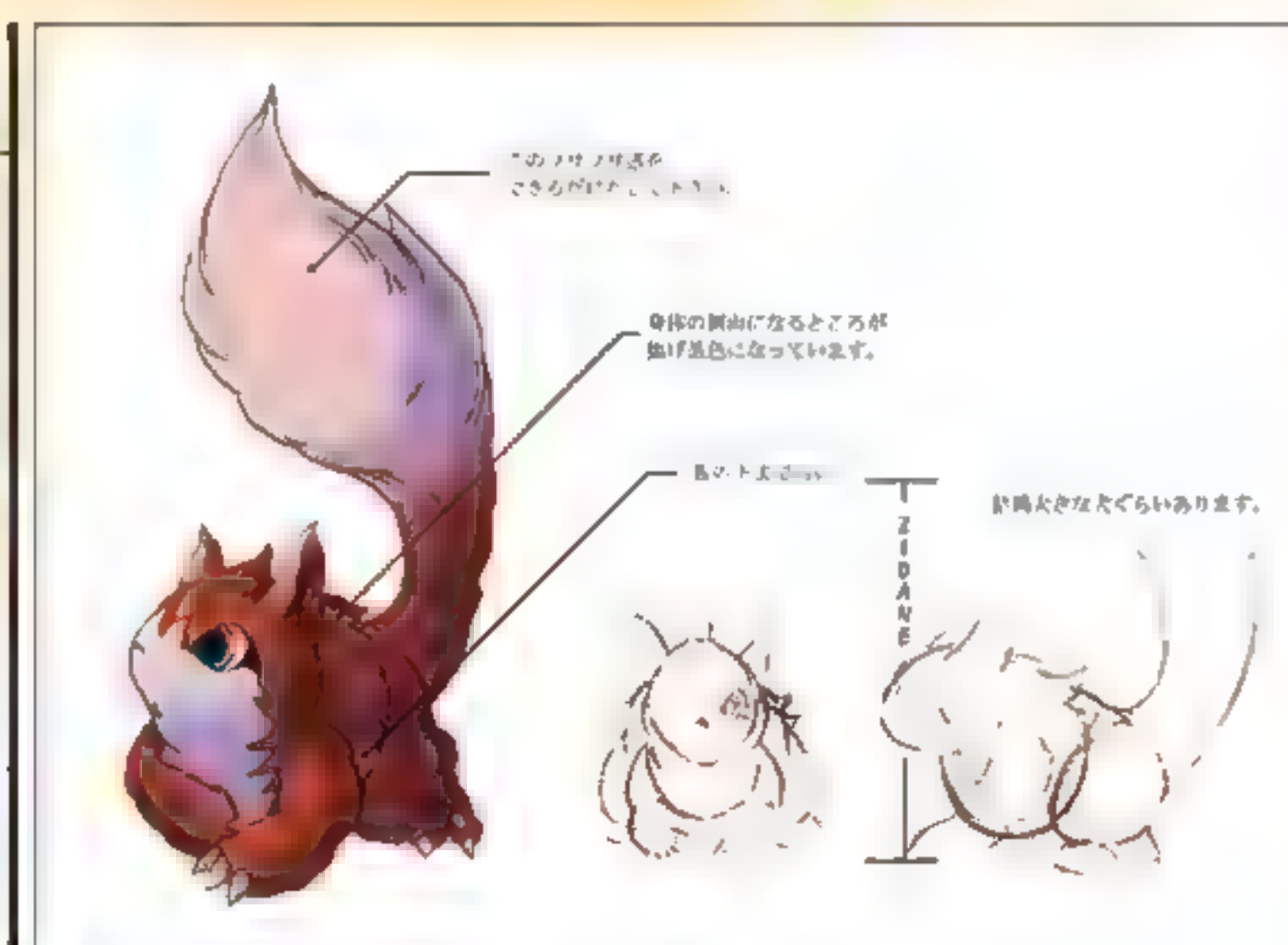
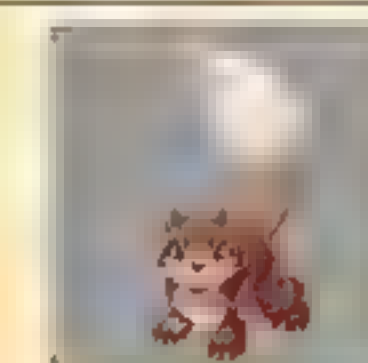
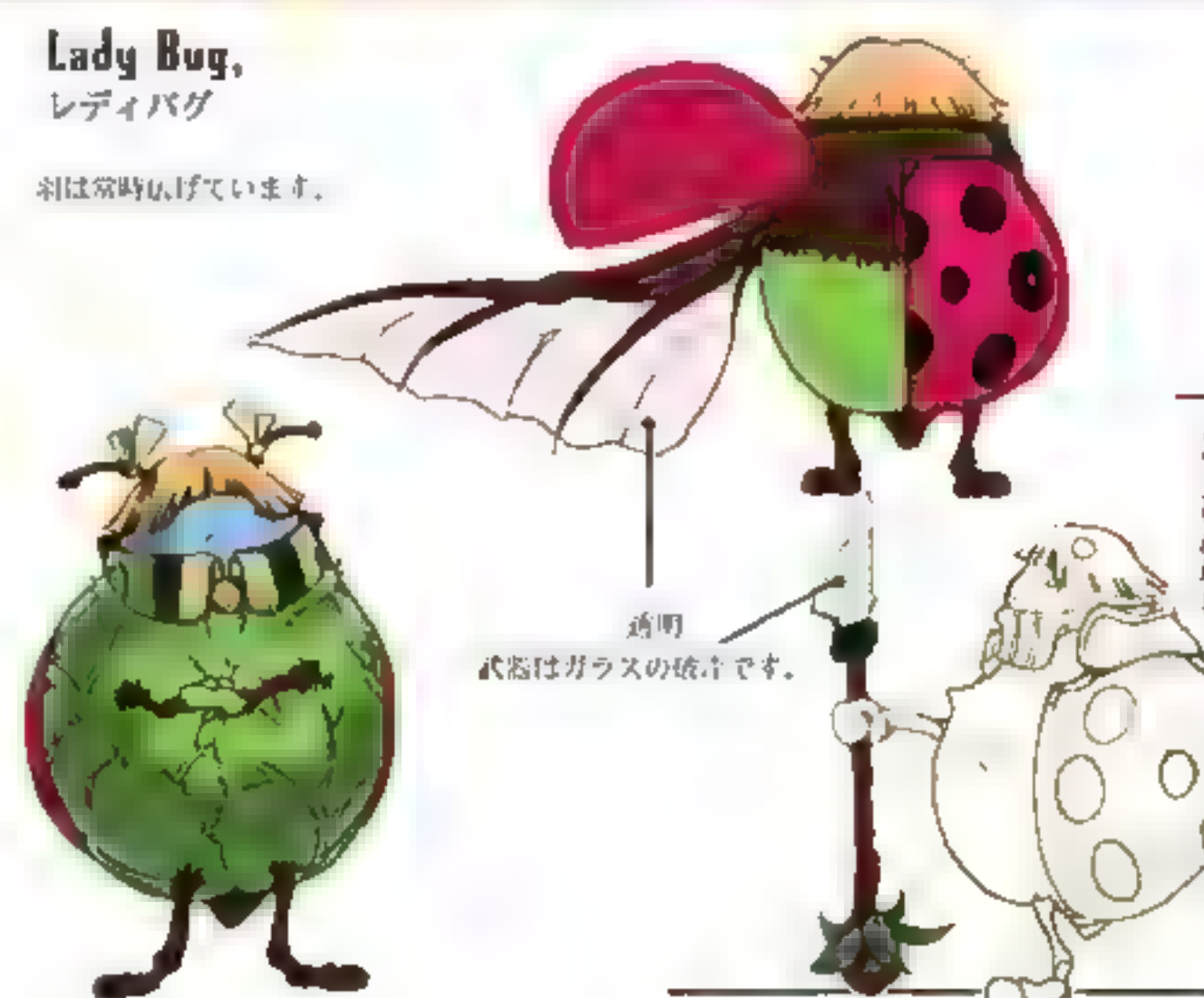
ニンフ(精霊)

オズマ

O.Z.M.A
オズマ

Memorial Feature

宝石をほしがる9体の精霊モンスターたち

ワールドマップでは、通常のモンスターと色の異なる「精霊モンスター」がまれに現れ、特定の宝石を求めてくる。彼らは全部で9体おり、願いをかなえれば貴重なアイテムを残して去っていくのだ。また、精霊モンスターが去りぎわに言うセリフを参考にして全員の願いをかなえると、最後の相手であるヤーンが「まーるいあいつにとどくようにしてあげたよ！」と言い、最強の敵オズマとのバトルで「たたかう」の攻撃が当たるようになる。

Memorial Feature

「FFIX」最強の敵は「まーるいあいつ」

精霊モンスターのヤーンが言う「まーるいあいつ」ことオズマは、いわゆる隠しボスにあたる強敵。最大で9999のダメージを与える「メテオ」や、威力が大きいうえに5種類のステータス異常を引き起こす「カーズ」といった危険な全体攻撃を使いわけ、多くのプレイヤーを苦しめた。

リングコマンダー

ヘクトアイズ

モルボル

ムーバー

★なんか「おいしそう」な色で
透明感のあるものをお願いします。

★こんな風になると
いいですね。

銀竜

鉄巨人

神竜

マリリス

ティアマット

クラーケン

リッチ

ハーデス

記憶の場所で物陰に隠れて眠りについているモンスター。カウントダウン後に強力な攻撃を使ってくるが、ジタンたちに敗れたあとは、究極の合成屋として力を貸してくれるようになる。

デスゲイズ

クリスタルワールドの最深部でクジャが呼び出す敵。ときおり「とじる」で設定画と同じ体勢になって守りを固め、魔法などで攻めてくる。

FINAL FANTASY IX ファイナルファンタジーIX

EXTRA MATERIALS

乗り物

劇場艇プリマビスタ

劇場としての機能も持つ飛空艇。通常、舞台は床下に収納されており、最前列にあたるオーケストラピット(演奏席)だけが外に見えている。左右の側面にある大きなイカリは、公演中に船体を空中に固定するためのもの。

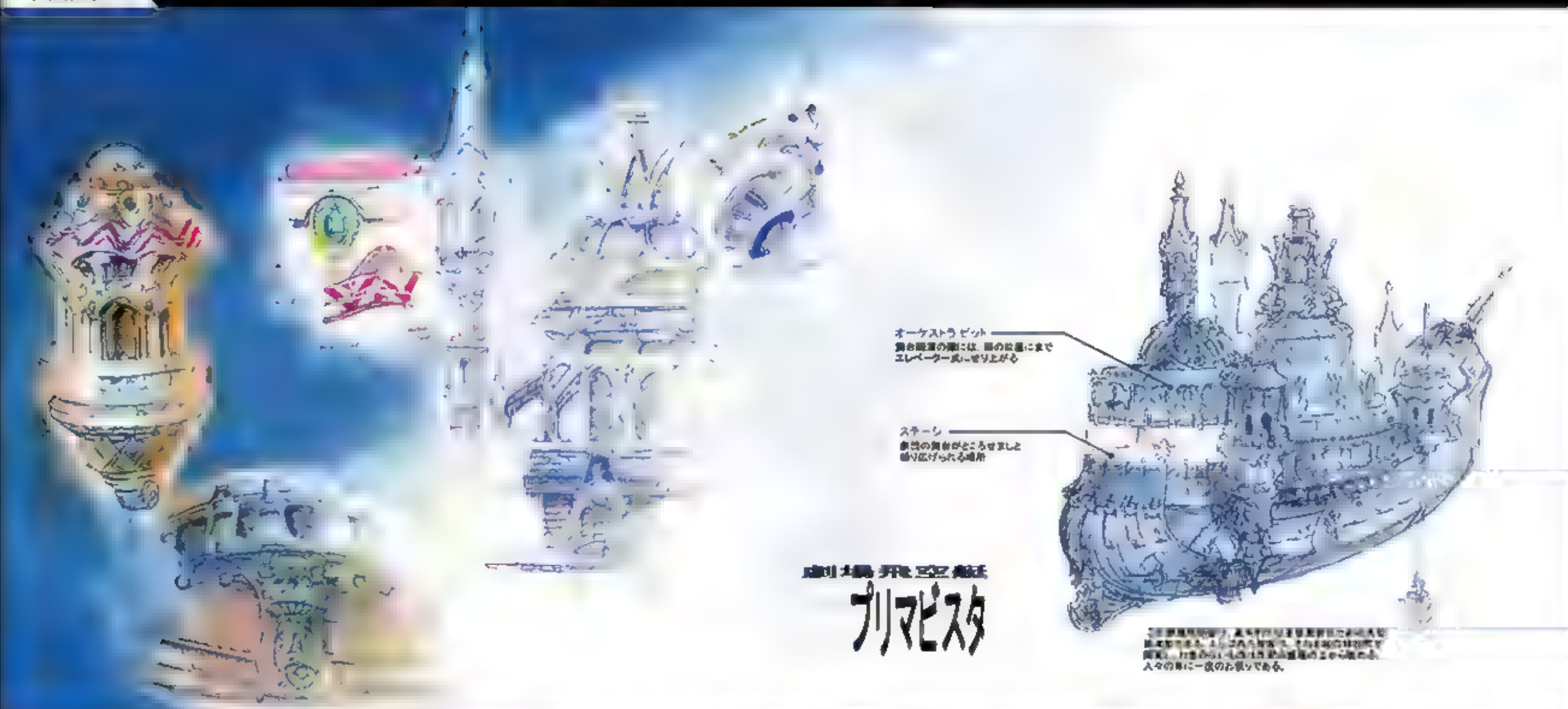
種別：劇場付き豪華飛空艇
総トン数：8,285t
収容乗客数：288名
動力：ヴェール・エナジー
建造：ゼボルト造船所
船籍：リンドブルム

墜落後の外観

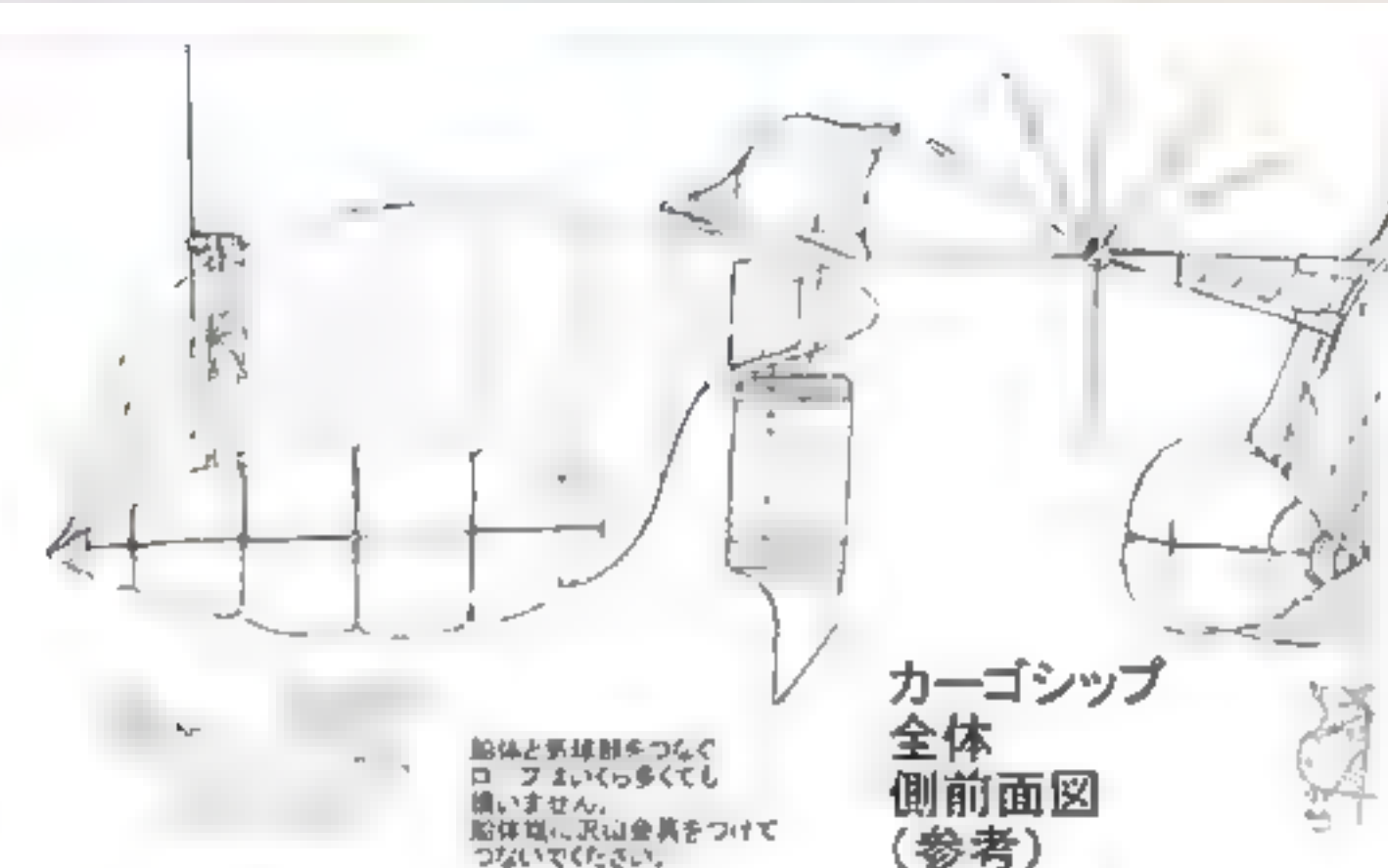
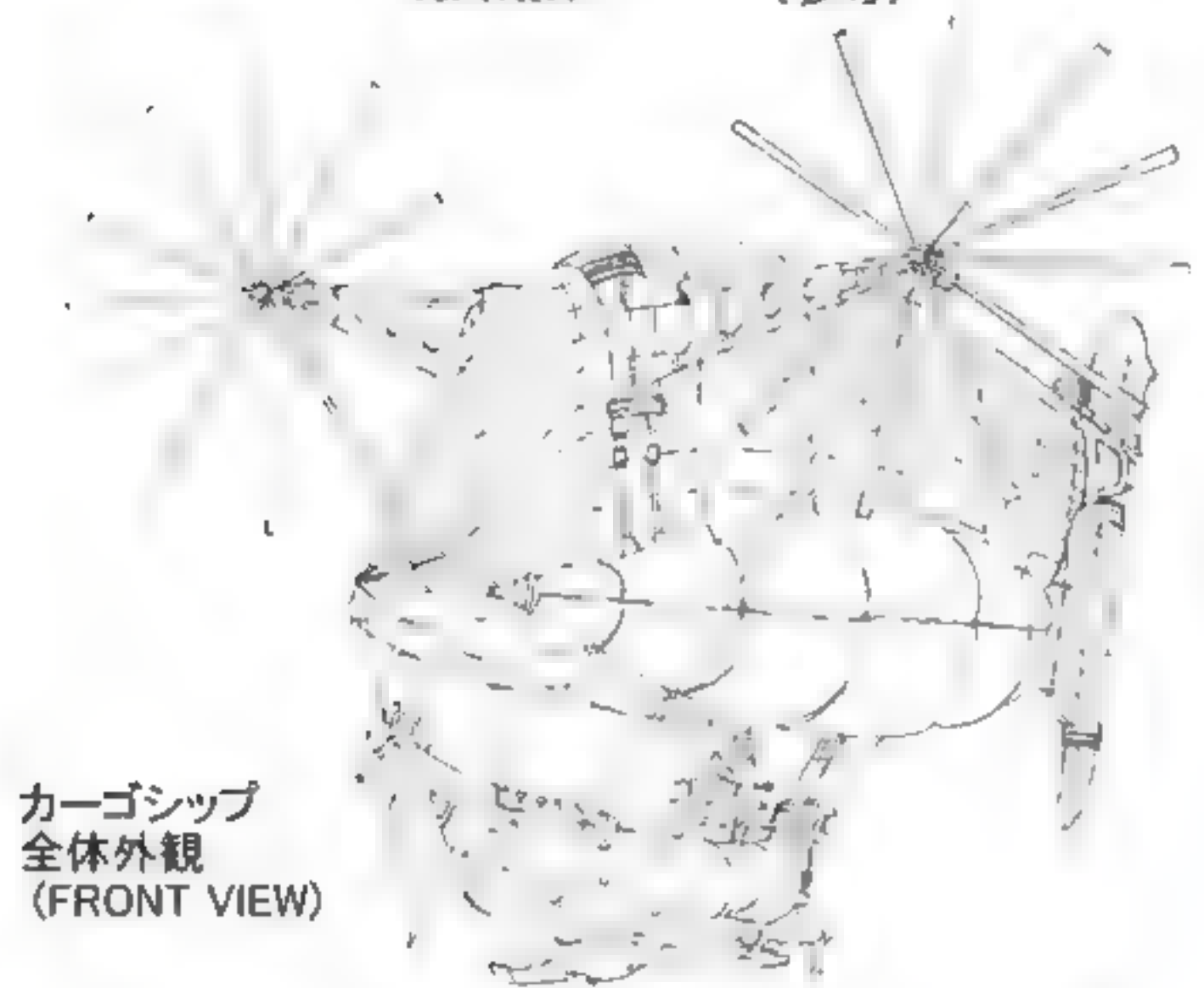
上面

側面

設定画

劇場飛空艇 プリマビスタ

カーゴシップ

機体の大部分が木や布で作られた小型艇。現行の飛空艇の原点で、「空の金魚」と呼ぶ飛空艇の愛好家が多い。ダリの村では、生産された黒魔道士をアレクサンドリア城へ運ぶために使われている。

設定画

カーゴシップ 全体 側前面図（参考）

カーゴシップ 全体外観 (FRONT VIEW)

カーゴシップ 全体外観 (REAR VIEW)

船体部分の設定画

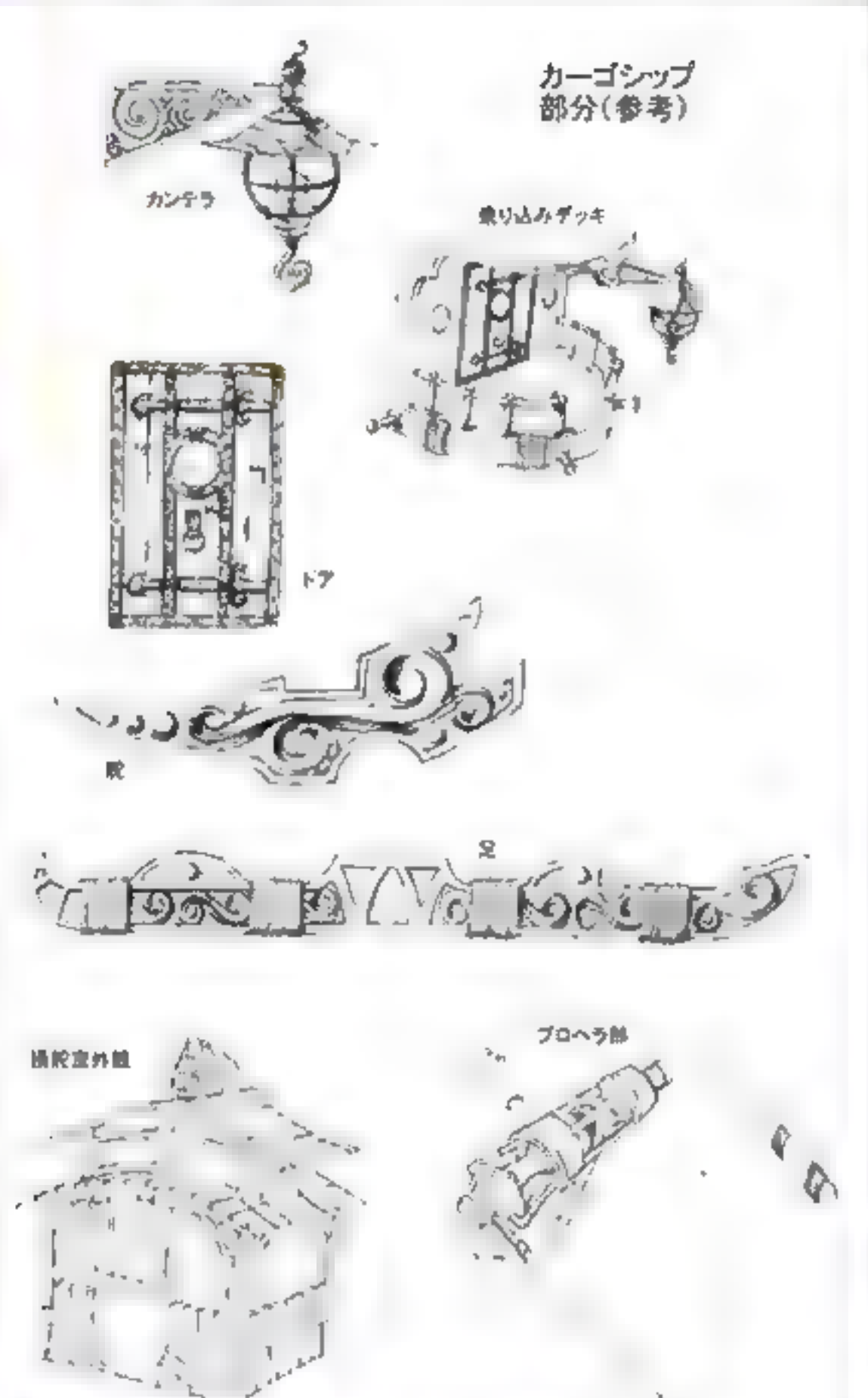
カーゴシップ 船体部(3) 荷物有 (TOP VIEW)

カーゴシップ 船体部(1) 荷物有 (REAR VIEW)

各種パーツの設定画

カーゴシップ 部分(参考)

フェンリル

小型の高速飛空艇。名前はエーコの召喚獣フェンリルと同じだが、船首は召喚獣ではなく白い竜の形をしている。

Memorial Scene

黒のワルツ3号との息詰まるチェイス

ダガーを狙う黒のワルツ3号は、カーゴシップの甲板でジタンたちと戦い、敗北すると飛空艇フェンリルに乗って追跡をはじめる。一度は追いつくが、放とうとした魔力の放電で自船に火をつけてしまい、失速した船ごと南ゲートに激突。ジタンたちは、からくも難を逃れた。

レッドローズ

アレクサンドリア女王の[illegible]が好む赤いバラの名を持ち、船体のデザインもあざやかな赤を基調としている。船体下部の通路には、兵士を戦場へワープさせられる装置、テレポットが多数並ぶ。

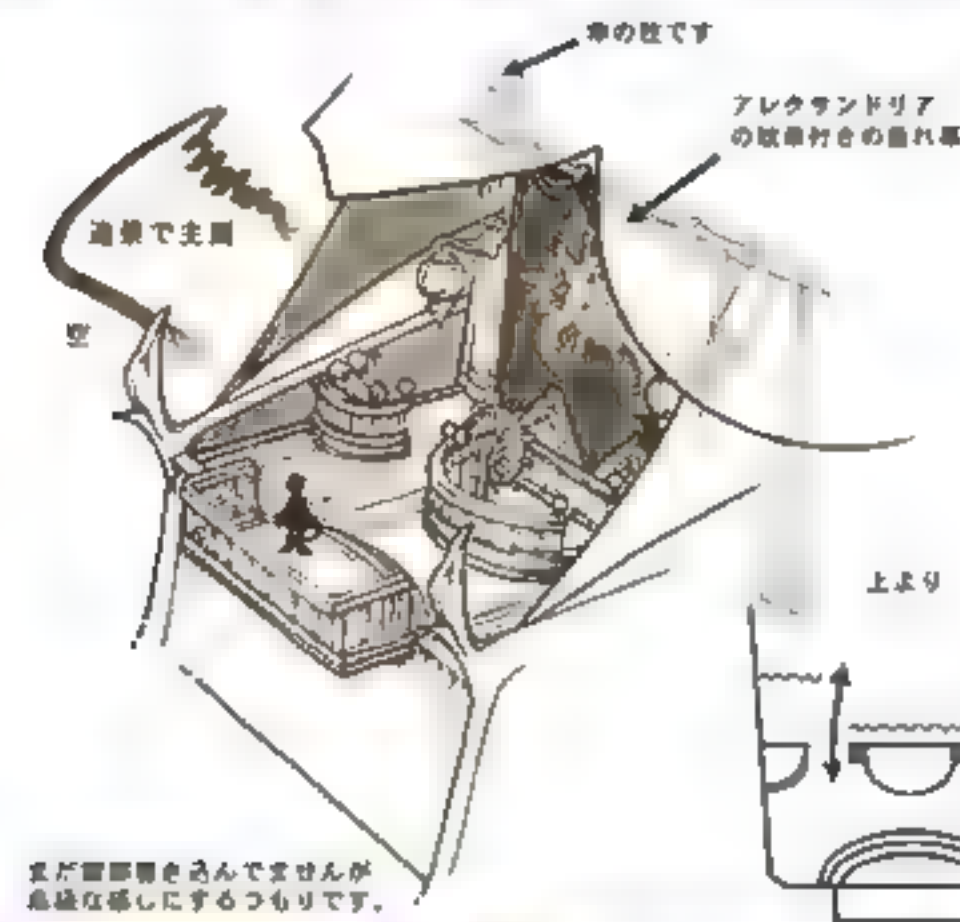
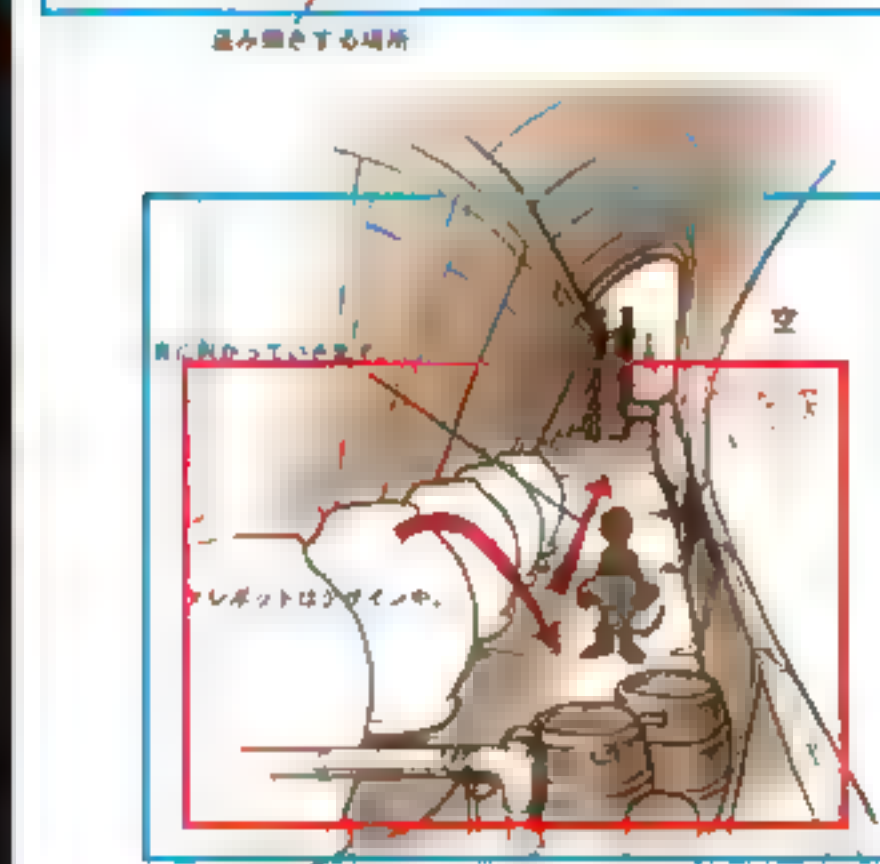
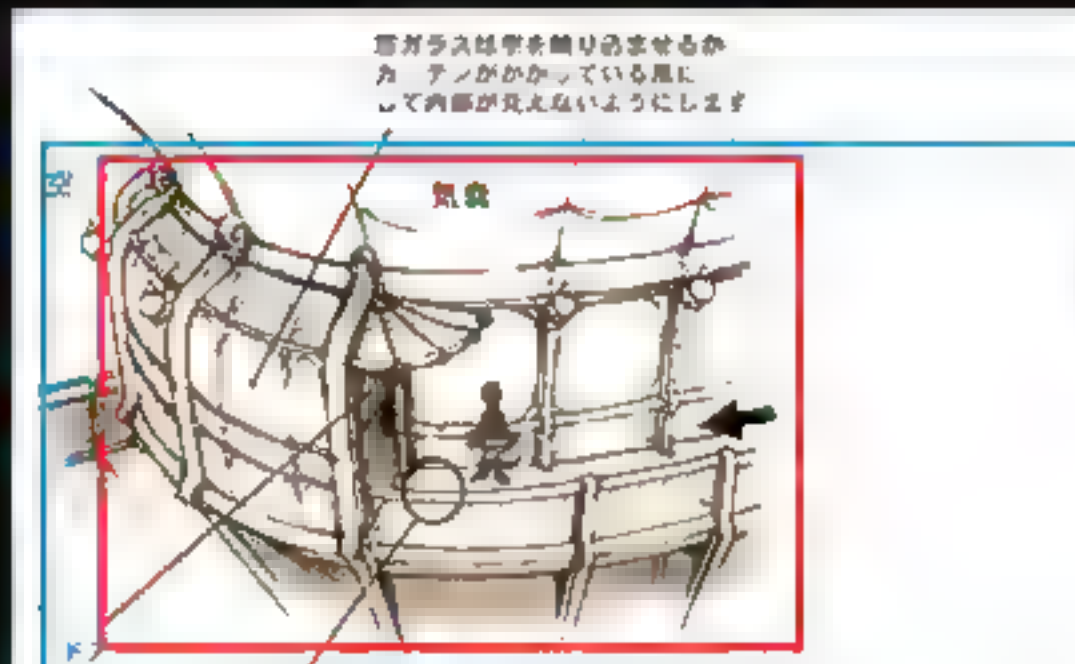
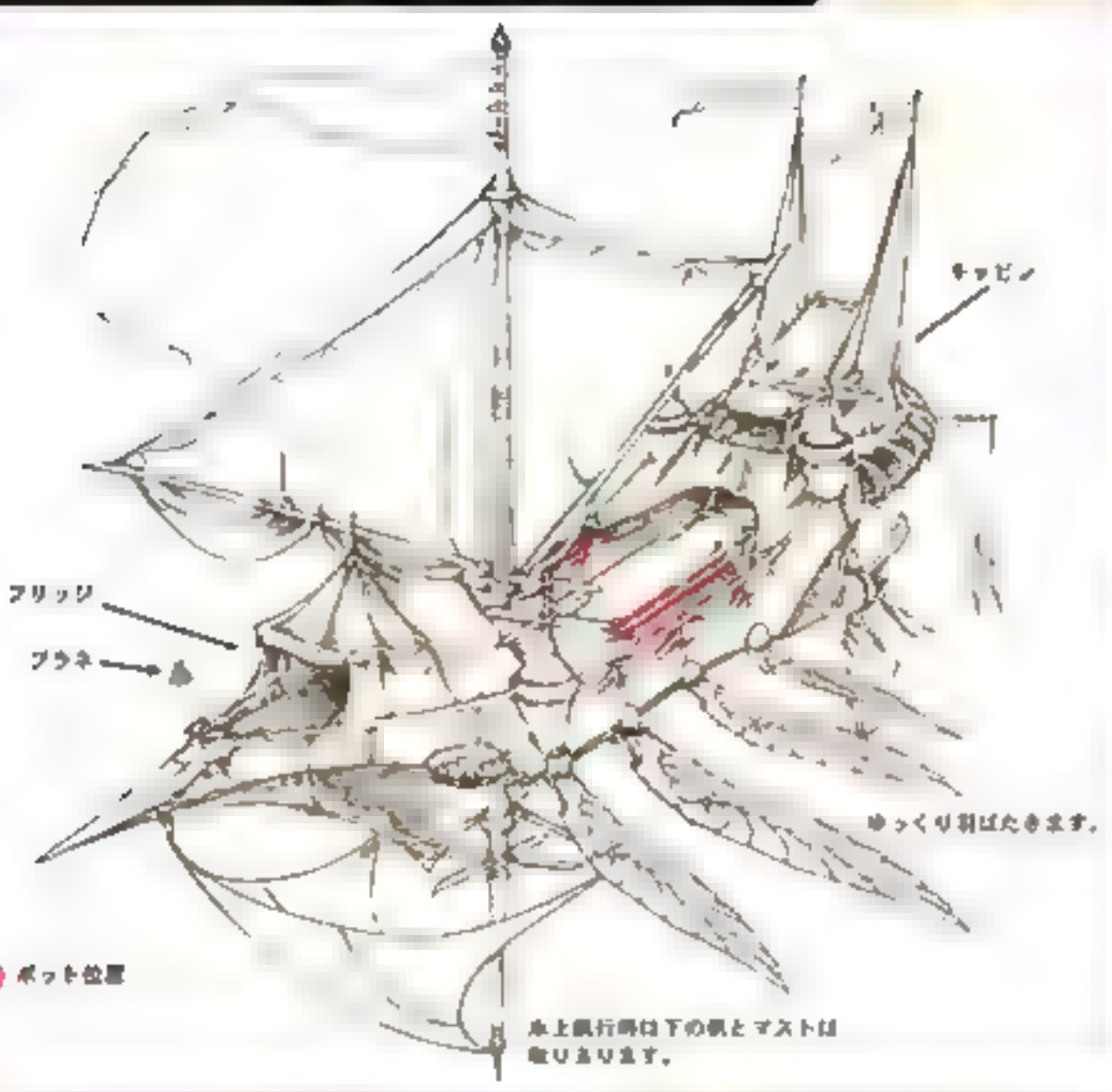
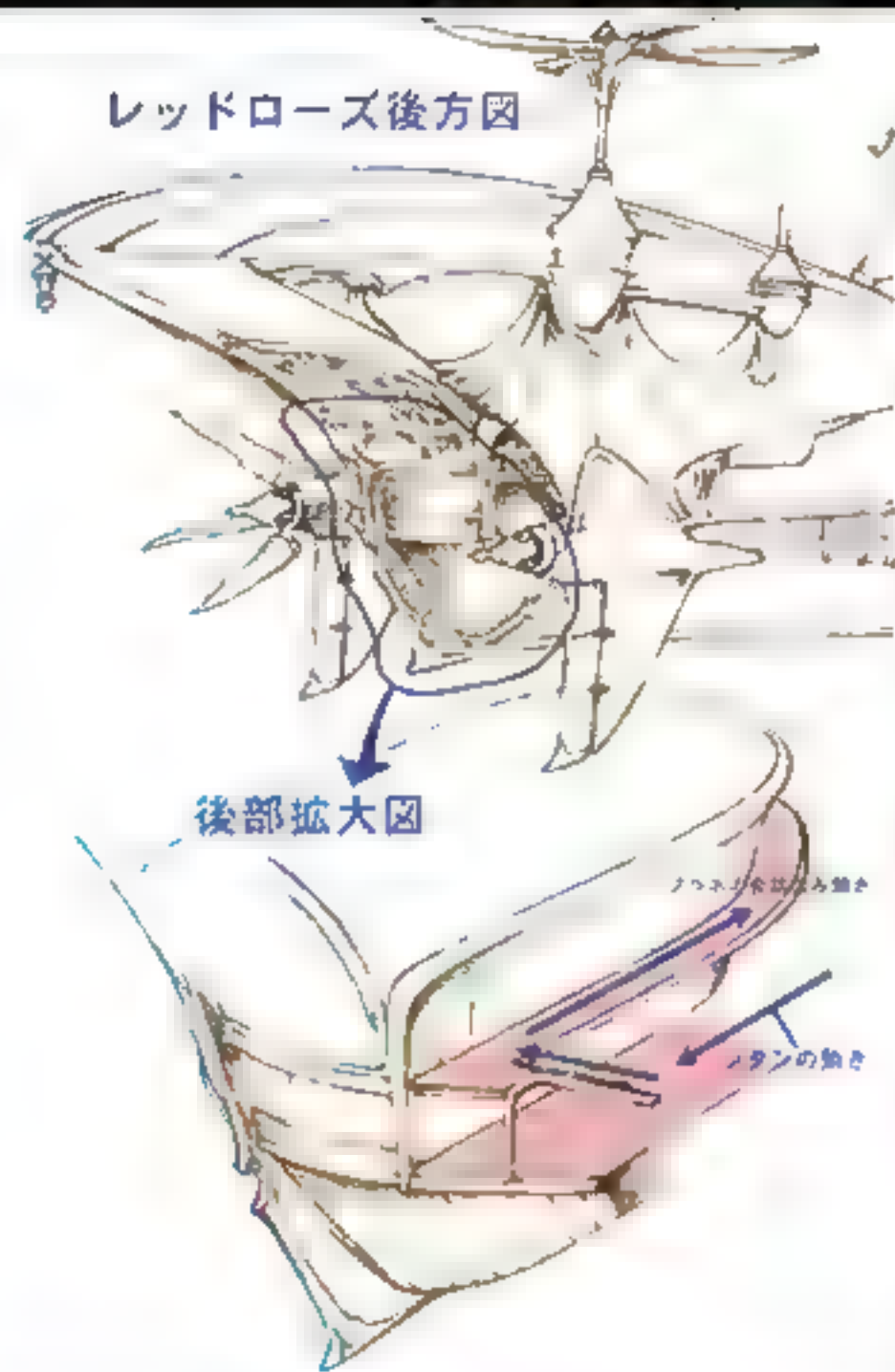
▸ 設定画

レッドローズブリッジ ラフ

▸ ブリッジの設定画

▸ 準備稿

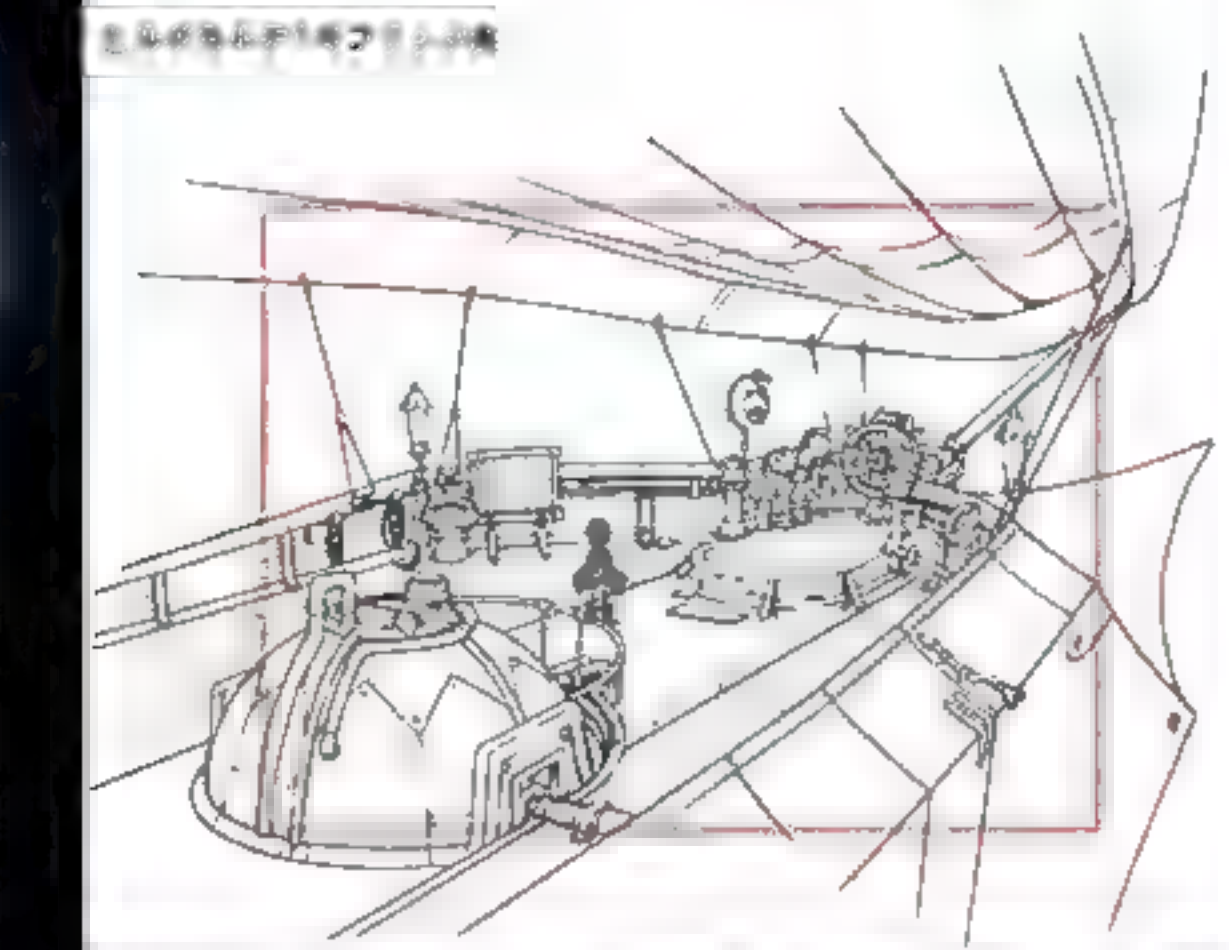
レッドローズ後方図

後部拡大図

▸ 通路の設定画

ヒルダガルデ1号

"霧"を必要としない蒸気機関を最初に搭載した飛空艇。船体が上下にわかれ、ブリッジはその中央に位置している。リンドブルム大公のシド9世が開発し、妃であるヒルダの名をつけたが、夫の浮気に怒ったヒルダが乗って脱出してしまう。

設定画

ヒルダガルデ1号案

全長70m

ヒルダガルデ2号

蒸気機空艇の2作目で、行方不明となったヒルダガルデ1号のかわりに[illegible]ドがブリ虫という不完全な状態で設計したせいで完成度は低く、何とかテスト飛行にこぎつけたものの、[illegible]を乗せようとするジタンを運んだ直後に空中分解して墜落する。

ヒルダガルデ2号-船首部分

設定画

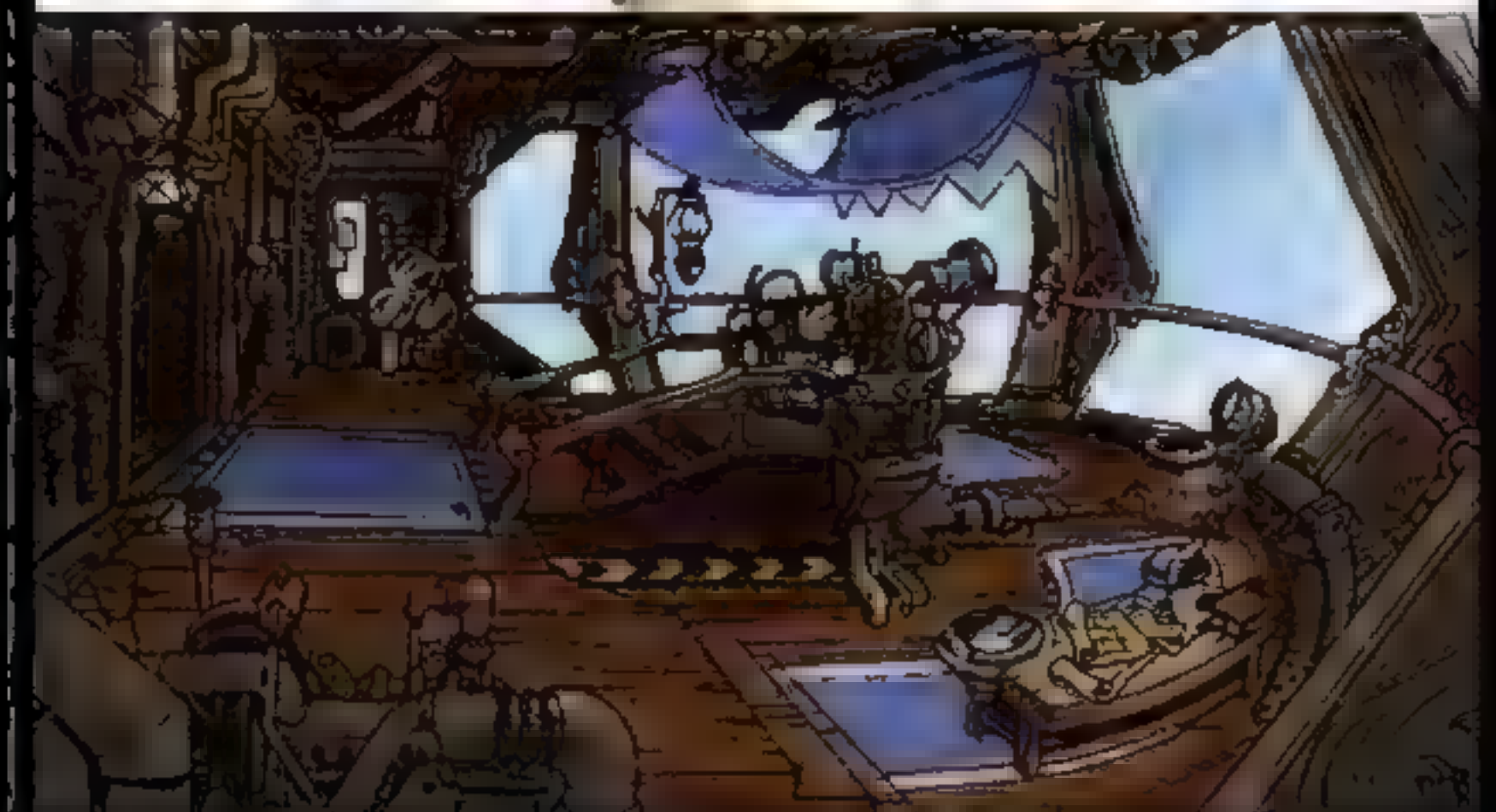
準備稿

ヒルダガルデ2号の翼の形や長さについてのアイデア。2種類の案が出され、最終的には上側のアイデアが採用された。さらに設定稿では、機体の前面に2基のプロペラが追加されている。

ヒルダガルデ3号

人間の姿にもどったシドが、本来の力を発揮して造った機体。ブルーナルシス(→P.293)の船体を流用し、短い工期でありながら高い機動力と耐久性を持たせることに成功した。

▸ ブリッジの設定画

ヒルダガルデブリッジ案

設定画

戦闘艇ヴィルトガンス

リンドブルム空軍艦隊の標準機体。ヒルダガルデ号よりも過去に開発された機体なので、霧ではなく"霧"を動力にしている。最終決戦の地へ向かうジタンたちの援護に現れた。

CG用元絵

一般飛空艇

霧の大陸で民間人が利用している飛空艇の数々。リンドブルムの城壁内や、国境間に建つ北ゲートや南ゲートなどで、これらの機体を見ることができる。

設定画①

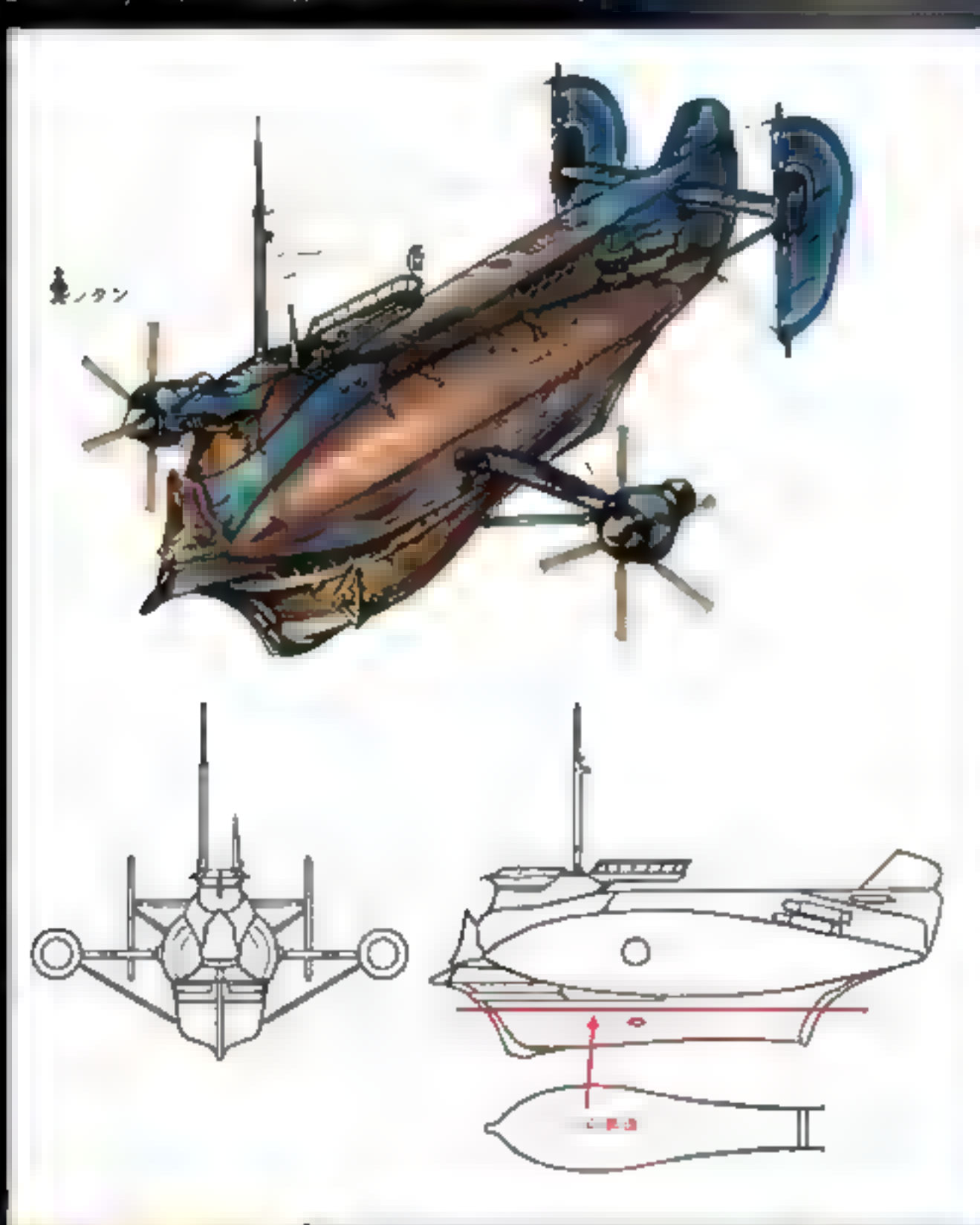
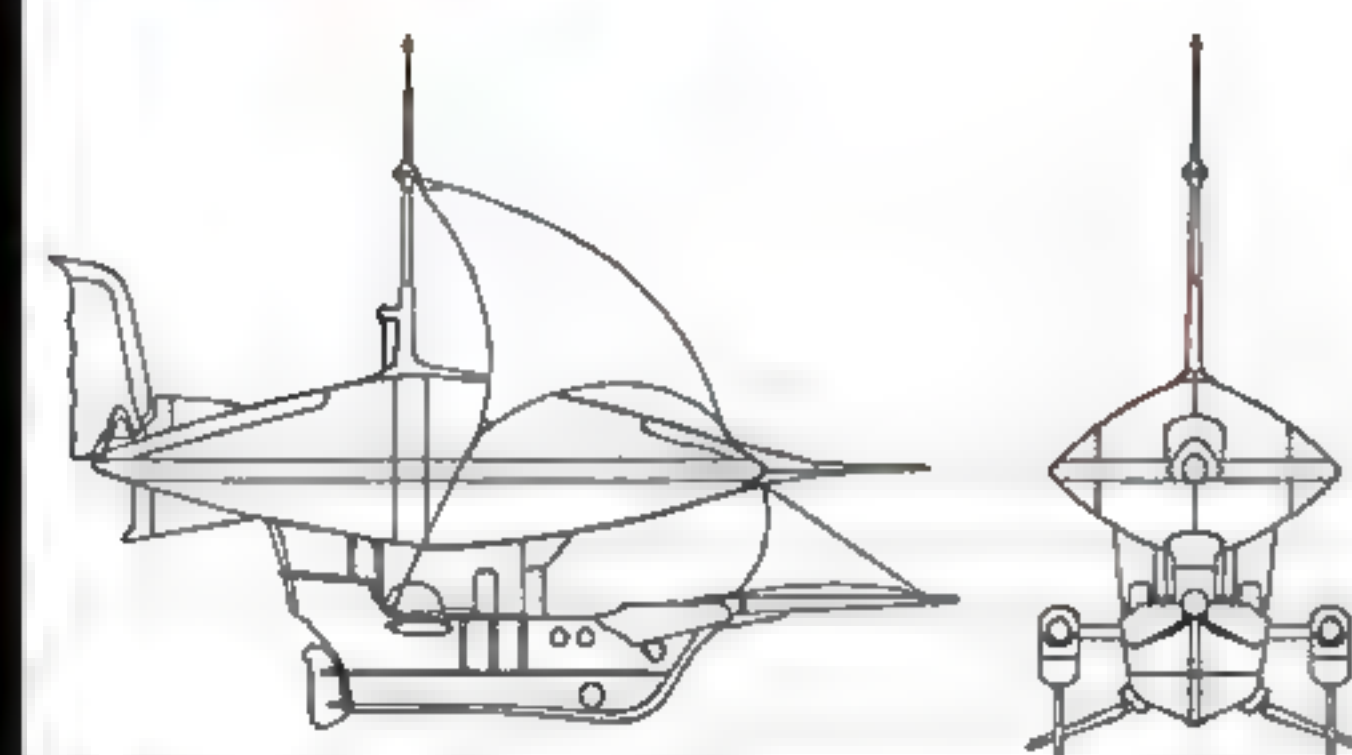
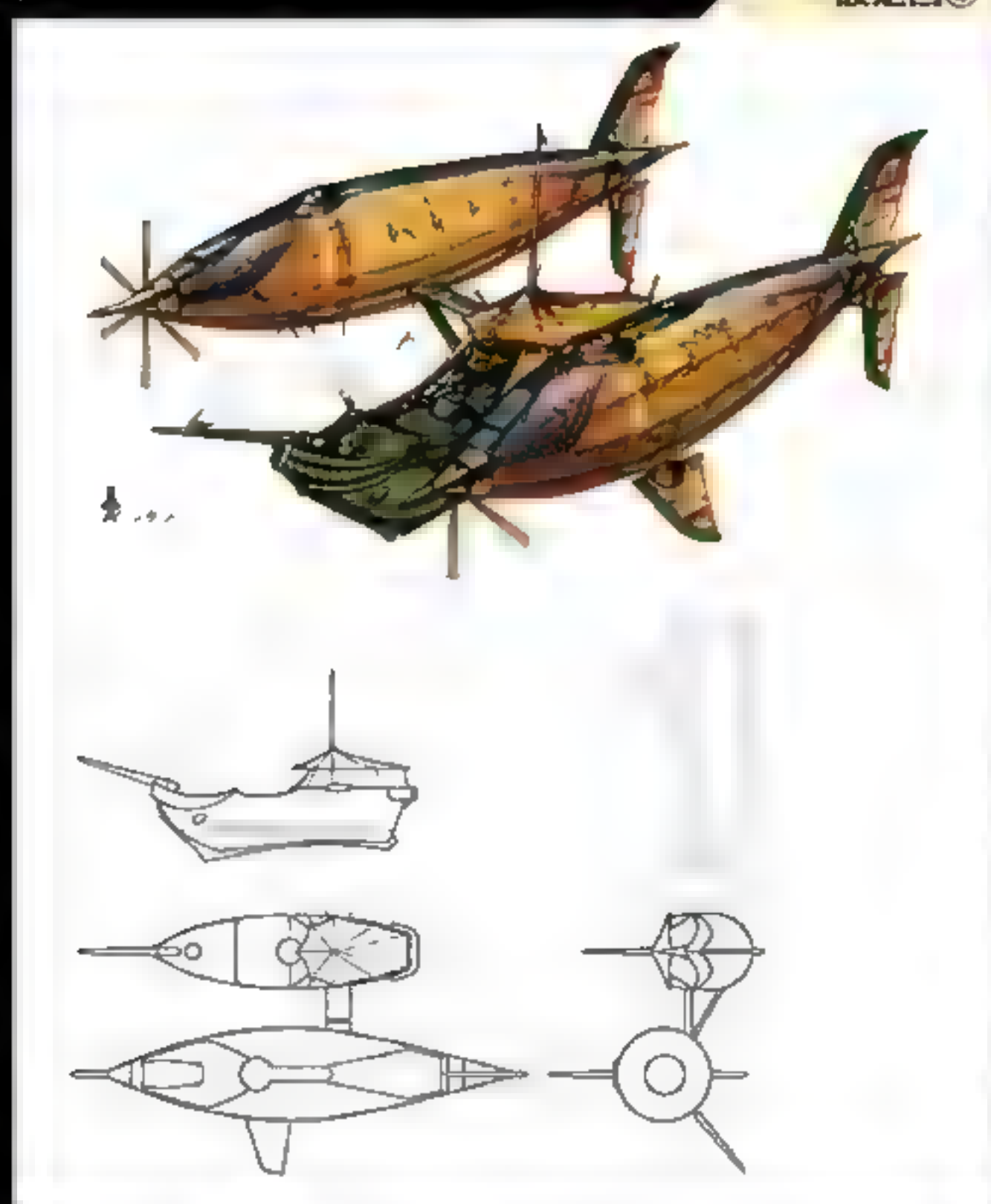
設定画②

設定画③

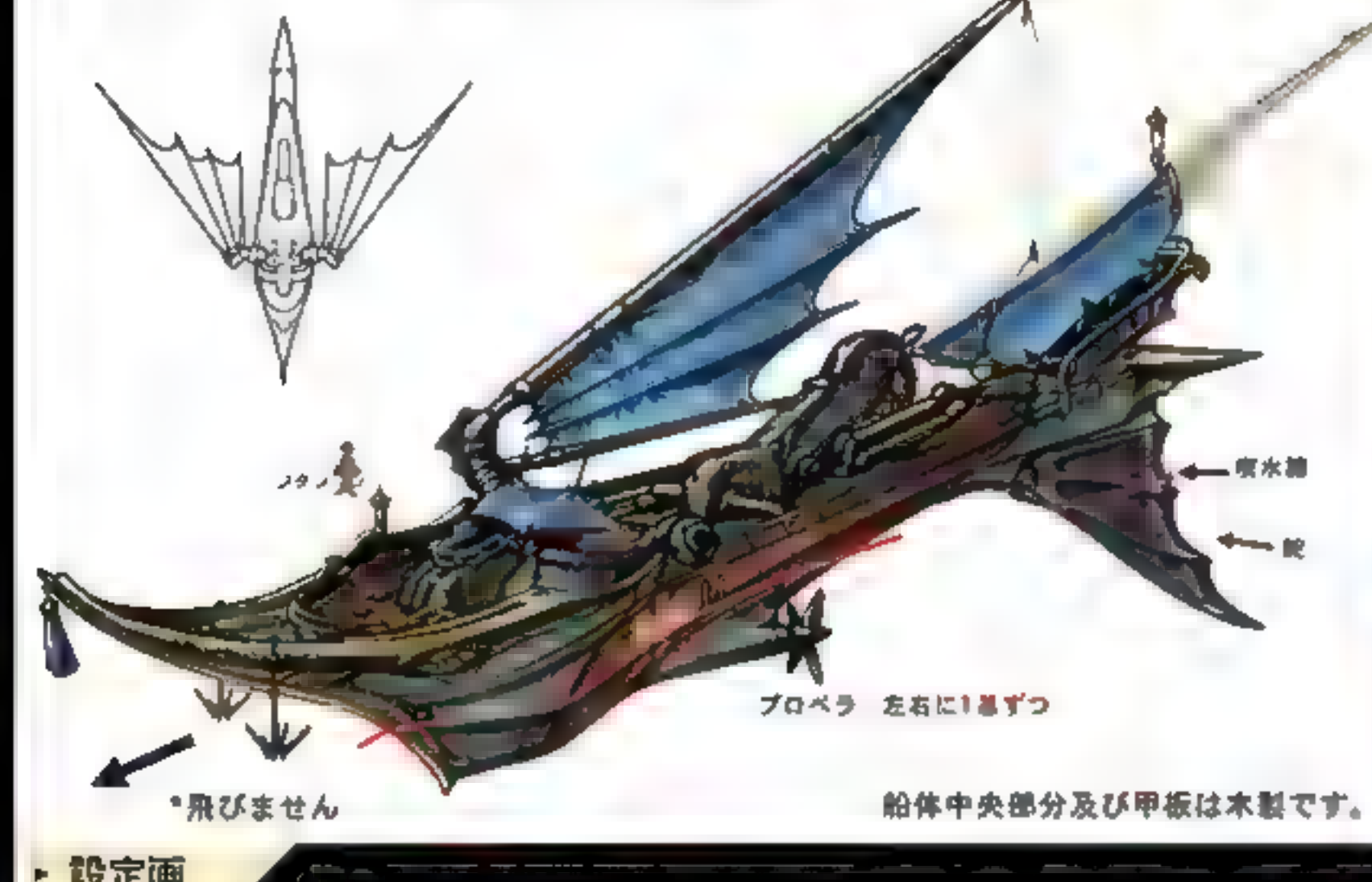
エアキャブ

リンドブルム公国にて、24時間運行されている旅客飛空艇。城と街を結ぶ交通手段として多くの人に利用されている。蒸気機関で動くので、"霧"がない市街でも航行が可能。

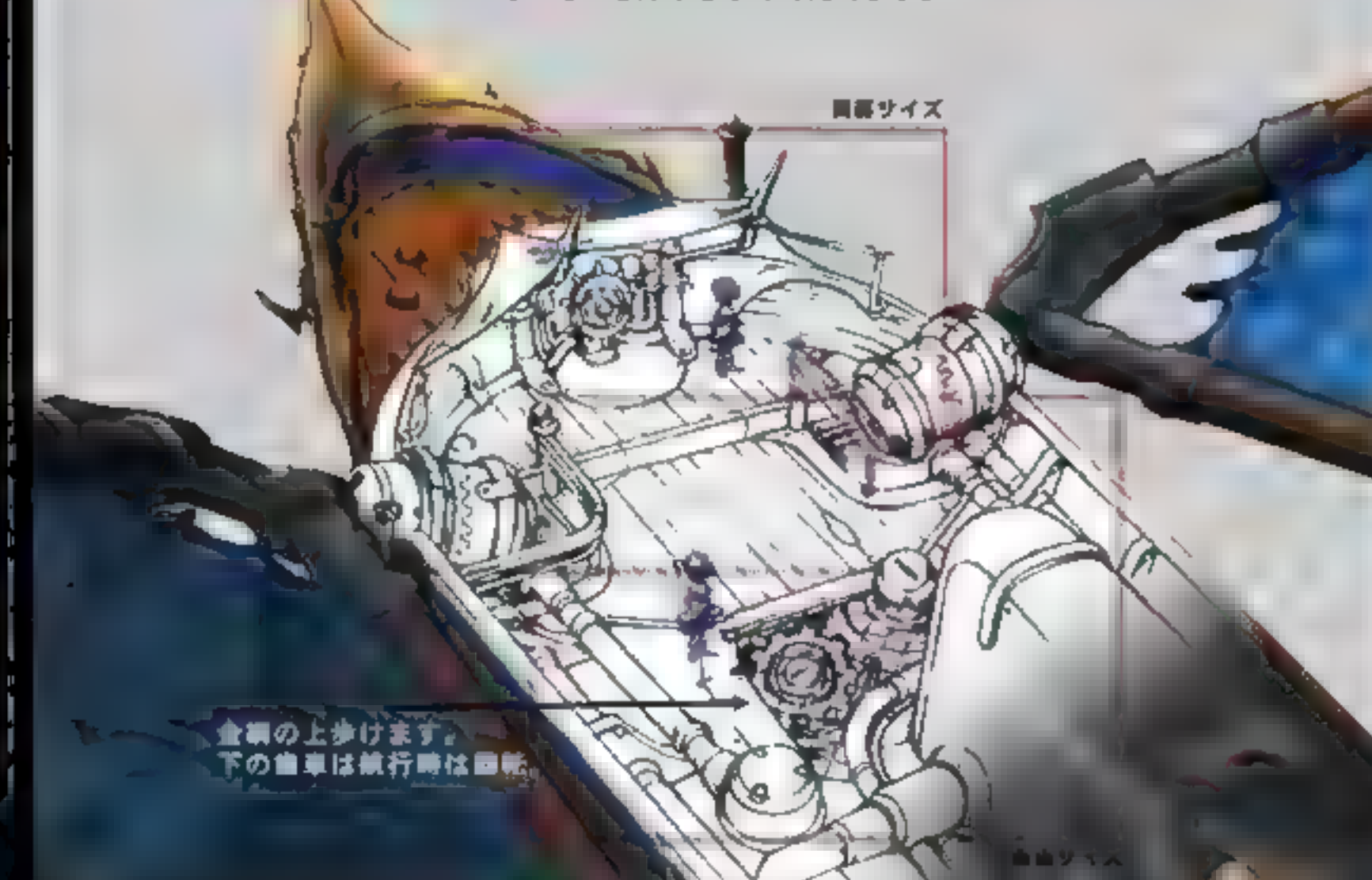
リンドブルム・エアキャブ案

設定画

ブルーナルシス

名前のとおり青を基調とし、翼のように広がる2枚の帆を持つ海洋船。クジャがアレクサンドリアを襲撃したときにジタンたちが脱出用に乗った船を、シドが新たな移動手段となるように改造した。

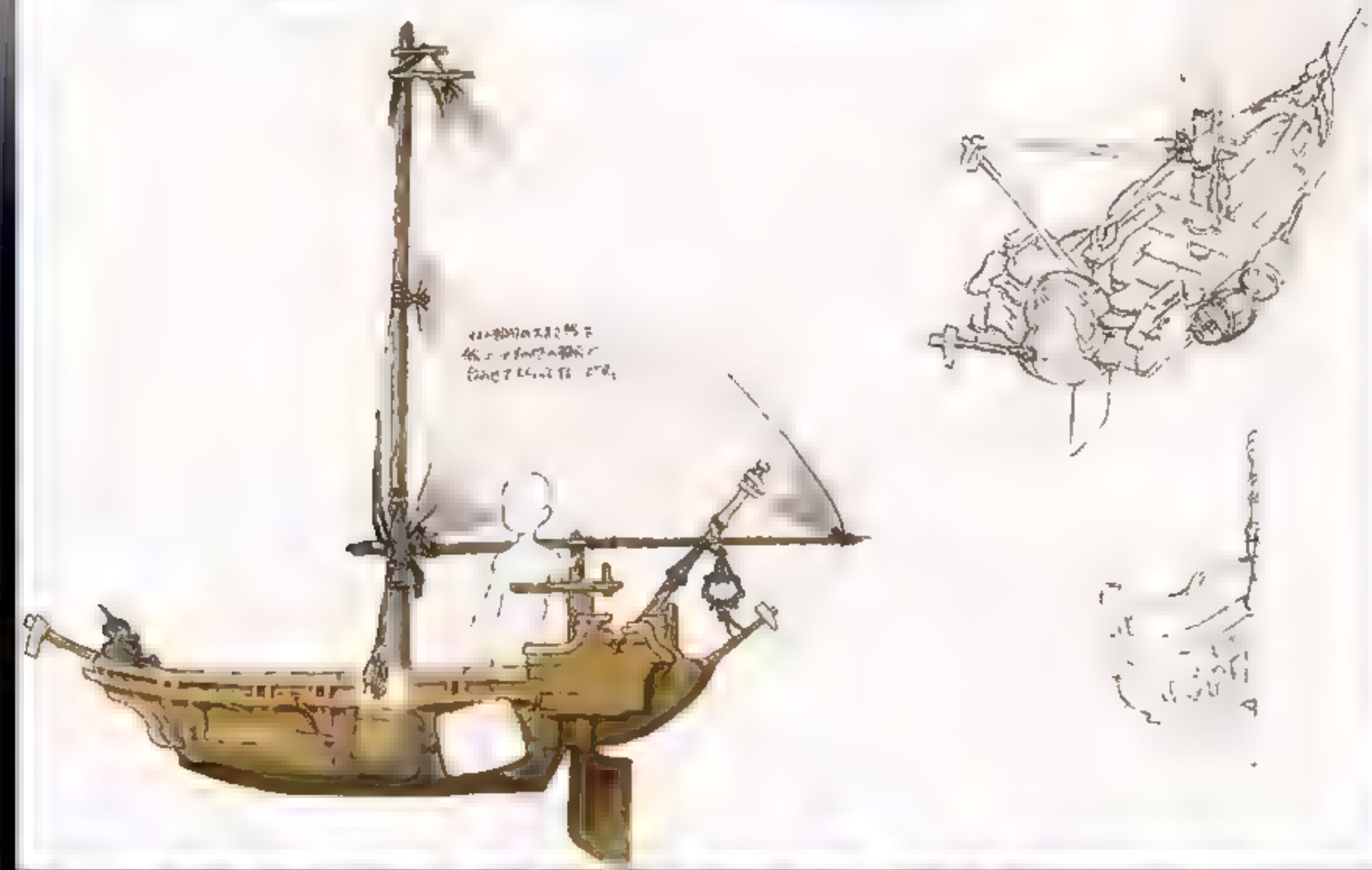
ブルーナルシス案

設定画

ブリッジの設定画

ブルーナルシスブリッジ(ラフ)

ブラネ戦艦

アレクサンドリア海軍が有する主力艦。空軍の旗艦レッドローズと同様、船体のデザインには赤を多く取り入れている。クジャを倒そうとしたブラネは、この船による艦隊を指揮し、彼がいるイーファの樹へ攻めこんだ。

設定画

OP(ガーネット回想)用　マダイン=サリ小舟デザイン　Designed by Hideo Minaba

小舟

Memorial Scene

生まれ故郷を脱出するガーネット

ガーネットとその生みの親ジェーンが小舟に乗って逃げるシーンは、ガーネットがうたた寝中に見た夢としてオープニングに登場。この場面はプレイヤーにとって大きな謎として残りつづけ、物語の中盤になってようやく真相が語られる。

渡し舟

アレクサンドリアの王城と城下町のあいだに位置する湖に浮かべられた連絡船。1隻しかなく、対岸にあるときは利用できない。

トロッコ

リンドブルム巨大城の最下層に敷かれたレールを走る車両。中層から下りてきた者を、海へ通じる水竜の門か、草原へ通じる地竜の門へ送ることができる。

Symbol of Lindblum

▶ 乗り物のサイズ比較

作中に登場する乗り物の全長を示したもの。参考用に、実在するシロナガスクジラやタイタニック号のデータも並べられている。右上にあるシルエットは、物語終盤で手に入る飛空艇インビンシブル。

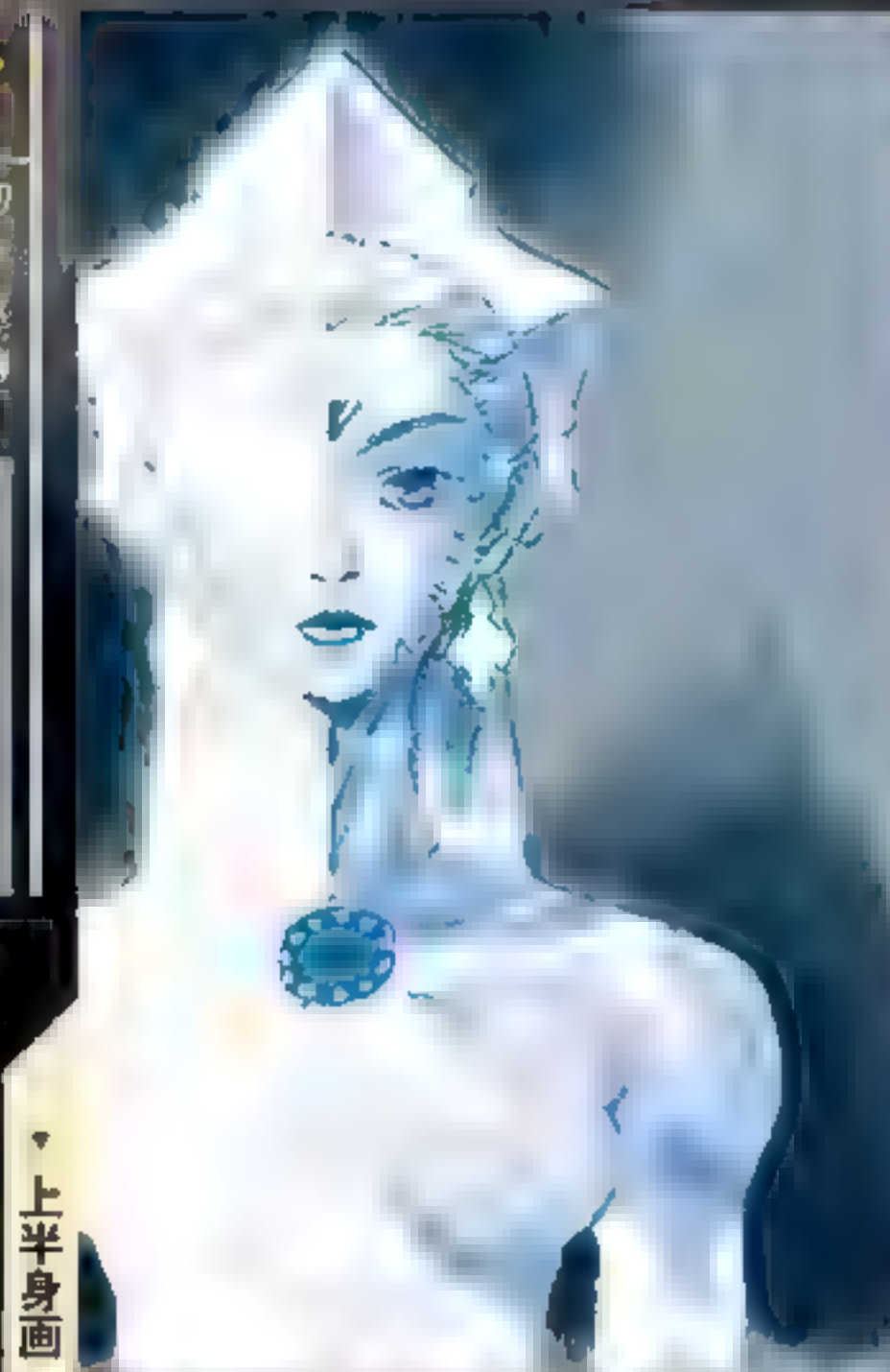
飛空艇サイズ表

タイタニック号（268m）

召喚獣

シヴァ

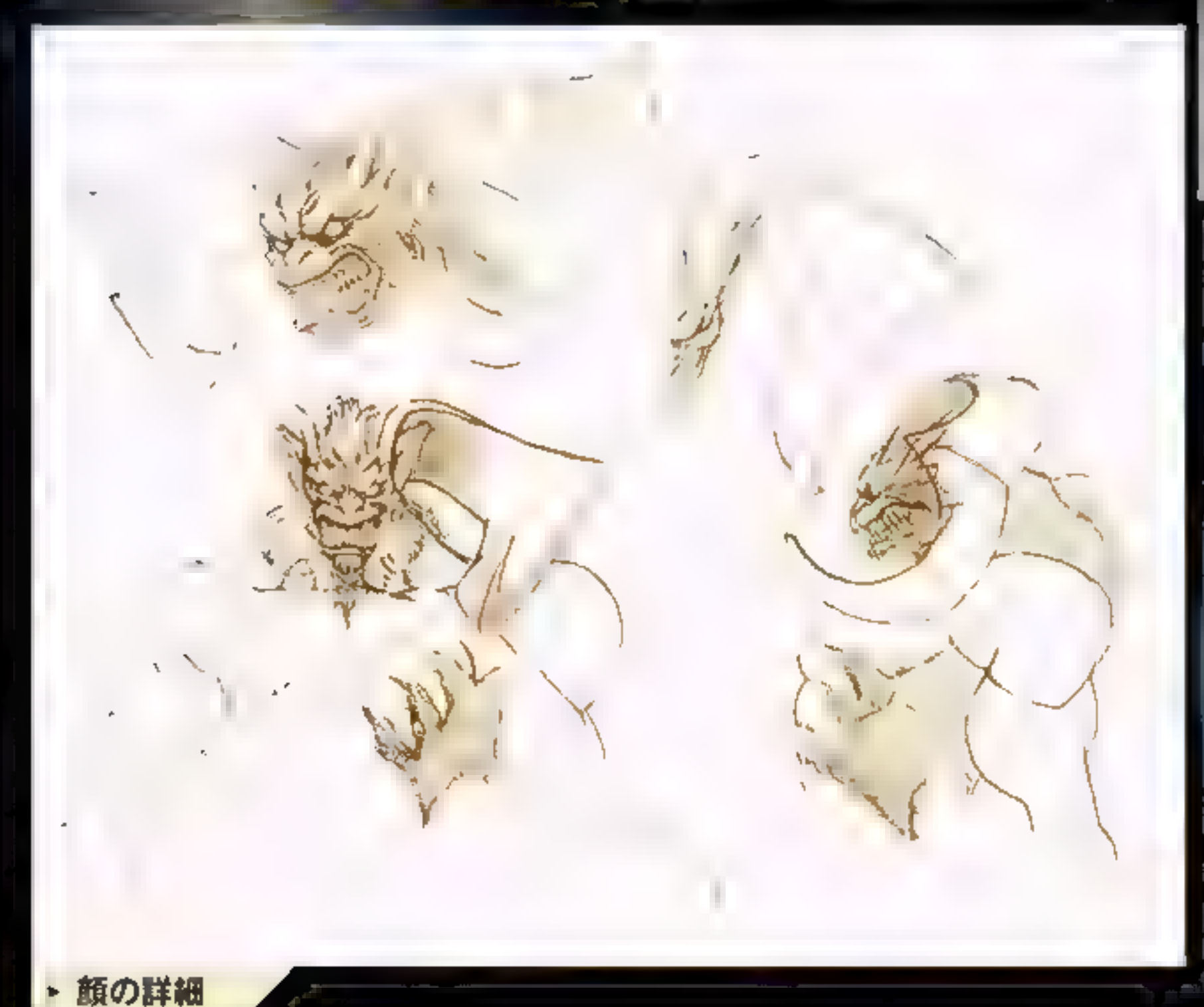
冷気をあやつる美しき女性。初期デザイン案では、頭身がダガーと同じくらい低く、衣装は[illegible]ード風になっている。召喚時に薄衣をかぶって現れる案もあった。

▼上半身画

SHIVA : Child Form

▼初期デザイン案

▼全身画&顔の詳細

イフリート

発達した腕と脚を持つ炎の魔人。頭部の左右から生えているツノも特徴のひとつで、顔の詳細画を見るとその独特の形状がわかる。

▶ 顔の詳細

ラムウ

老人の姿をした雷の召喚獣。足元に達する[illegible]ており、詳細画には衣装[illegible]が描かれている。

▶ 服装などの詳細

Memorial Scene

ラムウから与えられた試練

体内に宿る召喚獣をすべて奪われたダガーは、ピナックルロックスで謎の老人ラムウと出会い、物語の断片を集めるという試練を与えられる。この物語は『FFII』に登場したヨーゼフの逸話で、彼が主人公の仲間になってからの展開が描かれているのだ。

アトモス

重力をあやつる召喚獣。巨大な身体の大部分が口で、周辺のものを見境なく吸いこんだり、重力球を吐き出して敵を押しつぶしたりする。

Memorial Scene

アトモスの襲撃によってリンドブルムが崩壊

ダガーがその身に宿していた召喚獣たちは、ブラネの命令でダガーから抽出され、アレクサンドリア軍に利用されてしまう。アトモスもその1体で、リンドブルム侵攻時に呼び出され、多くの人と建物を吸いこんで公国に大打撃を与えた。

オーディン

死神のような顔をした剣士。召喚時には6本脚の馬スレイプニルにまたがって現れ、両刃の武器「斬鉄剣」を振り上げて敵を一撃で倒す。

▶ 全身画

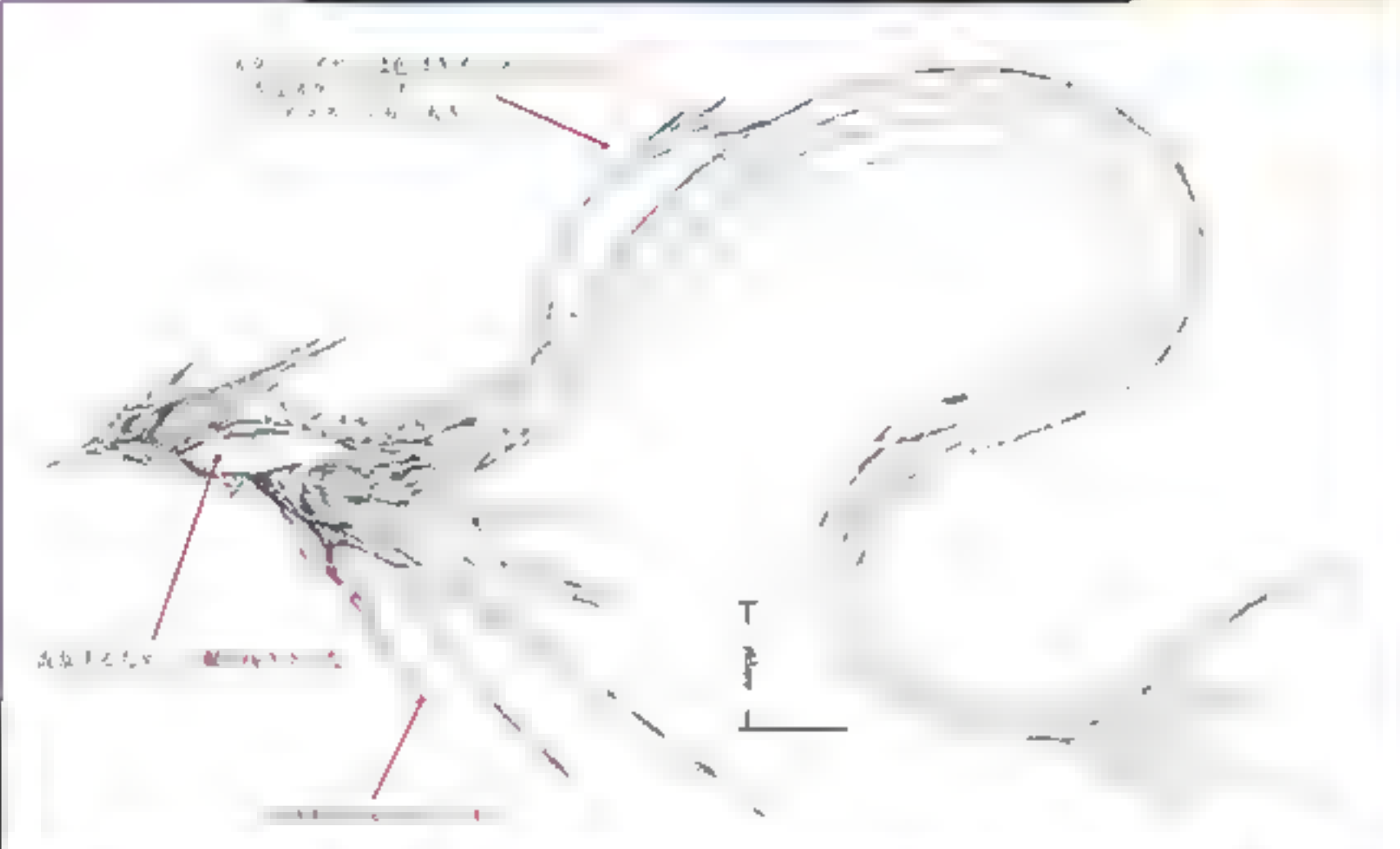
Memorial Scene

クレイラ侵攻に利用される

ダガーの体内から抽出された召喚獣のなかで、アレクサンドリア軍の兵器として最初に利用されたのがオーディン。クレイラの街の上空に現れ、グングニルの槍を投げて街を大樹ごと粉砕する。

リヴァイアサン

巨大な海ヘビの召喚獣。大昔に暴走し、当時の召喚士の手でイーファの樹に封じられていたが、ブラネを救おうとしたダガーが解放する。

▶ 設定画

Summon Elemental "Flare"
BAHAMUT
The DRAGONIC SEEDLING

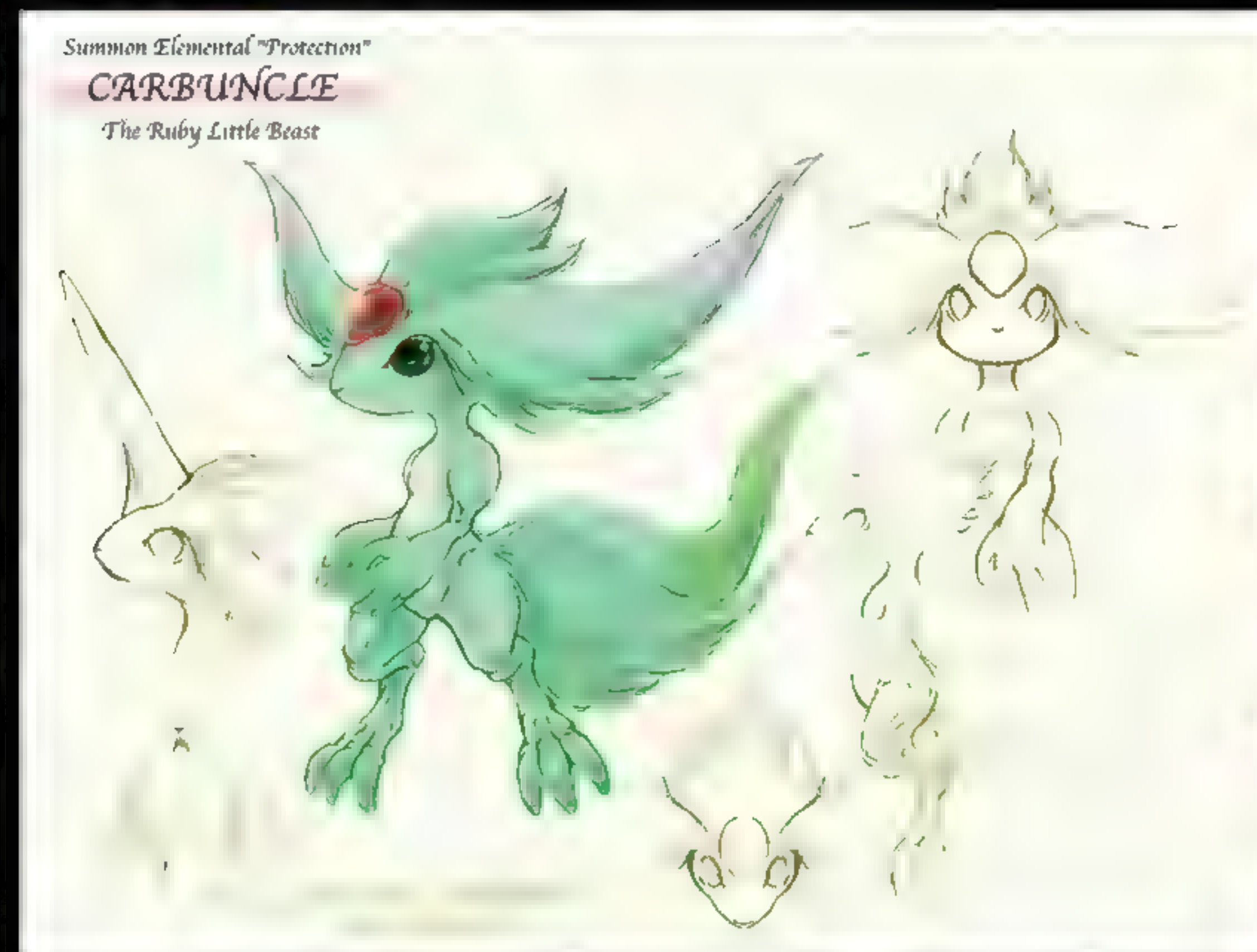
バハムート

[illegible]ーが宿していた召喚獣のなかで最強の力を持つ存在。「竜王」の名にふさわしい肉体を誇り、[illegible]メガフレアで強烈な光線を放って敵を[illegible]

▸ 頭の詳細＆背面

BAHAMUT
Head & Rear-view.

カーバンクル

小動物の姿をした召喚獣。[illegible]ファの樹から召喚獣リヴァイアサンを出さないようにその入口を長年封じていたが、エーコとの交感によって封印を解きつつ彼女の仲間に。召喚時には額の宝石をツノに変え、ツノの先端から放つ光でエーコたちに力を与える。

Summon Elemental "Protection"
CARBUNCLE
The Ruby Little Beast

Memorial Feature

装備しだいで4種類の効果を発揮

カーバンクルの額にある宝石は本来ならルビーだが、召喚者のエーコが、エメラルド、ムーンストーン、ダイヤモンドのいずれかを装備していると、額の宝石がそのアクセサリに変化。同時に、宝石から放たれる光の効果も変わるのだ。

▸ ルビーの光

▸ エメラルドの光

▸ しんじゅの光

▸ ダイヤのかがやき

フェンリル

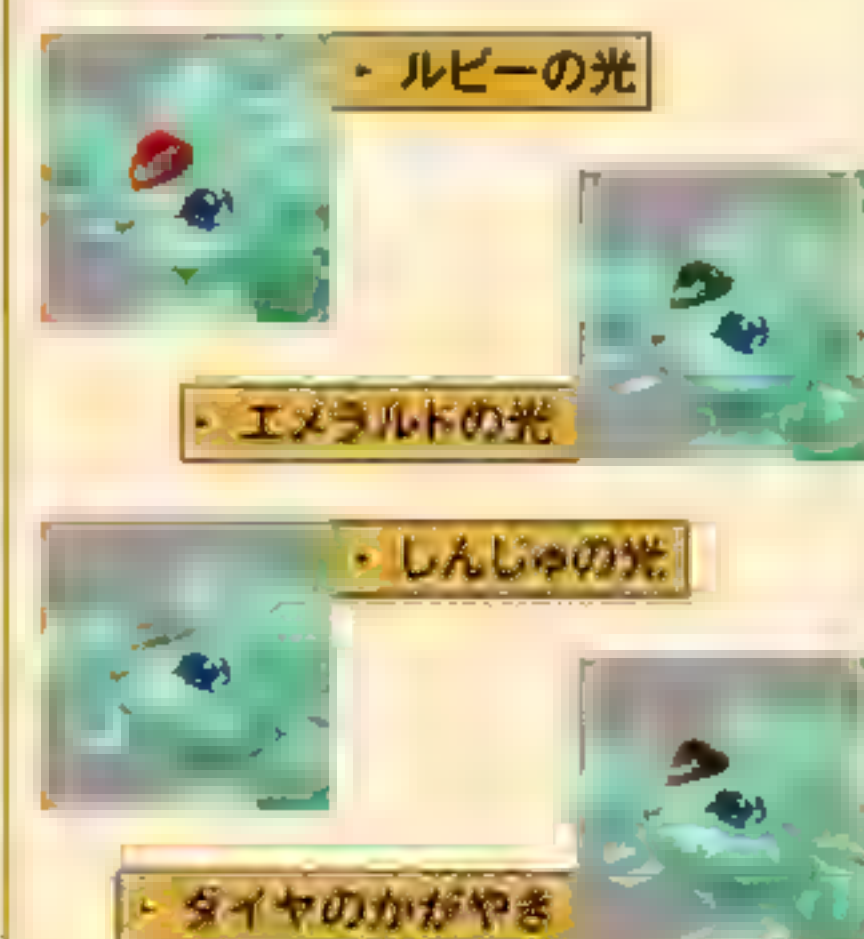
オオカミに似た聖なる獣。2種類の攻撃方法を持ち、通常は土の巨人に地中からアッパーカットを仕掛けさせ、見えなくなる高さまで敵を吹き飛ばす。一方、エーコがおとめのいのりを装[illegible]風で生み出したフェンリルの分身を突進させて敵を舞い上げる。

▸ 土の巨人

Summon Elemental "Wind"
FENRIR The Howling Beast

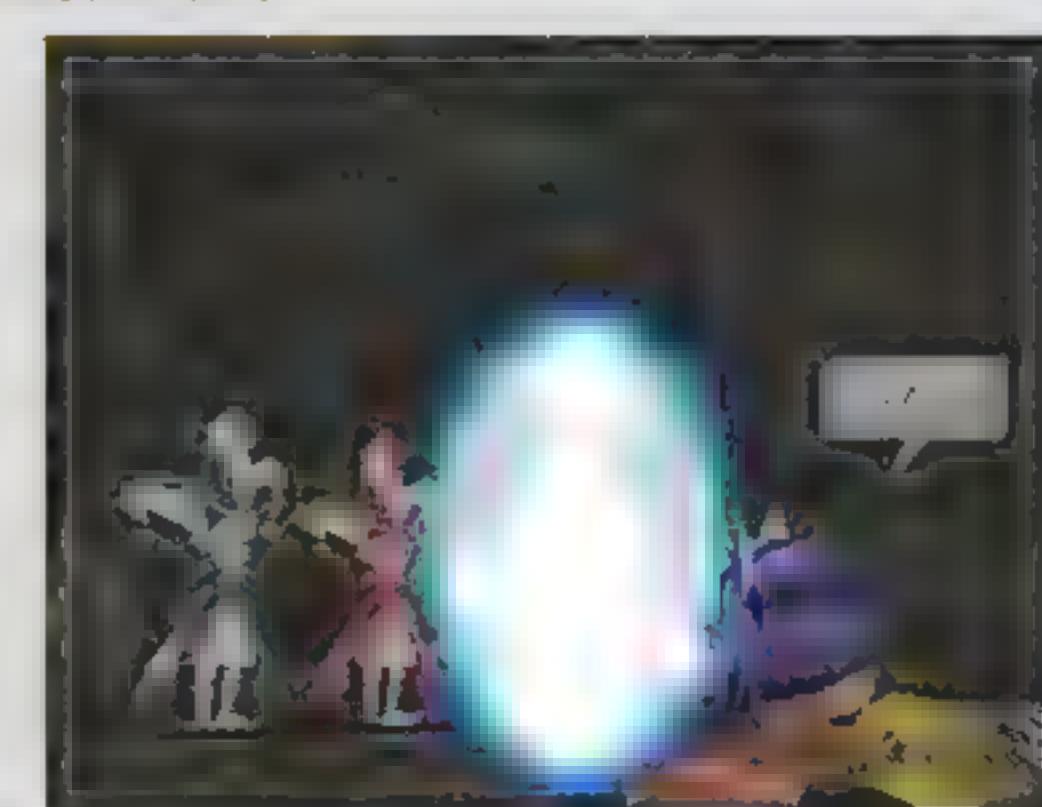
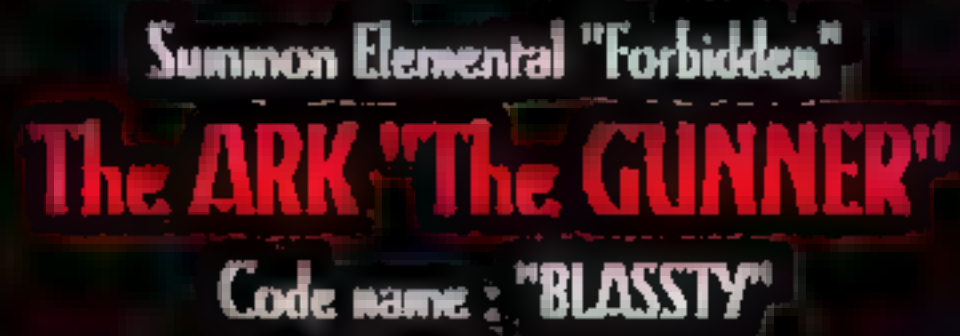
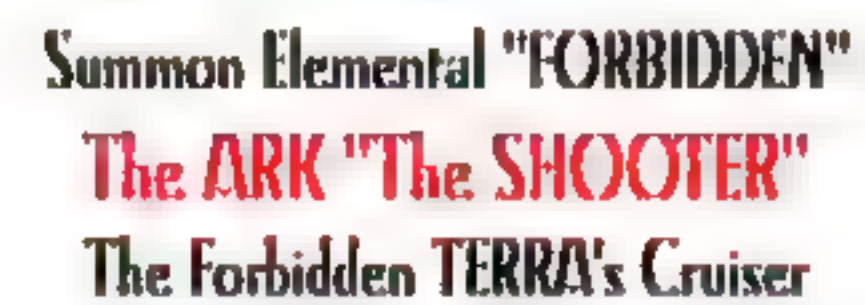
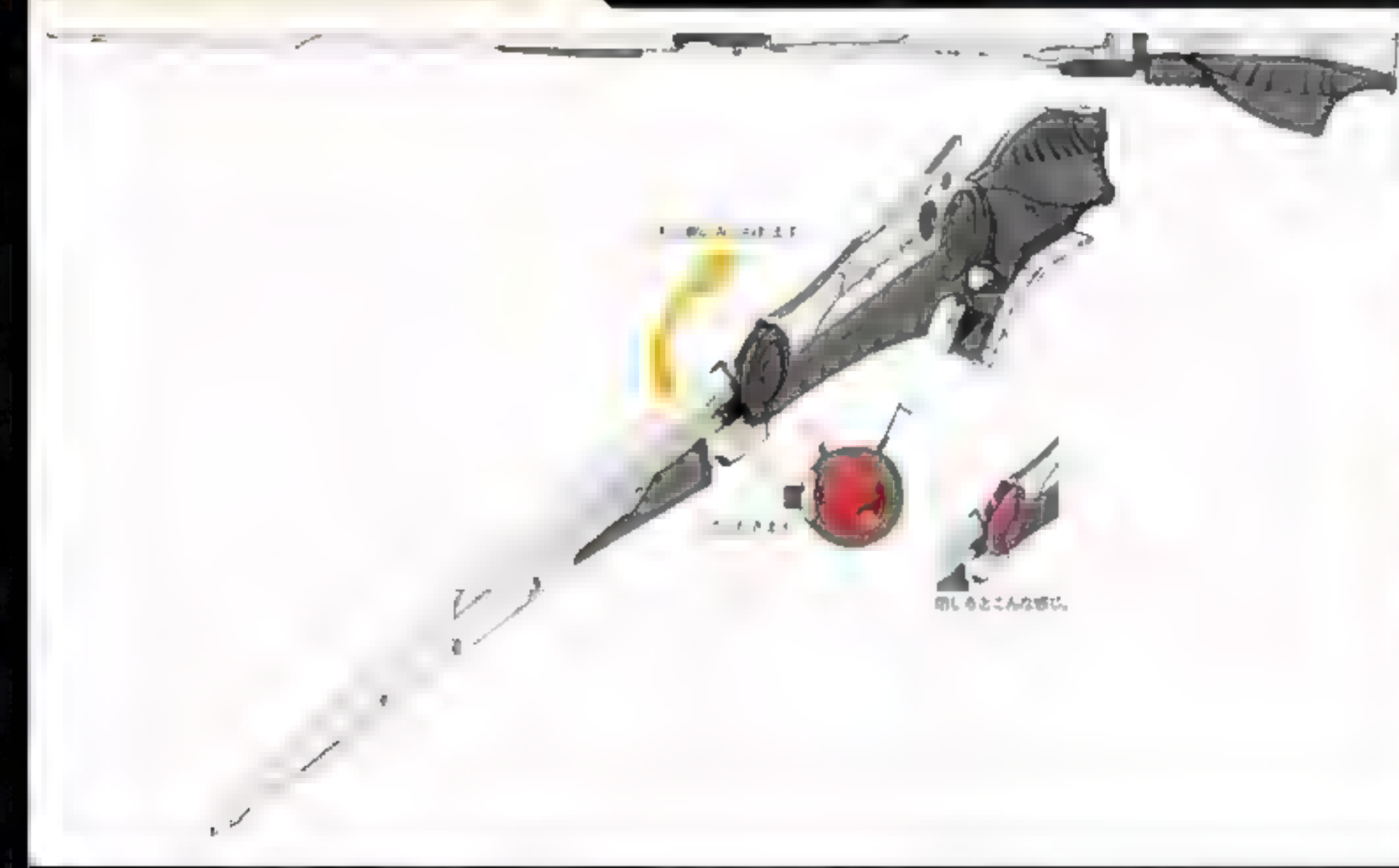
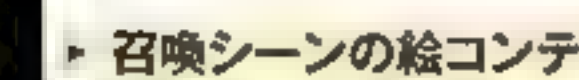
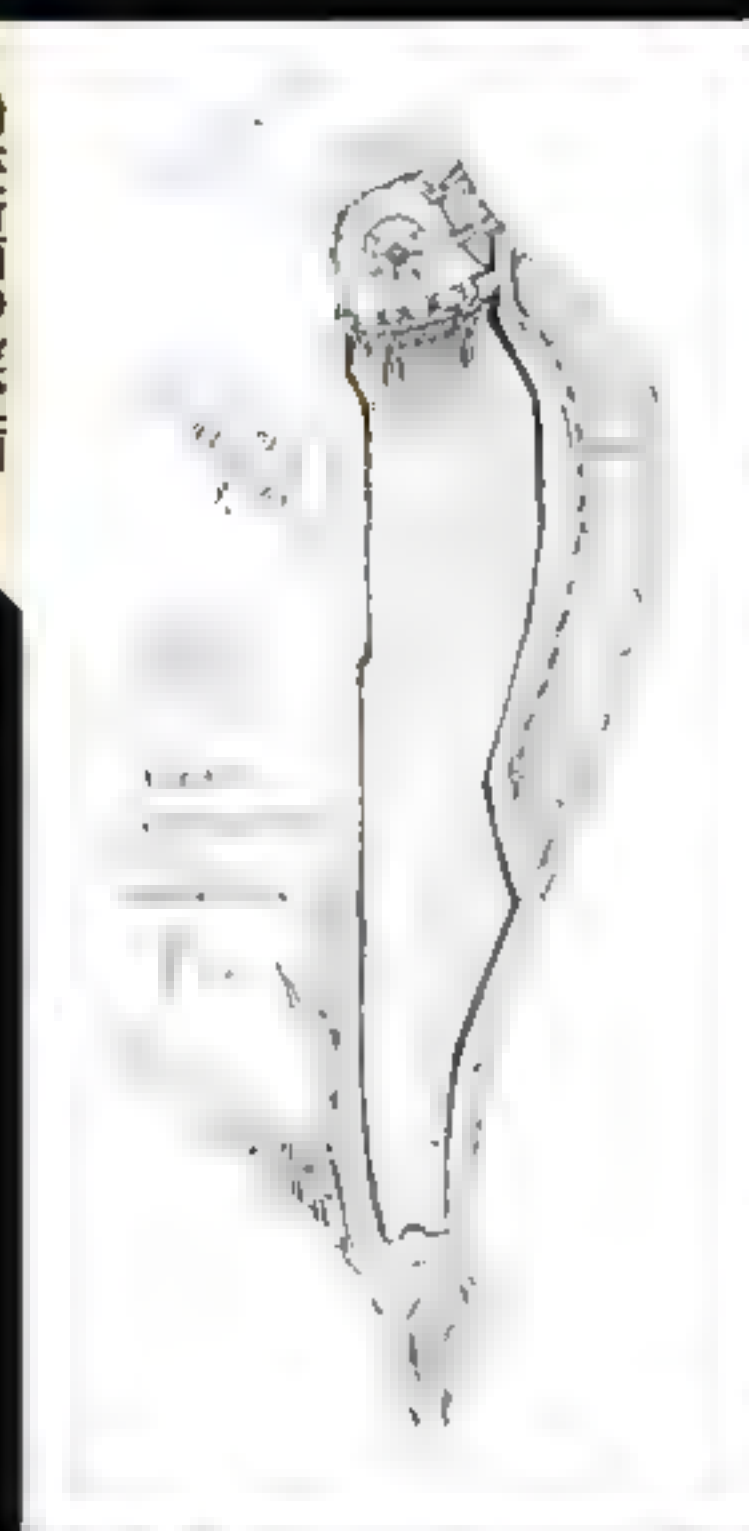
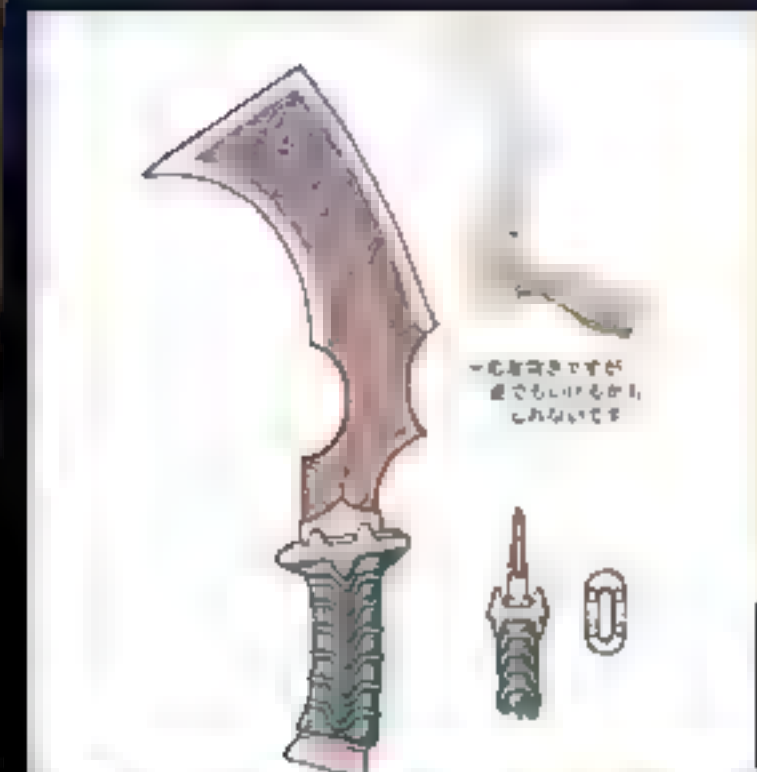
▸ 側面

マディーン

獅子のような身体と[illegible]の翼を持つ召喚獣。エーコの親友であるモグの正体だが、エーコと一緒にいたいという理由からモーグリの姿のままでいた。

The birth of the Elemental "Holy"
RAY
The Transformation

Memorial Scene

エーコの危機に正体を現す

モーグリとしてエーコのそばにいたマディーンは、召喚獣を抽出されかけたエーコを救うべく本来の姿に。危機が去ると、エーコからもらったリボンを残して姿を消すが、このリボンはマディーンを召喚するためのアクセサリとなる。

▸ 前面＆背面

騎士剣

セイブザクイーン

アルテマソード

A　B

ノーマル　アルテマ発動　横面

エクスカリバー

正面図　横面図　ツバ上面図　ツバ断面図

ラグナロク

エクスカリバーII

正面図　横面図　ツバ上面図　ツバ断面図

未採用デザイン

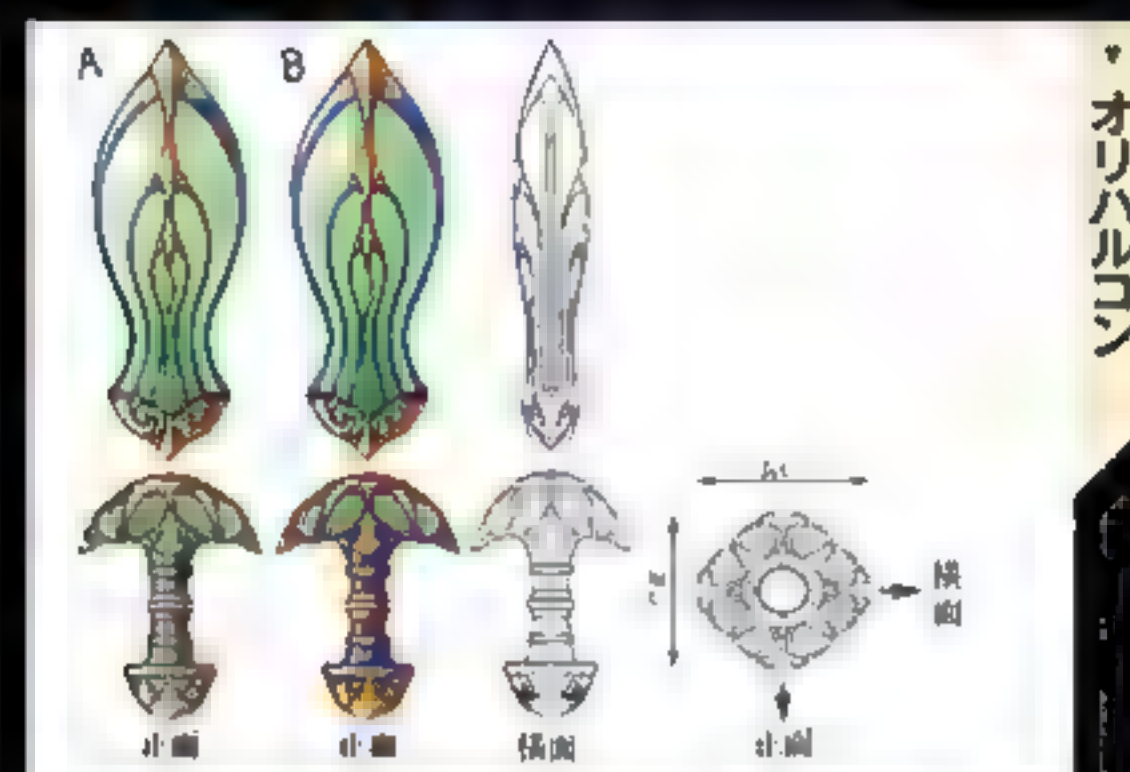
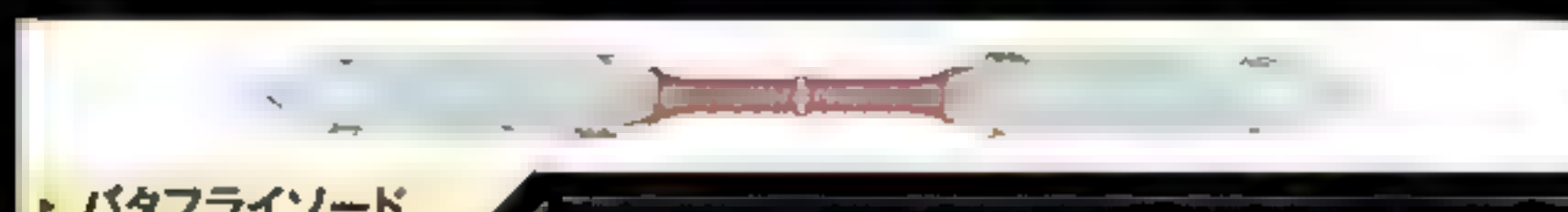
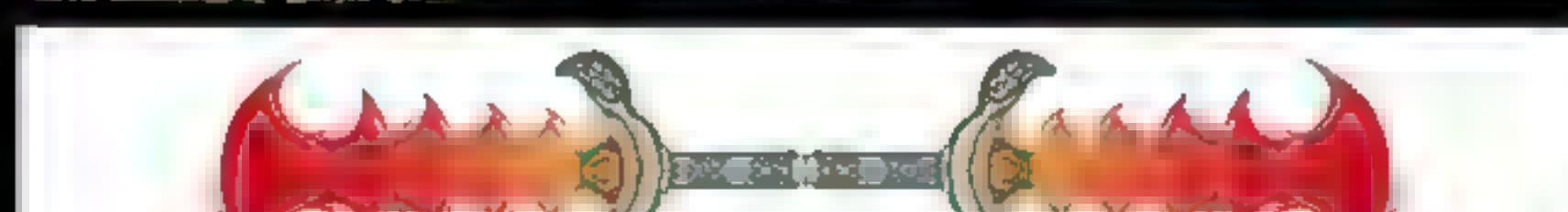
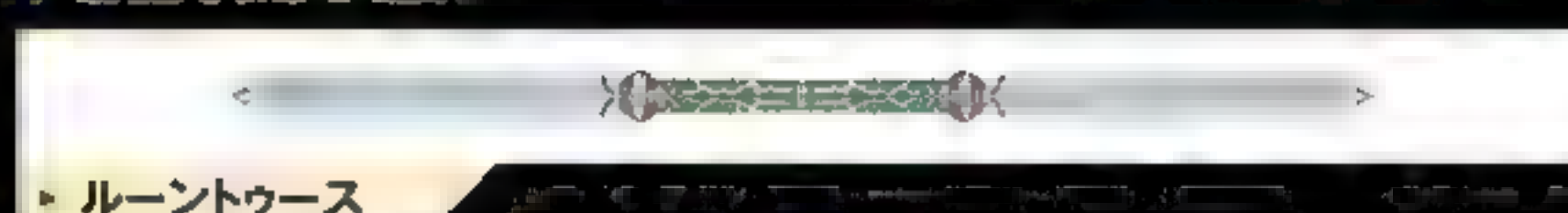
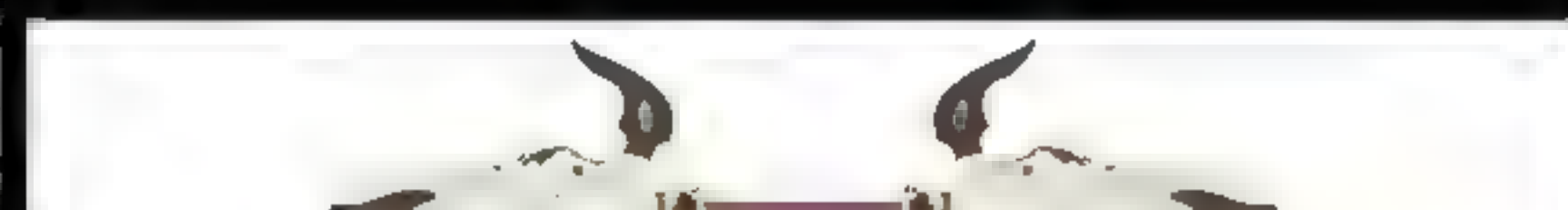
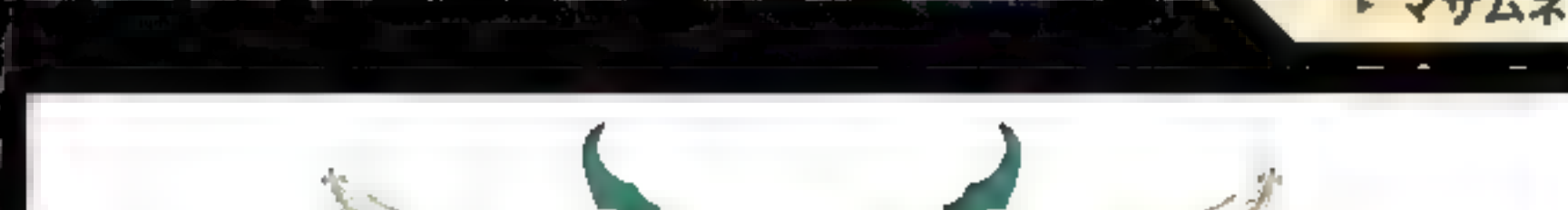
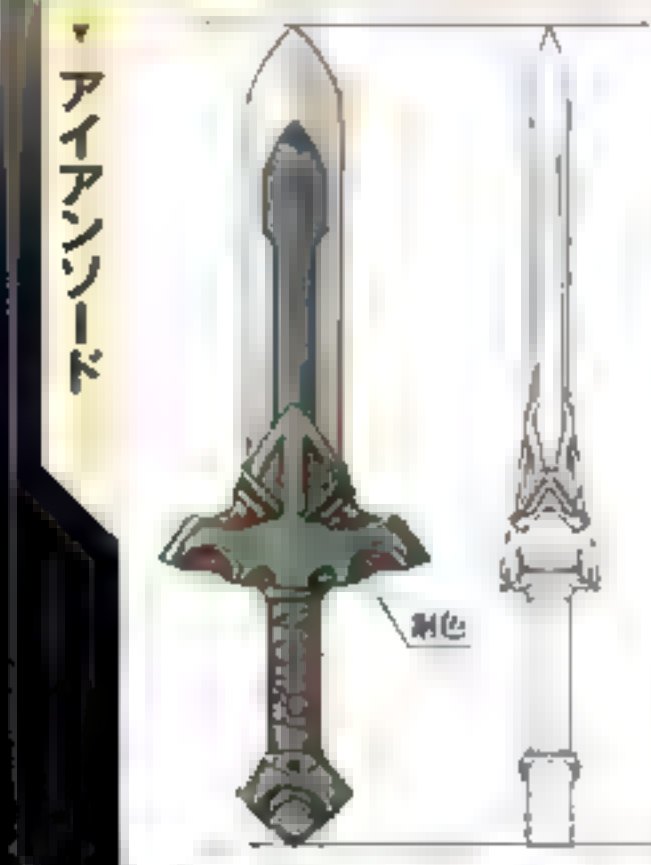
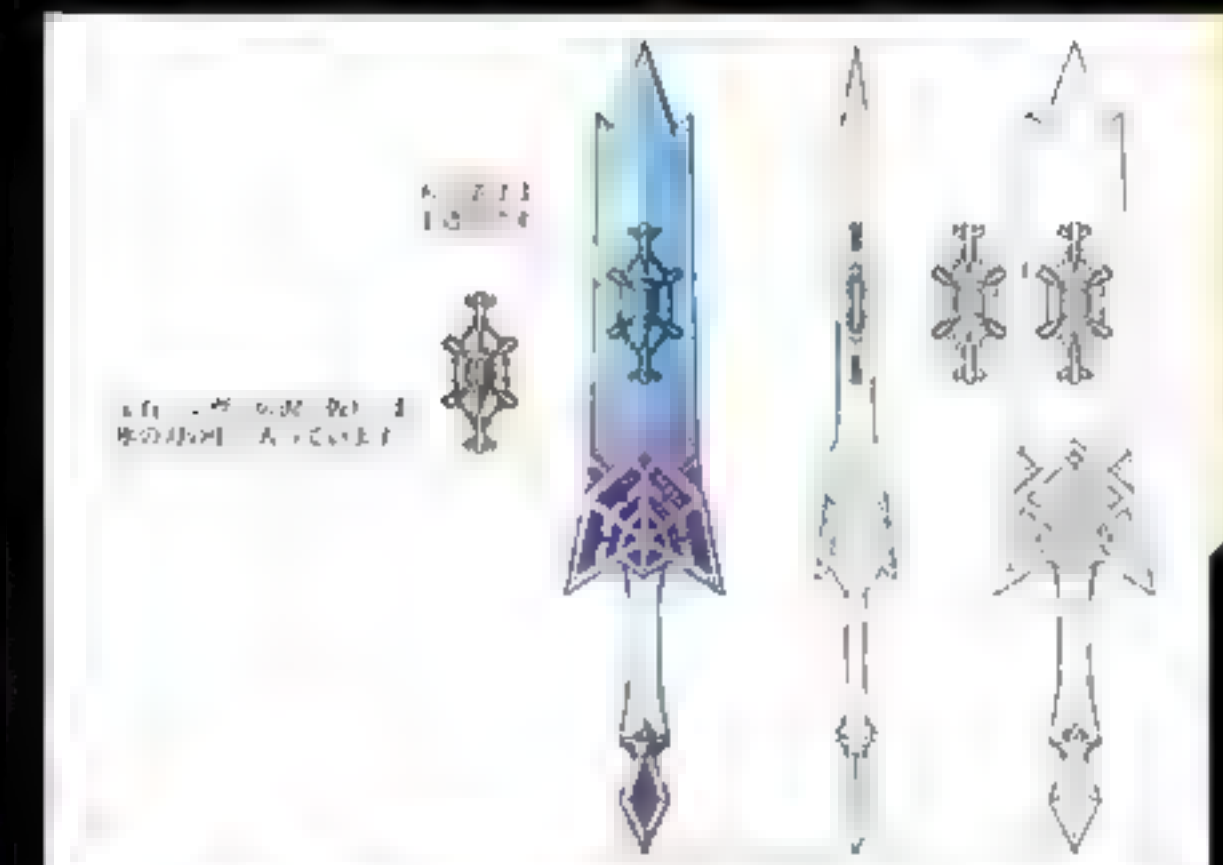
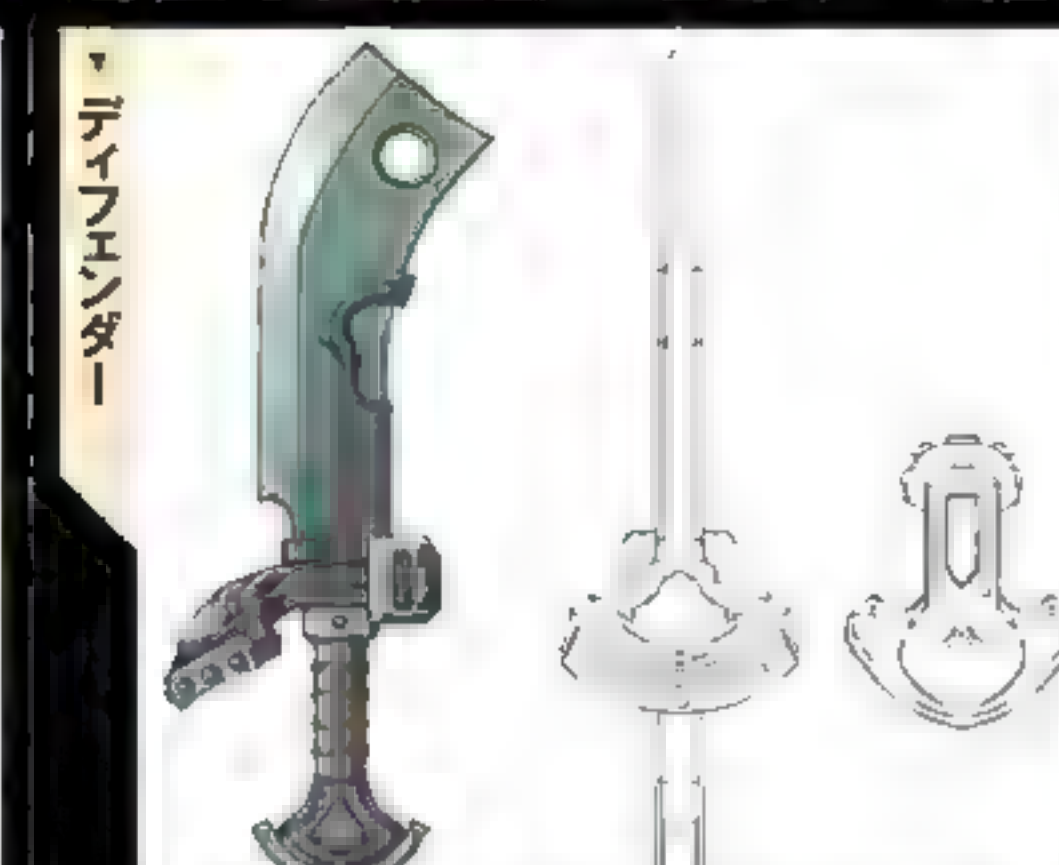
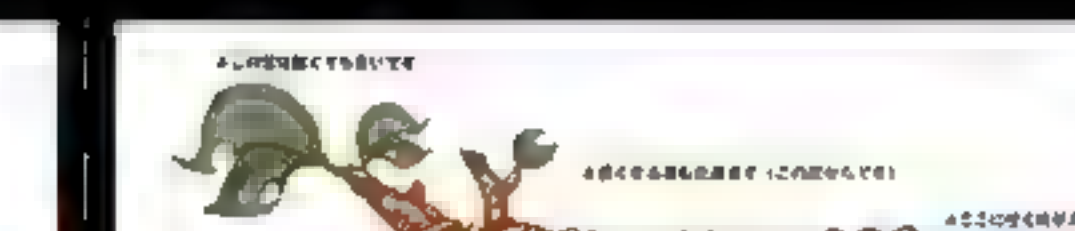
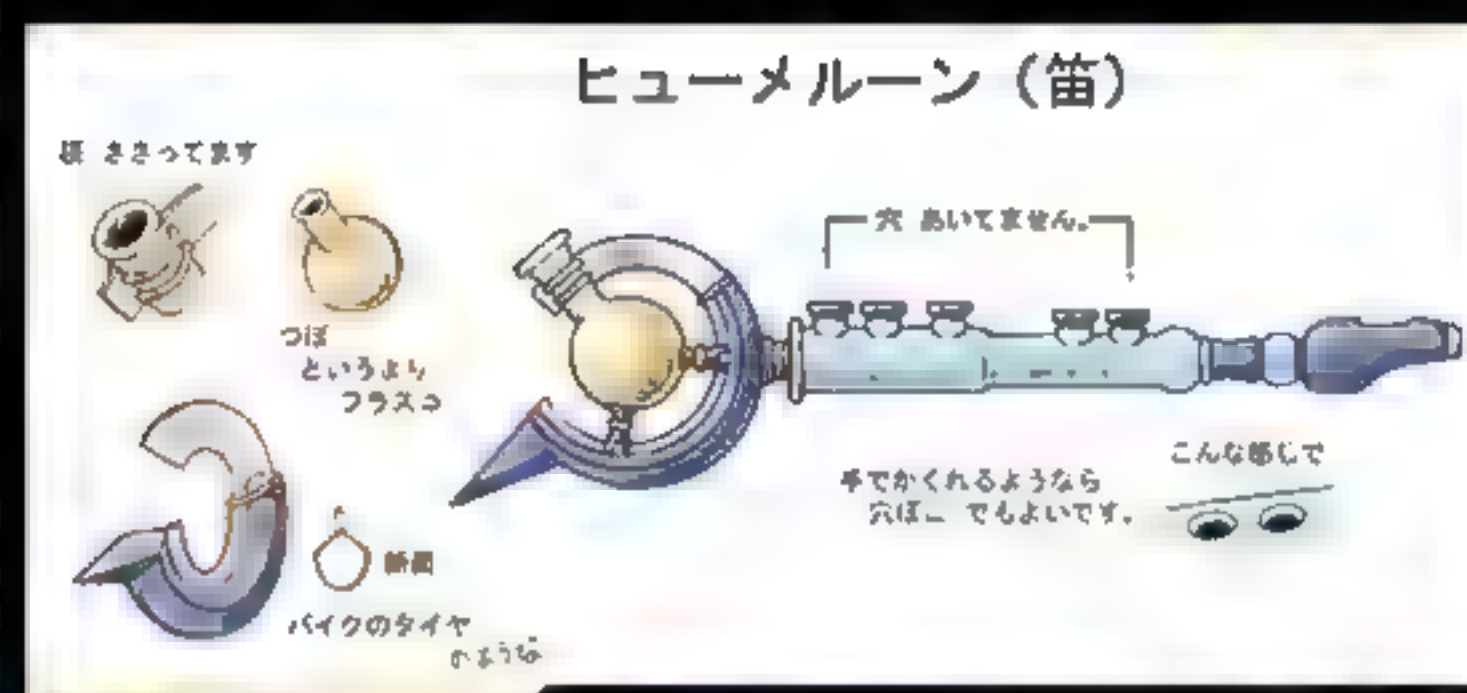
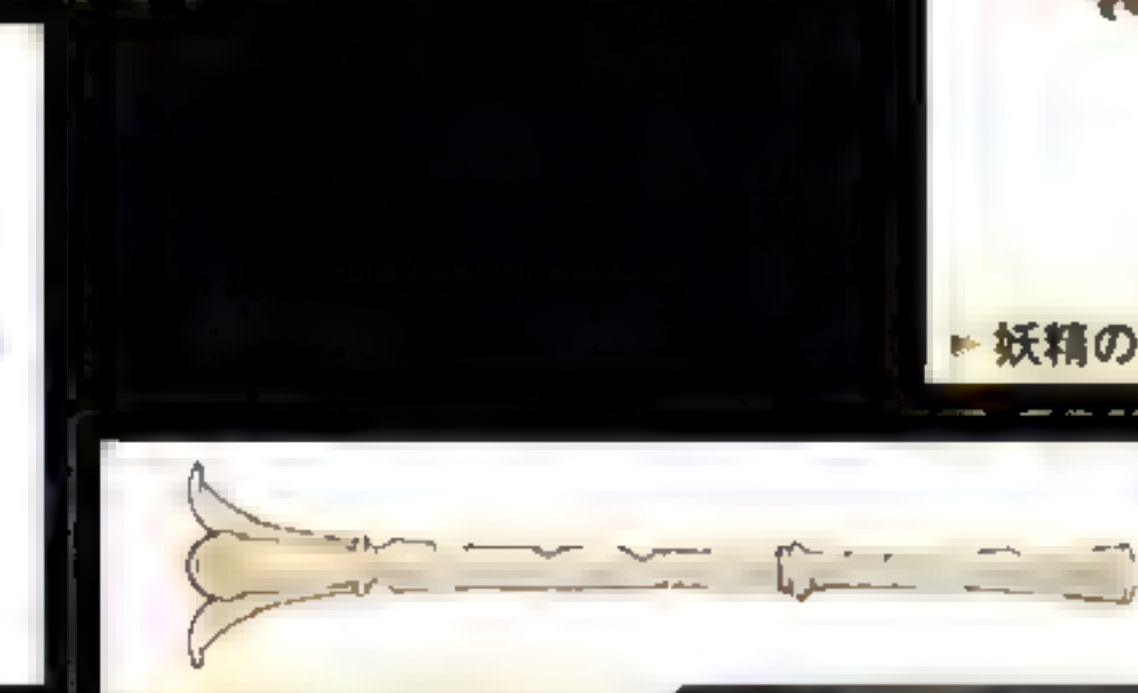
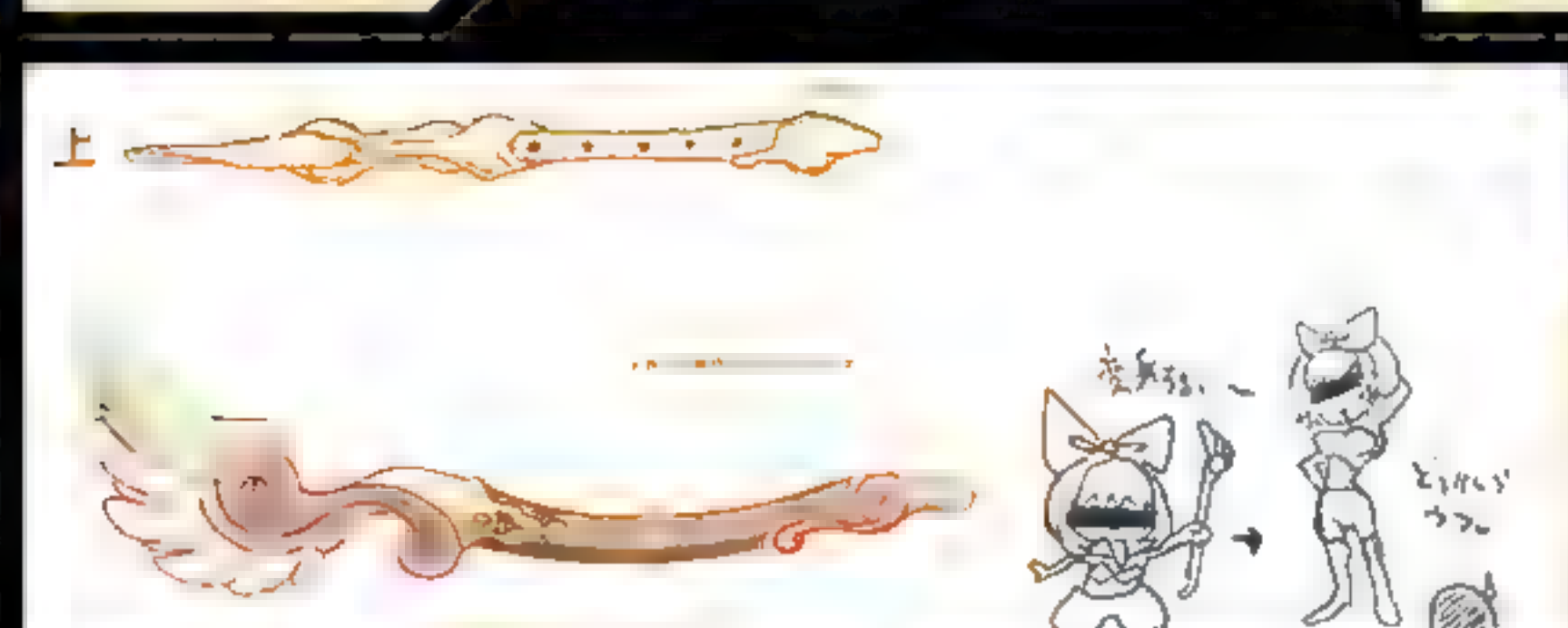
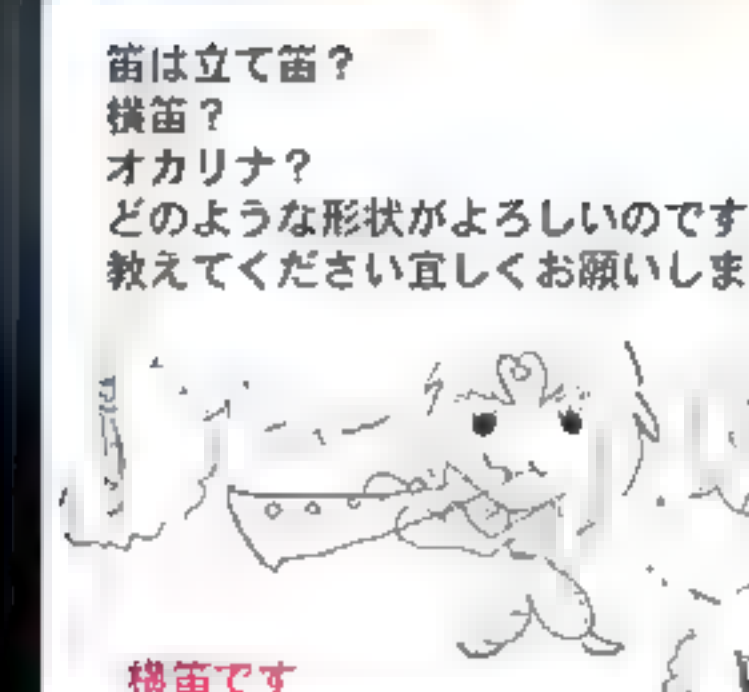
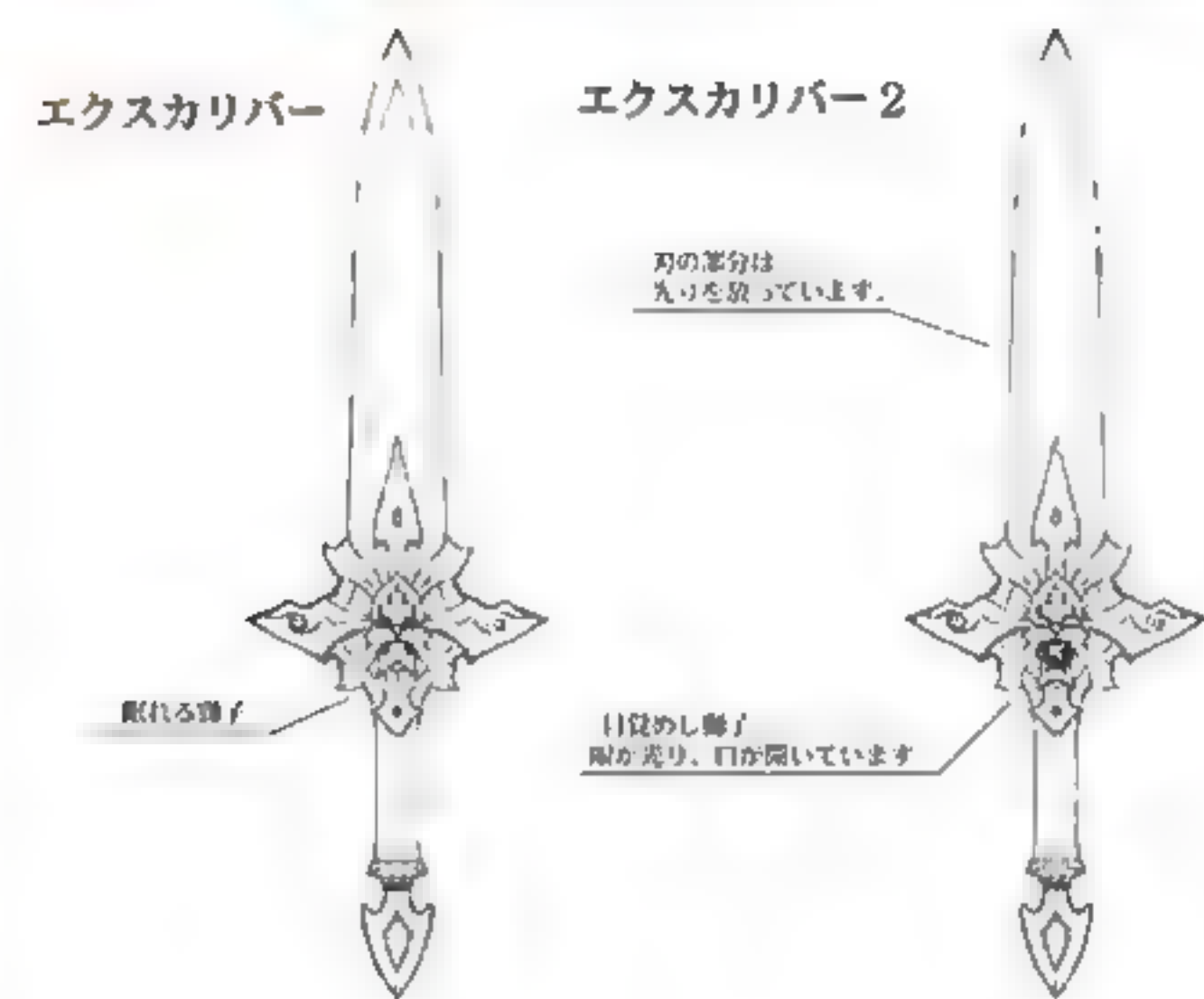
エクスカリバー

エクスカリバー2

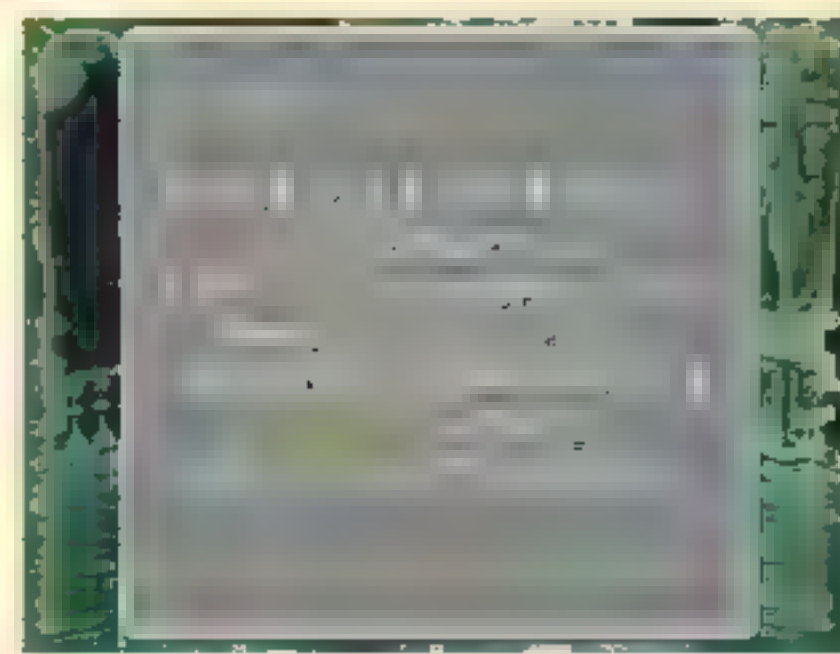
エクスカリバー

エクスカリバー2

角部分

角無し

Memorial Feature

入手には12時間の時間制限が！

エクスカリバーIIの入手方法は、プレイ時間が12時間を過ぎる前に最終ダンジョンで特定の場所を調べる、という難易度の高いもの。この武器を拾うときには、『FFV』のファンならニヤリとするような書き置き(写真参照)が読める。

槍

ジャベリン

ミスリルスピア

パルチザン

アイスランス

トライデント

ヘヴィランス

オベリスク

ホーリーランス

ランスオブカイン

竜の髭

爪

猫の爪

ポイズンナックル

ミスリルクロー

シザーズファング

ドラゴンクロー

タイガーファング

内側

カイザーナックル

アベンジャー

デュエルクロー

ルーンの爪

アイテム&小物

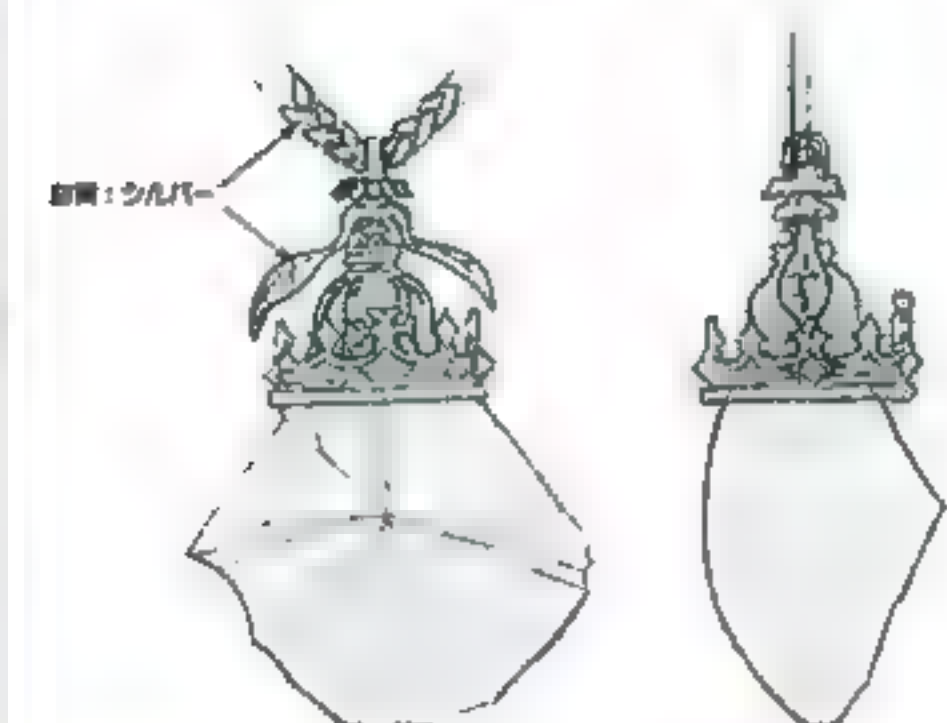
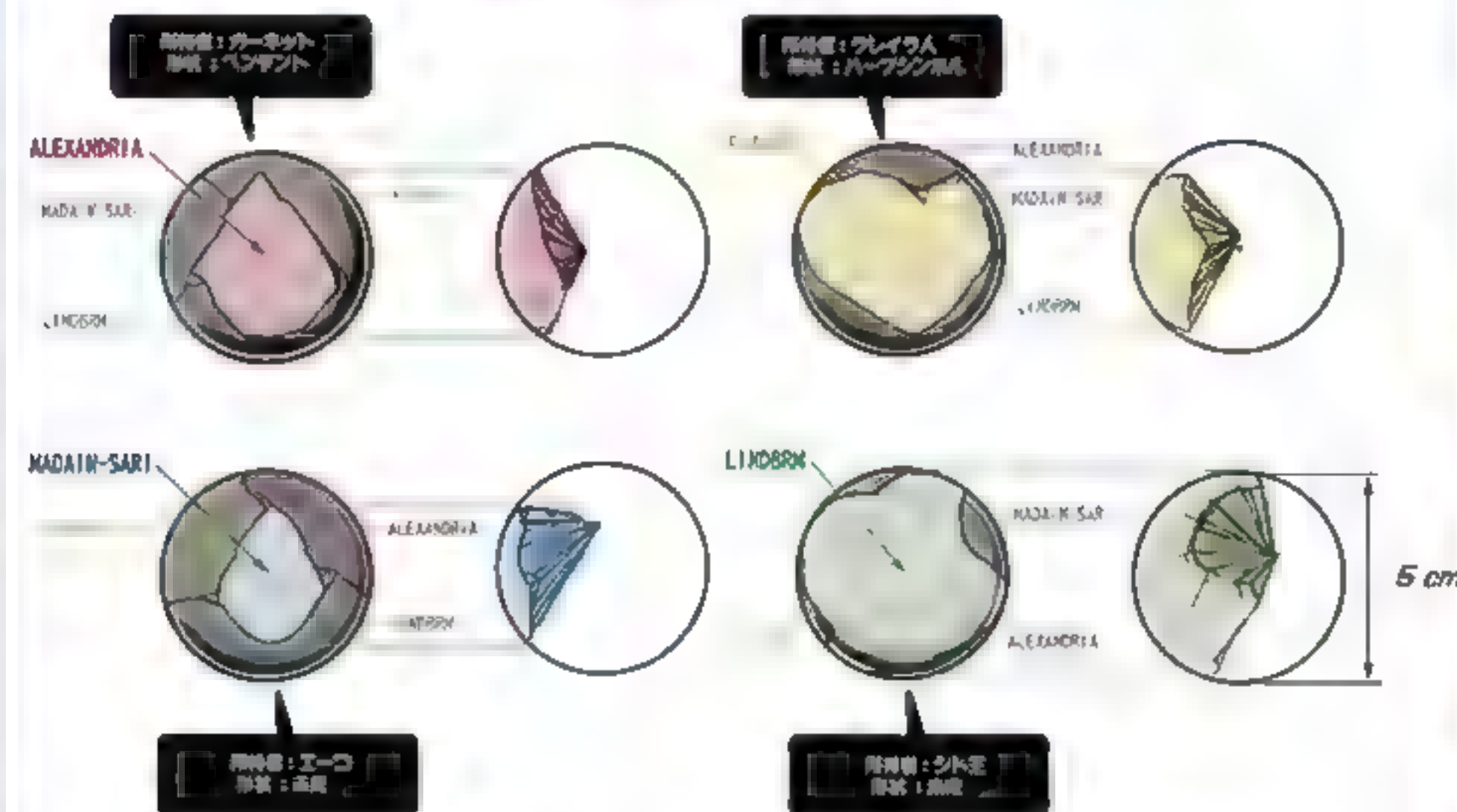
4つの宝玉デザイン

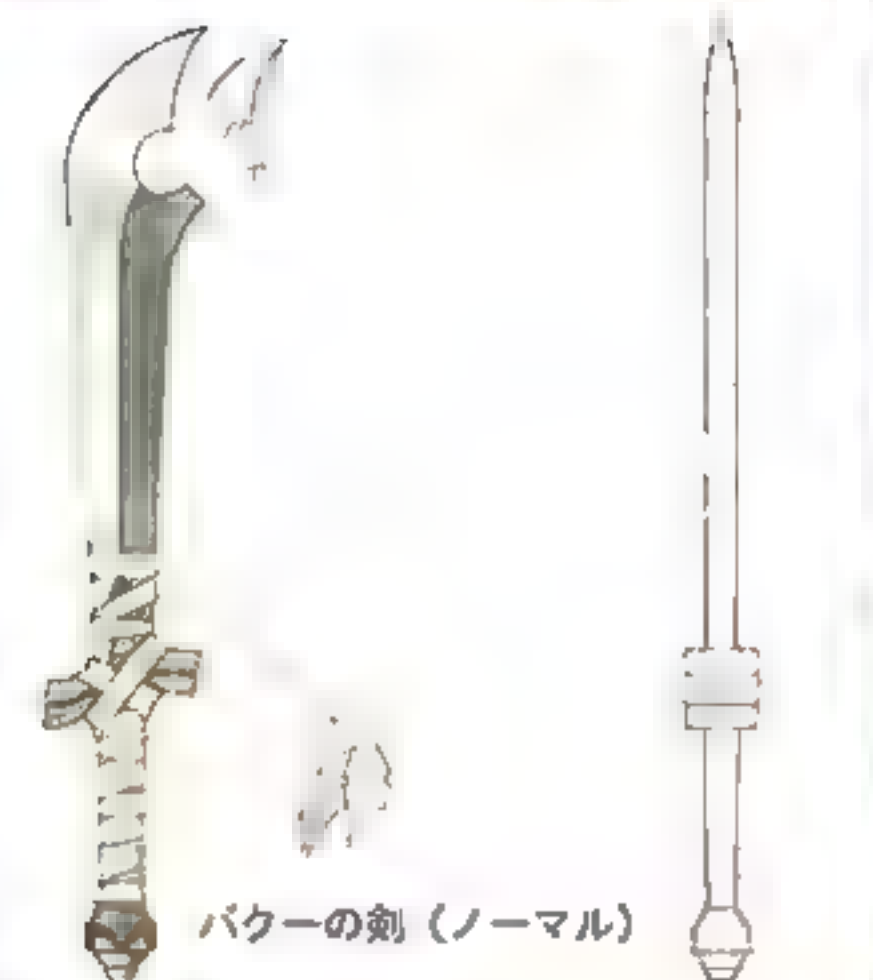
ALEXANDRIA

MADAIN-SARI

LINDBLUM

5cm

カーネットのかけているペンダント

▸銀のペンダント、砂漠の星、追憶のイヤリング、天竜の爪

テケト

▸おしばいのチケット

▸霧の大陸マップ

▸ブランクの解毒剤

▸ギザマルークのベル、ホーリーベル

テント

テント!

モグのリボン

RIBON

ひらひら舞い落ちてくるそうです

▸いにしえのかおり

▸円月輪

▸ライジングサン

ウイングエッジ

バクーの剣（衣装用）

▸レア王（バクー）の剣

バクーの剣（ノーマル）

▸バクーの剣

マーカスの剣

諸事情により、かなり小ぶりなつるはしです。

▸発掘用のつるはし

▸ウェイトレスが持つトレイ

▸ギミックナイフ

▸なわとび、チャンバラ用の剣、宝箱、風船、カップ

▸エーコが作る料理

Small

Large

Medium

OPEN

宝箱

▸宝箱

▸てんびん

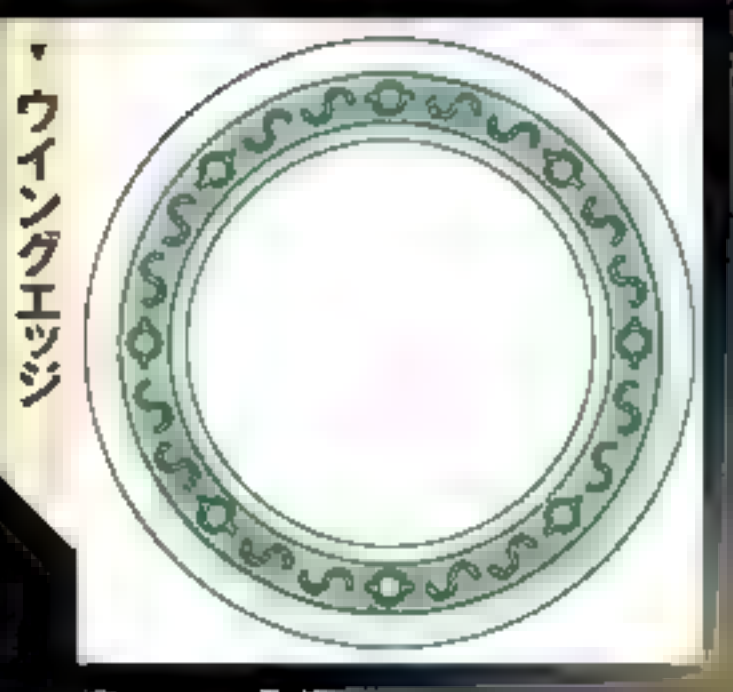
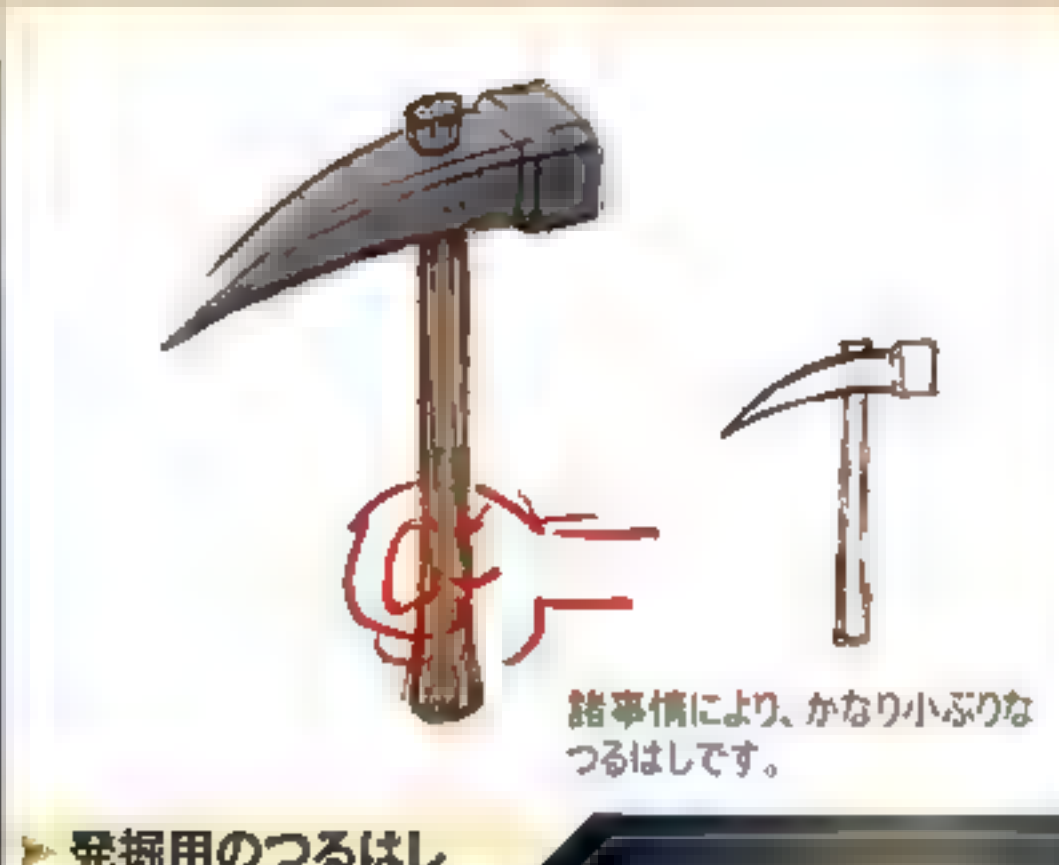
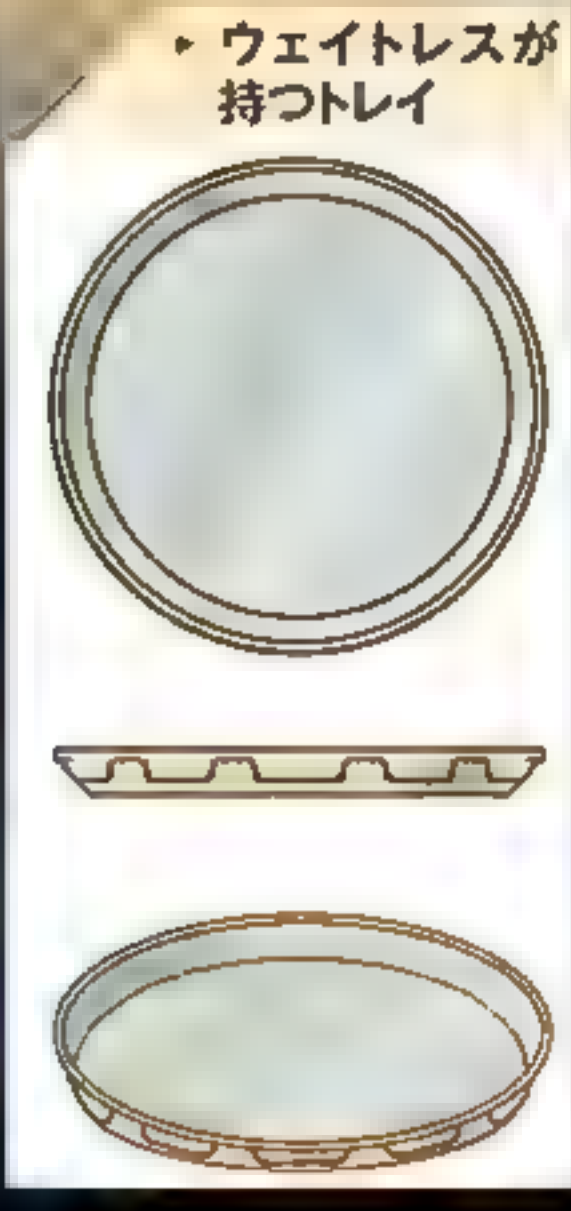
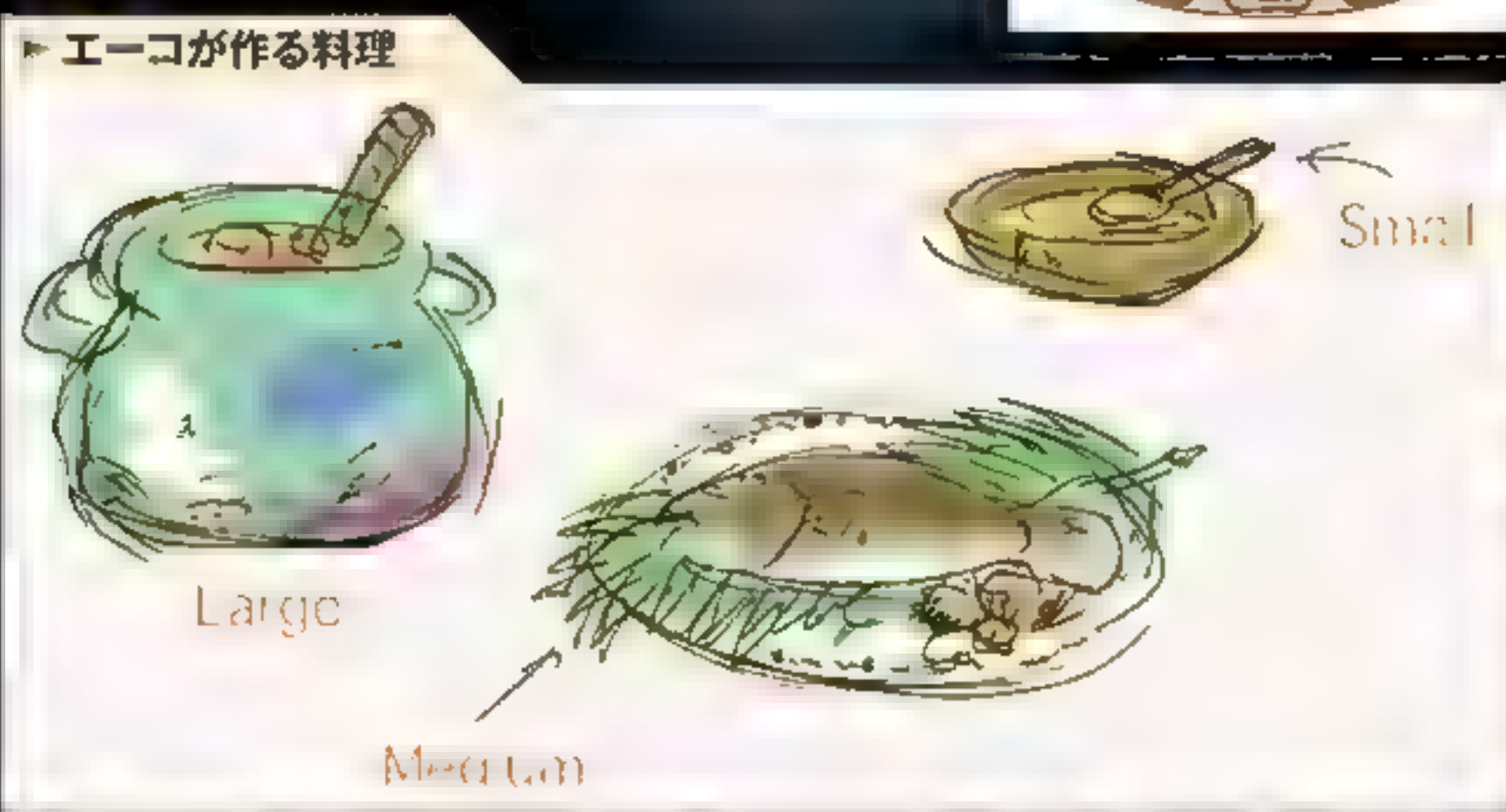
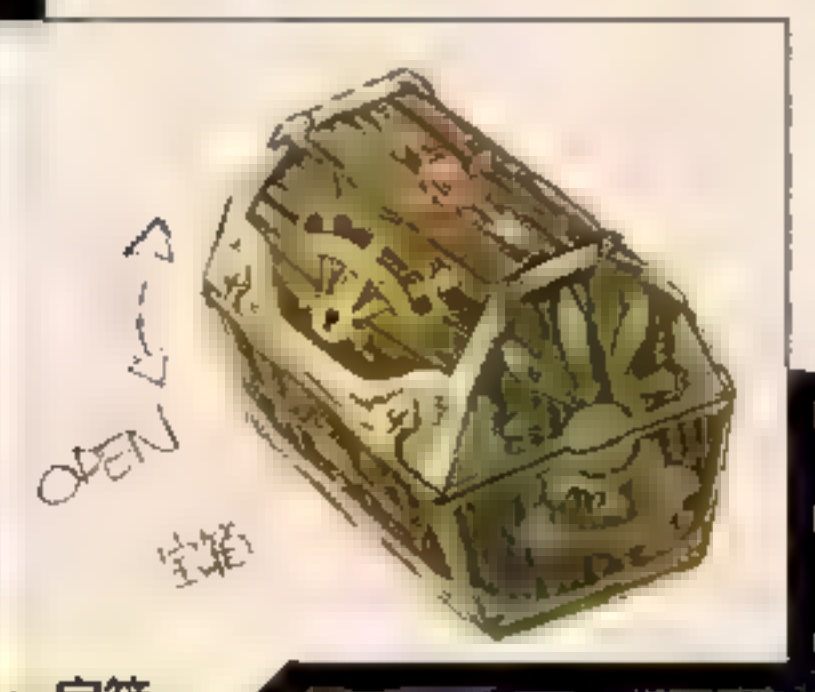
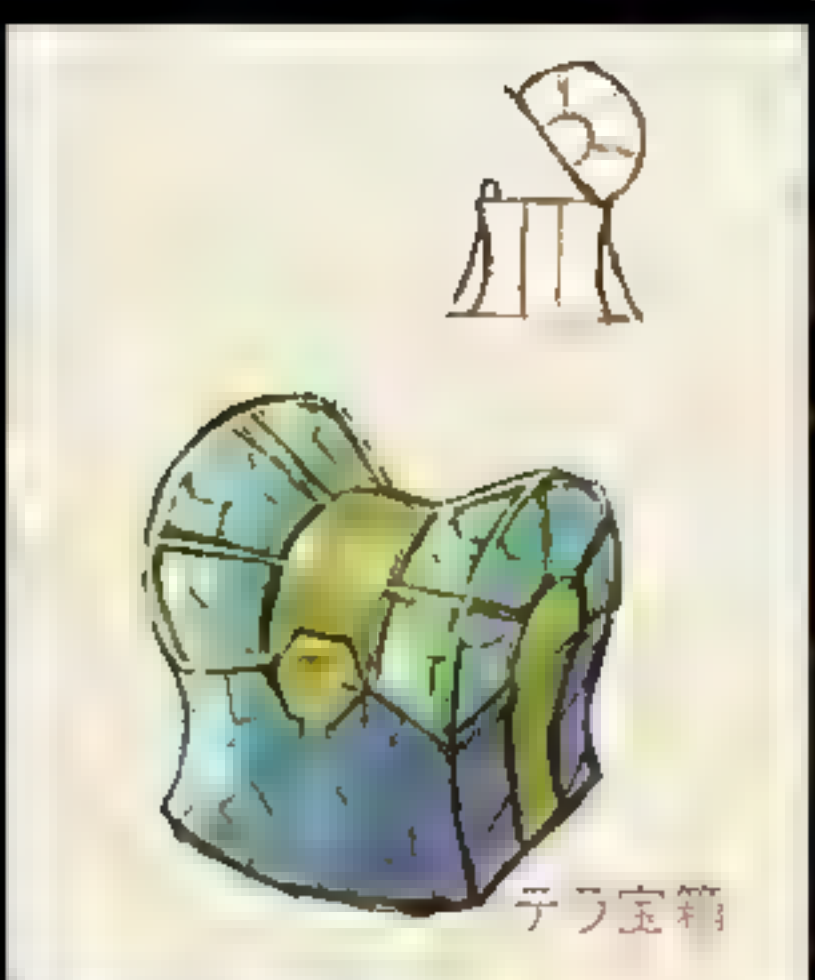
テラの宝箱

▸テラの宝箱

スタイナーの下げるズダ袋

魚～Type3

魚～Type2

魚～Type1

▸スタイナーのずだ袋、エーコが作る料理の魚

▸おもり

木のおもり

土のおもり

大理石のおもり

金属のおもり

サイズは天秤の皿に3つ載るほどの大きさ。手に乗せるというよりは抱えるほどのボリューム。

材木

▸アレクサンドリアの材木

▸フォッシル・ルーのギロチン

Memorial **Scene**

てんびんの仕掛けでカエル姿のシドが奮闘

デザートエンプレスでジタンの仲間が投獄されたときは、カエル姿のおかげで敵の目を逃れられたシドが活躍する。魔物との「だるまさんがころんだ」を切り抜けたのち、牢を開ける仕掛けに近づくべく、てんびんにおもりを載せて足場にするのだ。

3:42

イメージボード

FINAL FANTASY IX

石の塔

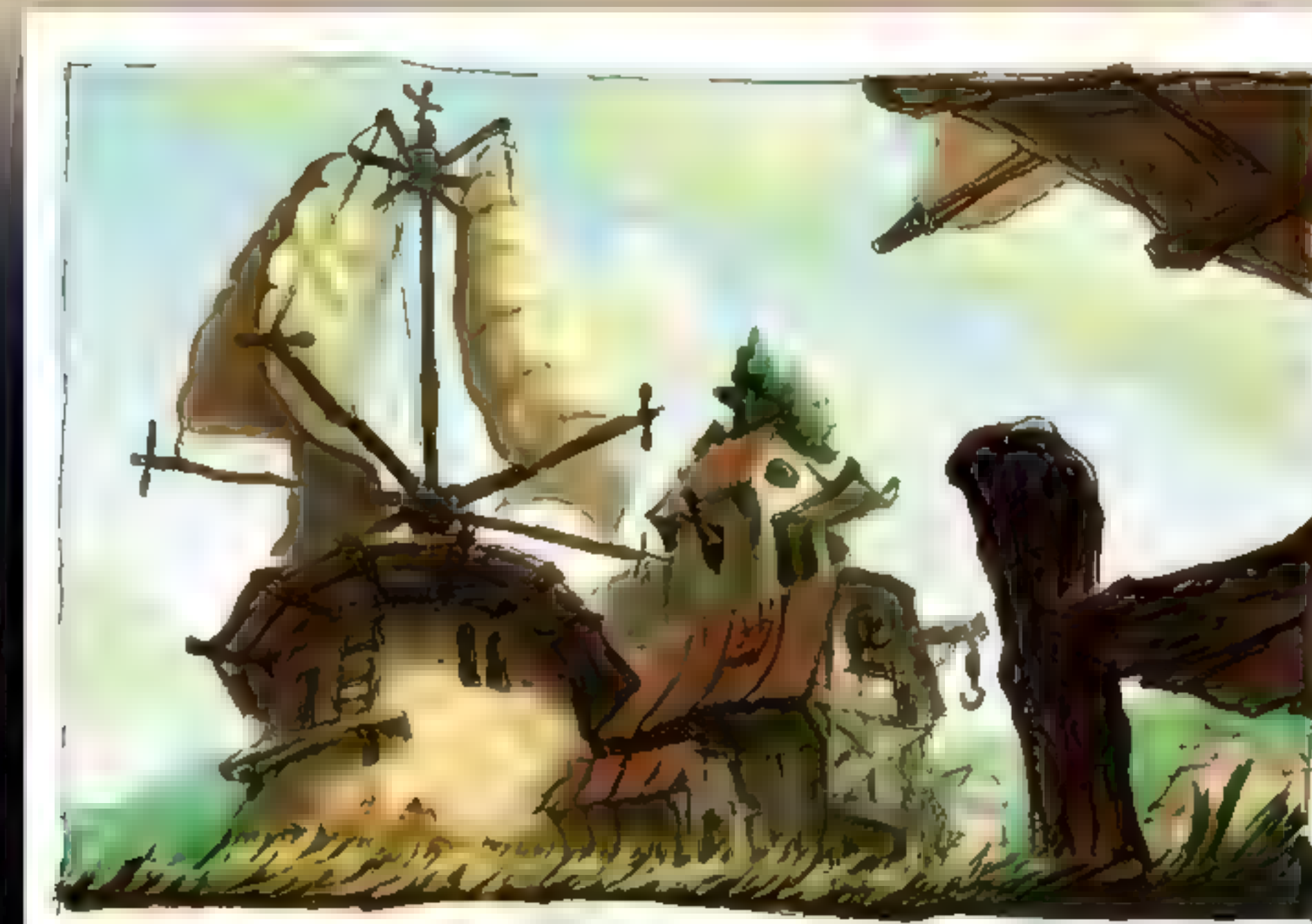
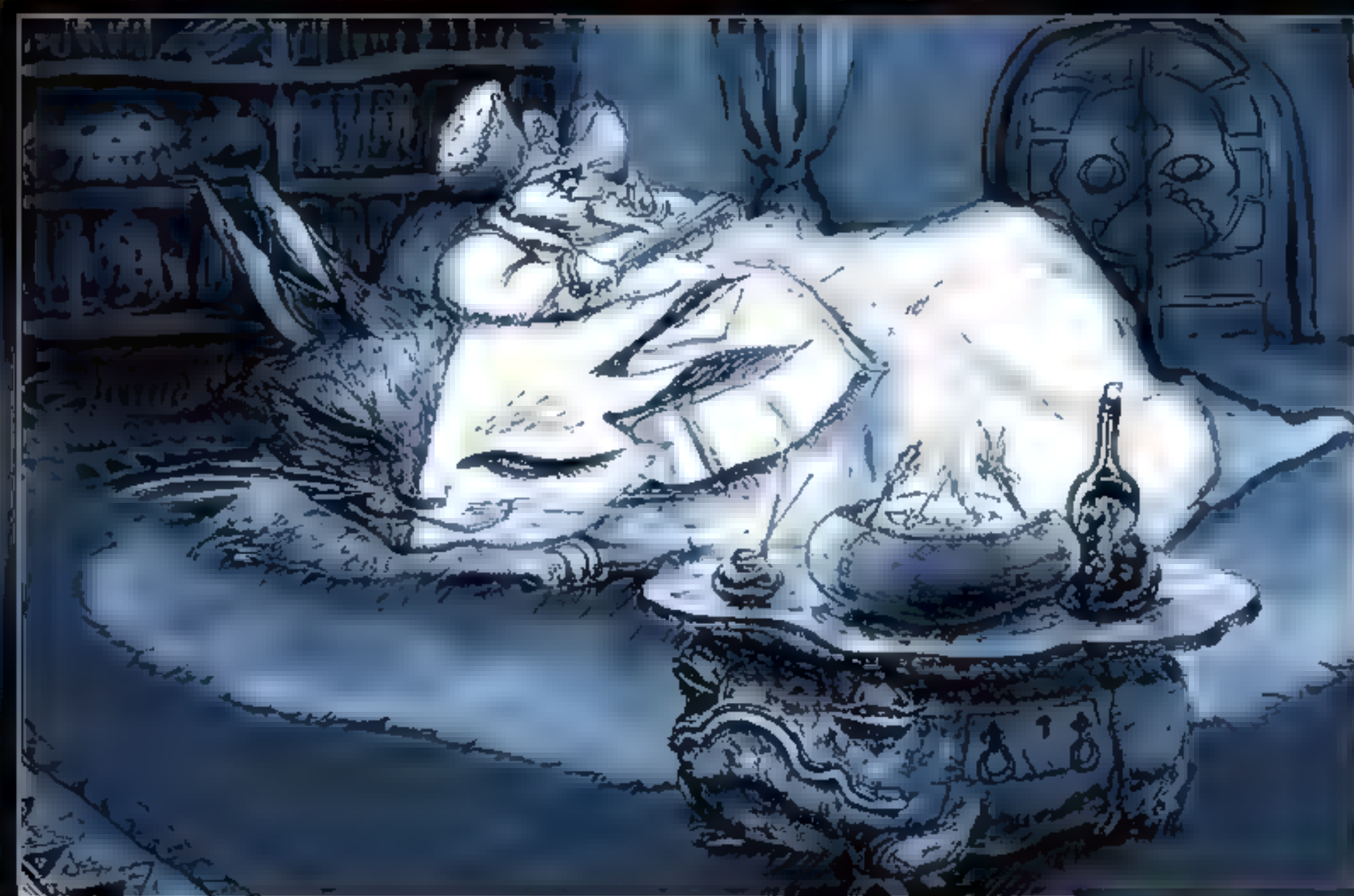
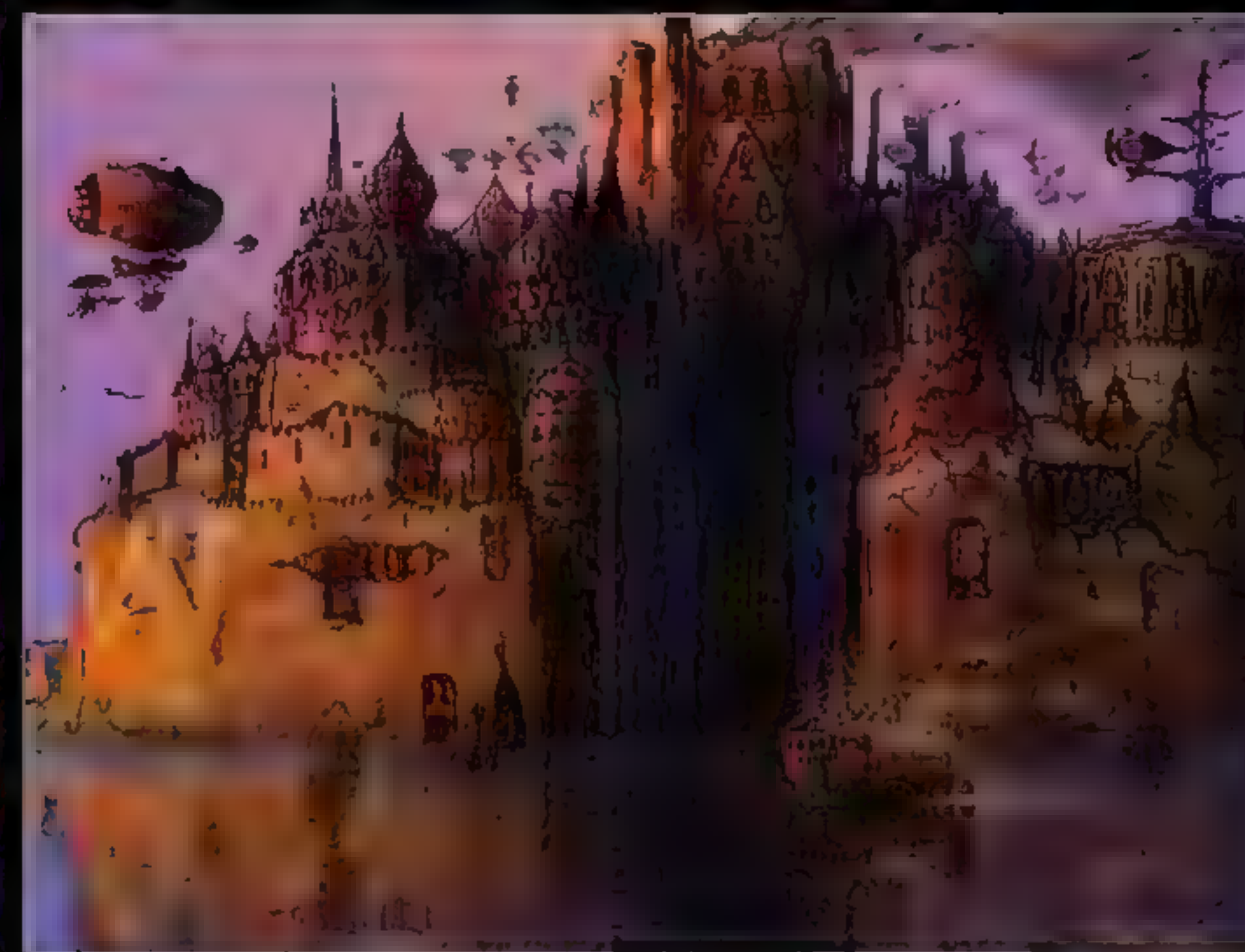
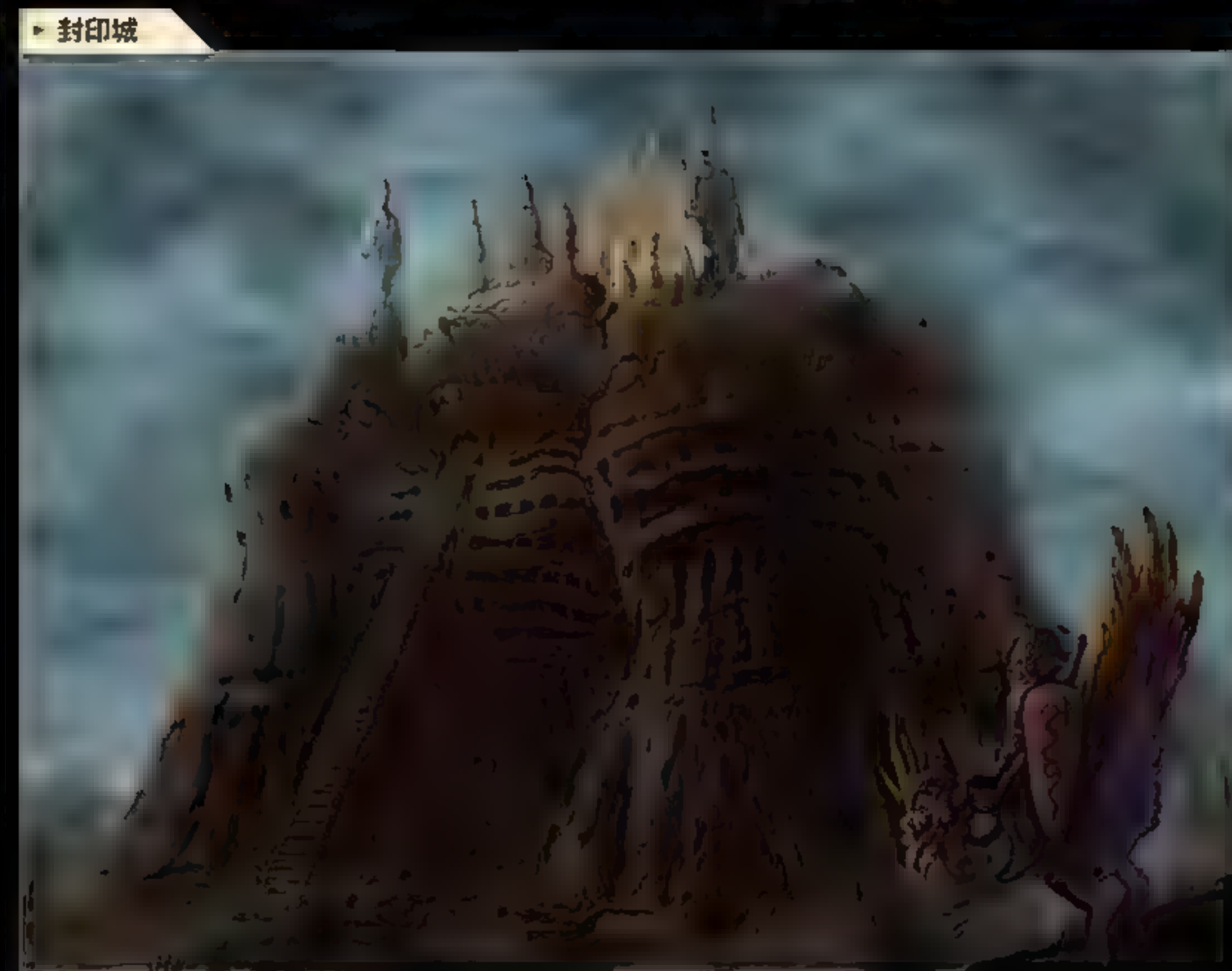
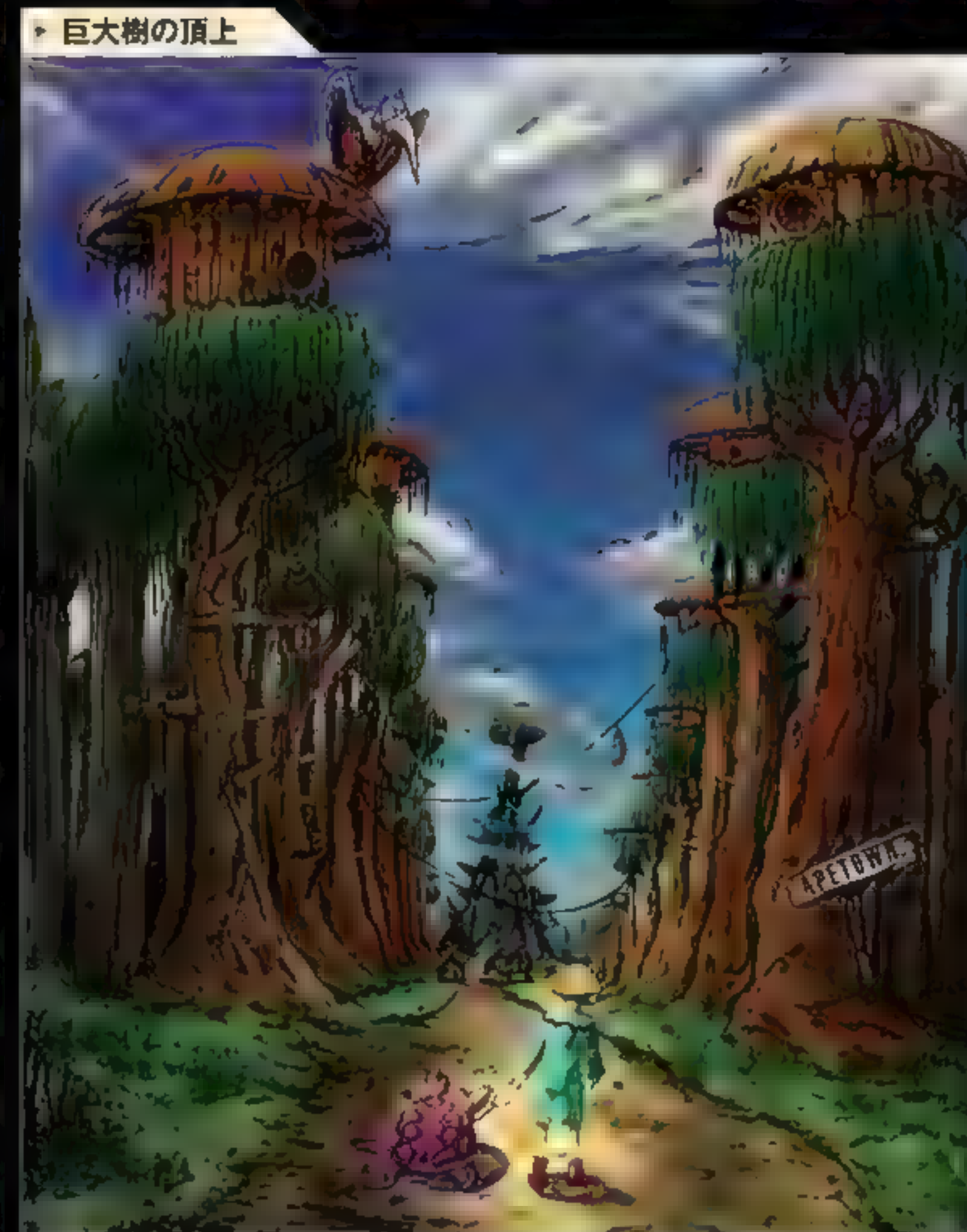
巨大樹

ブラネ女王

封印城

村

悪魔の滝

シドの城

巨大樹の頂上

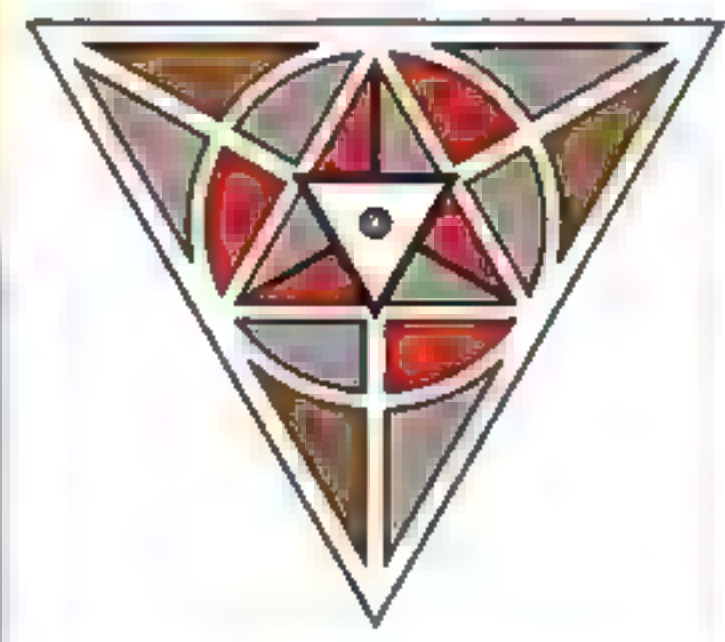
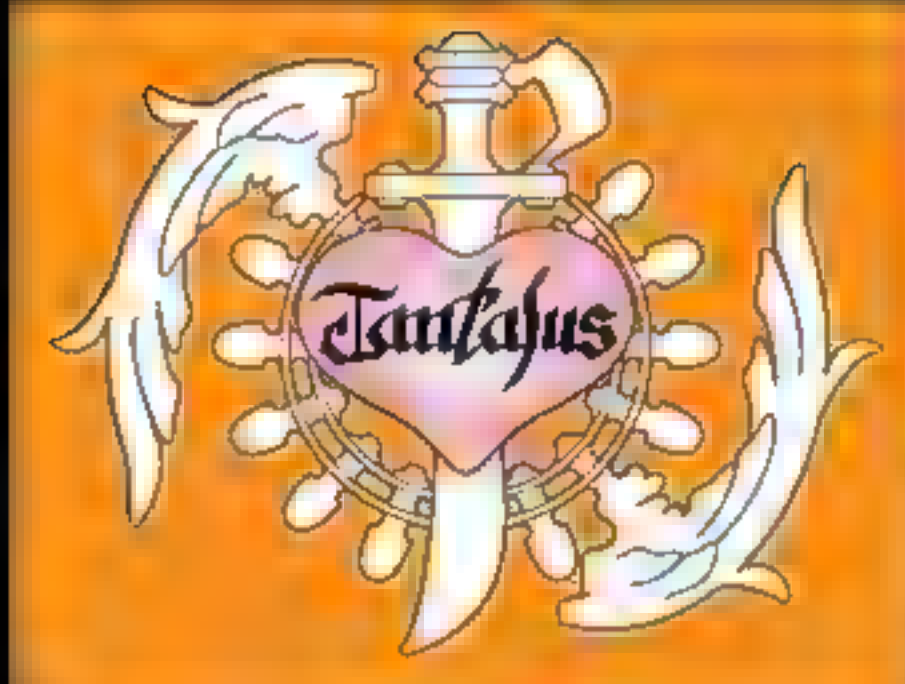
天空の門

そのほかの開発資料

エンブレム

国家や家系などの紋章。テラのエンブレムはウイユヴェールで、クジャのエンブレムはグルグ火山でおもに確認できる。

テラ（紋様）

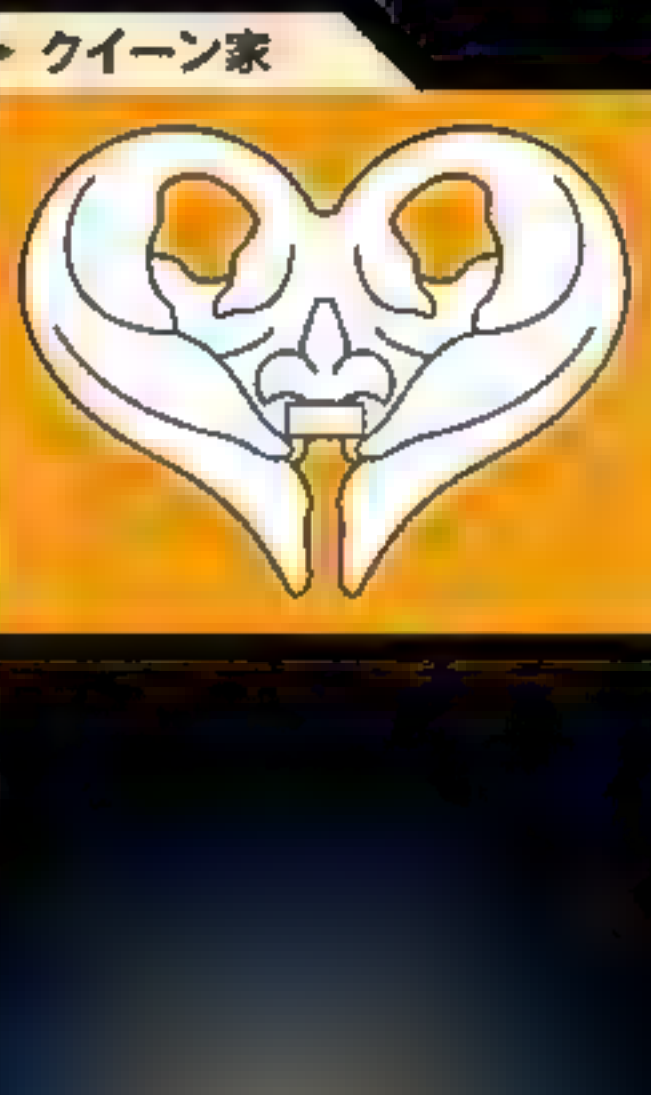
テラ

クジャ

タンタラス

タンタラス（旗）

アレクサンドリア

リンドブルム

トレノ

キング家

クイーン家

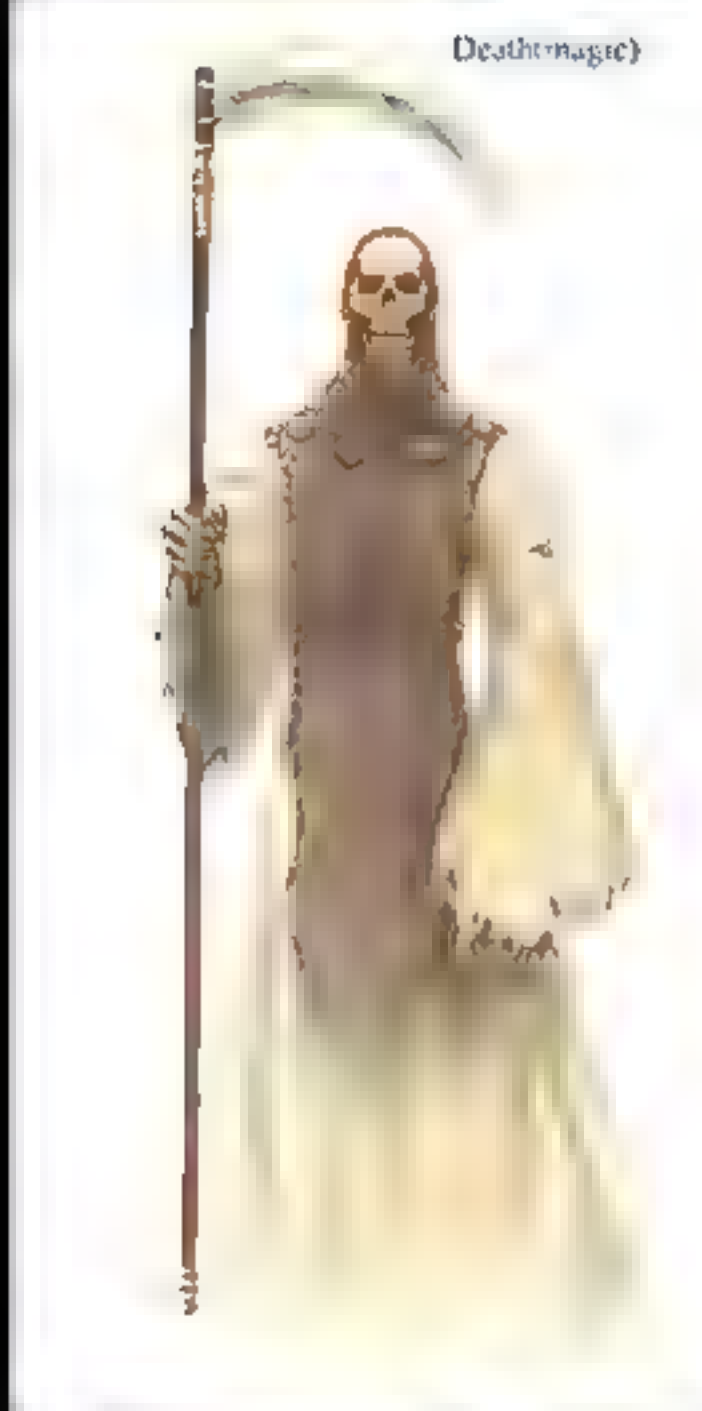
ナイト家

ビショップ家

死神

黒魔法「デス」などを使うと現れ、鎌で敵の命を刈り取る死神。デザインの異なる死神が、最終バトル中に登場する案もあったようだ。

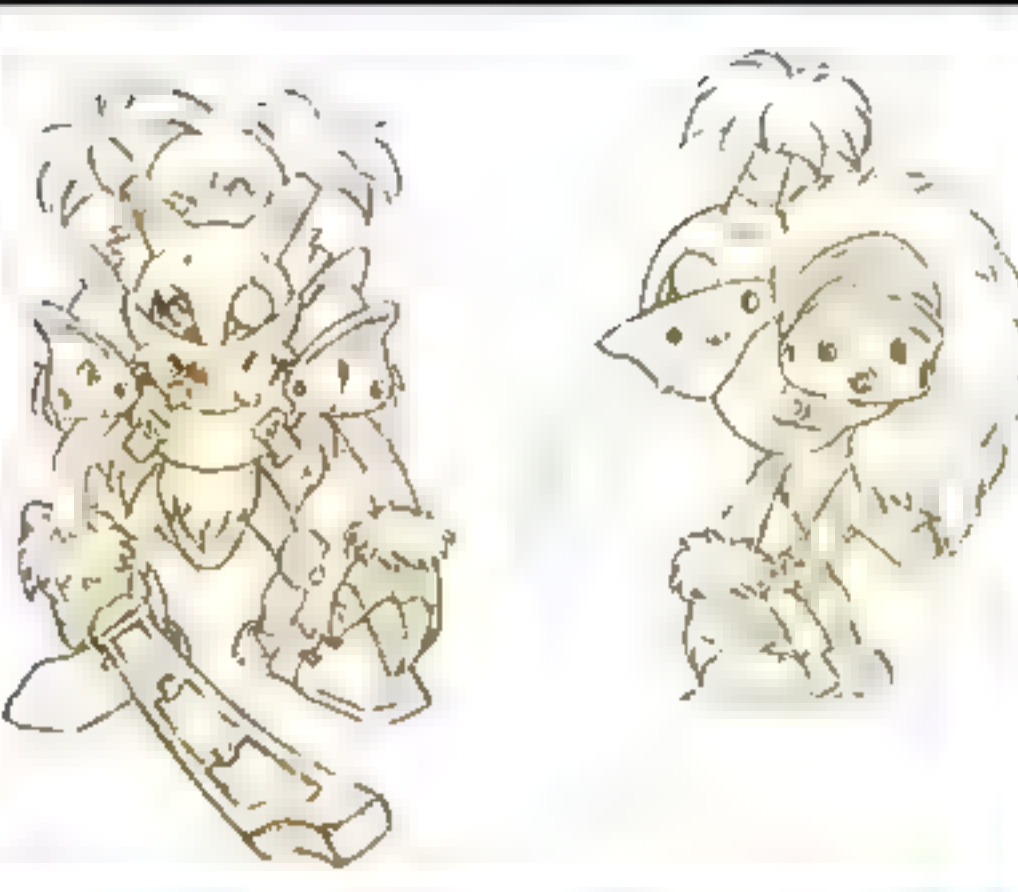
(Deathmage)

Death (for Last battle)

未採用デザイン

テラ文字

テラで使われている文字。ウイユヴェールでは、立体映像のなかにこの文字が投影され、テラの生まれであるジタンだけが解読できた。

テスト画像

開発初期の背景CG。プレイステーション本体で表示させた場合、色味や細部がどう見えるのかを調べるために作られた。モチーフは黒魔道士の村だが、完成版とは多くの点が異なる。

ブラネの刺客

ブラネの刺客ラニの役割を担当する予定だったキャラクター。「スーパーブラックワルツ」という名前がつけられていた。

タイトルロゴ案

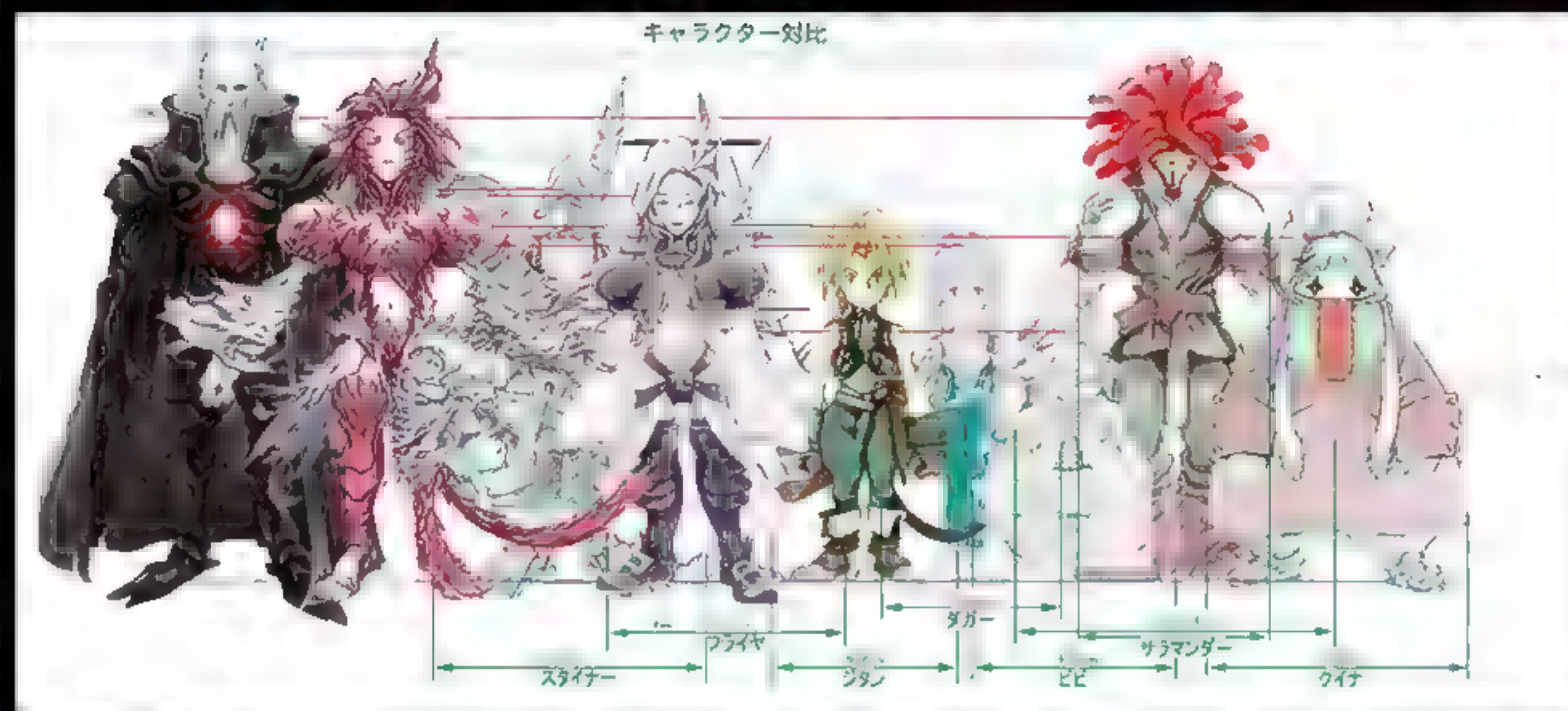
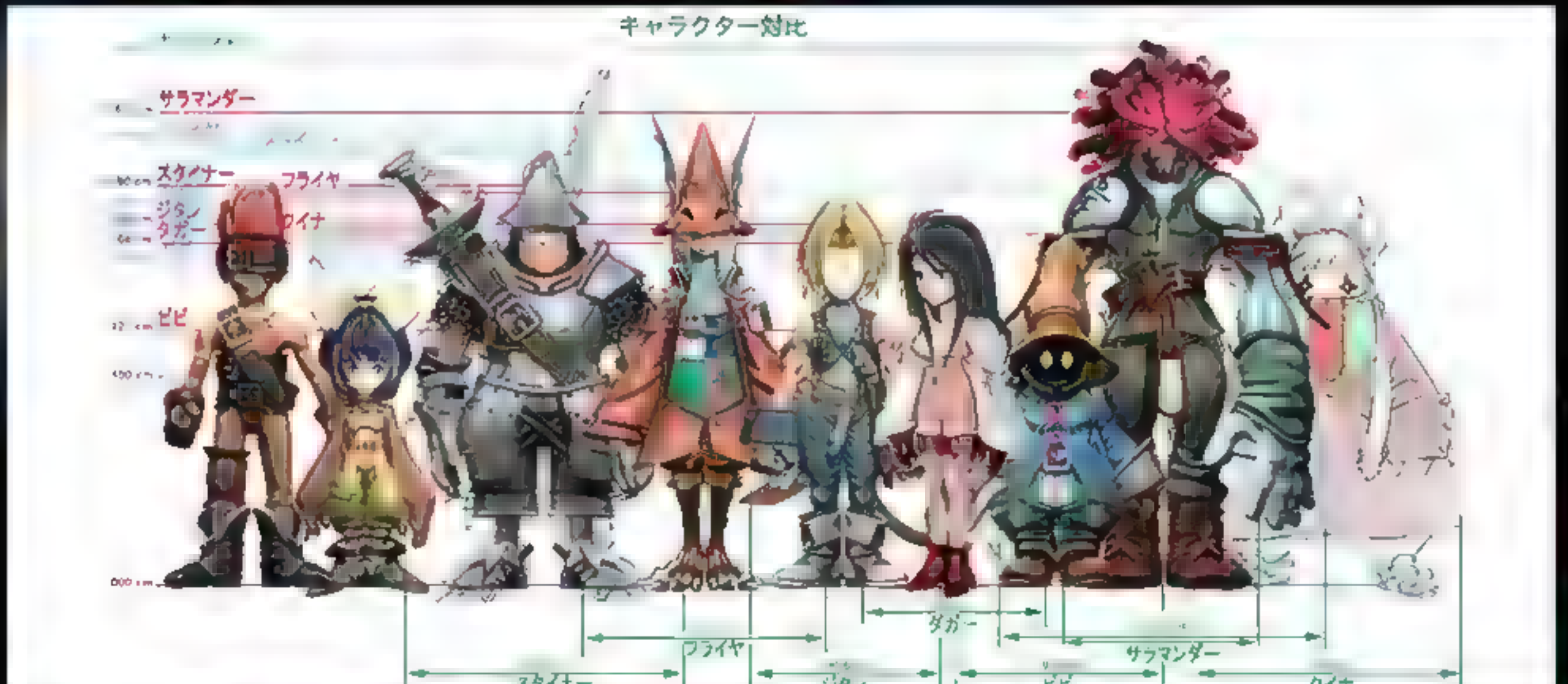
タイトルロゴの案のひとつ。クリスタルに渦や羽根のデザインがほどこされている。

FINAL FANTASY IX
ファイナルファンタジーIX

キャラクターのサイズ比較

主要キャラクターの身長と横幅をまとめたもの。キャラクターによっては、髪や帽子を含めた身長が青い線や数字で記されている。下の図を見るかぎり、クジャはトランス時に身長がやや高くなるようだ。

キャラクター対比

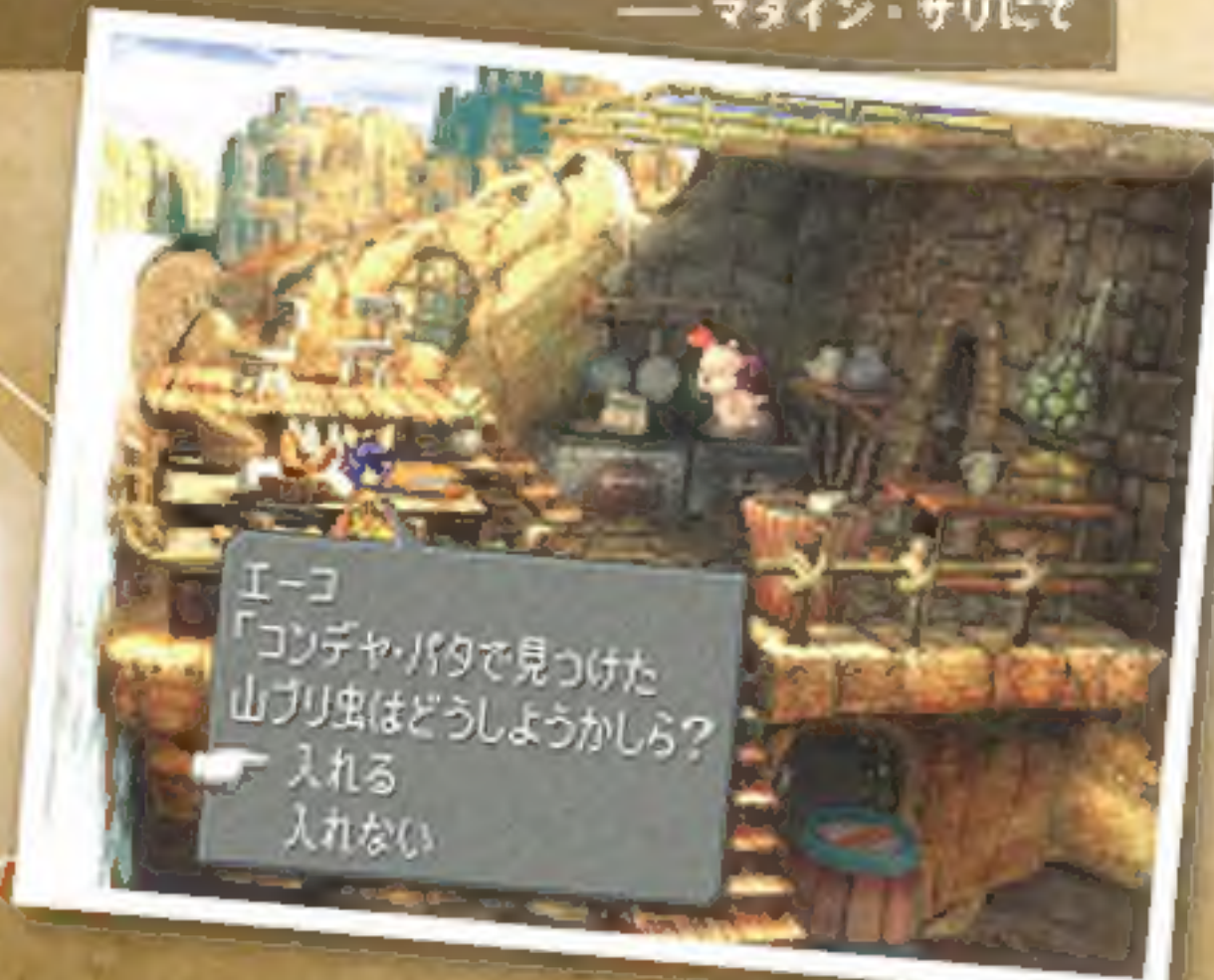
キャラクター対比

MEMORIES OF FINAL FANTASY IX

リンドブルムの伝統行事・狩猟祭。
町中に魔物を放つと、後始末が大変そう
── リンドブルムにて

さらうはずのガーネット姫から誘拐を願われて
……それじゃ、あべこべ
── アレクサンドリア城にて

無敵の女将軍ベアトリクス。
抵抗するも、華麗な剣技に打ちのめされる
── ブルメシアにて

バトル中にテントで回復できる！
しかし、テントにひそんでいたヘビにかまれることもありまして
── バトルにて

ジタンをトリコにすべく、エーコは愛情こめて料理する。
できばえは行動しだい
── マダイン・サリにて

モンティ、モグミ、モブリ、モグリッピ……
いろいろなモーグリがいて名前と場所を覚えきれない
── 世界各地にて

飛空艇の建造、仲間たちの救出……
情けない姿のまま奮闘するシド大公
── リンドブルム巨大城にて

子どもたちと、なわとびやかけっこに興じるビビ。
遊びのキング&クイーンを目指せ
── アレクサンドリアにて

突如はじまる、ラグタイムマウスの○×クイズ。
正解はどっちだったっけ？
── 各地の森林にて

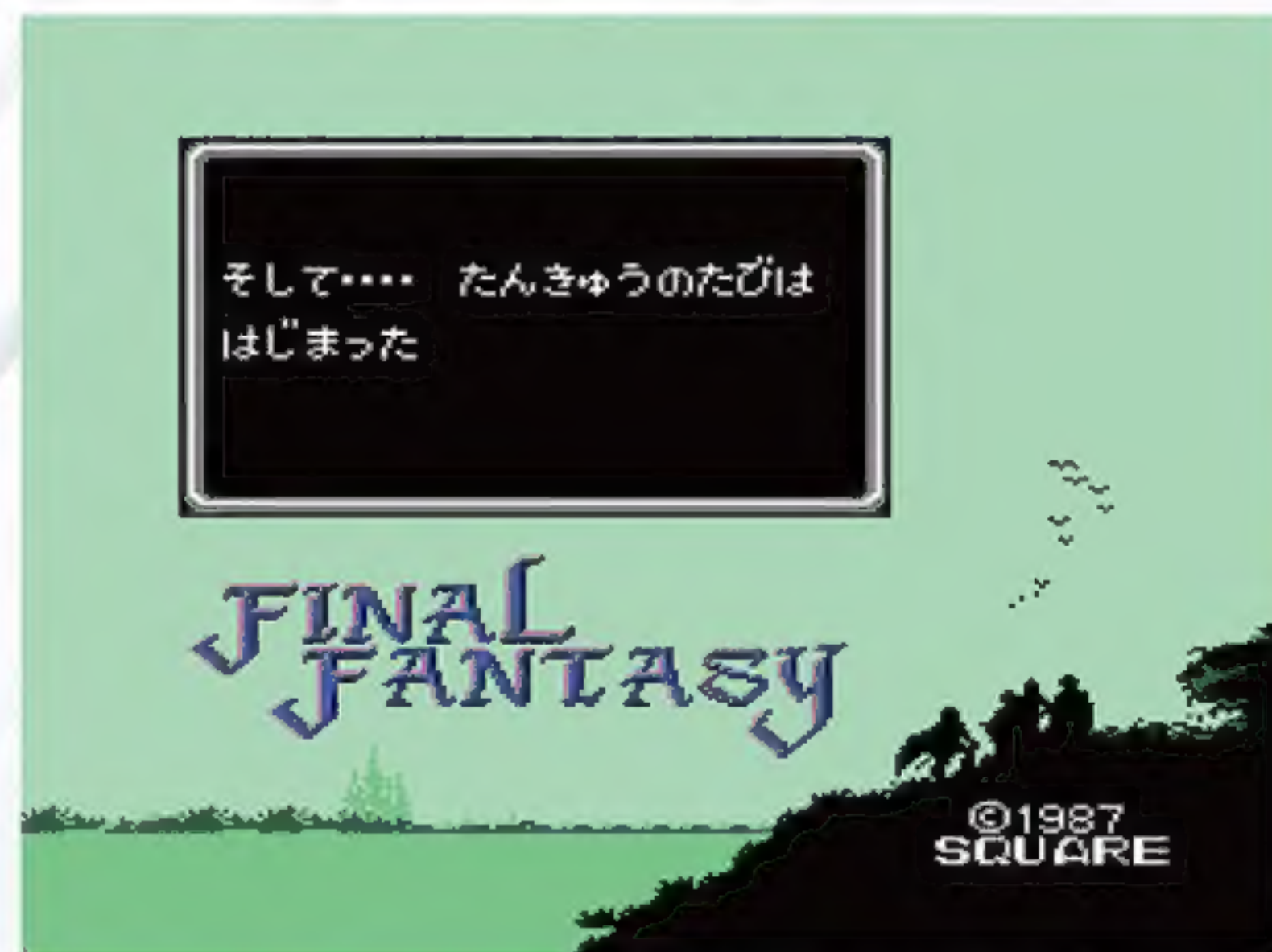
チョコグラフに描かれていた地形は ──「海」。
うん、まったくわかりません
── ワールドマップにて

クジャの暴走が止まるとき、
彼の絶望が未知なる「闇」を引き寄せる
── 絶望の丘にて

CREATOR'S VOICE

～ファイナルファンタジー25周年に寄せて～ Vol.2

鳥山 求
MOTOMU TORIYAMA

『FFVII』イベントプランナー
『FFX』イベントディレクター
『FFX-2』ディレクター
『FFXII レヴァナント・ウイング』ディレクター、シナリオ
『FFXIII』ディレクター、シナリオ
『FFXIII-2』ディレクター
『ディシディア FF』シナリオスーパーバイザー

『FFI』のオープニングから、早25年の月日が流れました。『ファイナルファンタジー』を応援していただいているみなさまへ、ただただ感謝の思いでいっぱいです。
　光の四戦士が世界を救ったあのころから、時は経ちましたが、私たちは、つねに探求の旅をつづけています。
『FFXIII』では世界観のコンセプトとして「未来世界のファンタジー」というテーマを置きました。
　未来へ向かう準備はできていますか？
　私たちはこれから先も『ファイナルファンタジー』の未来へ向かって走りつづけていきます。
　勝利のファンファーレを聴くそのときまで。

　ｽﾀｽﾀｽﾀｽﾀε＝ε＝ε＝ε＝┌(;￣▽￣)┘

さあ旅立つのだ
この世界をおおう
暗黒をふりはらい
平和の光をふたたび
この地に……

生守 一行
KAZUYUKI IKUMORI

『FFIII』(DS版)ムービーディレクター
『FFIV』(DS版)ムービーディレクター
『FFVII』バックグラウンドデザイナー
『FFVII アドベントチルドレン』ムービーセット＆プロップスーパーバイザー
『FFVII アドベントチルドレン コンプリート』ムービーセット＆プロップスーパーバイザー
『ダージュ オブ ケルベロス -FFVII-』ムービーディレクター
『クライシス コア -FFVII-』ムービーディレクター
『FFVIII』リードフィールドデザイナー
『FFIX』フィールドグラフィック、モーションBG、CGデザイナー
『FFX』ムービーセット＆プロップスーパーバイザー
『FFX-2』ムービーディレクター
『FFXI』(βバージョン)ムービーセット＆プロップスーパーバイザー、シーケンス(アニマティクス、ライティング、コンポジット)
『FFXII』ムービーセット＆プロップスーパーバイザー
『FFXIII-2』ムービーディレクター
『FFXIV』ムービーディレクター
『FFクリスタルクロニクル クリスタルベアラー』ムービーディレクター
『FF零式』ムービーディレクター
『チョコボの不思議なダンジョン 時忘れの迷宮』ムービーディレクター

　自分が正式に『FF』に関わったのは『FFVII』からになります。それまでは、ドット絵を描いていたのに、『VII』からは3Dになり、ツールが変わったりしてなげいたスタッフもいました。ですが、自分は表現の幅が急速に広がり、いろいろな表現ができるようになったので、とても楽しみながら『VII』の制作をしていたのを思い出します(『FFVII』の当時は、グラフィックの分業がほとんどなかったので、エアリスの教会やニブルヘイムなどを含めた大量のマップを自由にデザインしつつ、モデリングまでも最後まで担当していました)。
　自分は『FFX』のころあたりから、その当時社内で新設された、CGセクションへ異動し、シネマチックムービーをメインに『FF』に参加することになりましたが、変わらずつねにやりたいことや、世界観をクリエイターとして表現できるように頑張ってきました。いまはCGセクションは映像の特化部隊のヴィジュアルワークス部となり、アイドス(スクウェア・エニックス傘下のゲームソフト制作会社)の作品や『FF』以外の作品の映像制作にも参加して、たくさんのムービーディレクションをさせていただいています。
　そのときにほかのチームから、よく「『FF』らしさって何ですか？」と聞かれることがありましたが、『FF』らしさなんて、定義は映像演出でもとくに意識したことはありません。
　スタッフみんなが力を合わせて制作し、やりたいこと、表現したいこと、ユーザーに楽しんでもらえるためのこと、などいろいろなことを考え、ひとつの作品に全力を尽くした作風あたりが、『FF』らしいのかもしれませんね。毎回毎回、新しいことにチャレンジしていましたし(笑)。
　さまざまな形で、ゲームが表現できるようになってきた時代ですが、みなさんが少しでも楽しめる作品をていねいに力一杯仕上げていこうと思います!!　そして、その作品が、少しでも、ユーザーのみなさんの人生の1ページに関わらせていただけることを目指して、頑張ります!!!

河盛 慶次
KEIJI KAWAMORI

『FFVIII』シンセサイザーオペレーター
『FFX』シンセサイザーオペレーター
『FFXII』シンセサイザーオペレーター
『FFXIII』シンセサイザーオペレーター
『ディシディア デュオデシム FF』アレンジャー

　最初に『ファイナルファンタジー』の開発に関わったのは『VIII』でした。あれから14年、国内外にレコーディングやコンサートで行く機会があるのですが、どの場所に行っても『ファイナルファンタジー』の音楽はみなさんに愛されていると感じます。
　過去、3音で鳴っていた音楽は、現在ハードの進化によりCDとまったく変わらない状態で鳴るようになり、サウンドで表現できることも飛躍的に増えました。制作手法もまったく変わりましたが「これからもみなさんに愛され楽しんでいただける音を生み出していきたい」という気持ちは、スタッフ全員、昔から何ひとつ変わっていません。これからも変化と進化をつづける『ファイナルファンタジー』を楽しみにしていただければと思います。

間 一朗
ICHIRO HAZAMA

『FFVII アドベントチルドレン』アソシエイトプロデューサー
『FFVII アドベントチルドレン コンプリート』プロデューサー
『ディシディア デュオデシム FF』プロデューサー
『シアトリズム FF』プロデューサー
『FF ブリゲイド』プロデューサー

『FF』ファンのみなさま、こんにちは。株式会社スクウェア・エニックスは第一制作部にてプロデューサーを拝命しております、ハザマイチロウと申します。よろしくお願いいたします。
　大抵のかたは、自分のことなぞご存じないと思いますが、ソレはソレでおおいにアリです。と申しますか、『FF』の来し方行く末とかまったく語れる気がいたしませんので、このさい、『FF』との出会いみたいなモノをお話ししまして、本日のところは逃げ切ろうと思います。

　自身スクウェアに入社いたしましたのは、1998年の初頭でした。『FFVIII』の開発がはじまるかどうかといったタイミングでして、きたるべきキックオフに向け、社内の空気もずいぶんと熱を帯びていたよう記憶しております。
　そして忘れもしない1stミッションが、ついに自身にくだります。
「外部開発会社さんへの説明用に、作品紹介の資料を作成してくれ。カット＆ペーストとかうまいことやって、チャチャッと作ってくれよ」

　正直思いましたね。こりゃ勝った、と。転職したてとはいえ、聡明で鳴らした自分には、すでにこの会社の強いところ、弱いところを把握できておりました。なるほど、さすがに上司たるかたは良くわかっていらっしゃる。本件をクリアできる人間は、このオレをおいてはいないであろう。そう確信すると同時に、もう体は動いています。
　右手にはカッター、左手にはスティックのり。
　いまにして思えば、前の会社の備品だったような気もいたしますが、まーソコはソレ。野村哲也さんの原画をまずはコピーしまして、つづいて、それをキャラクターに沿って切り抜きます。大胆かつ繊細に。このあたりの感覚は、ちょっと文章で説明するには難しいものがありますね。で、ソイツを白紙にレイアウトしまして、もう一度コピー。頭のなかではすでに文言ができておりますので、このあたりではもう余裕しゃくしゃくってなもんです。軽く、自身が在籍しておりました事業部部屋を睥睨(へいげい)しまして、心のなかでつぶやきます。
「すまないが、オレは先に行く。カッターマットすら持ち合わせていない貴様らに、オレが負ける道理はない。これが、プロとしての意識のちがいというモノだ！」

　自身が、カット＆ペーストの何たるかを知るのは、そこから半年ほどのちのことになります。あれなー、何で当時の上司は受け取ってくれたんだろう。あの資料。あまりに自信満々だったんで、リジェクトできなかったんだろうか。悪いことしたなぁ。まーでもカットしてペーストしてるし、問題ないっちゃ問題ない気もするような！

　……そんなワタクシも、いまではなんだかプロデューサーにございます。で、何が言いたいかと申しますと、ひとつには、ウチってイイ会社だなってハナシです。なんて言うか、懐深いよね！　あとは、『FF』スゴイなってハナシ。このあたりは、行間から読み取れますよね？　読み取れます！
　ってなもんでなんだかまとまった風ですし、またどちらかでお会いいたしましょう！
　以上、ハザマイチロウでした!!

板鼻 利幸
TOSHIYUKI ITAHANA

『FFIX』キャラクターデザイン、背景製作、ミニゲームデザイン
『FFXIII-2』コスチュームデザイン
『FFクリスタルクロニクル』シリーズ
『チョコボ』シリーズ

　私がはじめて関わった『FF』は、『チョコボの不思議なダンジョン2』の開発が終わった直後、同じハワイオフィスで開発されていた『FFIX』でした。
　途中参加だったためにアートディレクターの皆葉(英夫)さんの下で、キャラクターのデザイン、CGの背景をゲーム用に落とすレタッチ作業、武器デザインの監修、ミニゲームの制作など広い範囲に関わることになりました。まだスクウェアに入社して間もなかったこともあり、関わる各セクションがあげてくるリソースのクオリティの高さと、そこにかける熱意に感激したのを覚えています。

　我々技術職の人間は、百の本や言葉で教わるよりも、胸打つ1枚の絵、ひとつの動画を見て大きくイメージをふくらまし、新たなものを創り出す火種とするようなところがあります。
『FFIX』でその起爆剤だったのは、夕暮れに染まるアレクサンドリア王国上空にやってきた劇場艇プリマビスタのイメージでした。
　この街にはどんな人間が住むのだろう、この空飛ぶ劇場はどんな舞台を見せてくれるのだろう。そしてどんな冒険が……、と我々開発者がワクワクするところからが本当のゲーム制作のスタートで、その後ぞくぞくと『FFIX』の世界の奥行きは広がっていきました。

『FF』の開発現場はさまざまなスキルを持つスタッフが集結して、おのおののテイストをぶつけ合い、刺激し合うことで化学反応を起こして新しい遊びとビジュアルを創り出す土俵のような側面があります。『FFIX』もそうした土俵で揉まれて誕生し、たぶんディレクターも当初は想定し得なかった領域のビジュアルを持つゲームに仕上がったのではないかと思っています。
　実際、完成後にスタッフが集まった会議室でのゲーム披露会では、我々が作ったものに誰かがスプーン1杯分の特別な味を加えてくれたような、いままで毎日見ていたものに魂が宿ったような感覚を覚えて、エンディングを見ながら思わず感極まってしまいました。そのときにイベントチーフである青木和彦が「『FF』マジックっていうのがあって、最後の最後に宿るんだよね」と満足そうに言っていたのをよく覚えています。

　そんなマジックが宿った『ファイナルファンタジー』は、これからもつづいていきます。
　ワクワクしながら遊んでいただき、最後に何かひとつ心に残せるような作品を目指して、スタッフ一同頑張っていきます。
　これからも『ファイナルファンタジー』をよろしくお願いいたします。

※このコーナーでは、2012年5月30日～12月31日のあいだにFF25周年ポータルサイトで期間限定で公開された開発スタッフのコメントを、関わった作品順に掲載しています

河本 信昭

NOBUAKI KOUMOTO

『FFIX』イベントプランナー
『FFXI』ディレクター、イベントプランナー
『FFXIV』リードプランナー

僕は、いまでこそオンライン『FF』ばかり作ってる人ですが、最初に関わった『FF』は、『FFIX』でした。
当初、黒魔道士の村やトレノの担当だったことから、ビビやクジャの登場シーンのセリフ作成・演出が多く、彼らのキャラクターやシチュエーションにすごく引きこまれながら作っていました。一方、いまいち主人公のジタンがつかみどころがなくて、頭では理解できても、「こいつ、どう描いたらいいんだろう？」って思ってたのを覚えています。
そんななか担当したのが、パンデモニウムでジタンが苦悩し、ひとり戦いに挑もうとするシーンでした。そこのセリフ、演出を考えているうちに、彼がどういう人間で、なぜああいう態度をとるのか、心の底から理解できて、ヘンな言いかたですが、やっと友だちになれた気がしました。
そして、そのシーンを考えているときに、上司の青木(和彦)から「植松(伸夫)さんから、いい曲できたからどこかで使ってって言われたんだけど」と相談され、すぐ「あそこですね」というやり取りをしたことを強く覚えてます。その曲が流れるなかシーンを作成していると、完全にあのシーンは僕の手を離れ、彼らキャラクターが自分たちの思うまま話し、行動するものになりました。
これがイベントプランナーの醍醐味だなあ……と思っています。
そんなライブ感あふれる制作現場って、PSで終わりかも、と思ってたのですが、なぜかオンラインになって、もっともっとライブ感あふれる制作現場となっています。もしかすると、このライブ感こそが『FF』なのかもしれませんね。

2012年7月某日　「独りじゃない」を聞きながら

伊藤 龍馬

RYOMA ITO

『FFIX』モンスターアニメーション
『FFX』バトルモーションデザイン
『FFXII』アートデザイン
『FFXII レヴァナント・ウイング』キャラクターデザイン
『FFタクティクス アドバンス』キャラクターデザイン
『FFタクティクス A2 封穴のグリモア』キャラクターデザイン

僕が制作ではじめて『FF』に関わらせてもらったのは『FFIX』で、ワンフロアみんな『FFIX』を作っていて、その人数の多さにびっくりしたのを覚えています。
関わったすべての作品に思い入れはあるのですが、とくにキャラクターデザインに抜擢していただけた『FFタクティクス アドバンス』は、僕にとって思い入れが大変深い作品です。トイレでプロデューサーの松野(泰己)さんと会ったときに、「あとで話がある」と言われ、何かしてしまったかと不安でいっぱいでしたが、それが『FFタクティクス アドバンス』のキャラクターデザインの仕事の依頼だったので、ものすごく驚いたのを覚えています。『FFタクティクス アドバンス』が世に出たあとに、ファンと言ってくださるかたたちからの温かいメッセージをいただいたときは、本当に本当にうれしかったです！
これからもひとりでも多くのかたに喜んでもらえるように頑張るのとともに、いち『FF』ファンとして今後の作品も楽しみにしています。

玉井 進太郎

SHINTARO TAMAI

『FFIX』モンスターアニメーション
『FFX』バトルモーションディレクター
『FFXIV』キャラクターアニメーションディレクションほか
『FFXIV：新生エオルゼア』キャラクターアニメーション

私がはじめて開発者として携わった『FF』は『IX』です。スーファミ世代の『FF』に携わっておらず、新参者の部類に入ると思っていましたが、このときからすでに10年以上経ってしまいました。
当時『FFIX』開発チームに配属されてびっくりしたのは、スタッフがとても優秀なことでした。すばらしいデザイン、モデル、テクスチャに、自分のアニメーションを載せられる幸せ……。自分の仕事が何倍にも増幅されるような感覚さえ覚えました。
開発スタッフもつねにファンのみなさんの期待を感じて業務にあたっており、非常に緊張感のある職場でした。
それまで最大で10数人という小さな開発チームでしか経験のなかった自分には、いろんな意味で衝撃的な経験でした。

つづく『FFX』では2作連続で携わるということもあり、「前作超え」という意識が自分にも開発チームにも強くありました。プレイステーション2最初の『FF』として、大きなプレッシャーも感じていたのを覚えています。
そのときの経験から、ファンのみなさんの厳しい目が開発スタッフの能力を形作り、『FF』という作品を作り上げる。また、そのつぎの『FF』作品は前作を超えるべく高い目標を掲げて開発に邁進する。このサイクルこそが『FF』の『FF』たるゆえんなんだと感じました。

あれから約10年、あのときにも負けないすばらしい仲間と一緒に、私はふたたび『FF』開発チームに在籍しています。
現在『FFXIV：新生エオルゼア』の開発業務が佳境を迎えていて、『FF』に恥じない作品にすべく、開発のみならず関連スタッフ全員が必死に働いているところです。ちょうどこのメッセージが掲載されるころにはさまざまな情報公開が行なわれていると思いますので、みなさん、ぜひご期待ください。

これからも『FF』は姿を変えつつ、ですが本質は変わらず何作もつづいていくことでしょう。ファンのみなさまには、ぜひその時々の『FF』を楽しんでみてほしいと思います。
これからも「ファイナルファンタジー」をよろしくお願いします。

野末 武志

TAKESHI NOZUE

『FFVII アドベントチルドレン』Coディレクター、CGディレクター
『FFIX』ムービーセットアップ、アニメーション、シーケンス
『FFX』アニメーションスーパーバイザー
『FFX-2』ムービーシーケンス
『FFXIII』ムービーディレクター
『ディシディア FF』ムービーディレクター
『ディシディア デュオデシム FF』ムービープロデューサー

四半世紀という長いあいだ『ファイナルファンタジー』を応援いただき、ありがとうございます。
私自身も、そして所属するヴィジュアルワークスも、ようやく『ファイナルファンタジー』の歴史の半分をともに歩むことができました。
プリレンダー(CGのムービー)というフィールドでいままで頑張ってきましたが、その技術をリアルタイムに活かせる時代が到来しはじめていますので、これまで以上にゲーム制作チームと連携を強化しています。
応援していただいているみなさまの"圧倒的な世界への冒険"のお手伝いができればと思っています。
スタッフ一同、いま一度気を引きしめて臨んでいきたいと思っていますので、これからも引きつづき応援よろしくお願いいたします。

関戸 剛

TSUYOSHI SEKITO

『FFII』(WSC版)編曲、一部モチーフを引用しての作曲
『FFII』(PS版)編曲、一部モチーフを引用しての作曲
『FFIII』(DS版)編曲
『FFVII アドベントチルドレン』編曲、作曲
『FFVII アドベントチルドレン コンプリート』編曲、作曲
『FFXIV』作曲、編曲
『ディシディア FF』編曲、作曲
『ディシディア デュオデシム FF』編曲
『シアトリズム FF』ミュージックデータサポート

はじめて制作に参加させていただいたのは『FFII』ワンダースワン版ですが、ハードの仕様が非常にシンプルで携帯ゲームならではの音質が新鮮でした。当時はディレクターから「2ループ目はオリジナルな展開ではなくて大幅に手を加えて編曲してほしい」というオーダーがあったので「大丈夫かな？」と思いながらもいろいろと手を加えていました。ワンダースワン版ならではの！ という感じで思い切りましたが、のちにPSに移植することになり、いろいろと大変でした(笑)。
また、『FFVII アドベントチルドレン』は初の映像作品への参加ということもあり、いろいろな試行錯誤もありましたが、生演奏とフェイクの音源を組み合わせる醍醐味は相当なもので、いつもワクワクしながら制作を行なっていました。ディレクターのチェックは非常に細部まで行なわれるため、一発でOKが出ることはまずなかったのですが、徹夜をして早朝にできあがった「Savior」という曲は文字どおり一発OK！ で、あのときは「もう引退してもええわぁ～」っと頂点に達したのを覚えています。が、あれから何年も経ってしまいましたね。まだまだ現役で頑張っていますので、末永くよろしくお願いいたします(笑)。
25周年ということで、この間に幸運にも制作に参加させていただいた『FF』はざっと9タイトル。いまだ見ぬ『FF』は今後どうなっていくのか？直接制作に関わらないとしても大変気になるところであります。みなさん一緒に期待して待ちましょうではないですか!!

田畑 端

HAJIME TABATA

『ビフォア クライシス -FFVII-』ディレクター
『クライシス コア -FFVII-』ディレクター
『FF零式』ディレクター

自分は「ファイナルファンタジー」の歴史にほぼ貢献してません。『ビフォア クライシス -FFVII-』開発当初、『FF』への思い入れはとくになかったです。
ですが、自分で『FF』関連タイトルを開発してみると、いつの間にか歴代『FF』の開発者たちを尊敬してました。『FF』ファンの強い想いに応えたい気持ちが湧いてました。
『FF』25周年イベントで、渋谷ヒカリエの大行列を見ていて、いったい誰がこの歴史を作ってきたのか再確認できました。あれからいっそう、歴代『FF』関係者と『FF』ファンに思い入れました。
だから、というわけではないですが、自分はこれからの『FF』の歴史には少しは貢献できるかもしれません。
次回作に期待してください。

柏谷 佳樹

YOSHIKI KASHITANI

『ダージュ オブ ケルベロス -FFVII-』メインプログラマー
『FFXIII』メインプログラマー
『FFXIII-2』リードゲームデザイン＆メインプログラマー

『FF』ってもう25周年なんですね……。25周年と聞いて自分の年齢から25を引いてしまった人は私だけではないでしょう。
はじめて『FFI』をプレイしたころはファミコンの電源の接触が悪く、いつリセットがかかるかハラハラしながらプレイしていたものです。そのときまさか自分がのちに『FF』を作ることになるとは思っていませんでした。
『FF』というタイトルは社内、社外からものすごいプレッシャーをかけられますが それをエネルギーに変換して作っています。そのプレッシャーのあまり、自分の携わった『FF』が発売日に店頭に並んでいるのを見て、「喜ぶ」前に「安心」してしまいます。

春日 秀之

HIDEYUKI KASUGA

『ダージュ オブ ケルベロス -FFVII-』ネットワークプログラマー
『FFXI』『プレイオンライン』プログラマー
『FFXIV』リードプログラマー

――『スタンド・バイ・ミー』が公開され、鈴鹿ではじめてF1が開催され、X68000が発売され、THE BLUE HEARTSが「リンダリンダ」を歌い、マイケル・ジャクソンが来日し、村上春樹の『ノルウェイの森』が売れていた――
そんな年に最初の『ファイナルファンタジー』が発売されました。

自分はその年の印象を強く持っていないですが、その年の出来事を羅列してみると25年という年の長さを感じます。そして、いまなお多くのユーザーに新作が待たれる『ファイナルファンタジー』という作品の重さを改めて感じます。
そんなシリーズの作品にいま自分が関わっていて、世に送り出せることは不思議な気持ちであり、光栄であり、楽しみでもあります。送り出していく作品がみなさんにとって楽しいものであり、『ファイナルファンタジー』という名前にふさわしいものと感じてもらえればなによりです。
そして、つぎの25年もみなさんにとって『ファイナルファンタジー』が楽しいものでありますように。

高橋 光則

MITSUNORI TAKAHASHI

『ディシディア FF』プランニングディレクター
『ディシディア デュオデシム FF』ディレクター

小学5年生のとき、はじめて『ファイナルファンタジー』に触れた。マトーヤの洞窟のメロディがいつまでも耳から離れなかった。

中学2年生のとき、友だちと『ファイナルファンタジーIII』のクリアを競った。勝負には負けたけど、ゲームを隅々まで楽しんだのは俺のほうだとよくわからない主張をして勝ち誇った。

高校3年生のとき、シャドウのカッコ良さにホレて『ファイナルファンタジーVI』を夢中でプレイした。でも、まさか助けることができるとは思わずあっさりと見殺しにしてしまった。もちろんその事実を知ったあと、最初からやり直してクリアした。

大学2年生のとき、朝イチで『ファイナルファンタジーVII』を買いに走った。向かった先は自分がバイトしていたコンビニ。前日は興奮して一睡もできず、さらには数時間後にテストがひかえていたのだけれど、大学に行かなきゃならないギリギリ直前までミッドガル中を走りまわった。

社会人3年目のとき、奇跡が起きてスクウェアに入社することができた。『キングダム ハーツ』チームに配属されて、クラウドやレオンなどの企画を担当した。『FF』のキャラクターを自分が作るという事実に、ただただ興奮していた。

そして……

社会人7年目のとき、のちに『ディシディア FF』として発売される『FF』20周年記念作品のプランニングディレクターを、社会人10年目のとき、その続編である『ディシディア デュオデシム FF』のディレクターを務めることになった。

……いまでも、自分は世界一幸せな『FF』ファンだと思います。子どものころの自分に「お前は将来『FF』オールスターズのゲームを作るんだぞ！」と言ってやったら、どんな顔するだろうか。
ともあれ、ファンのみなさまとともに築き上げた25周年、本当におめでとうございます！

橋本 真司

SHINJI HASHIMOTO

スクウェア・エニックス・ホールディングス専務執行役員

早いもので『ファイナルファンタジー』が、25周年を迎えました。
自分が『ファイナルファンタジー』に関わるようになったのは『VII』以降ですが、1作目の制作当時には、開発者の苦労は想像しがたいものがあったと思います。
自分がはじめて関わった『VII』の目的は、日本国内のヒット作から世界のヒット作品へ広げることでした。そのために世界中を飛びまわった記憶があります。『FFVII アドベントチルドレン』に至っては、国際映画祭への参加のためについにヴェネチアまで行くことになりました。
ファミコン、スーパーファミコン、プレイステーション、プレイステーション2、プレイステーション3、Xbox 360などの歴代のコンソールから携帯ゲーム機、携帯電話、スマートフォンに至るまでさまざまな形に変化しつつも、世界のみなさまに愛されつづけるコンテンツとして、今後も機会があれば制作に関わっていきたいと思います。時代とともに究極のファンタジーを目指し、頑張っていく所存です。みなさまの応援をよろしくお願いします。

FINAL FANTASY 25th MEMORIAL ULTIMANIA Vol.2

ファイナルファンタジー25th メモリアル アルティマニア Vol.2

STAFF

企画・制作
株式会社スクウェア・エニックス【http://www.jp.square-enix.com/】

編集・執筆
株式会社スタジオベントスタッフ【http://www.bent.co.jp/】
山下　章(Director)
大出綾太(Sub-Director)
大野優子(Sub-Director／FFⅦ&Ⅸ CHARACTER)
澤田眞之(Sub-Director／FFⅧ CHARACTER)
豊田知行(FFⅦ～Ⅸ 人物相関図&WORLD)
木村昌弘(FFⅦ WORLD&MONSTER&EXTRA MATERIALS／FFⅧ EXTRA MATERIALS)
板場利光(FFⅧ WORLD)
山中直樹(FFⅨ WORLD&MONSTER&EXTRA MATERIALS)
末崎進一(FFⅧ MONSTER)
小石朋仁(FFⅦ～Ⅸ MEMORIES)
大出啓太(Editorial Support)
志賀　修(Editorial Support)
中谷　薫(Editorial Support)
白崎正悟(Editorial Support)

カバーデザイン
株式会社ブランケット・プロジェクト
島田忠司／門倉徳映

本文デザイン
有限会社キューファクトリー

本文DTP
株式会社wonder

協力
有限会社天野喜孝事務所
株式会社スクウェア・エニックス
ライツ・プロパティ管理部

協力・監修
株式会社スクウェア・エニックス
宣伝部
ファイナルファンタジーシリーズ各開発チーム

デジタル版　Ver.1.00
2018年2月1日　Ver.1.00発行

発行所　株式会社スクウェア・エニックス

<ページ抜け・誤植・内容についてのお問い合わせ>
スクウェア・エニックス　サポートセンター
http://sqex.to/jp_manga_support

<ビュワーの不具合・再ダウンロードできない等、販売に関するお問い合わせ>
本作品を購入された電子書籍書店のサポートセンターにお問い合わせください。